

富山市
子どもの生活実態調査結果報告書

令和6年3月
富山県 富山市

目次

目次	1
1.調査の概要	3
1.1 調査の目的	3
1.2 調査対象者	3
1.3 調査期間	3
1.4 調査方法	3
1.5 調査票の配布数・回収率	3
1.6 調査結果に関する注意点	4
1.7 クロス集計	4
2.生活実態調査（保護者）	7
2.1 調査回答者の基本属性等	9
問1. お子さんとあなたとの関係	9
問2. お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数	11
問3. お子さんの親の現在の年齢についてお答えください	12
問4. 現在単身赴任(ふにん)中の方について	15
問5. 親の婚姻(こんいん)状況	18
問6. 離婚相手との子供の養育費の取り決め	21
問7. ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか	24
問8. お子さんの親が卒業・修了した学校	27
問9. お子さんの親の就労状況	28
問10. 働いていない最も主な理由	37
問11. 病気・障害等に関する経験	46
問12. お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等	51
問13. お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等	56
問14. あなたとお子さんの関わり方について	61
問15. あなたは、次のようなことをどの程度していますか	81
問16. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか	97
問17. 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか	104
問18. あなたは次に挙げる事柄(ことがら)で頼れる人はいますか	111
問19. あなたは、子育てに関する不安や悩みを誰に相談していますか	141
問20. 子育てを楽しいまたは辛いと感じることが多いと思いますか	146
問21. 子育てに関する情報をどこから入手していますか。	149
問22. 子育てに関して欲しい、あるいは不足している情報	152
問23. あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。	157
問24. 世帯全体のおおよその年間収入(税込)	162

問25. 家族が必要とする食料が買えないことがありましたか.....	170
問26. 家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか.....	175
問27. 各種料金について経済的な理由で未払いになったか.....	180
問28. この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか.....	185
問29. あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。.....	208
問30. 支援制度をこれまでに利用したことがありますか.....	211
問31. 富山市の子育て施策で充実して欲しいと思う施策.....	234
問32. 希望する子育ての相談手段.....	239
問34. 子育ての環境や支援への満足度.....	242
3.生活実態調査（小学生・中学生）.....	245
3.1 調査回答者の基本属性等.....	247
問1. あなたの性別.....	247
問2. ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか.....	249
問3. ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらい勉強をしますか.....	254
問4. 成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか.....	264
問5. 学校の授業がわからないことがありますか.....	269
問6. いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか.....	274
問7. 将来、どの学校に進学したいですか.....	281
問8. 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか.....	294
問9. 学校が終わってからどこで過ごすことが多いですか.....	309
問10. ホットとできる居場所はどこですか.....	312
問11. 地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していますか.....	317
問12. 前の質問で参加していない理由は何ですか.....	322
問13. 次の活動をふだんどれくらいしますか.....	327
問14. 前の質問のa～cの活動に大変さを感じていますか.....	342
問15. 週にどのくらい、食事をしていますか.....	356
問16. ふだんほぼ同じ時間に寝ていますか.....	371
問17. 困りごとなど相談できると思う人はだれですか.....	376
問18. 最近の生活に、どのくらい満足していますか.....	381
問19. ここ半年くらいのあなたのことについて.....	386
問20. 次のa～hのようなことがありましたか.....	434
問21. 次のa～dのような場所を利用したことがありますか.....	441
問22. 前の質問で、そこを利用したことで、次のような変化がありましたか.....	461
問23. 困り事や悩み事について、どのような相談方法を希望しますか.....	470
資料編.....	473
1 子どもの生活実態調査における自由意見.....	475
2 「子どもの生活実態調査」調査票.....	494

1. 調査の概要

1.1 調査の目的

富山市における子どもや家庭の生活等について、富山県の調査結果と比較しながら、実態を把握し、今後の本市における子ども・子育てに係る施策に反映する。

1.2 調査対象者

小学5年生 3,159人（富山市立小学校 64校）とその保護者

中学2年生 3,296人（富山市立中学校 25校）とその保護者

1.3 調査期間

令和5年12月5日～令和5年12月22日

1.4 調査方法

各小中学校を通して、生徒児童およびその保護者に調査票を配布・回収した。

1.5 調査票の配布数・回収率

各調査票の配布数および回収数・回収率を以下に示す。

表 1.1. 小学5年生・保護者への調査票配布数等

調査対象者	小学5年生児童と保護者		
	配布数（人）	回収数（人）	回収率（%）
児童	3,159	2,920	92.4
保護者	3,159	2,926	92.6

表 1.2. 中学2年生・保護者への調査票配布数等

調査対象者	中学2年生児童と保護者		
	配布数（人）	回収数（人）	回収率（%）
児童	3,296	2,800	85.0
保護者	3,296	2,786	84.5

1.6 調査結果に関する注意点

- ・調査結果の数値については、小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合がある。
- ・調査結果の基数となる実数は「n」として標記し、各グラフ内での比率は「n」を母数とした割合を示す。
- ・グラフのうち、黒枠で囲まれているものは本調査結果を示しており、黒枠で囲まれていないもので、タイトルに[県調査結果]と記載されたものや、グラフや表の各項目に(県)と標記しているものについては、富山県令和4年度こどもの生活状況調査の結果を示す。
- ・原則として、単純集計は「不明・無回答」を含んで集計し、クロス集計は「不明・無回答」は除いて集計を行っている。

1.7 クロス集計

全国調査(※)の結果分析に準じて、以下の方法により分類を行った。

(1) 所得類型

- ① 家族構成に関する設問と世帯年間収入に関する設問に対する回答に基づき、家族人数による差を調整するため、当該世帯の収入を同居している家族人数の平方根で除した金額を算出(世帯年間収入 \div $\sqrt{\text{家族人数}}$)した。
- ② ①で算出した金額(等価世帯収入)を高い順に並べ、その中央値を算出した。
- ③ ②で算出した中央値の2分の1の金額未満を算出し、「中央値以上」、「中低位の水準の世帯」(中央値の2分の1以上中央値未満)、「もっとも収入の水準が低い世帯」(中央値の2分の1未満)に分類した。
- ④ ③のうち、「中低位の水準の世帯」と「もっとも収入の水準が低い世帯」を合わせて、「収入の水準が低い世帯」とした。

表 1.3 年間世帯収入の中央値等

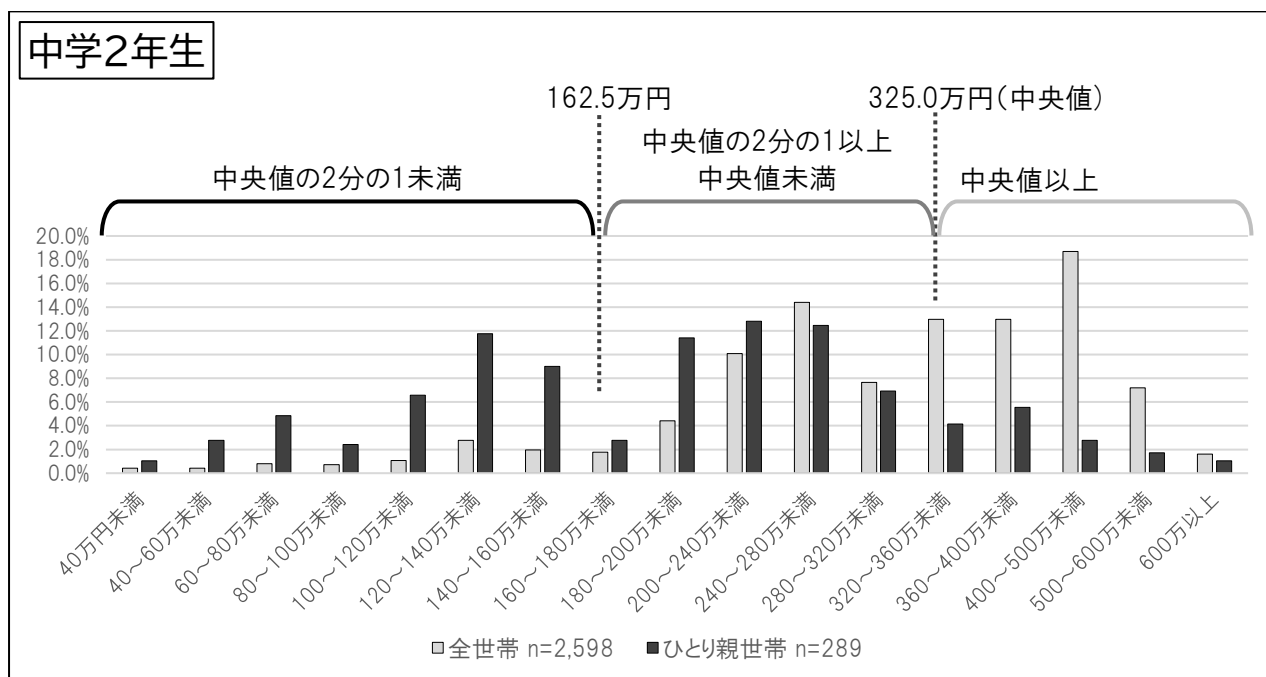
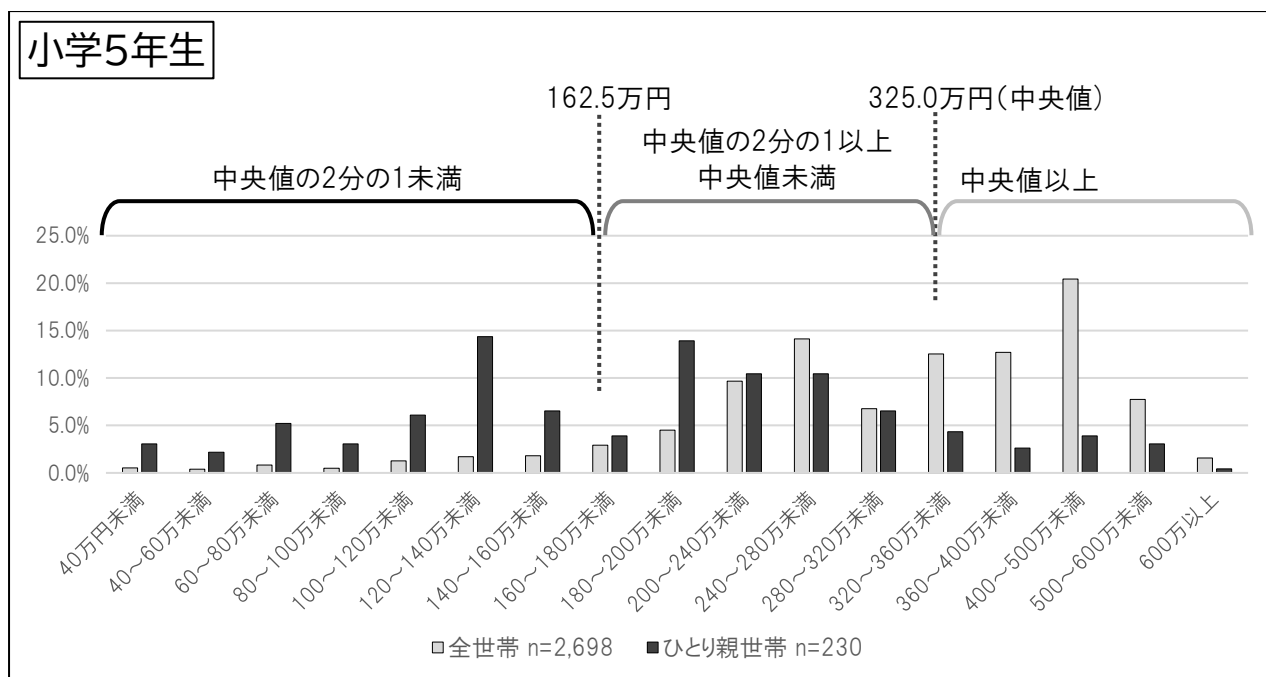
区分	等価世帯収入の中央値	中央値の2分の1
市小学生	325.0万円	162.5万円
市中学生	325.0万円	162.5万円
県小学生	325.0万円	162.5万円
県中学生	325.0万円	162.5万円

(2) 世帯類型

親の婚姻状況に関する設問において、「離婚」、「死別」、「未婚」と回答した世帯を「ひとり親世帯」、ひとり親世帯以外の世帯を「ふたり親世帯」、それらを合わせて「全体」と分類した。

※ 全国調査とは、令和2年度に内閣府が実施した「令和3年 子供の生活状況調査の分析」(中学2年生とその保護者を対象)

図表1. 所得類型による割合



**生活実態調査
保護者編**

2. 生活実態調査（保護者）

2.1 調査回答者の基本属性等

問1. お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄(つづきがら)でお答えください。

調査回答者の、子どもからみた続柄は、小学生では「母親（継母を含む）」が89.2%、「父親（継父を含む）」が9.7%、「祖父母」が0.1%、中学生では「母親（継母を含む）」が89.1%、「父親（継父を含む）」が9.3%、「祖父母」が0.3%となっています。

図表 2.1.1 子どもとの続柄

		母親 (継母を含む)	父親 (継父を含む)	祖父母	その他	不明・ 無回答	全体
小学生	件数	2,609	283	4	6	24	2,926
	割合	89.2%	9.7%	0.1%	0.2%	0.8%	100.0%
中学生	件数	2,482	260	9	6	29	2,786
	割合	89.1%	9.3%	0.3%	0.2%	1.0%	100.0%
(県)小学生	件数	718	111	6	0	1	836
	割合	85.9%	13.3%	0.7%	0.0%	0.1%	100.0%
(県)中学生	件数	591	89	6	1	0	687
	割合	86.0%	13.0%	0.9%	0.1%	0.0%	100.0%

図表 2.1.2 子どもとの続柄(等価世帯収入別)

		母親 (継母を含む)	父親 (継父を含む)	祖父母	その他	全体	
小学生	中央値以上	件数	1,295	168	2	1	1,466
		割合	88.3%	11.5%	0.1%	0.1%	100.0%
	中央値の2分の1 以上中央値未満	件数	945	88	0	0	1,033
		割合	91.5%	8.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	中央値の2分の1 未満	件数	176	17	1	1	195
		割合	90.3%	8.7%	0.5%	0.5%	100.0%
中学生	中央値以上	件数	1,234	131	1	1	1,367
		割合	90.3%	9.6%	0.1%	0.1%	100.0%
	中央値の2分の1 以上中央値未満	件数	907	102	3	1	1,013
		割合	89.5%	10.1%	0.3%	0.1%	100.0%
	中央値の2分の1 未満	件数	194	14	4	0	212
		割合	91.5%	6.6%	1.9%	0.0%	100.0%

※等価世帯収入別の表は無回答を含まないため、小学生・中学生別の各項目の合計値は、それぞれの総和と一致しない。

図表 2.1.3 子どもとの続柄(世帯別)

		母親 (継母を含む)	父親 (継父を含む)	祖父母	その他	全体	
小学生	ふたり親	件数	2,378	254	2	0	2,634
		割合	90.3%	9.6%	0.1%	0.0%	100.0%
	ひとり親	件数	220	28	2	6	256
		割合	85.9%	10.9%	0.8%	2.3%	100.0%
	母子世帯	件数	220	0	0	0	220
		割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
中学生	ふたり親	件数	2,198	221	3	2	2,424
		割合	90.7%	9.1%	0.1%	0.1%	100.0%
	ひとり親	件数	272	36	5	4	317
		割合	85.8%	11.4%	1.6%	1.3%	100.0%
	母子世帯	件数	272	0	0	0	272
		割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

※世帯別の表は無回答を含まないため、小学生・中学生別の各項目の合計値は、それぞれの総和と一致しない。

問2. お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任(ふにん)中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。

子どもと同居し、生計を同一にしている家族に含まれる方としては、小学生では「母親」が95.9%、「父親」が90.5%、「祖父母」が31.7%、「兄弟姉妹」が95.4%、「その他」が2.9%、中学生では「母親」が95.3%、「父親」が87.4%、「祖父母」が31.7%、「兄弟姉妹」が94.6%、「その他」が2.7%となっています。

図表 2.2.1 同居家族に含まれる方

		母親	父親	祖父母	兄弟姉妹	その他	不明・無回答	全体
小学生	件数	2,807	2,647	928	2,792	85	38	2,926
	割合	95.9%	90.5%	31.7%	95.4%	2.9%	1.3%	100.0%
中学生	件数	2,656	2,434	883	2,635	76	46	2,786
	割合	95.3%	87.4%	31.7%	94.6%	2.7%	1.7%	100.0%
(県)小学生	件数	828	783	205	707	27	0	836
	割合	99.0%	93.7%	24.5%	84.6%	3.2%	0.0%	100.0%
(県)中学生	件数	670	618	239	579	35	1	687
	割合	97.5%	90.0%	34.8%	84.3%	5.1%	0.1%	100.0%

子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数は、小学生・中学生ともに、「4人」が42.2%、40.3%と最も高く、次いで「5人」が24.2%、24.6%、「3人」が12.7%、13.8%となっています。

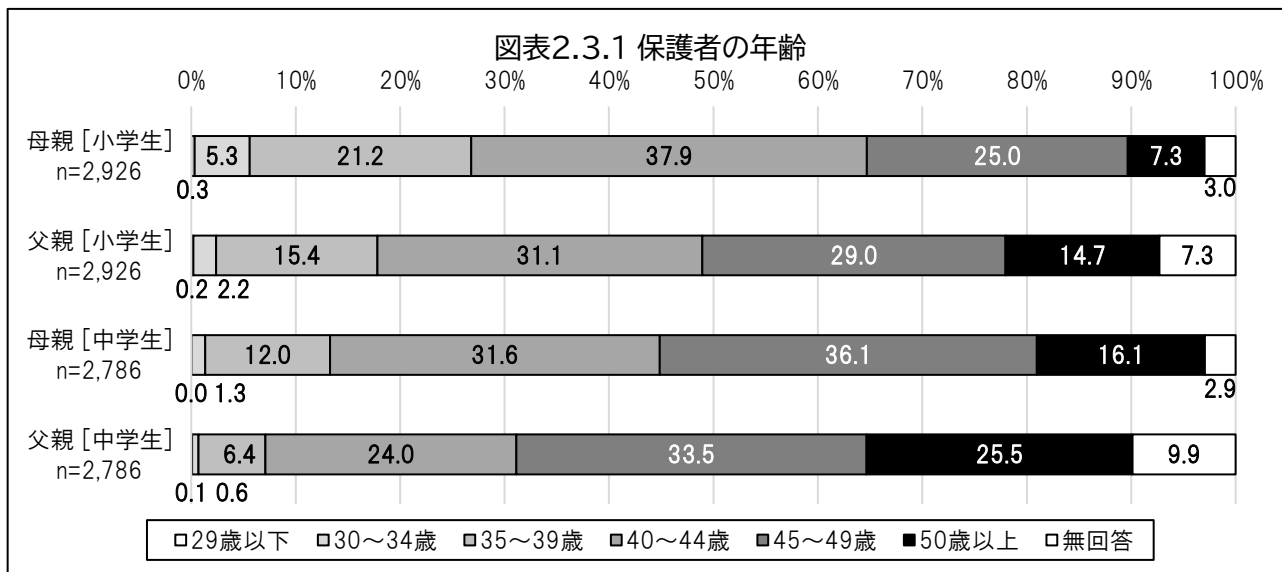
図表 2.2.2 同居家族の人数

		2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	不明・無回答	全体
小学生	件数	38	371	1,235	709	273	132	59	109	2,926
	割合	1.3%	12.7%	42.2%	24.2%	9.3%	4.5%	2.0%	3.7%	100.0%
中学生	件数	61	385	1,123	686	289	111	33	98	2,786
	割合	2.2%	13.8%	40.3%	24.6%	10.4%	4.0%	1.2%	3.5%	100.0%
(県)小学生	件数	10	99	318	235	99	44	20	11	836
	割合	1.2%	11.8%	38.0%	28.1%	11.8%	5.3%	2.4%	1.3%	100.0%
(県)中学生	件数	16	81	232	179	107	52	20	0	687
	割合	2.3%	11.8%	33.8%	26.1%	15.6%	7.6%	2.9%	0.0%	100.0%

問3. お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。

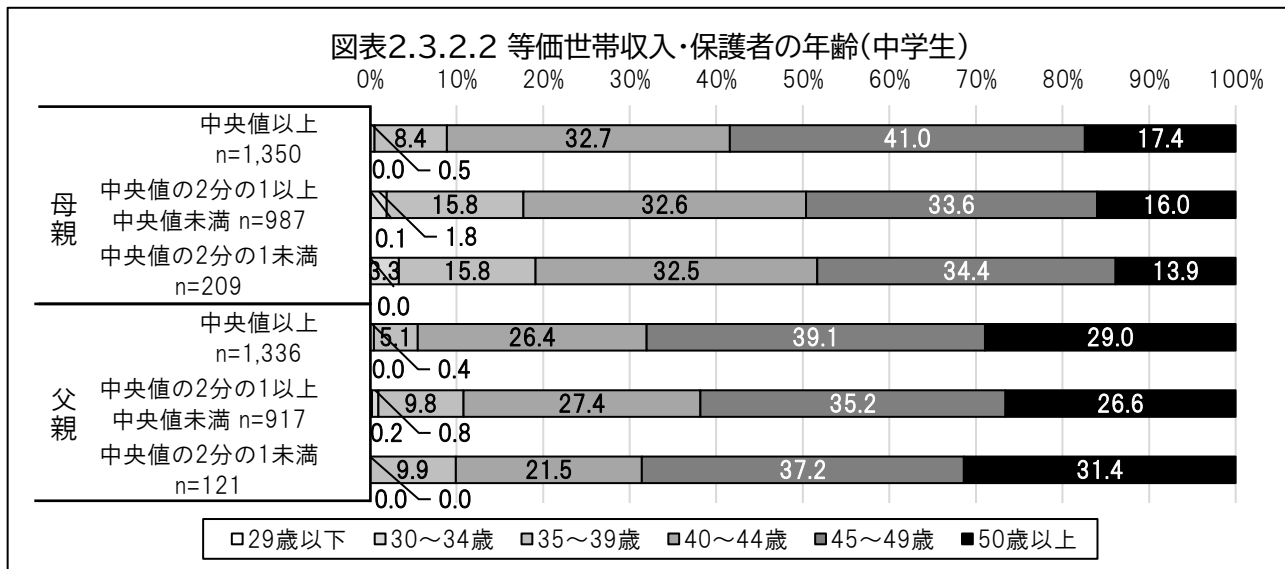
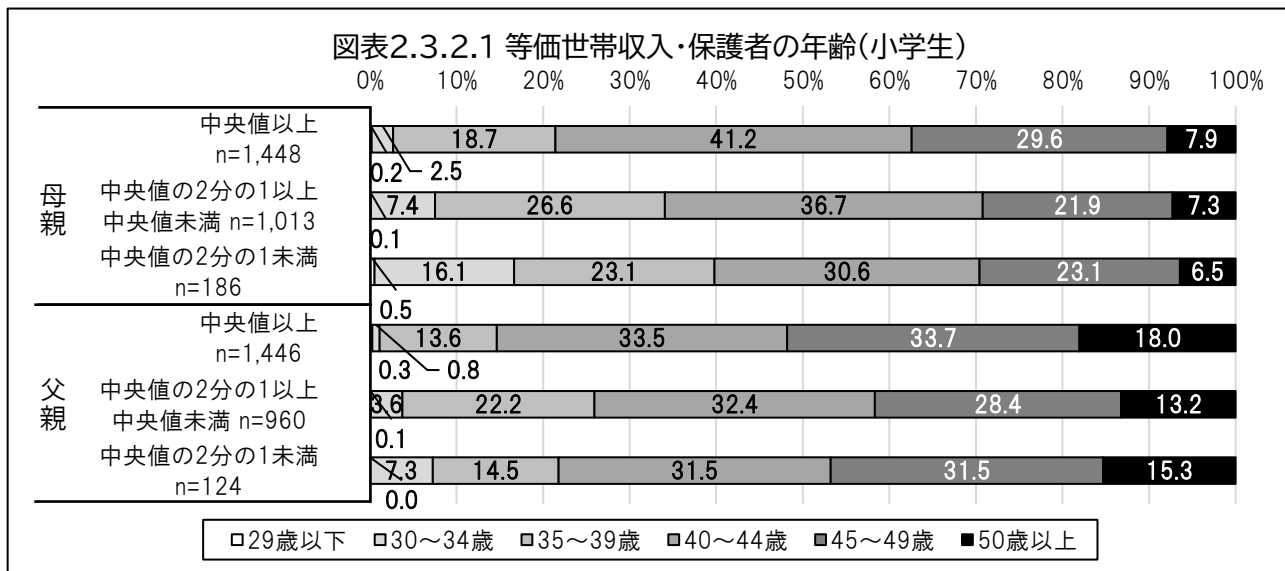
(1)全体

保護者の年齢について、小学生では、母親が「40～44 歳」が 37.9%、「45～49 歳」が 25.0%、「35～39 歳」が 21.2%、父親が「40～44 歳」が 31.1%、「45～49 歳」が 29.0%、「35～39 歳」、15.4%となっています。中学生では、母親が「45～49 歳」が 36.1%、「40～44 歳」が 31.6%、「50 歳以上」が 16.1%、父親が「45～49 歳」が 33.5%、「50 歳以上」が 25.5%、「40～44 歳」が 24.0% となっています。



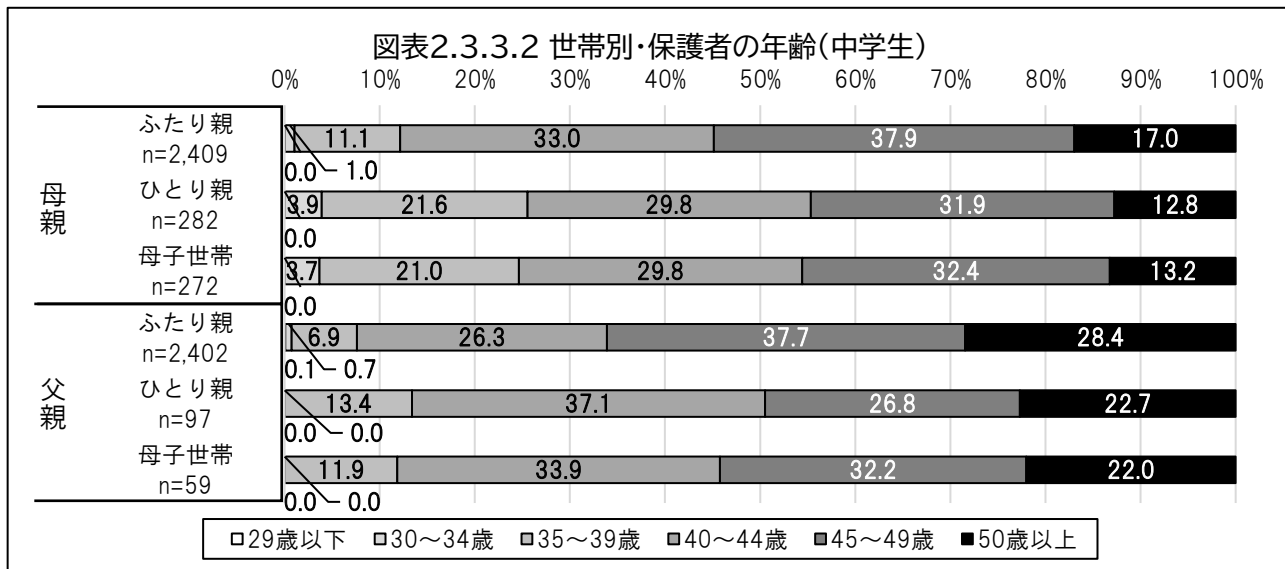
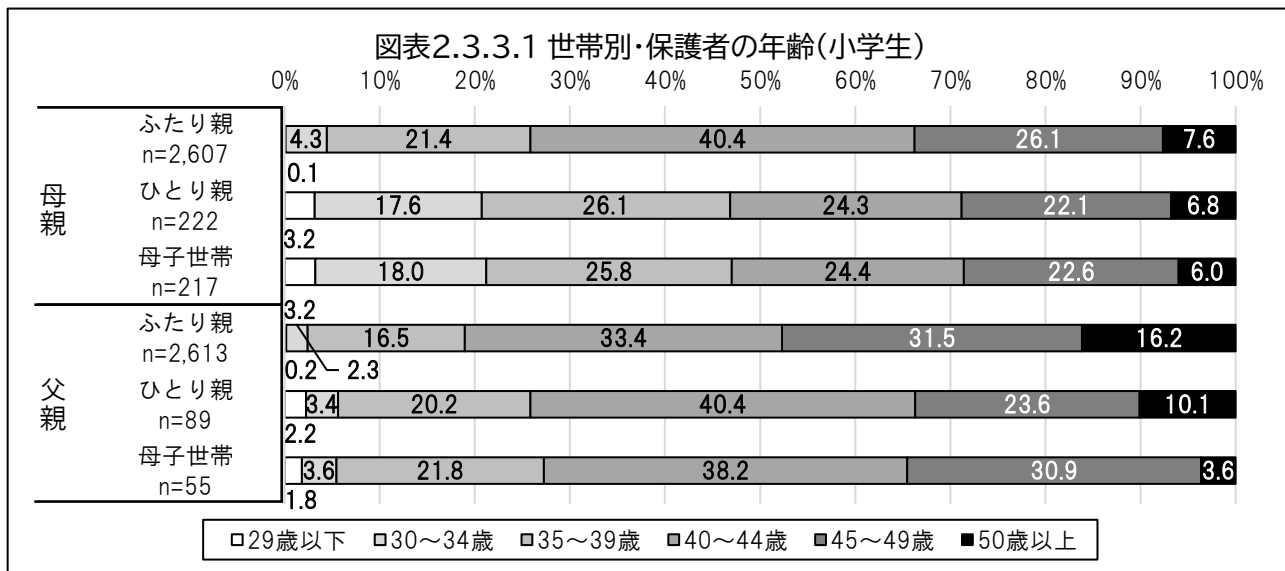
(2)等価世帯収入別

保護者の年齢について、等価世帯収入別にみると、小学生では、母親がいずれの水準においても「40～44歳」が41.2%、36.7%、30.6%と最も高く、父親が「中央値以上」の水準では「45～49歳」が33.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「40～44歳」が32.4%、「中央値の2分の1未満」の水準では「40～44歳」、「45～49歳」が31.5%と最も高くなっています。中学生では、母親・父親ともにいずれの水準においても「45～49歳」が最も高く、母親では、それぞれ41.0%、33.6%、34.4%、父親では、それぞれ39.1%、35.2%、37.2%となっています。



(3)世帯別

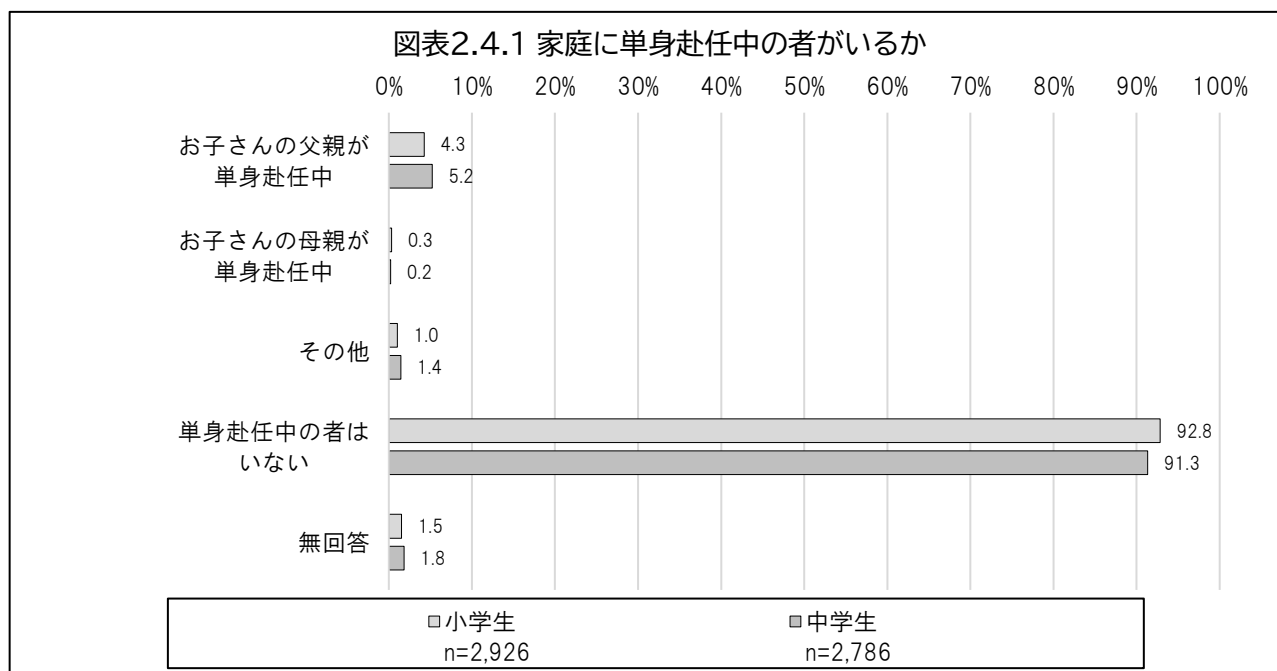
保護者の年齢について、世帯別にみると、小学生では、母親がふたり親世帯では「40～44歳」が40.4%、ひとり親世帯および母子世帯では「35～39歳」が26.1%、25.8%と最も高く、父親はいずれの世帯においても「40～44歳」が33.4%、40.4%、38.2%と最も高くなっています。中学生では、母親がいずれの世帯においても「45～49歳」が37.9%、31.9%、32.4%と最も高く、父親がふたり親世帯では「45～49歳」が37.7%、ひとり親世帯および母子世帯では「40～44歳」が37.1%、33.9%と最も高くなっています。



問4. お子さんのご家族のうち、現在単身赴任(ふにん)中の方はいらっしゃいますか。

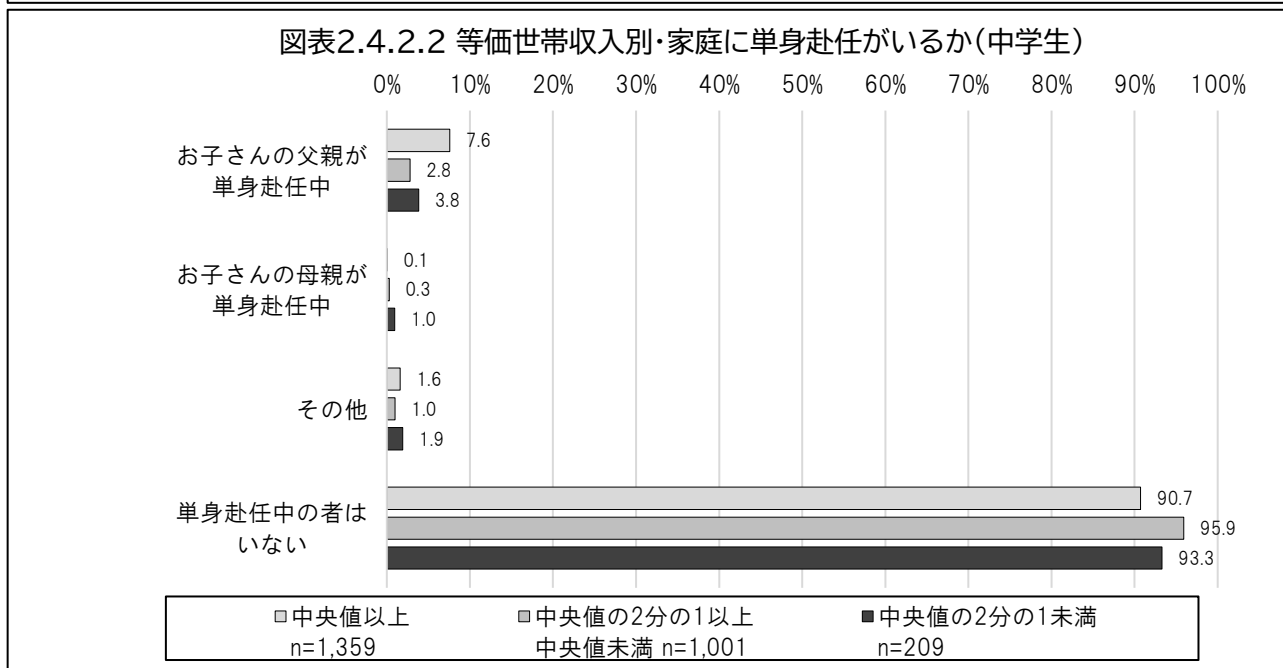
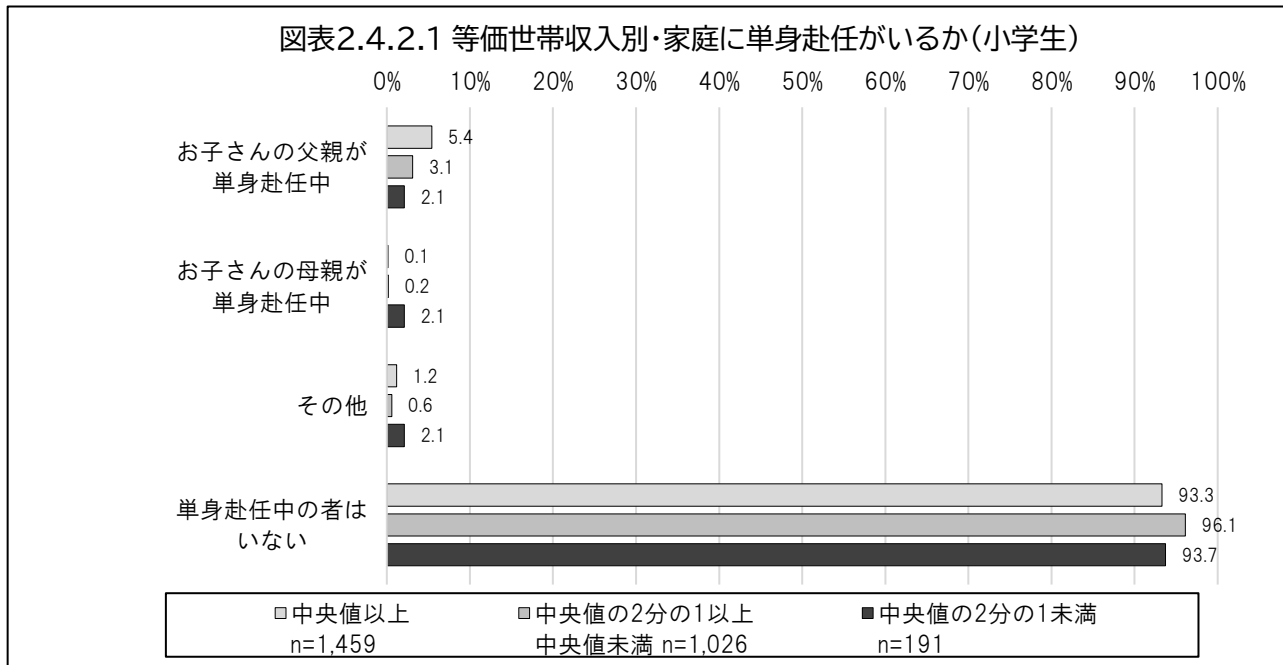
(1)全体

単身赴任者の有無について、小学生・中学生ともに「単身赴任中の者はいない」が92.8%、91.3%が最も高く、次いで「父親が単身赴任中」が4.3%、5.2%となっています。また「母親が単身赴任中」は小学生が0.3%、中学生が0.2%となっています。



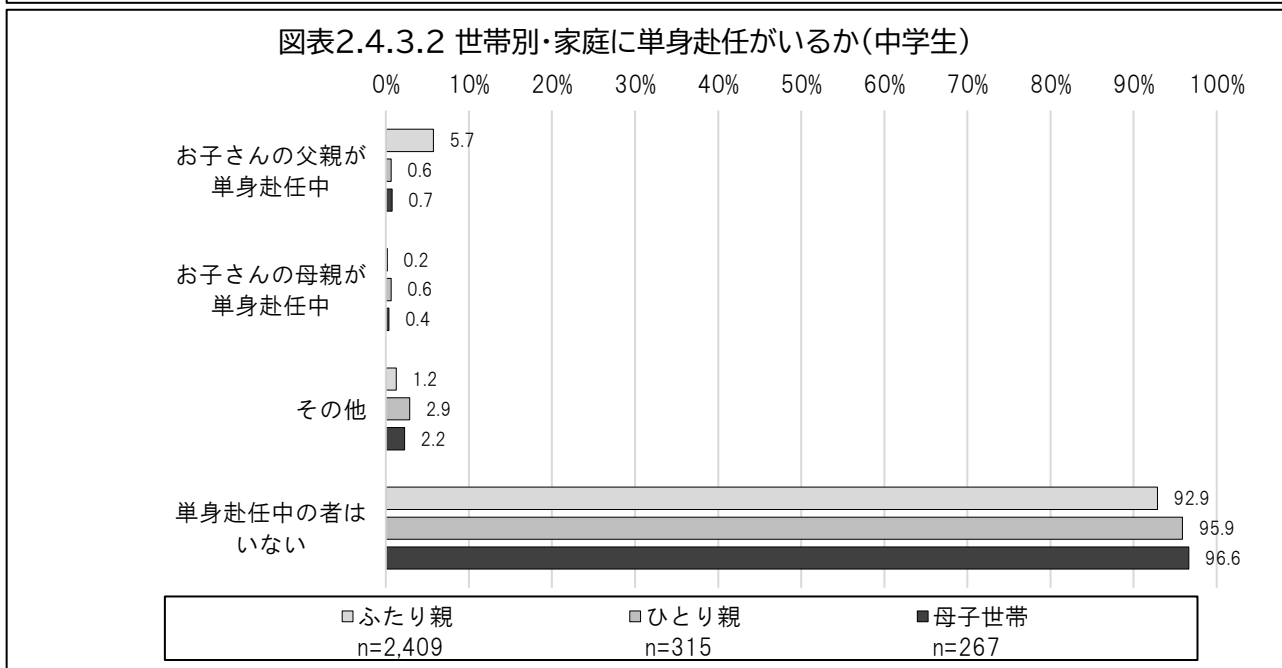
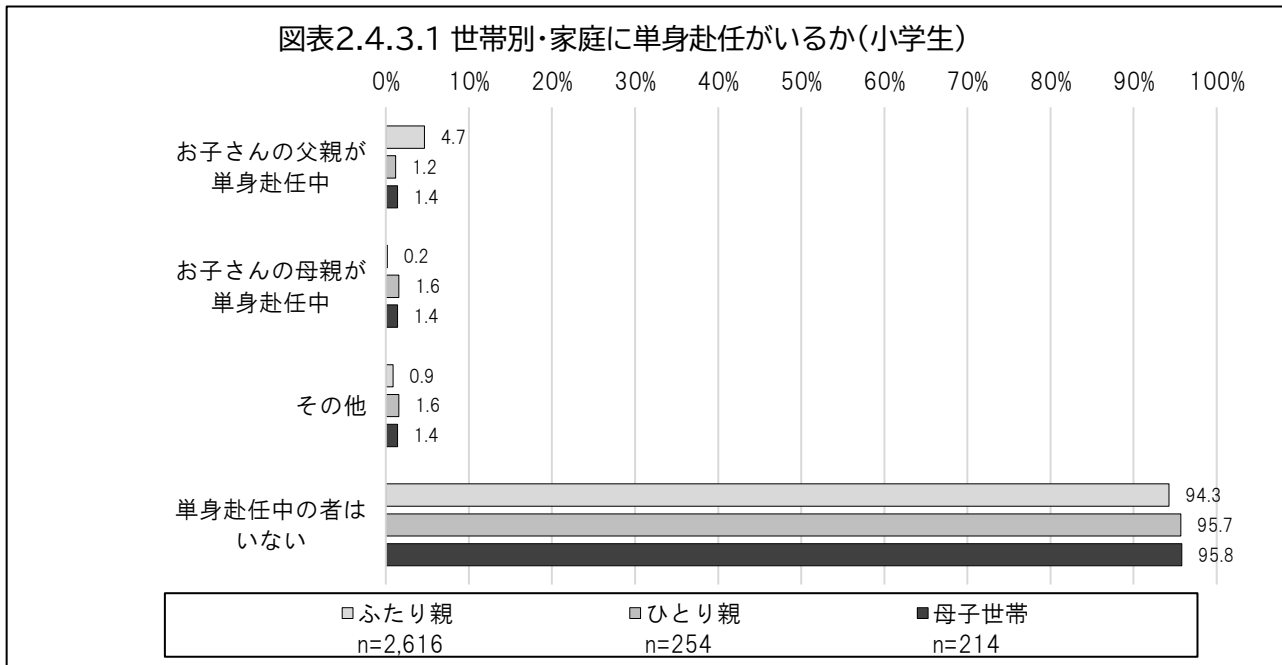
(2)等価世帯収入別

単身赴任者の有無について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「単身赴任中の者はいない」が93.3%、96.1%、93.7%と最も高くなっています。中学生では、いずれの水準においても「単身赴任中の者はいない」が90.7%、95.9%、93.3%と最も高くなっています。



(3)世帯別

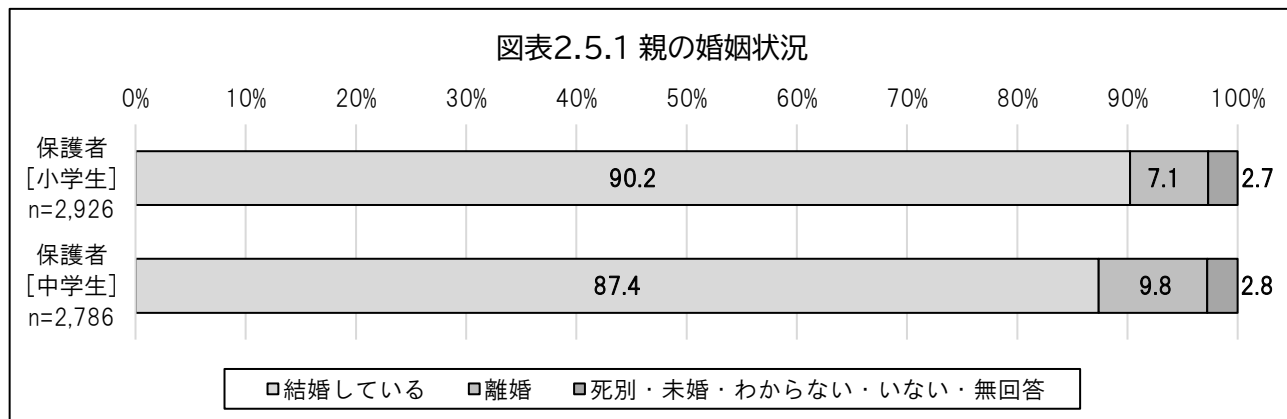
単身赴任者の有無について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「単身赴任中の者はいない」が94.3%、95.7%、95.8%と最も高くなっています。中学生では、いずれの世帯においても「単身赴任中の者はいない」が92.9%、95.9%、96.6%と最も高くなっています。



問5. お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻(こんいん)状況を教えてください。

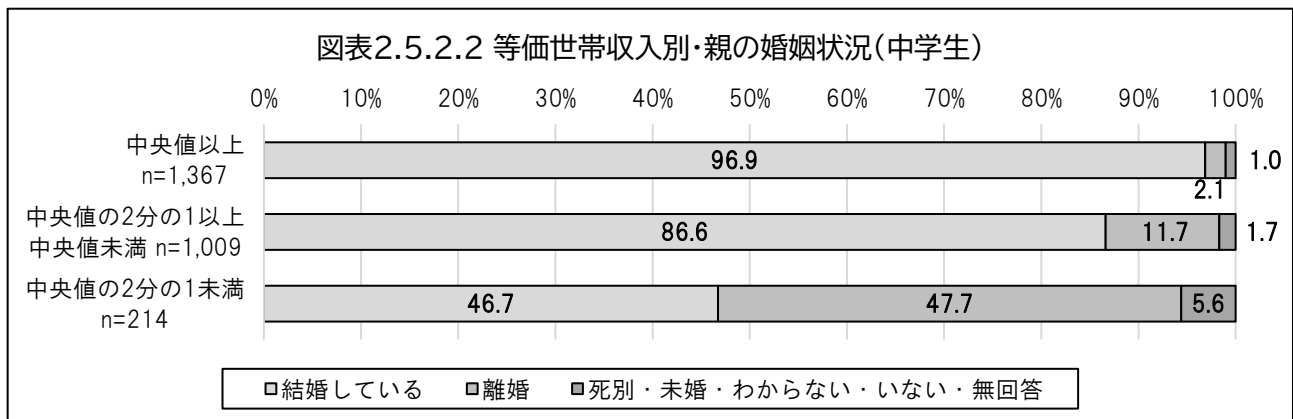
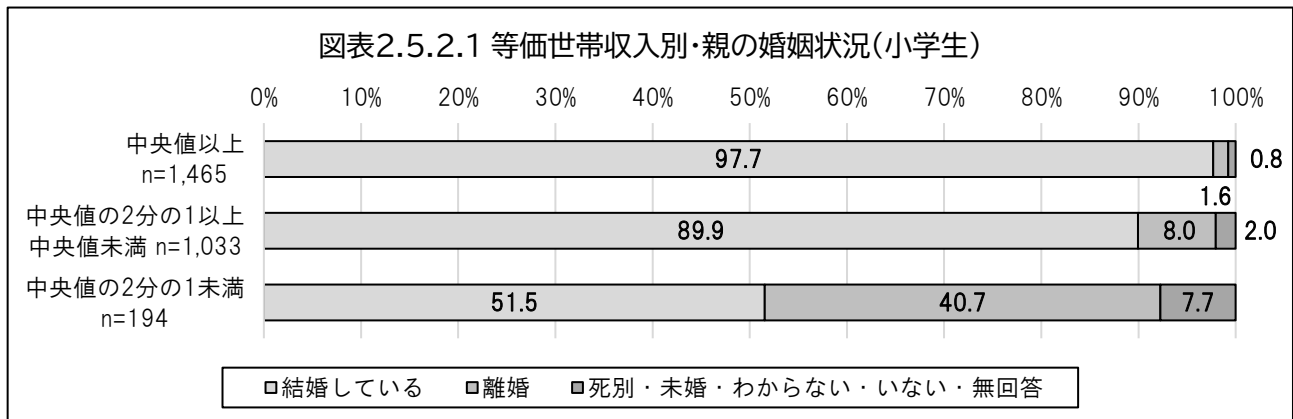
保護者の婚姻状況について、小学生・中学生ともに、「結婚している」が90.2%、87.4%と最も高く、次いで「離婚」が7.1%、9.8%、「死別・未婚・わからない・いない・無回答」が2.7%、2.8%となっています。

(1)全体



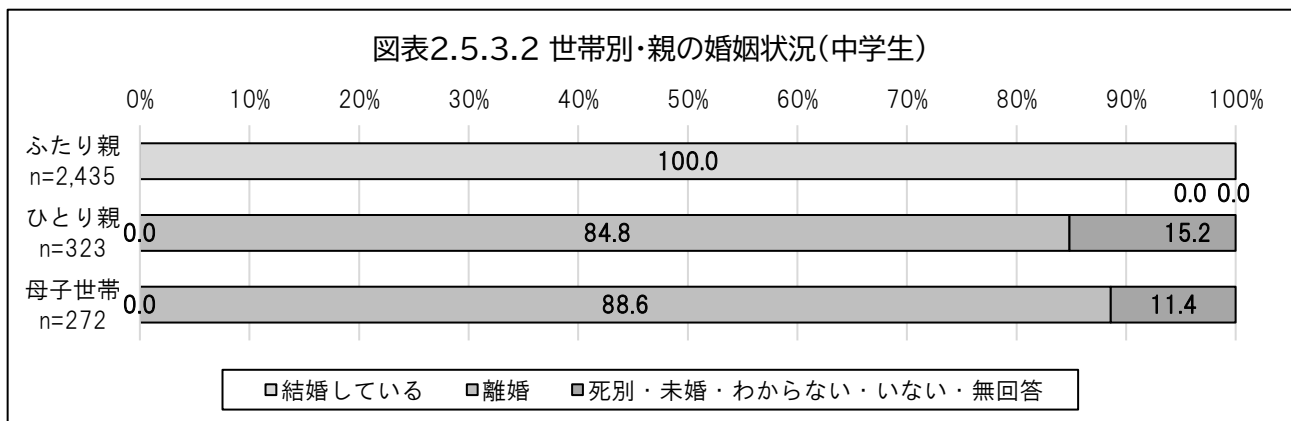
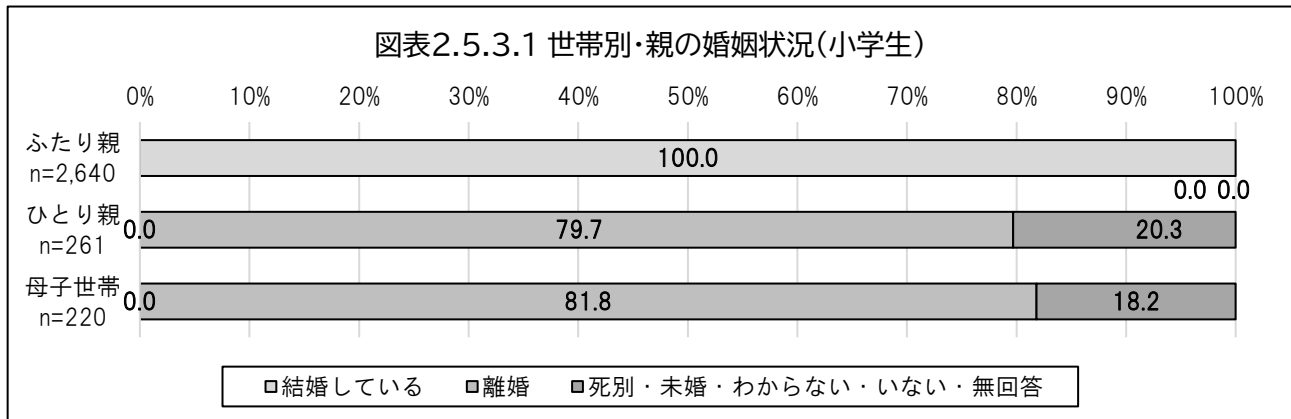
(2)等価世帯収入別

保護者の婚姻状況について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「結婚している」が97.7%、89.9%、51.5%とそれぞれ最も高くなっているものの、「中央値の2分の1未満」の水準では、「離婚」が40.7%となっています。中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「結婚している」が96.9%、86.6%、「中央値の2分の1未満」の水準では「離婚」が47.7%と最も高くなっています。



(3)世帯別

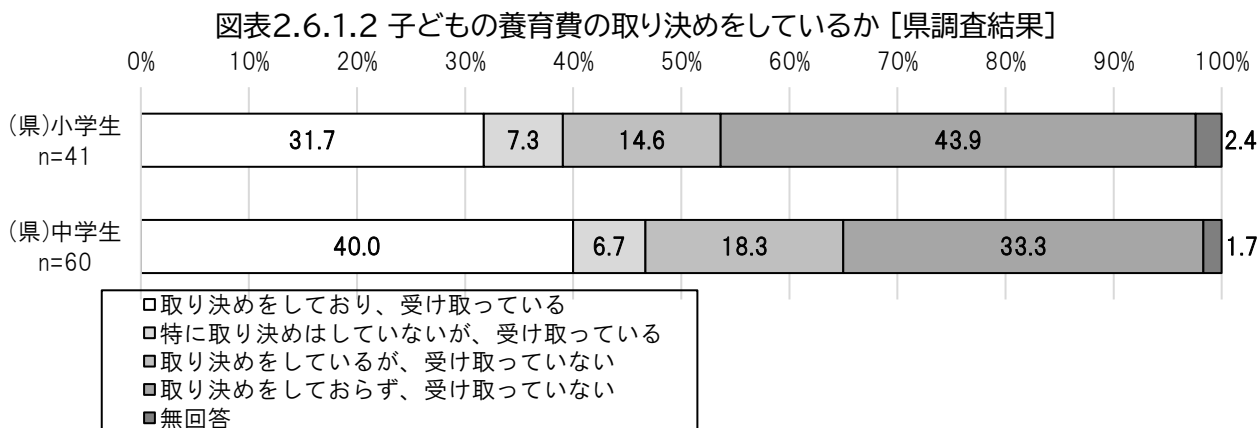
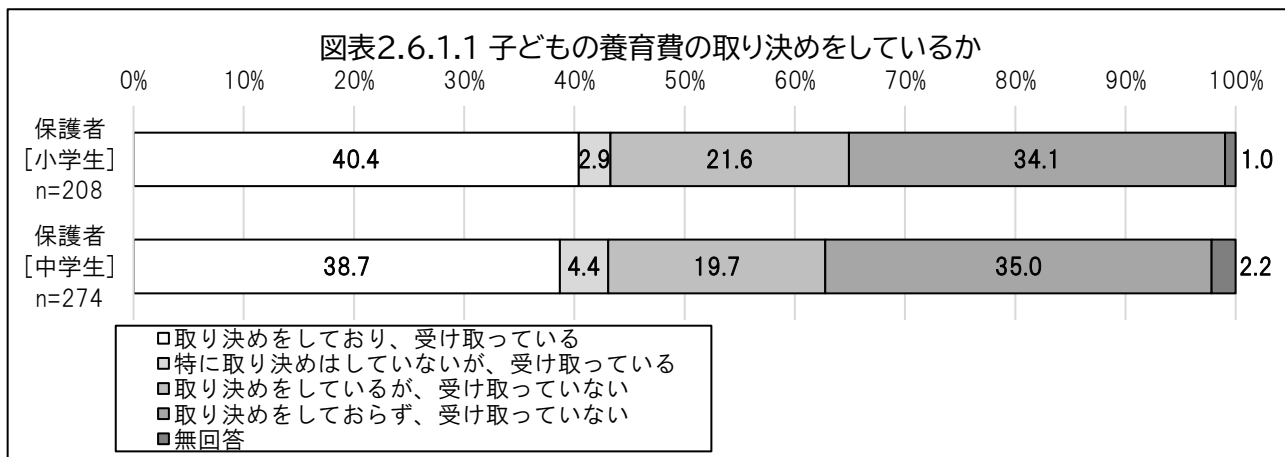
保護者の婚姻状況について、世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯では「結婚している」が100.0%、ひとり親世帯および母子世帯では「離婚」が79.7%、81.8%と最も高くなっています。中学生では、ふたり親世帯では「結婚している」が100.0%、ひとり親世帯および母子世帯では「離婚」が84.8%、88.6%と最も高くなっています。



問6. 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。
また養育費を現在受け取っていますか。

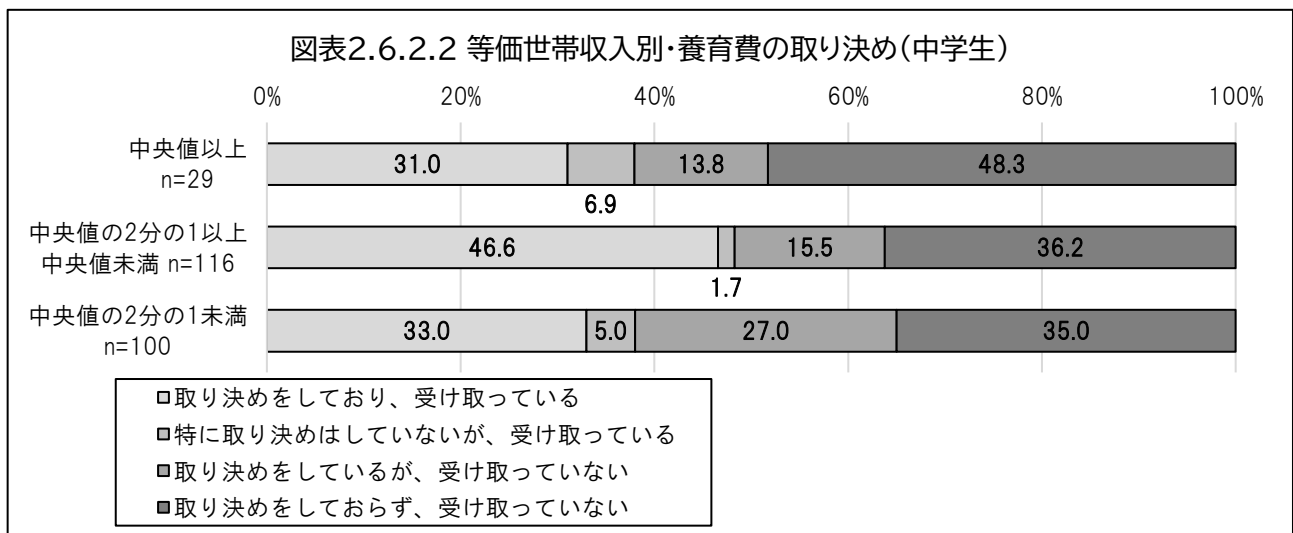
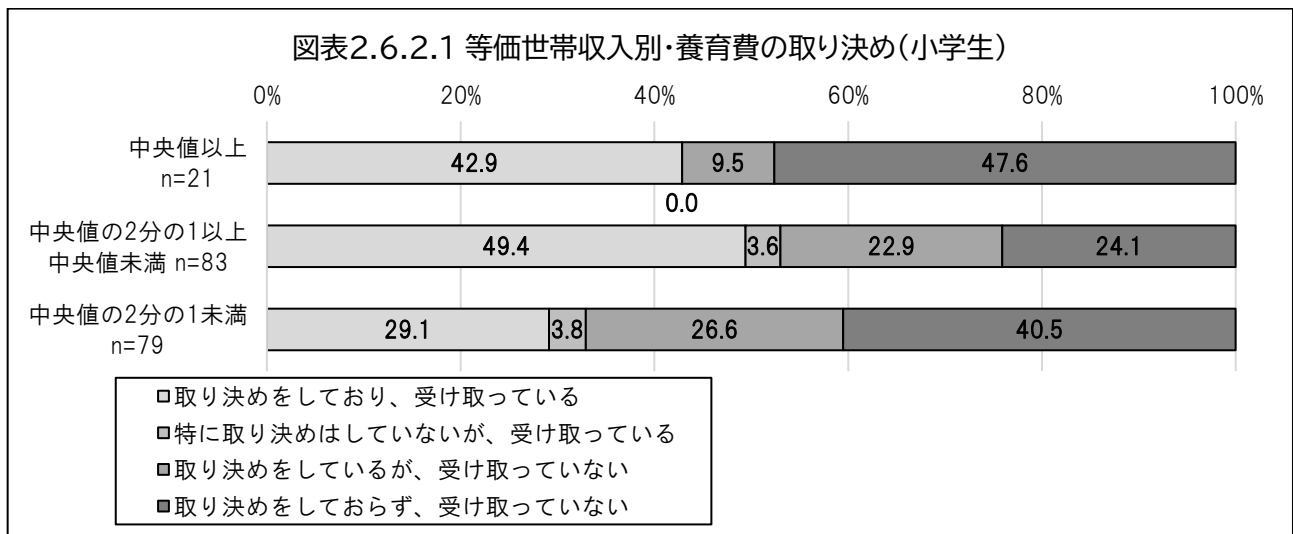
(1)全体

離婚相手との子どもの養育費の取り決めについて、小学生・中学生ともに、「取り決めをしており、受け取っている」が40.4%、38.7%と最も高く、次いで「取り決めをしておらず、受け取っていない」が34.1%、35.0%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が21.6%、19.7%となっています。また、「受け取っていない」と回答した割合（「取り決めをしているが、受け取っていない」と「取り決めをしておらず、受け取っていない」の合計）は、小学生では55.7%、中学生では54.7%となっています。



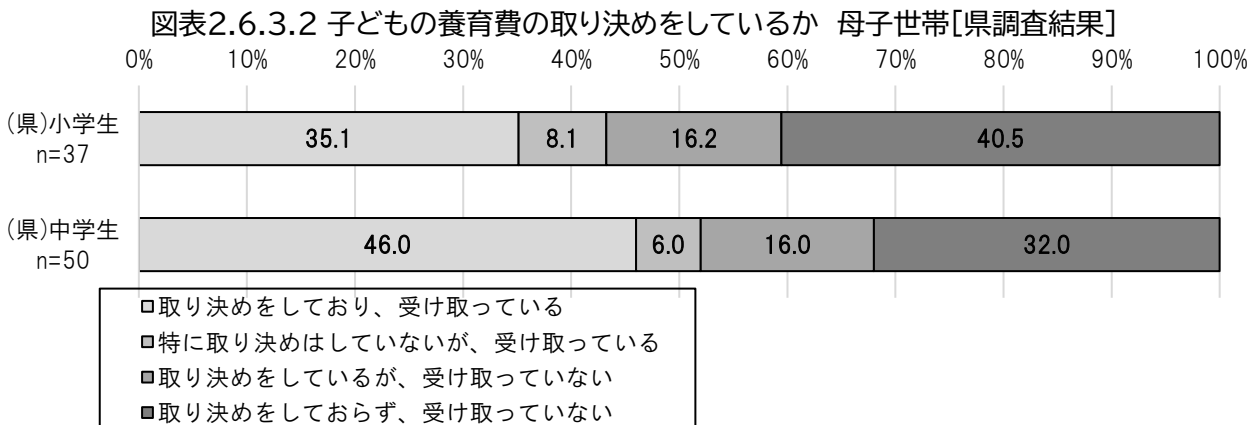
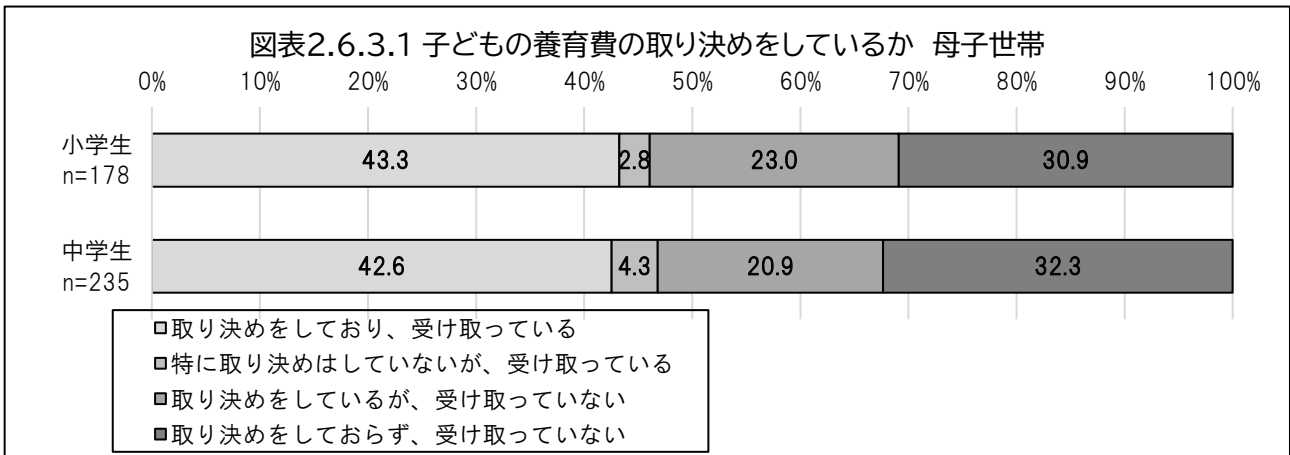
(2)等価世帯収入別（問 6. 養育費の取り決め）

離婚相手との子どもの養育費の取り決めについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1未満」の水準では「取り決めをしておらず、受け取っていない」が47.6%、40.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「取り決めをしており、受け取っている」が49.4%と最も高くなっています。中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1未満」の水準では「取り決めをしておらず、受け取っていない」が48.3%、35.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「取り決めをしており、受け取っている」が46.6%と最も高くなっています。また、「受け取っていない」と回答した割合（「取り決めをしているが、受け取っていない」と「取り決めをしておらず、受け取っていない」の合計）は、小学生では、57.1%、47.0%、67.1%、中学生では、62.1%、51.7%、62.0%となっています。



(3)母子世帯（問 6. 養育費の取り決め）

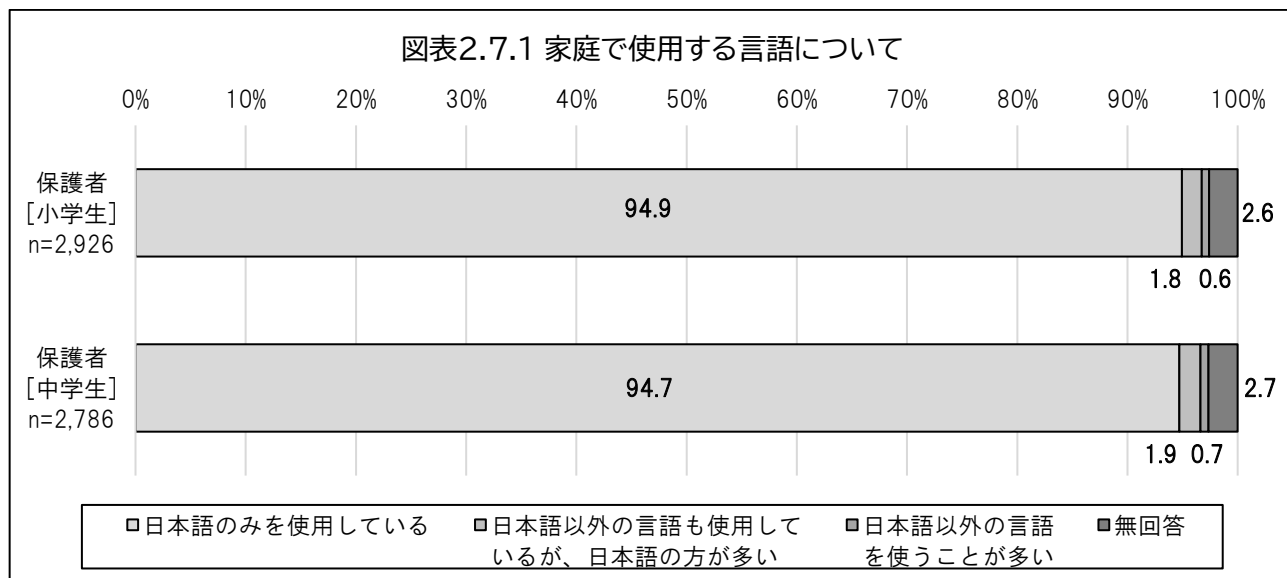
離婚相手との子供の養育費の取り決めについて、母子世帯の結果をみると、小学生・中学生ともに、「取り決めをしており、受け取っている」が43.3%、42.6%と最も高く、次いで「取り決めをしておらず、受け取っていない」が30.9%、32.3%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が23.0%、20.9%となっています。また、「受け取っていない」と回答した割合（「取り決めをしているが、受け取っていない」と「取り決めをしておらず、受け取っていない」の合計）は、小学生では53.9%、中学生では53.2%となっています。



問7. ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

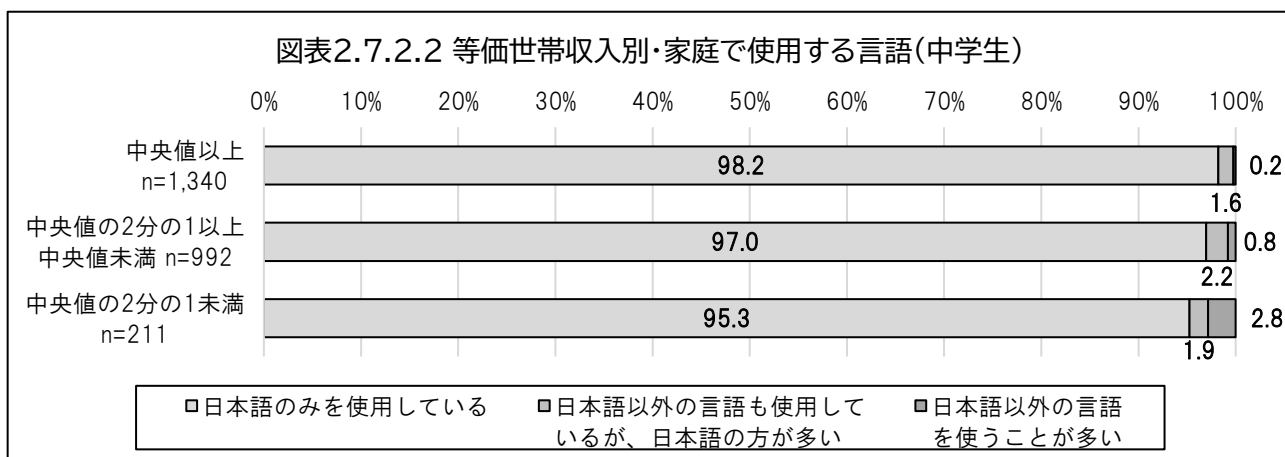
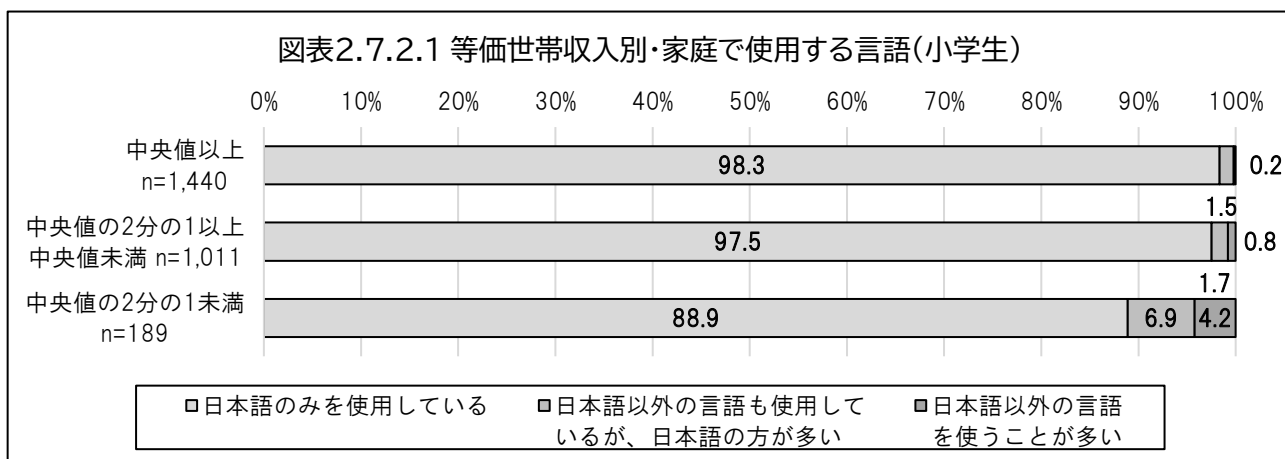
家庭での言語使用状況について、小学生・中学生ともに、「日本語のみを使用している」が 94.9%、94.7%と最も高く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 1.8%、1.9%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が 0.6%、0.7%となっています。

(1)全体



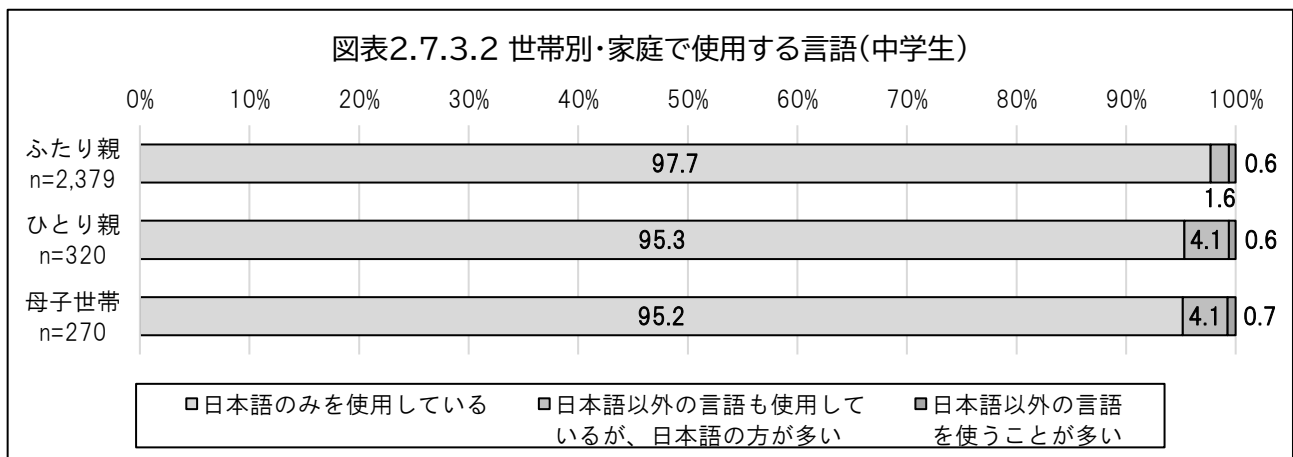
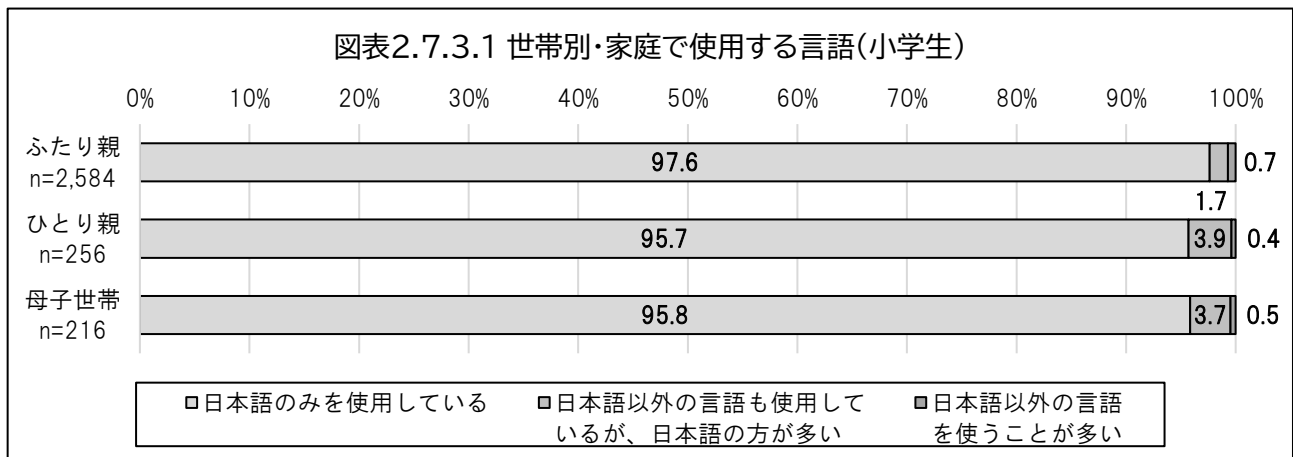
(2)等価世帯収入別（問7.家庭で使用する言語について）

家庭での言語使用状況について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「日本語のみを使用している」が最も高く、小学生では98.3%、97.5%、88.9%。中学生では98.2%、97.0%、95.3%となっています。また、小学生では、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」と「日本語以外の言語を使うことが多い」の合計が、「中央値の2分の1未満」の水準では11.1%と、他の水準と比較して高くなっています。



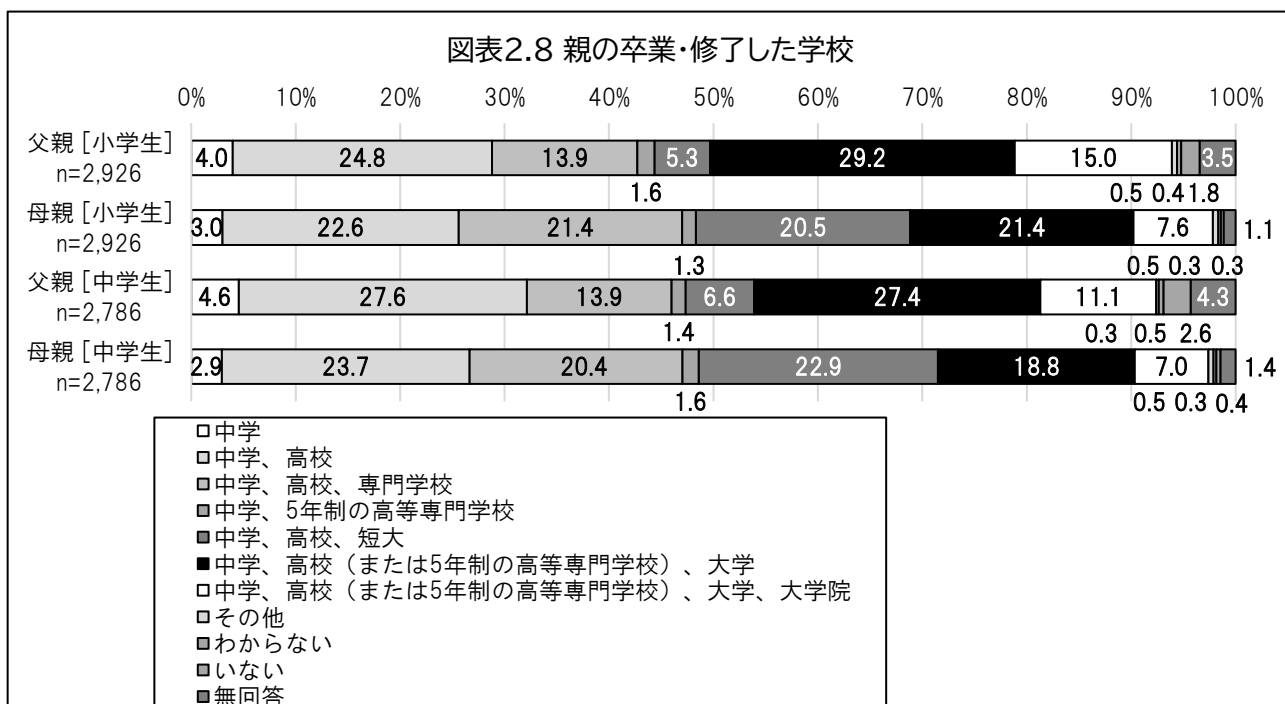
(3)世帯別

家庭での言語使用状況について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「日本語のみを使用している」が97.6%、95.7%、95.8%と最も高くなっています。中学生では、いずれの世帯においても「日本語のみを使用している」が97.7%、95.3%、95.2%と最も高くなっています。また、小学生・中学生ともに「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」と「日本語以外の言語を使うことが多い」の合計が、ひとり親世帯で4.3%、4.7%と、ふたり親世帯と比較してやや高くなっています。



問8. お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

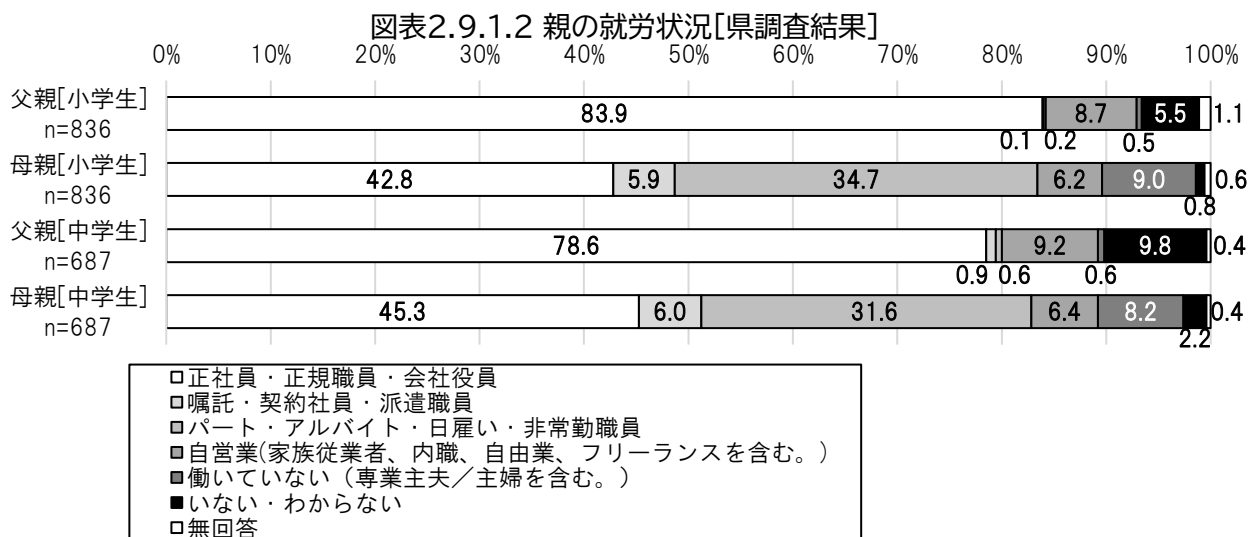
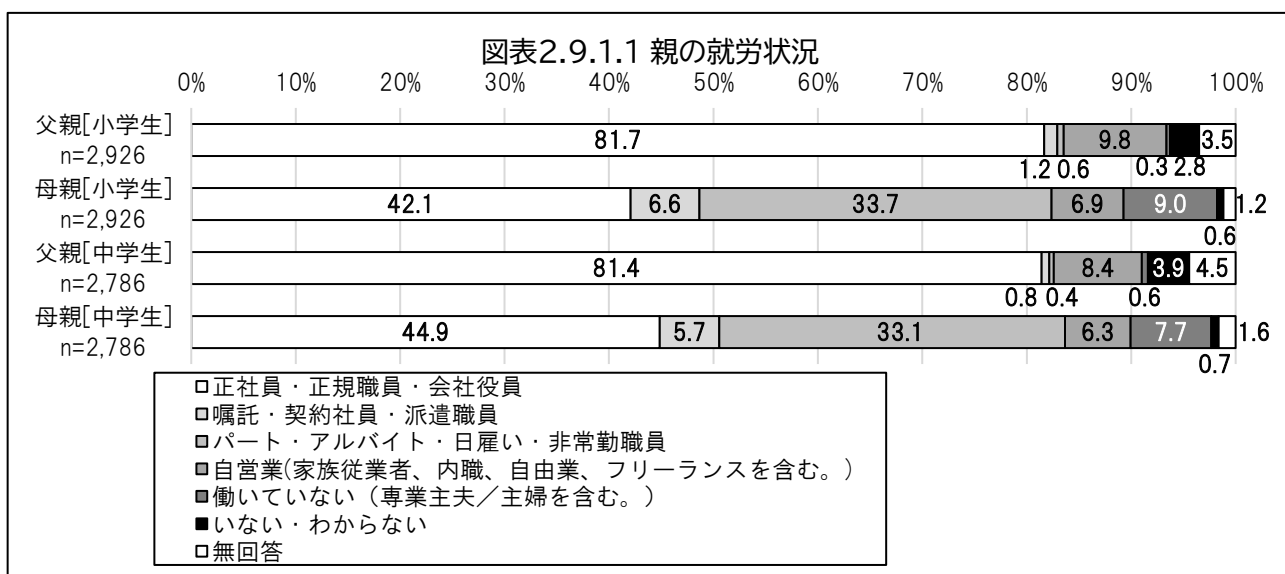
保護者の学歴状況について、小学生では、父親が「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が29.2%と最も高く、次いで「中学、高校」が24.8%、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」が15.0%となっています。母親は「中学、高校」が22.6%と最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」と「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が21.4%となっています。中学生では、父親・母親ともに「中学、高校」が27.6%、23.7%と最も高く、次いで、父親では「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が27.4%、「中学、高校、専門学校」が13.9%、母親では「中学、高校、短大」が22.9%、「中学、高校、専門学校」が20.4%となっています。



問9. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

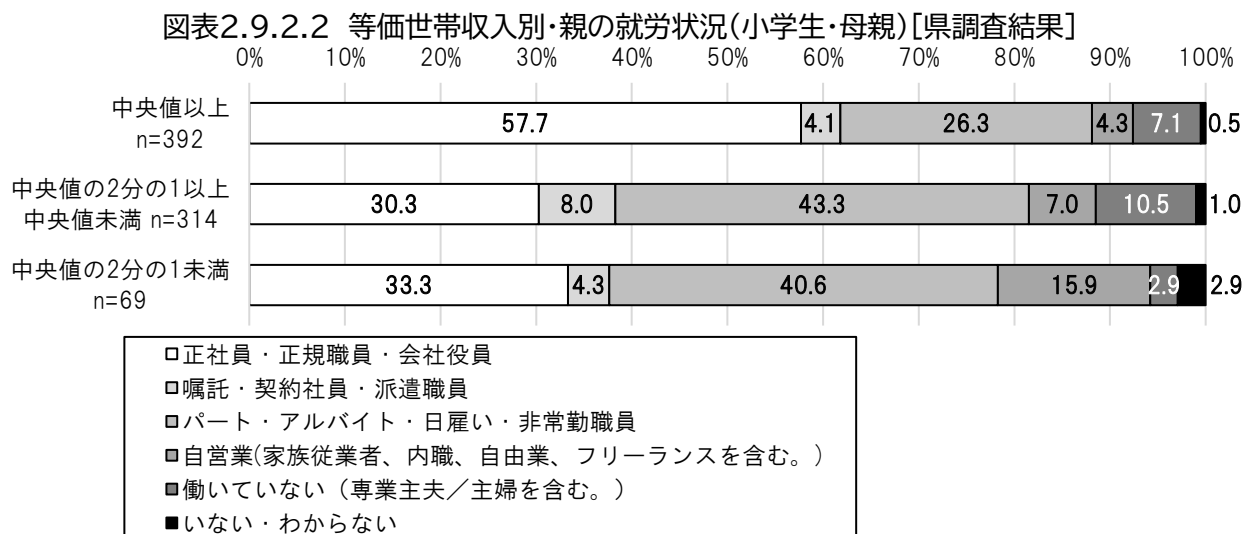
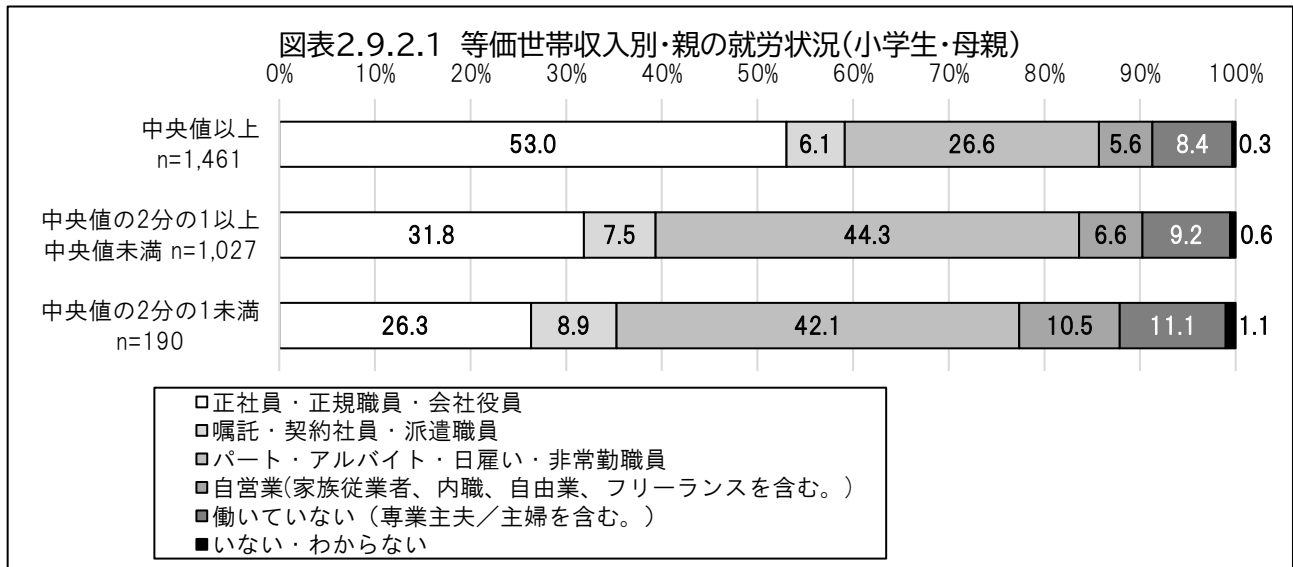
(1)全体

保護者の就労状況について、父親は、小学生・中学生ともに「正社員・正規職員・会社役員」が81.7%、81.4%と最も高く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が9.8%、8.4%となっています。母親は、小学生・中学生ともに「正社員・正規職員・会社役員」が42.1%、44.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が33.7%、33.1%となっています。



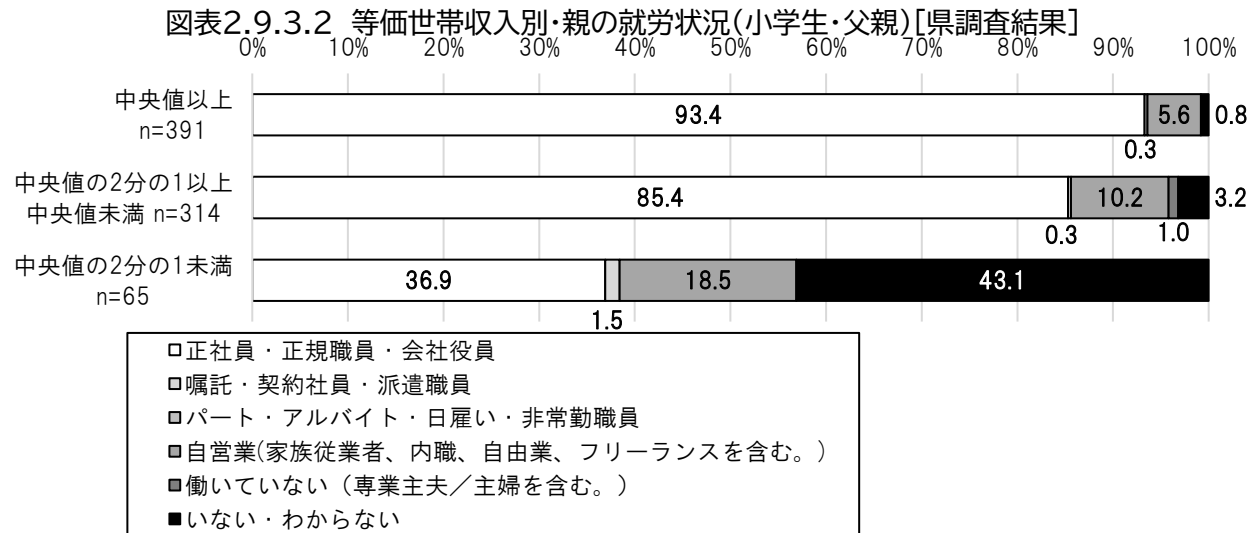
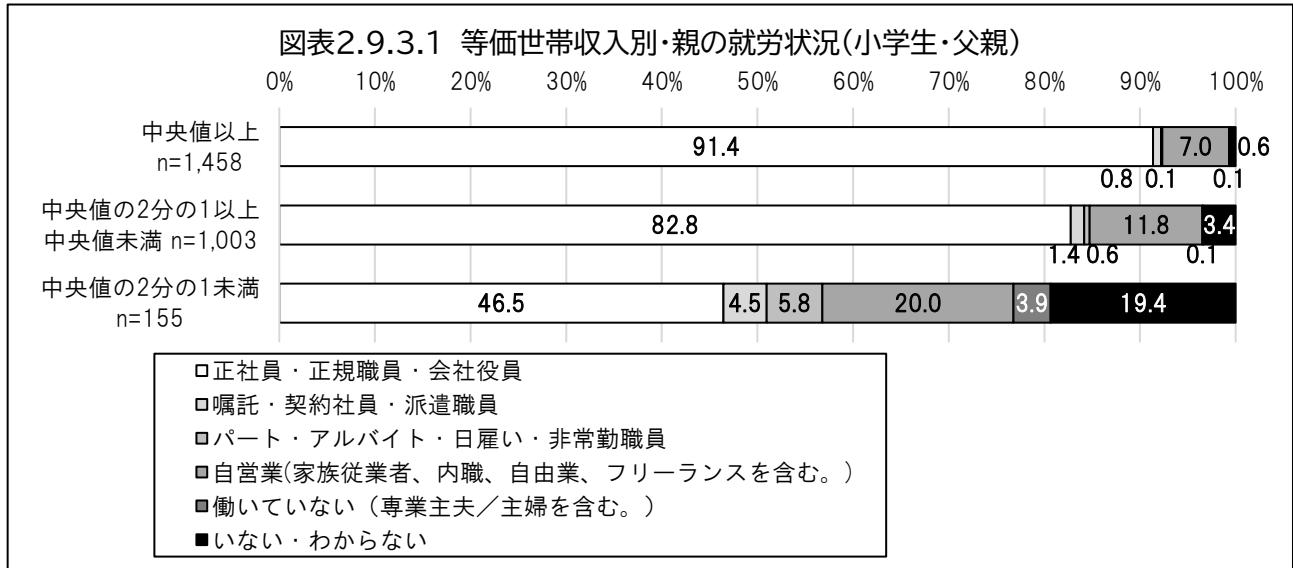
(2)等価世帯収入別・母親[小学生] (問 9. 親の就労状況)

母親の就労状況を等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」の水準では「正社員・正規職員・会社役員」が53.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」および「中央値の2分の1未満」の水準では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が44.3%、42.1%と最も高くなっています。



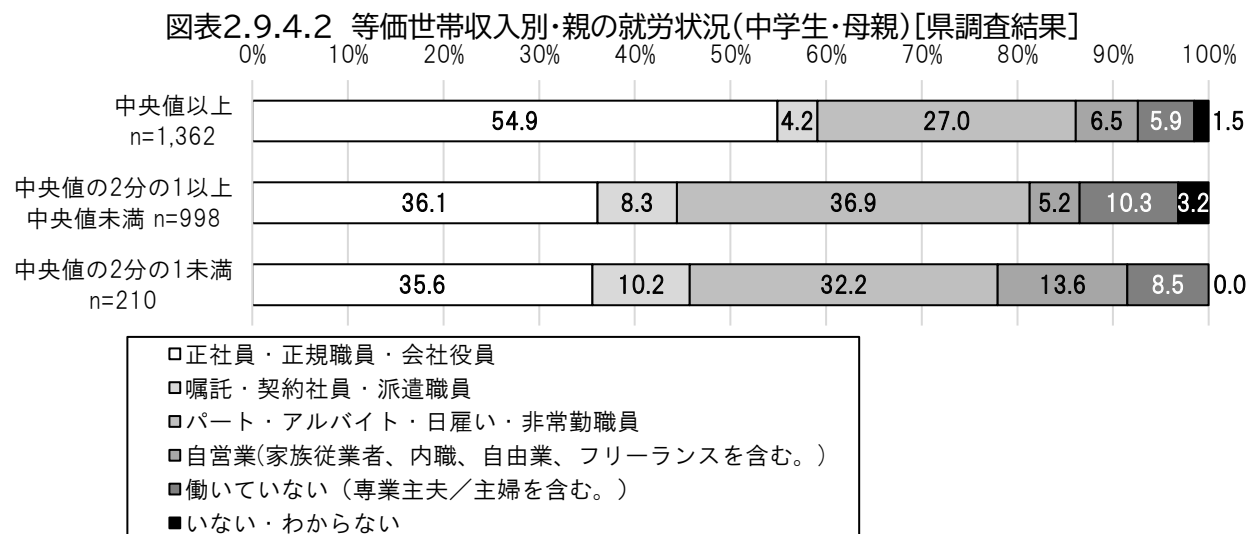
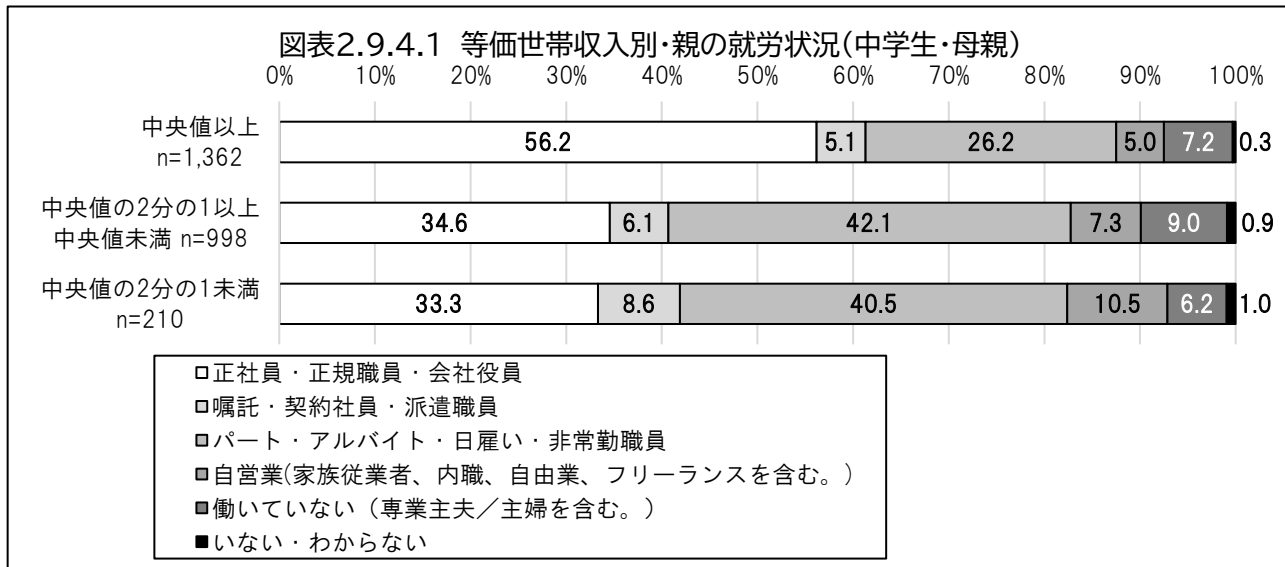
(3)等価世帯収入別・父親[小学生] (問 9. 親の就労状況)

父親の就労状況を等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「正社員・正規職員・会社役員」が91.4%、82.8%、46.5%と最も高く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が7.0%、11.8%、20.0%となっています。また、「中央値の2分の1未満」の水準では、「いない・わからない」が19.4%となっています。



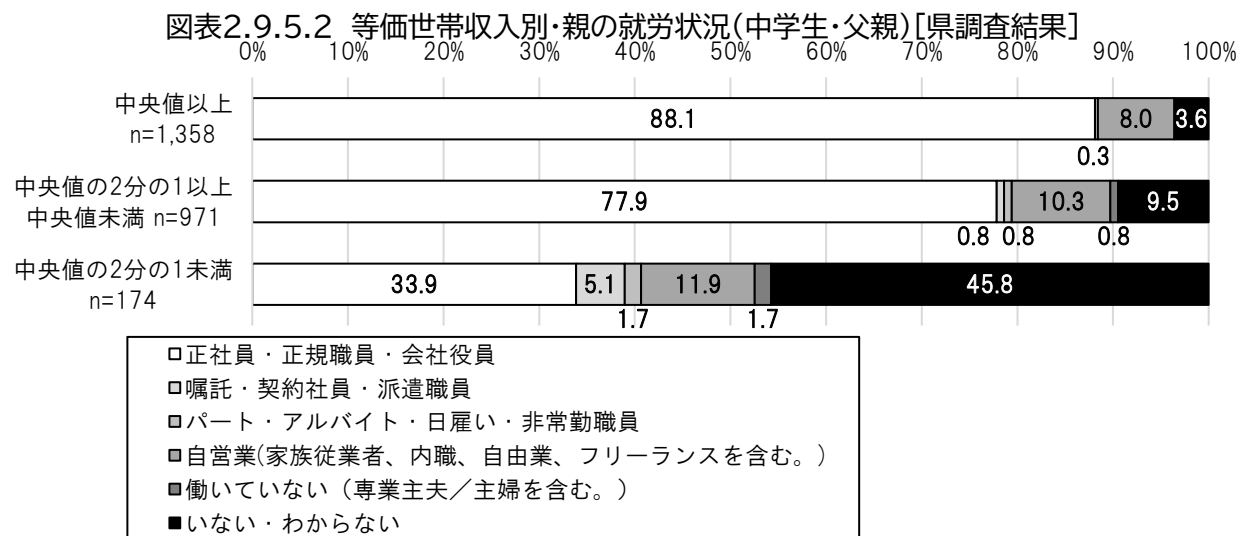
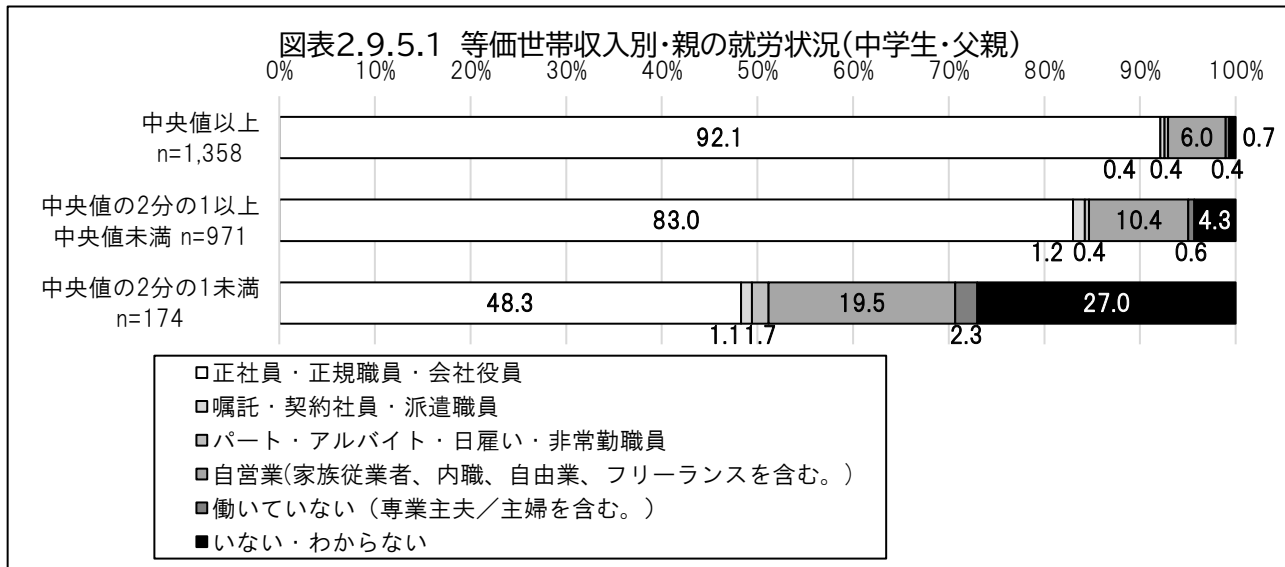
(4)等価世帯収入別・母親[中学生] (問 9. 親の就労状況)

母親の就労状況を等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」の水準では「正社員・正規職員・会社役員」が56.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」および「中央値の2分の1未満」の水準では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が42.1%、40.5%と最も高くなっています。



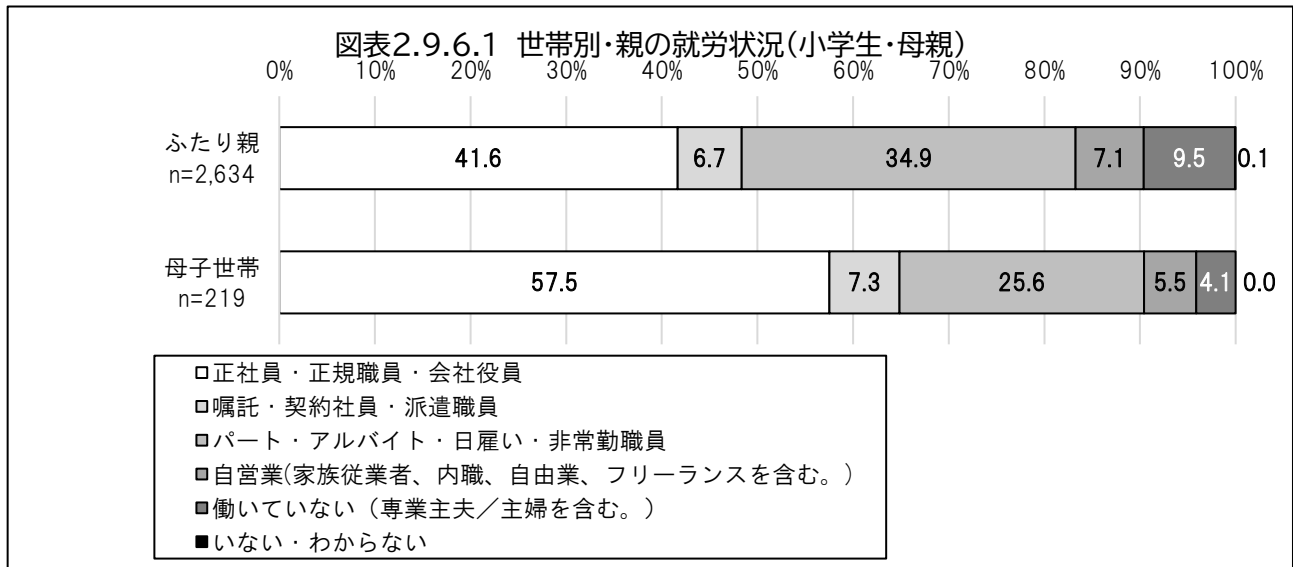
(5)等価世帯収入別・父親[中学生] (問 9. 親の就労状況)

父親の就労状況を等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「正社員・正規職員・会社役員」が92.1%、83.0%、48.3%と最も高くなっています。また、「中央値の2分の1未満」の水準では「いない・わからない」が、27.0%となっています。

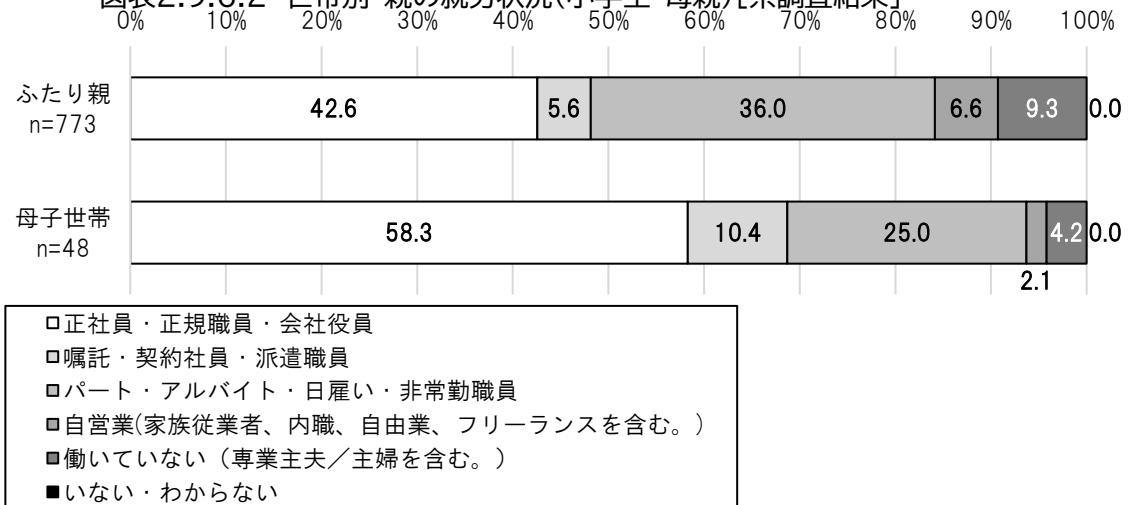


(6)世帯別・母親[小学生] (問 9. 親の就労状況)

母親の就労状況を世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯、母子世帯ともに「正社員・正規職員・会社役員」が41.6%、57.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が34.9%、25.6%となっています。

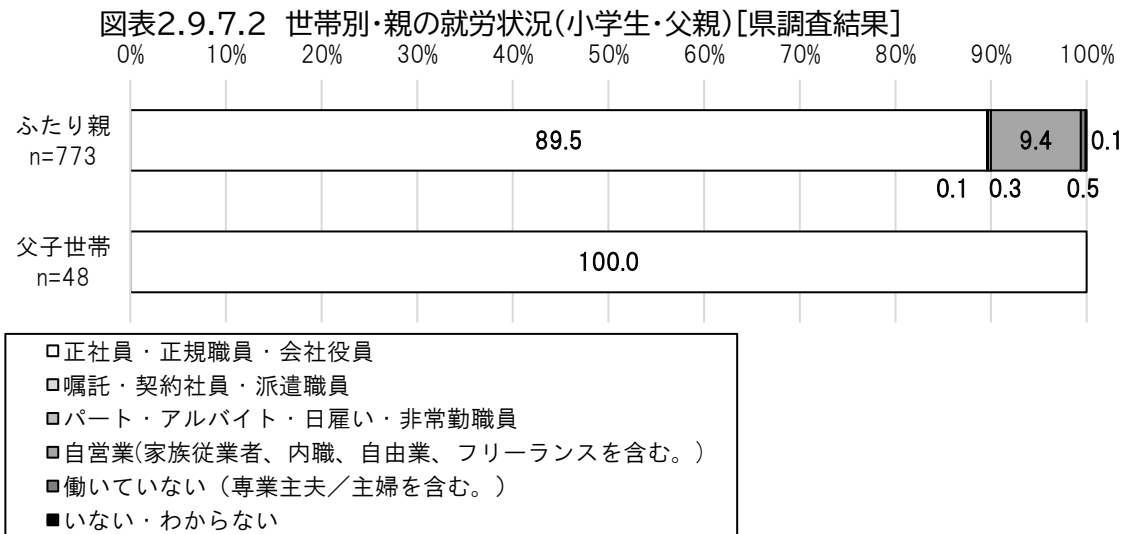
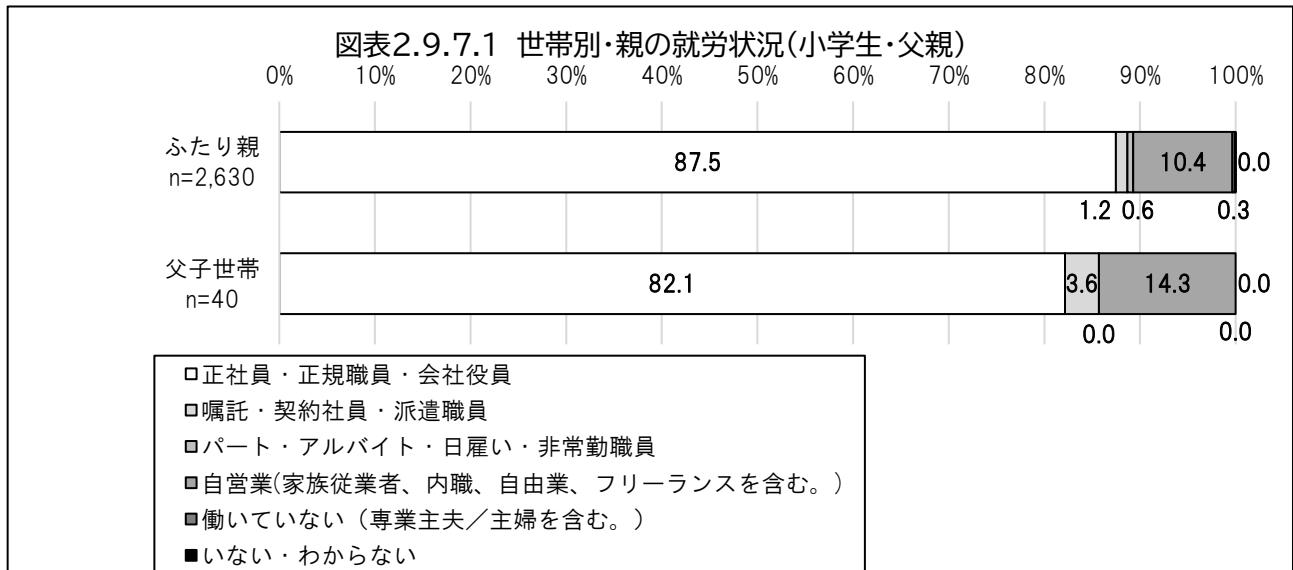


図表2.9.6.2 世帯別・親の就労状況(小学生・母親)[県調査結果]



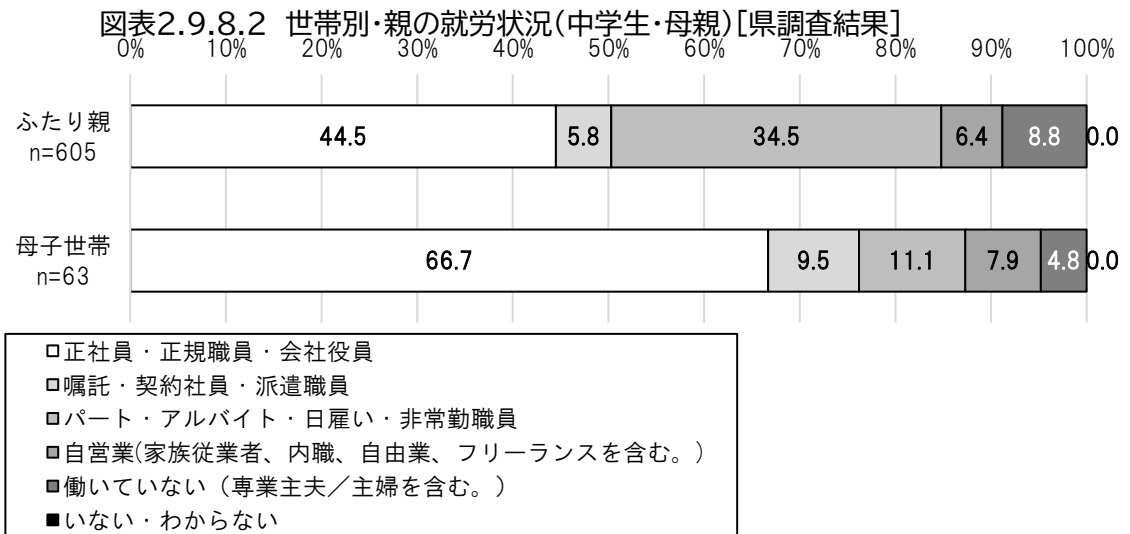
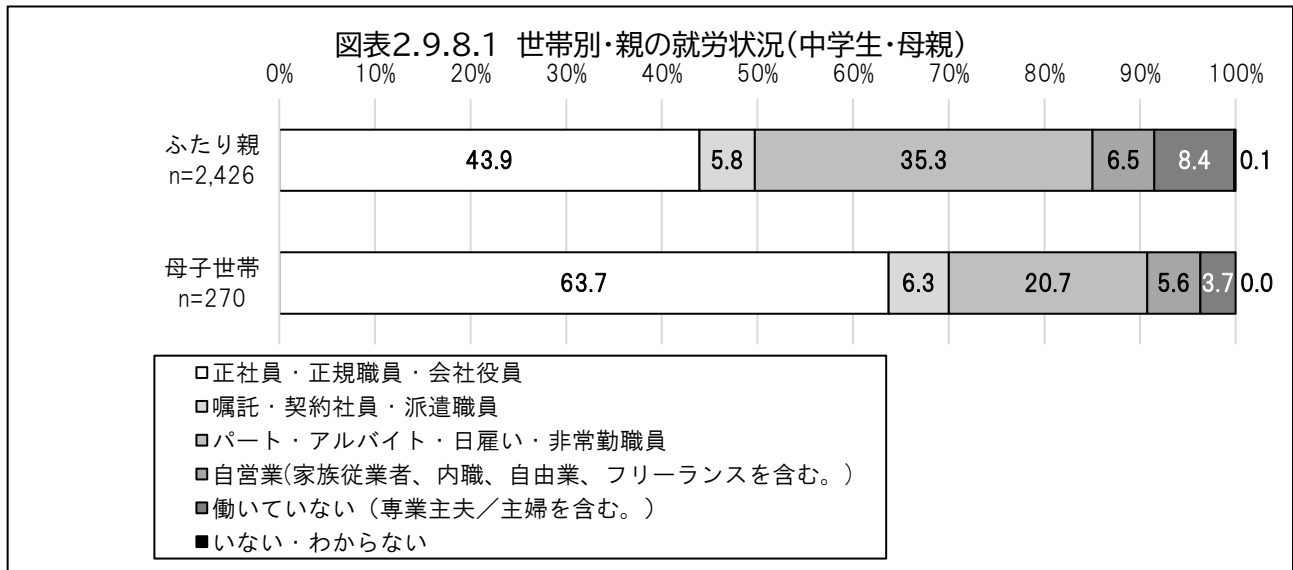
(7)世帯別・父親[小学生] (問 9. 親の就労状況)

父親の就労状況を世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯、父子世帯ともに「正社員・正規職員・会社役員」が87.5%、82.1%と最も高くなっています。



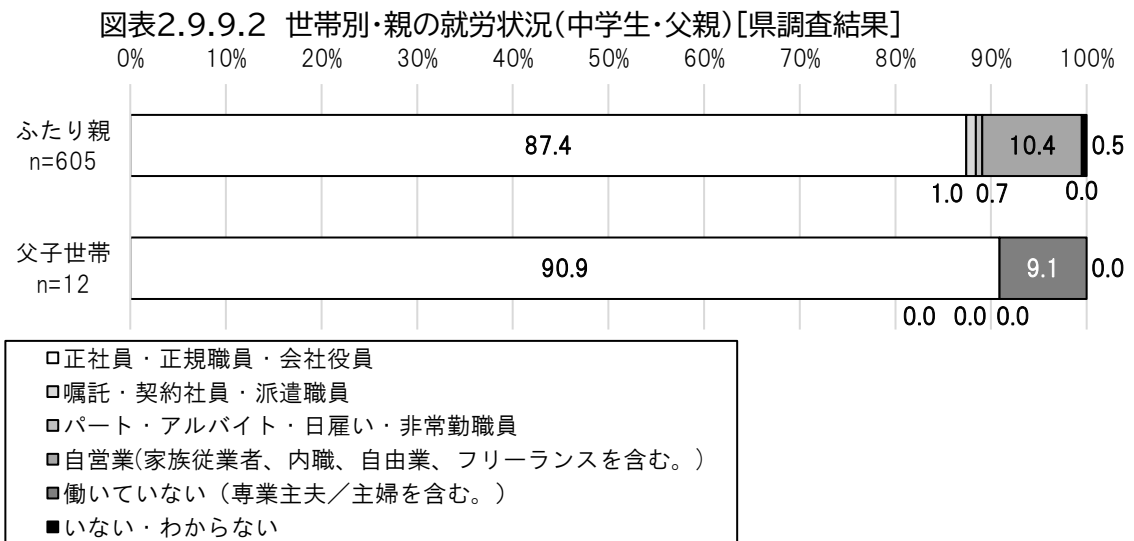
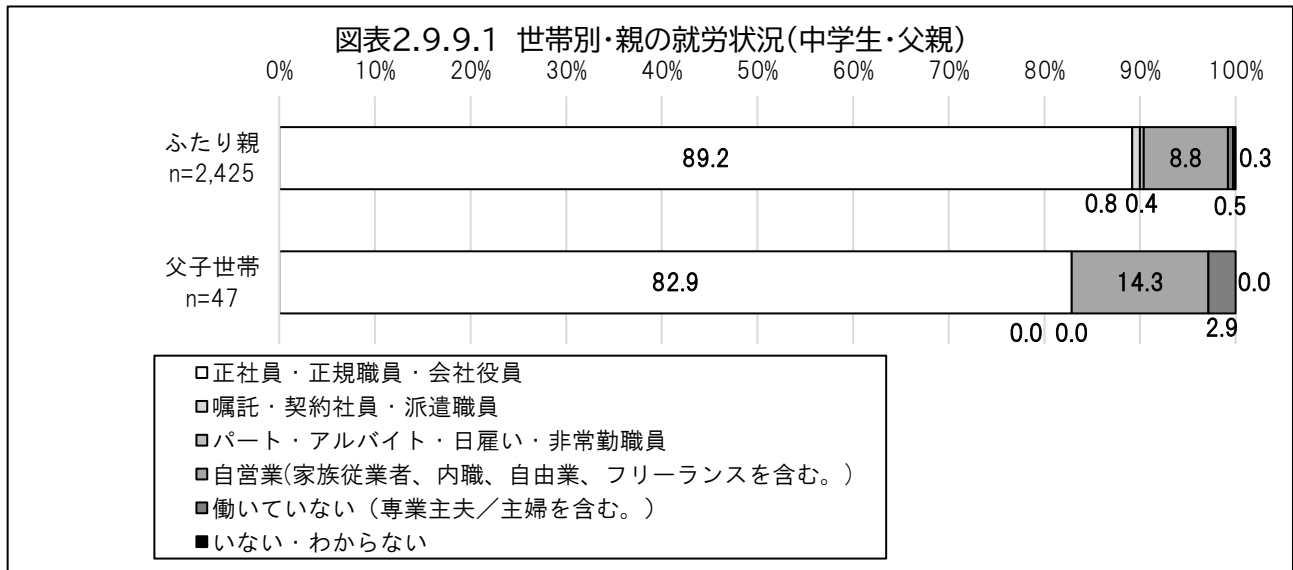
(8)世帯別・母親[中学生] (問 9. 親の就労状況)

母親の就労状況を世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯、母子世帯ともに「正社員・正規職員・会社役員」が43.9%、63.7%と最も高くなっています。



(9)世帯別・父親[中学生] (問 9. 親の就労状況)

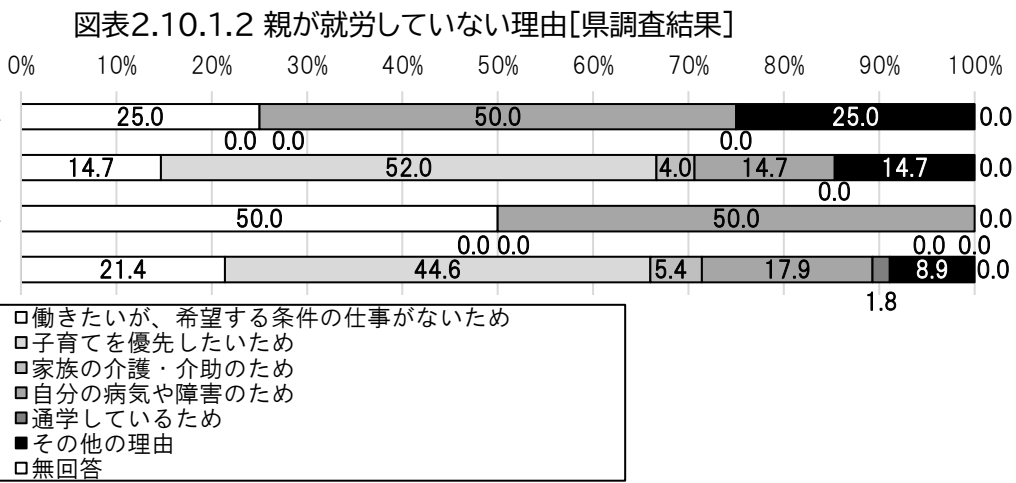
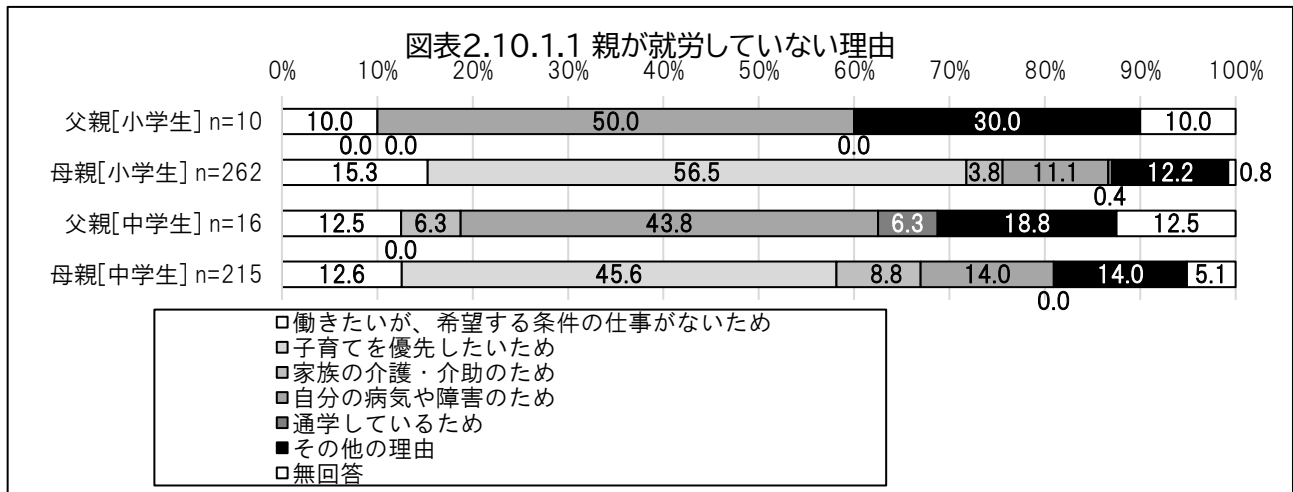
父親の就労状況を世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯、父子世帯ともに「正社員・正規職員・会社役員」が89.2%、82.9%と最も高くなっています。



問10. 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

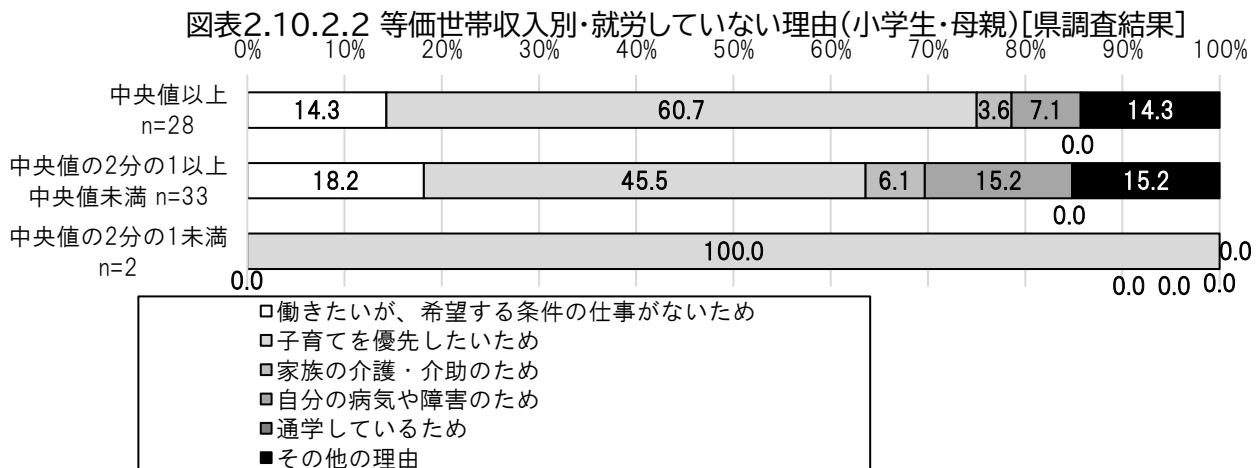
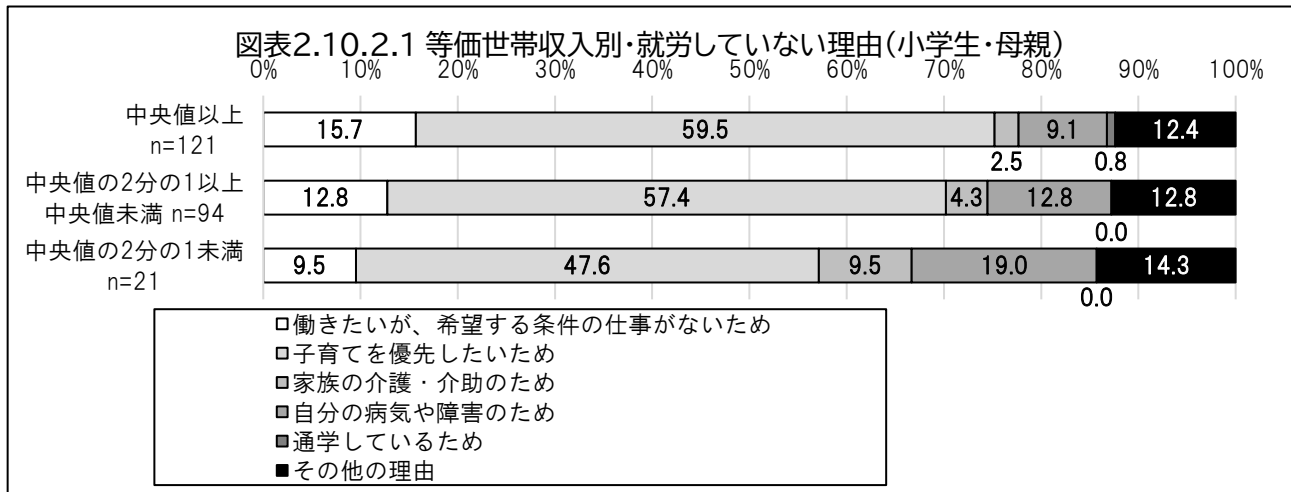
(1)全体

働いていない理由について、父親は小学生・中学生ともに「自分の病気や障害のため」が50.0%、43.8%と高く、次いで「その他の理由」が30.0%、18.8%となっています。母親は小学生・中学生ともに「子育てを優先したいため」が56.5%、45.6%と高く、次いで小学生では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が15.3%、中学生では「自分の病気や障害のため」と「その他の理由」とともに14.0%となっています。



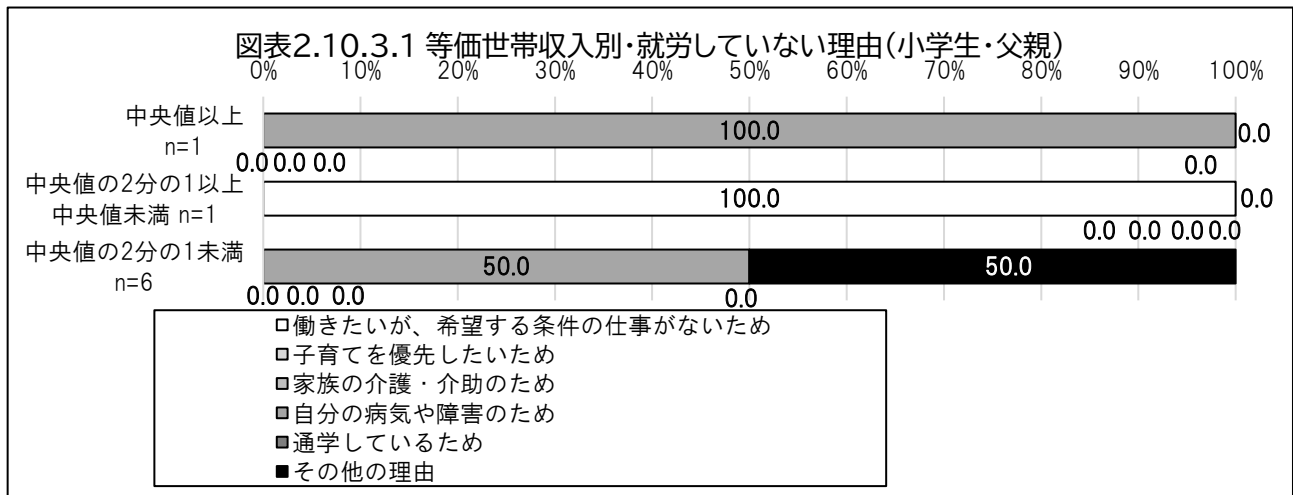
(2)等価世帯収入別・母親[小学生] (問 10. 就労していない理由)

母親の働いていない理由を等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「子育てを優勢したいため」が59.5%、57.4%、47.6%と最も高くなっています。また、「中央値の2分の1未満」の水準では「自分の病気や障害のため」が19.0%と、他の水準と比較して高くなっています。

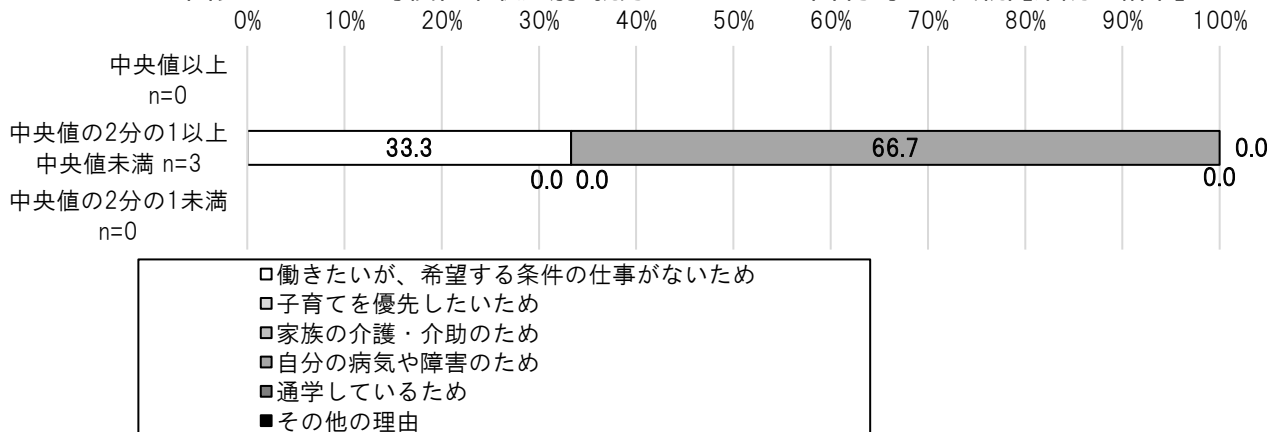


(3)等価世帯収入別・父親[小学生] (問 10. 就労していない理由)

父親の働いていない理由を等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」の水準において、「自分の病気や障害のため」が100.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が100.0%、「中央値の2分の1未満」の水準では「自分の病気や障害のため」と「その他の理由」がともに50.0%となっています。

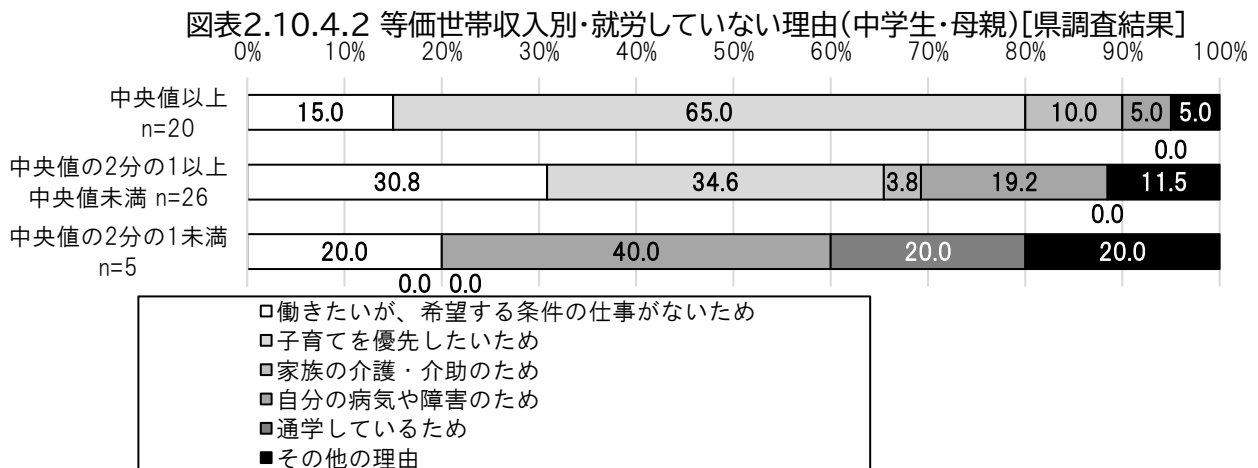
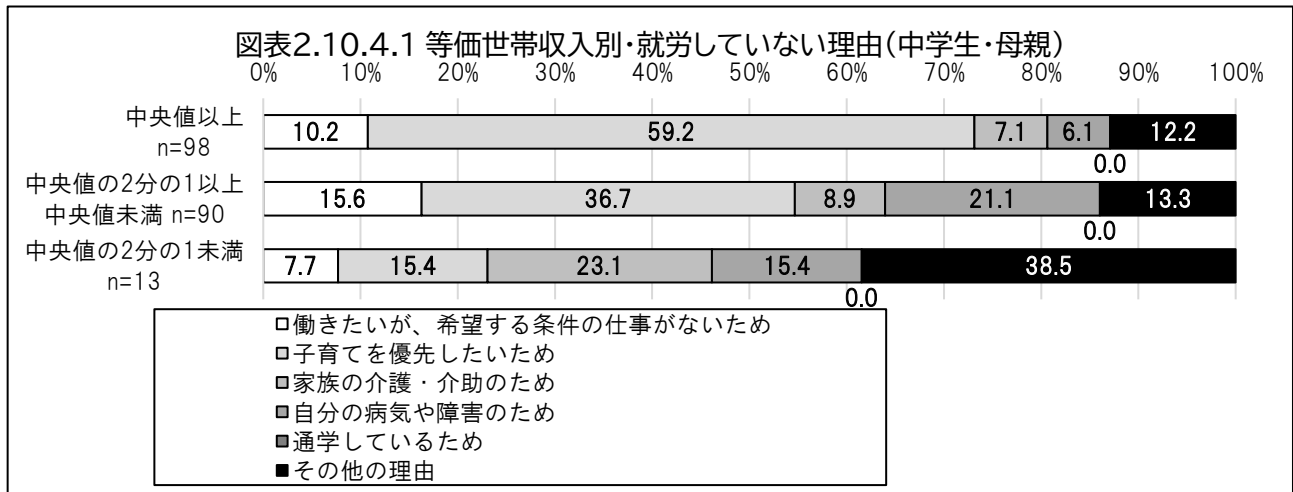


図表2.10.3.2 等価世帯収入別・就労していない理由(小学生・父親)[県調査結果]



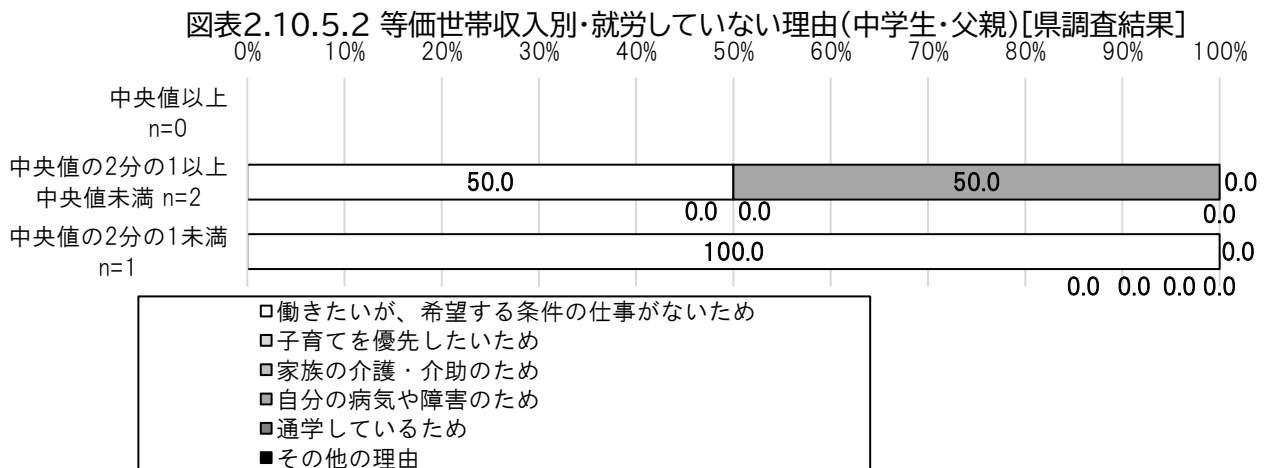
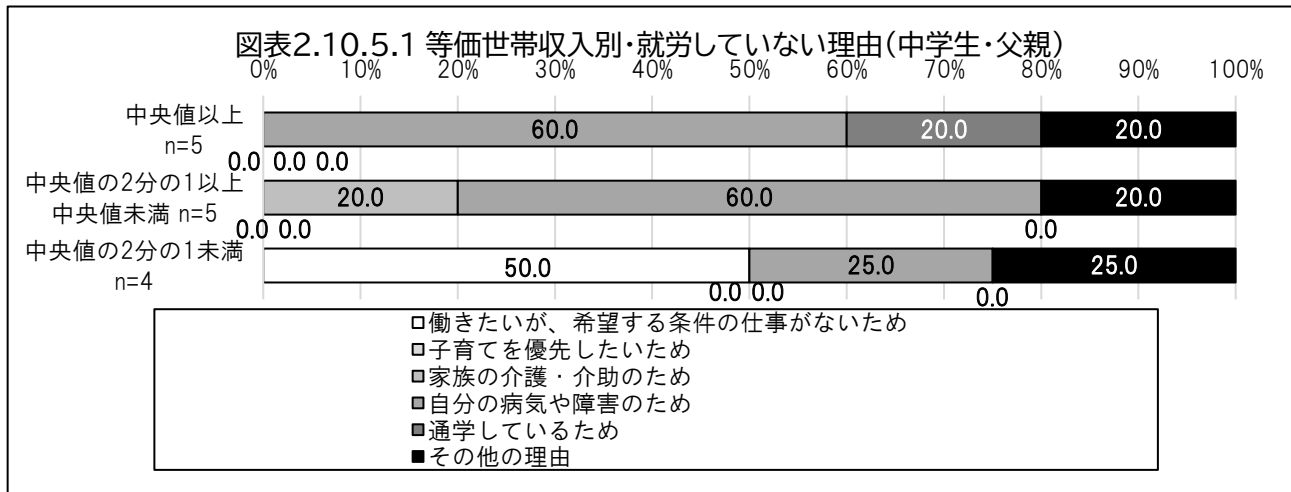
(4)等価世帯収入別・母親[中学生] (問 10. 就労していない理由)

母親の働いていない理由を等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準において、「子育てを優先したいため」が59.2%、36.7%、「中央値の2分の1未満」の水準では「その他の理由」が38.5%と最も高くなっています。



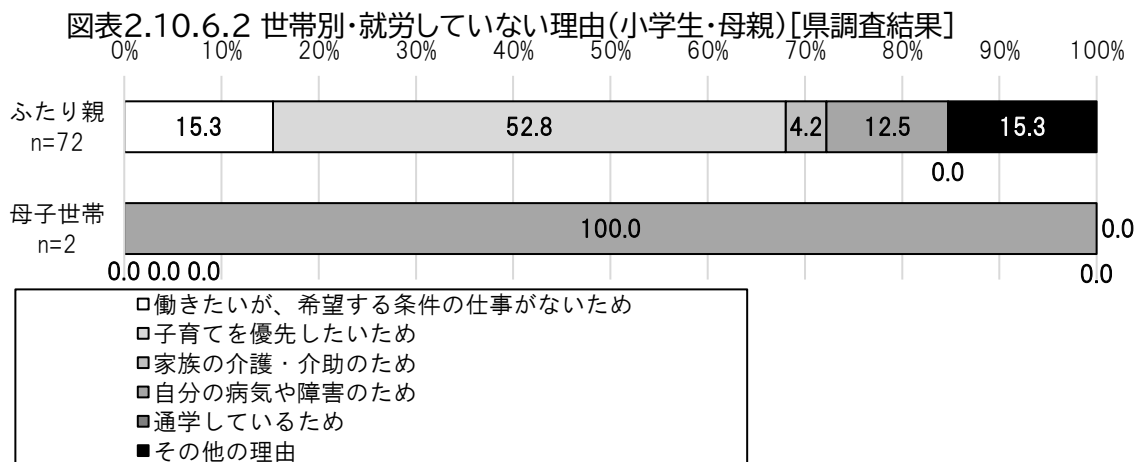
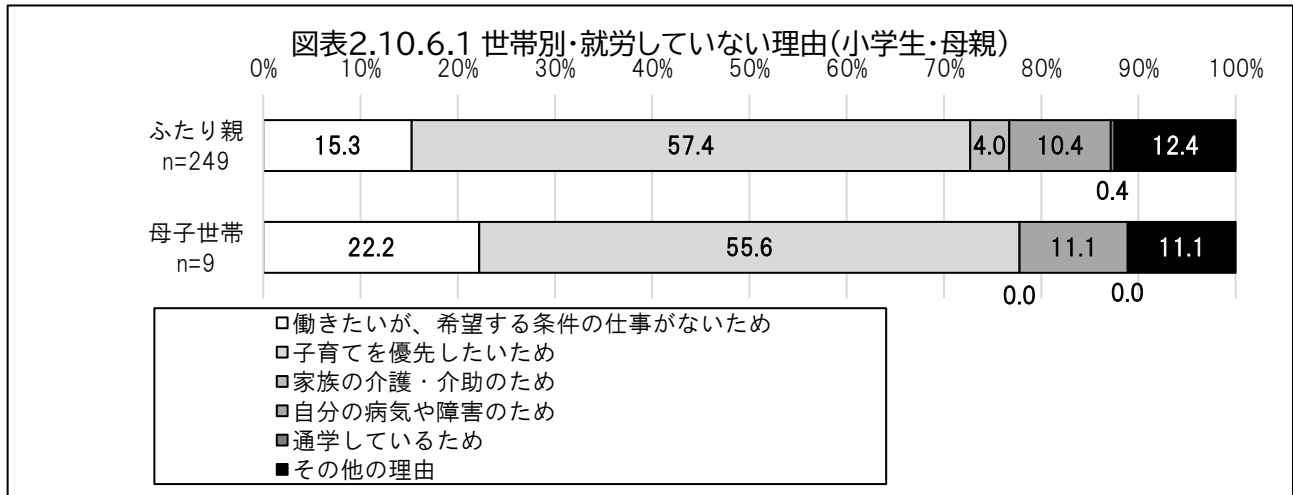
(5)等価世帯収入別・父親[中学生] (問 10. 就労していない理由)

父親の働いていない理由を等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「自分の病気や障害のため」がともに60.0%、「中央値の2分の1未満」の水準では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が50.0%と最も高くなっています。



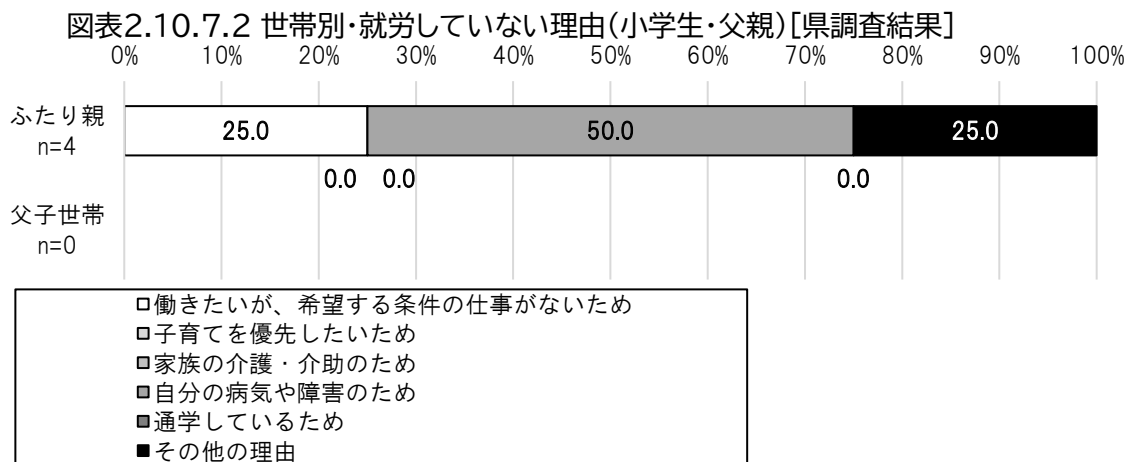
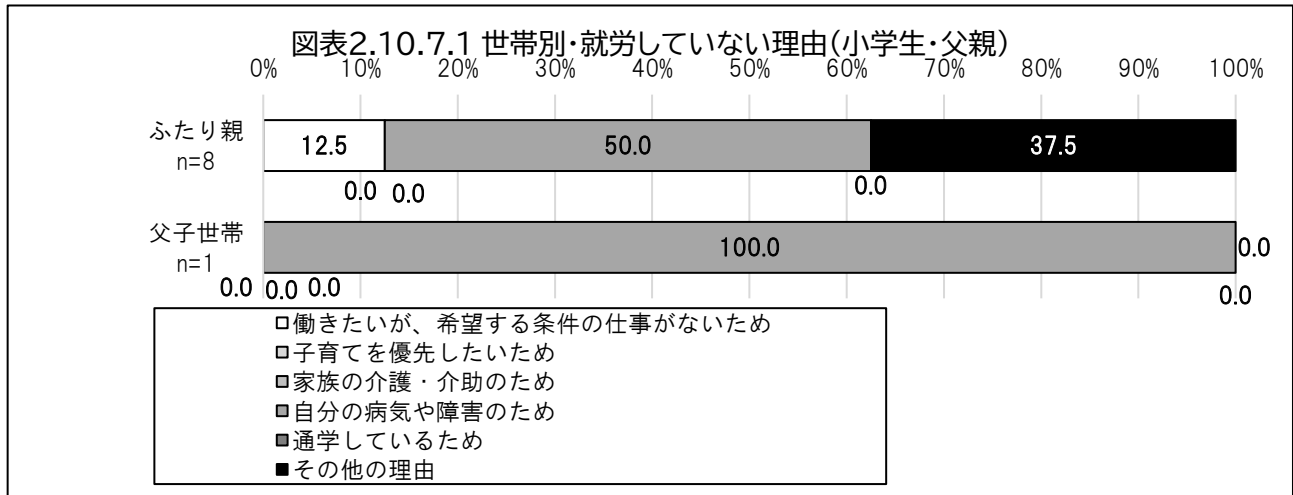
(6)世帯別・母親[小学生] (問 10. 就労していない理由)

母親の働いていない理由を世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯、母子世帯ともに「子育てを優先したいため」が57.4%、55.6%と最も高くなっています。



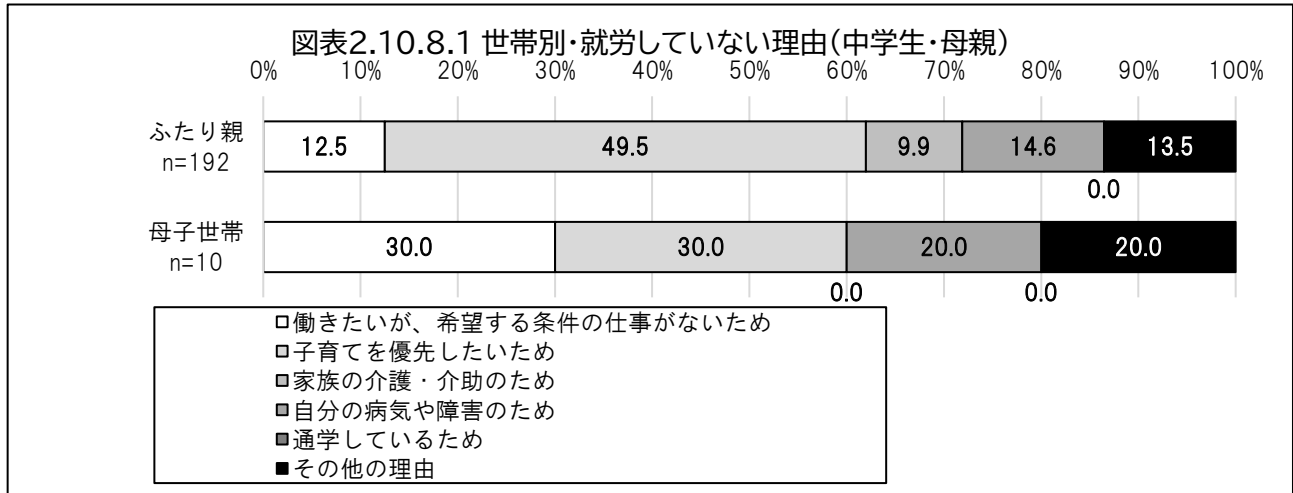
(7)世帯別・父親[小学生] (問 10. 就労していない理由)

父親の働いていない理由を世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯、父子世帯ともに「自分の病気や障害のため」が50.0%、100.0%と最も高くなっています。

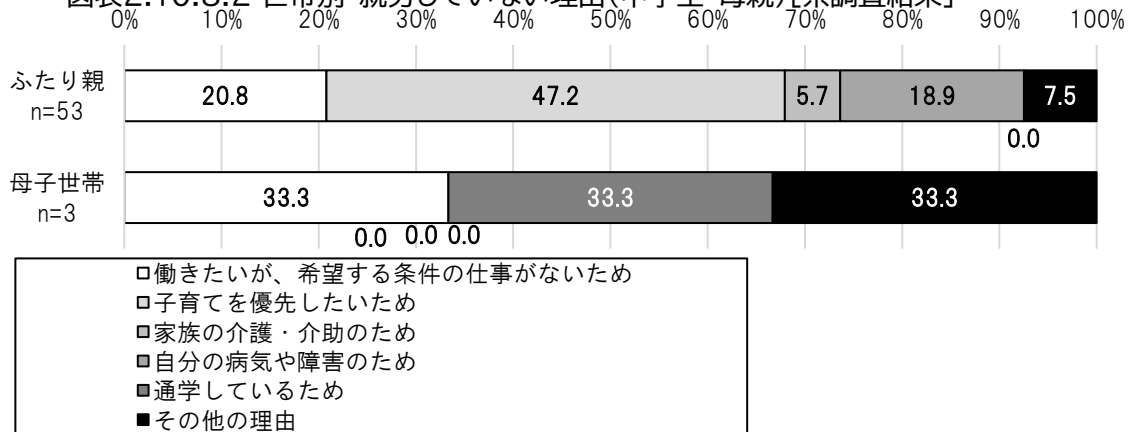


(8)世帯別・母親[中学生] (問 10. 就労していない理由)

母親の働いていない理由を世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯は「子育てを優先したいため」が 49.5%と最も高く、また母子世帯では、「子育てを優先したいため」、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」がともに 30.0%と最も高くなっています。

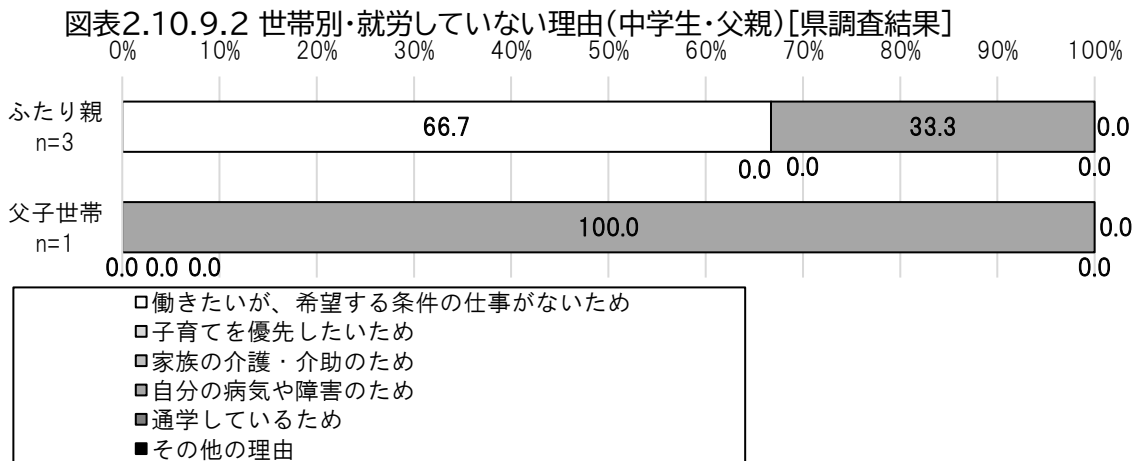
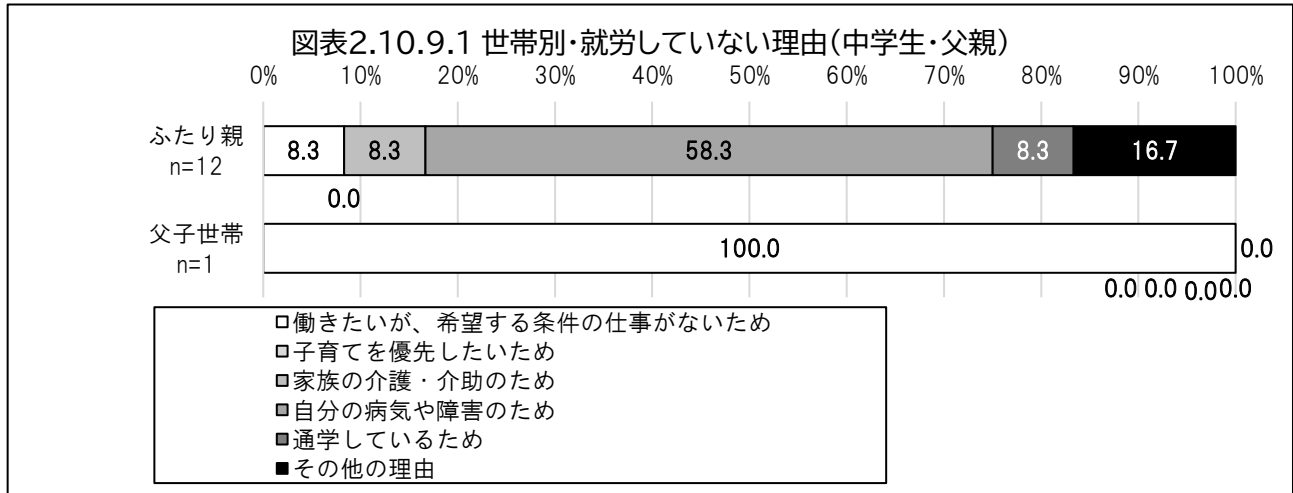


図表2.10.8.2 世帯別・就労していない理由(中学生・母親)[県調査結果]



(9)世帯別・父親[中学生] (問 10. 就労していない理由)

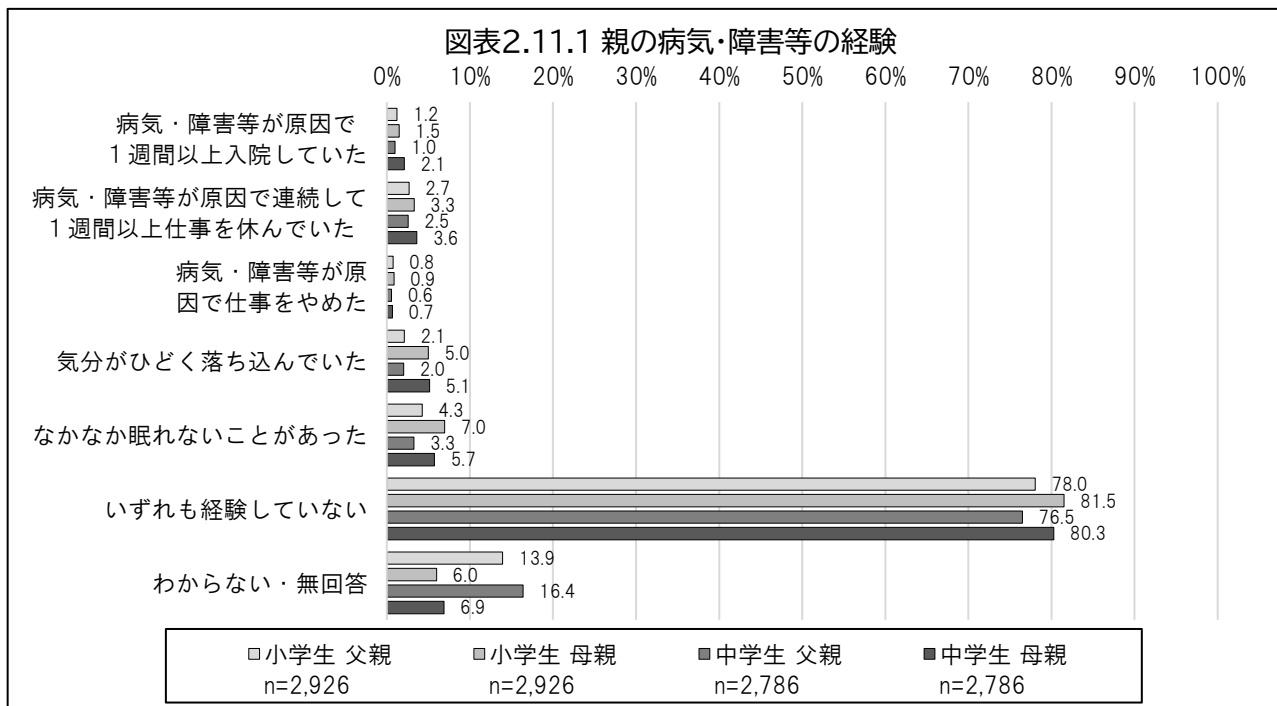
父親の働いていない理由を世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯では「自分の病気や障害のため」が58.3%、父子世帯では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が100.0%と最も高くなっています。



問11. お子さんの親は、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか。

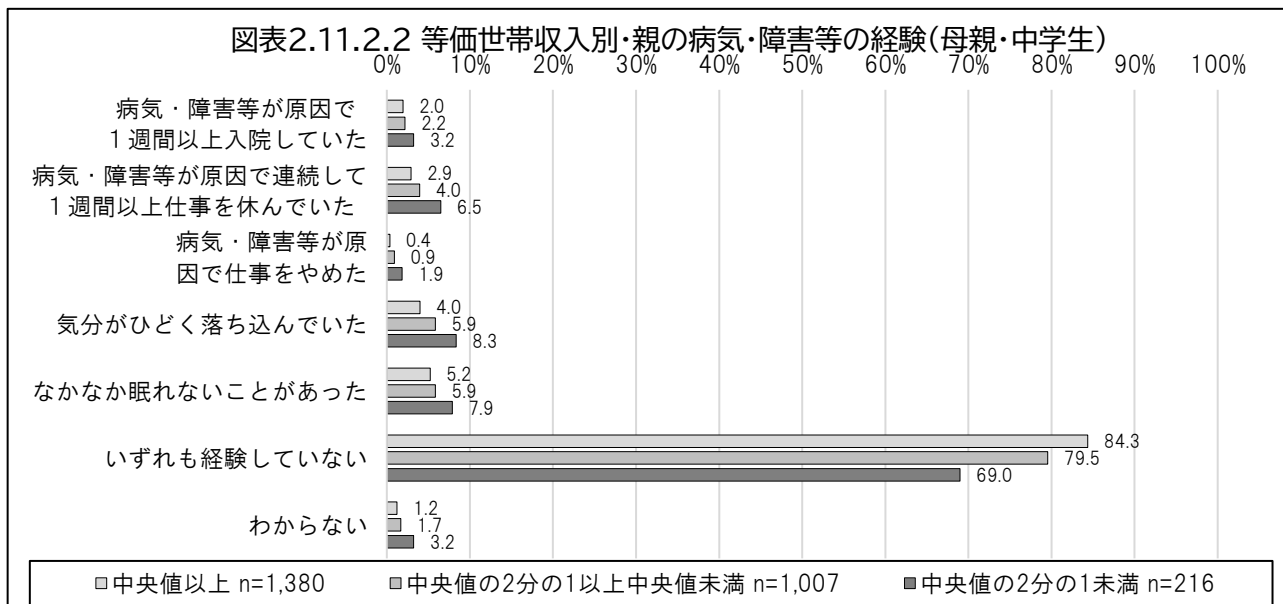
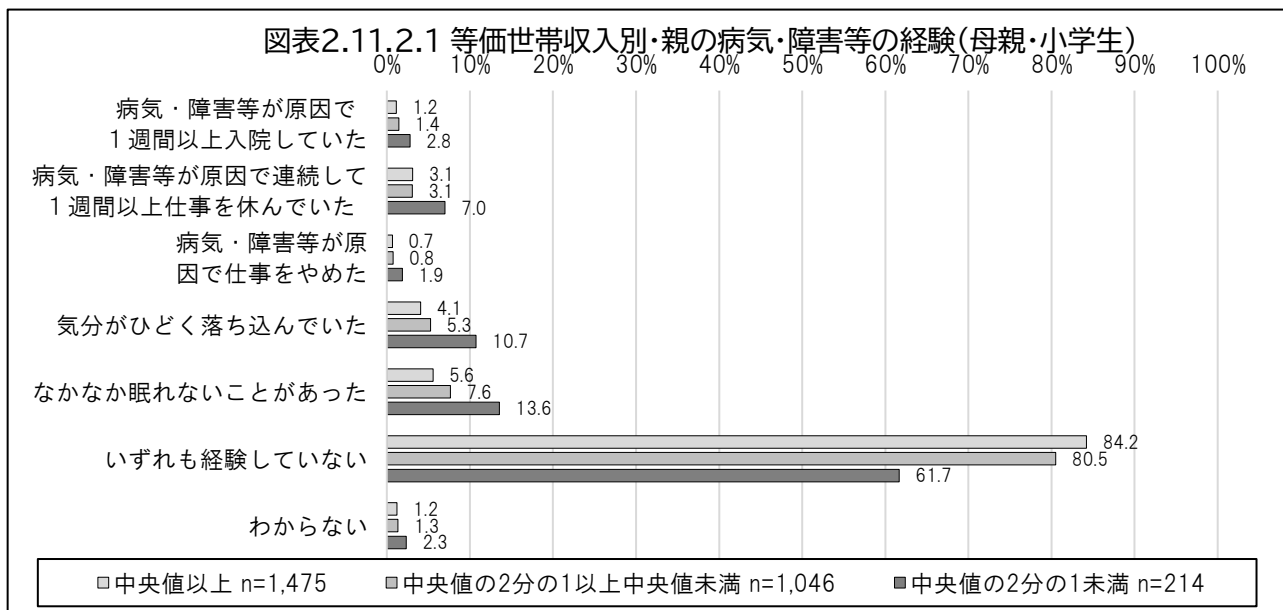
保護者の病気等の罹患歴について、小学生・中学生の父親・母親ともに、「いずれも経験していない」が最も高く（小学生78.0%、81.5%）（中学生76.5%、80.3%）、次いで「なかなか眠れないことがあった」（小学生4.3%、7.0%）（中学生3.3%、5.7%）となっています。

(1)全体

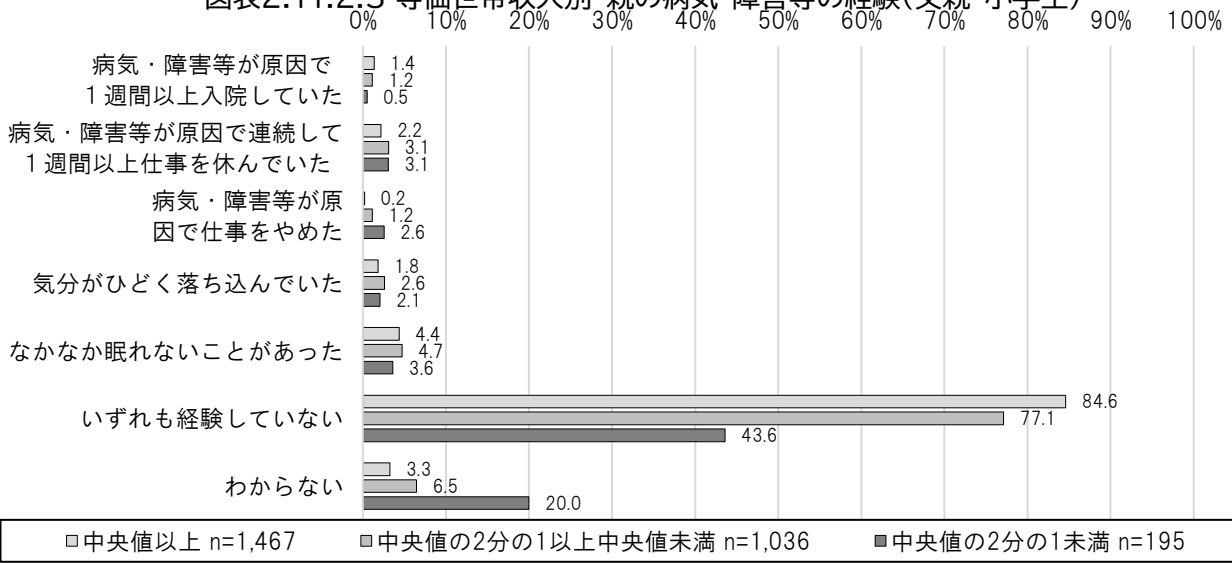


(2)等価世帯収入別

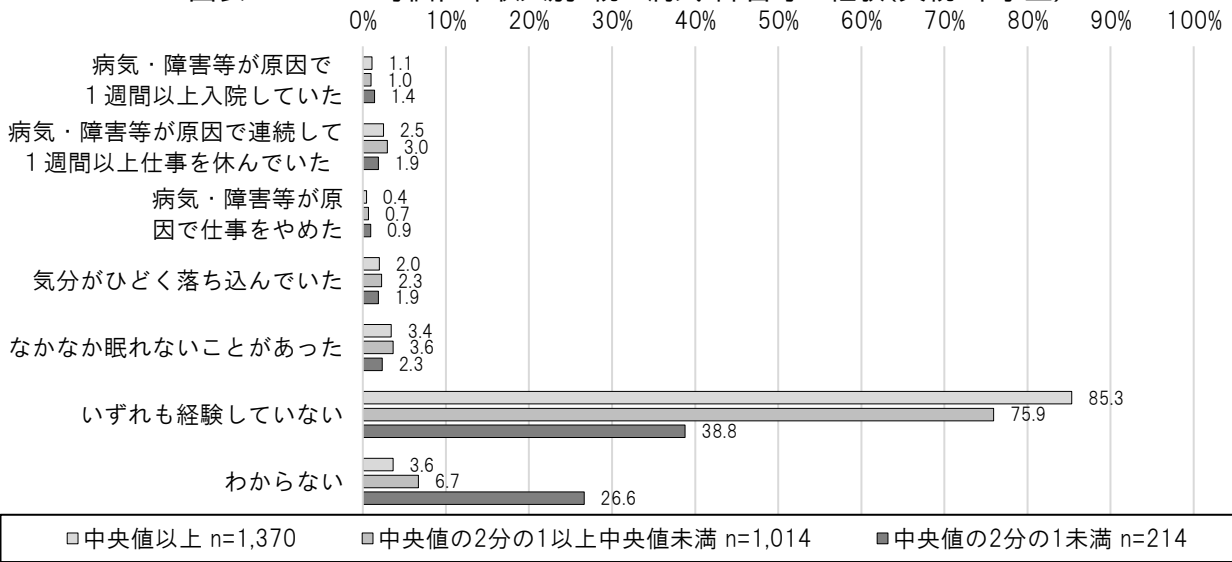
保護者の病気等の罹患歴について、等価世帯収入別にみると、いずれの水準においても「いずれも経験していない」が、小学生の母親で84.2%、80.5%、61.7%、中学生の母親で84.3%、79.5%、69.0%、小学生の父親で84.6%、77.1%、43.6%、中学生の父親で85.3%、75.9%、38.8%と最も高くなっていますが、「中央値の2分の1未満」の水準では、他の水準と比較して低くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の母親では、小学生・中学生ともに「気分がひどく落ち込んでいた」が10.7%、8.3%、「なかなか眠れないことがあった」13.6%、7.9%と他の水準と比較して高くなっています。



図表2.11.2.3 等価世帯収入別・親の病気・障害等の経験(父親・小学生)

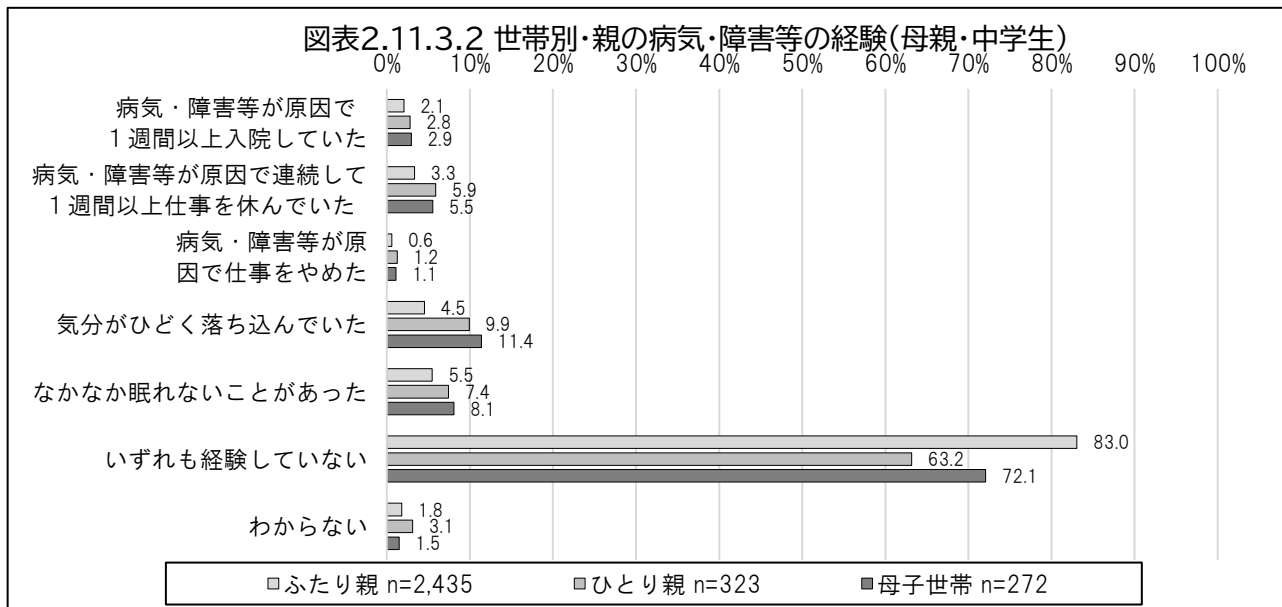
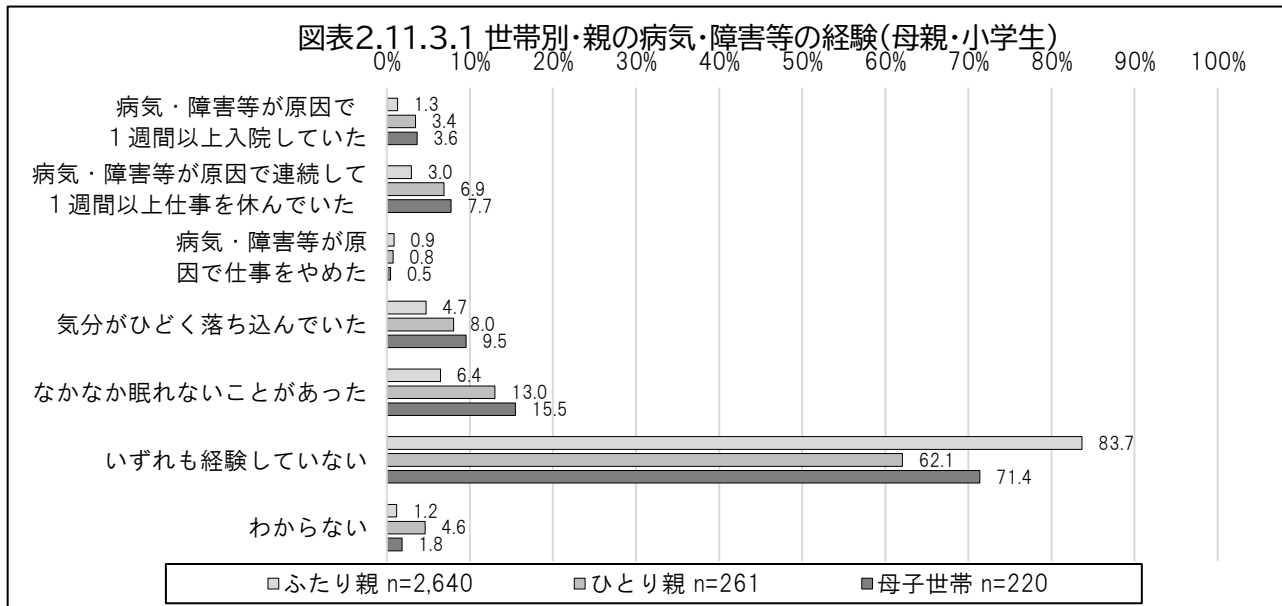


図表2.11.2.4 等価世帯収入別・親の病気・障害等の経験(父親・中学生)

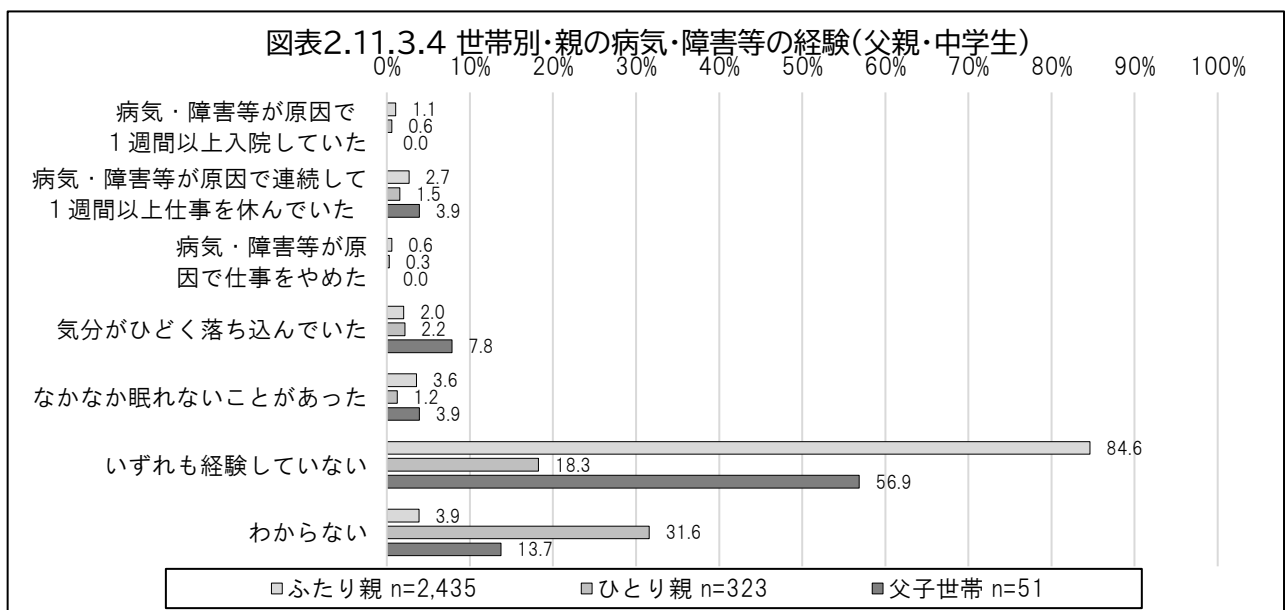
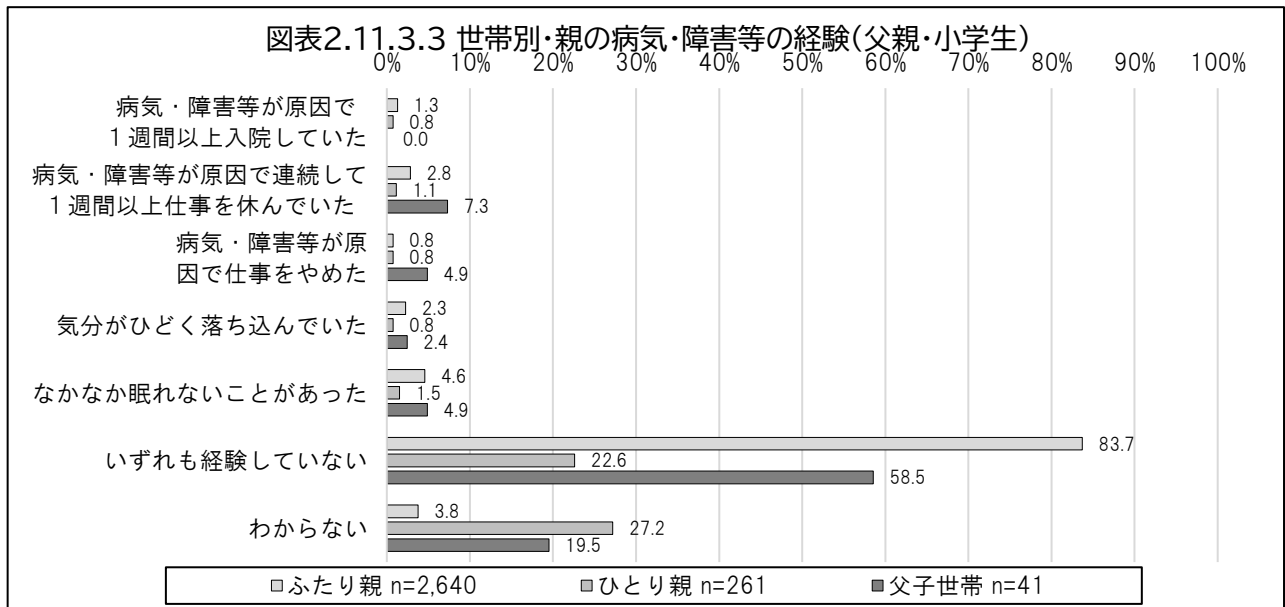


(3)世帯別

保護者の病気等の罹患歴について、世帯別にみると、母親では、いずれの世帯においても「いずれも経験していない」が、小学生で83.7%、62.1%、71.4%、中学生で83.0%、63.2%、72.1%と最も高くなっていますが、ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比較して低くなっています。また、ひとり親世帯の母親では、小学生・中学生ともに「なかなか眠れないことがあった」が13.0%、7.4%、「気分がひどく落ち込んでいた」が8.0%、9.9%、「病気・障害等が原因で連続して1週間以上仕事を休んでいた」が6.9%、5.9%とふたり親世帯と比較して高くなっています。



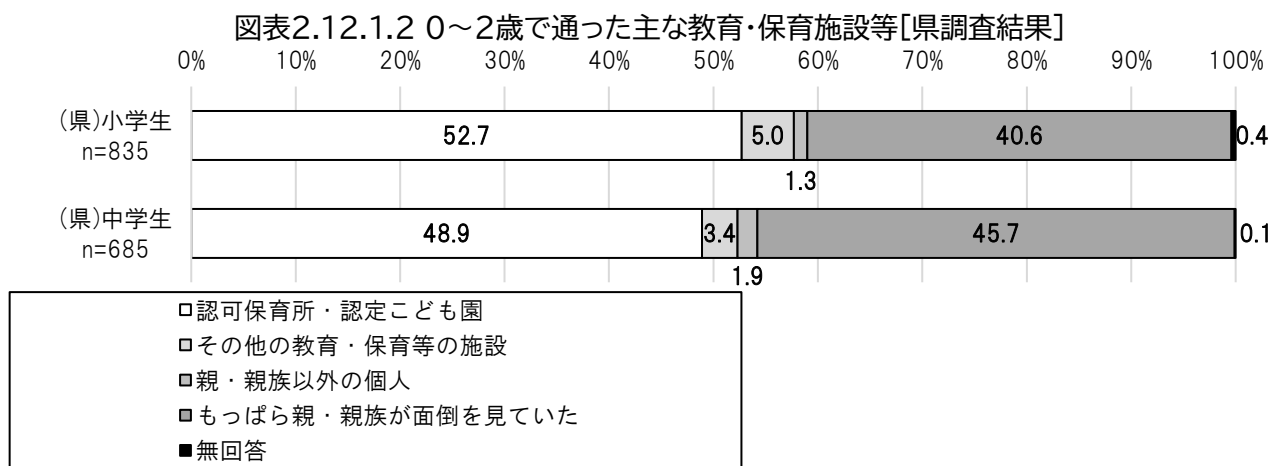
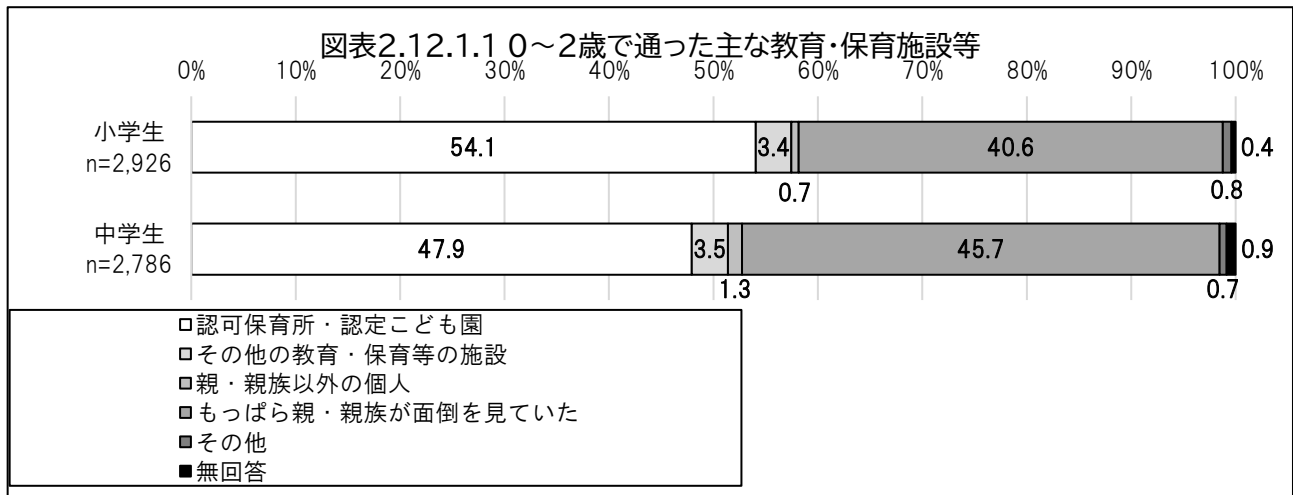
小学生の父親では、ふたり親世帯および父子世帯で「いずれも経験していない」が83.7%、58.5%、ひとり親世帯では「わからない」が27.2%と最も高くなっています。中学生の父親では、ふたり親および父子世帯では「いずれも経験していない」が84.6%、56.9%、ひとり親世帯では「わからない」が31.6%と最も高くなっています。また、ひとり親世帯の父親では、小学生・中学生ともに「いずれも経験していない」が22.6%、18.3%と、ふたり親世帯と比較して低くなっています。



問12. お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

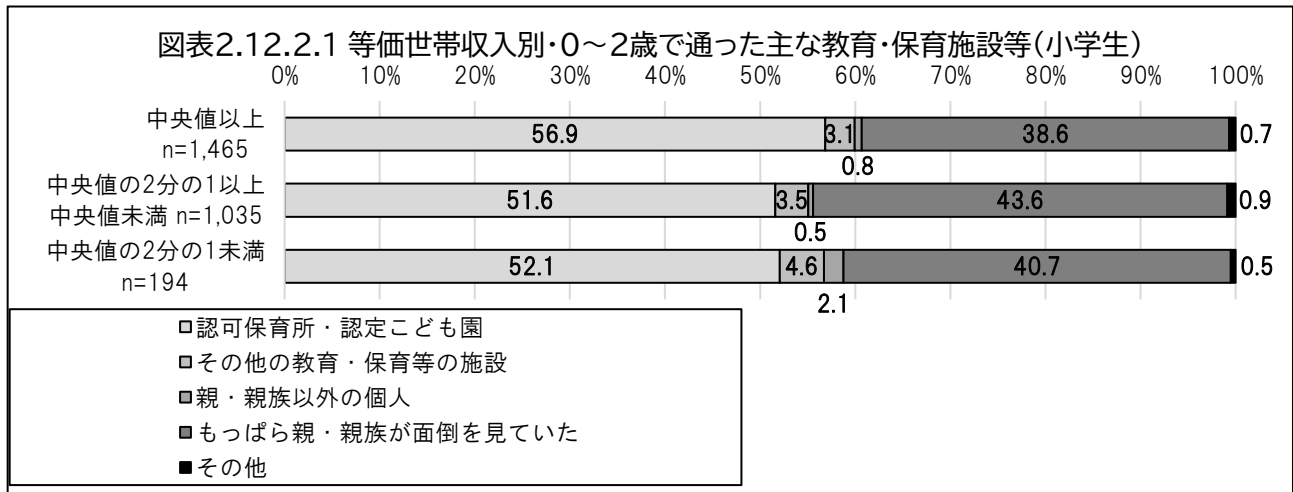
(1)全体

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、小学生・中学生ともに、「認可保育所・認定こども園」が54.1%、47.9%と最も高く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が40.6%、45.7%となっています。

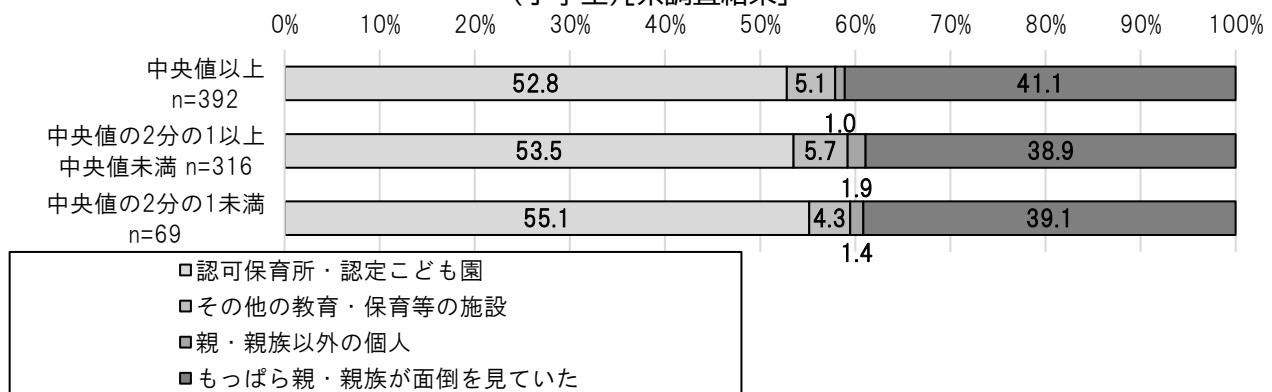


(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 12.子どもが0～2歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「認可保育所・認定こども園」が56.9%、51.6%、52.1%と最も高く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が38.6%、43.6%、40.7%となっています。

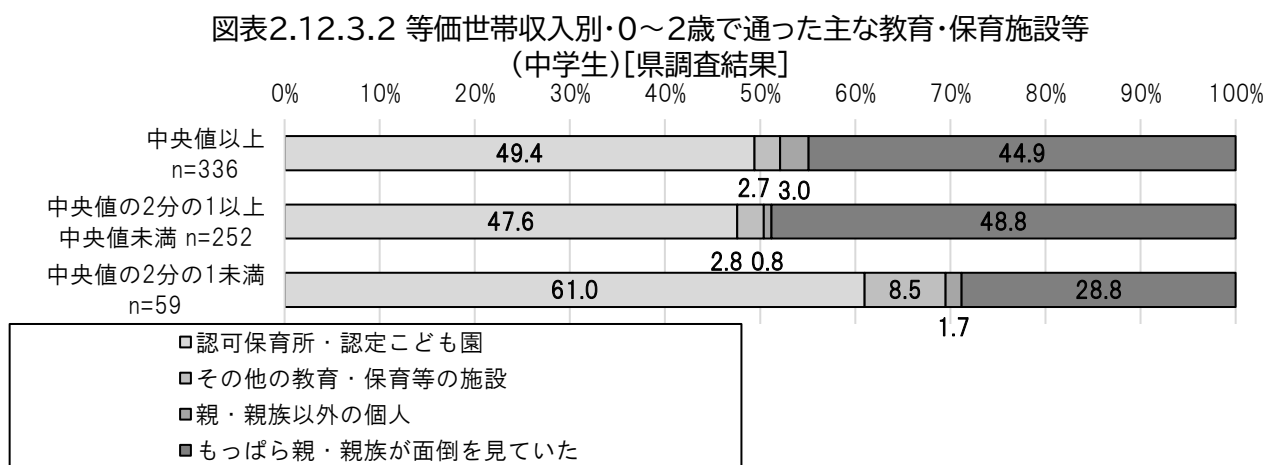
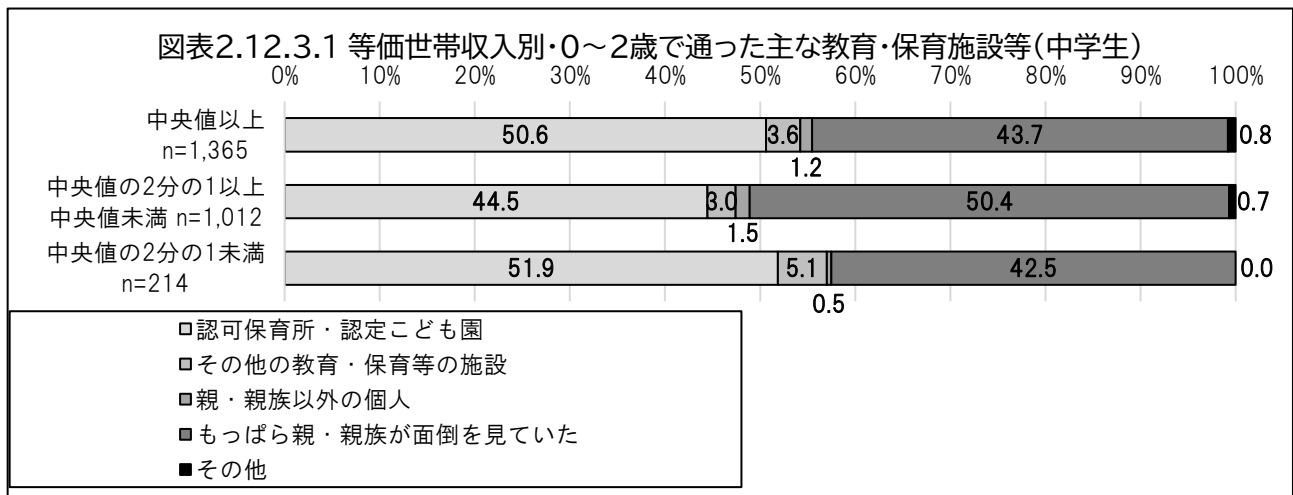


図表2.12.2.2 等価世帯収入別0～2歳で通った主な教育・保育施設等(小学生)[県調査結果]



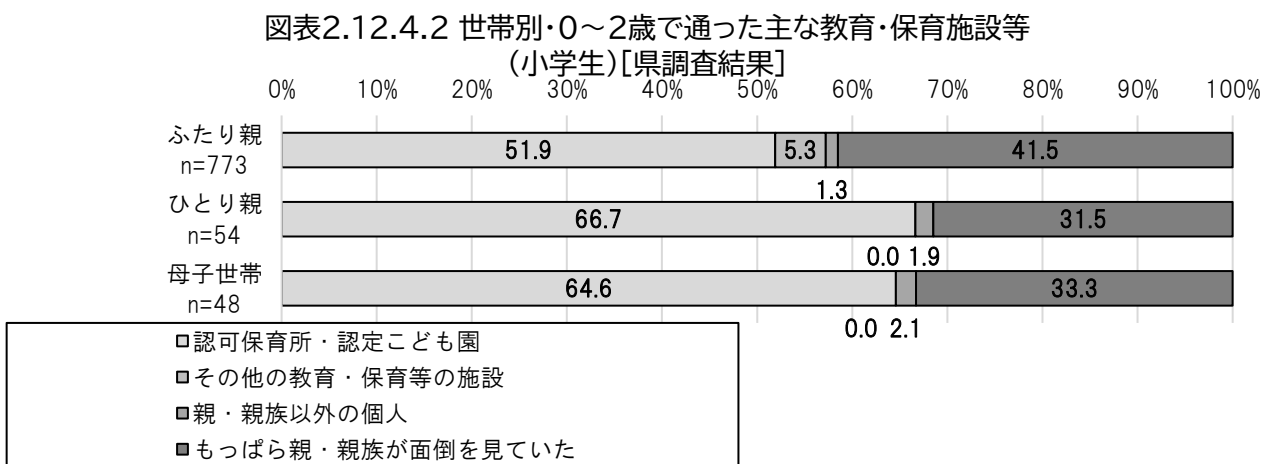
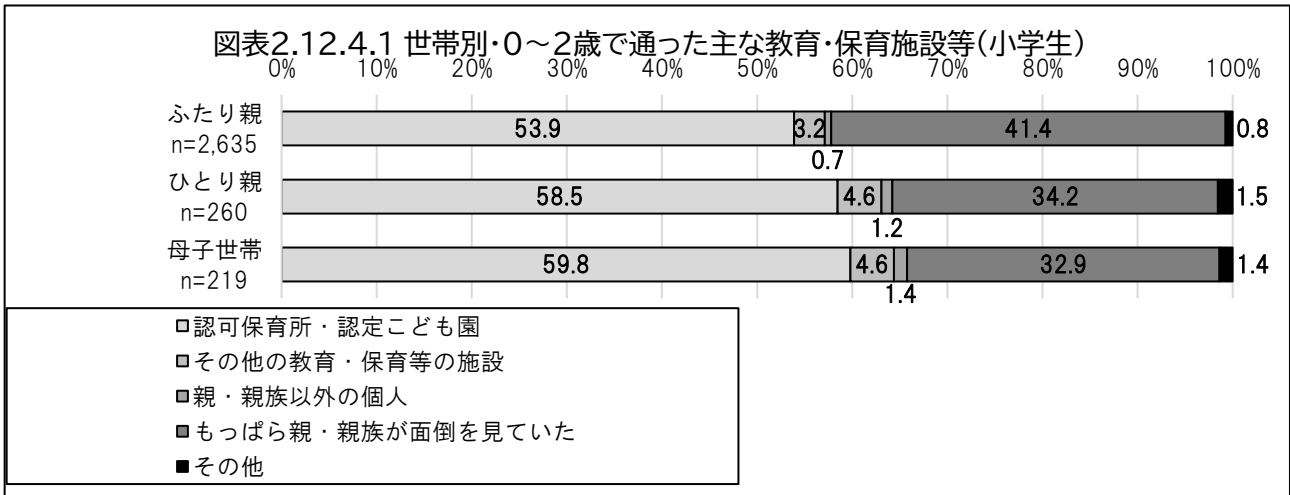
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 12. 子どもが0～2歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1未満」の水準では、「認可保育所・認定こども園」が50.6%、51.9%と最も高く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が43.7%、42.5%となっています。また、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が50.4%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」が44.5%となっています。



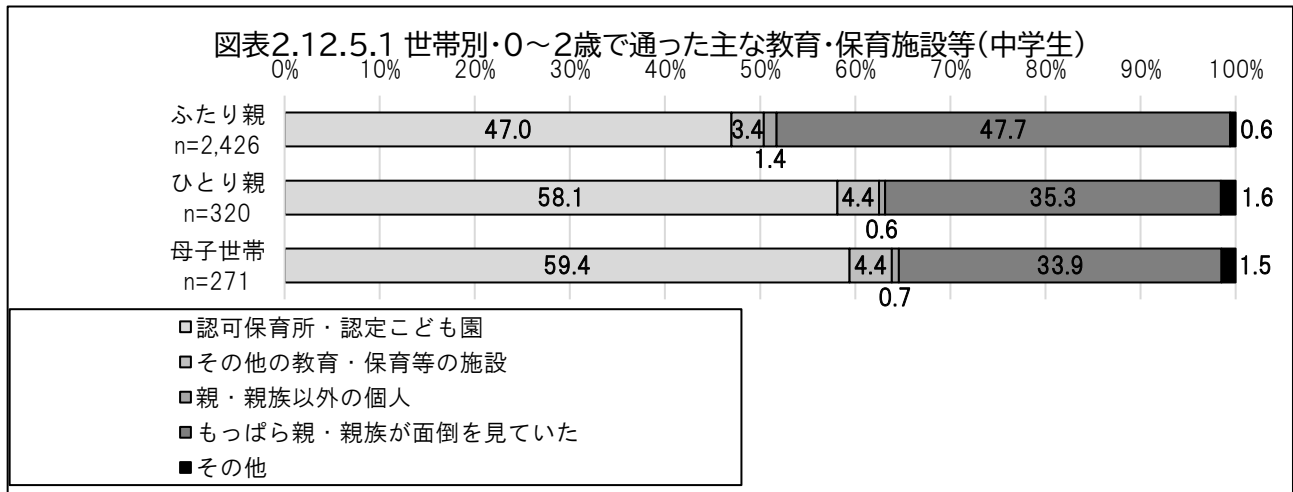
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 12. 子どもが0～2歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「認可保育所・認定こども園」が53.9%、58.5%、59.8%と最も高くなっています。

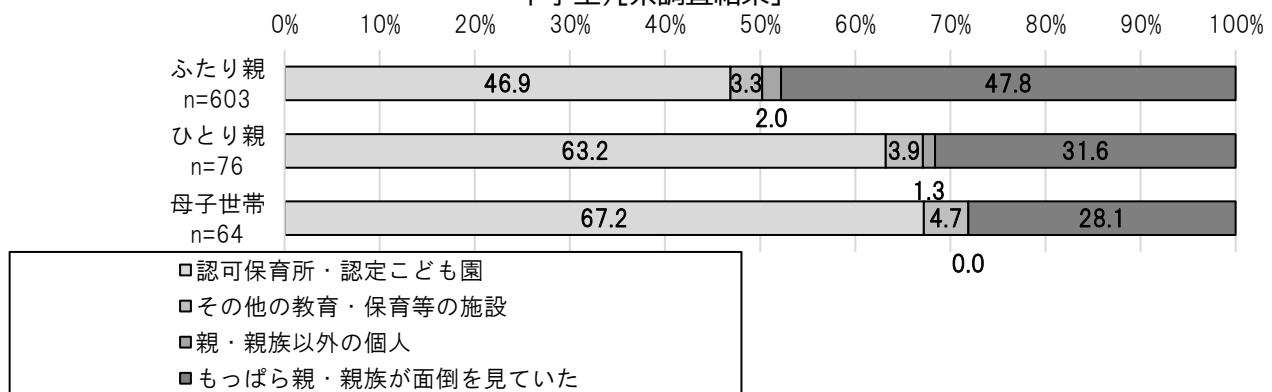


(5)世帯別・保護者[中学生] (問 12. 子どもが0～2歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯では「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が47.7%、ひとり親世帯および母子世帯では、「認可保育所・認定こども園」が58.1%、59.4%と最も高くなっています。



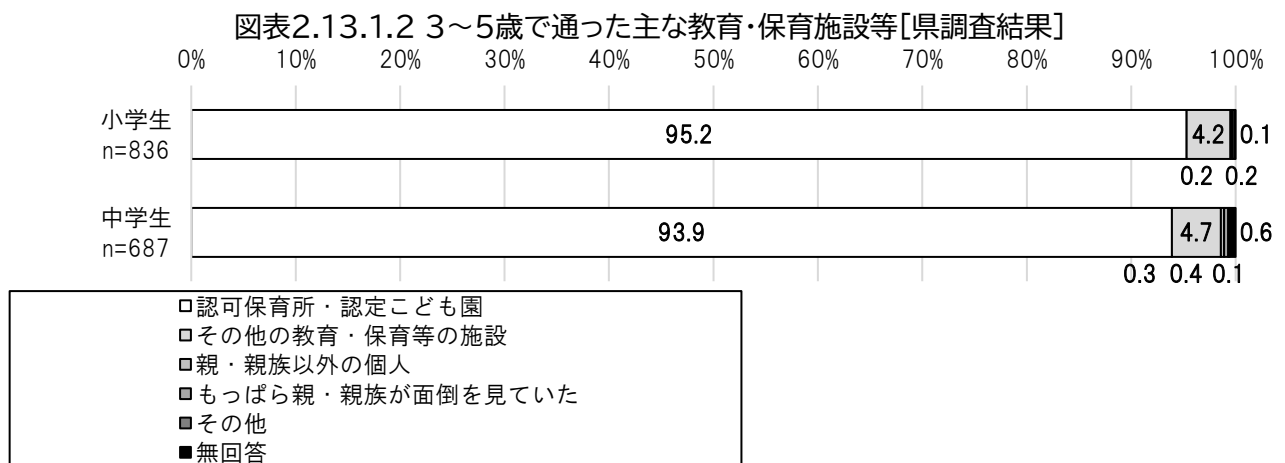
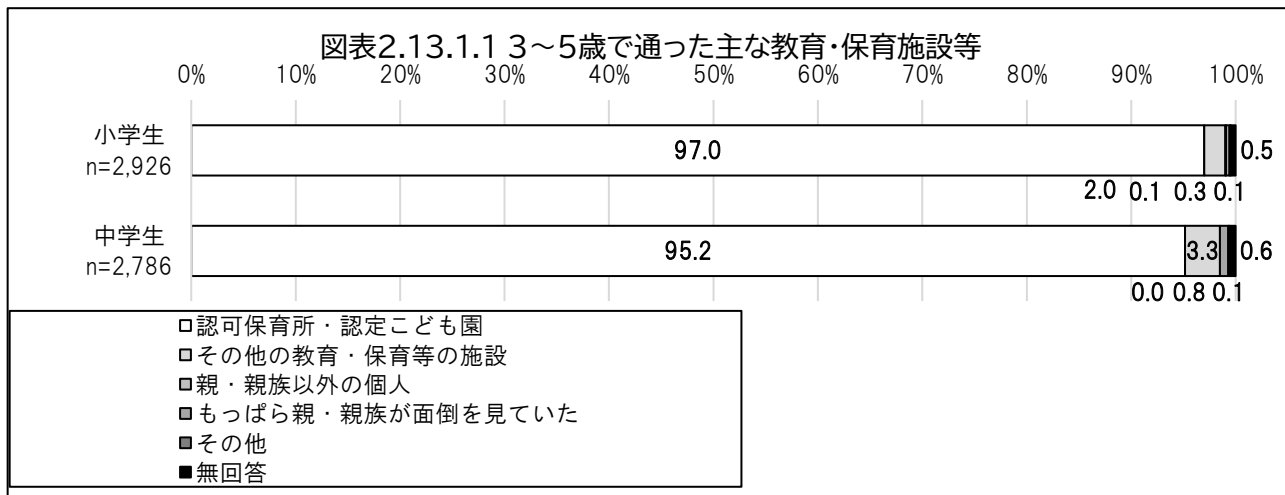
図表2.12.5.2 世帯別・0～2歳で通った主な教育・保育施設等(中学生)[県調査結果]



問13. お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

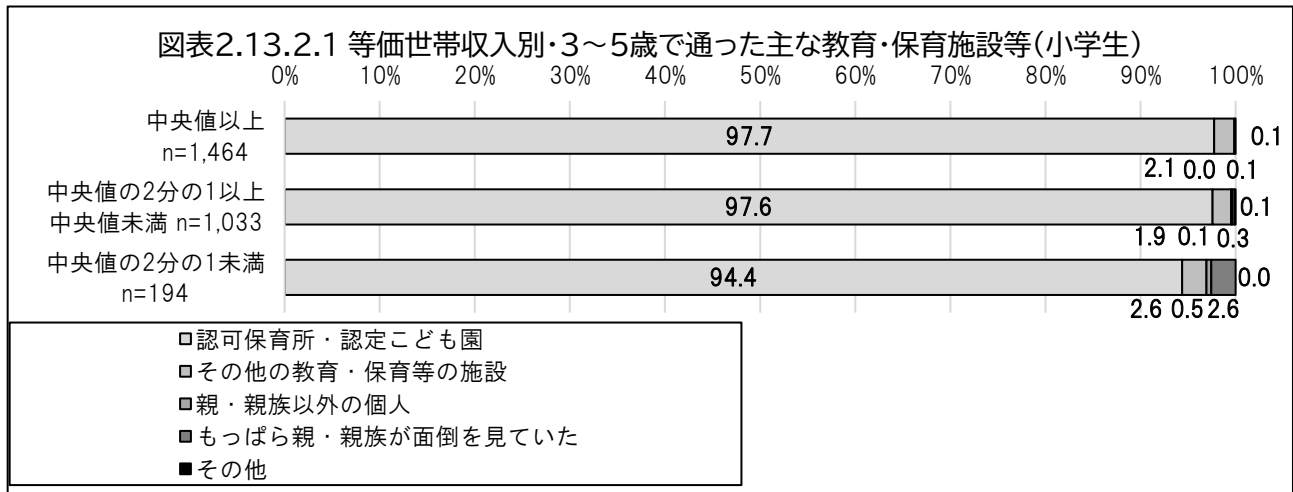
(1)全体

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、小学生・中学生ともに、「認可保育所・認定こども園」が97.0%、95.2%と最も高くなっています。

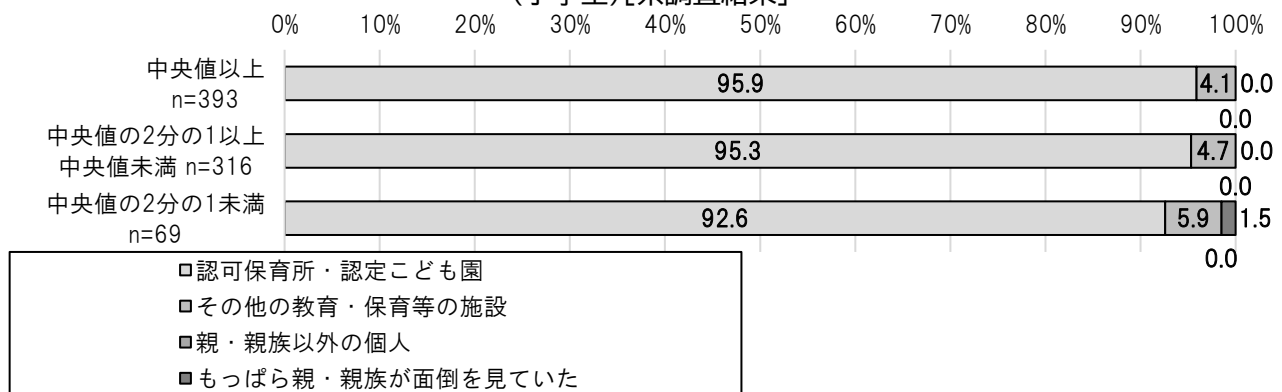


(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 13. 子どもが3～5歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準でも「認可保育所・認定こども園」が97.7%、97.6%、94.4%と最も高くなっています。

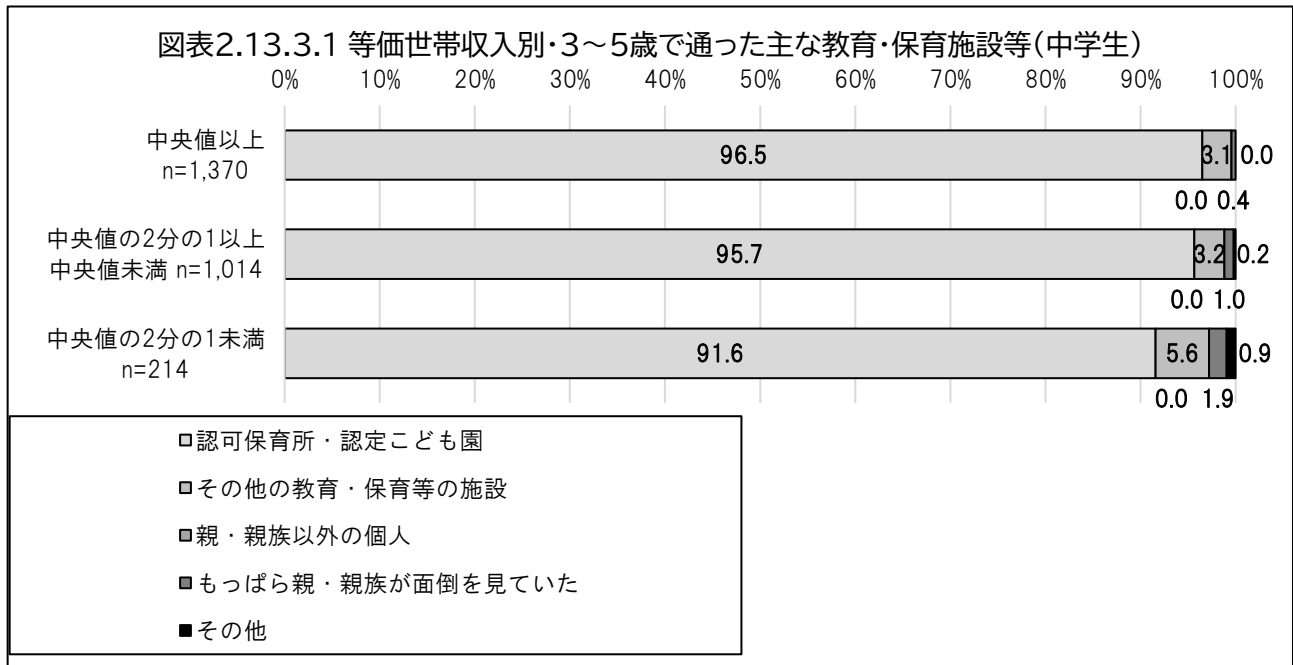


図表2.13.2.2 等価世帯収入別・3～5歳で通った主な教育・保育施設等(小学生)[県調査結果]

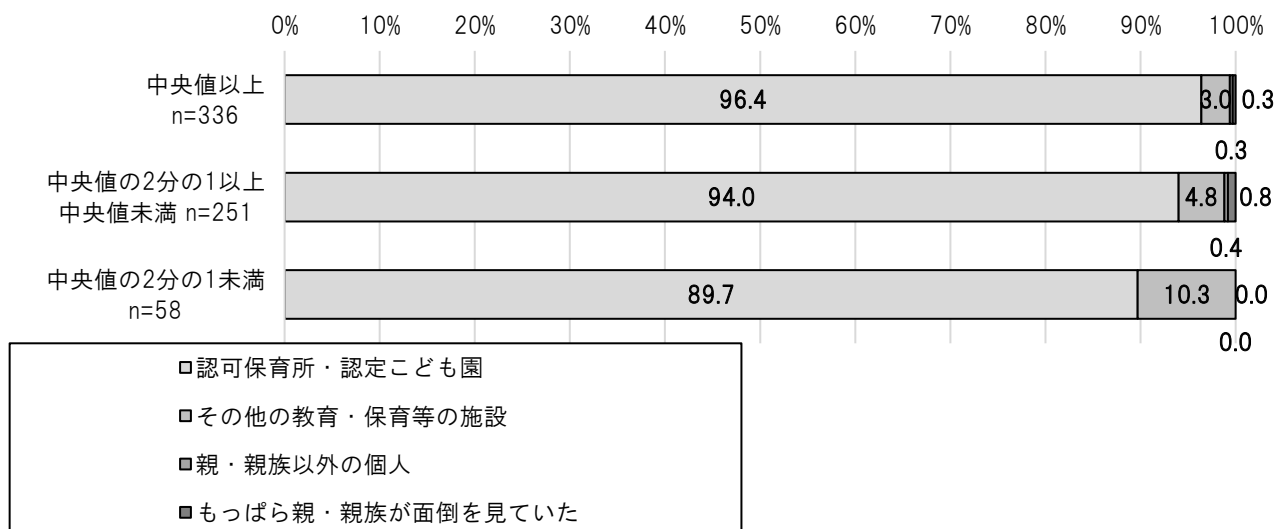


(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 13. 子どもが3～5歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準でも「認可保育所・認定こども園」が96.5%、95.7%、91.6%と最も高くなっています。

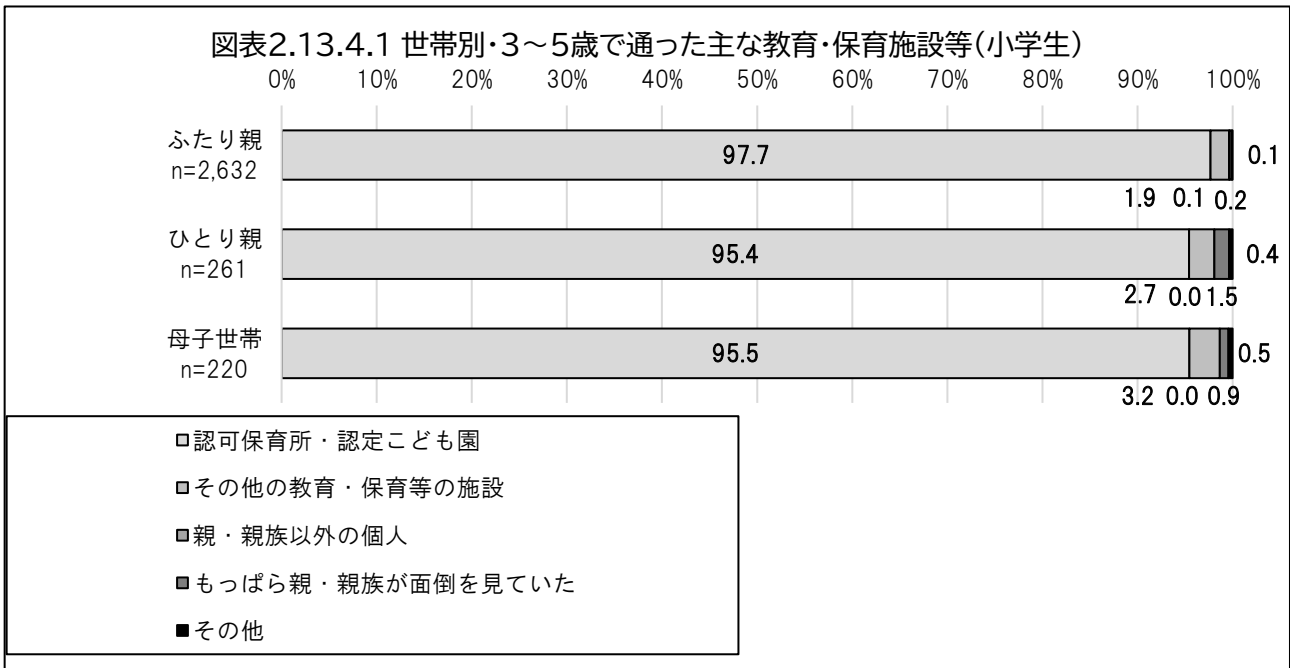


図表2.13.3.2 等価世帯収入別・3～5歳で通った主な教育・保育施設等(中学生)[県調査結果]

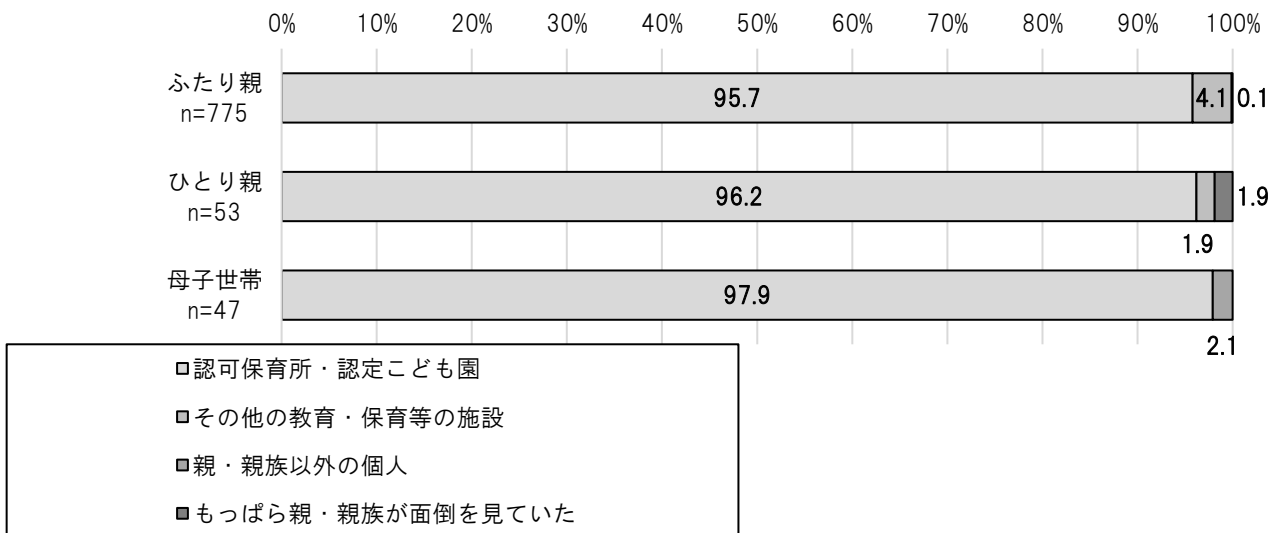


(4)世帯別・保護者[小学生] (問 13. 子どもが3～5歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯でも「認可保育所・認定こども園」が97.7%、95.4%、95.5%と最も高くなっています。

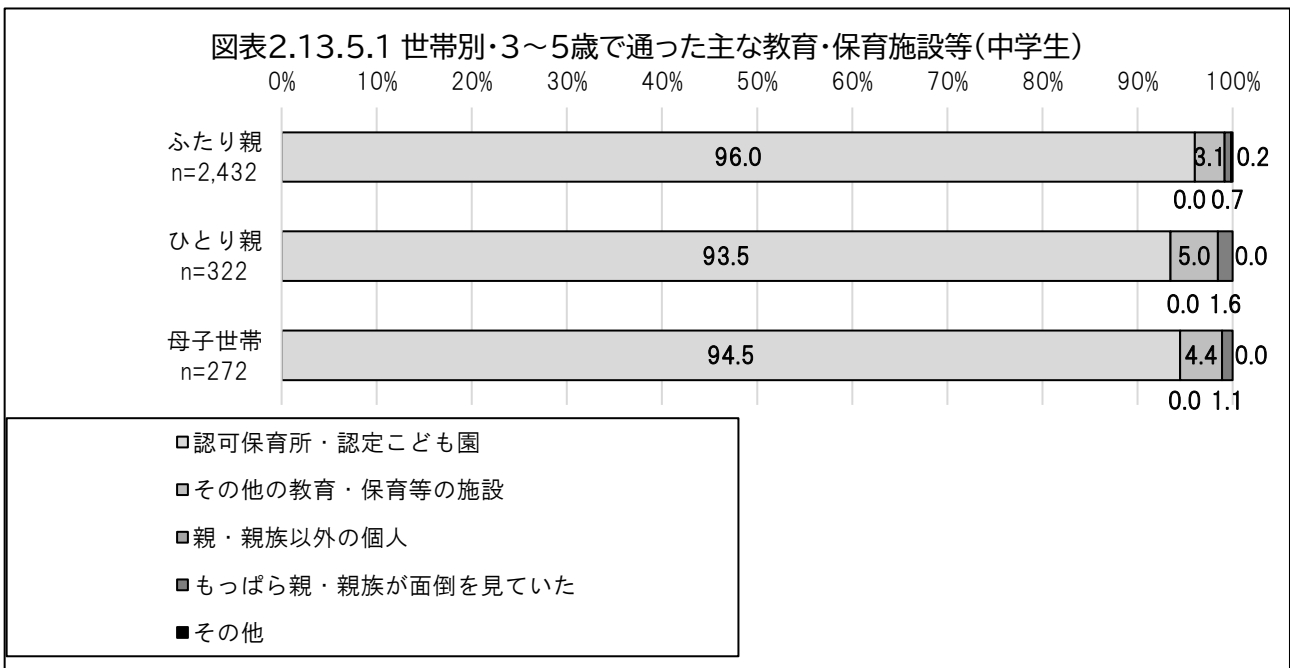


図表2.13.4.2 世帯別・3～5歳で通った主な教育・保育施設等(小学生)[県調査結果]

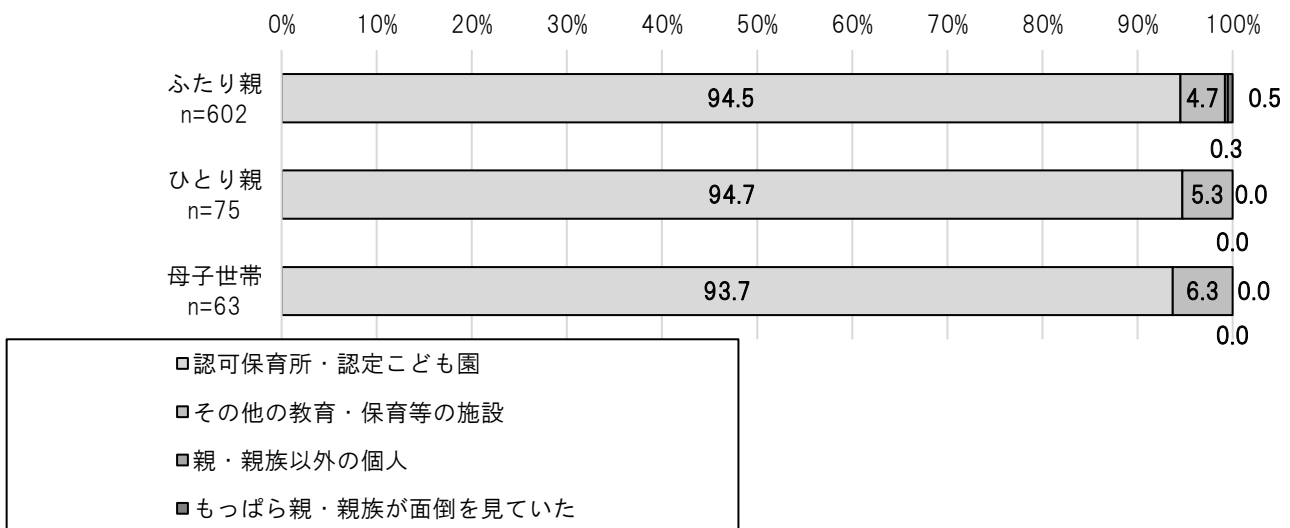


(5)世帯別・保護者[中学生] (問 13. 子どもが3～5歳で通っていた教育・保育施設等)

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯でも「認可保育所・認定こども園」が96.0%、93.5%、94.5%と最も高くなっています。



図表2.13.5.2 世帯別・3～5歳で通った主な教育・保育施設等(中学生)[県調査結果]

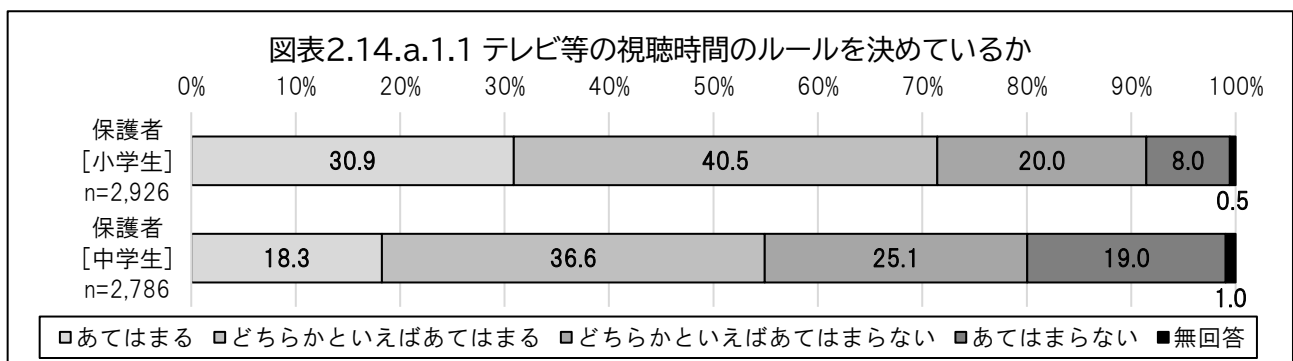


問14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

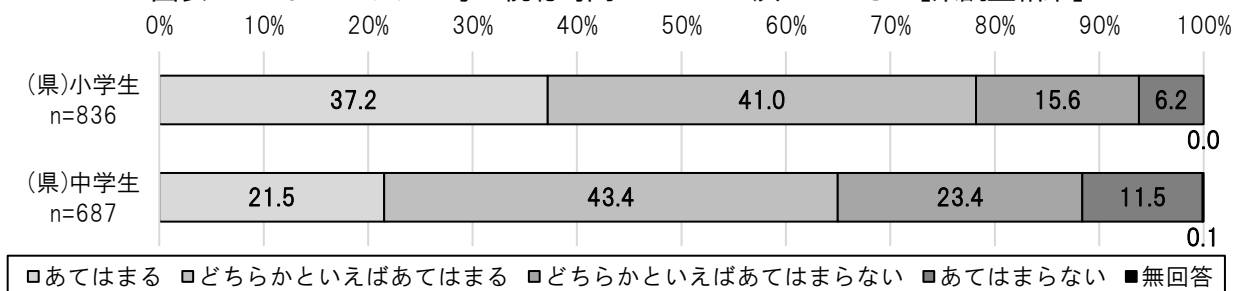
(1)全体

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールについて決めているかについて、小学生・中学生ともに、「どちらかといえばあてはまる」が40.5%、36.6%と最も高く、次いで小学生では「あてはまる」が30.9%、中学生では「どちらかといえばあてはまらない」が25.1%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、小学生では71.4%、中学生では54.9%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない □あてはまらない ■無回答

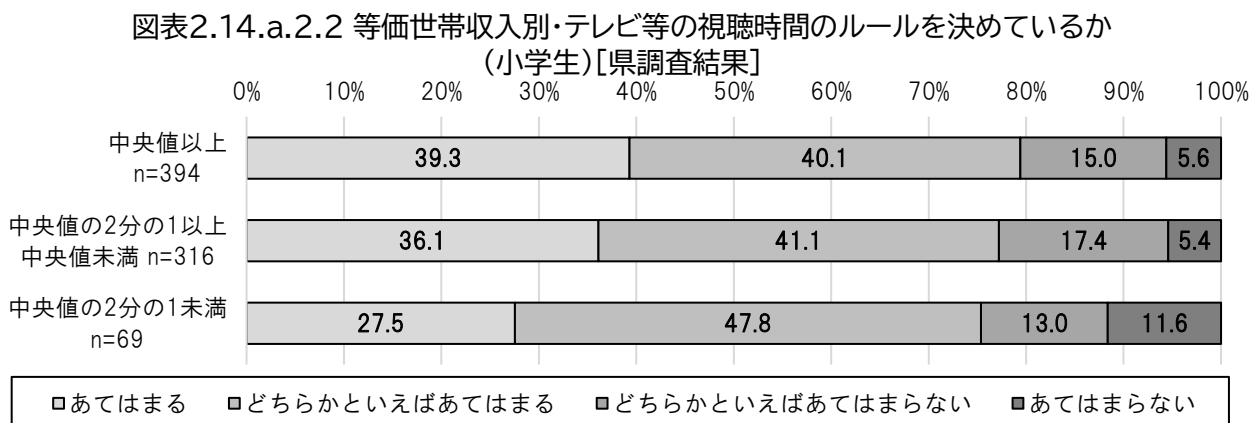
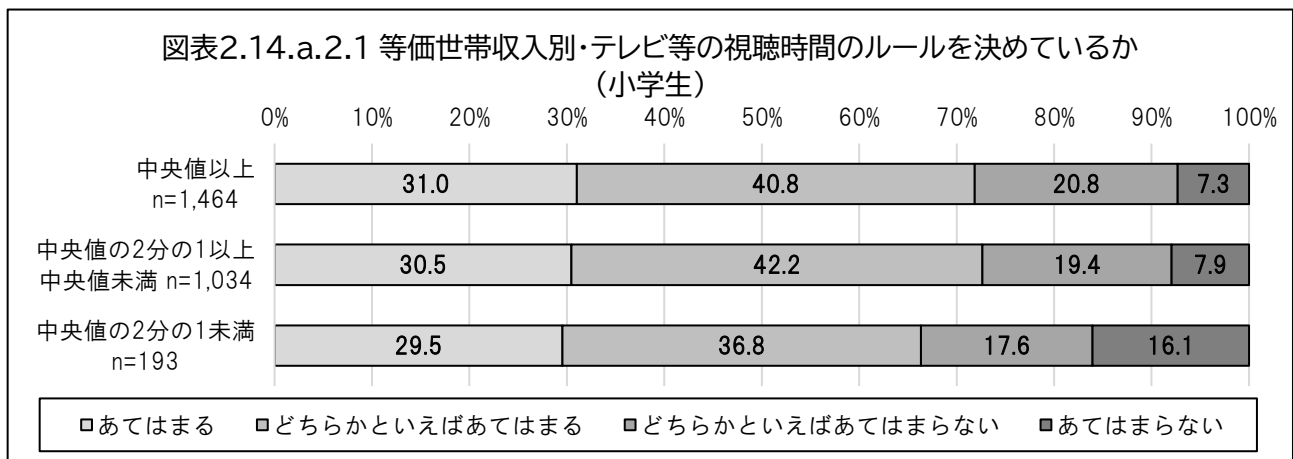
図表2.14.a.1.2 テレビ等の視聴時間のルールを決めているか[県調査結果]



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない □あてはまらない ■無回答

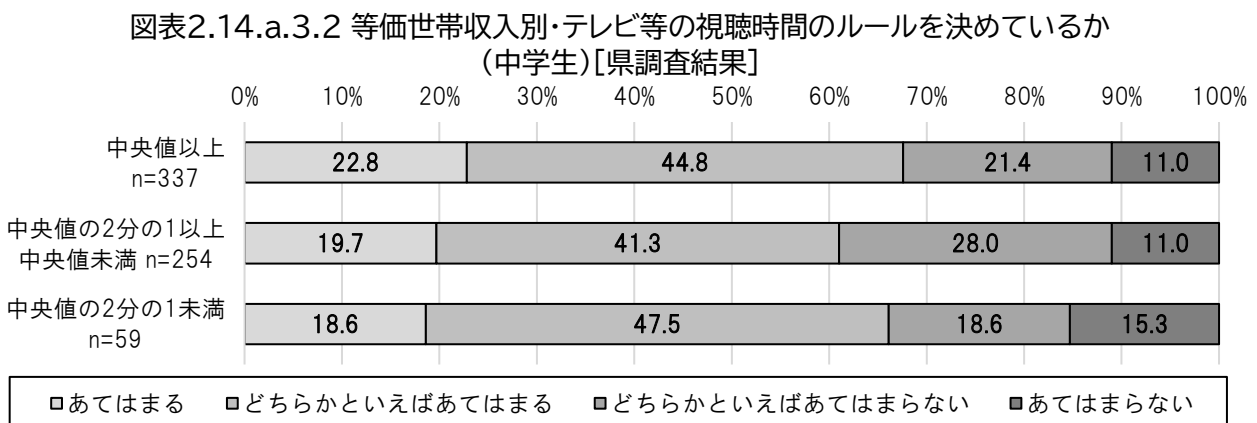
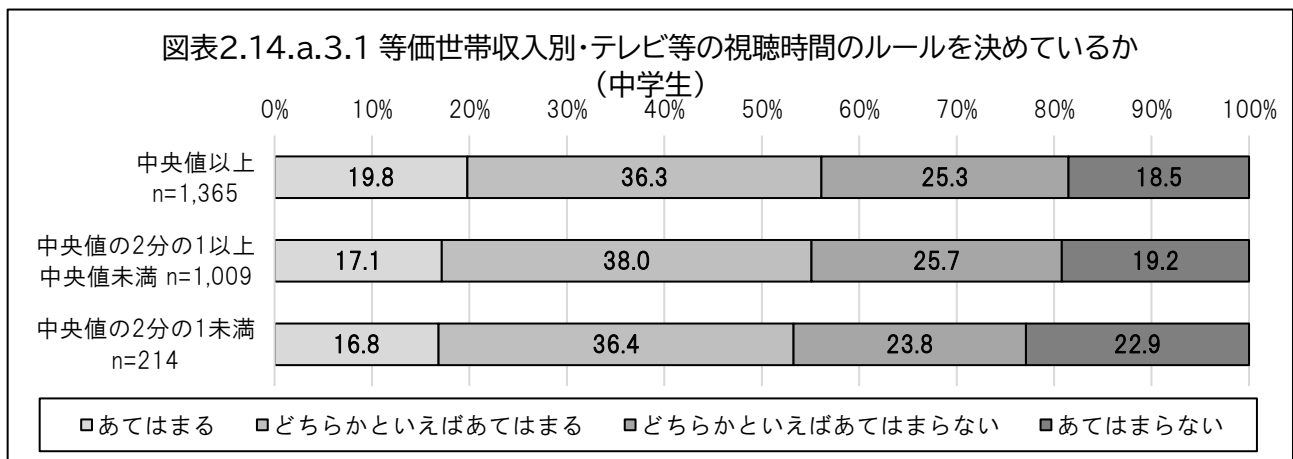
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 14. a テレビなどの視聴時間等のルールについて)

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールについて決めているかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「どちらかといえばあてはまる」が40.8%、42.2%、36.8%と最も高く、次いで「あてはまる」が31.0%、30.5%、29.5%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ71.8%、72.7%、66.3%となっています。



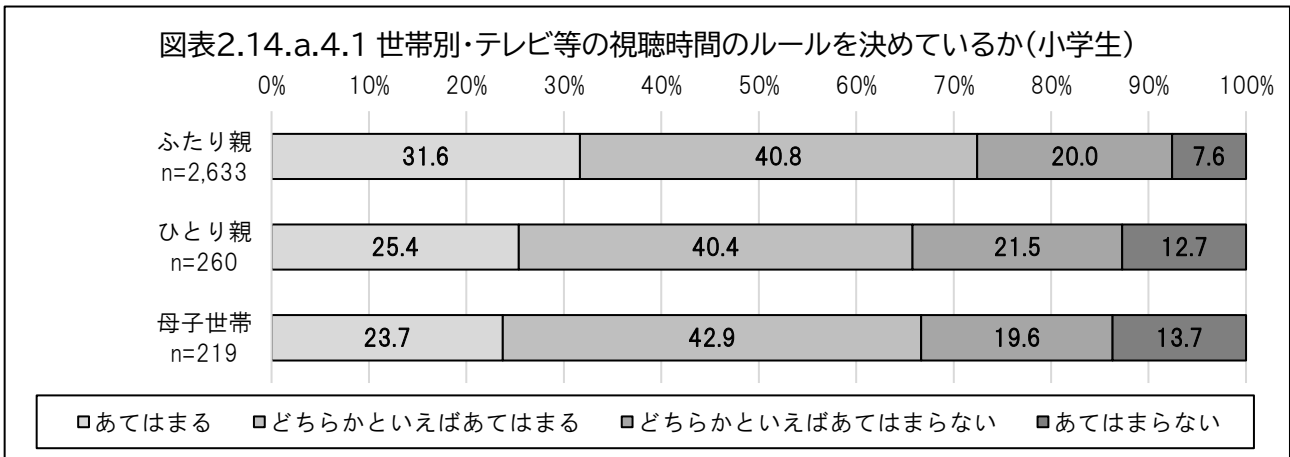
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 14. a テレビなどの視聴時間等のルールについて)

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールについて決めているかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「どちらかといえばあてはまる」が36.3%、38.0%、36.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が25.3%、25.7%、23.8%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ56.1%、55.1%、53.2%となっています。



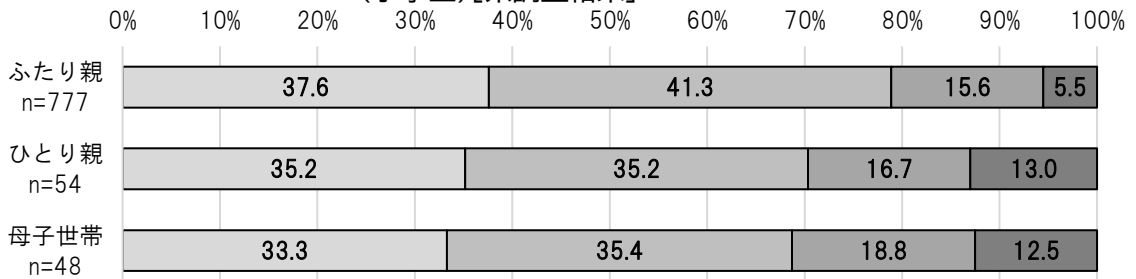
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 14. a テレビなどの視聴時間等のルールについて)

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールについて決めているかについて、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「どちらかといえばあてはまる」が40.8%、40.4%、42.9%と最も高く、次いで「あてはまる」が31.6%、25.4%、23.7%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ72.4%、65.8%、66.6%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

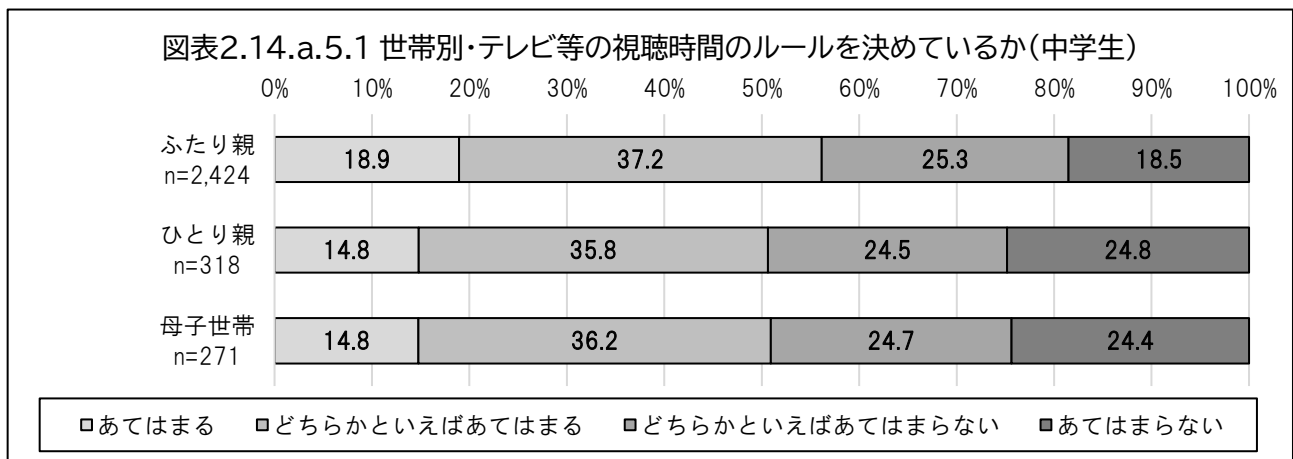
図表2.14.a.4.2 世帯別・テレビ等の視聴時間のルールを決めているか(小学生)[県調査結果]



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

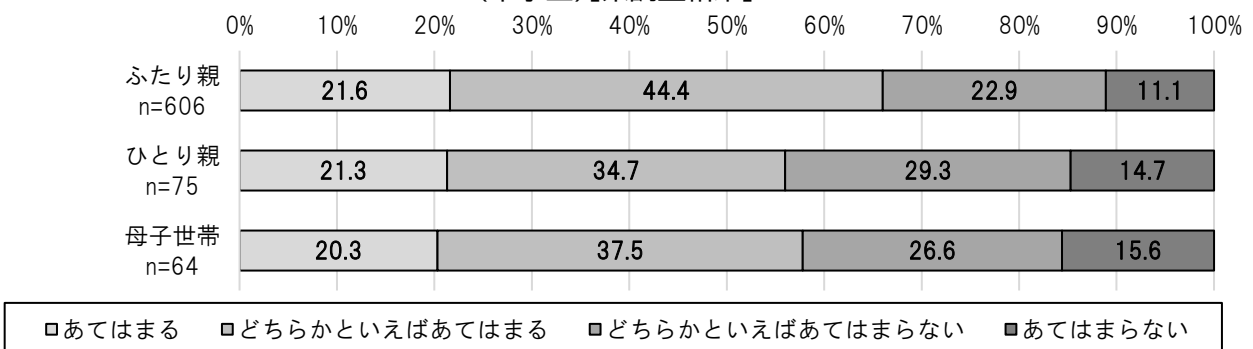
(5)世帯別・保護者[中学生] (問 14. a テレビなどの視聴時間等のルールについて)

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールについて決めているかについて、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「どちらかといえばあてはまる」が37.2%、35.8%、36.2%と最も高く、次いでふたり親世帯および母子世帯では、「どちらかといえばあてはまらない」が、25.3%、24.7%、ひとり親世帯では、「あてはまらない」が24.8%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ56.1%、50.6%、51.0%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

図表2.14.a.5.2 世帯別・テレビ等の視聴時間のルールを決めているか(中学生)[県調査結果]

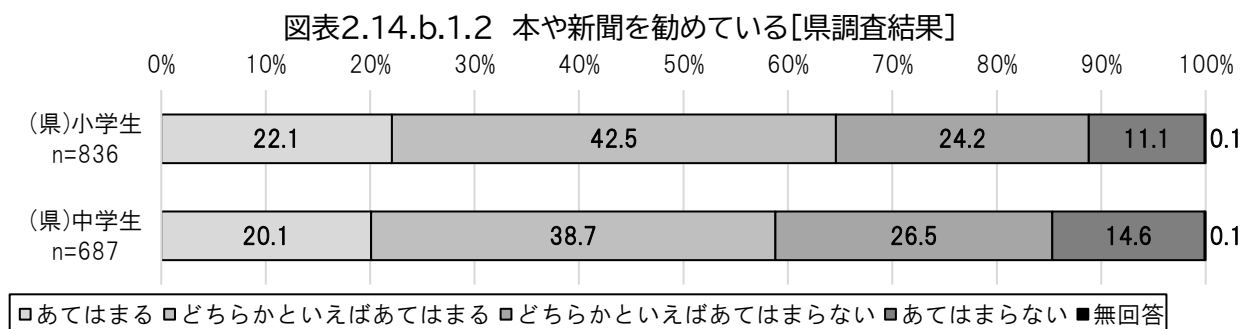
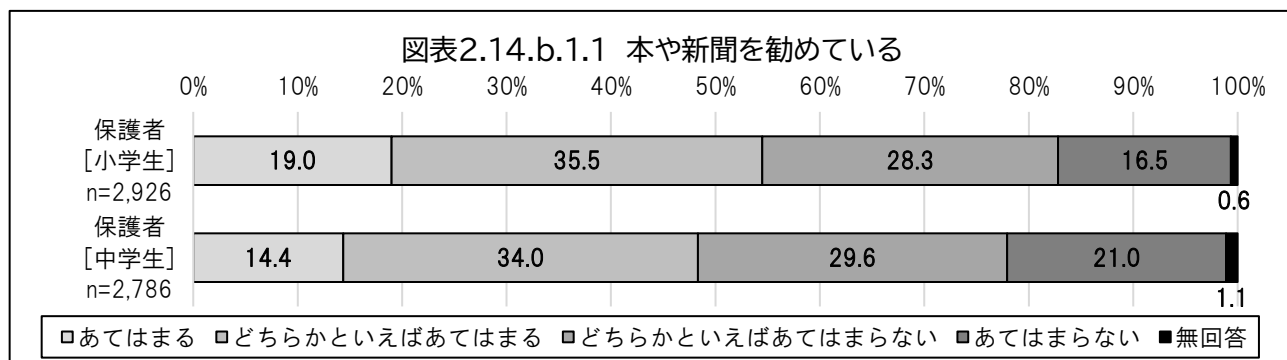


□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

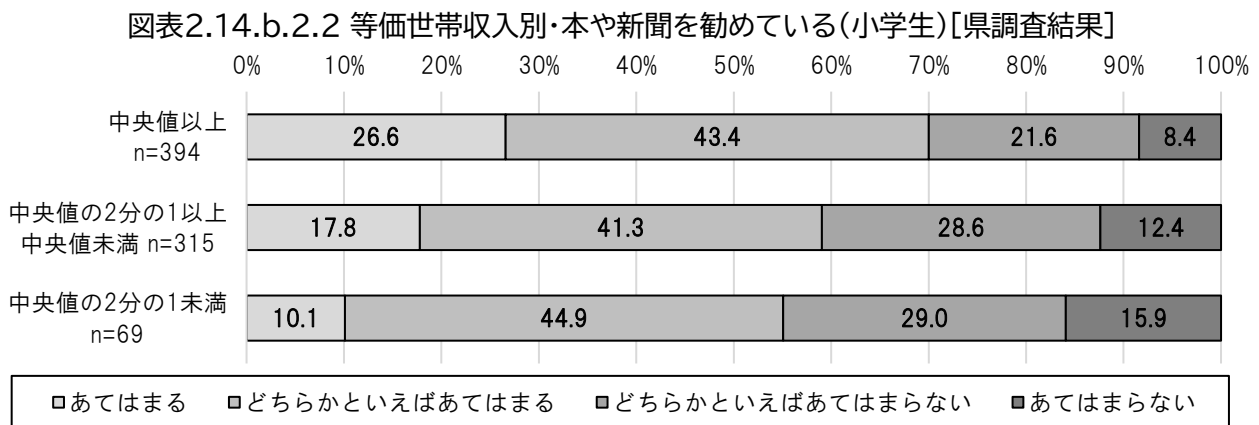
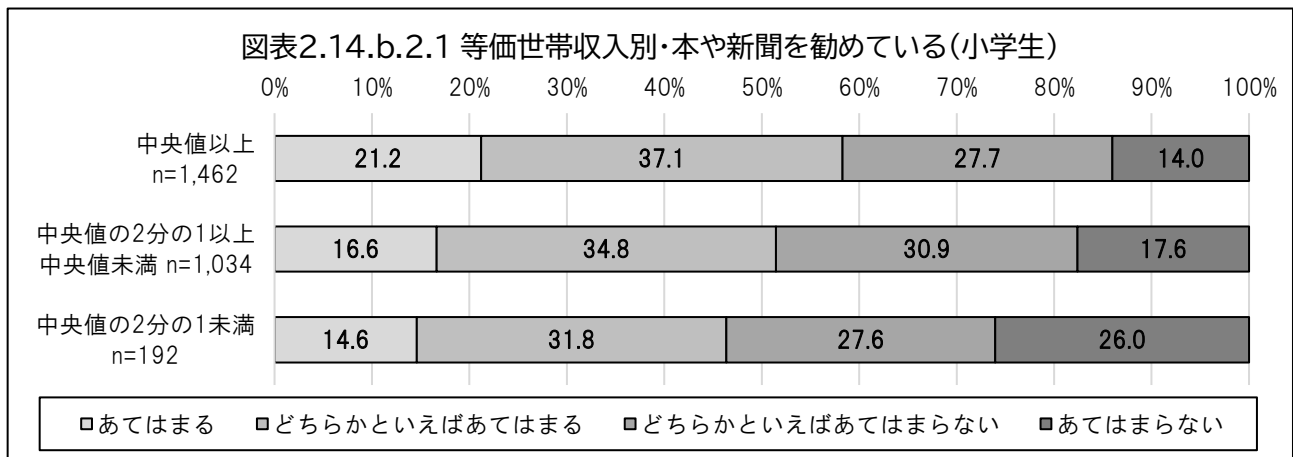
(1)全体

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、小学生・中学生ともに、「どちらかといえばあてはまる」が35.5%、34.0%、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が28.3%、29.6%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、小学生では54.5%、中学生では48.4%となっています。



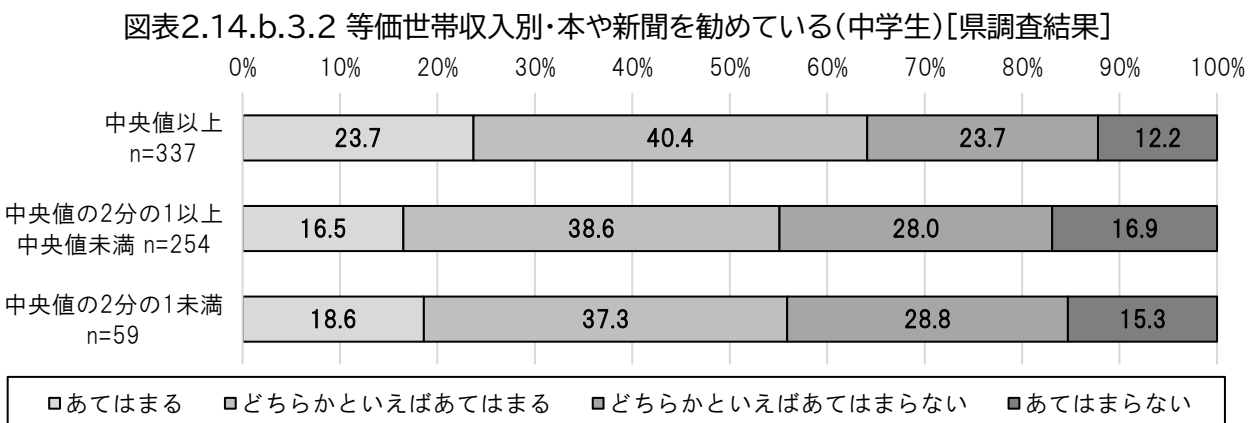
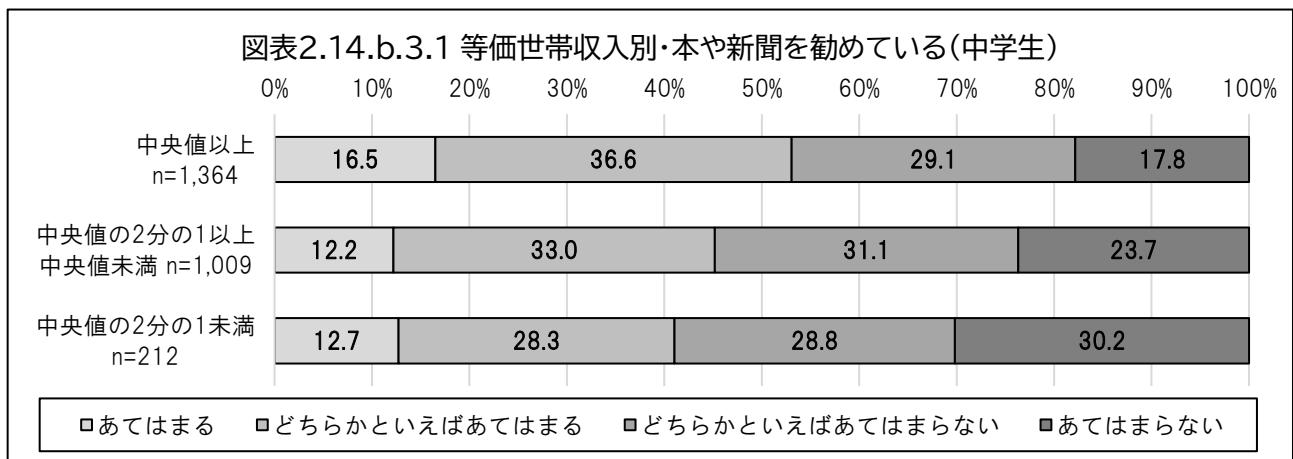
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 14. b 子どもに本や新聞を勧めている)

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「どちらかといえばあてはまる」が37.1%、34.8%、31.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が27.7%、30.9%、27.6%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ58.3%、51.4%、46.4%となっています。



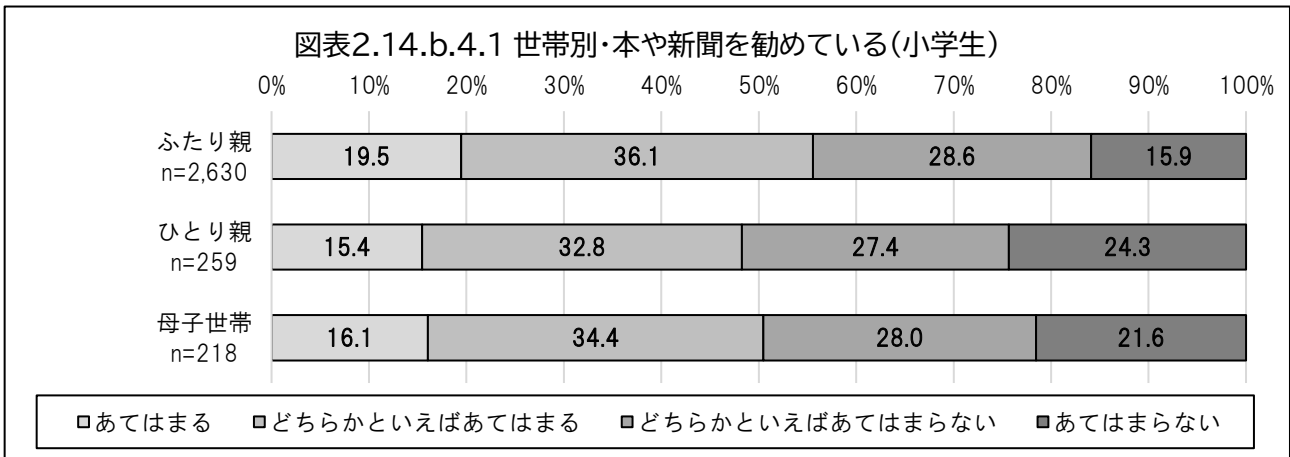
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 14. b 子どもに本や新聞を勧めている)

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準において「どちらかといえばあてはまる」が36.6%、33.0%、「中央値の2分の1未満」の水準では「あてはまらない」が30.2%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ53.1%、45.2%、41.0%となっています。



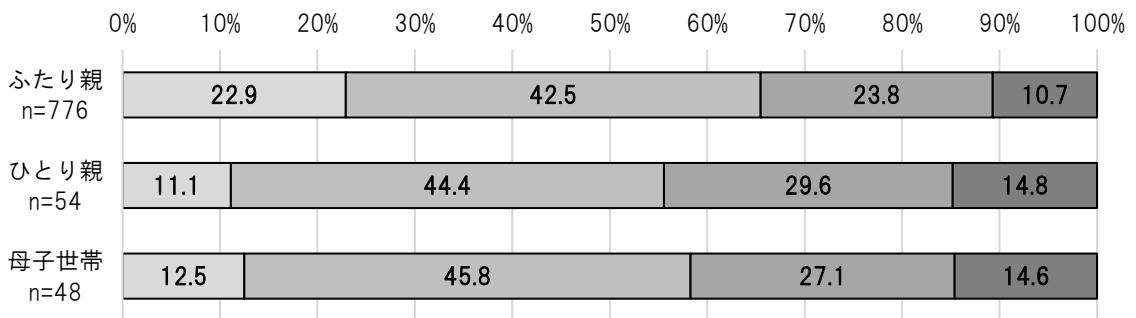
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 14. b 子どもに本や新聞を勧めている)

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「どちらかといえばあてはまる」が36.1%、32.8%、34.4%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ55.6%、48.2%、50.5%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない □あてはまらない

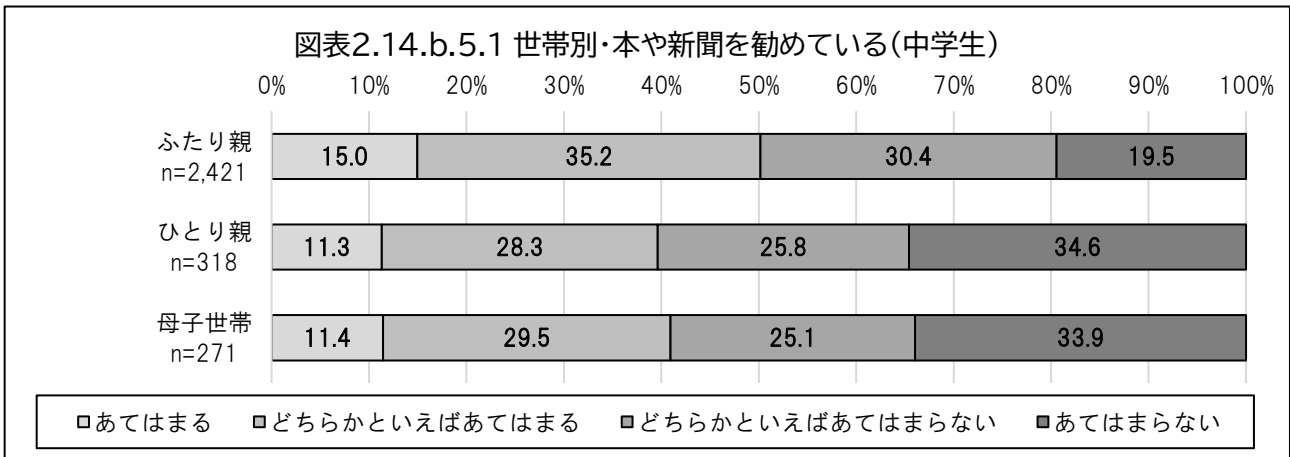
図表2.14.b.4.2 世帯別・本や新聞を勧めている(小学生)[県調査結果]



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない □あてはまらない

(5)世帯別・保護者[中学生] (問 14. b 子どもに本や新聞を勧めている)

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯においては「どちらかといえばあてはまる」が35.2%、ひとり親世帯および母子世帯においては、「あてはまらない」が34.6%、33.9%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ50.2%、39.6%、40.9%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

図表2.14.b.5.2 世帯別・本や新聞を勧めている(中学生)[県調査結果]

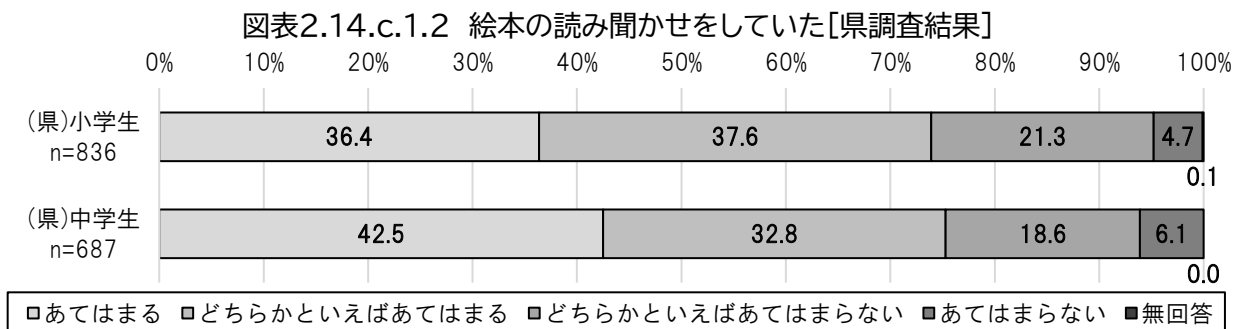
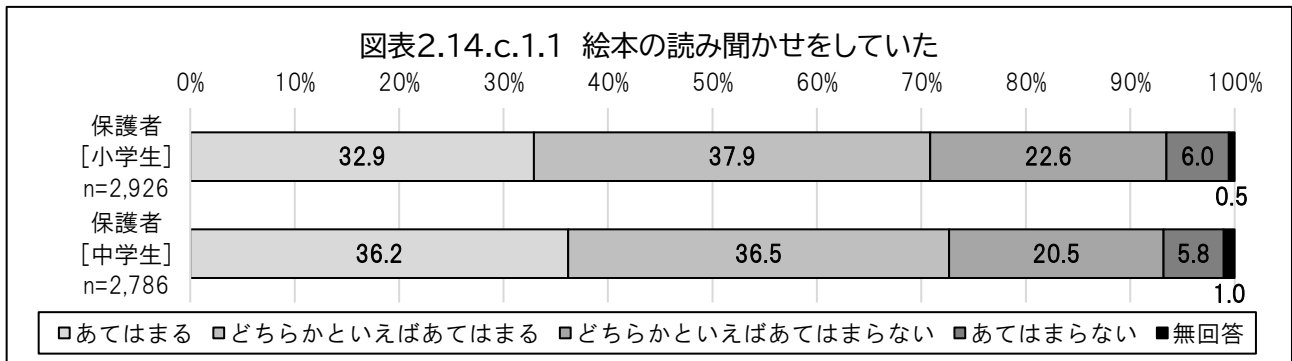


□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

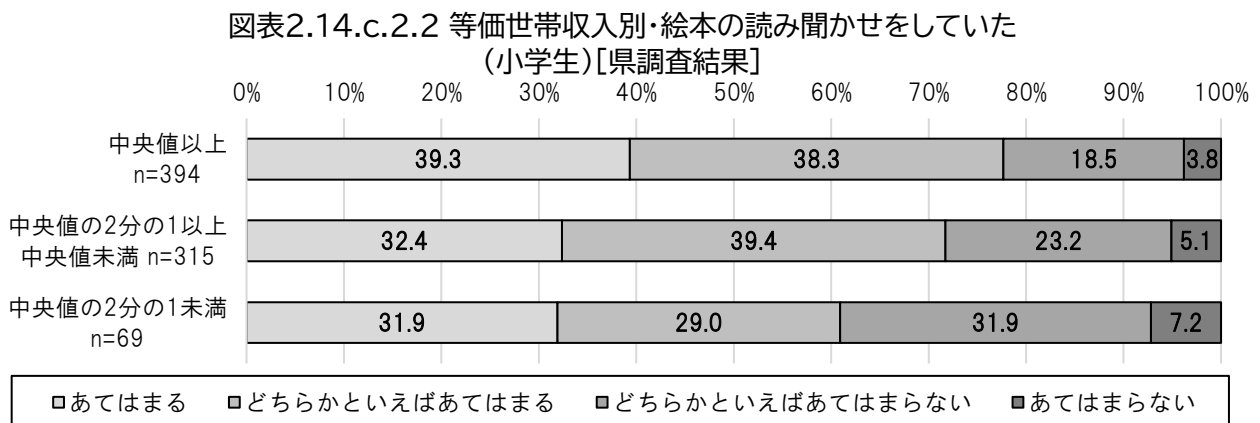
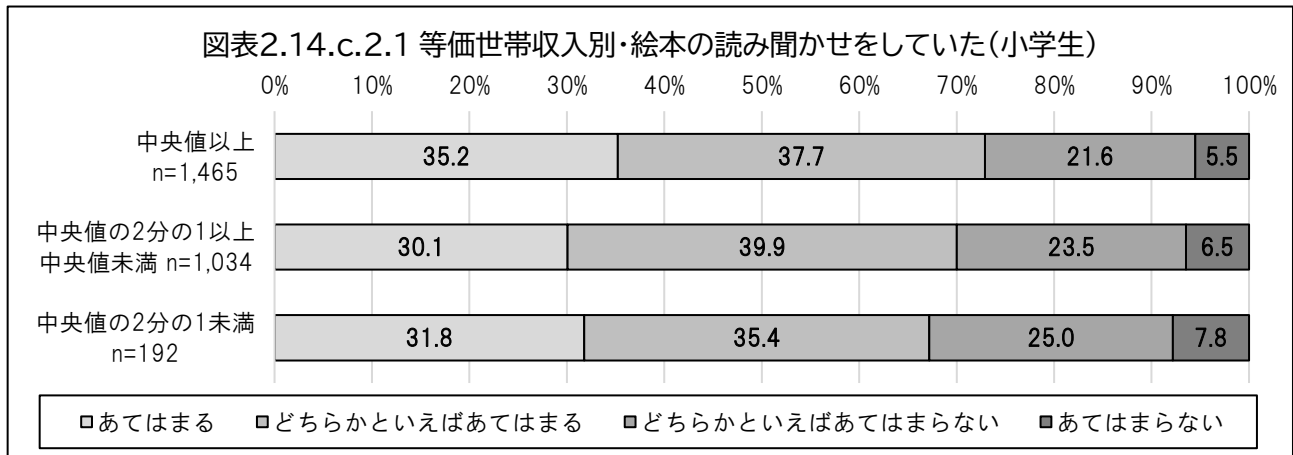
(1)全体

子どもに絵本の読み聞かせをしていたかについて、小学生・中学生ともに、「どちらかといえばあてはまる」がそれぞれ37.9%、36.5%、次いで「あてはまる」がそれぞれ32.9%、36.2%、次いで「どちらかといえばあてはまらない」がそれぞれ22.6%、20.5%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、小学生では70.8%、中学生では72.7%となっています。



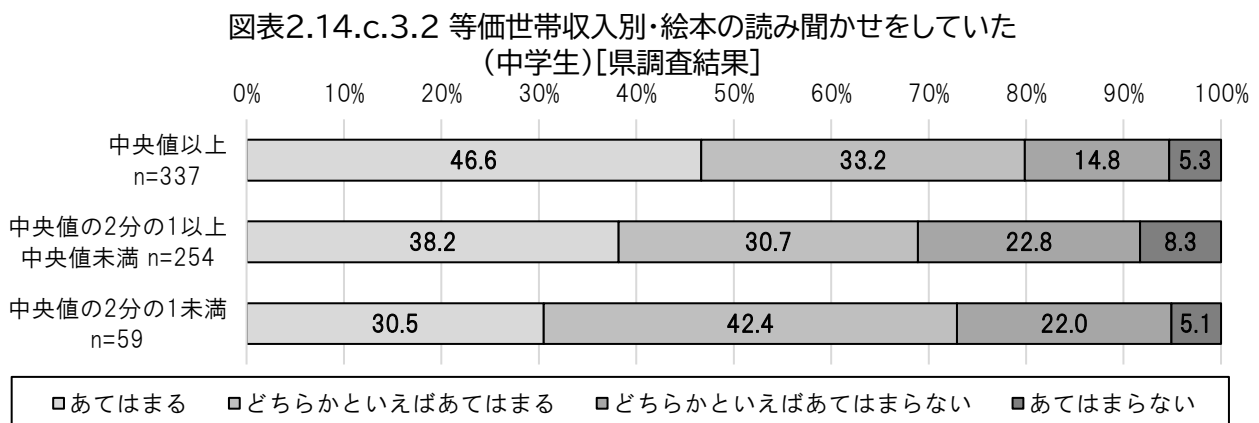
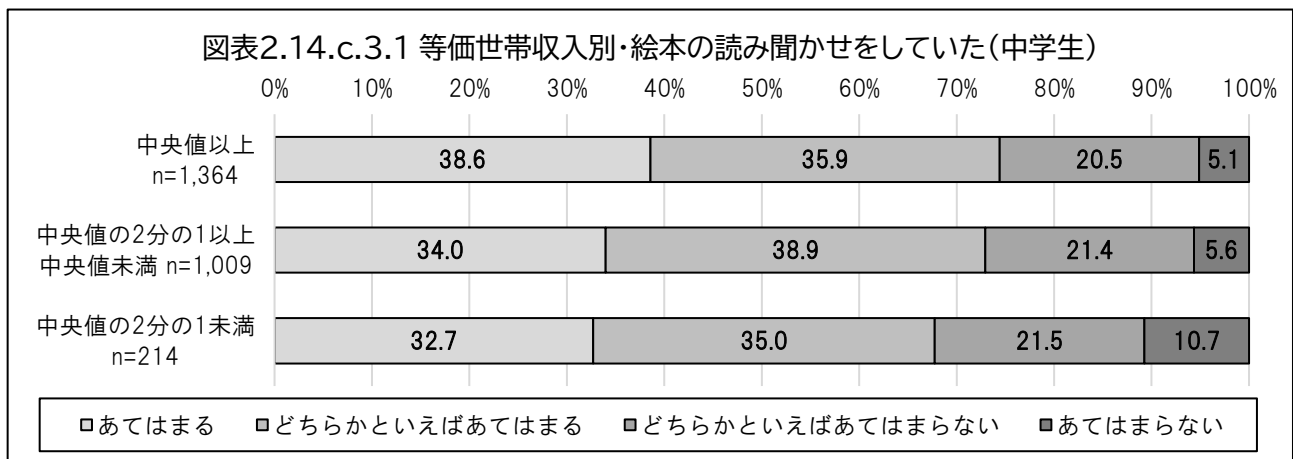
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 14.c 子どもに絵本を読み聞かせていた)

子どもに絵本の読み聞かせをしていたかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「どちらかといえばあてはまる」が37.7%、39.9%、35.4%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ72.9%、70.0%、67.2%となっています。



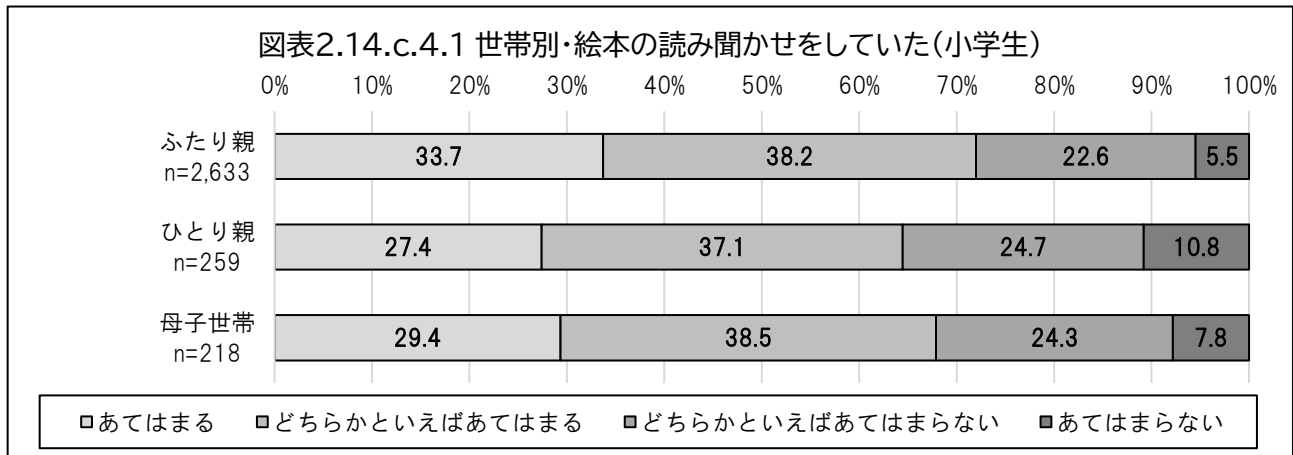
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 14.c 子どもに絵本を読み聞かせていた)

子どもに絵本の読み聞かせをしていたかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」では「あてはまる」が38.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」および「中央値の2分の1未満」の水準においては「どちらかといえばあてはまる」が38.9%、35.0%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ74.5%、72.9%、67.7%となっています。



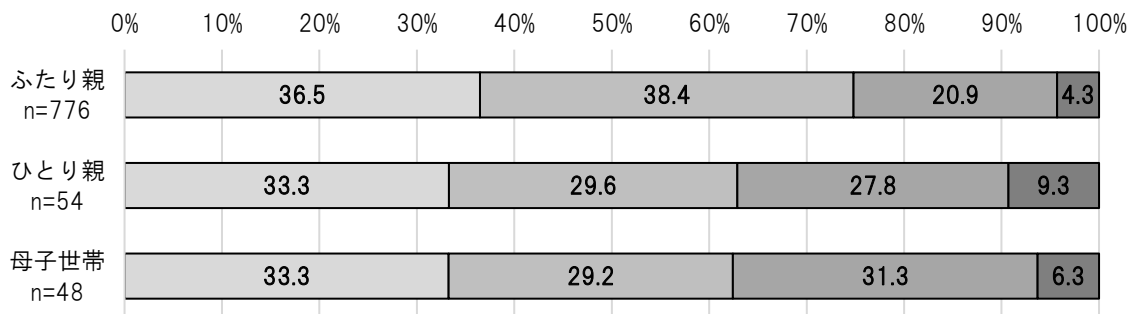
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 14.c 子どもに絵本を読み聞かせていた)

子どもに絵本の読み聞かせをしていたかについて、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「どちらかといえばあてはまる」が38.2%、37.1%、38.5%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ71.9%、64.5%、67.9%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

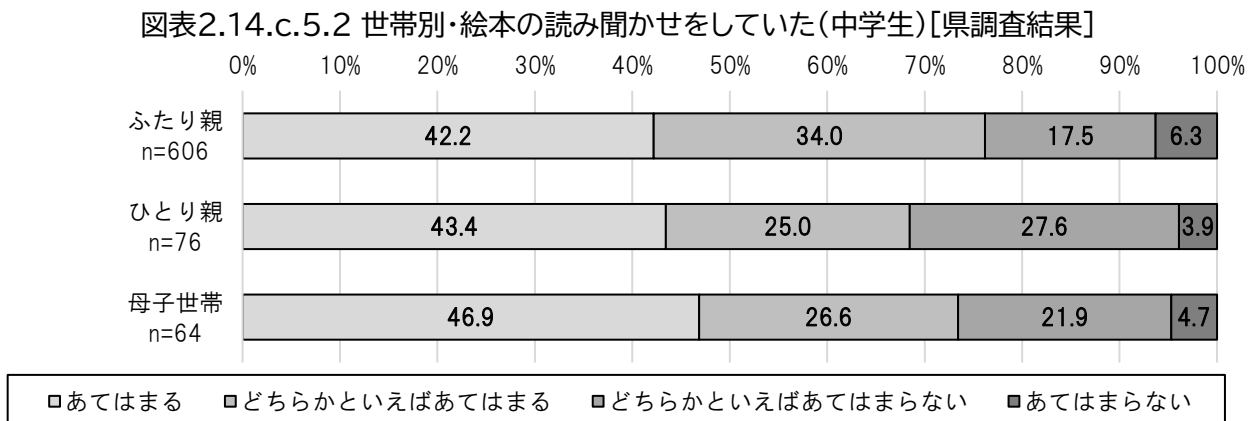
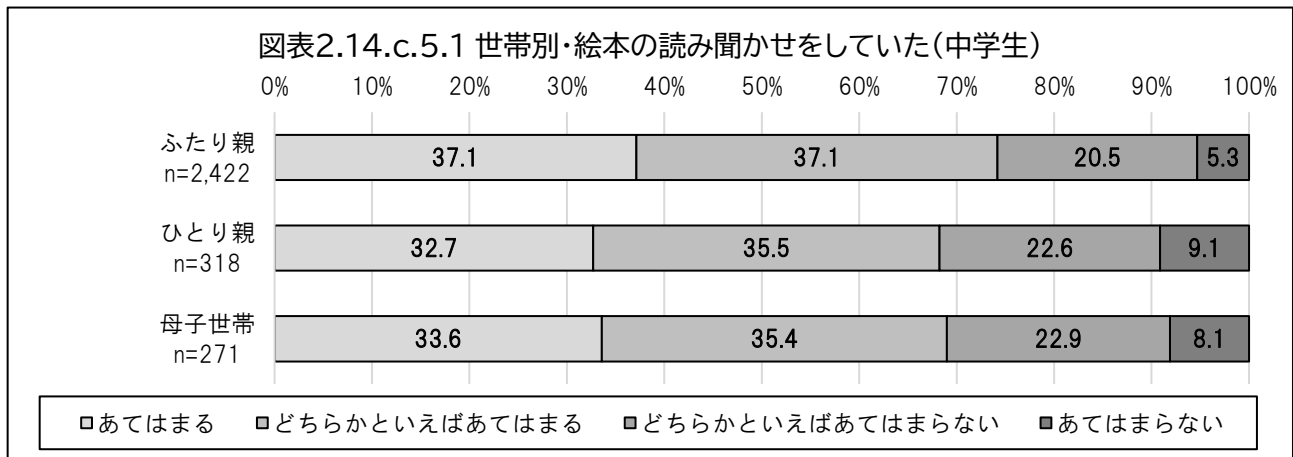
図表2.14.c.4.2 世帯別・絵本の読み聞かせをしていた(小学生)[県調査結果]



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

(5)世帯別・保護者[中学生] (問 14.c 子どもに絵本を読み聞かせていた)

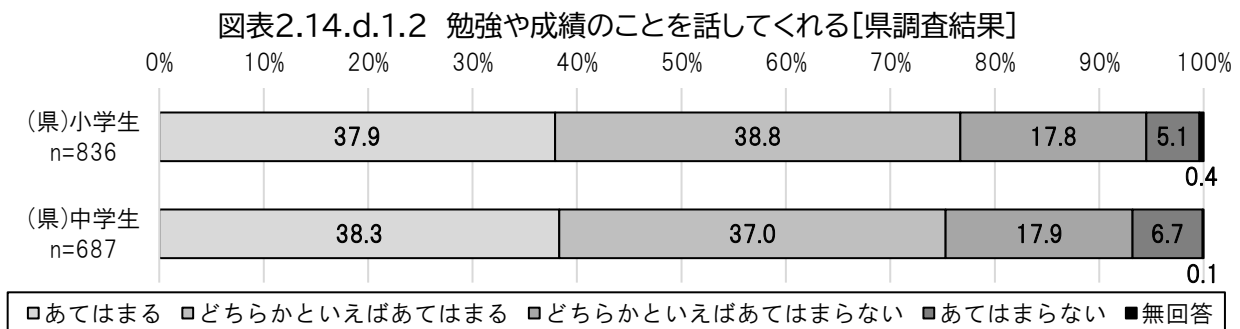
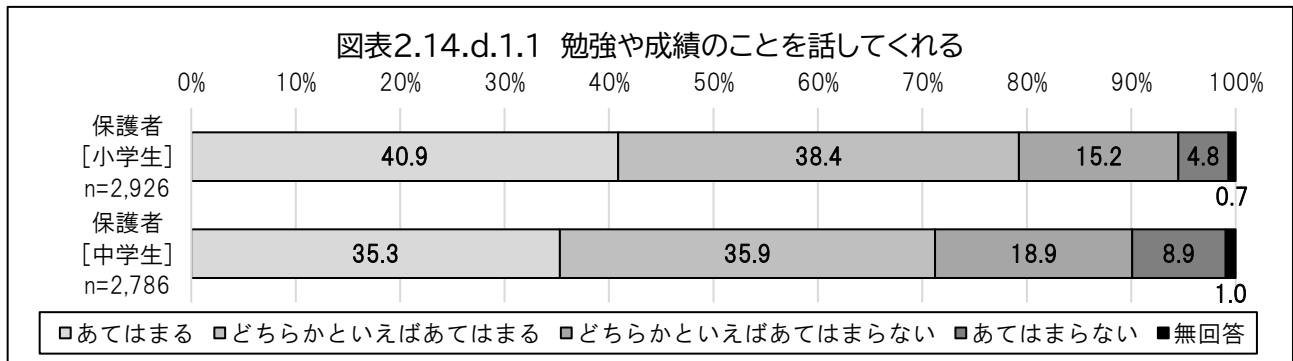
子どもに絵本の読み聞かせをしていたかについて、世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯において「あてはまる」および「どちらかといえばあてはまる」がともに37.1%、ひとり親世帯および母子世帯においては「どちらかといえばあてはまる」が35.5%、35.4%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ74.2%、68.2%、69.0%となっています。



d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

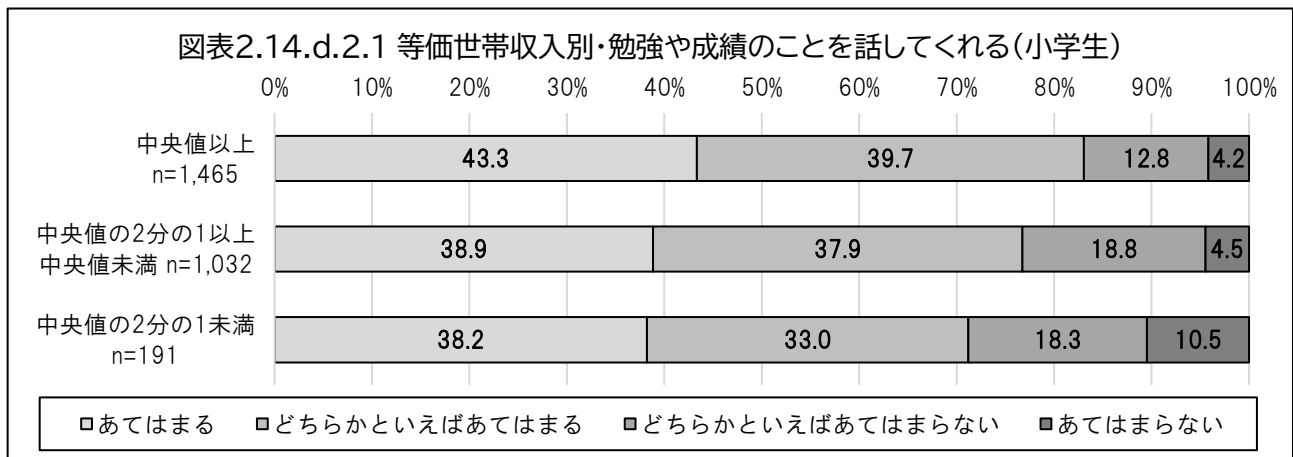
(1)全体

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、小学生では、「あてはまる」が40.9%、「どちらかといえばあてはまる」が38.4%、中学生では、「どちらかといえばあてはまる」が35.9%、「あてはまる」が35.3%となっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、小学生では79.3%、中学生では71.2%となっています。



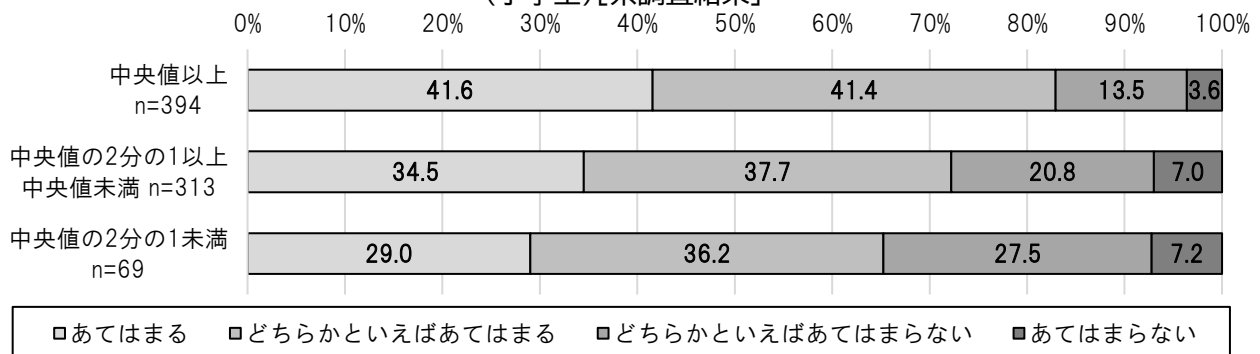
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 14. d 勉強や成績について話してくれる)

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「あてはまる」が43.3%、38.9%、38.2%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ83.0%、76.8%、71.2%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

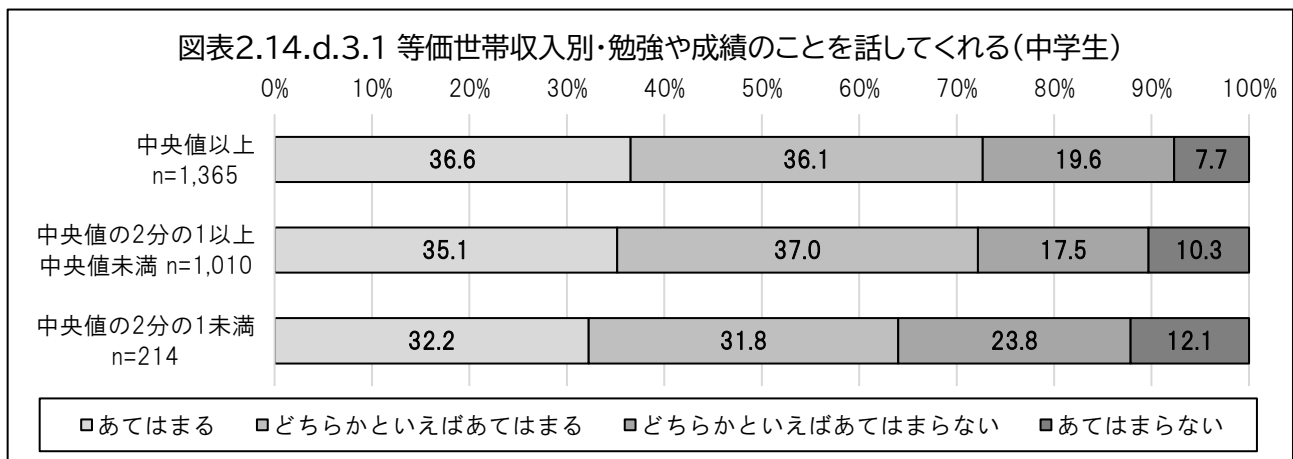
図表2.14.d.2.2 等価世帯収入別勉強や成績のことを話してくれる(小学生)[県調査結果]



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

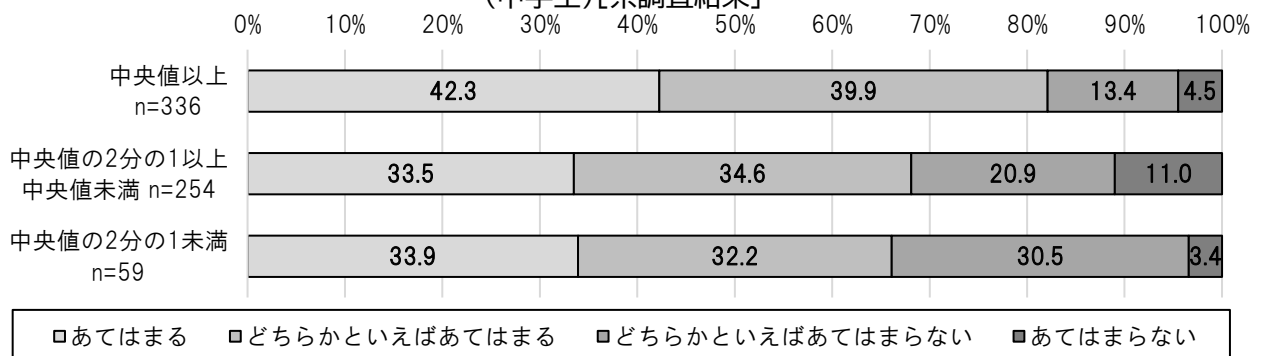
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 14. d 勉強や成績について話してくれる)

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1未満」の水準においては「あてはまる」が36.6%、32.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「どちらかといえばあてはまる」が37.0%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ72.7%、72.1%、64.0%となっています。



□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

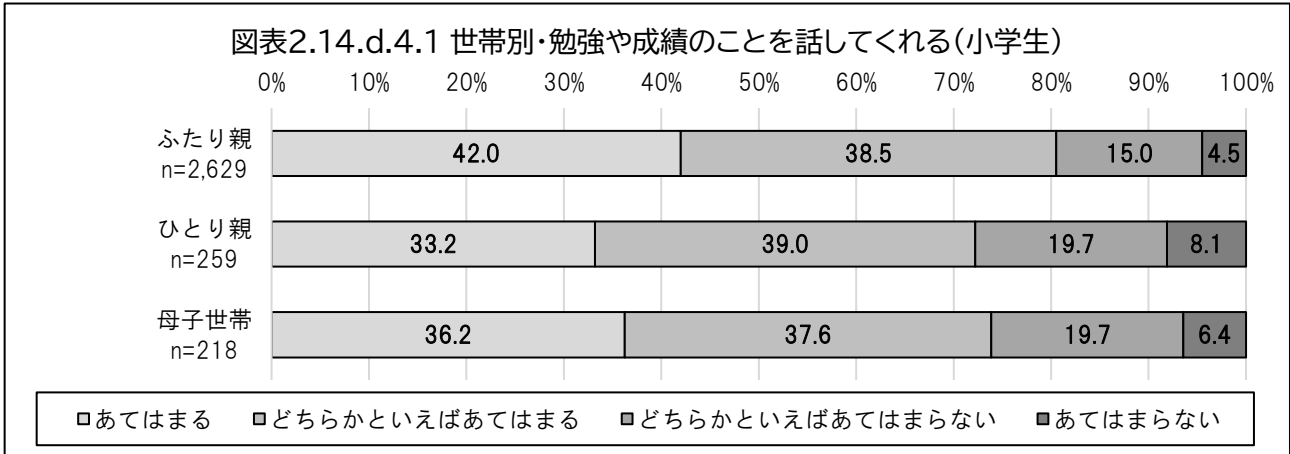
図表2.14.d.3.2 等価世帯収入別・勉強や成績のことを話してくれる
(中学生)[県調査結果]



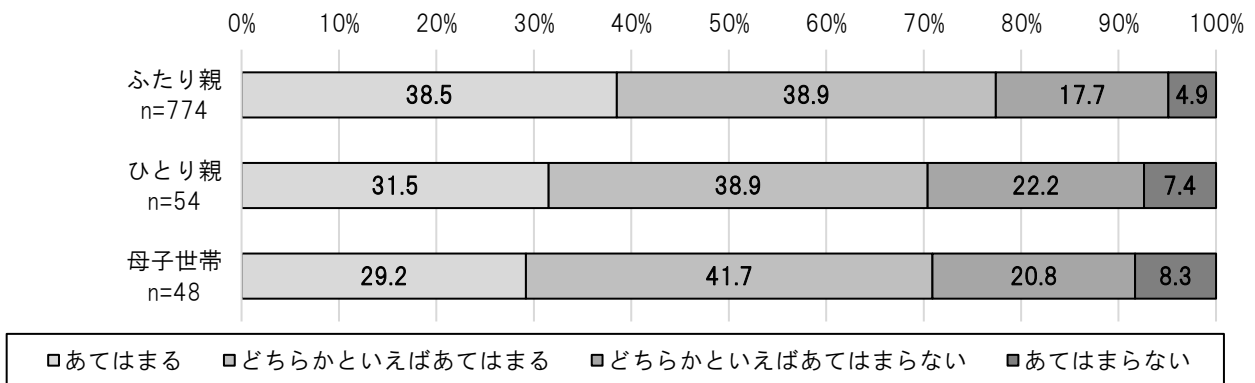
□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

(4)世帯別・保護者[小学生] (問 14. d 勉強や成績について話してくれる)

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯においては「あてはまる」が42.0%、ひとり親世帯および母子世帯では「どちらかといえばあてはまる」が39.0%、37.6%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ80.5%、72.2%、73.8%となっています。

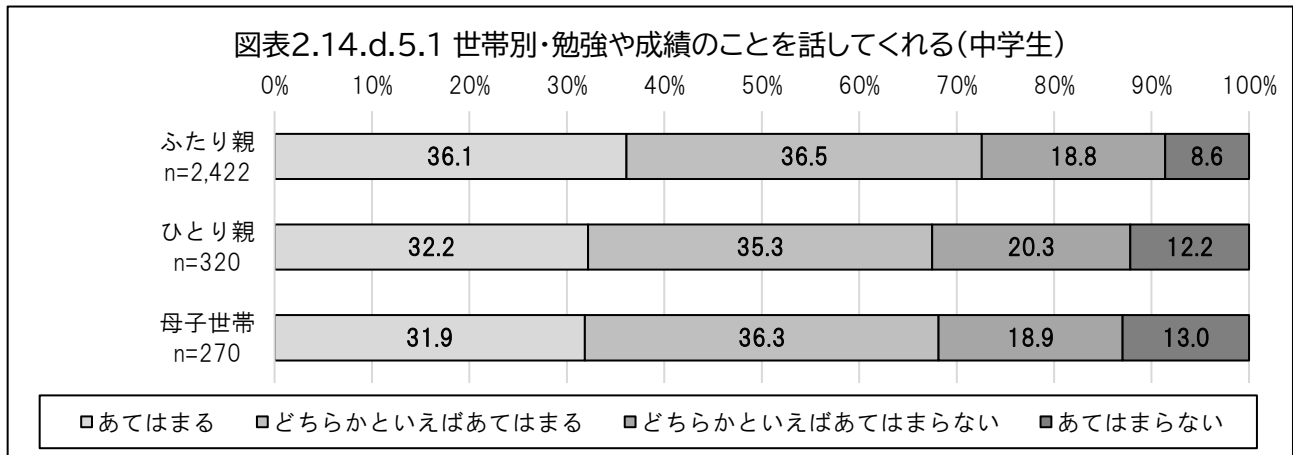


図表2.14.d.4.2 世帯別・勉強や成績のことを話してくれる(小学生)[県調査結果]

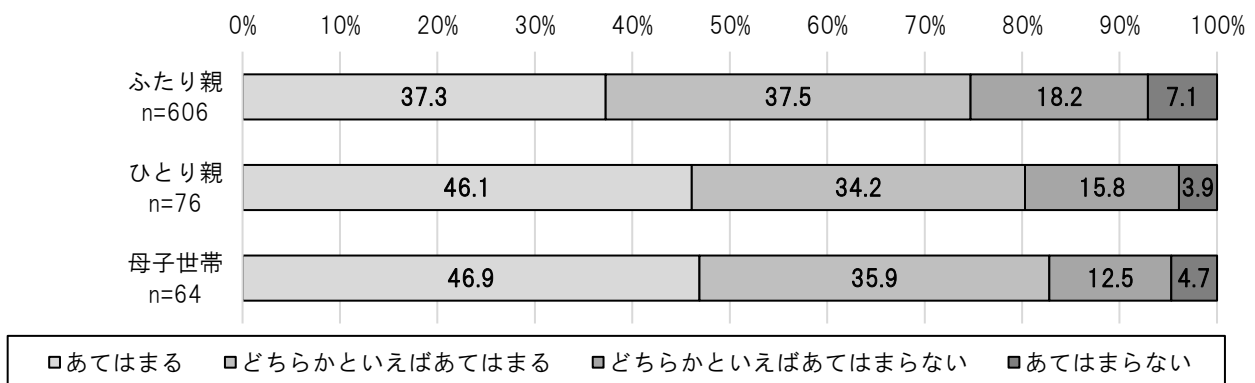


(5)世帯別・保護者[中学生] (問 14.d 勉強や成績について話してくれる)

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「どちらかといえばあてはまる」が36.5%、35.3%、36.3%と最も高くなっています。また、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は、それぞれ72.6%、67.5%、68.2%となっています。



図表2.14.d.5.2 世帯別・勉強や成績のことを話してくれる(中学生)[県調査結果]

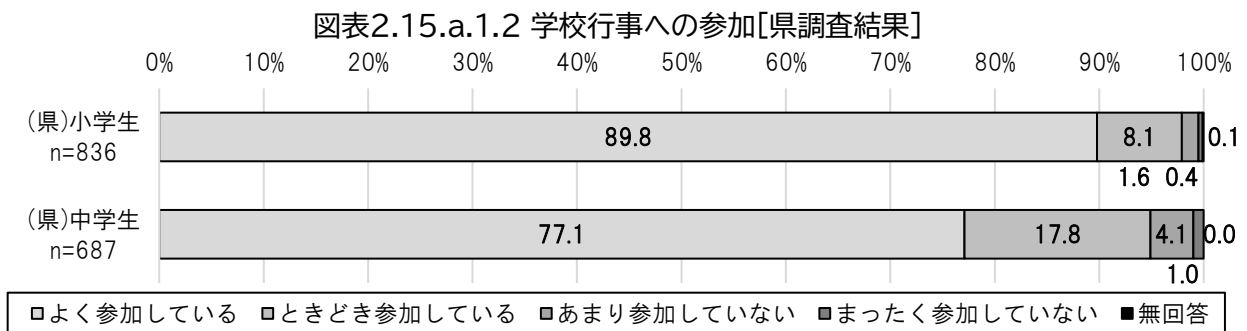
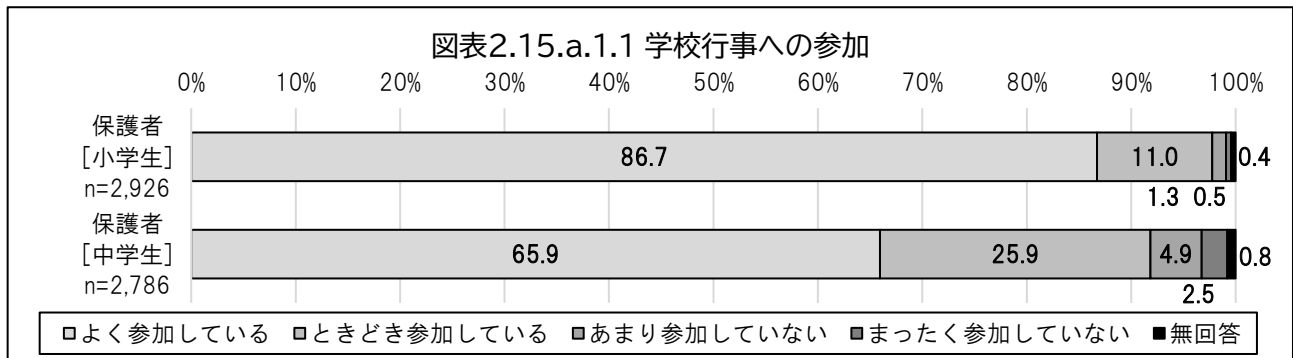


問15. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加

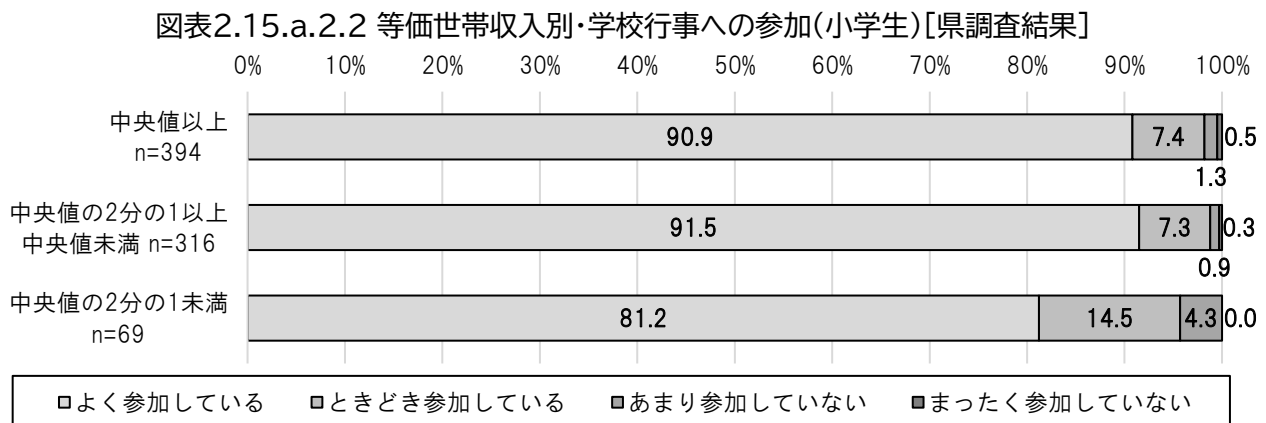
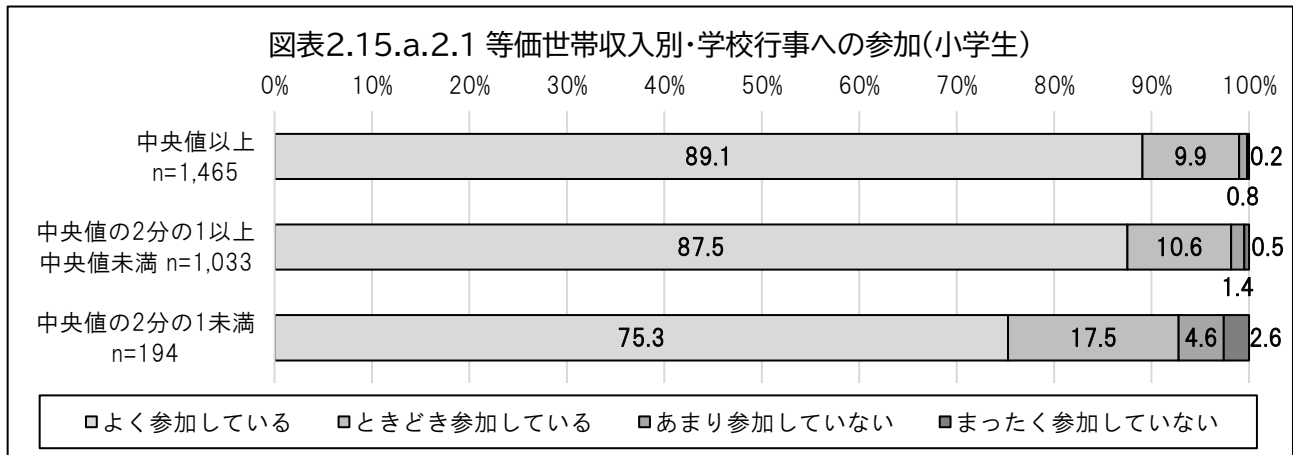
(1)全体

授業参観や運動会などの学校行事への参加について、小学生・中学生ともに、「よく参加している」が86.7%、65.9%と最も高く、次いで「ときどき参加している」が11.0%、25.9%となっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では97.7%、中学生では91.8%となっています。



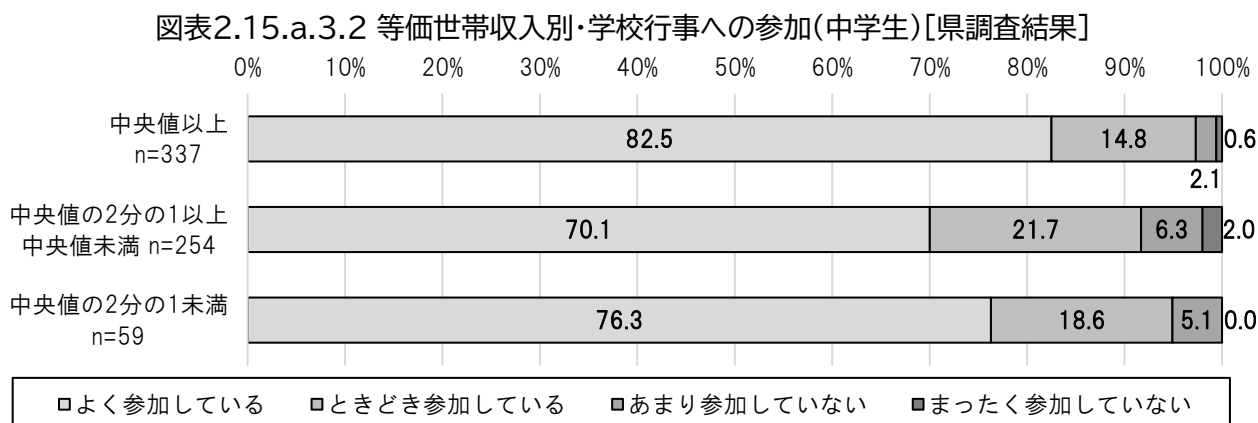
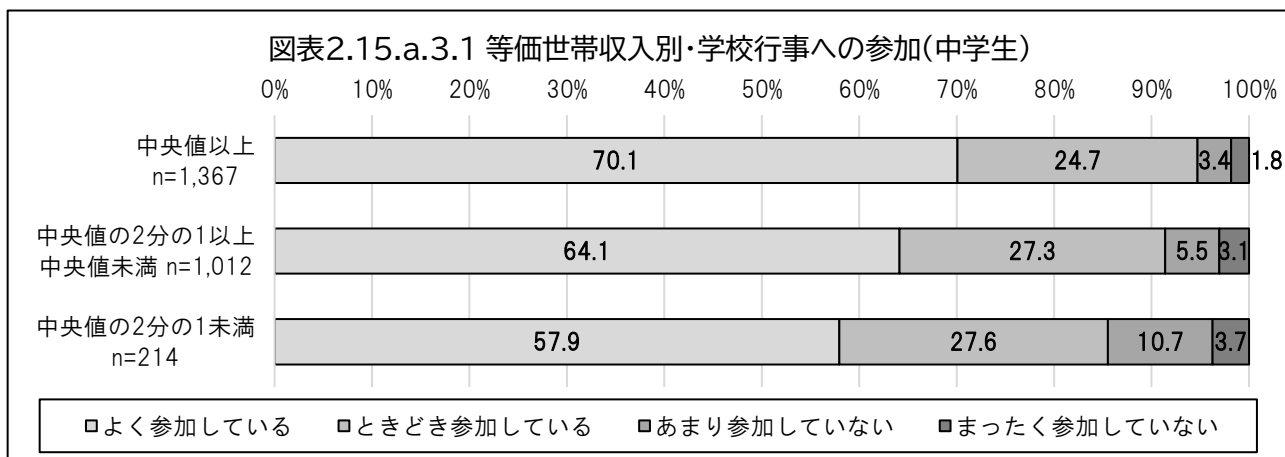
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 15.a 学校行事への参加)

授業参観や運動会などの学校行事への参加について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「よく参加している」が89.1%、87.5%、75.3%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ99.0%、98.1%、92.8%となっています。



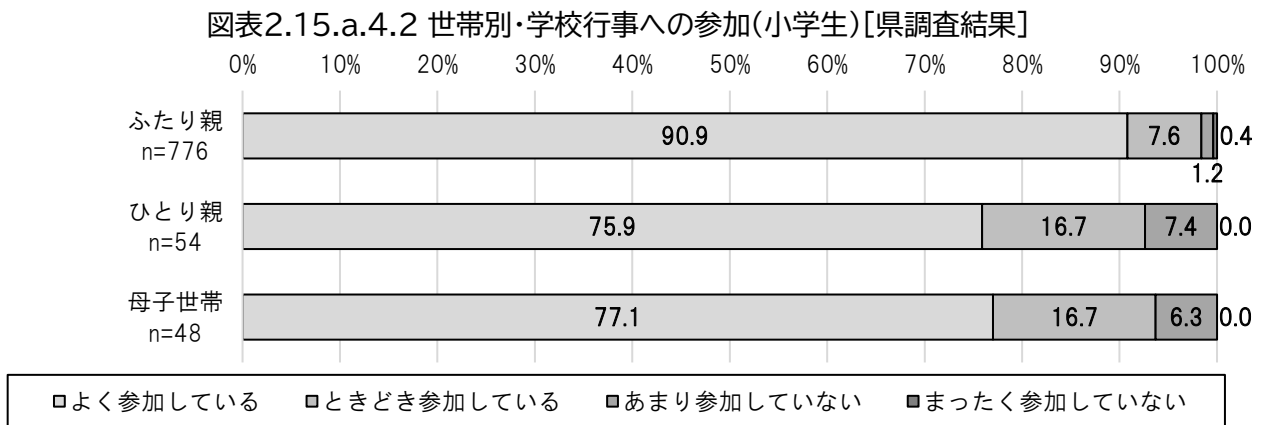
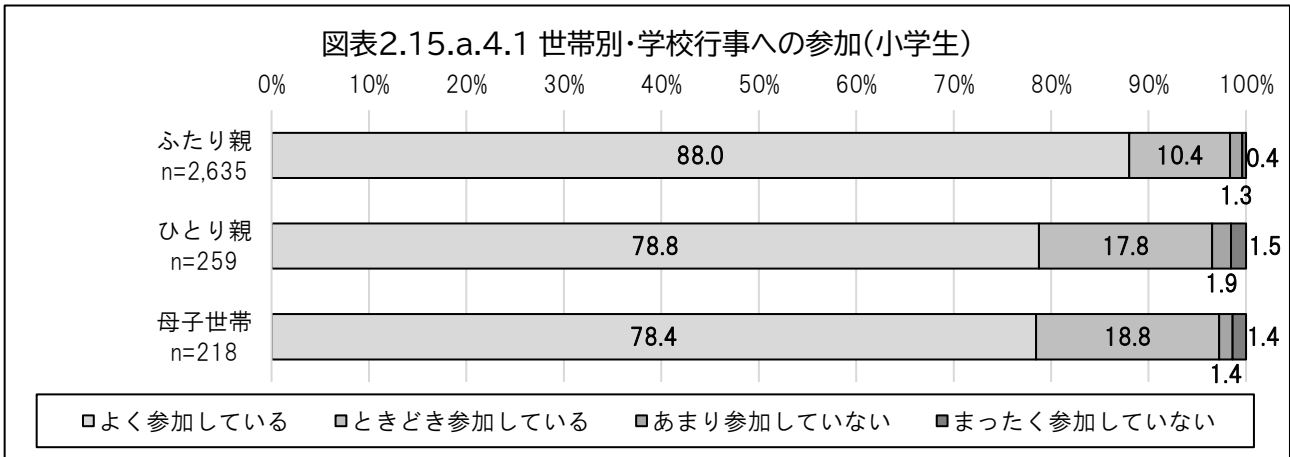
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 15.a 学校行事への参加)

授業参観や運動会などの学校行事への参加について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「よく参加している」が70.1%、64.1%、57.9%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ94.8%、91.4%、85.5%となっています。



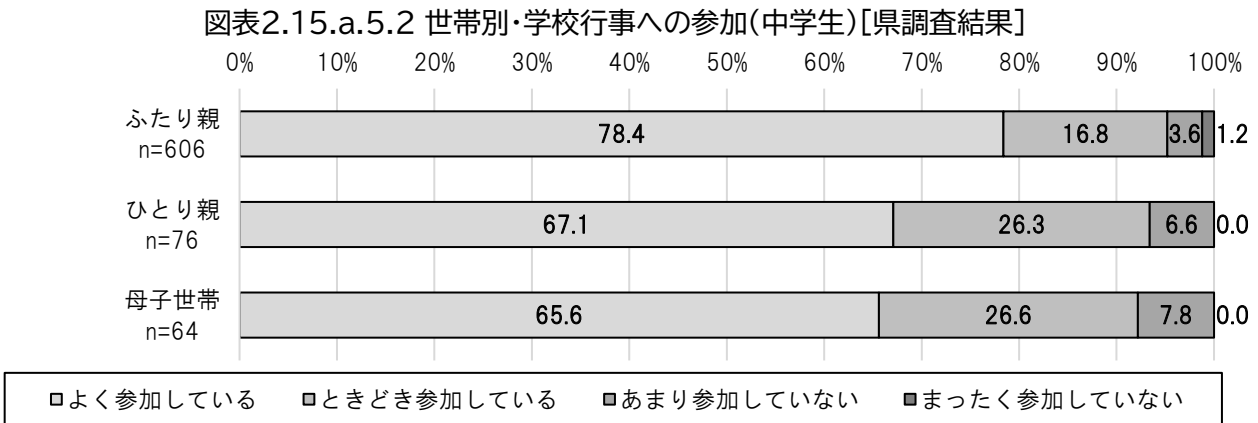
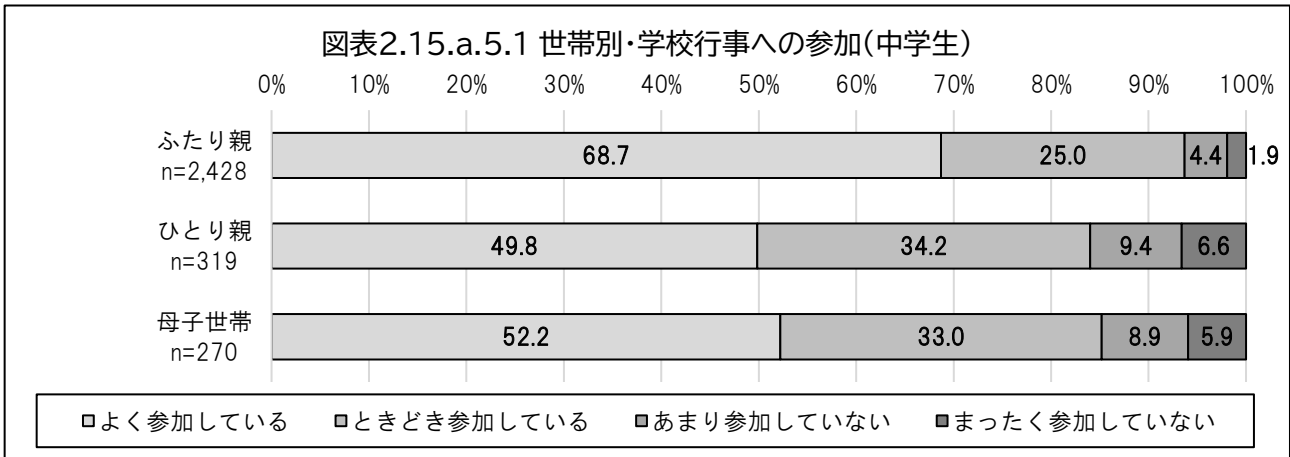
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 15.a 学校行事への参加)

授業参観や運動会などの学校行事への参加について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「よく参加している」が88.0%、78.8%、78.4%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ98.4%、96.6%、97.2%となっています。



(5)世帯別・保護者[中学生] (問 15.a 学校行事への参加)

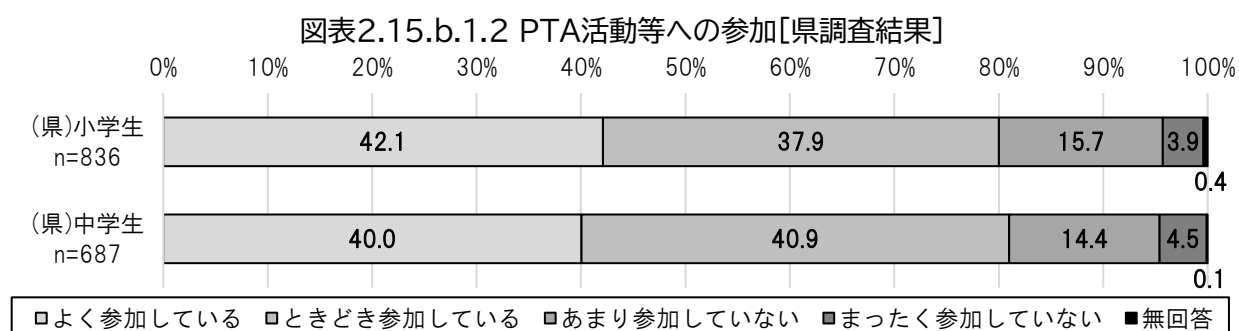
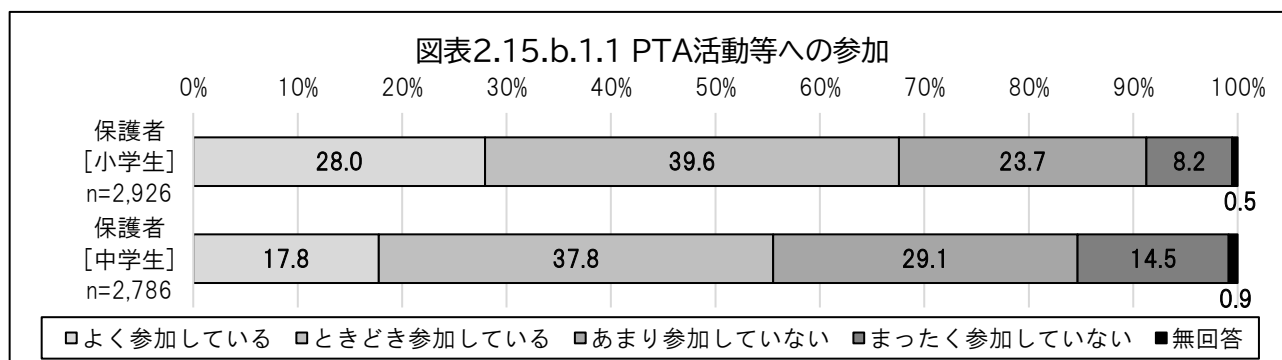
授業参観や運動会などの学校行事への参加について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「よく参加している」が68.7%、49.8%、52.2%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ93.7%、84.0%、85.2%となっています。



b) P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

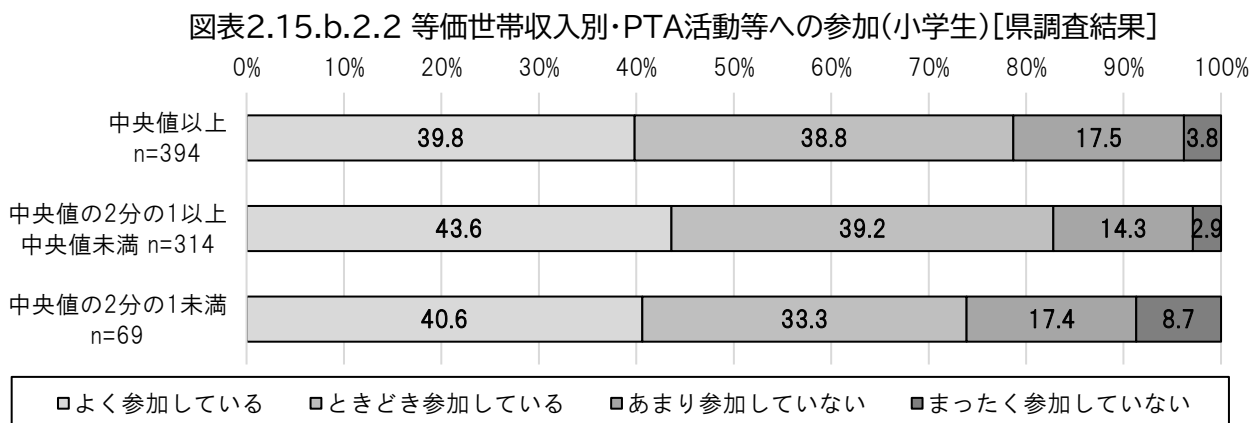
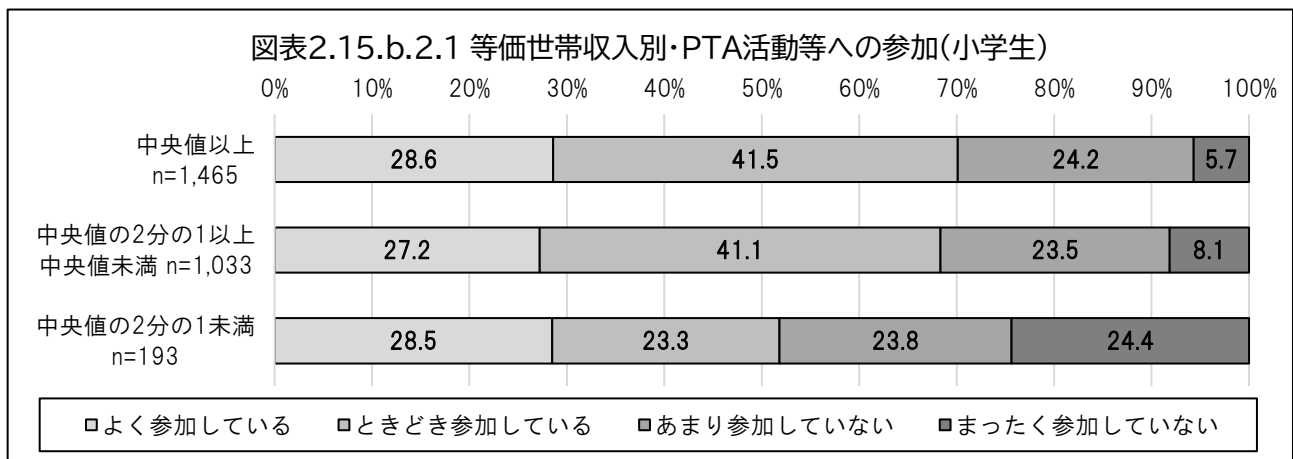
(1)全体

P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、小学生では、「ときどき参加している」が39.6%と最も高く、次いで「よく参加している」が28.0%となっています。中学生では、「ときどき参加している」が37.8%と最も高く、次いで「あまり参加していない」が29.1%となっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では67.6%、中学生では55.6%となっています。



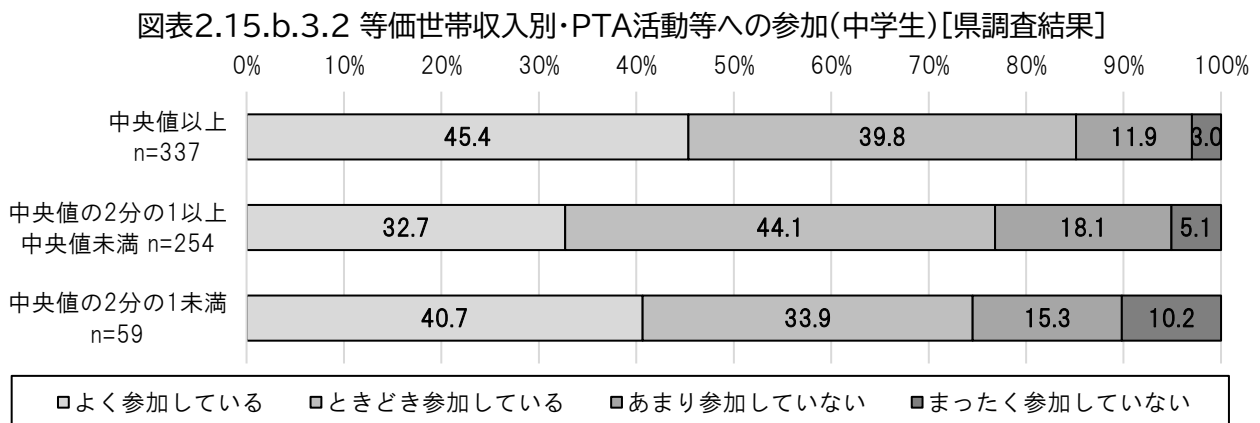
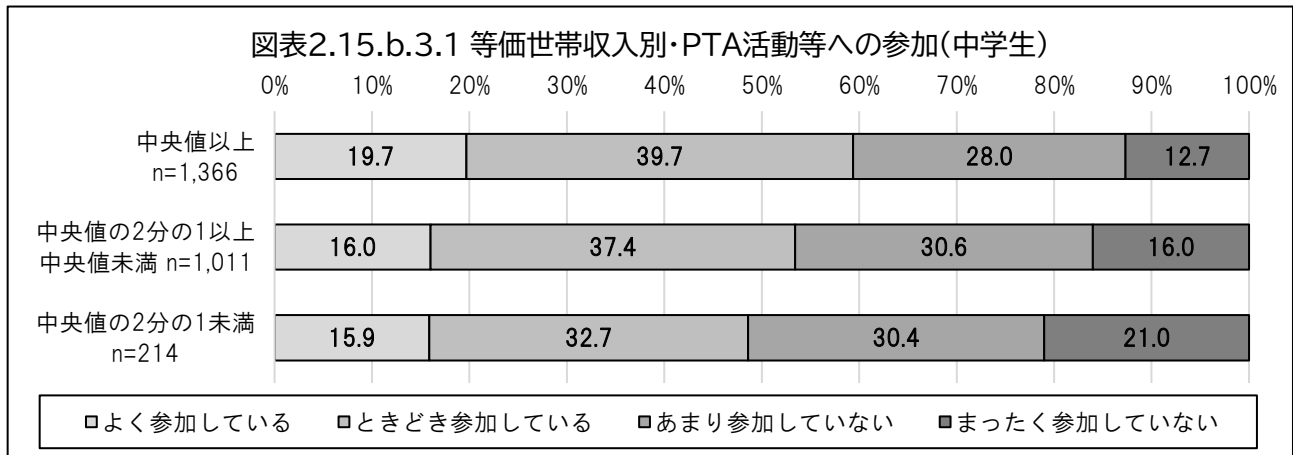
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 15. b PTA 活動等への参加)

PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準においては「ときどき参加している」が41.5%、41.1%、「中央値の2分の1未満」の水準においては「よく参加している」が28.5%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ70.1%、68.3%、51.8%となっています。



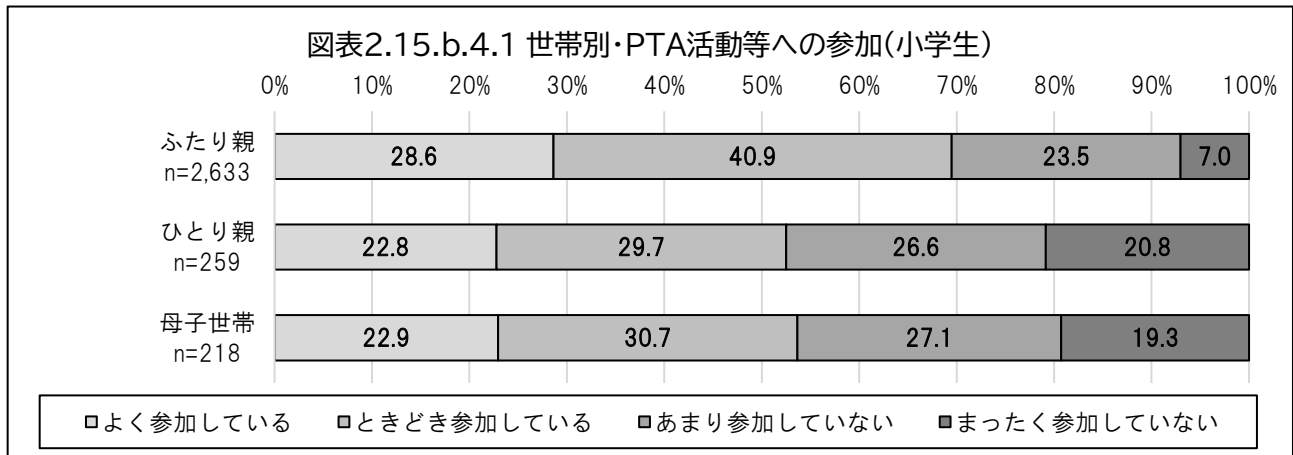
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 15. b PTA 活動等への参加)

PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「ときどき参加している」が39.7%、37.4%、32.7%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ59.4%、53.4%、48.6%となっています。



(4)世帯別・保護者[小学生] (問 15. b PTA 活動等への参加)

PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「ときどき参加している」が40.9%、29.7%、30.7%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ69.5%、52.5%、53.6%となっています。



□よく参加している □ときどき参加している □あまり参加していない □まったく参加していない

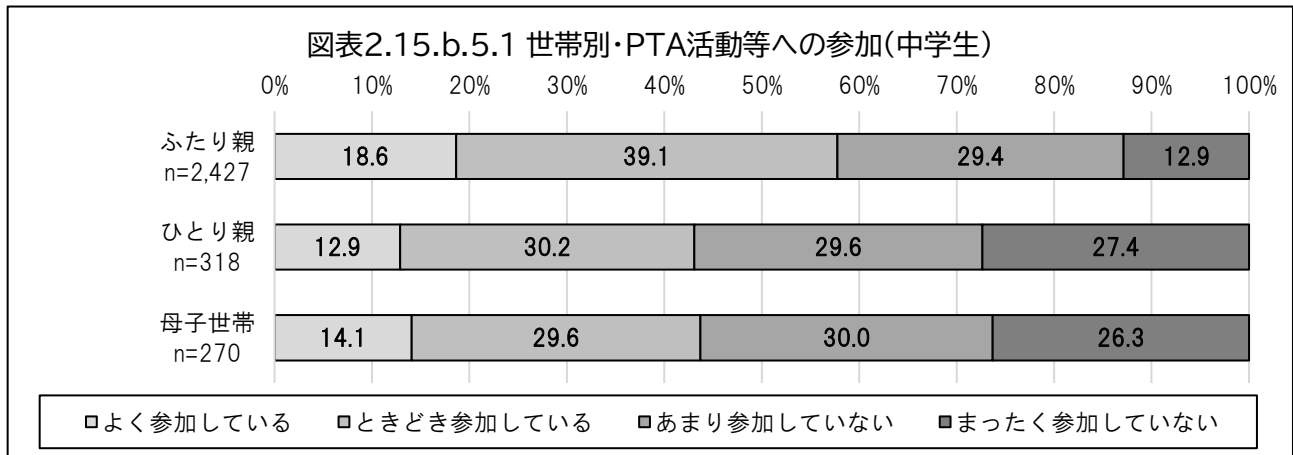
図表2.15.b.4.2 世帯別・PTA活動等への参加(小学生)[県調査結果]



□よく参加している □ときどき参加している □あまり参加していない □まったく参加していない

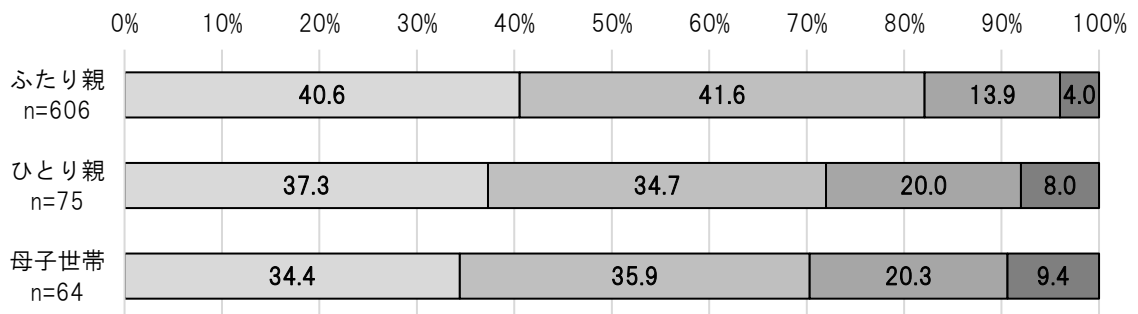
(5)世帯別・保護者[中学生] (問 15. b PTA 活動等への参加)

PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、世帯別にみると、中学生では、ふたり親世帯およびひとり親世帯においては、「ときどき参加している」が39.1%、30.2%、母子世帯においては、「あまり参加していない」が30.0%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、それぞれ57.7%、43.1%、43.7%となっています。



□よく参加している □ときどき参加している □あまり参加していない □まったく参加していない

図表2.15.b.5.2 世帯別・PTA活動等への参加(中学生)[県調査結果]

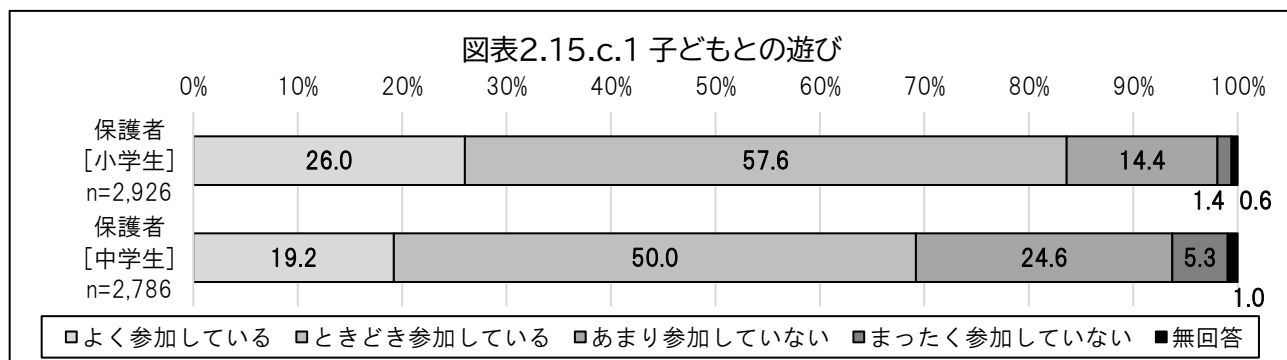


□よく参加している □ときどき参加している □あまり参加していない □まったく参加していない

c) 子どもとの遊び

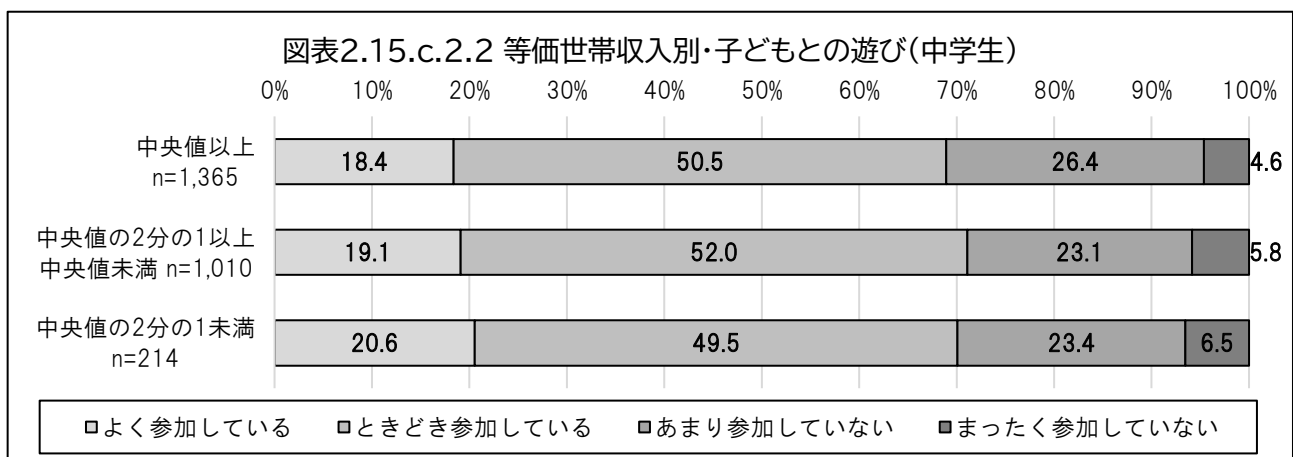
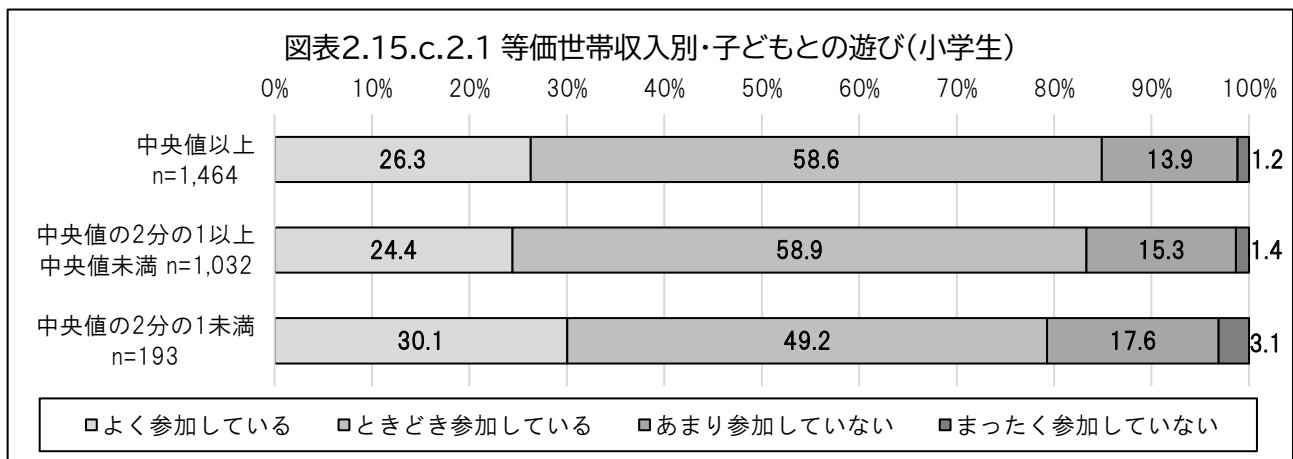
(1)全体

子どもとの遊びについて、小学生では、「ときどき参加している」が57.6%、「よく参加している」が26.0%、中学生では、「ときどき参加している」が50.0%、「あまり参加していない」が24.6%となっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では83.6%、中学生では69.2%となっています。



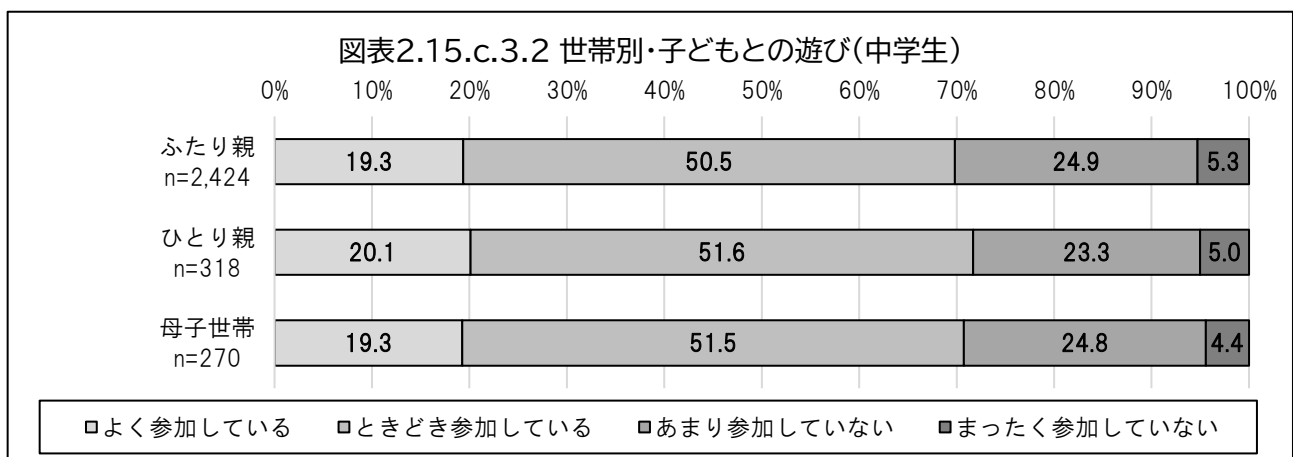
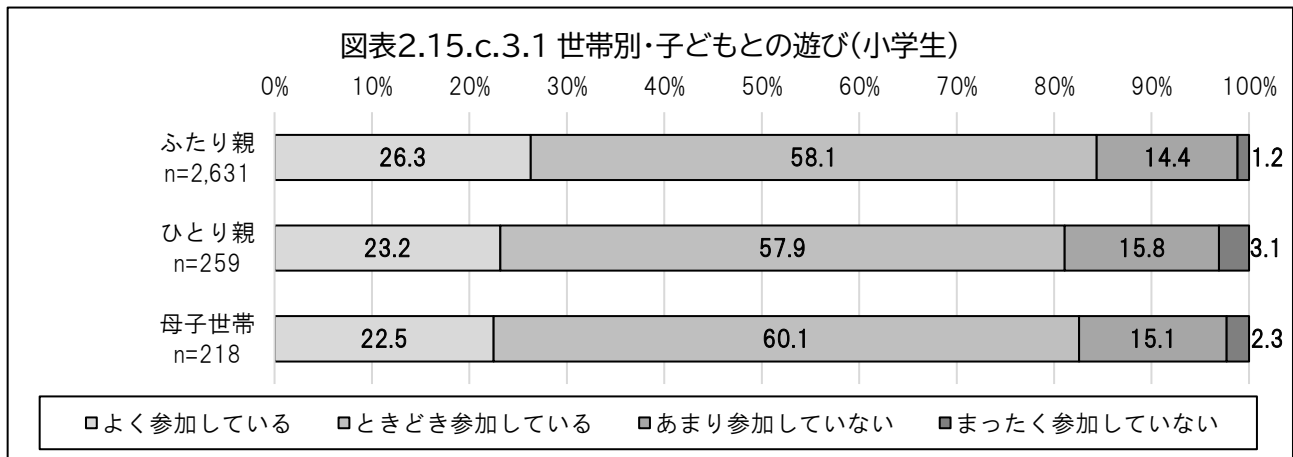
(2)等価世帯収入別

子どもとの遊びについて、等価世帯収入別にみると、小学生、中学生ともに、いずれの水準においても「ときどき参加している」が最も高く、小学生では 58.6%、58.9%、49.2%、中学生では 50.5%、52.0%、49.5%となっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では、それぞれ 84.9%、83.3%、79.3%、中学生では、それぞれ 68.9%、71.1%、70.1%となっています。



(3)世帯別

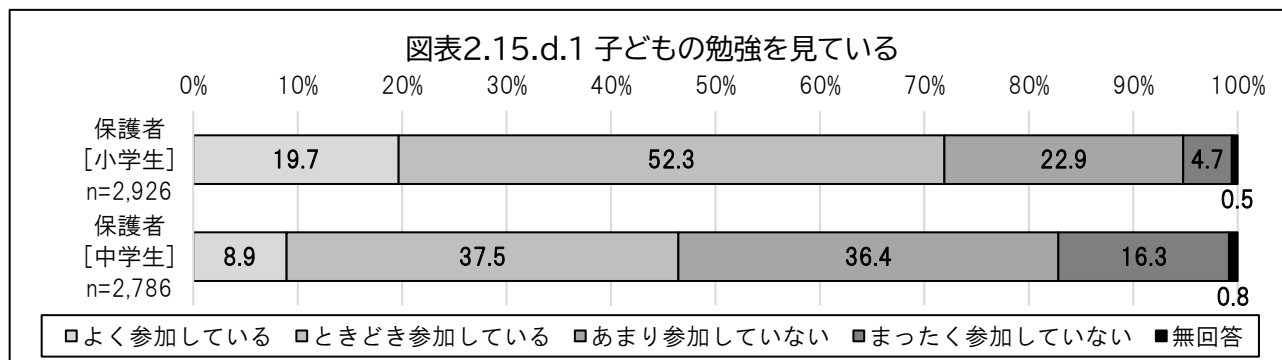
子どもとの遊びについて、世帯別にみると、小学生、中学生ともに、いずれの世帯においても「ときどき参加している」が最も高く、小学生では、それぞれ58.1%、57.9%、60.1%、中学生では、それぞれ50.5%、51.6%、51.5%となっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では、それぞれ84.4%、81.1%、82.6%、中学生では、それぞれ69.8%、71.7%、70.8%となっています。



d) 子どもの勉強を見ている

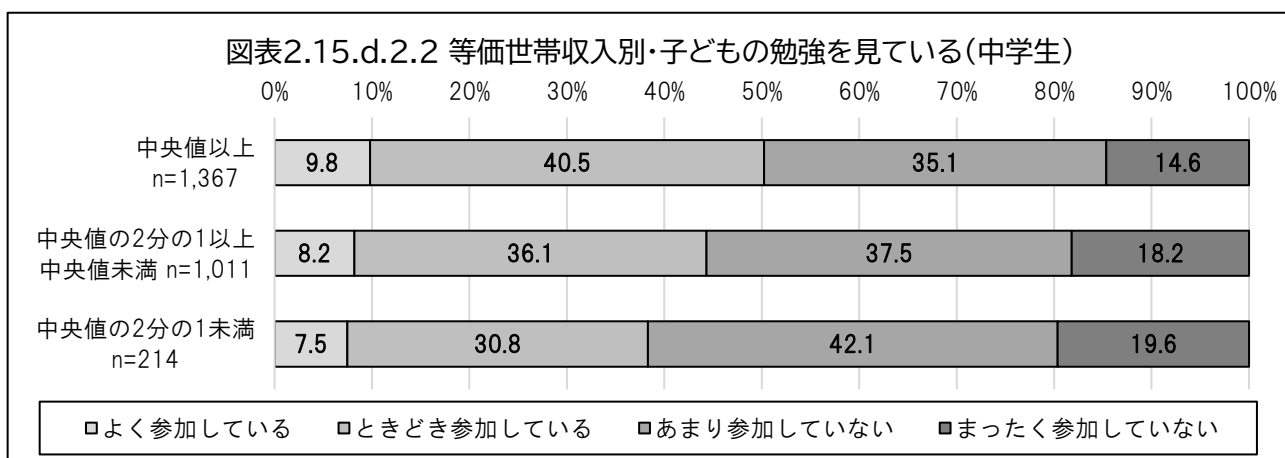
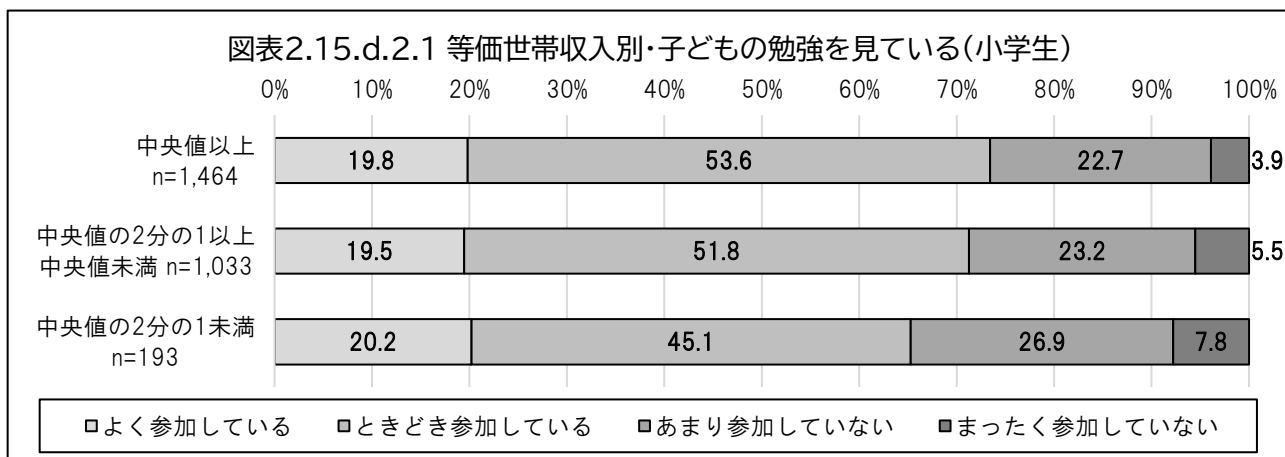
(1)全体

子どもの勉強を見ているかについて、小学生・中学生ともに、「ときどき参加している」が52.3%、37.5%、「あまり参加していない」が22.9%、36.4%となっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では72.0%、中学生では46.4%となっています。



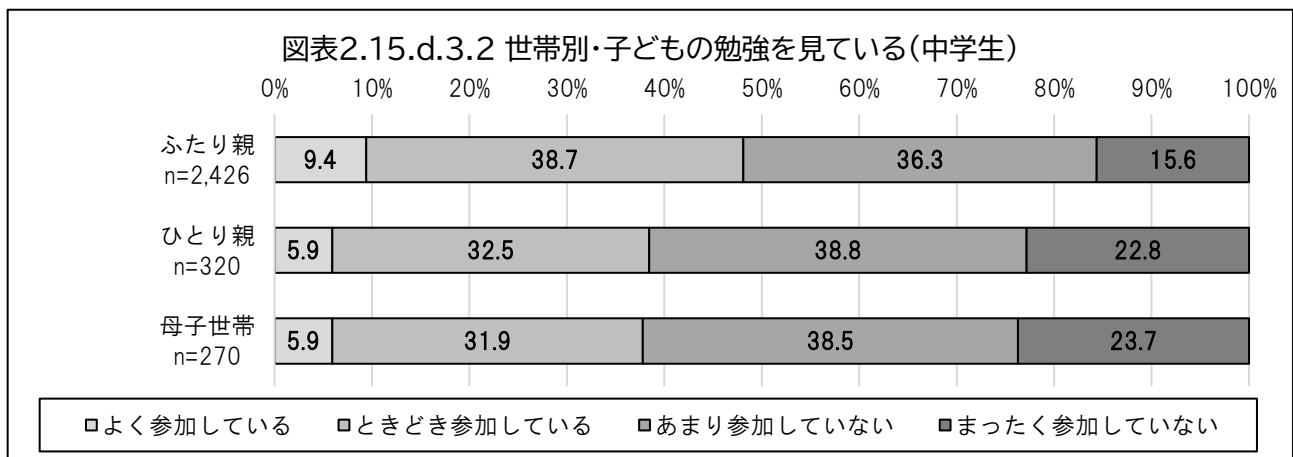
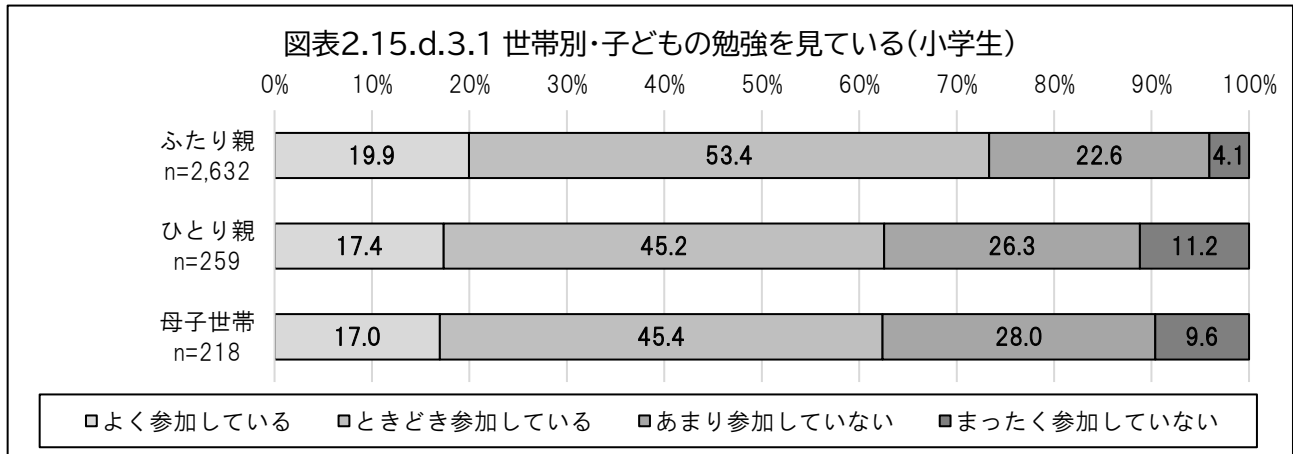
(2)等価世帯収入別

子どもの勉強を見ているかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「ときどき参加している」が53.6%、51.8%、45.1%と最も高くなっています。中学生では、「中央値以上」の水準では「ときどき参加している」が40.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」および「中央値の2分の1未満」の水準では「あまり参加していない」が37.5%、42.1%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では、それぞれ73.4%、71.3%、65.3%、中学生では、それぞれ50.3%、44.3%、38.3%となっています。



(3)世帯別

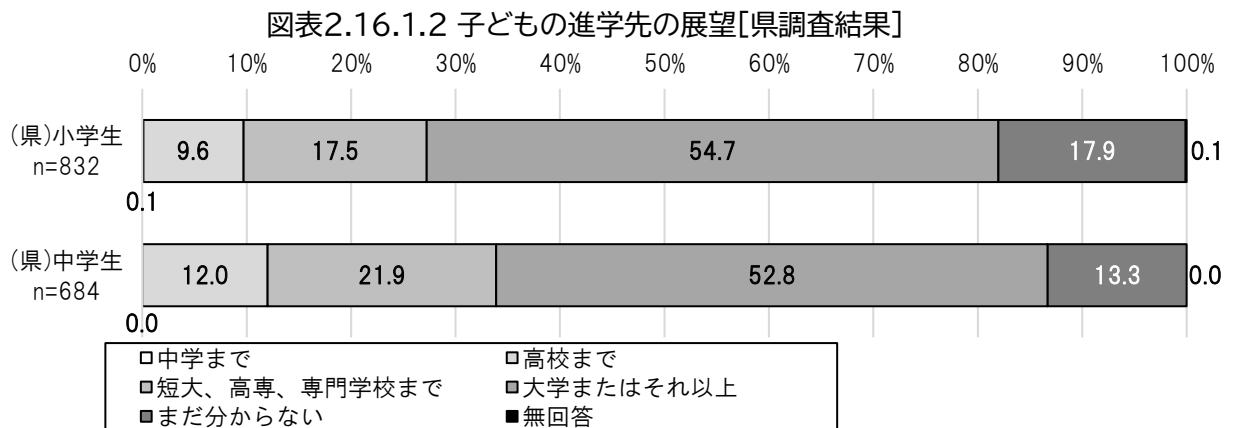
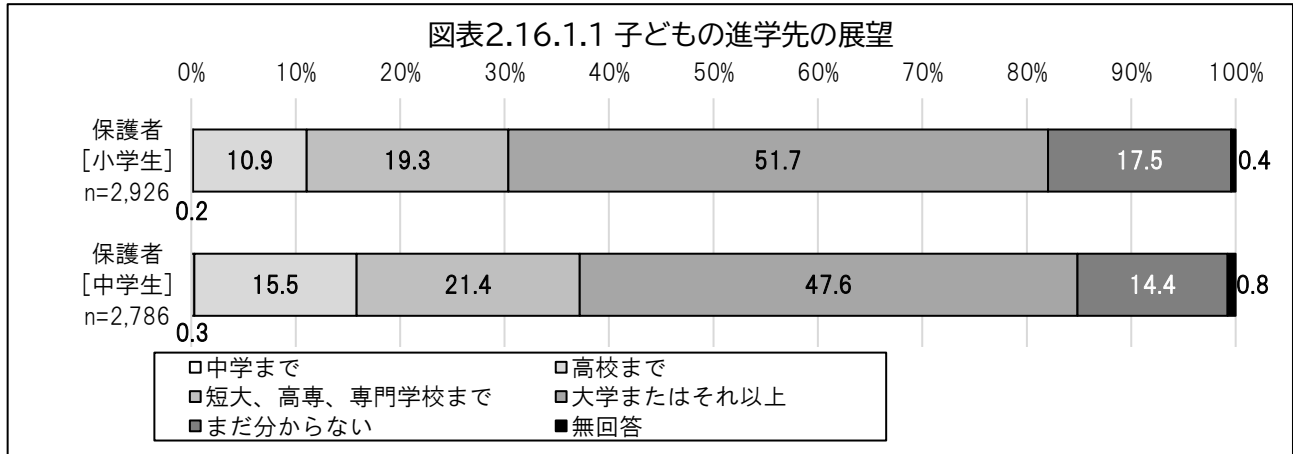
子どもの勉強を見ているかについて、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「ときどき参加している」が53.4%、45.2%、45.4%と最も高く、中学生では、ふたり親世帯では「ときどき参加している」が38.7%、ひとり親世帯および母子世帯では「あまり参加していない」が38.8%、38.5%と最も高くなっています。また、「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計は、小学生では、それぞれ73.3%、62.6%、62.4%、中学生では、それぞれ48.1%、38.4%、37.8%となっています。



問16. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

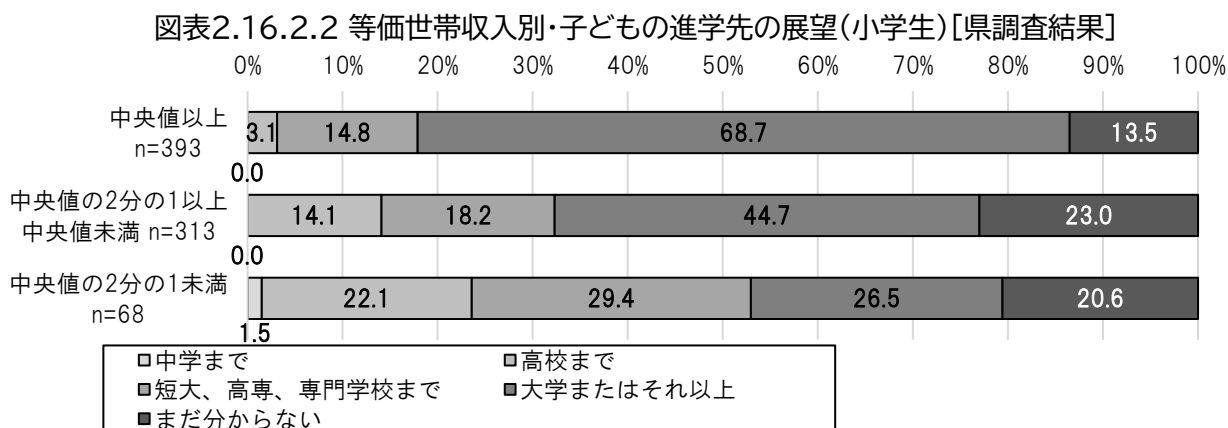
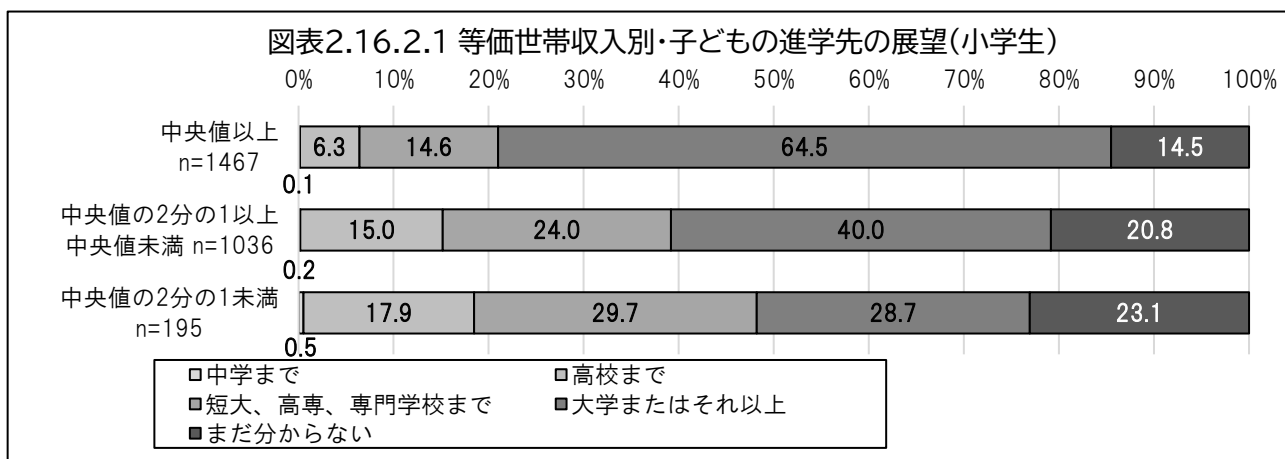
(1)全体

子どもの進学先の展望について、小学生・中学生ともに、「大学またはそれ以上」が51.7%、47.6%、次いで「短大、高専、専門学校まで」が19.3%、21.4%となっています。



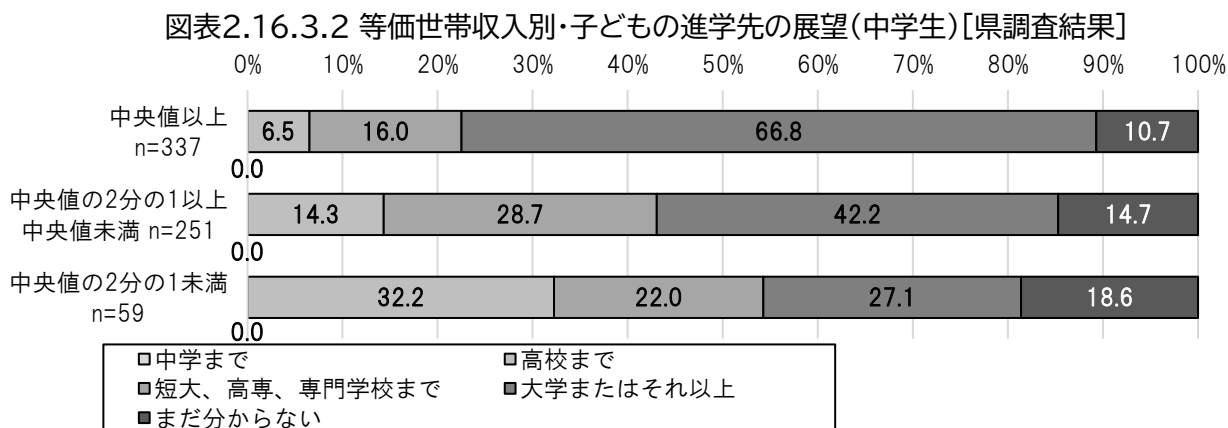
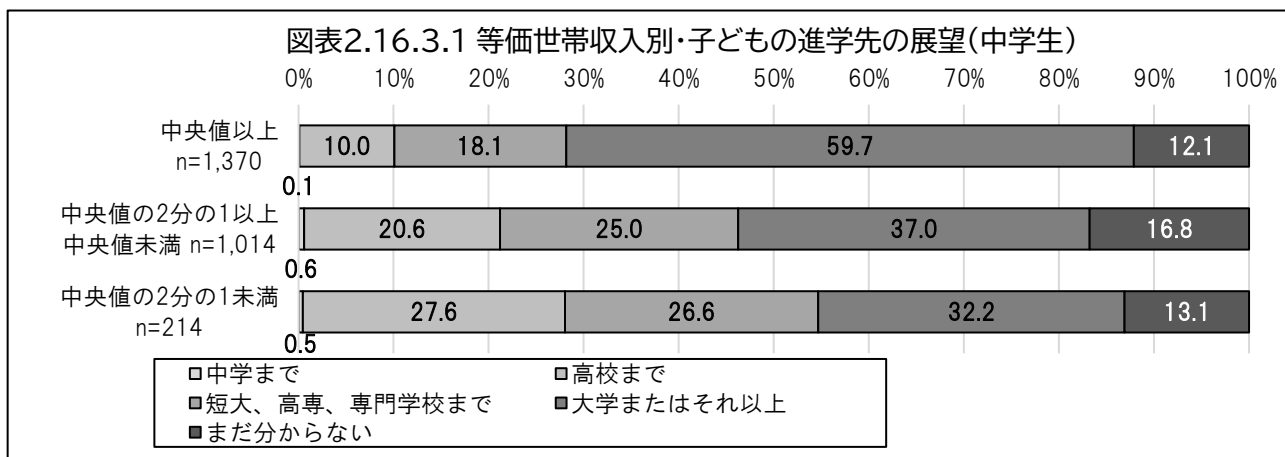
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 16. 子どもの進学先の展望)

子どもの進学先の展望について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準においては「大学またはそれ以上」が、64.5%、40.0%、「中央値の2分の1未満」の水準では「短大、高専、専門学校まで」が29.7%と最も高くなっています。また、「大学またはそれ以上」の割合は、「中央値の2分の1未満」の水準では「中央値以上」に比べて35.8%低くなっています。



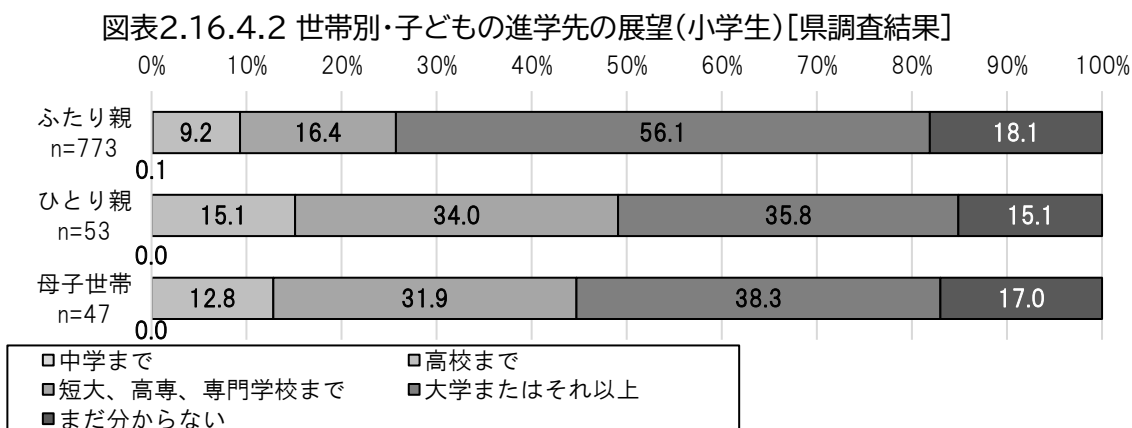
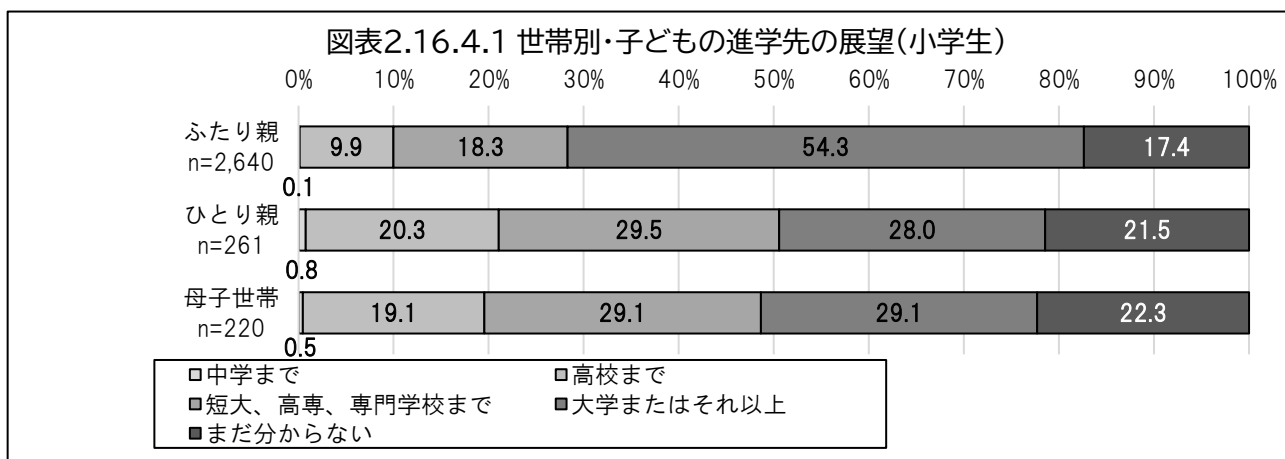
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 16. 子どもの進学先の展望)

子どもの進学先の展望について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「大学またはそれ以上」が59.7%、37.0%、32.2%と最も高くなっていますが、「大学またはそれ以上」の割合は、「中央値以上」と比較して、「中央値の2分の1以上中央値未満」では22.7%[※]、「中央値の2分の1未満」では27.5%[※]低くなっています。



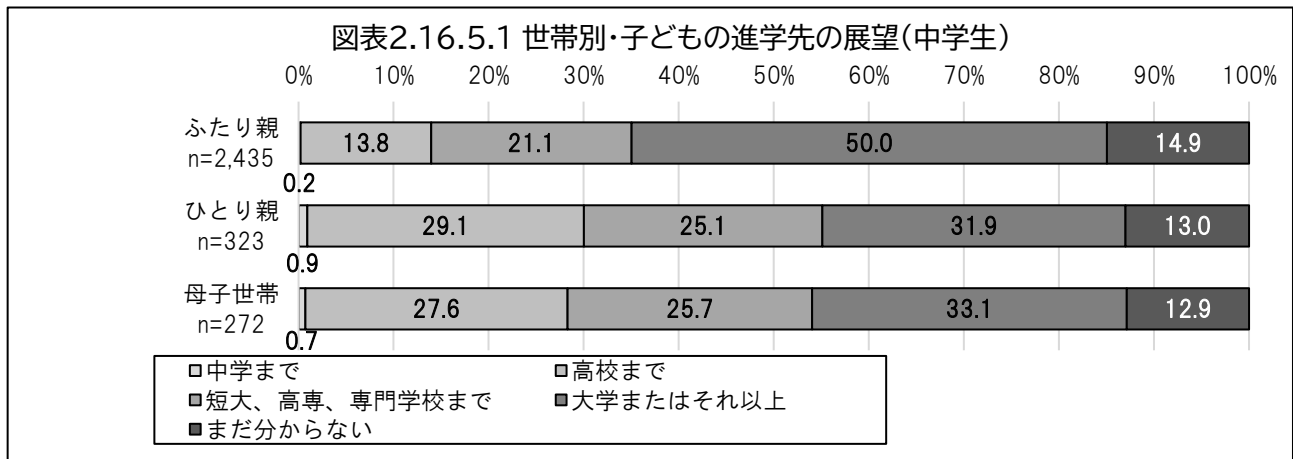
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 16. 子どもの進学先の展望)

子どもの進学先の展望について、世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯では「大学またはそれ以上」が54.3%、ひとり親世帯では「短大、高専、専門学校まで」が29.5%、母子世帯では「大学またはそれ以上」と「短大、高専、専門学校まで」が29.1%と最も高くなっています。「大学またはそれ以上」の割合は、ふたり親世帯と比較して、ひとり親世帯では26.3%、母子世帯では25.2%低くなっています。

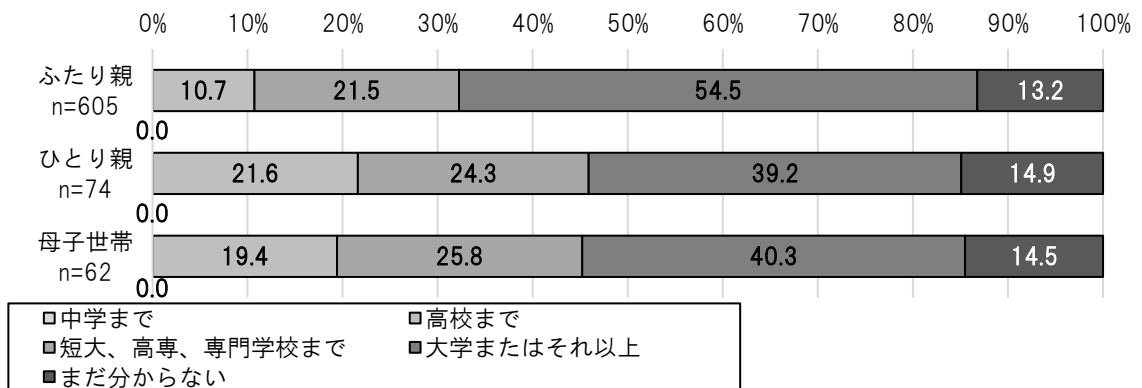


(5)世帯別・保護者[中学生] (問 16. 子どもの進学先の展望)

子どもの進学先の展望について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯でも「大学またはそれ以上」が50.0%、31.9%、33.1%と最も高くなっていますが、「大学またはそれ以上」の割合は、ふたり親世帯と比較して、ひとり親世帯では18.1%^{※1}、母子世帯では16.9%^{※1}低くなっています。

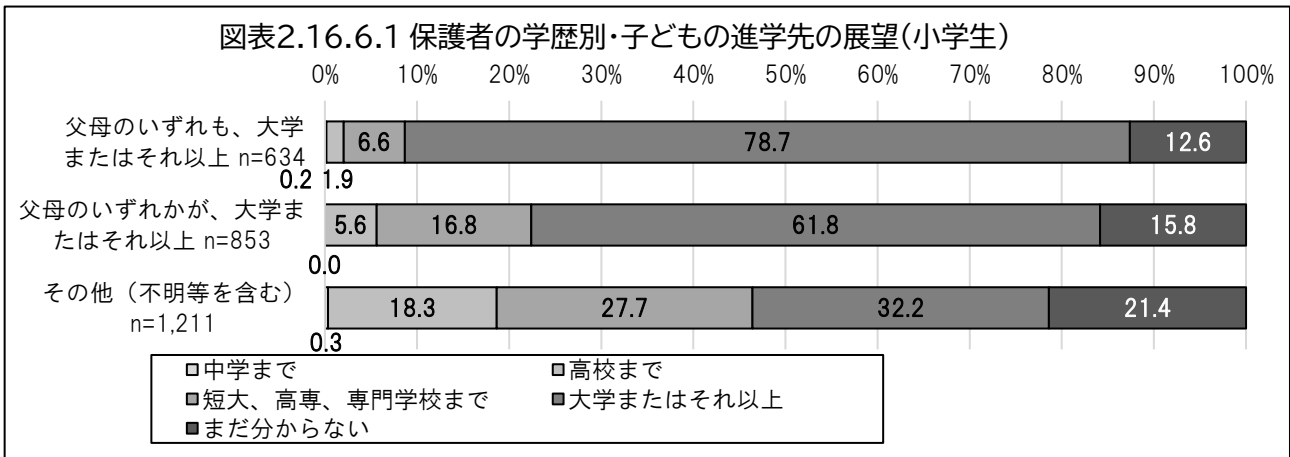


図表2.16.5.2 世帯別・子どもの進学先の展望(中学生)[県調査結果]

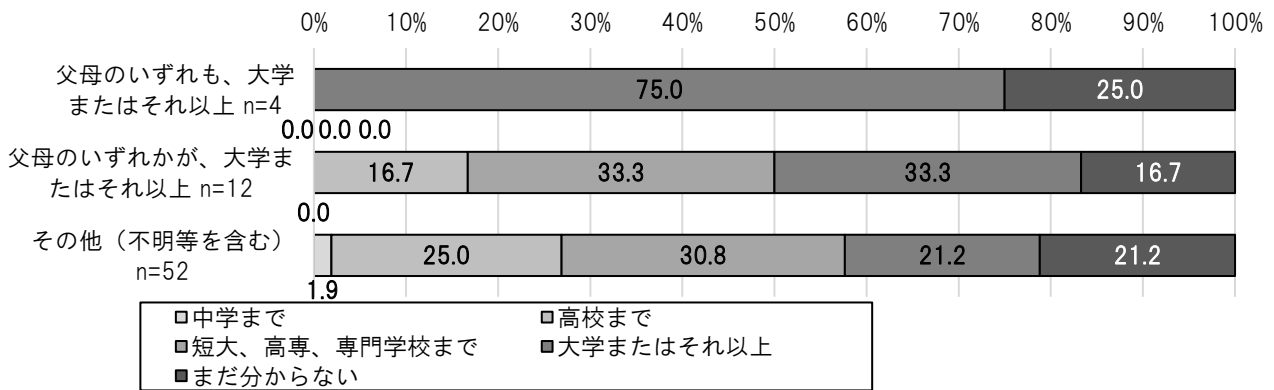


(6)保護者の学歴別・保護者[小学生] (問 16. 子どもの進学先の展望)

子どもの進学先の展望について、保護者の学歴別にみると、小学生では、いずれの分類でも「大学またはそれ以上」が78.7%、61.8%、32.2%と最も高くなっていますが、「大学またはそれ以上」の割合は、「父母のいずれも、大学またはそれ以上」と比較して、「父母のいずれかが、大学またはそれ以上」では16.9 ㊦、「その他」では46.5 ㊦低くなっています。

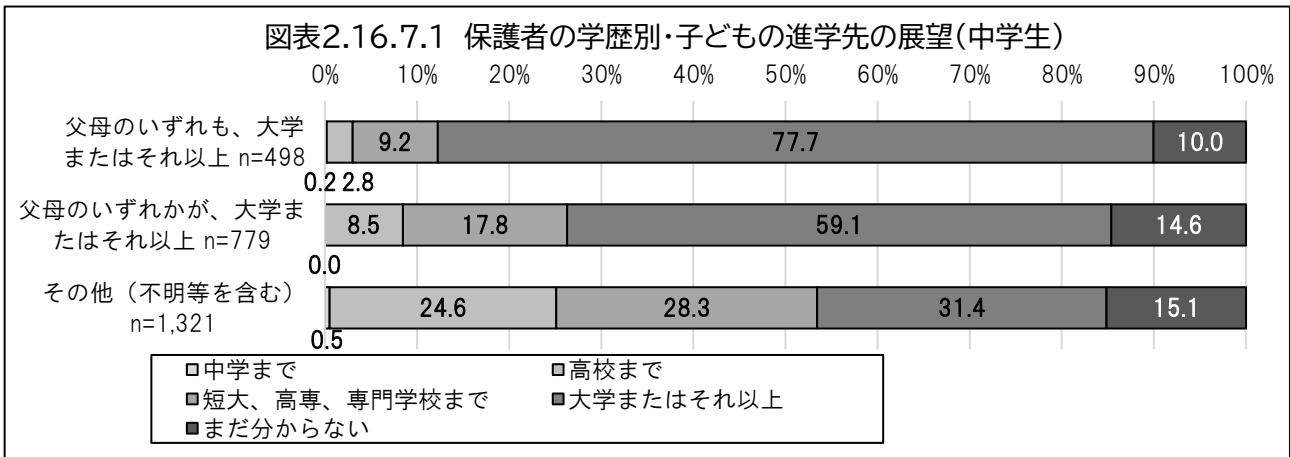


図表2.16.6.2 保護者の学歴別・子どもの進学先の展望(小学生) [県調査結果]

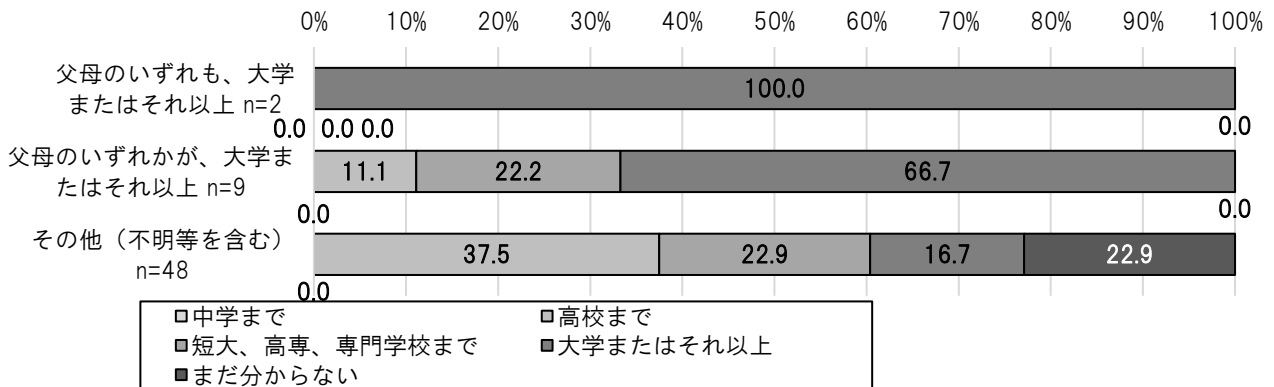


(7)保護者の学歴別・保護者[中学生] (問 16. 子どもの進学先の展望)

子どもの進学先の展望について、保護者の学歴別にみると、中学生では、いずれの分類でも「大学またはそれ以上」が77.7%、59.1%、31.4%と最も高くなっていますが、「大学またはそれ以上」の割合は、「父母のいずれも、大学またはそれ以上」と比較して、「父母のいずれかが、大学またはそれ以上」では18.6%、「その他」では46.3%低くなっています。



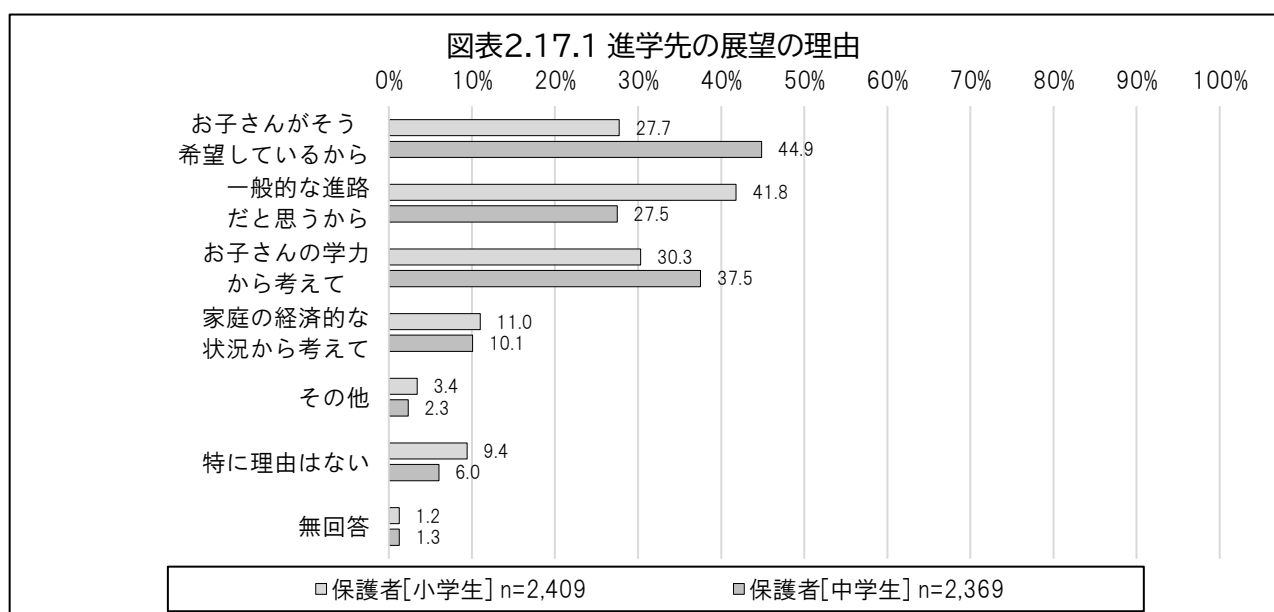
図表2.16.7.2 保護者の学歴別・子どもの進学先の展望(中学生) [県調査結果]



問17. 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

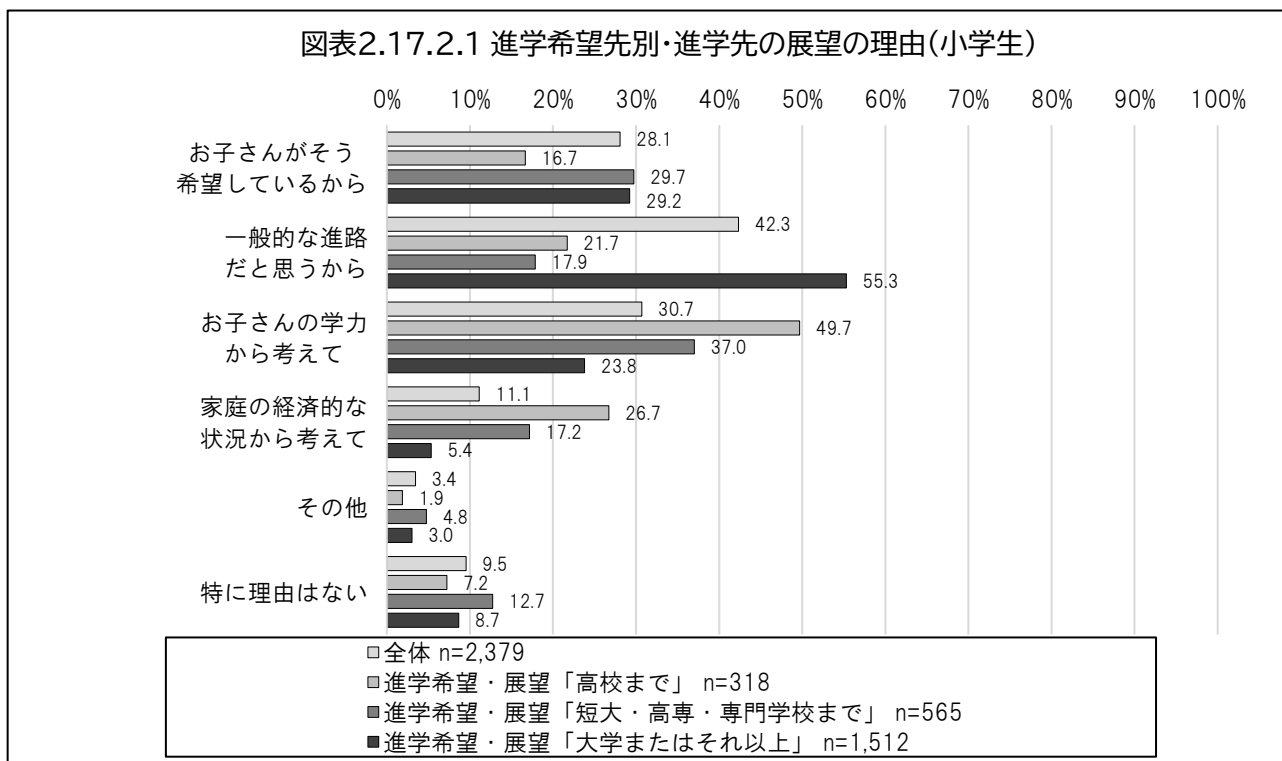
(1)全体

子どもの進学先の展望の理由について、小学生では、「一般的な進路だと思うから」が41.8%と最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」が30.3%、「お子さんがそう希望しているから」が27.7%となっています。中学生では、「お子さんがそう希望しているから」が44.9%と最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」が37.5%、「一般的な進路だと思うから」が27.5%となっています。

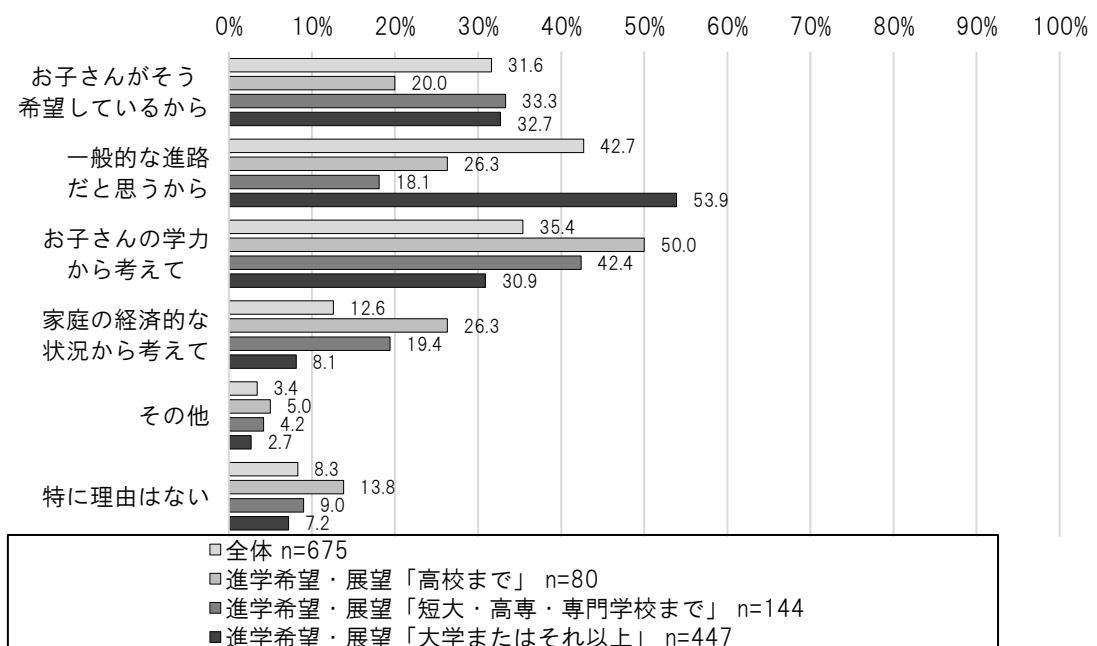


(2)進学希望先別・保護者[小学生] (問 17. 進学先の展望の理由)

子どもの進学先の展望の理由について、進学希望先別にみると、小学生では、「全体」では「一般的な進路だと思うから」が42.3%、「高校まで」では「お子さんの学力から考えて」が49.7%、「短大・高専・専門学校まで」では「お子さんの学力から考えて」が37.0%、「大学またはそれ以上」では「一般的な進路だと思うから」が55.3%と最も高くなっています。また、「家庭の経済的な状況から考えて」が「高校まで」では26.7%となっており、他の進学先と比較して高くなっています。

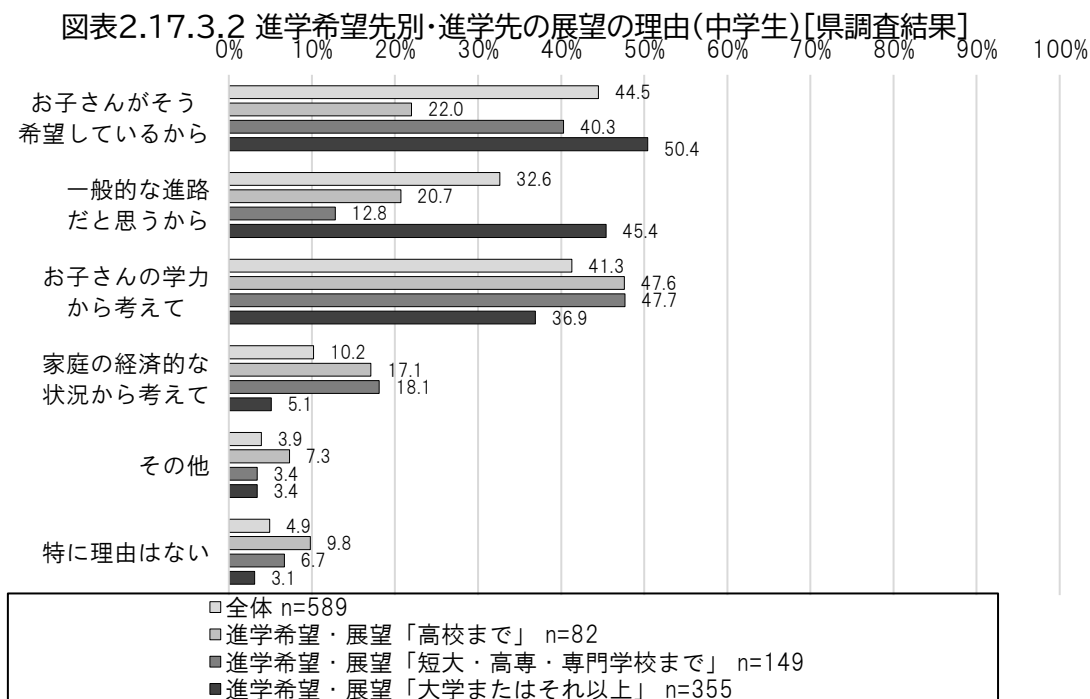
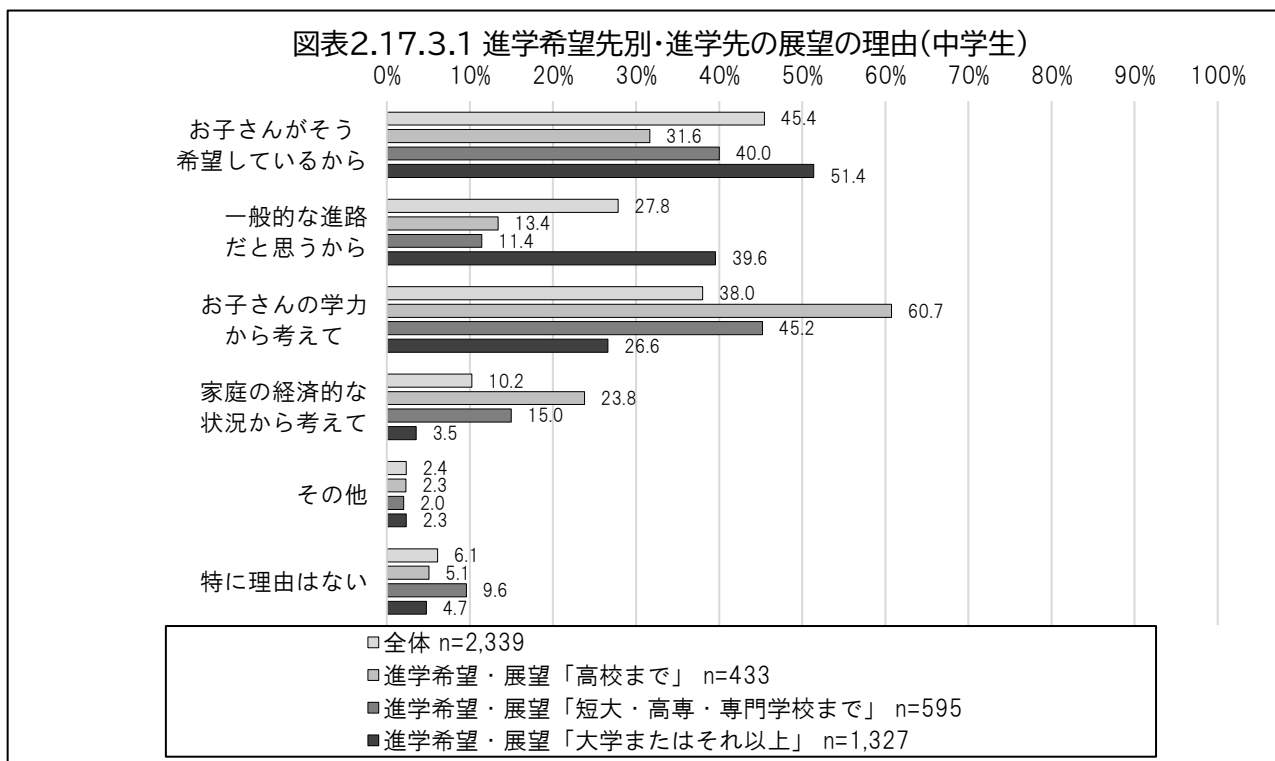


図表2.17.2.2 進学希望先別・進学先の展望の理由(小学生)[県調査結果]



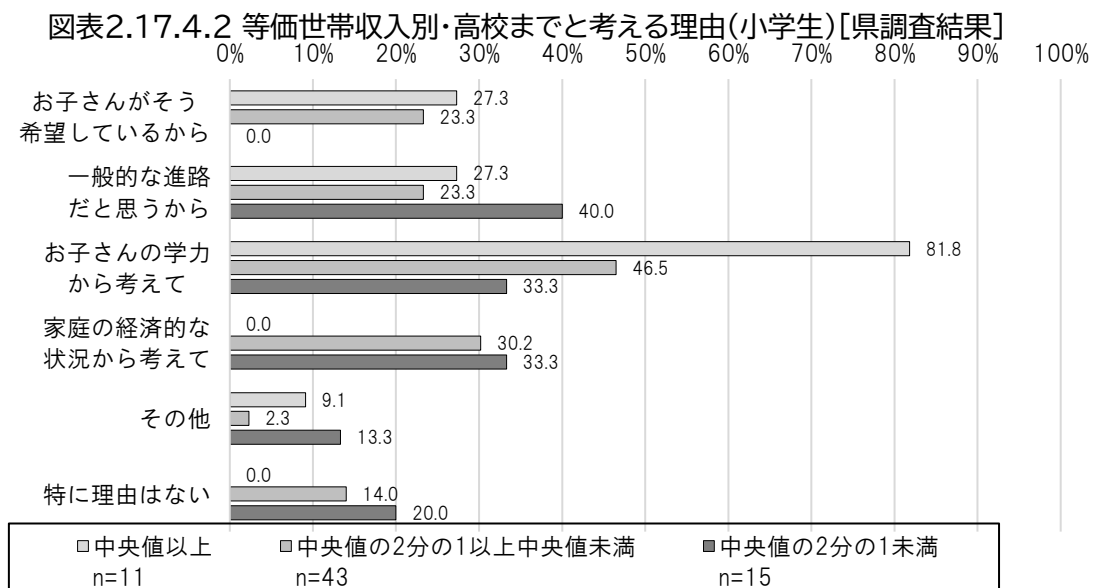
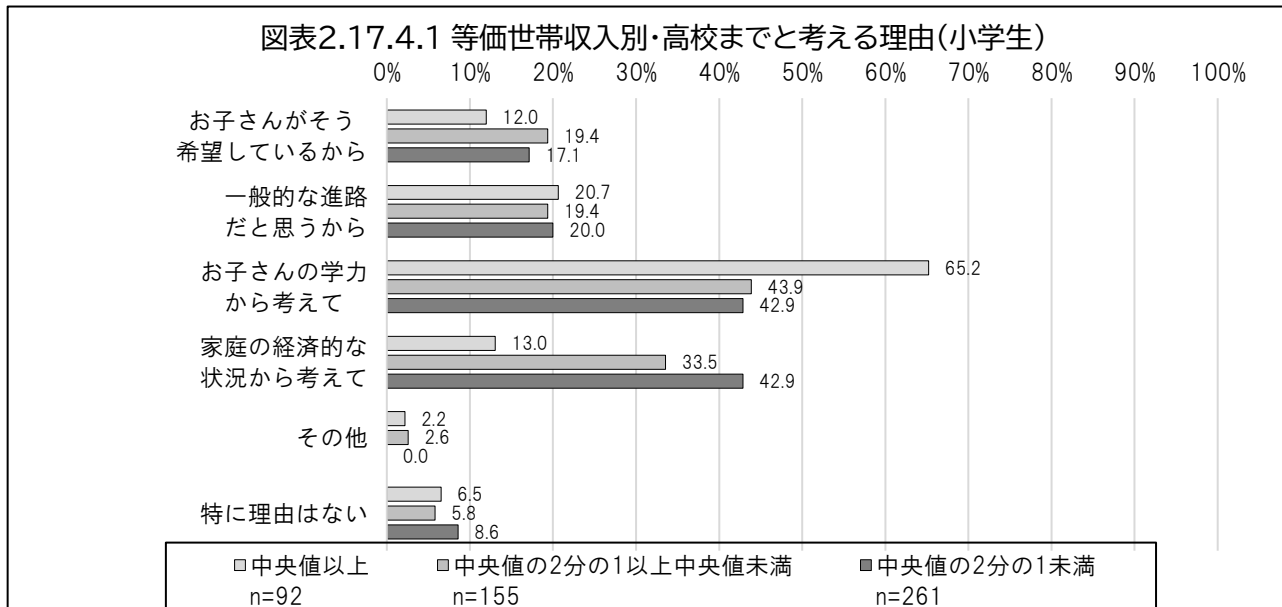
(3)進学希望先別・保護者[中学生] (問 17. 進学先の展望の理由)

子どもの進学先の展望の理由について、進学希望先別にみると、中学生では、「全体」では「お子さんがそう希望しているから」が45.4%、「高校まで」では「お子さんの学力から考えて」が60.7%、「短大・高専・専門学校まで」では「お子さんの学力から考えて」が45.2%、「大学またはそれ以上」では「お子さんがそう希望しているから」が51.4%と最も高くなっています。また、「家庭の経済的な状況から考えて」が「高校まで」では23.8%と、他の進学先と比較して高くなっています。



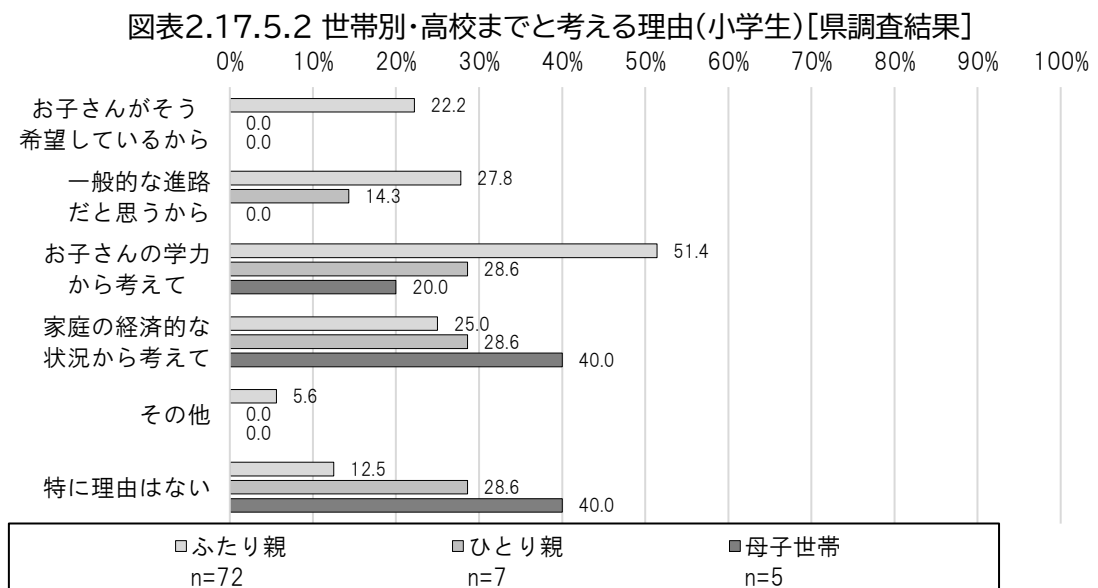
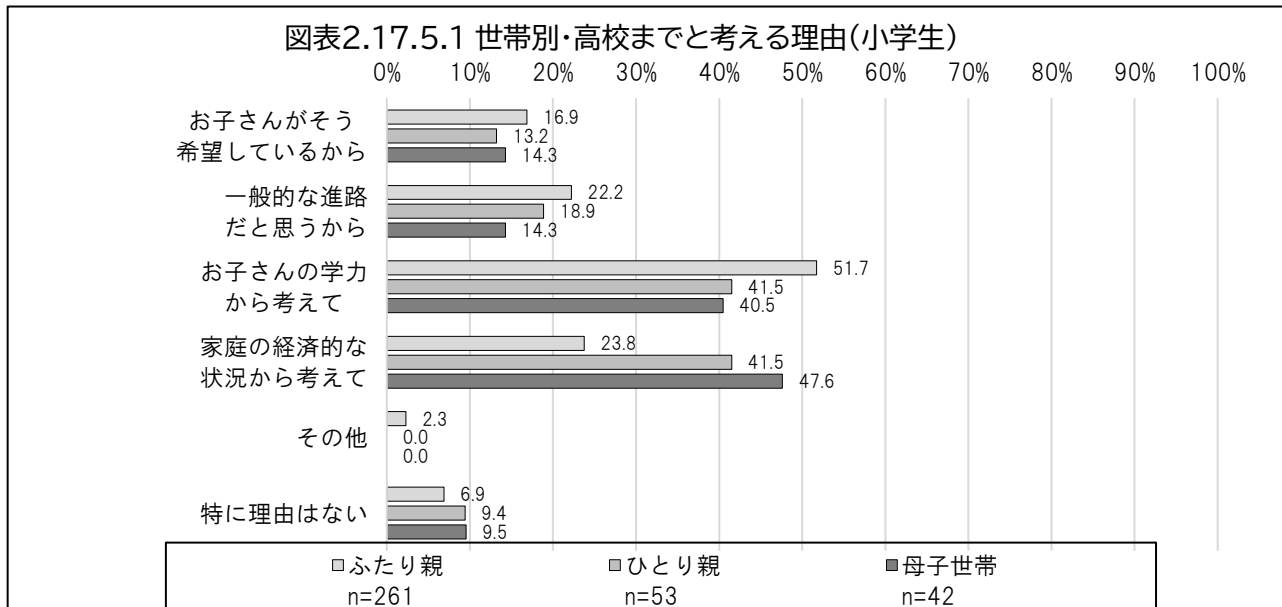
(4)等価世帯収入別・進学先を「高校まで」と考える理由・保護者[小学生] (問 17. 進学先の展望の理由)

子どもの進学先を「高校まで」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」、「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では、「お子さんの学力から考えて」が 65.2%、43.9%と最も高く、「中央値の2分の1未満」の水準では、「お子さんの学力から考えて」と「家庭の経済的な状況から考えて」がともに 42.9%と最も高くなっています。



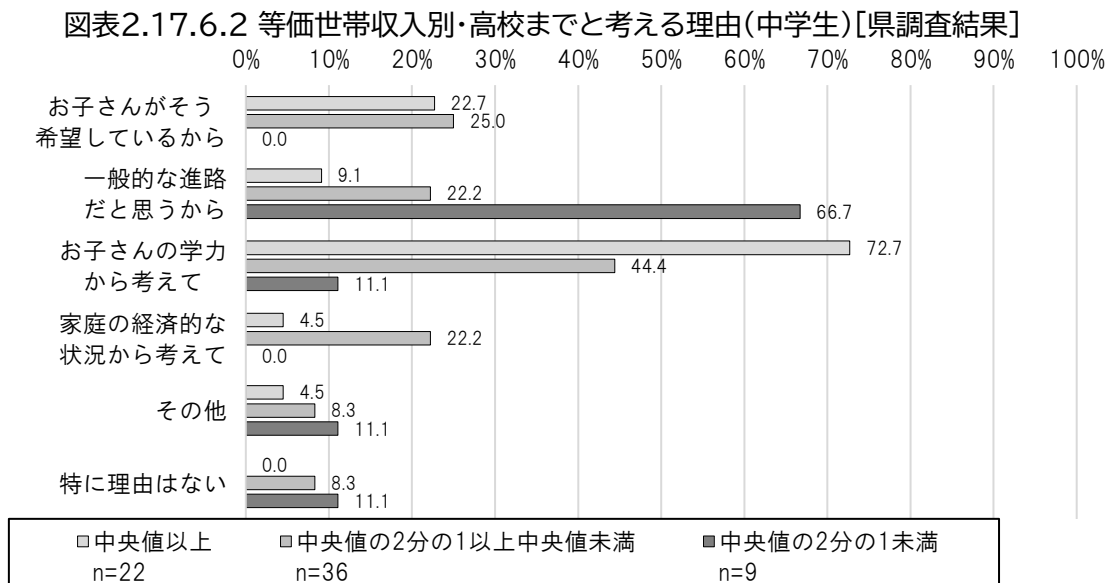
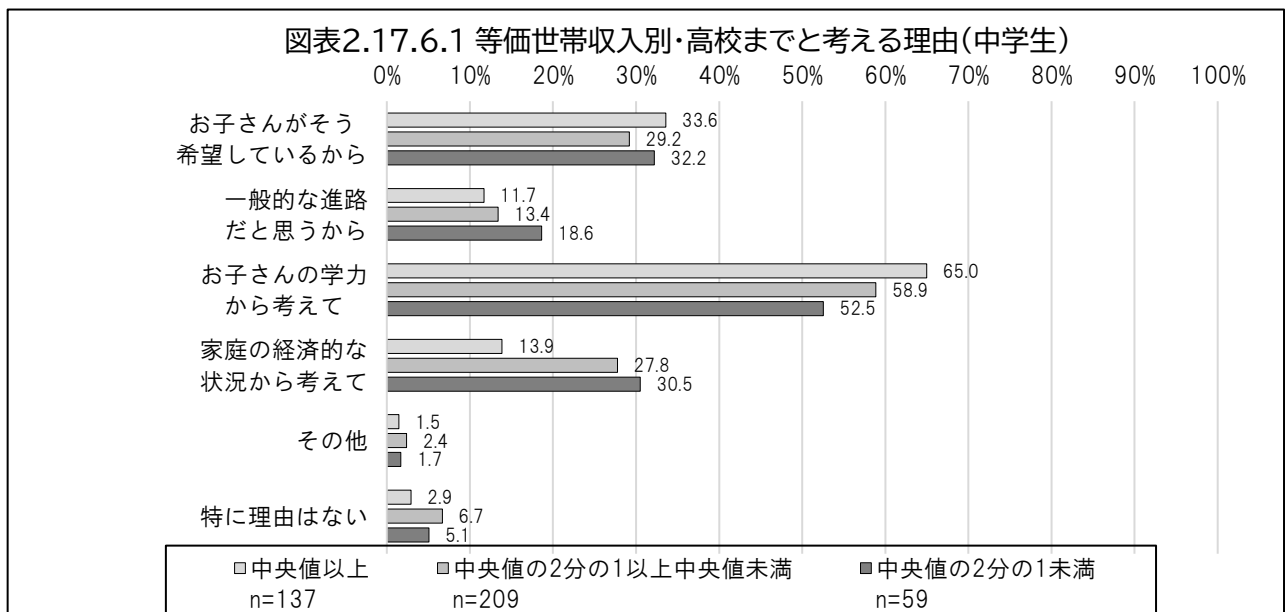
(5)世帯別・進学先を「高校まで」と考える理由・保護者[小学生] (問 17. 進学先の展望の理由)

子供の進学先を「高校まで」と考える理由について、世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯では「お子さんの学力から考えて」が51.7%、ひとり親世帯では「お子さんの学力から考えて」と「家庭の経済的な状況から考えて」がともに41.5%と最も高くなっています。母子世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」が47.6%と最も高くなっています。



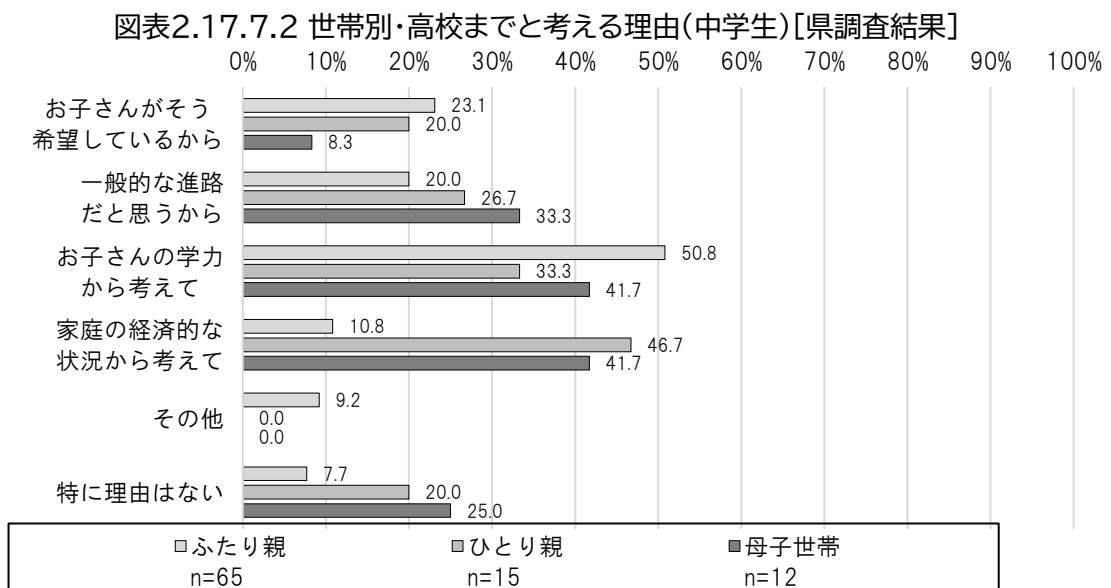
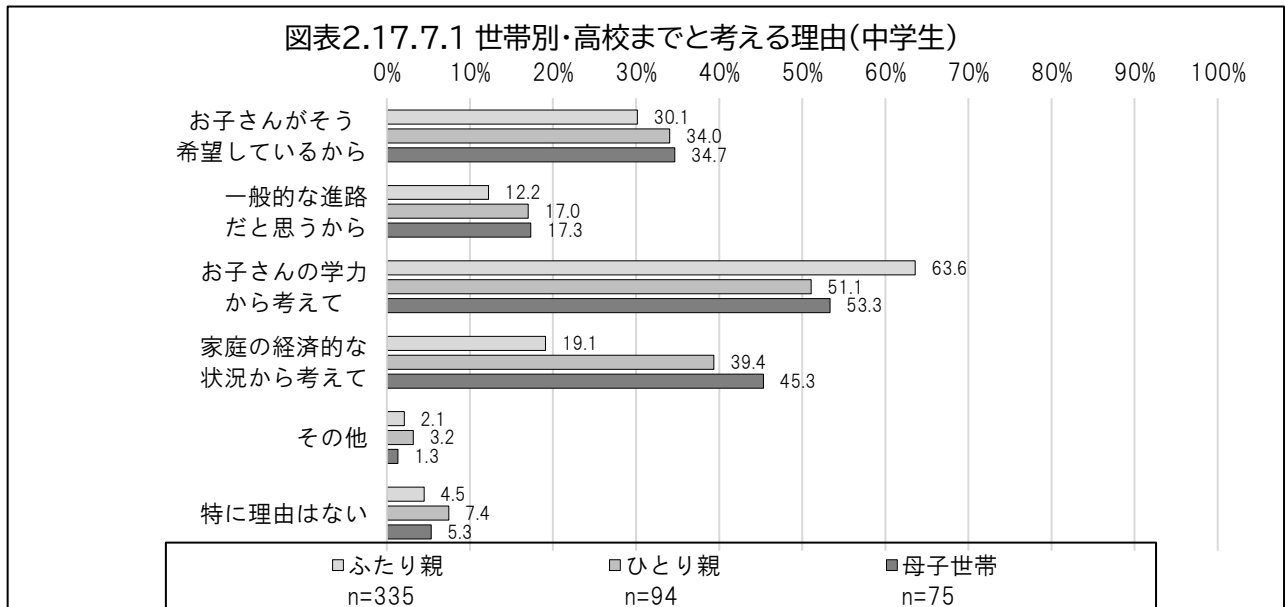
(6)等価世帯収入別・進学先を「高校まで」と考える理由・保護者[中学生] (問 17. 進学先の展望の理由)

子供の進学先を「高校まで」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「お子さんの学力から考えて」が65.0%、58.9%、52.5%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」が33.6%、29.2%、32.2%となっています。また、「家庭の経済的な状況から考えて」が、それぞれ13.9%、27.8%、30.5%となり、「中央値以上」に比べて「中央値の2分の1以上中央値未満」では13.9%、「中央値の2分の1未満」では16.6%高くなっています。



(7)世帯別・進学先を「高校まで」と考える理由・保護者[中学生] (問 17. 進学先の展望の理由)

子どもの進学先を「高校まで」と考える理由について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「お子さんの学力から考えて」が63.6%、51.1%、53.3%と最も高く、次いで、ふたり親世帯では、「お子さんがそう希望しているから」が30.1%、ひとり親世帯および母子世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」が39.4%、45.3%となっています。

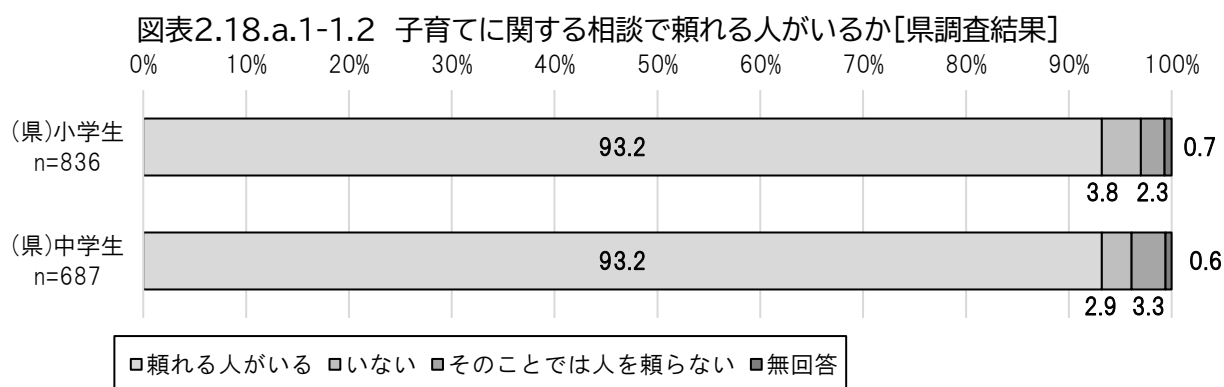
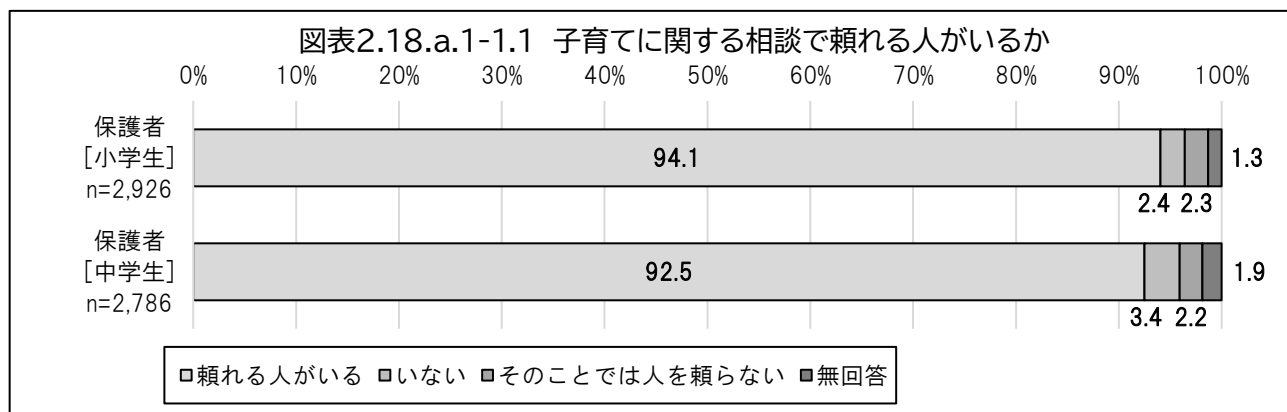


問18. あなたは次に挙げる事柄(ことがら)で頼れる人はいますか。

a) 子育てに関する相談

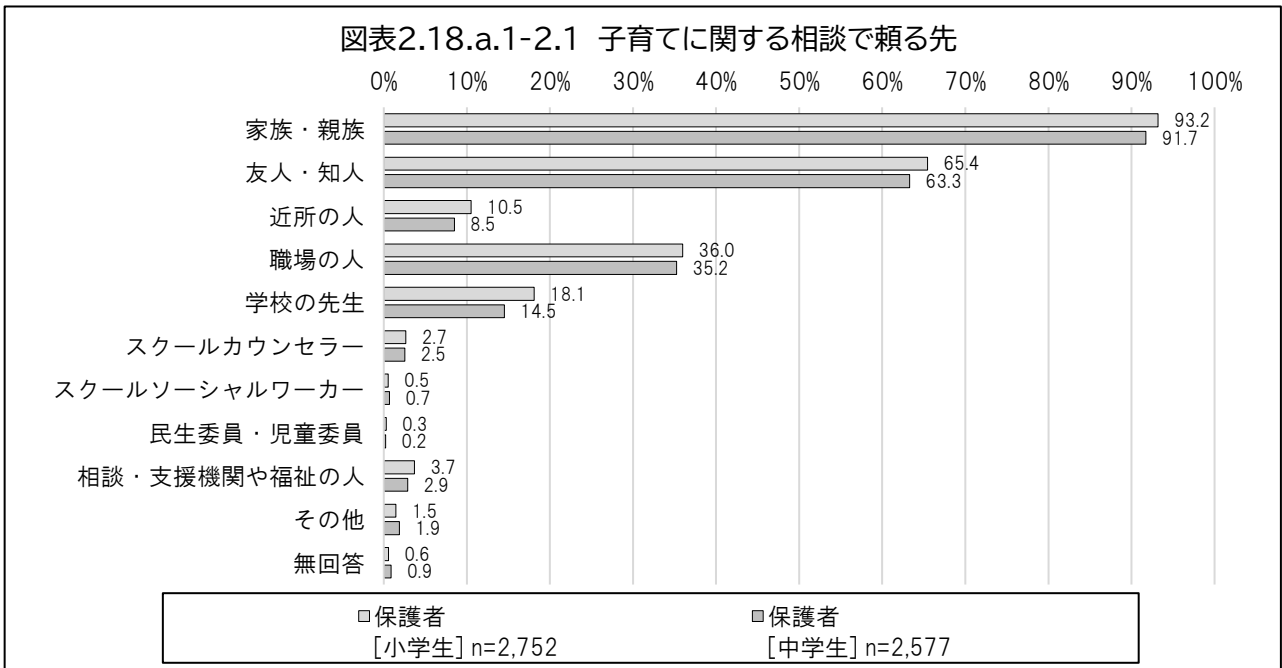
(1)-1 全体

子育てに関する相談で頼れる人がいるかについて、小学生・中学生ともに「頼れる人がいる」が、94.1%、92.5%と最も高くなっています。また、「いない」が、2.4%、3.4%となっています。

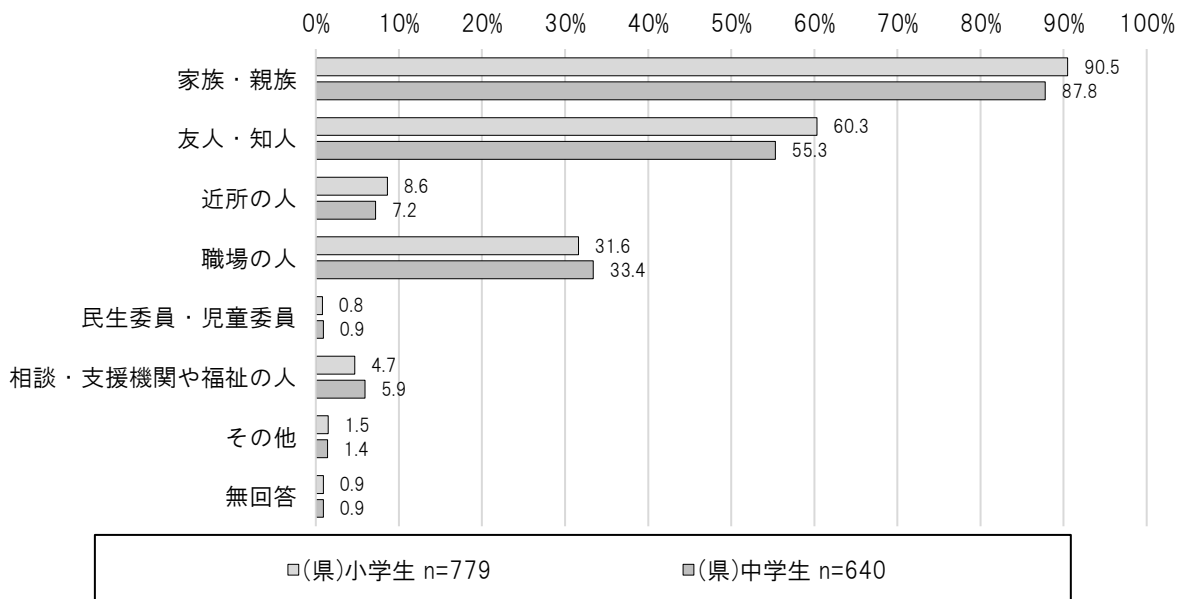


(1)-2 頼る相手(全体)

子育てに関する相談で頼る先について、小学生・中学生ともに「家族・親族」が93.2%、91.7%と最も高く、次いで「友人・知人」が65.4%、63.3%、「職場の人」が36.0%、35.2%となっています。

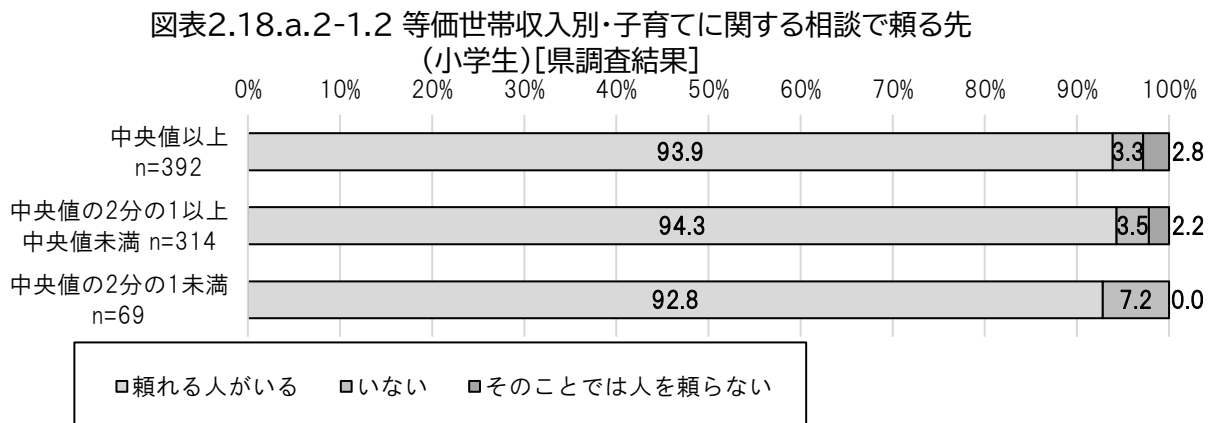
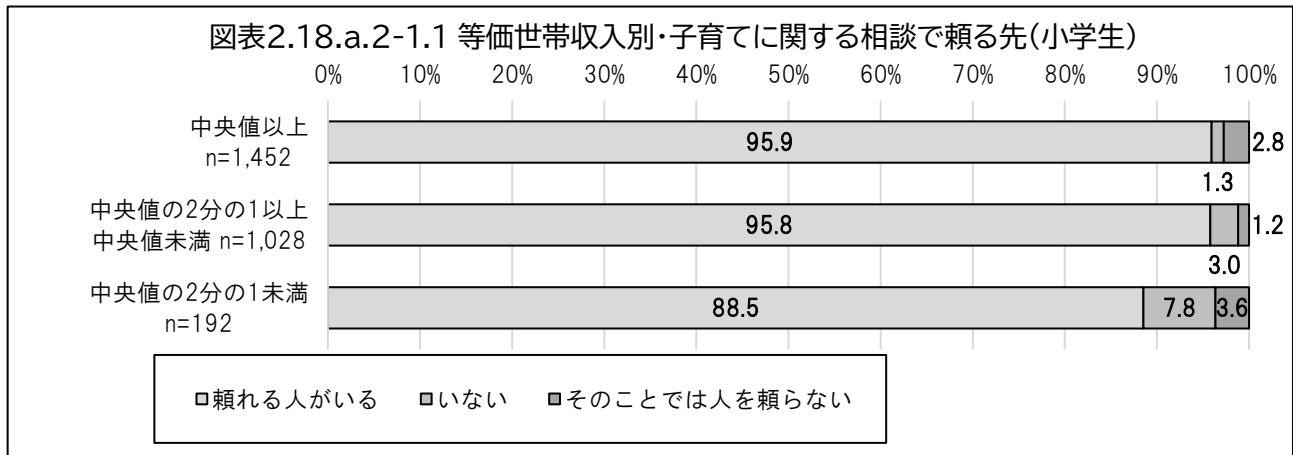


図表2.18.a.1-2.2 子育てに関する相談で頼る先[県調査結果]



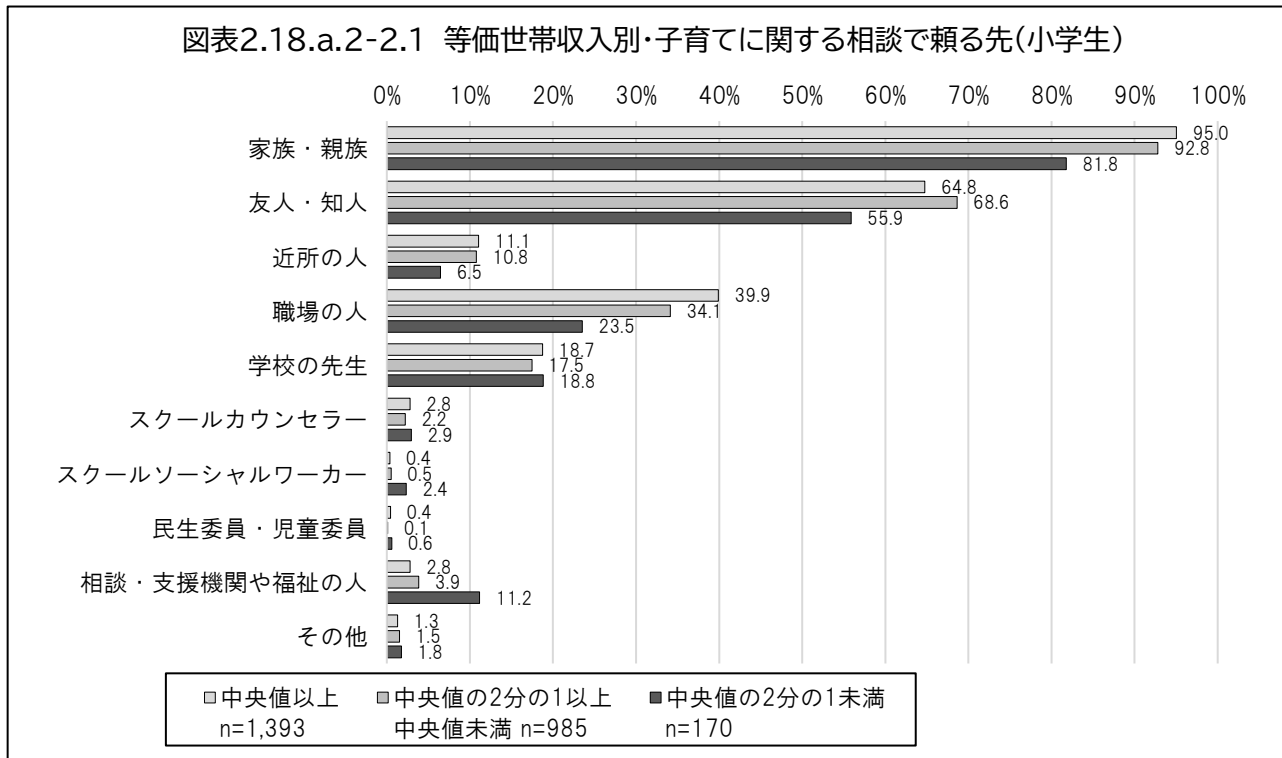
(2)-1 等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談)

子育てに関する相談で頼れる人がいるかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「頼れる人がいる」が、95.9%、95.8%、88.5%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ1.3%、3.0%、7.8%となっており、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、他の水準と比較して高くなっています。

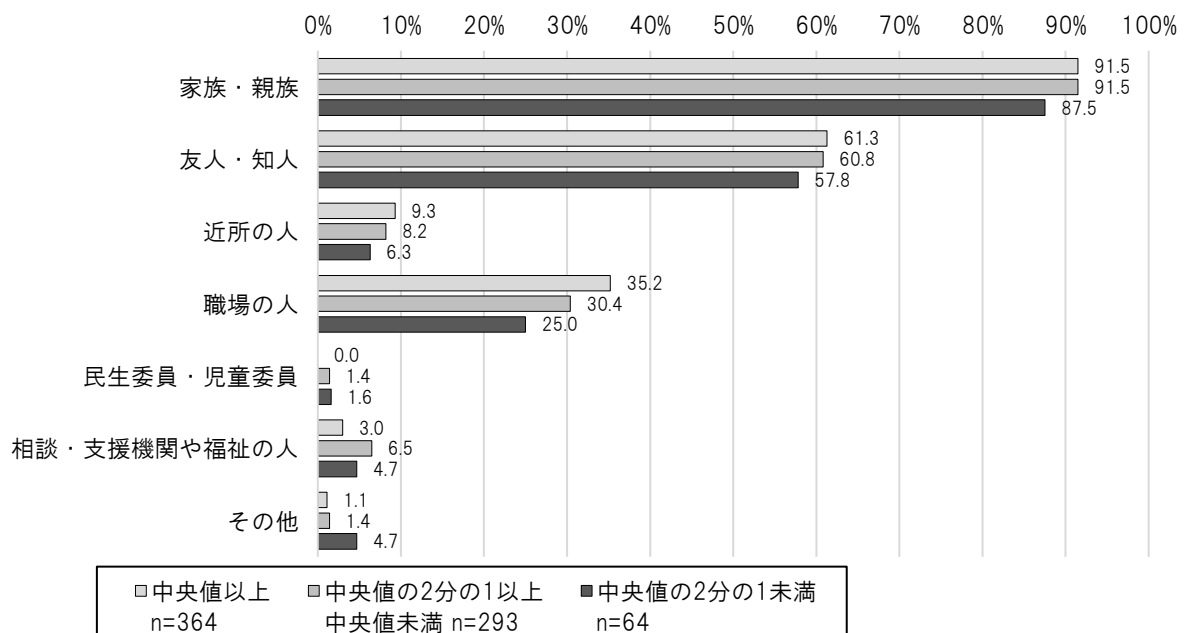


(2)-2 等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談相手)

子育てに関する相談で頼る先について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「家族・親族」が95.0%、92.8%、81.8%と最も高く、次いで、「友人・知人」が64.8%、68.6%、55.9%となっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「相談・支援機関や福祉の人」が11.2%と、他の水準と比較して高くなっています。

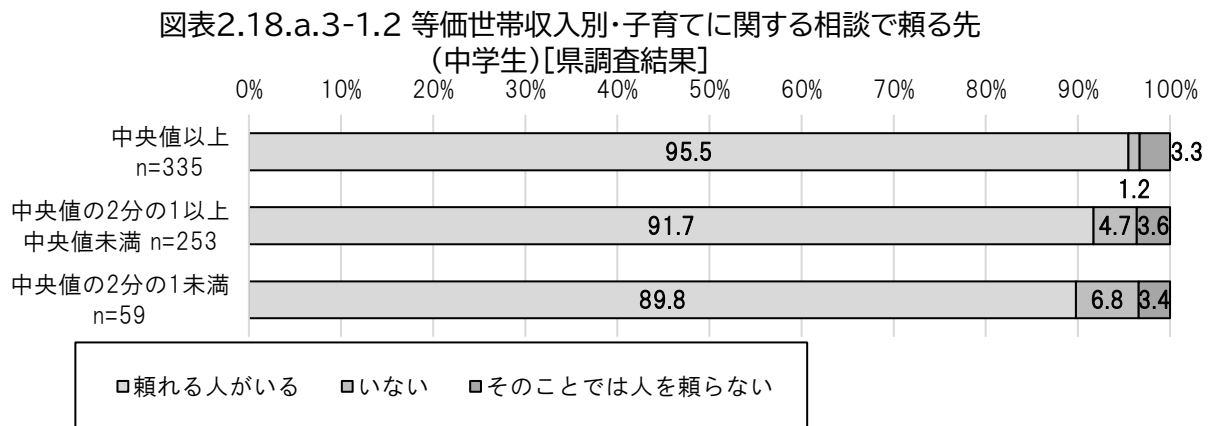
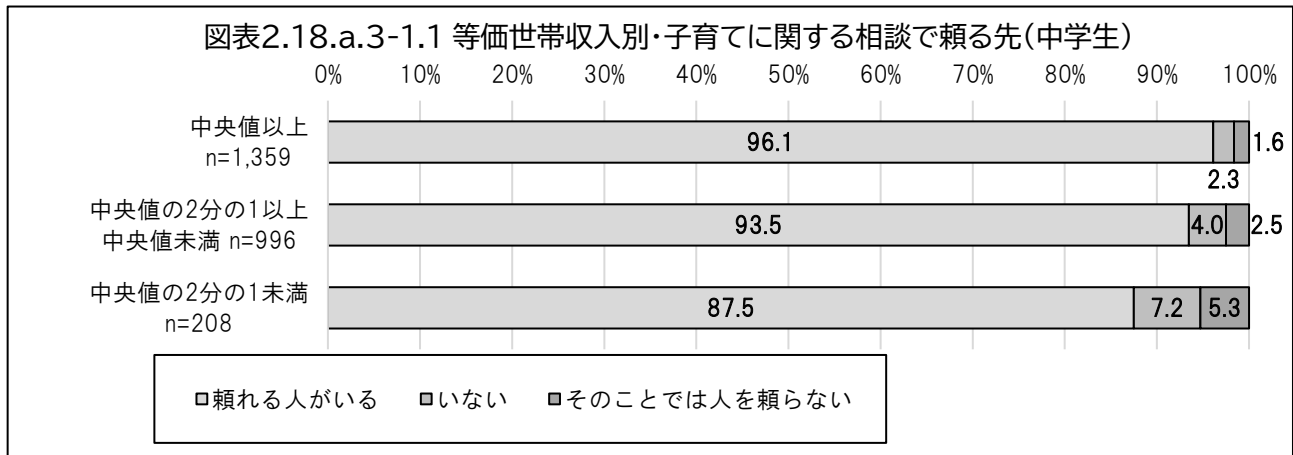


図表2.18.a.2-2.2 等価世帯収入別・子育てに関する相談で頼る先 (小学生)[県調査結果]



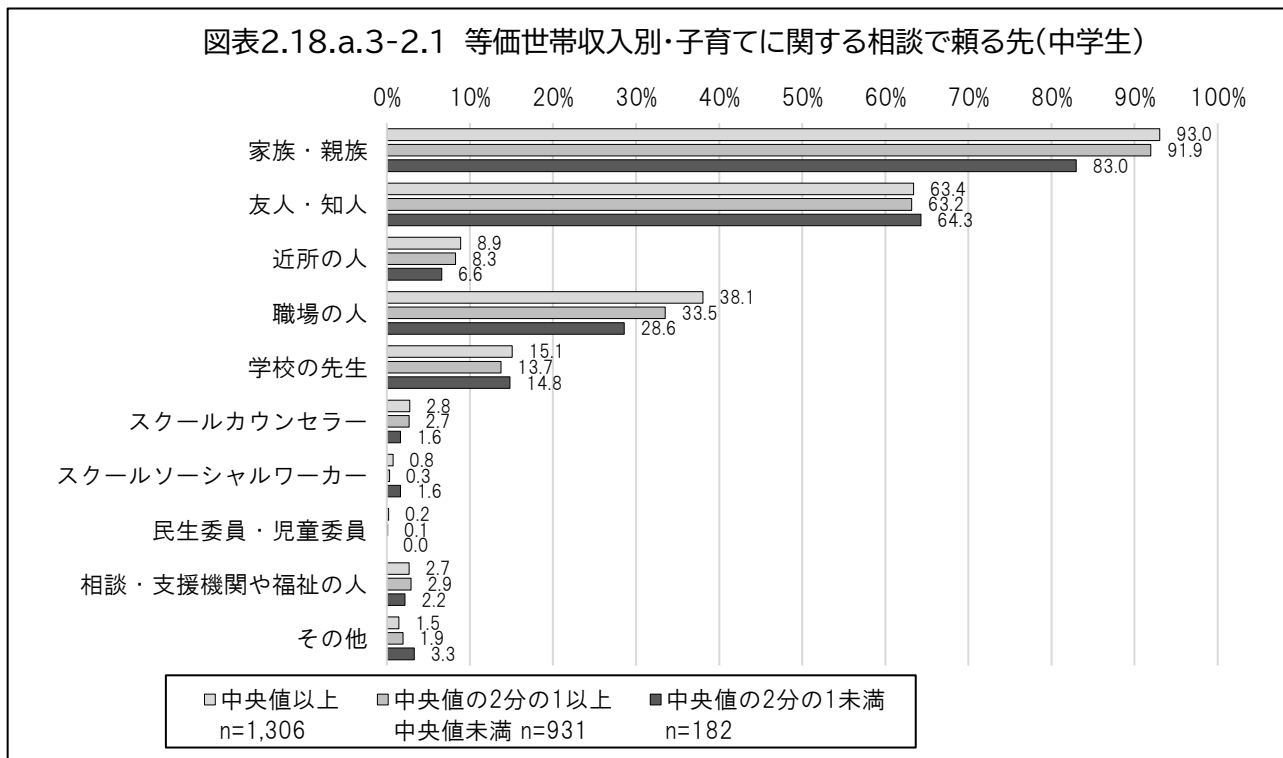
(3)-1 等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談)

子育てに関する相談で頼れる人がいるかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「頼れる人がいる」が96.1%、93.5%、87.5%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ2.3%、4.0%、7.2%となっており、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、他の水準と比較して高くなっています。

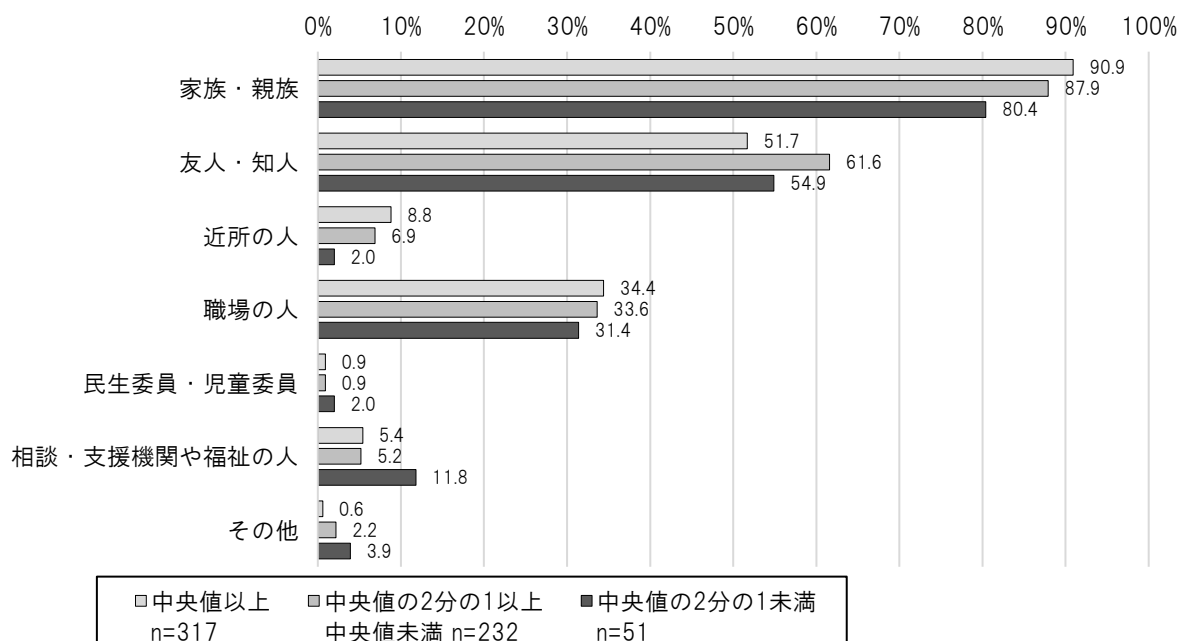


(3)-2 等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談相手)

子育てに関する相談で頼る先について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「家族・親族」が93.0%、91.9%、83.0%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、それぞれ63.4%、63.2%、64.3%となっています。

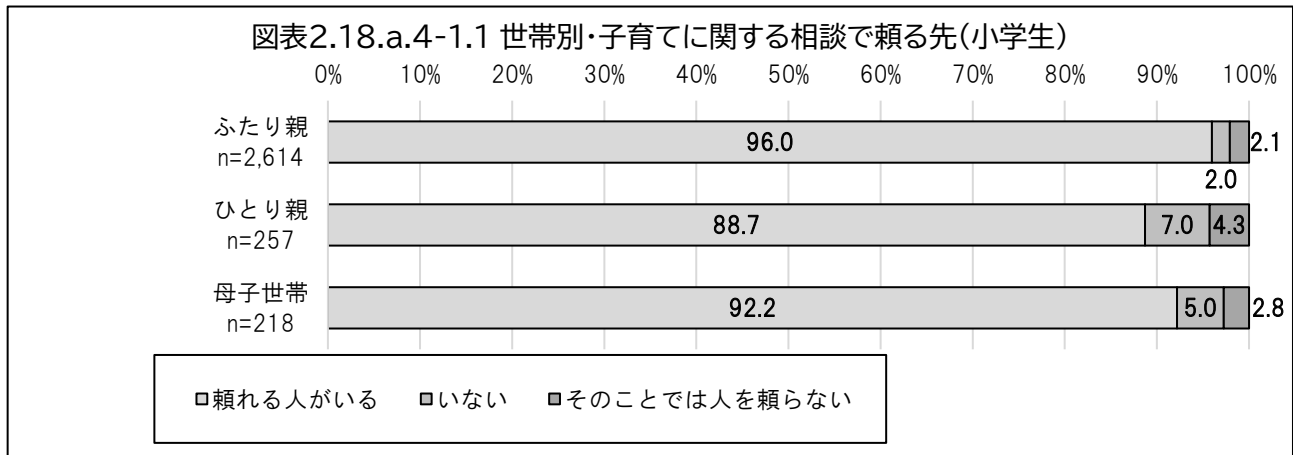


図表2.18.a.3-2.2 等価世帯収入別・子育てに関する相談で頼る先 (中学生)[県調査結果]

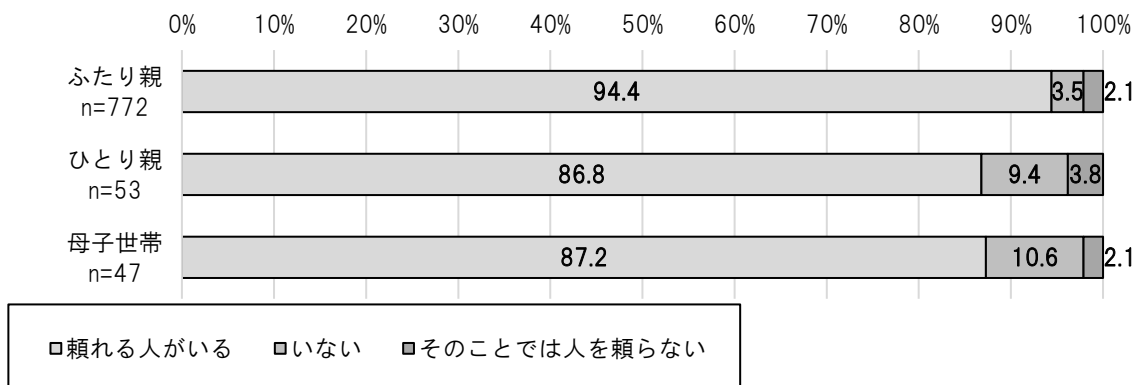


(4)-1 世帯別・保護者[小学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談)

子育てに関する相談で頼れる人がいるかについて、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「頼れる人がいる」が96.0%、88.7%、92.2%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ 2.0%、7.0%、5.0%となっており、ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

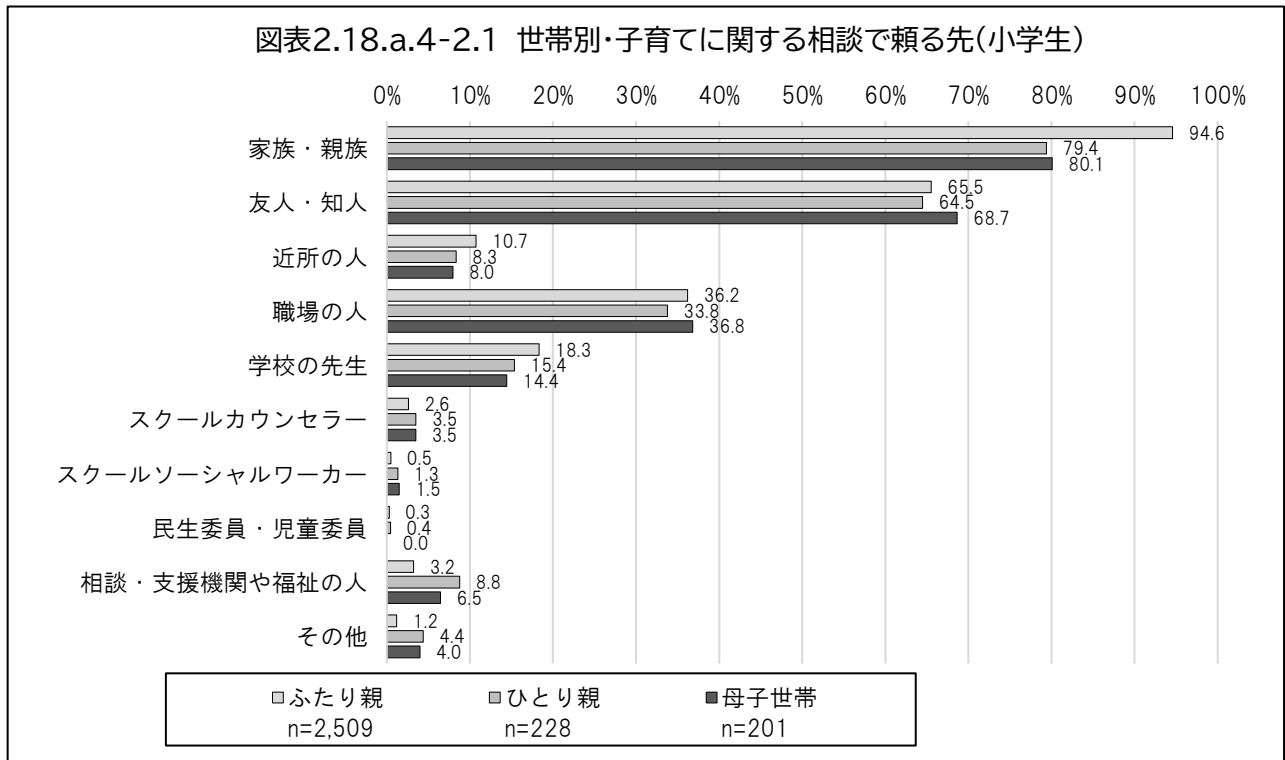


図表2.18.a.4-1.2 世帯別・子育てに関する相談で頼る先(小学生)[県調査結果]

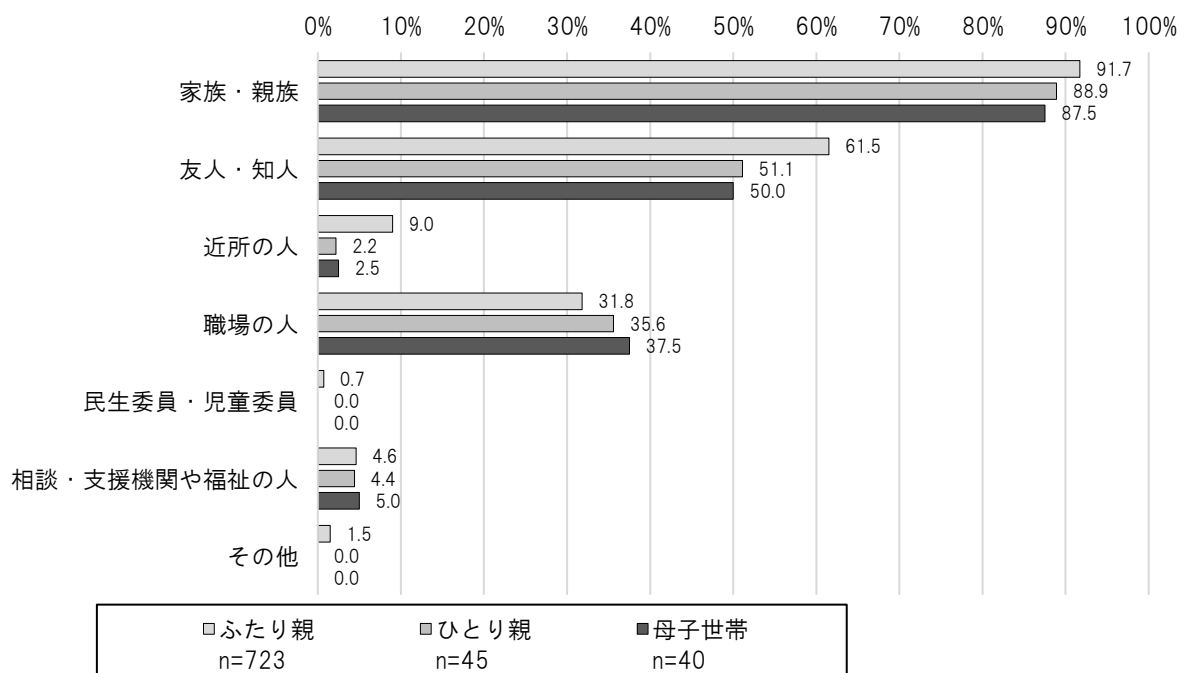


(4)-2 世帯別・保護者[小学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談相手)

子育てに関する相談で頼る先について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「家族・親族」が94.6%、79.4%、80.1%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、65.5%、64.5%、68.7%となっています。また、ひとり親世帯では、「相談・支援機関や福祉の人」が8.8%と、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

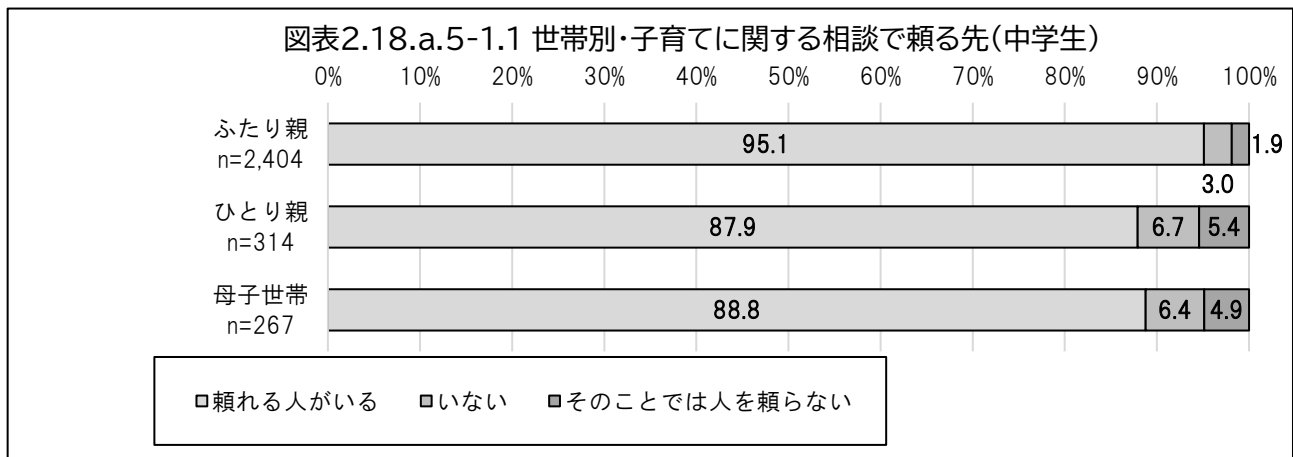


図表2.18.a.4-2.2 世帯別・子育てに関する相談で頼る先(小学生)[県調査結果]

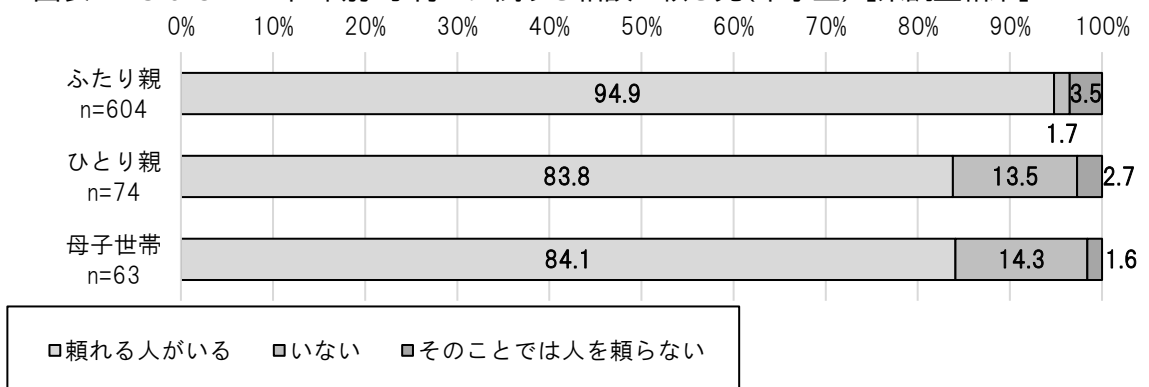


(5)-1 世帯別・保護者[中学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談)

子育てに関する相談で頼れる人がいるかについて、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「頼れる人がいる」が95.1%、87.9%、88.8%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ 3.0%、6.7%、6.4%となっており、ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

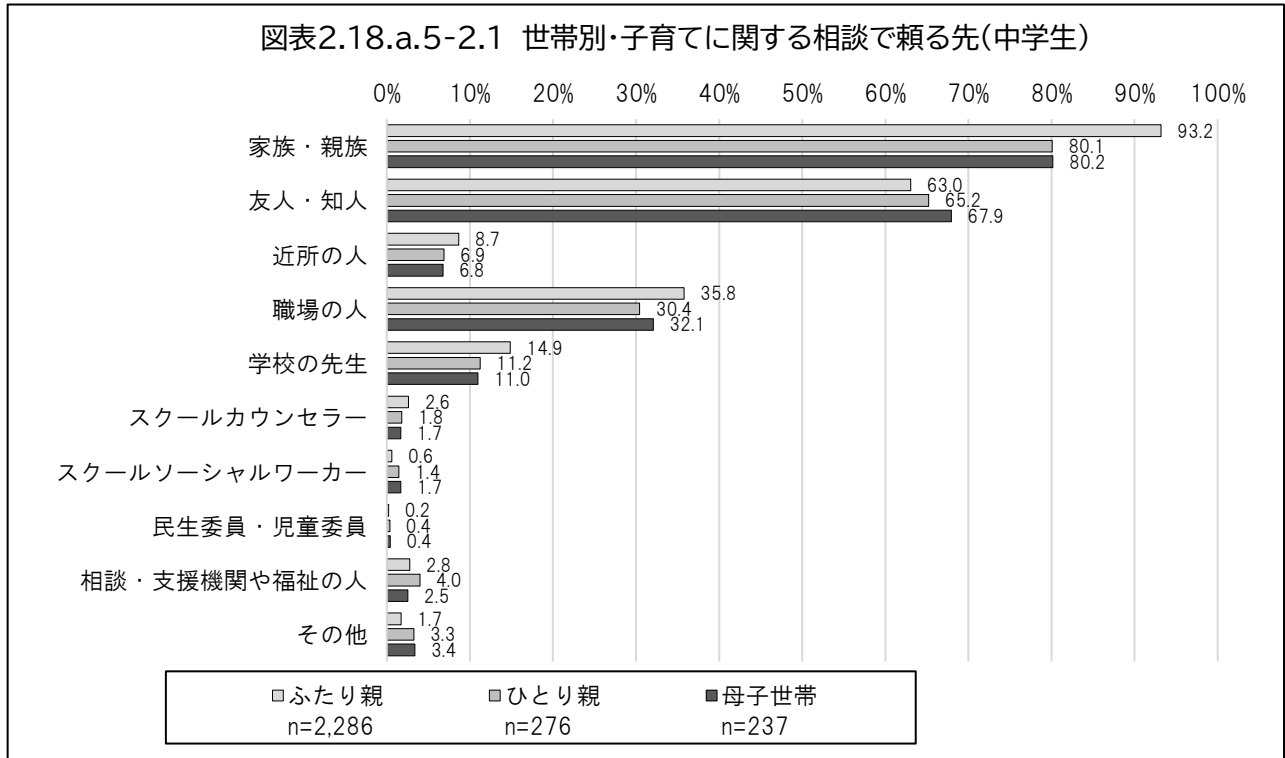


図表2.18.a.5-1.2 世帯別・子育てに関する相談で頼る先(中学生) [県調査結果]

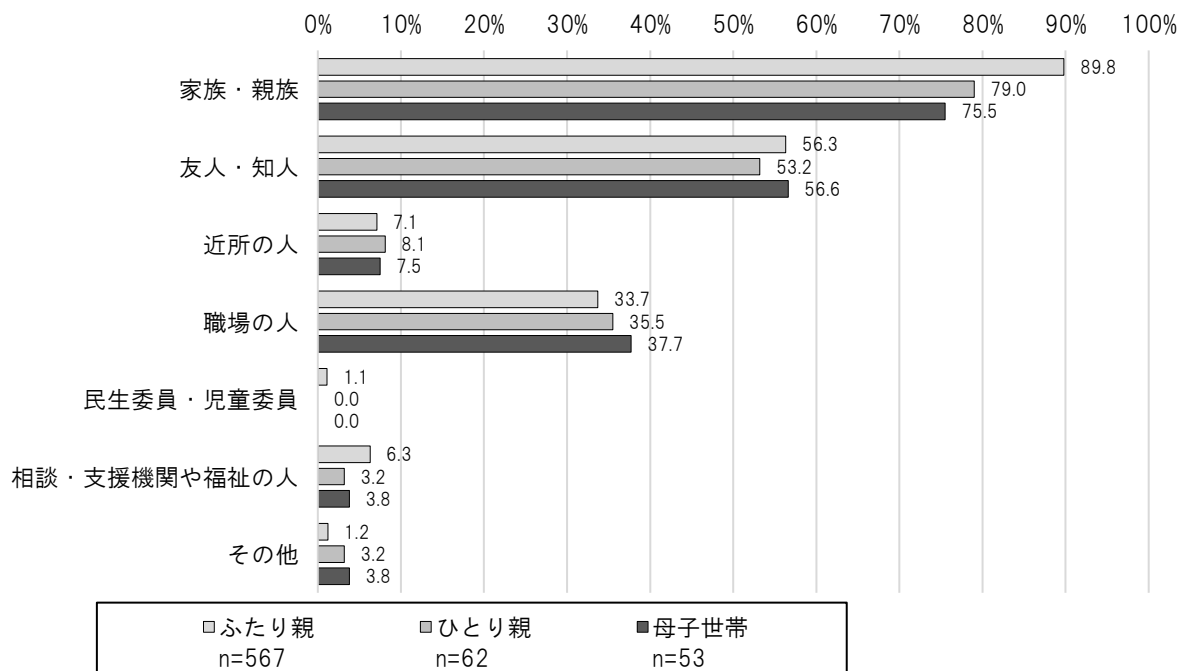


(5)-2 世帯別・保護者[中学生] (問 18 a 子育て相談に関する相談相手)

子育てに関する相談で頼る先について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「家族・親族」がそれぞれ93.2%、80.1%、80.2%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、それぞれ63.0%、65.2%、67.9%となっています。また、ひとり親世帯では、「相談・支援機関や福祉の人」が4.0%と。ふたり親世帯と比較してやや高くなっています。



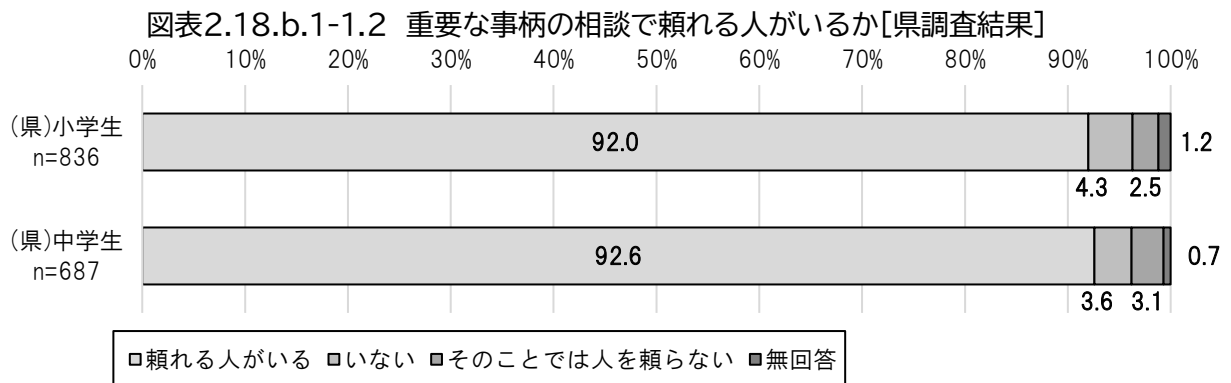
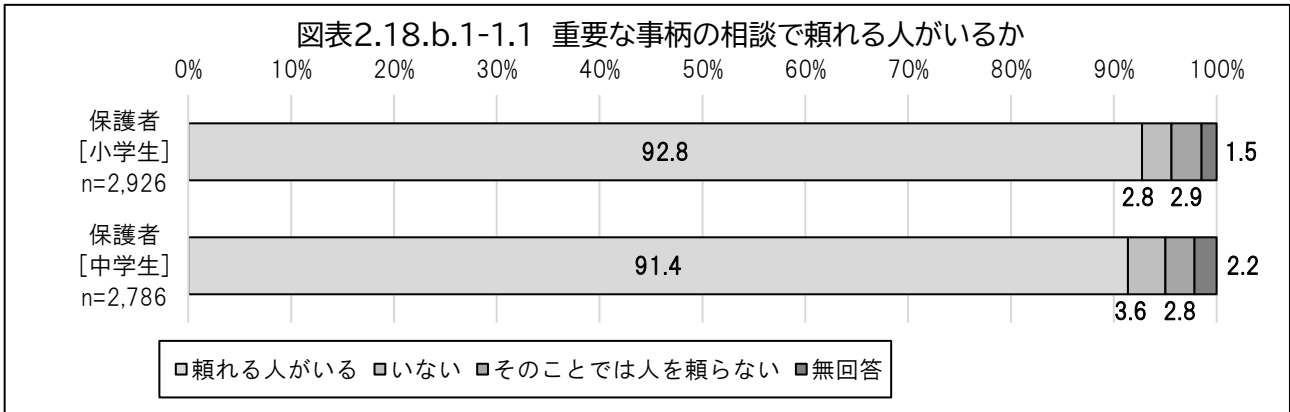
図表2.18.a.5-2.2 世帯別・子育てに関する相談で頼る先(中学生)[県調査結果]



b) 重要な事柄の相談

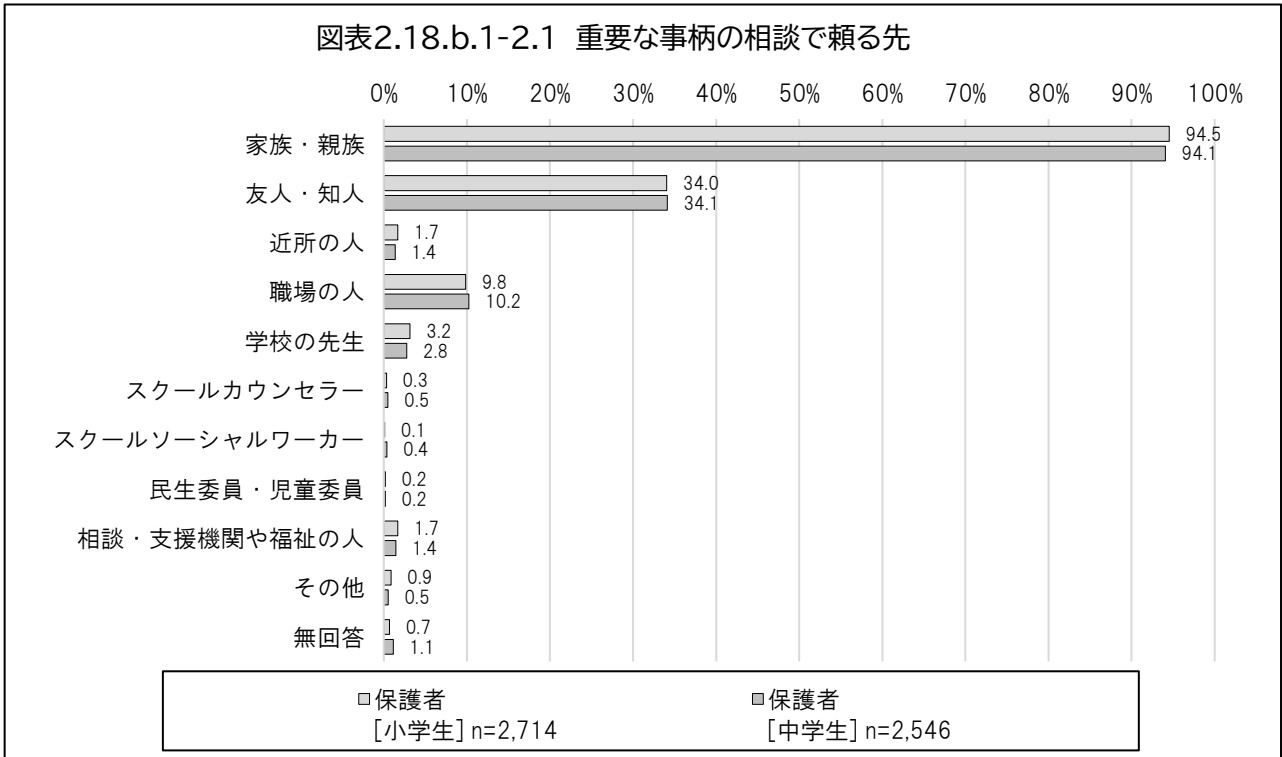
(1)-1 全体

重要な事柄の相談で頼れる人がいるかについて、小学生・中学生ともに「頼れる人がいる」が92.8%、91.4%と最も高くなっています。また、「いない」がそれぞれ2.8%、3.6%となっています。

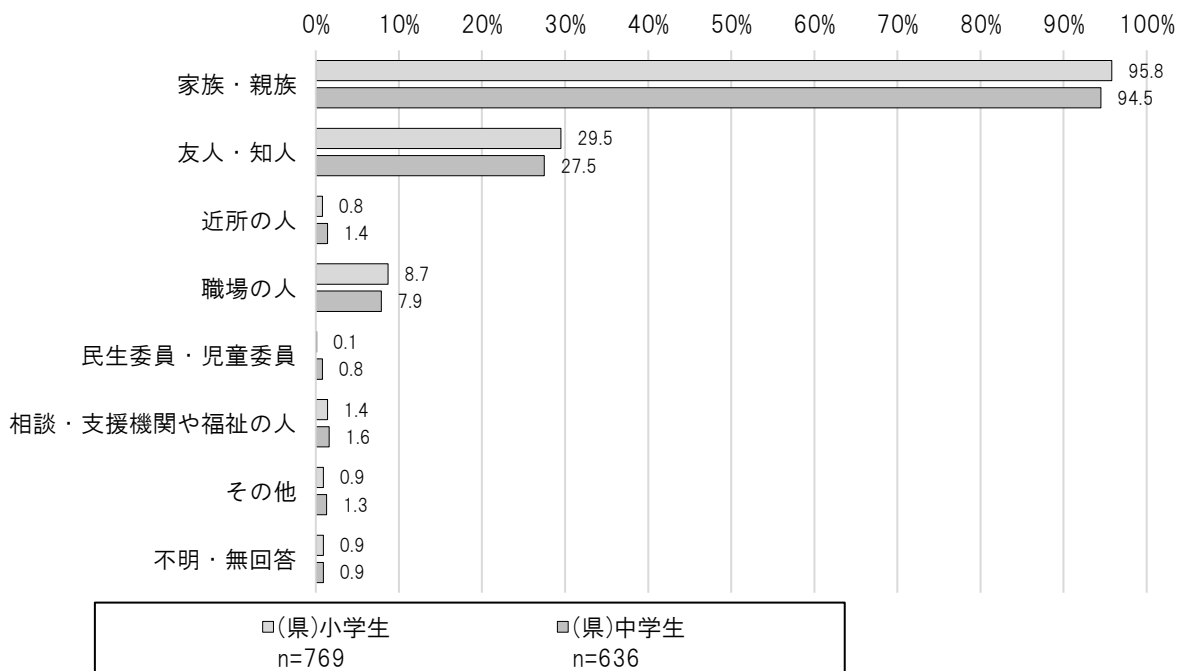


(1)-2 頼る相手(全体)

重要な事柄の相談で頼る先について、小学生・中学生ともに「家族・親族」が94.5%、94.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が34.0%、34.1%となっています。

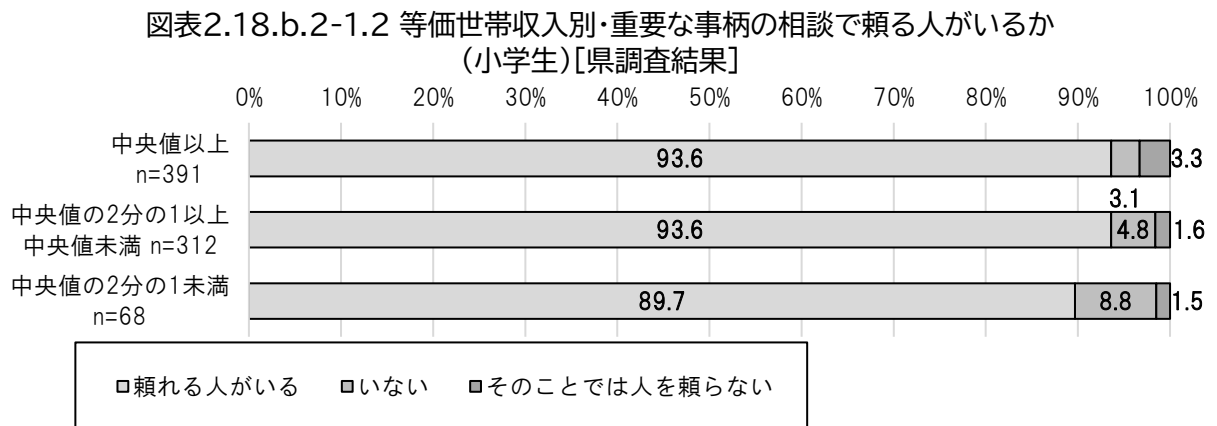
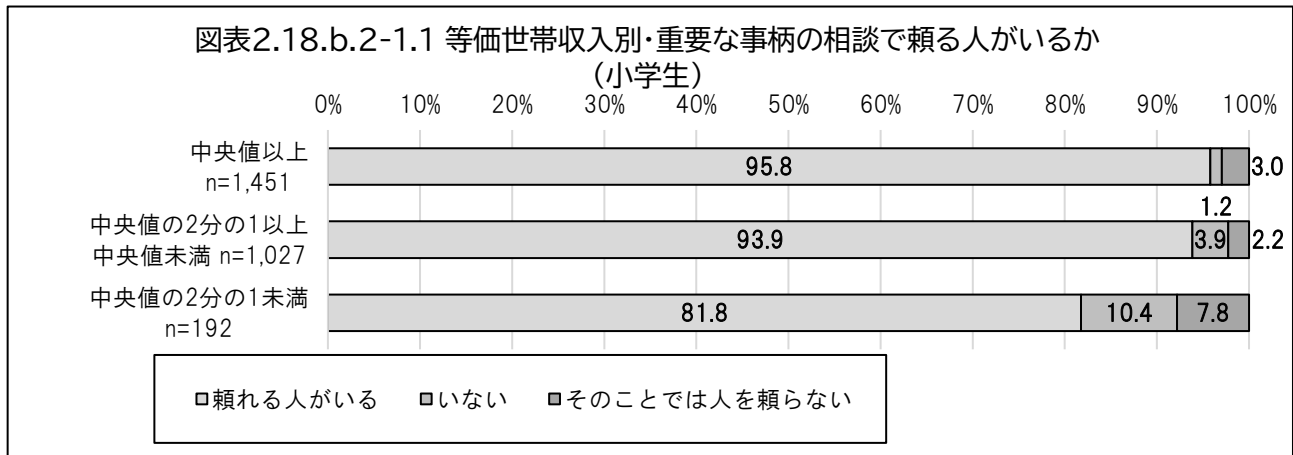


図表2.18.b.1-2.2 重要な事柄の相談で頼る先[県調査結果]



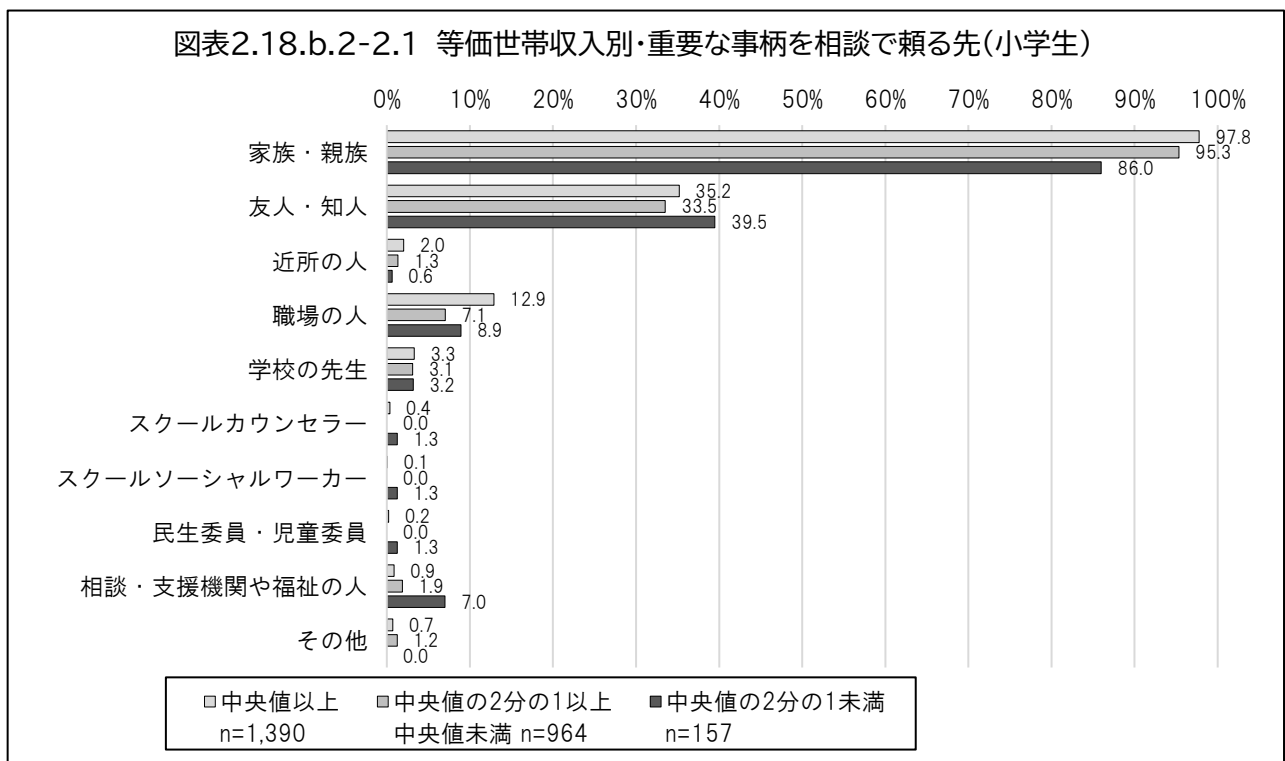
(2)-1 等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 18 b 重要な事柄の相談)

重要な事柄の相談で頼れる人がいるかについて、等価世帯収入別で見ると、小学生では、いずれの水準においても「頼れる人がいる」が95.8%、93.9%、81.8%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ1.2%、3.9%、10.4%となっており、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、他の水準と比較して高くなっています。

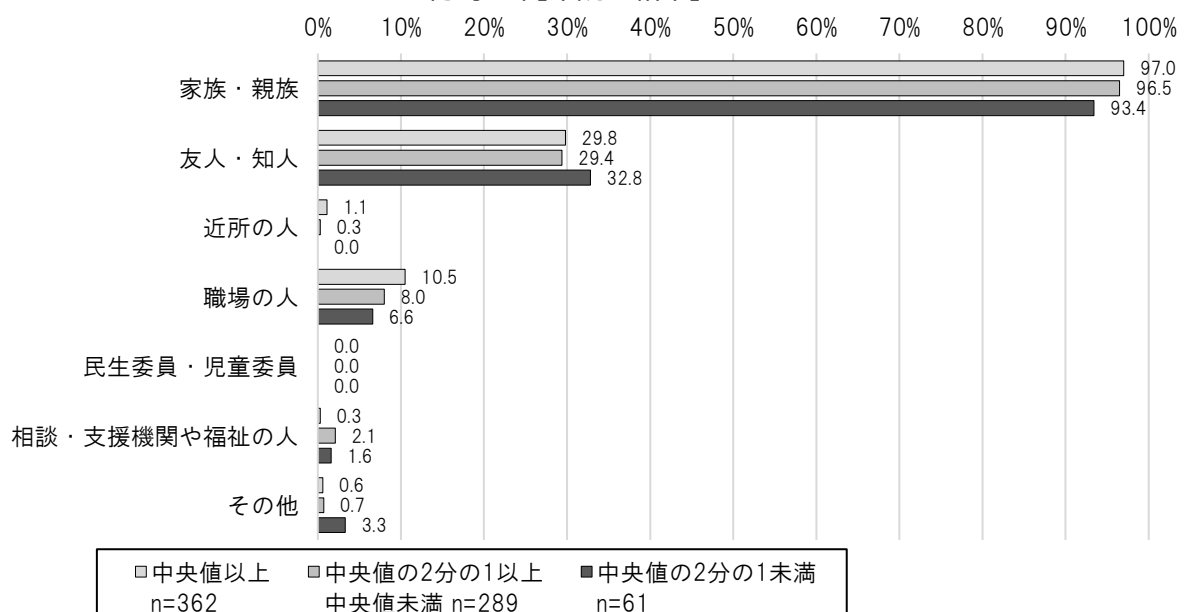


(2)-2 等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 18 b 重要な事柄の相談相手)

重要な事柄の相談で頼る先について、等価世帯収入別でみると、小学生では、いずれの水準においても「家族・親族」がそれぞれ97.8%、95.3%、86.0%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、それぞれ35.2%、33.5%、39.5%となっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「相談・支援機関や福祉の人」が7.0%と、他の水準と比較して高くなっています。

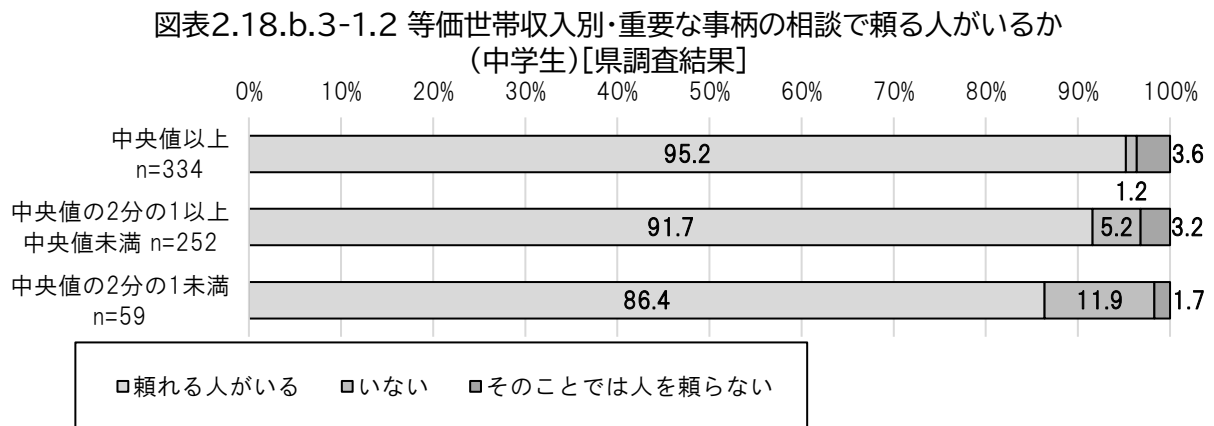
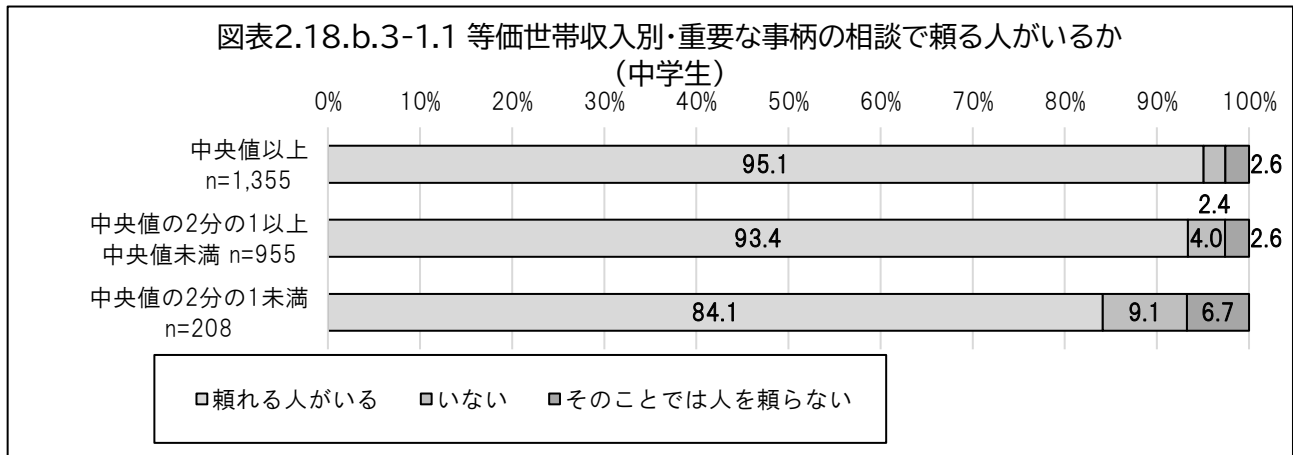


図表2.18.b.2-2.2 等価世帯収入別・重要な事柄の相談で頼る先(小学生)[県調査結果]



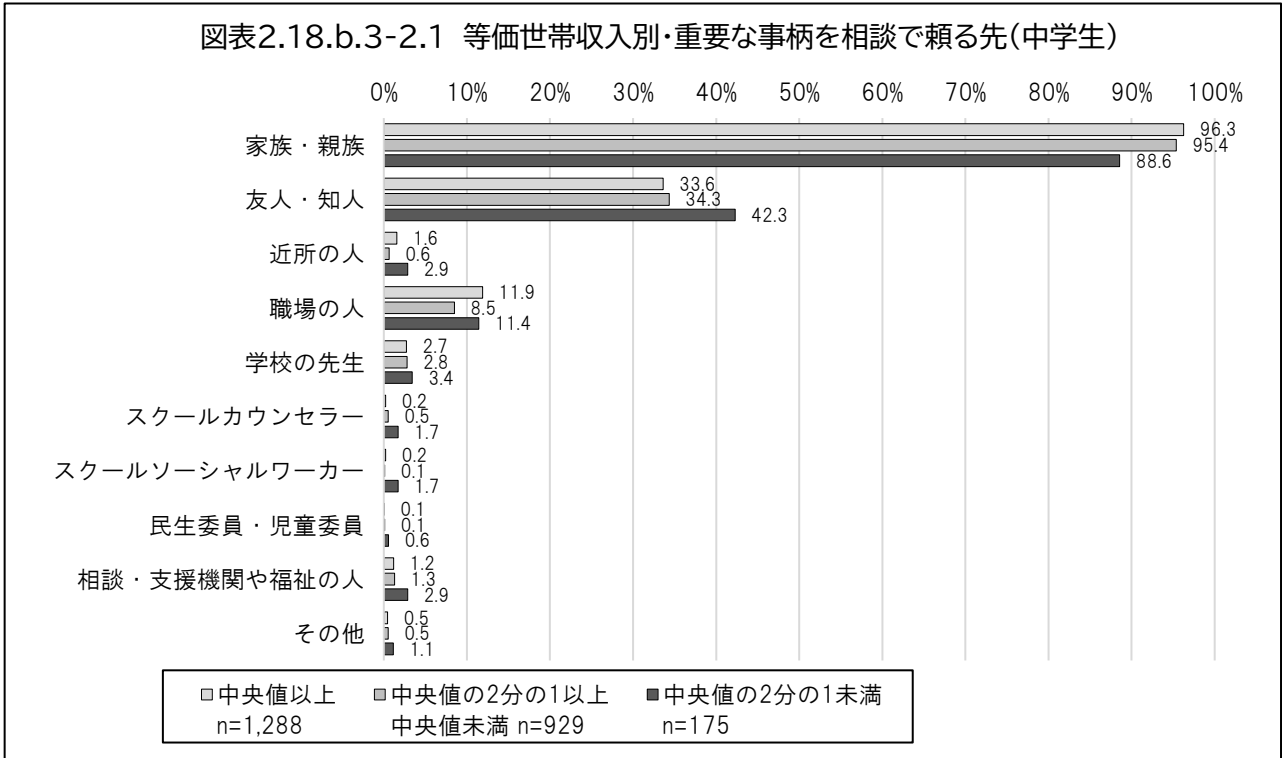
(3)-1 等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 18 b 重要な事柄の相談)

重要な事柄の相談で頼れる人がいるかについて、等価世帯収入別で見ると、中学生では、いずれの水準においても「頼れる人がいる」が95.1%、93.4%、84.1%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ2.4%、4.0%、9.1%となっており、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、他の水準と比較して高くなっています。

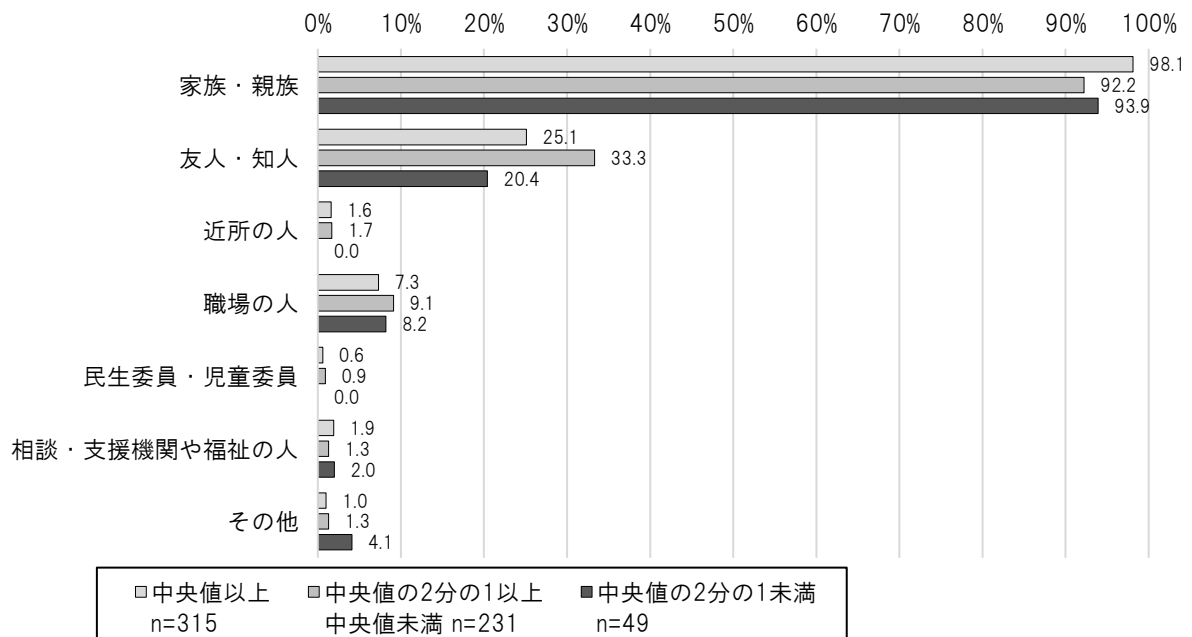


(3)-2 等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 18 b 重要な事柄の相談相手)

重要な事柄の相談で頼る先について、等価世帯収入別でみると、中学生では、いずれの水準においても「家族・親族」が96.3%、95.4%、88.6%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、それぞれ33.6%、34.3%、42.3%となっています。

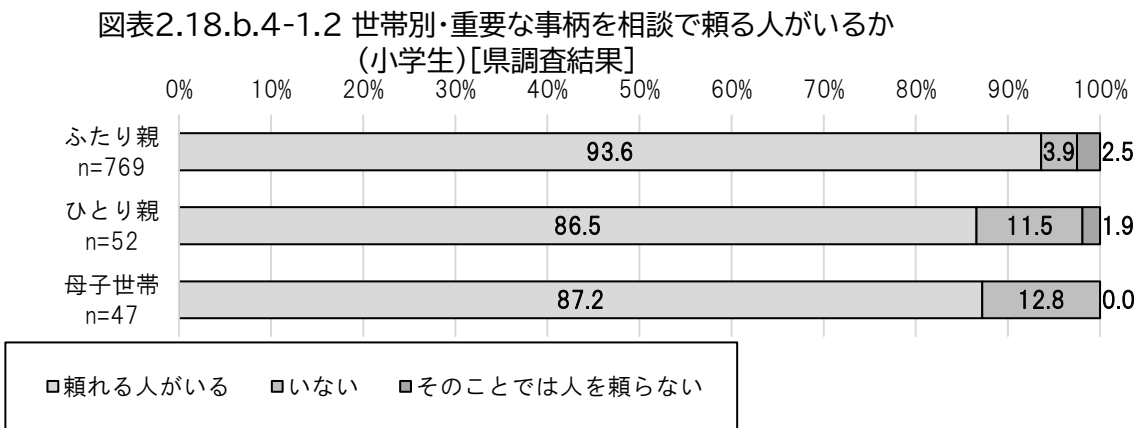
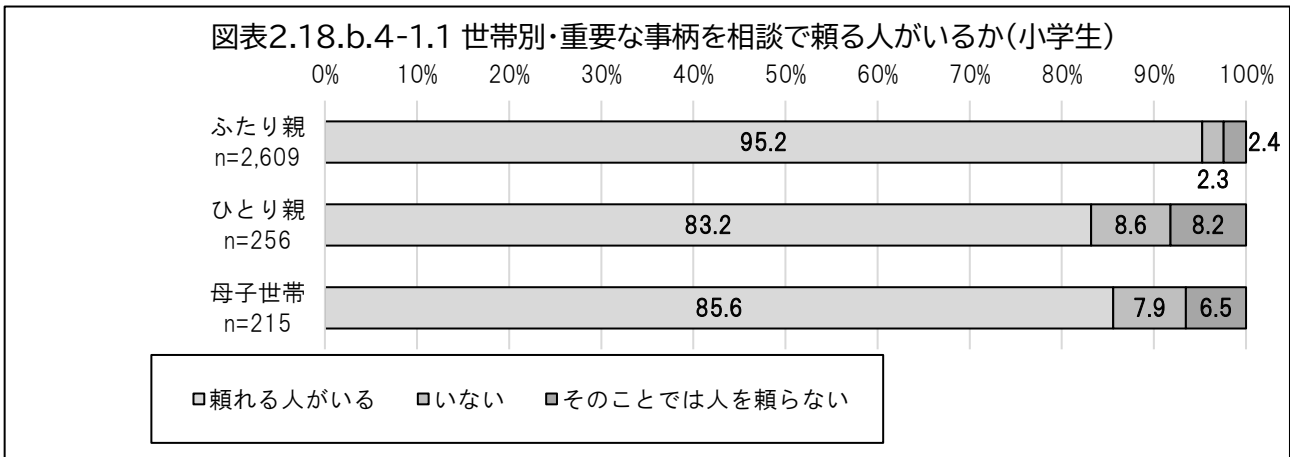


図表2.18.b.3-2.2 等価世帯収入別・重要な事柄を相談で頼る先 (中学生)[県調査結果]



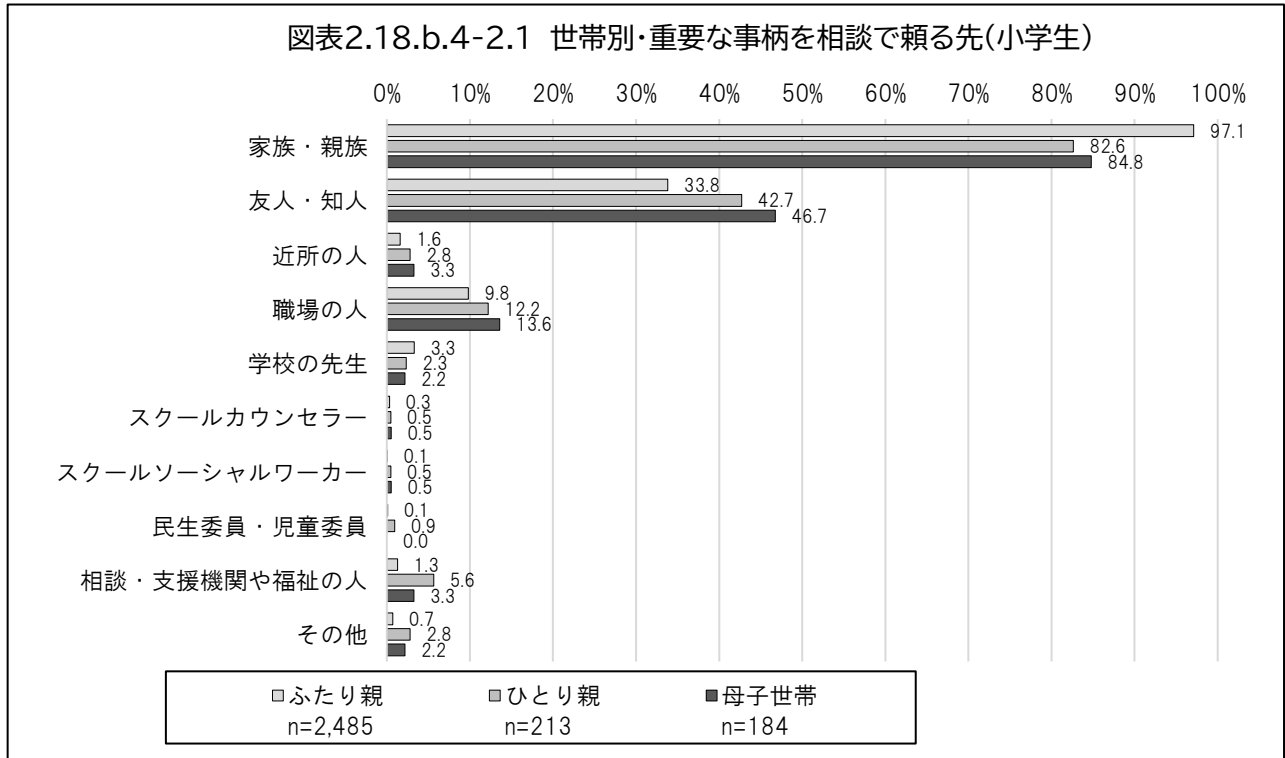
(4)-1 世帯別・保護者[小学生] (問 18 b 重要な事柄の相談)

重要な事柄の相談で頼れる人がいるかについて、世帯別でみると、小学生では、いずれの世帯においても「頼れる人がいる」が95.2%、83.2%、85.6%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ 2.3%、8.6%、7.9%となっており、ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

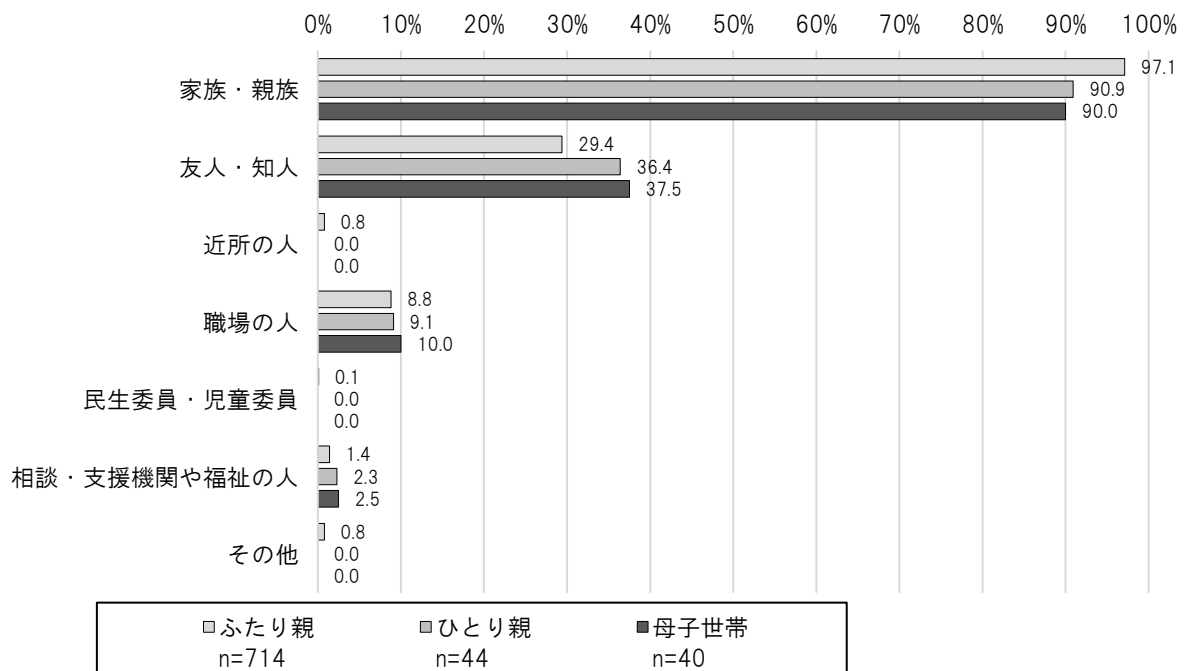


(4)-2 世帯別・保護者[小学生] (問 18 b 重要な事柄の相談相手)

重要な事柄の相談で頼る先について、世帯別でみると、小学生では、いずれの世帯においても「家族・親族」が97.1%、82.6%、84.8%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、それぞれ33.8%、42.7%、46.7%となっています。また、ひとり親世帯では、「職場の人」が12.2%、「相談・支援機関や福祉の人」が5.6%と、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

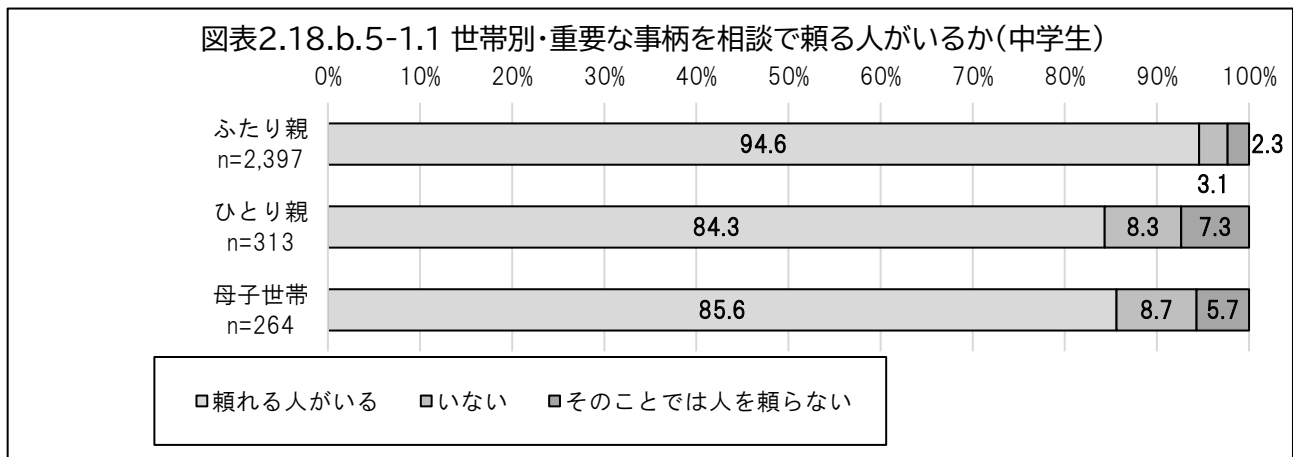


図表2.18.b.4-2.2 世帯別・重要な事柄を相談で頼る先(小学生)[県調査結果]

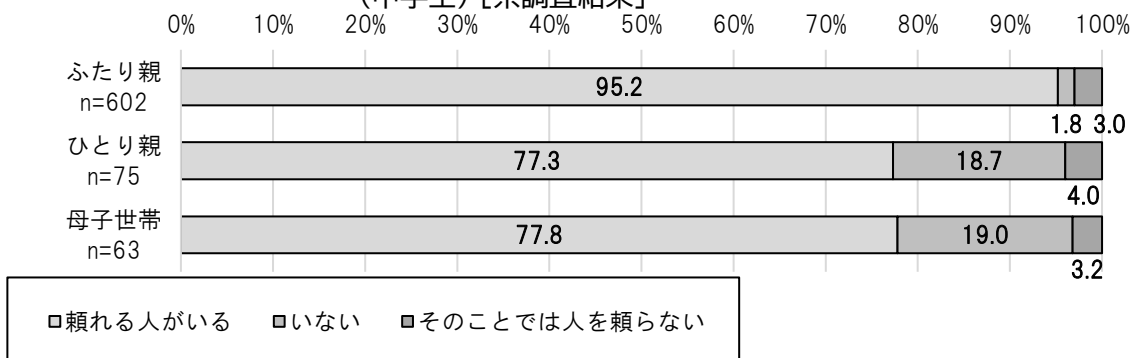


(5)-1 世帯別・保護者[中学生] (問 18 b 重要な事柄の相談)

重要な事柄の相談で頼れる人がいるかについて、世帯別で見ると、中学生では、いずれの世帯においても「頼れる人がいる」が94.6%、84.3%、85.6%と最も高くなっています。また、「いない」が、それぞれ 3.1%、8.3%、8.7%となっており、ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

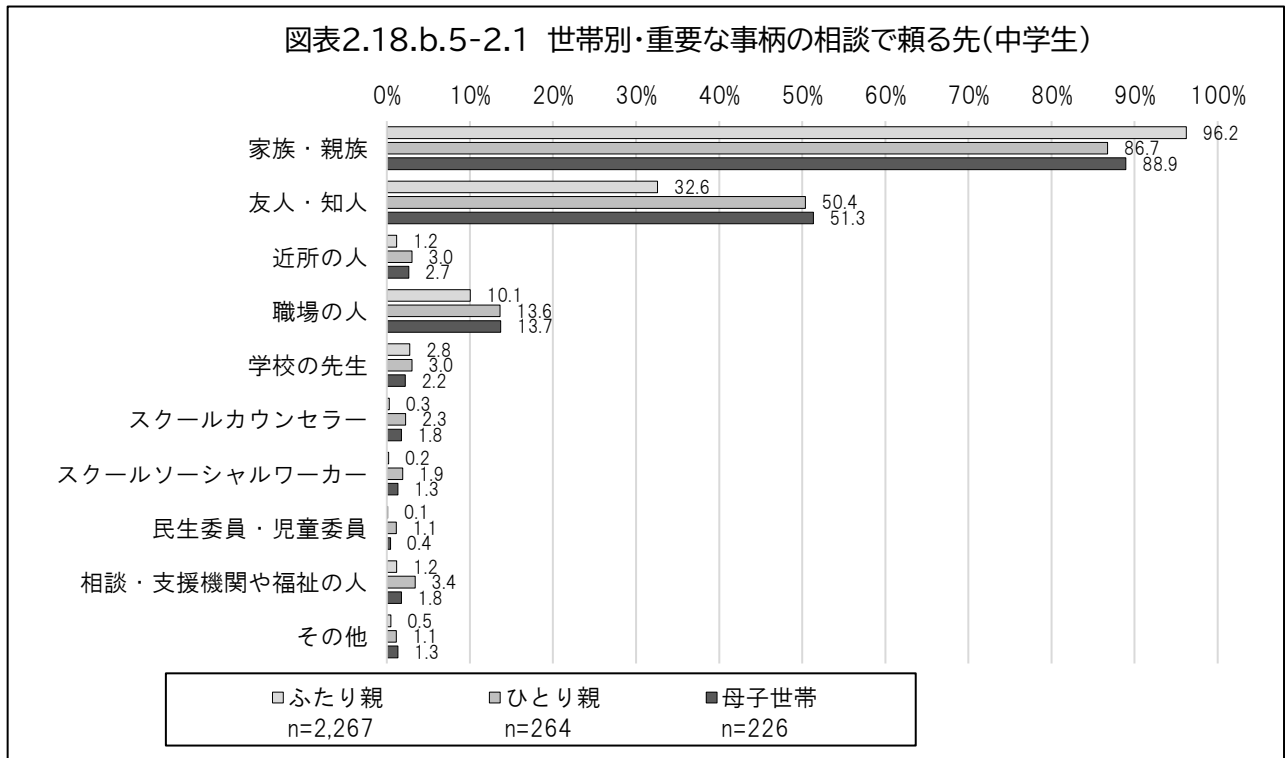


図表2.18.b.5-1.2 世帯別・重要な事柄を相談で頼れる人がいるか
(中学生) [県調査結果]

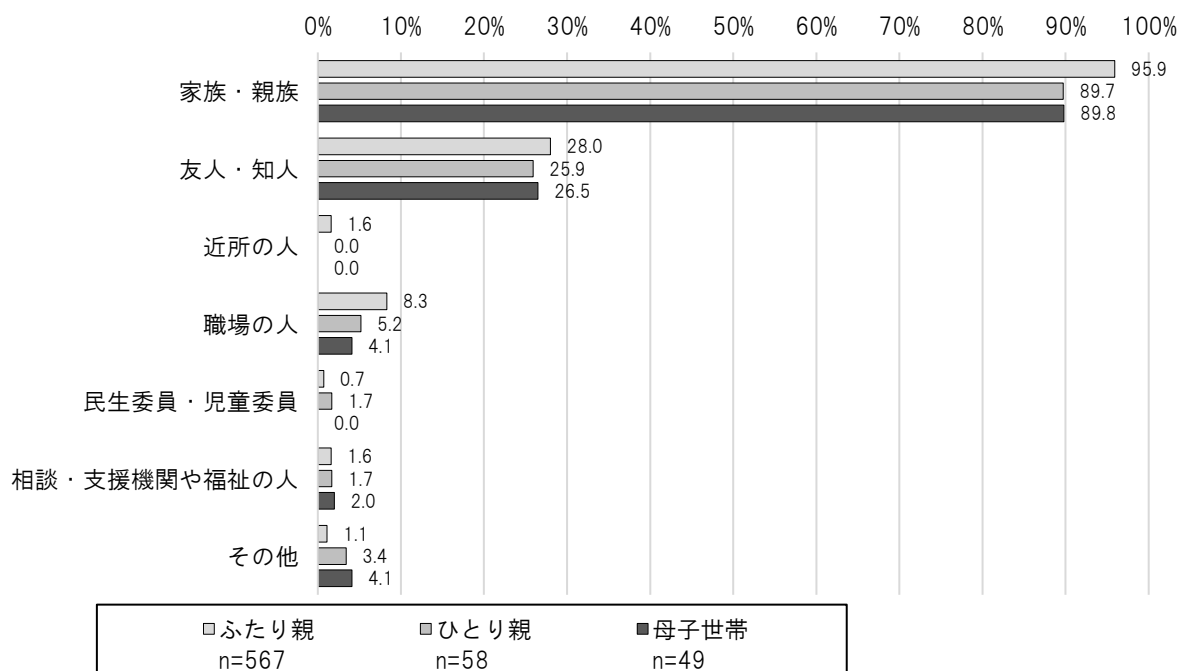


(5)-2 世帯別・保護者[中学生] (問 18 b 重要な事柄の相談相手)

重要な事柄の相談で頼る先について、世帯別でみると、中学生では、いずれの世帯においても「家族・親族」が、96.2%、86.7%、88.9%と最も高くなっています。次いで、「友人・知人」が、それぞれ32.6%、50.4%、51.3%となっています。また、ひとり親世帯では、「職場の人」が13.6%、「相談・支援機関や福祉の人」が3.4%と、ふたり親世帯と比較して高くなっています。



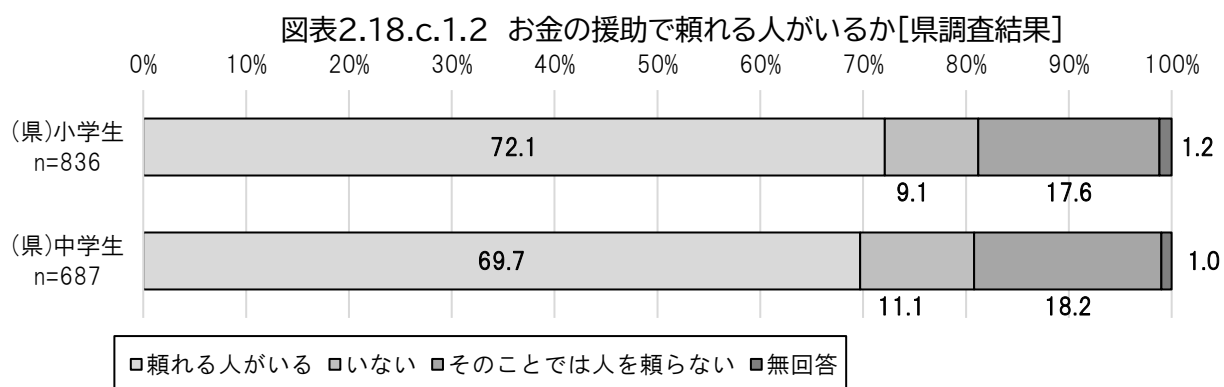
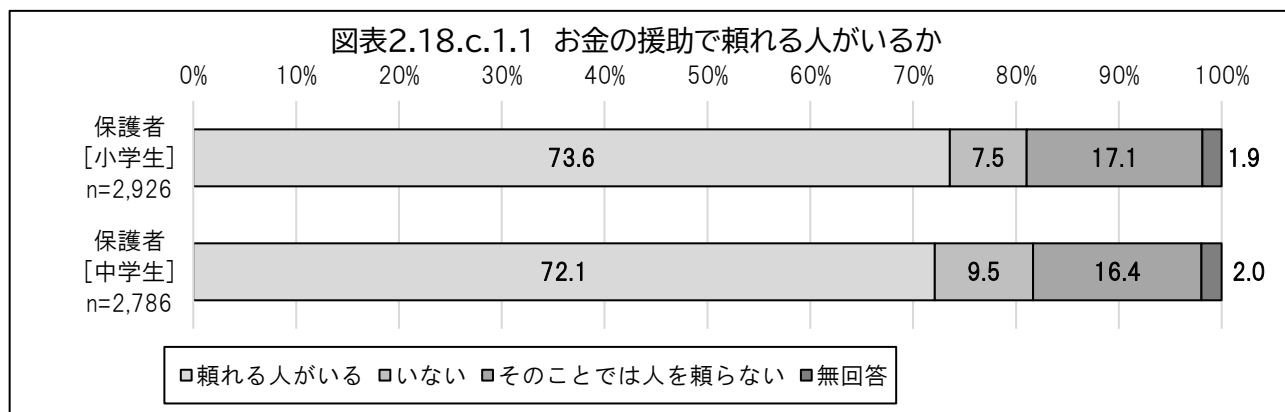
図表2.18.b.5-2.2 世帯別・重要な事柄の相談で頼る先(中学生)[県調査結果]



c) いざという時のお金の援助

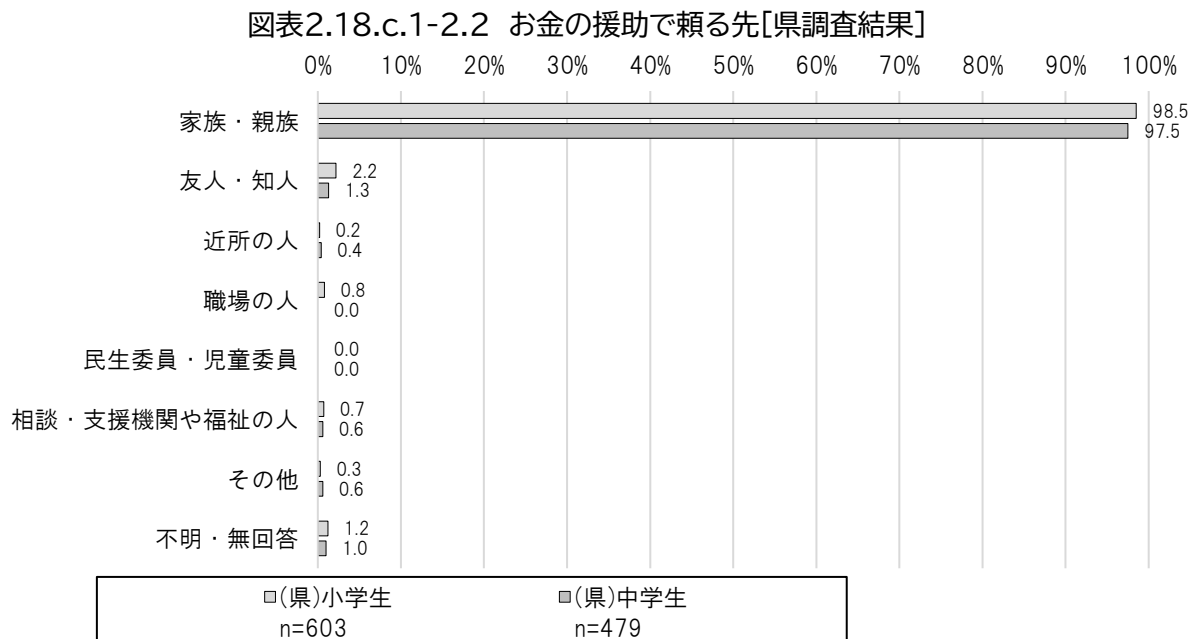
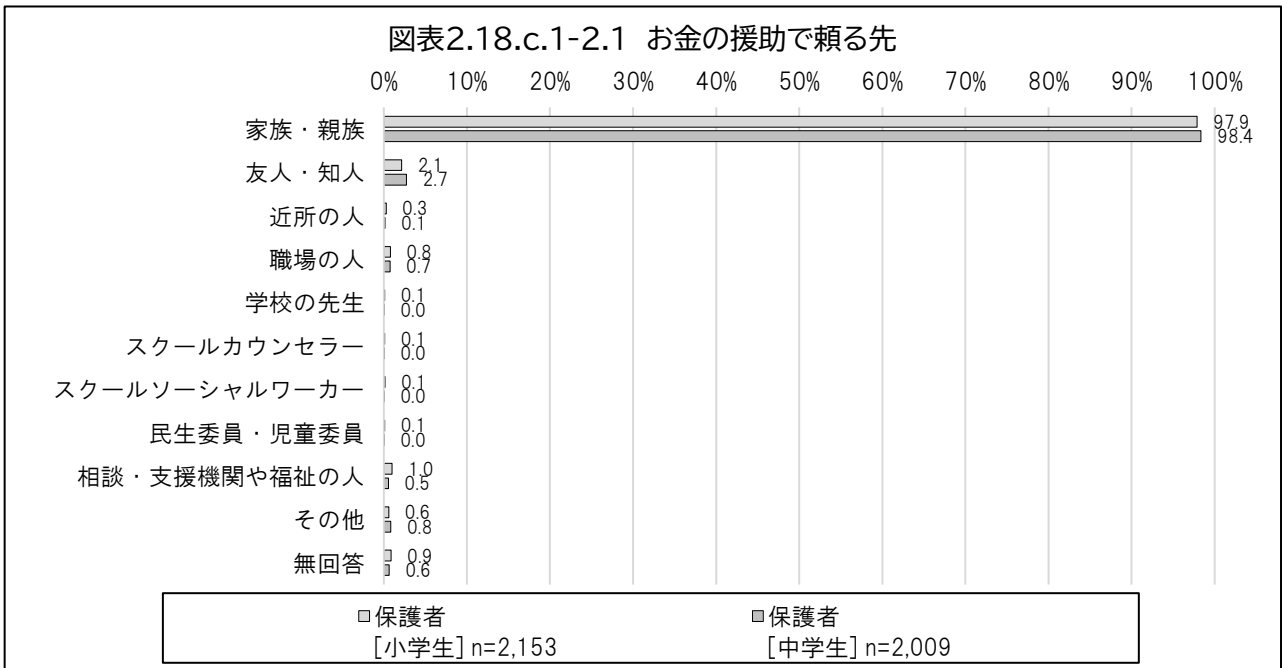
(1)-1 全体

いざという時のお金の援助で頼れる人がいるかについて、小学生・中学生ともに「頼れる人がいる」が、73.6%、72.1%と最も高く、次いで「そのことでは人を頼らない」が17.1%、16.4%、「いない」が7.5%、9.5%となっています。



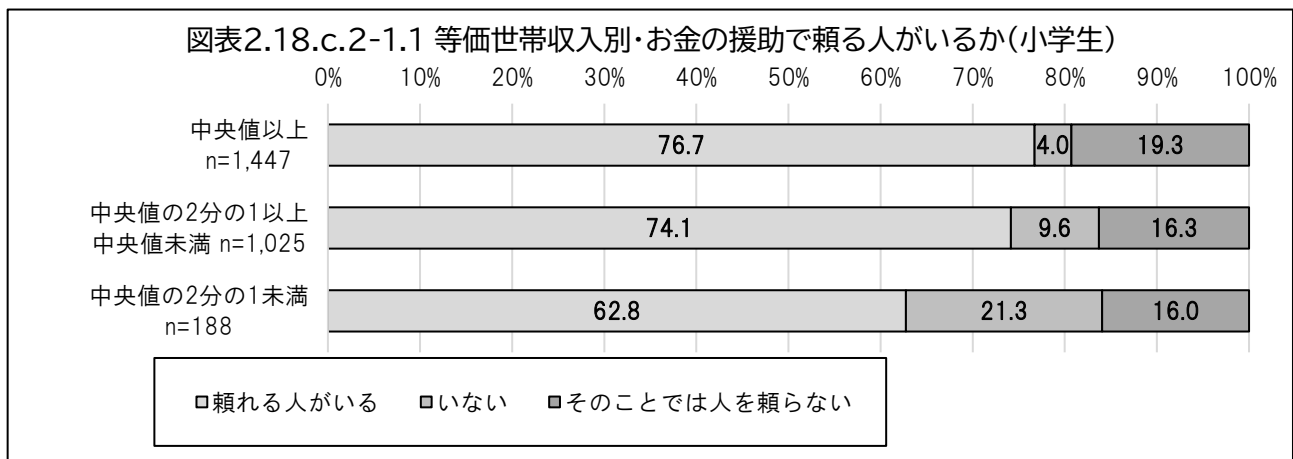
(1)-2 頼る相手

いざという時のお金の援助で頼る先について、小学生・中学生ともに「家族・親族」が97.9%、98.4%と最も高く、次いで「友人・知人」が、それぞれ2.1%、2.7%となっています。

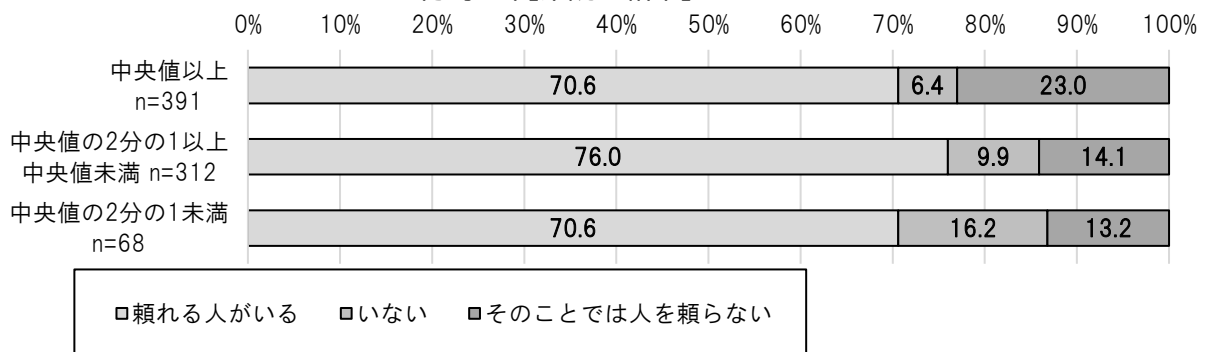


(2)-1 等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 18 c いざというときのお金の援助)

いざというときのお金の援助で頼れる人がいるかについて、等価世帯収入別でみると、小学生では、いずれの水準においても「頼れる人がいる」が76.7%、74.1%、62.8%と最も高くなっています。次いで、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」では、「そのことでは人を頼らない」が、19.3%、16.3%となっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「いない」が21.3%となっており、他の水準と比較して高くなっています。

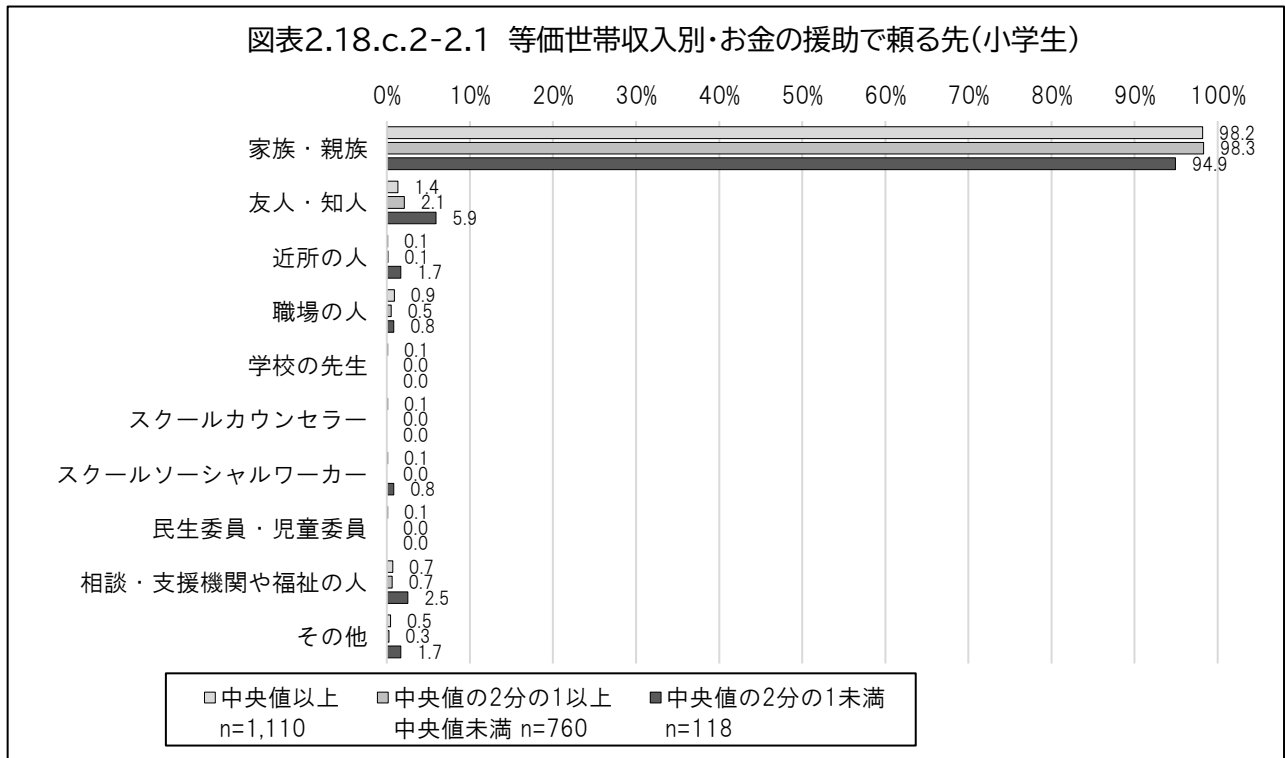


図表2.18.c.2-1.2 等価世帯収入別・お金の援助で頼れる人がいるか
(小学生)[県調査結果]

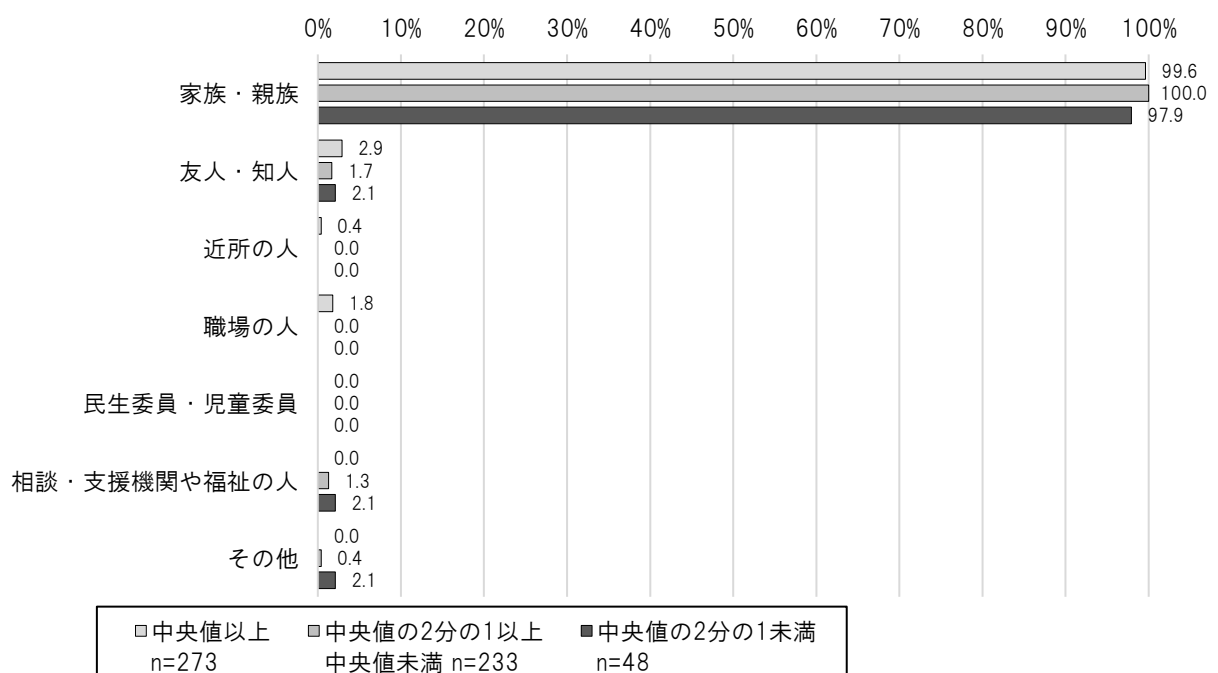


(2)-2 等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 18 c いざというときのお金の援助を頼る相手)

いざというときのお金の援助で頼る先について、等価世帯収入別でみると、小学生では、いずれの水準においても「家族・親族」が98.2%、98.3%、94.9%と最も高くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「友人・知人」が5.9%、「相談・支援機関や福祉の人」が2.5%と、他の水準と比較してやや高くなっています。

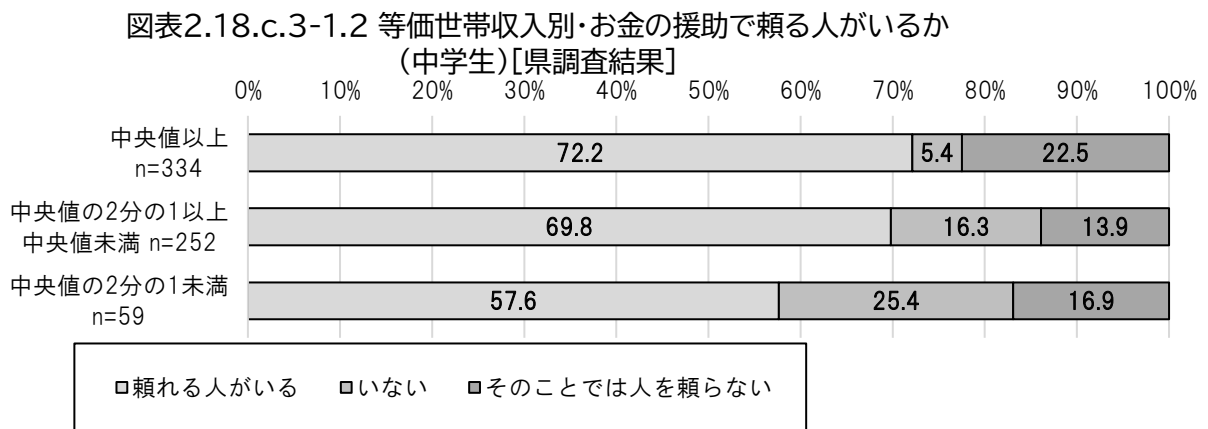
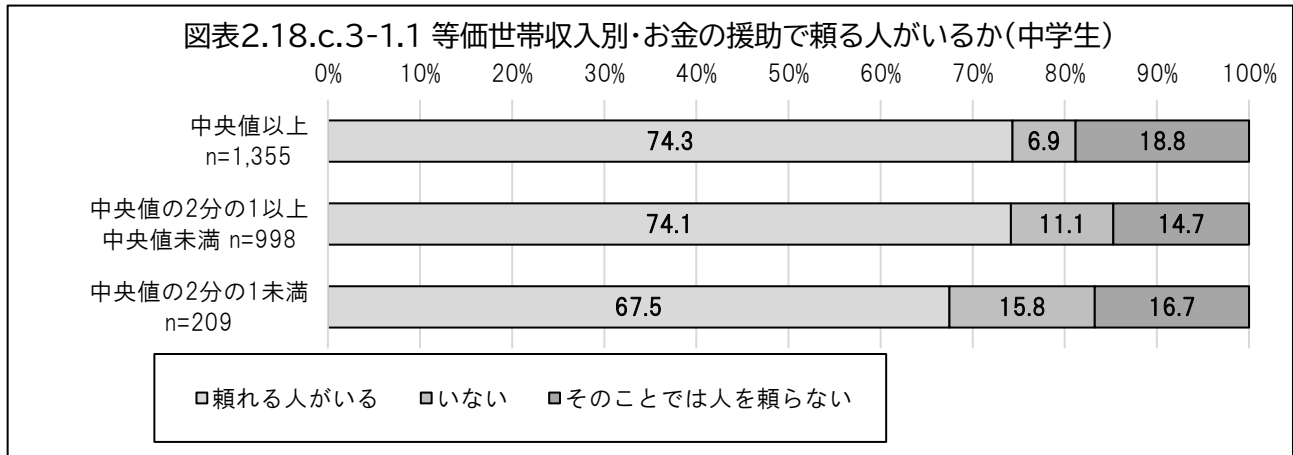


図表2.18.c.2-2.2 等価世帯収入別・お金の援助で頼る先(小学生)[県調査結果]



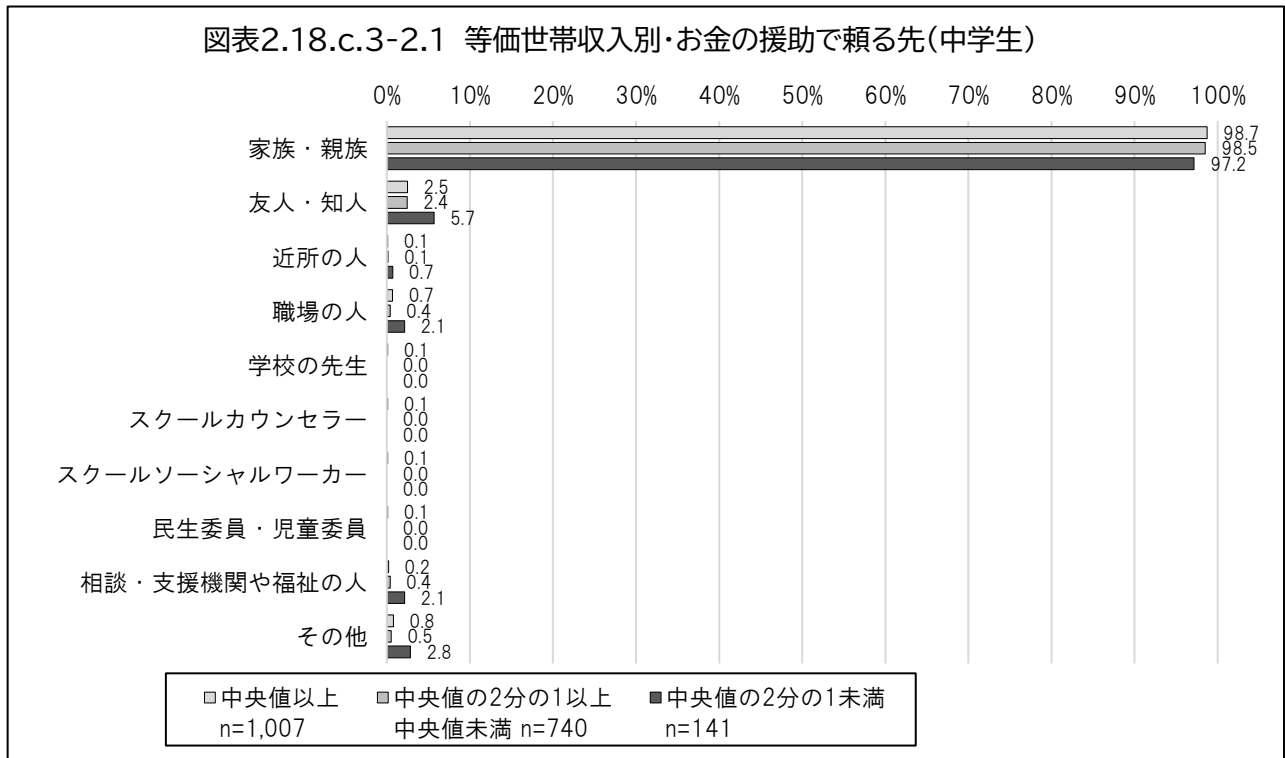
(3)-1 等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 18 c いざというときのお金の援助)

いざというときのお金の援助で頼れる人がいるかについて、等価世帯収入別でみると、中学生では、いずれの水準においても「頼れる人がいる」が74.3%、74.1%、67.5%と最も高く、次いで「そのことでは人を頼らない」が18.8%、14.7%、16.7%となっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「いない」が15.8%となっており、他の水準と比較して高くなっています。

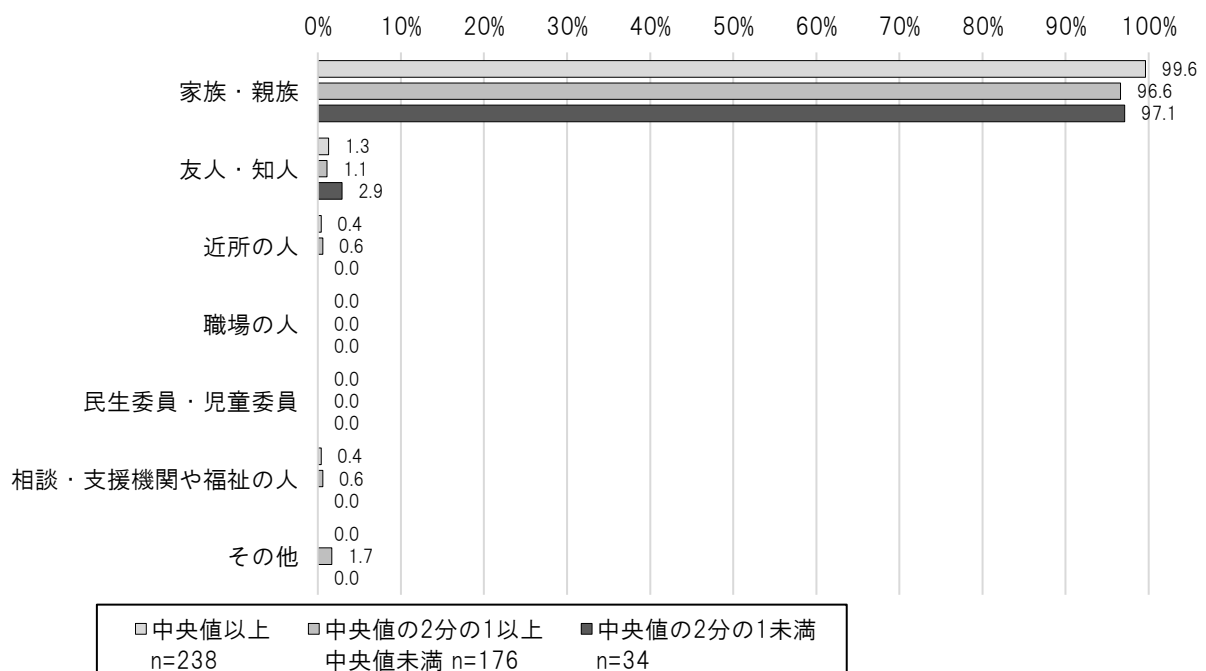


(3)-2 等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 18 c いざというときのお金の援助を頼る相手)

いざというときのお金の援助で頼る先について、等価世帯収入別で見ると、中学生では、いずれの水準においても「家族・親族」が98.7%、98.5%、97.2%と最も高くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「友人・知人」が5.7%、「職場の人」、「相談・支援機関や福祉の人」が2.1%と、他の水準と比較してやや高くなっています。

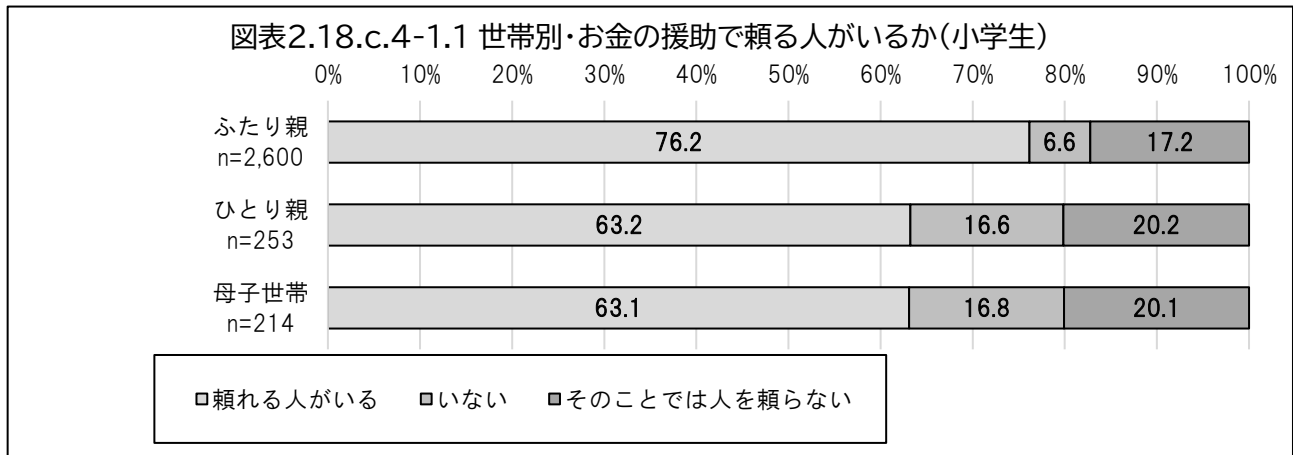


図表2.18.c.3-2.2 等価世帯収入別・お金の援助で頼る先(中学生)[県調査結果]

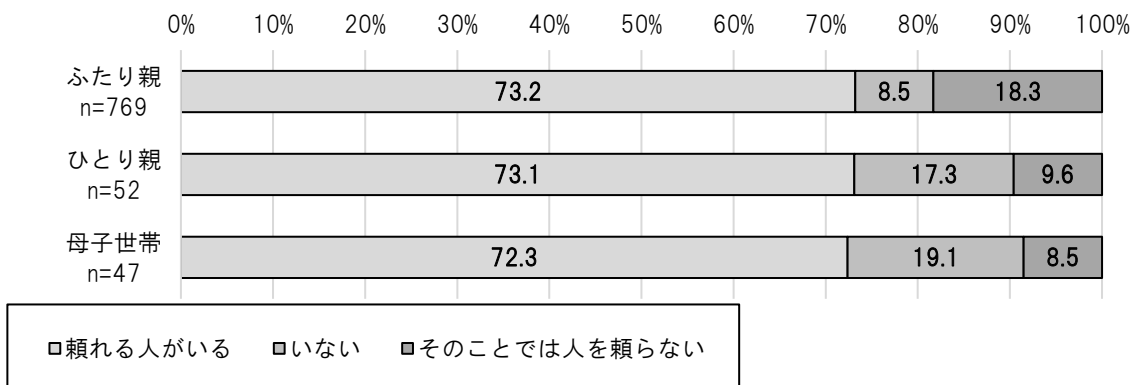


(4)-1 世帯別・保護者[小学生] (問 18 c いざというときのお金の援助)

いざというときのお金の援助で頼れる人がいるかについて、世帯別でみると、小学生では、いずれの世帯においても「頼れる人がいる」が76.2%、63.2%、63.1%と最も高く、次いで「そのことでは人を頼らない」が17.2%、20.2%、20.1%となっています。また、ひとり親世帯では、「いない」が16.6%となっており、ふたり親世帯と比較して高くなっています。



図表2.18.c.4-1.2 世帯別・お金の援助で頼れる人がいるか(小学生)[県調査結果]

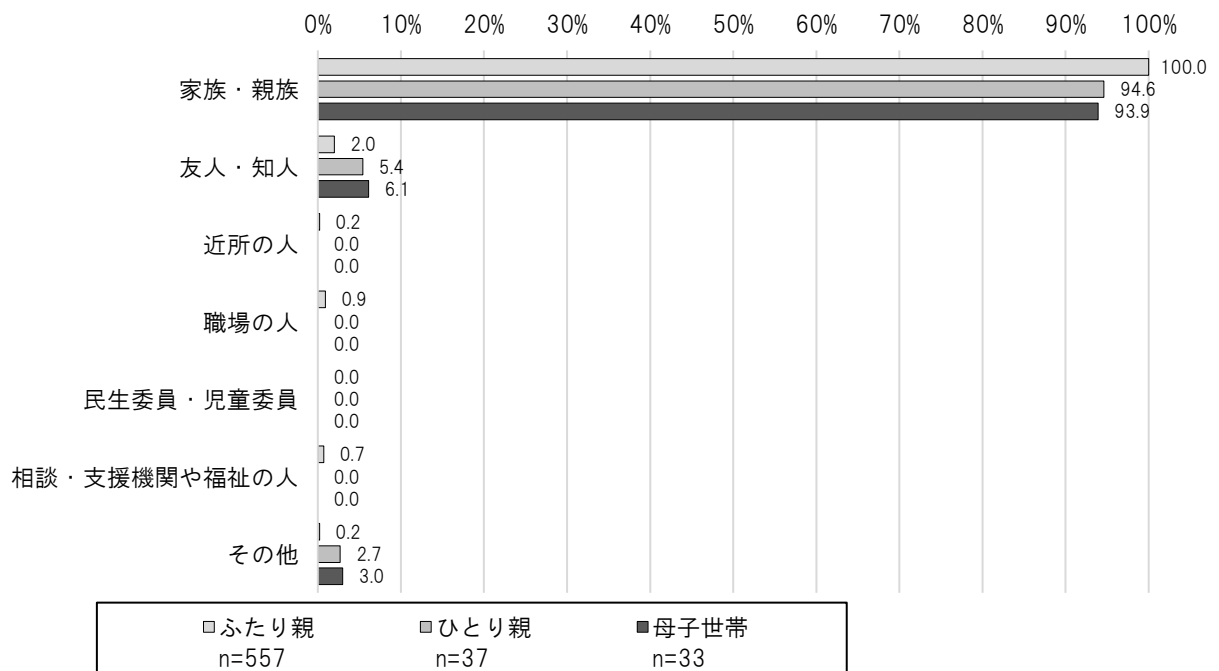


(4)-2 世帯別・保護者[小学生] (問 18 c いざというときのお金の援助を頼る相手)

いざというときのお金の援助で頼る先について、世帯別で見ると、小学生では、いずれの世帯においても「家族・親族」が98.2%、93.8%、94.8%と最も高くなっています。また、ひとり親世帯では、「友人・知人」が7.5%、「相談・支援機関や福祉の人」が4.4%と、ふたり親世帯と比較してやや高くなっています。

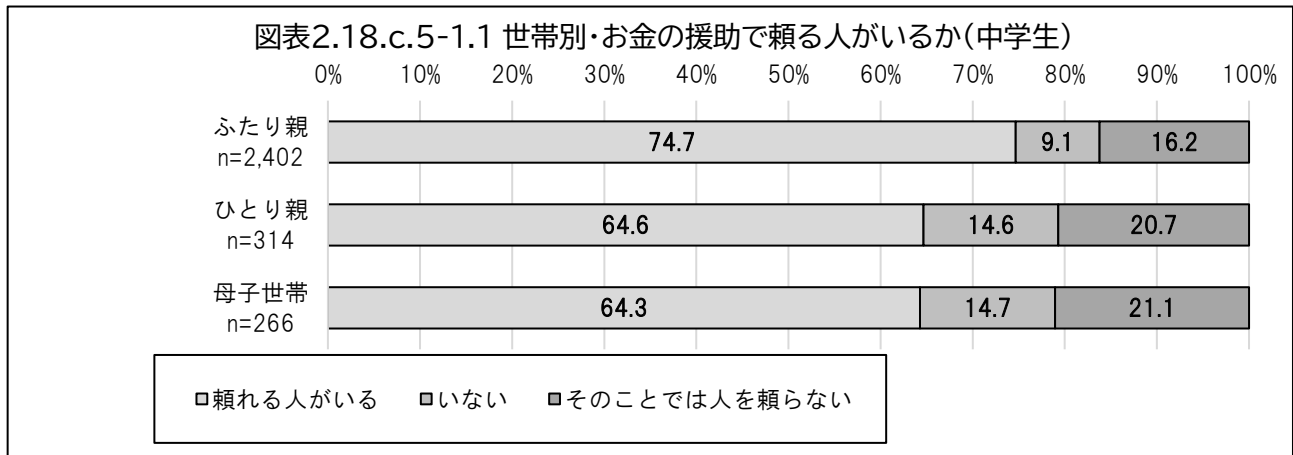


図表2.18.c.4-2.2 世帯別・お金の援助で頼る先(小学生)[県調査結果]

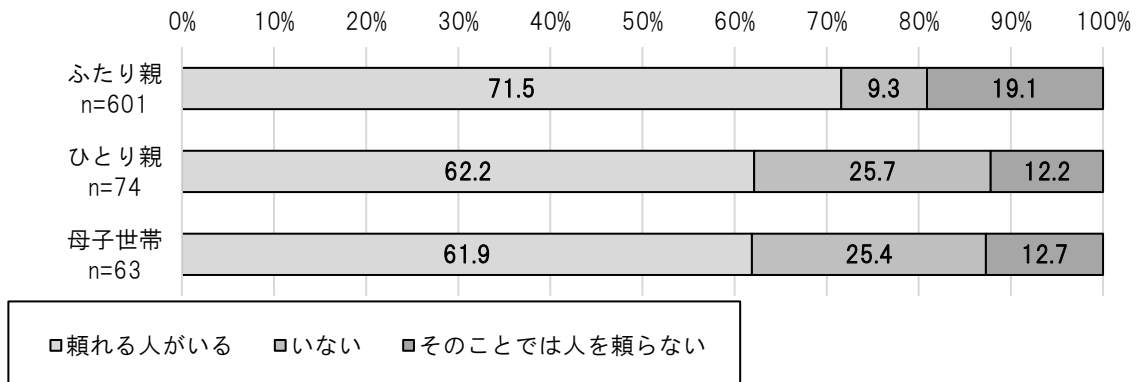


(5)-1 世帯別・保護者[中学生] (問 18 c いざというときのお金の援助)

いざというときのお金の援助で頼れる人がいるかについて、世帯別でみると、中学生では、いずれの世帯においても「頼れる人がいる」が74.7%、64.6%、64.3%と最も高く、次いで「そのことでは人を頼らない」が16.2%、20.7%、21.1%となっています。また、ひとり親世帯では、「いない」が14.6%となっており、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

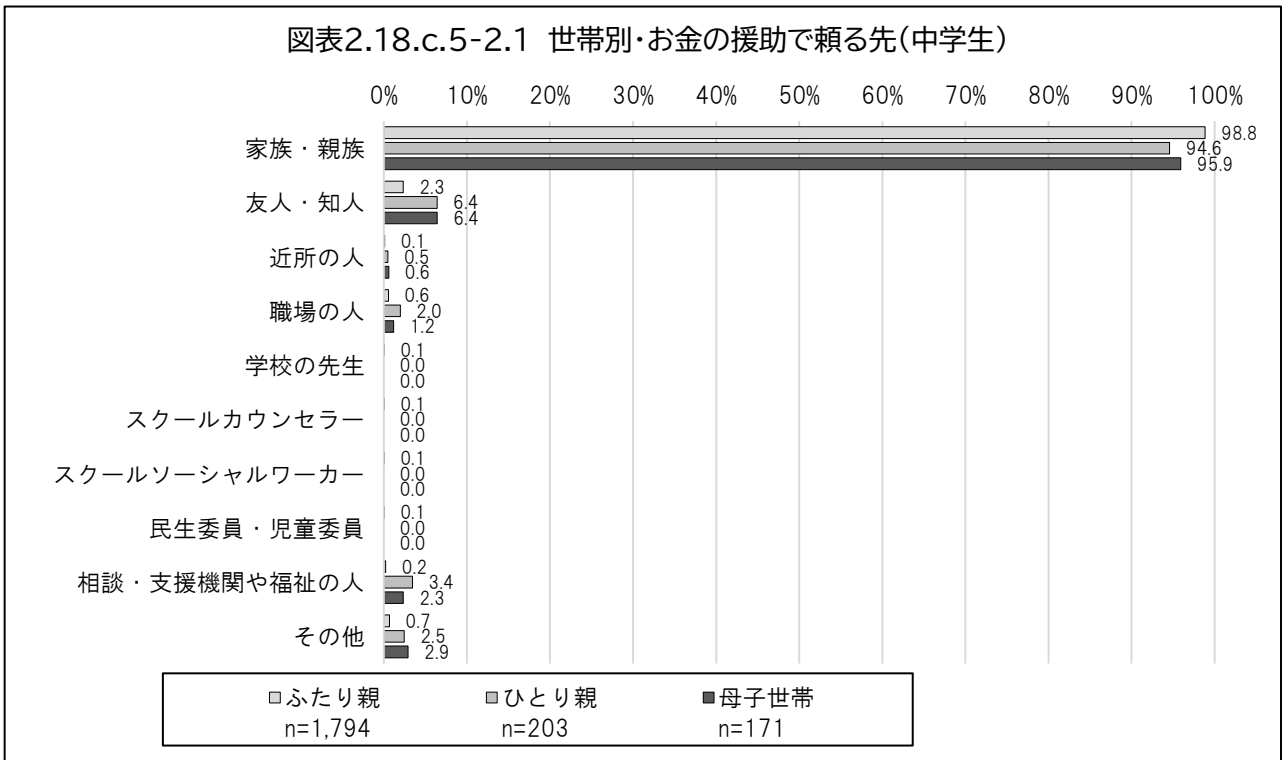


図表2.18.c.5-1.2 世帯別・お金の援助で頼れる人がいるか(中学生) [県調査結果]

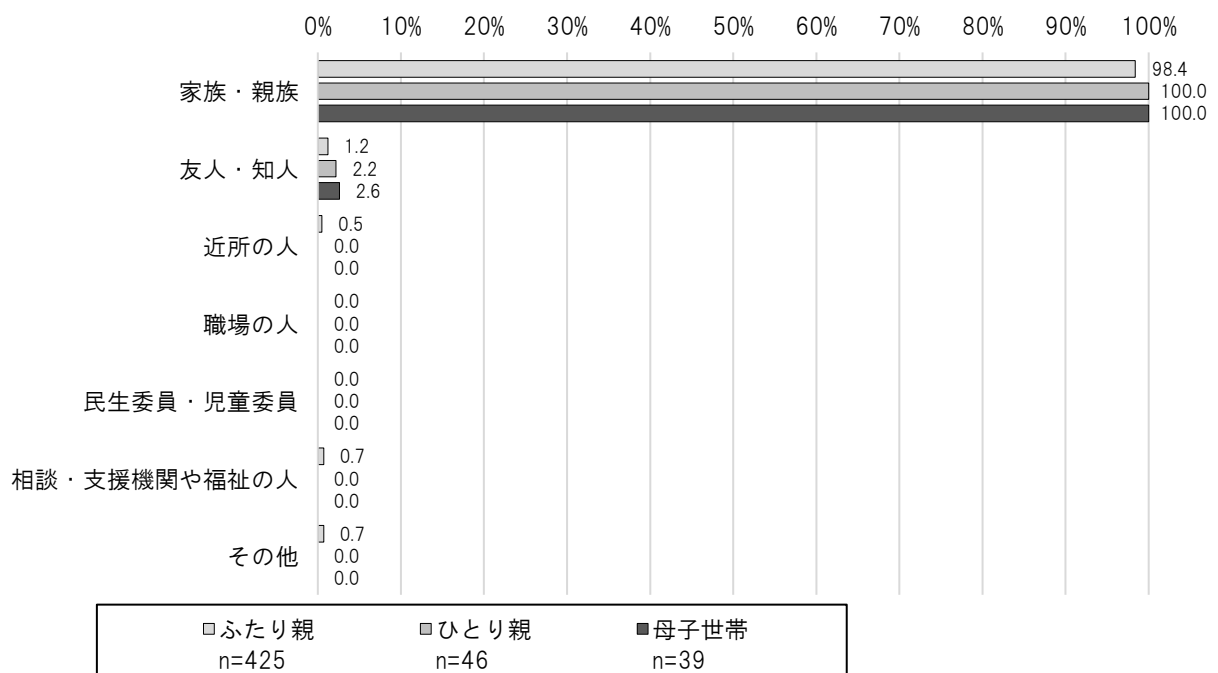


(5)-2 世帯別・保護者[中学生] (問 18 c いざというときのお金の援助を頼る相手)

いざというときのお金の援助で頼る先について、世帯別で見ると、中学生では、いずれの世帯においても「家族・親族」が98.8%、94.6%、95.9%と最も高くなっています。また、ひとり親世帯では、「友人・知人」が6.4%、「相談・支援機関や福祉の人」が3.4%と、ふたり親世帯と比較してやや高くなっています。



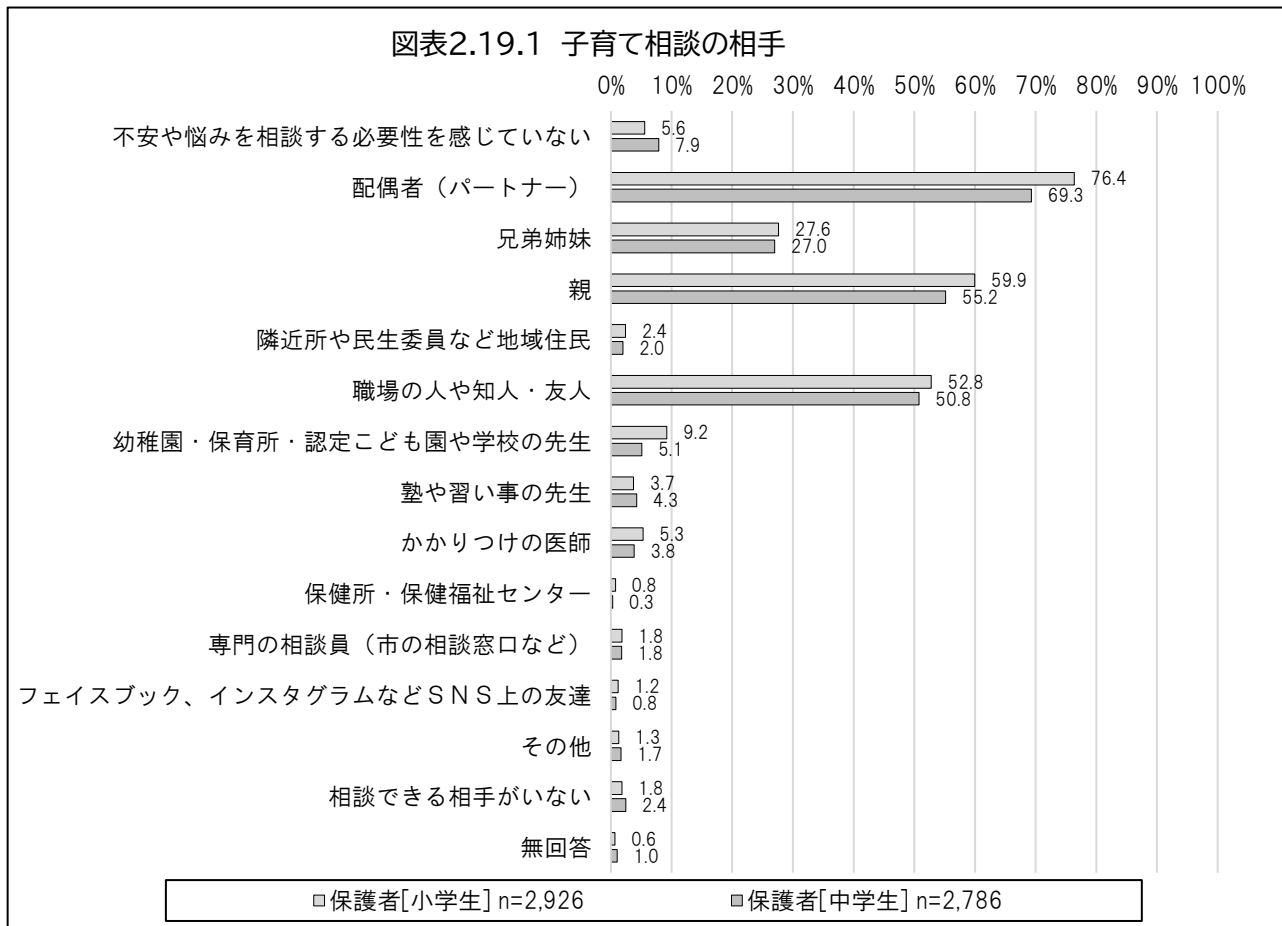
図表2.18.c.5-2.2 世帯別・お金の援助で頼る先(中学生)[県調査結果]



問19. あなたは、子育てに関する不安や悩みを誰に相談していますか。

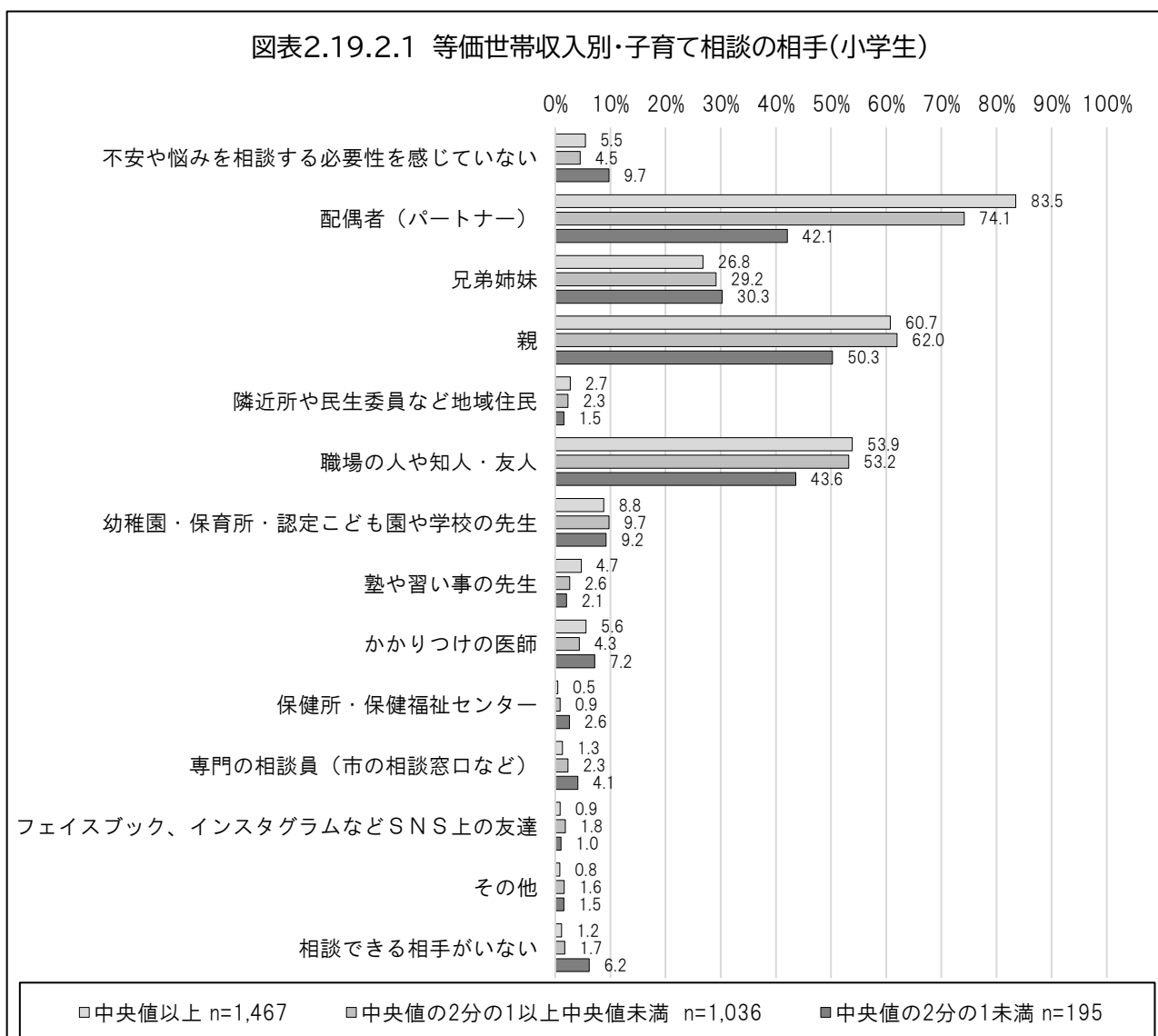
(1)全体

子育て相談の相手について、小学生・中学生ともに「配偶者（パートナー）」が76.4%、69.3%と最も高く、次いで「親」が59.9%、55.2%、「職場の人や知人・友人」が52.8%、50.8%となっています。

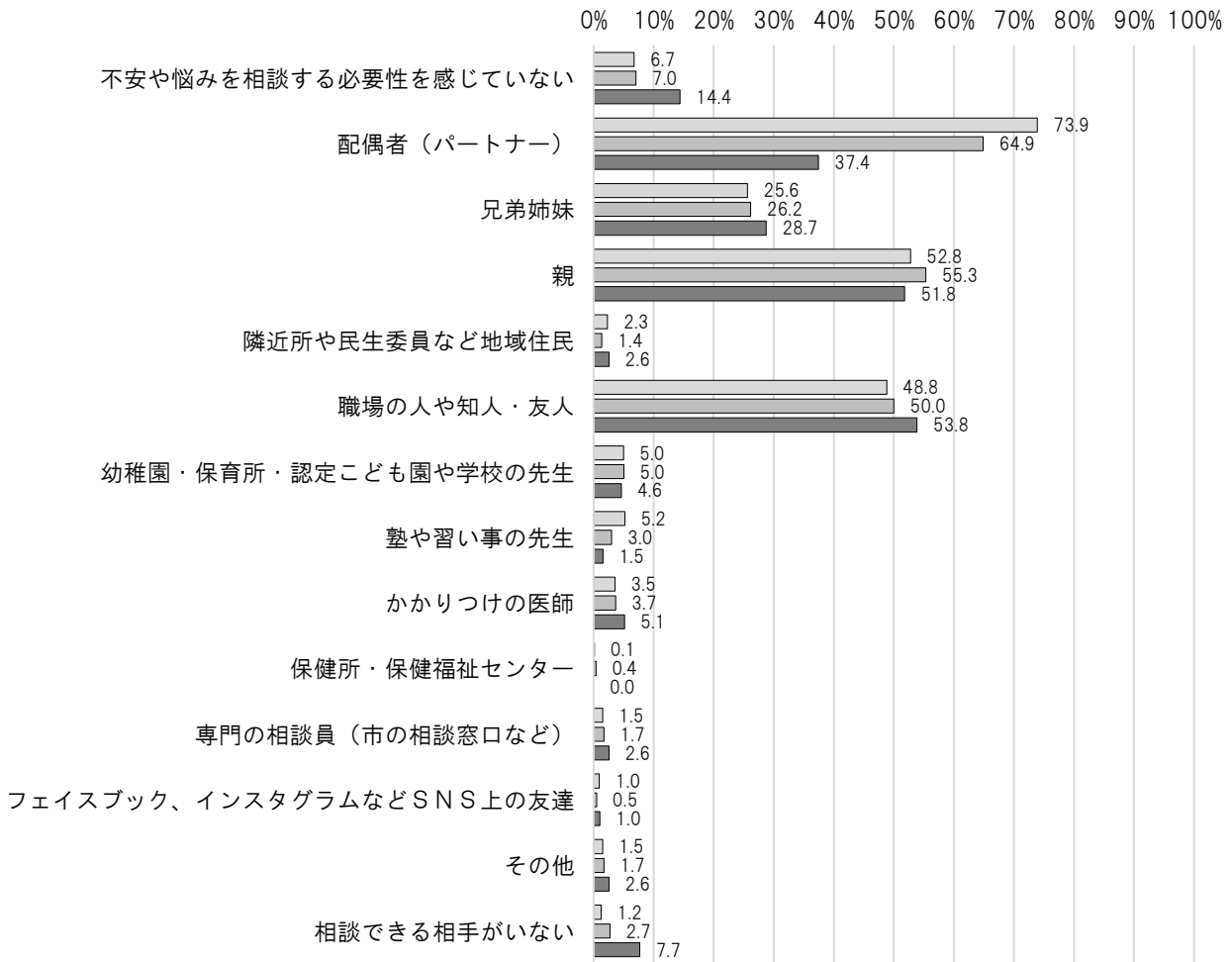


(2)等価世帯収入別

子育て相談の相手について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「配偶者（パートナー）」が83.5%、74.1%、「中央値の2分の1未満」の水準では「親」が50.3%と最も高くなっています。中学生では、「中央値以上」および「中央値の2分の1以上中央値未満」の水準では「配偶者（パートナー）」が73.9%、64.9%、「中央値の2分の1未満」の水準では「職場の人や知人・友人」が53.8%と最も高くなっています。



図表2.19.2.1 等価世帯収入別・子育て相談の相手(中学生)



□中央値以上 n=1,370

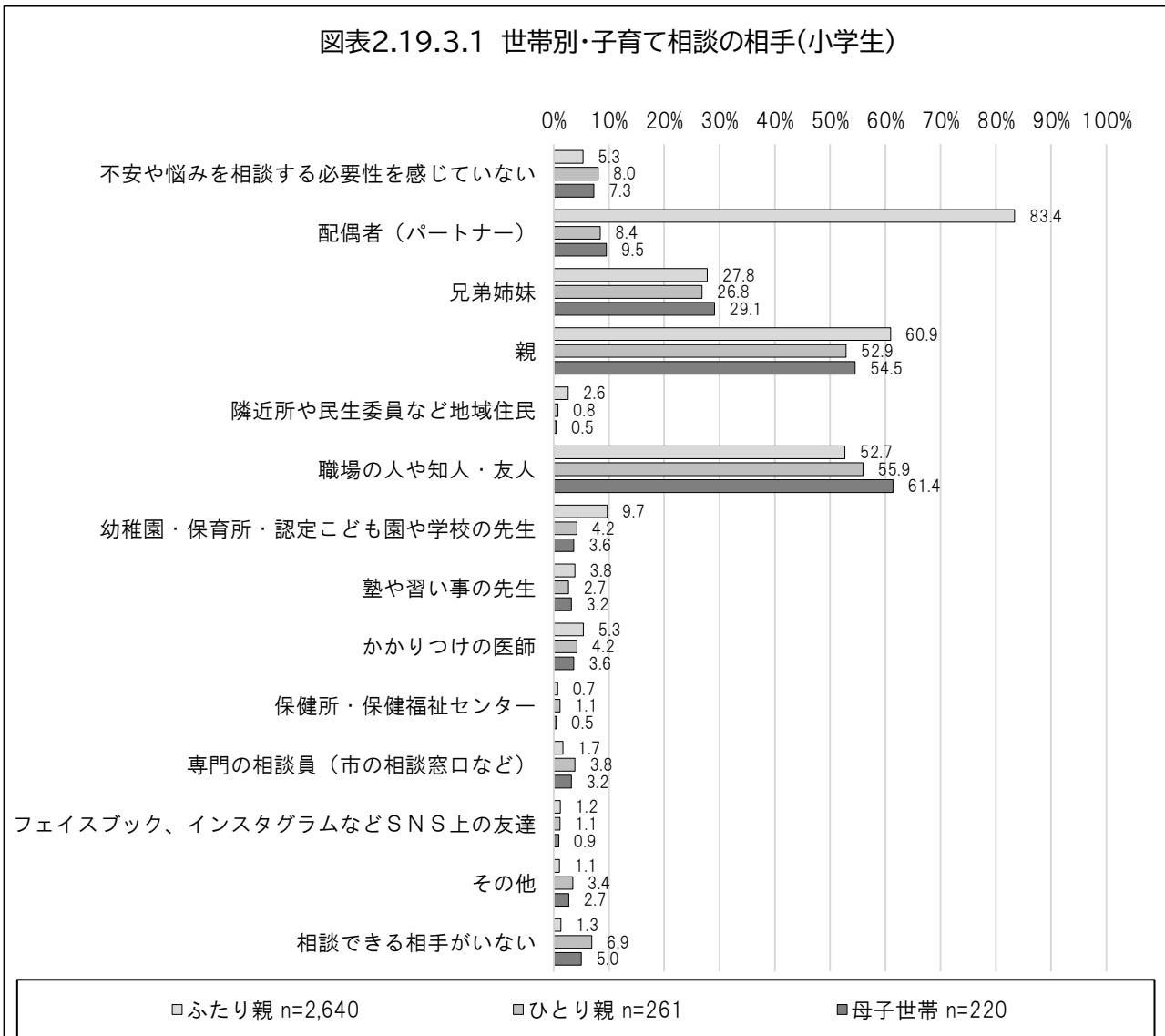
▨中央値の2分の1以上中央値未満 n=1,014

■中央値の2分の1未満 n=214

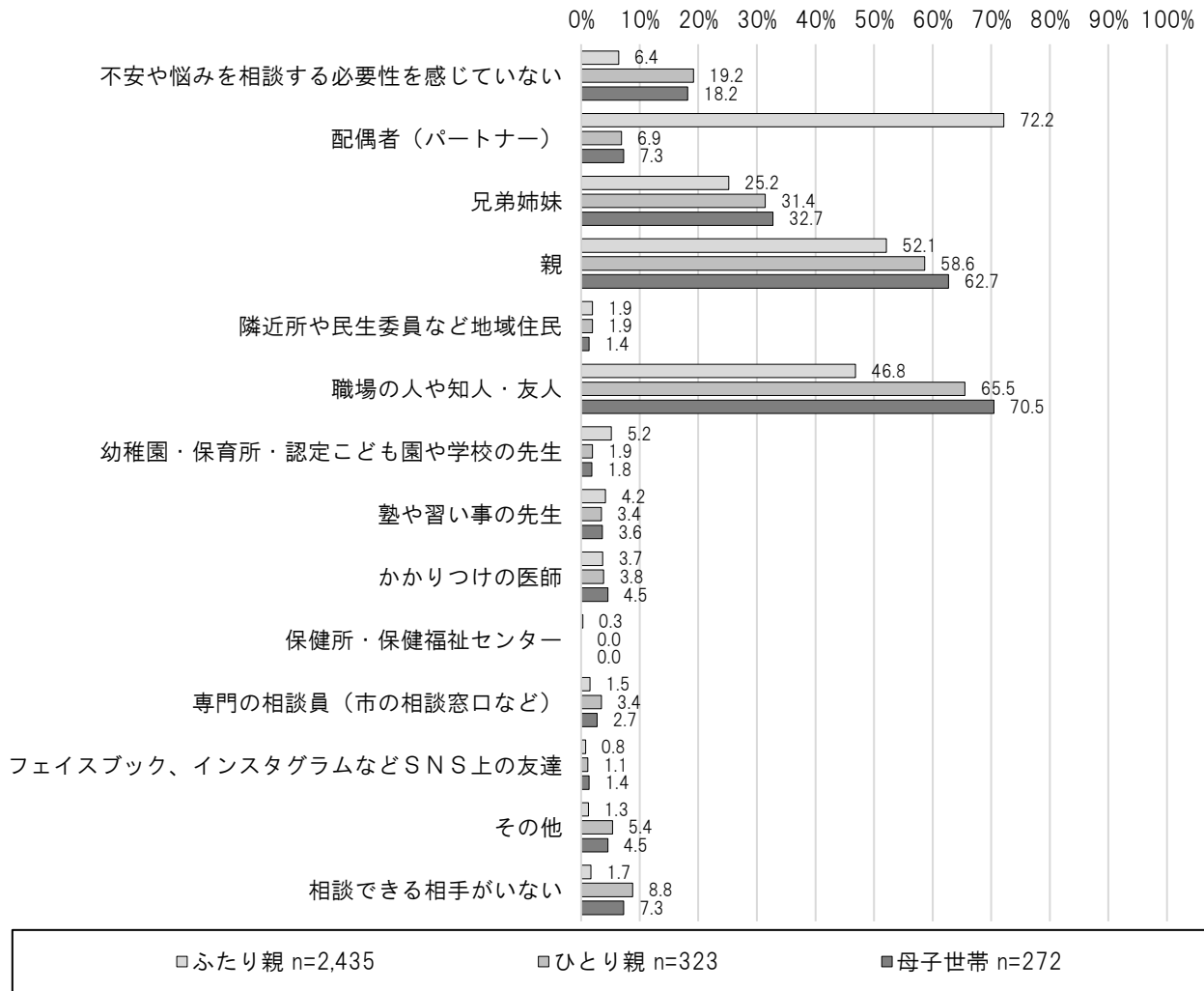
(3)世帯別

子育て相談の相手について、世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯では「配偶者（パートナー）」が83.4%、ひとり親世帯および母子世帯では「職場の人や知人・友人」が55.9%、61.4%と最も高くなっています。中学生では、ふたり親世帯では「配偶者（パートナー）」が72.2%、ひとり親世帯および母子世帯では「職場の人や知人・友人」が65.5%、70.5%と最も高くなっています。

図表2.19.3.1 世帯別・子育て相談の相手(小学生)



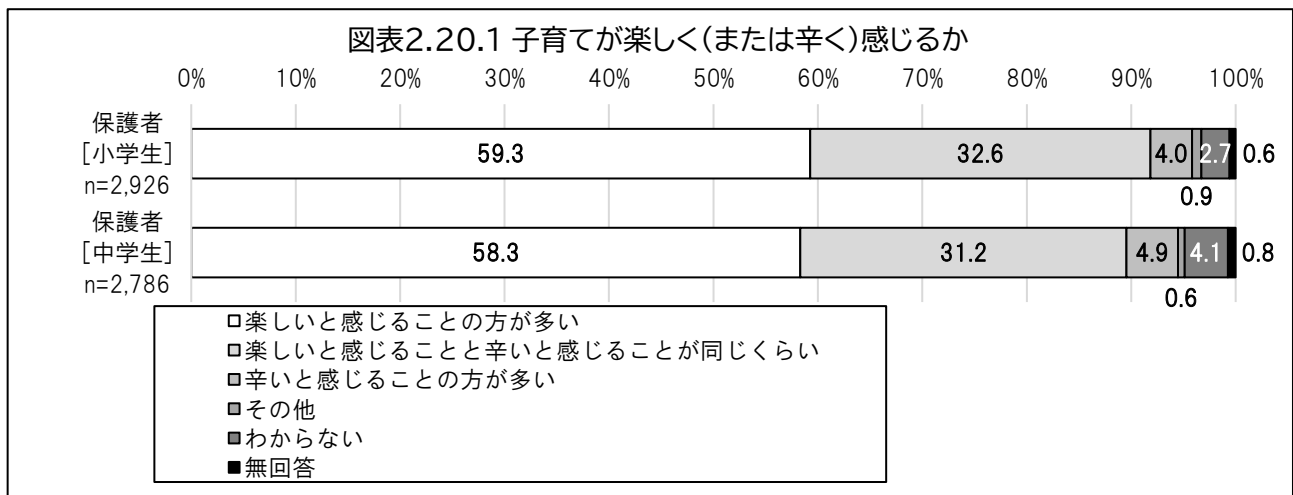
図表2.19.3.2 世帯別・子育て相談の相手(中学生)



問20. 子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じていることが多いと思いますか。

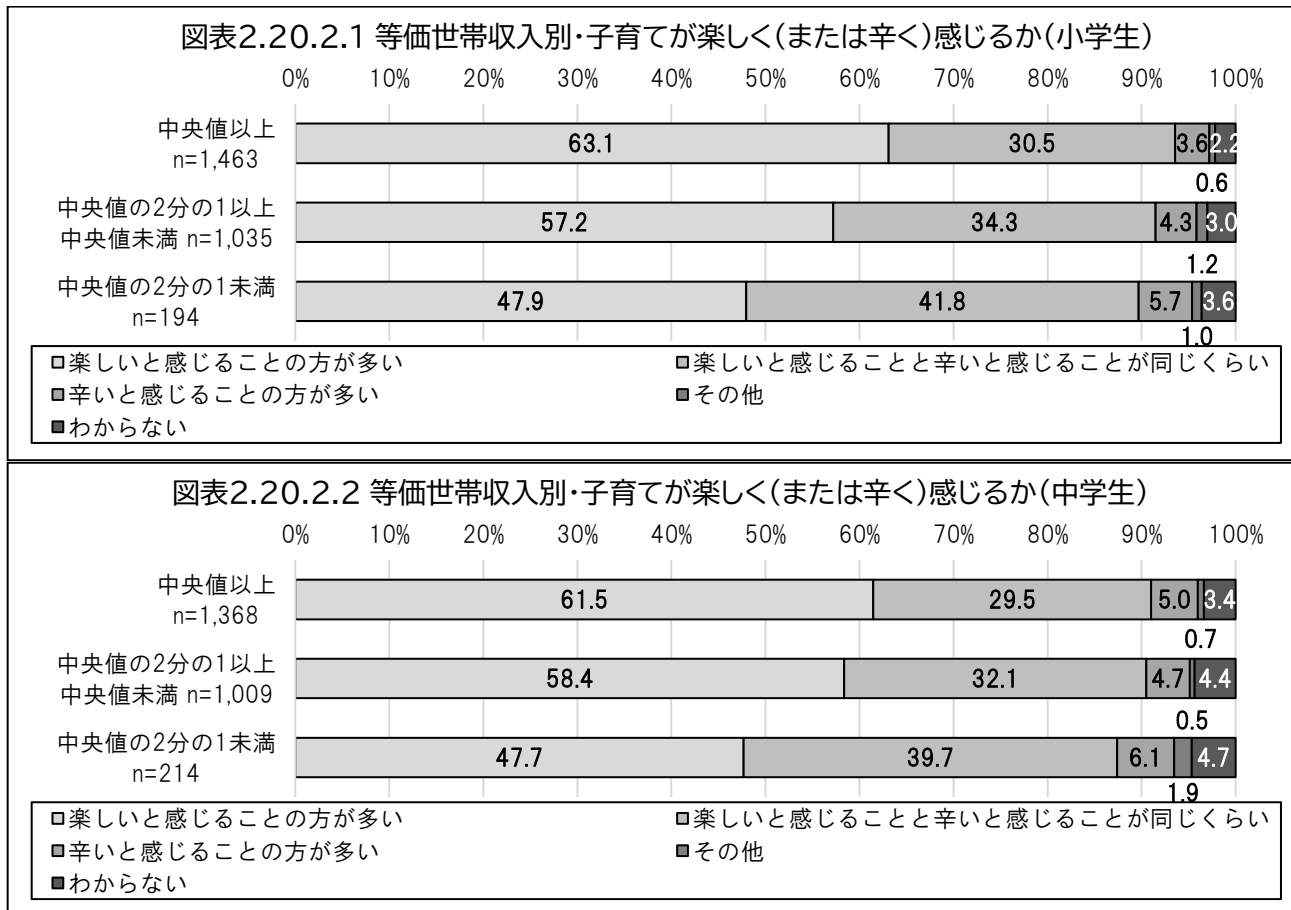
(1)全体

子育てを楽しんでいる・辛いと感じるかについて、小学生・中学生ともに「楽しいと感じることの方が多い」が59.3%、58.3%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が32.6%、31.2%となっています。



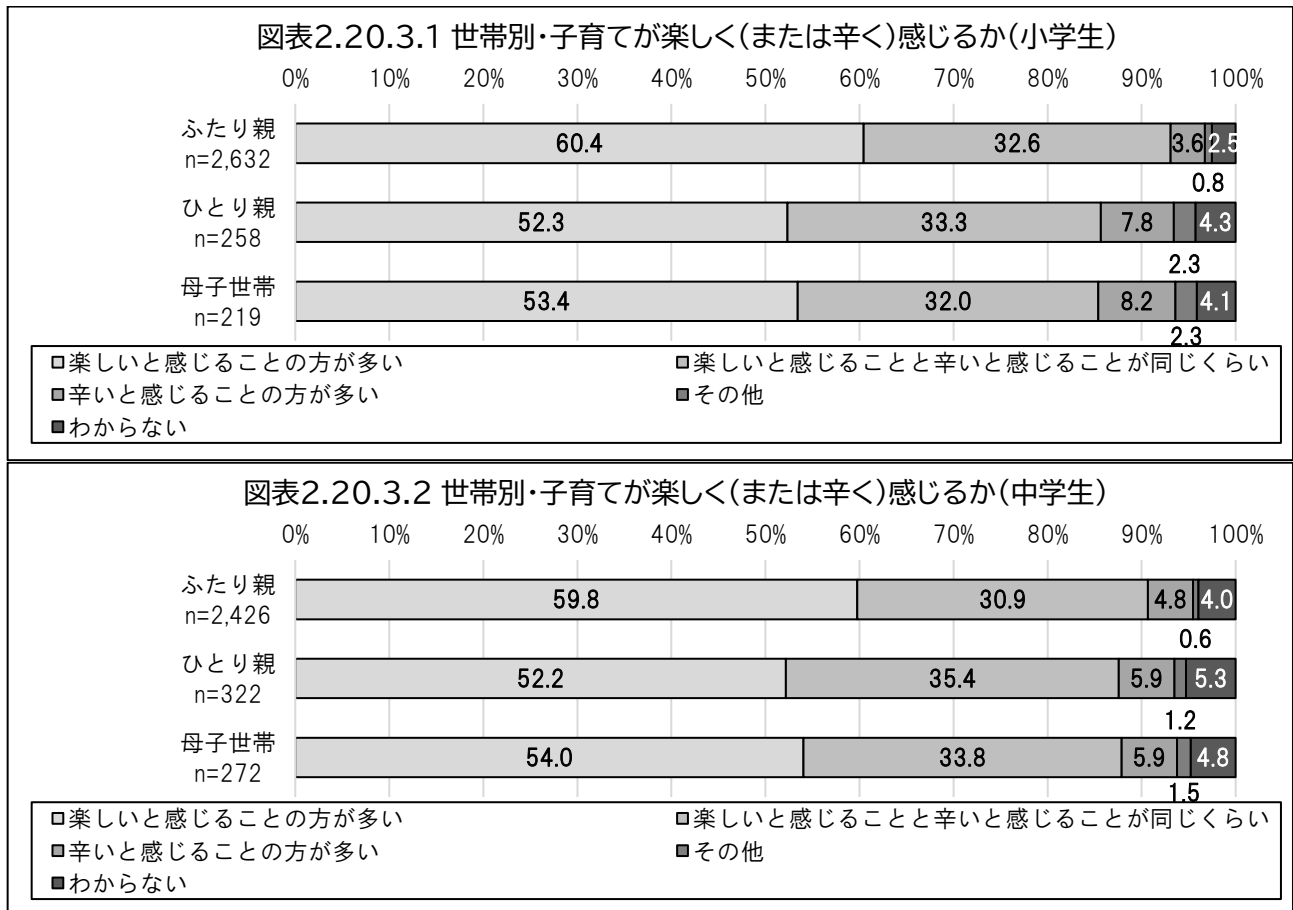
(2)等価世帯収入別

子育てを楽しい・辛いと感じるかについて、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「楽しいと感じることの方が多い」が、小学生では、それぞれ63.1%、57.2%、47.9%、中学生では、それぞれ61.5%、58.4%、47.7%と最も高くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「辛いと感じることの方が多い」が小学生5.7%、中学生6.1%となっており、他の水準と比較してやや高くなっています。



(3)世帯別

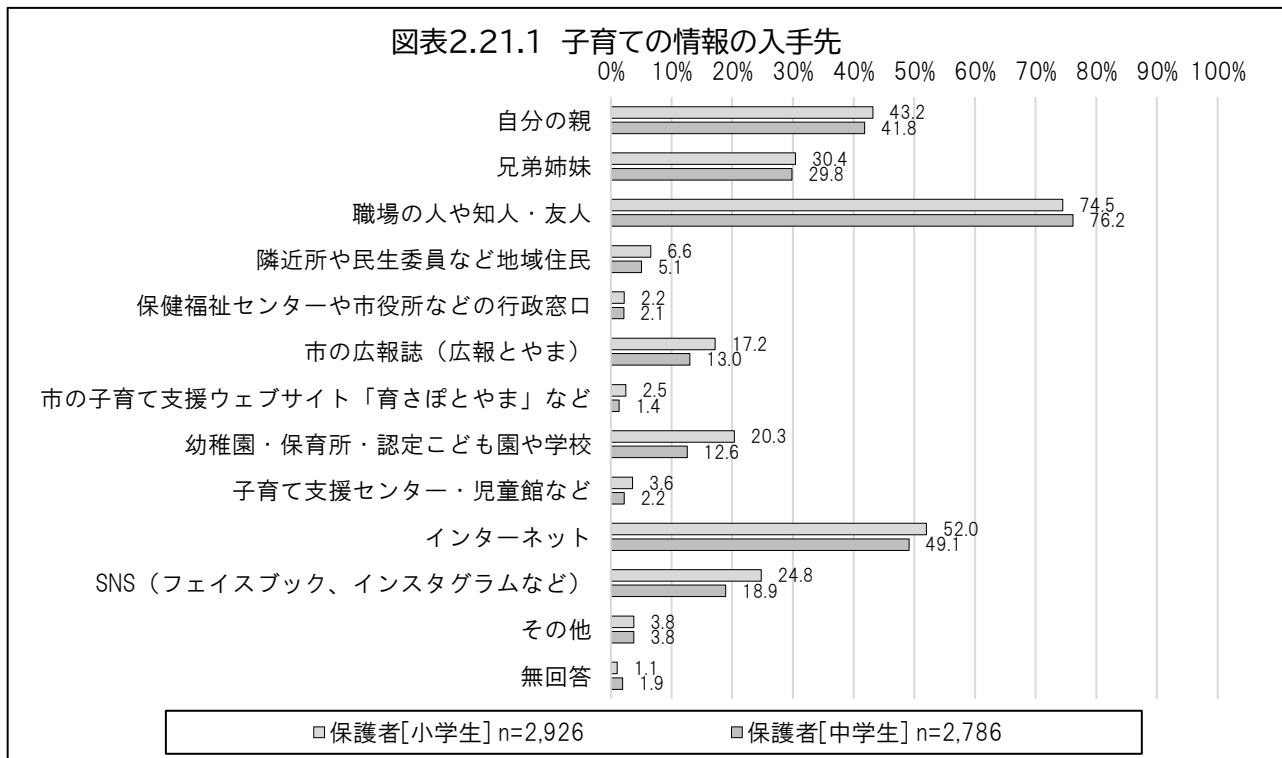
子育てを楽ししい・辛いと感じるかについて、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「楽しいと感じることの方が多い」が、小学生では、それぞれ60.4%、52.3%、53.4%、中学生では、それぞれ59.8%、52.2%、54.0%と最も高くなっています。また、ひとり親世帯では、「辛いと感じることの方が多い」が小学生7.8%、中学生5.9%となっており、他の世帯と比較してやや高くなっています。



問21. 子育てに関する情報をどこから入手していますか。

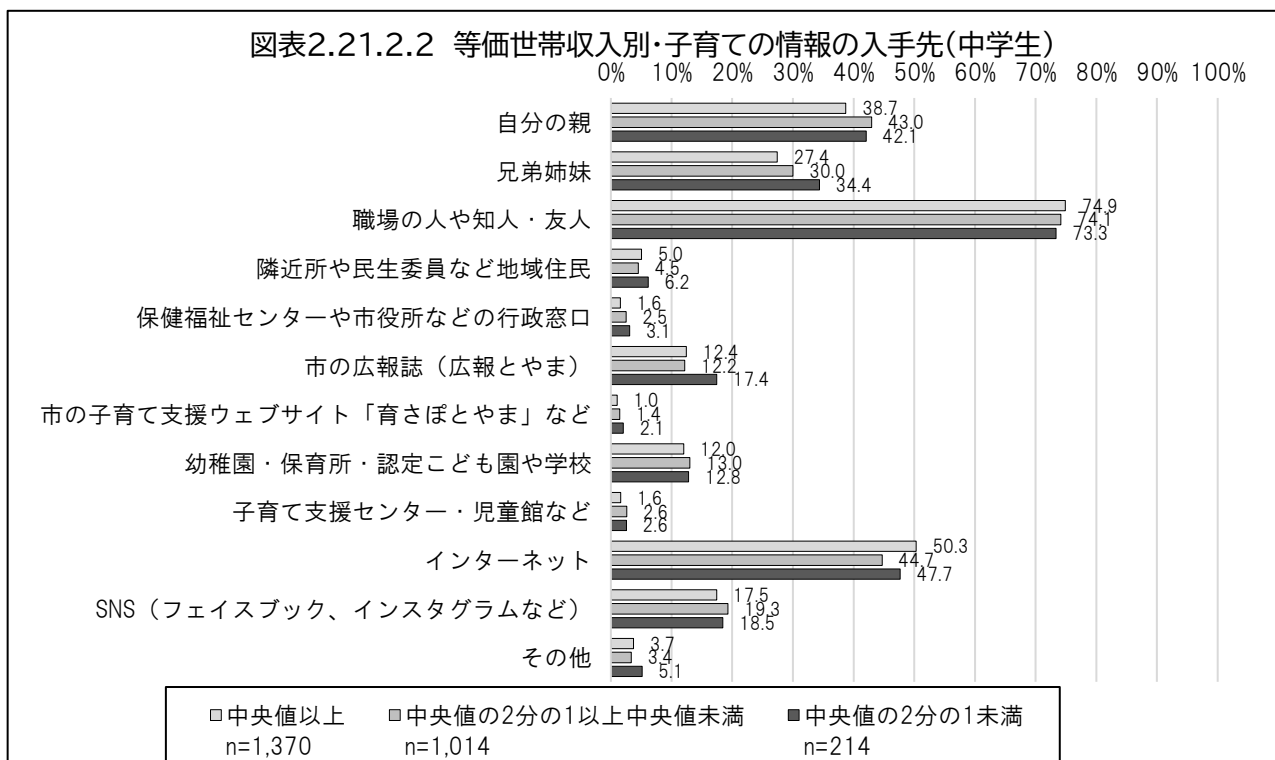
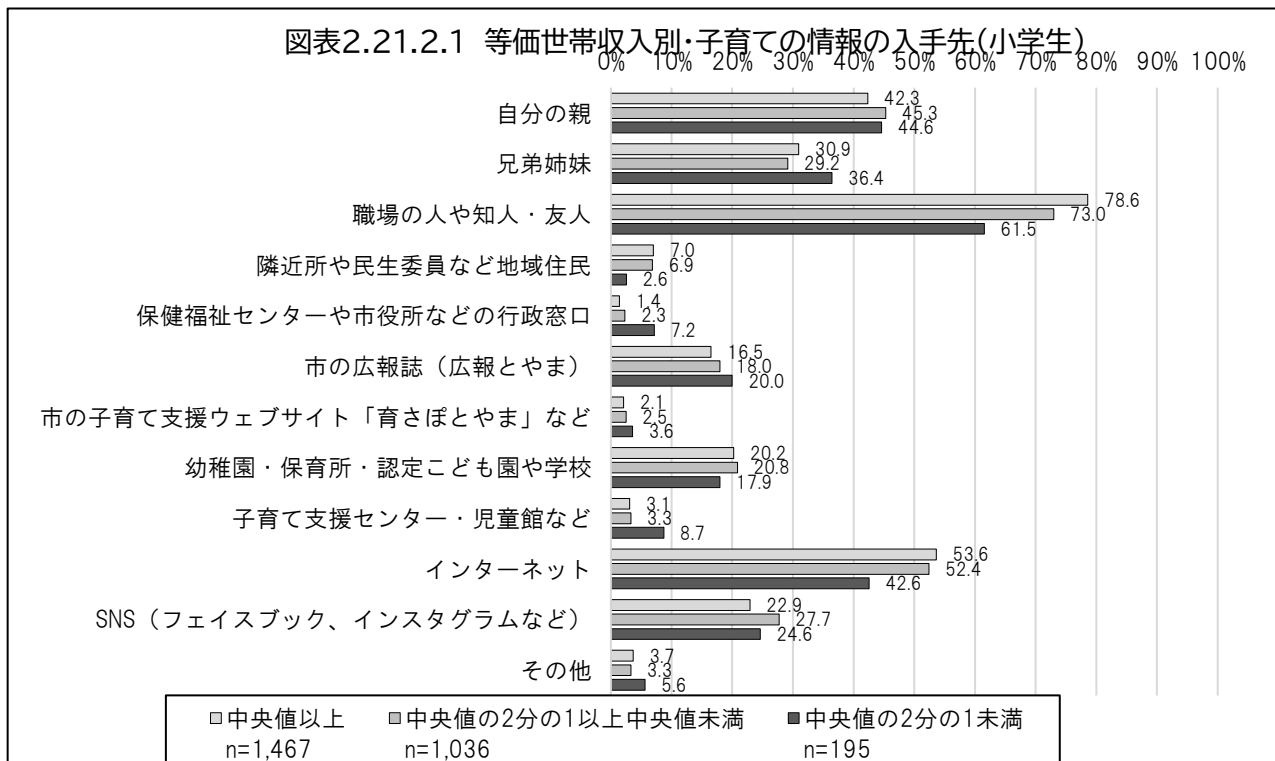
子育てに関する情報の入手先について、小学生・中学生ともに「職場の人や知人・友人」が74.5%、76.2%、次いで「インターネット」が52.0%、49.1%、「自分の親」が43.2%、41.8%となっています。また、小学生は中学生に比べて「幼稚園・保育所・認定こども園や学校」(20.3%)、「SNS (フェイスブック、インスタグラムなど)」(24.8%)が高くなっています。

(1)全体



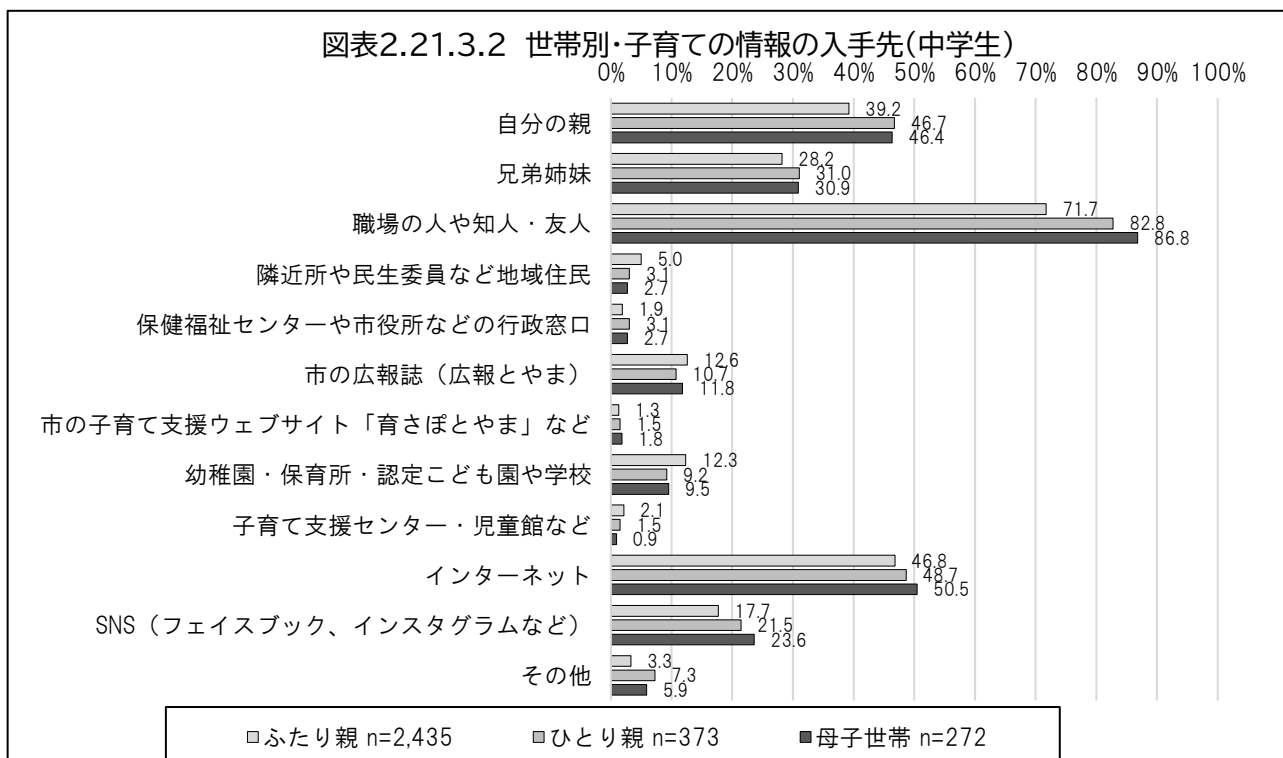
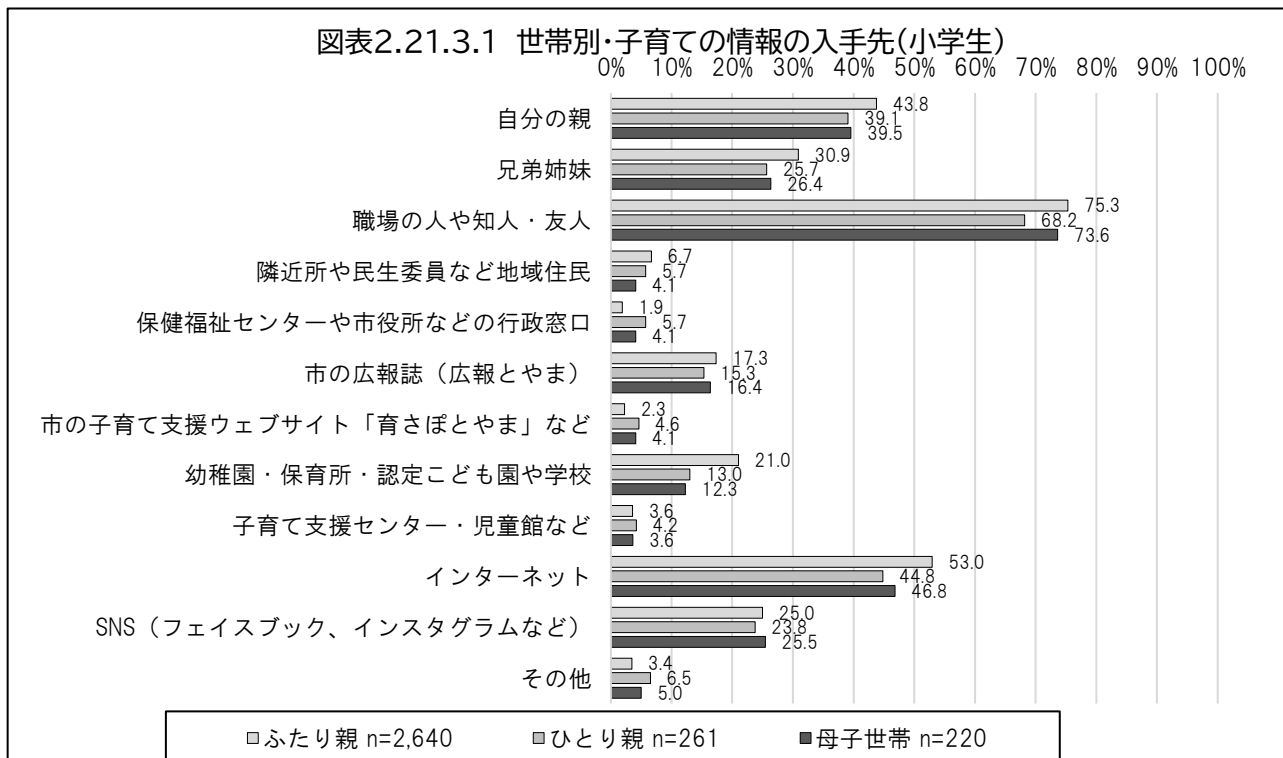
(2)等価世帯収入別

子育てに関する情報の入手先について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「職場の人や知人・友人」が、小学生では、それぞれ78.6%、73.0%、61.5%、中学生では、それぞれ74.9%、74.1%、73.3%と最も高くなっています。



(3)世帯別

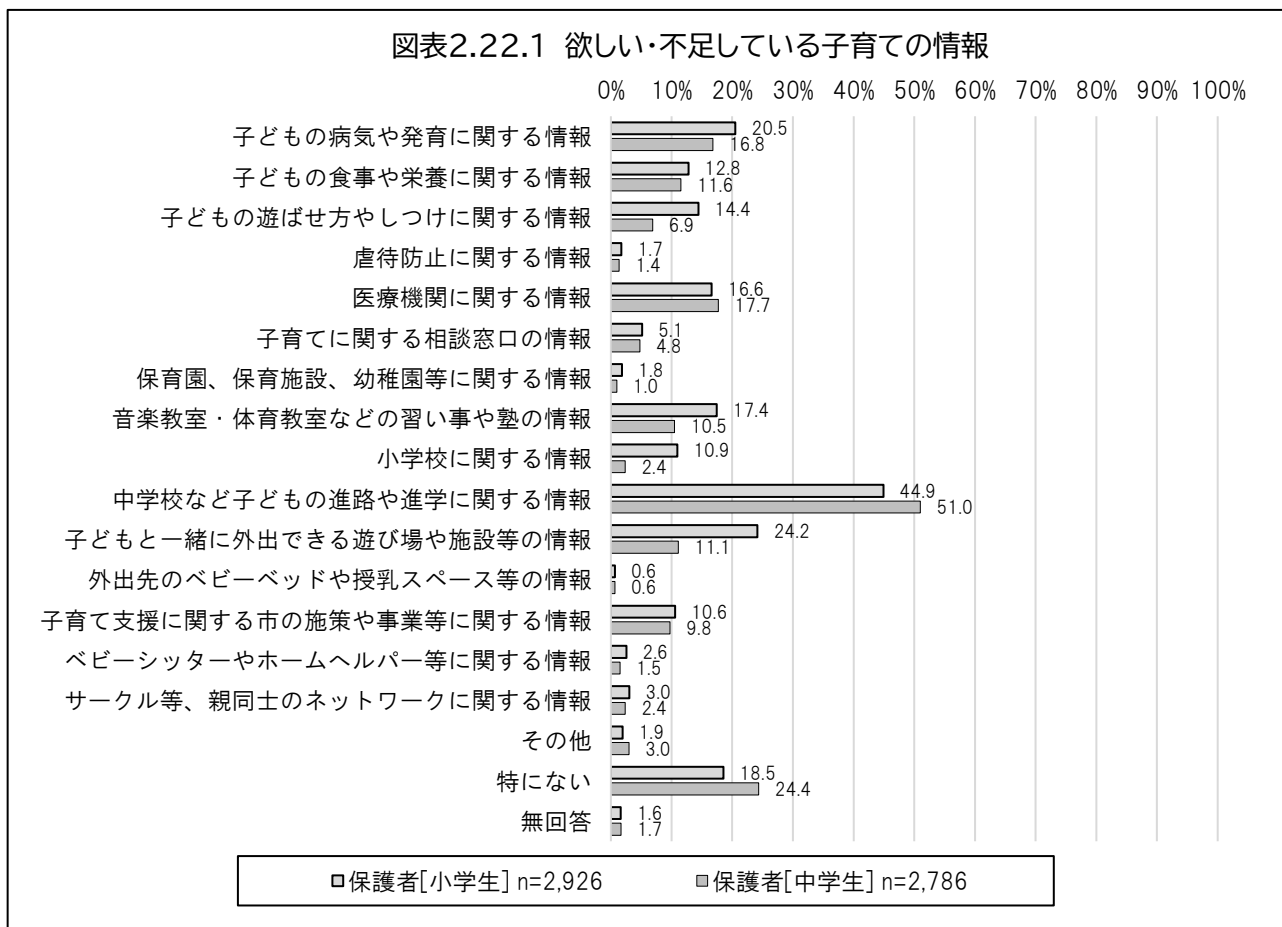
子育てに関する情報の入手先について、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「職場の人や知人・友人」が、小学生では、それぞれ75.3%、68.2%、73.6%、中学生では、それぞれ71.7%、82.8%、86.8%と最も高くなっています。



問2. 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。

(1)全体

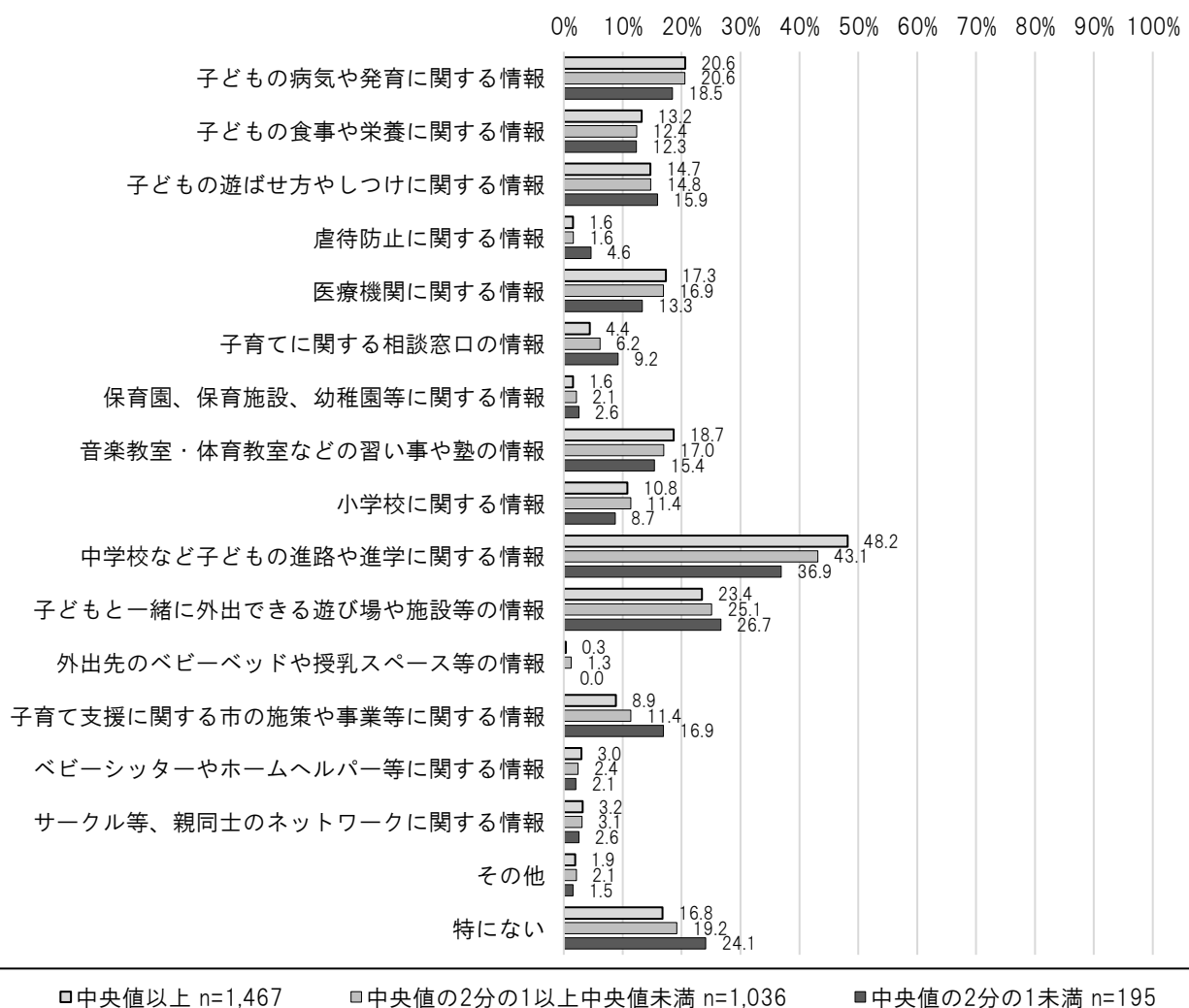
子育てに関する情報で欲しいもの・不足しているものについて、小学生では「中学校など子どもの進路や進学に関する情報」が44.9%と最も高く、次いで「子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報」が24.2%、「子どもの病気や発育に関する情報」が20.5%となっています。中学生では「中学校など子どもの進路や進学に関する情報」が51.0%と最も高く、次いで「特にない」が24.4%、「医療機関に関する情報」が17.7%となっています。



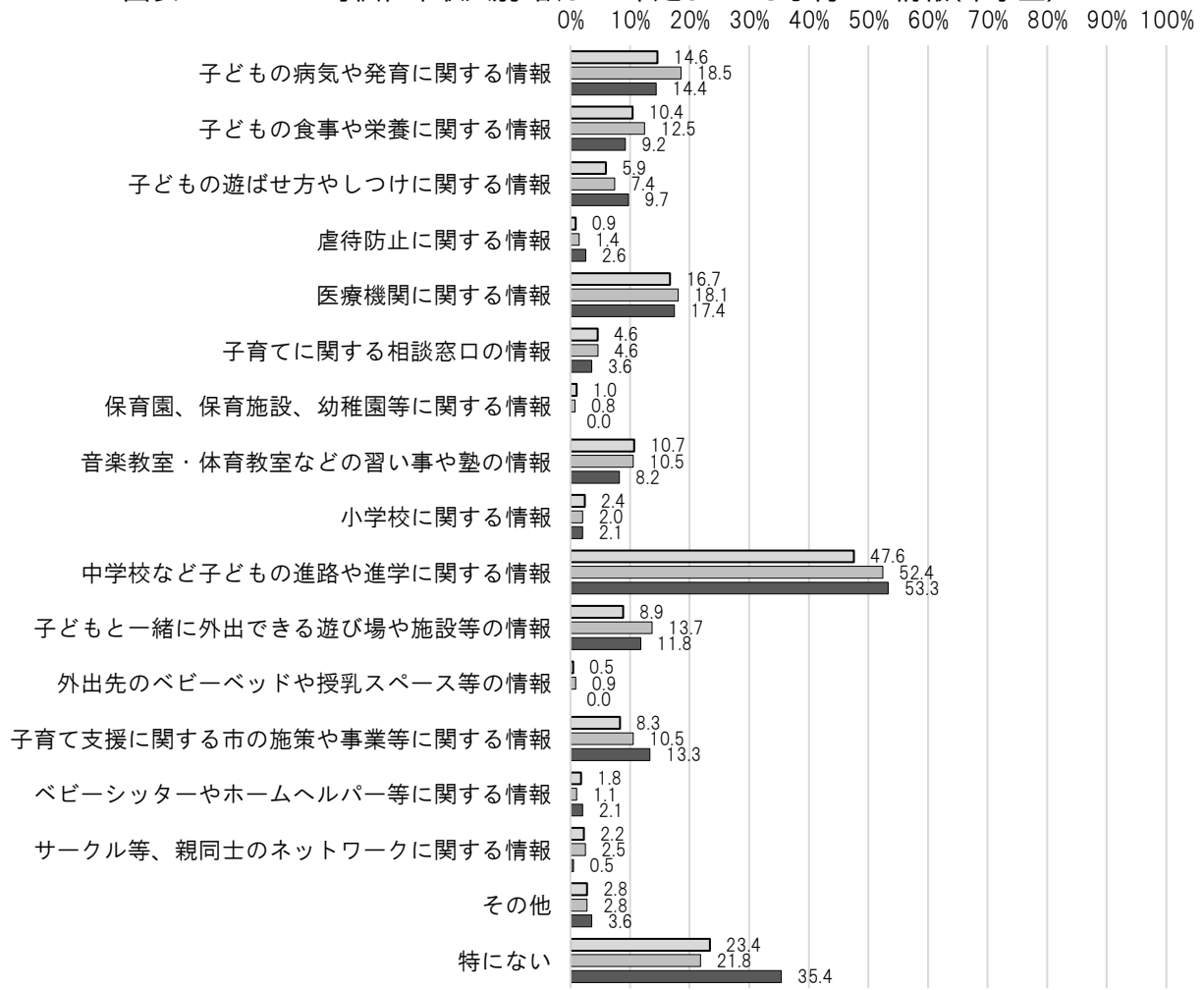
(2)等価世帯収入別

子育てに関する情報で欲しいもの・不足しているものについて、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「中学校など子どもの進路や進学に関する情報」が、小学生では、それぞれ48.2%、43.1%、36.9%、中学生では、それぞれ47.6%、52.4%、53.3%と最も高くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の小学生では、「中央値以上」に比べて「中学校など子どもの進路や進学に関する情報」が低く、「虐待防止に関する情報」、「子育てに関する相談窓口の情報」、「子育て支援に関する市の施策や事業等に関する情報」、「特にない」が高くなっています。

図表2.22.2.1 等価世帯収入別・欲しい・不足している子育ての情報(小学生)



図表2.22.2.2 等価世帯収入別・欲しい・不足している子育ての情報(中学生)



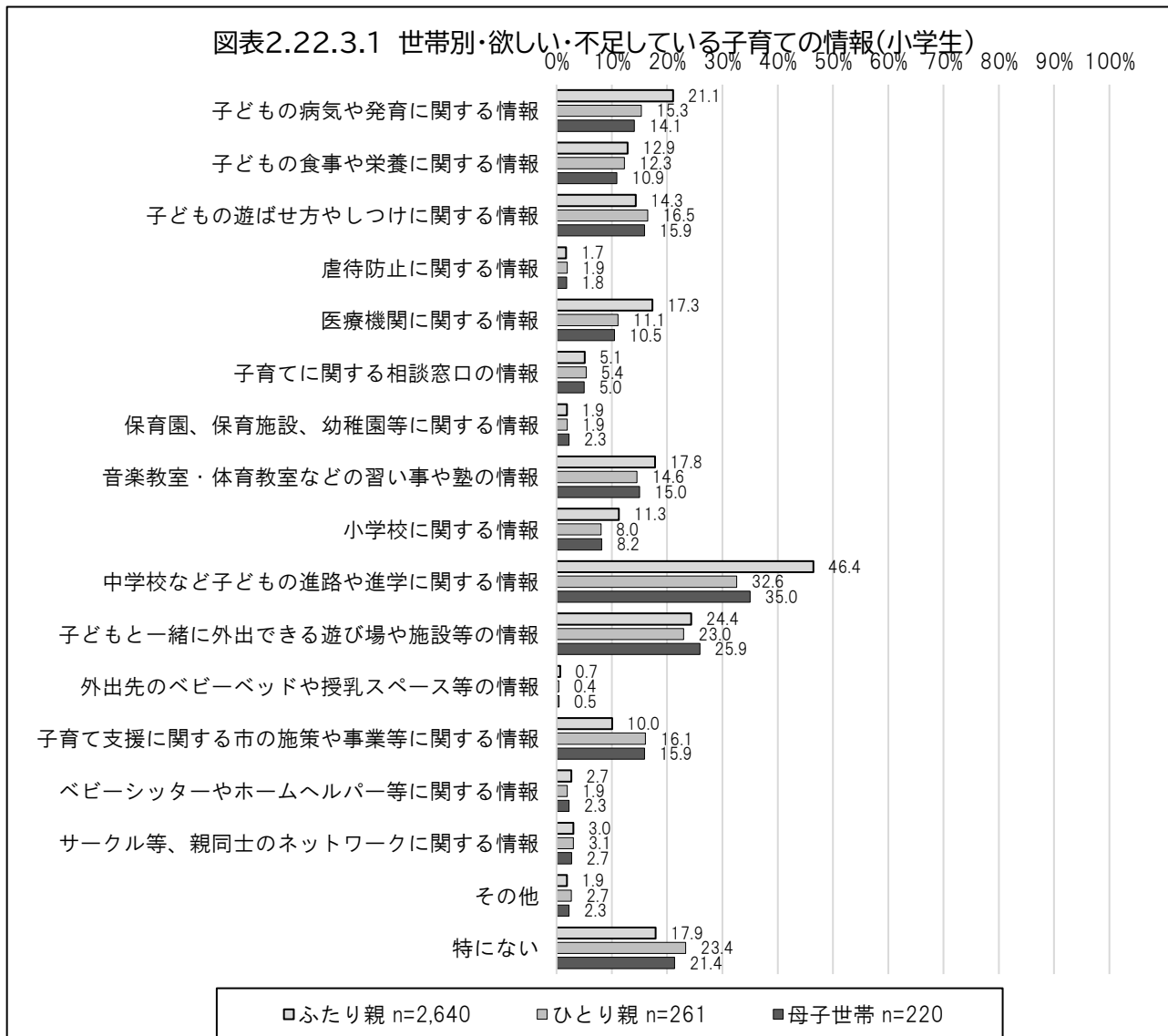
□中央値以上 n=1,370

▨中央値の2分の1以上中央値未満 n=1,014

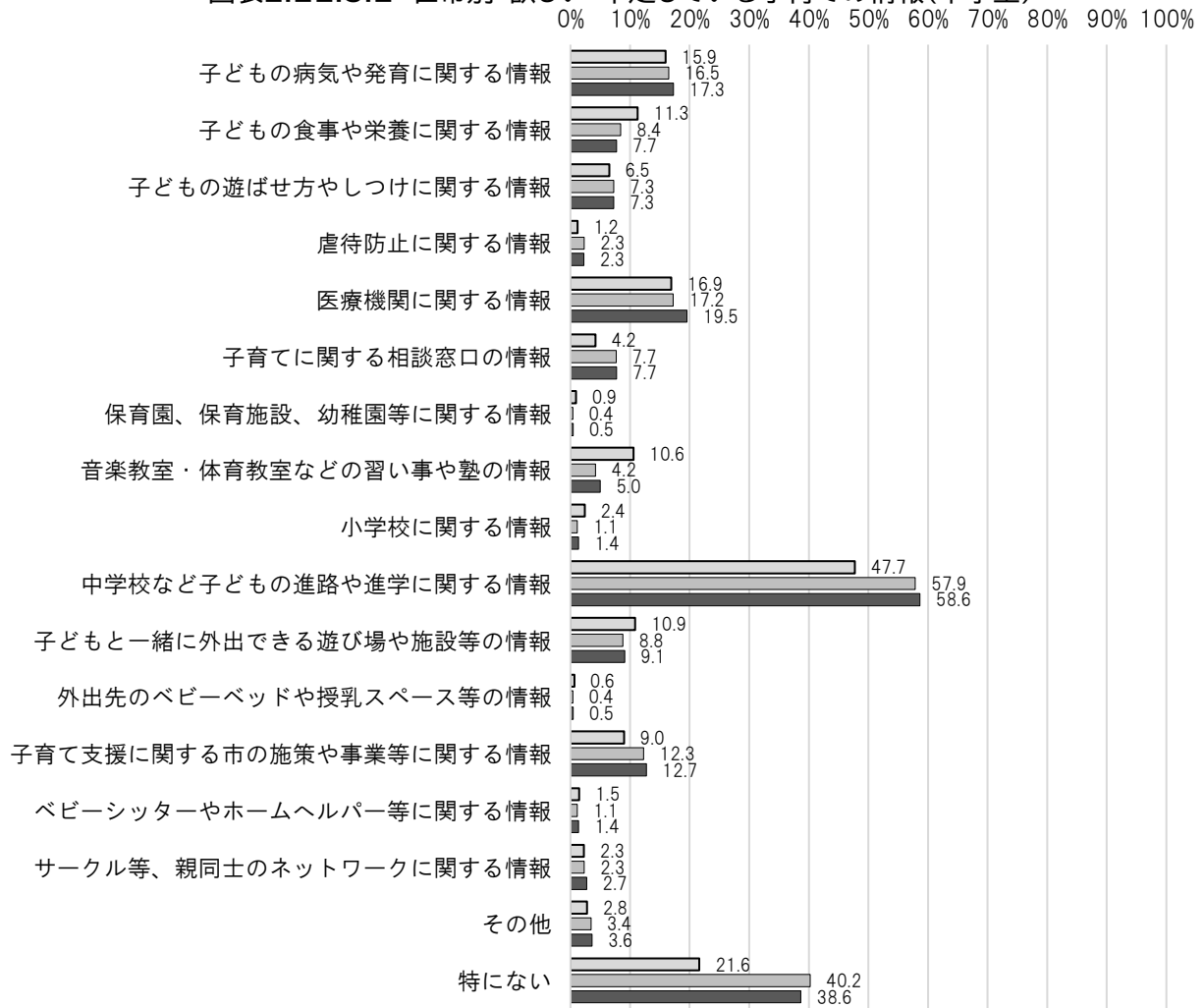
■中央値の2分の1未満 n=214

(3)世帯別

子育てに関する情報で欲しいもの・不足しているものについて、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「中学校など子どもの進路や進学に関する情報」が、小学生では、それぞれ46.4%、32.6%、35.0%、中学生では、それぞれ47.7%、57.9%、58.6%と最も高くなっています。



図表2.22.3.2 世帯別・欲しい・不足している子育ての情報(中学生)

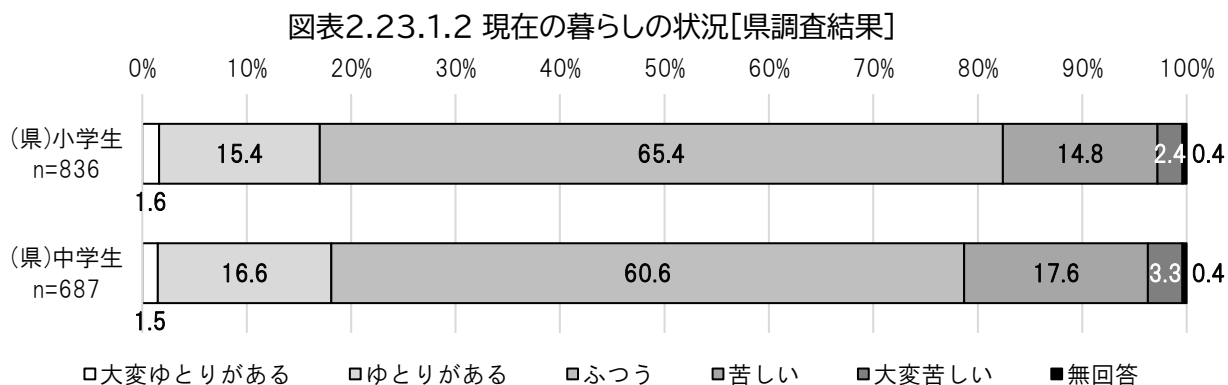
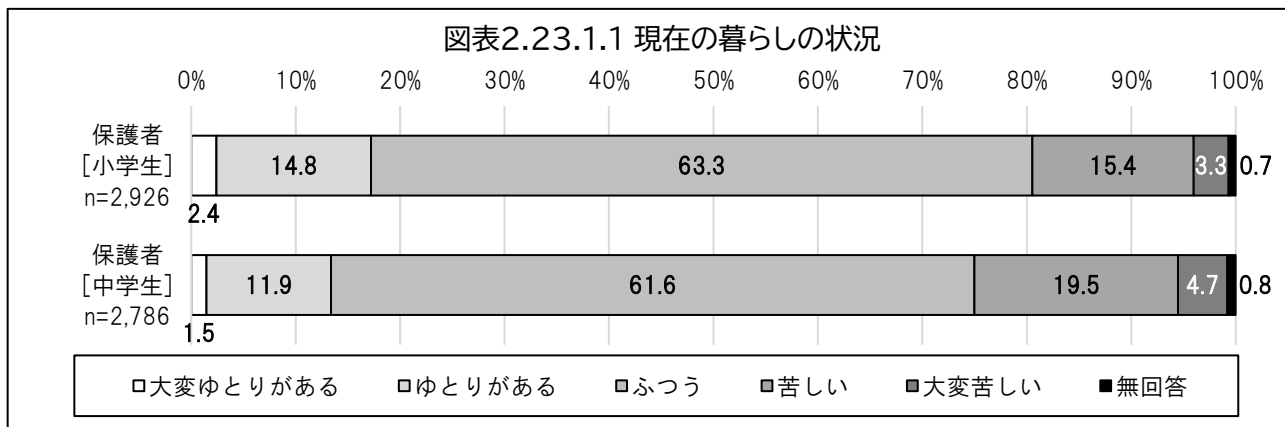


□ふたり親 n=2,435 □ひとり親 n=323 ■母子世帯 n=272

問23. あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

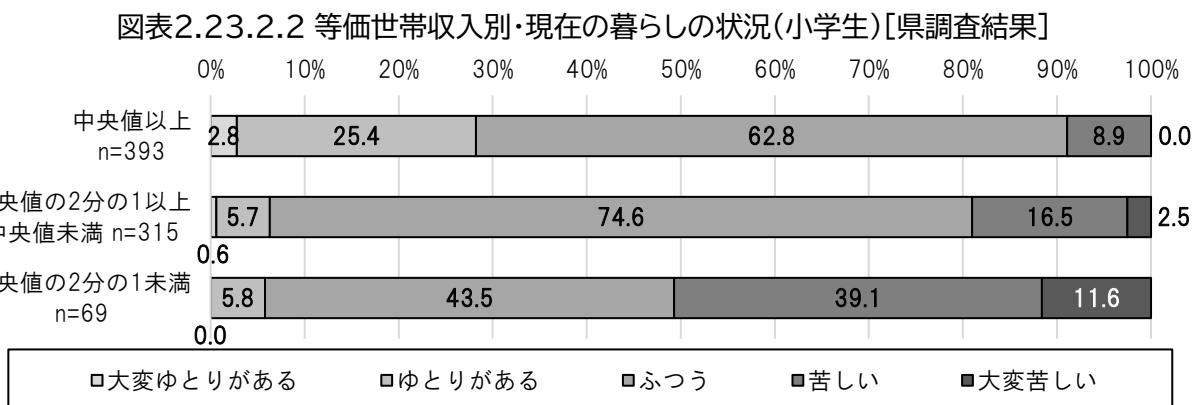
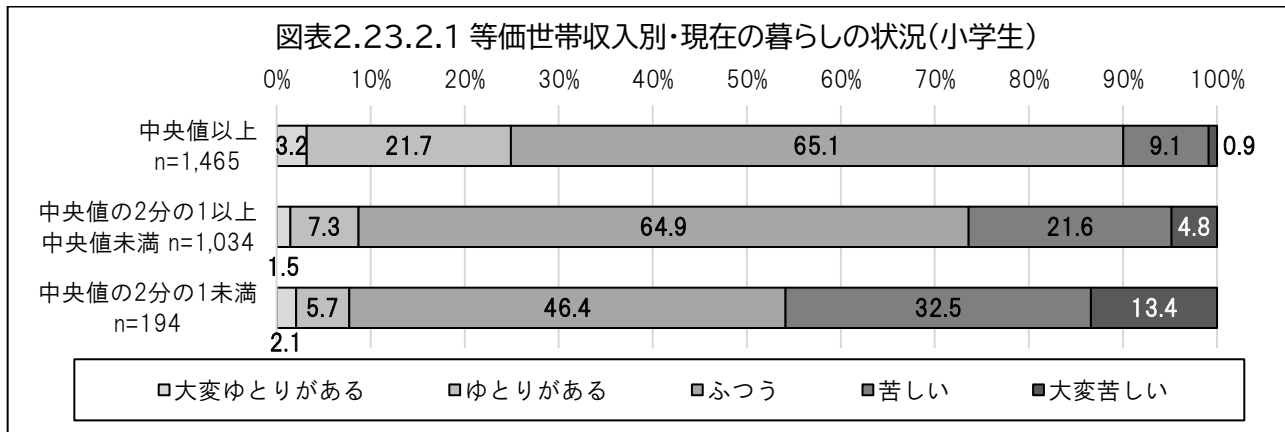
(1)全体

現在の暮らしの状況をどのように感じているかについて、「大変ゆとりがある」又は「ゆとりがある」と回答した割合が、小学生が17.2%、中学生が13.4%となっています。一方、「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合は、小学生が18.7%、中学生が24.2%となっています。



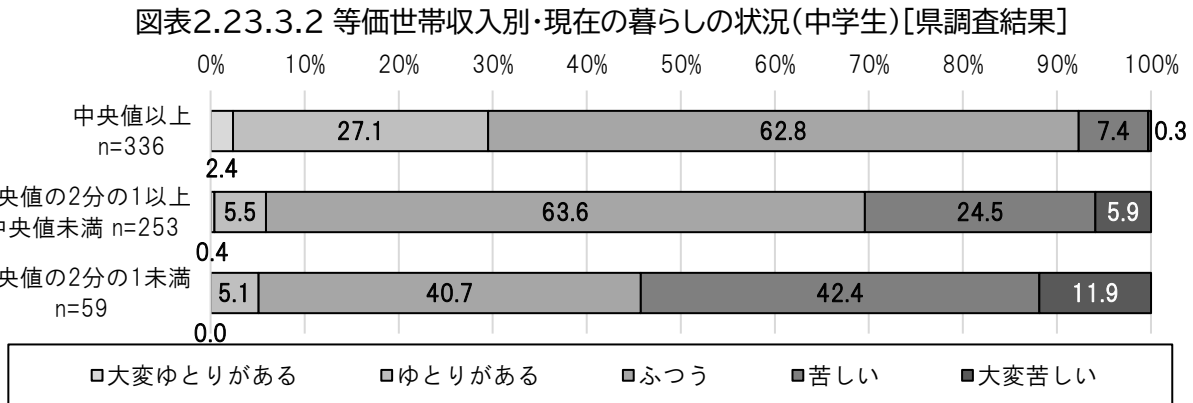
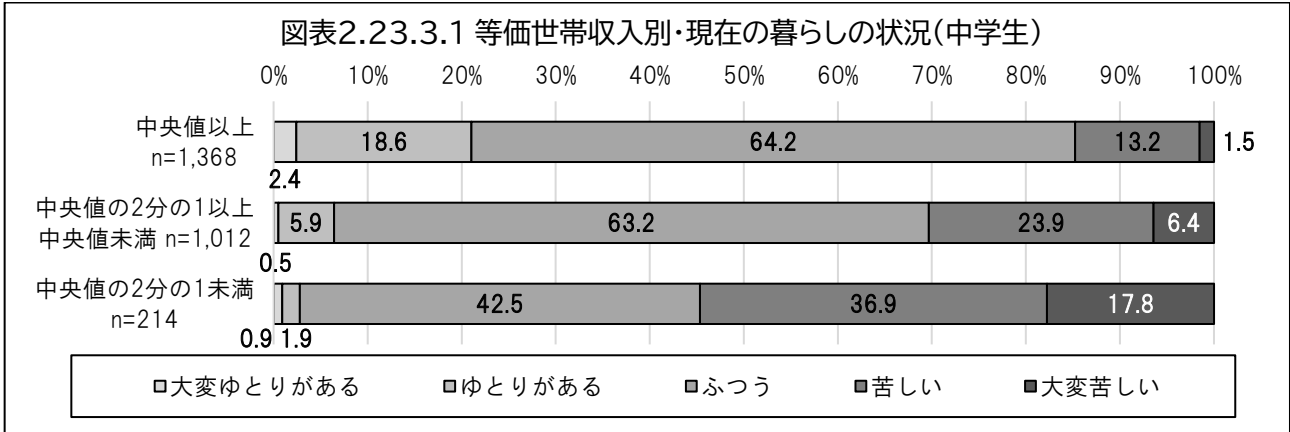
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生]（問 23.現在の暮らしの状況）

現在の暮らしの状況について、等価世帯収入別にみると、小学生では「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合が、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」で 45.9%となり、全体（18.7%）と比較して 27.2 ポイント高くなっています。



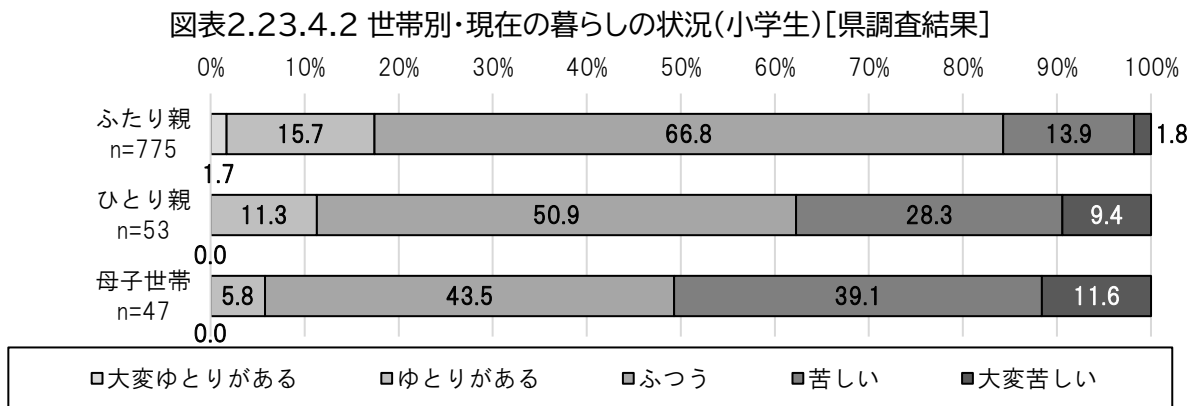
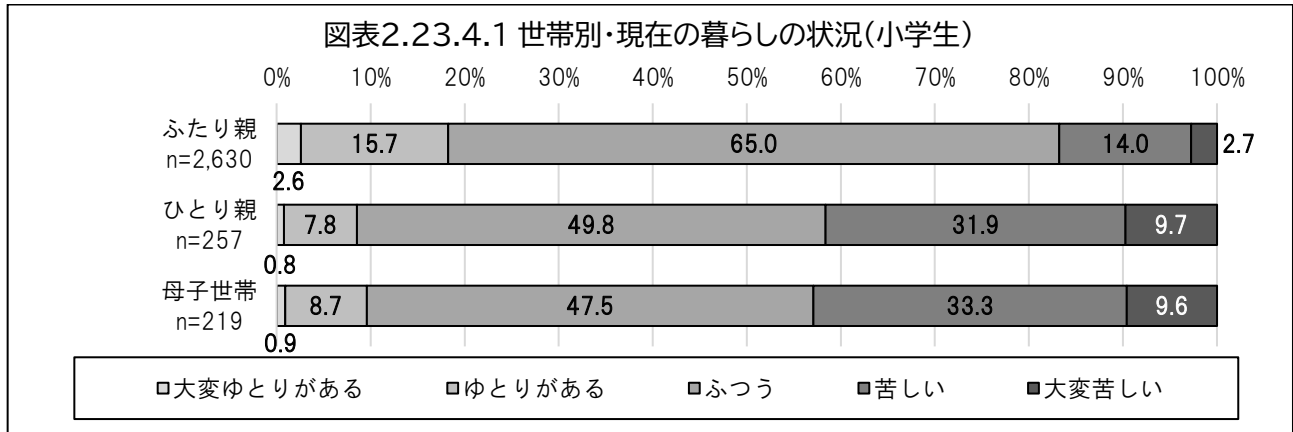
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 23. 現在の暮らしの状況)

現在の暮らしの状況について、等価世帯収入別にみると、中学生では「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合が、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」で 54.7%となり、全体（24.2%）と比較して 30.5 ㉫高くなっています。



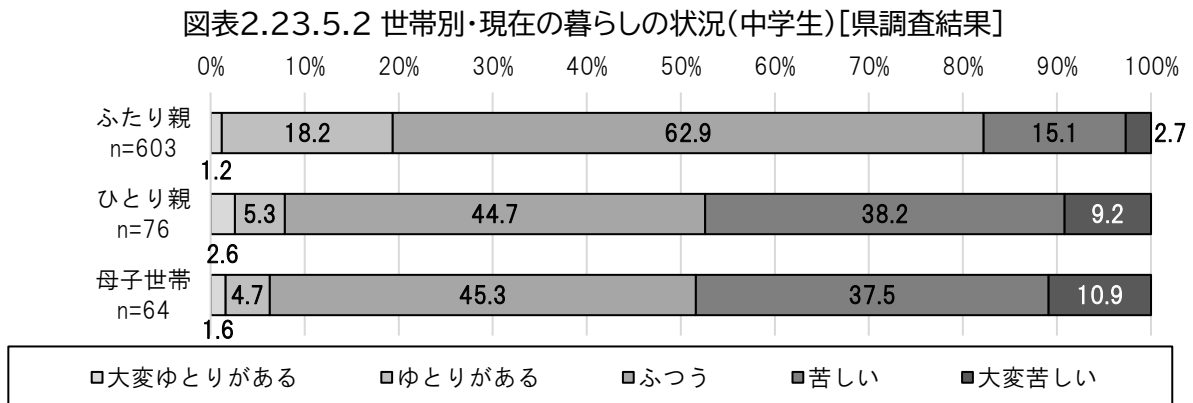
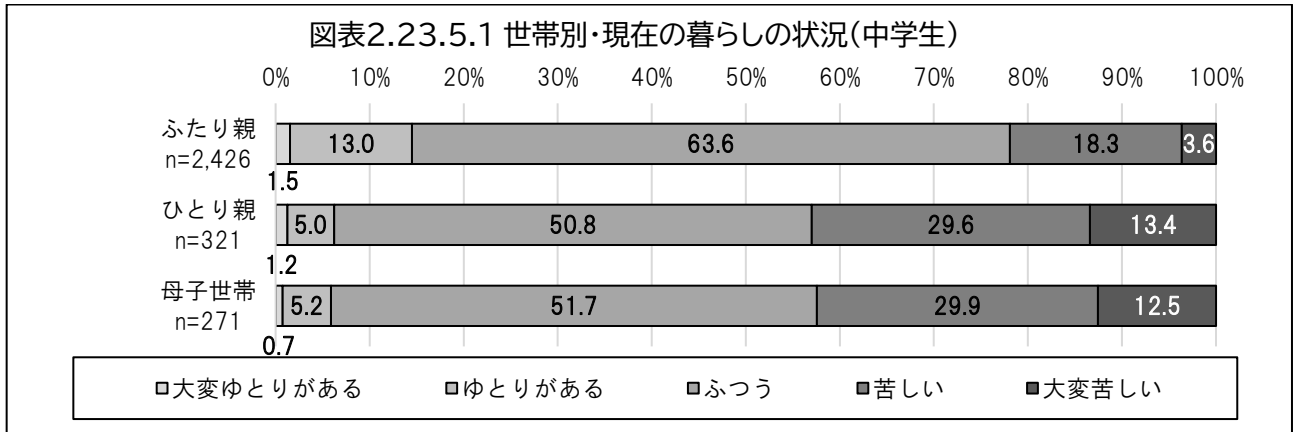
(4)世帯別・保護者[小学生]（問 23. 現在の暮らしの状況）

現在の暮らしの状況について、世帯別にみると、小学生では、「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合は、ひとり親世帯が41.6%、母子世帯が42.9%で、ふたり親世帯の16.7%と比較して、それぞれ24.9%、26.2%高くなっています。



(5)世帯別・保護者[中学生] (問 23. 現在の暮らしの状況)

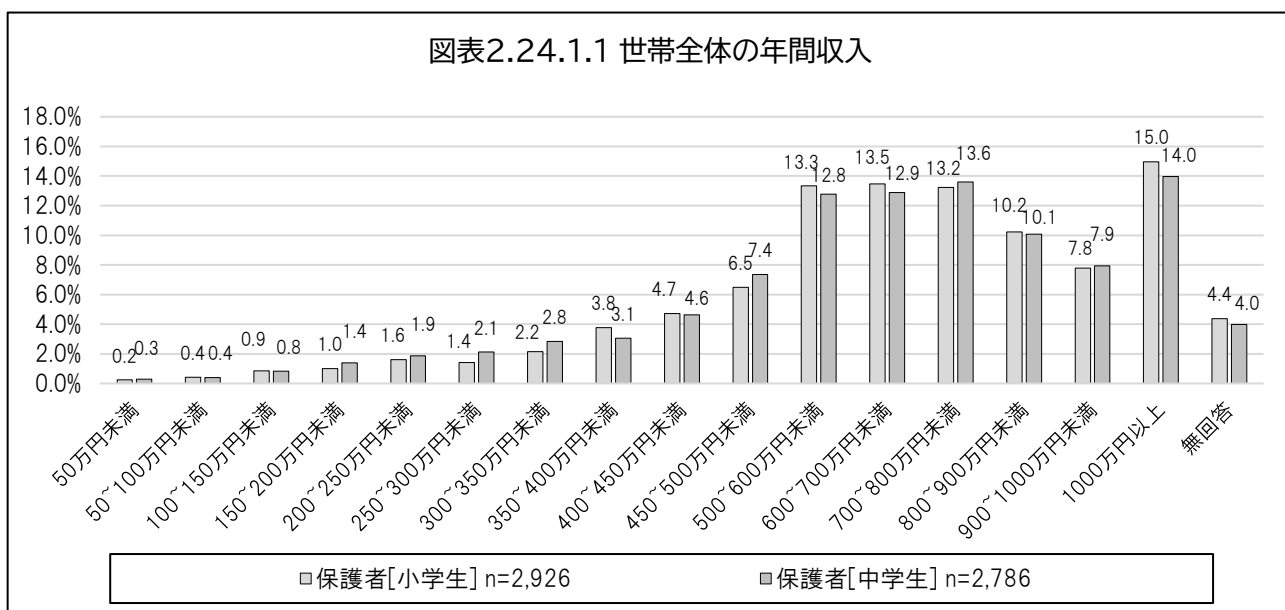
現在の暮らしの状況について、世帯別にみると、中学生では、「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合は、ひとり親世帯が43.0%、母子世帯が42.4%で、ふたり親世帯の21.9%と比較して、それぞれ21.1 ㊦、20.5 ㊦高くなっています。



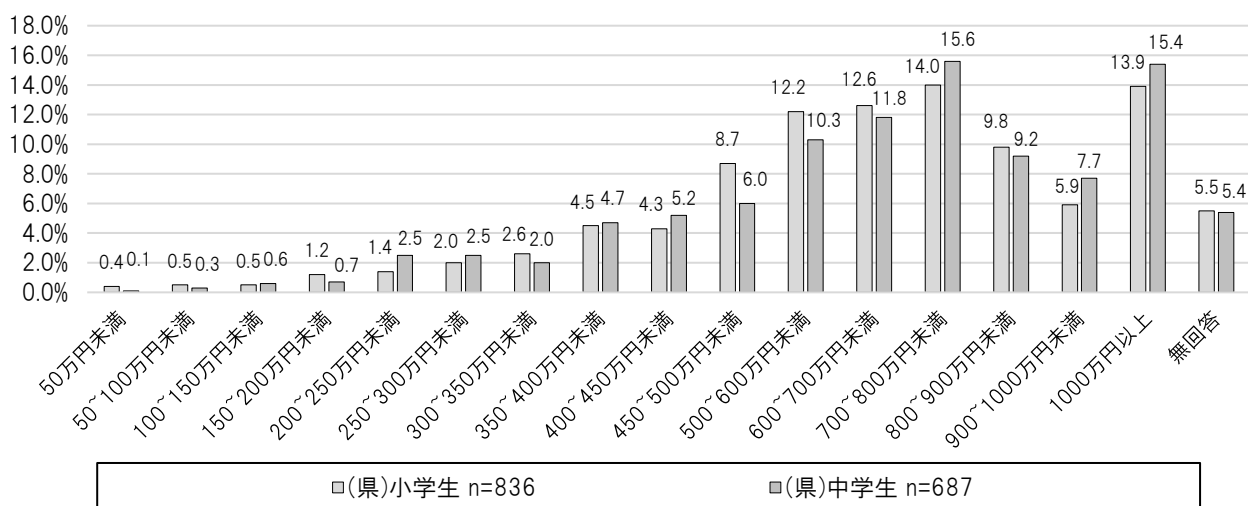
問24. 世帯全体のおおその年間収入(税込)はいくらですか。

(1)全体

世帯全体の年間収入について、小学生では「1,000万円以上」が15.0%、次いで「600～700万円未満」が13.5%、次いで「500万円～600万円未満」が13.3%となっています。中学生では「1,000万円以上」が14.0%、次いで「700～800万円未満」が13.6%、次いで「600～700万円未満」が12.9%となっています。

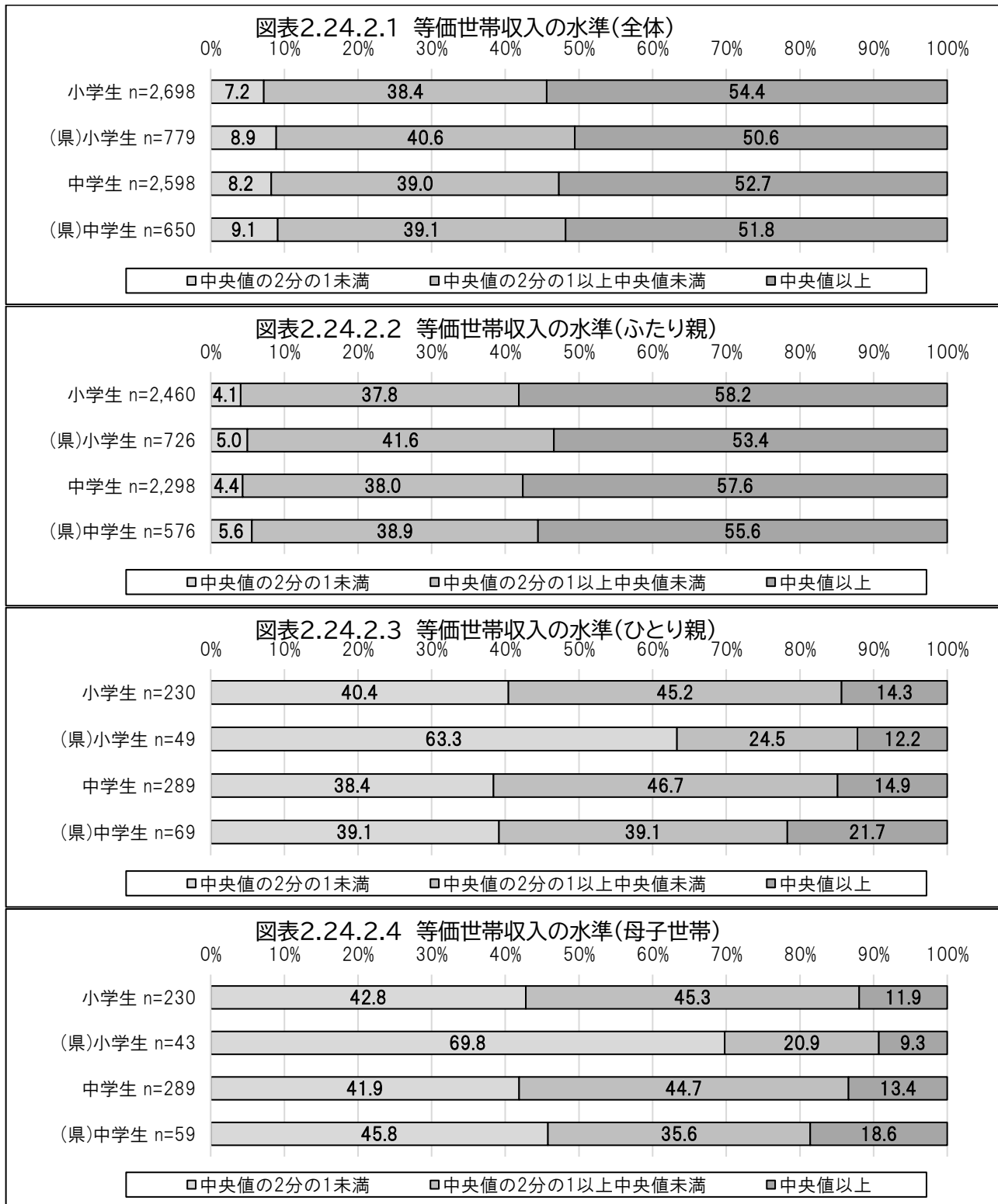


図表2.24.1.2 世帯全体の年間収入[県調査結果]



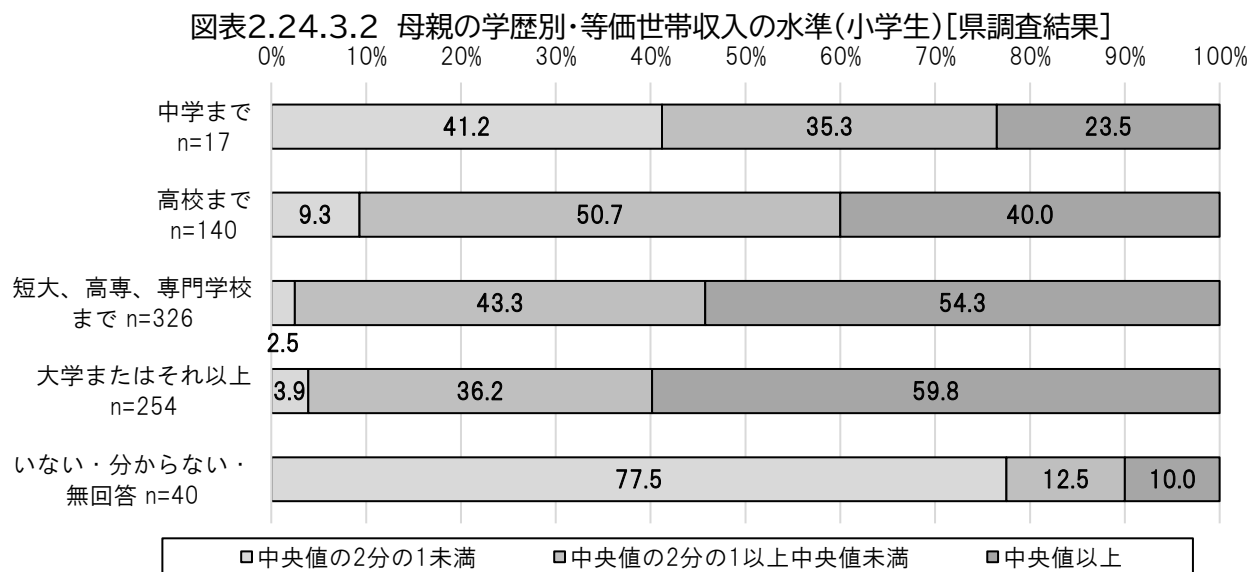
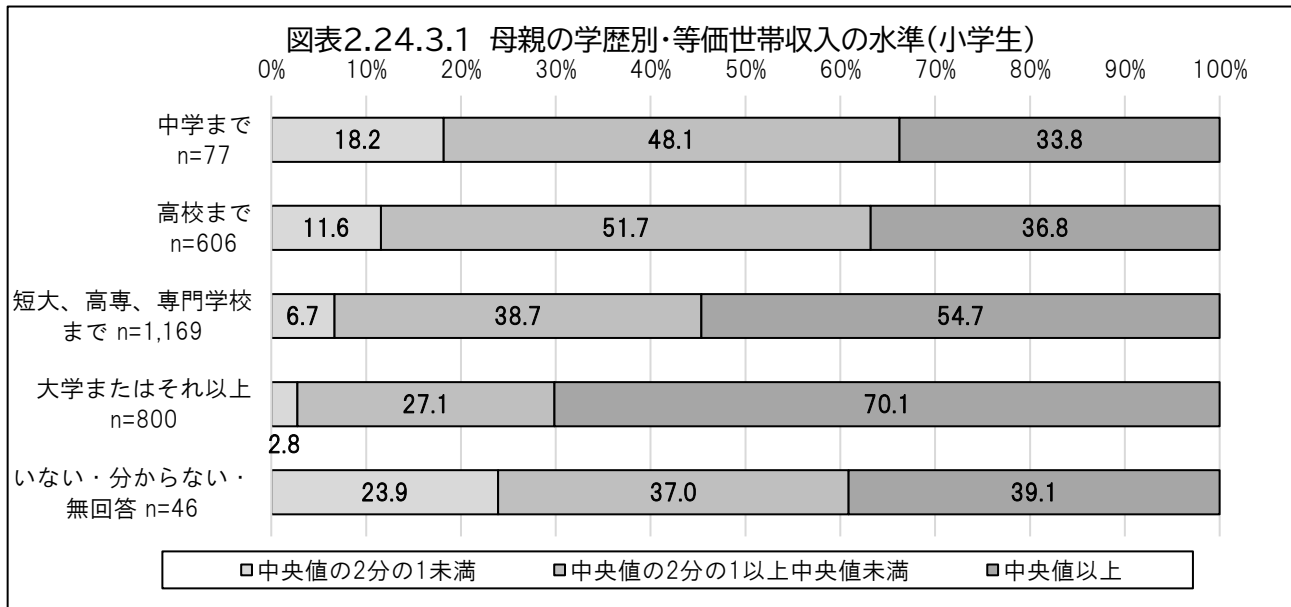
(2)等価世帯収入別・保護者（問 24. 世帯全体の年間収入）

世帯全体の年間収入について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、ひとり親世帯では、小学生が40.4%、中学生が38.4%となり、全体（7.2%、8.2%）と比較して、それぞれ33.2 ㊦、30.2 ㊦高くなっています。



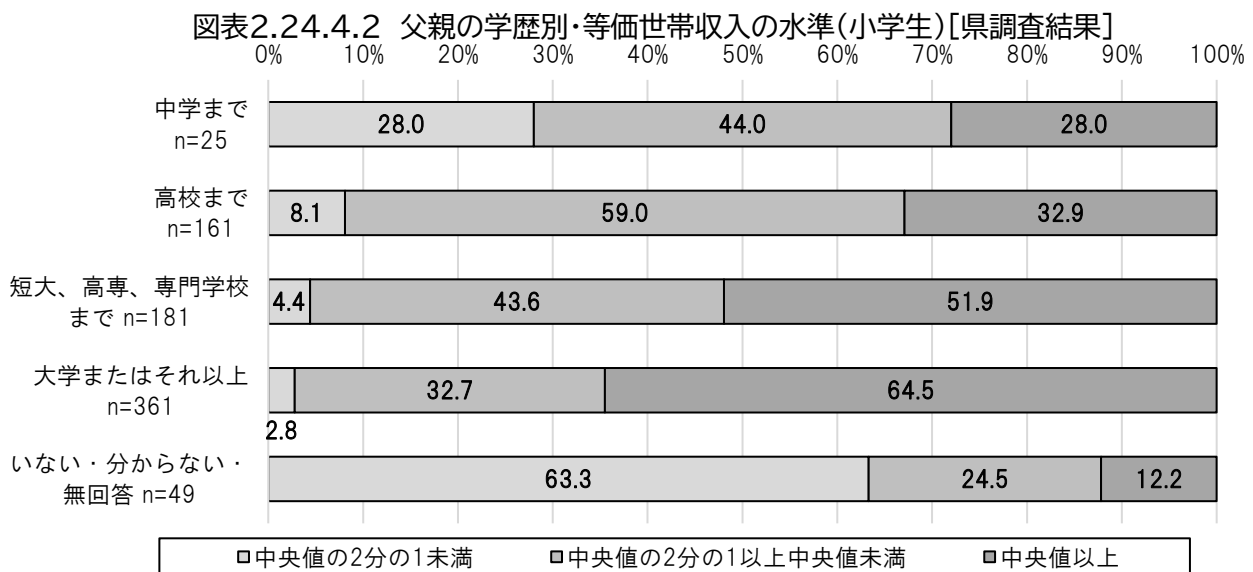
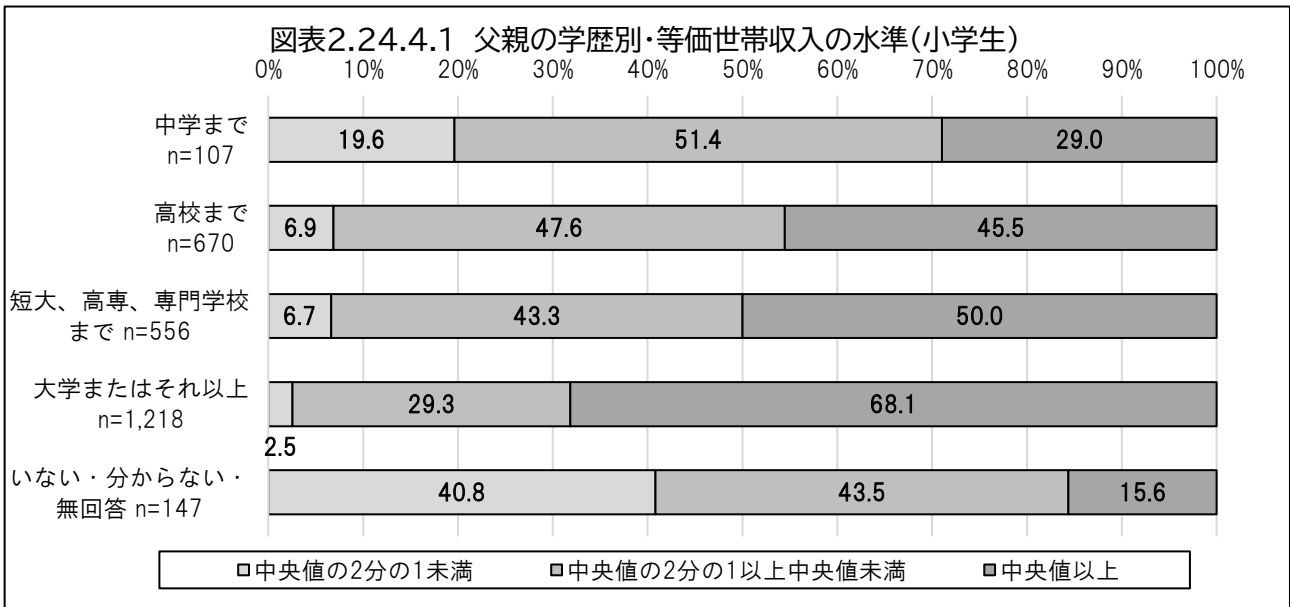
(3)母親の学歴別・等価世帯収入別・保護者[小学生]（問 24. 世帯全体の年間収入）

世帯全体の年間収入について、母親の学歴別・等価世帯収入別にみると、小学生では、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、母親の学歴が「中学まで」の場合は 18.2%、「高校まで」の場合は 11.6%となっており、「短大、高専、専門学校まで」（6.7%）、「大学またはそれ以上」（2.8%）の場合と比較して高くなっています。



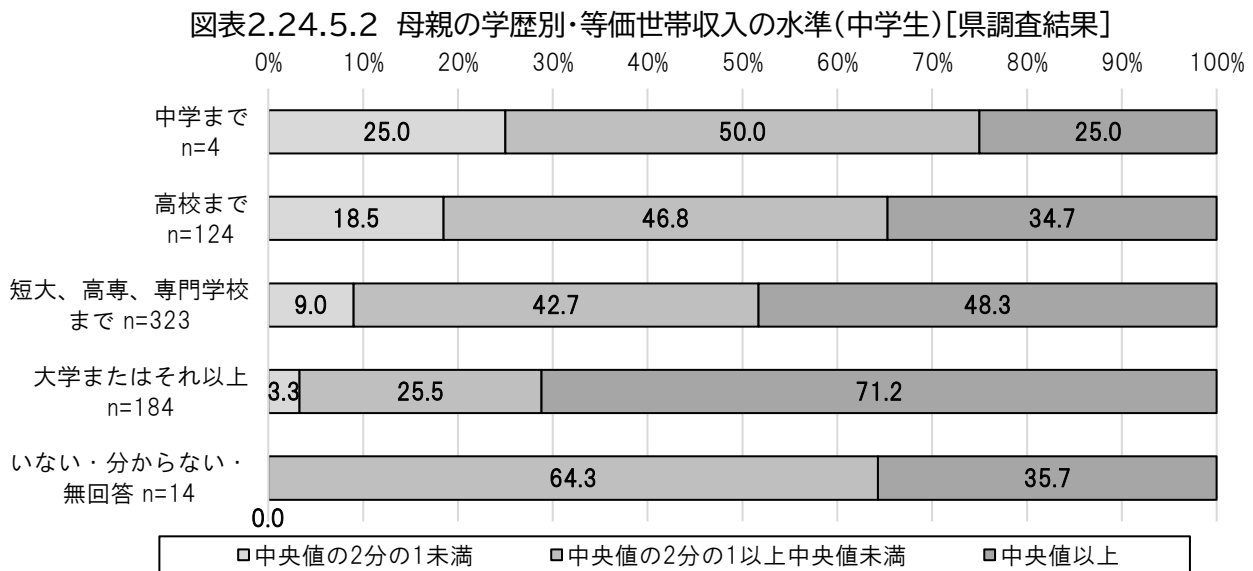
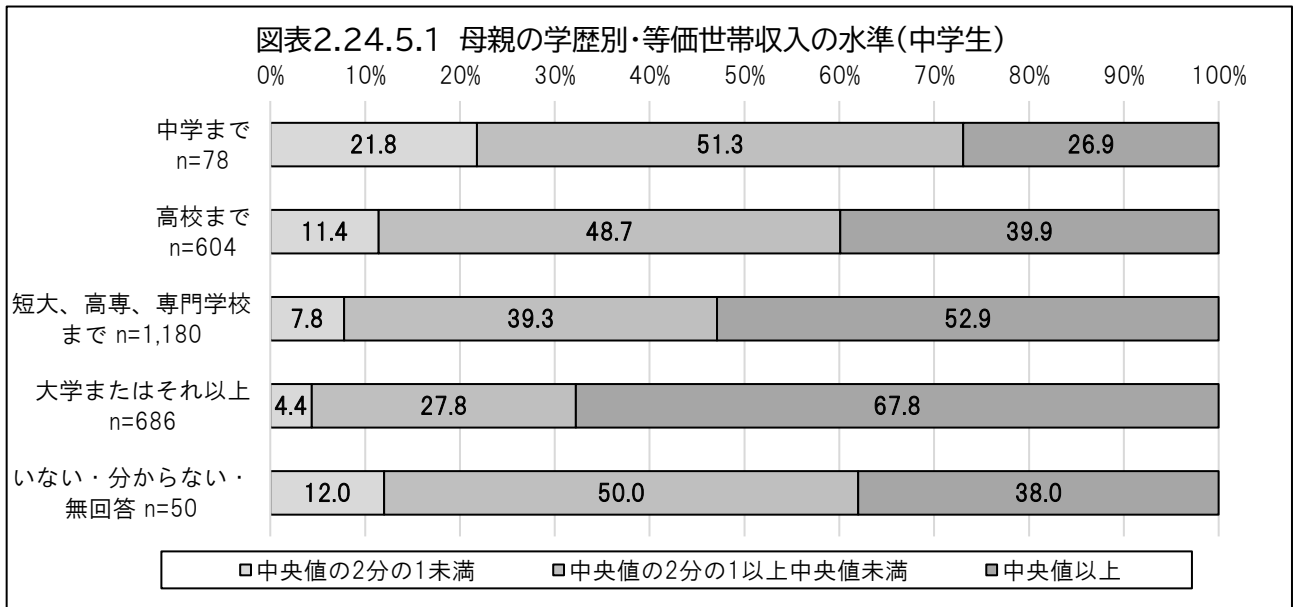
(4)父親の学歴別・等価世帯収入別・保護者[小学生]（問 24. 世帯全体の年間収入）

世帯全体の年間収入について、父親の学歴別・等価世帯収入別にみると、小学生では、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、父親の学歴が「中学まで」の場合は 19.6%、「高校まで」の場合は 6.9%となっており、「短大、高専、専門学校まで」（6.7%）、「大学またはそれ以上」（2.5%）の場合と比較して高くなっています。



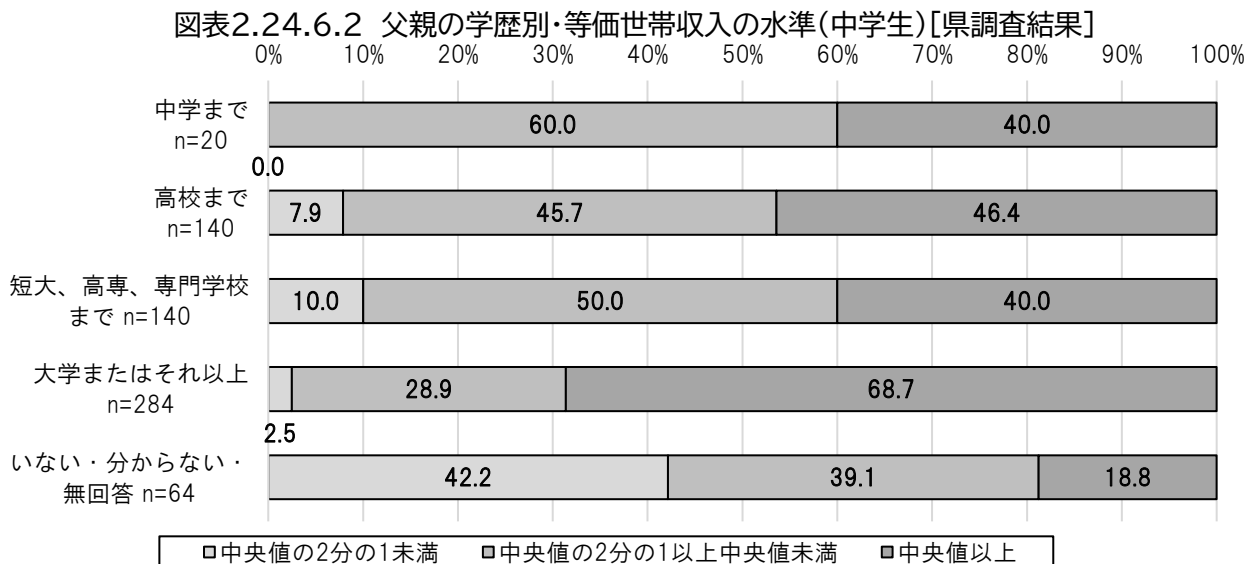
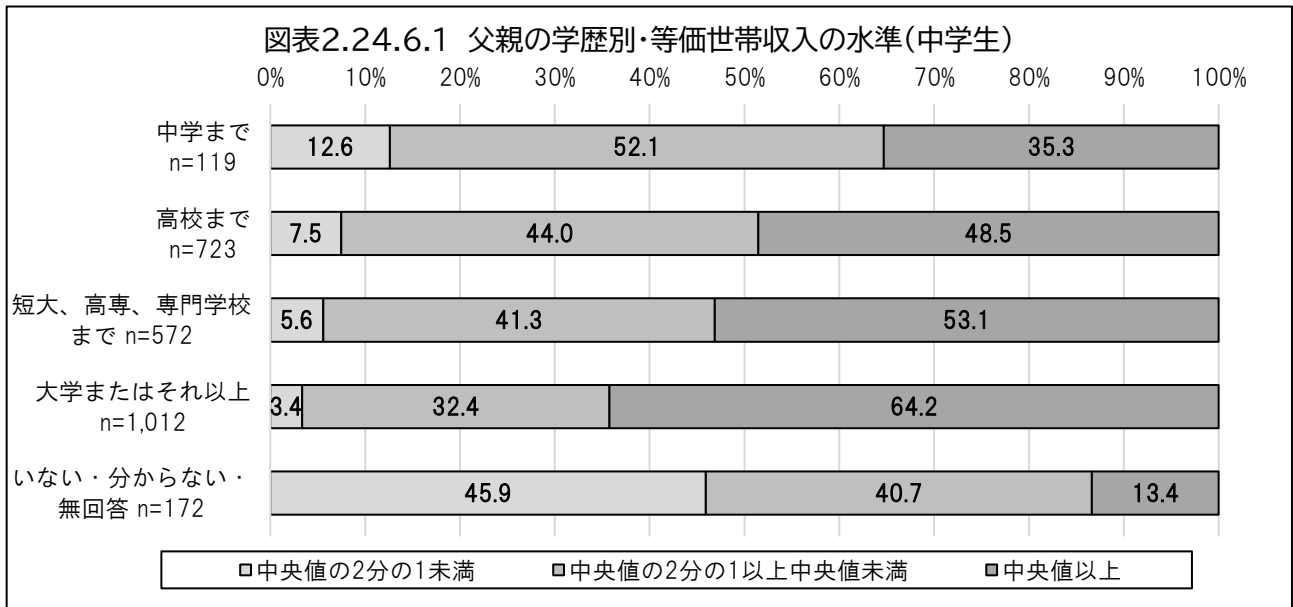
(5)母親の学歴別・等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 24. 世帯全体の年間収入)

世帯全体の年間収入について、母親の学歴別・等価世帯収入別にみると、中学生では、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、母親の学歴が「中学まで」の場合は 21.8%、「高校まで」の場合は 11.4%となっており、「短大、高専、専門学校まで」（7.8%）、「大学またはそれ以上」（4.4%）の場合と比較して高くなっています。



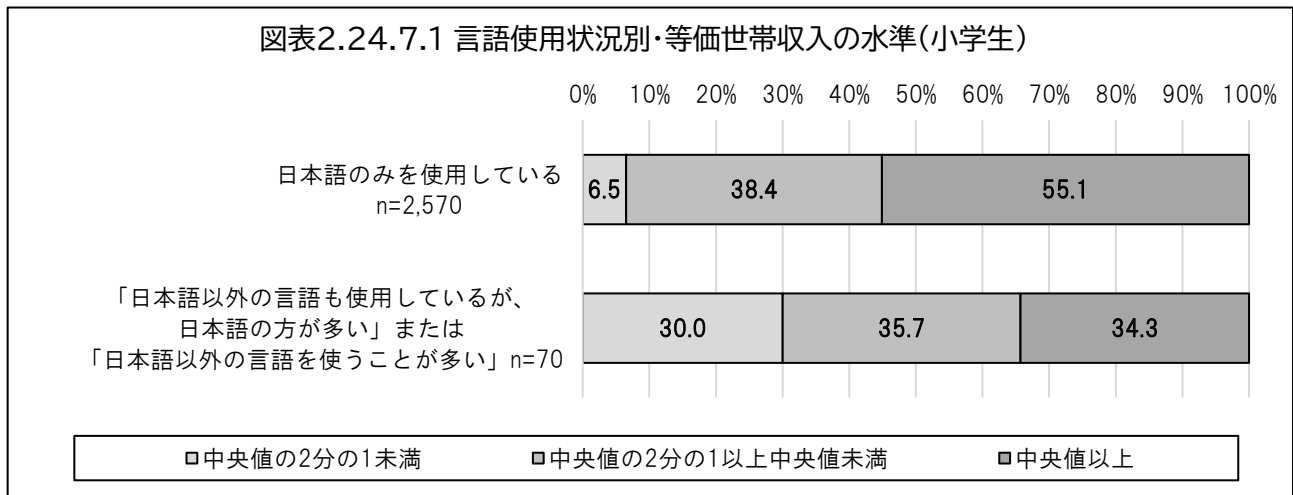
(6)父親の学歴別・等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 24. 世帯全体の年間収入)

世帯全体の年間収入について、父親の学歴別・等価世帯収入別にみると、小学生では、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、父親の学歴が「中学まで」の場合は 12.6%、「高校まで」の場合は 7.5%となっており、「短大、高専、専門学校まで」(5.6%)、「大学またはそれ以上」(3.4%) の場合と比較して高くなっています。

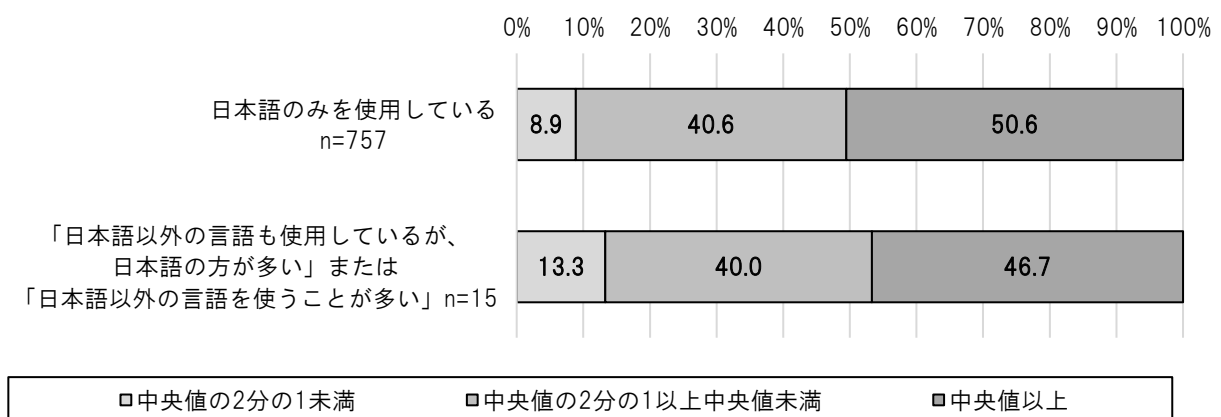


(7)家庭での使用言語別・等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 24. 世帯全体の年間収入)

世帯全体の年間収入について、家庭での使用言語別・等価世帯収入別にみると、小学生では、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」または「日本語以外の言語を使うことが多い」場合は 30.0%となっており、「日本語のみを使用している」場合（6.5%）と比較して高くなっています。

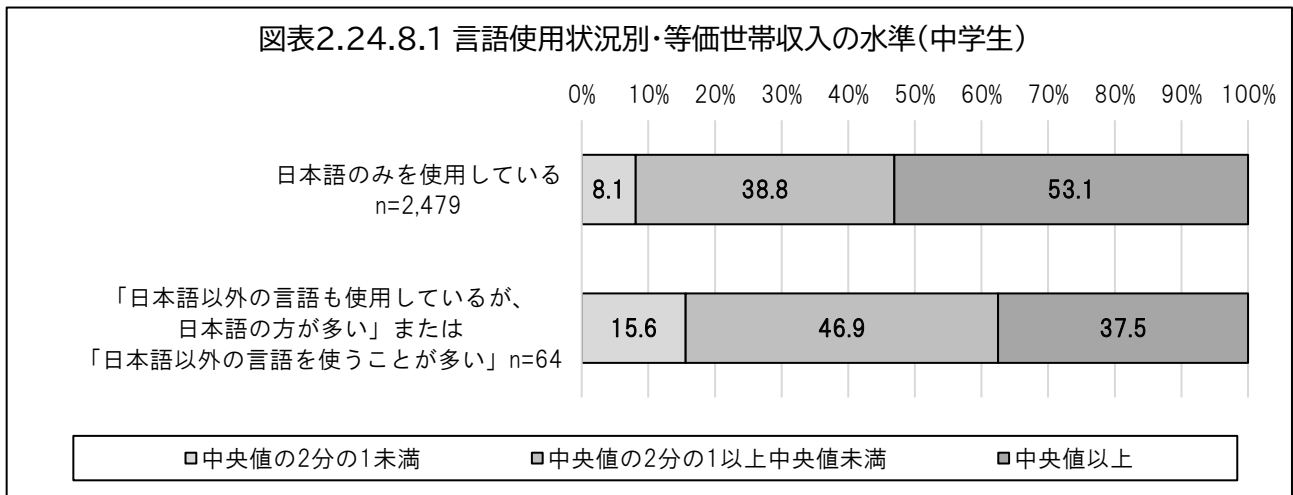


図表2.24.7.2 言語使用状況別・等価世帯収入の水準(小学生)[県調査結果]

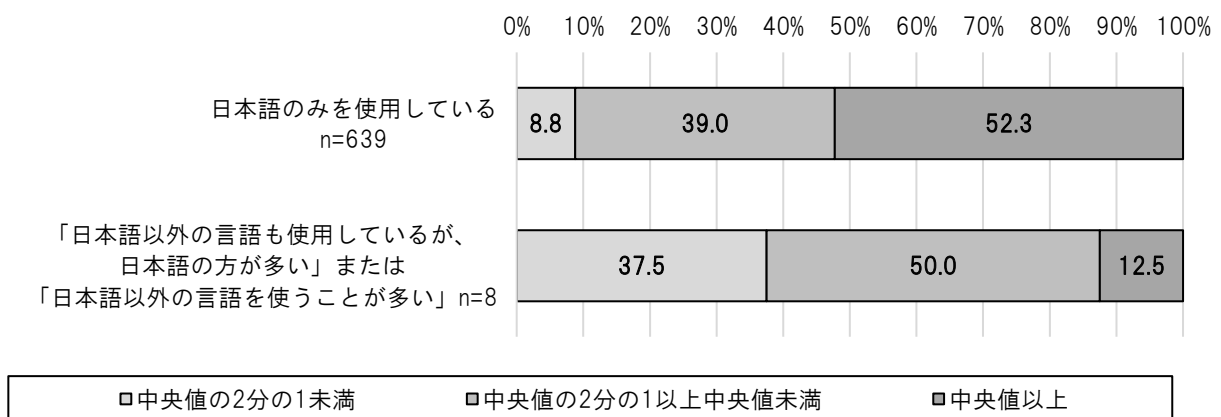


(8)家庭での使用言語別・等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 24. 世帯全体の年間収入)

世帯全体の年間収入について、家庭での使用言語別・等価世帯収入別にみると、中学生では、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の割合が、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」または「日本語以外の言語を使うことが多い」場合は 15.6%となっており、「日本語のみを使用している」場合（8.1%）と比較して高くなっています。



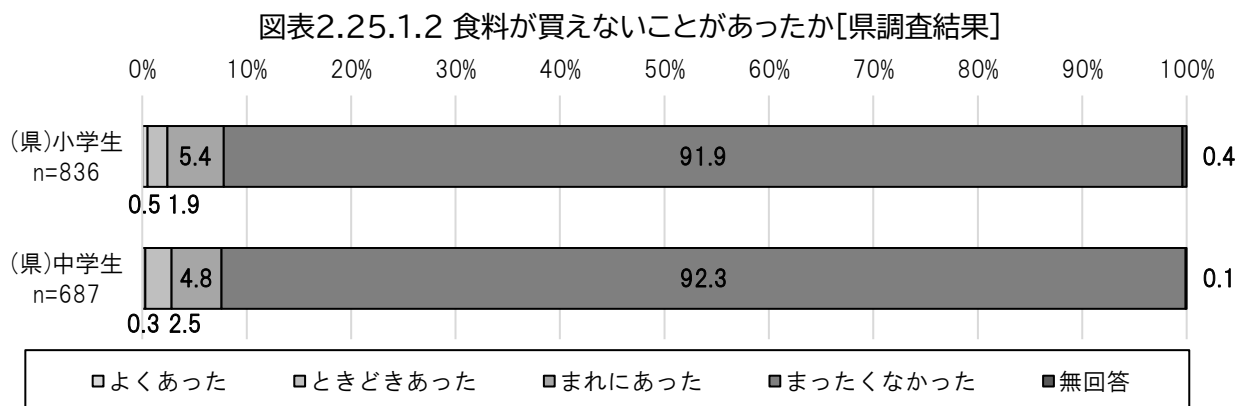
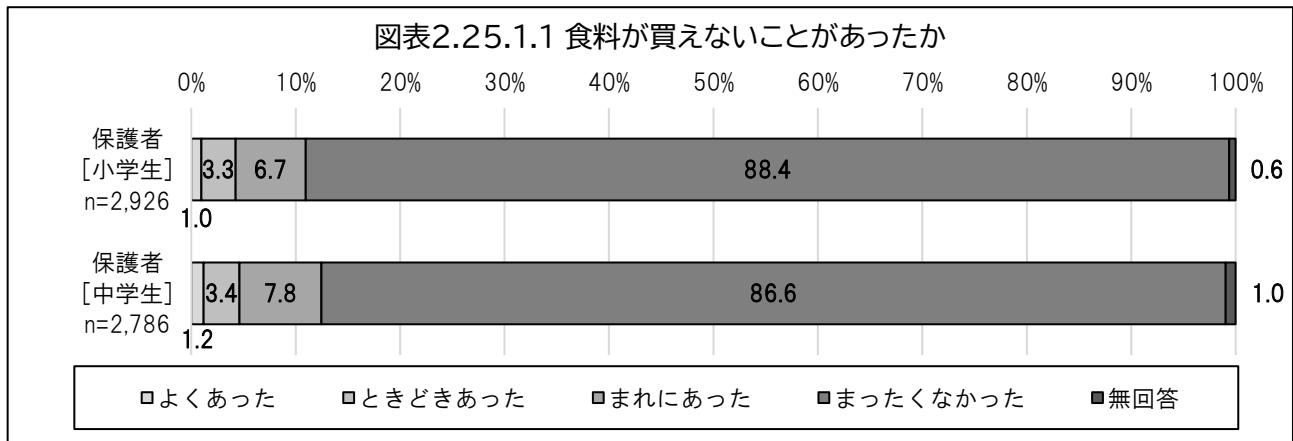
図表2.24.8.2 言語使用状況別・等価世帯収入の水準(中学生)[県調査結果]



問25. あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品(しこうひん)は含みません。

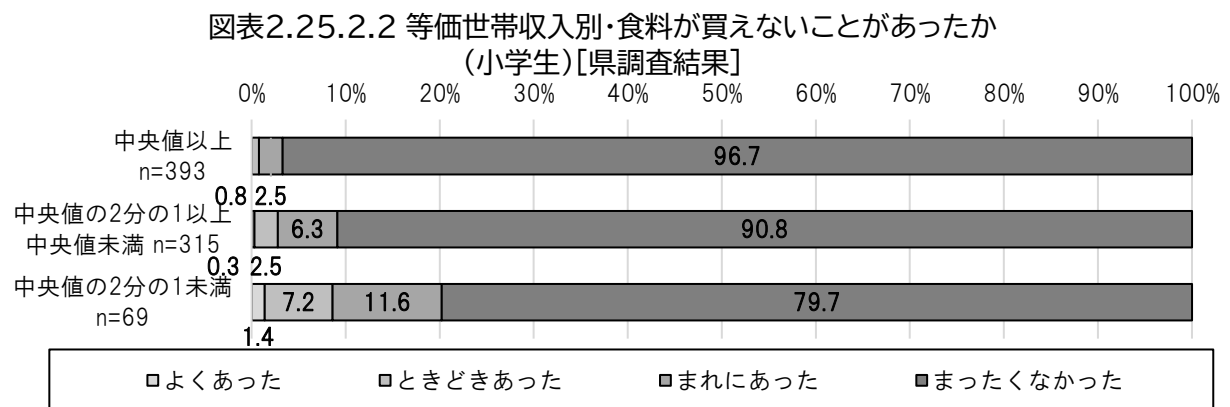
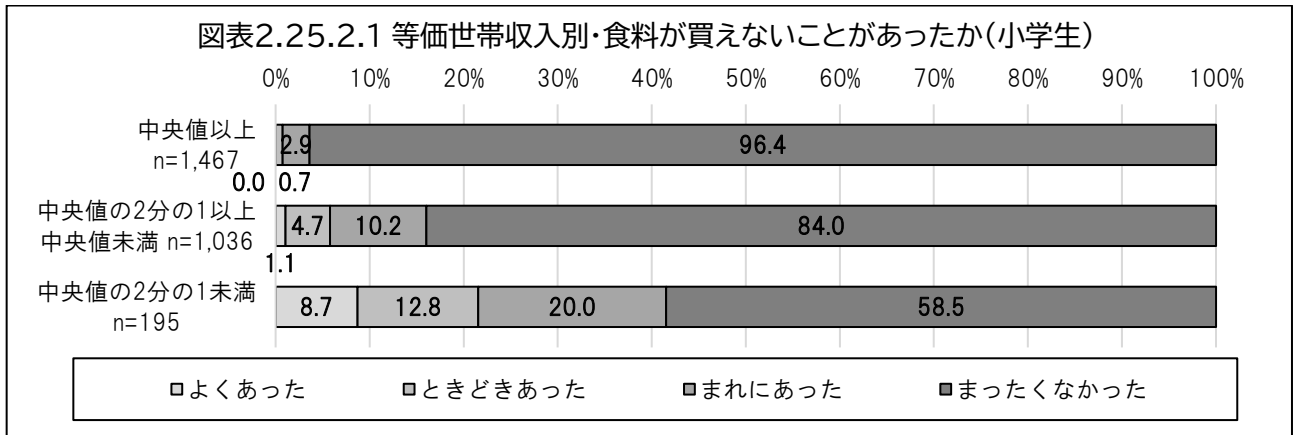
(1)全体

食料が買えないことがあったかについて、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、小学生が11.0%、中学生が12.4%となっています。また小学生(11.0%)、中学生(12.4%)ともに、県調査(7.8%、7.6%)と比較して高くなっています。



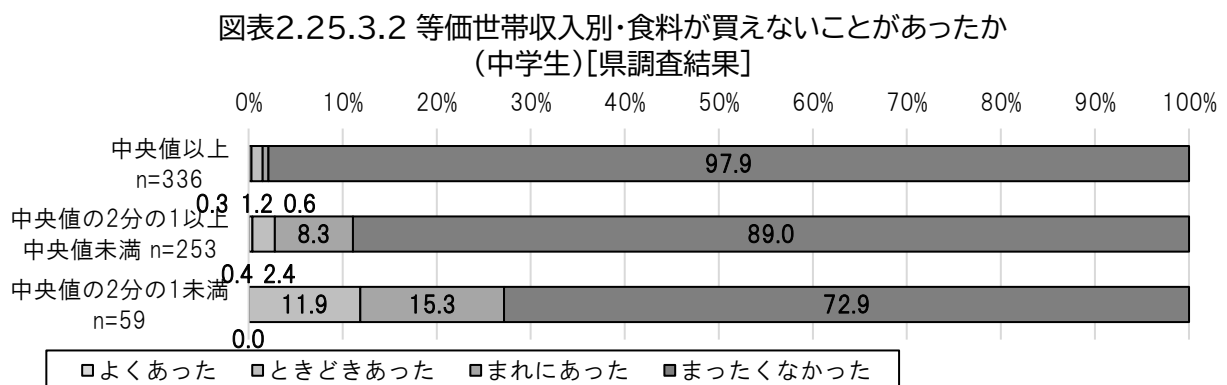
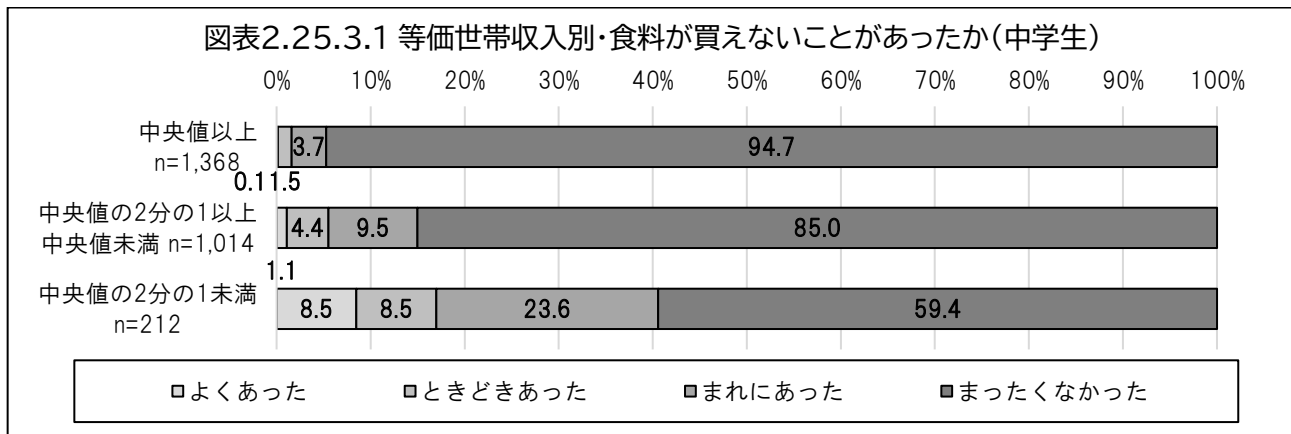
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 25. 食料が買えないことがあったか)

食料が買えないことがあったかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では41.5%で、全体（11.0%）と比較して30.5%高くなっています。また、県調査（20.2%）と比較して高くなっています。



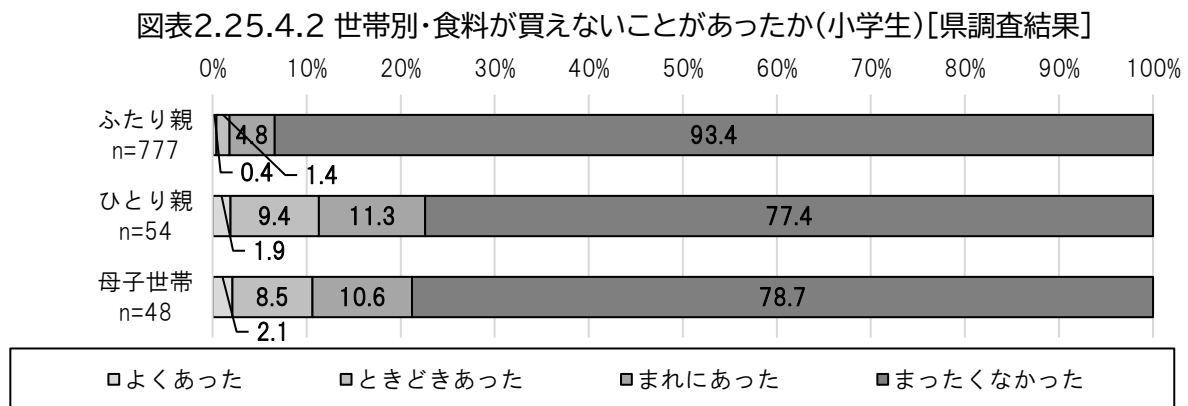
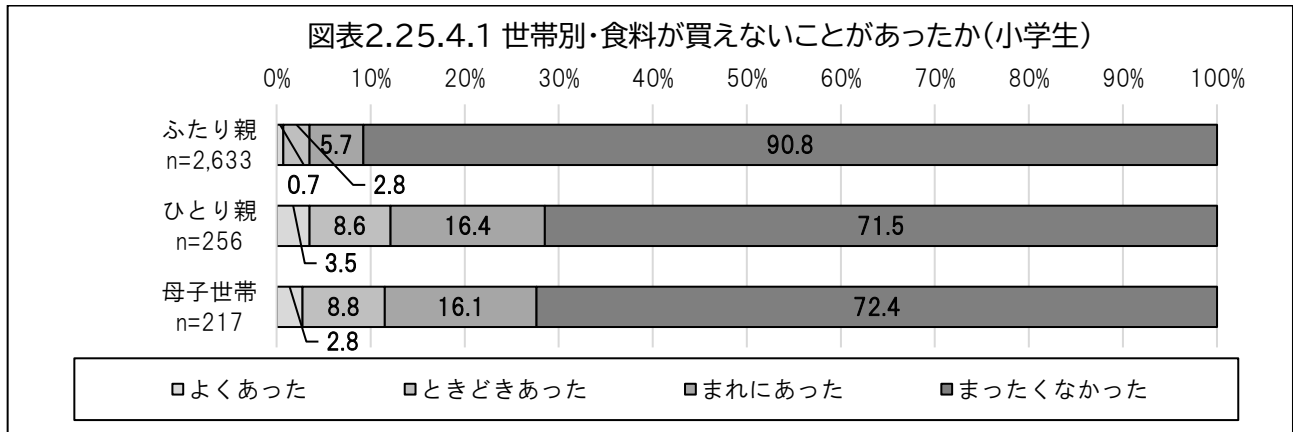
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 25. 食料が買えないことがあったか)

食料が買えないことがあったかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では40.6%で、全体（12.4%）と比較して28.2%高くなっています。また県調査（27.2%）と比較して高くなっています。



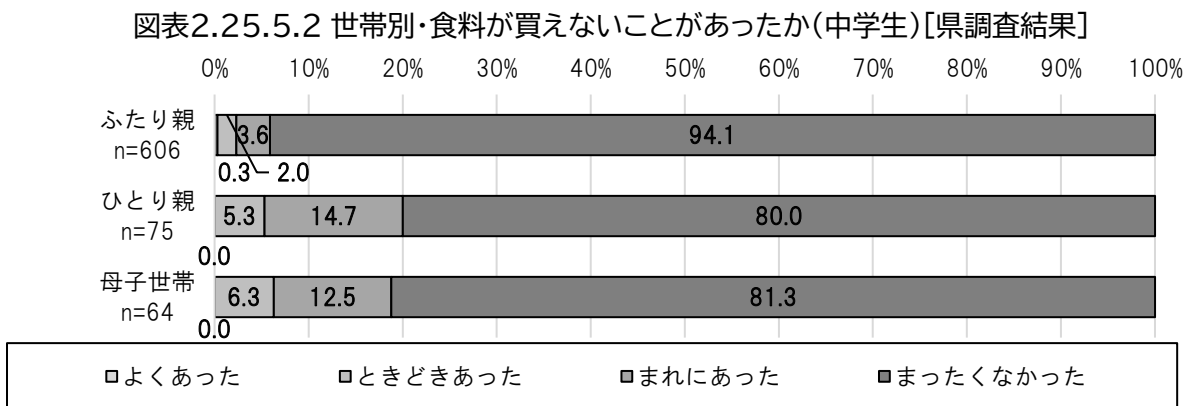
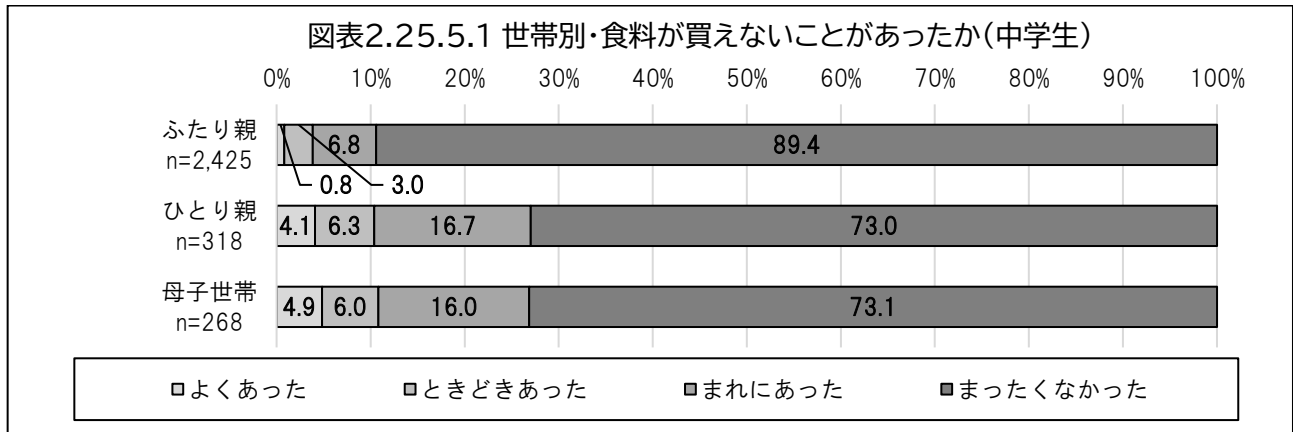
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 25. 食料が買えないことがあったか)

食料が買えないことがあったかについて、世帯別にみると、小学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、ひとり親世帯では 28.5%、母子世帯では 27.7%で、全体（11.0%）と比較して、それぞれ 17.5 ㊦、16.7 ㊦高くなっています。また、ひとり親世帯、母子世帯ともに、県調査（22.6%、21.2%）と比較して高くなっています。



(5)世帯別・保護者[中学生] (問 25. 食料が買えないことがあったか)

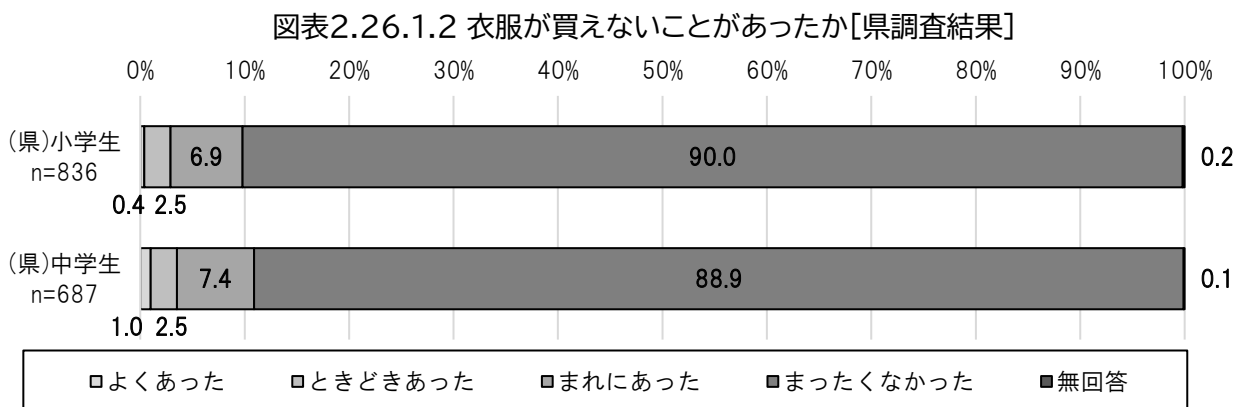
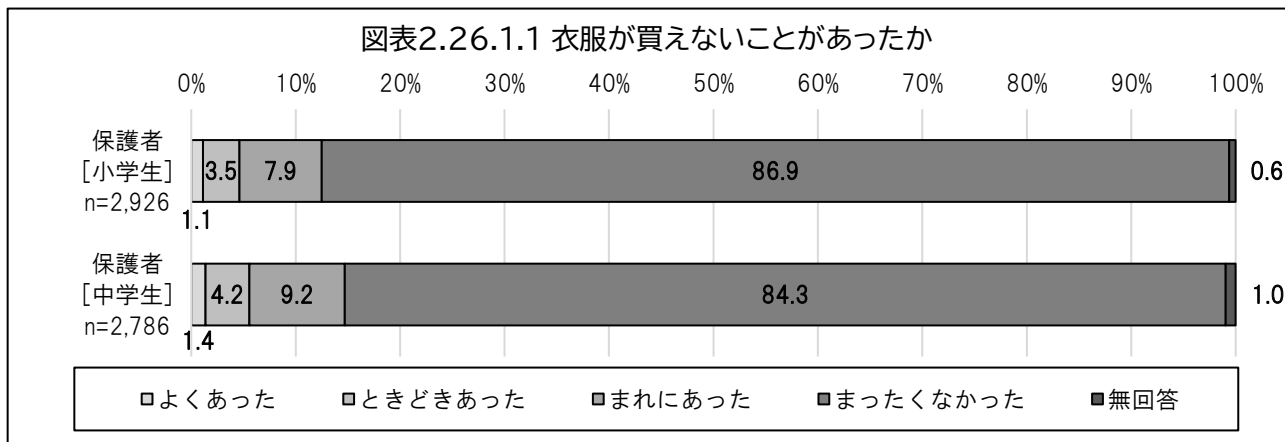
食料が買えないことがあったかについて、世帯別にみると、中学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、ひとり親世帯では27.1%、母子世帯では26.9%で、全体(12.4%)と比較して、それぞれ14.7%、14.5%高くなっています。また、ひとり親世帯、母子世帯ともに、県調査(20.0%、18.8%)と比較して高くなっています。



問26. あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属(ききんぞく)・宝飾品(ほうしょくひん)は含みません。

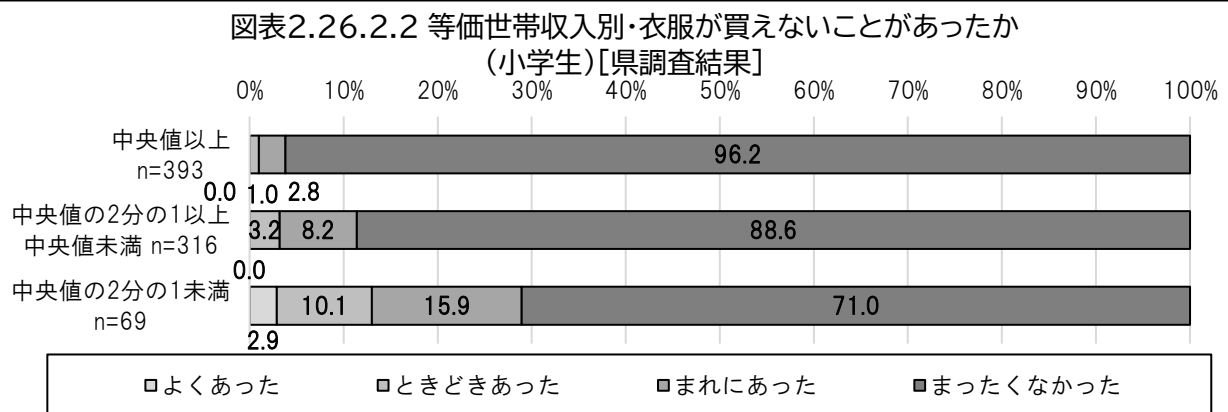
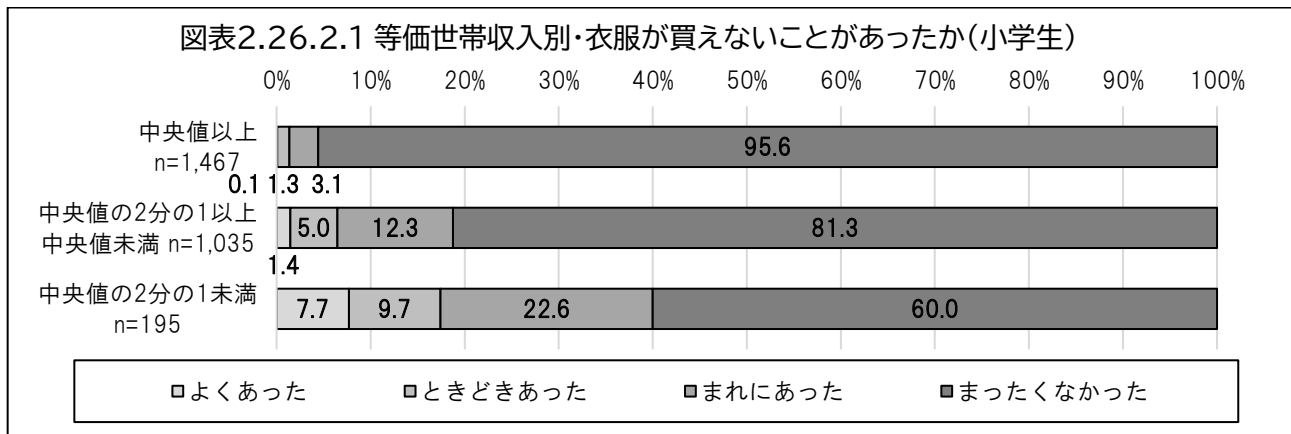
(1)全体

衣服が買えないことがあったかについて、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、小学生が12.5%、中学生が14.8%となっています。また小学生(12.5%)、中学生(14.8%)ともに、県調査(9.8%、10.9%)と比較して高くなっています。



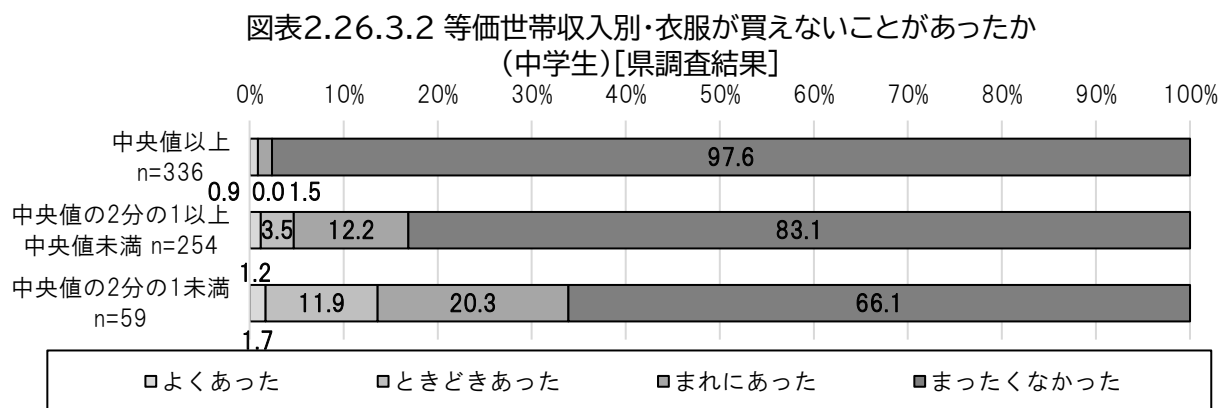
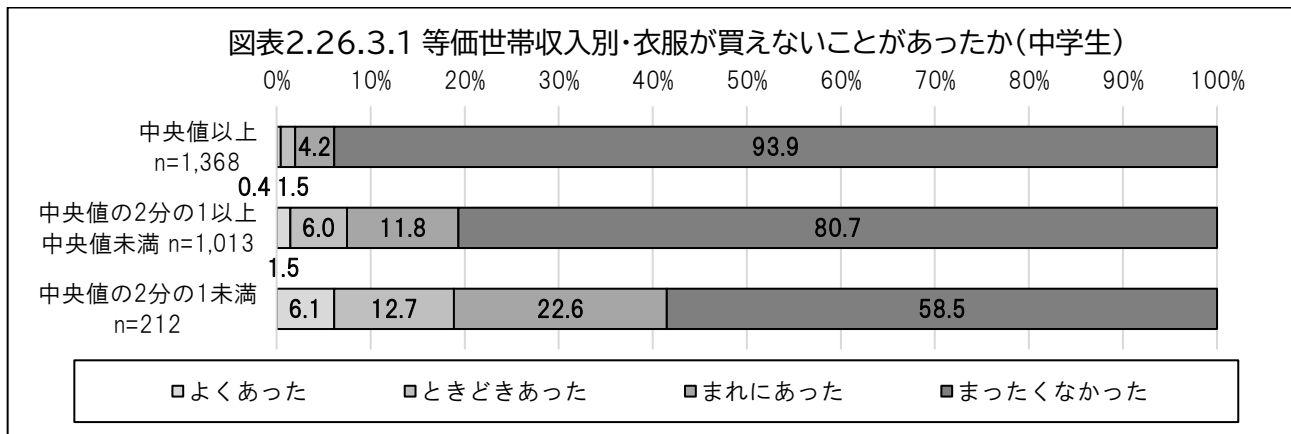
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 26. 衣服が買えないことがあったか)

衣服が買えないことがあったかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では40.0%で、全体（12.5%）と比較して27.5%高くなっています。また県調査（28.9%）と比較して高くなっています。



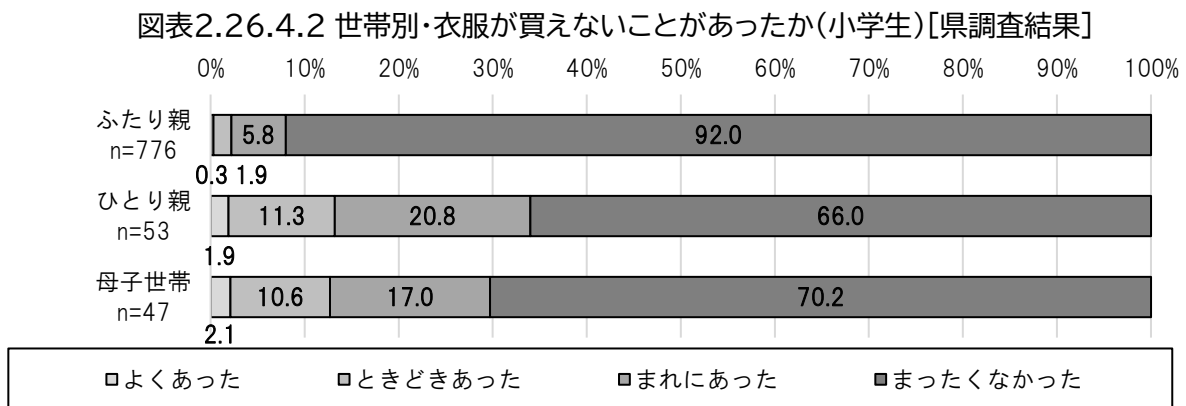
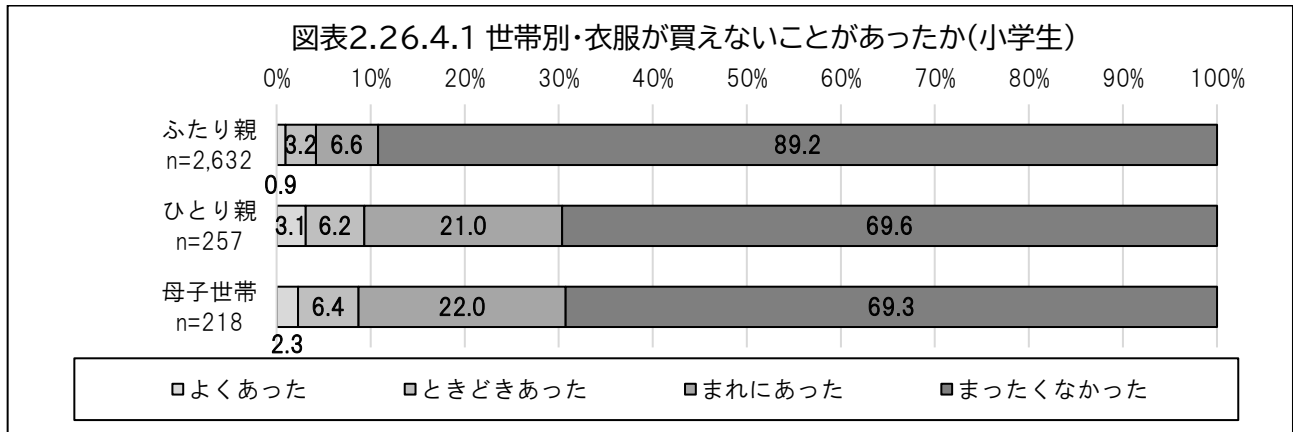
(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 26. 衣服が買えないことがあったか)

衣服が買えないことがあったかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では41.4%で、全体（14.8%）と比較して26.6%高くなっています。また県調査（33.9%）と比較して高くなっています。



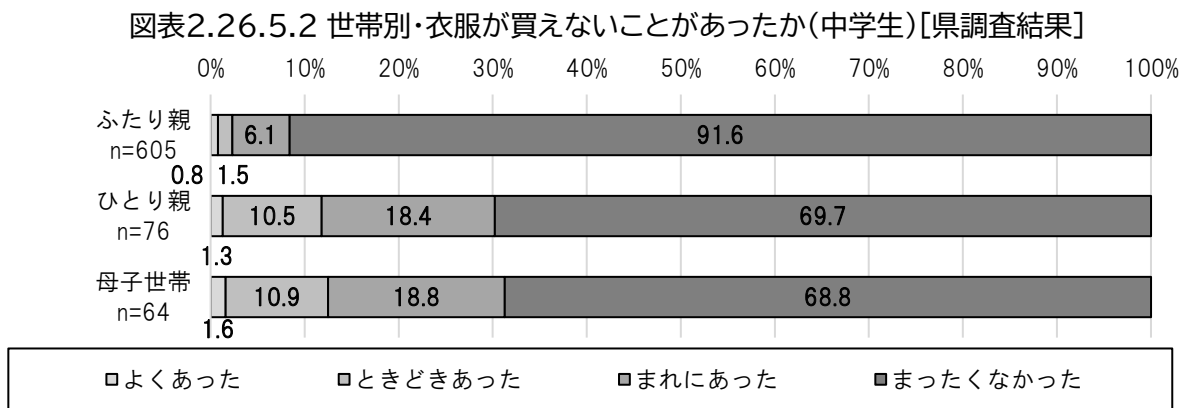
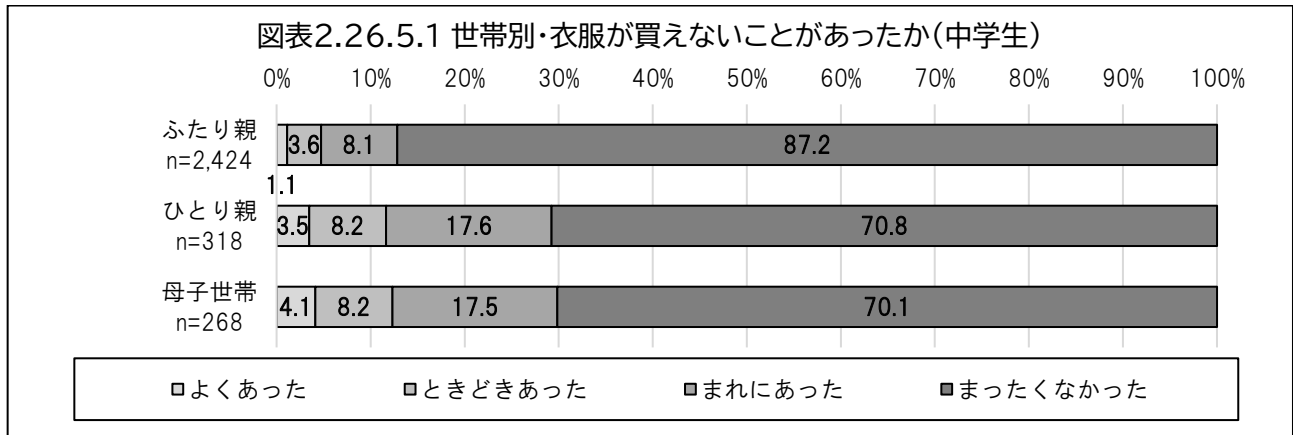
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 26. 衣服が買えないことがあったか)

衣服が買えないことがあったかについて、世帯別にみると、小学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、ひとり親世帯では30.3%、母子世帯では30.7%で、全体(12.5%)と比較して、それぞれ17.8%、18.2%高くなっています。また、ひとり親世帯、母子世帯ともに、県調査(34.0%、29.7%)と比較して大きな違いはありませんでした。



(5)世帯別・保護者[中学生] (問 26. 衣服が買えないことがあったか)

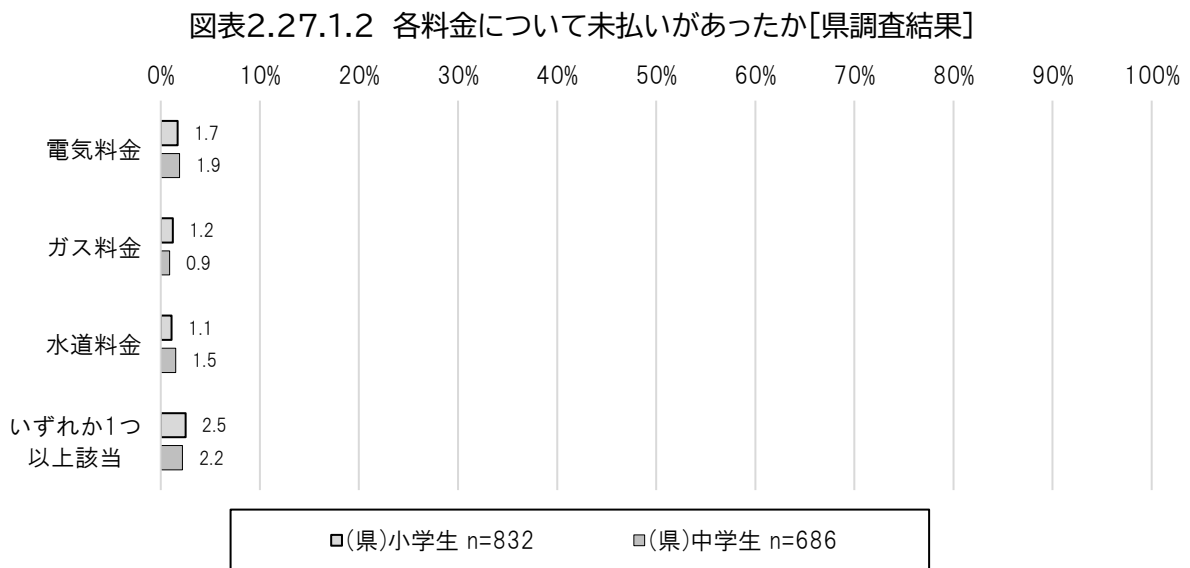
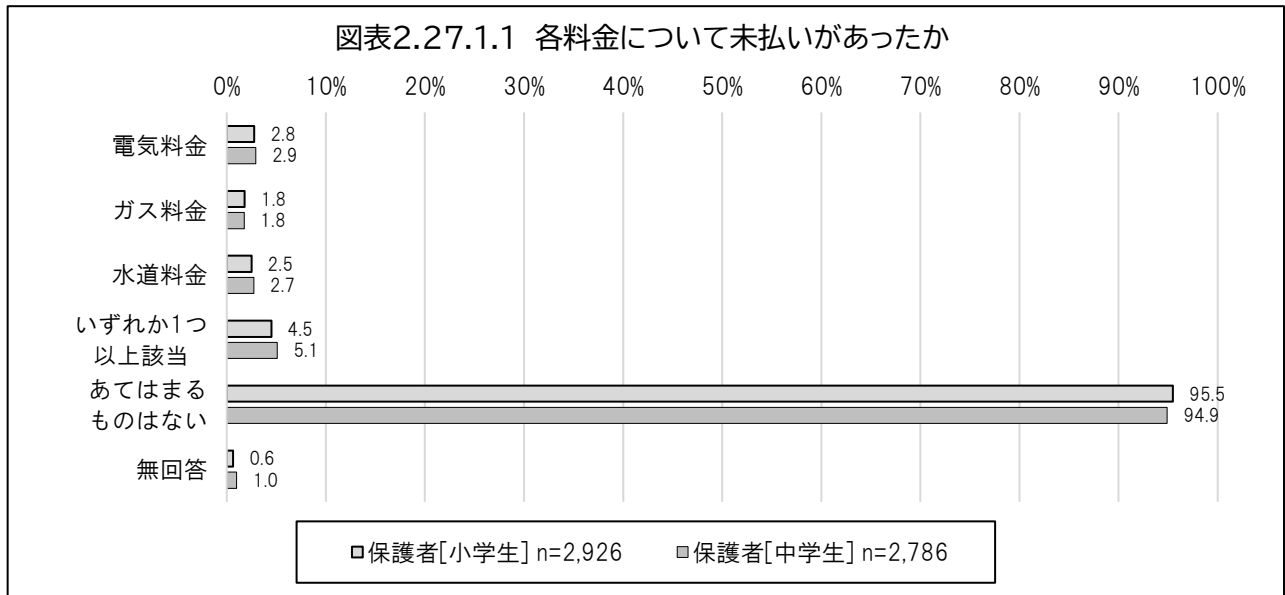
衣服が買えないことがあったかについて、世帯別にみると、中学生では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計は、ひとり親世帯では29.3%、母子世帯では29.8%で、全体(14.8%)と比較して、それぞれ14.5%、15.0%高くなっています。また、県調査(30.2%、31.3%)と比較してひとり親世帯、母子世帯ともに大きな違いはありませんでした。



問27. あなたの世帯では、過去1年の間に、次の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。

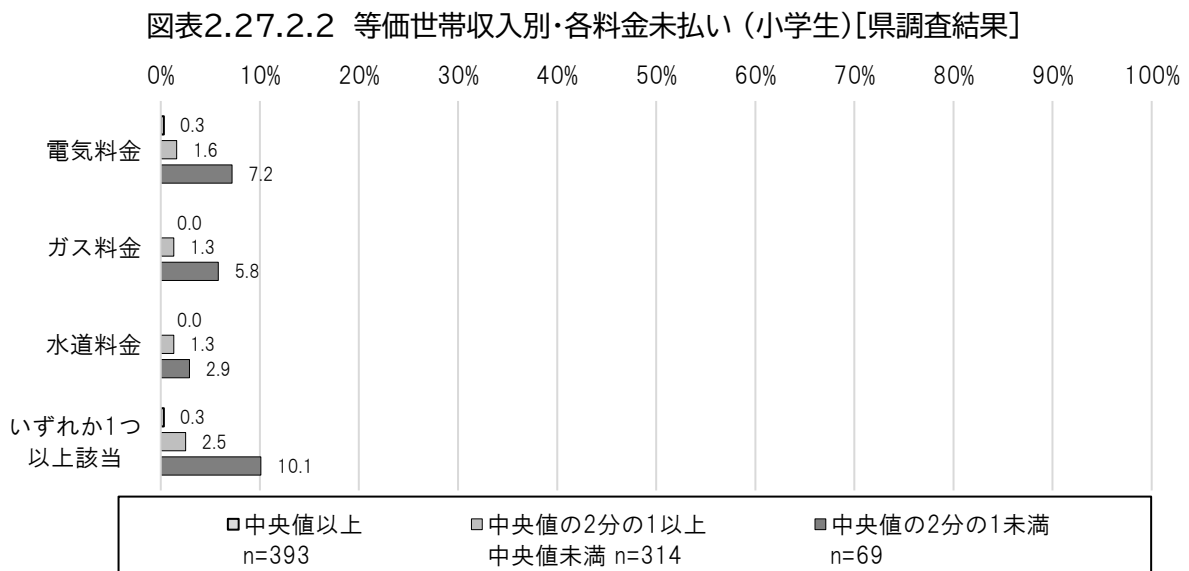
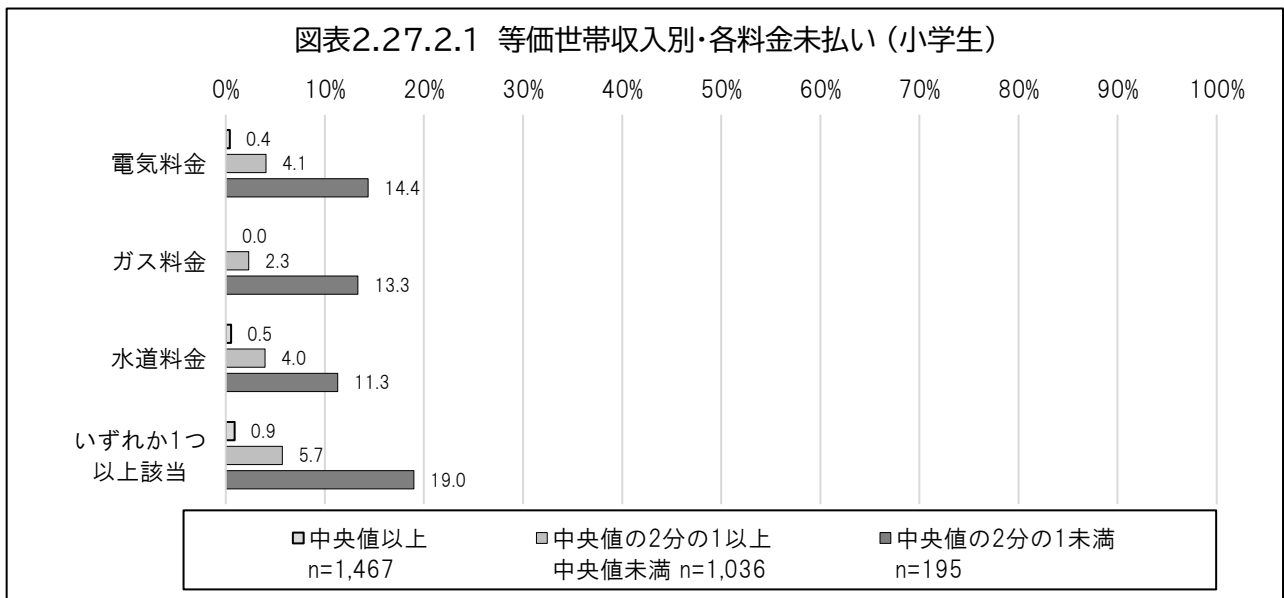
(1)全体

各料金について未払いがあったかについて、小学生・中学生ともに「いずれか1つ以上該当」が4.5%、5.1%となっており、県調査（2.5%、2.2%）と比較して高くなっています。



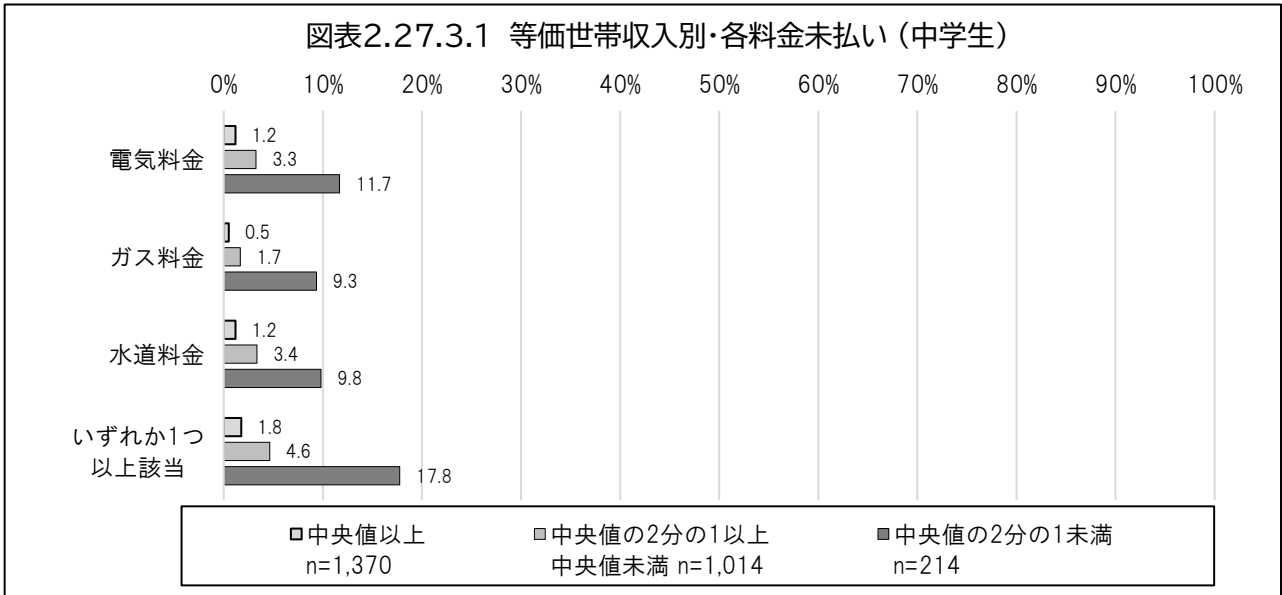
(2)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 27.各料金について未払いがあったか)

各料金について未払いがあったかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「いずれか1つ以上該当」が、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」で19.0%となっており、全体（4.5%）と比較して14.5%高くなっています。また、県調査（10.1%）と比較して高くなっています。

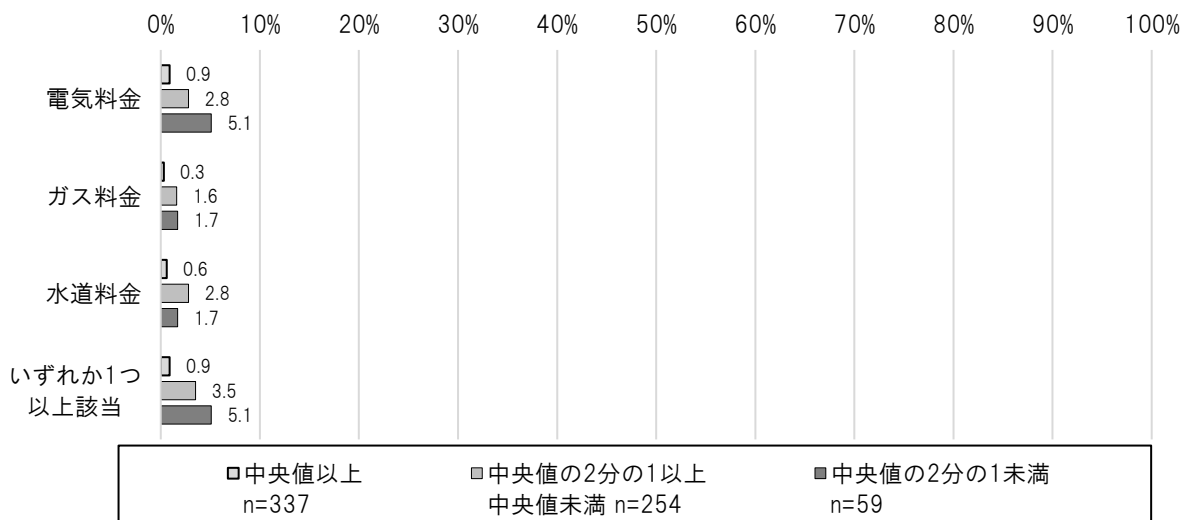


(3)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 27. 各料金について未払いがあったか)

各料金について未払いがあったかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「いずれか1つ以上該当」が、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」で17.8%となっており、全体（5.1%）と比較して12.7^{ポイント}高くなっています。また、県調査（5.1%）と比較して高くなっています。

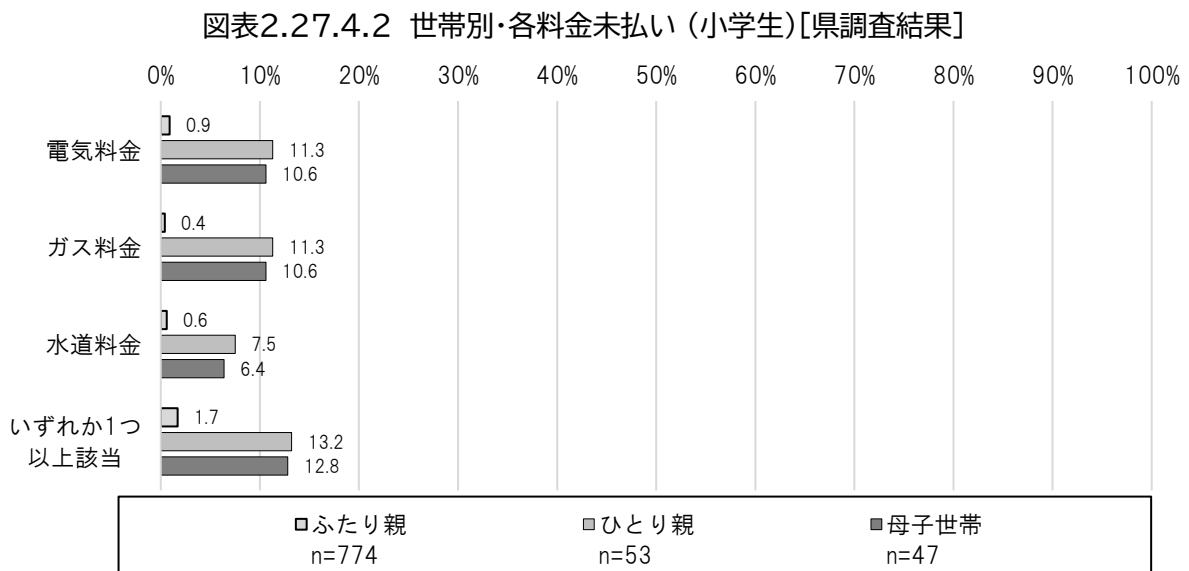
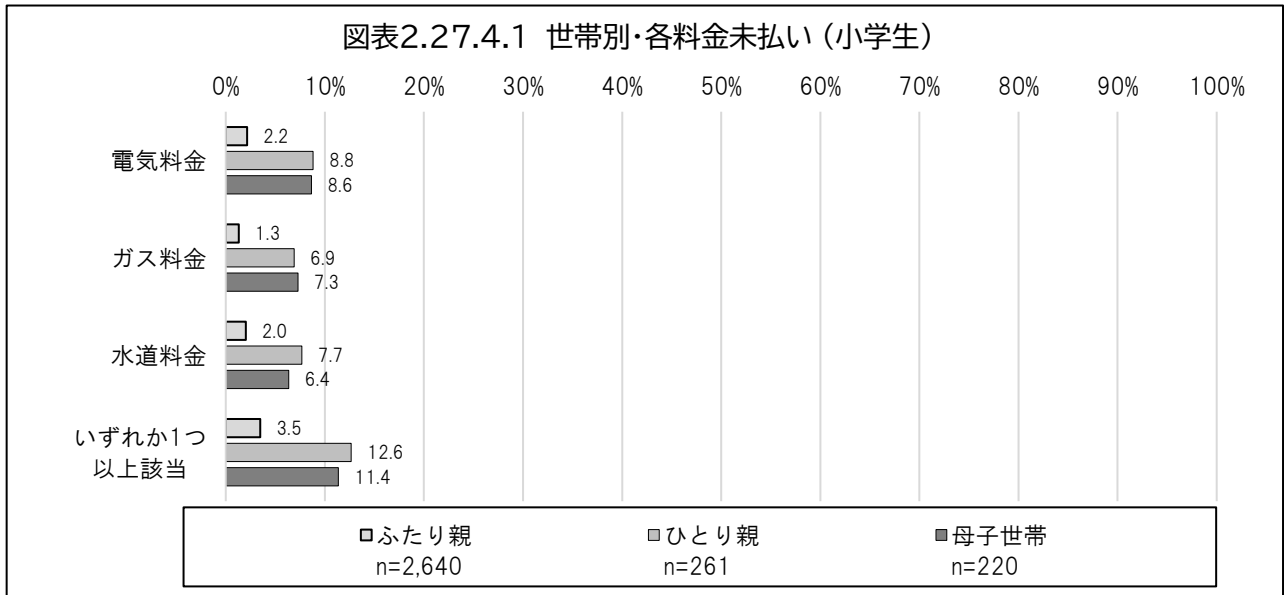


図表2.27.3.2 等価世帯収入別・各料金未払い（中学生）[県調査結果]



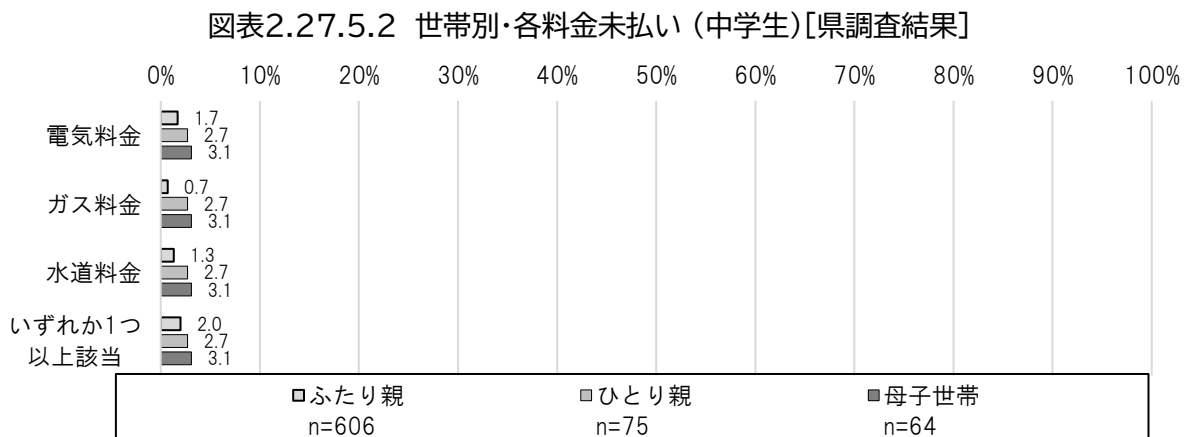
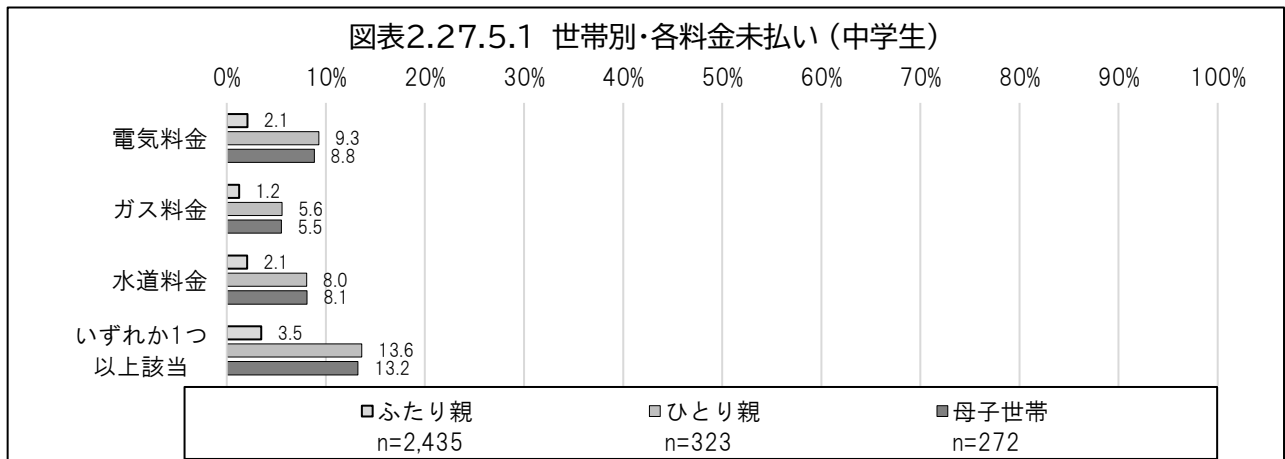
(4)世帯別・保護者[小学生] (問 27. 各料金について未払いがあったか)

各料金について未払いがあったかについて、世帯別にみると、小学生では、「いずれか1つ以上該当」が、ひとり親世帯で 12.6%、母子世帯で 11.4%となっており、全体（4.5%）と比較して、それぞれ 8.1 ㊦、6.9 ㊦高くなっています。また、県調査（13.2%、12.8%）と比較して大きな違いはありませんでした。



(5)世帯別・保護者[中学生] (問 27. 各料金について未払いがあったか)

各料金について未払いがあったかについて、世帯別にみると、中学生では、「いずれか1つ以上該当」が、ひとり親世帯で 13.6%、母子世帯で 13.2%となっており、全体 (5.1%) と比較して、それぞれ 8.5 ㊦、8.1 ㊦高くなっています。また、県調査 (2.7%、3.1%) と比較して高くなっています。

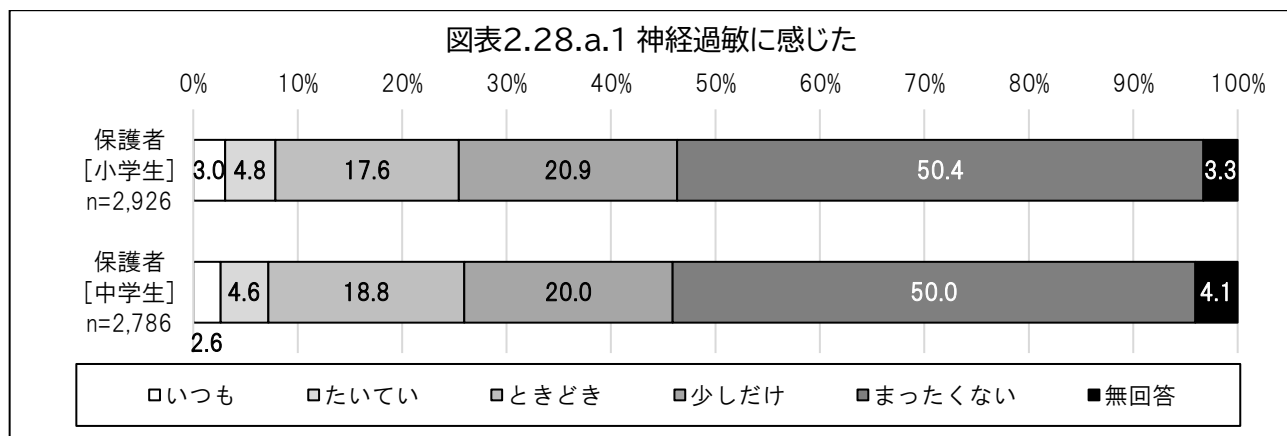


問28. 次のa)~f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

a) 神経過敏に感じた

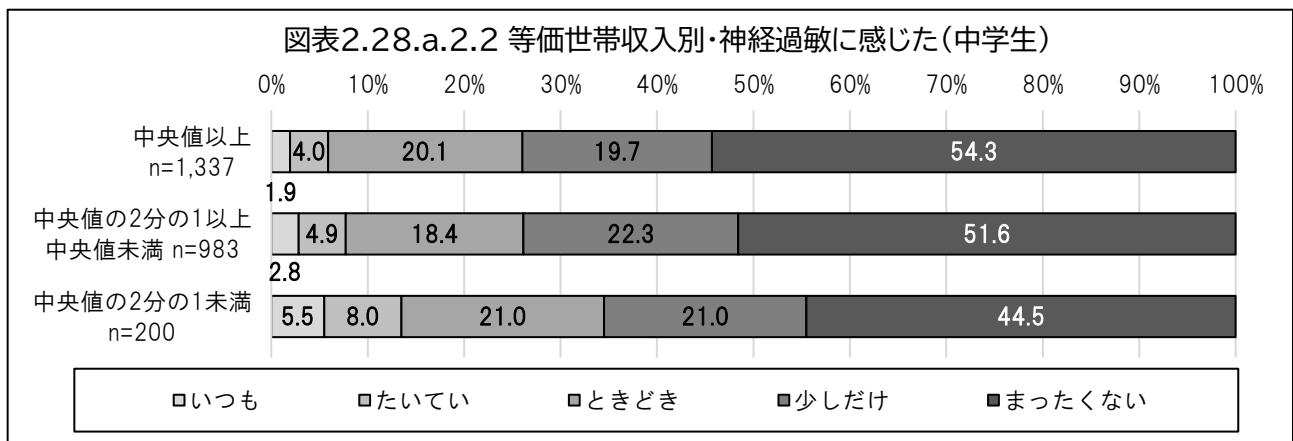
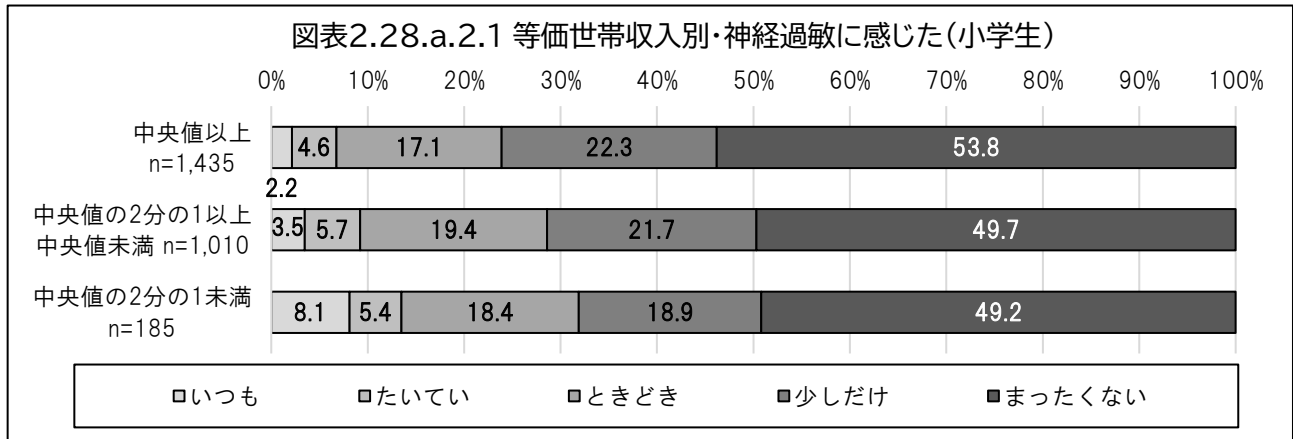
(1)全体

この1ヶ月間に神経過敏に感じたかについて、小学生・中学生ともに「まったくない」が50.4%、50.0%と最も高くなっています。また、「いつも」「たいてい」の合計は、小学生では7.8%、中学生では7.2%となっています。



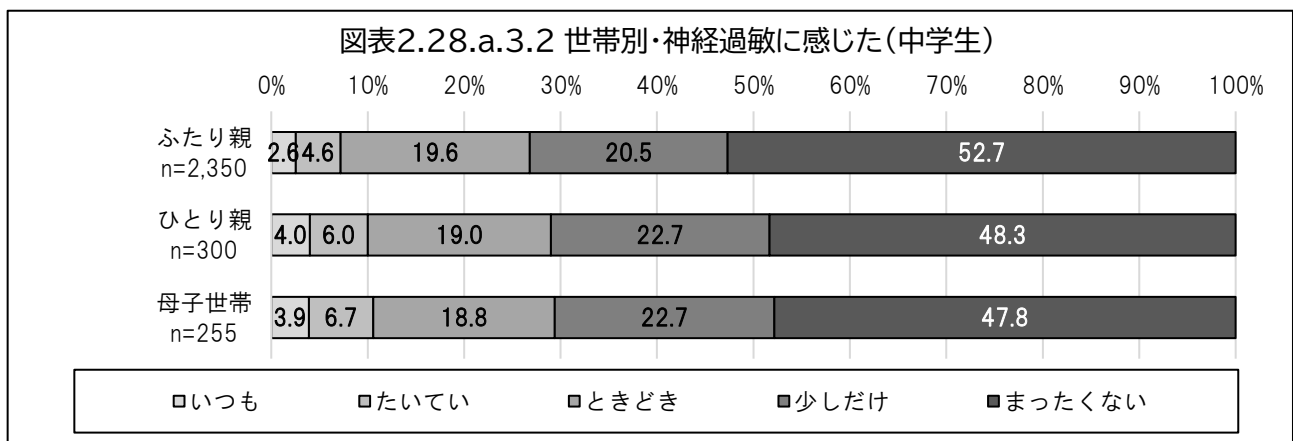
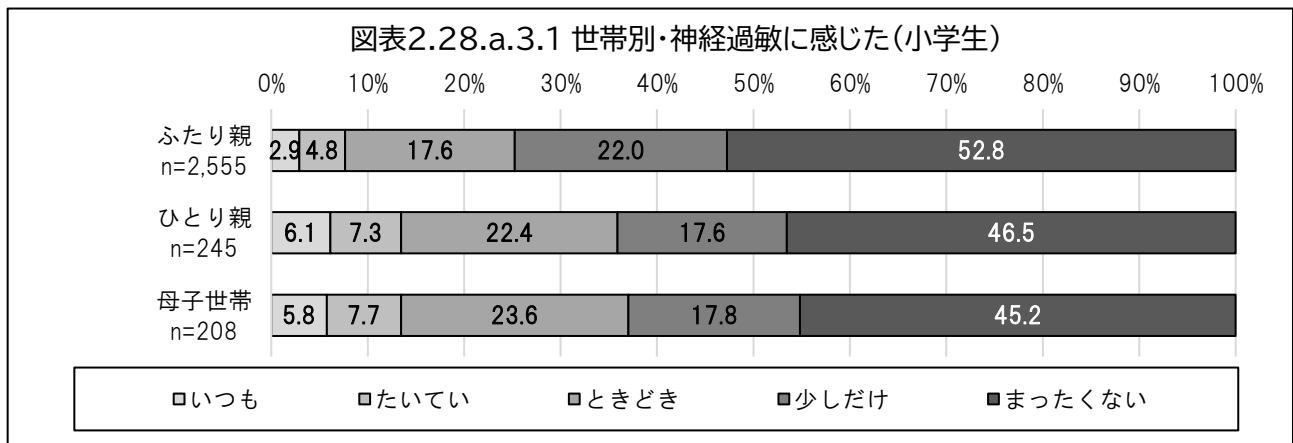
(2)等価世帯収入別（問 28.a 神経過敏に感じた）

この1ヶ月間に神経過敏に感じたかについて、等価世帯収入別にみると、「いつも」「たいてい」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生・中学生ともに13.5%となっています。全体（7.8%、7.2%）と比較すると小学生では5.7%、中学生では6.3%高くなっています。



(3)世帯別（問 28.a 神経過敏に感じた）

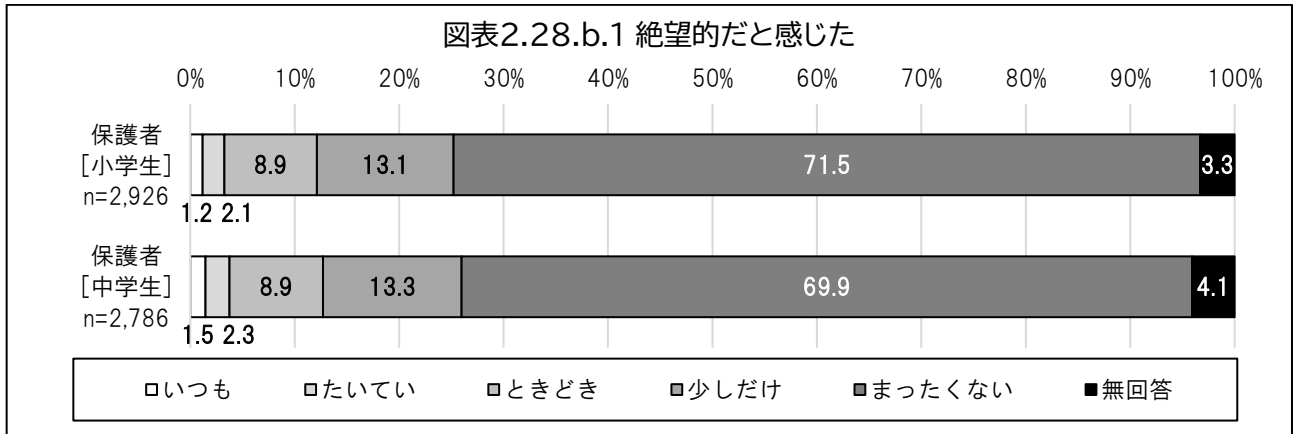
この1ヶ月間に神経過敏に感じたかについて、世帯別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では13.4%、母子世帯では13.5%となっています。全体（7.8%）と比較すると、ひとり親世帯では5.6%、母子世帯では5.7%高くなっています。中学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では10.0%、母子世帯では10.6%となっています。全体（7.2%）と比較すると、ひとり親世帯では2.8%、母子世帯では3.4%高くなっています。



b) 絶望的だと感じた

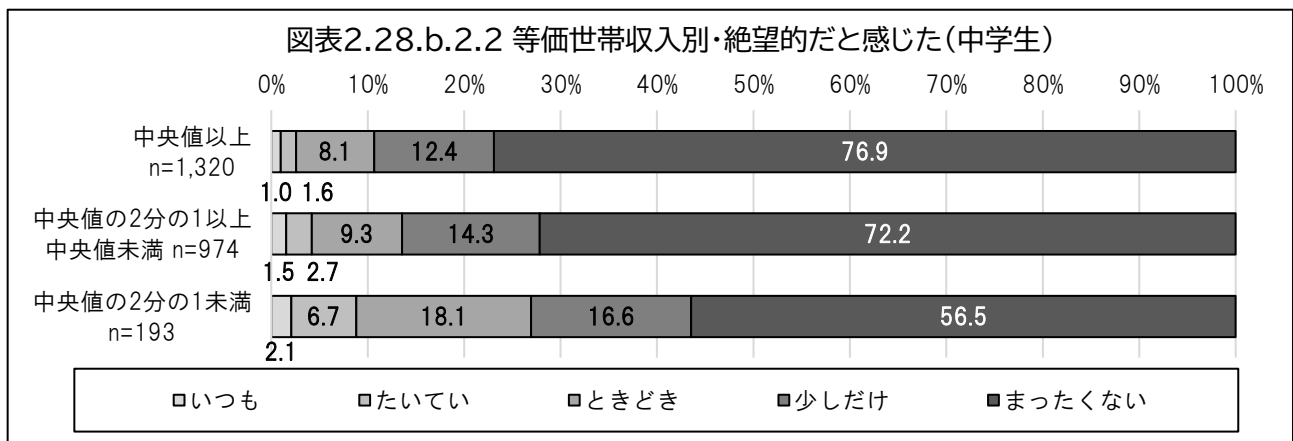
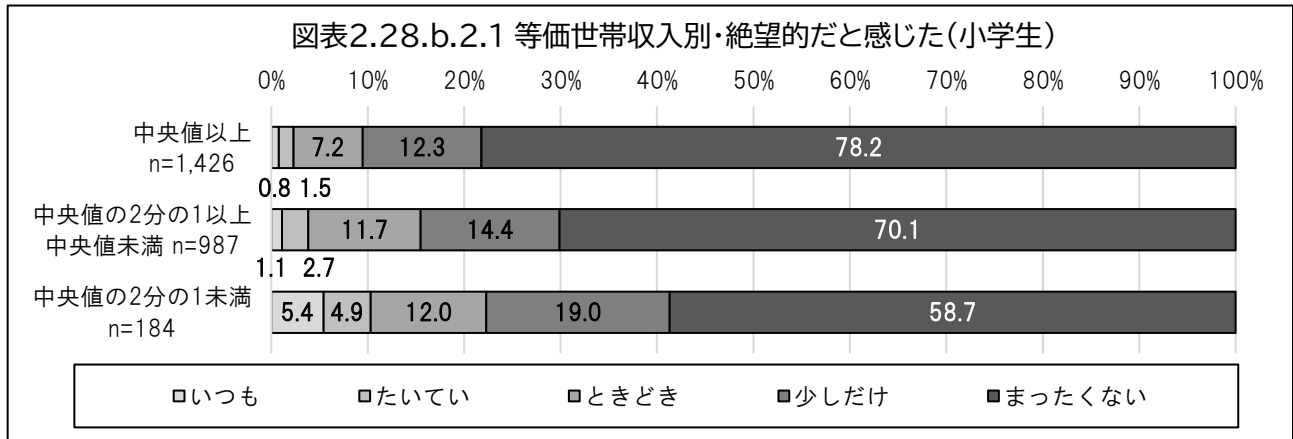
(1)全体

この1ヶ月間に絶望的だと感じたかについて、小学生・中学生ともに、「まったくない」が71.5%、69.9%と最も高くなっています。また、「いつも」「たいてい」の合計は、小学生では3.3%、中学生では3.8%となっています。



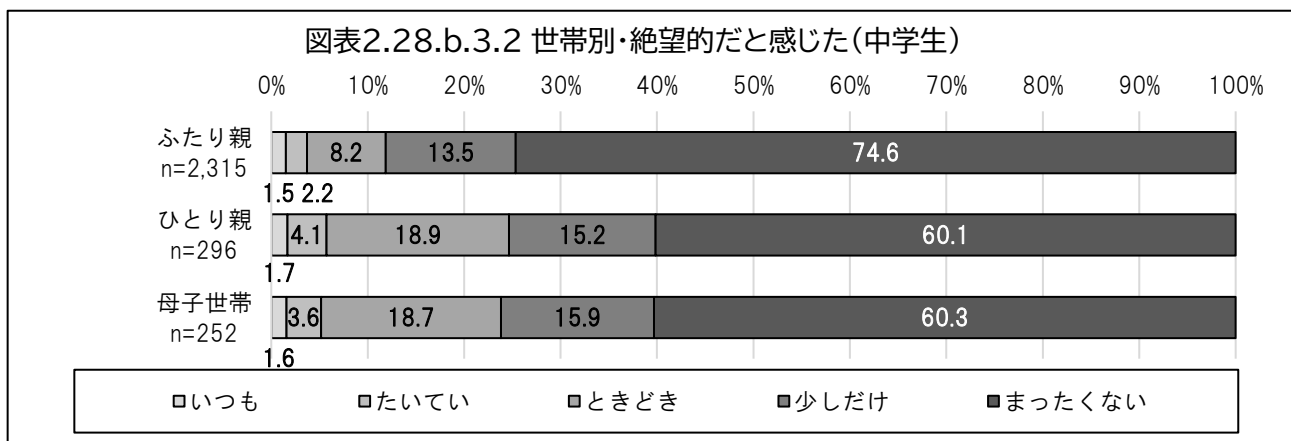
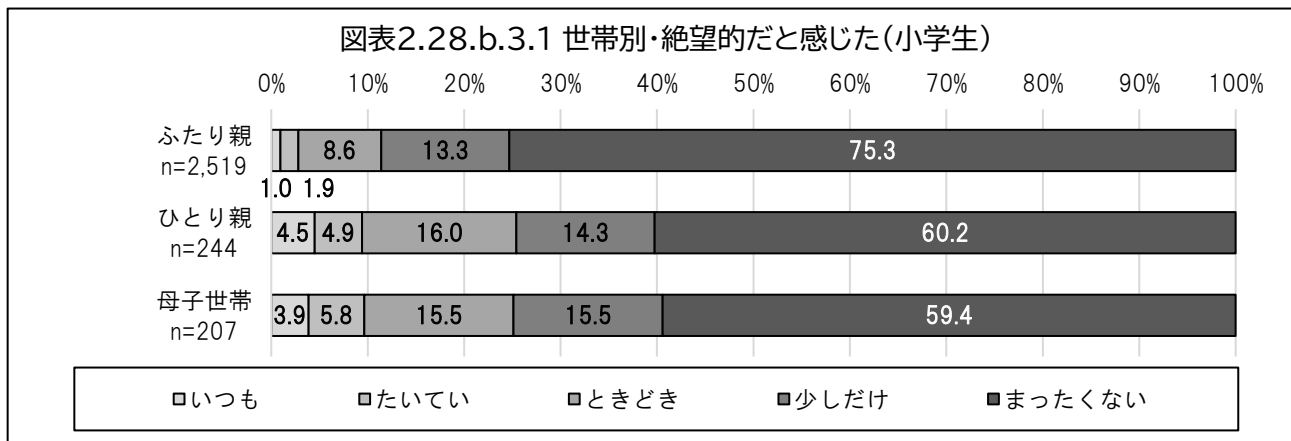
(2)等価世帯収入別（問 28.b 絶望的だと感じた）

この1ヶ月間に絶望的だと感じたかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生 10.3%、中学生 8.8%となっています。全体（3.3%、3.8%）と比較すると、小学生では7.0%、中学生では5.0%高くなっています。



(3)世帯別（問 28. b 絶望的だと感じた）

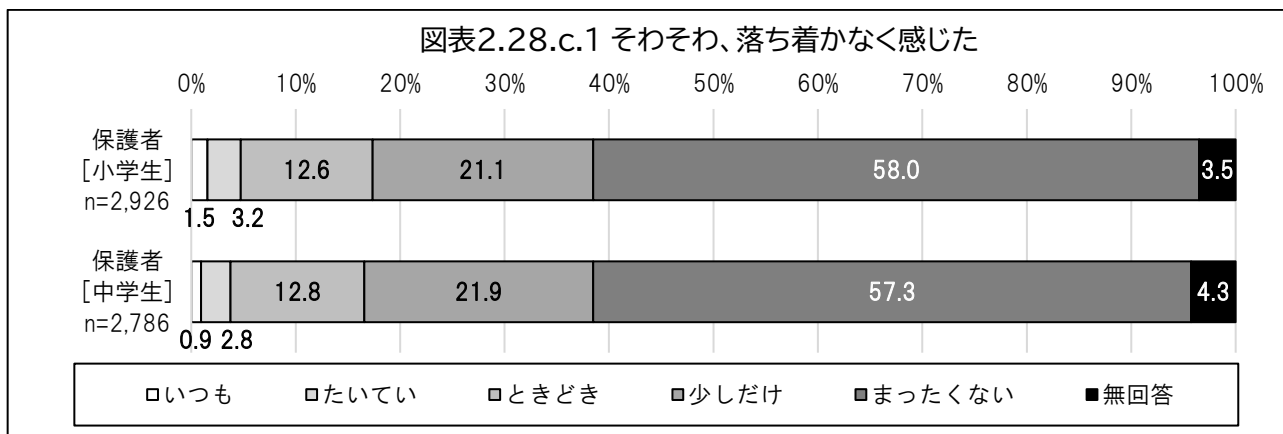
この 1 ヶ月間に絶望的だと感じたかについて、世帯別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では 9.4%、母子世帯では 9.7%となっています。全体（3.3%）と比較すると、ひとり親世帯では 6.1 ㊦、母子世帯では 6.4 ㊦高くなっています。中学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では 5.8%、母子世帯では 5.2%となっています。全体（3.8%）と比較すると、ひとり親世帯では 2.0 ㊦、母子世帯では 1.4 ㊦高くなっています。



c) そわそわ、落ち着かなく感じた

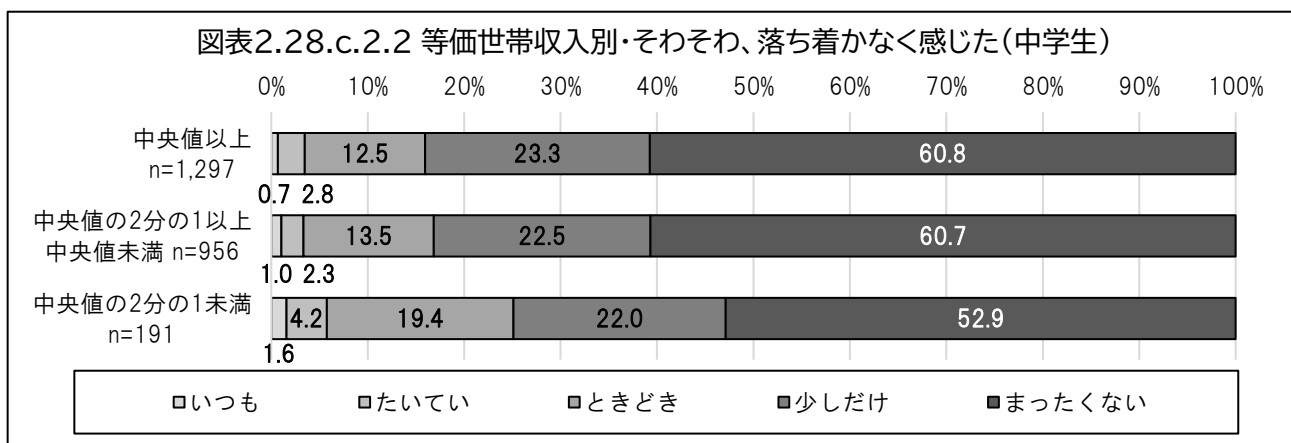
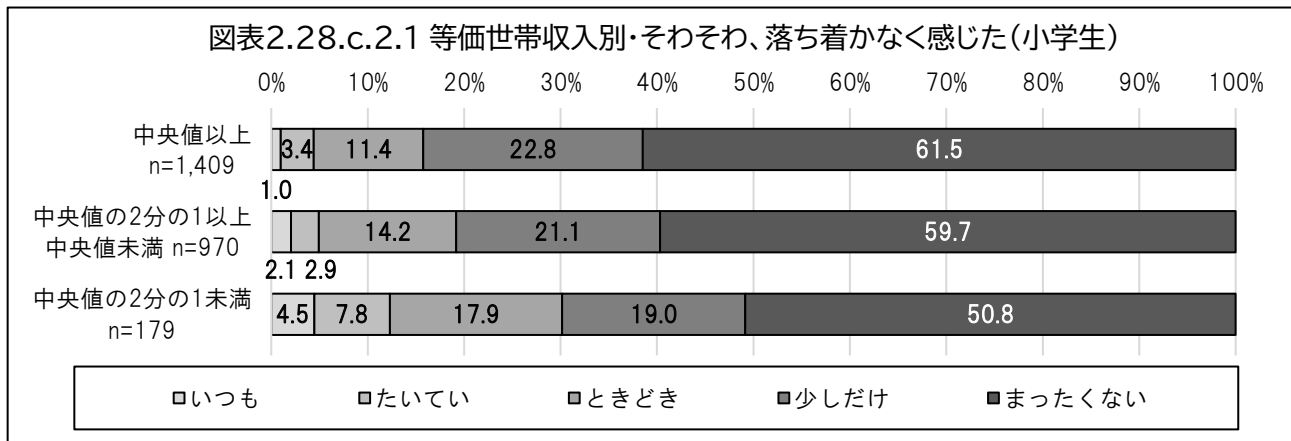
(1)全体

この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、小学生・中学生ともに、「まったくない」が58.0%、57.3%と最も高くなっています。また、「いつも」「たいてい」の合計は、小学生では4.7%、中学生では3.7%となっています。



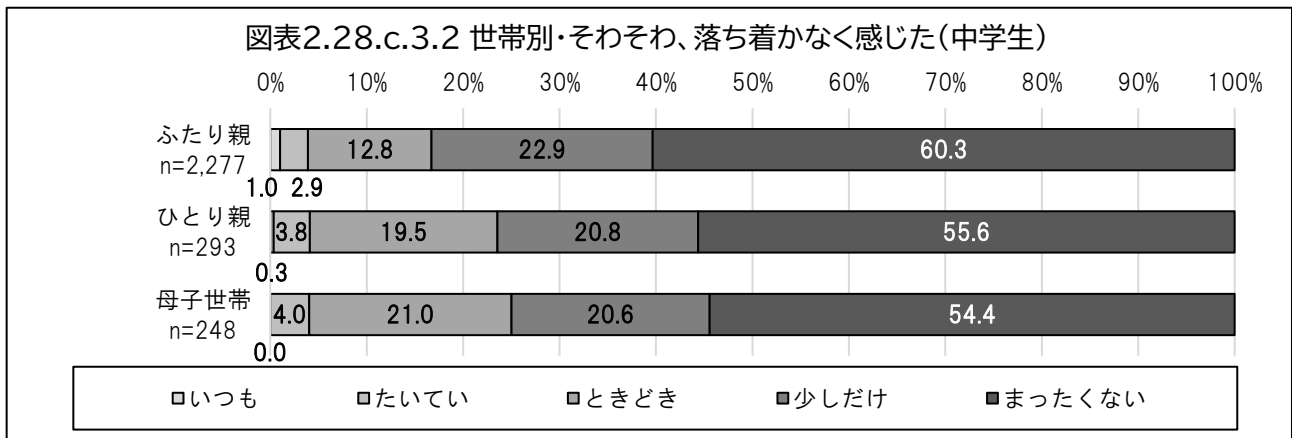
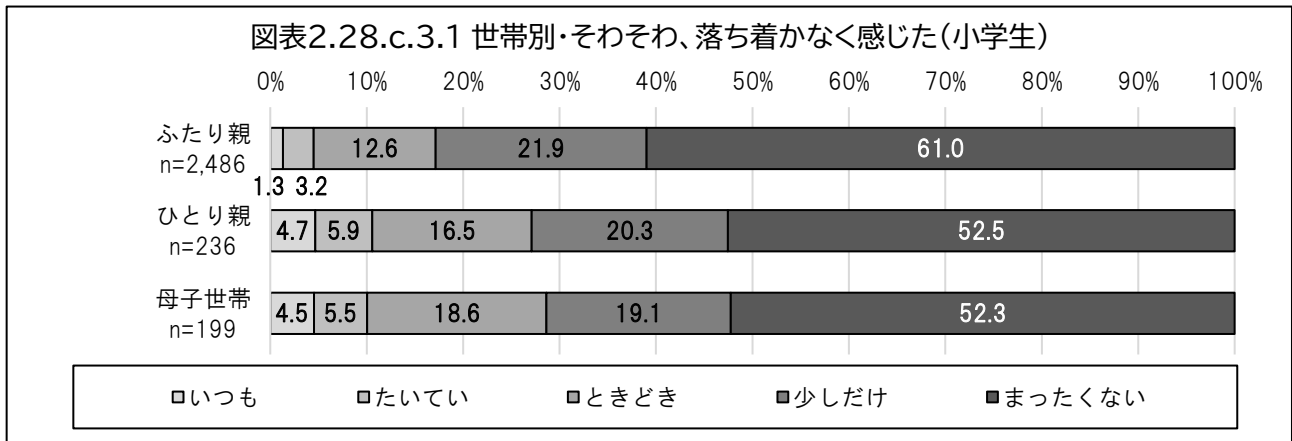
(2)等価世帯収入別（問 28. c そわそわ、落ち着かなく感じた）

この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生 12.3%、中学生 5.8%となっています。全体（4.7%、3.7%）と比較すると、小学生では7.6%、中学生では2.1%高くなっています。



(3)世帯別（問 28. c そわそわ、落ち着かなく感じた）

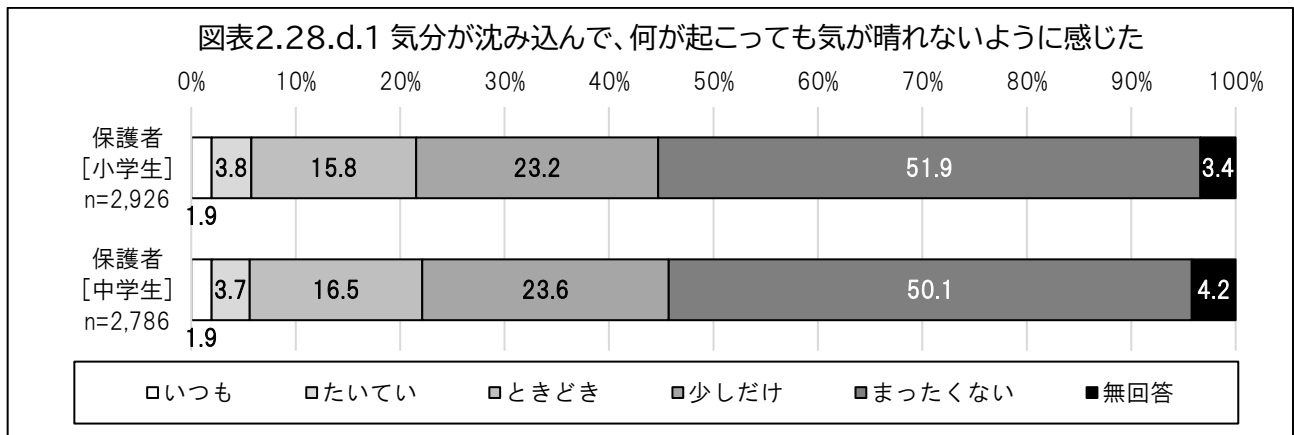
この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、世帯別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では10.6%、母子世帯では10.0%となっています。全体（4.7%）と比較すると、ひとり親世帯では5.9^{ポイント}、母子世帯では5.3^{ポイント}高くなっています。中学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では4.1%、母子世帯では4.0%となっています。全体（3.7%）と比較すると、ほとんど差はありませんでした。



d) 気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じた

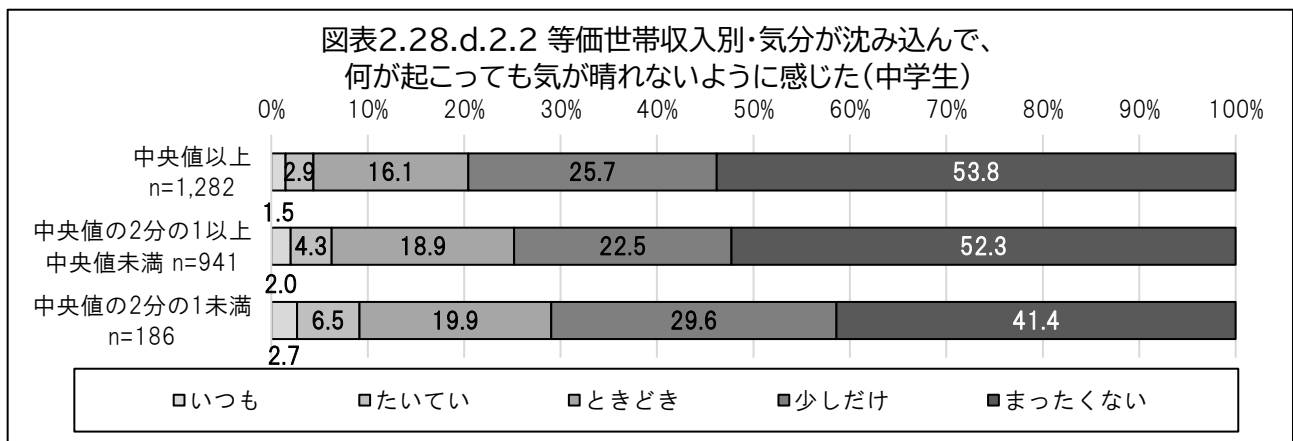
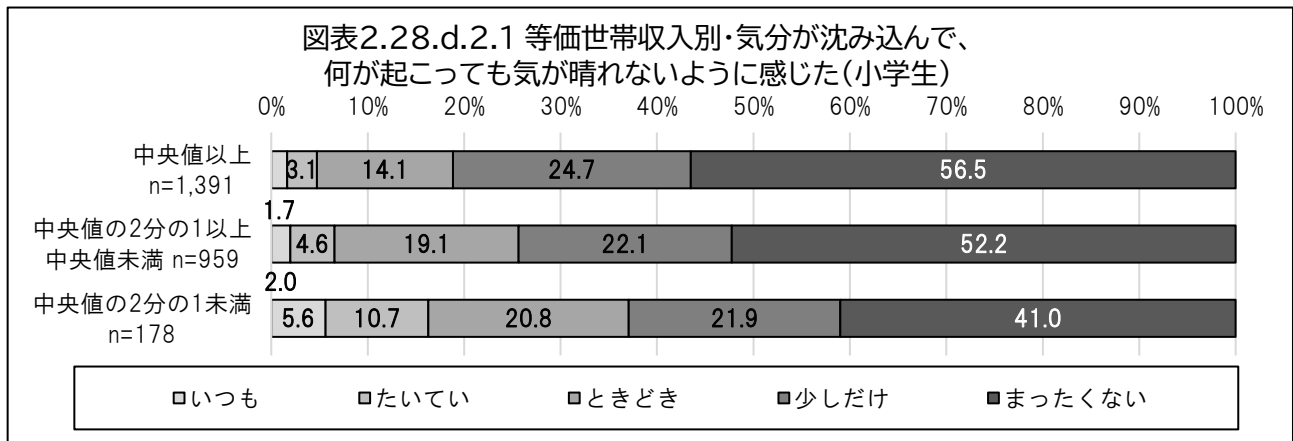
(1)全体

この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、小学生・中学生ともに、「まったくない」が51.9%、50.1%と最も高くなっています。また、「いつも」「たいてい」の合計は、小学生では5.7%、中学生では5.6%となっています。



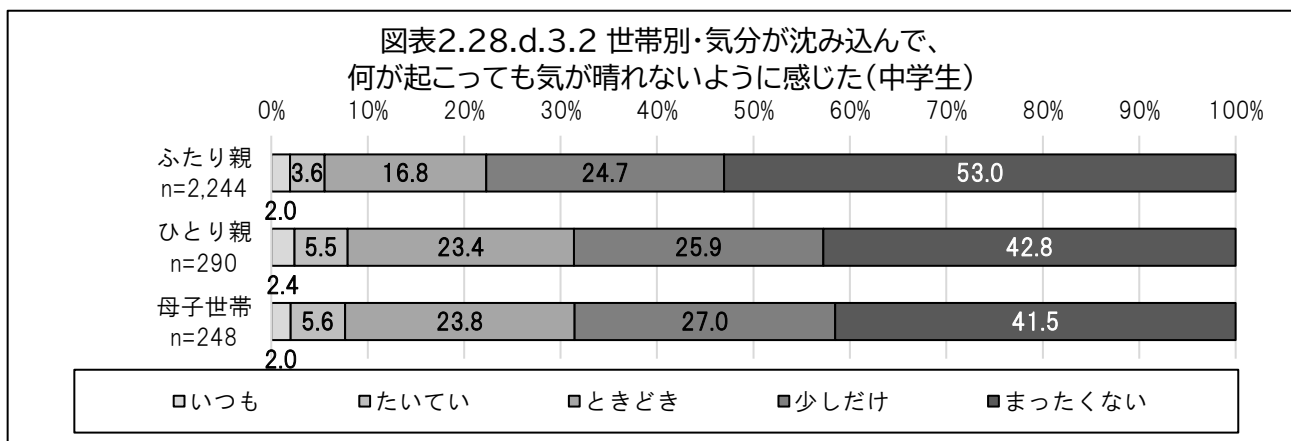
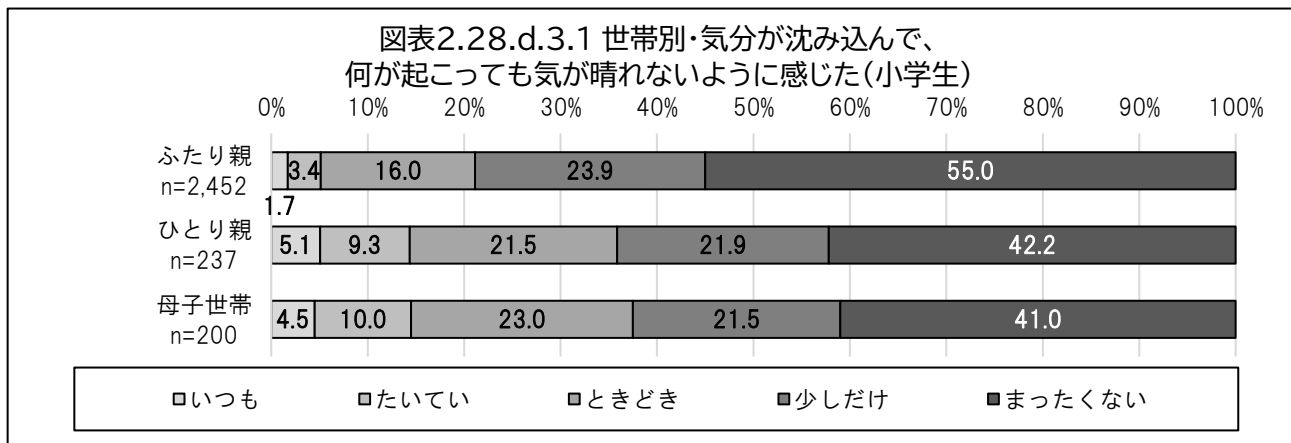
(2)等価世帯収入別（問 28. d 気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じた）

この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生16.3%、中学生9.2%となっています。全体（5.7%、5.6%）と比較すると、小学生では10.6%、中学生では3.6%高くなっています。



(3)世帯別 (問 28. d 気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じた)

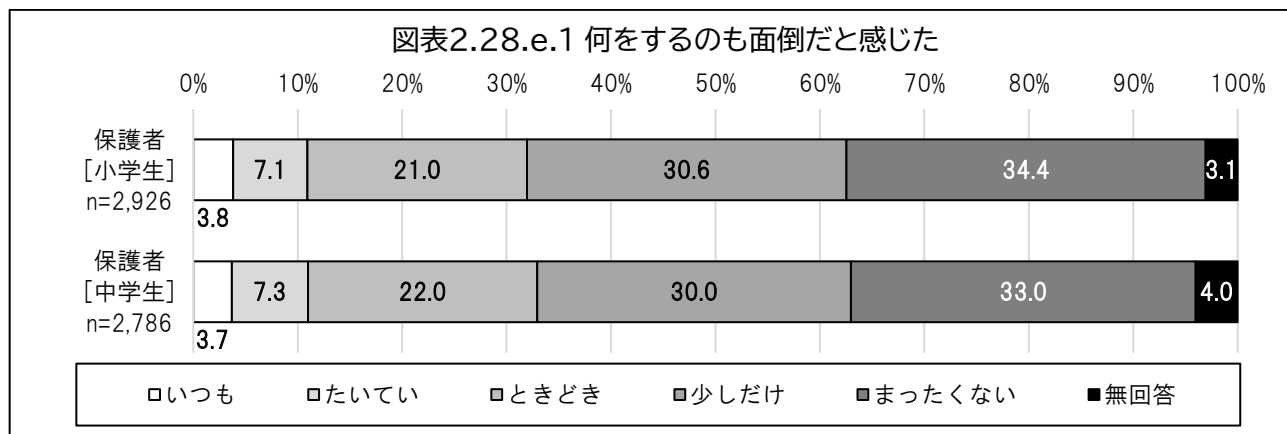
この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、世帯別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では14.4%、母子世帯では14.5%となっています。全体(5.7%)と比較すると、ひとり親世帯では8.7%、母子世帯では8.8%高くなっています。中学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では7.9%、母子世帯では7.6%となっています。全体(5.6%)と比較すると、ひとり親世帯では2.3%、母子世帯では2.0%高くなっています。



e) 何をするのも面倒だと感じた

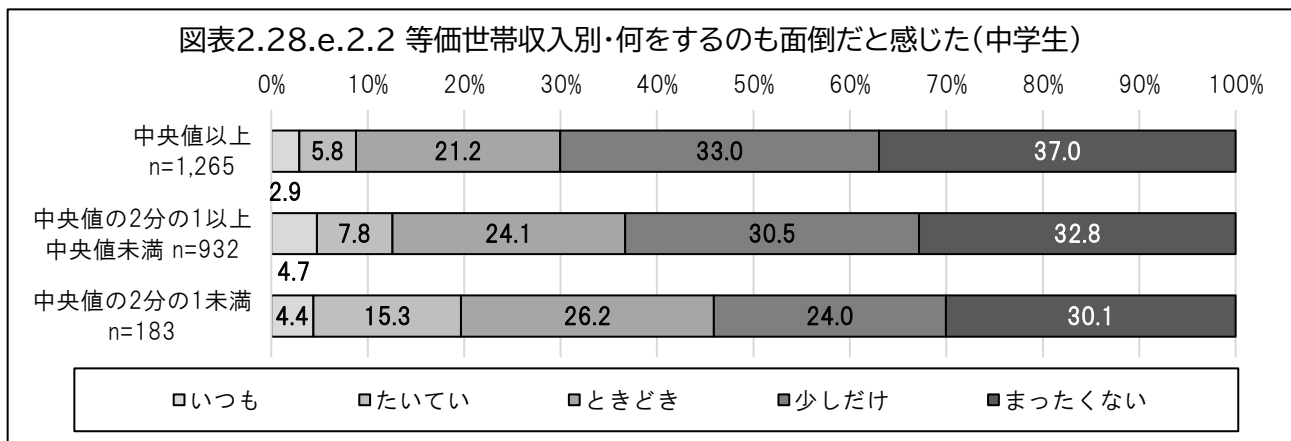
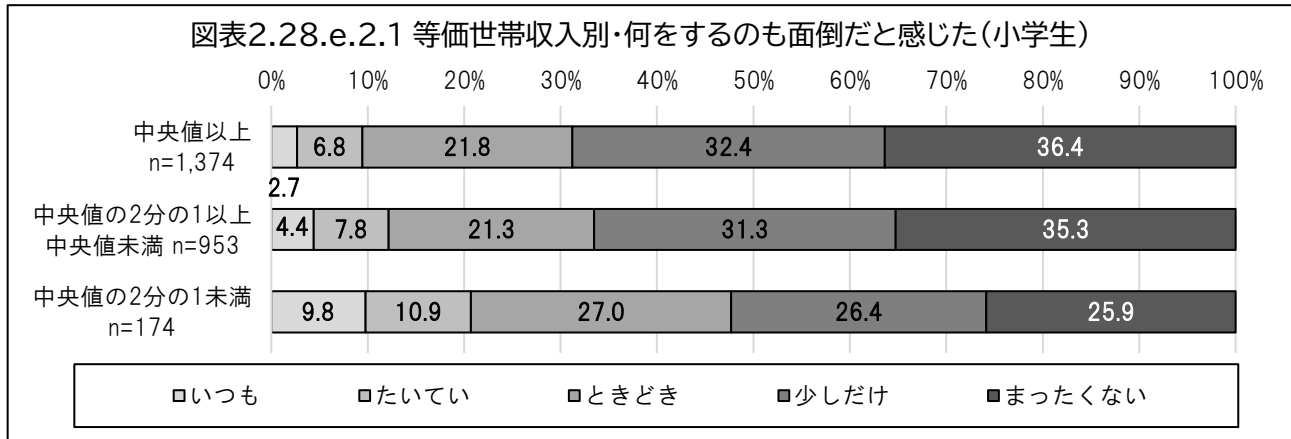
(1)全体

この1ヶ月間に何をするのも面倒だと感じたかについて、小学生・中学生ともに、「まったくない」が、34.4%、33.0%と最も高くなっています。また、「いつも」「たいてい」の合計は、小学生では10.9%、中学生では11.0%となっています。



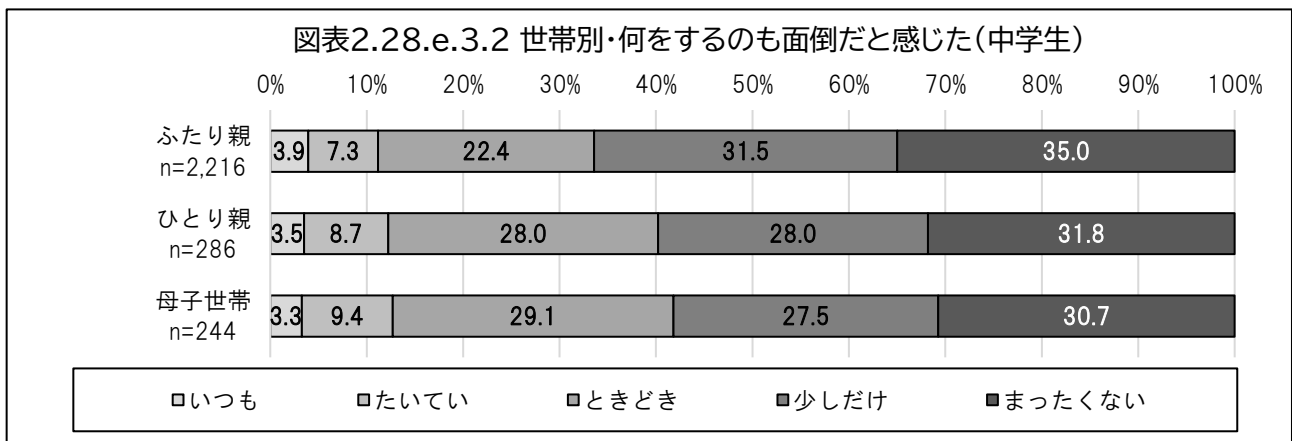
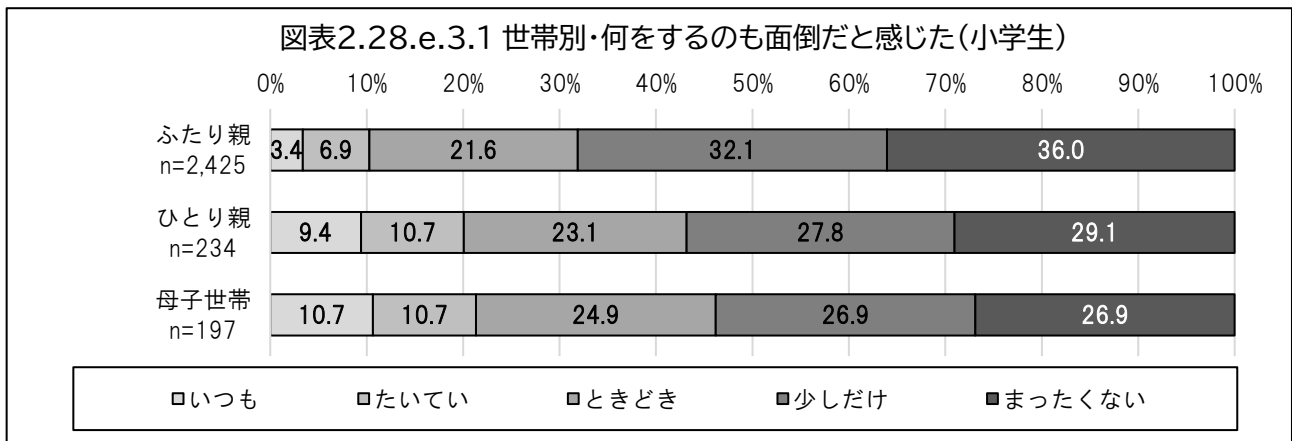
(2)等価世帯収入別（問 28. e 何をするのも面倒だと感じた）

この1ヶ月間に何をするのも面倒だと感じたかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生20.7%、中学生19.7%となっています。全体（10.9%、11.0%）と比較すると、小学生では9.8%、中学生では8.7%高くなっています。



(3)世帯別（問 28. e 何をするのも面倒だと感じた）

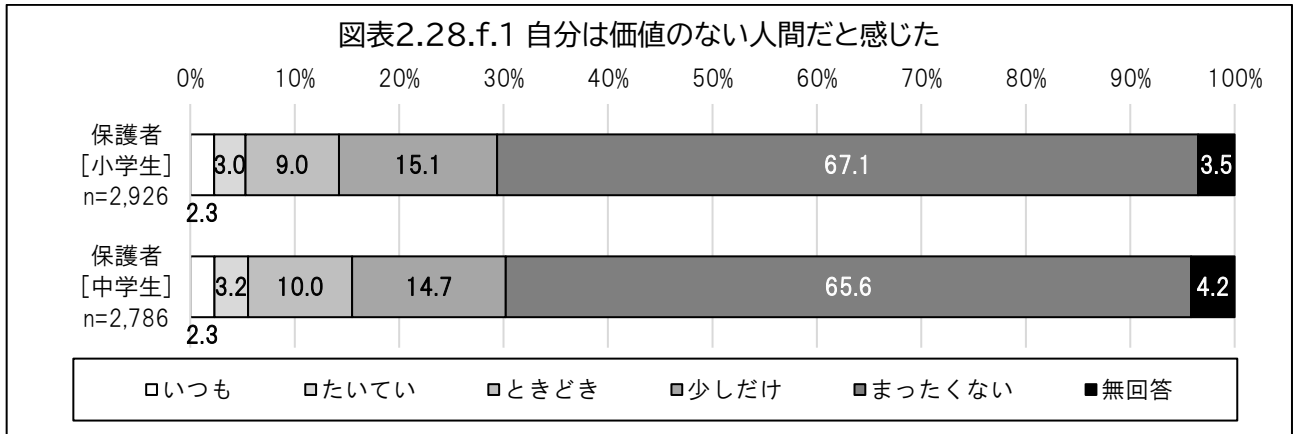
この1ヶ月間に何をするのも面倒だと感じたかについて、世帯別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では20.1%、母子世帯では21.4%となっています。全体（10.9%）と比較すると、ひとり親世帯では9.2[※]、母子世帯では10.5[※]高くなっています。中学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では12.2%、母子世帯では12.7%となっています。全体（11.0%）と比較すると、ひとり親世帯では1.2[※]、母子世帯では1.7[※]高くなっています。



f) 自分は価値のない人間だと感じた

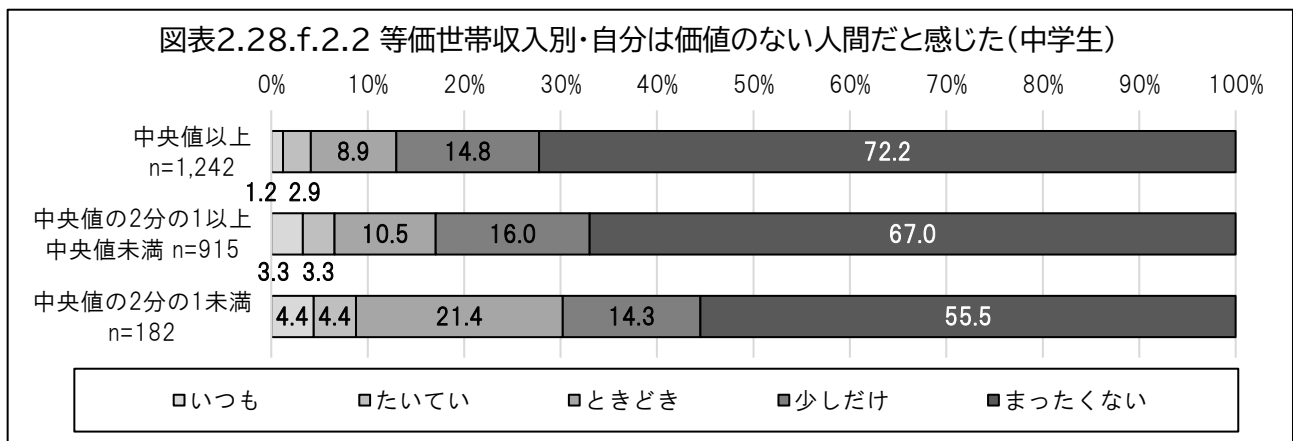
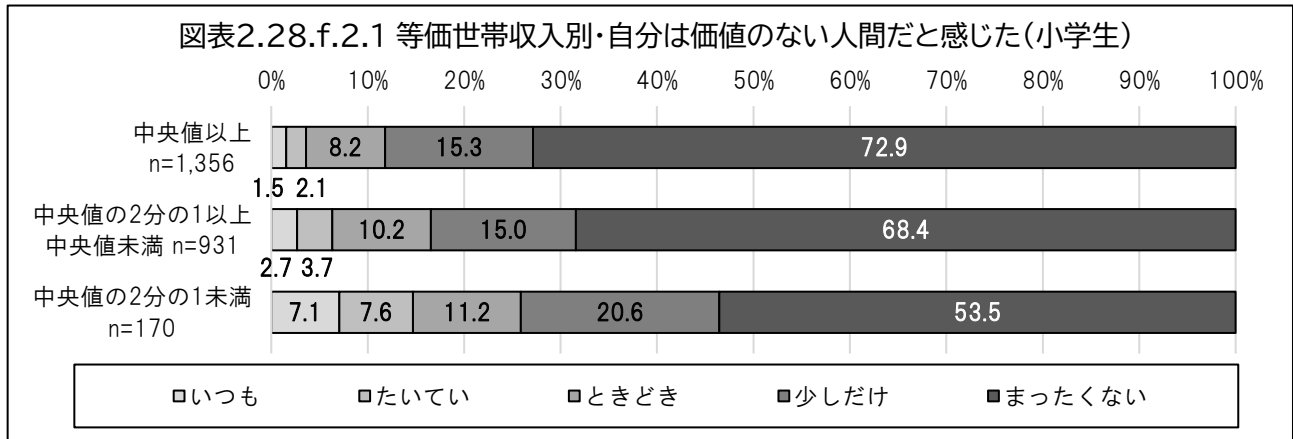
(1)全体

この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、小学生・中学生ともに、「まったくない」が、67.1%、65.6%と最も高くなっています。また、「いつも」「たいてい」の合計は、小学生では5.3%、中学生では5.5%となっています。



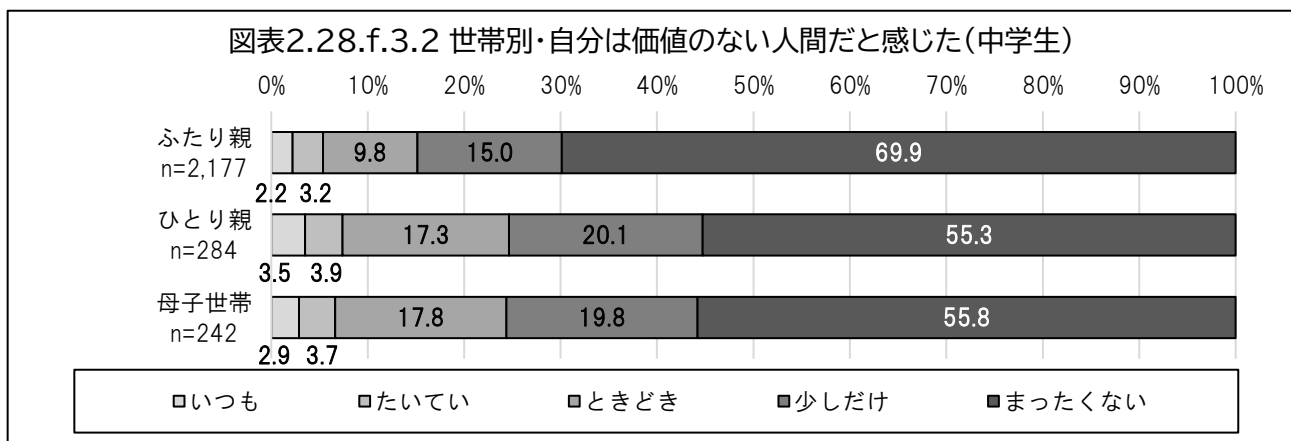
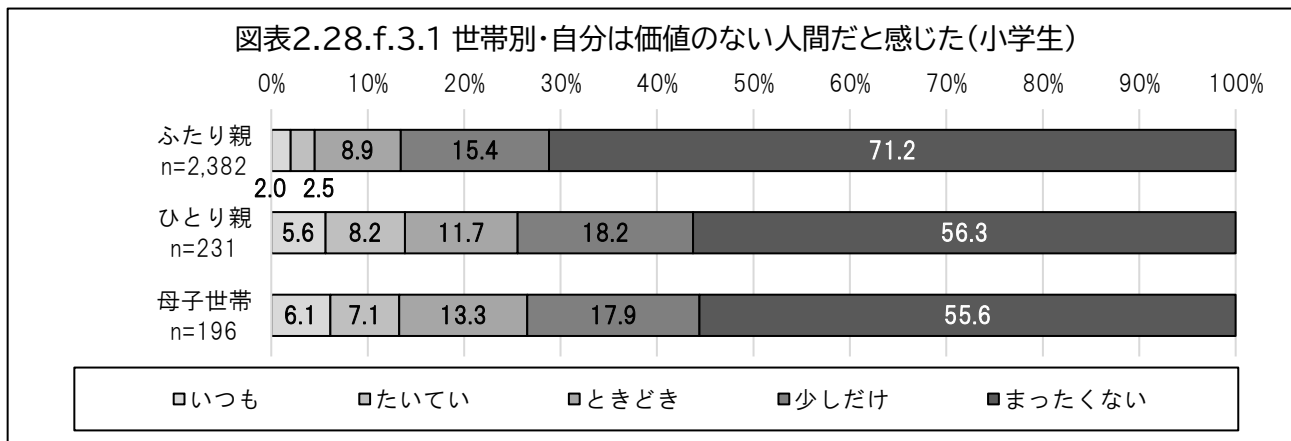
(2)等価世帯収入別（問 28. f 自分は価値のない人間だと感じた）

この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生 14.7%、中学生 8.8%となっています。全体（5.3%、5.5%）と比較すると、小学生では9.4 ㊦、中学生では3.3 ㊦高くなっています。



(3)世帯別（問 28. f 自分は価値のない人間だと感じた）

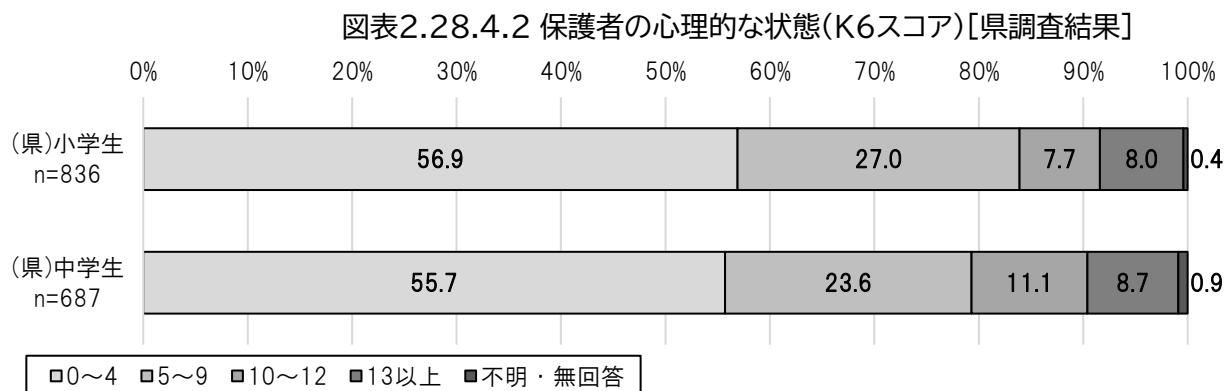
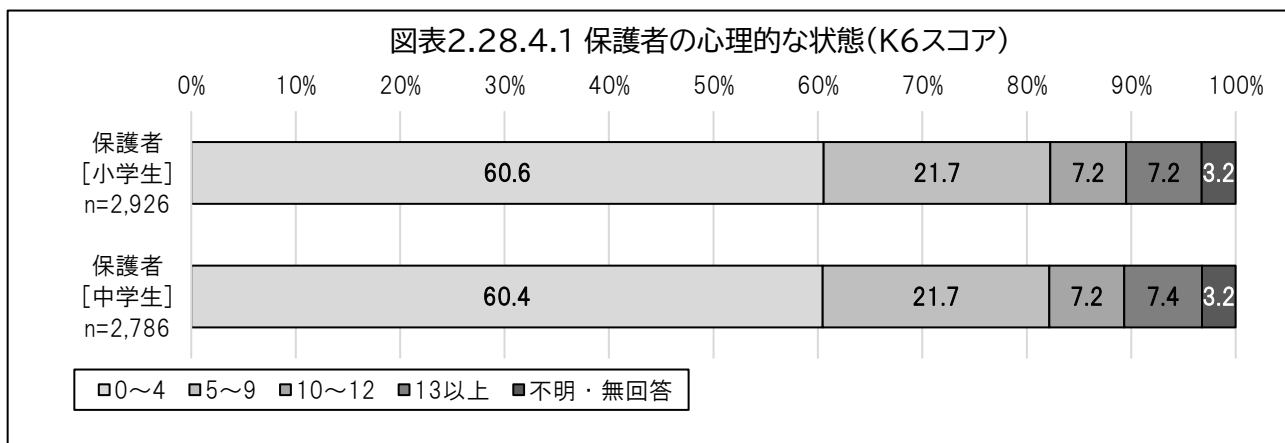
この1ヶ月間に落ち着かなく感じたかについて、世帯別にみると、小学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では13.8%、母子世帯では13.2%となっています。全体（5.3%）と比較すると、ひとり親世帯では8.5%、母子世帯では7.9%高くなっています。中学生では、「いつも」「たいてい」の合計は、ひとり親世帯では7.4%、母子世帯では6.6%となっています。全体（5.5%）と比較すると、ひとり親世帯では1.9%、母子世帯では1.1%高くなっています。



(4)全体 (K6 スコア)

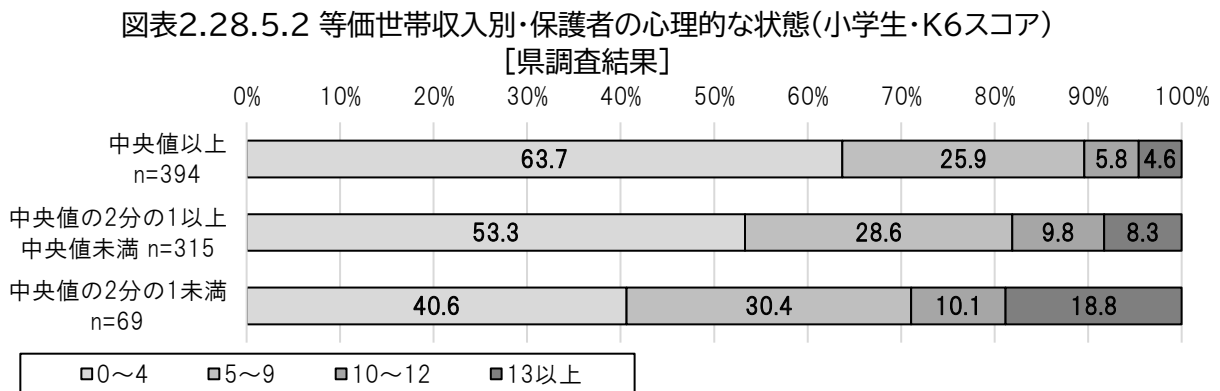
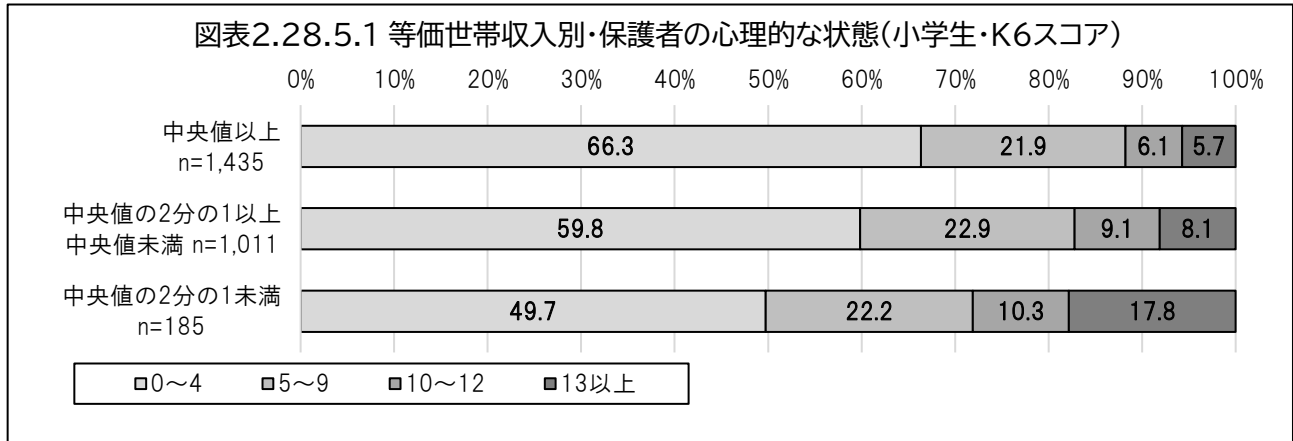
「保護者の心理的な状態」に関して、「K6」と呼ばれる指標を把握するための6つの項目 a)～f)を設定しました。この6つの調査項目の結果を足し合わせて、K6のスコアを算出した(0～24点)。合計13点以上の場合、「うつ・不安障害相当」となります。

保護者の心理状態(K6スコア)について、小学生・中学生ともに、「0～4」が60.6%、60.4%と最も高く、次いで「5～9」が21.7%、21.7%、「13以上」が7.2%、7.4%となっています。



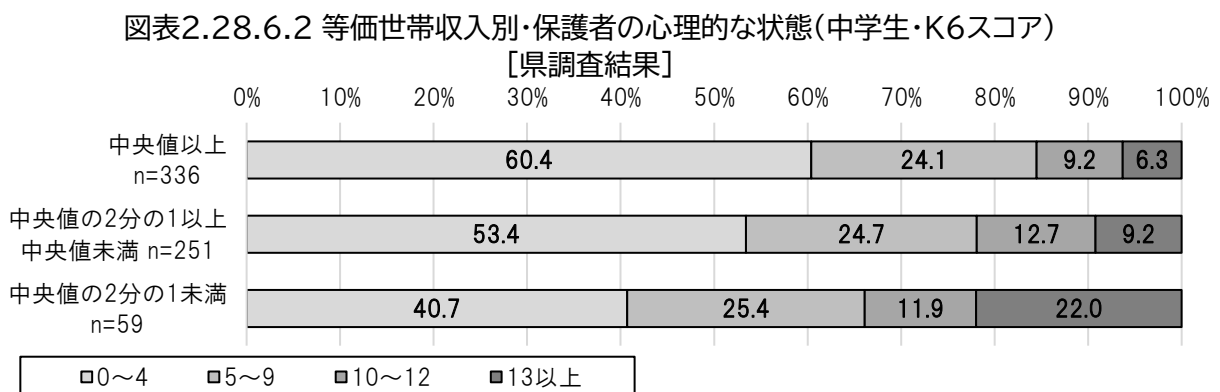
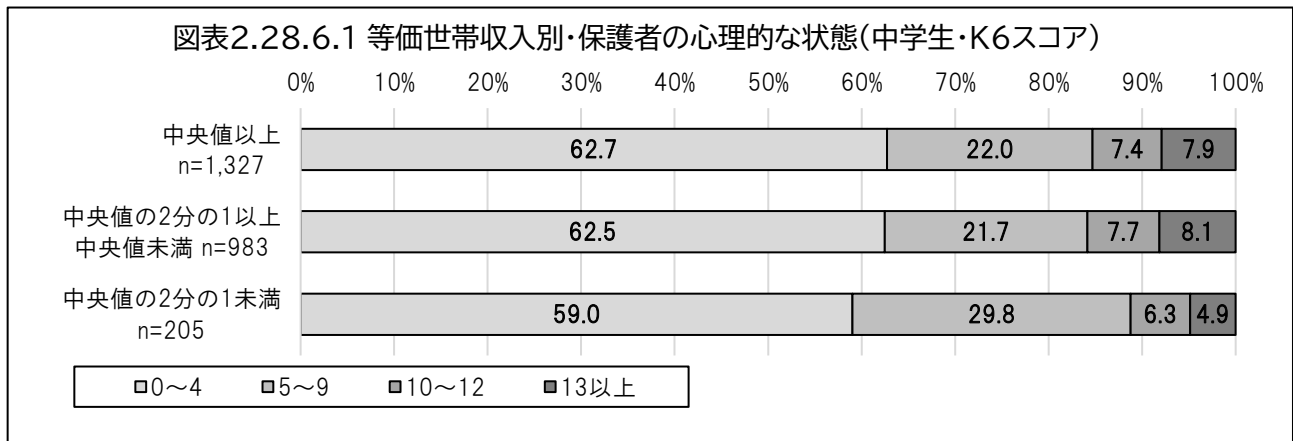
(5)等価世帯収入別・保護者[小学生] (問 28. 保護者の心理状態 K6 スコア)

保護者の心理状態 (K6 スコア) について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「13 以上」が「もっとも収入の水準が低い世帯 (中央値の2分の1 未満)」で 17.8%となっています。全体 (7.2%) と比較すると、10.6 ポイント高くなっています。



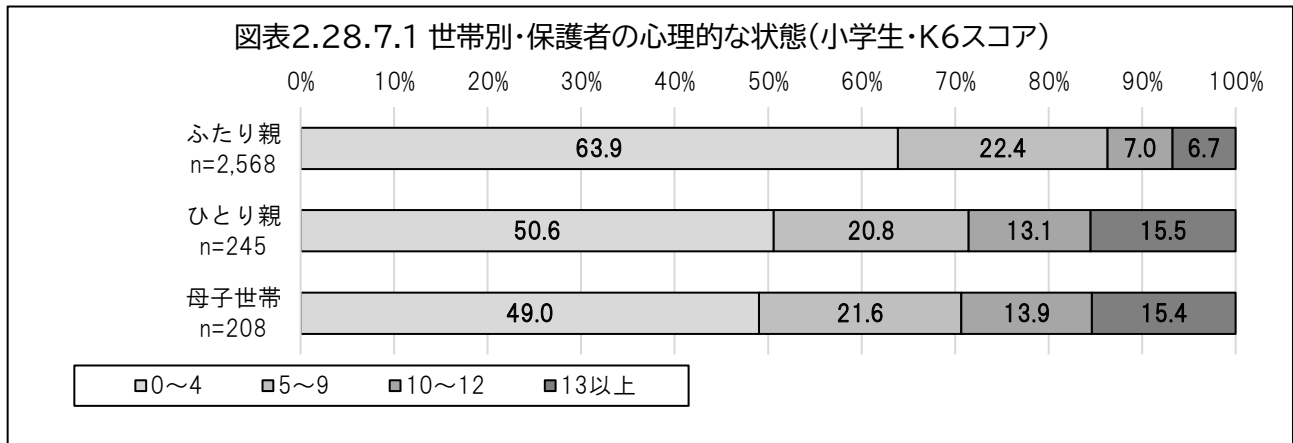
(6)等価世帯収入別・保護者[中学生] (問 28. 保護者の心理状態 K6 スコア)

保護者の心理状態 (K6 スコア) について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「13 以上」が「もっとも収入の水準が低い世帯 (中央値の2分の1 未満)」で 4.9%となっています。全体 (7.4%) と比較すると 2.5 割低く、「中央値以上」(7.9%)、「中央値の2分の1 以上中央値未満」(8.1%) よりも低くなっています。また、県調査 (22.0%) と比較すると 17.1 割低くなっています。

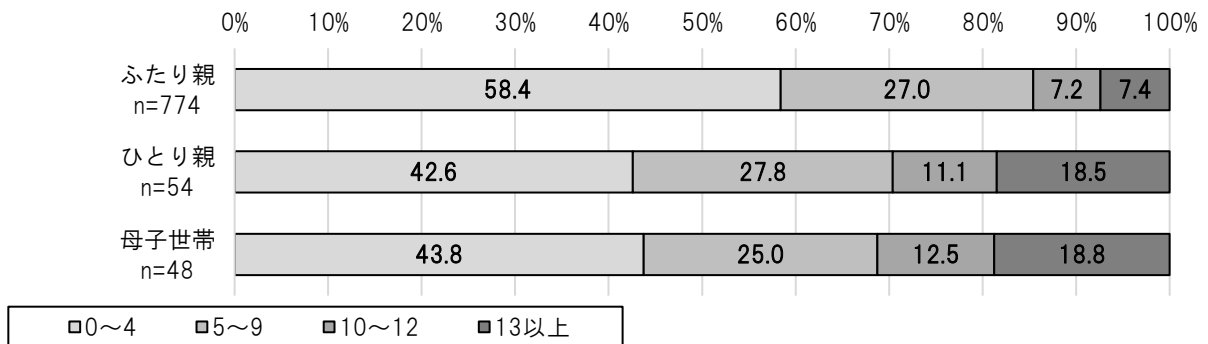


(7)世帯別・保護者[小学生]（問 28. 保護者の心理状態 K6 スコア）

保護者の心理状態（K6 スコア）について、世帯別にみると、小学生では、「13 以上」がひとり親世帯で 15.5%、母子世帯で 15.4%となっています。全体（7.2%）と比較すると、それぞれ 8.3 ポイント、8.2 ポイント高くなっています。

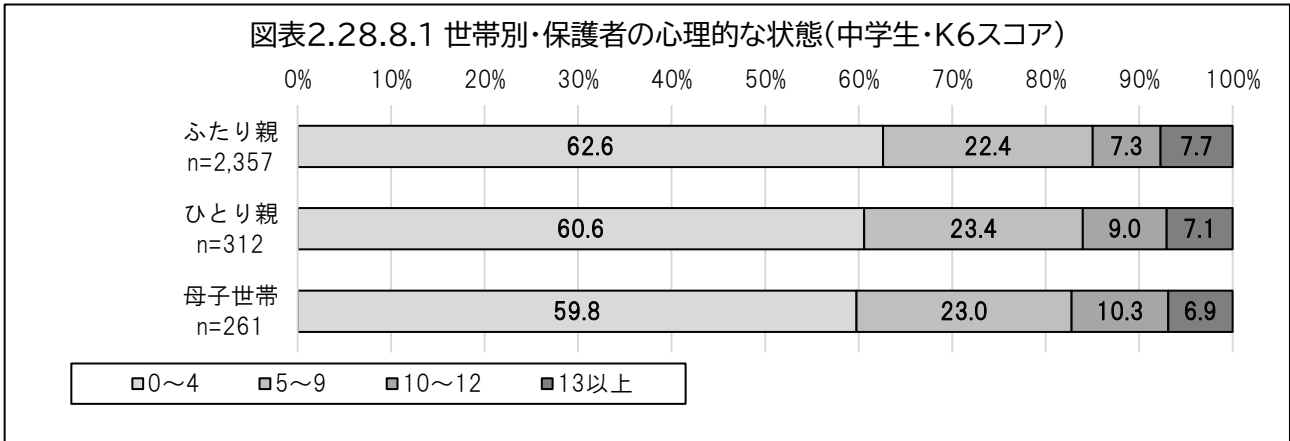


図表2.28.7.2 世帯別・保護者の心理的な状態(小学生・K6スコア)[県調査結果]

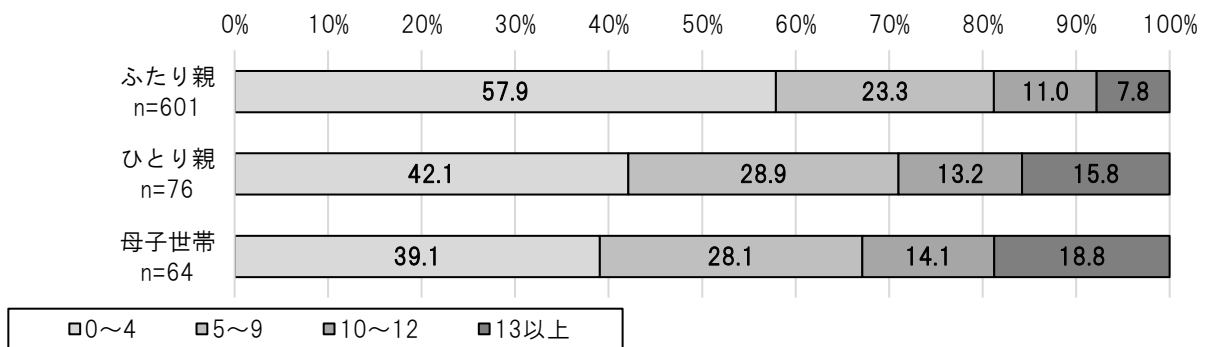


(8)世帯別・保護者[中学生] (問 28. 保護者の心理状態 K6 スコア)

保護者の心理状態 (K6 スコア) について、世帯別にみると、中学生では、「13 以上」がひとり親世帯で 7.1%、母子世帯で 6.9%となっています。全体 (7.4%)、ふたり親世帯 (7.7%) と比較して、同程度となっています。



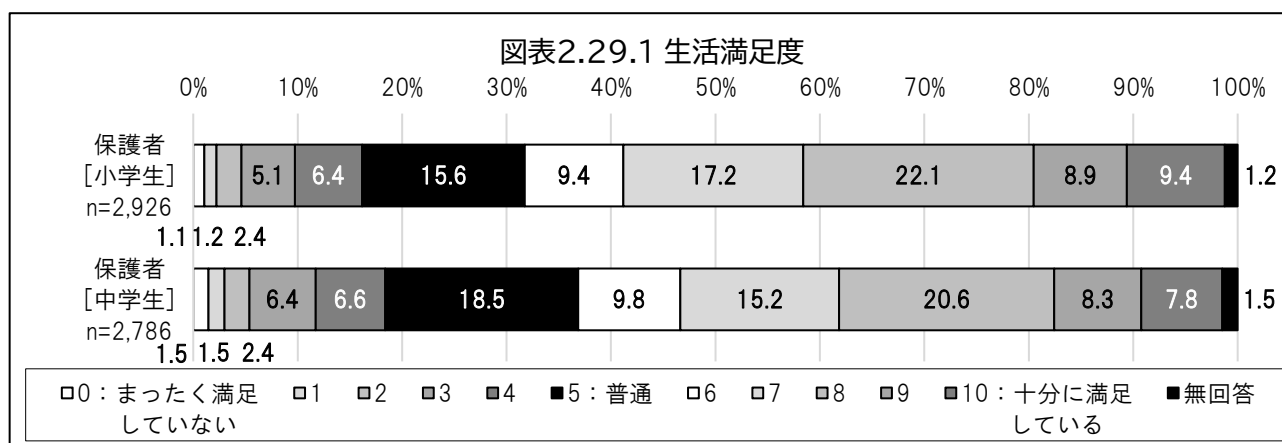
図表2.28.8.2 世帯別・保護者の心理的な状態(中学生・K6スコア)[県調査結果]



問29. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していないから「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

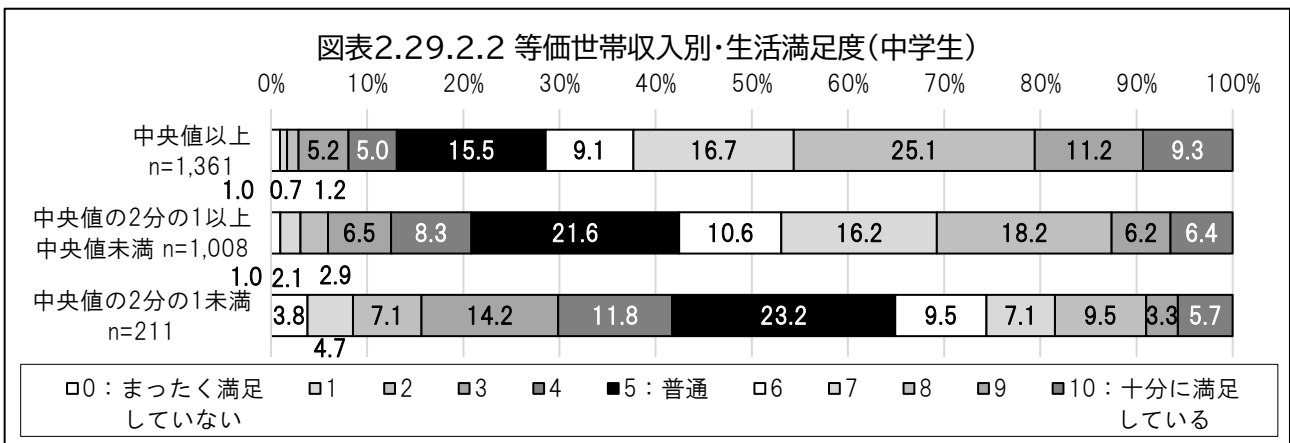
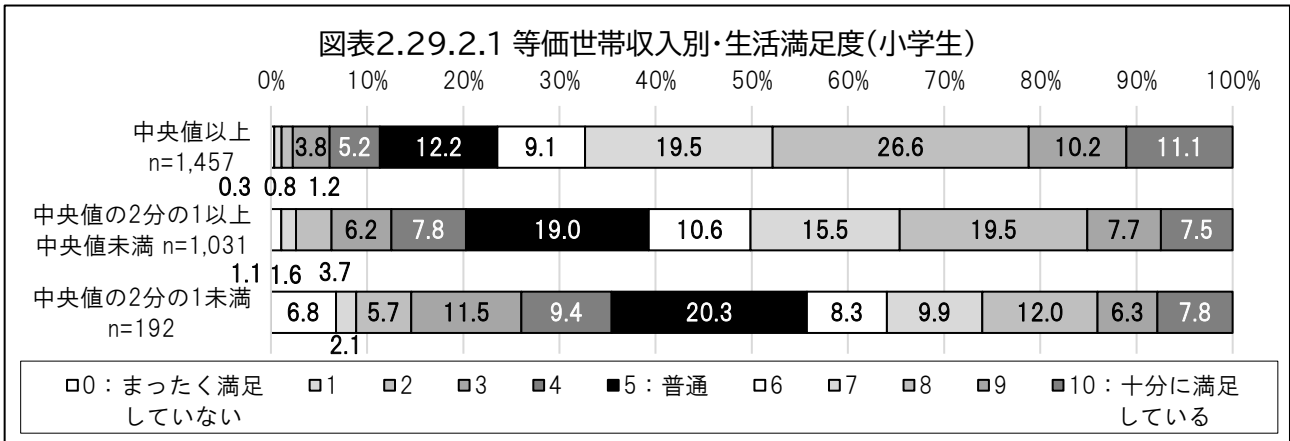
(1)全体

最近の生活満足度について、「6～10」（満足度が高い方の回答）と回答した割合は、小学生が67.0%、中学生が61.7%となっています。また、「0～4」（満足度が低い方の回答）と回答した割合は、小学生が16.2%、中学生が18.4%となっています。



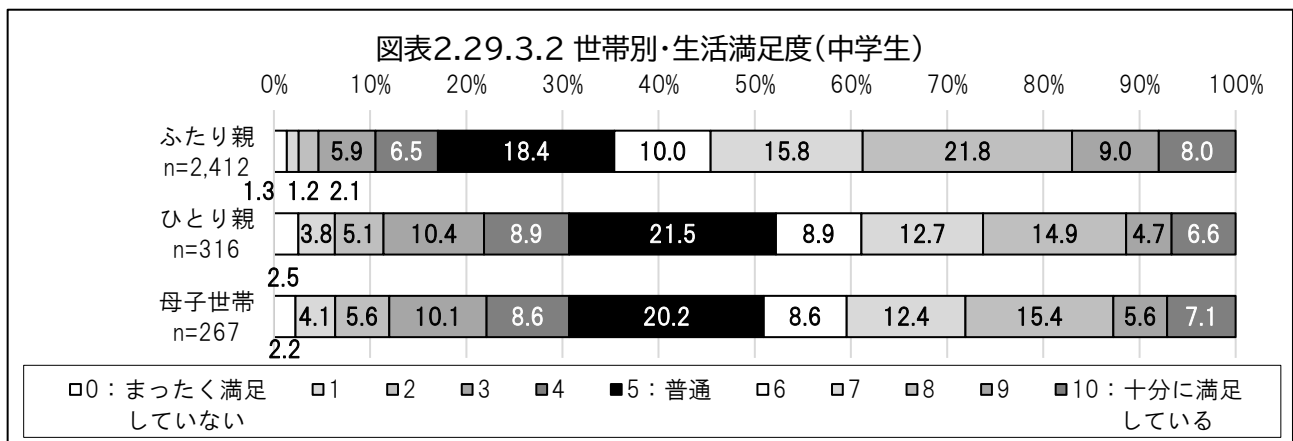
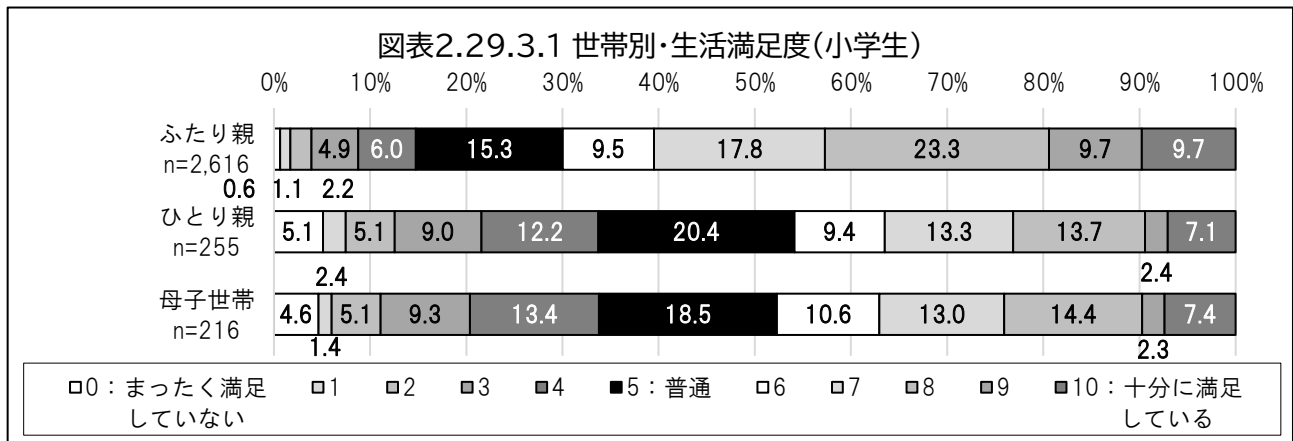
(2)等価世帯収入別（問 29. 生活満足度）

生活満足度について、等価世帯収入別にみると、「0～4」（満足度が低い方の回答）と回答した割合が、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が35.5%、中学生が41.6%となっています。また、全体（16.2%、18.4%）と比較すると、それぞれ19.3 ㊦、23.2 ㊦高くなっています。



(3)世帯別（問 29.生活満足度）

生活満足度について、世帯別にみると、「0～4」（満足度が低い方の回答）と回答した割合が、小学生では、ひとり親世帯・母子世帯ともに 33.8%となっています。また、全体（16.2%）と比較すると、17.6 ㊦高くなっています。中学生では、ひとり親世帯で 30.7%、母子世帯で 30.6%となっています。また、全体（18.4%）と比較すると、それぞれ 12.3 ㊦、12.2 ㊦高くなっています。

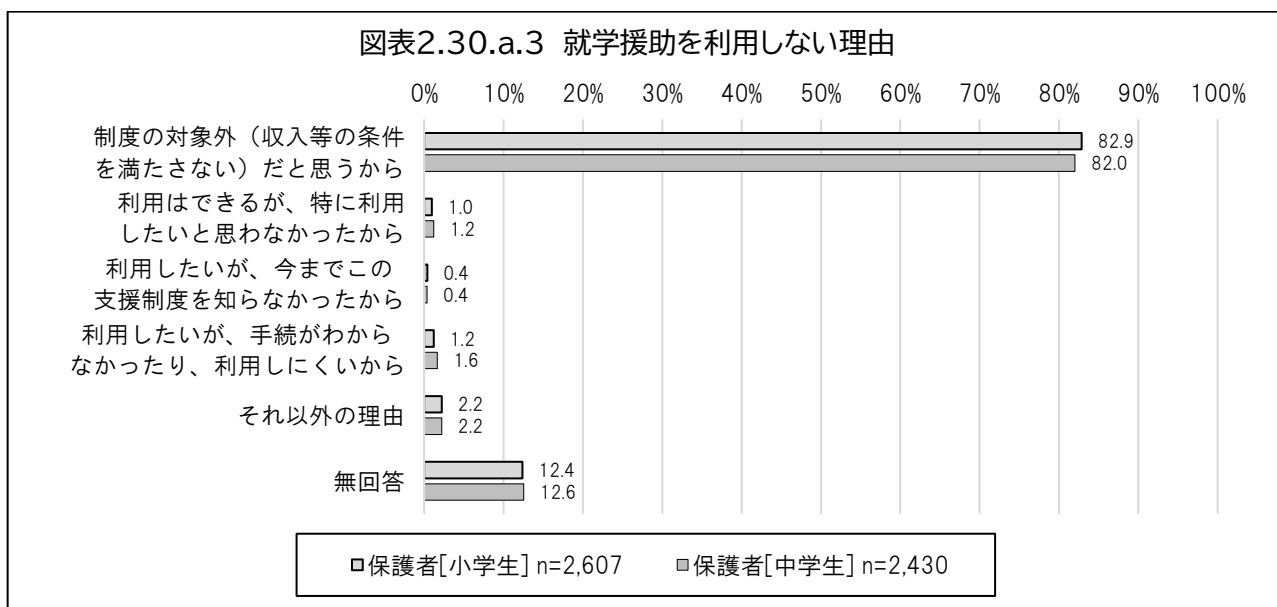
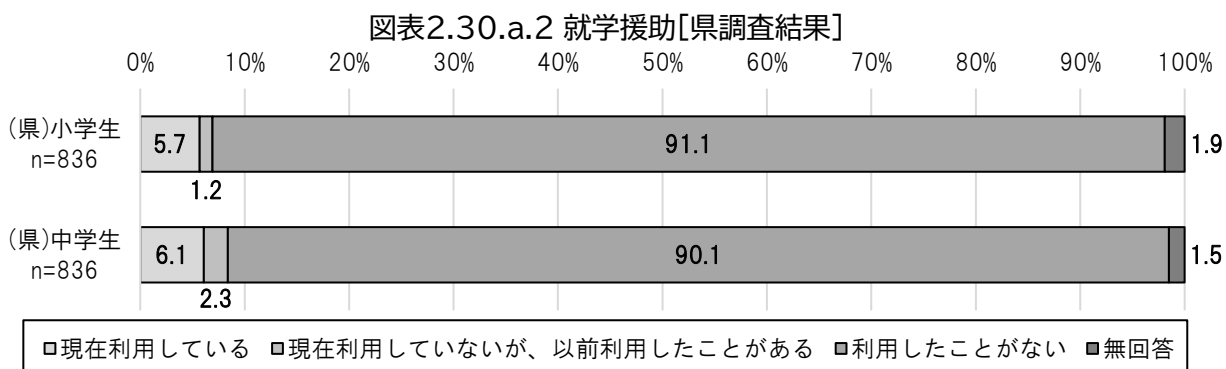
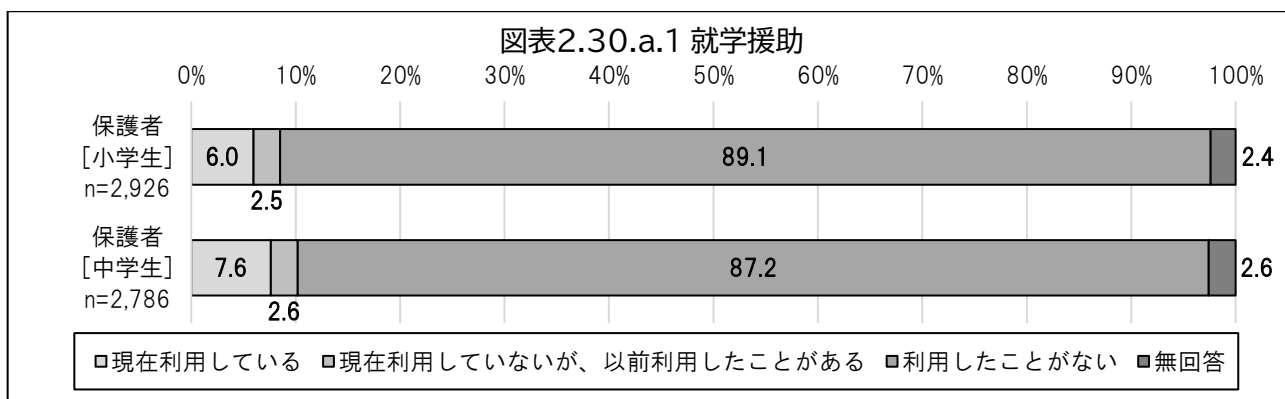


問30. あなたのご家庭では、次の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

a) 就学援助

就学援助を利用したことがあるかについて、小学生・中学生では「利用したことがない」がそれぞれ89.1%、87.2%、「現在利用している」が6.0%、7.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.5%、2.6%となっています。

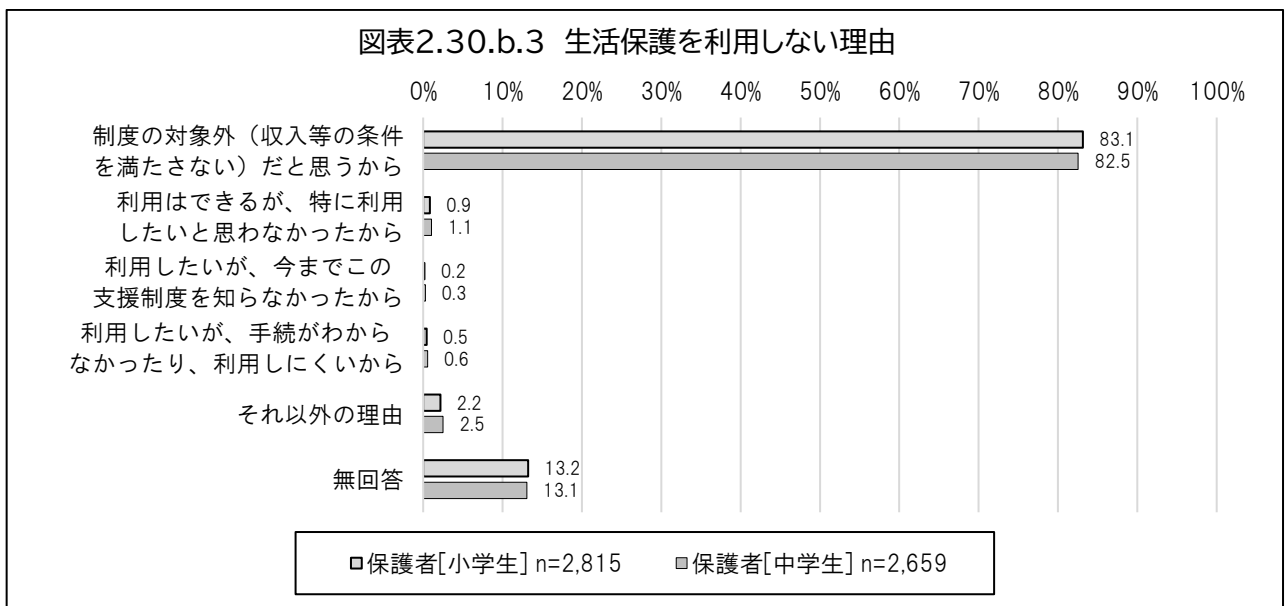
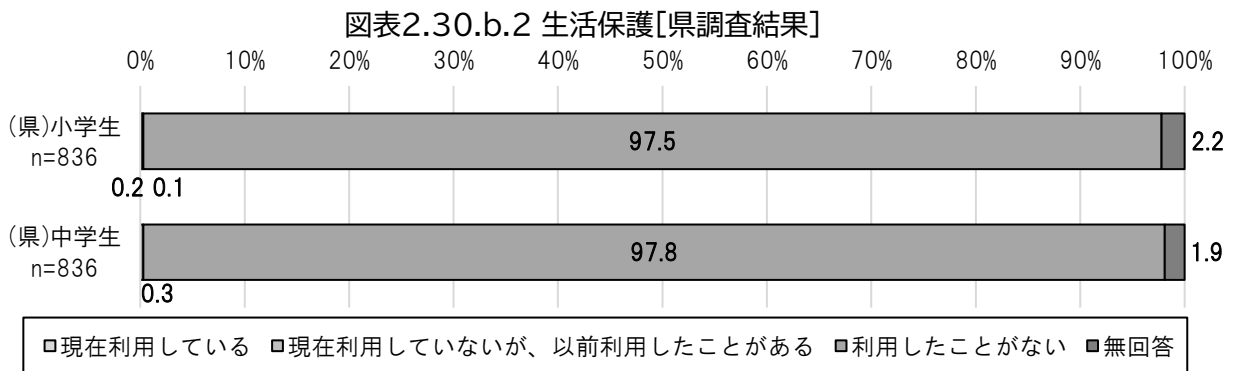
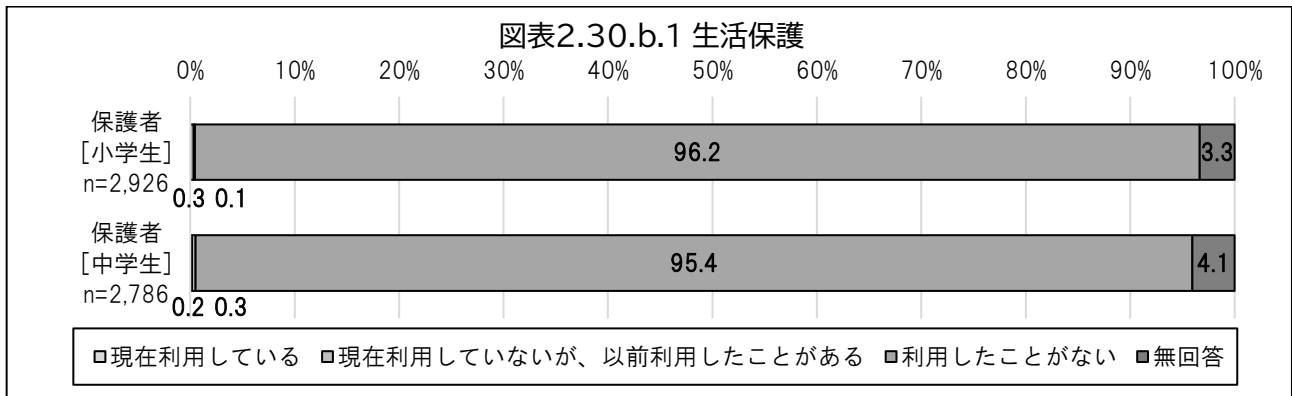
また利用しない理由としては、小学生・中学生ともに「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が82.9%、82.0%となっています。



b) 生活保護

生活保護を利用したことがあるかについて、小学生・中学生では「利用したことがない」がそれぞれ96.2%、95.4%、「現在利用している」が0.3%、0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.1%、0.3%となっています。

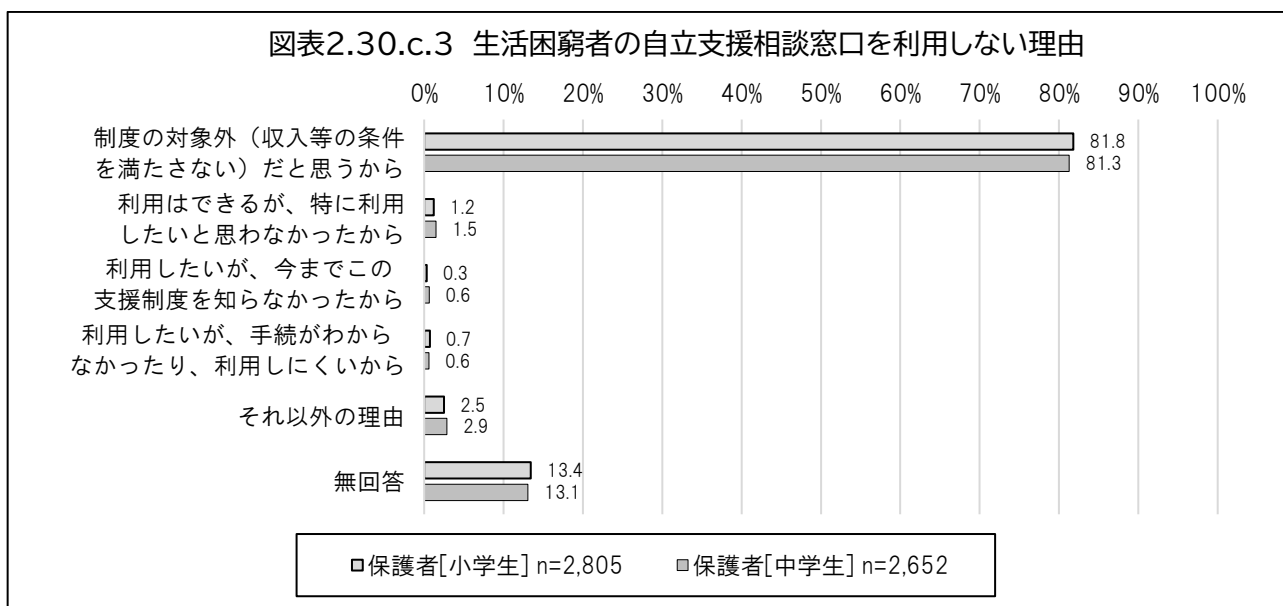
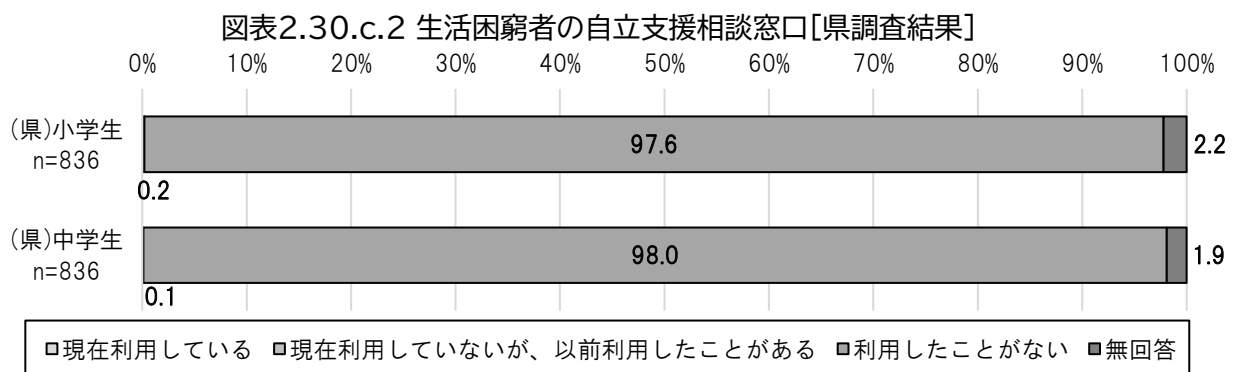
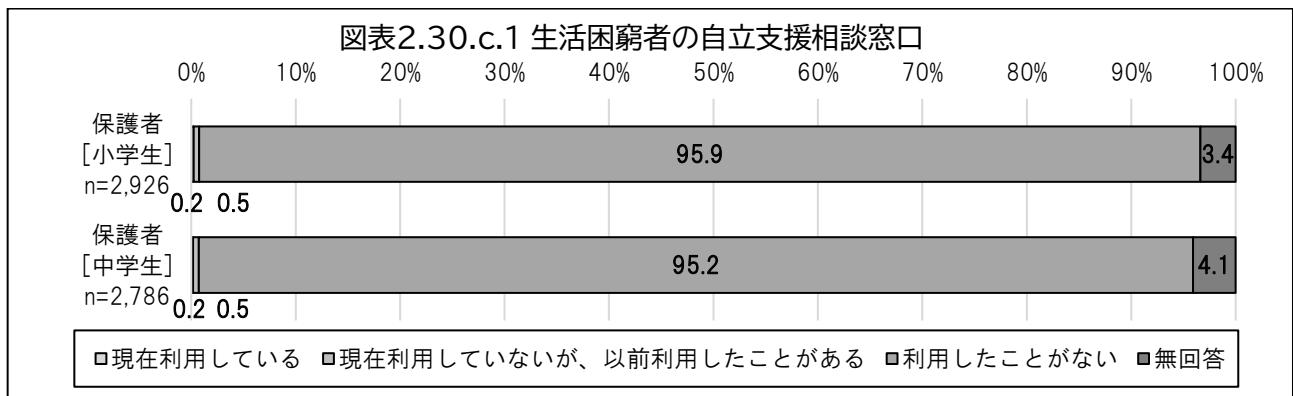
また利用しない理由としては、小学生・中学生ともに「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が83.1%、82.5%となっています。



c) 生活困窮者の自立支援相談窓口

生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがあるかについて、小学生・中学生では「利用したことがない」がそれぞれ95.9%、95.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%、0.5%、「現在利用している」が0.2%、0.2%となっています。

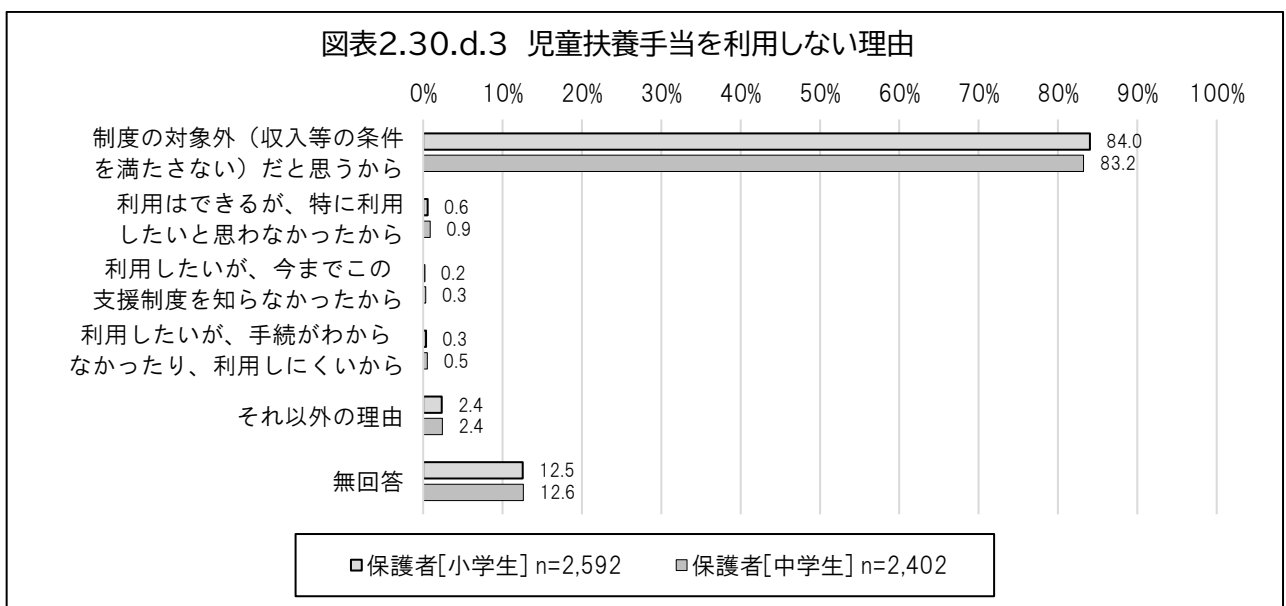
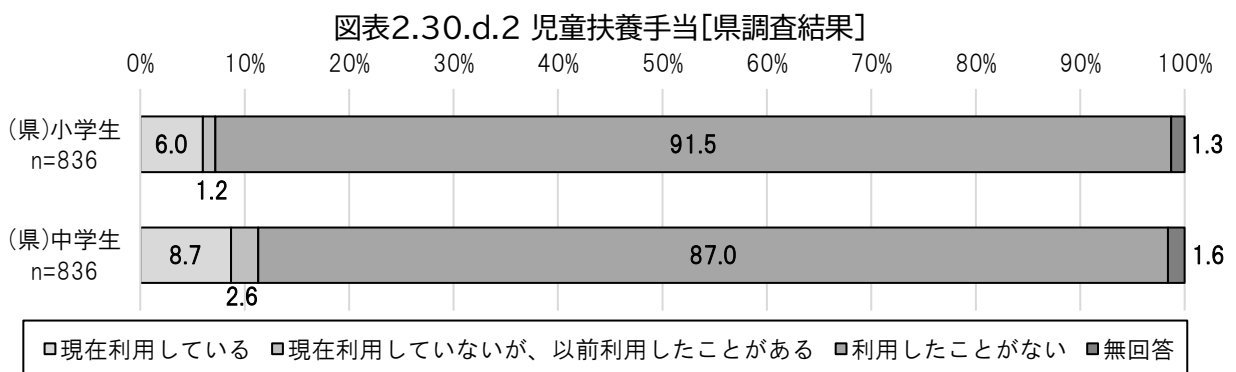
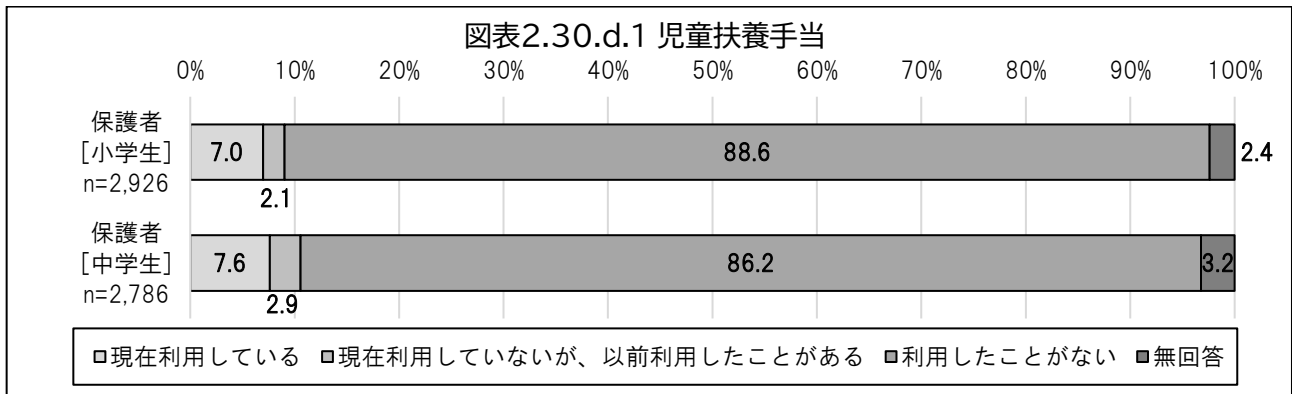
また利用しない理由としては、小学生・中学生ともに「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」がそれぞれ81.8%、81.3%となっています。



d) 児童扶養手当

児童扶養手当を利用したことがあるかについて、小学生・中学生では「利用したことがない」がそれぞれ88.6%、86.2%、「現在利用している」が7.0%、7.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.1%、2.9%となっています。

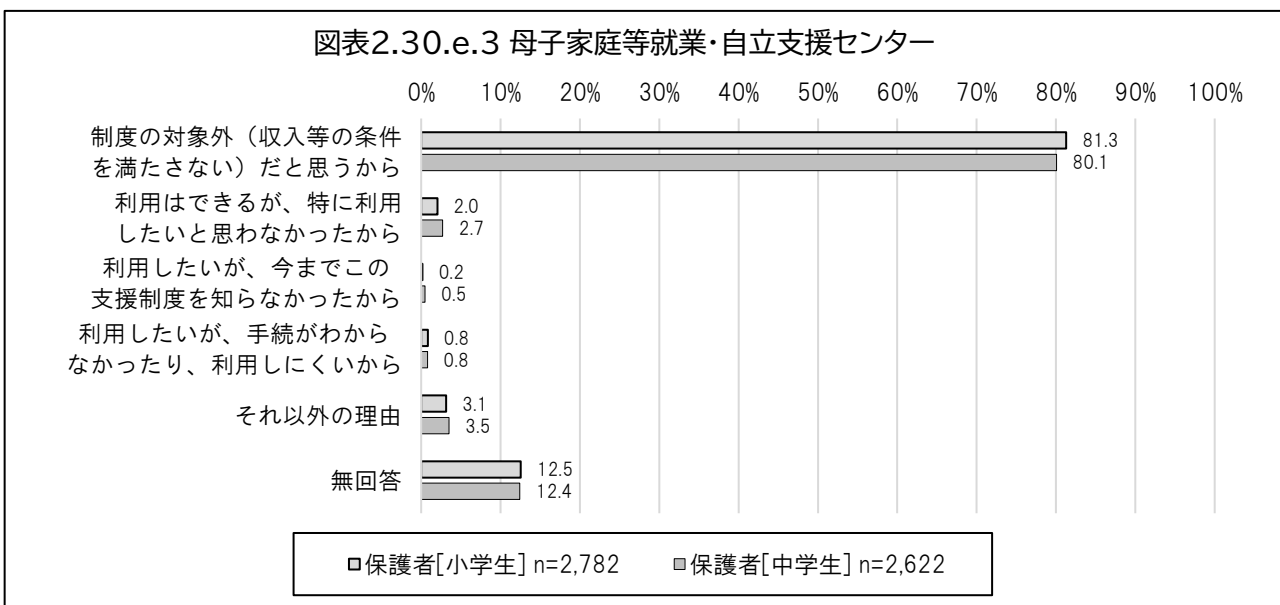
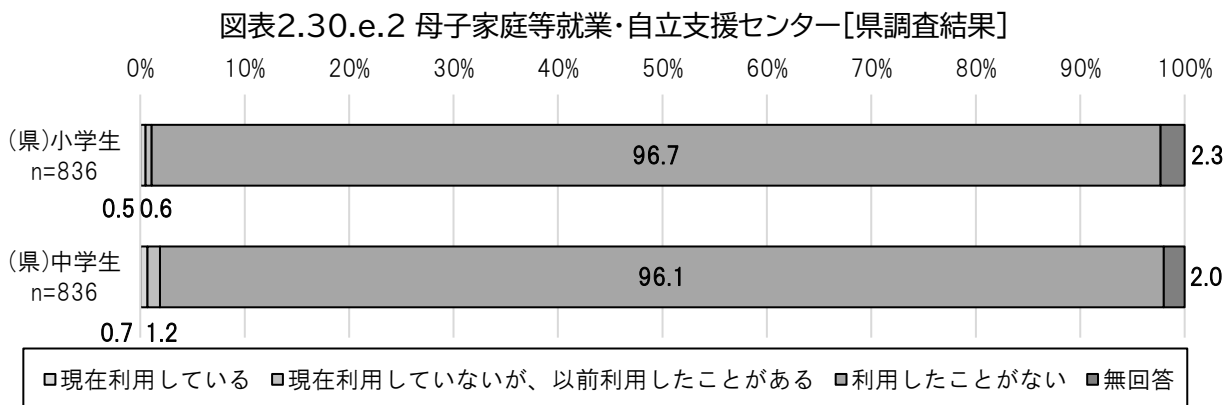
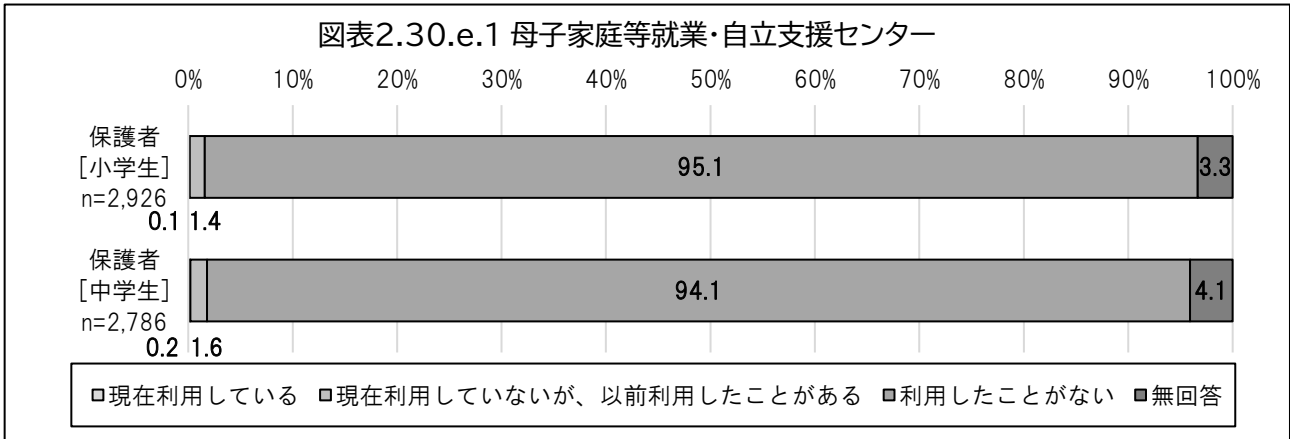
また利用しない理由としては、小学生・中学生ともに「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」がそれぞれ84.0%、83.2%となっています。



e) 母子家庭等就業・自立支援センター

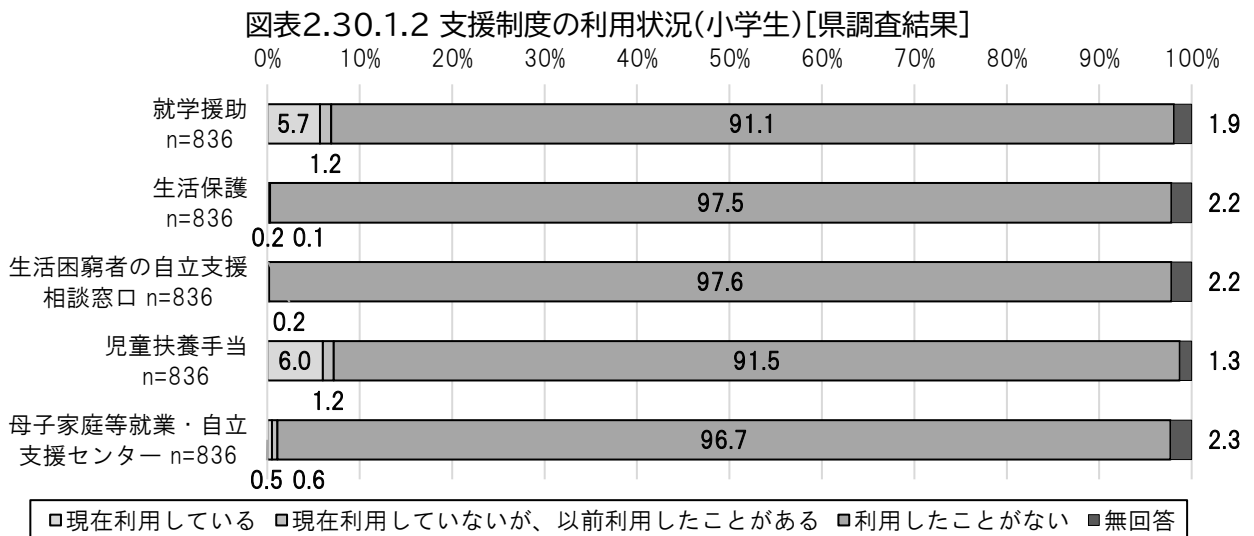
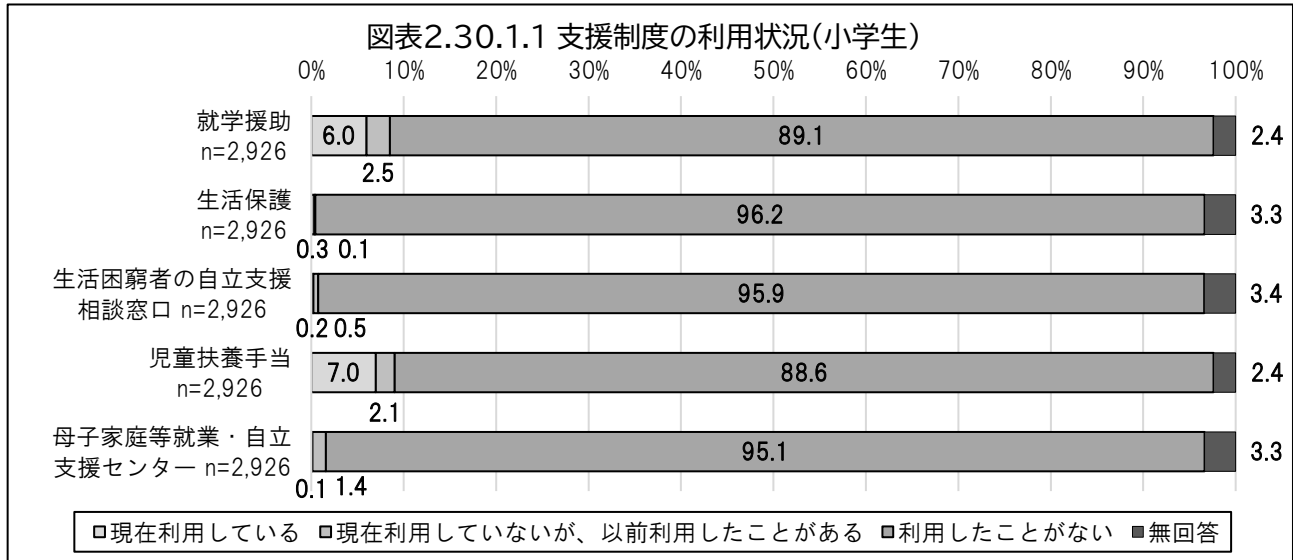
母子家庭等就業・自立支援センターを利用したことがあるかについて、小学生・中学生では「利用したことがない」がそれぞれ95.1%、94.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.4%、1.6%、「現在利用している」が0.1%、0.2%となっています。

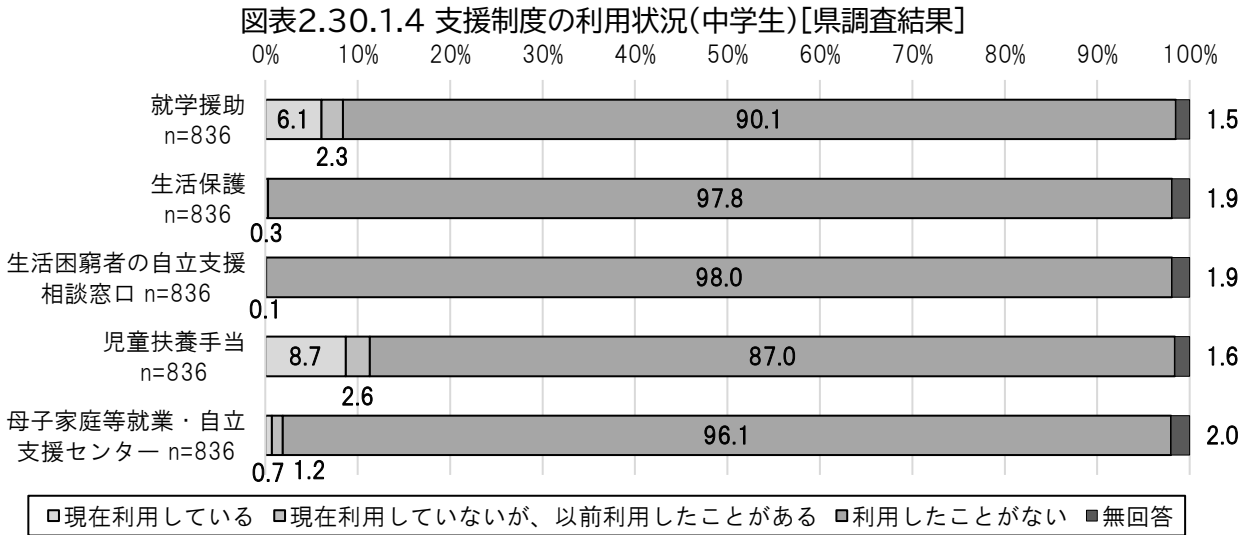
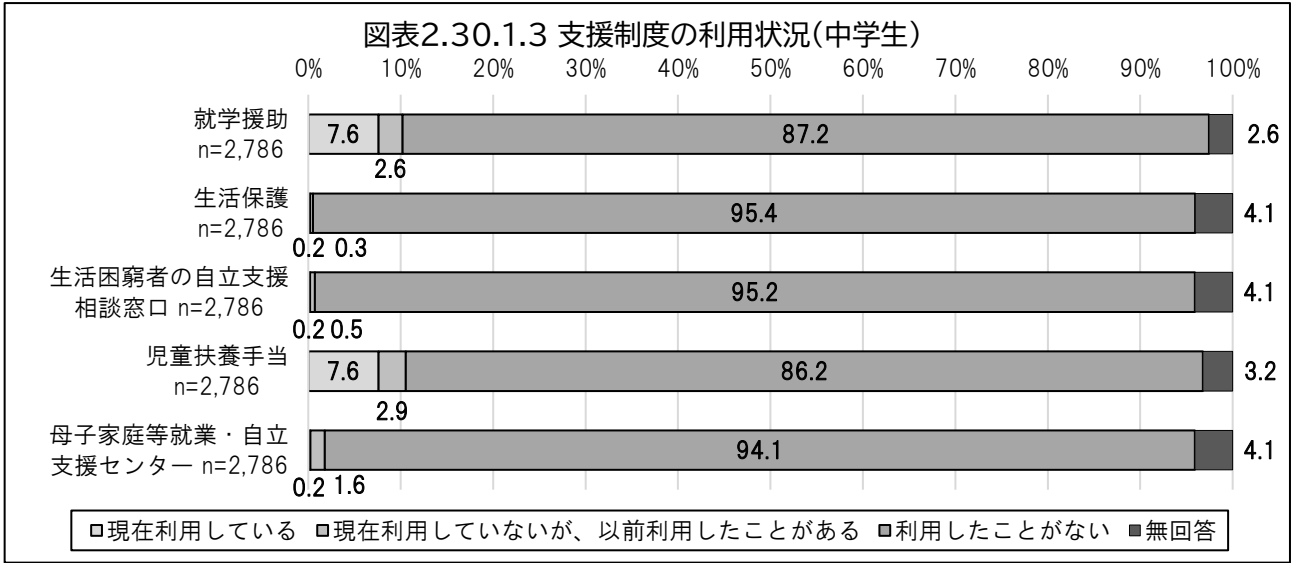
また利用しない理由としては、小学生・中学生ともに「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」がそれぞれ81.3%、80.1%となっています。



(1) 全体

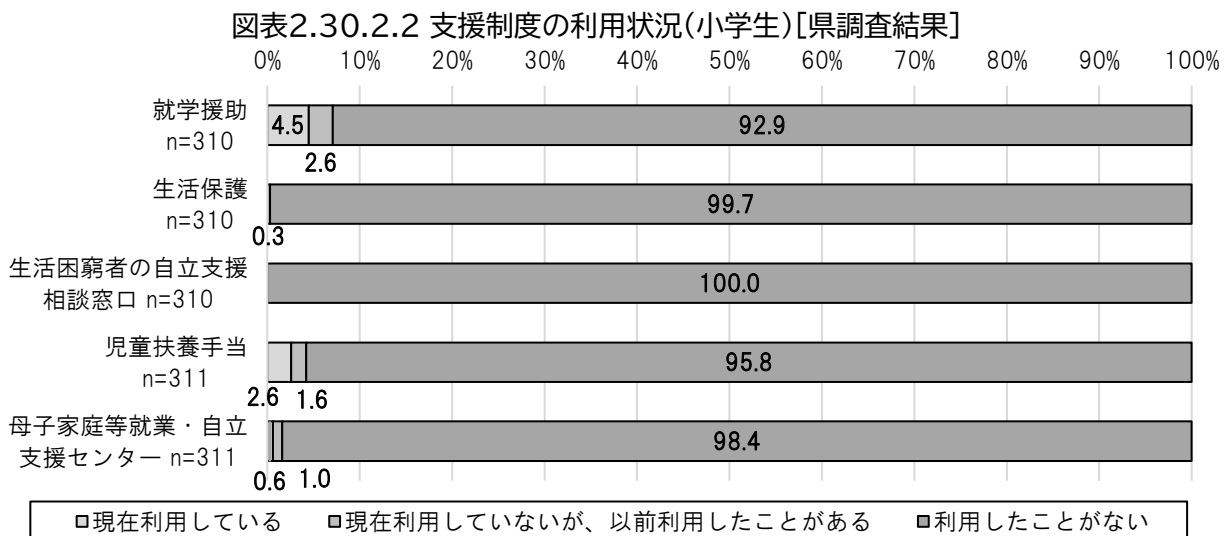
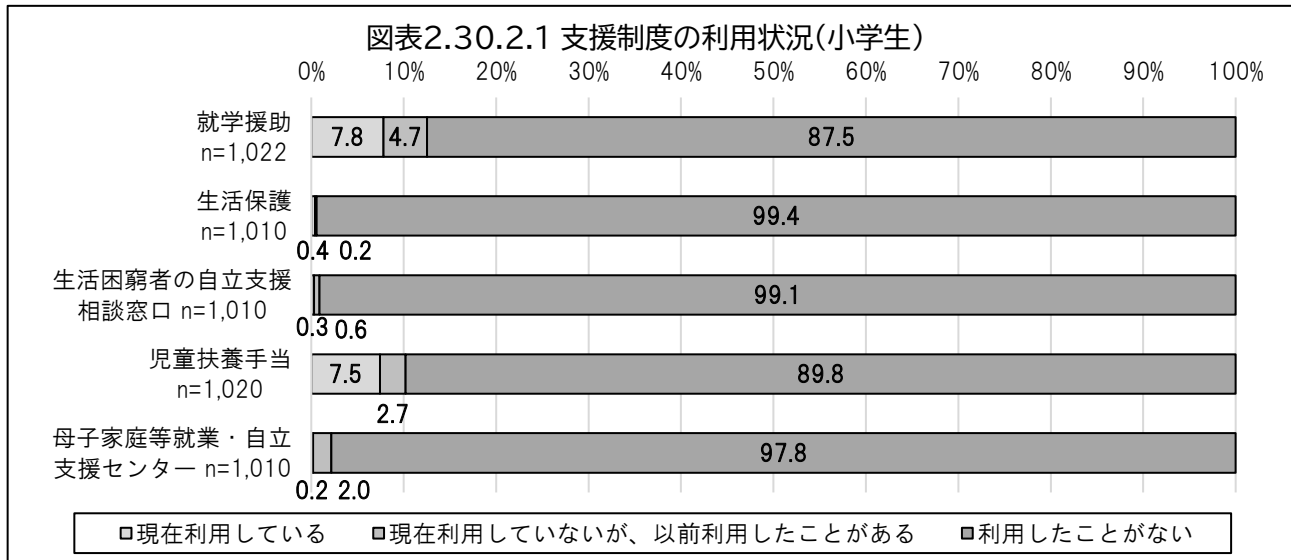
支援制度の利用状況について、「利用したことがない」と回答した割合が、全ての支援制度で最も高くなっており、県の調査と大きな違いはありませんでした。





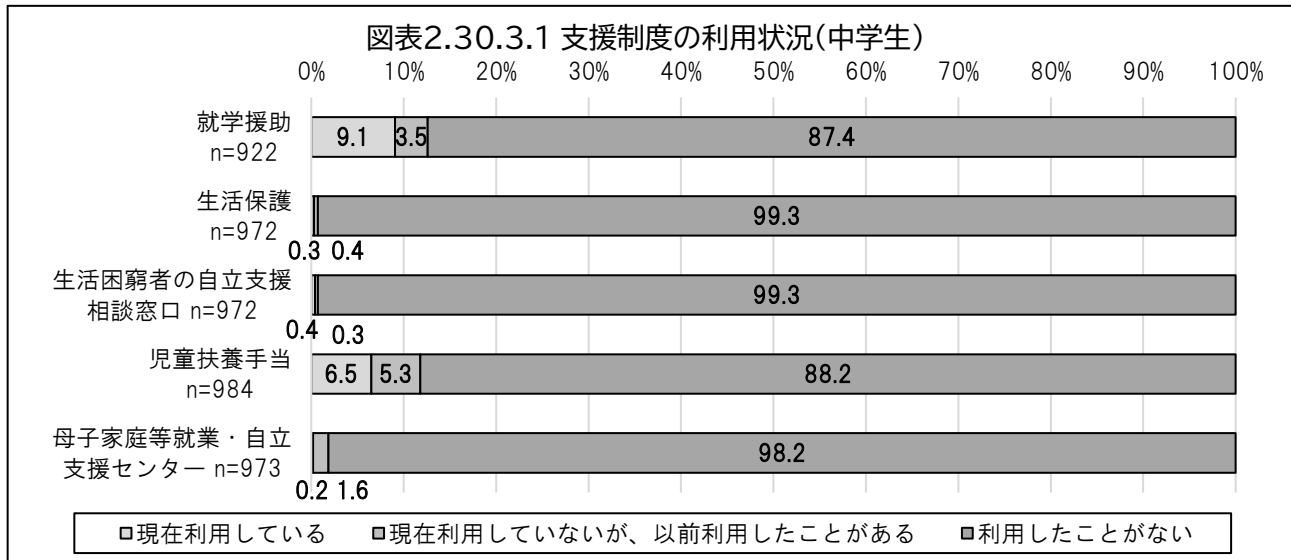
(2) 等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合の支援制度の利用状況
保護者[小学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合、「現在利用している」と回答した割合は、小学生では「就学援助」が7.8%、「児童扶養手当」が7.5%となっています。その他の支援制度は、ほとんど利用されていません。

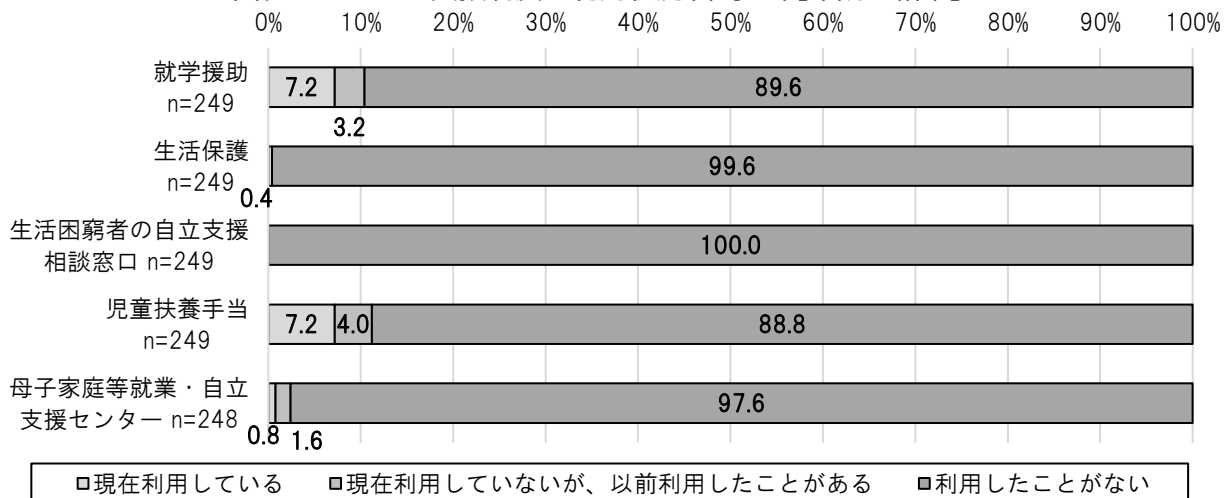


(3) 等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合の支援制度の利用状況
保護者[中学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合、「現在利用している」と回答した割合は、中学生では「就学援助」が9.1%、「児童扶養手当」が6.5%となっています。その他の支援制度は、ほとんど利用されていません。

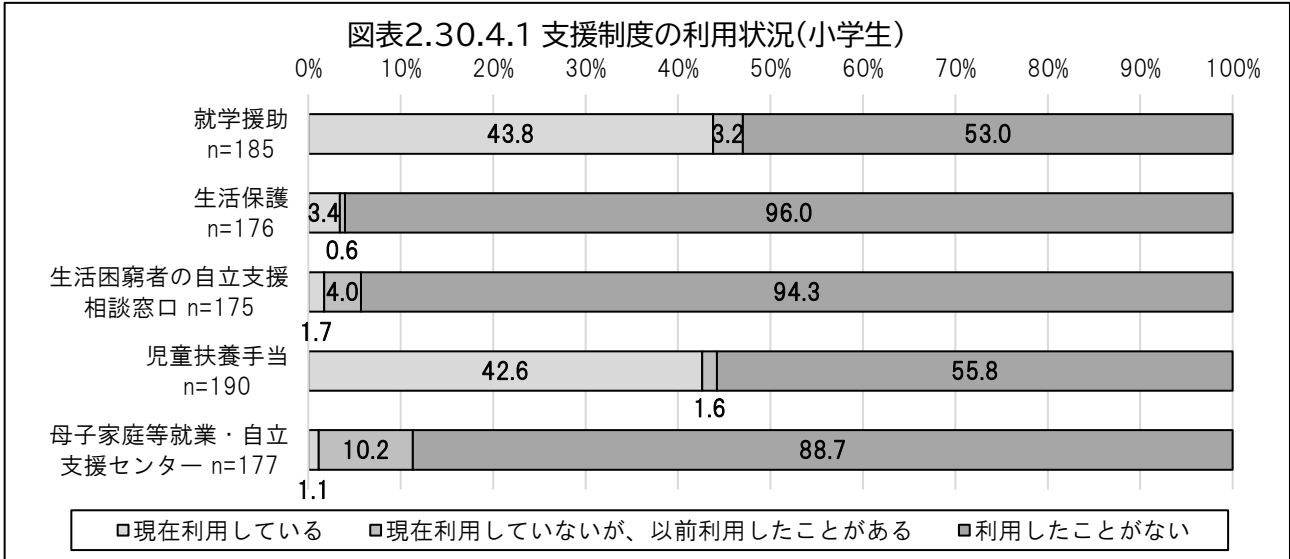


図表2.30.3.2 支援制度の利用状況(中学生)[県調査結果]

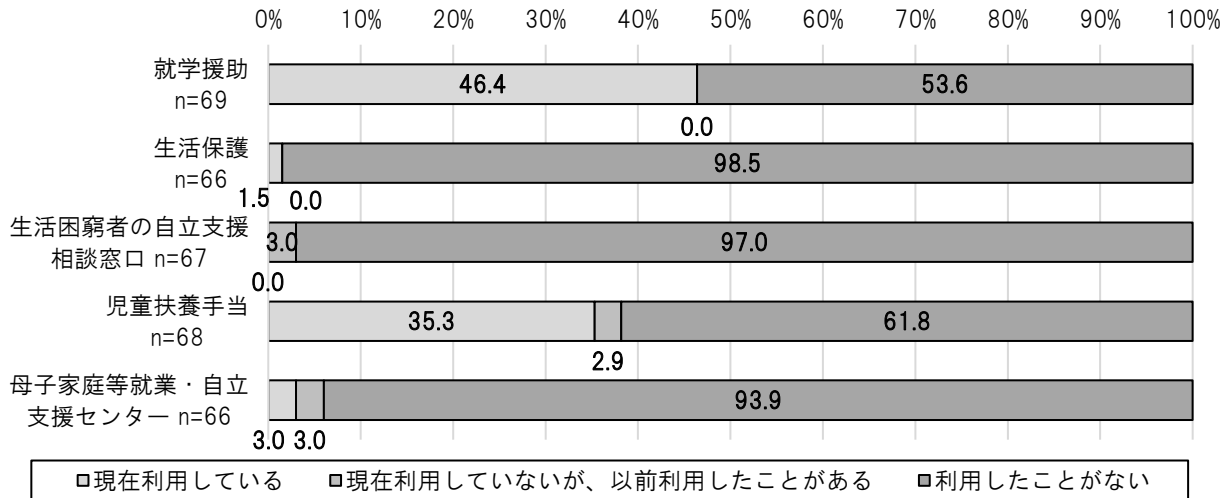


(4) 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度の利用状況
保護者[小学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合、全ての支援制度で「現在利用している」が、全体と比較して高くなっていますが、特に、小学生では「就学援助」43.8% (全体 6.0%)、「児童扶養手当」が42.6% (全体 7.0%) と高くなっています。

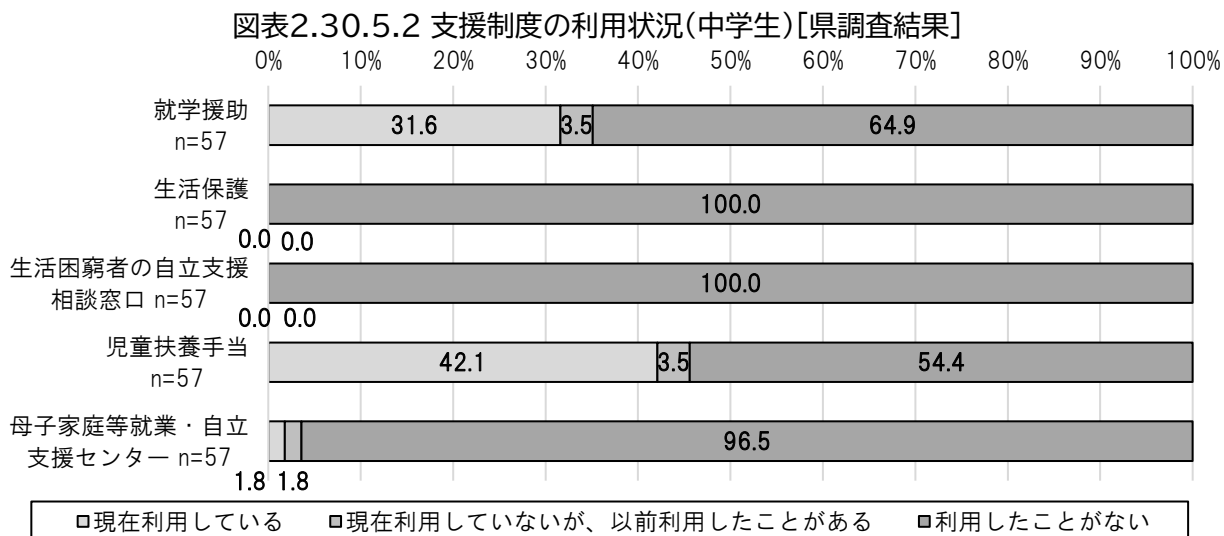
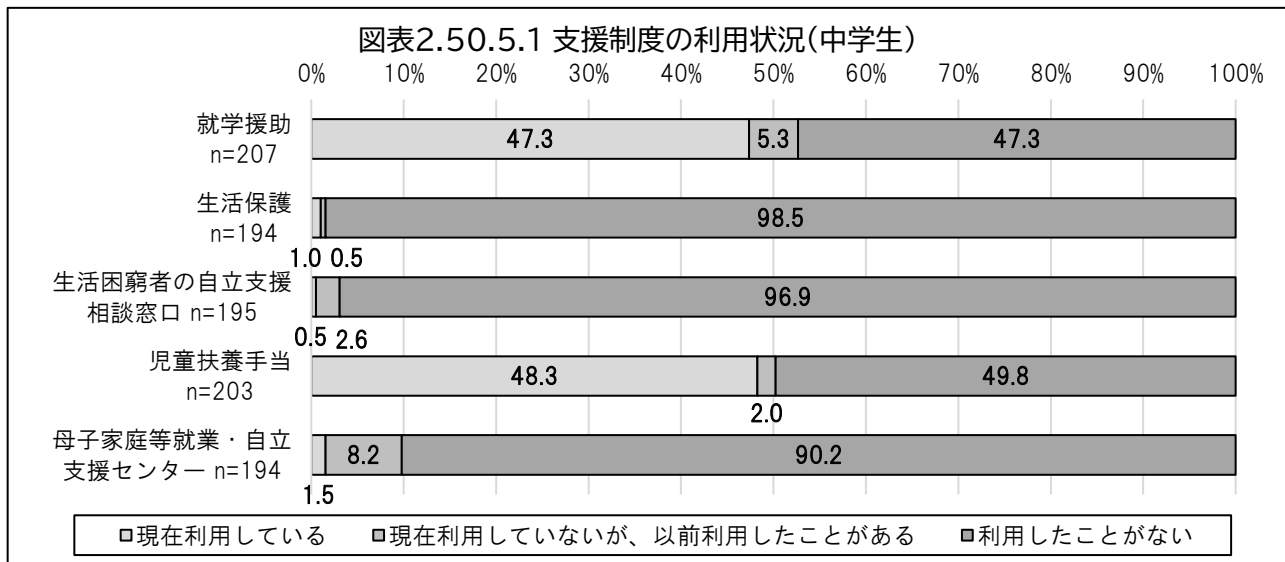


図表2.30.4.2 支援制度の利用状況(小学生)[県調査結果]



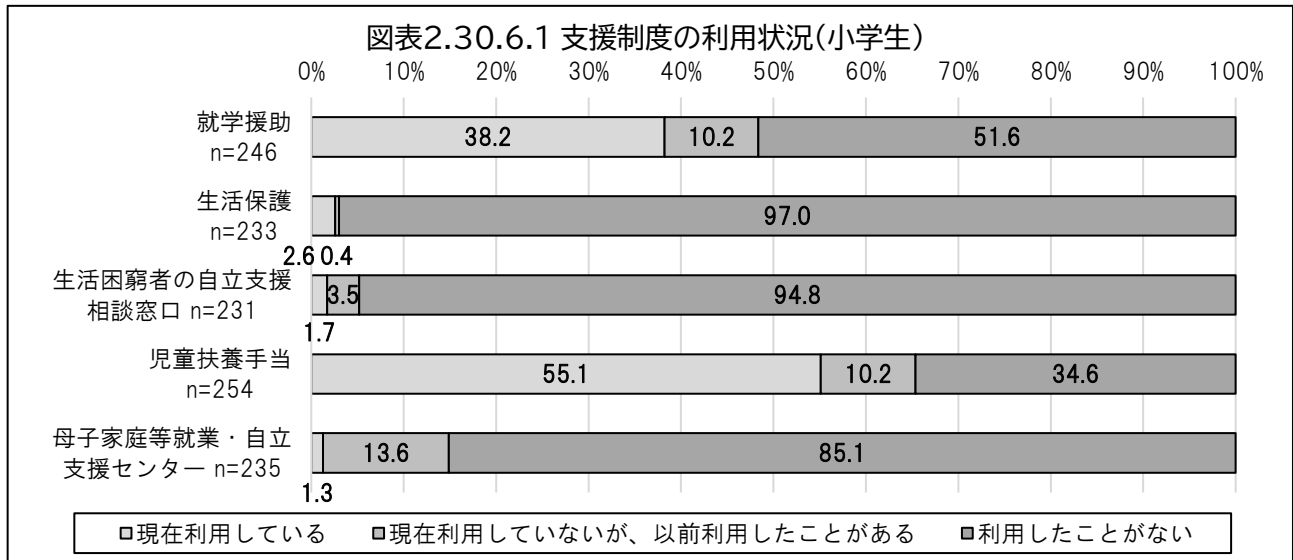
(5) 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度の利用状況
保護者[中学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合、全ての支援制度で「現在利用している」が、全体と比較して高くなっていますが、特に、中学生では「就学援助」が47.3%（全体 7.6%）、「児童扶養手当」が48.3%（全体 7.6%）と高くなっています。

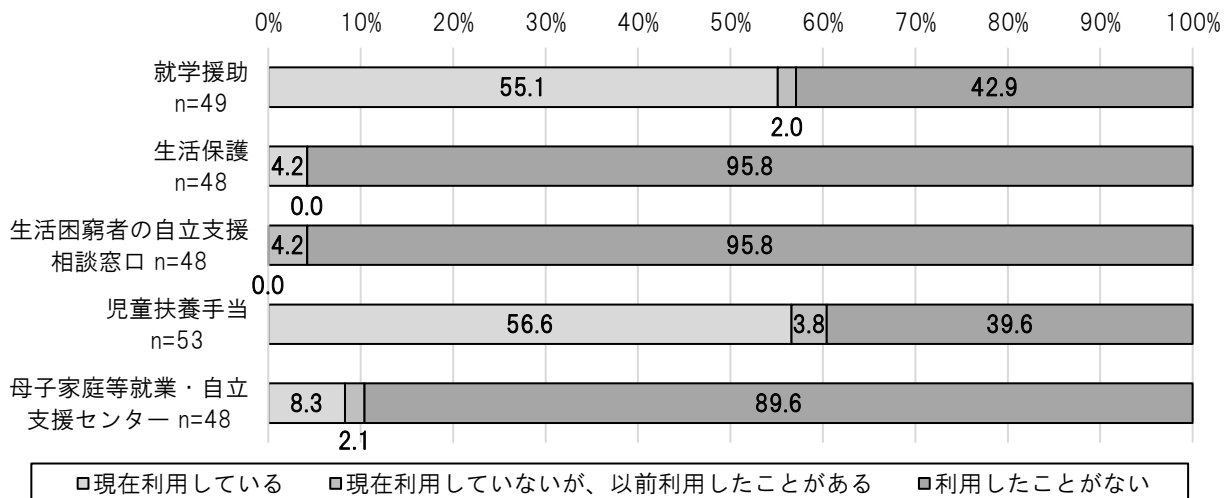


(6)世帯状況が「ひとり親世帯」の場合の支援制度の利用状況・保護者[小学生]
 (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯が「ひとり親世帯」の場合、全ての支援制度で「現在利用している」が、全体と比較して高くなっていますが、特に、小学生では「就学援助」が38.2%（全体 6.0%）、「児童扶養手当」が55.1%（全体 7.0%）と高くなっています。

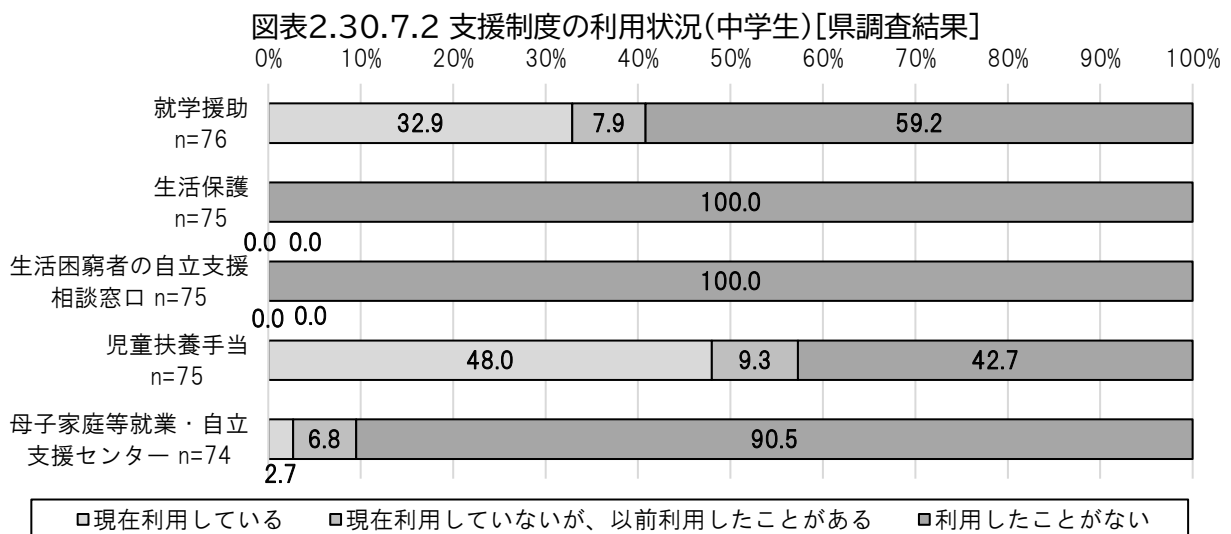
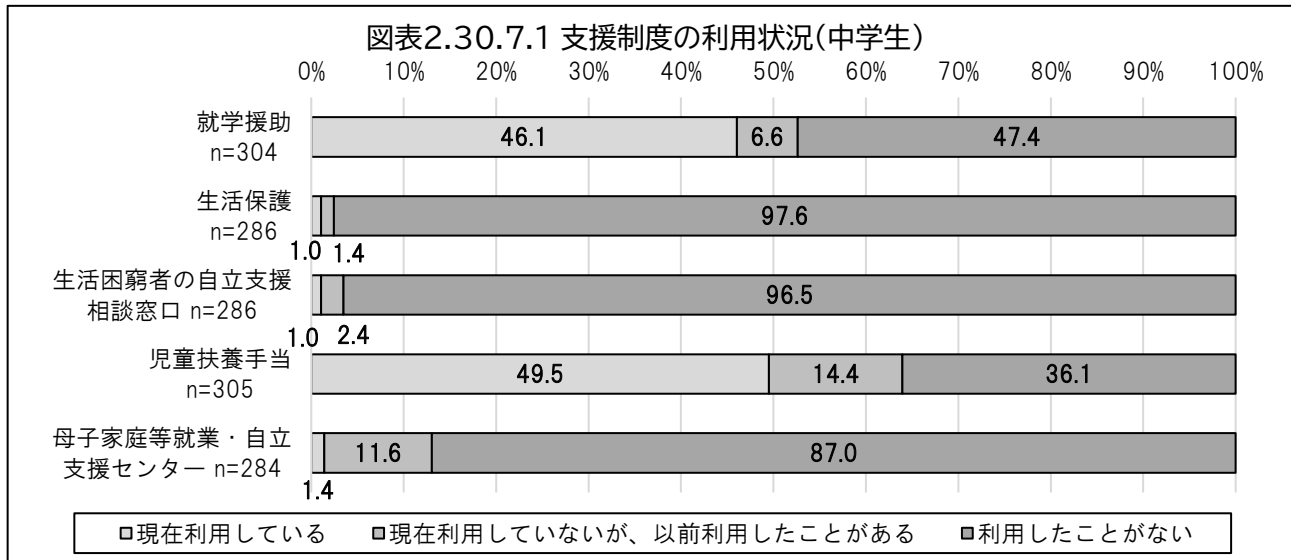


図表2.30.6.2 支援制度の利用状況(小学生)[県調査結果]



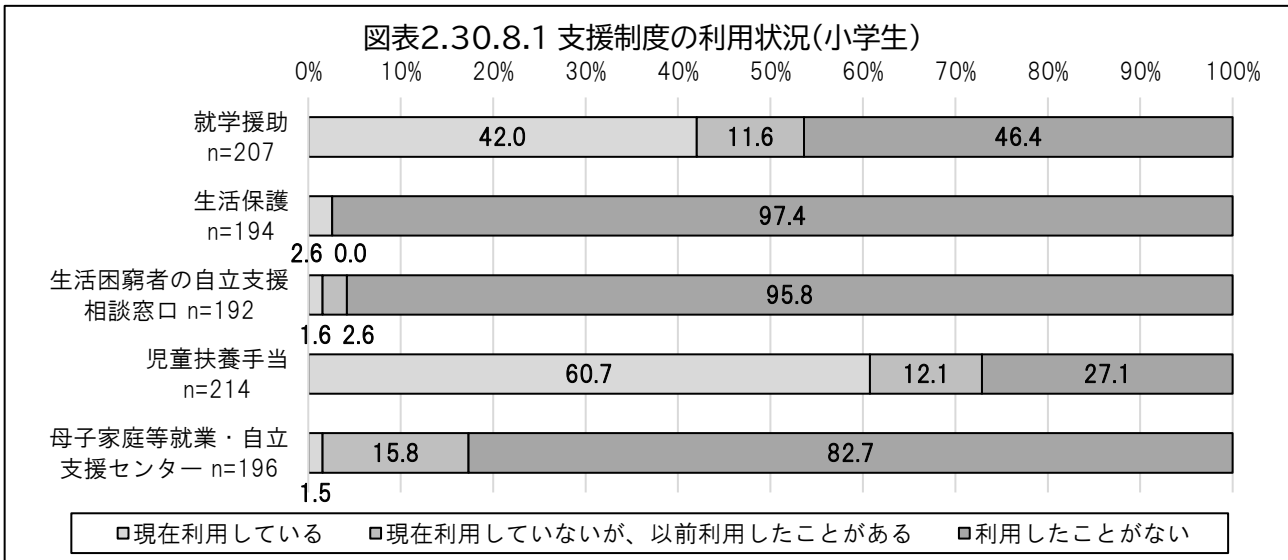
(7)世帯状況が「ひとり親世帯」の場合の支援制度の利用状況・保護者[中学生]
 (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯が「ひとり親世帯」の場合、全ての支援制度で「現在利用している」が、全体と比較して高くなっていますが、特に、中学生では「就学援助」が46.1%（全体7.6%）、「児童扶養手当」が49.5%（全体7.6%）と高くなっています。

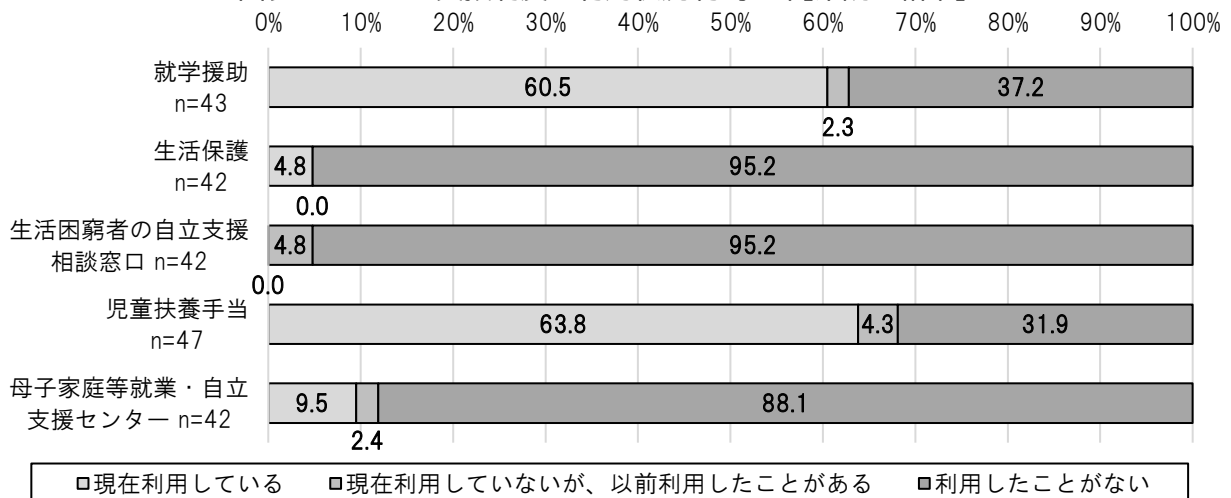


(8)世帯状況が「母子世帯」の場合の支援制度の利用状況・保護者[小学生]
 (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯が「母子世帯」の場合、全ての支援制度で「現在利用している」が、全体と比較して高くなっていますが、特に、小学生では「就学援助」が42.0%(全体6.0%)、「児童扶養手当」が60.7%(全体7.0%)、と高くなっています。

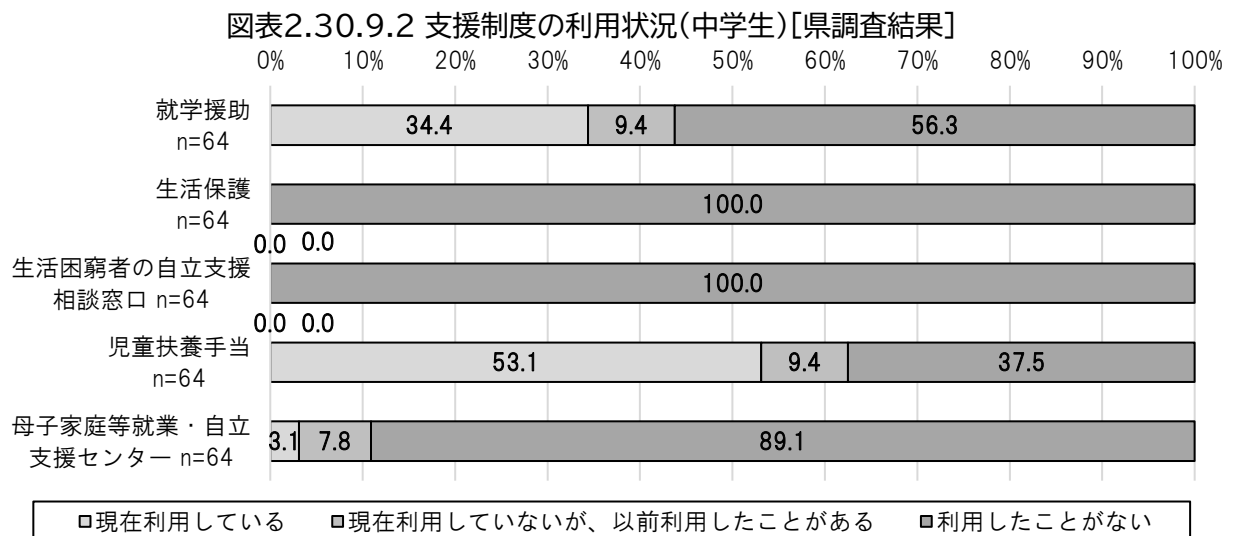
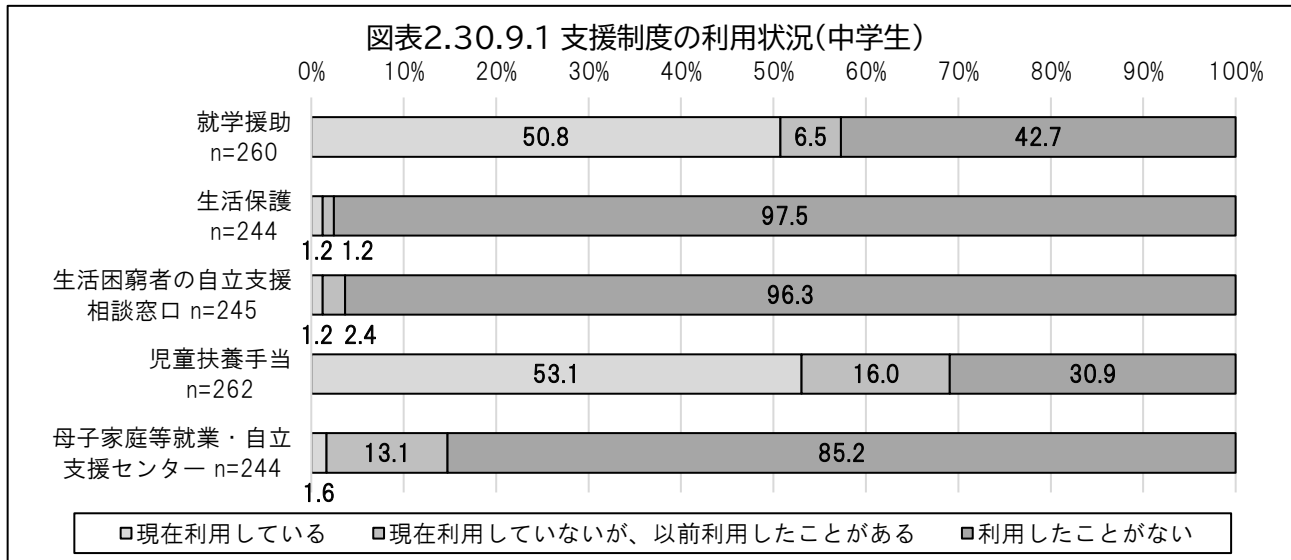


図表2.30.8.2 支援制度の利用状況(小学生)[県調査結果]



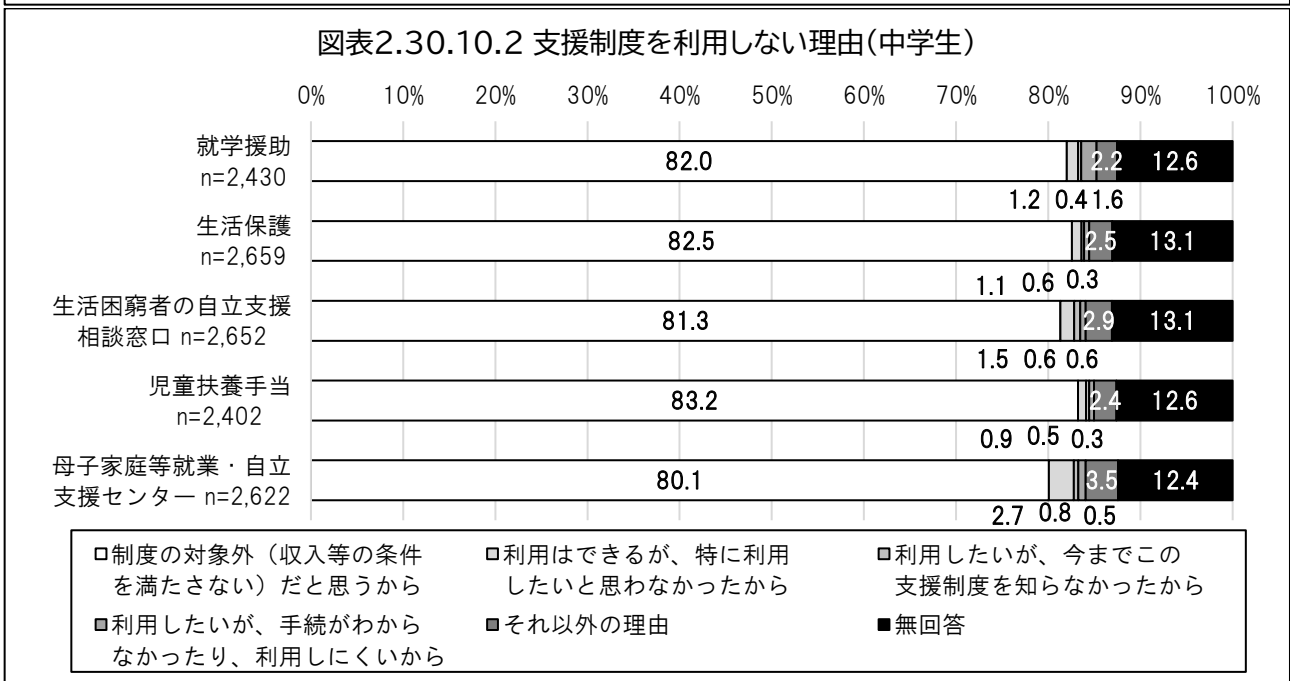
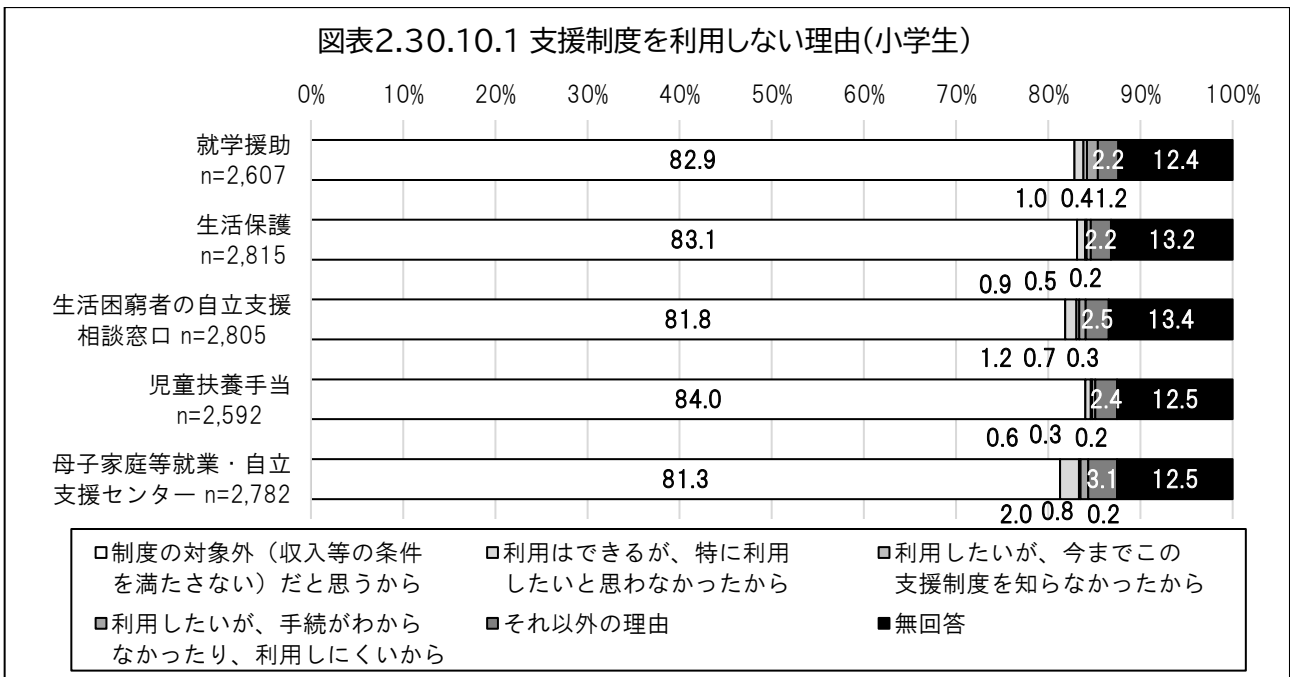
(9)世帯状況が「母子世帯」の場合の支援制度の利用状況・保護者[中学生]
 (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯が「母子世帯」の場合、全ての支援制度で「現在利用している」が、全体と比較して高くなっていますが、特に、中学生では「就学援助」が50.8%(全体7.6%)、「児童扶養手当」が53.1%(全体7.6%)、と高くなっています。



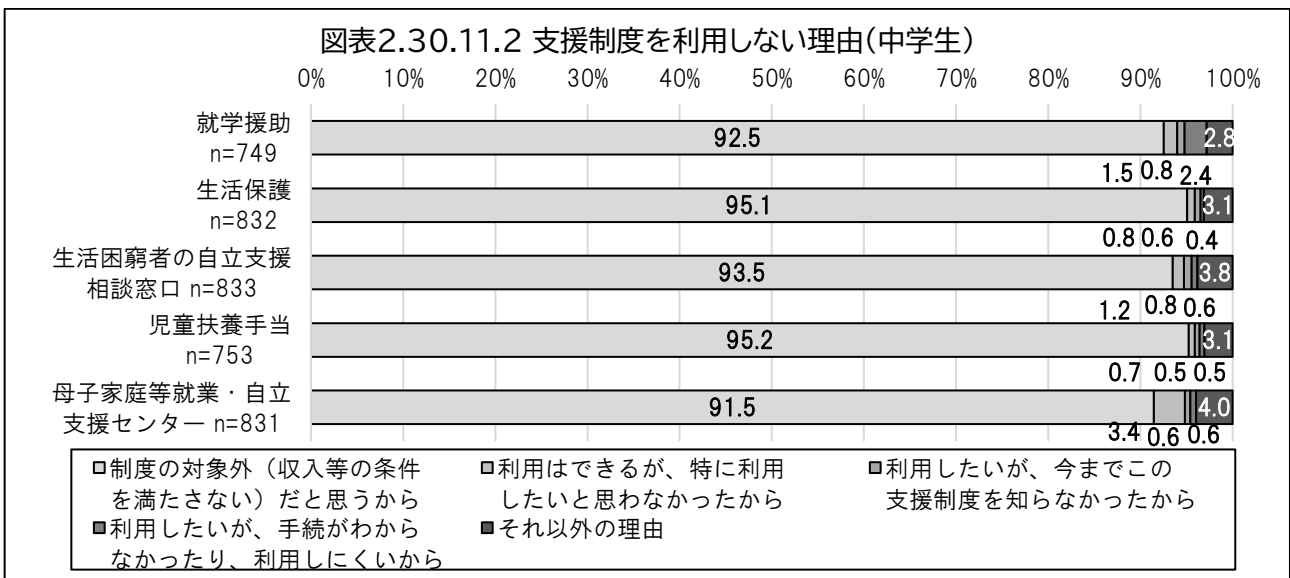
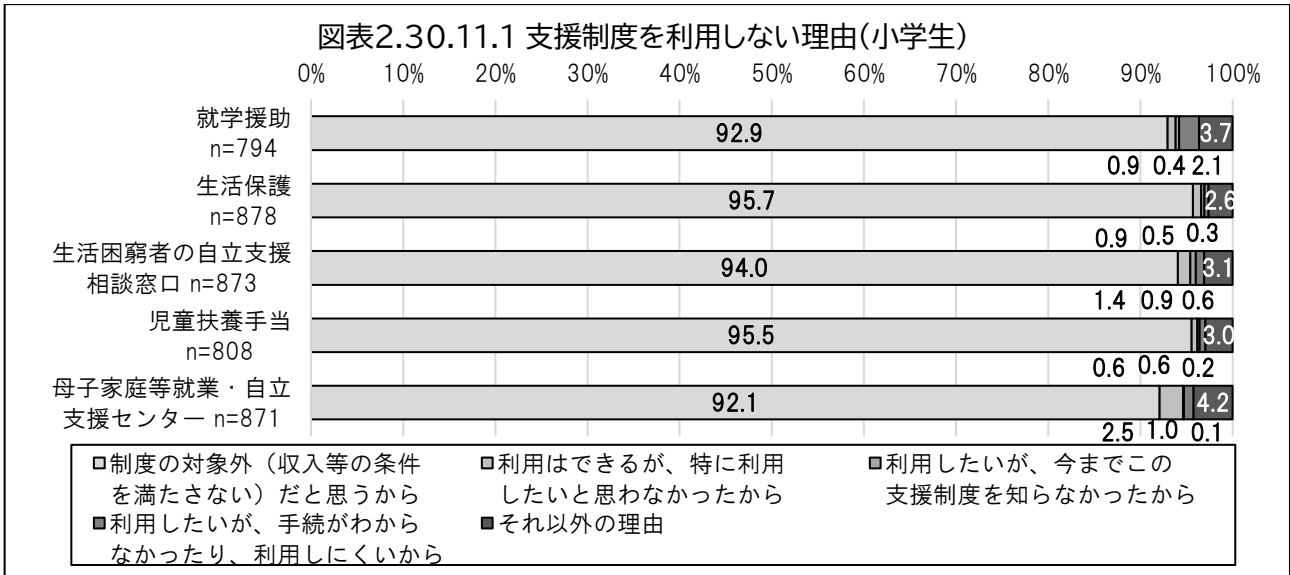
(10)支援制度を利用しない理由（全体）

各支援制度を利用していない理由について回答した割合は、小学生・中学生ともに、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が、すべての支援制度で最も高い理由となっています。



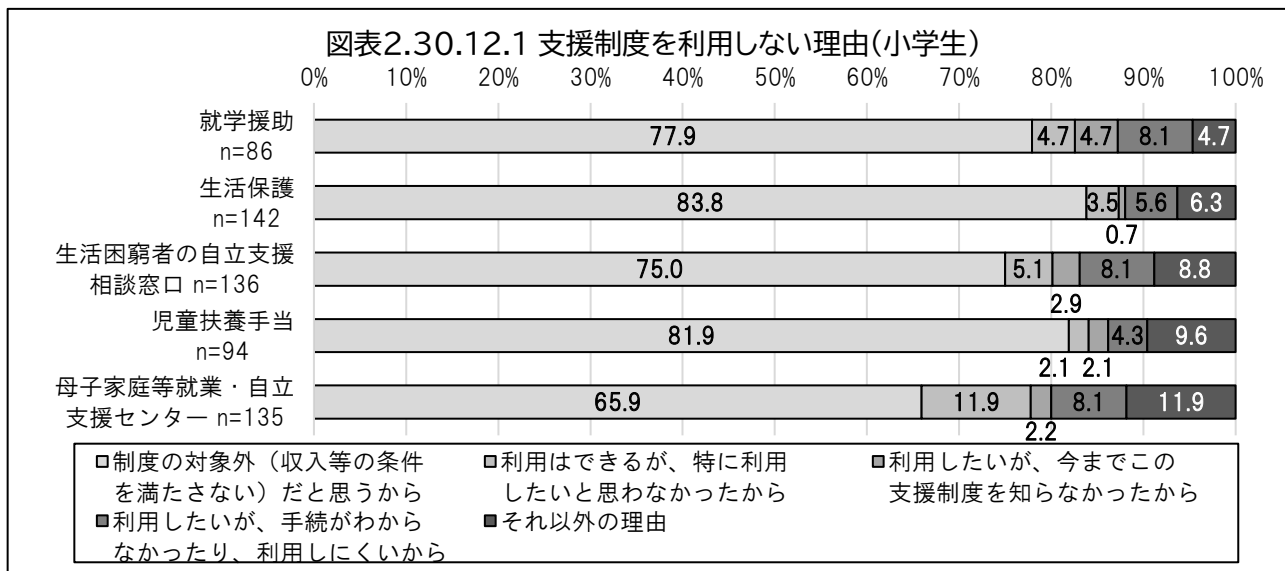
(11) 等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合の支援制度を利用しない理由

等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、小学生・中学生ともに、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が、すべての支援制度で最も高い理由となっています。

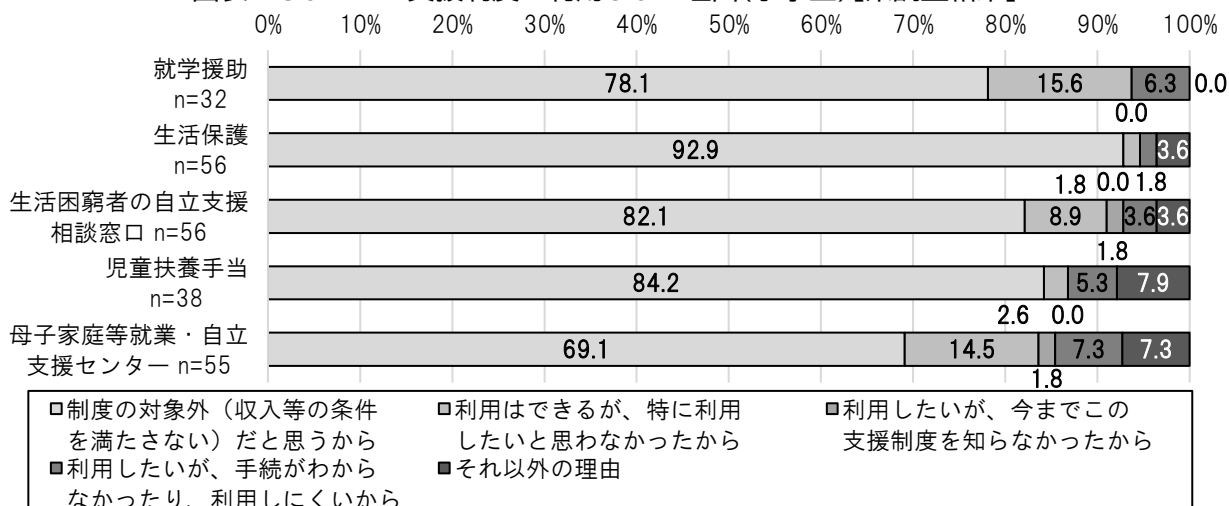


(12) 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度を利用しない理由
保護者[小学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、小学生では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の合計が、「就学援助」は12.8%、「生活困窮者の自立支援相談窓口」は11.0%、「母子家庭等就業・自立支援センター」は10.3%となっています。

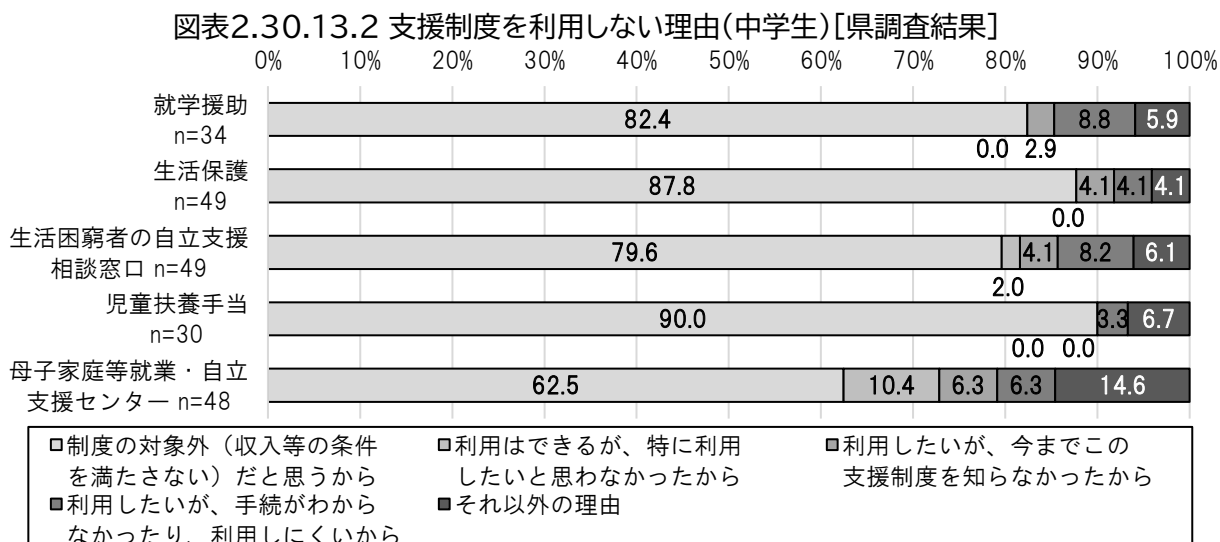
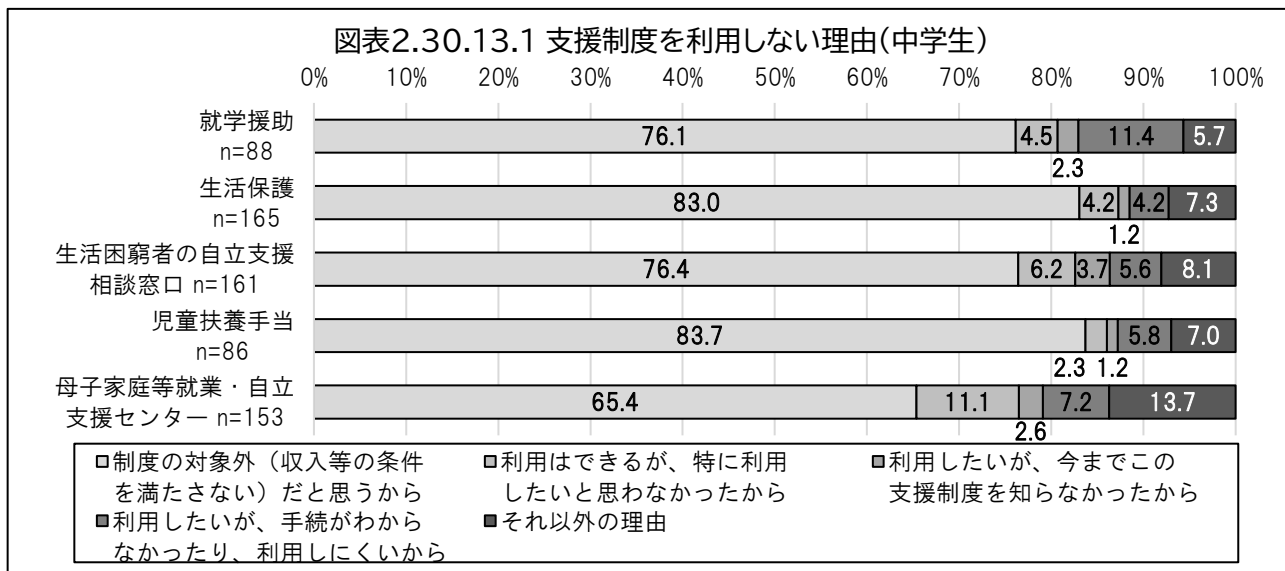


図表2.30.12.2 支援制度を利用しない理由(小学生)[県調査結果]



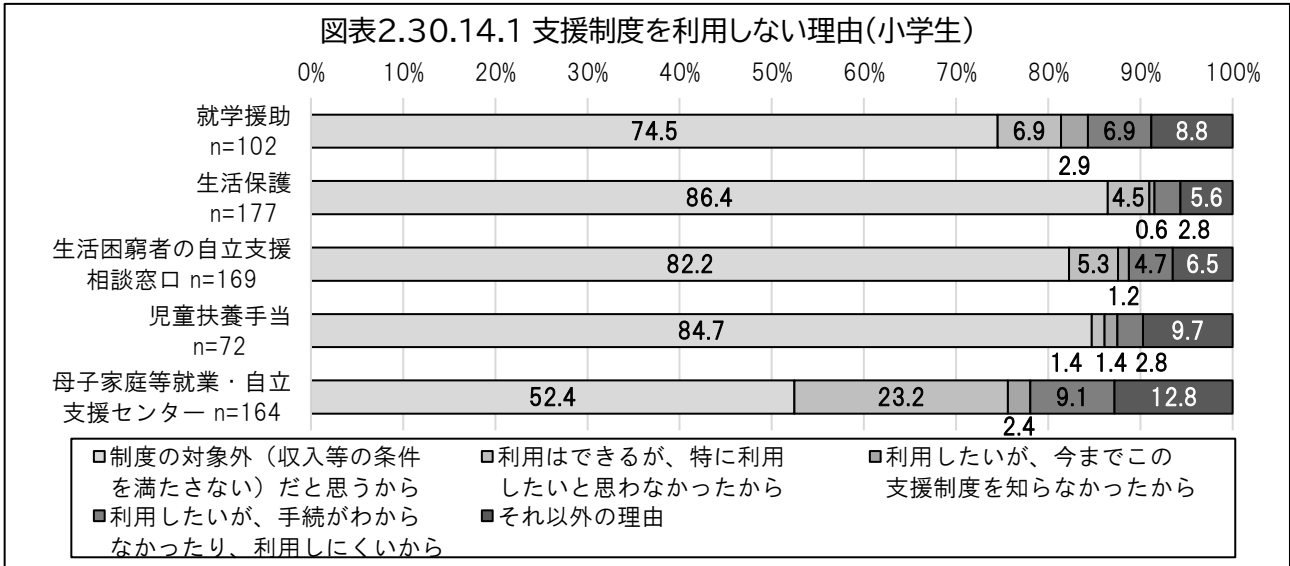
(13) 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度を利用しない理由
保護者[中学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、中学生では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の合計が、「就学援助」は 13.7%、「生活困窮者の自立支援相談窓口」は 9.3%、「母子家庭等就業・自立支援センター」は 9.8%となっています。

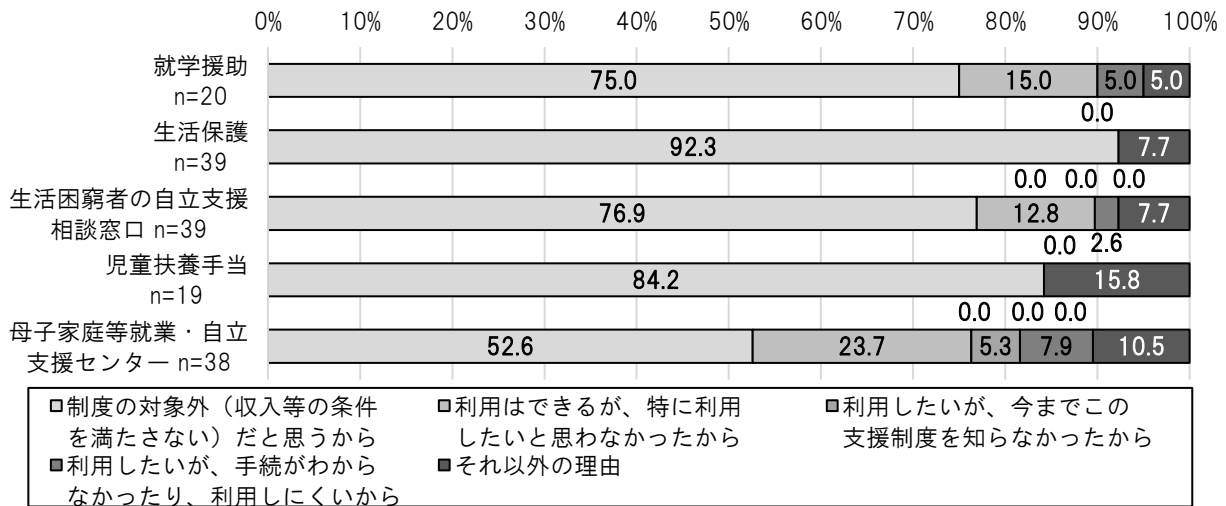


(14)世帯状況が「ひとり親世帯」の場合の支援制度を利用しない理由
保護者[小学生]（問 30. 各支援制度の利用状況）

世帯状況が「ひとり親世帯」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、小学生では「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の合計が、「就学援助」は9.8%、「母子家庭等就業・自立支援センター」は11.5%となっています。

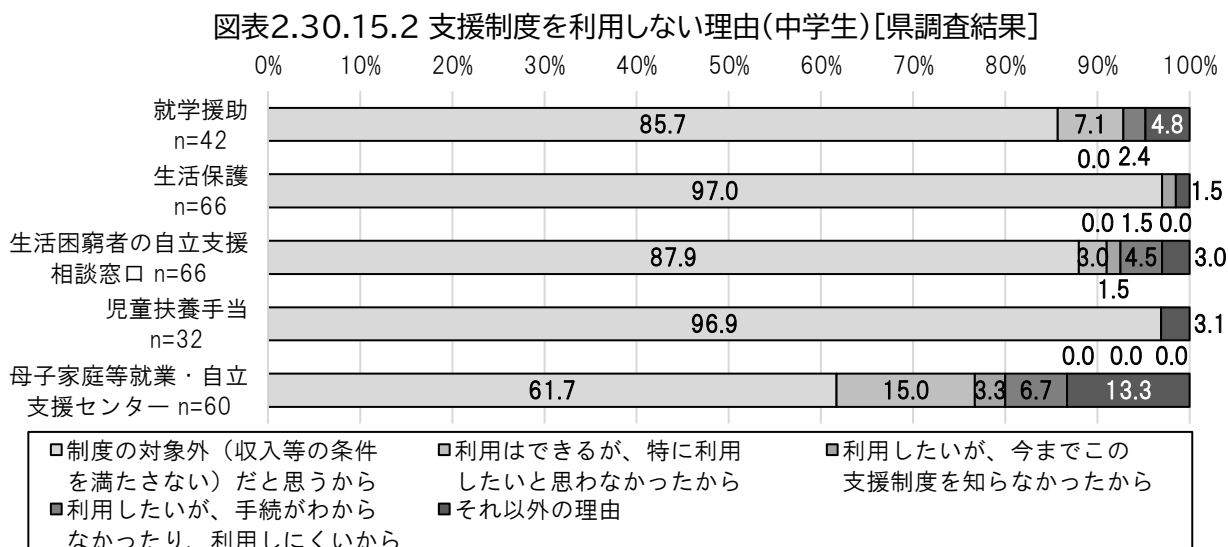
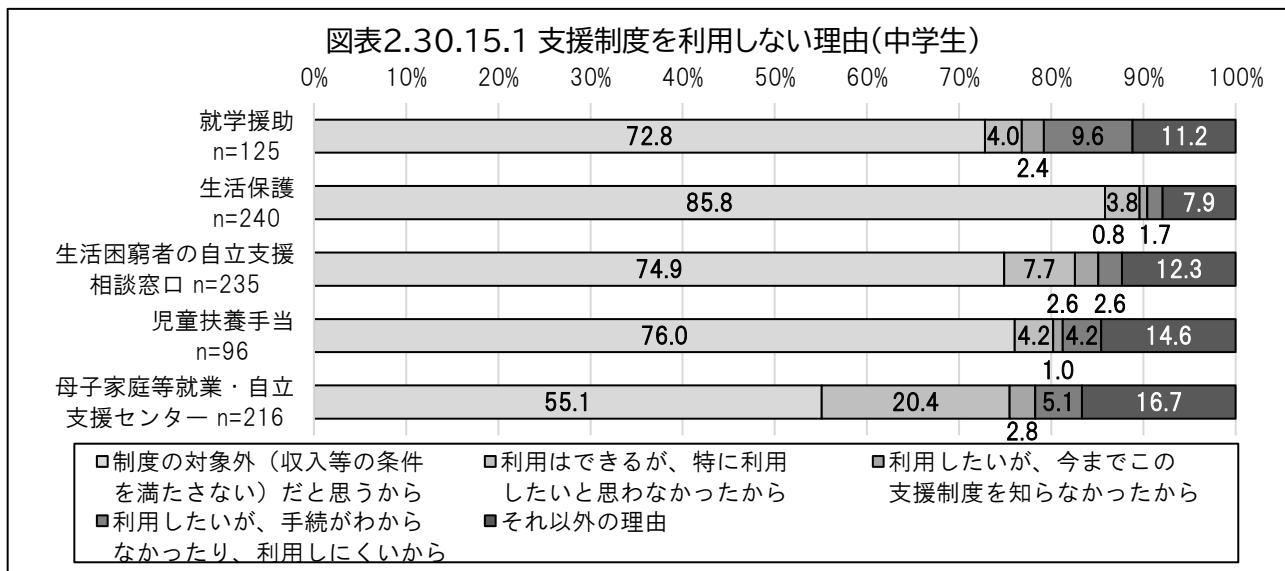


図表2.30.14.2 支援制度を利用しない理由(小学生)[県調査結果]



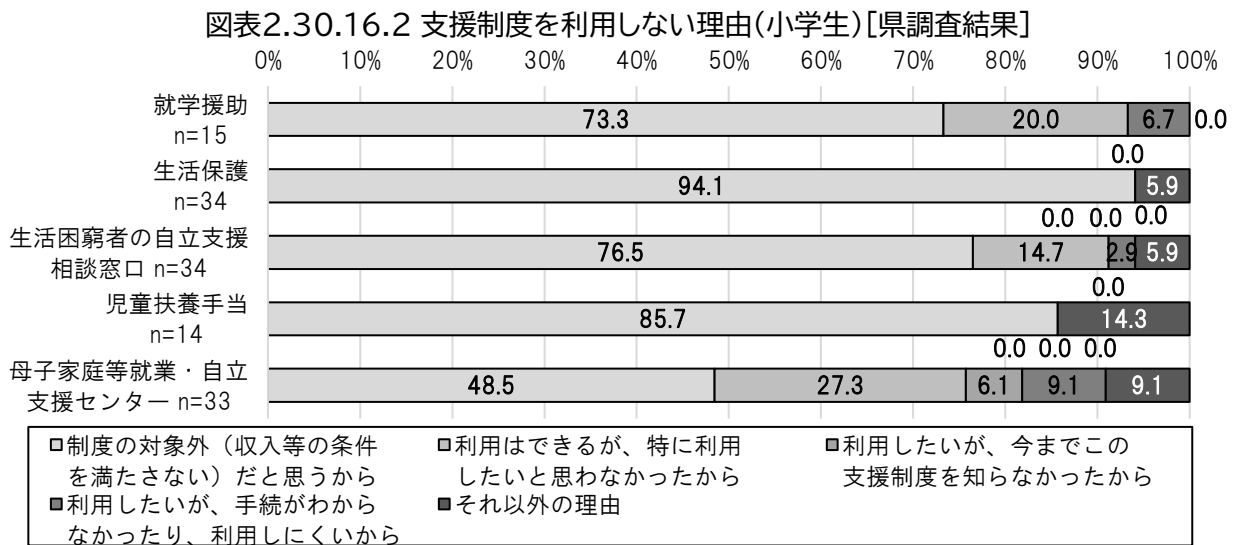
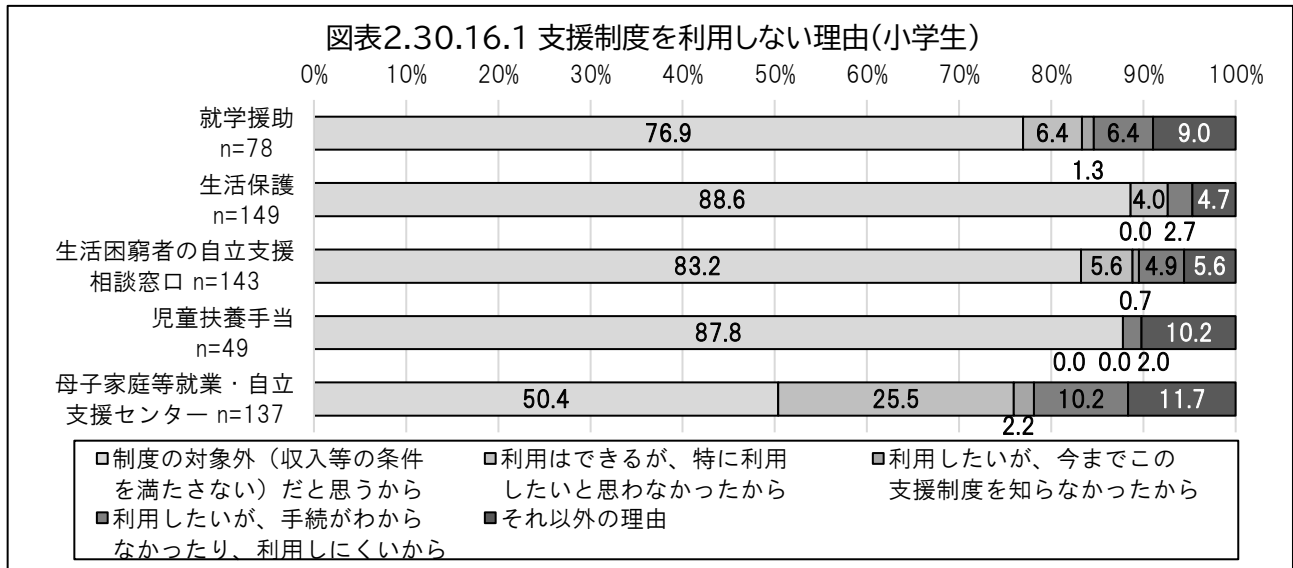
(15)世帯状況が「ひとり親世帯」の場合の支援制度を利用しない理由
保護者[中学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯状況が「ひとり親世帯」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、中学生では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の合計が、「就学援助」は 12.0%、「母子家庭等就業・自立支援センター」は 7.9%となっています。



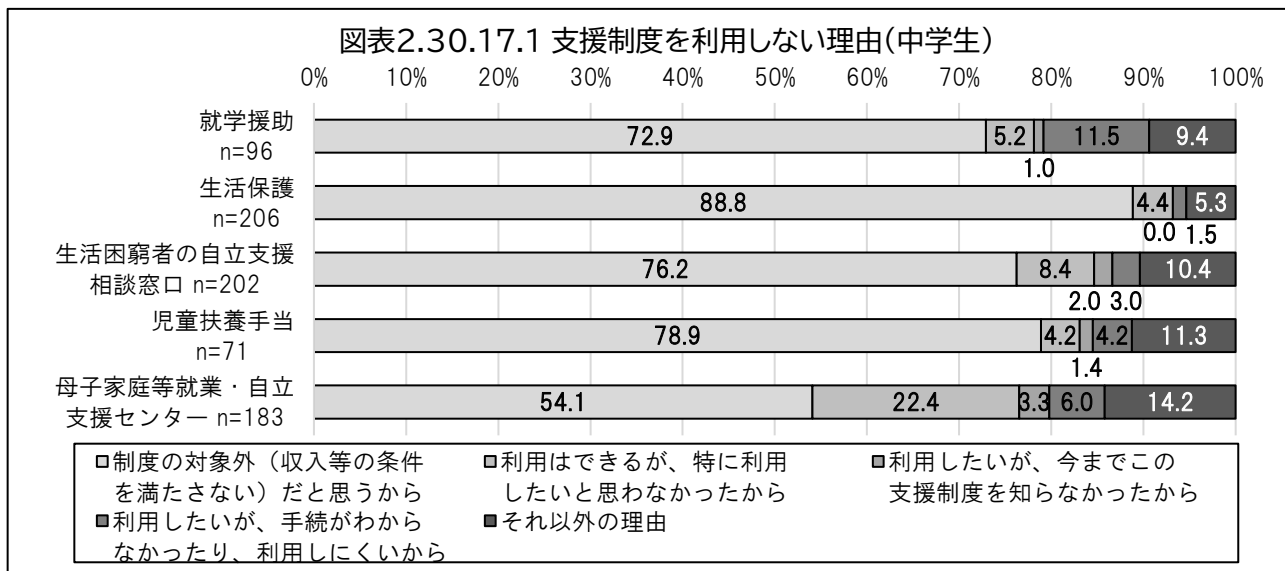
(16)世帯状況が「母子世帯」の場合の支援制度を利用しない理由
保護者[小学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯状況が「母子世帯」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」の合計が、「就学援助」は 7.7%「母子家庭等就業・自立支援センター」は 12.4%となっています。



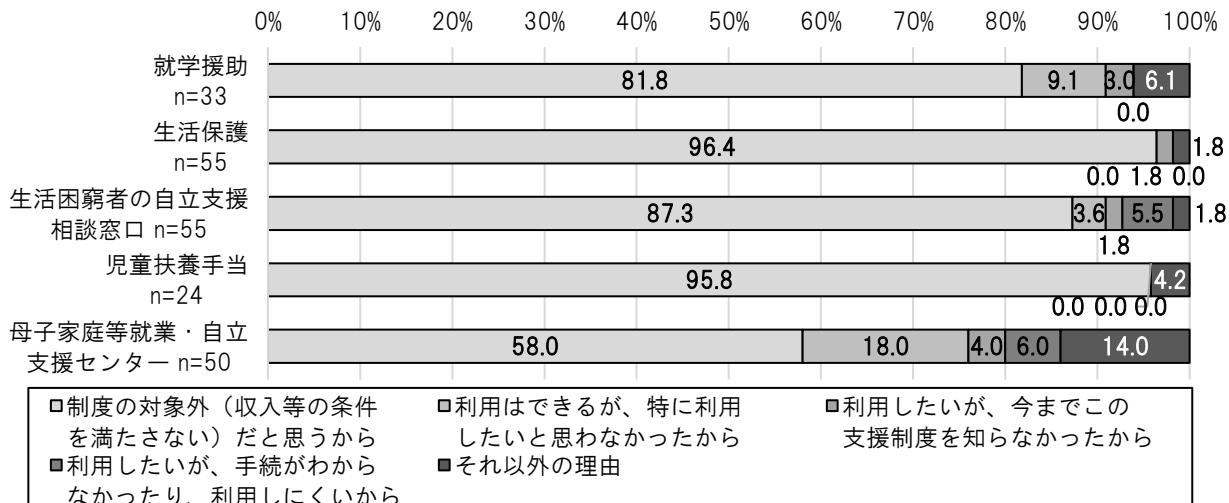
(17)世帯状況が「母子世帯」の場合の支援制度を利用しない理由
保護者[中学生] (問 30. 各支援制度の利用状況)

世帯状況が「母子世帯」の場合、各支援制度を利用しない理由について回答した割合は、中学生では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の合計が、「就学援助」は12.5%、「母子家庭等就業・自立支援センター」は9.3%となっています。



□制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから
■利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
▣利用できるが、特に利用したいと思わなかったから
■それ以外の理由
■利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから

図表2.30.17.2 支援制度を利用しない理由(中学生)[県調査結果]



□制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから
■利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
▣利用できるが、特に利用したいと思わなかったから
■それ以外の理由
■利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから

問31. 富山市の子育てに関する施策の中で今後さらに充実して欲しいと思う施策は何ですか。

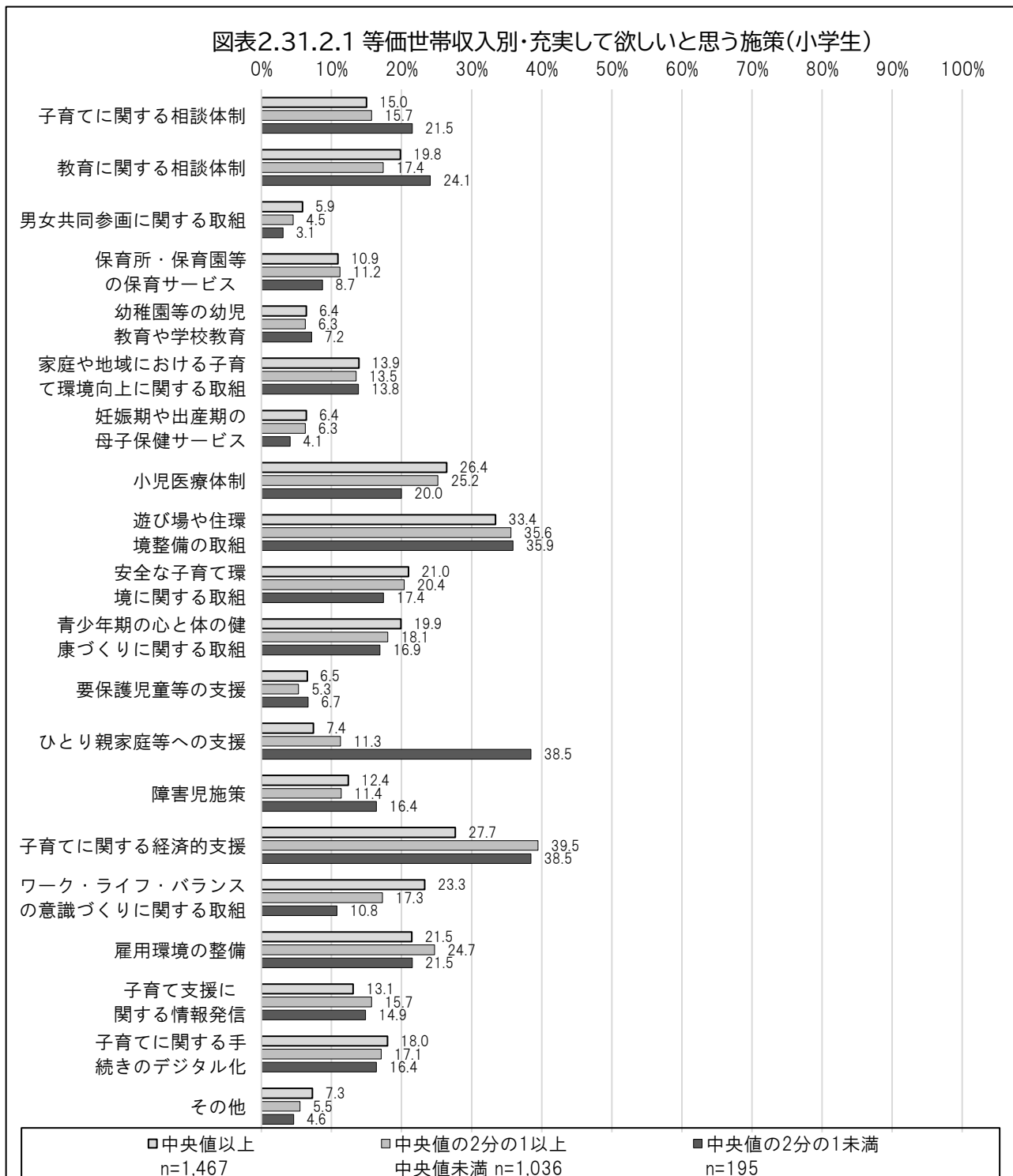
(1)全体

富山市の子育てに関する施策の中で今後充実して欲しいと思う施策について、小学生では、「遊び場や住環境整備の取組」が34.2%と最も高く、次いで「子育てに関する経済的支援」が32.6%、「小児医療体制」が25.4%となっています。中学生では、「子育てに関する経済的支援」が30.3%と最も高く、次いで「雇用環境の整備」が22.5%となっています。

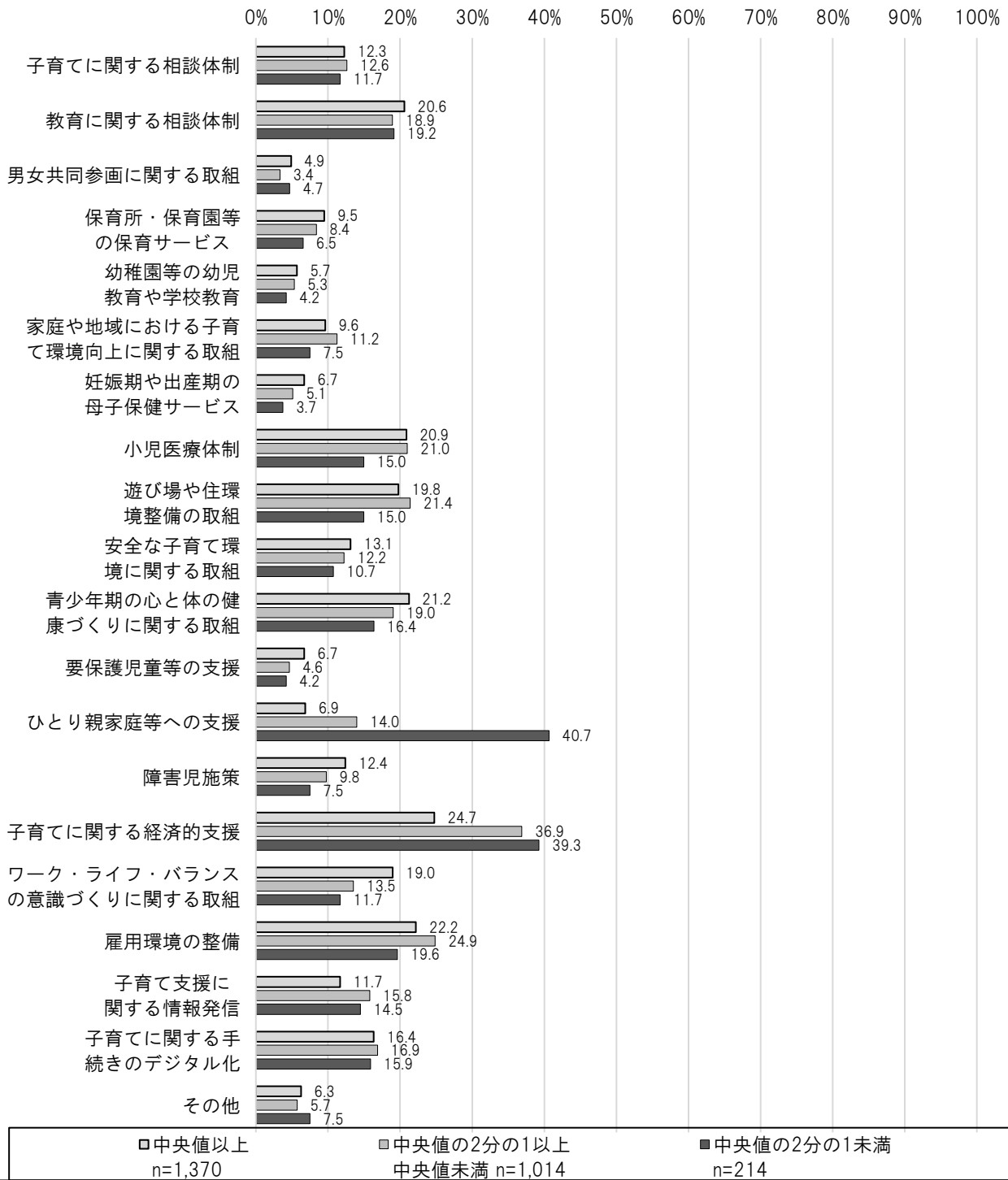


(2)等価世帯収入別

富山市の子育てに関する施策の中で今後充実して欲しいと思う施策について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「ひとり親家庭等への支援」が38.5%、40.7%、「子育てに関する経済的支援」が38.5%、39.3%と「中央値以上」の世帯と比較して高くなっています。また小学生では、「子育てに関する相談体制」（21.5%）、「教育に関する相談体制」（24.1%）、「障害児施策」（16.4%）も他の水準と比較して高くなっています。

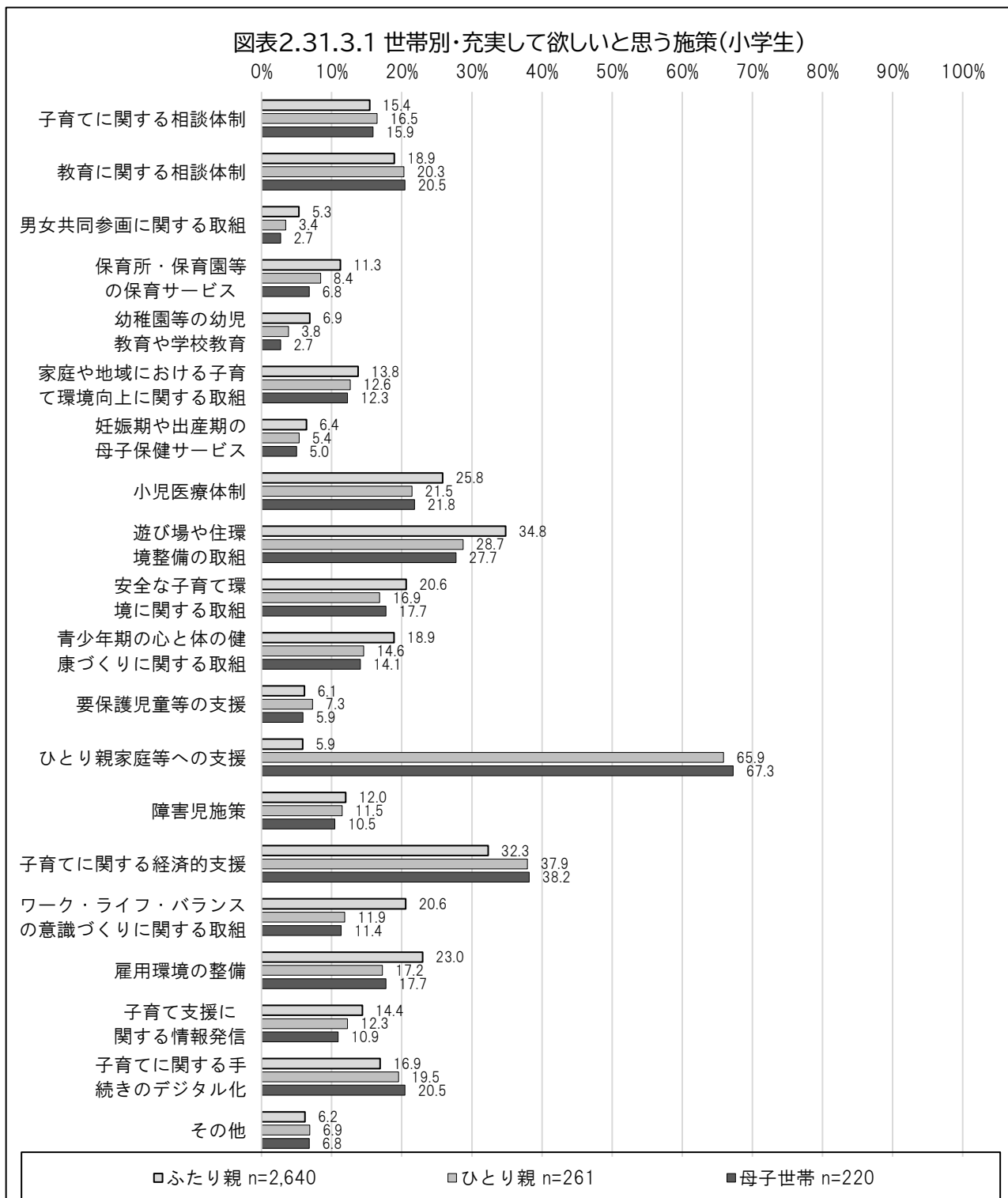


図表2.31.2.2 等価世帯収入別・充実して欲しいと思う施策(中学生)

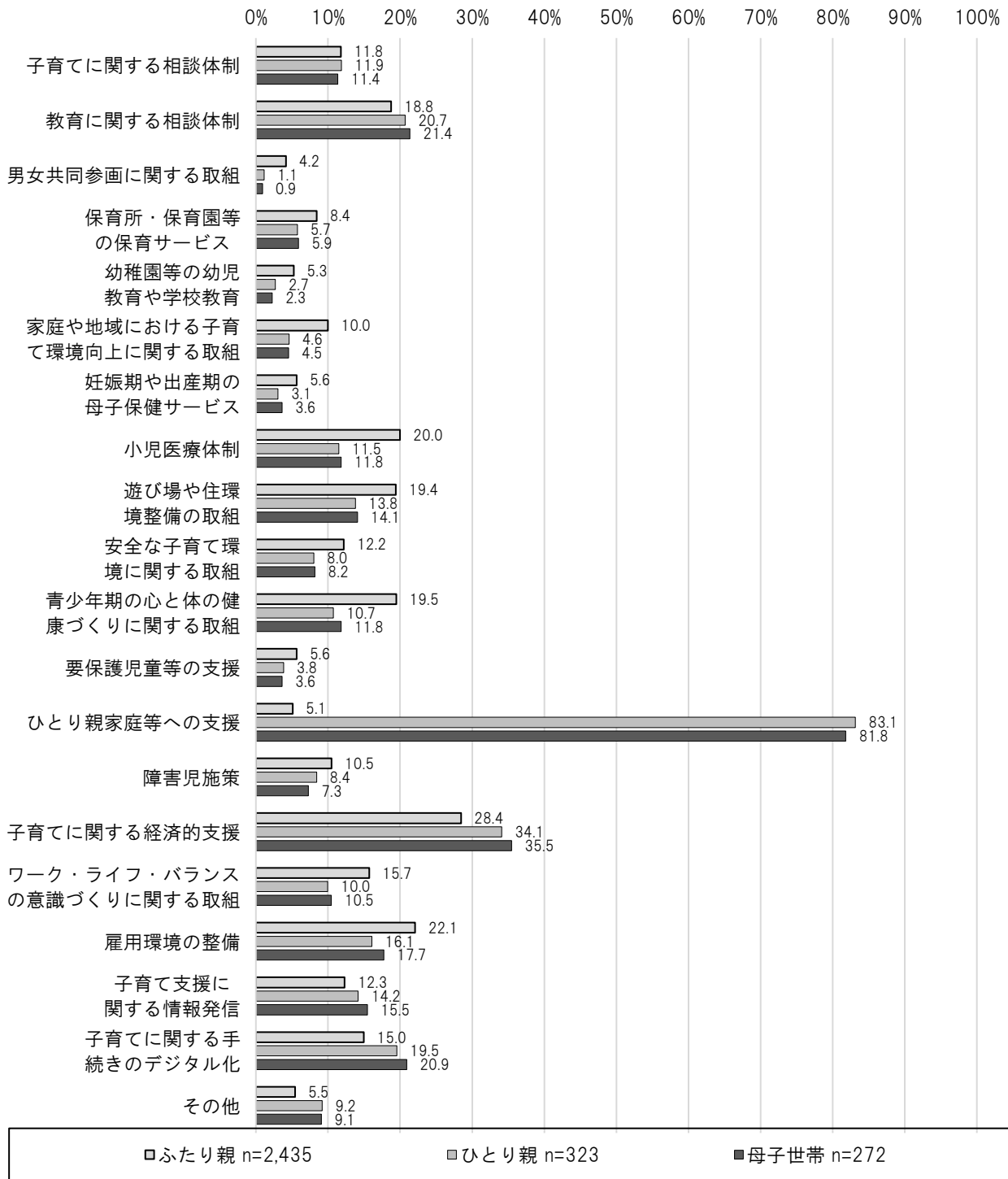


(3)世帯別

富山市の子育てに関する施策の中で今後充実して欲しいと思う施策について、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、ひとり親世帯では「ひとり親家庭等への支援」が65.9%、83.1%、「子育てに関する経済的支援」が37.9%、34.1%とふたり親世帯に比較して高くなっています。



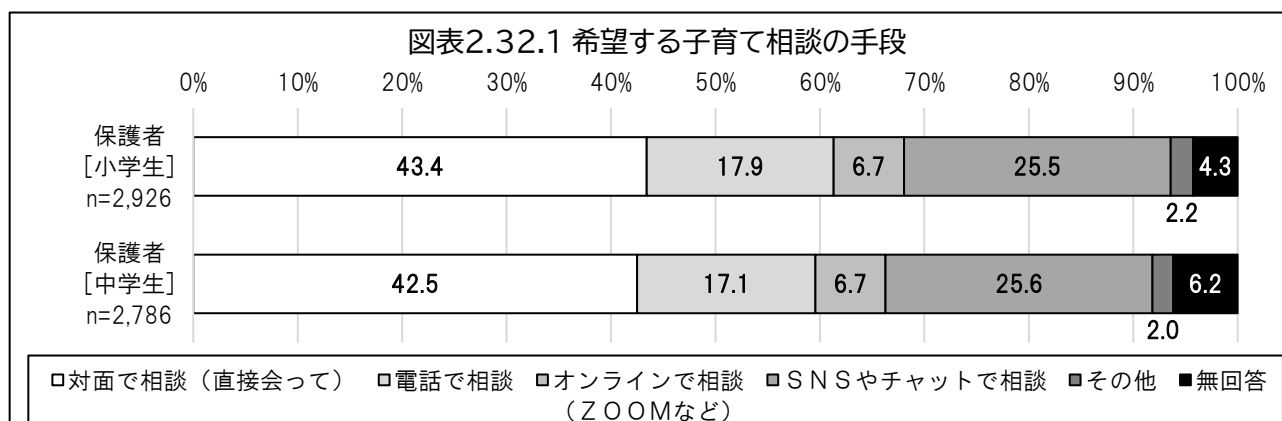
図表2.31.3.2 世帯別・充実して欲しいと思う施策(中学生)



問3 2. 子育ての相談をする手段として、どのような方法を希望しますか。

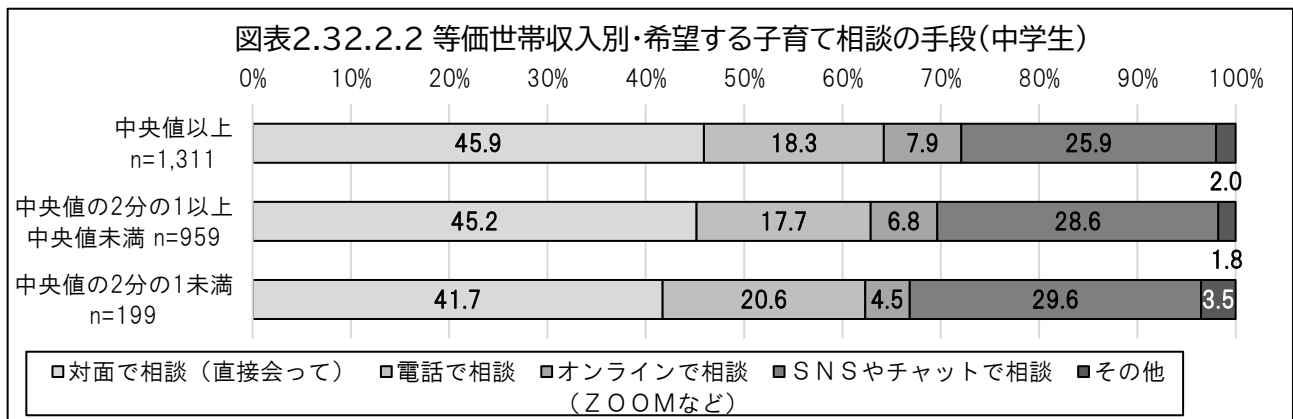
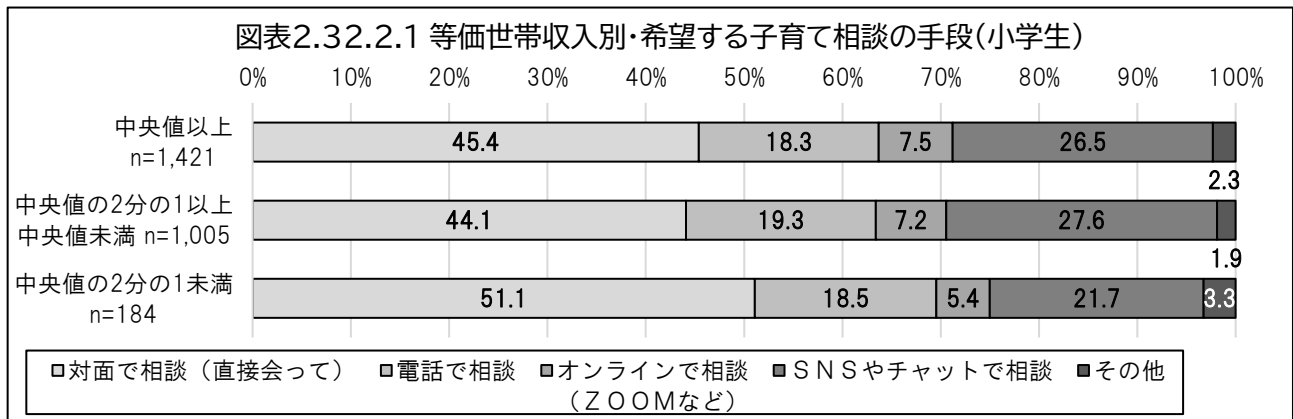
(1)全体

子育ての相談をする手段として希望する方法について、小学生・中学生ともに、「対面で相談（直接会って）」が43.4%、42.5%と最も高く、次いで「SNSやチャットで相談」が25.5%、25.6%、「電話で相談」が17.9%、17.1%となっています。



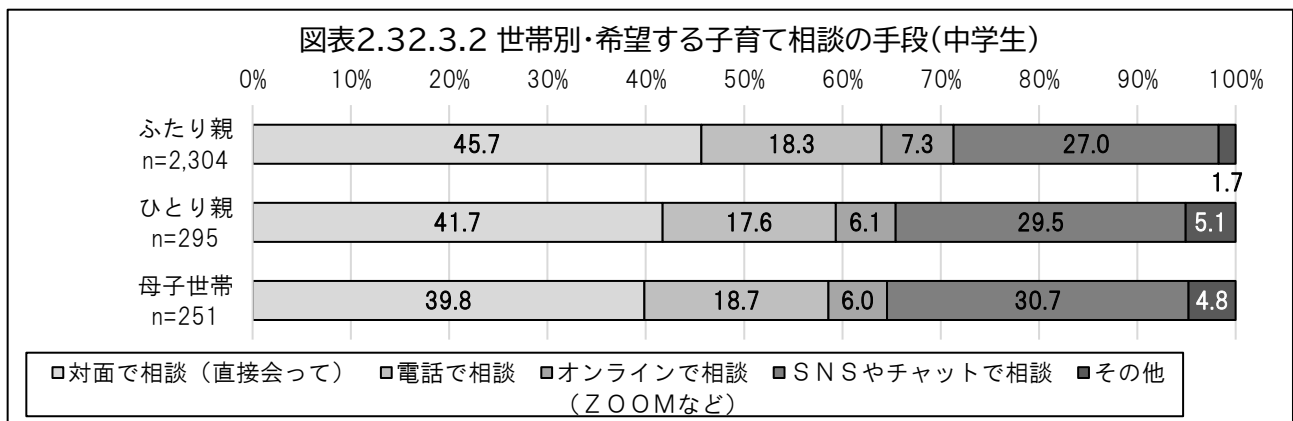
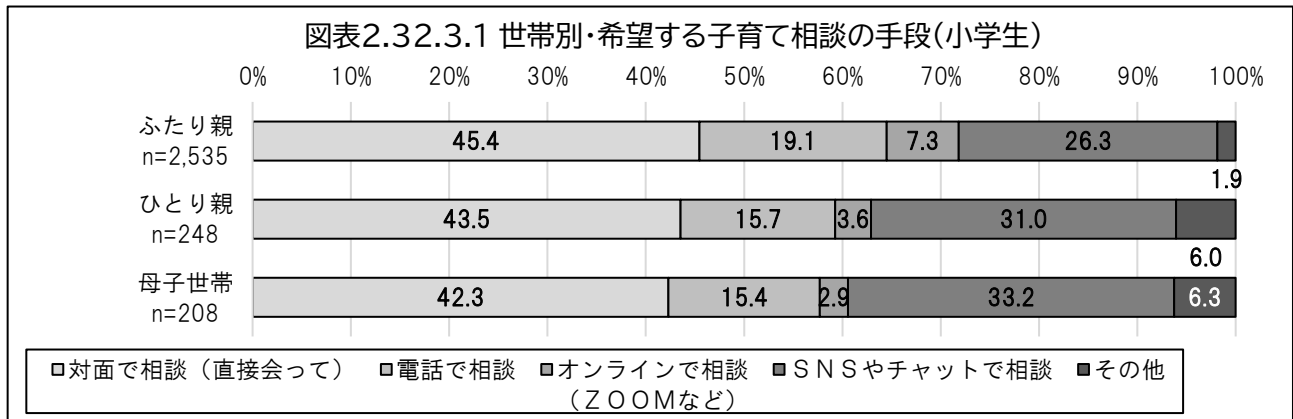
(2)等価世帯収入別

希望する悩み事の相談方法について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「対面で相談（直接会って）」と回答した割合が、小学生は51.1%、中学生は41.7%となり、全体（43.4%、42.5%）と比較して、小学生は高く、中学生はやや低くなっています。また、「SNSやチャットで相談」と回答した割合は、小学生は21.7%、中学生は29.6%となり、全体（25.5%、25.6%）と比較して、小学生は低く、中学生は高くなっています。



(3)世帯別

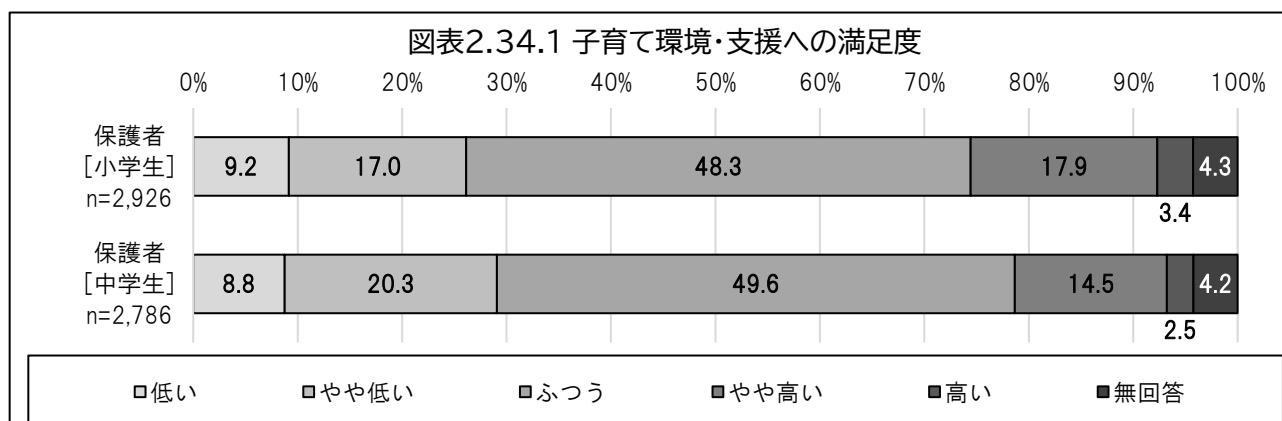
希望する悩み事の相談方法について、世帯別にみると、ひとり親世帯では、「対面で相談(直接会って)」と回答した割合が、小学生は43.5%、中学生は41.7%となり、全体(43.4%、42.5%)と同程度となっています。また、「SNSやチャットで相談」と回答した割合は、小学生は31.0%、中学生は29.5%となり、全体(25.5%、25.6%)と比較して高くなっています。



問3 4. お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

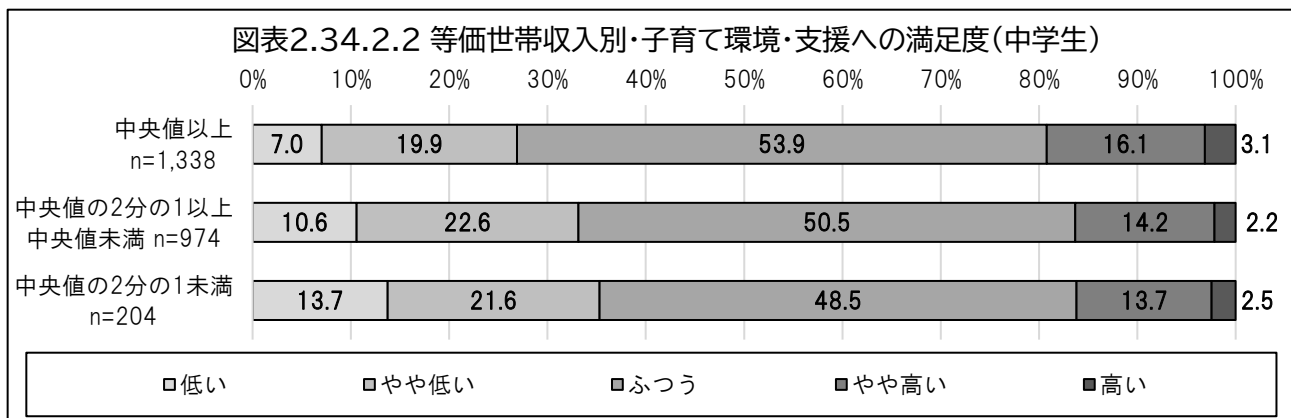
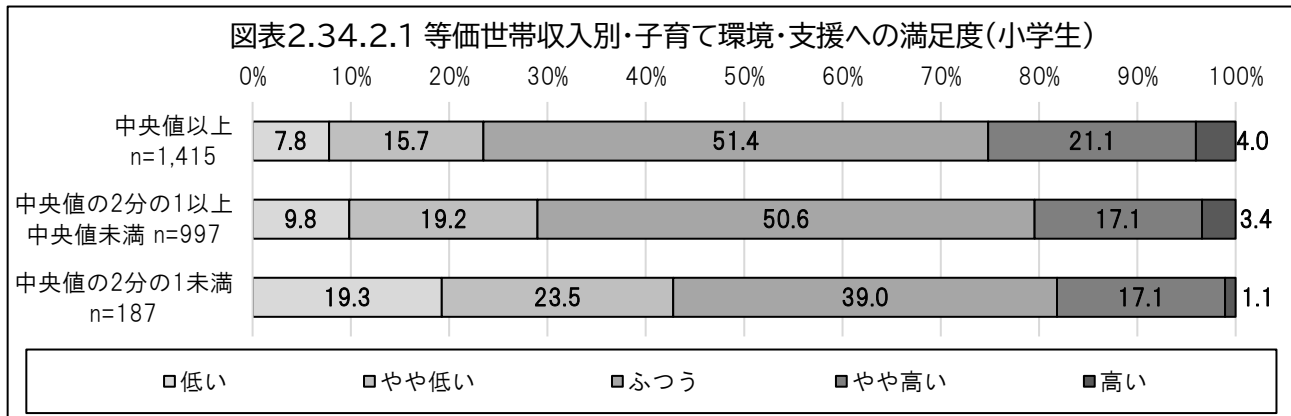
(1)全体

子育ての環境や支援への満足度について、満足度が高いと考えている方（「高い」と「やや高い」の合計）は、小学生が21.3%、中学生が17.0%、満足度が低いと考えている方（「低い」と「やや低い」の合計）は、小学生が26.2%、中学生が29.1%と、満足度が低いと考えている方が上回っています。



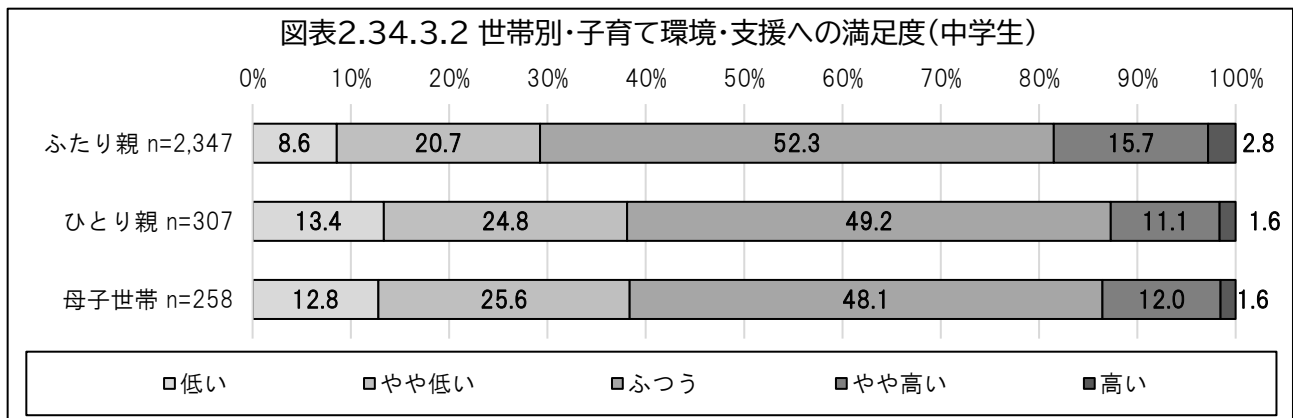
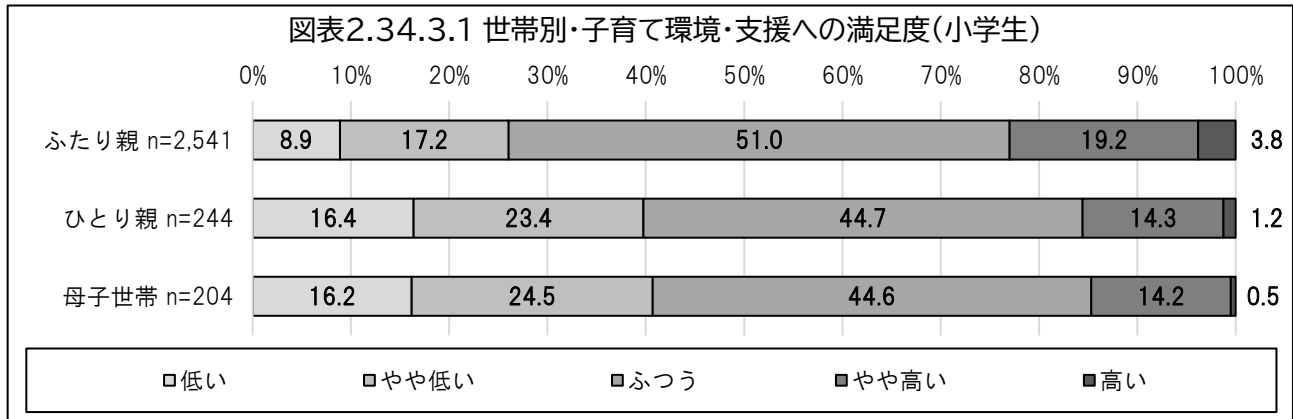
(2)等価世帯収入別

子育ての環境や支援への満足度について、等価世帯収入別にみると、満足度が低いと考えている方（「低い」と「やや低い」の合計）は、全体では小学生が26.2%、中学生が29.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が42.8%、中学生が35.3%と高くなっています。



(3)世帯別

子育ての環境や支援への満足度について、世帯別にみると、満足度が低いと考えている方（「低い」と「やや低い」の合計）は、全体では小学生が26.2%、中学生が29.1%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が39.8%、中学生が38.2%と高くなっています。



**生活実態調査
小学生・中学生編**

3. 生活実態調査（小学生・中学生）

3.1 調査回答者の基本属性等

問1. あなたの性別を教えてください。

調査回答者の性別は、小学生では「男」が49.8%、「女」が48.3%、「その他・答えたくない」が1.0%、中学生では「男」が48.9%、「女」が49.0%、「その他・答えたくない」が1.3%となっている。

図表 3.1.1 子どもの性別

		男	女	その他・ 答えたくない	無回答	全体
小学生	件数	1,454	1,410	28	28	2,920
	割合	49.8%	48.3%	1.0%	1.0%	100.0%
中学生	件数	1,369	1,372	37	22	2,800
	割合	48.9%	49.0%	1.3%	0.8%	100.0%
(県)小学生	件数	371	452	10	3	836
	割合	44.4%	54.1%	1.2%	0.4%	100.0%
(県)中学生	件数	335	345	4	3	687
	割合	48.8%	50.2%	0.6%	0.4%	100.0%

図表 3.1.2 子どもの性別(等価世帯収入別)

		男	女	その他・ 答えたくない	全体	
小学生	中央値以上	件数	726	704	12	1,442
		割合	50.3%	48.8%	0.8%	100.0%
	中央値の2分 の1以上中央 値未満	件数	519	490	9	1,018
		割合	51.0%	48.1%	0.9%	100.0%
	中央値の2分 の1未満	件数	92	95	5	192
		割合	47.9%	49.5%	2.6%	100.0%
中学生	中央値以上	件数	591	592	21	1,204
		割合	49.1%	49.2%	1.7%	100.0%
	中央値の2分 の1以上中央 値未満	件数	442	445	9	896
		割合	49.3%	49.7%	1.0%	100.0%
	中央値の2分 の1未満	件数	98	81	1	180
		割合	54.4%	45.0%	0.6%	100.0%

※等価世帯収入別の表は無回答を含まないため、小学生・中学生別の各項目の合計値は、それぞれの総和と一致しない。

図表 3.1.3 子どもとの続柄(世帯別)

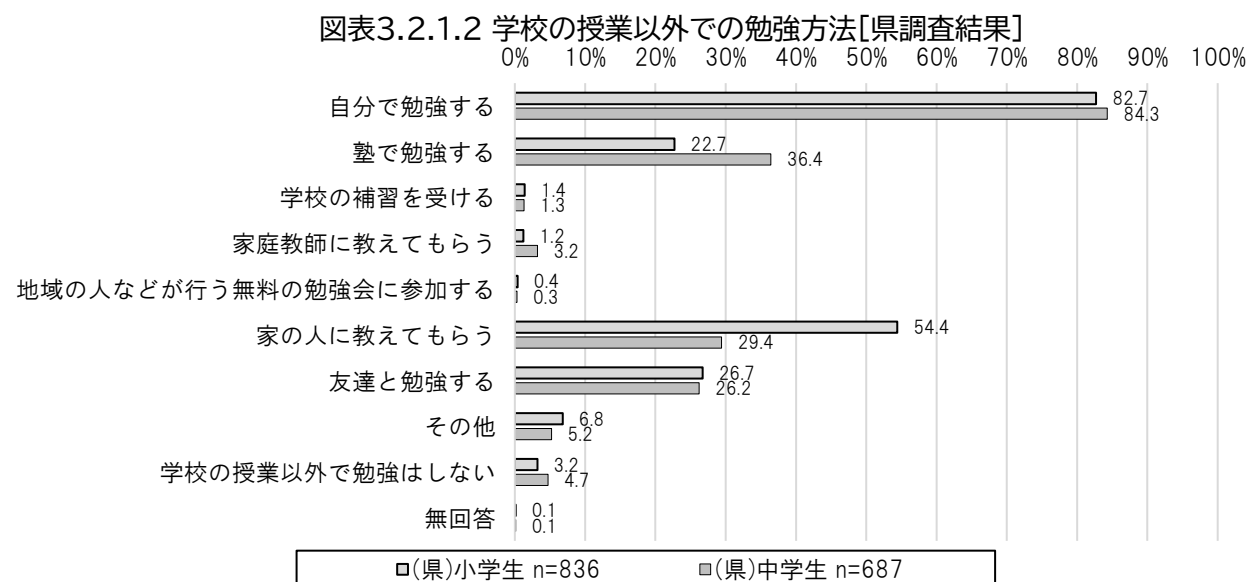
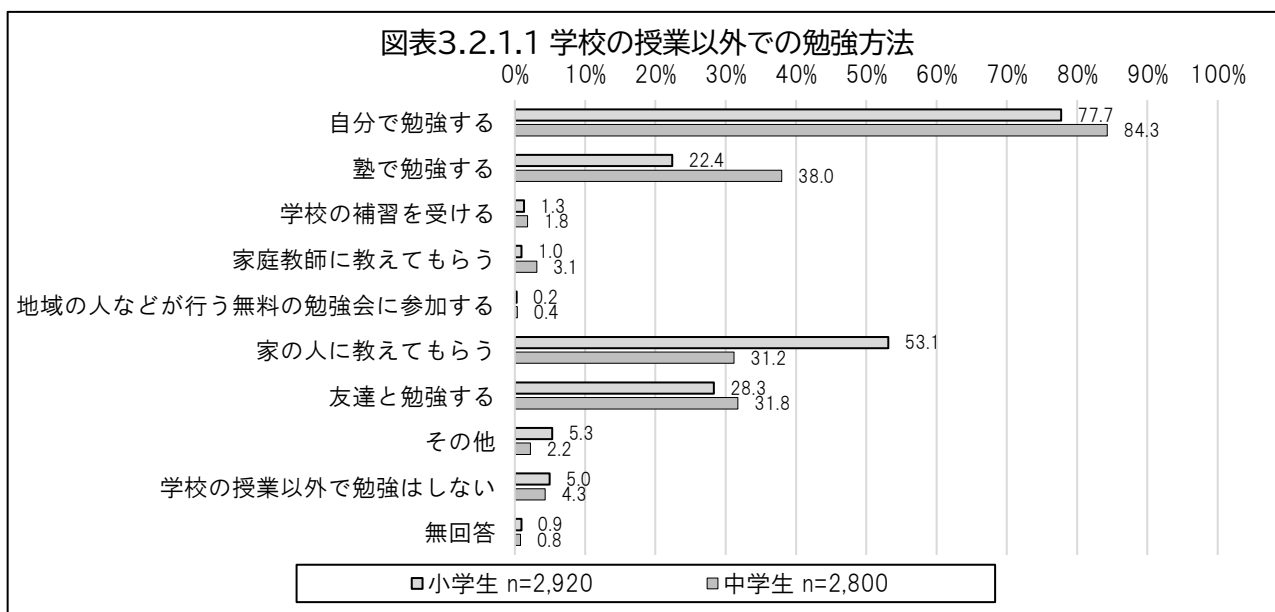
			男	女	その他・ 答えたくない	全体
小学生	ふたり親	件数	1,294	1,277	26	2,597
		割合	49.8%	49.2%	1.0%	100.0%
	ひとり親	件数	137	117	2	256
		割合	53.5%	45.7%	0.8%	100.0%
	母子世帯	件数	116	98	2	216
		割合	53.7%	45.4%	0.9%	100.0%
中学生	ふたり親	件数	1,047	1,059	30	2,136
		割合	49.0%	49.6%	1.4%	100.0%
	ひとり親	件数	146	133	1	280
		割合	52.1%	47.5%	0.4%	100.0%
	母子世帯	件数	121	115	1	237
		割合	51.1%	48.5%	0.4%	100.0%

※世帯別の表は無回答を含まないため、小学生・中学生別の各項目の合計値は、それぞれの総和と一致しない。

問2. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

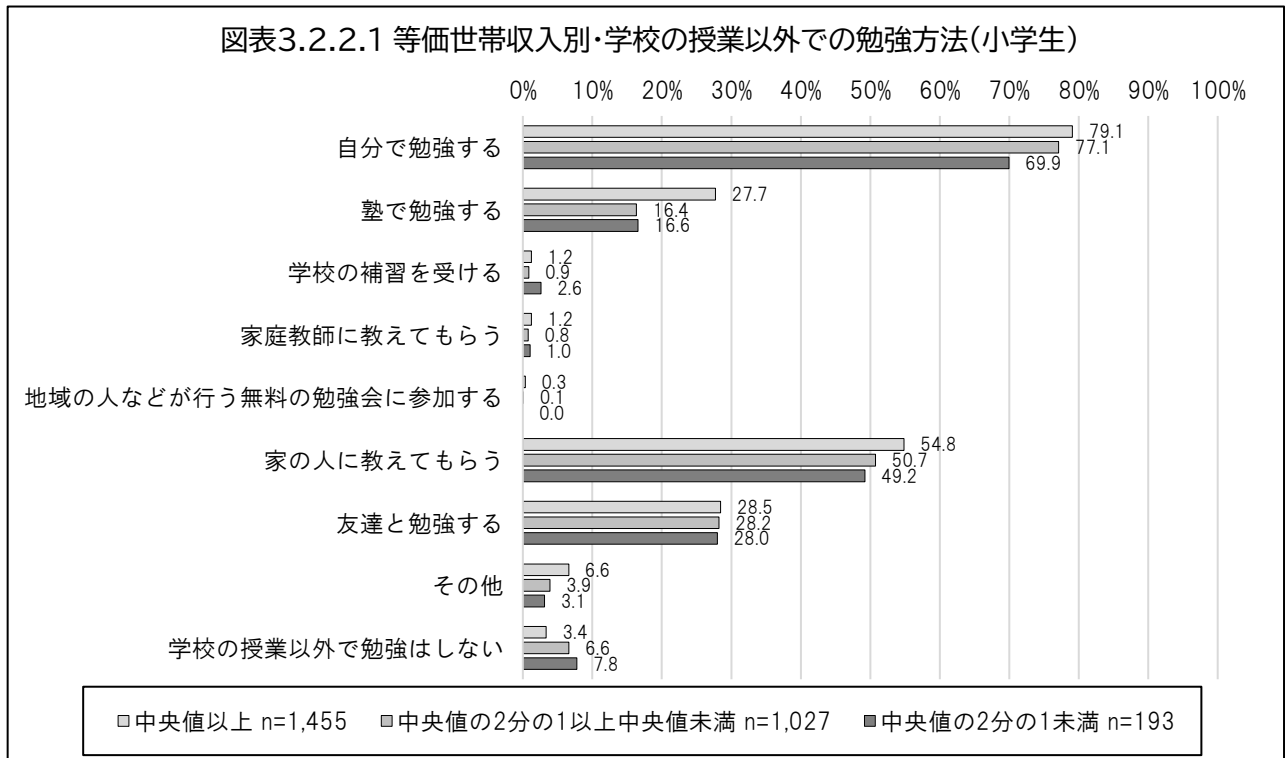
(1)全体

普段学校の授業以外での勉強方法について、小学生では「自分で勉強する」が77.7%、「家の人に教えてもらう」が53.1%、中学生では「自分で勉強する」が84.3%、「塾で勉強する」が38.0%となっています。小学生と中学生を比較すると、小学生は「家の人に教えてもらう」が21.9ポイント高く、中学生は「塾で勉強する」が15.6ポイント高くなっています。



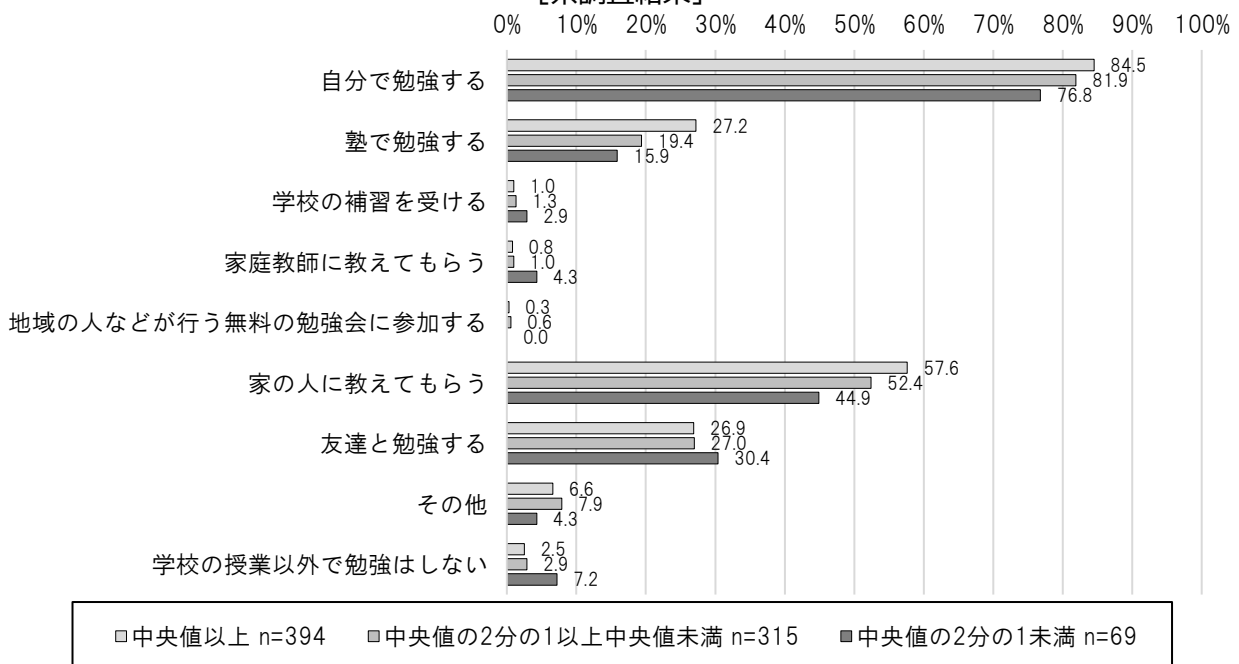
(2)等価世帯収入別・小学生（問2.授業以外での勉強方法）

普段学校の授業以外での勉強方法について、等価世帯収入別にみると、小学生は、「中央値以上の世帯」では、「自分で勉強する」（79.1%）、「塾で勉強する」（27.7%）、「家の人に教えてもらう」（54.8%）が、他の世帯と比較して高くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「学校の授業以外で勉強はしない」（7.8%）が他の世帯と比較して高くなっています。



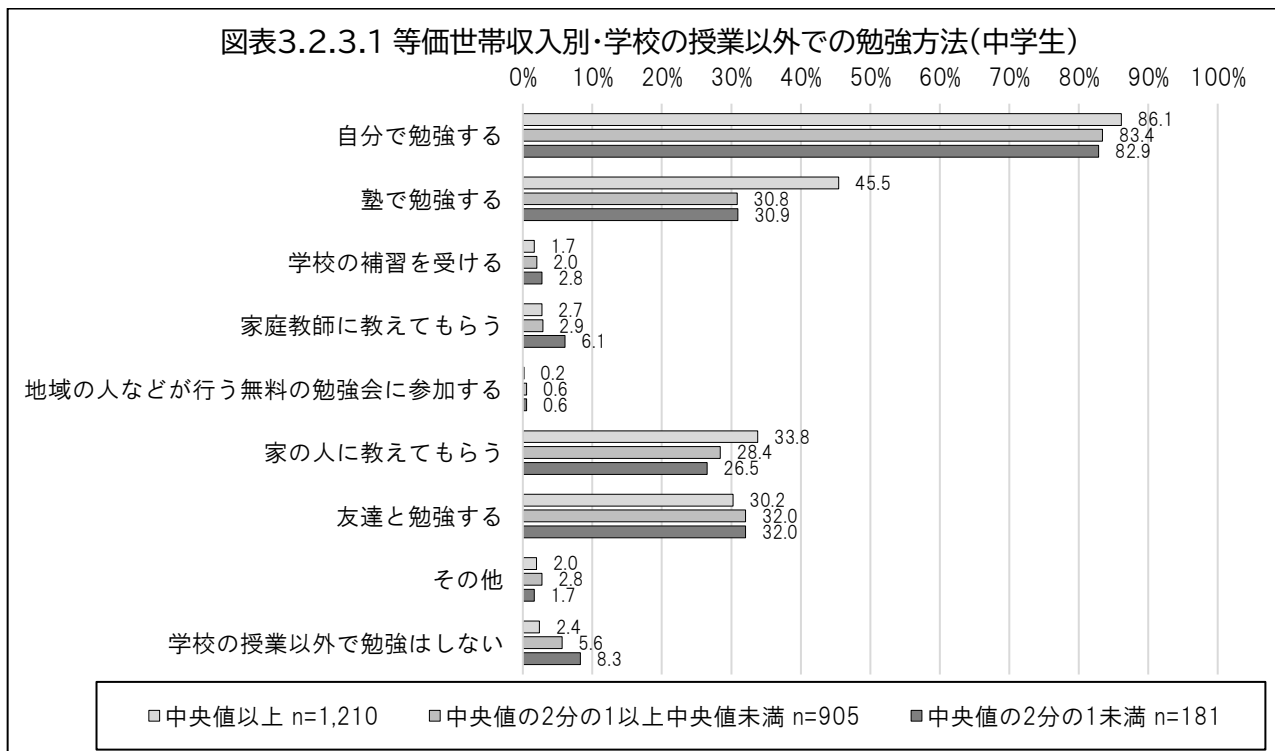
図表3.2.2.2 等価世帯収入別・学校の授業以外での勉強方法(小学生)

[県調査結果]



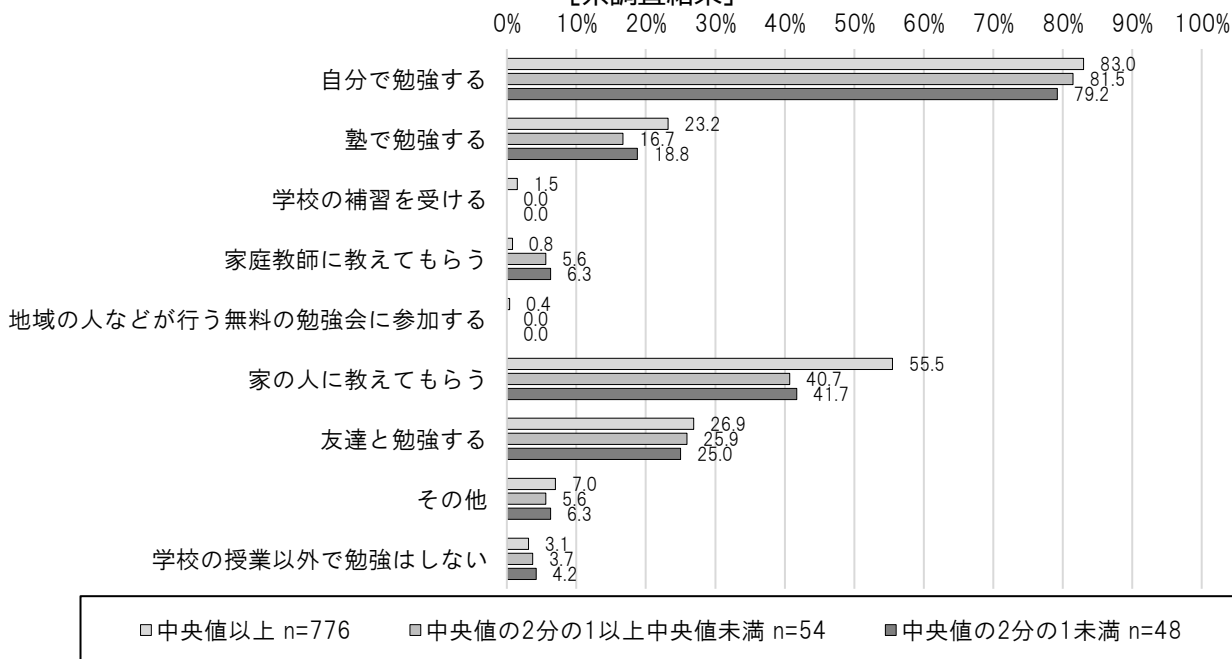
(3)等価世帯収入別・中学生（問 2. 授業以外での勉強方法）

普段学校の授業以外での勉強方法について、等価世帯収入別にみると、中学生は、「中央値以上の世帯」では、「自分で勉強する」（86.1%）、「塾で勉強する」（45.5%）、「家の人に教えてもらう」（33.8%）が、他の世帯と比較して高くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「学校の授業以外で勉強はしない」（8.3%）、「家庭教師に教えてもらう」（6.1%）が他の世帯と比較して高くなっています。



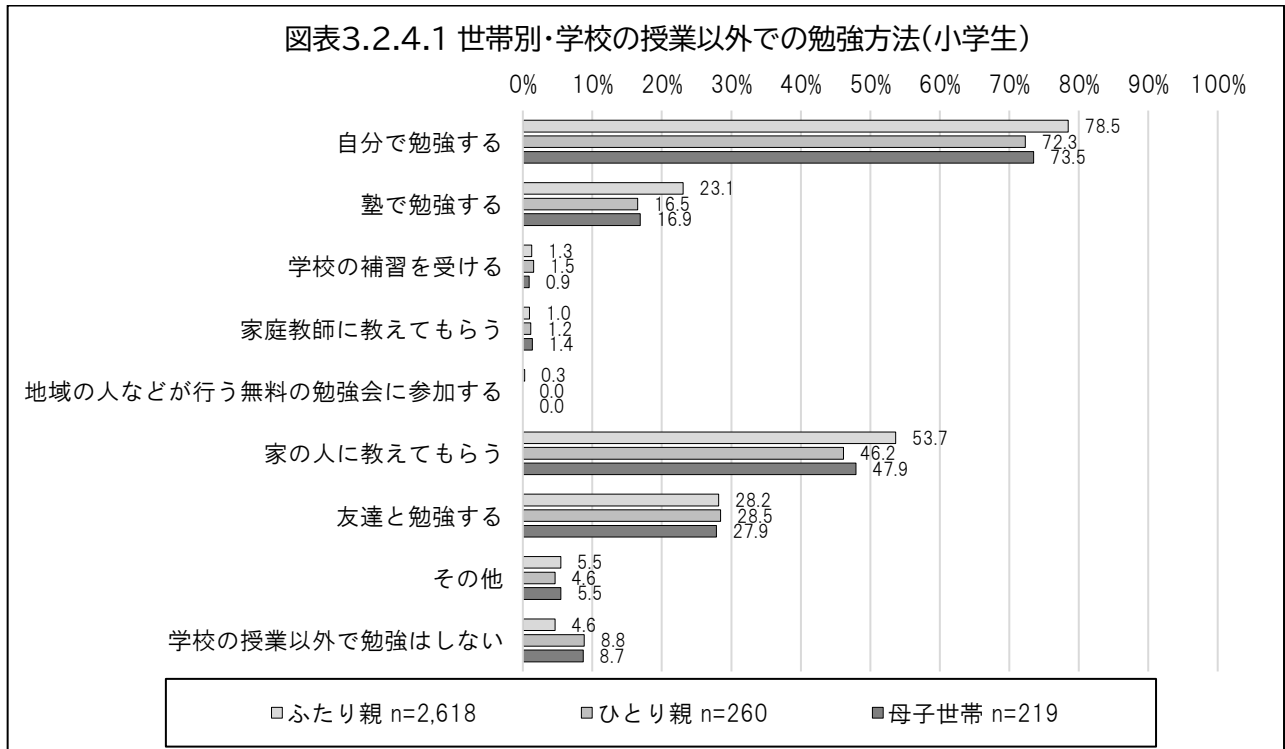
図表3.2.3.2 等価世帯収入別・学校の授業以外での勉強方法(中学生)

【県調査結果】

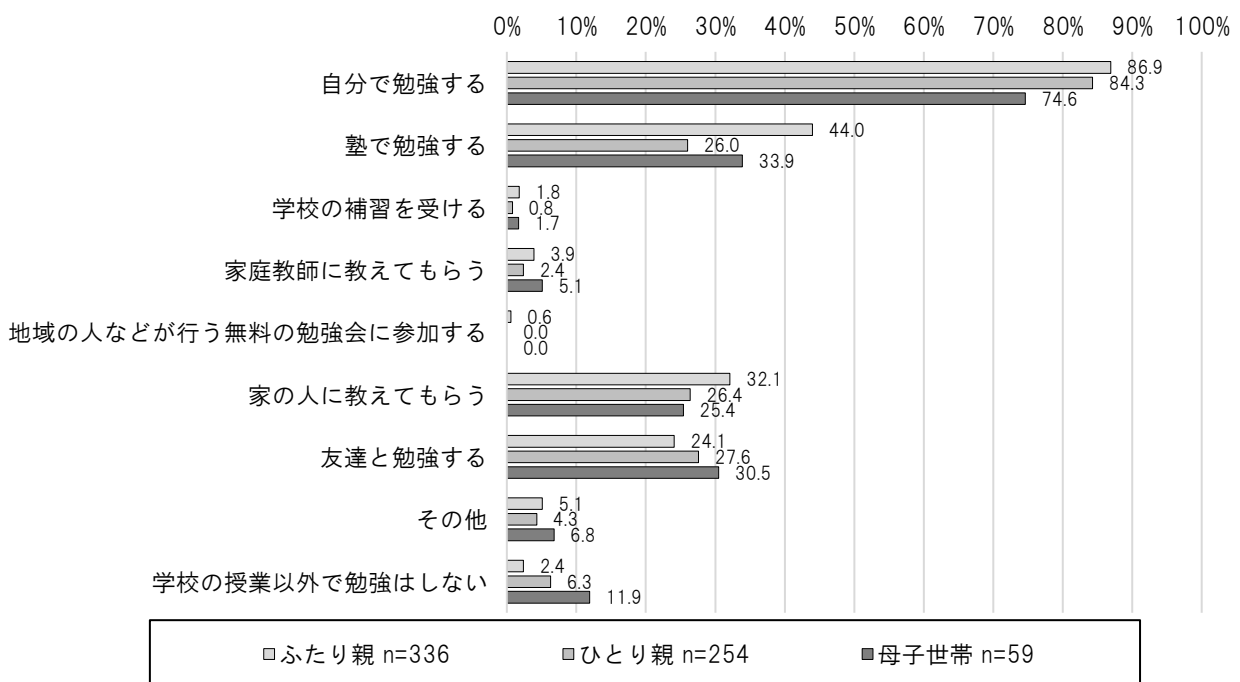


(4)世帯別・小学生（問2. 授業以外での勉強方法）

普通学校の授業以外での勉強方法について、世帯別にみると、小学生は、ひとり親世帯では、「自分で勉強する」が72.3%、「塾で勉強する」が16.5%、「家の人に教えてもらう」が46.2%で、ふたり親世帯と比較して低くなっています。一方、「学校の授業以外で勉強はしない」が8.8%は、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

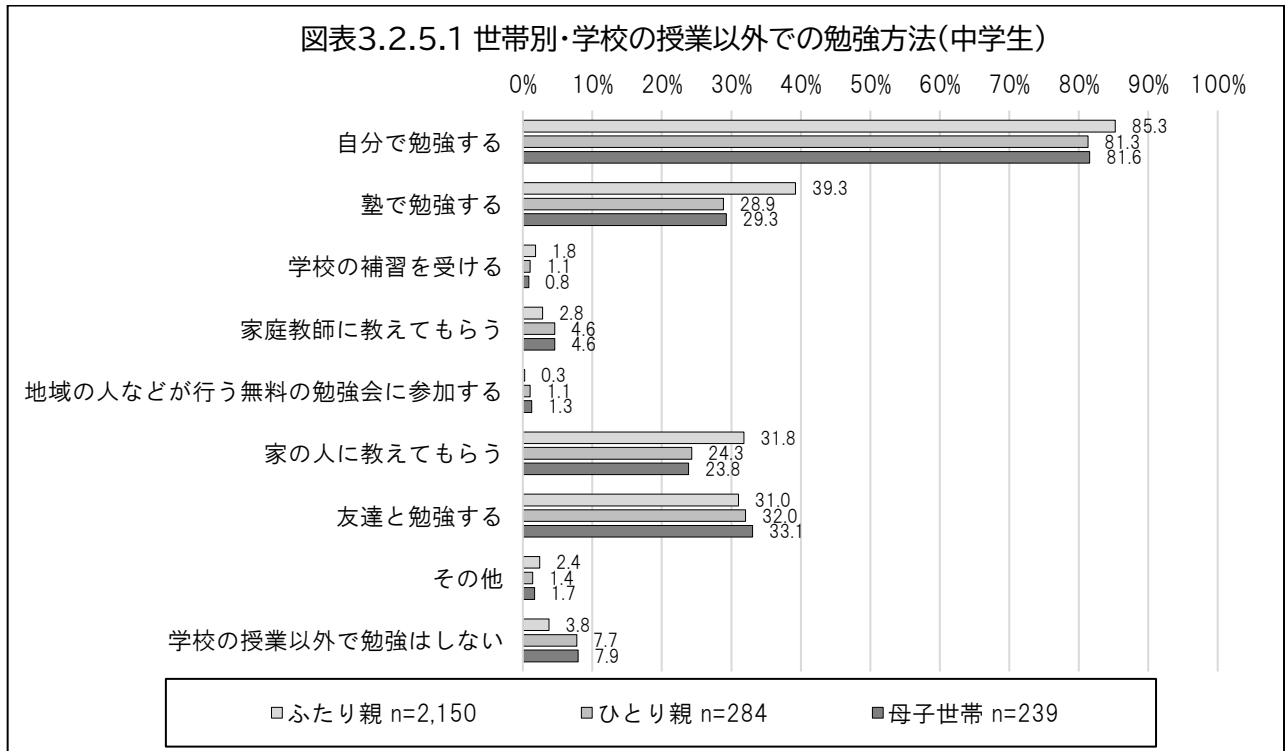


図表3.2.4.2 世帯別・学校の授業以外での勉強方法(小学生)[県調査結果]

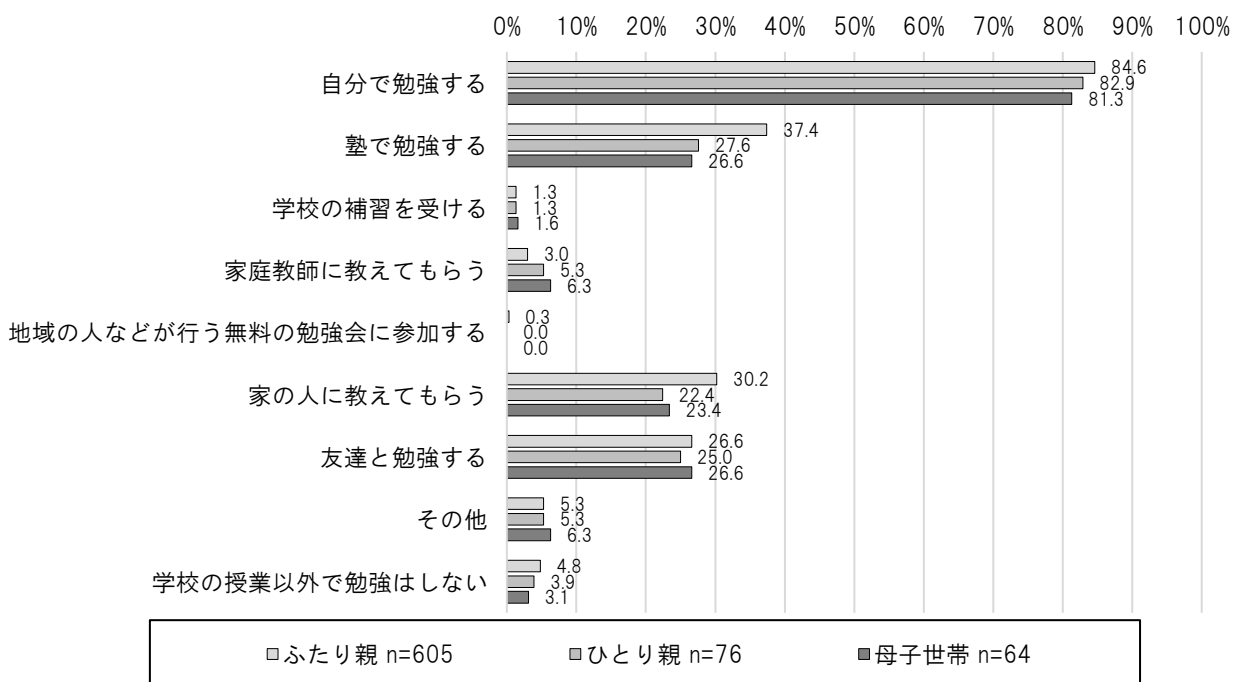


(5)世帯別・中学生（問2.授業以外での勉強方法）

普段学校の授業以外での勉強方法について、世帯別にみると、中学生は、ひとり親世帯では、「自分で勉強する」が81.3%、「塾で勉強する」が28.9%、「家の人に教えてもらう」が24.3%で、ふたり親世帯と比較して低くなっています。一方、「学校の授業以外で勉強はしない」が7.7%、「家庭教師に教えてもらう」（4.6%）で、ふたり親世帯と比較して高くなっています。



図表3.2.5.2 世帯別・学校の授業以外での勉強方法(中学生)[県調査結果]

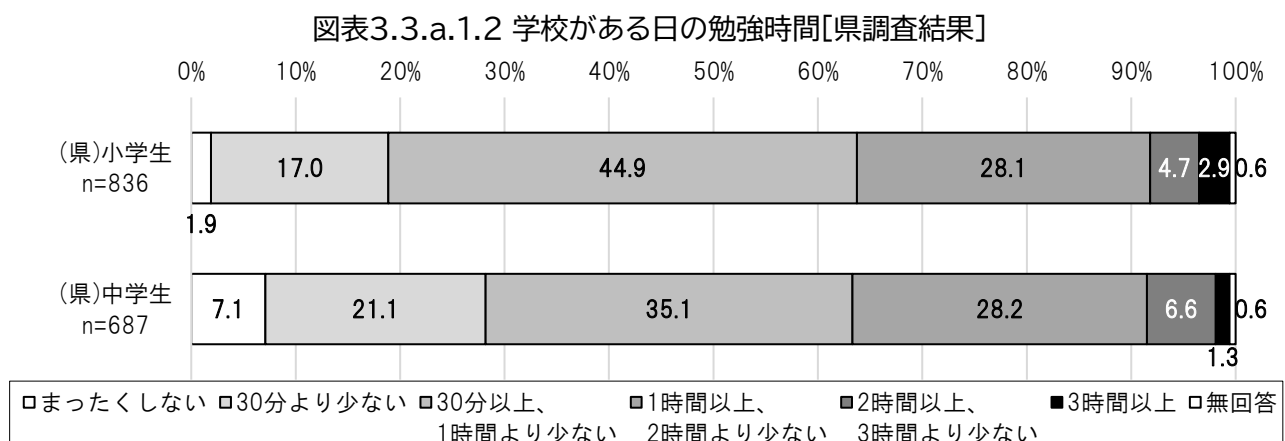
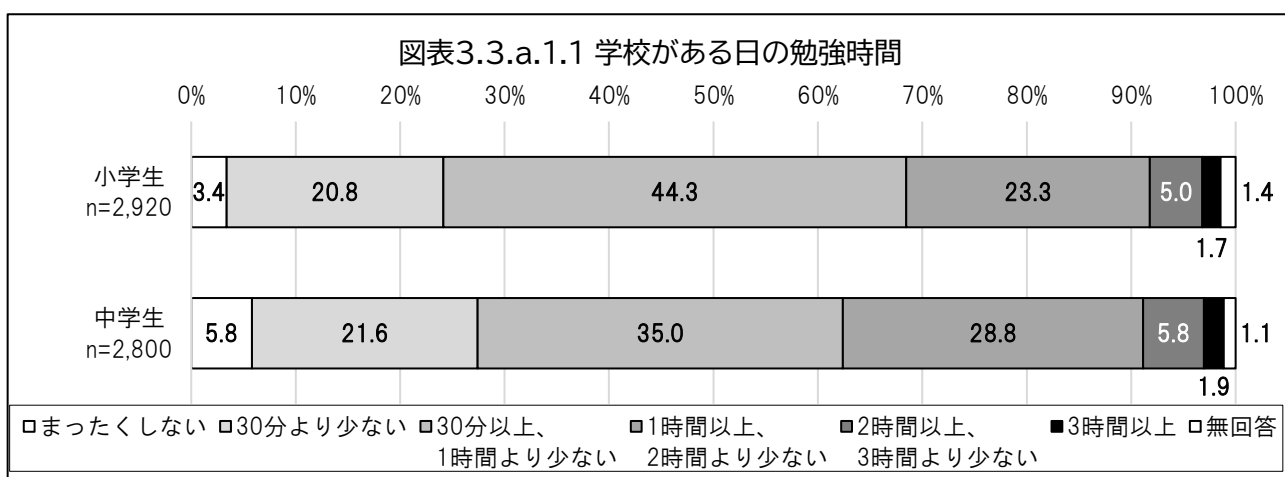


問3. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

a) 学校がある日（月～金曜日）

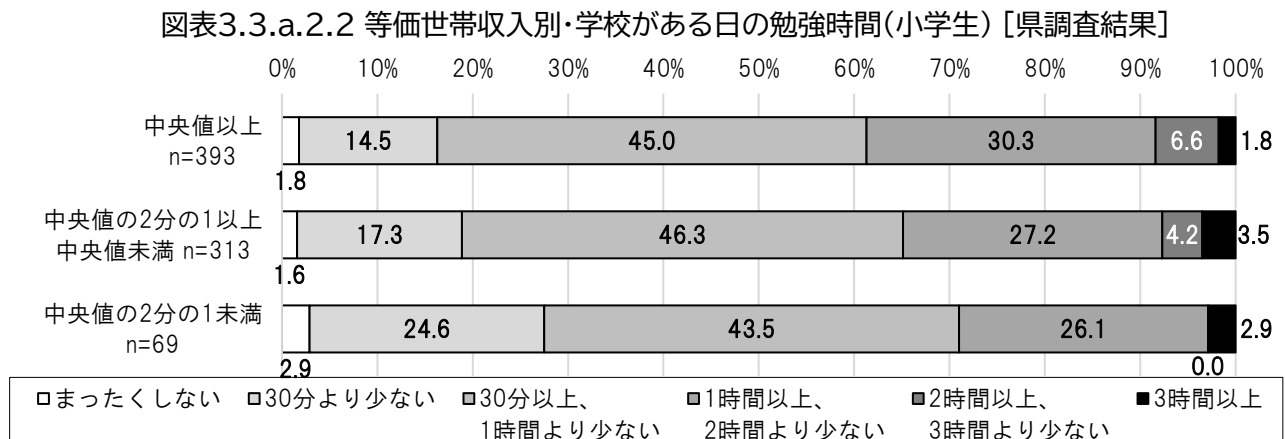
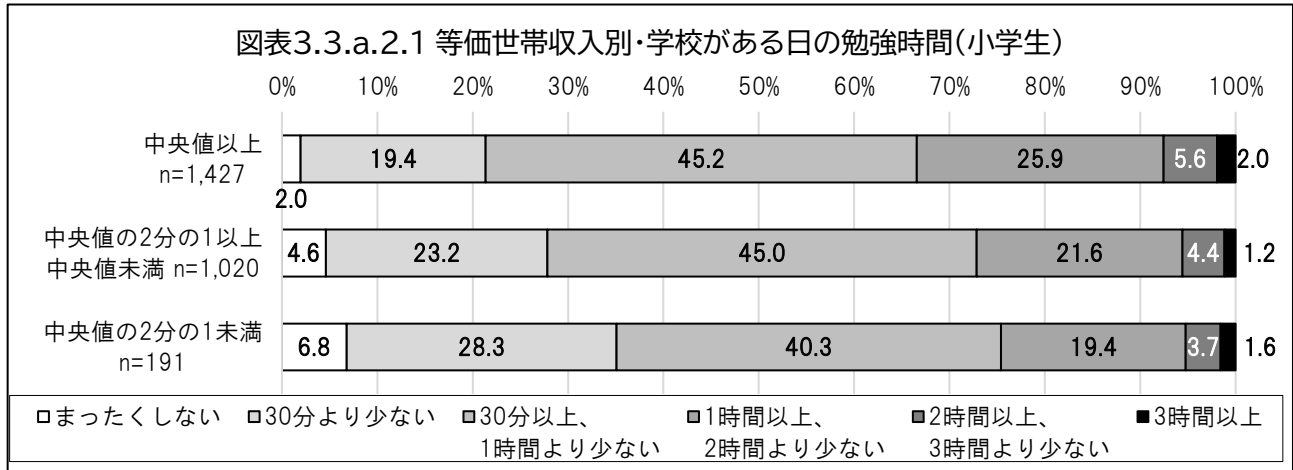
(1)全体

普段学校がある日の勉強時間は、小学生・中学生ともに、「30分以上、1時間より少ない」が44.3%、35.0%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が23.3%、28.8%、「30分より少ない」が20.8%、21.6%となっています。また、学校がある日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、小学生が3.4%で、県調査（1.9%）と比較してやや高く、中学生が5.8%で、県調査（7.1%）と比較してやや低くなっています。



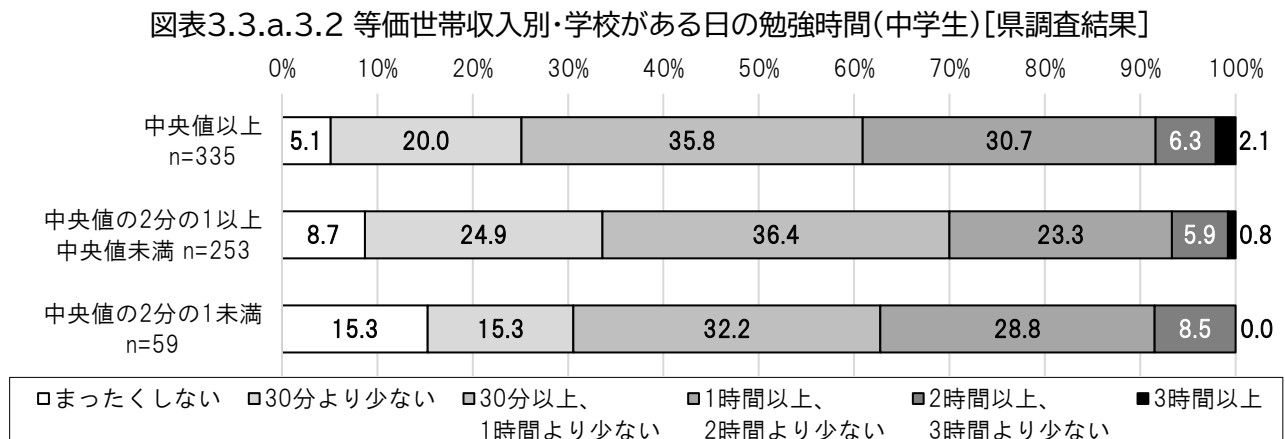
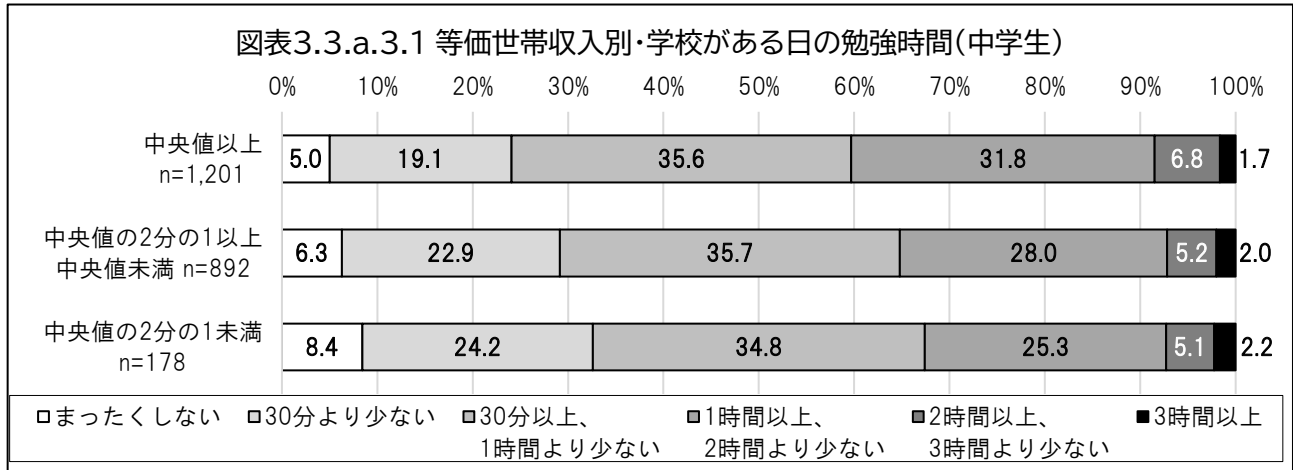
(2)等価世帯収入別・小学生（問 3.a 学校がある日の授業以外での勉強時間）

普通学校がある日の勉強時間について、等価世帯収入別にみると、小学生では、学校がある日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では3.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では6.8%と高くなっています。また、県調査（2.9%）と比較してやや高くなっています。



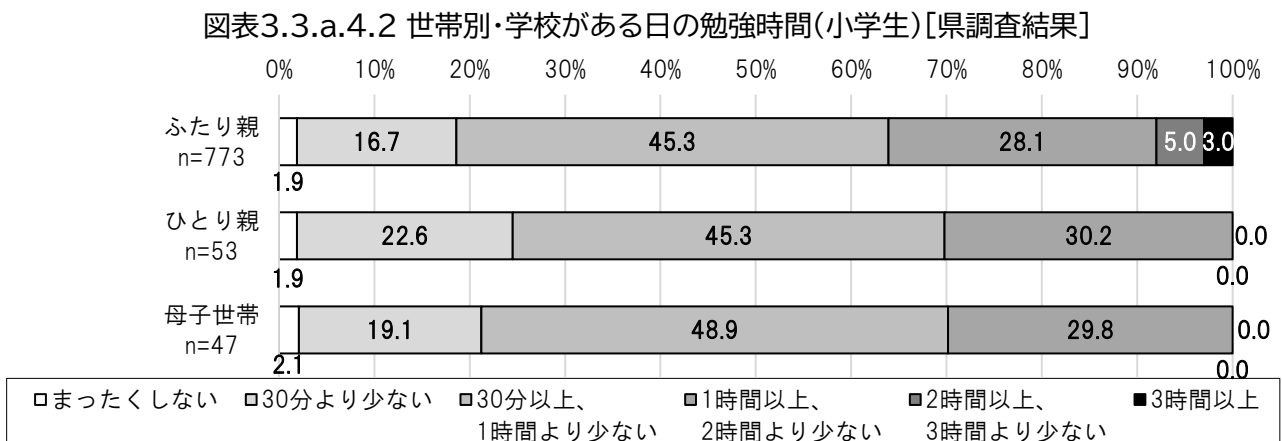
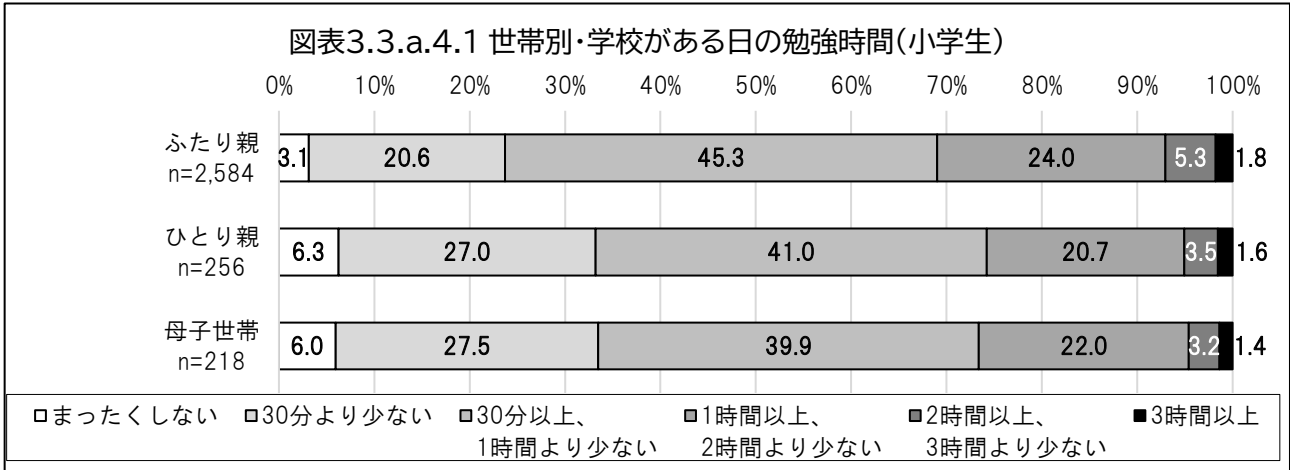
(3)等価世帯収入別・中学生（問 3.a 学校がある日の授業以外での勉強時間）

普通学校がある日の勉強時間について、等価世帯収入別にみると、中学生では、学校がある日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では5.8%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では8.4%と高くなっています。また、県調査（15.3%）と比較して低くなっています。



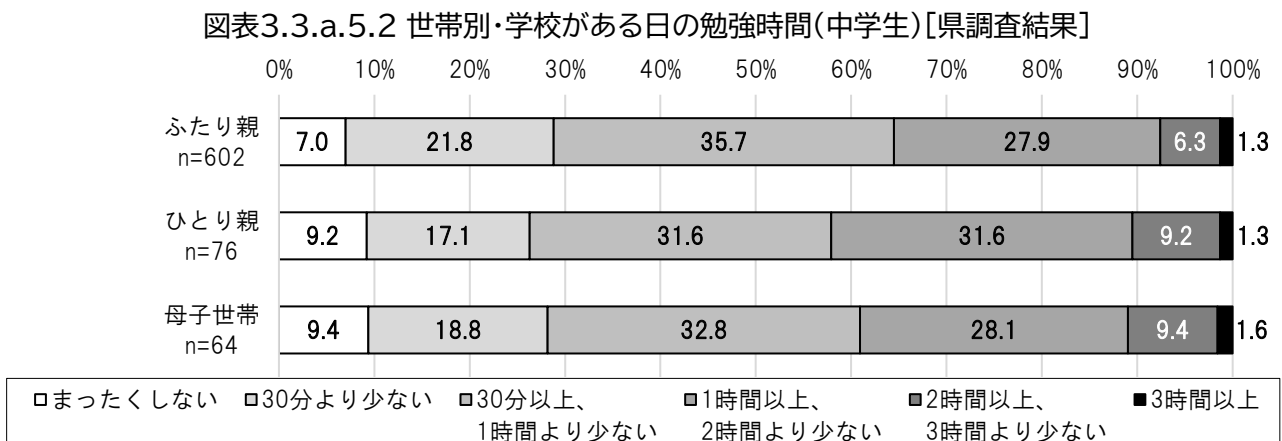
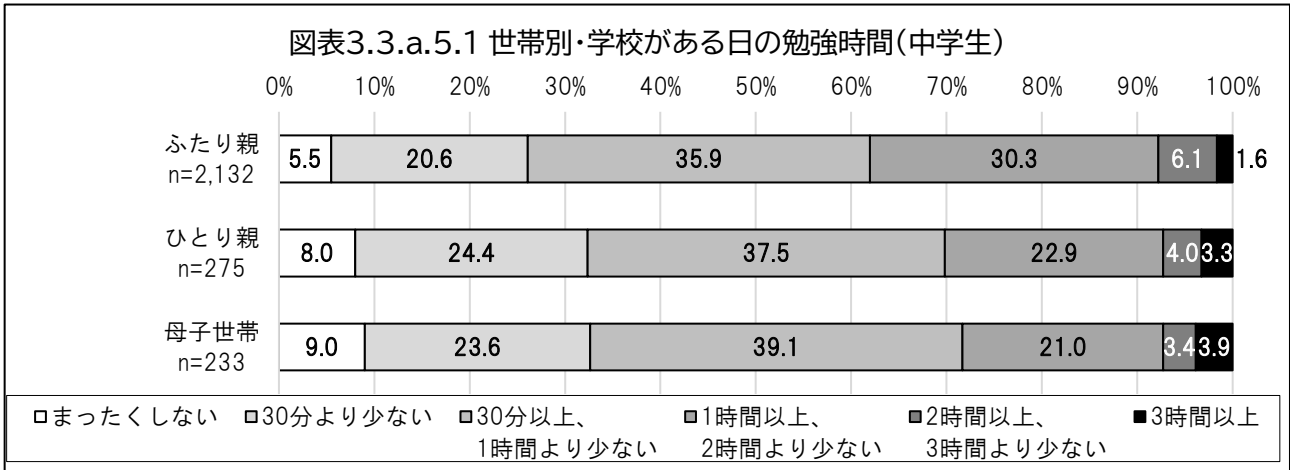
(4)世帯別・小学生（問 3.a 学校がある日の授業以外での勉強時間）

普段学校がある日の勉強時間について、世帯別にみると、小学生では、学校がある日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では 3.4%であったのに対し、ひとり親世帯では 6.3%と高くなっています。また、県調査（1.9%）と比較して高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 3.a 学校がある日の授業以外での勉強時間）

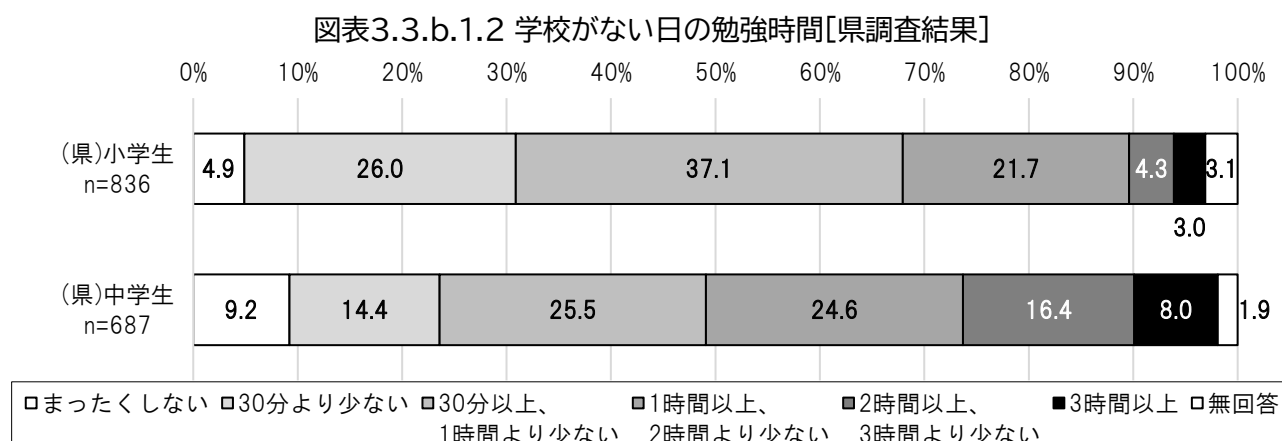
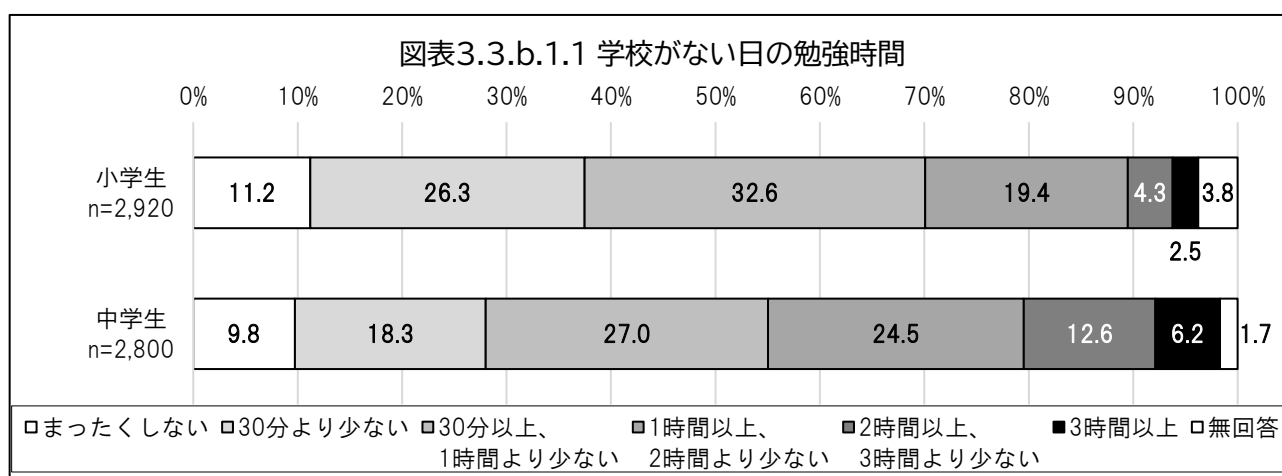
普段学校がある日の勉強時間について、世帯別にみると、中学生では、学校がある日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では 5.8%であったのに対し、ひとり親世帯では 8.0%と高くなっています。また、県調査（9.2%）と比較して低くなっています。



b) 学校がない日（土・日曜日・祝日）

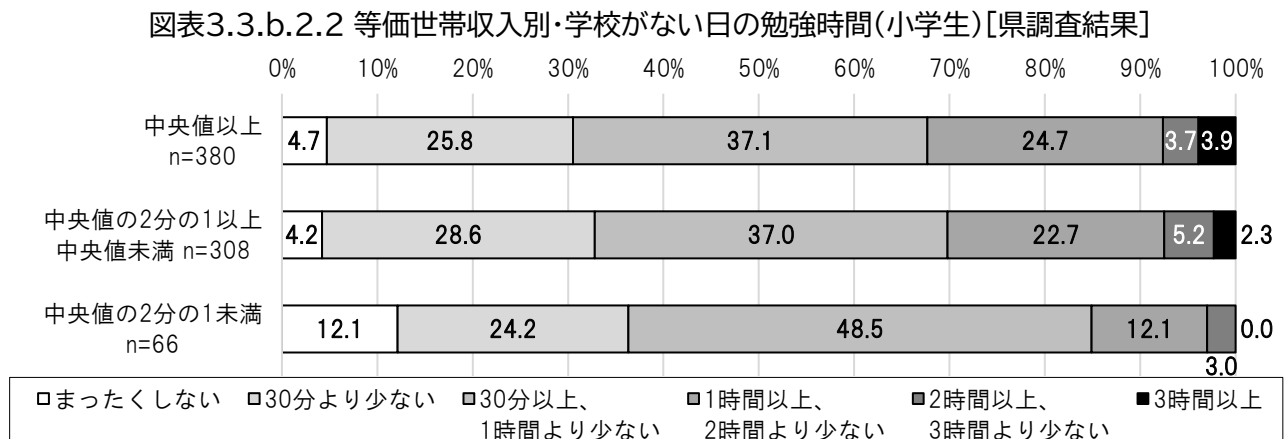
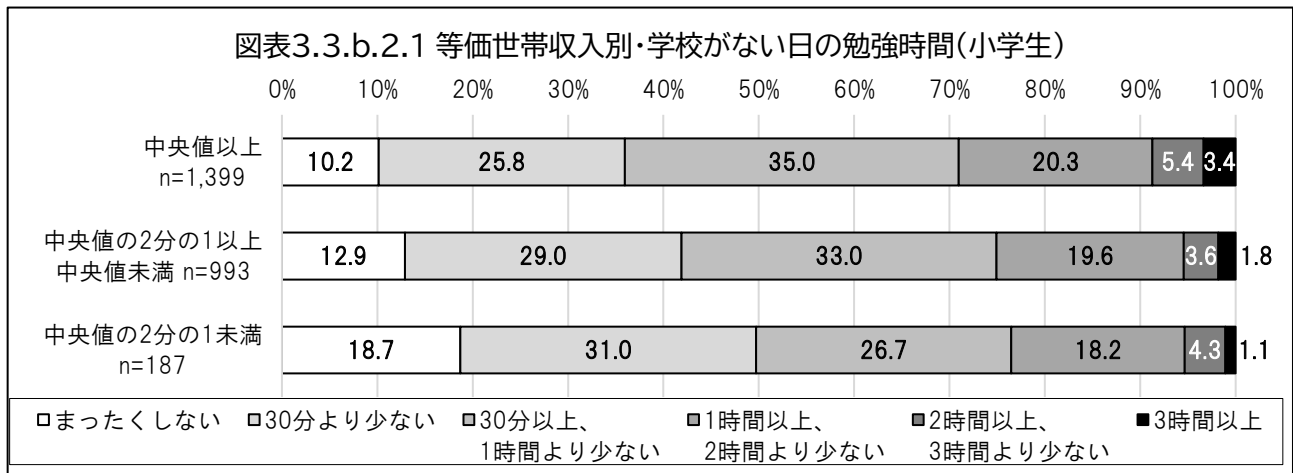
(1)全体

学校がない日の勉強時間は、小学生・中学生ともに、「30分以上、1時間より少ない」が32.6%、27.0%と最も高くなっています。次いで、小学生では「30分より少ない」が26.3%、「1時間以上、2時間より少ない」が19.4%となっており、中学生では、「1時間以上、2時間より少ない」が24.5%、「30分より少ない」が18.3%となっています。また、学校がない日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、小学生が11.2%で、県調査（4.9%）と比較して高くなっており、中学生は9.8%で、県調査（9.2%）比較してやや高くなっています。



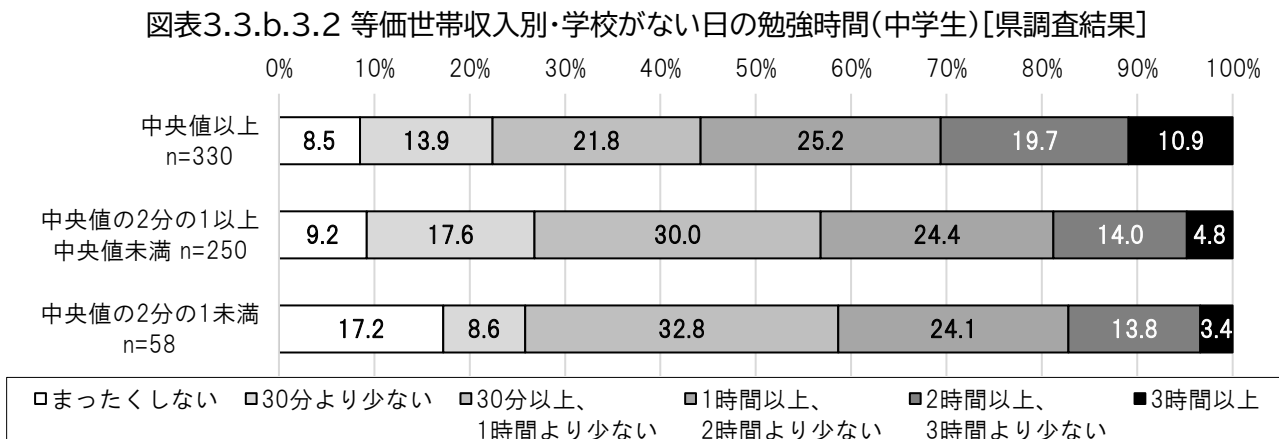
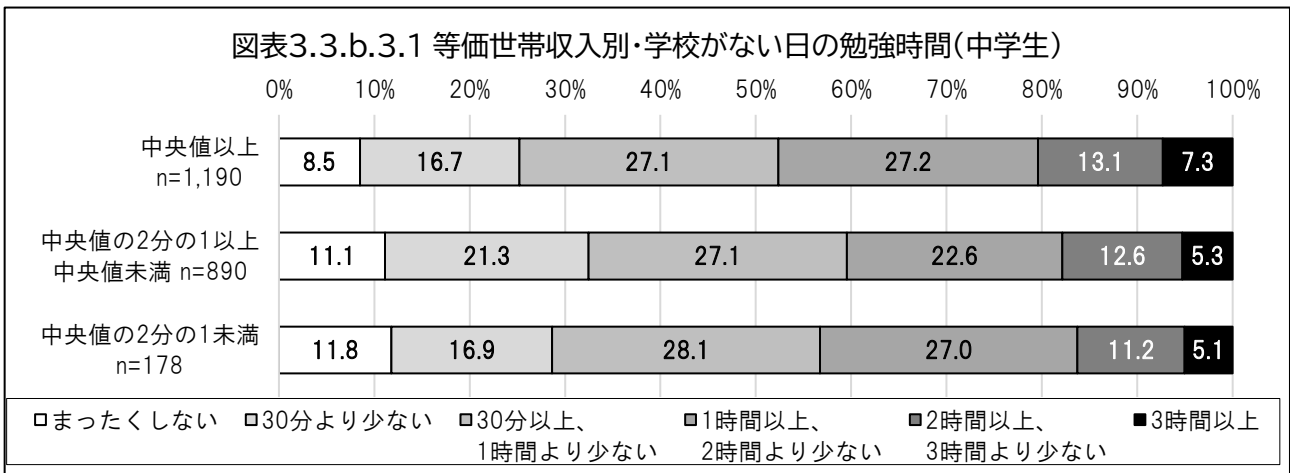
(2)等価世帯収入別・小学生（問 3. b 学校がない日の勉強時間）

学校がない日の勉強時間について、等価世帯収入別にみると、小学生では、学校がない日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では 11.2%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では 18.7%と高くなっています。また、県調査（12.1%）と比較して高くなっています。



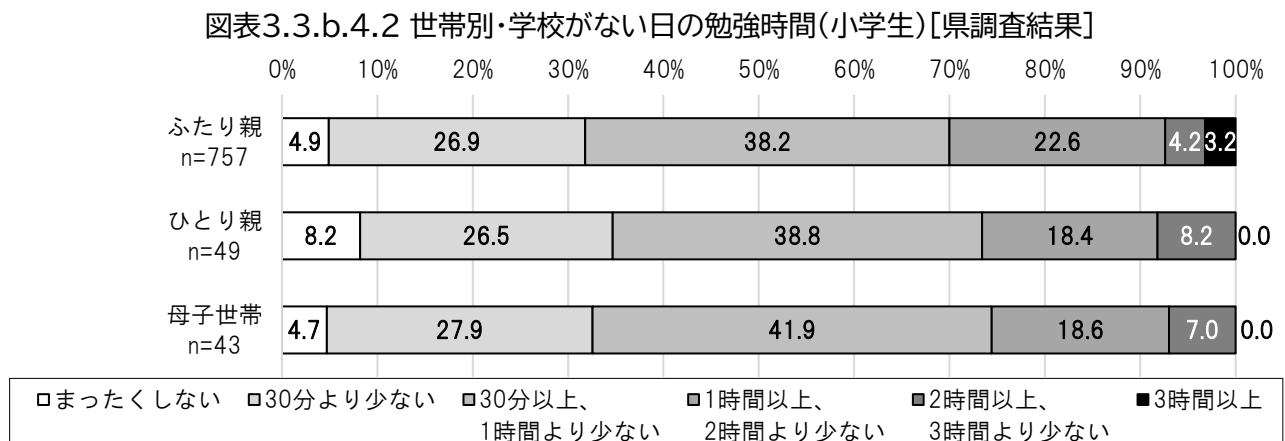
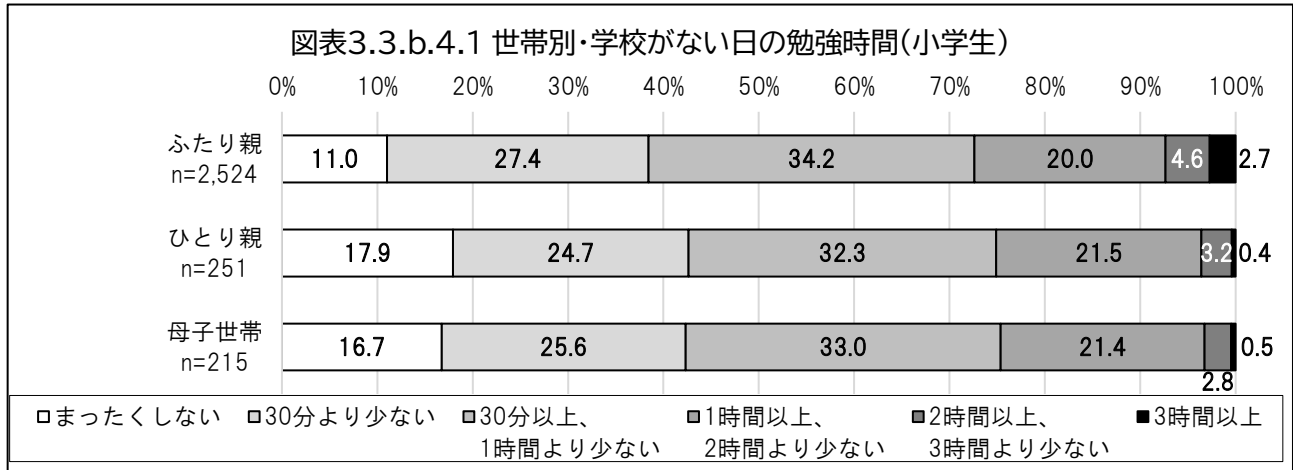
(3)等価世帯収入別・中学生（問 3. b 学校がない日の勉強時間）

学校がない日の勉強時間について、等価世帯収入別にみると、中学生では、学校がない日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では9.8%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では11.8%とやや高くなっています。また、県調査（17.2%）と比較して低くなっています。



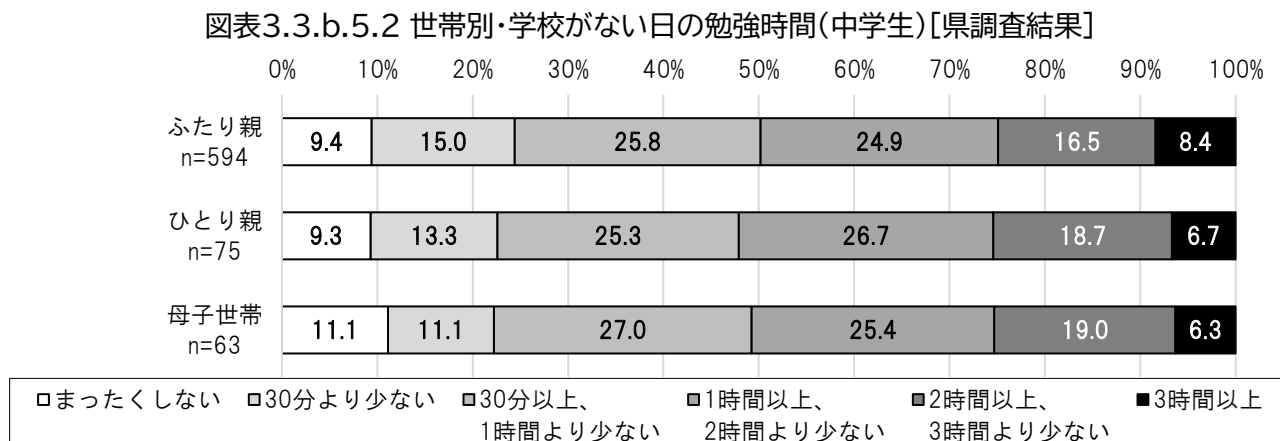
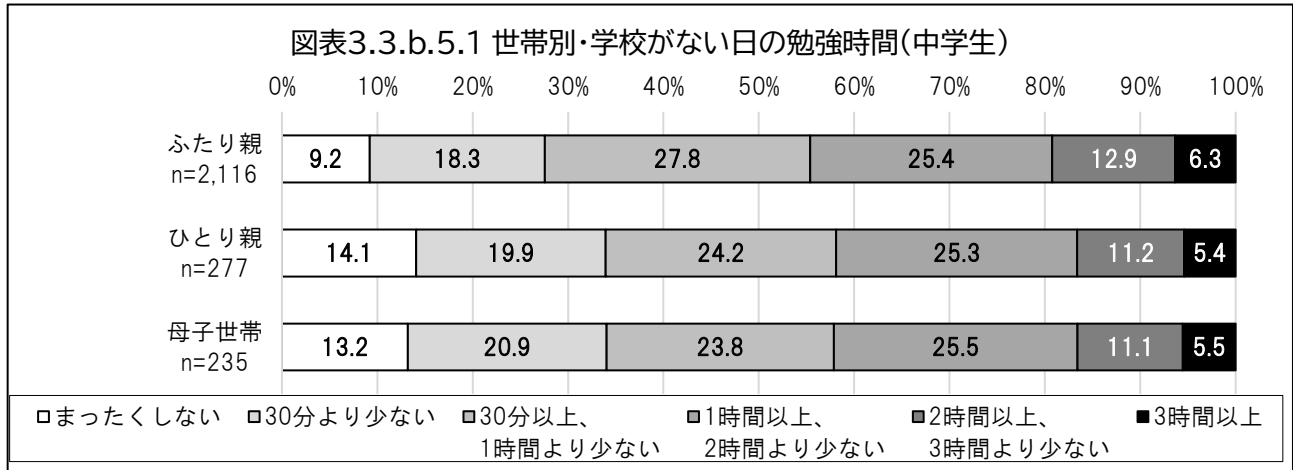
(4)世帯別・小学生（問 3. b 学校がない日の勉強時間）

学校がない日の勉強時間について、世帯別にみると、小学生では、学校がない日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では 11.2%であったのに対し、ひとり親世帯では 17.9%と高くなっています。また、県調査（8.2%）と比較して高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 3. b 学校がない日の勉強時間）

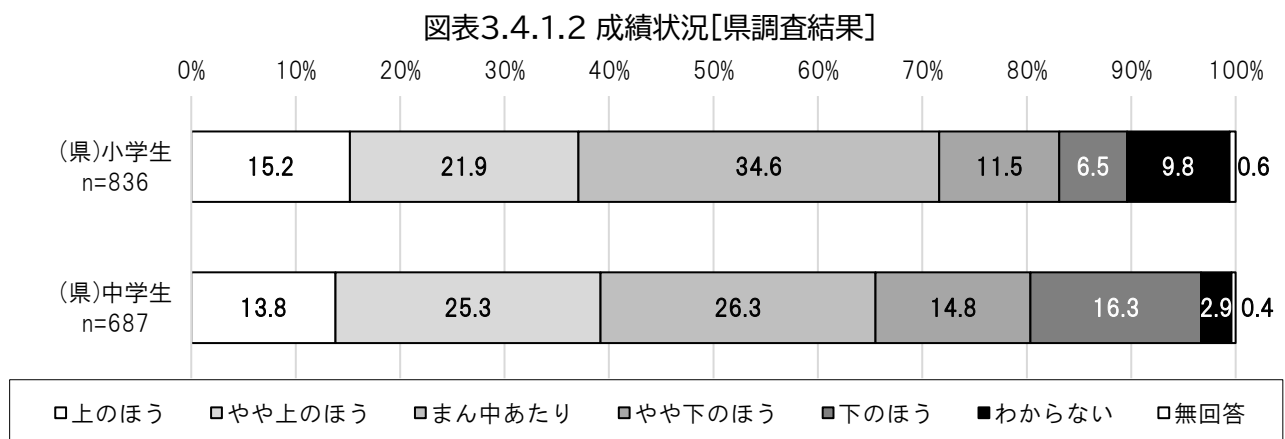
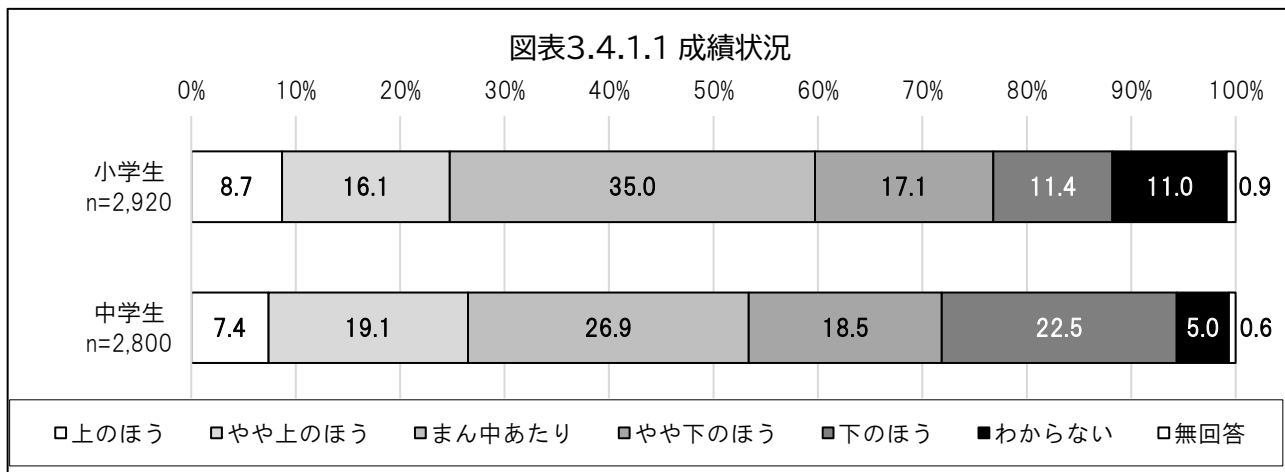
学校がない日の勉強時間について、世帯別にみると、中学生では、学校がない日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では 9.8%であったのに対し、ひとり親世帯では 14.1%と高くなっています。また、県調査（9.3%）と比較して高くなっています。



問4. あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

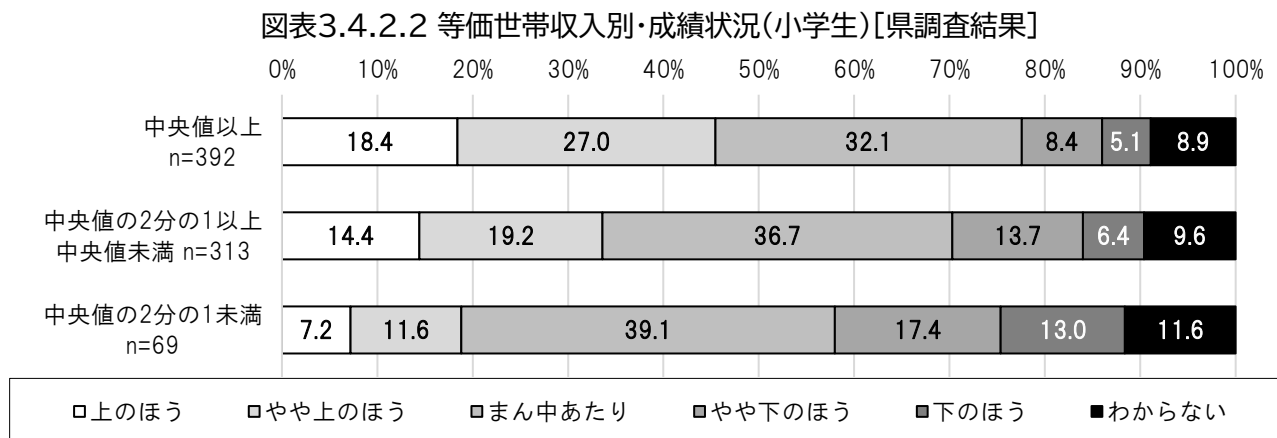
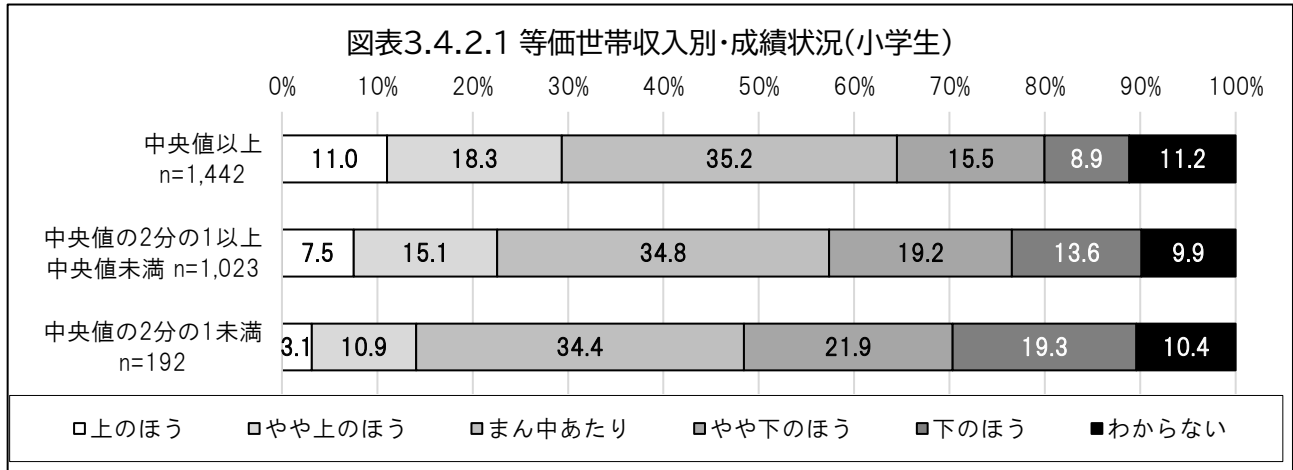
(1) 全体

クラスの中での成績について、「やや下のほう」又は「下のほう」と回答した割合は、小学生が28.5%、中学生が41.0%となっています。小学生、中学生(28.5%、41.0%)ともに、県調査(18.0%、31.1%)と比較して高くなっています。



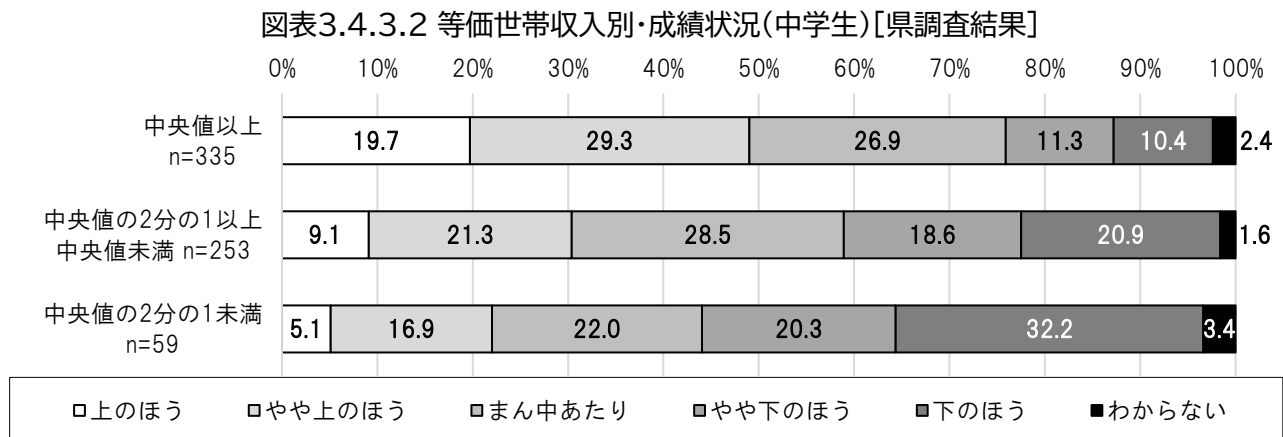
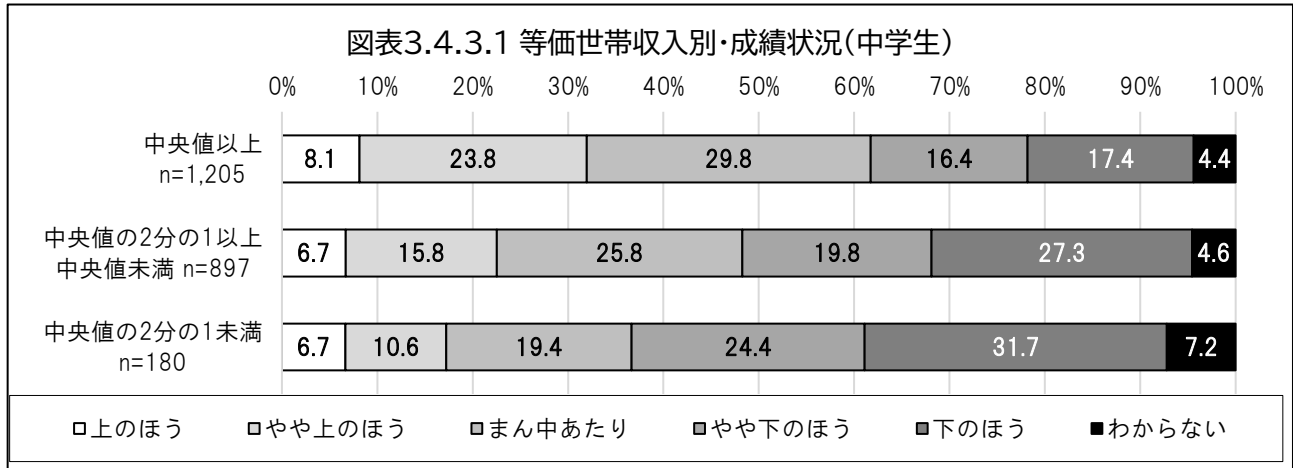
(2) 等価世帯収入別・小学生（問 4. クラスの中での成績状況）

クラスの中での成績状況について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「やや下のほう」又は「下のほう」と回答した割合は、全体では小学生が 28.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の 2 分の 1 未満）」では小学生が 41.2%と高くなっています。また、県調査（30.4%）と比較して高くなっています。



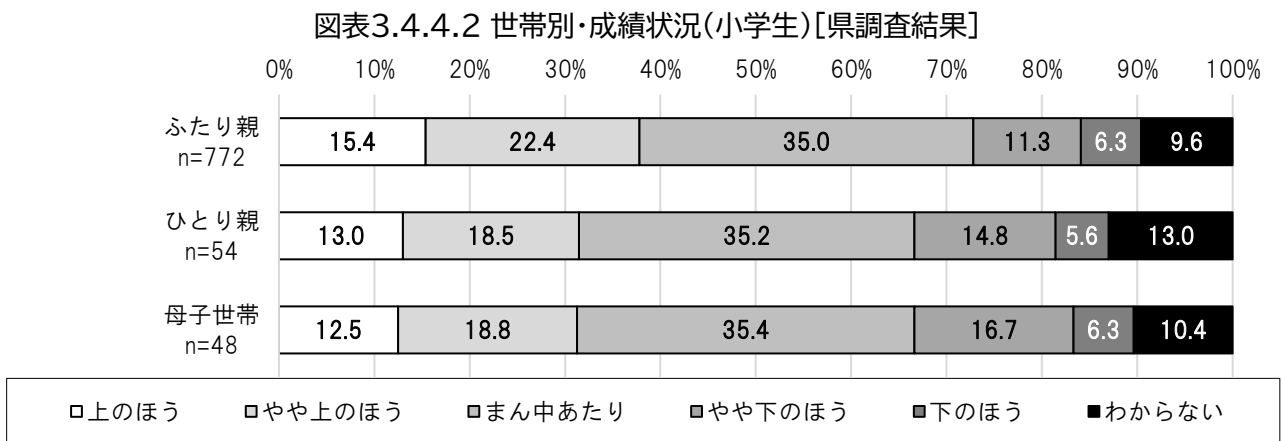
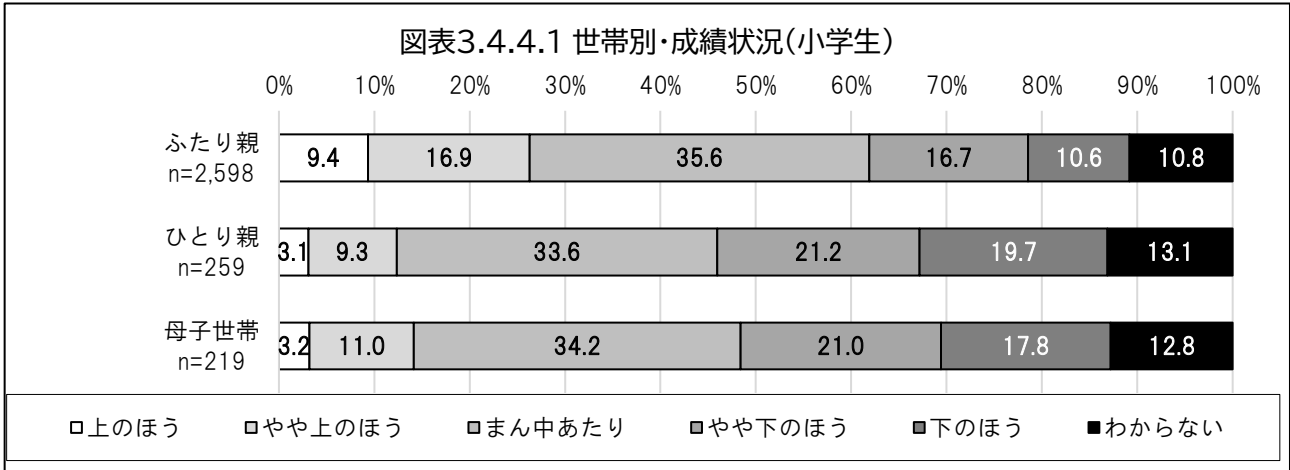
(3) 等価世帯収入別・中学生（問 4. クラスの中での成績状況）

クラスの中での成績状況について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「やや下のほう」又は「下のほう」と回答した割合は、全体では 41.0%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の 2 分の 1 未満）」では 56.1%と高くなっています。また、県調査（52.5%）と比較して高くなっています。



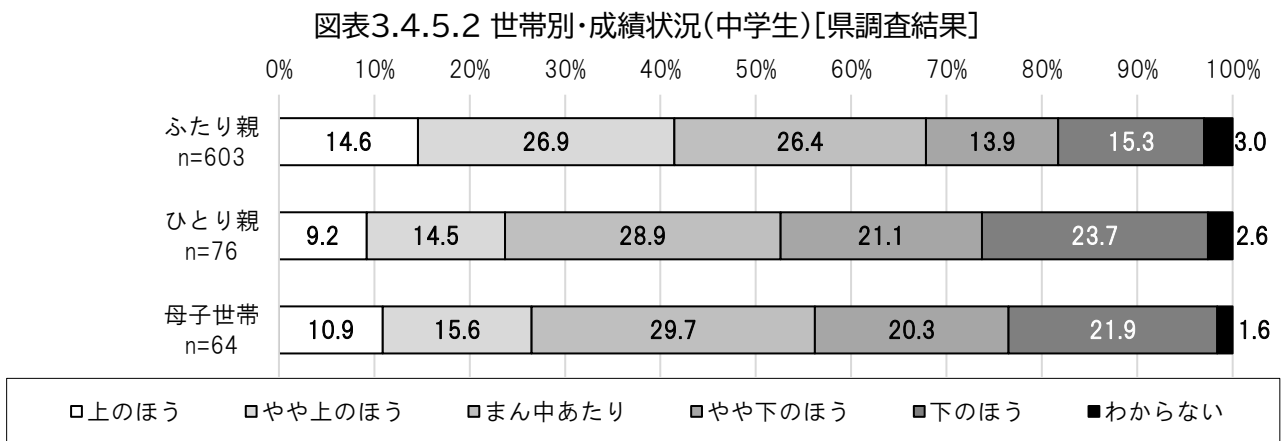
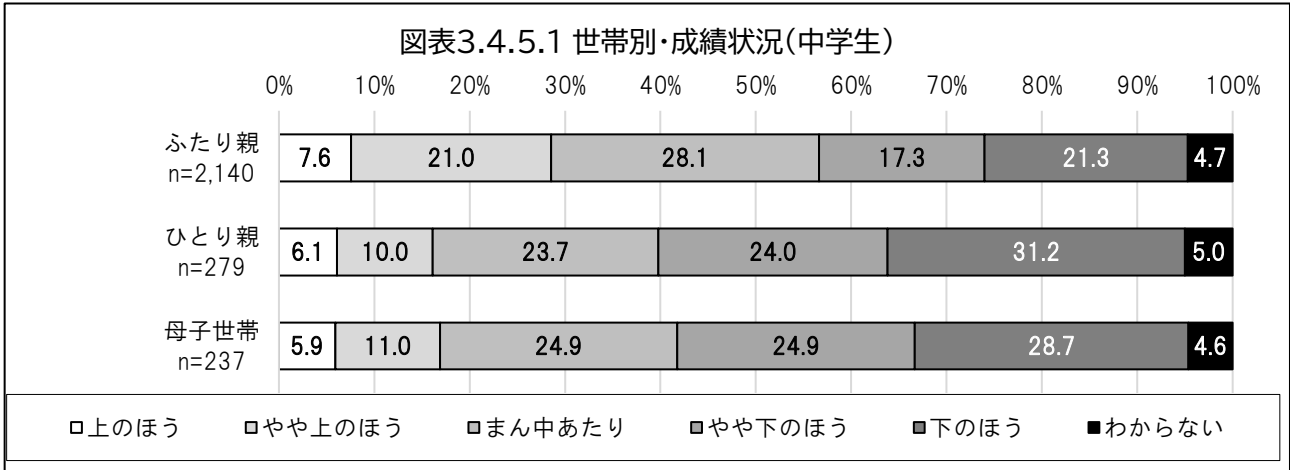
(4) 世帯別・小学生（問 4. クラスの中での成績状況）

クラスの中での成績状況について、世帯別にみると、小学生では、「やや下のほう」又は「下のほう」と回答した割合は、全体では 28.5%あったのに対し、ひとり親世帯では 40.9%と高くなっています。また、県調査（20.4%）と比較して高くなっています。



(5) 世帯別・中学生（問 4. クラスの中での成績状況）

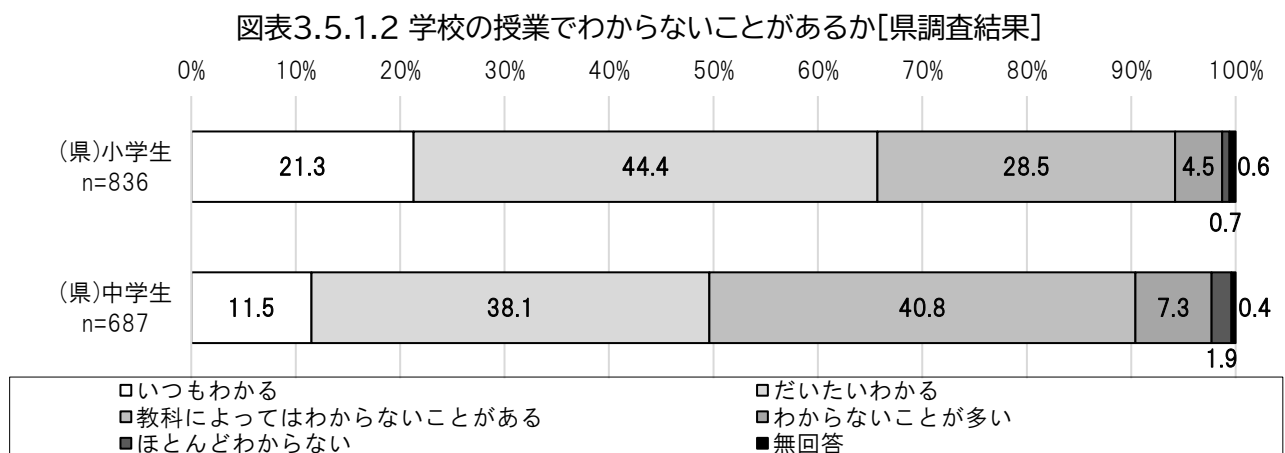
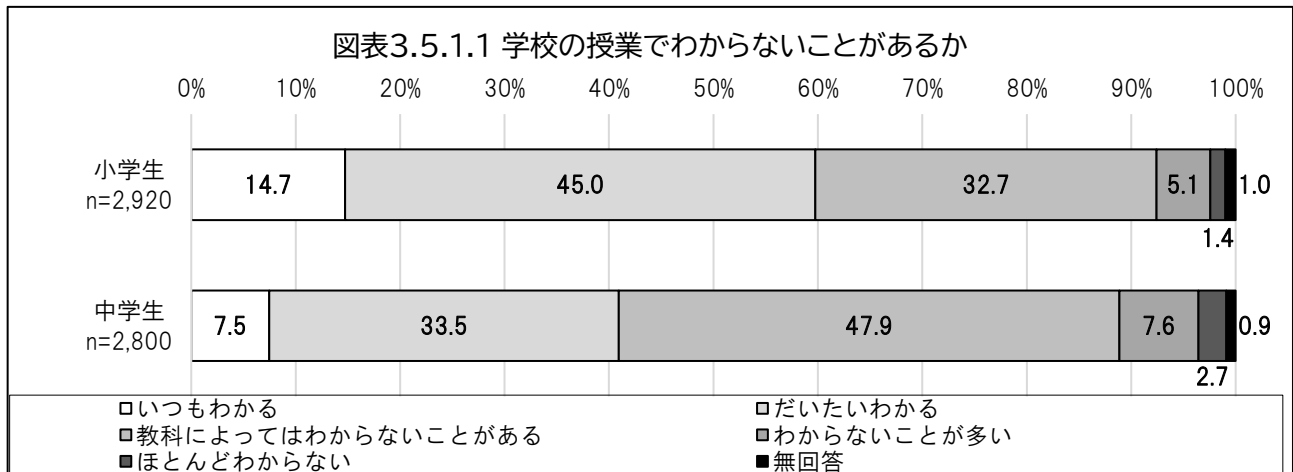
クラスの中での成績状況について、世帯別にみると、中学生では、「やや下のほう」又は「下のほう」と回答した割合は、全体では 41.0%であったのに対し、ひとり親世帯では 55.2%と高くなっています。また、県調査（44.8%）と比較して高くなっています。



問5. あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

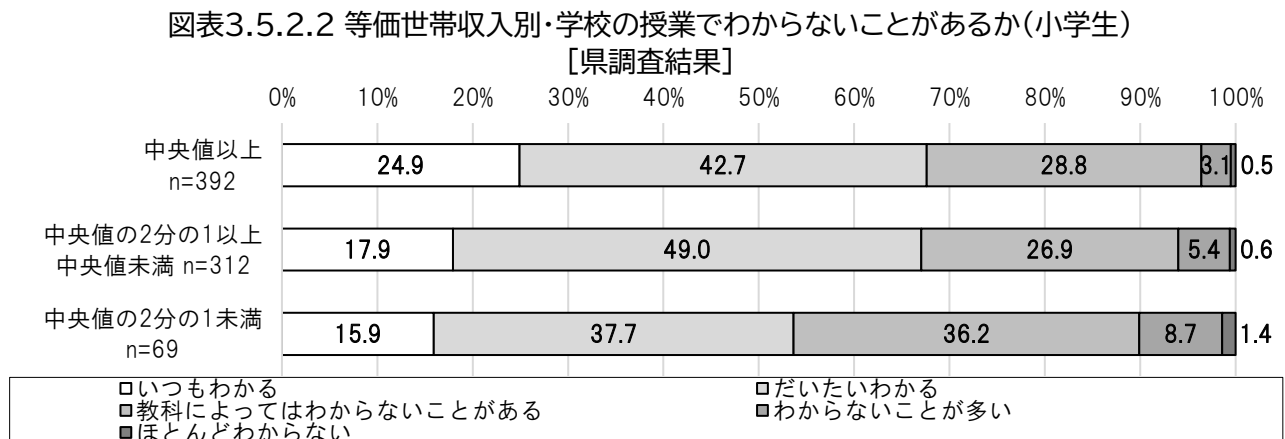
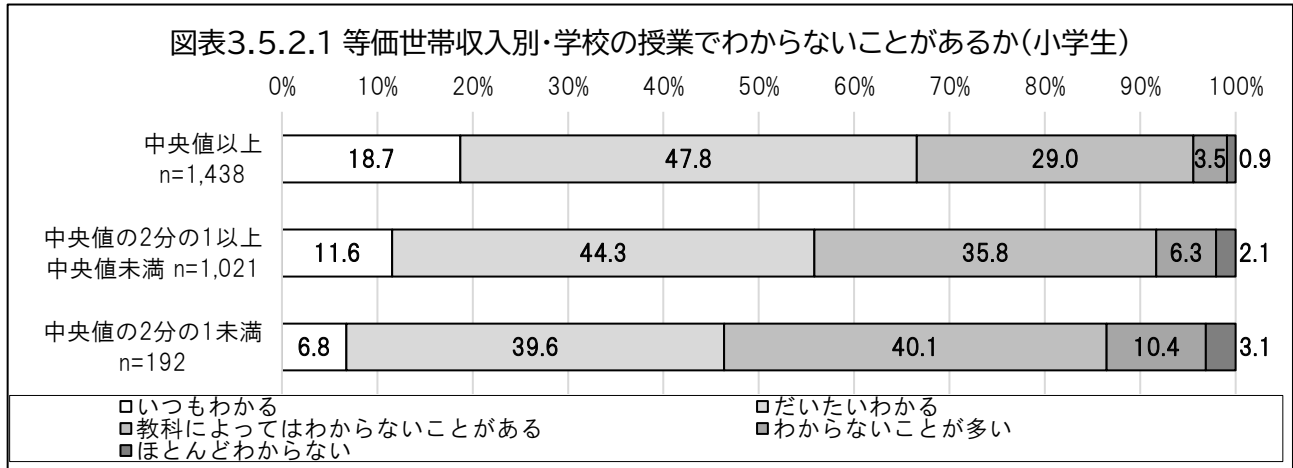
(1) 全体

学校の授業の理解状況について、「ほとんどわからない」又は「わからないことが多い」と回答した割合は、小学生が6.5%、中学生が10.3%となっています。小学生・中学生ともに、県調査(5.2%、9.2%)と比較して高くなっています。



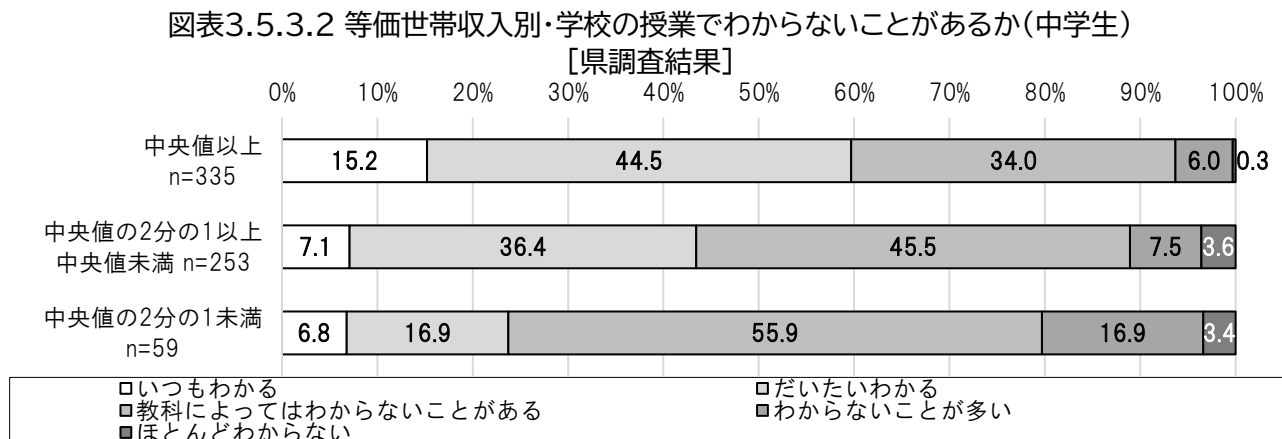
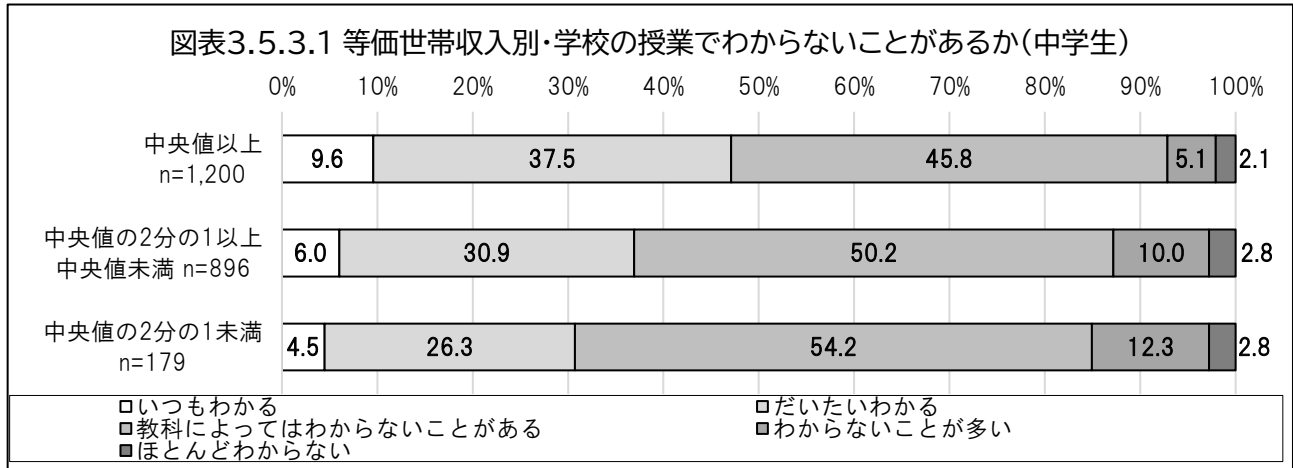
(2) 等価世帯収入別・小学生（問 5. 授業でわからないことがあるか）

学校の授業の理解状況について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「ほとんどわからない」又は「わからないことが多い」と回答した割合は、全体では6.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では13.5%と高くなっています。また、県調査（10.1%）と比較して高くなっています。



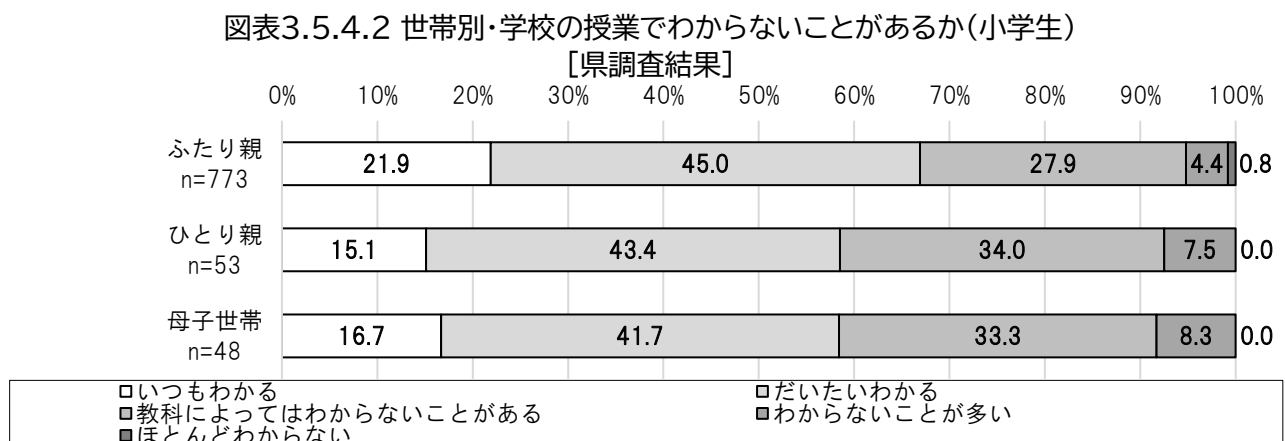
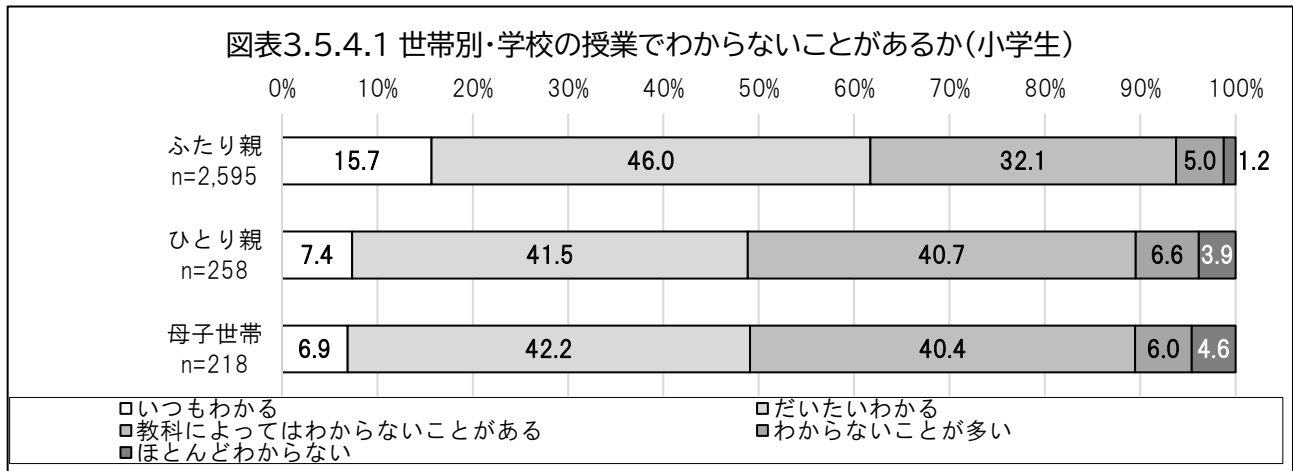
(3) 等価世帯収入別・中学生（問 5. 授業でわからないことがあるか）

学校の授業の理解状況について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「ほとんどわからない」又は「わからないことが多い」と回答した割合は、全体では 10.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の 2 分の 1 未満）」では 15.1%と高くなっています。また、県調査（20.3%）と比較して低くなっています。



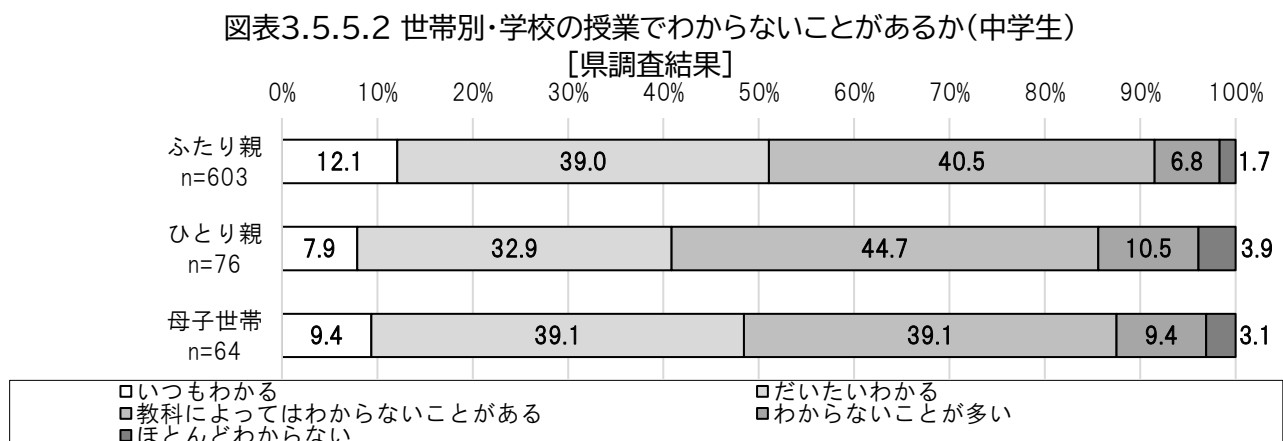
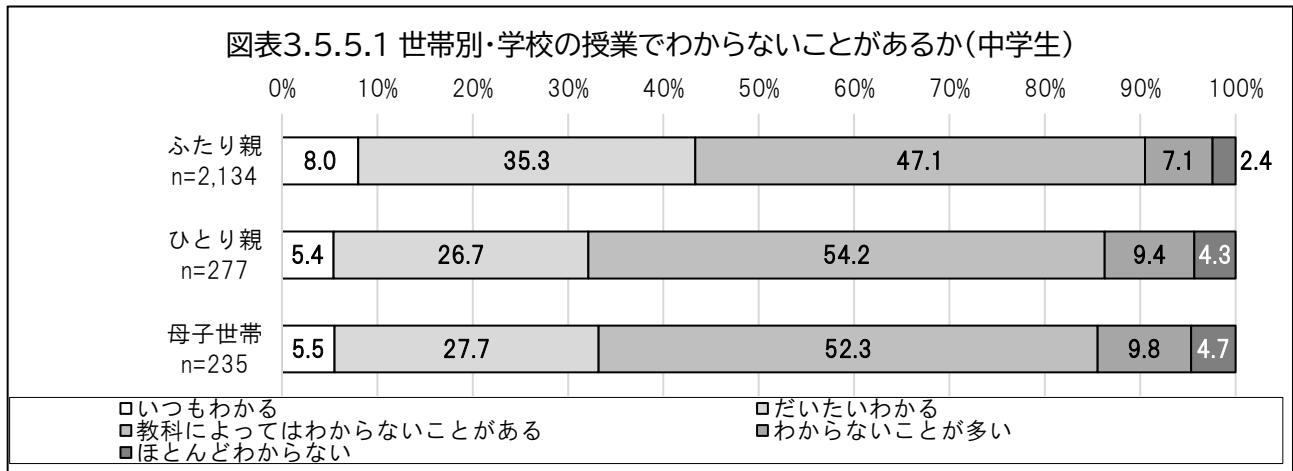
(4) 世帯別・小学生（問 5. 授業でわからないことがあるか）

学校の授業の理解状況について、世帯別にみると、小学生では、「ほとんどわからない」又は「わからないことが多い」と回答した割合は、全体では 6.5%であったのに対し、ひとり親では 10.5%と高くなっています。また、県調査（7.5%）と比較して高くなっています。



(5) 世帯別・中学生（問 5. 授業でわからないことがあるか）

学校の授業について、世帯別にみると、中学生では、「ほとんどわからない」又は「わからないことが多い」と回答した割合は、全体では 10.3%であったのに対し、ひとり親では 13.7%と高くなっています。また、県調査（14.4%）と比較して低くなっています。

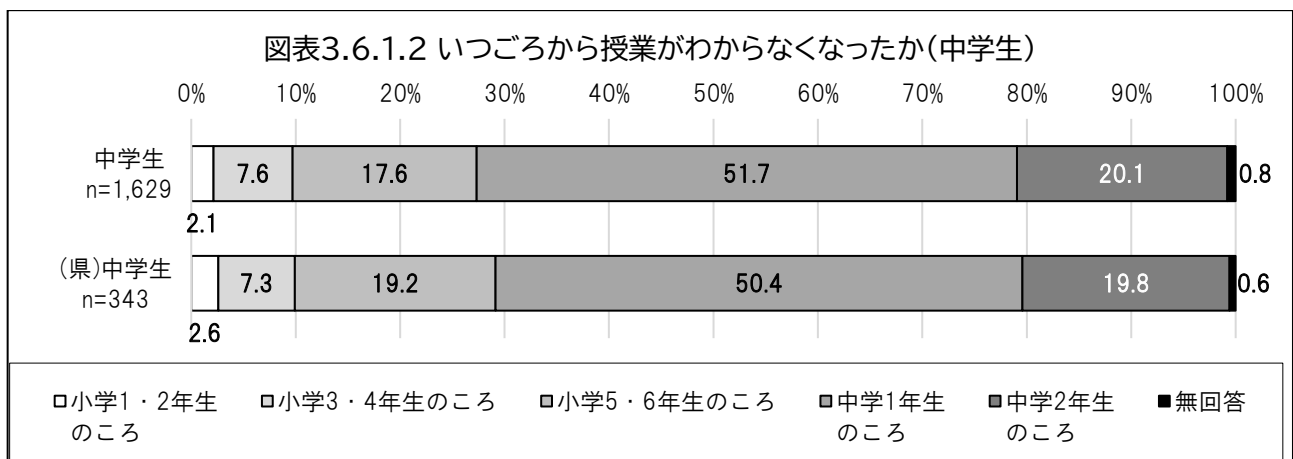
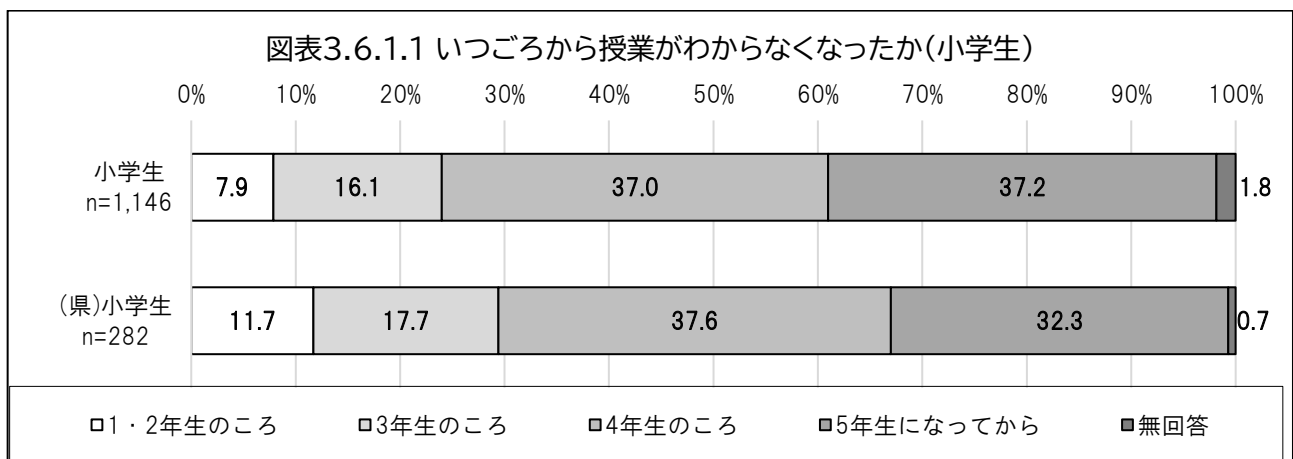


問6. 前の質問で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

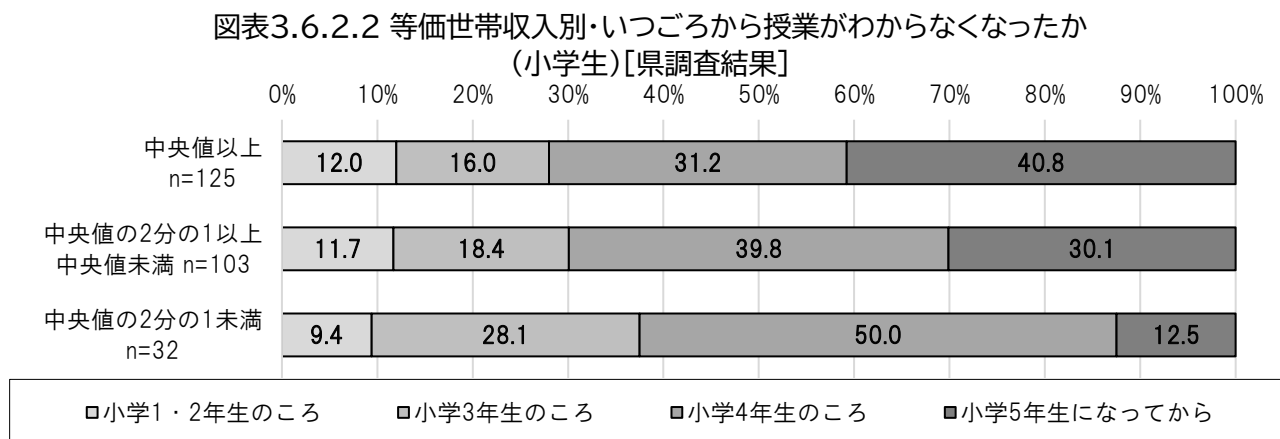
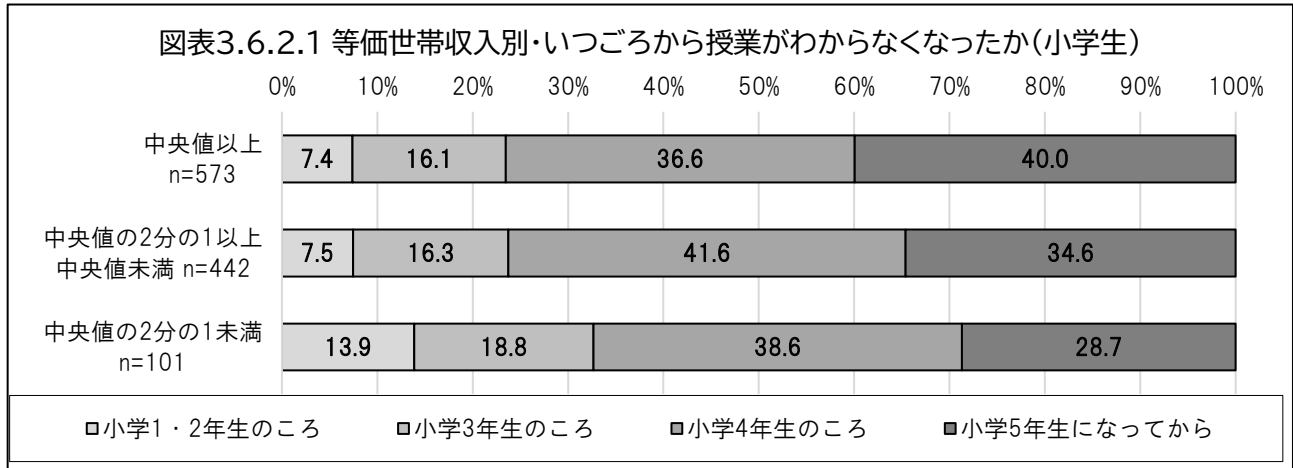
(1) 全体

いつごろ授業がわからなくなったかについて、小学生では「5年生になってから」が37.2%、「4年生のころ」が37.0%、「3年生のころ」が16.1%、「1・2年生のころ」が7.9%となっています。また、中学生では「中学1年生のころ」が51.7%、「中学2年生のころ」が20.1%、「小学5・6年生のころ」が17.6%の順となっており、「小学生のころ」と回答した割合（「小学1・2年生のころ」「小学3・4年生のころ」「小学5・6年生のころ」の合計）は27.3%となっています。



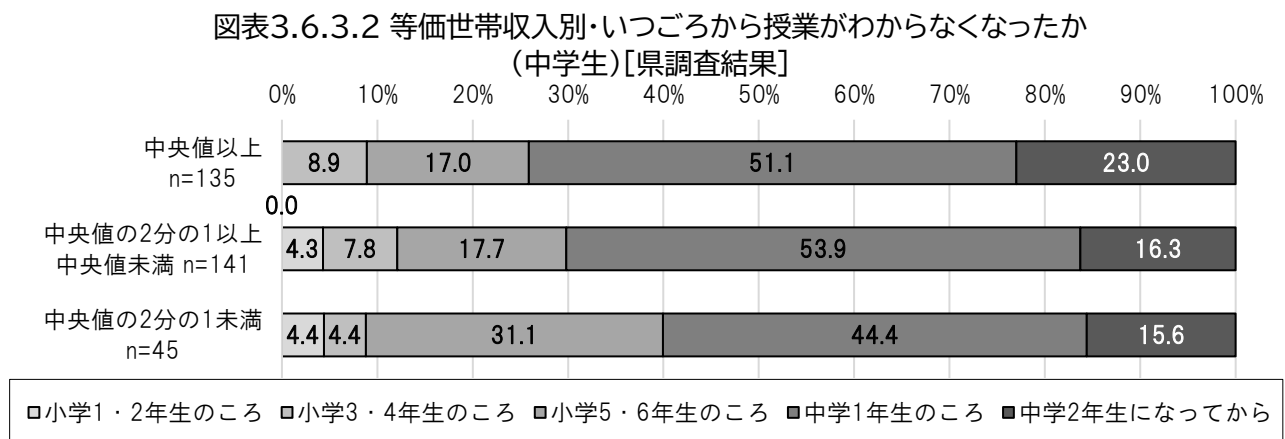
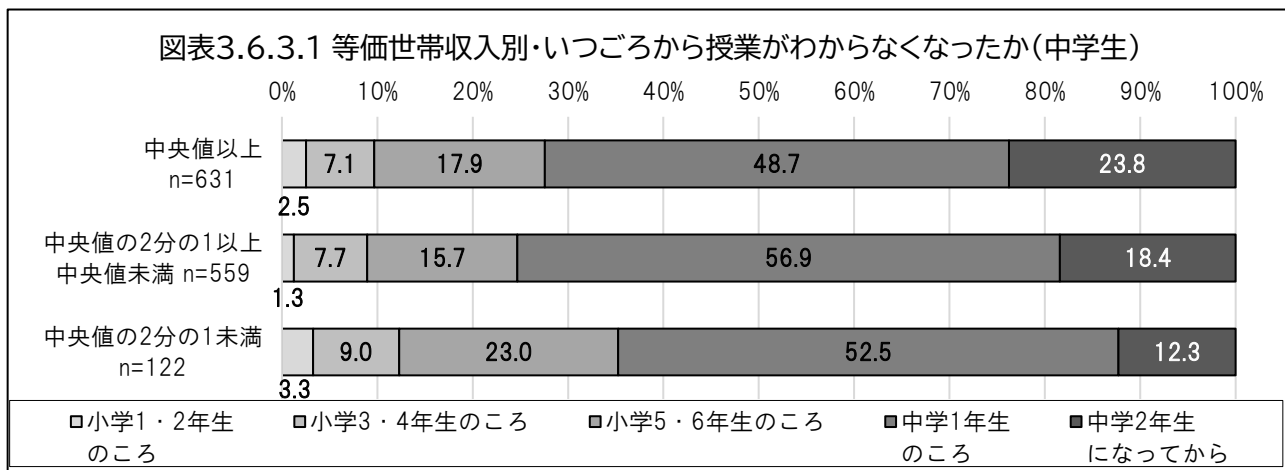
(2) 等価世帯収入別・小学生（問 6. いつごろ授業がわからなくなったか）

いつごろ授業がわからなくなったかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「小学1・2年生のころ」と回答した割合は、全体では7.9%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では13.9%と高くなっています。また、県調査（9.4%）と比較して高くなっています。



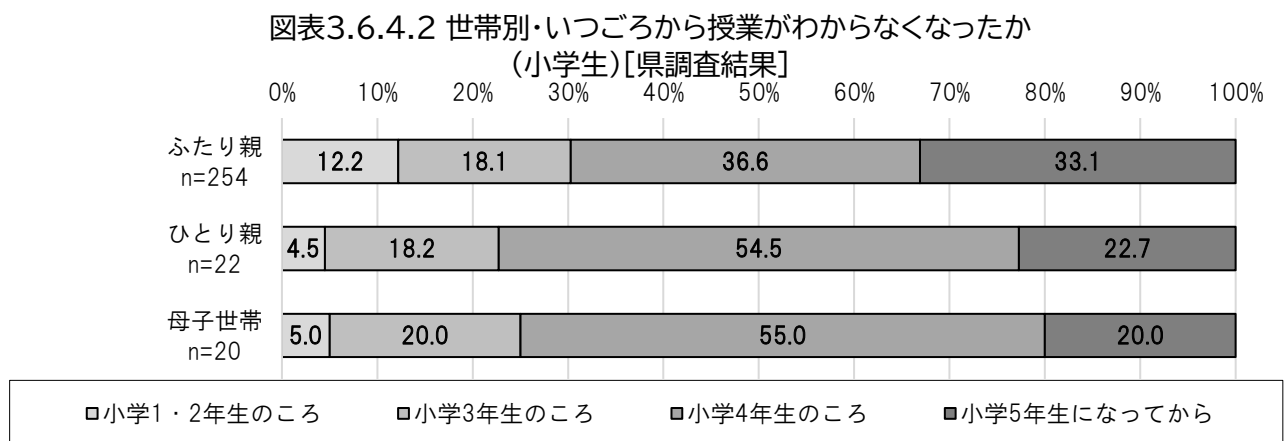
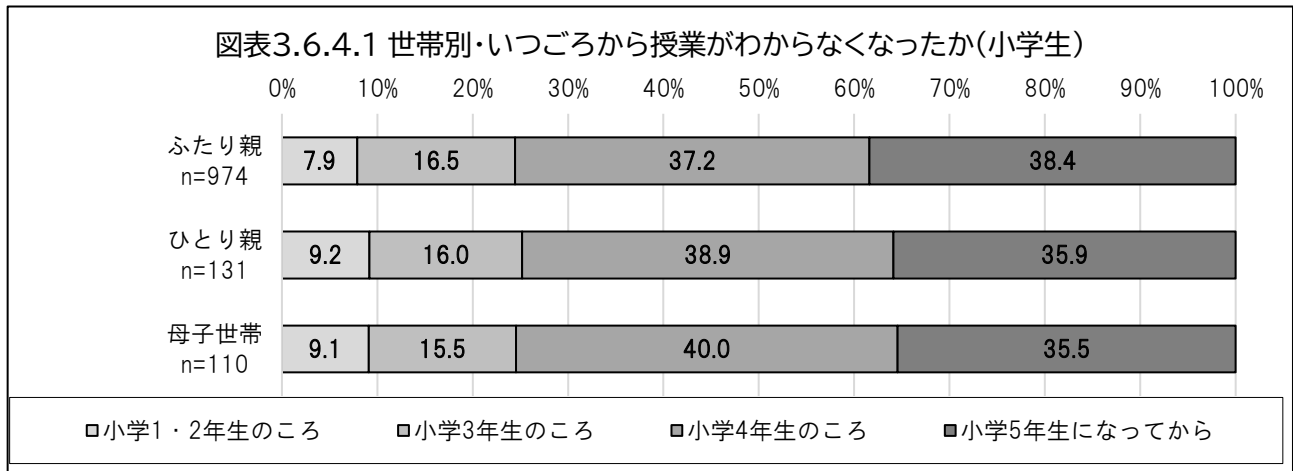
(3) 等価世帯収入別・中学生（問 6. いろいろ授業がわからなくなったか）

いろいろ授業がわからなくなったかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「小学生のころ」と回答した割合（「小学1・2年生のころ」「小学3・4年生のころ」「小学5・6年生のころ」の合計）は、全体では27.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では35.3%と高くなっています。また、県調査（39.9%）と比較して低くなっています。



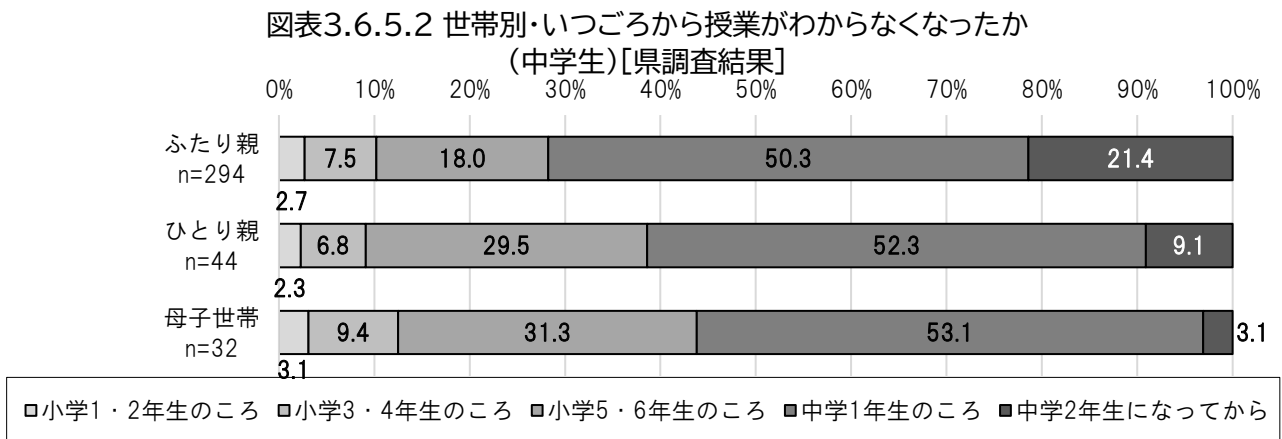
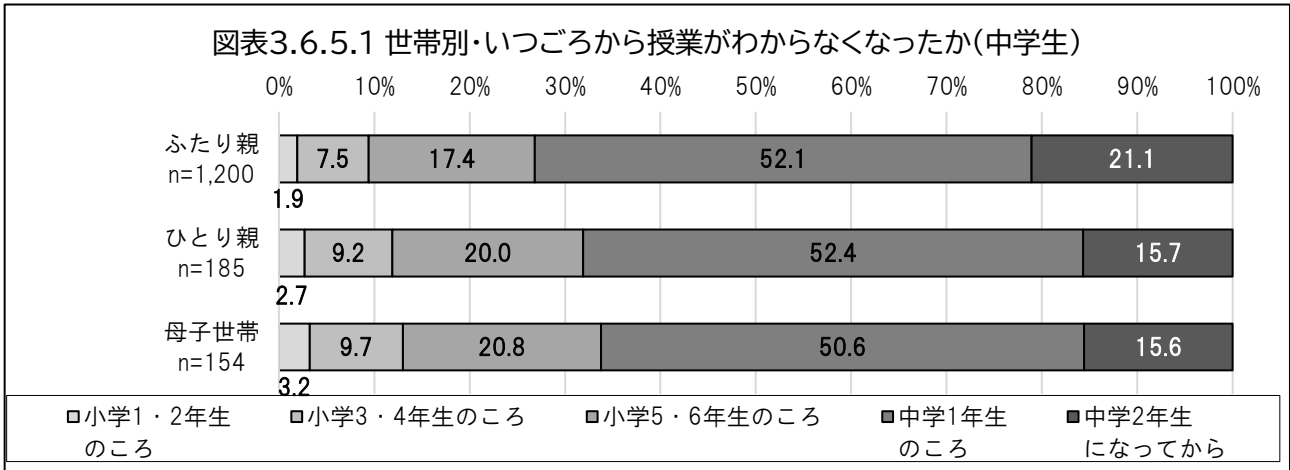
(4) 世帯別・小学生（問 6. いつごろ授業が分からなくなったか）

いつごろ授業がわからなくなったかについて、世帯別にみると、小学生では、「小学1・2年生のころ」と回答した割合は、全体では7.9%であったのに対し、ひとり親世帯では9.2%と高くなっています。また、県調査（4.5%）と比較して高くなっています。



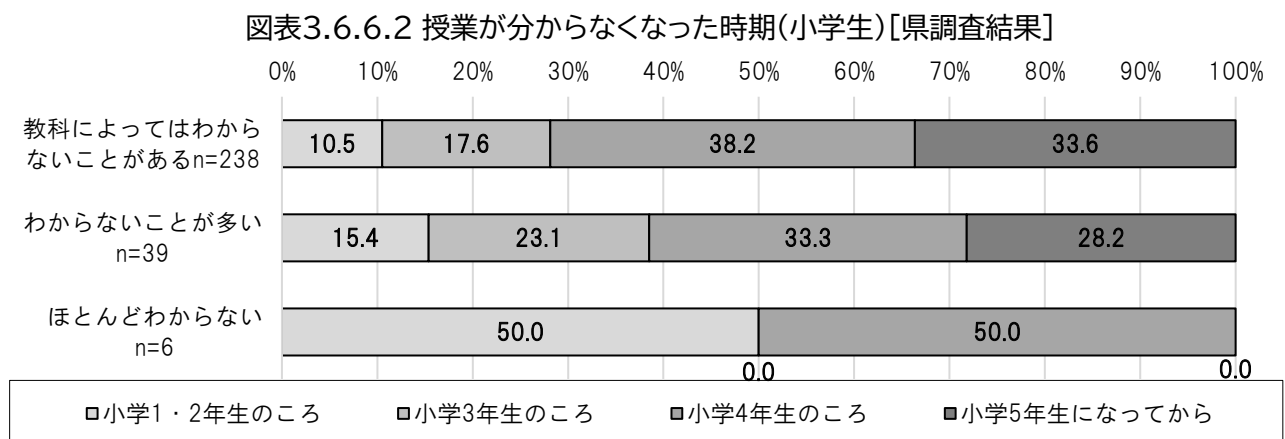
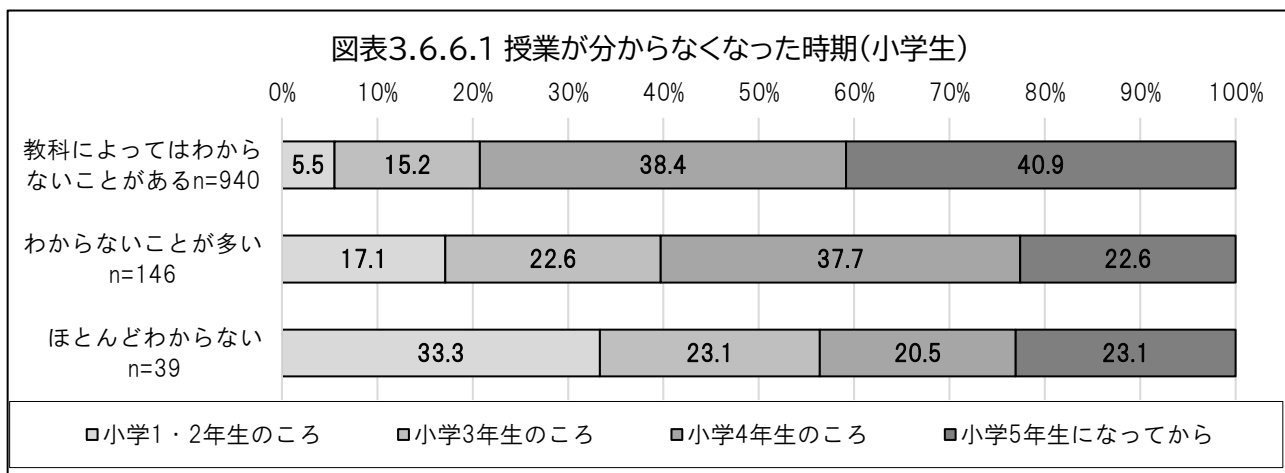
(5) 世帯別・中学生（問 6. いろいろ授業がわからなくなったか）

いろいろ授業がわからなくなったかについて、世帯別にみると、中学生では、「小学生のころ」と回答した割合（「小学1・2年生のころ」「小学3・4年生のころ」「小学5・6年生のころ」の合計）は、全体では27.3%であったのに対し、ひとり親世帯では31.9%と高くなっています。また、県調査(38.6%)と比較して低くなっています。



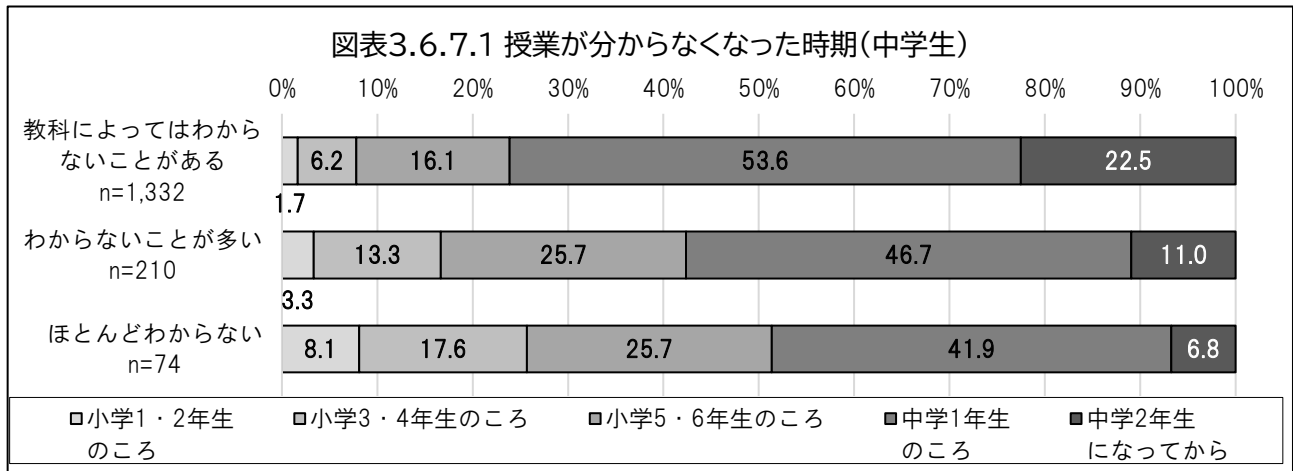
(6)理解度別・小学生（問 6. izzoo授業が分からなくなったか）

izzoo授業がわからなくなったかについて、理解度別にみると、小学生では、「教科書によってはわからないことがある」と回答した場合には「小学5年生になってから」が40.9%、「小学4年生のころ」が38.4%と高く、「わからないことが多い」と回答した場合には「小学4年生のころ」が37.7%と最も高くなっています。また、「ほとんどわからない」と回答した場合には、「小学1・2年生のころ」が33.3%と最も高くなっています。

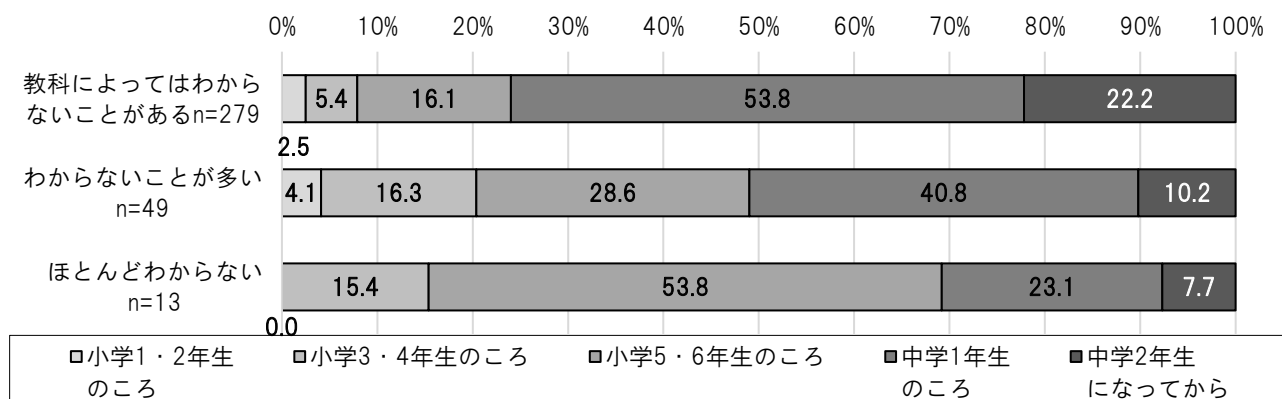


(7)理解度別・中学生（問 6. izzgoろ授業が分からなくなつたか）

izzgoろ授業がわからなくなつたかについて、理解度別にみると、中学生では、「教科書によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答したいずれの場合も、「中学1年生のころ」が最も高くなつています。

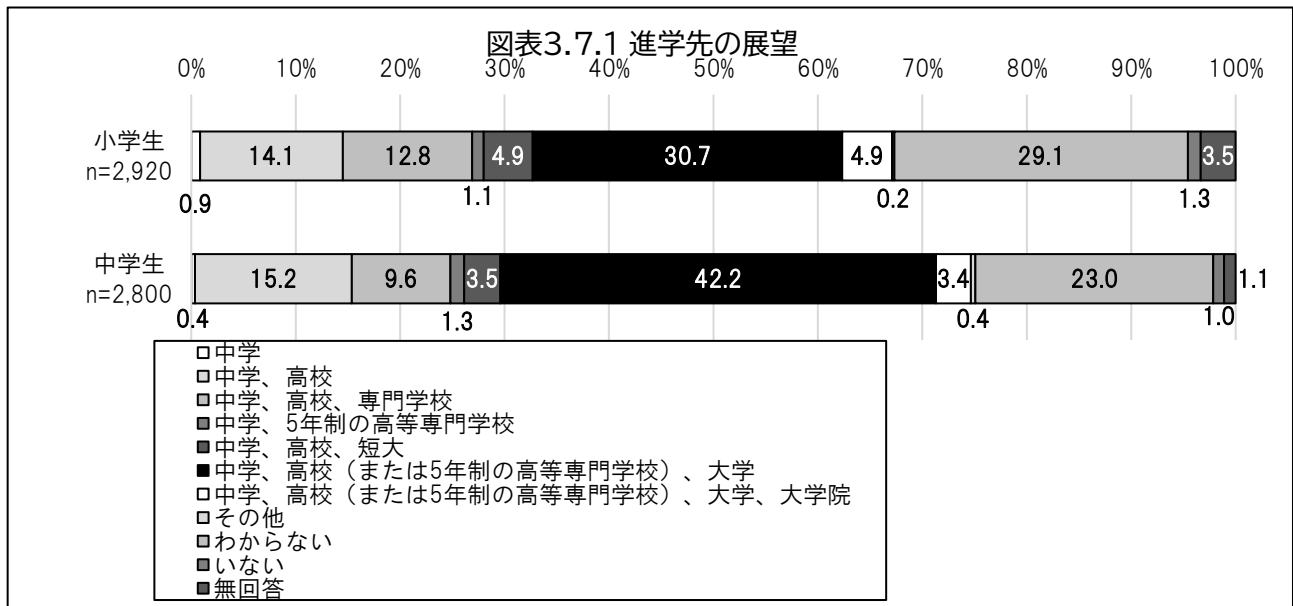


図表3.6.7.2 授業が分からなくなつた時期(中学生)[県調査結果]



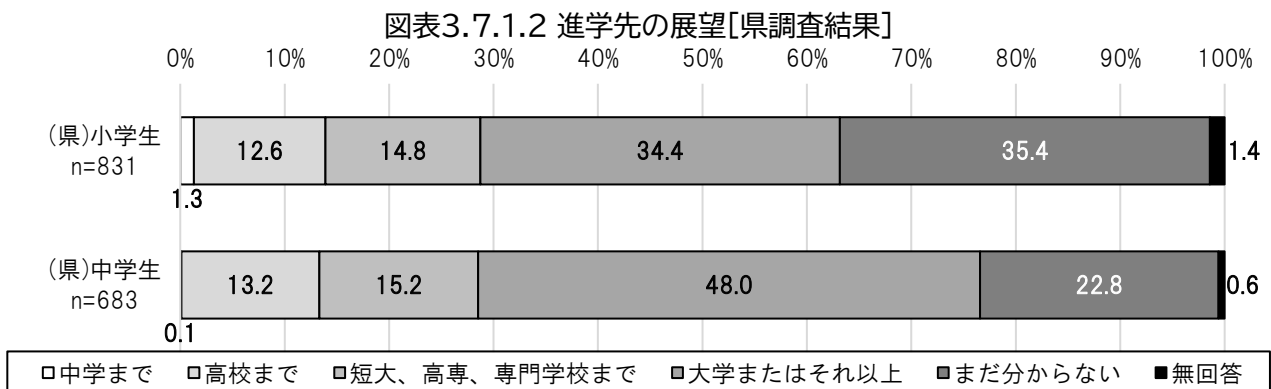
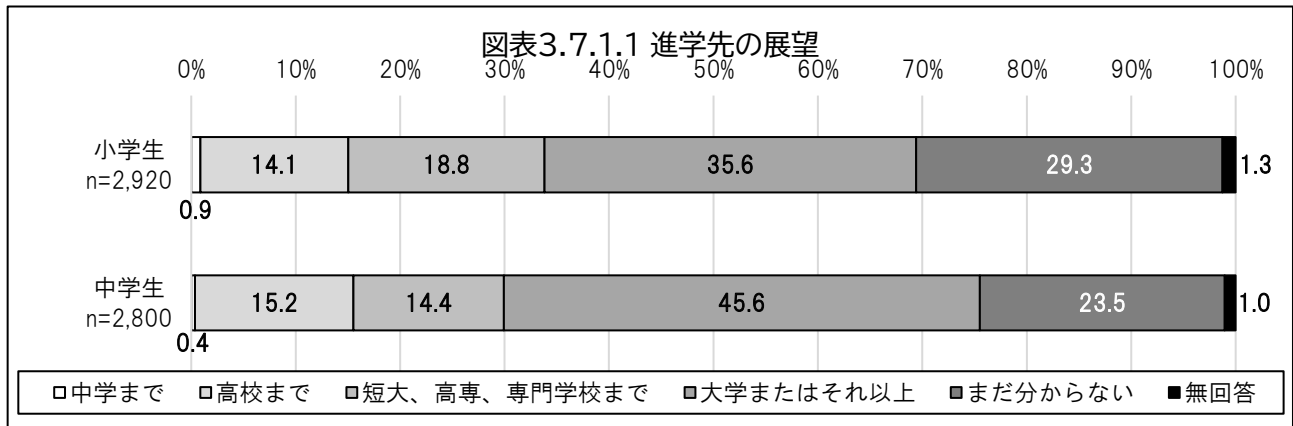
問7. あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。

進学先の展望について、小学生・中学生ともに「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が30.7%、42.2%と最も高く、次いで「わからない」が29.1%、23.0%、「中学、高校」が14.1%、15.2%となっています。



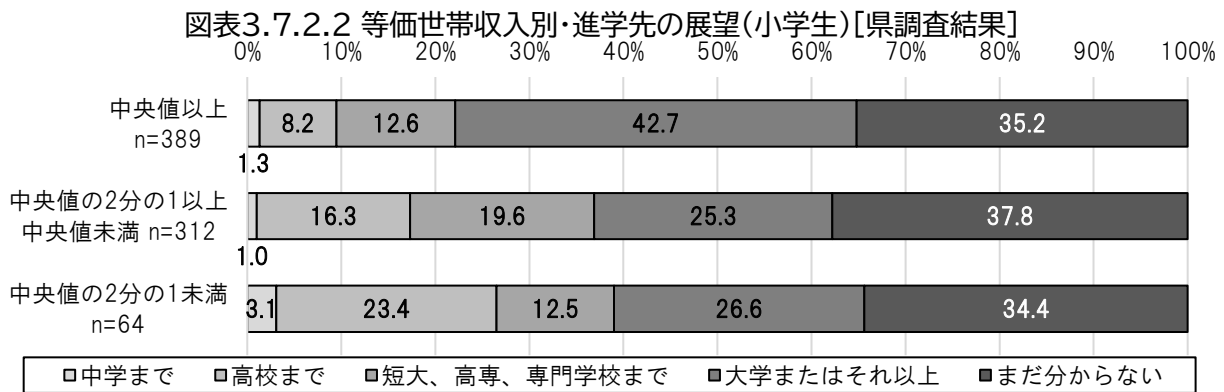
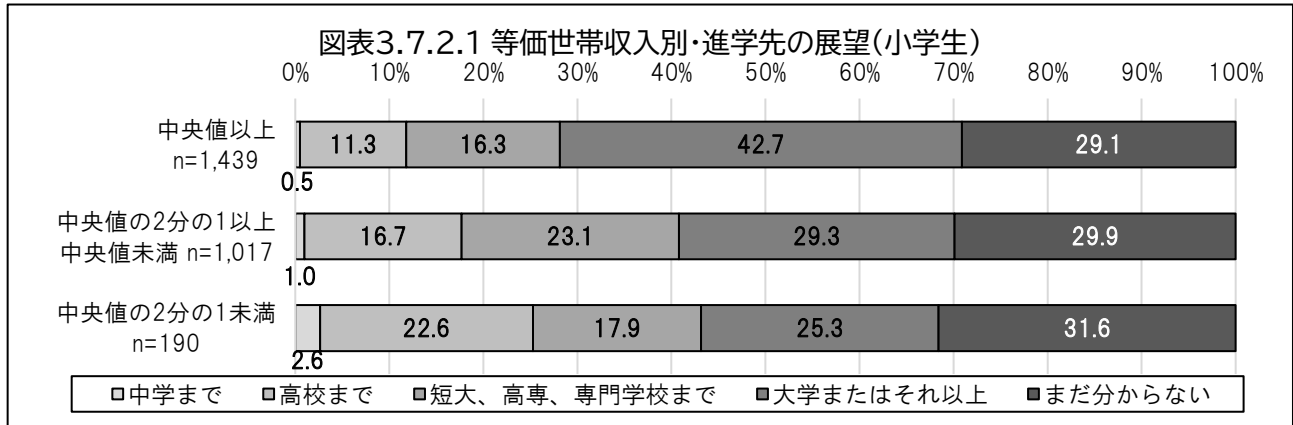
(1) 全体

進学先の展望について、進学したいと思う教育段階を「大学またはそれ以上」と回答した割合は、小学生が35.6%で、県調査（34.4%）と同程度、中学生が45.6%で、県調査（48.0%）と比較してやや低くなっています。



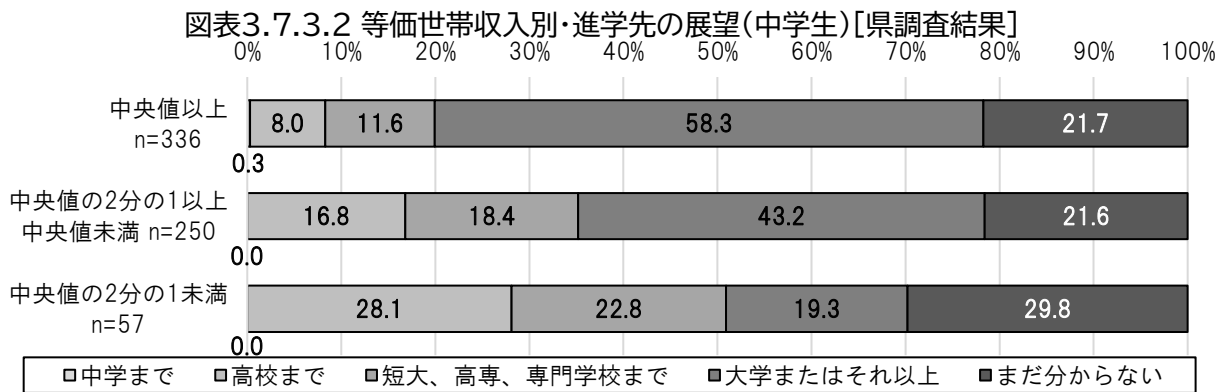
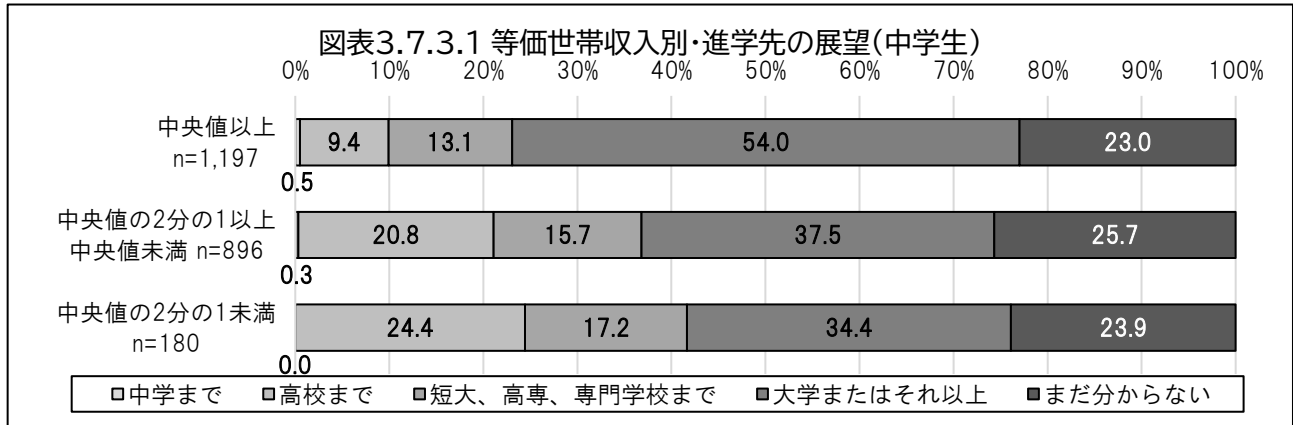
(2) 等価世帯収入別・小学生（問 7. 希望の進学先）

進学先の展望について、等価世帯収入別にみると、小学生では、進学したいと思う教育段階を「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では 35.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の 2 分の 1 未満）」では 25.3%と低くなっています。また、県調査（26.6%）と同程度となっています。



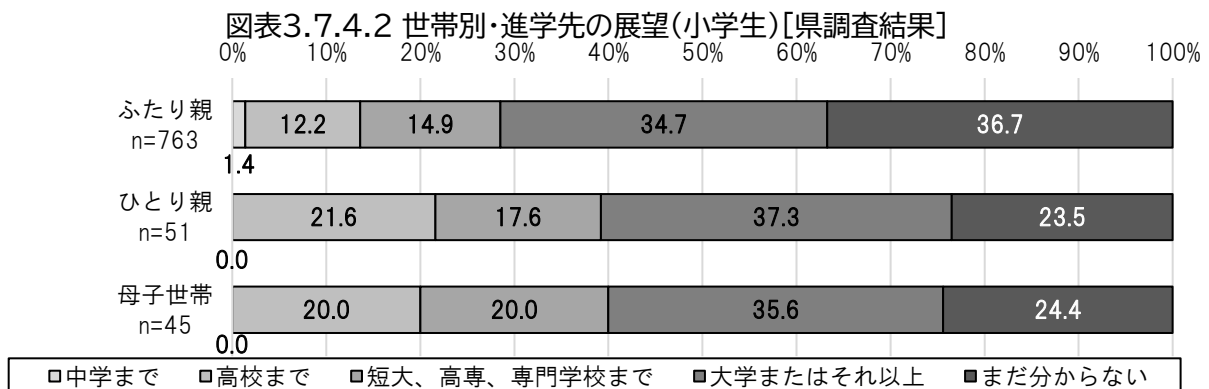
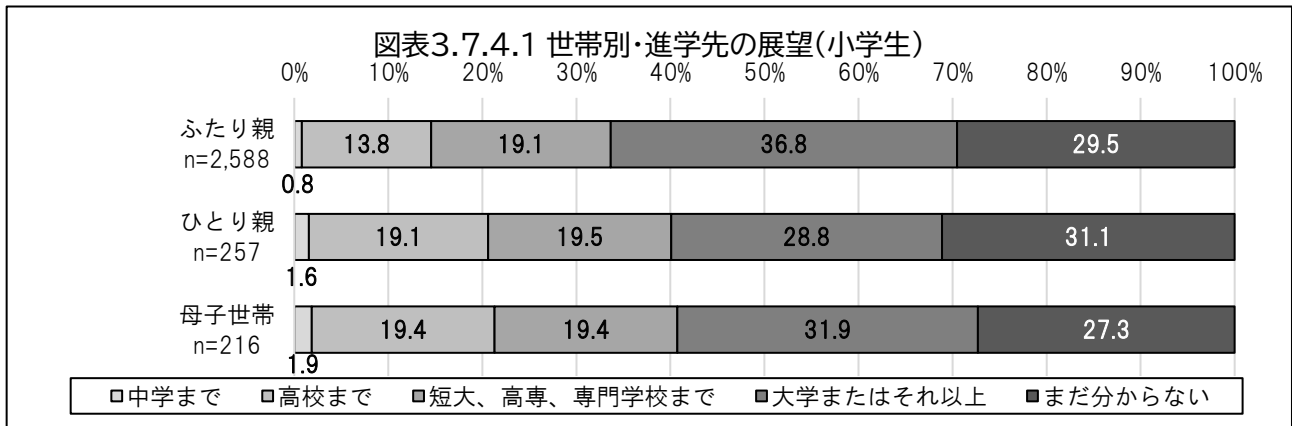
(3) 等価世帯収入別・中学生（問 7. 希望の進学先）

進学先の展望について、等価世帯収入別にみると、中学生では、進学したいと思う教育段階を「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では 45.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では 34.4%と低くなっています。また、県調査（19.3%）と比較して高くなっています。



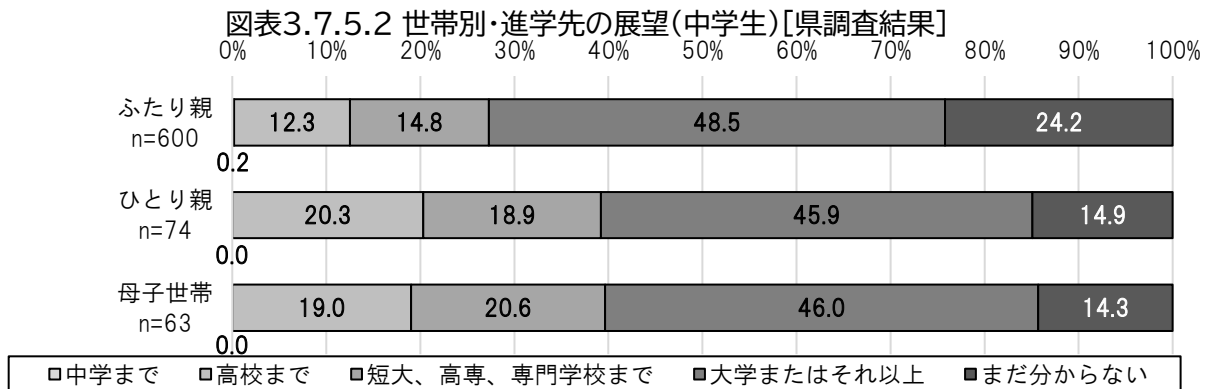
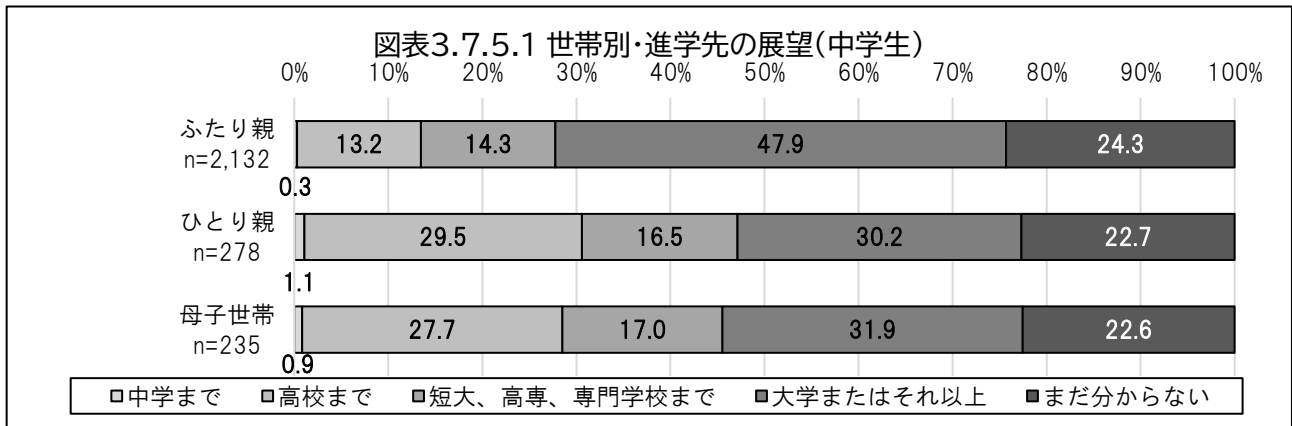
(4) 世帯別・小学生（問 7. 希望の進学先）

進学先の展望について、世帯別にみると、小学生では、進学したいと思う教育段階を「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では 35.6%であったのに対し、ひとり親世帯では 28.8%と低くなっています。また、県調査（37.3%）と比較して低くなっています。



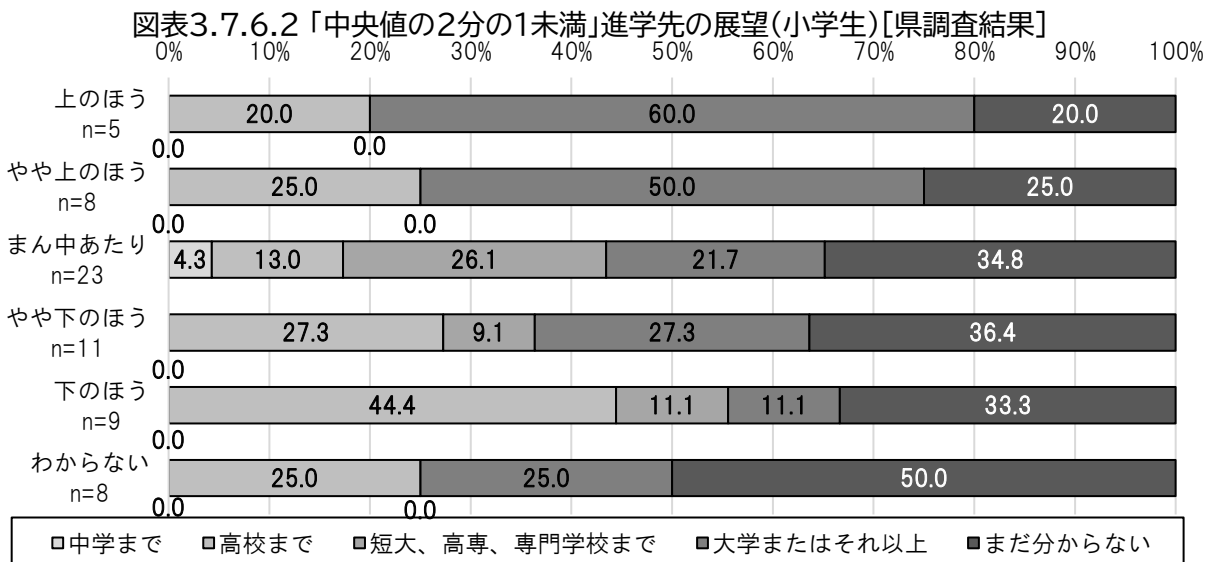
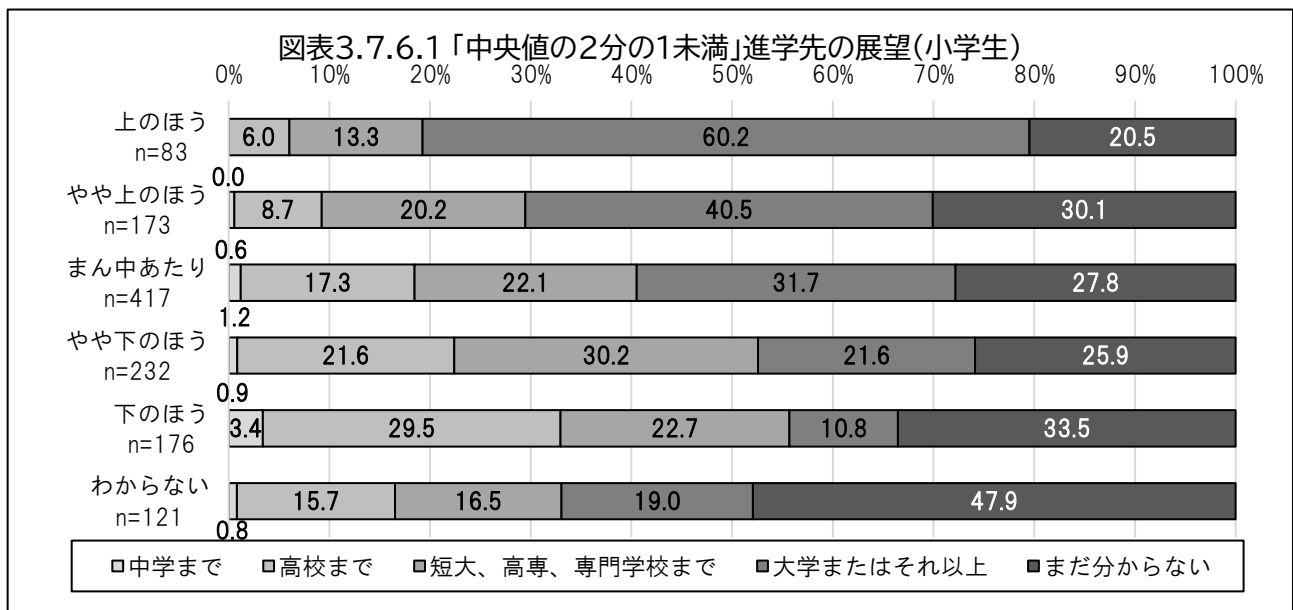
(5) 世帯別・中学生（問 7. 希望の進学先）

進学先の展望について、世帯別にみると、中学生では、進学したいと思う教育段階を「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では 45.6%であったのに対し、ひとり親世帯では 30.2%と低くなっています。また、県調査（45.9%）と比較して低くなっています。



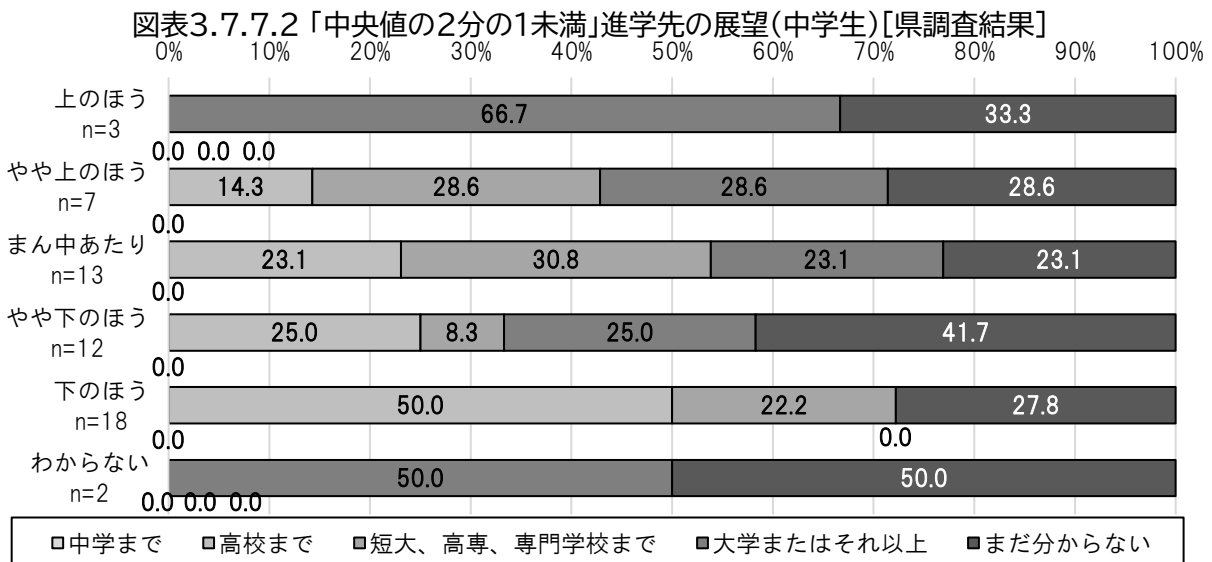
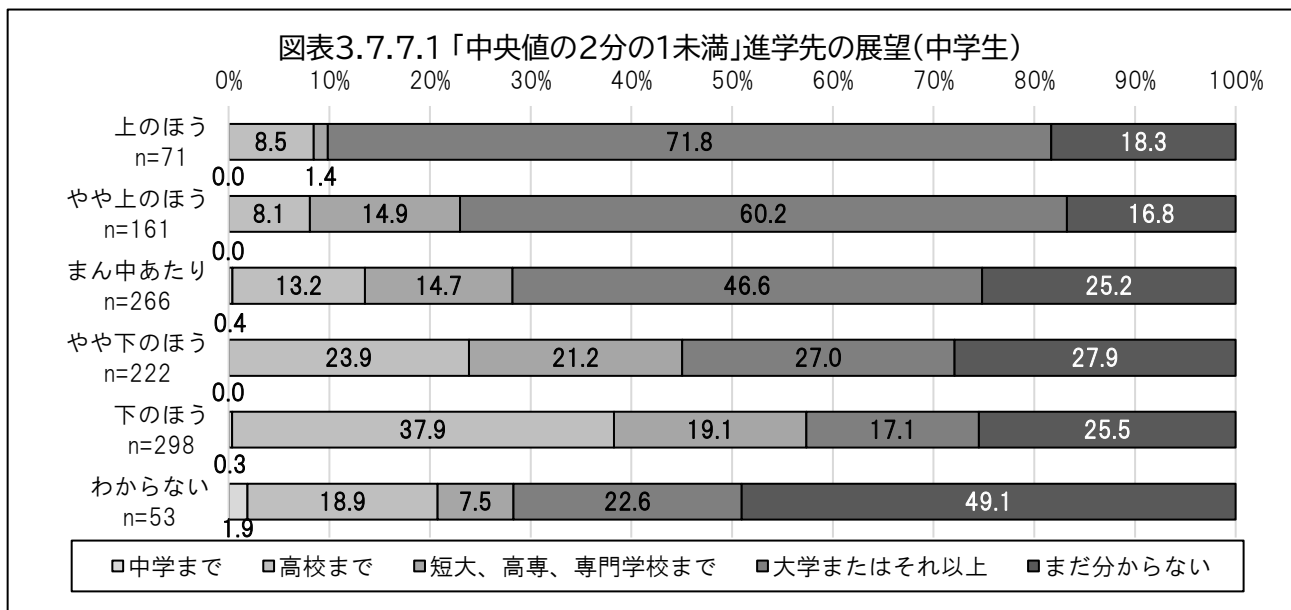
(6) 世帯収入「中央値の2分の1未満」成績状況別・小学生（問7.希望の進学先）

「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の進学先の展望について、成績状況別にみると、小学生では、成績が「上のほう」、「やや上のほう」、「まん中あたり」では、「大学またはそれ以上」がそれぞれ60.2%、40.5%、31.7%と最も高くなっています。また、「やや下のほう」では「短大、高専、専門学校まで」が30.2%と最も高く、「下のほう」と「わからない」では、「まだ分からない」がそれぞれ33.5%、47.9%と最も高くなっています。



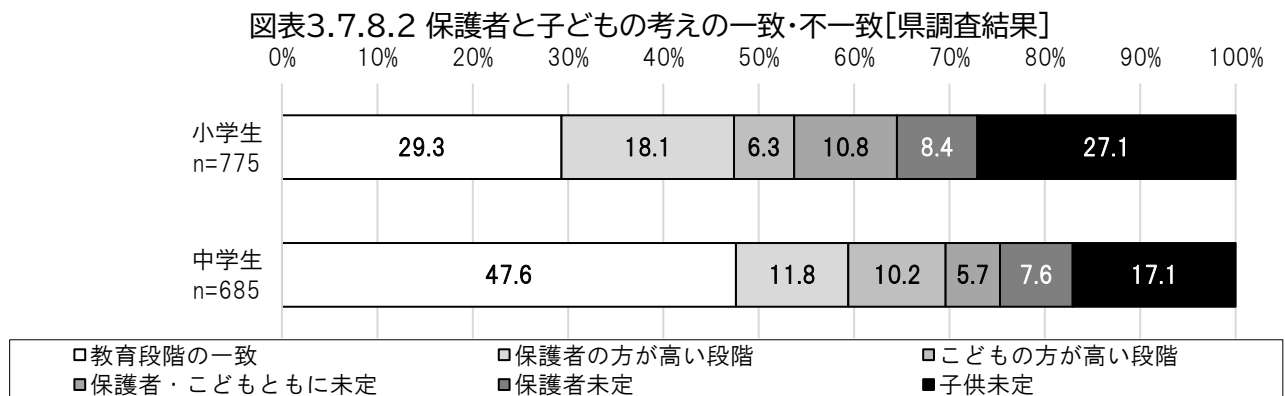
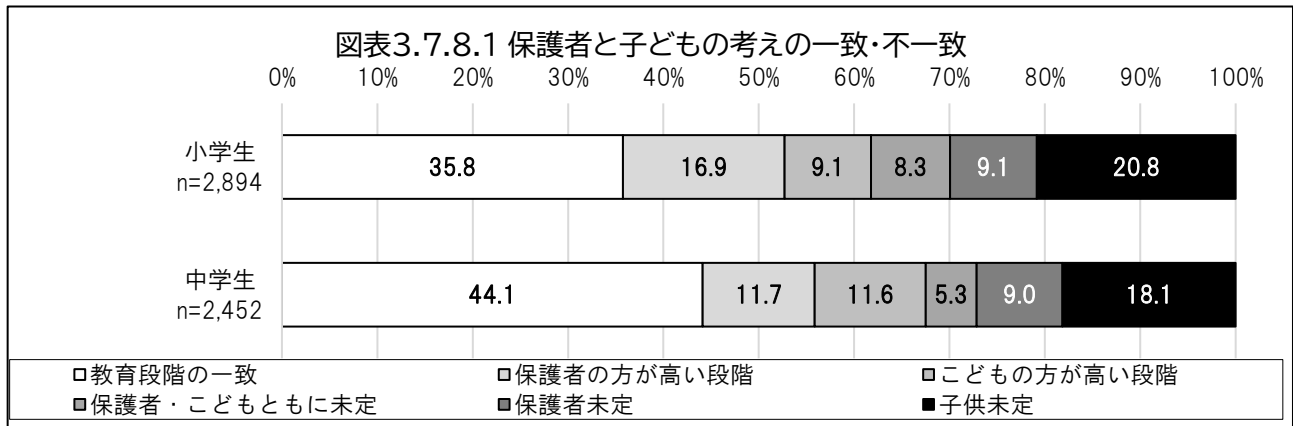
(7) 世帯収入「中央値の2分の1未満」成績状況別・中学生（問7.希望の進学先）

「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の進学先の展望について、成績状況別にみると、中学生では、成績が「上のほう」、「やや上のほう」、「まん中あたり」では「大学またはそれ以上」がそれぞれ71.8%、60.2%、46.6%と最も高くなっています。また、「やや下のほう」と「わからない」では「まだ分からない」が27.9%、49.1%とそれぞれ最も高く、「下のほう」では「高校まで」が37.9%と最も高くなっています。



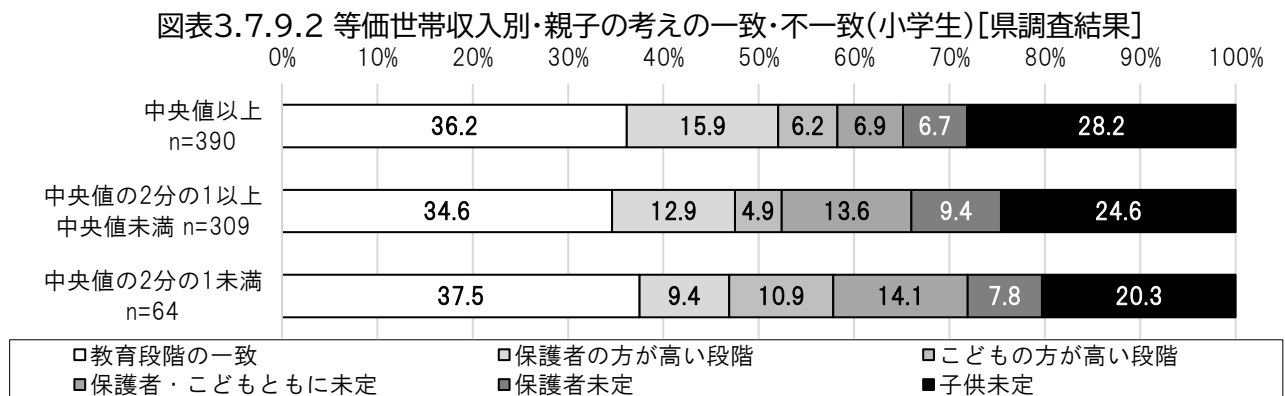
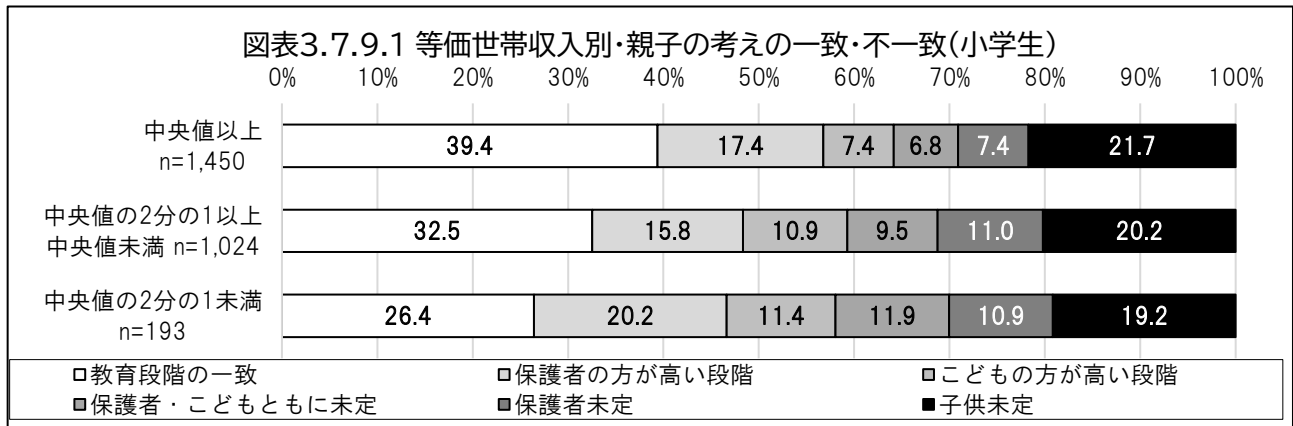
(8) 保護者と子どもの将来像の一致・不一致（問 7. 希望の進学先）

保護者と子どもの将来像の一致・不一致について、小学生・中学生ともに、「教育段階の一致」が 35.8%、44.1%と最も高く、次いで「子供未定」が 20.8%、18.1%、「保護者の方が高い段階」が 16.9%、11.7%、11.6%、5.3%、9.0%、11.7%、10.2%、5.7%、7.6%、17.1%となっています。



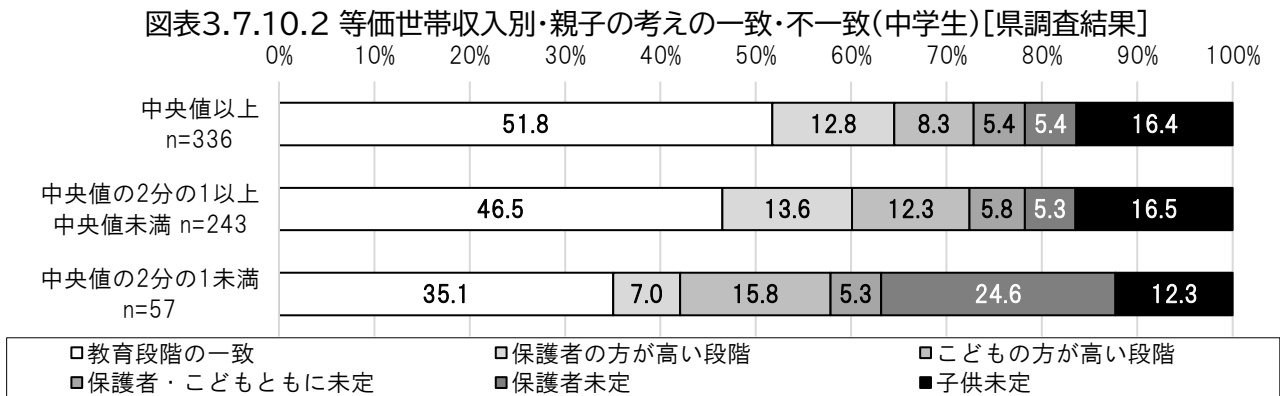
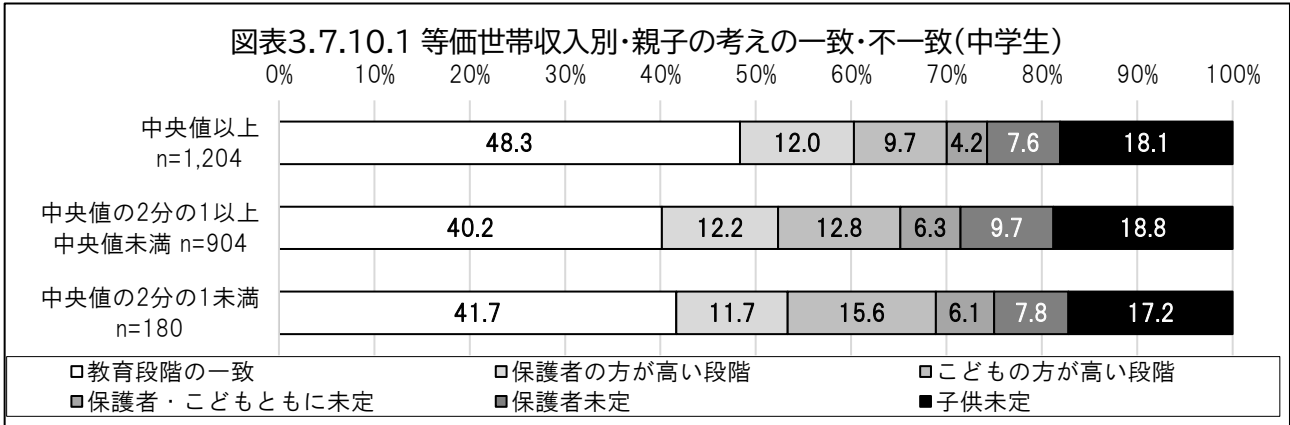
(9) 等価世帯収入別・保護者と子どもの将来像の一致・不一致・小学生（問7.希望の進学先）

保護者と子どもの将来像の一致・不一致について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「教育段階の一致」が、全体では35.8%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では26.4%と低くなっています。また、県調査（37.5%）と比較して低くなっています。



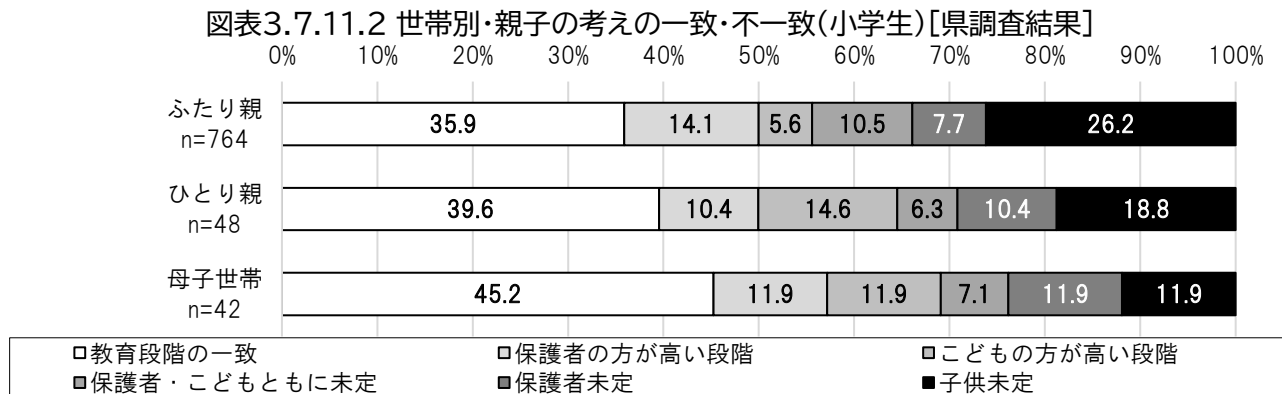
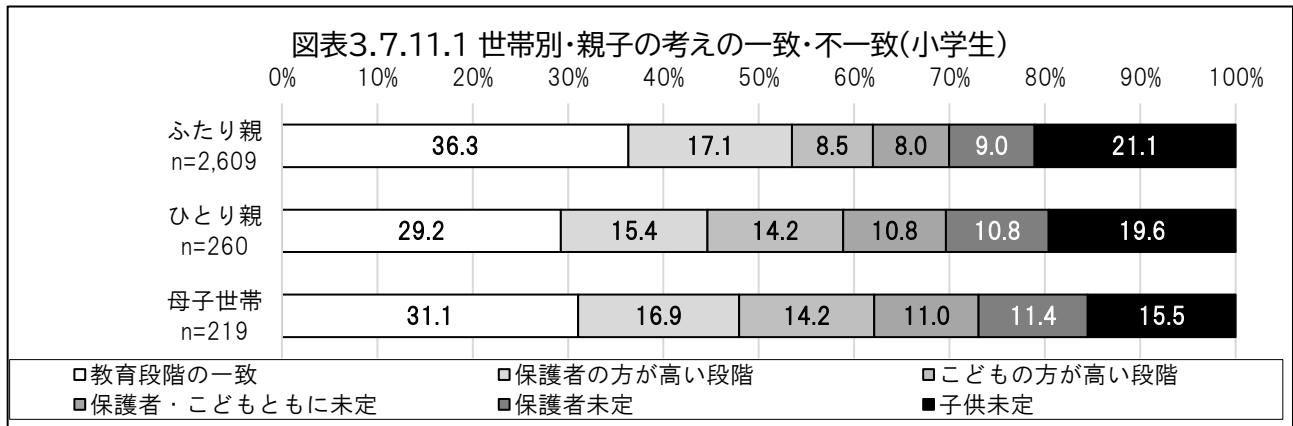
(10)等価世帯収入別・保護者と子どもの将来像の一致・不一致・中学生（問7.希望の進学先）

保護者と子どもの将来像の一致・不一致について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「教育段階の一致」が、全体では44.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では41.7%と低くなっています。また、県調査（35.1%）と比較して高くなっています。



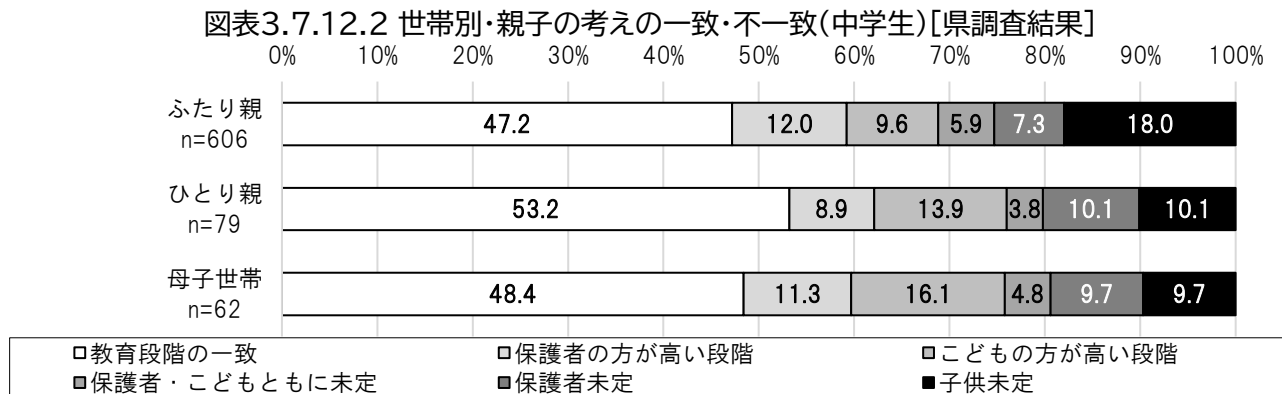
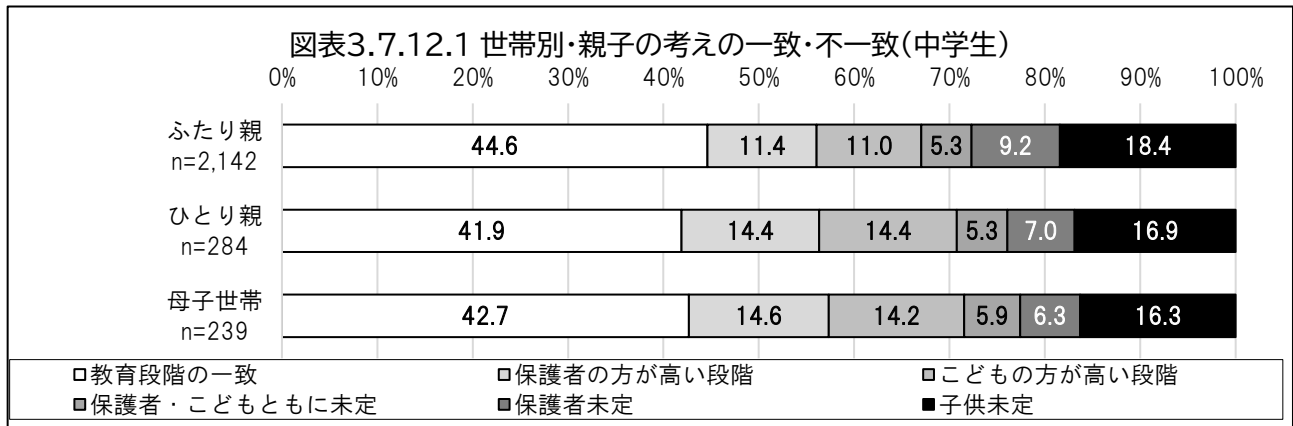
(11)世帯別・保護者と子どもの将来像の一致・不一致・小学生（問7.希望の進学先）

保護者と子どもの将来像の一致・不一致について、世帯別にみると、小学生では、「教育段階の一致」が、全体では35.8%であったのに対し、ひとり親世帯では29.2%と低くなっています。また、県調査（39.6%）と比較して低くなっています。



(12)世帯別・保護者と子どもの将来像の一致・不一致・中学生（問7.希望の進学先）

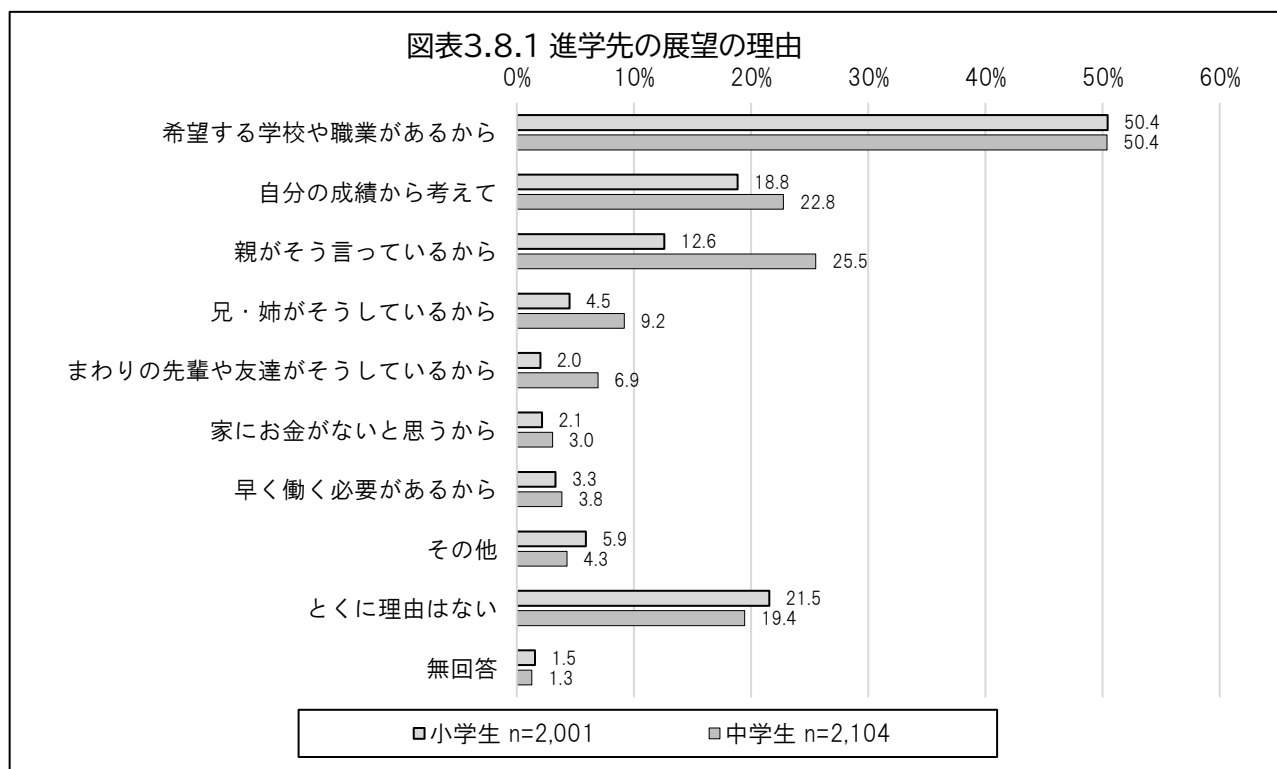
保護者と子どもの将来像の一致・不一致について、世帯別にみると、中学生では、「教育段階の一致」が、全体では44.1%であったのに対し、ひとり親世帯では41.9%と低くなっています。また、県調査（53.2%）と比較して低くなっています。



問8. 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

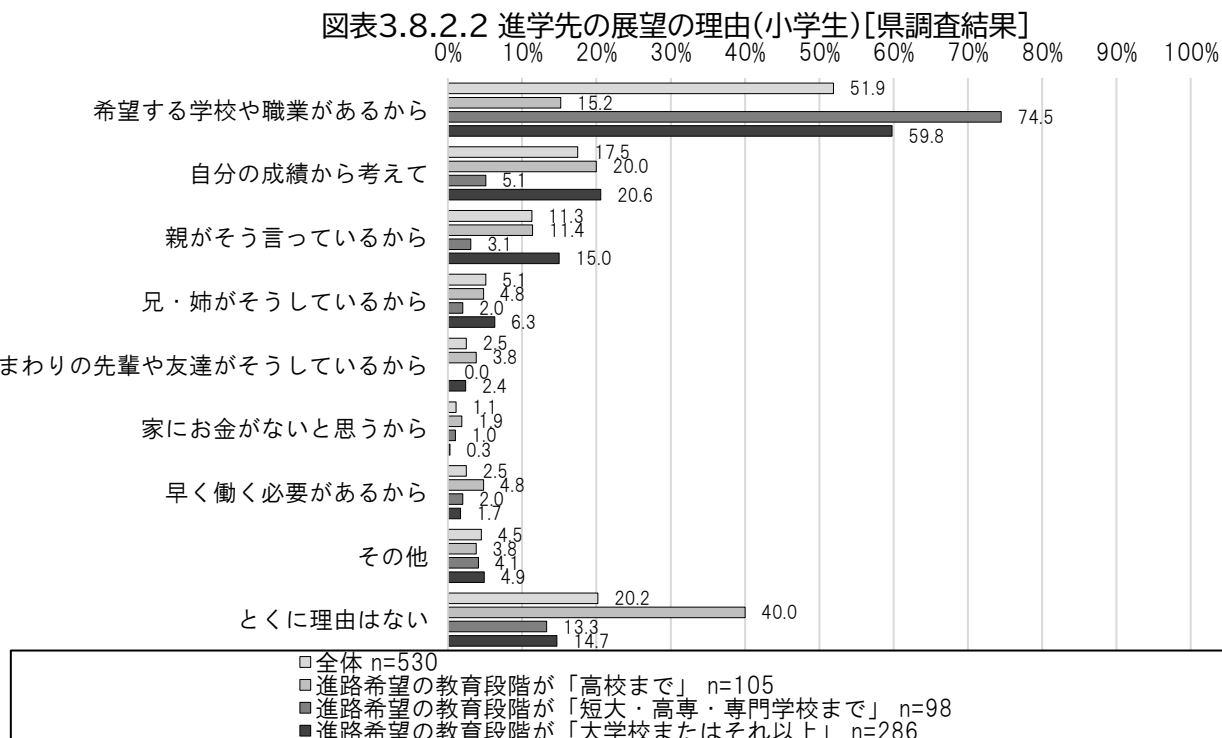
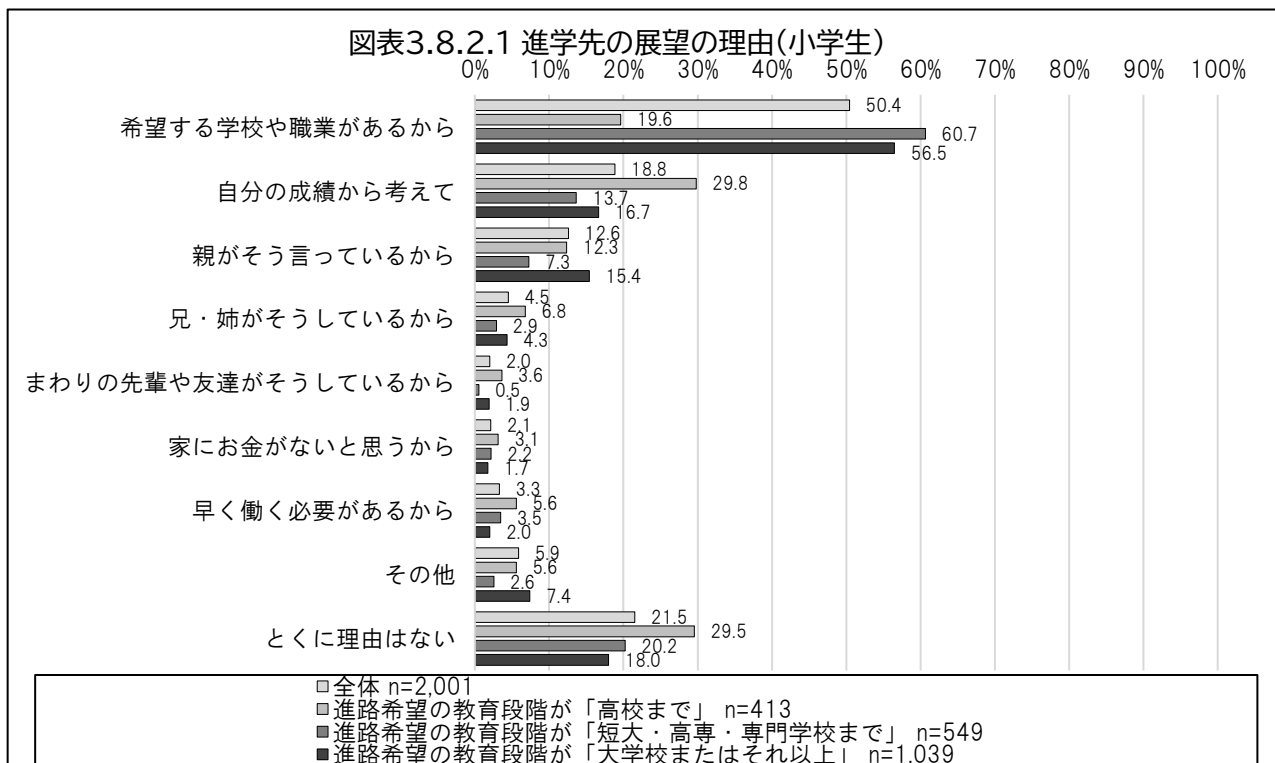
(1) 全体

進学先を希望する理由について、小学生・中学生ともに「希望する学校や職業があるから」が50.4%と最も高く、次いで、小学生は「とくに理由はない」が21.5%、「自分の成績から考えて」が18.8%、中学生では「親がそう言っているから」が25.5%、「自分の成績から考えて」が22.8%となっています。



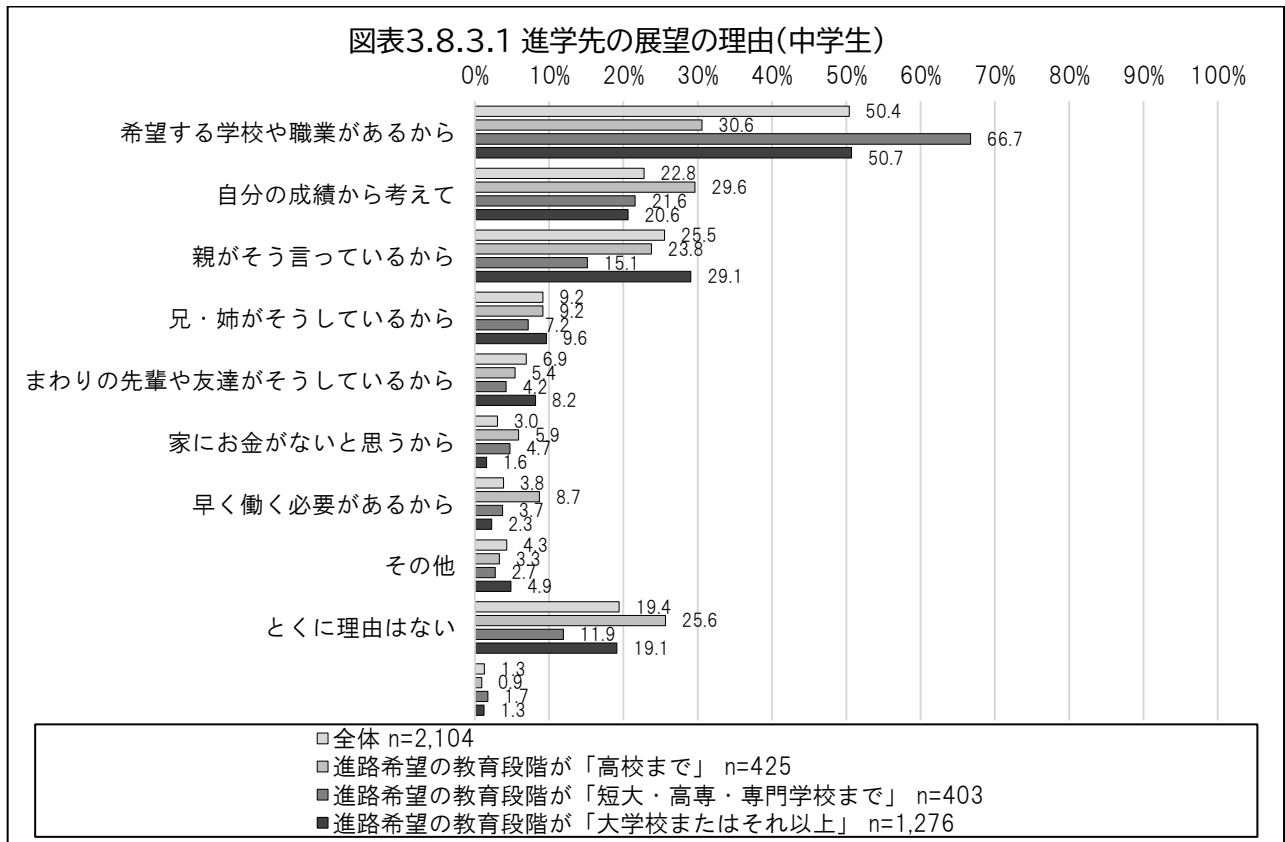
(2)進学希望別・小学生（問8.進学先を希望する理由）

進学先を希望する理由について、進学希望別にみると、小学生では、「進路希望の教育段階が「短大・高専・専門学校まで」、「進路希望の教育段階が「大学またはそれ以上」では、「希望する学校や職業があるから」がそれぞれ60.7%、56.5%、「進路希望の教育段階が「高校まで」では「自分の成績から考えて」が29.8%とそれぞれ最も高くなっています。

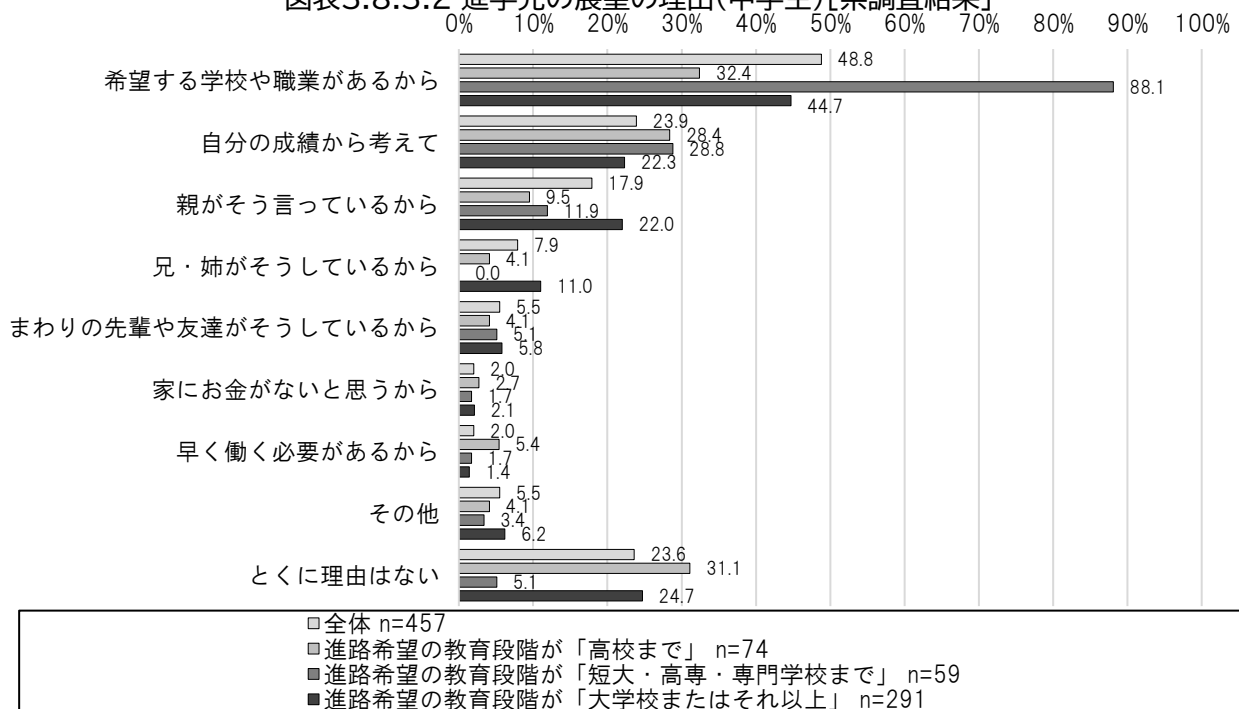


(3)進学希望別・中学生（問 8. 進学先を希望する理由）

進学先を希望する理由について、進学希望別にみると、中学生では、すべての進学希望先において「希望する学校や職業があるから」が30.6%、66.7%、50.7%とそれぞれ最も高くなっています。

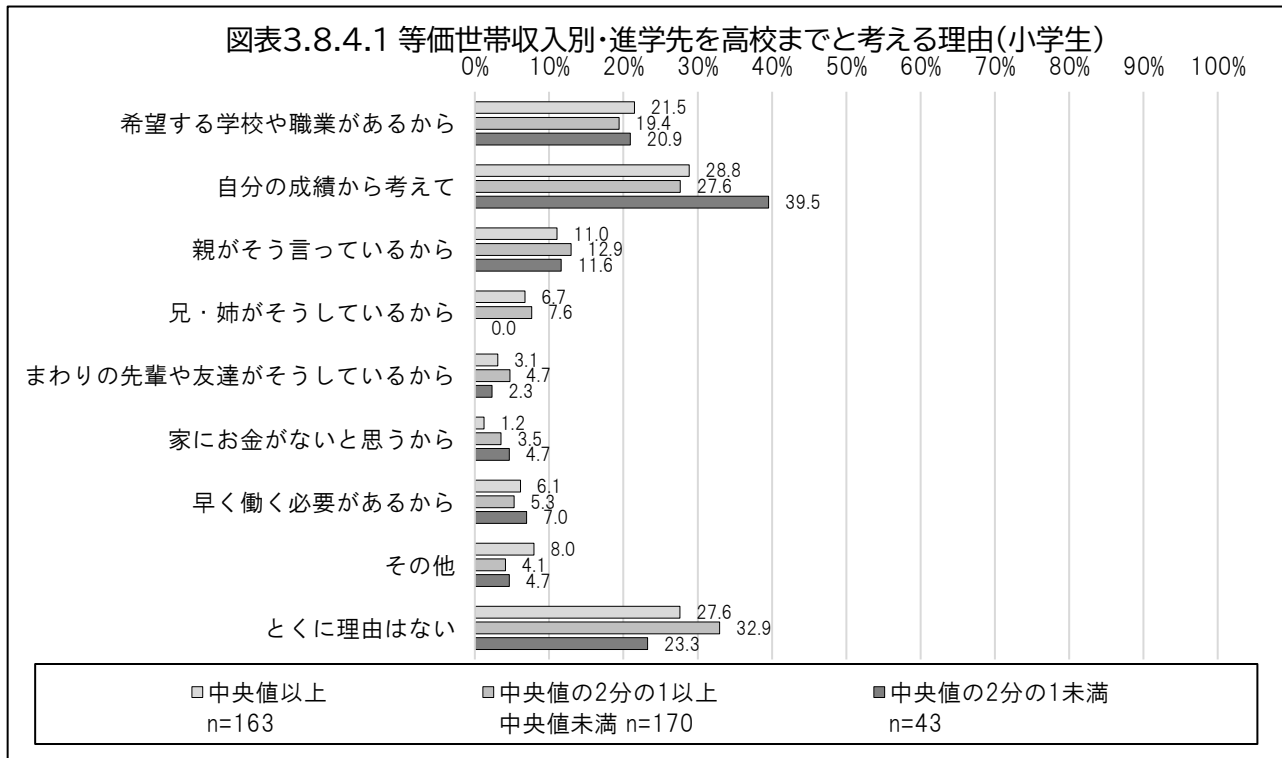


図表3.8.3.2 進学先の展望の理由(中学生)[県調査結果]

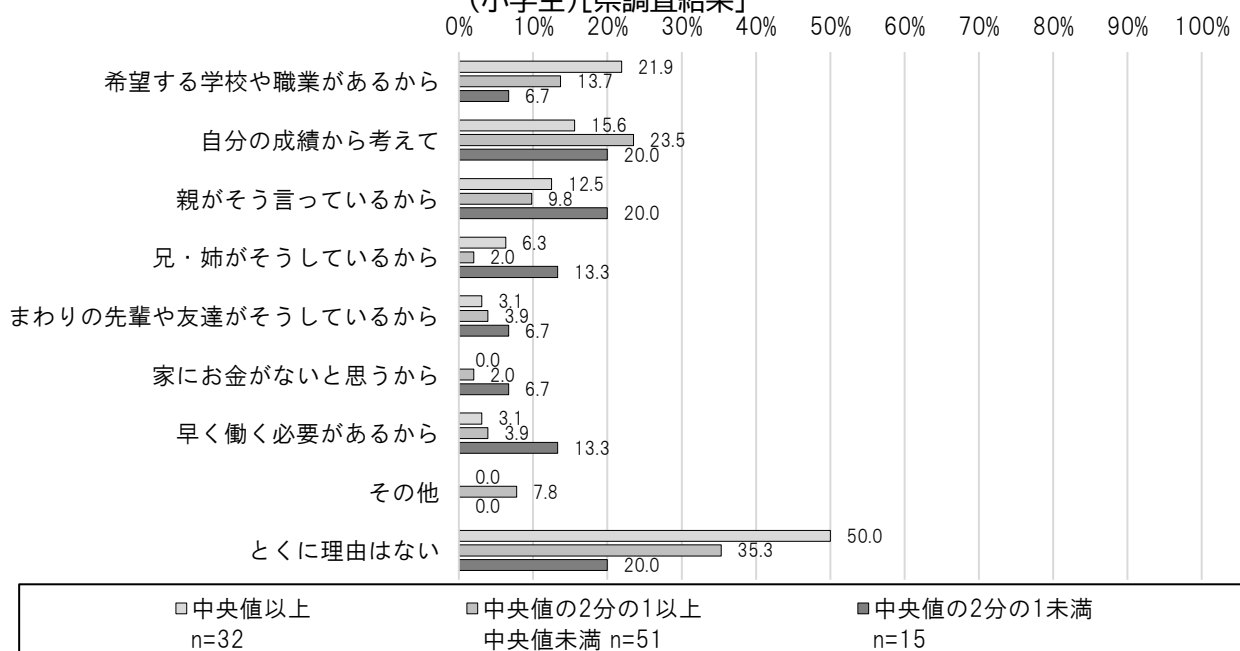


(4)等価世帯収入別・進学先を「高校まで」と考える理由・小学生（問 8. 進学先を希望する理由）

進学先を「高校まで」と考える理由は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の 2 分の 1 未満）」の小学生では「自分の成績から考えて」が 39.5%と最も高く、他の世帯と比較して特に高くなっています。また、「家にお金がないと思うから」が 4.7%、「早く働く必要があるから」が 7.0%で、他の世帯と比較して高くなっています。

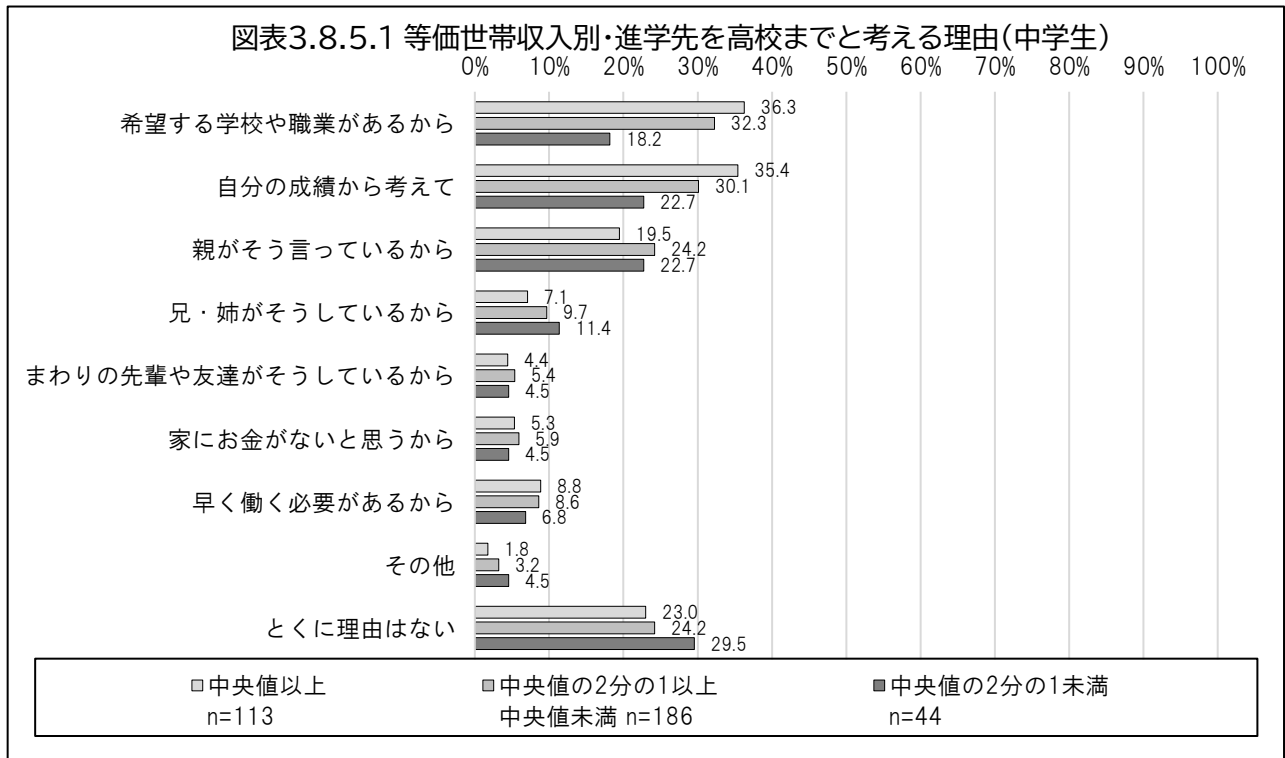


図表3.8.4.2 等価世帯収入別・進学先を高校までと考える理由
(小学生)[県調査結果]

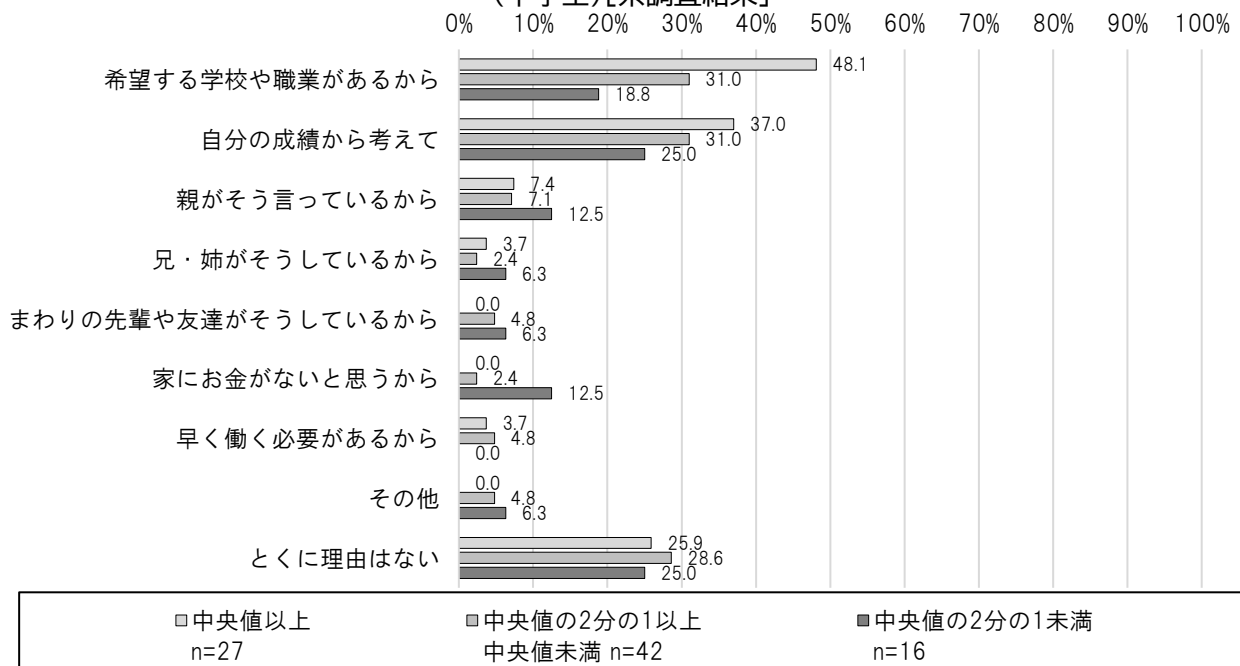


(5)等価世帯収入別・進学先を「高校まで」と考える理由・中学生（問 8. 進学先を希望する理由）

進学先を「高校まで」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の中学生では、「とくに理由はない」が29.5%と最も高く、他の世帯と比較して高くなっています。また、「兄・姉がそうしているから」が11.4%で、他の世帯と比較して高くなっています。

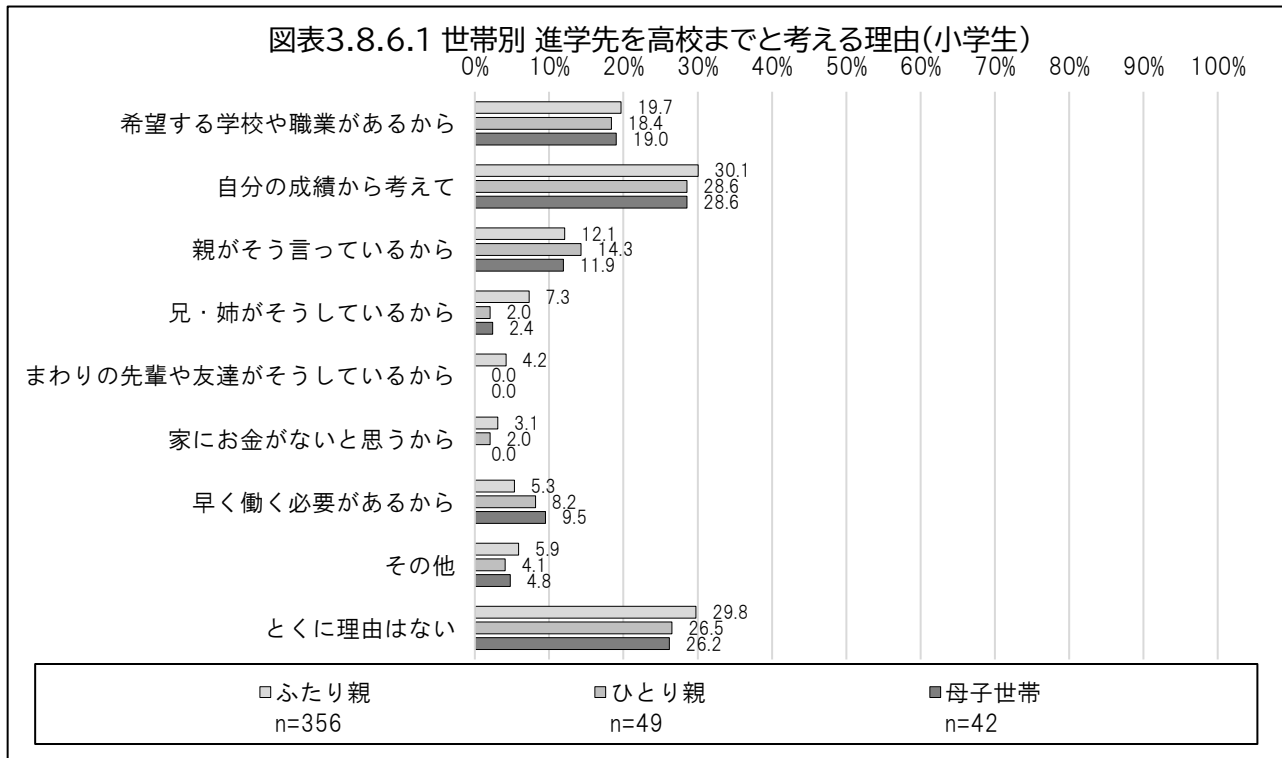


図表3.8.5.2 等価世帯収入別・進学先を高校までと考える理由 (中学生)[県調査結果]



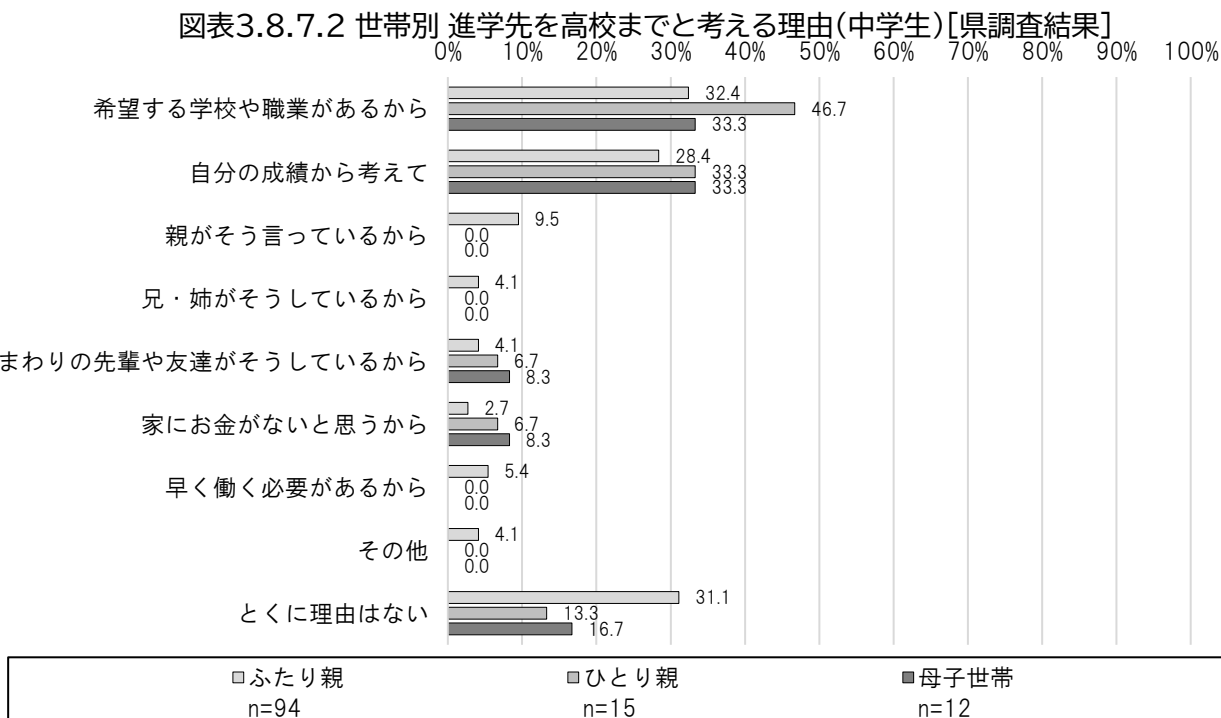
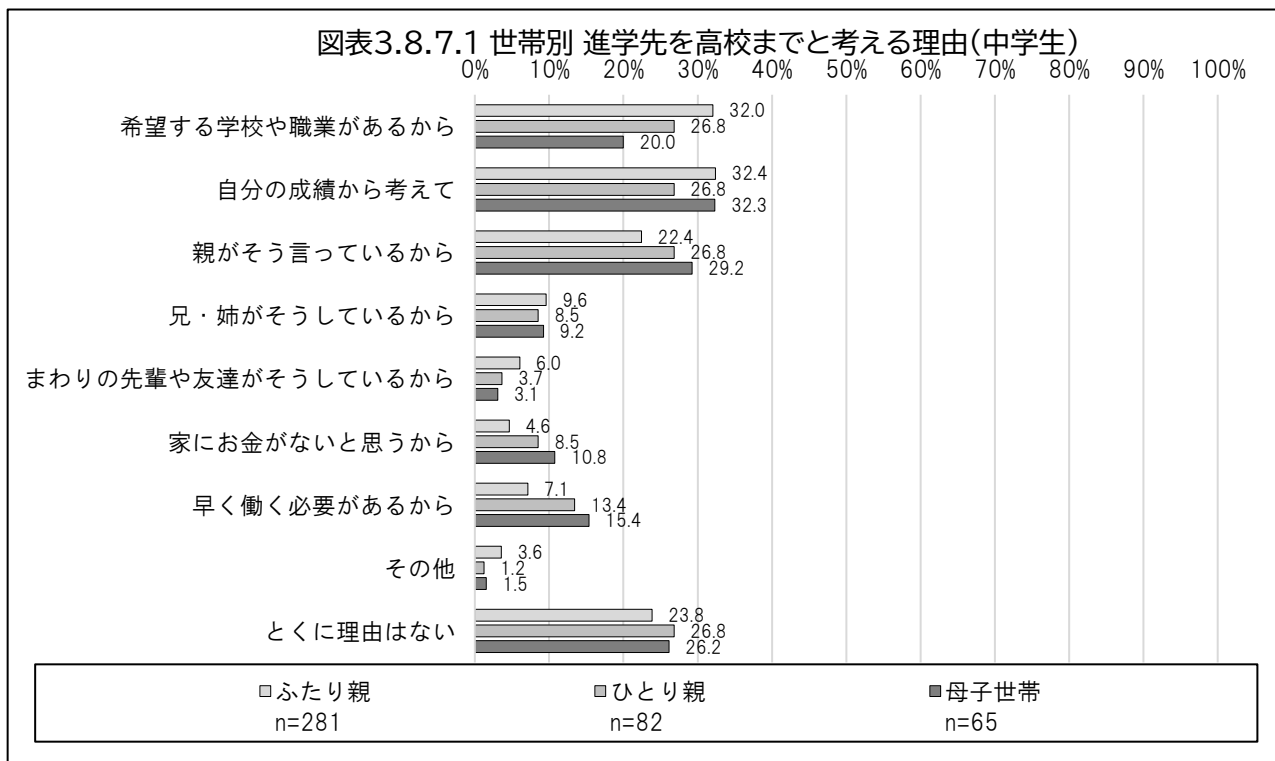
(6) 世帯別・進学先を「高校まで」と考える理由・小学生（問 8. 進学先を希望する理由）

進学先を「高校まで」と考える理由について、世帯別にみると、ひとり親世帯の小学生では「自分の成績から考えて」が28.6%と最も高く、次いで「とくに理由はない」が26.5%となっています。また、ひとり親世帯では、「親がそう言っているから」が14.3%、「早く働く必要があるから」が8.2%と、ふたり親世帯と比較してやや高くなっています。



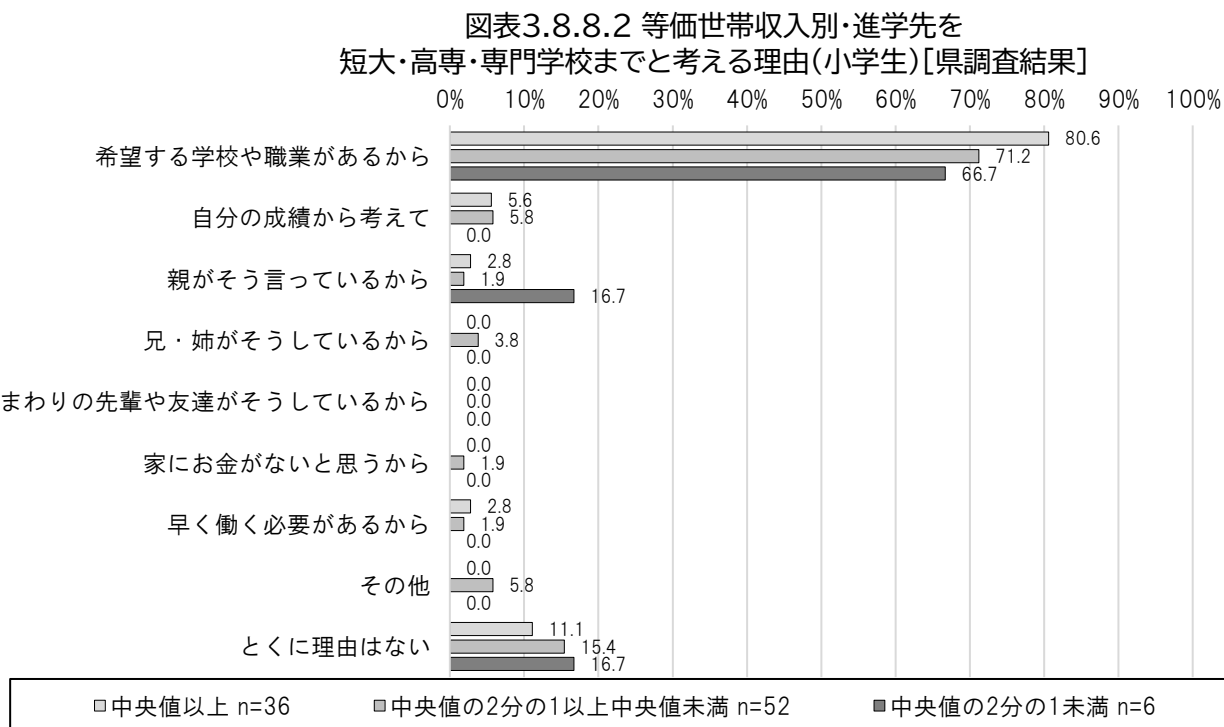
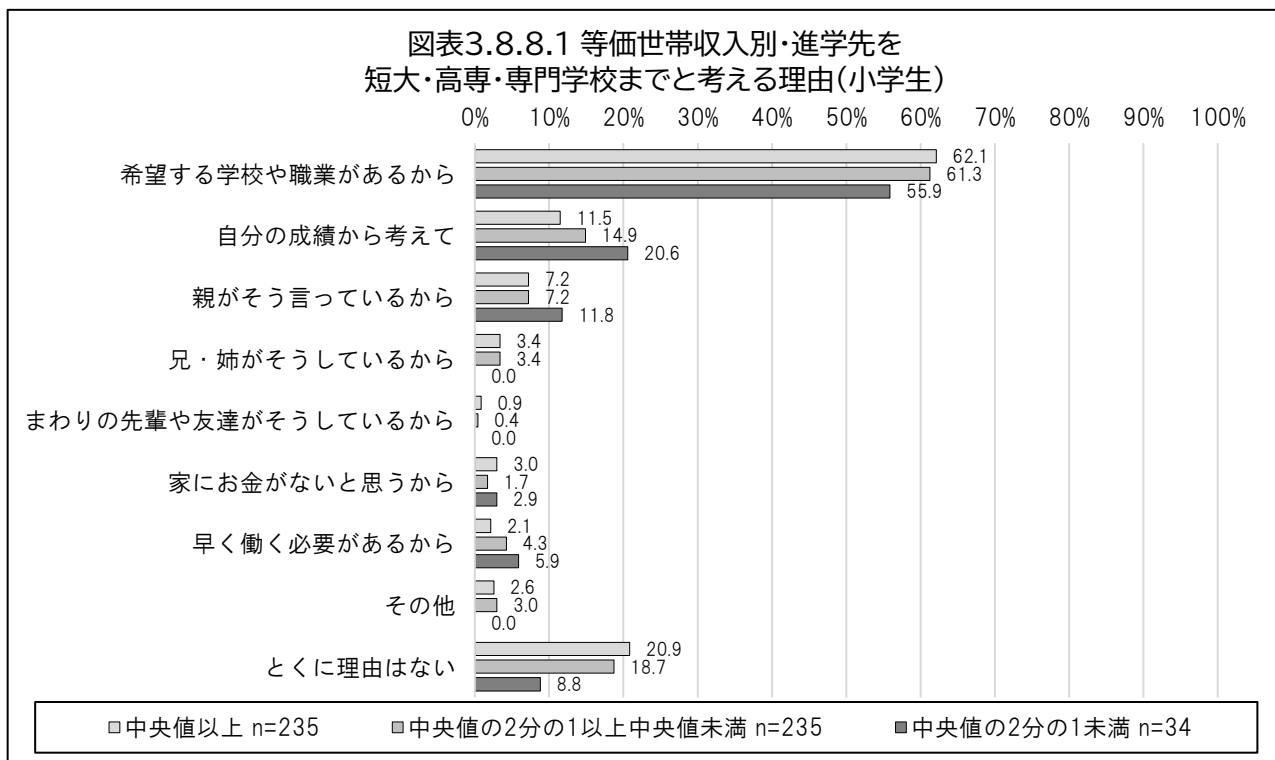
(7) 世帯別・進学先を「高校まで」と考える理由・中学生（問 8. 進学先を希望する理由）

進学先を「高校まで」と考える理由について、世帯別にみると、ひとり親世帯の中学生では「希望する学校や職業があるから」、「自分の成績から考えて」、「親がそう言っているから」、「とくに理由はない」が26.8%となっています。また、「早く働く必要があるから」が13.4%、「家にお金がないと思うから」が8.5%と、ふたり親世帯と比較して高くなっています。



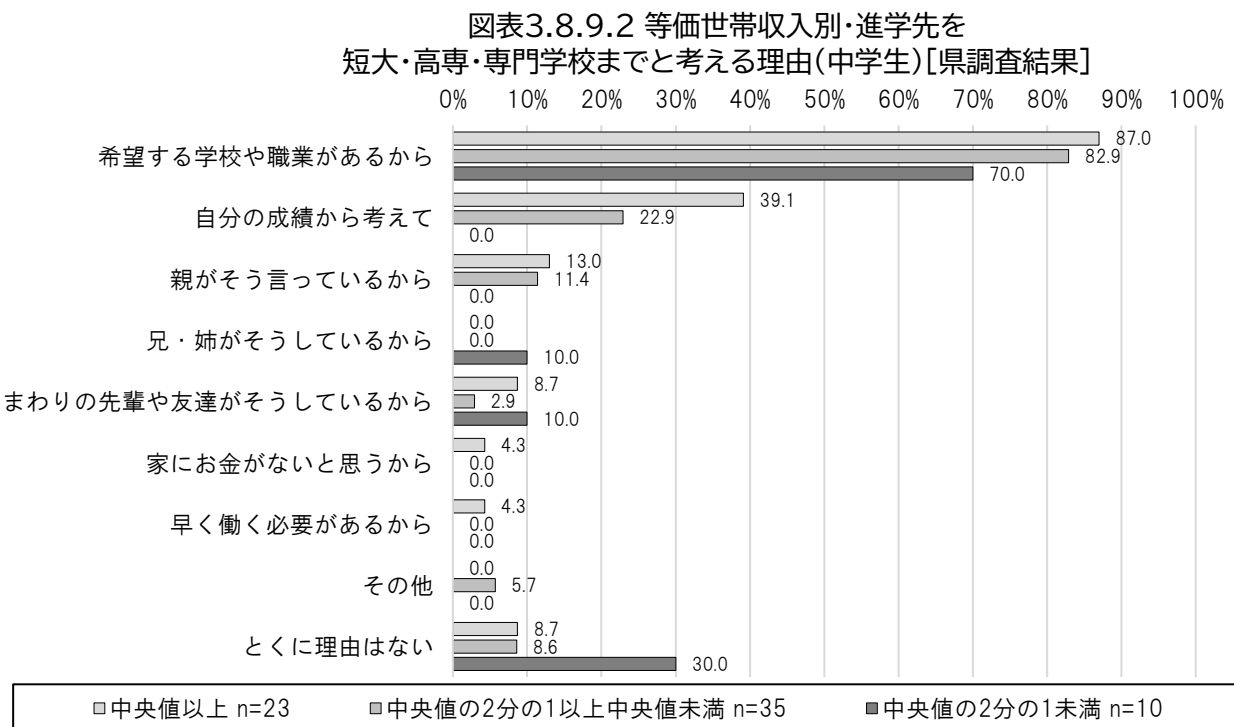
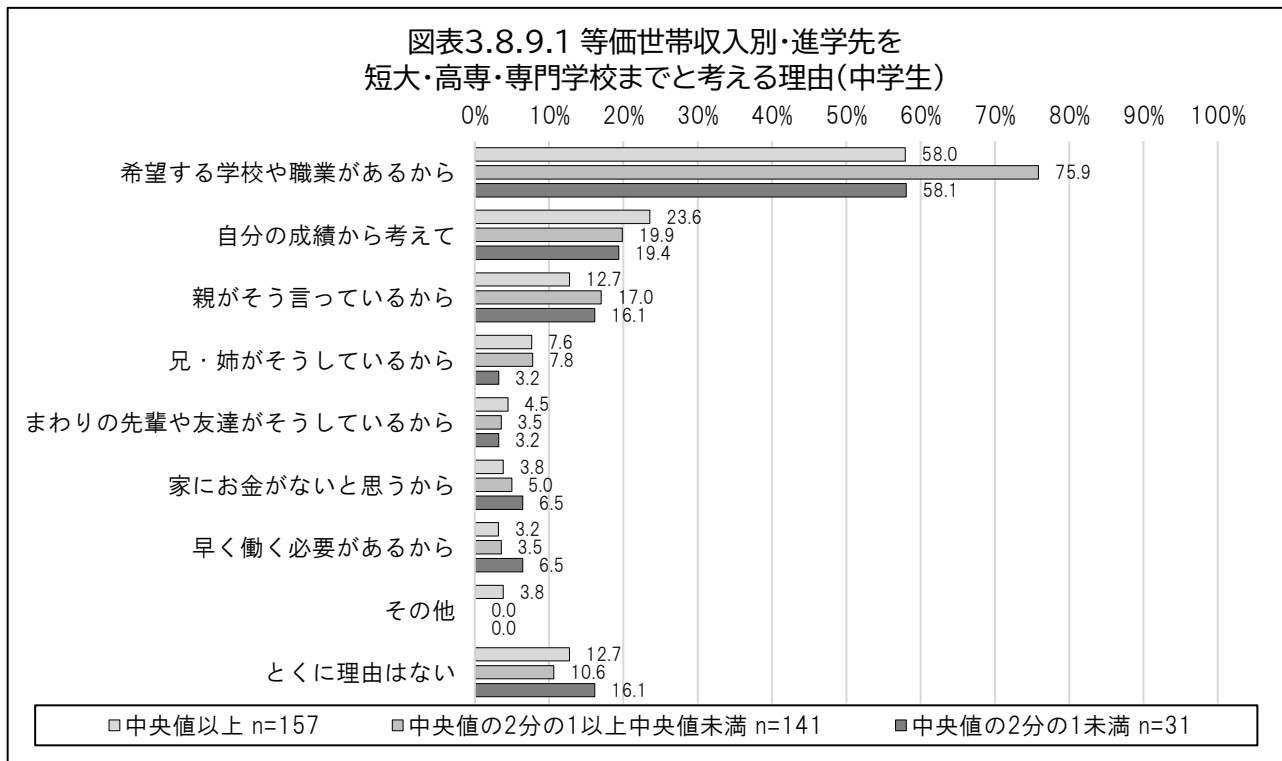
(8) 等価世帯収入別・進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由・小学生
(問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「希望する学校や職業があるから」が62.1%、61.3%、55.9%とそれぞれ最も高くなっています。



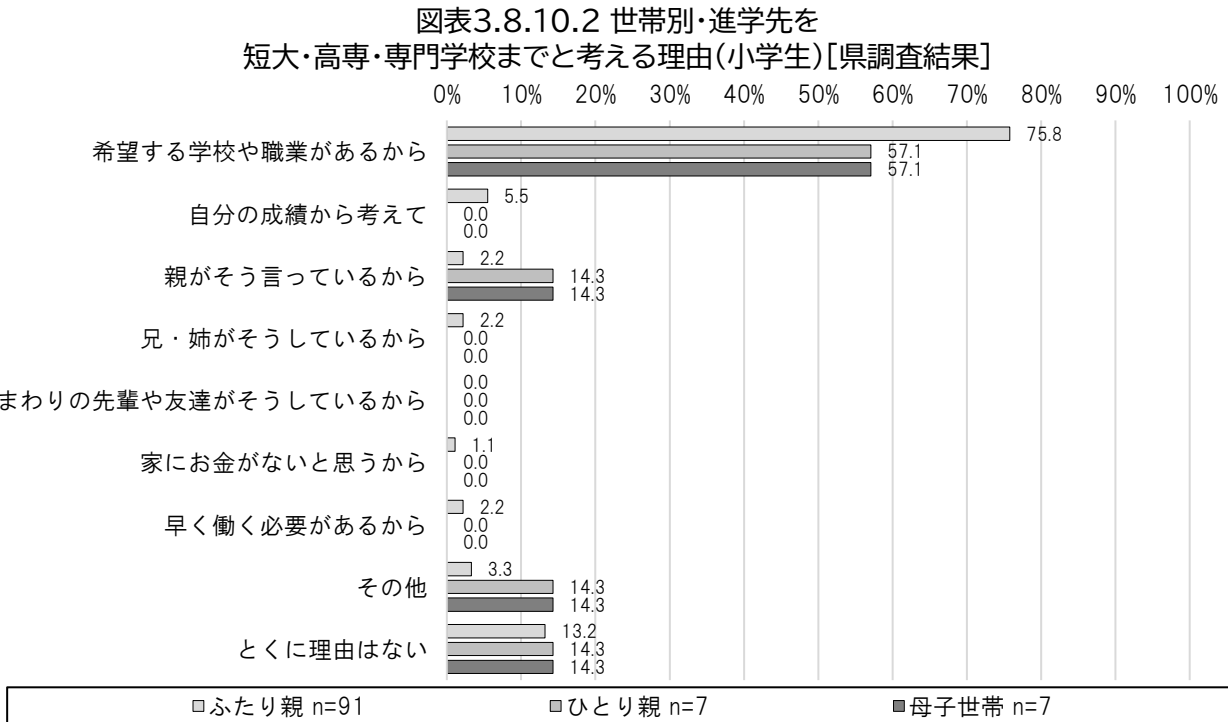
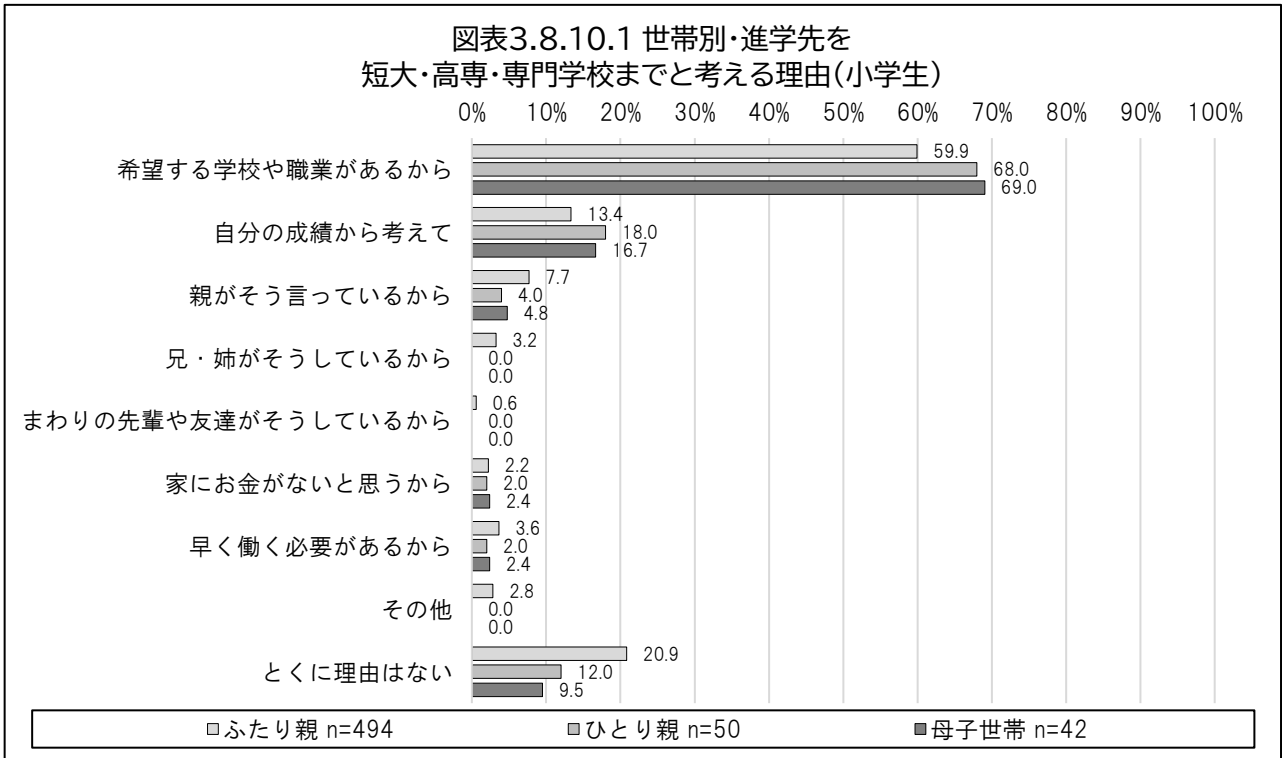
(9)等価世帯収入別・進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由・中学生
(問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「希望する学校や職業があるから」が58.0%、75.9%、58.1%とそれぞれ最も高くなっています。



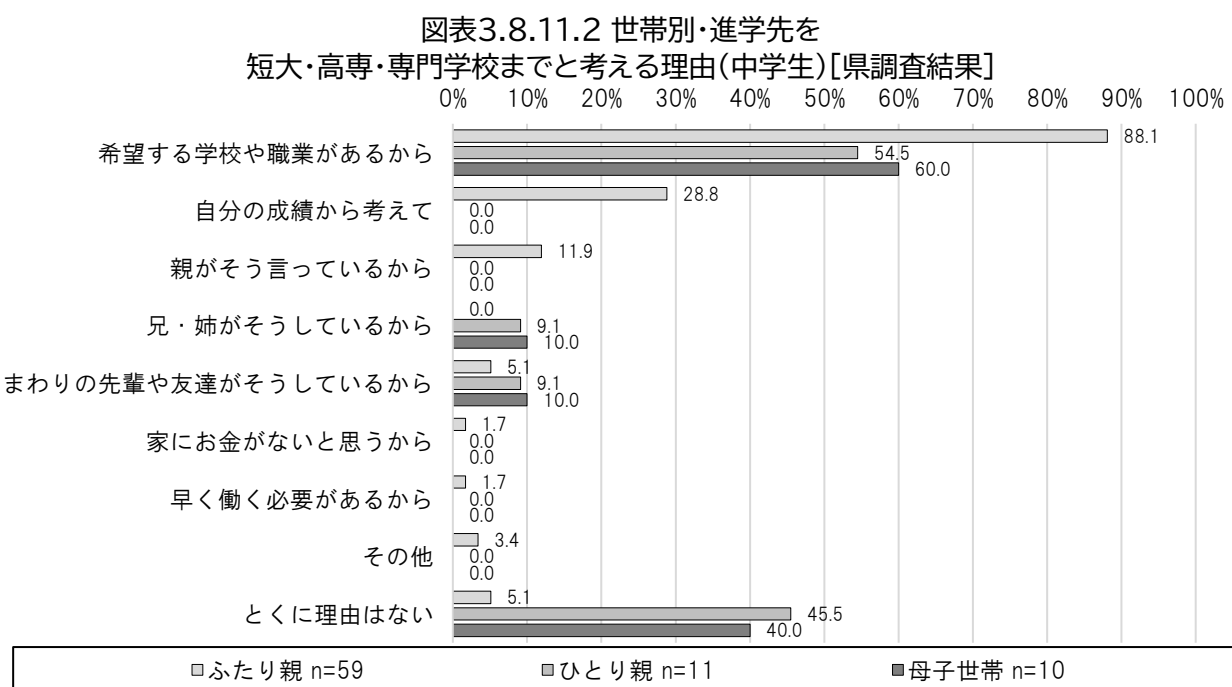
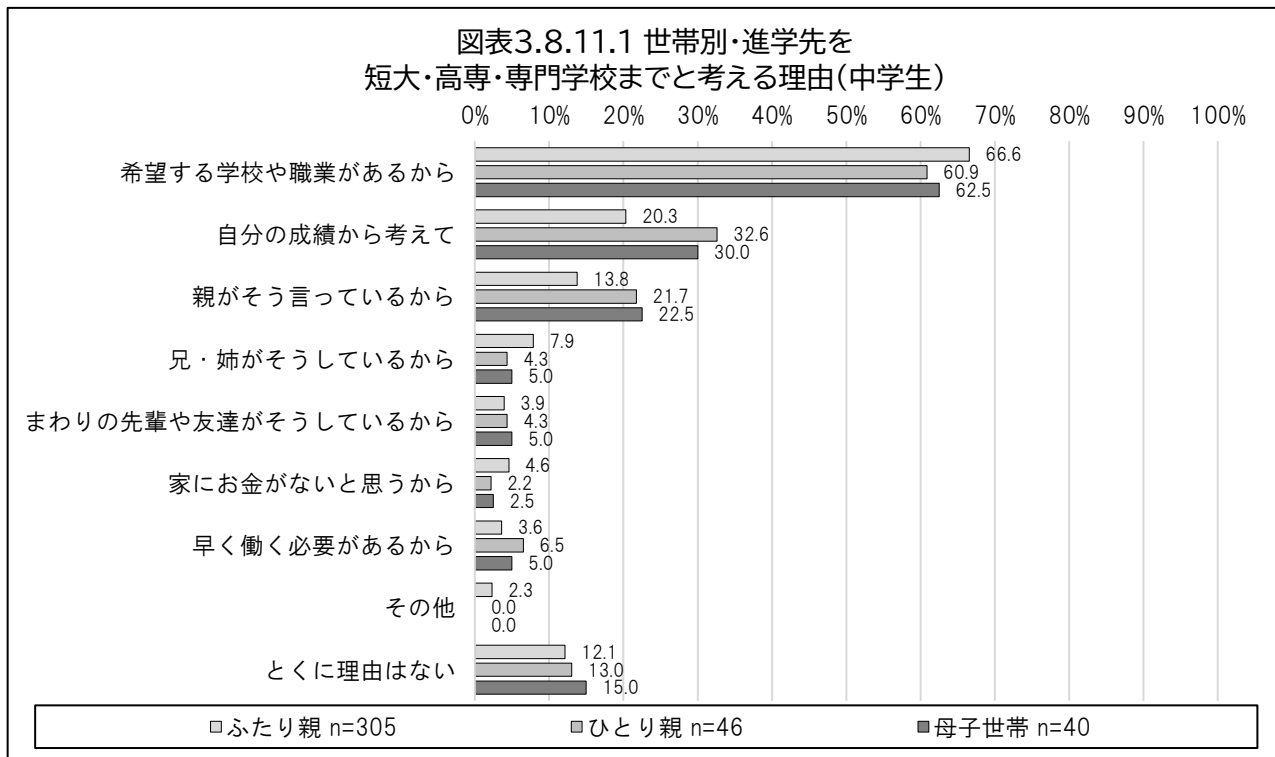
(10)世帯別・進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由・小学生
 (問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「希望する学校や職業があるから」が59.9%、68.0%、69.0%とそれぞれ最も高くなっています。



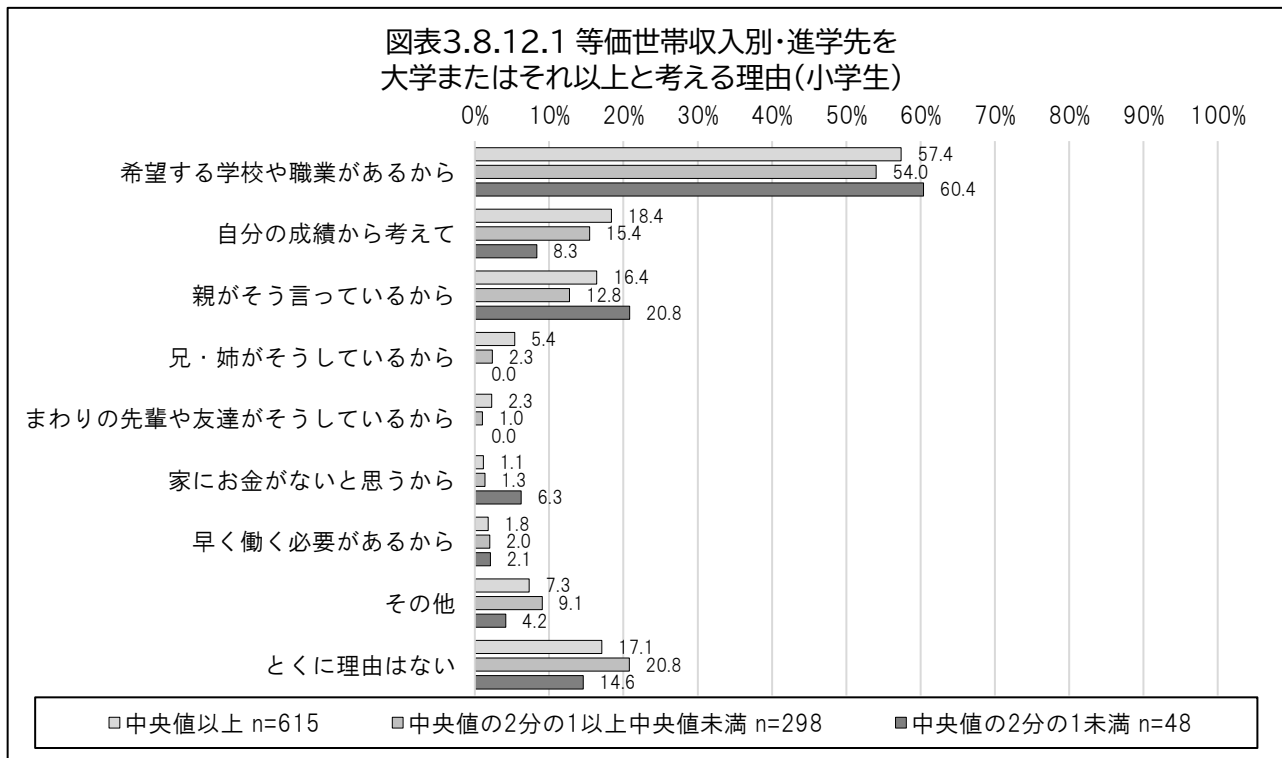
(11)世帯別・進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由・中学生
 (問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「希望する学校や職業があるから」が66.6%、60.9%、62.5%とそれぞれ最も高くなっています。ひとり親世帯においては「自分の成績から考えて」(32.6%)、「親がそう言っているから」(21.7%)、「早く働く必要があるから」(6.5%) がふたり親世帯と比較して高くなっています。

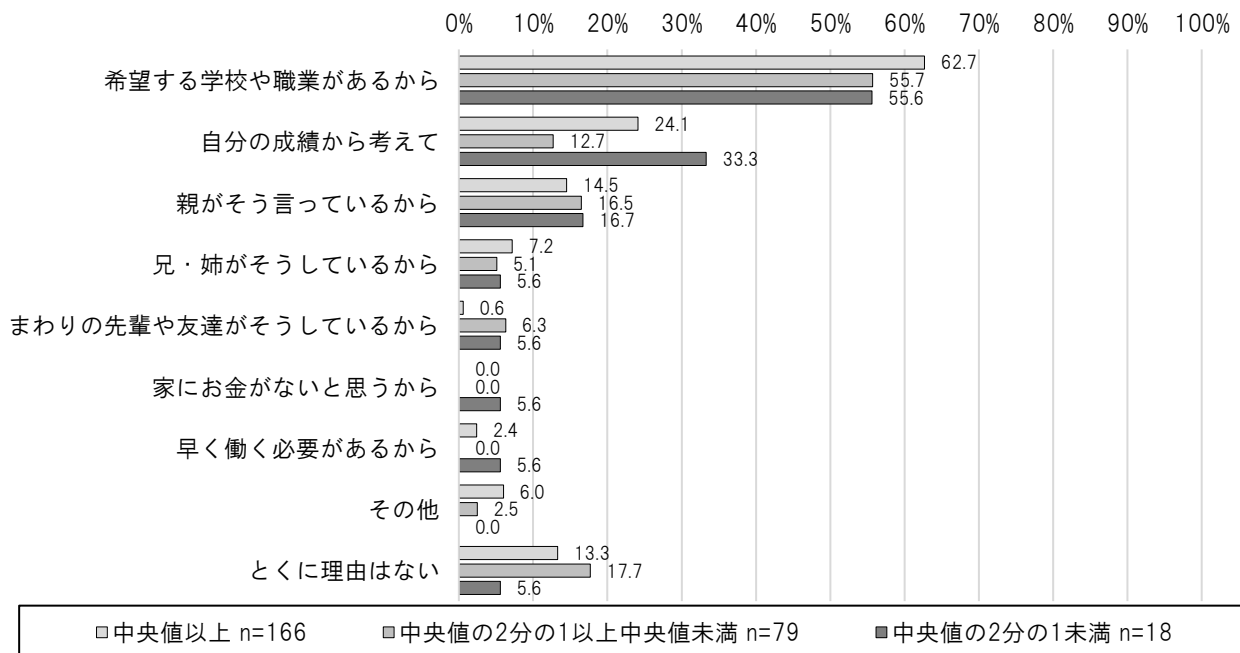


(12)等価世帯収入別・進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由・小学生
(問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「希望する学校や職業があるから」が57.4%、54.0%、60.4%とそれぞれ最も高くなっています。

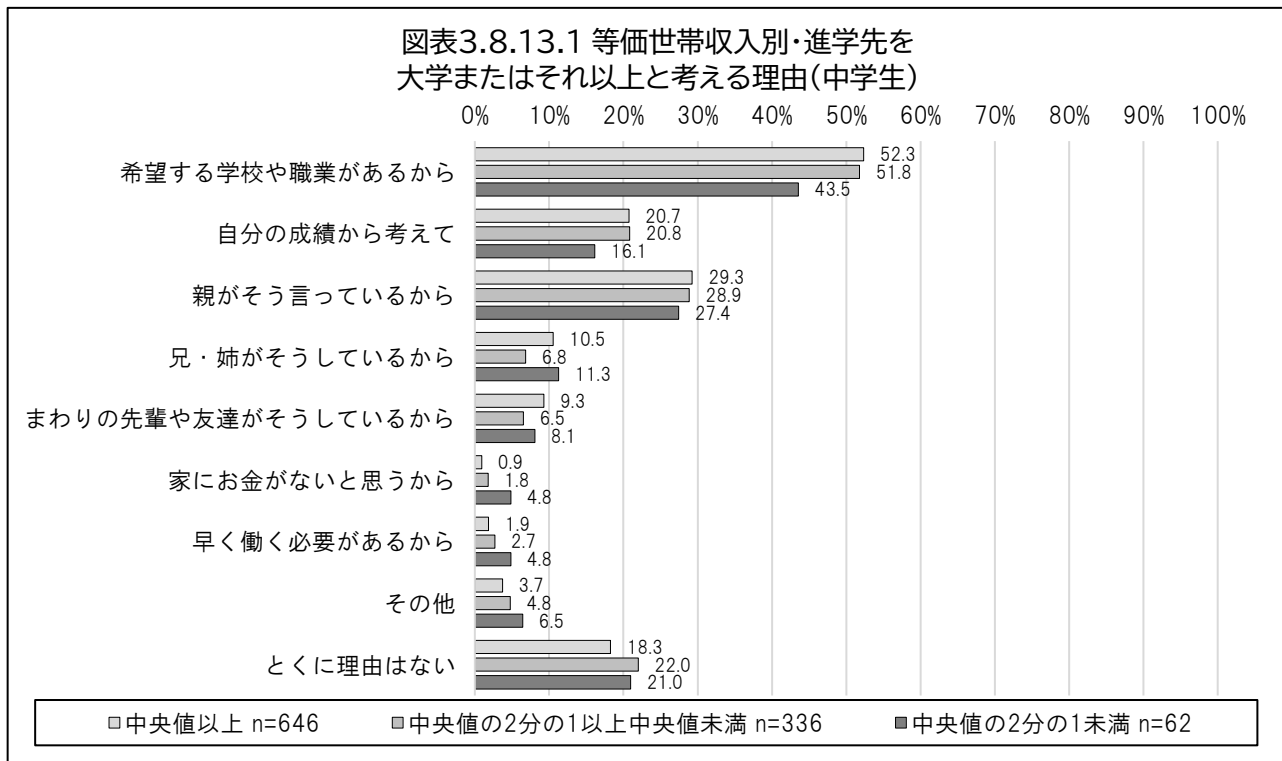


図表3.8.12.2 等価世帯収入別・進学先を大学またはそれ以上と考える理由(小学生)[県調査結果]

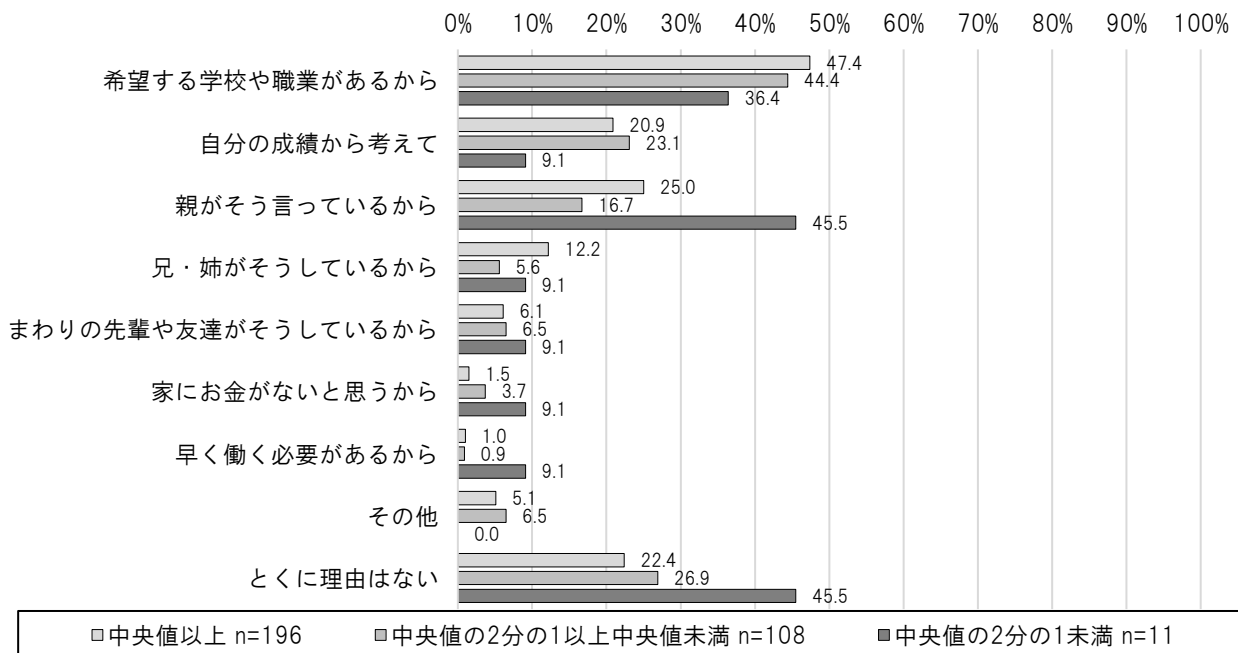


(13)等価世帯収入別・進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由・中学生
 (問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「希望する学校や職業があるから」が52.3%、51.8%、43.5%とそれぞれ最も高くなっています。

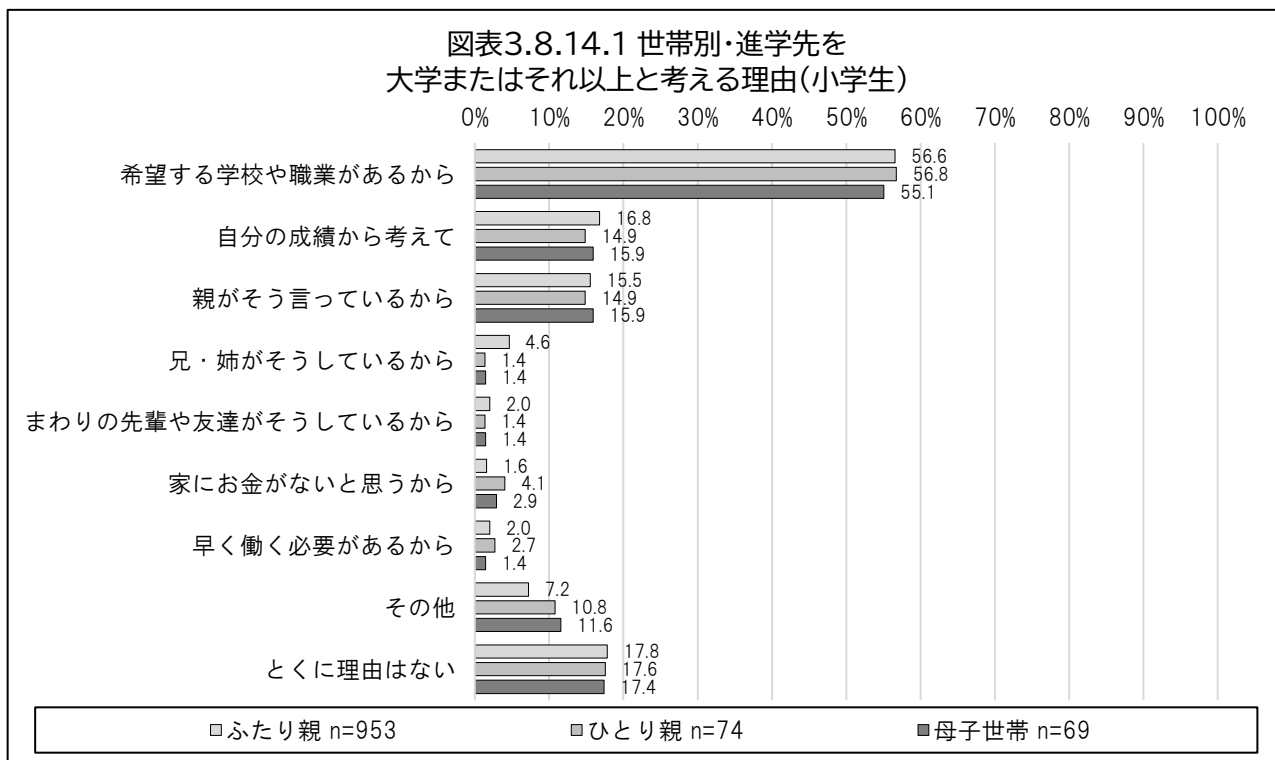


図表3.8.13.2 等価世帯収入別・進学先を大学またはそれ以上と考える理由(中学生)[県調査結果]



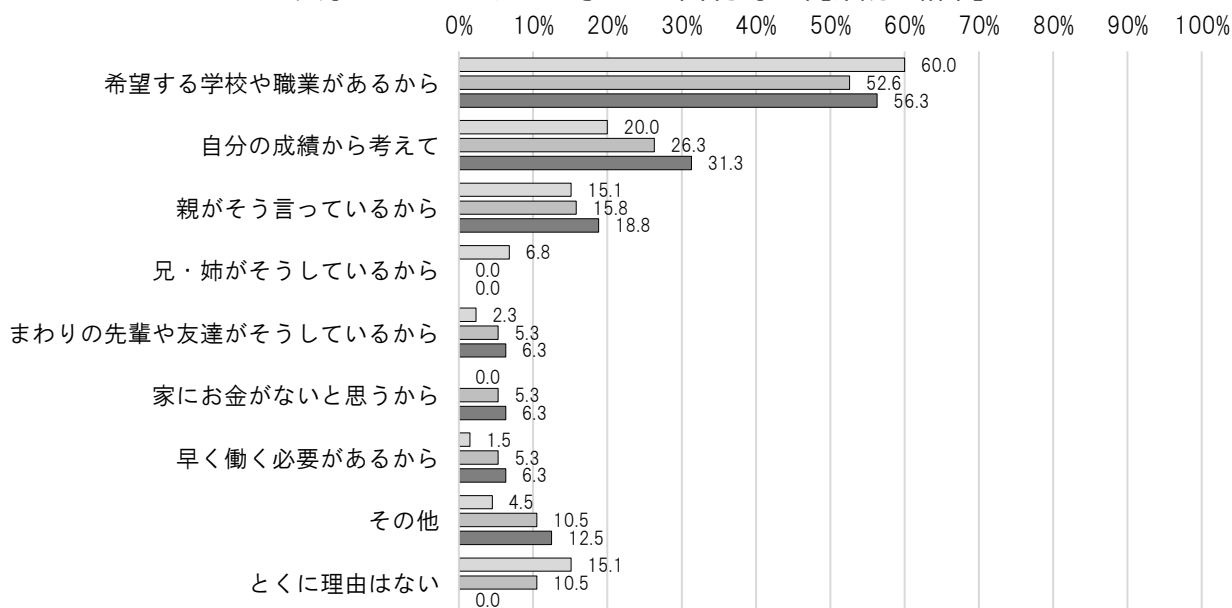
(14)世帯別・進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由・小学生
 (問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「希望する学校や職業があるから」が56.6%、56.8%、55.1%とそれぞれ最も高くなっています。



□ふたり親 n=953 □ひとり親 n=74 ■母子世帯 n=69

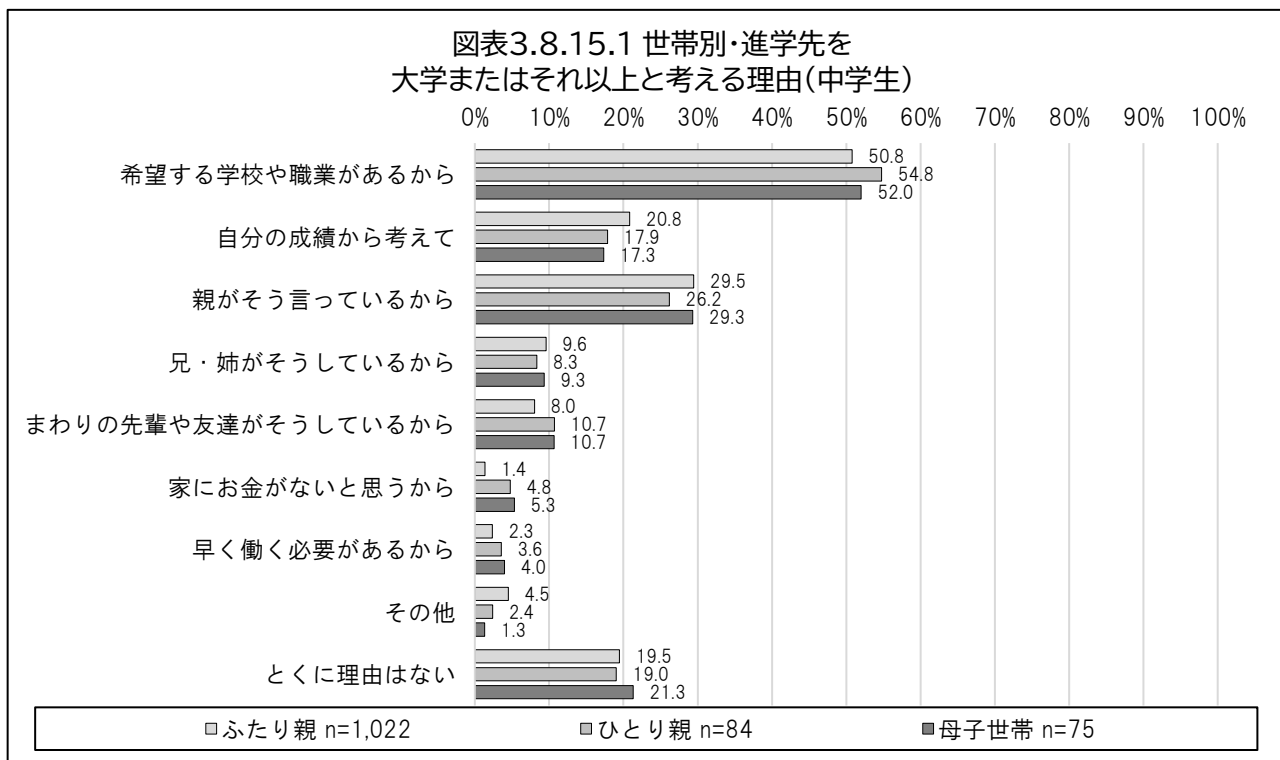
図表3.8.14.2 世帯別・進学先を大学またはそれ以上と考える理由(小学生)[県調査結果]



□ふたり親 n=265 □ひとり親 n=19 ■母子世帯 n=16

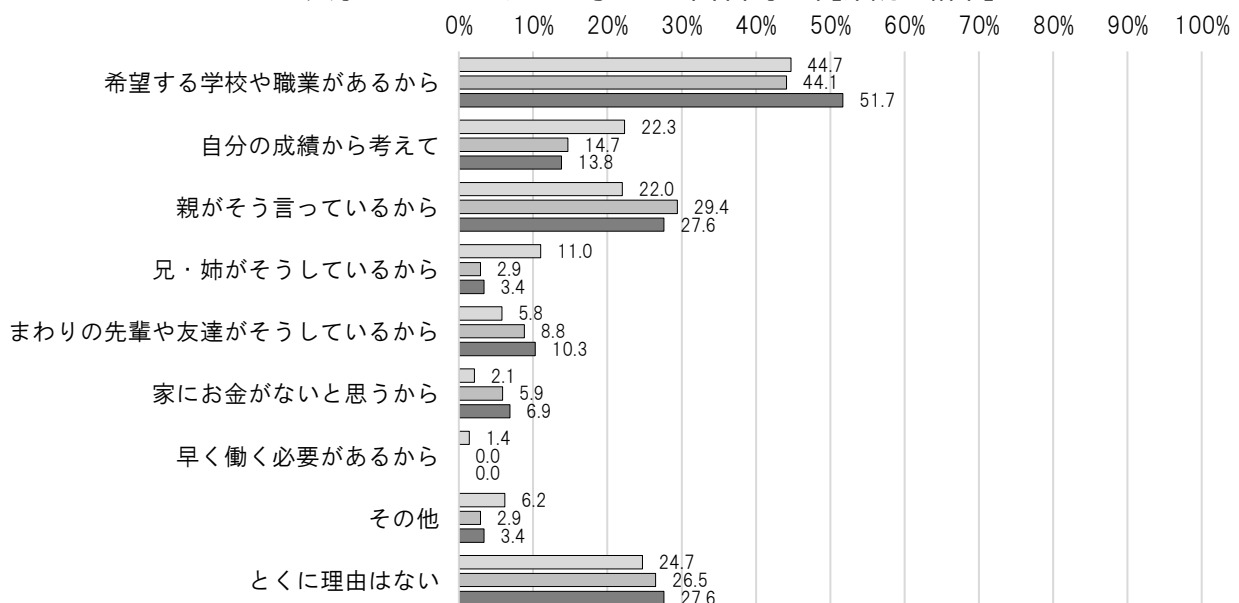
(15)世帯別・進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由・中学生
 (問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「希望する学校や職業があるから」がそれぞれ50.8%、54.8%、52.0%と最も高くなっています。



□ふたり親 n=1,022 ■ひとり親 n=84 ■母子世帯 n=75

図表3.8.15.2 世帯別・進学先を大学またはそれ以上と考える理由(中学生)[県調査結果]

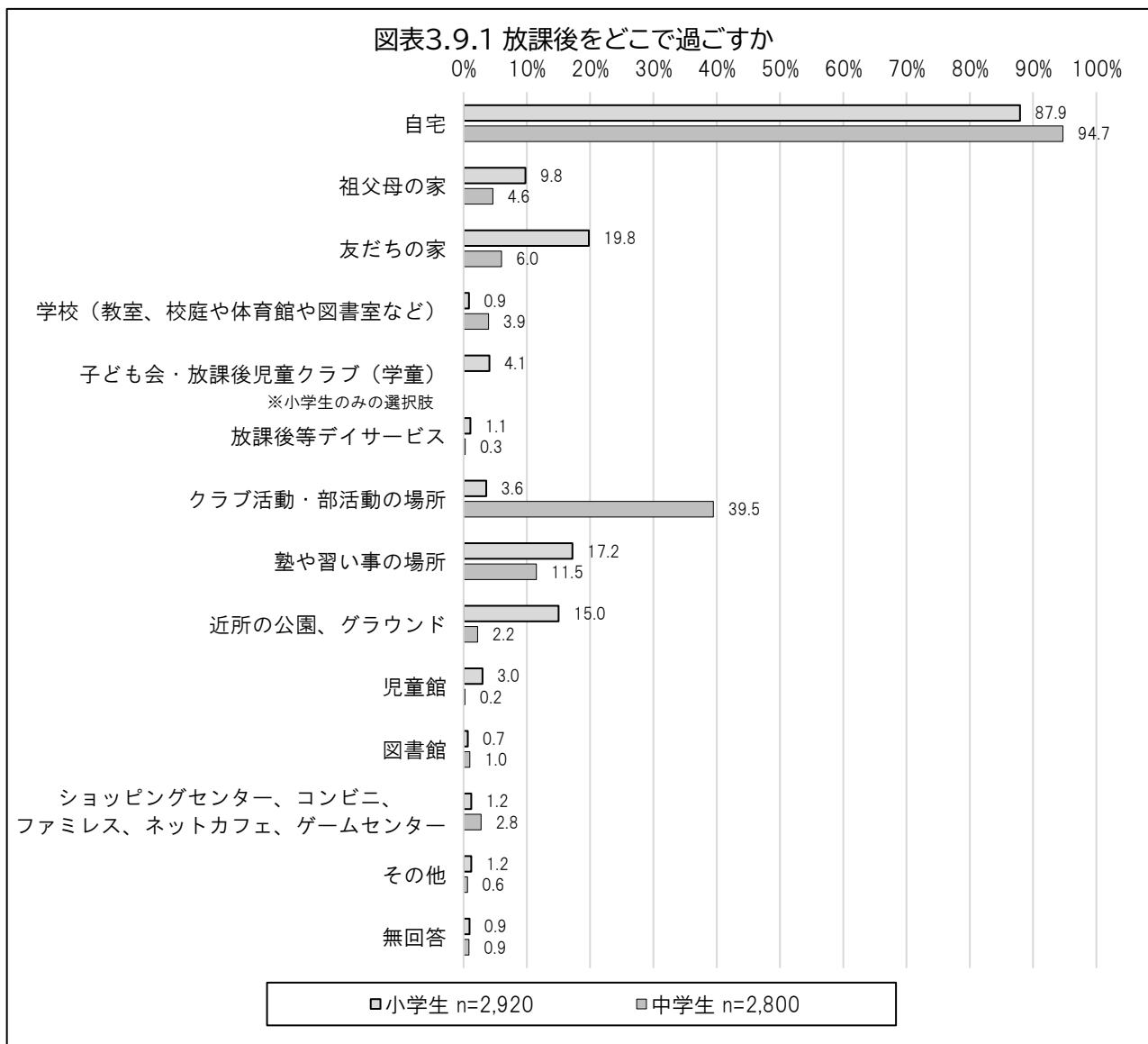


□ふたり親 n=291 ■ひとり親 n=34 ■母子世帯 n=29

問9. あなたは学校が終わってからどこで過ごすことが多いですか。

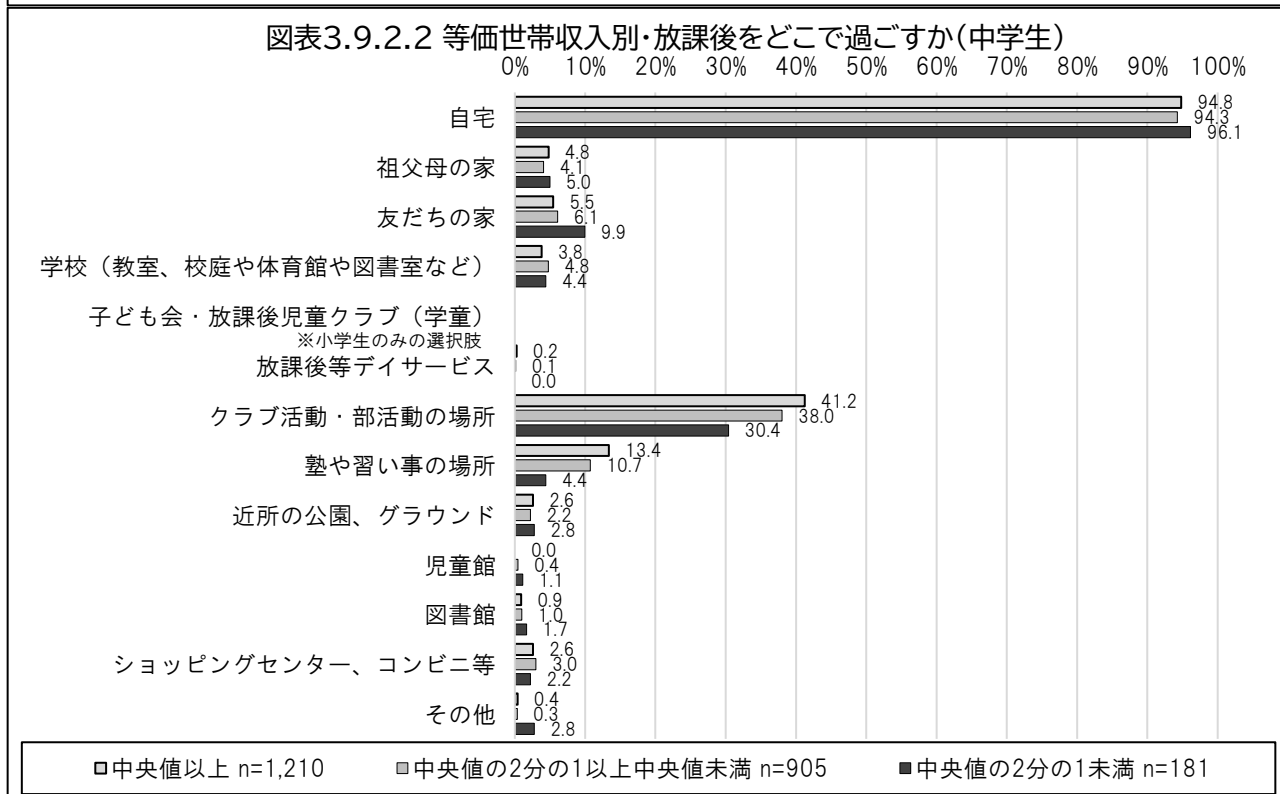
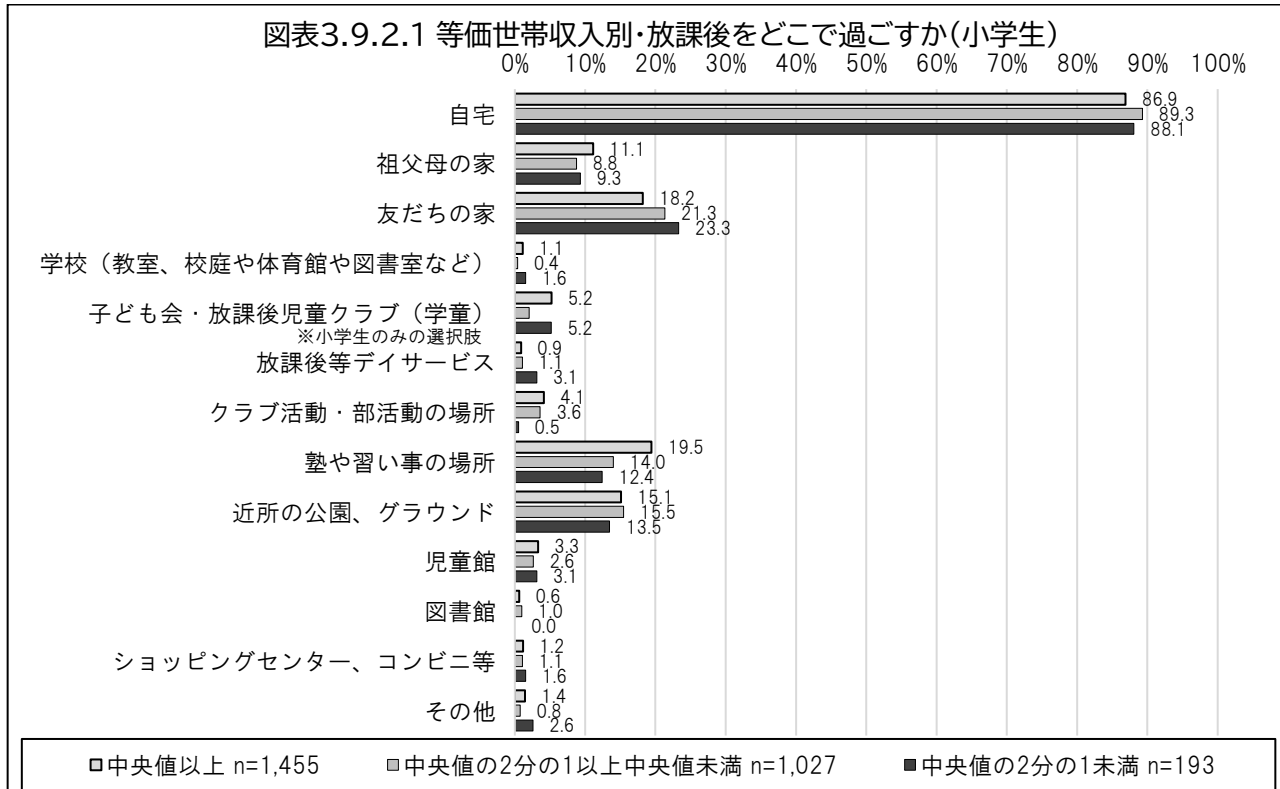
(1)全体

放課後をどこで過ごすかについて、小学生・中学生ともに、「自宅」と回答した割合が最も高く(87.9%、94.7%)なっています。小学生では、次いで「友だちの家」(19.8%)、「塾や習い事の場所」(17.2%)、「近所の公園、グラウンド」(15.0%)となっています。中学生では、次いで「クラブ活動・部活動の場所」(39.5%)となっています。



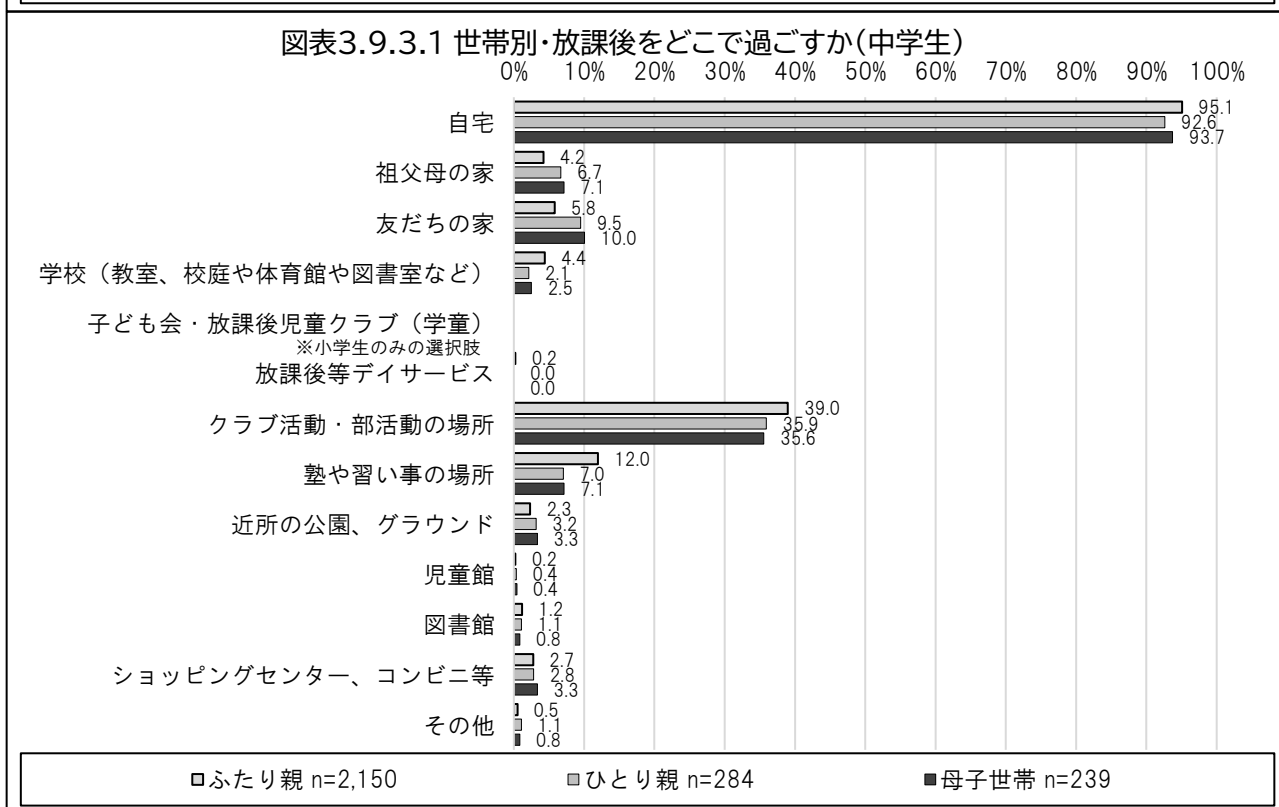
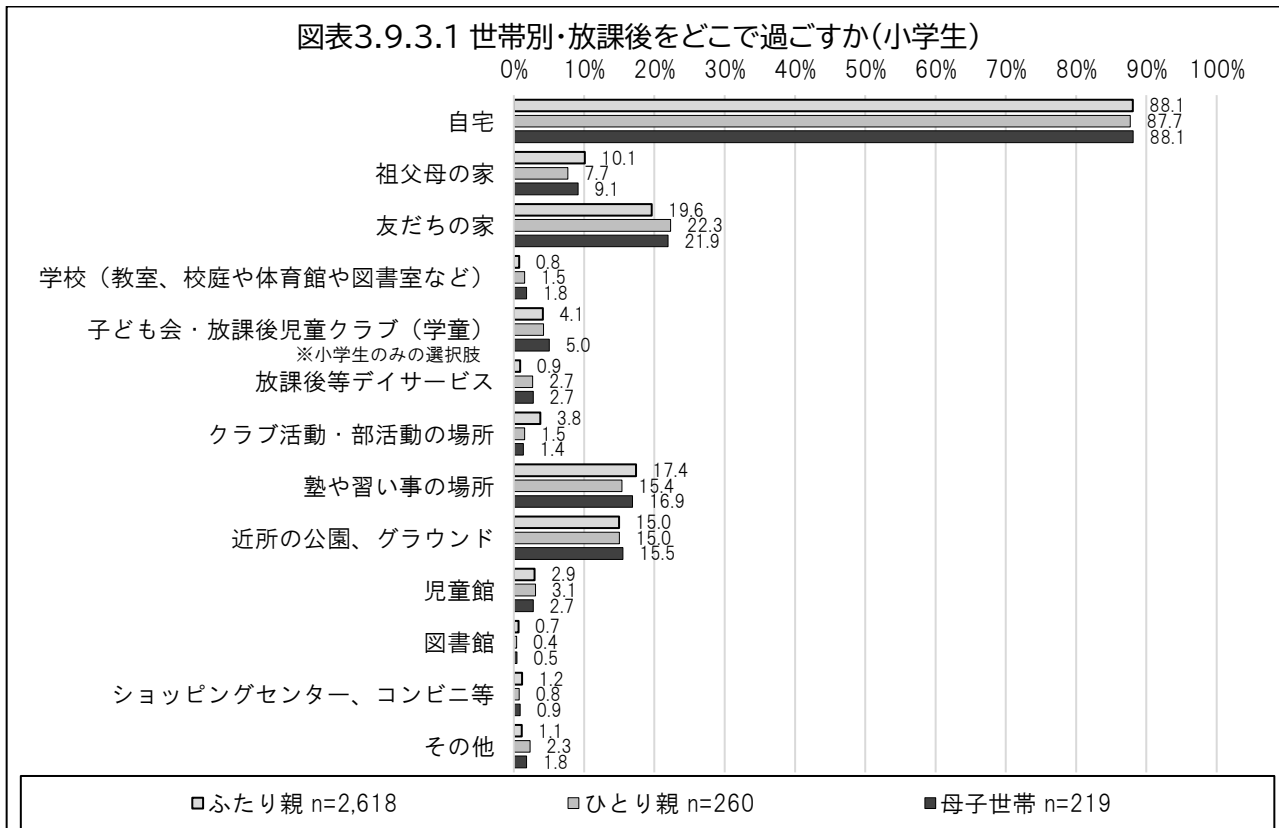
(2)等価世帯収入別

「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生・中学生ともに「クラブ活動・部活動の場所」（0.5%、30.4%）、「塾や習い事の場所」（12.4%、4.4%）と、「中央値以上」「中央値の2分の1以上中央値未満」と比較してやや低くなっています。



(3)世帯別

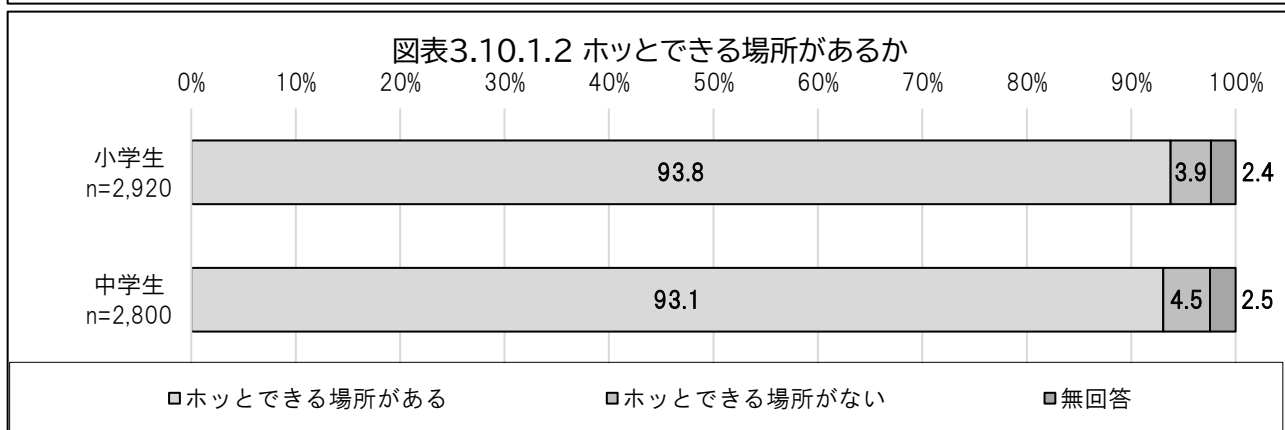
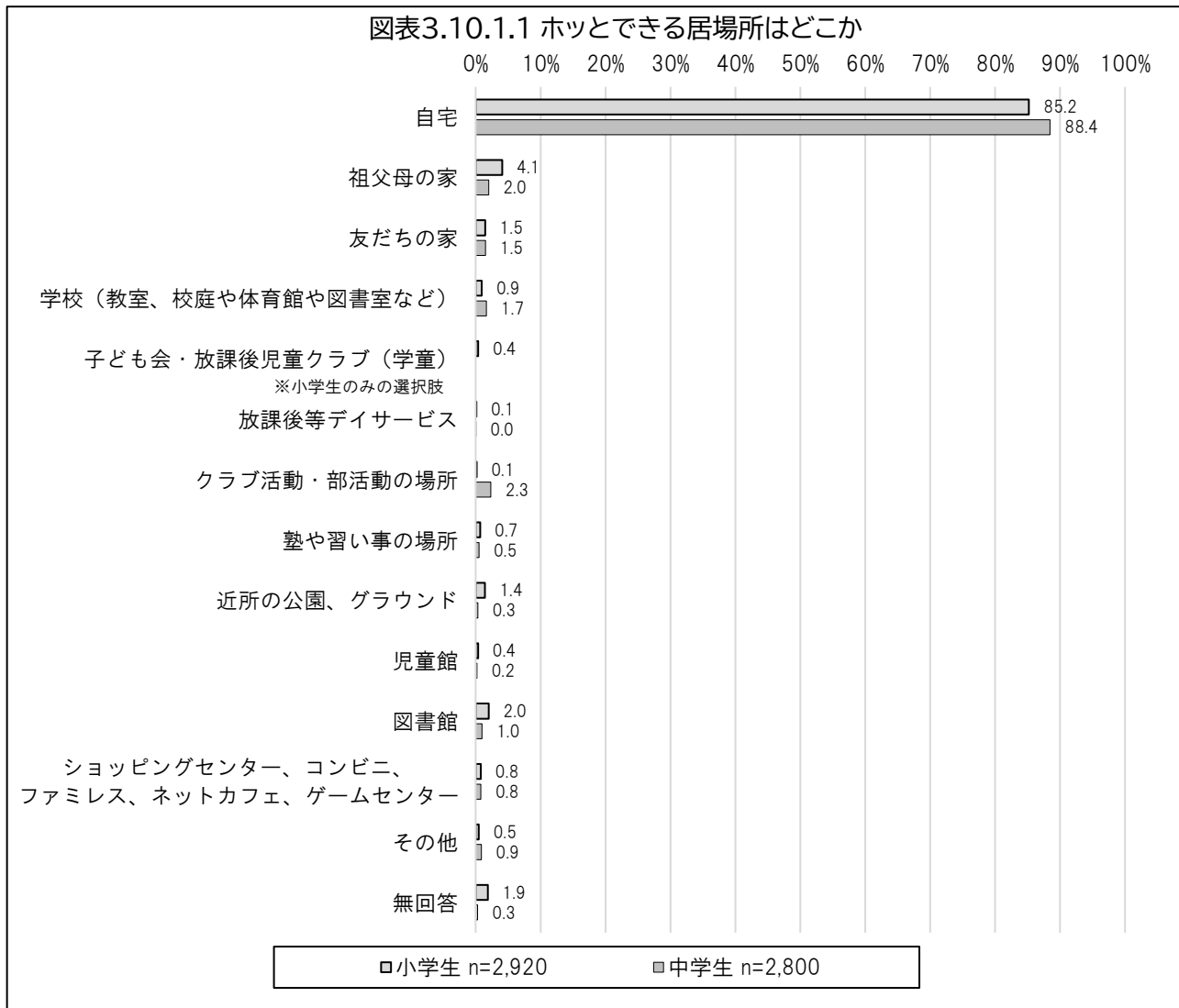
ひとり親世帯では、小学生・中学生ともに「クラブ活動・部活動の場所」(1.5%、35.9%)、「塾や習い事の場所」(15.4%、7.0%)と、ふたり親世帯と比較してやや低くなっています。



問10. 問9の1～13の中で、あなたがホッとできる居場所はどこですか。
 ホッとできる居場所がない場合は「ホッとできる居場所はない」に○をつけてください。

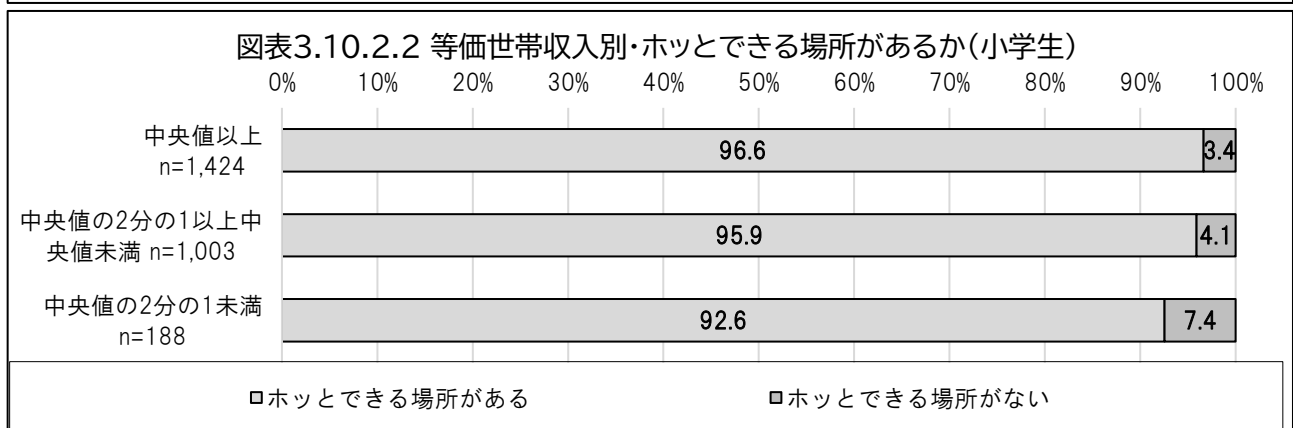
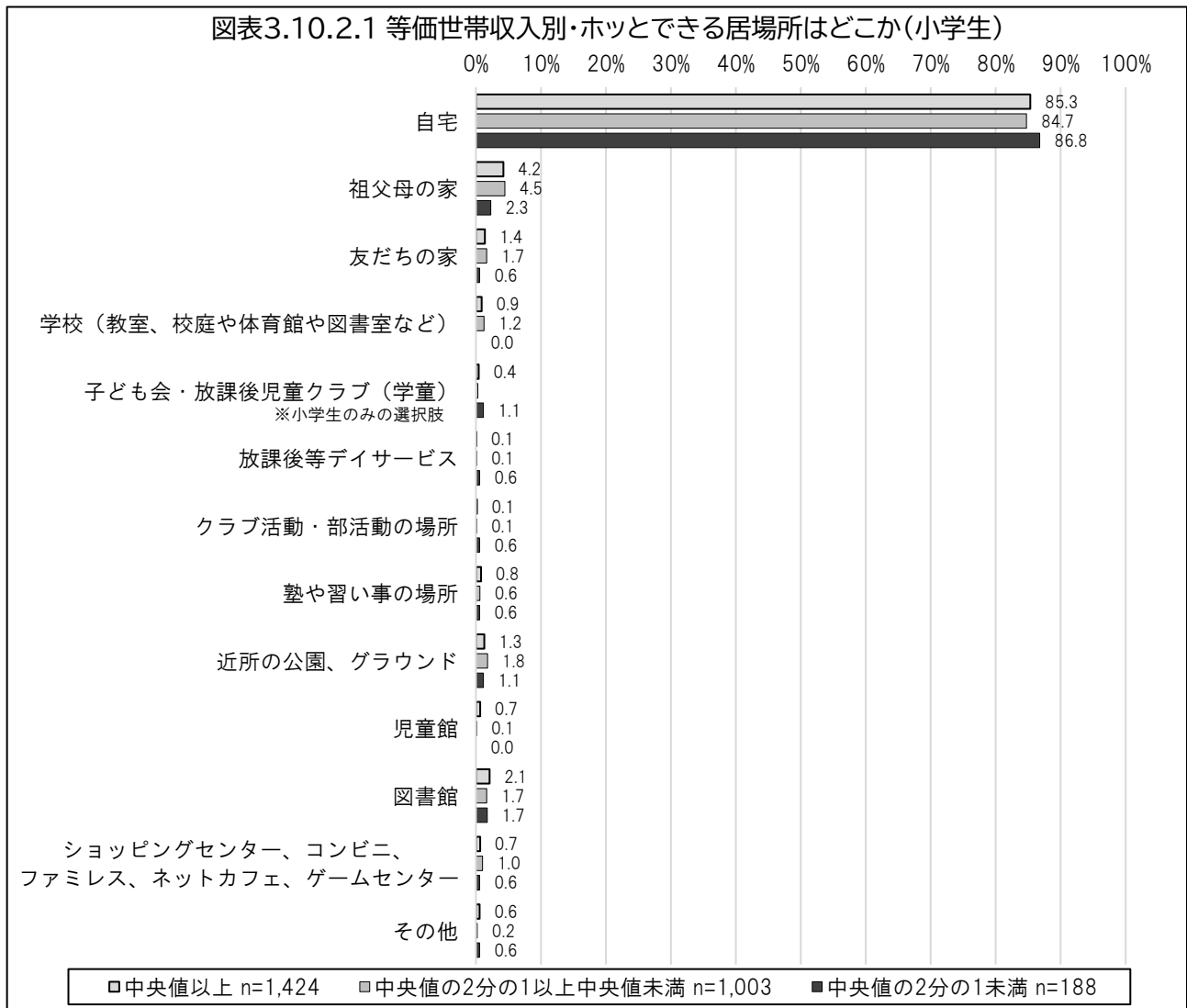
(1)全体

ホッとできる居場所について、小学生・中学生ともに「自宅」(85.2%、88.4%)が最も高くなっています。また、「ホッとできる場所がある」と回答した割合は、小学生が93.8%、中学生が93.1%となっています。

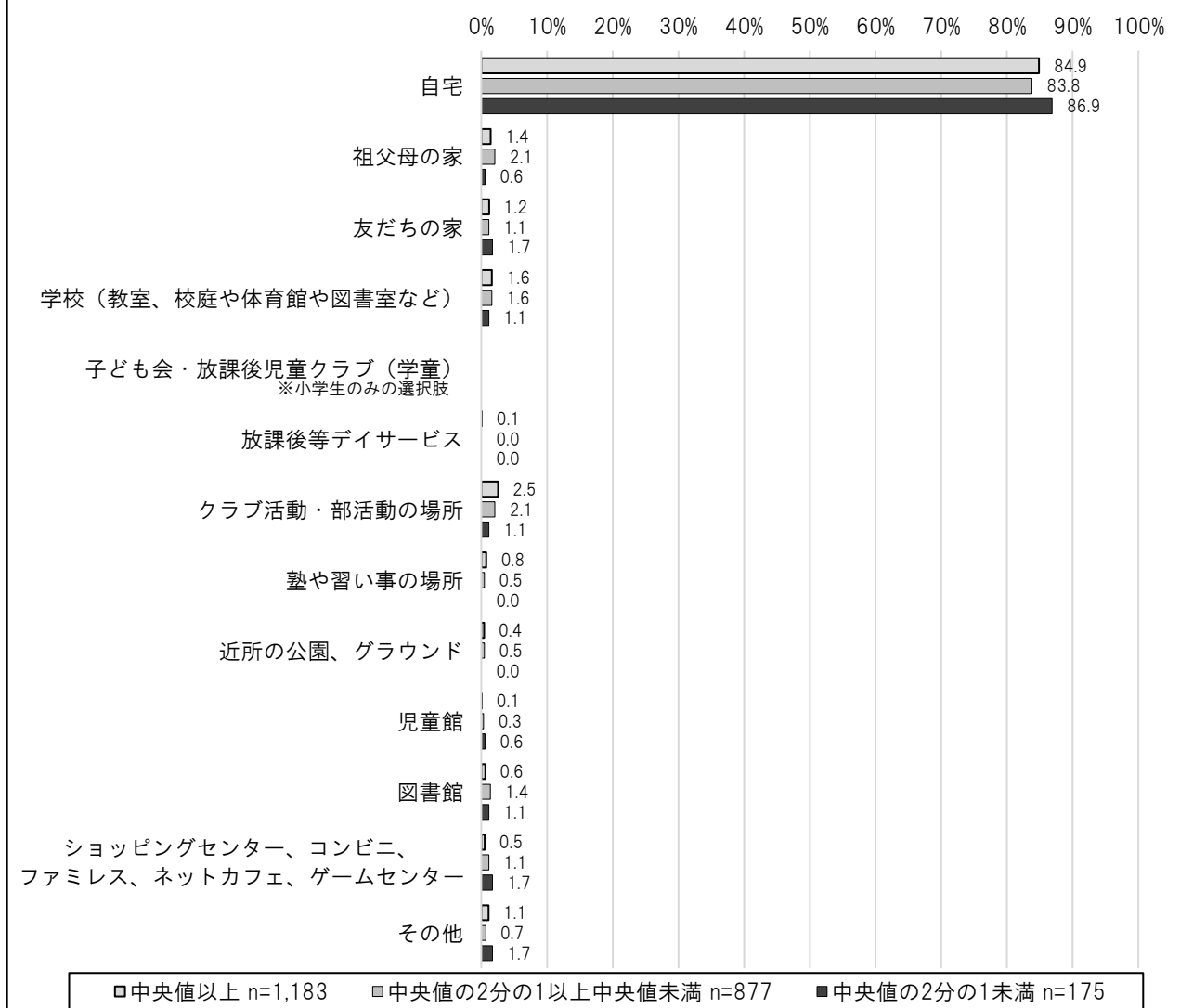


(2)等価世帯収入別

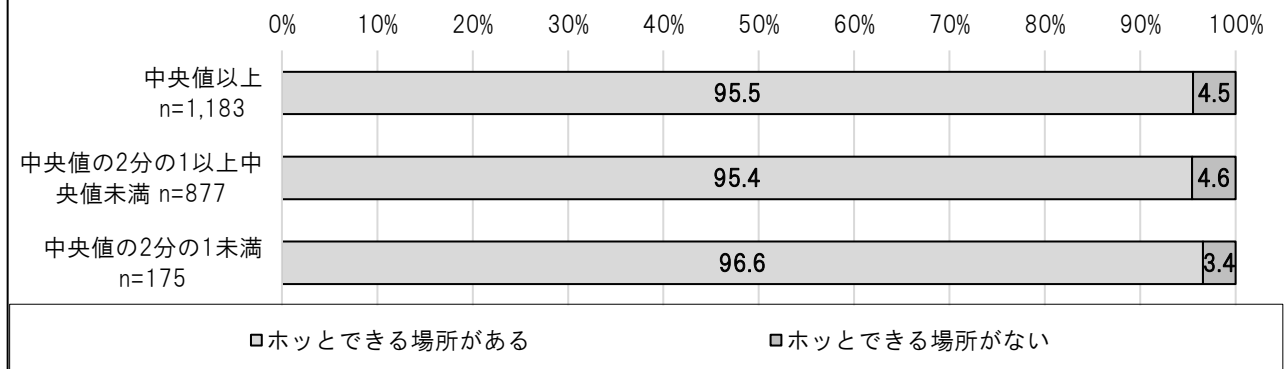
ホッとできる場所について、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生・中学生ともに「自宅」（86.8%、86.9%）が最も高くなっており、全体と大差はありません。小学生では、「ホッとできる居場所がない」と回答した割合が7.4%となっており、全体（3.9%）と比較してやや高くなっています。



図表3.10.2.3 等価世帯収入別・ホッとできる居場所はどこか(中学生)

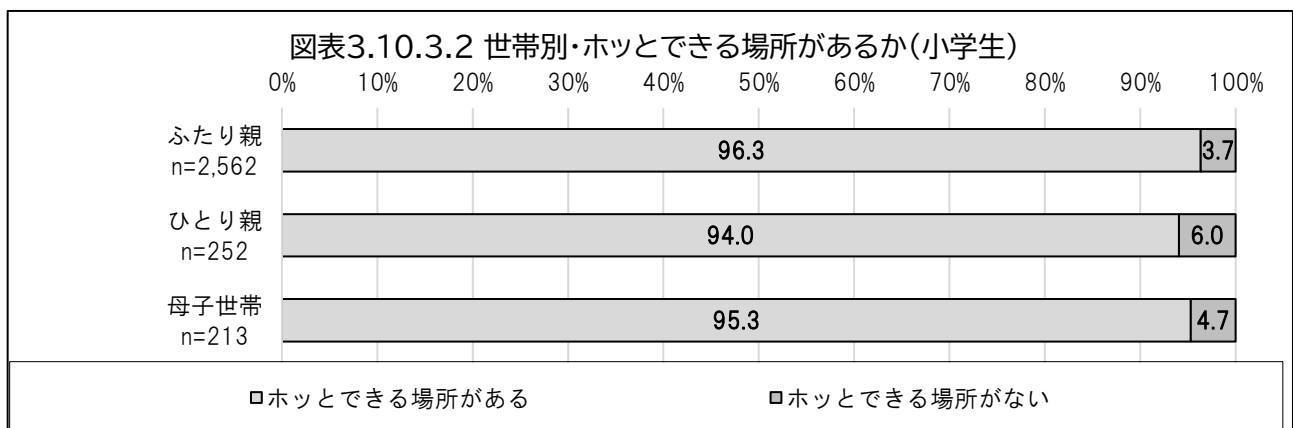
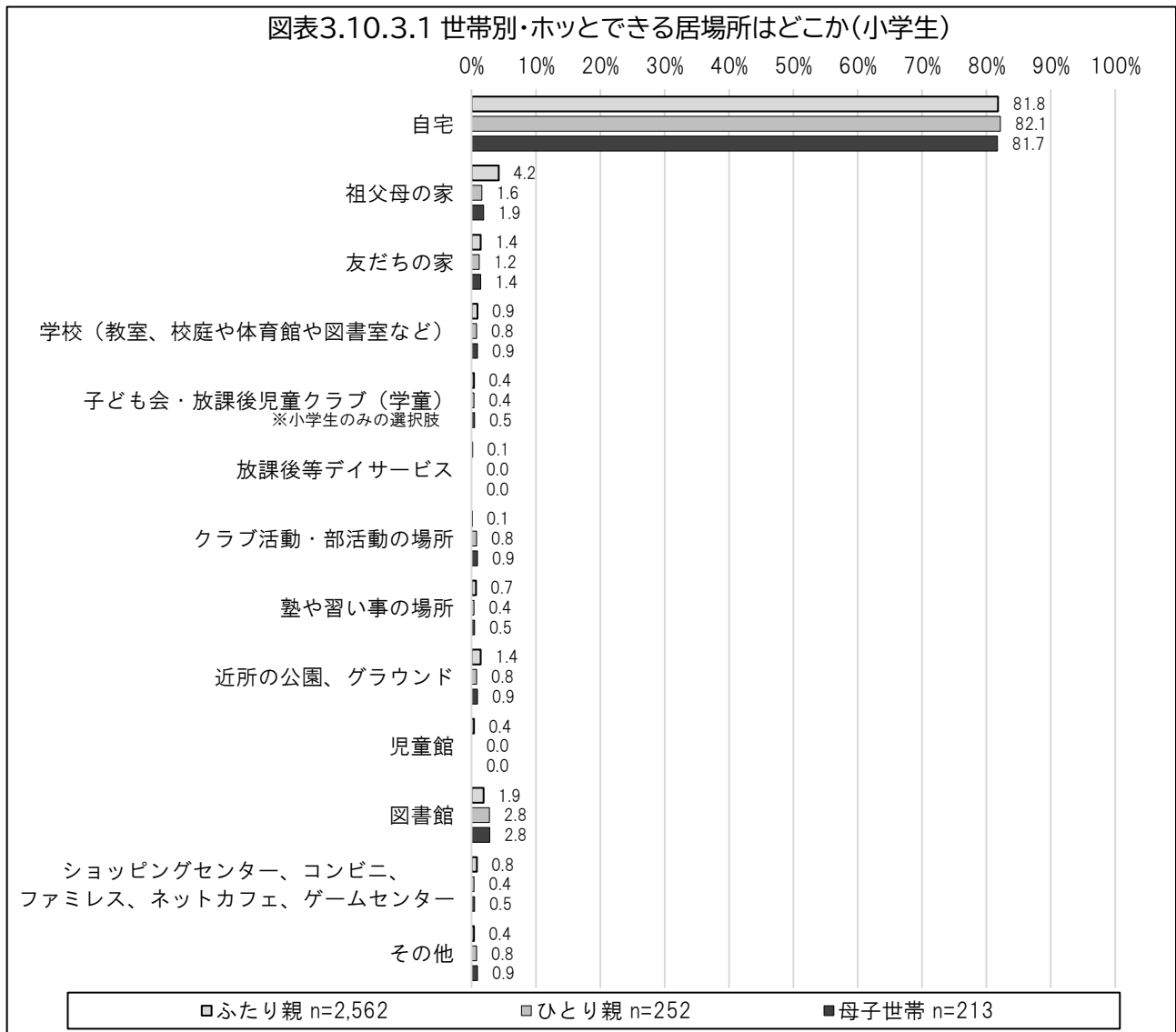


図表3.10.2.4 等価世帯収入別・ホッとできる場所があるか(中学生)

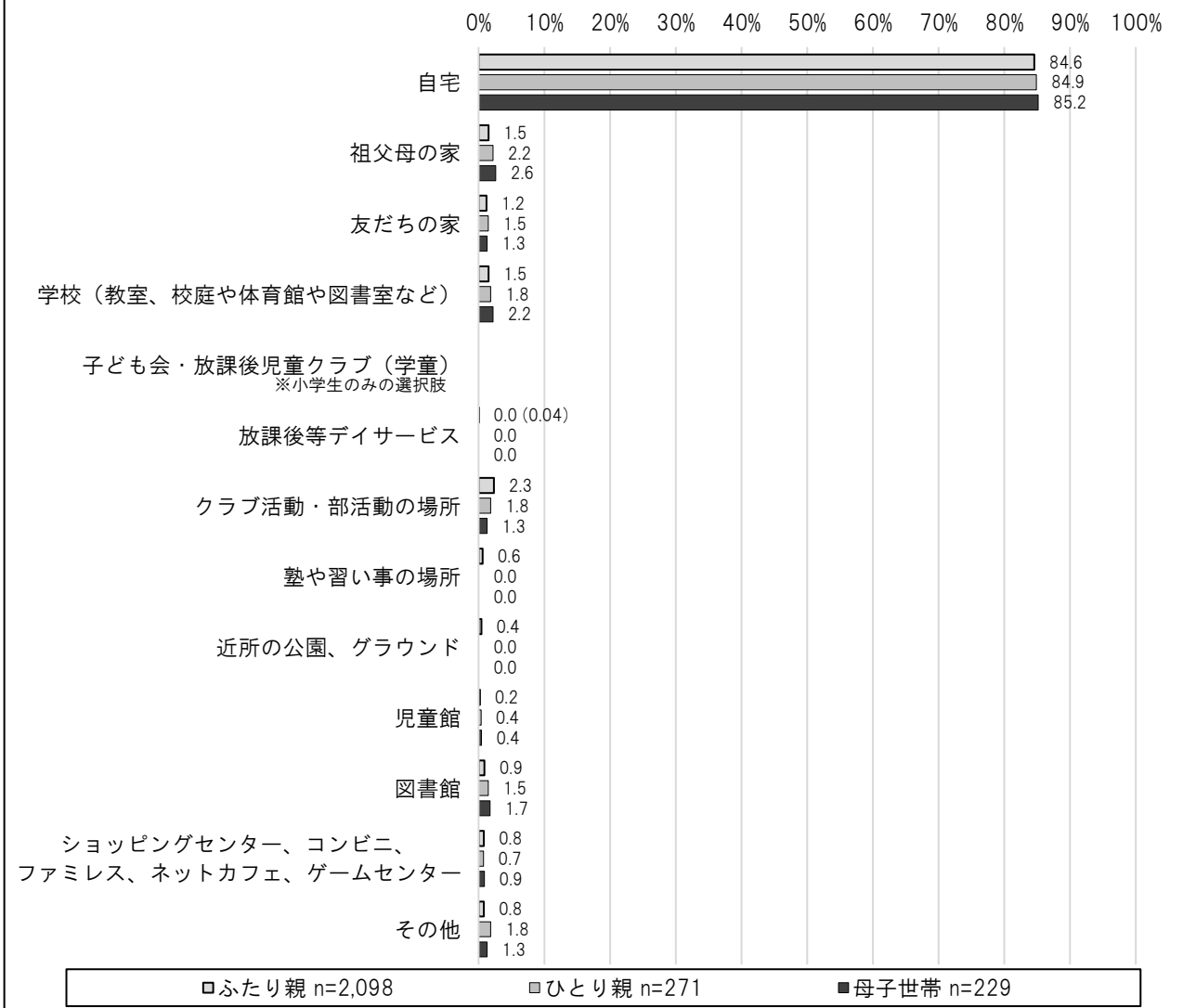


(3)世帯別

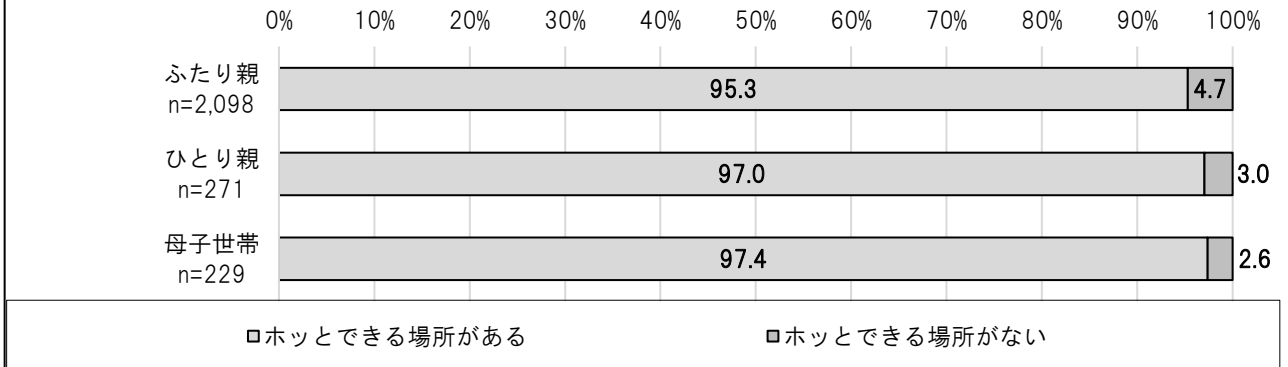
ホッとできる場所について、ひとり親世帯では、小学生・中学生ともに「自宅」(82.1%、84.9%)が最も高くなっており、全体と大差はありません。小学生では、「ホッとできる居場所がない」と回答した割合が6.0%となっており、全体(3.9%)と比較してやや高くなっています。



図表3.10.3.3 世帯別・ホッとできる居場所はどこか(中学生)



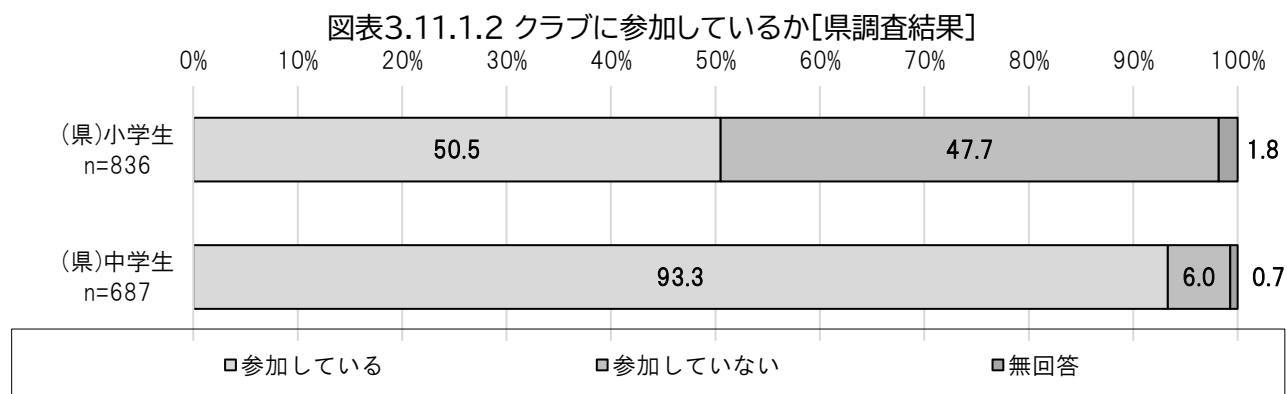
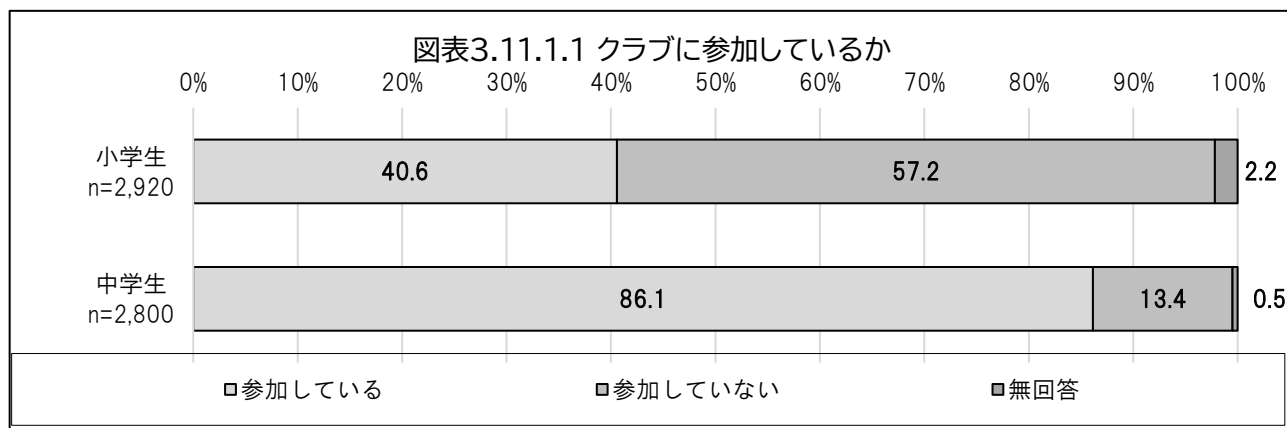
図表3.10.3.4 世帯別・ホッとできる場所があるか(中学生)



問11. あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していますか。

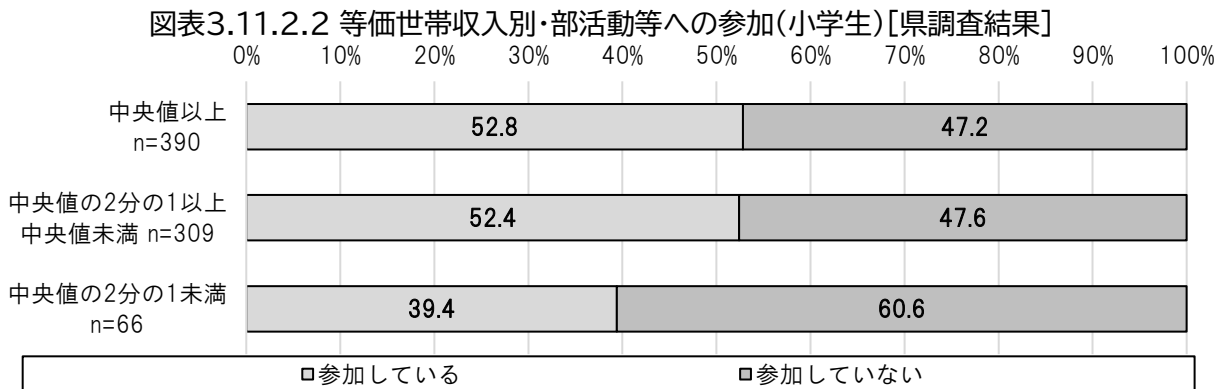
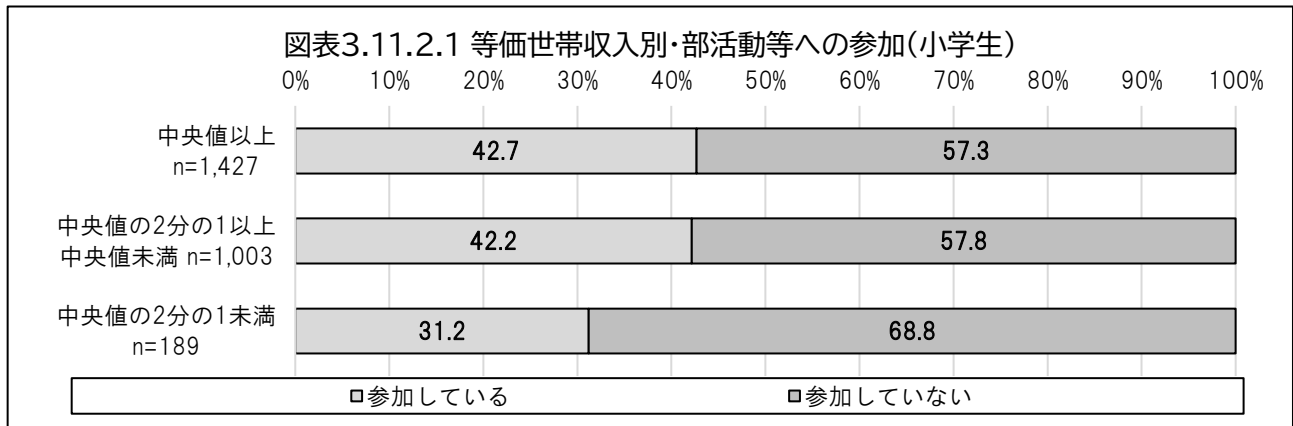
(1)全体

クラブ活動・部活動等への参加について、小学生では「参加していない」が57.2%、「参加している」が40.6%、中学生では「参加している」が86.1%、「参加していない」が13.4%となっています。



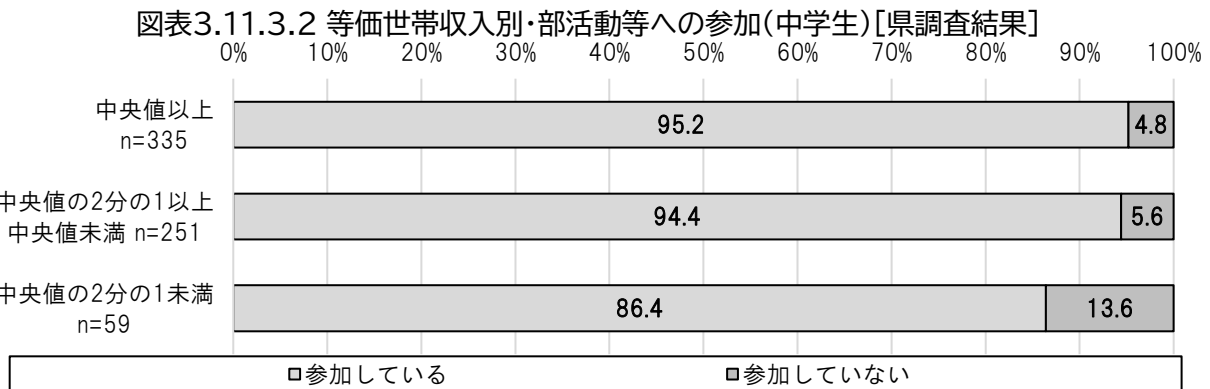
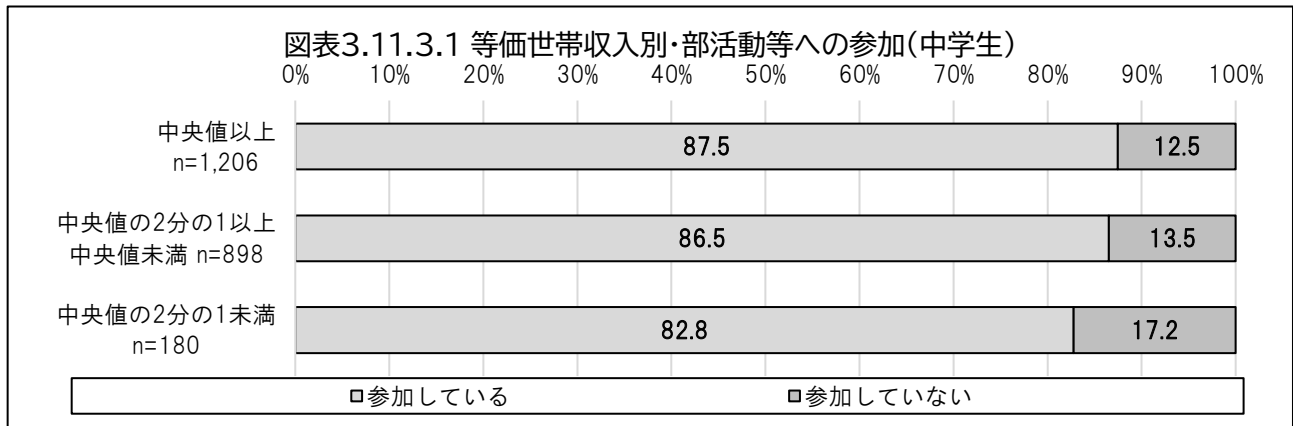
(2)等価世帯収入別・小学生（問 11. クラブ活動・部活動等への参加）

クラブ活動・部活動等への参加について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「参加している」と回答した割合は、全体では40.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では31.2%と低くなっています。また、県調査（39.4%）と比較して低くなっています。



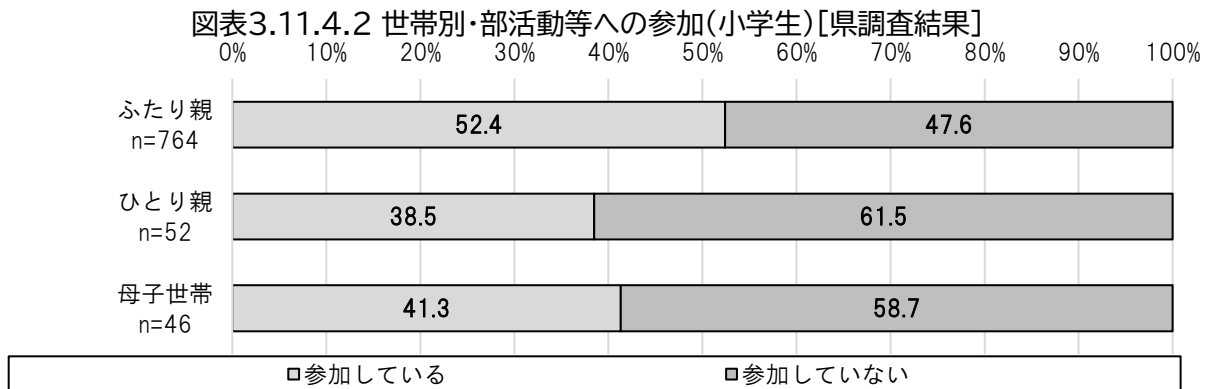
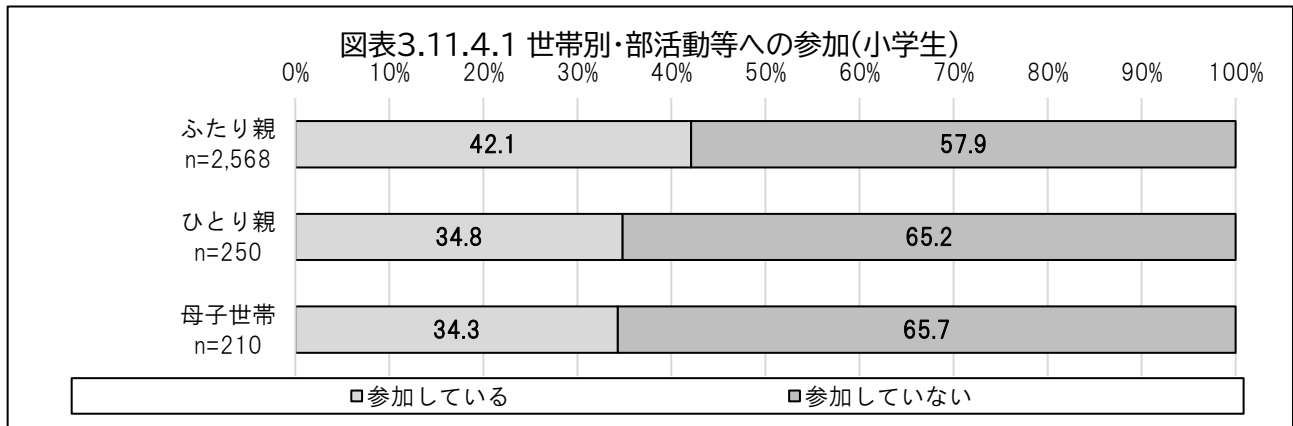
(3)等価世帯収入別・中学生（問 11. クラブ活動・部活動等への参加）

クラブ活動・部活動等への参加について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「参加している」と回答した割合は、全体では86.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では82.8%と低くなっています。また、県調査（86.4%）と比較して低くなっています。



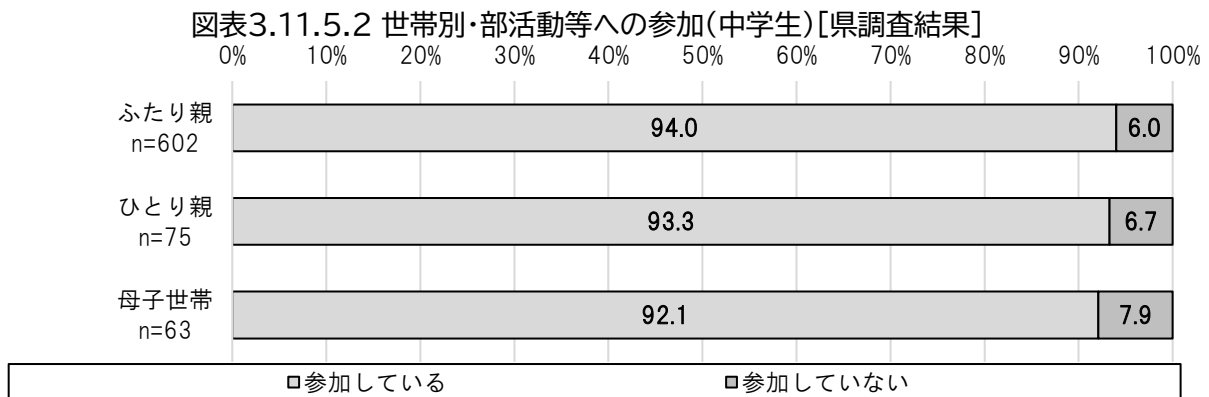
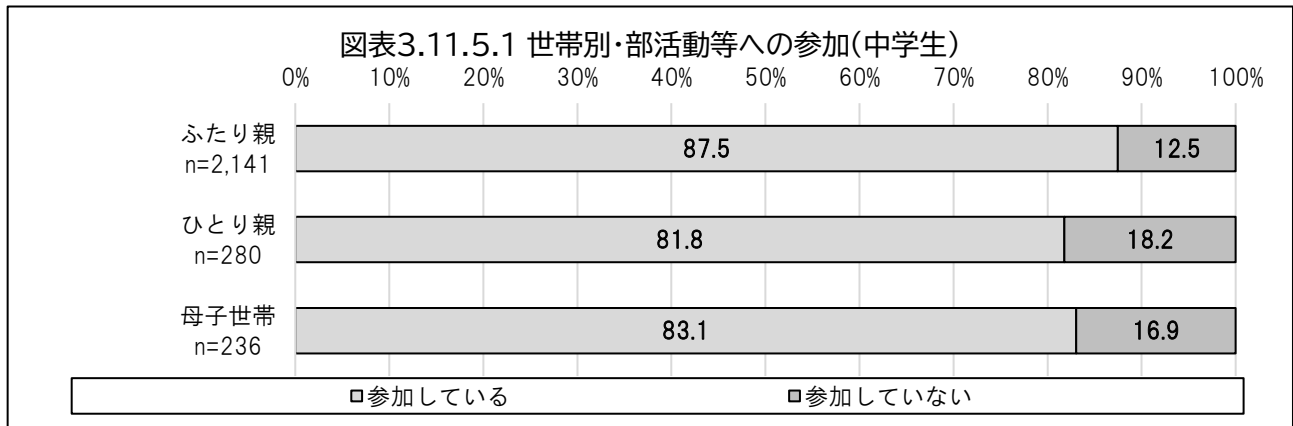
(4)世帯別・小学生（問 11. クラブ活動・部活動等への参加）

クラブ活動・部活動等への参加について、世帯別にみると、小学生では、「参加している」と回答した割合は、全体では 40.6%であったのに対し、ひとり親世帯では 34.8%と低くなっています。また、県調査（38.5%）と比較して低くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 11. クラブ活動・部活動等への参加）

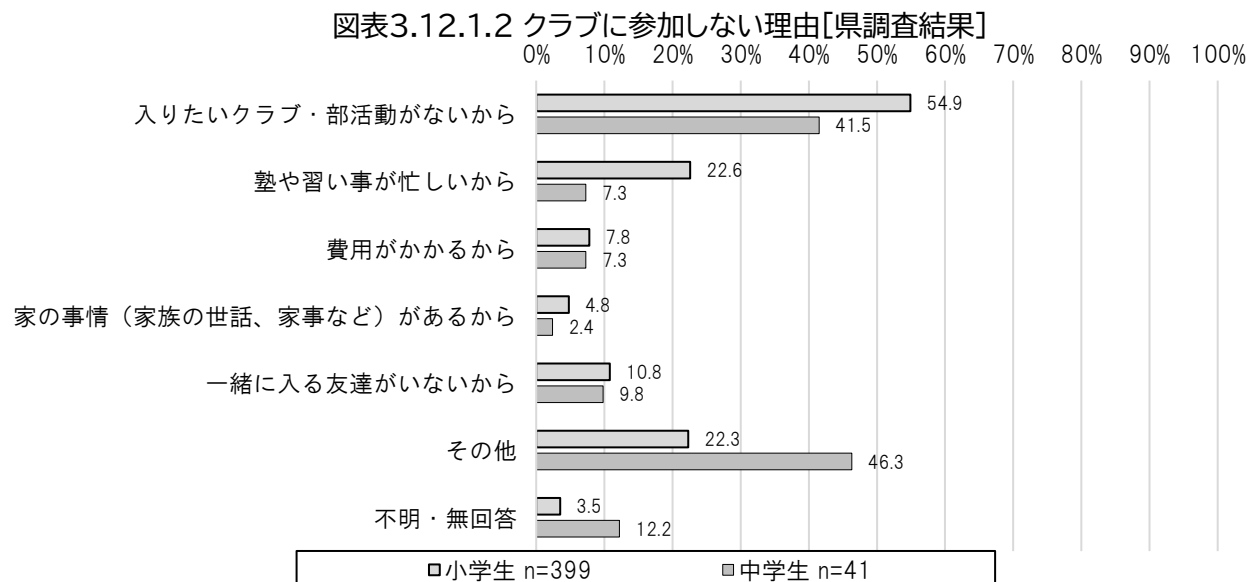
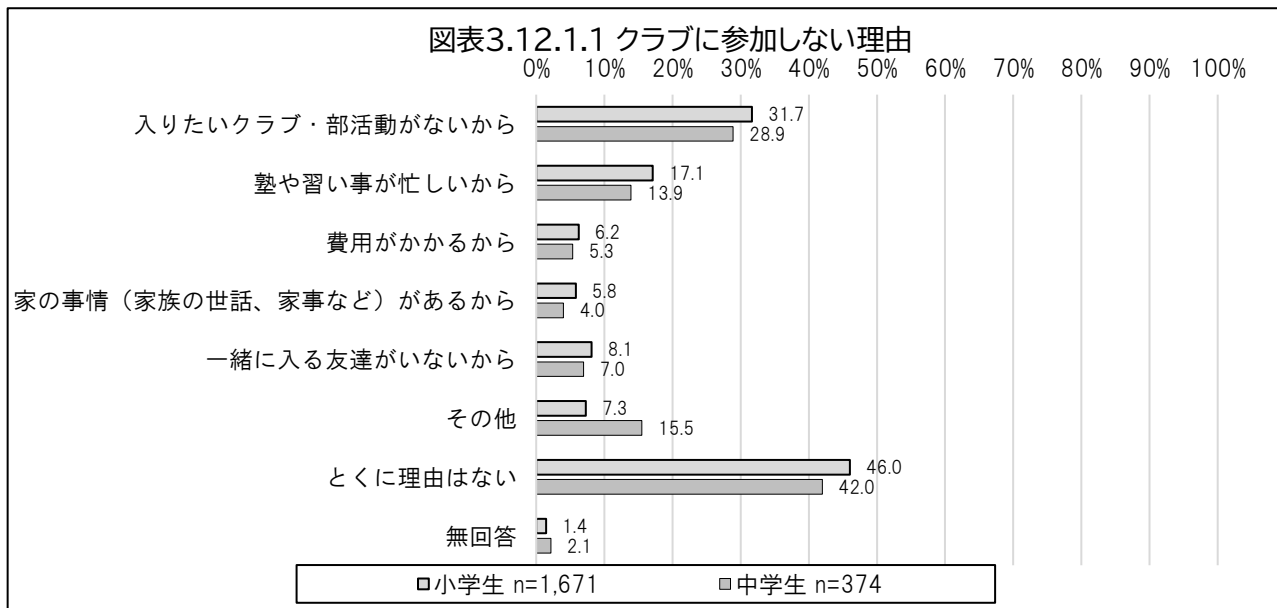
クラブ活動・部活動等への参加について、世帯別にみると、中学生では、「参加している」と回答した割合は、全体では86.1%であったのに対し、ひとり親世帯では81.8%とやや低くなっています。また、県調査（93.3%）と比較して低くなっています。



問12. 前の質問で「参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。

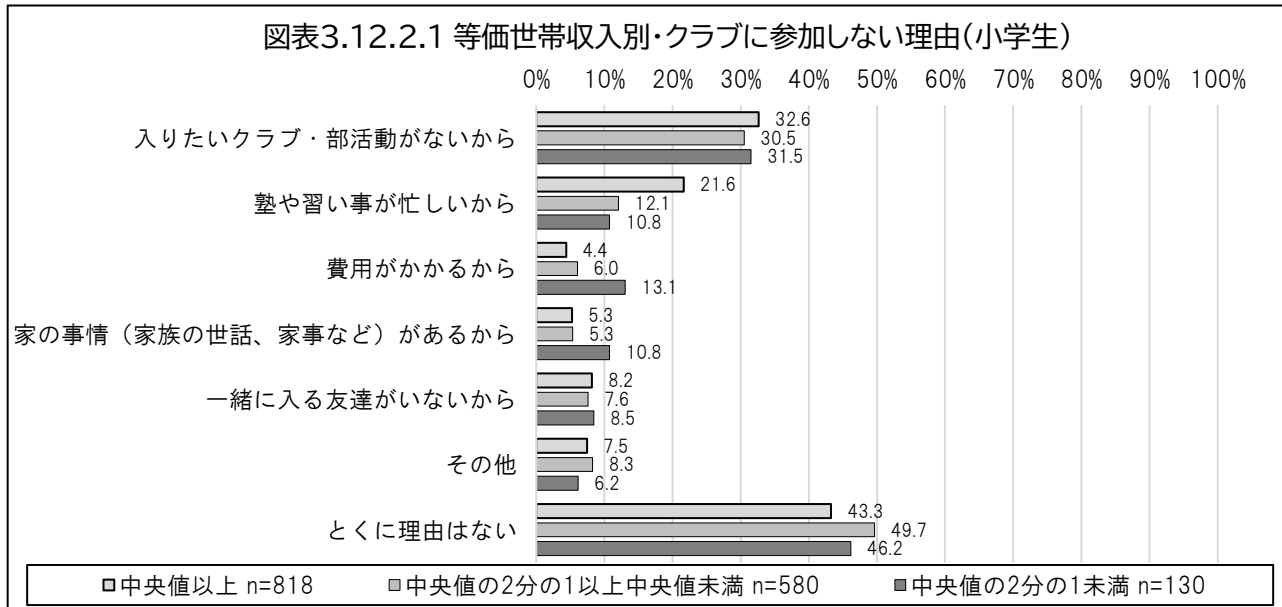
(1)全体

クラブ活動・部活動等に参加していない理由について、小学生・中学生ともに「とくに理由はない」が46.0%、42.0%と最も高くなっています。次いで、小学生は「入りたいクラブ・部活動がないから」が31.7%、「塾や習い事が忙しいから」が17.1%、中学生では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が28.9%、「その他」が15.5%となっています。

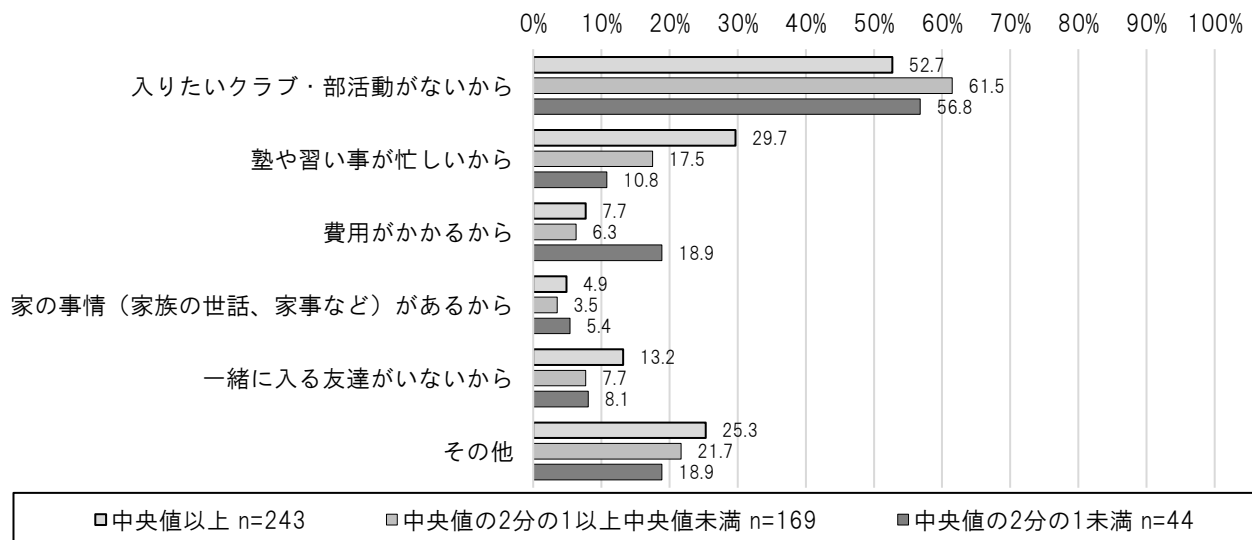


(2)等価世帯収入別・小学生（問 12. クラブ活動・部活動等への参加しない理由）

クラブ活動・部活動等に参加していない理由について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の小学生では、「費用がかかるから」が13.1%、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」が10.8%で、他の世帯と比較して高くなっています。

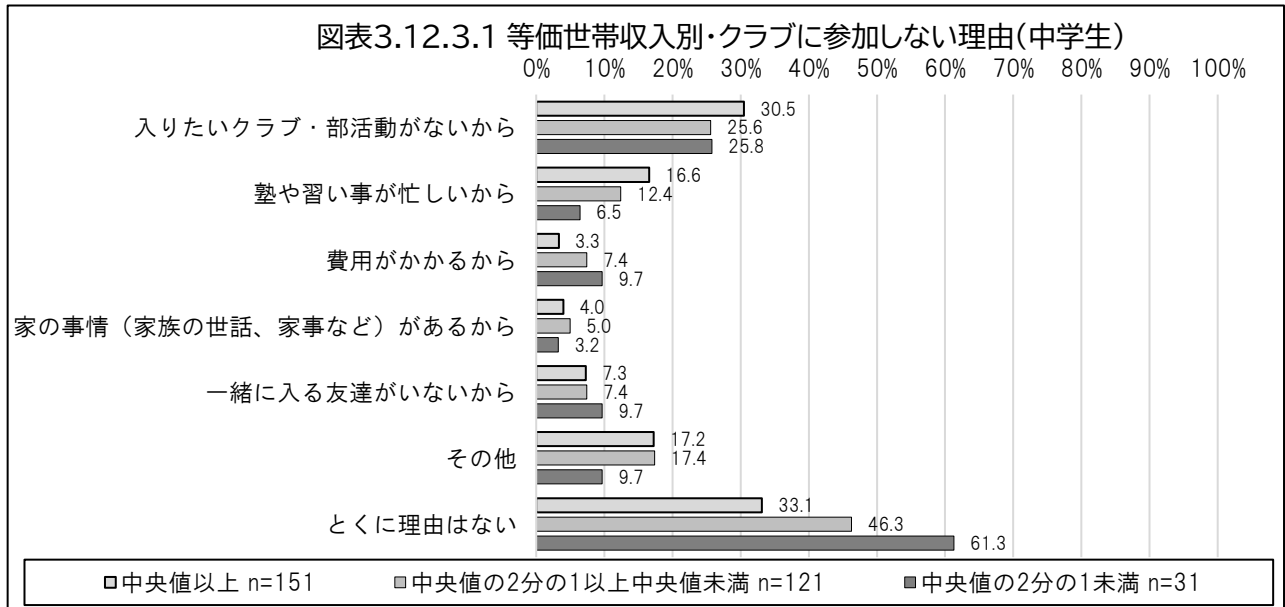


図表3.12.2.2 等価世帯収入別・クラブに参加しない理由(小学生)[県調査結果]

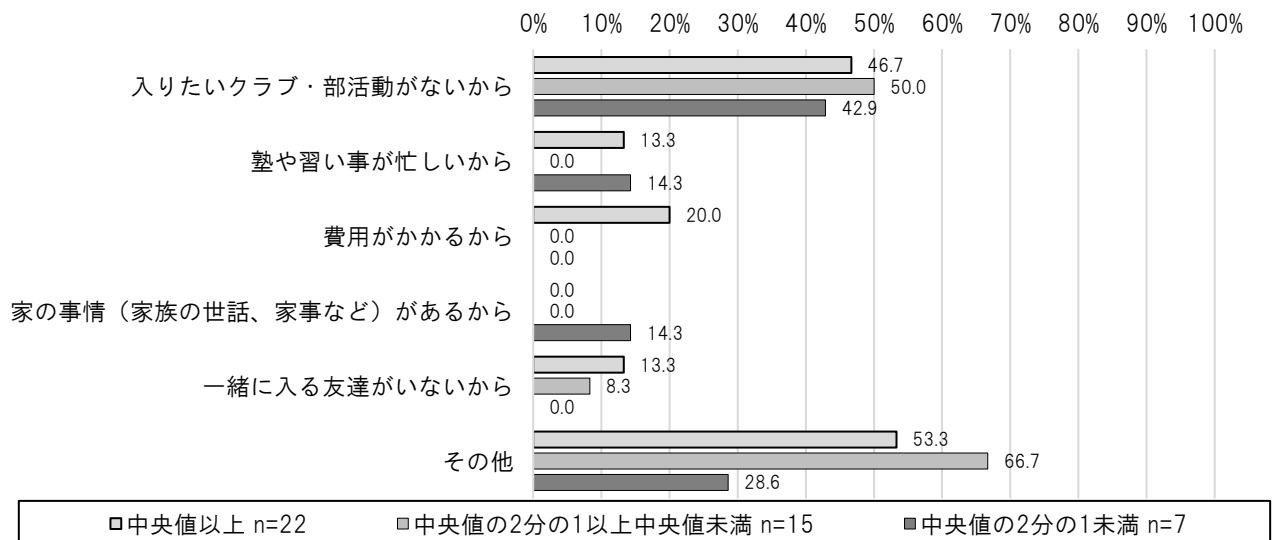


(3)等価世帯収入別・中学生（問 12. クラブ活動・部活動等への参加しない理由）

クラブ活動・部活動等に参加していない理由について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」中学生では、「とくに理由はない」が61.3%、「費用がかかるから」、「一緒にいる友達がいないから」が9.7%で、他の世帯と比較して高くなっています。

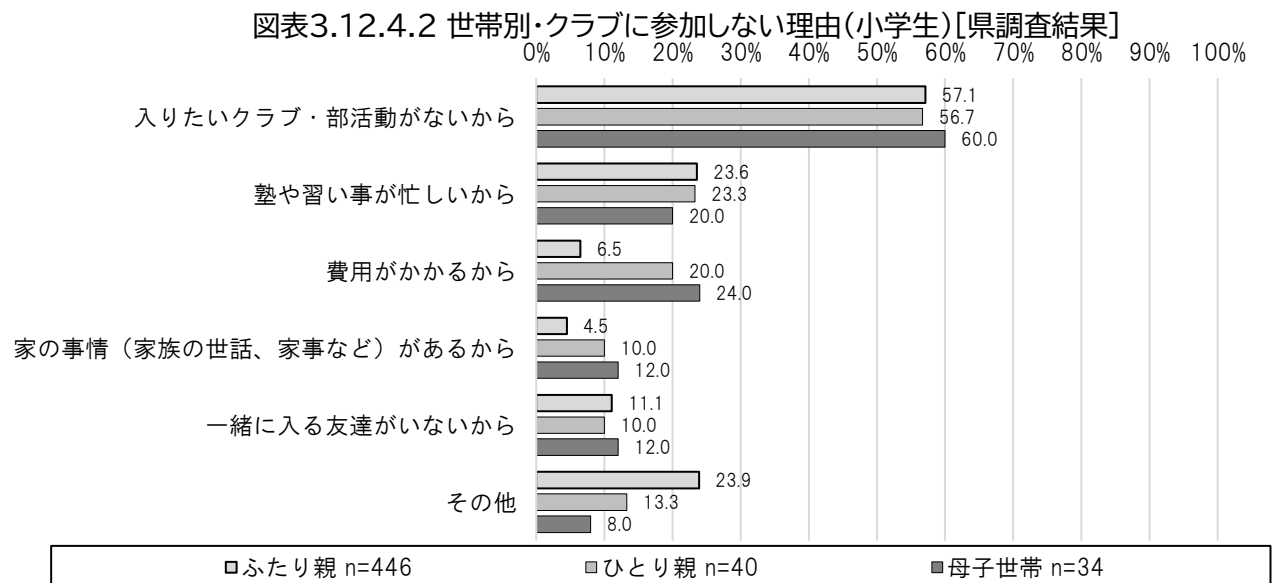
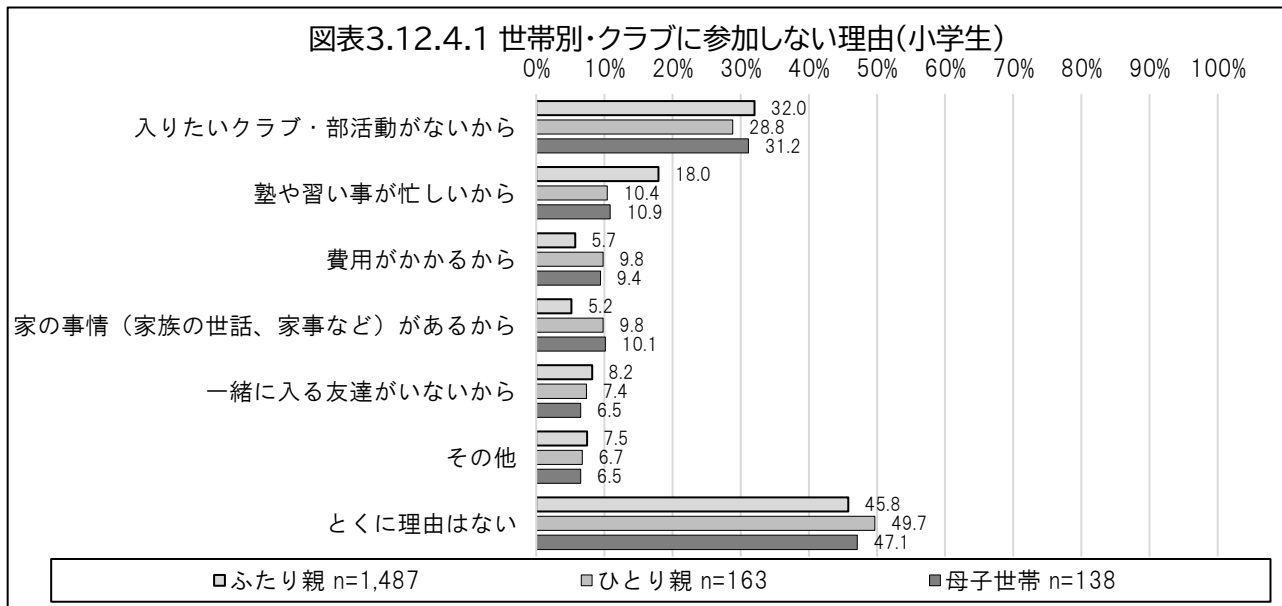


図表3.12.3.2 等価世帯収入別・クラブに参加しない理由(中学生)[県調査結果]



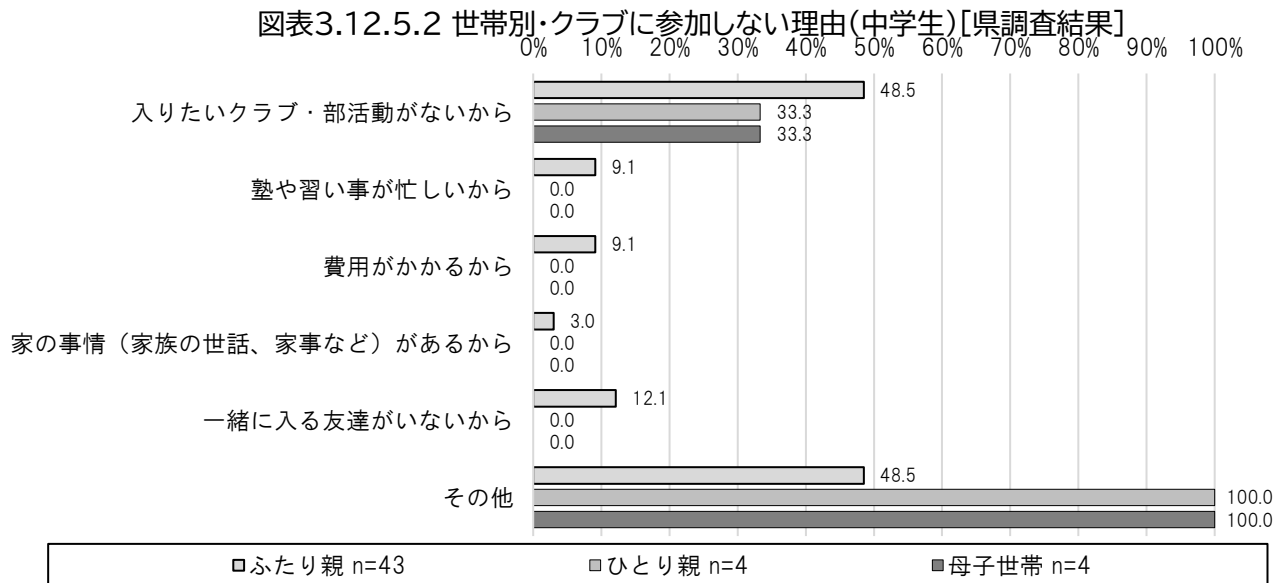
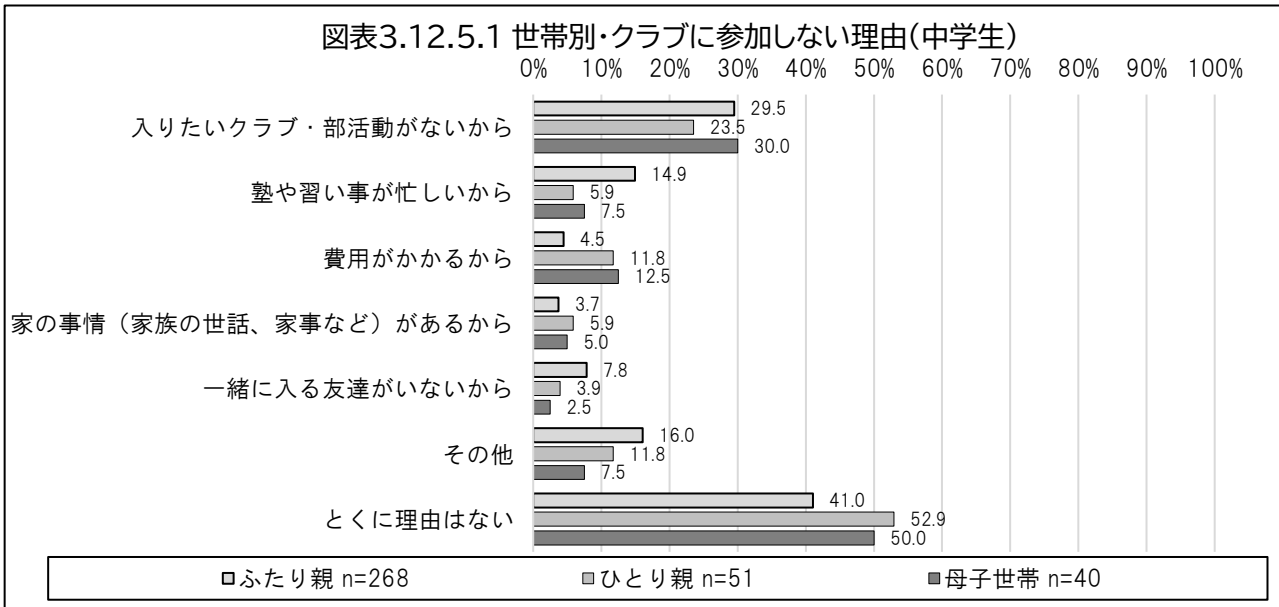
(4)世帯別・小学生（問 12. クラブ活動・部活動等への参加しない理由）

クラブ活動・部活動等に参加していない理由について、世帯別にみると、ひとり親世帯の小学生は、「費用がかかるから」、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」が9.8%と、ふたり親世帯と比較してやや高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 12. クラブ活動・部活動等への参加しない理由）

クラブ活動・部活動等に参加していない理由について、世帯別にみると、ひとり親世帯の中学生は、「とくに理由はない」が52.9%、「費用がかかるから」が11.8%で、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

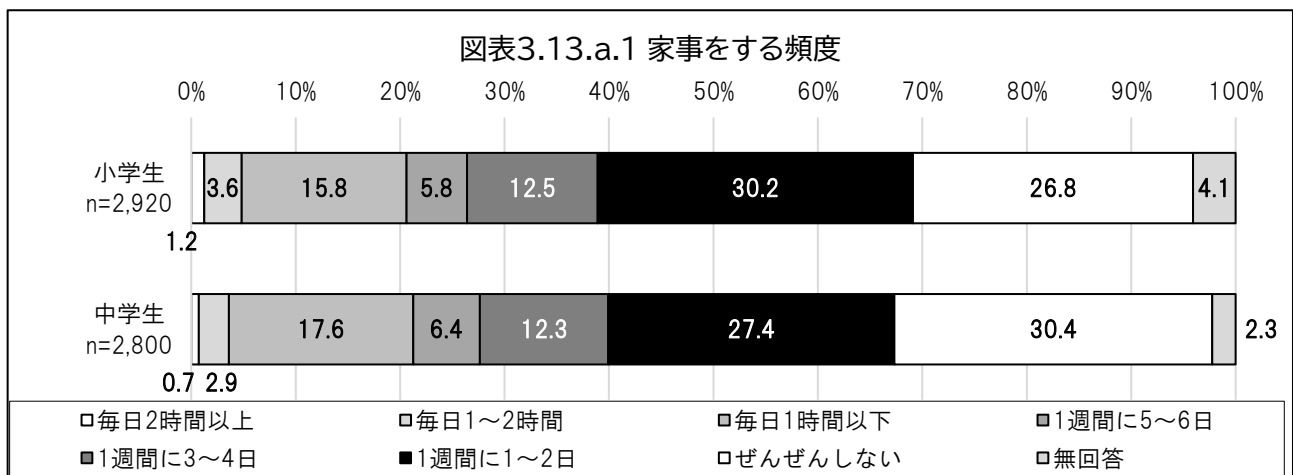


問13. あなたは次の活動をふだんどれくらいしますか。

a) 家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）

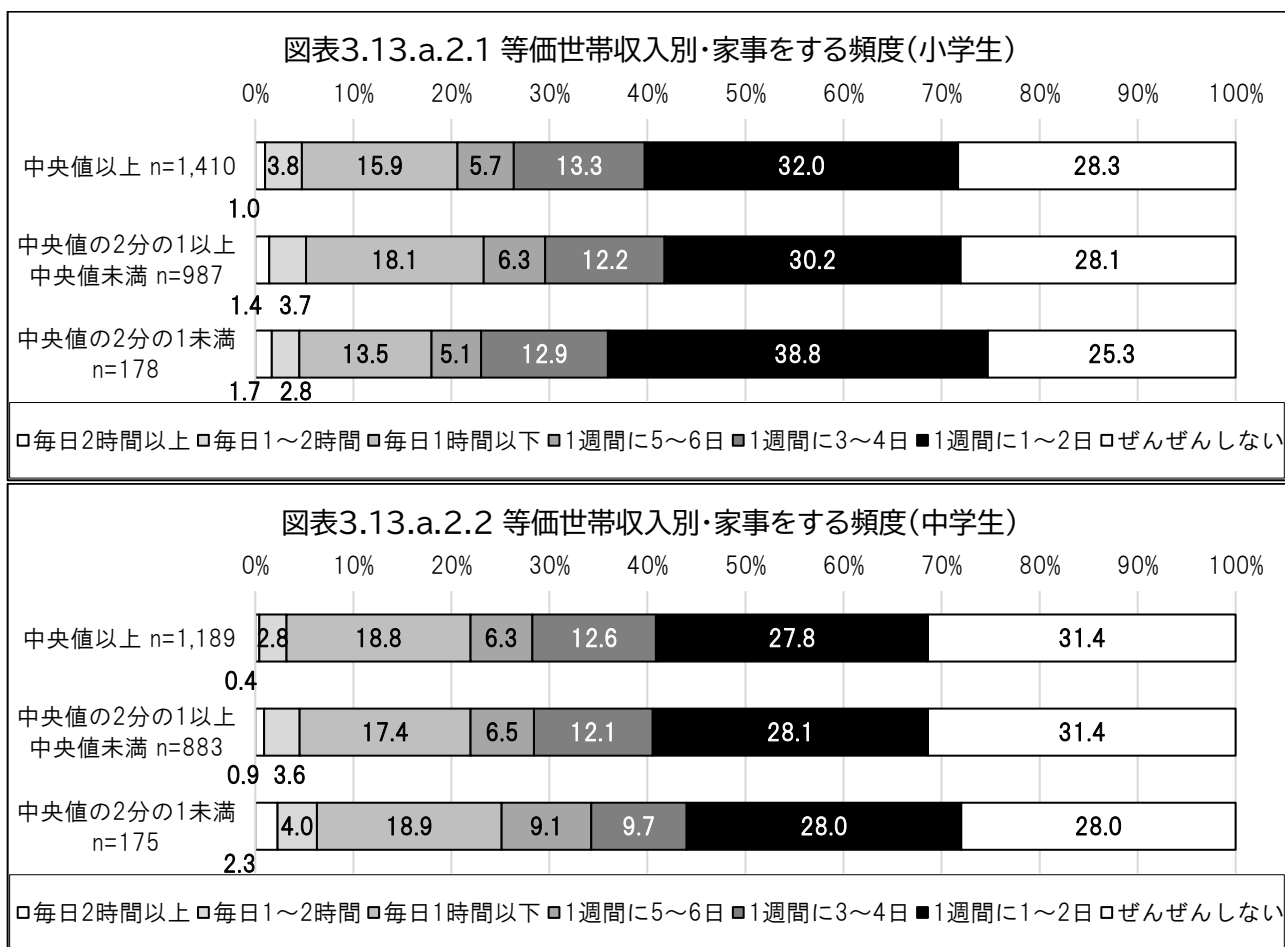
(1)全体

普段家事をする頻度について、小学生では「1週間に1～2日」が30.2%、「ぜんぜんしない」が26.8%、「毎日1時間以下」が15.8%、中学生では「ぜんぜんしない」が30.4%、「1週間に1～2日」が27.4%、「毎日1時間以下」が17.6%となっています。また、「毎日する」と回答した割合（「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計）は、小学生が20.6%、中学生が21.2%となっています。



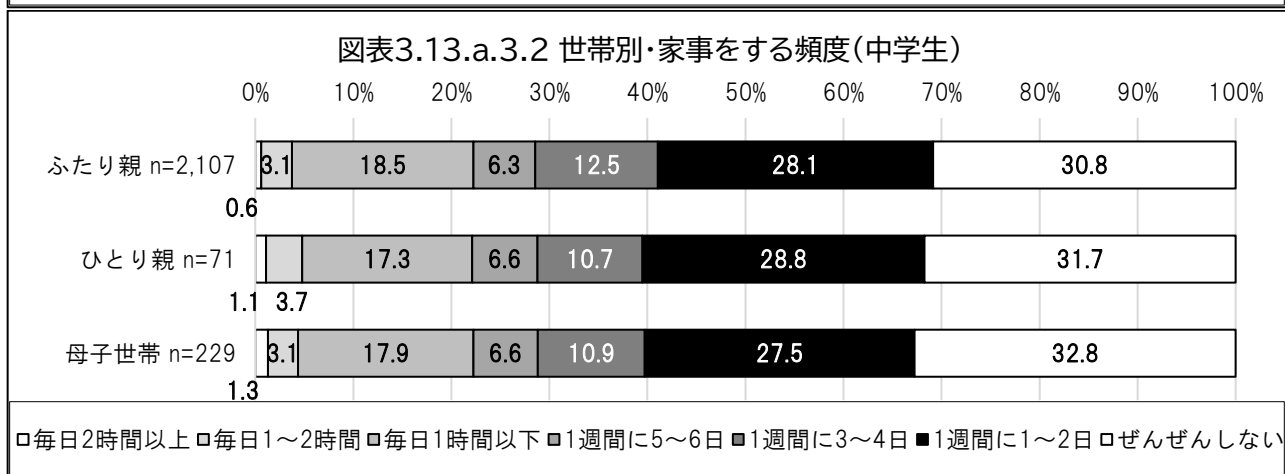
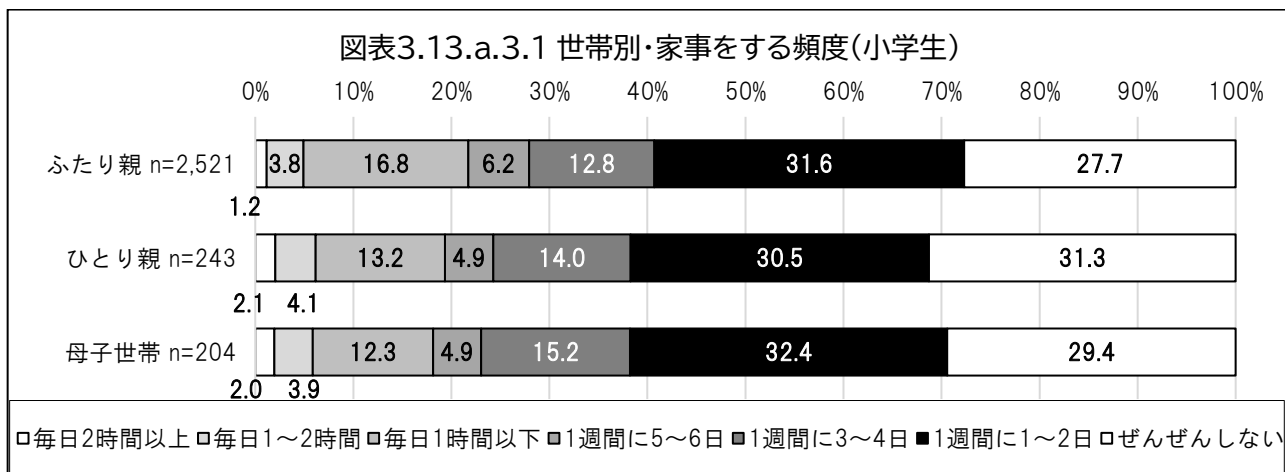
(2)等価世帯収入別

普段家事をする頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「1週間に1～2日」が32.0%、30.2%、38.8%と最も高くなっています。中学生は、「中央値以上」と「中低位の水準の世帯（中央値2分の1以上中央値未満）」では、「ぜんぜんしない」が31.4%と最も高く、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「1週間に1～2日」、「ぜんぜんしない」が28.0%と最も高くなっています。また、「毎日する」（「毎日2時間以上」と「毎日1～2時間」と「毎日1時間以下」の合計）と回答した割合は、全体では小学生が20.6%、中学生が21.2%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が18.0%、中学生が25.2%となっています。



(3)世帯別

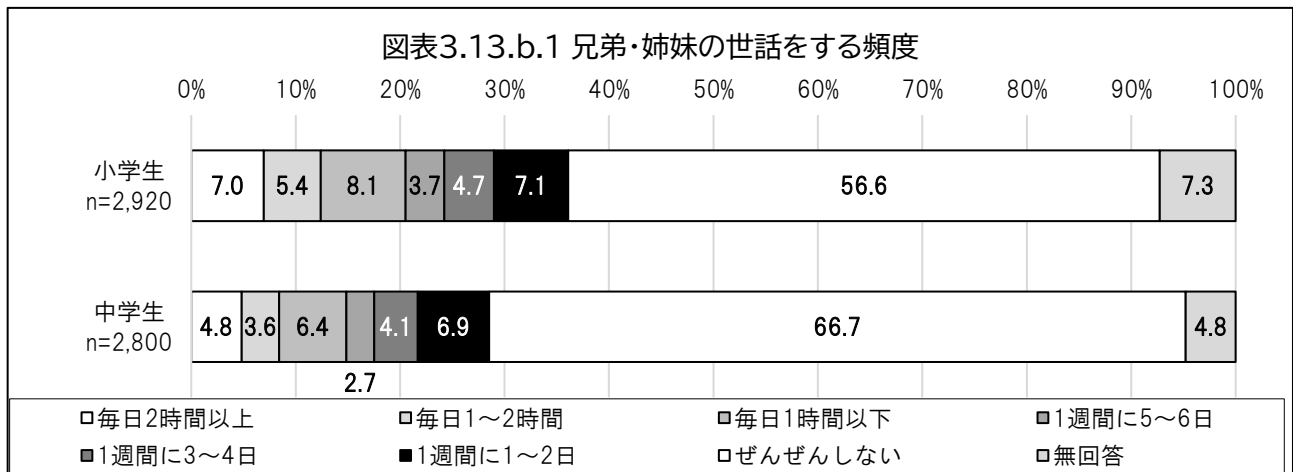
普段家事をする頻度について、世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯と母子世帯では「1週間に1～2日」が31.6%、32.4%、ひとり親世帯では「ぜんぜんしない」が31.3%と最も高くなっています。中学生では、ふたり親世帯・ひとり親世帯ともに「ぜんぜんしない」がそれぞれ30.8%、31.7%と最も高くなっています。また、「毎日する」と回答した割合（「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計）は、全体では小学生が20.6%、中学生が21.2%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生が19.4%、中学生が22.1%となっています。



b) 兄弟・姉妹の世話

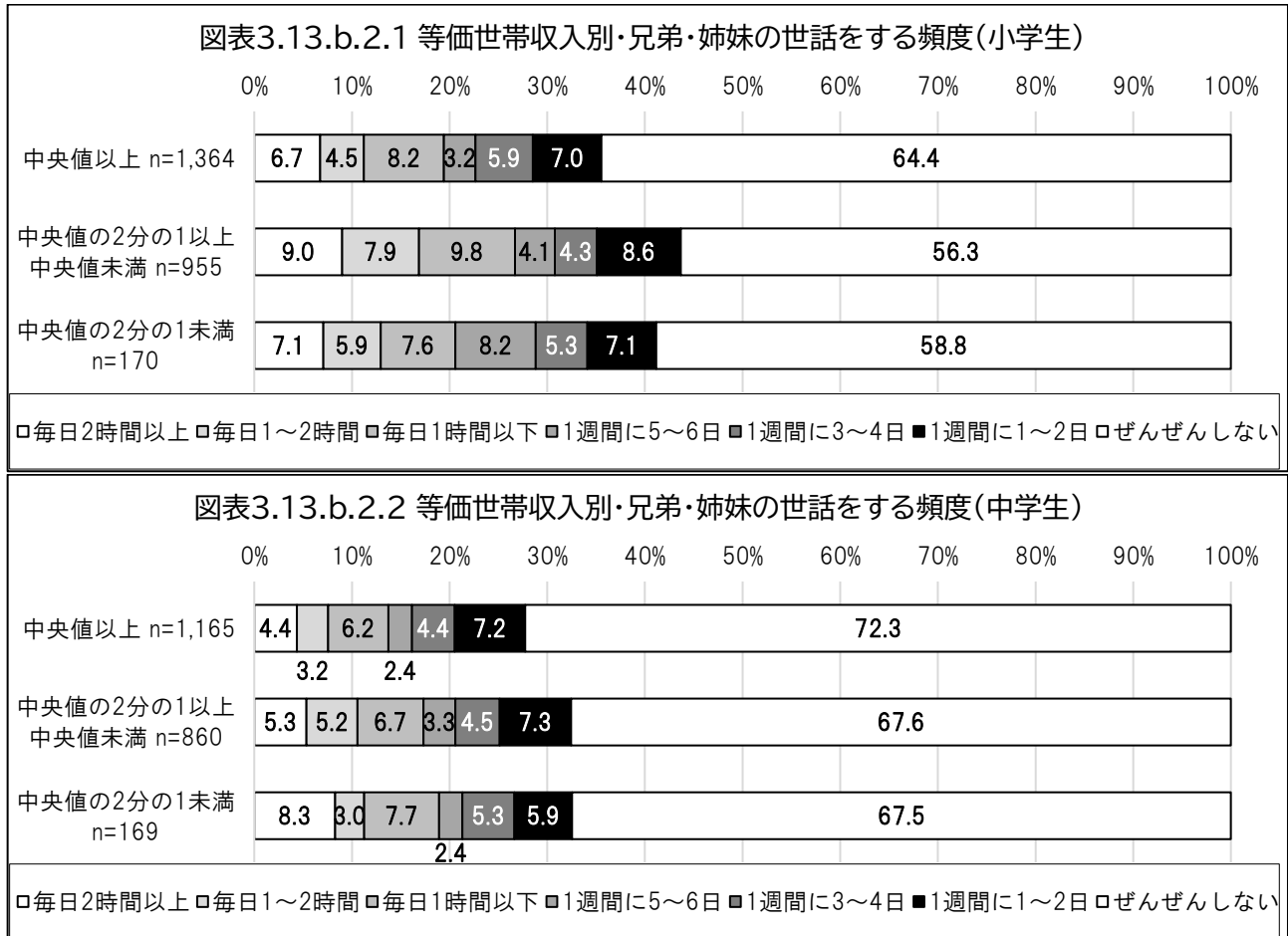
(1)全体

普段兄弟・姉妹の世話をする頻度について、小学生・中学生ともに、「ぜんぜんしない」が56.6%、66.7%と最も高く、次いで、小学生では「毎日1時間以下」が8.1%、中学生では「1週間に1～2日」が6.9%となっています。また、「毎日する」と回答した割合（「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計）は、小学生が20.5%、中学生が14.8%となっています。



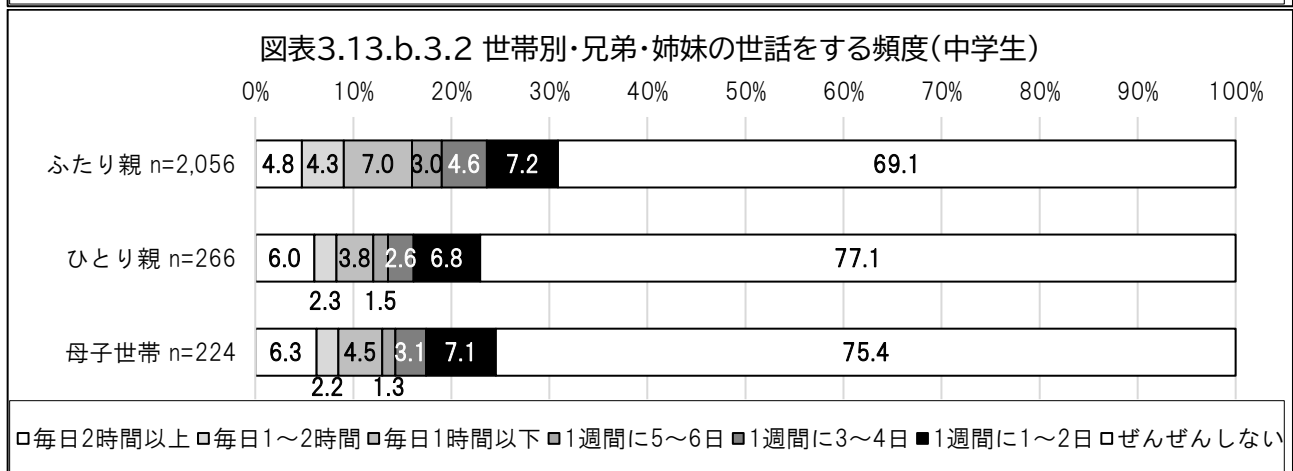
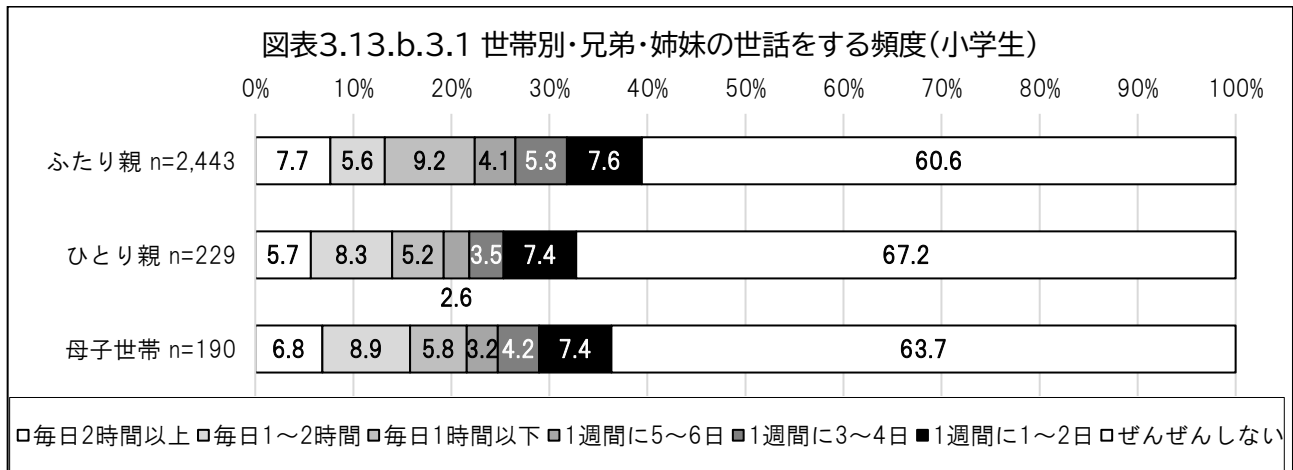
(2)等価世帯収入別

普段兄弟・姉妹の世話をする頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「ぜんぜんしない」が最も高くなっています（小学生64.4%、56.3%、58.8%、中学生72.3%、67.6%、67.5%）。また、「毎日する」と回答した割合（「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計）は、全体では小学生が20.5%、中学生が14.8%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が20.6%、中学生が19.0%となっています。



(3)世帯別

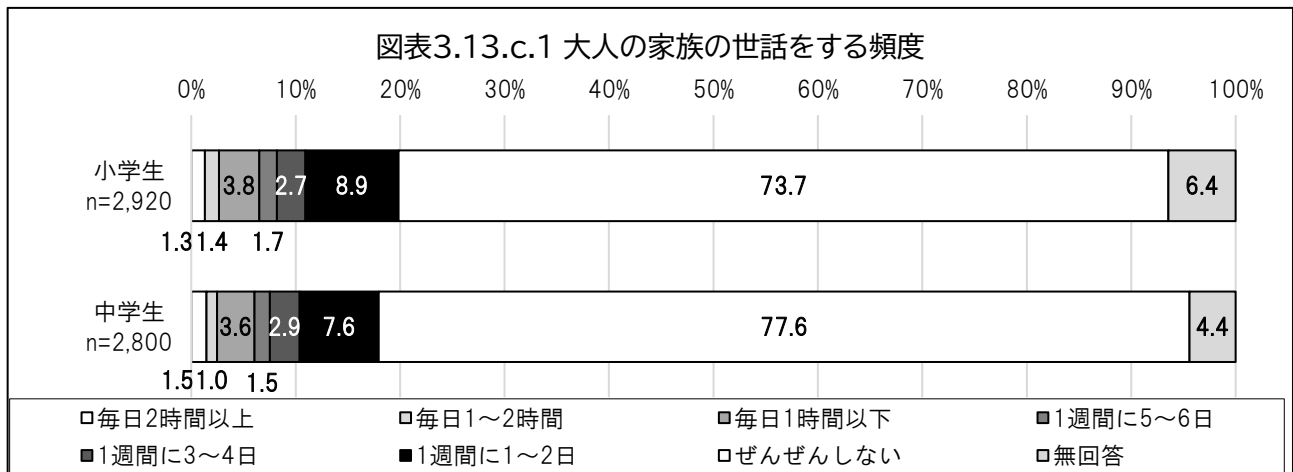
普段兄弟・姉妹の世話をする頻度について、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「ぜんぜんしない」が最も高くなっています(小学生 60.6%、67.2%、63.7%、中学生 69.1%、77.1%、75.4%)。また、「毎日する」と回答した割合(「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計)は、全体では小学生が 20.5%、中学生が 14.8%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生が 19.2%、中学生が 12.1%となっています。



c) 親や祖父母など大人の家族の世話

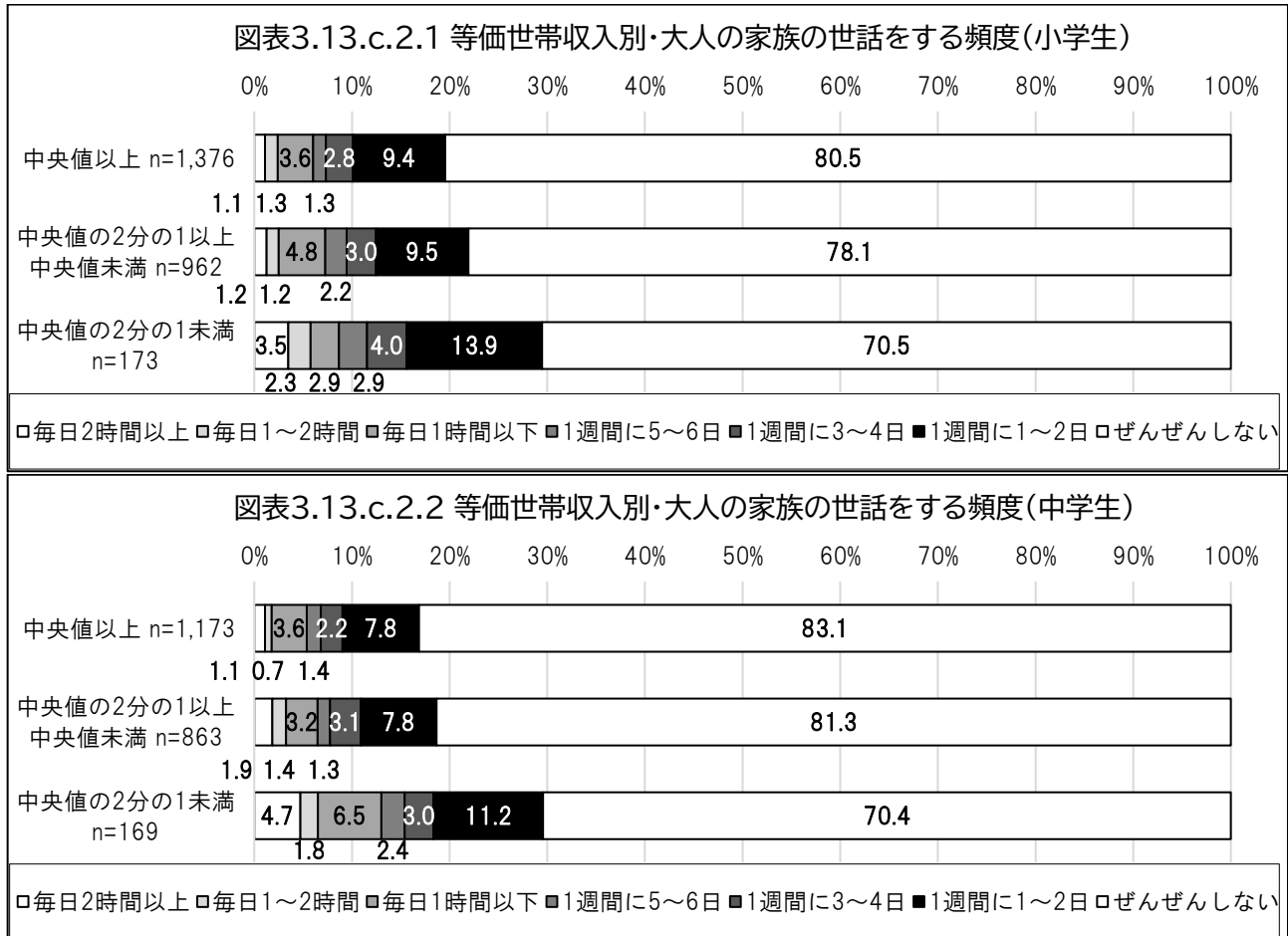
(1)全体

普段大人の家族の世話をする頻度について、小学生・中学生ともに「ぜんぜんしない」が73.7%、77.6%と最も高く、次いで「1週間に1～2日」が8.9%、7.6%となっています。また、「毎日する」と回答した割合（「毎日2時間以上」と「毎日1～2時間」と「毎日1時間以下」の合計）は、小学生が6.5%、中学生が6.1%となっています。



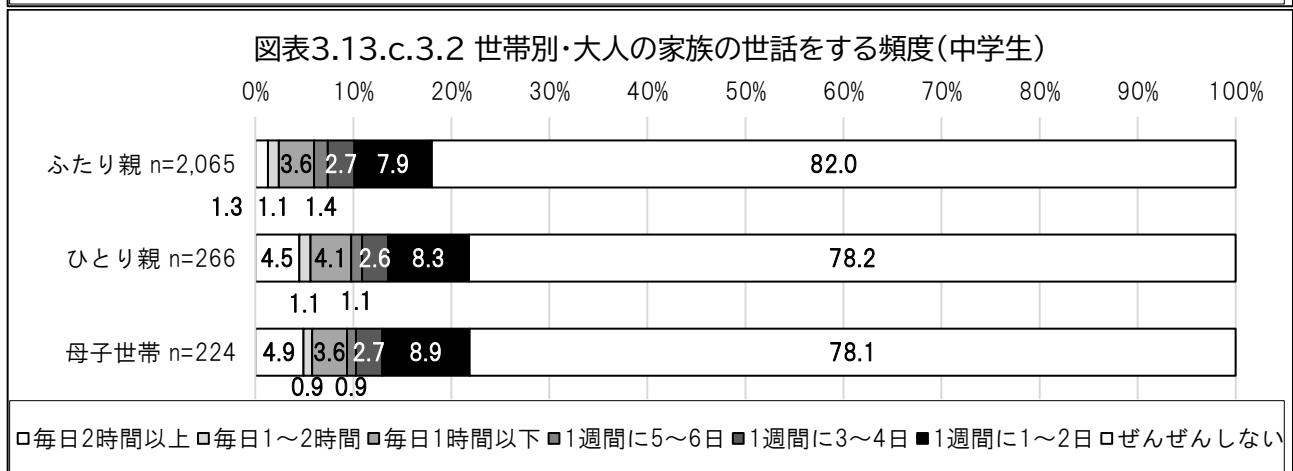
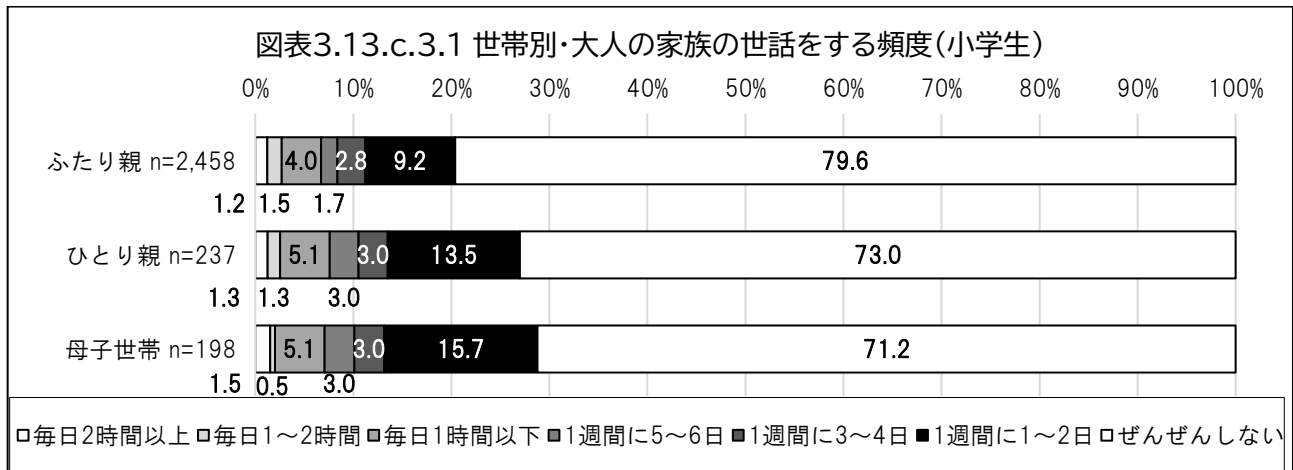
(2)等価世帯収入別

普段大人の家族の世話をする頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「ぜんぜんしない」が最も高くなっています（小学生 80.5%、78.1%、70.5%、中学生 83.1%、81.3%、70.4%）。また、「毎日する」と回答した割合（「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計）は、全体では小学生が6.5%、中学生が6.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が8.7%、中学生が13.0%となっています。



(3)世帯別

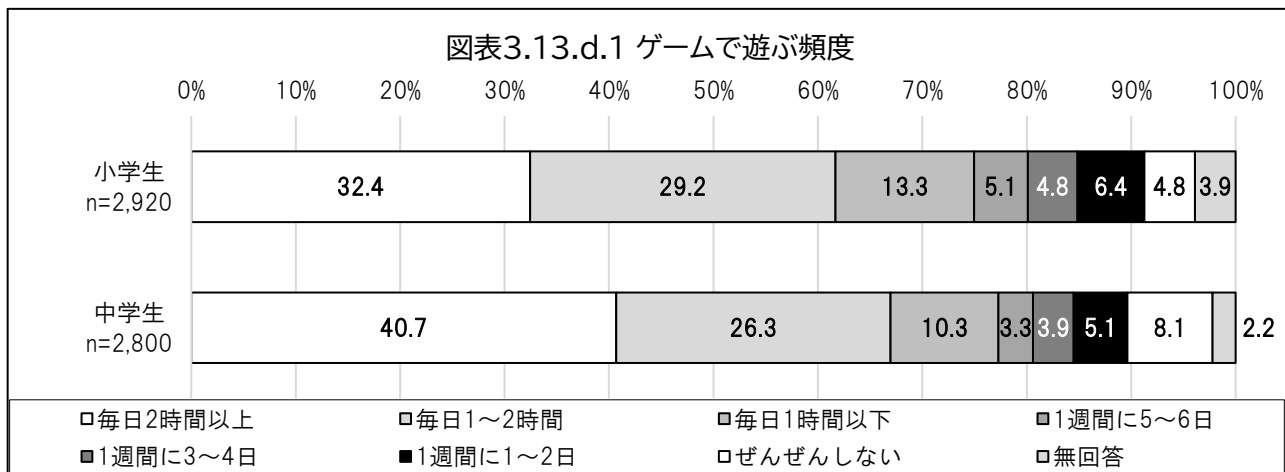
普段大人の家族の世話をする頻度について、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「ぜんぜんしない」が最も高くなっています(小学生 79.6%、73.0%、71.2%、中学生 82.0%、78.2%、78.1%)。また、「毎日する」と回答した割合(「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計)は、全体では小学生が6.5%、中学生が6.1%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生が7.7%、中学生が9.7%となっています。



d) ゲームで遊ぶ（パソコン、スマホ、タブレットを含む）

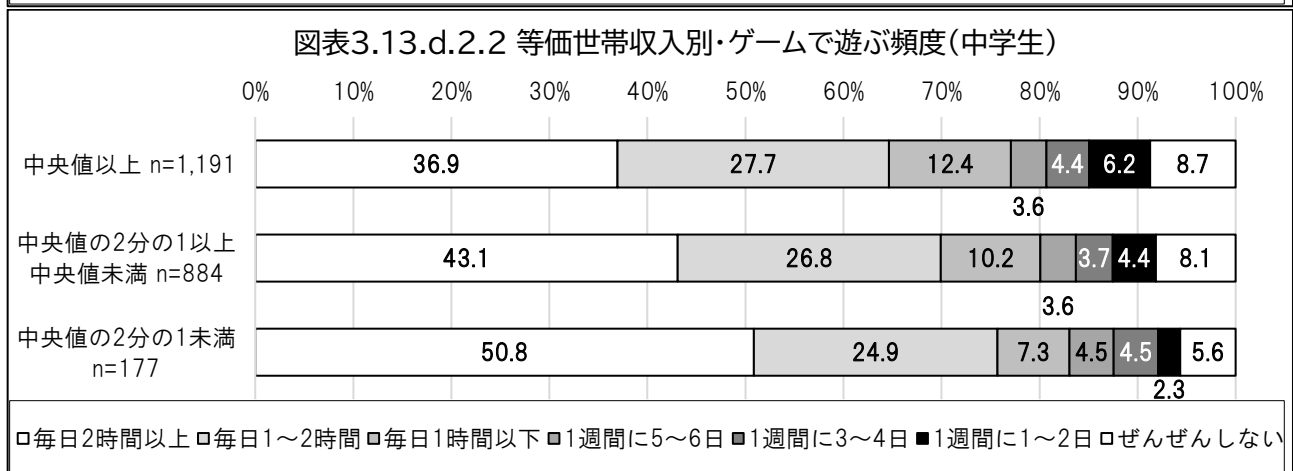
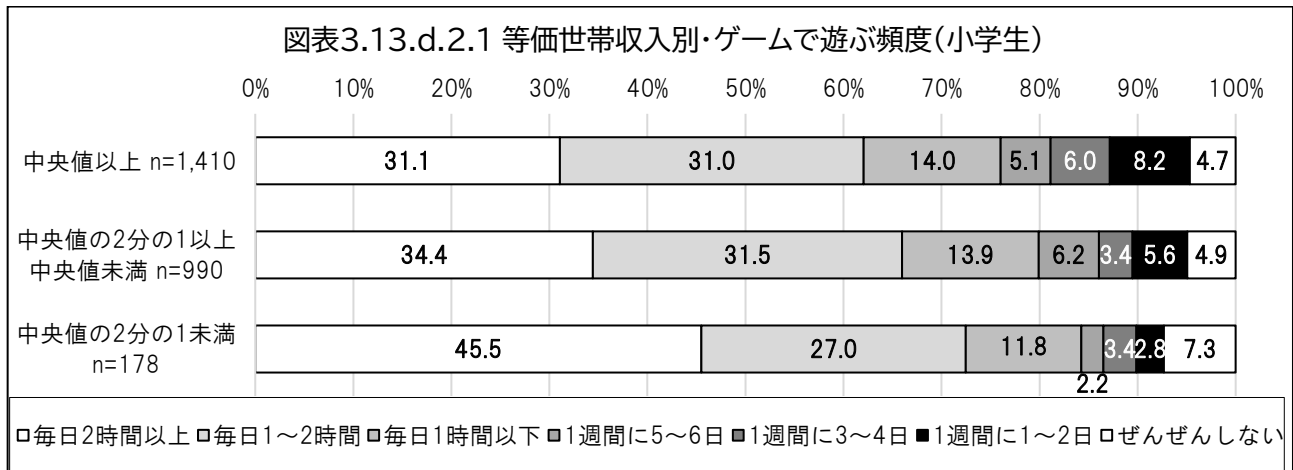
(1)全体

普段ゲームで遊ぶ頻度について、小学生・中学生ともに、「毎日2時間以上」が32.4%、40.7%が最も高く、次いで「毎日1～2時間」が29.2%、26.3%、「毎日1時間以下」が13.3%、10.3%となっています。



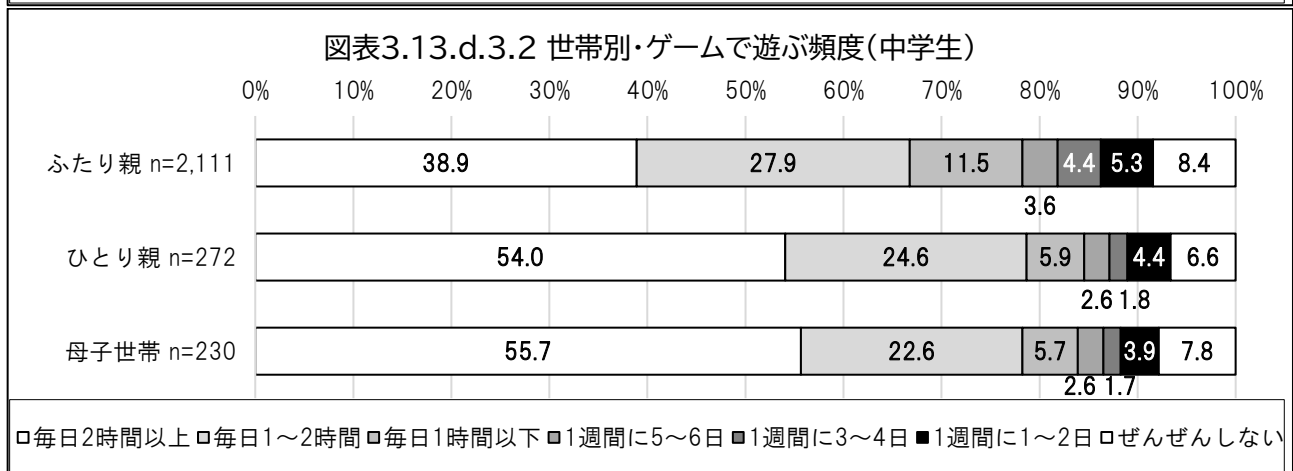
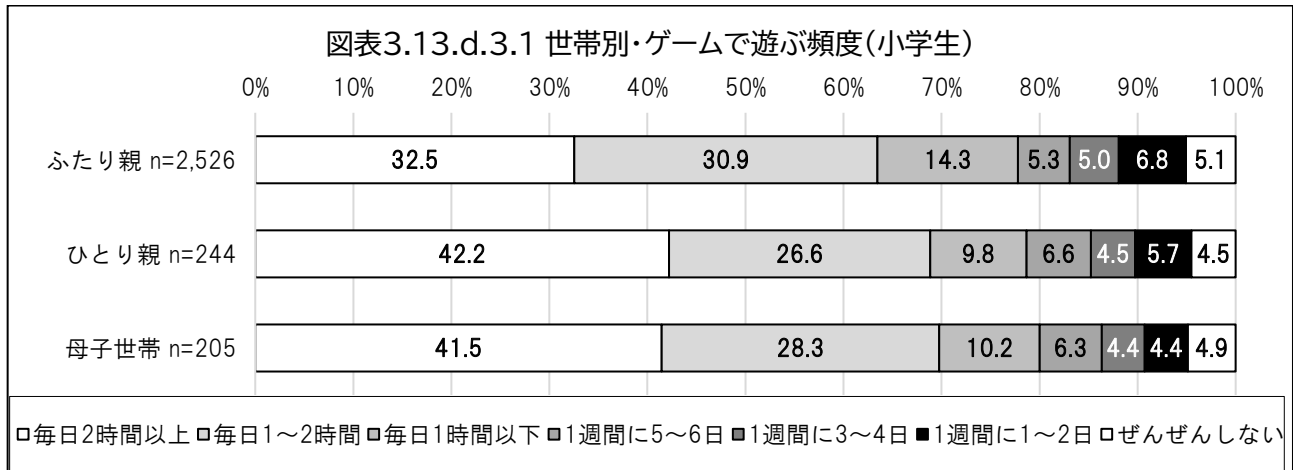
(2)等価世帯収入別

普段ゲームで遊ぶ頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「毎日2時間以上」が最も高くなっています（小学生31.1%、34.4%、45.5%、中学生36.9%、43.1%、50.8%）。また、「毎日2時間以上」と回答した割合は、全体では小学生が32.4%、中学生が40.7%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が45.5%、中学生が50.8%と高くなっています。



(3)世帯別

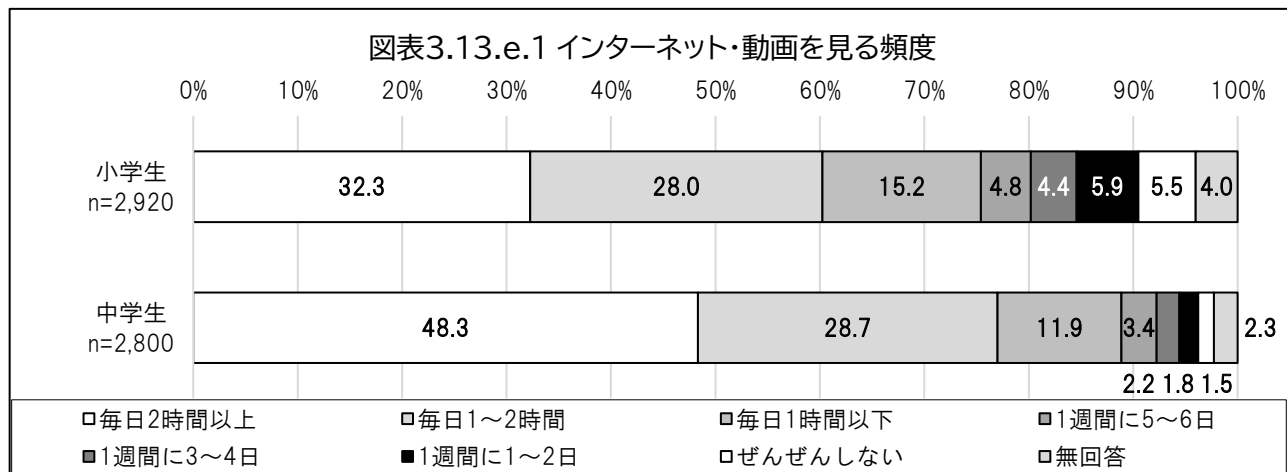
普段ゲームで遊ぶ頻度について、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「毎日2時間以上」が最も高くなっています（小学生 32.5%、42.2%、41.5%、中学生 38.9%、54.0%、55.7%）。また、「毎日2時間以上」と回答した割合は、全体では小学生が32.4%、中学生が40.7%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生が42.2%、中学生が54.0%と高くなっています。



e) インターネット・動画を見る

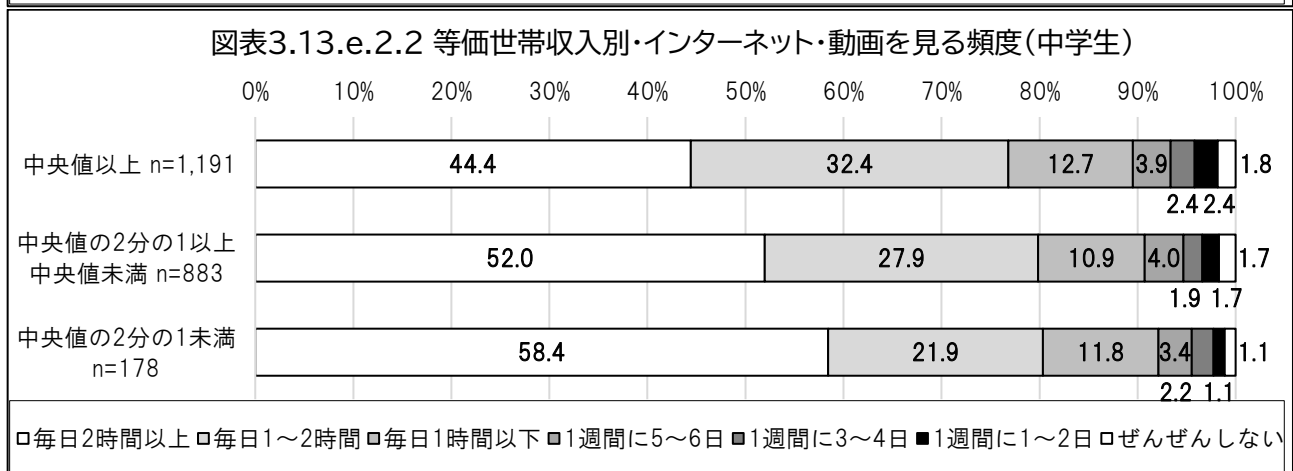
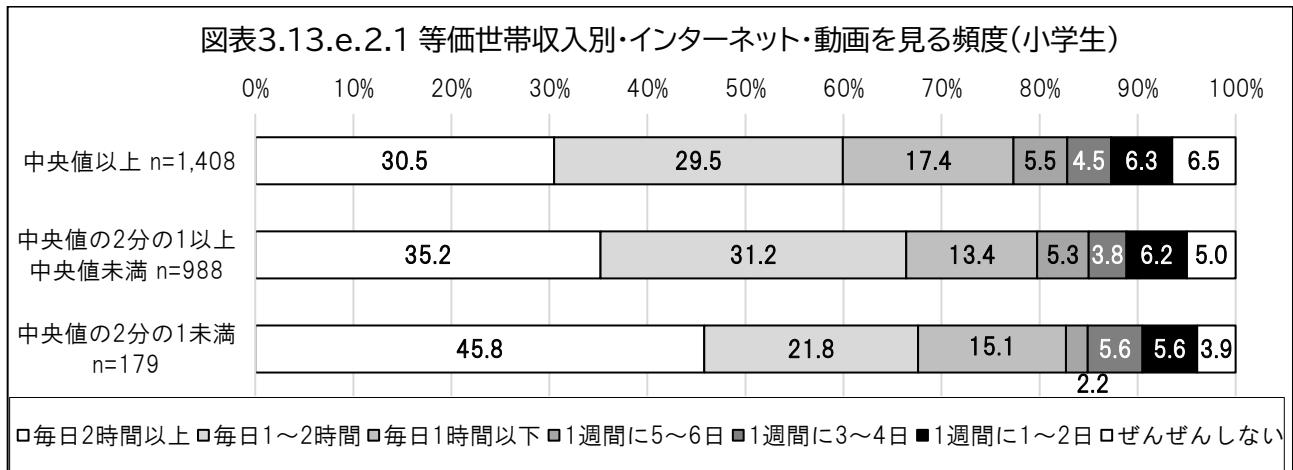
(1)全体

普段インターネット・動画を見る頻度について、小学生・中学生ともに、「毎日2時間以上」が32.3%、48.3%が最も高く、次いで「毎日1～2時間」が28.0%、28.7%、「毎日1時間以下」が15.2%、11.9%となっています。



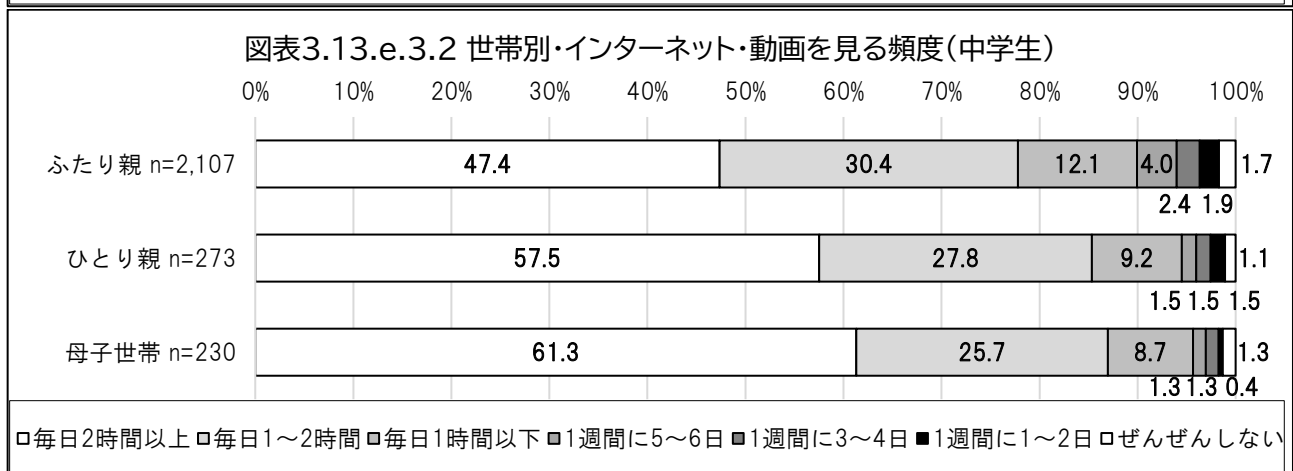
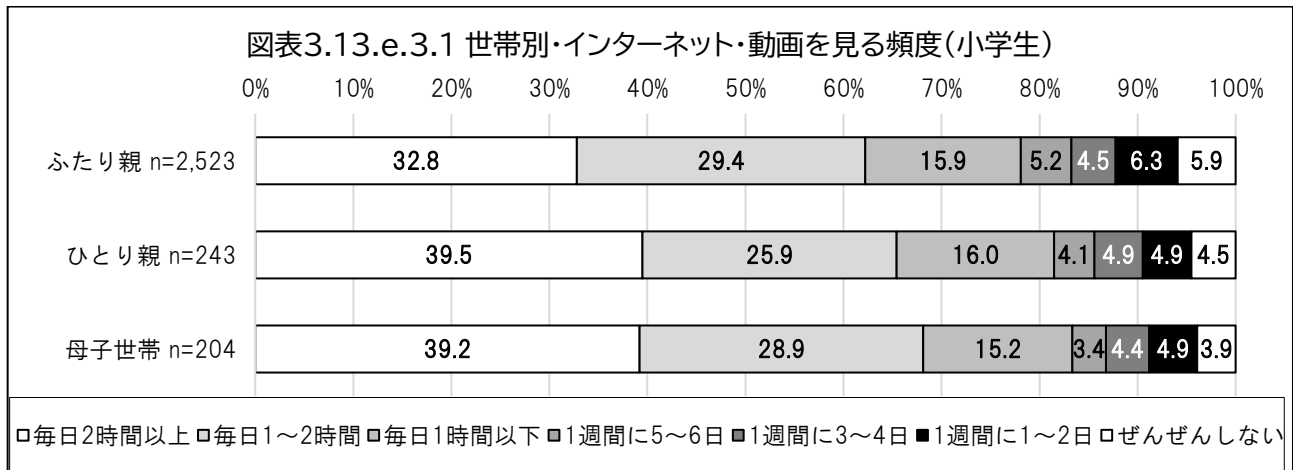
(2)等価世帯収入別

普段インターネット・動画を見る頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「毎日2時間以上」が最も高くなっています（小学生30.5%、35.2%、45.8%、中学生44.4%、52.0%、58.4%）。また、「毎日2時間以上」と回答した割合は、全体では小学生が32.3%、中学生が48.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が45.8%、中学生が58.4%と高くなっています。



(3)世帯別

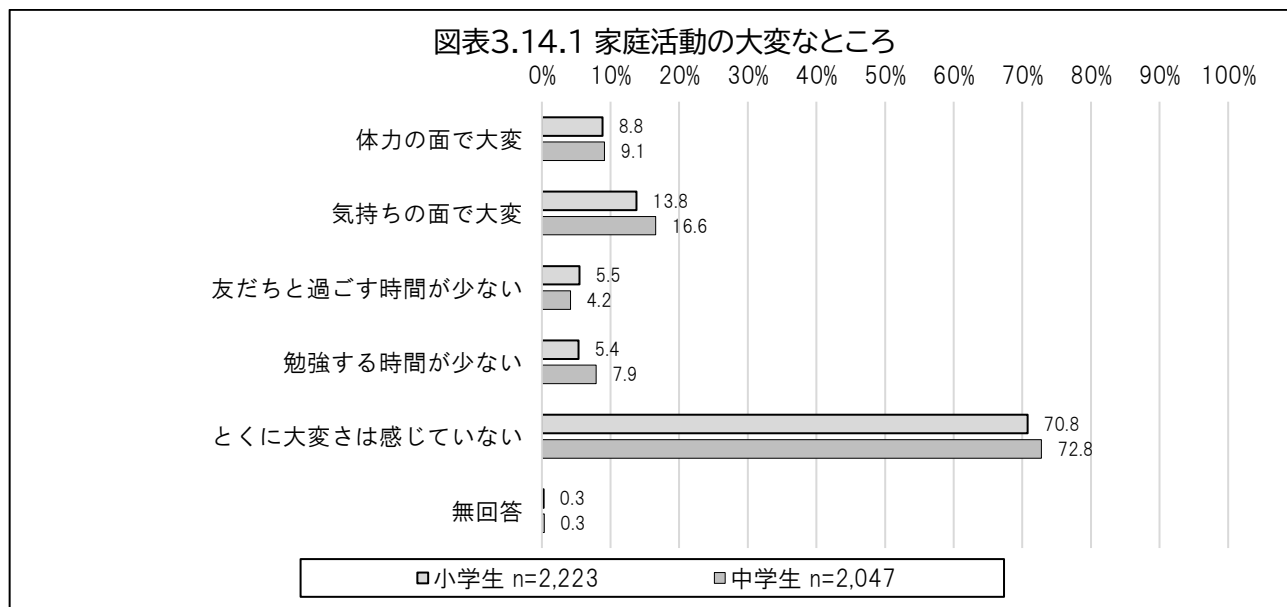
普段インターネット・動画を見る頻度について、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「毎日2時間以上」が最も高くなっています（小学生32.8%、39.5%、39.2%、中学生47.4%、57.5%、61.3%）。また、「毎日2時間以上」と回答した割合は、全体では小学生が32.3%、中学生が48.3%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生が39.5%、中学生が57.5%と高くなっています。



問14. あなたは、前の質問の a~c の活動に大変さを感じていますか。

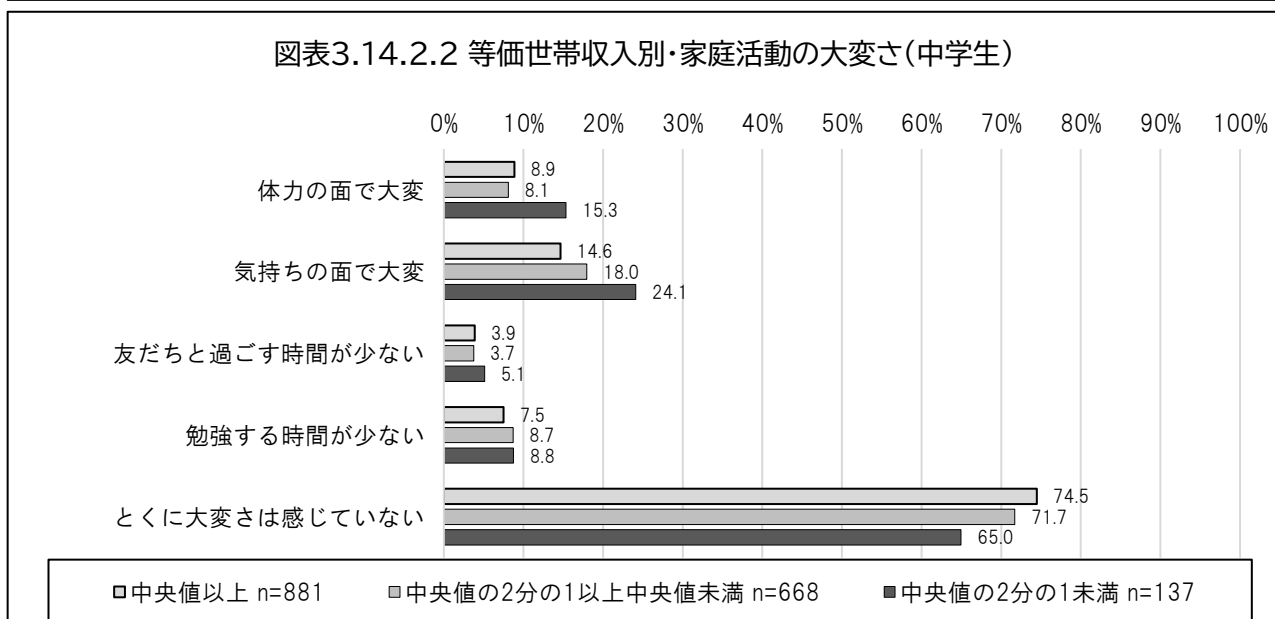
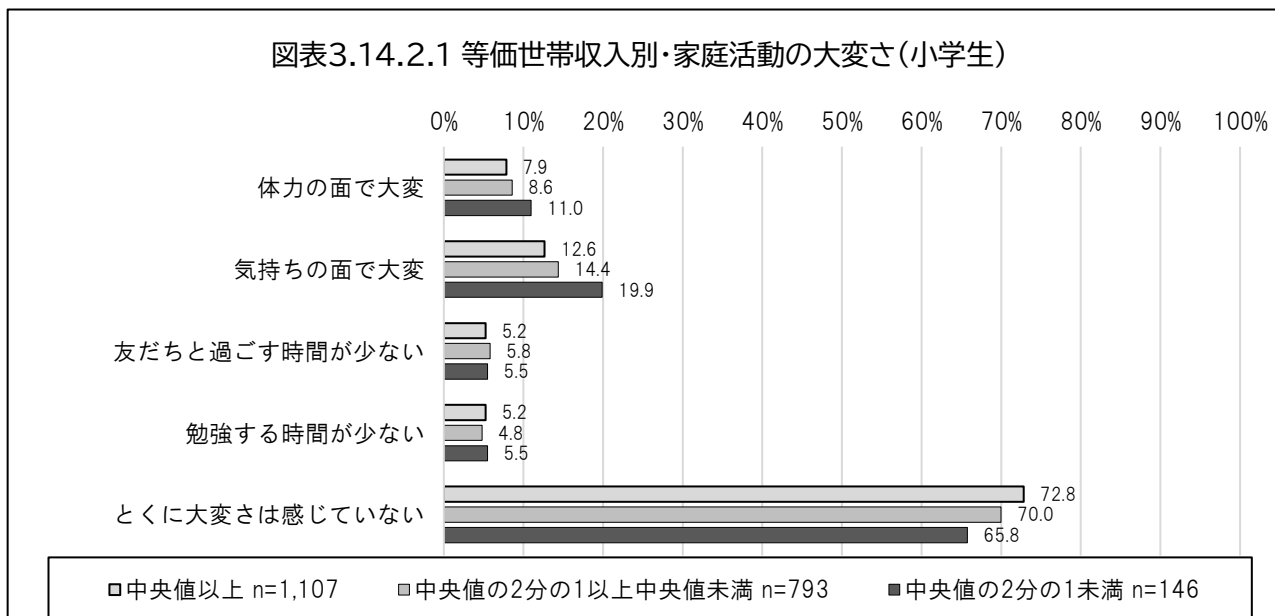
(1)全体

家庭活動の大変なところについて、小学生・中学生ともに「とくに大変さは感じていない」が70.8%、72.8%と最も高く、次いで「気持ちの面で大変」が13.8%、16.6%、「体力の面で大変」が8.8%、9.1%となっています。



(2)等価世帯収入別

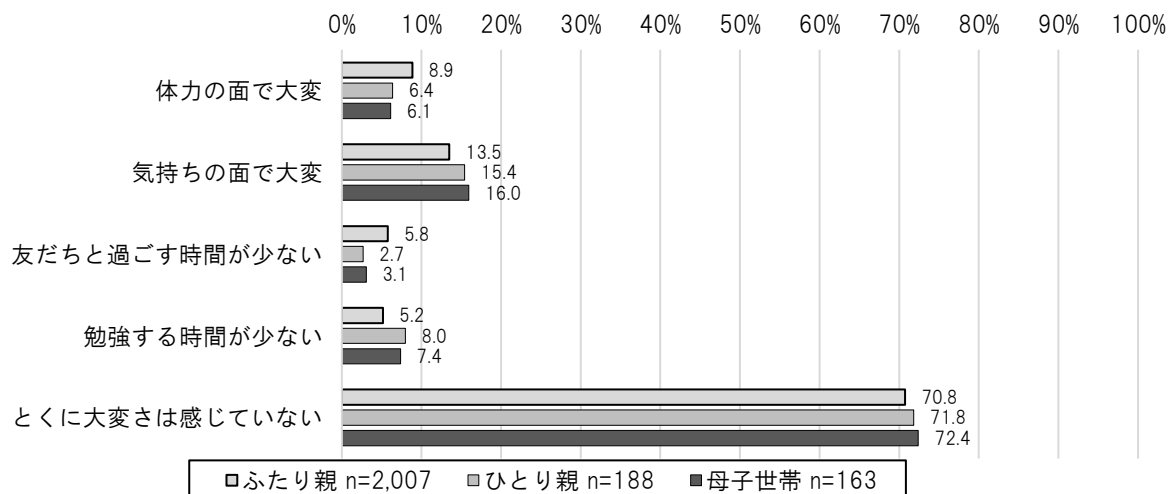
家庭活動の大変なところについて、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「気持ちの面で大変」と回答した割合は小学生が19.9%、中学生が24.1%、「体力の面で大変」は小学生が11.0%、中学生が15.3%と、「中央値以上」「中央値の2分の1以上中央値未満」と比較して高くなっています。



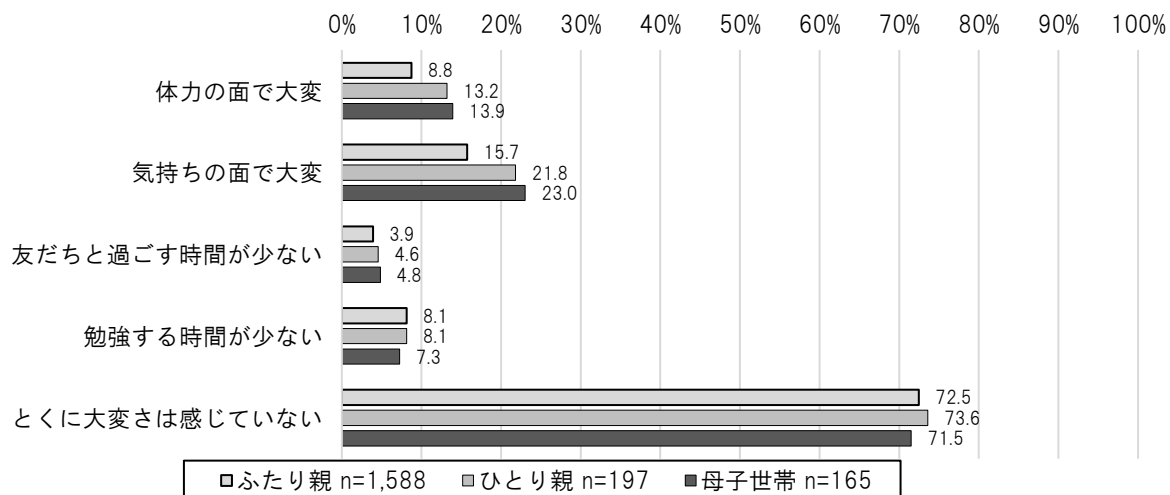
(3)世帯別

家庭活動の大変なところについて、世帯別にみると、ひとり親世帯では、「気持ちの面で大変」と回答した割合は小学生が15.4%、中学生が21.8%と、「ふたり親」と比較してやや高くなっています。「体力の面で大変」は小学生が6.4%で、「ふたり親」と比較してやや低くなっている一方、中学生が13.2%で、「ふたり親」と比較してやや高くなっています。

図表3.14.3.1 世帯別・家庭活動の大変さ(小学生)

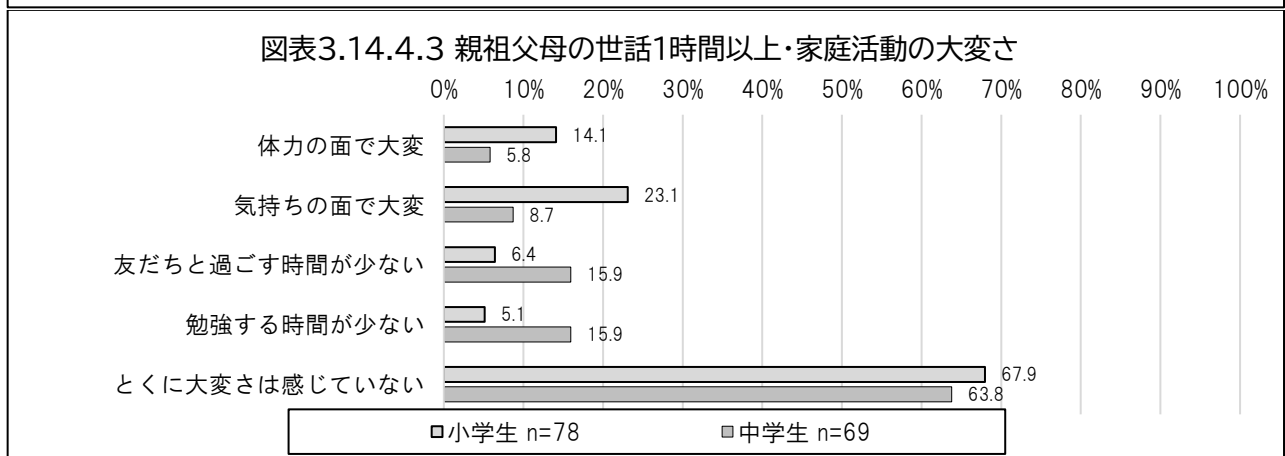
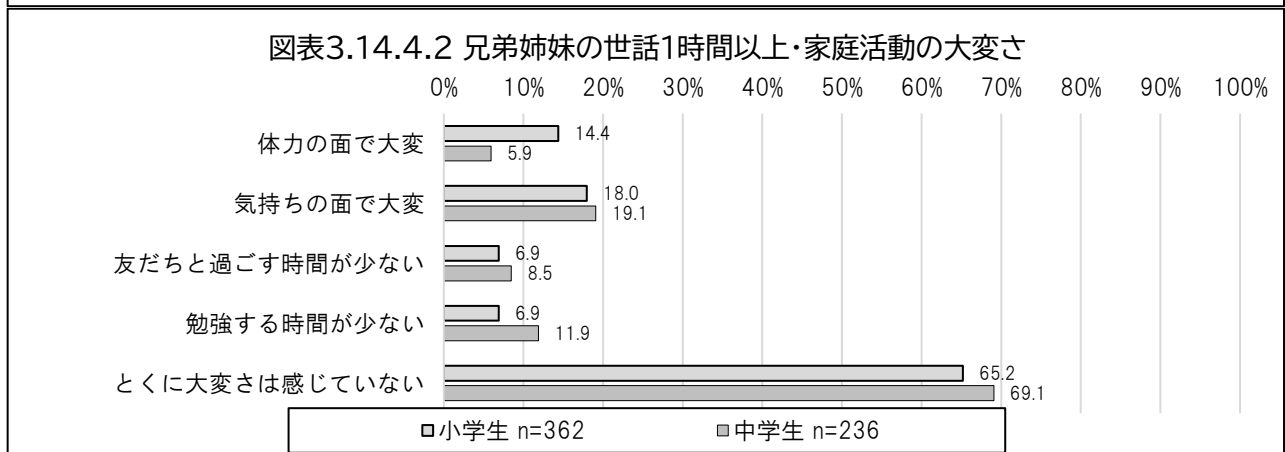
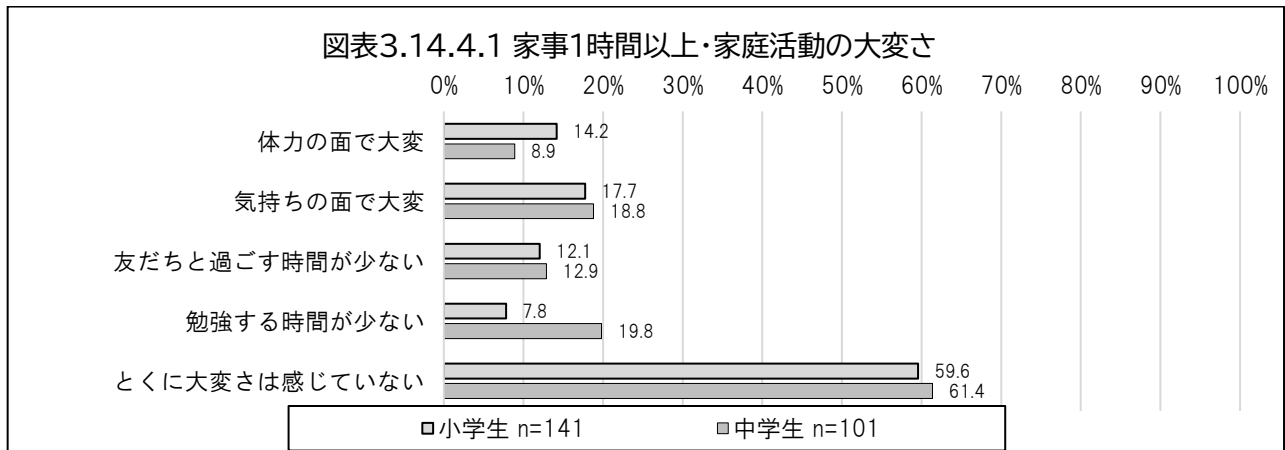


図表3.14.3.2 世帯別・家庭活動の大変さ(中学生)



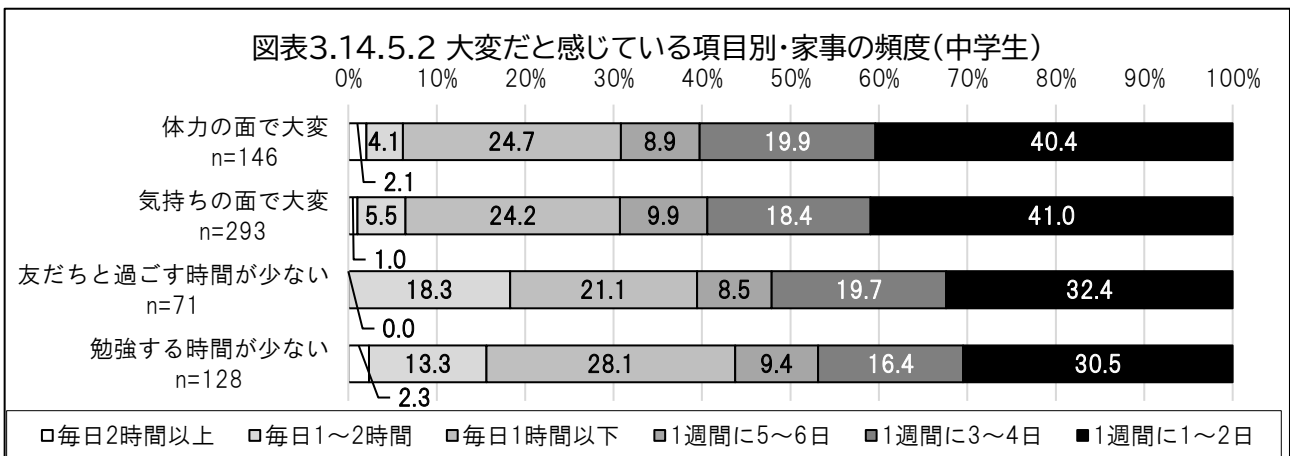
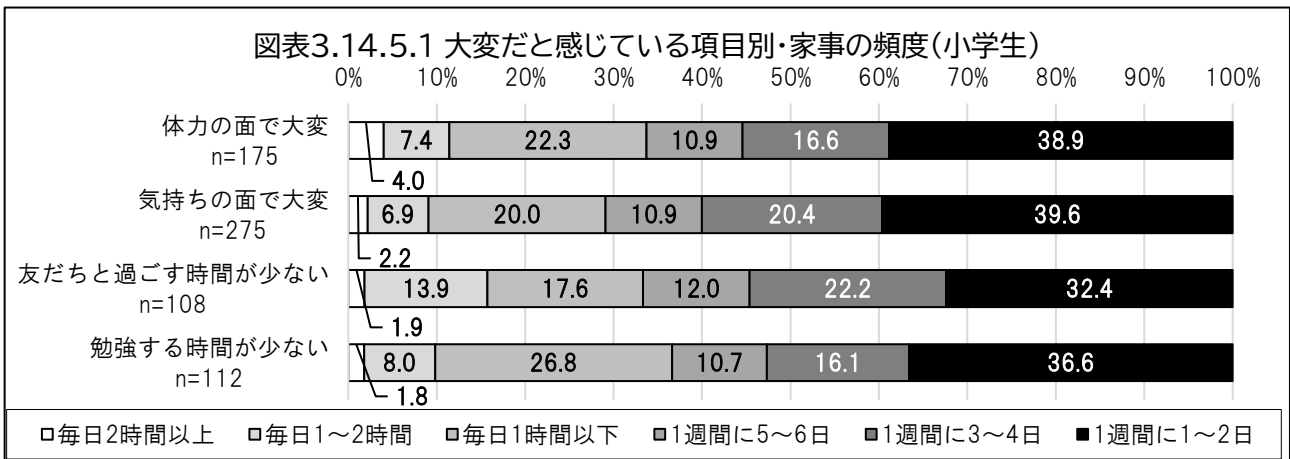
(4) 各項目を毎日1時間以上従事している場合

いずれの項目でも、小学生では、「気持ちの面で大変」(17.7%、18.0%、23.1%)、「体力の面で大変」(14.2%、14.4%、14.1%)と回答した割合が高くなっています。中学生では、「家事」と「兄弟姉妹の世話」の項目で「気持ちの面で大変」(18.8%、19.1%)、「勉強する時間が少ない」(19.8%、11.9%)と回答した割合が高く、「親祖父母の世話」の項目で「友だちと過ごす時間が少ない」(15.9%)、「勉強する時間が少ない」(15.9%)と回答した割合が高くなっています。



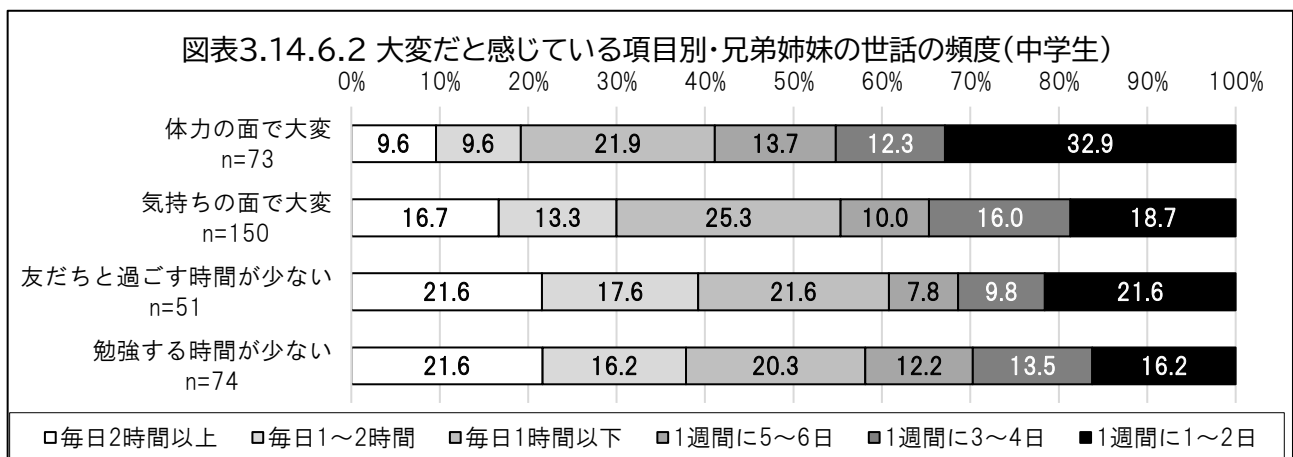
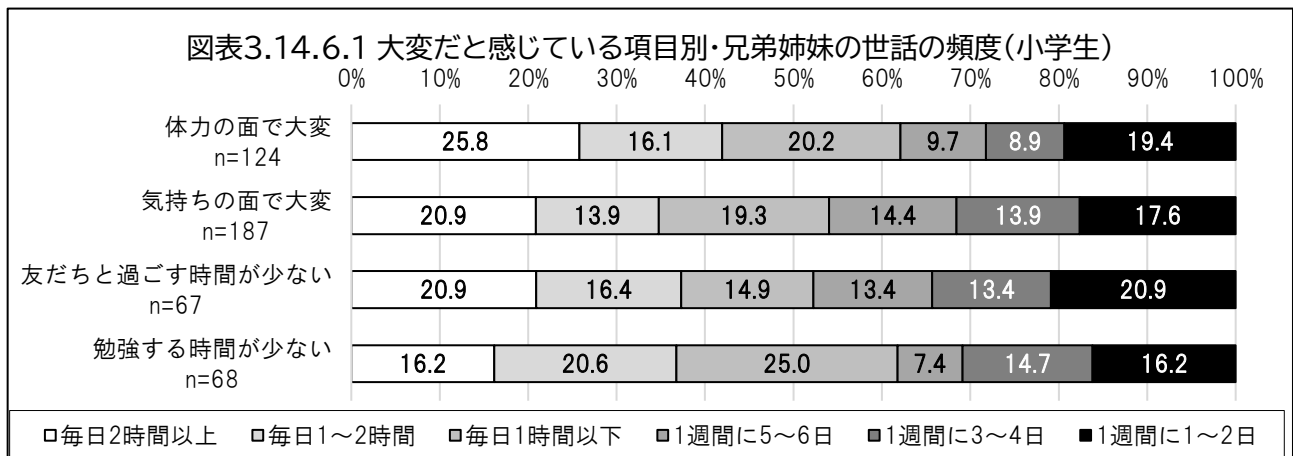
(5)大変だと感じている項目別・家事の頻度

小学生では、いずれの項目でも「1週間に1～2日」が38.9%、39.6%、32.4%、36.6%が最も高く、次いで「体力面で大変」、「勉強する時間が少ない」では、「毎日1時間以下」が22.3%、26.8%、「気持ちの面で大変」、「友だちと過ごす時間」では、「1週間に3～4日」が20.4%、22.2%となっています。中学生では、「1週間に1～2日」が40.4%、41.0%、32.4%、30.5%と最も高く、次いで「毎日1時間以下」が24.7%、24.2%、21.1%、28.1%となっています。



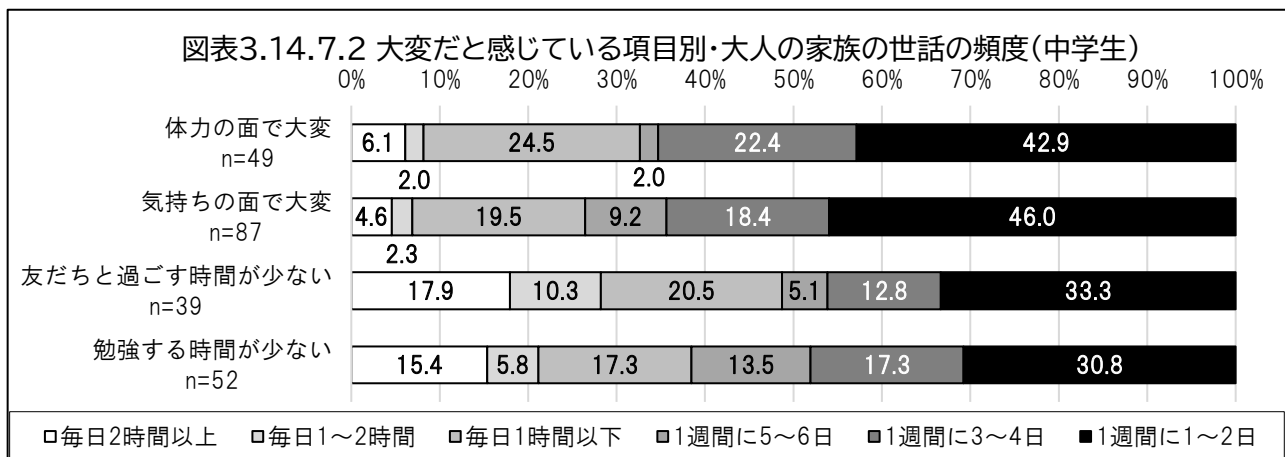
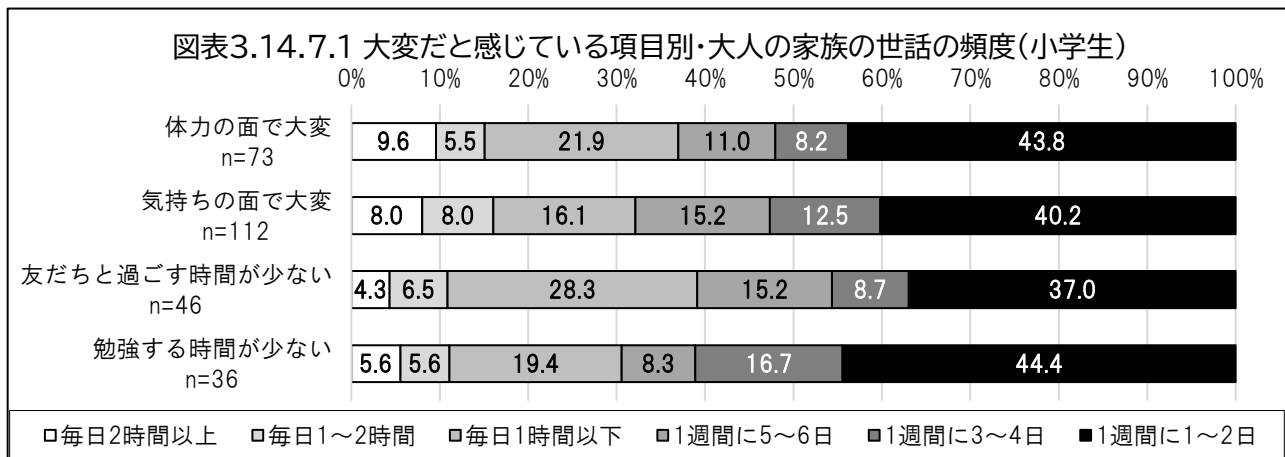
(6)大変だと感じている項目別・兄弟姉妹の世話の頻度

小学生では、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」において「毎日 2 時間以上」が 25.8%、20.9%、「友だちと過ごす時間が少ない」において、「毎日 2 時間以上」、「1 週間に 1～2 日」がともに 20.9%、「勉強する時間が少ない」において「毎日 1 時間以下」が 25.0%と最も高くなっています。中学生では、「体力の面で大変」において「1 週間に 1～2 日」が 32.9%、「気持ちの面で大変」において「毎日 1 時間以下」が 25.3%、「友だちと過ごす時間が少ない」において「毎日 2 時間以上」、「毎日 1 時間以下」、「1 週間に 1～2 日」がいずれも 21.6%、「勉強する時間が少ない」において「毎日 2 時間以上」が 21.6%と最も高くなっています。



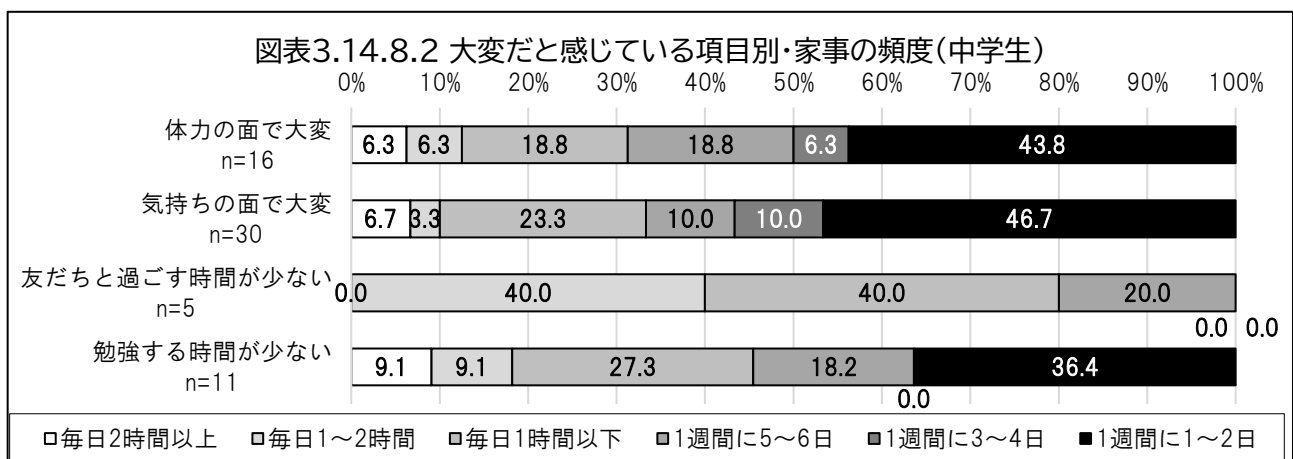
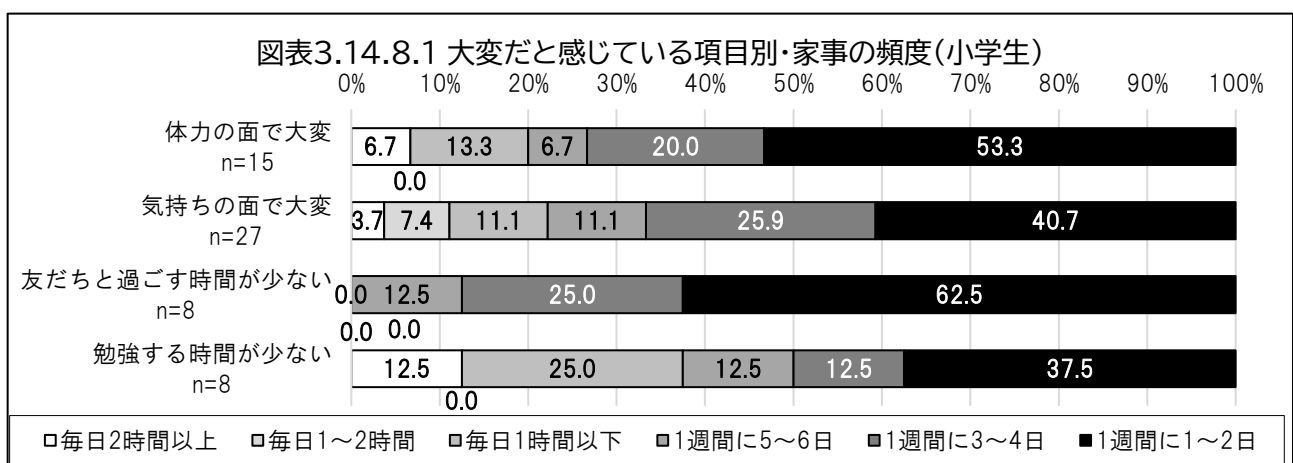
(7)大変だと感じている項目別・大人の家族の世話の頻度

小学生では、いずれの項目でも「1週間に1～2日」が43.8%、40.2%、37.0%、44.4%と最も高く、次いで「毎日1時間以下」が21.9%、16.1%、28.3%、19.4%となっています。中学生では、いずれの項目でも、「1週間に1～2日」が42.9%、46.0%、33.3%、30.8%と最も高く、次いで「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「友だちと過ごす時間が少ない」においては「毎日1時間以下」が24.5%、19.5%、20.5%、「勉強する時間が少ない」においては、「毎日1時間以下」と「1週間に3～4日」がともに17.3%となっています。



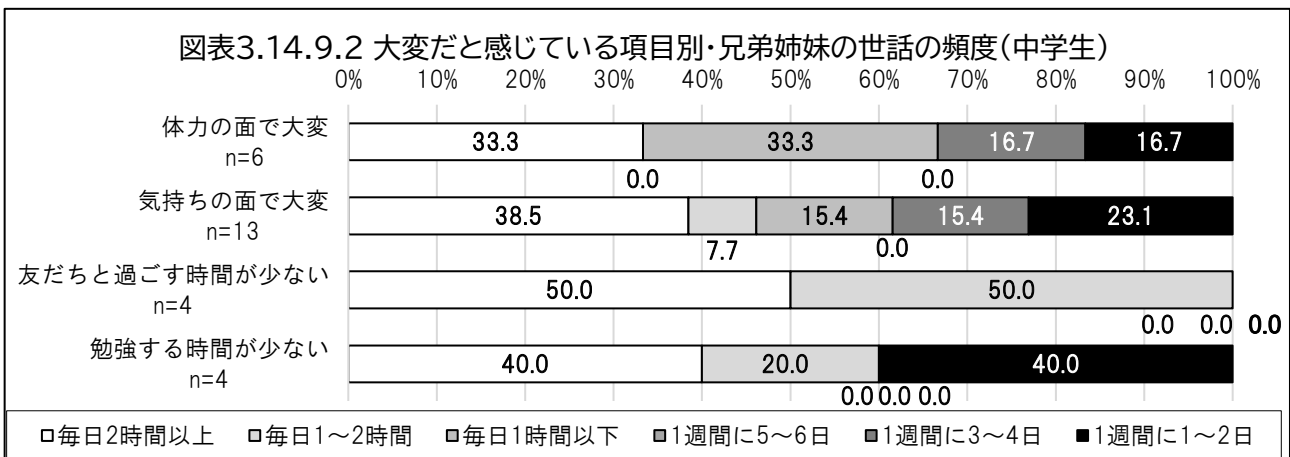
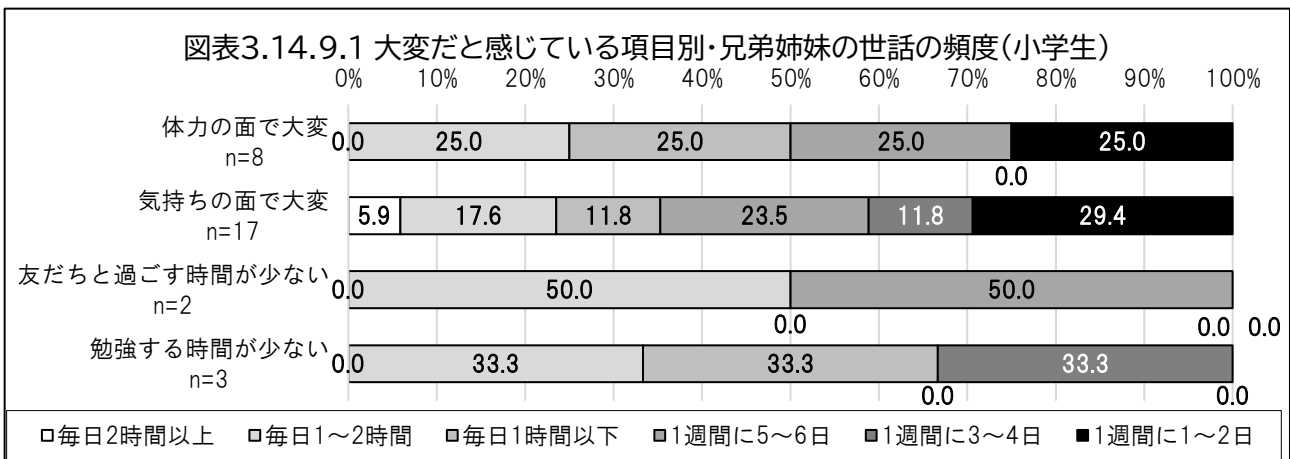
(8)大変だと感じている項目別・家事の頻度（等価世帯収入が中央値の2分の1未満の場合）

小学生では、いずれの項目でも、「1週間に1～2日」が53.3%、40.7%、62.5%、37.5%と最も高く、次いで、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「友だちと過ごす時間が少ない」においては「1週間に3～4日」が20.0%、25.9%、25.0%、「勉強する時間が少ない」においては、「毎日1時間以下」が25.0%となっています。中学生では、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「勉強する時間が少ない」において「1週間に1～2日」が43.8%、46.7%、36.4%と最も高く、次いで「体力の面で大変」においては、「毎日1時間以下」、「1週間に5～6日」がともに18.8%、「気持ちの面で大変」においては「毎日1時間以下」が23.3%、「勉強する時間が少ない」においては、「毎日1時間以下」が27.3%となっています。また、「友だちと過ごす時間が少ない」においては、「毎日1～2時間」と「毎日1時間以下」がともに40.0%と最も高くなっています。



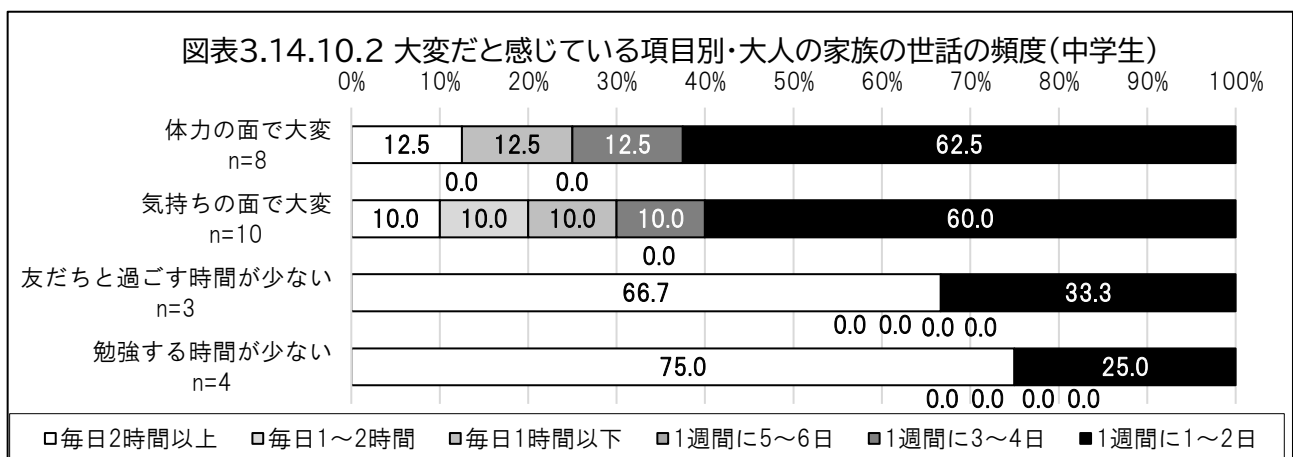
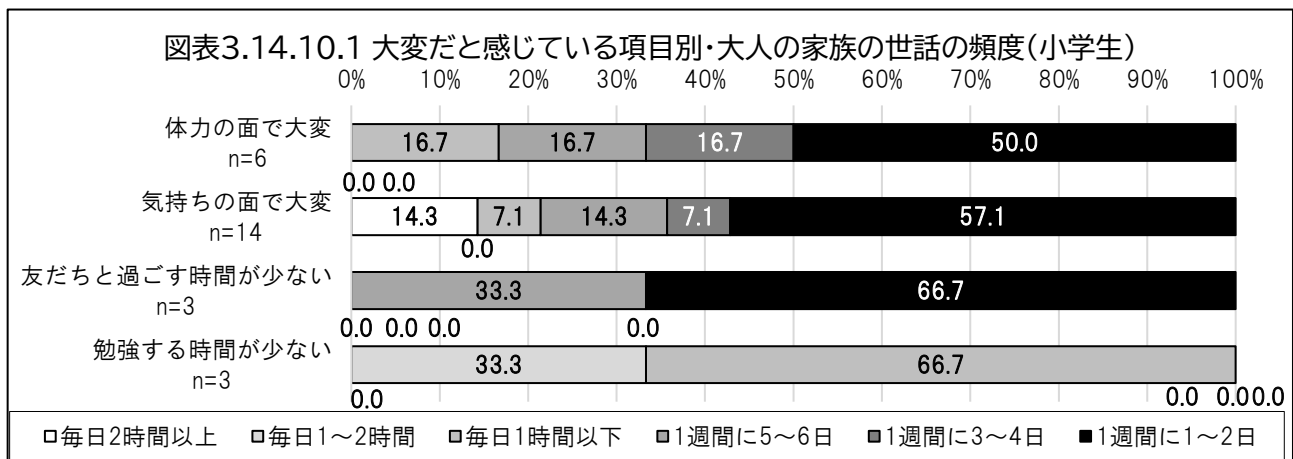
(9)大変だと感じている項目別・兄弟姉妹の世話の頻度（等価世帯収入が中央値の2分の1未満の場合）

小学生では、「体力の面で大変」において、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」、「1週間に5～6日」、「1週間に1～2日」がいずれも25.0%、「気持ちの面で大変」においては「1週間に1～2日」が29.4%、「友だちと過ごす時間が少ない」においては「毎日1～2時間」、「1週間に5～6日」がともに50.0%、「勉強する時間が少ない」においては「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」、「1週間に3～4日」がいずれも33.3%となっています。中学生では、「体力の面で大変」においては「毎日2時間以上」と「毎日1時間以下」がともに33.3%と最も高く、「気持ちの面で大変」においては、「毎日2時間以上」が38.5%と最も高く、次いで「1週間に1～2日」が23.1%となっています。また、「友だちと過ごす時間が少ない」においては「毎日2時間以上」と「毎日1～2時間」がともに50.0%、「勉強する時間が少ない」においては「毎日2時間以上」と「1週間に1～2日」がともに40.0%と最も高くなっています。



(10)大変だと感じている項目別・大人の家族の世話の頻度（等価世帯収入が中央値の2分の1未満の場合）

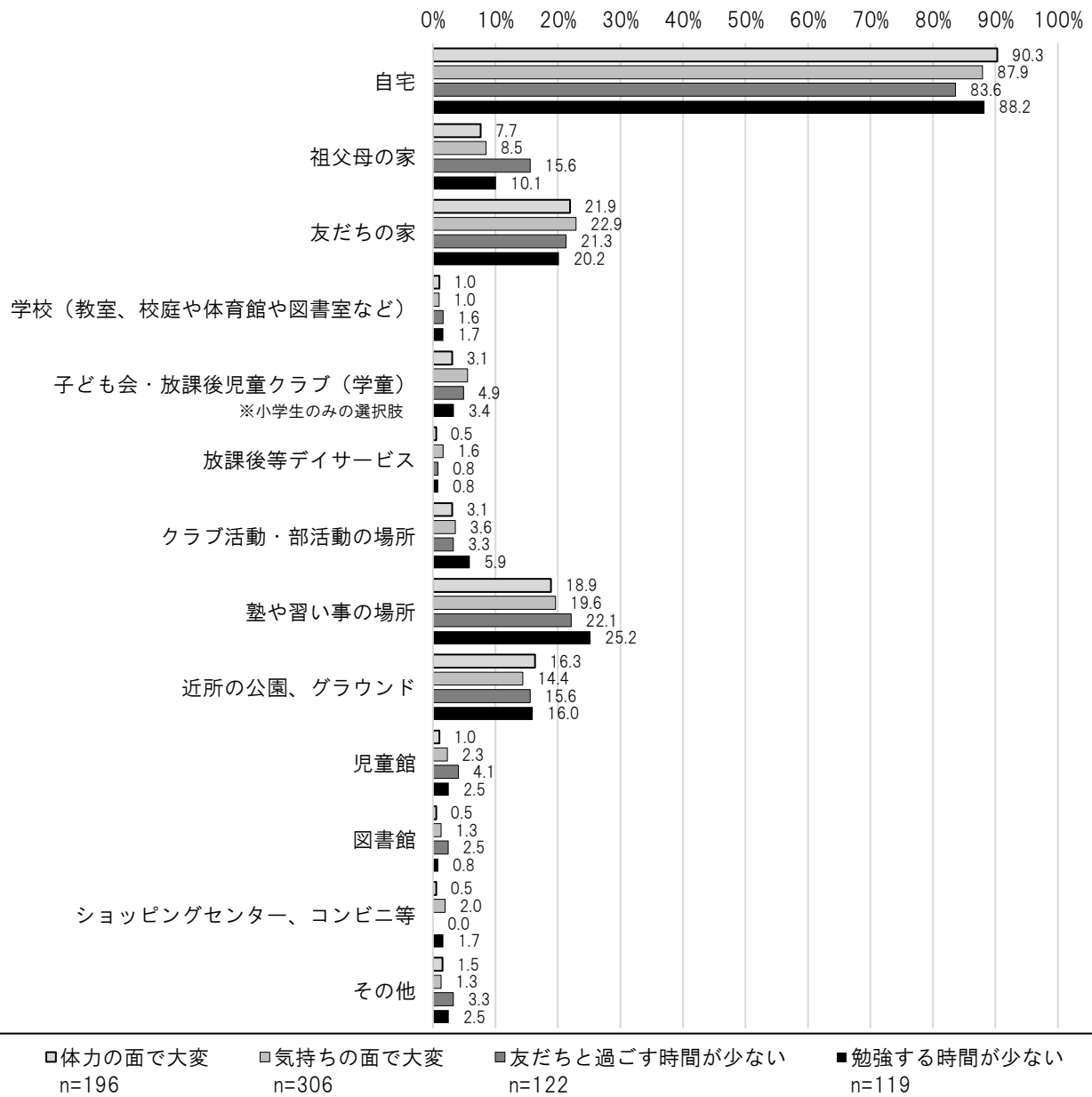
小学生では、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「友だちと過ごす時間が少ない」において、「1週間に1～2日」が50.0%、57.1%、66.7%、「勉強する時間が少ない」においては「毎日1時間以下」が66.7%と最も高くなっています。中学生では、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」において「1週間に1～2日」が62.5%、60.0%、「友だちと過ごす時間が少ない」、「勉強する時間が少ない」において「毎日2時間以上」が66.7%、75.0%と最も高くなっています。



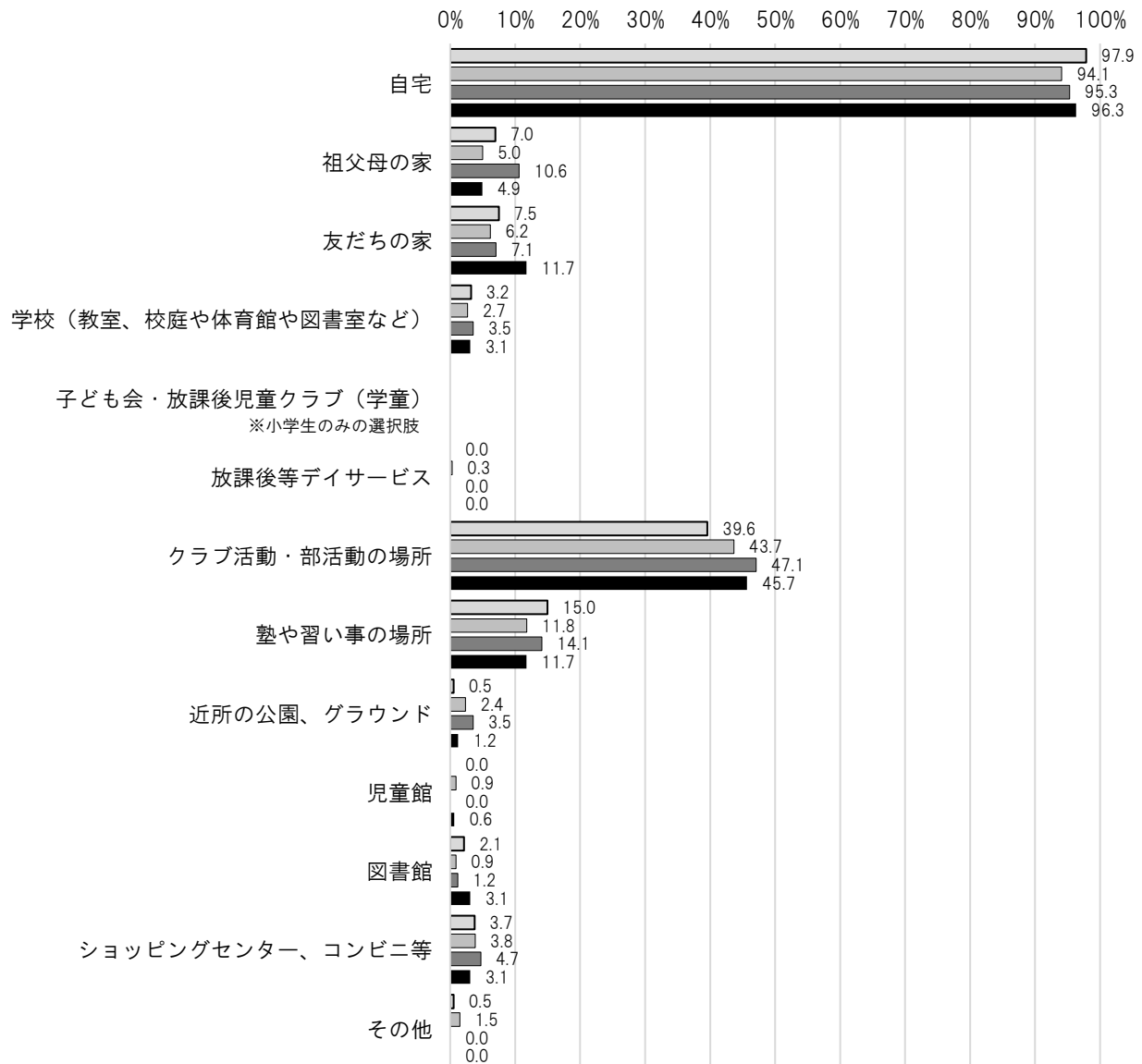
(11)大変だと感じている項目別・放課後過ごす場所（等価世帯収入が中央値の2分の1未満の場合）

いずれの項目でも、小学生では、「自宅」が90.3%、87.9%、83.6%、88.2%と最も高くなっています。中学生でも、「自宅」が97.9%、94.1%、95.3%、96.3%、と最も高くなっています。

図表3.14.11.1 大変だと感じている項目別・放課後をどこで過ごすか(小学生)



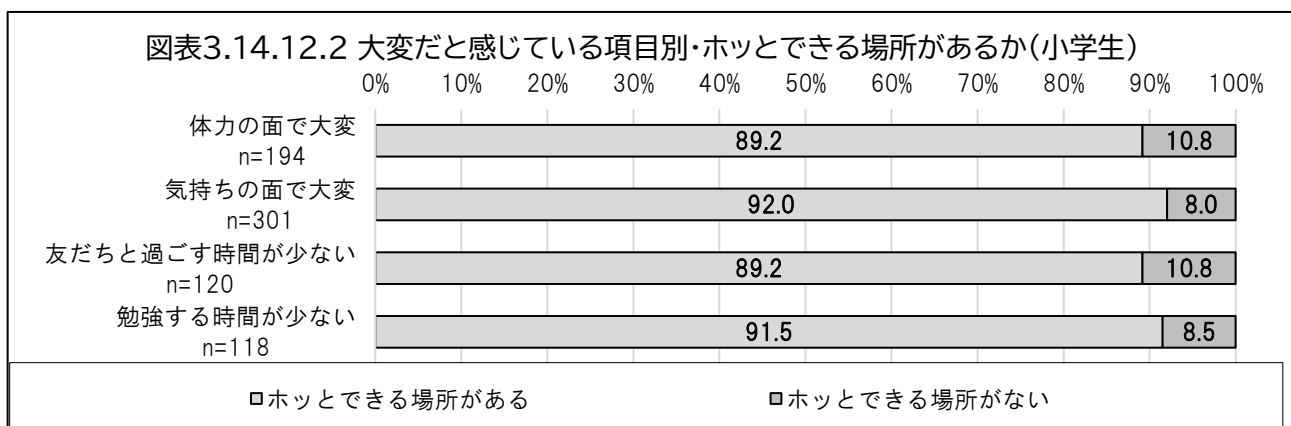
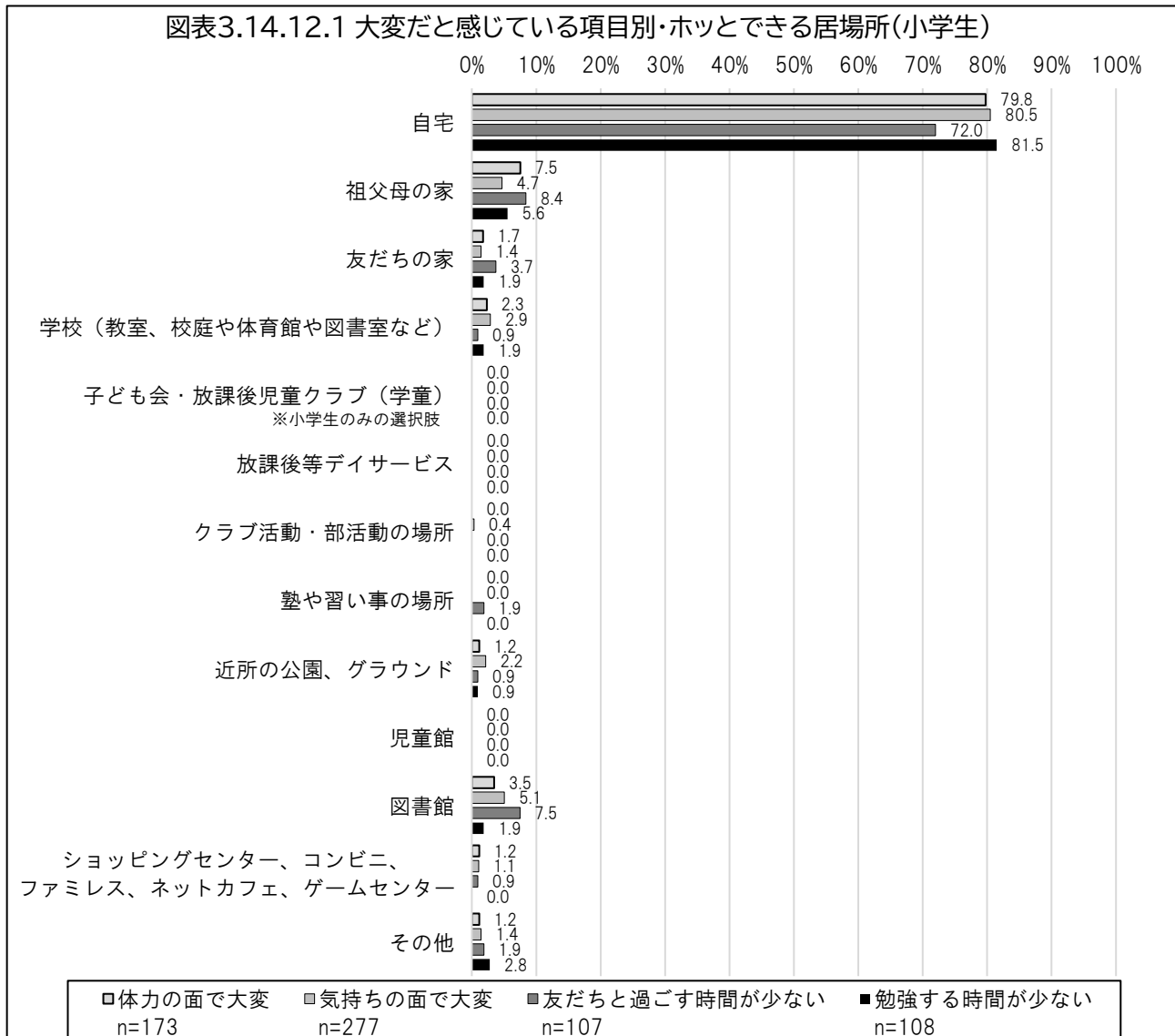
図表3.14.11.2 大変だと感じている項目別・放課後をどこで過ごすか(中学生)



□体力の面で大変 n=187 □気持ちの面で大変 n=339 ■友達と過ごす時間が少ない n=85 ■勉強する時間が少ない n=162

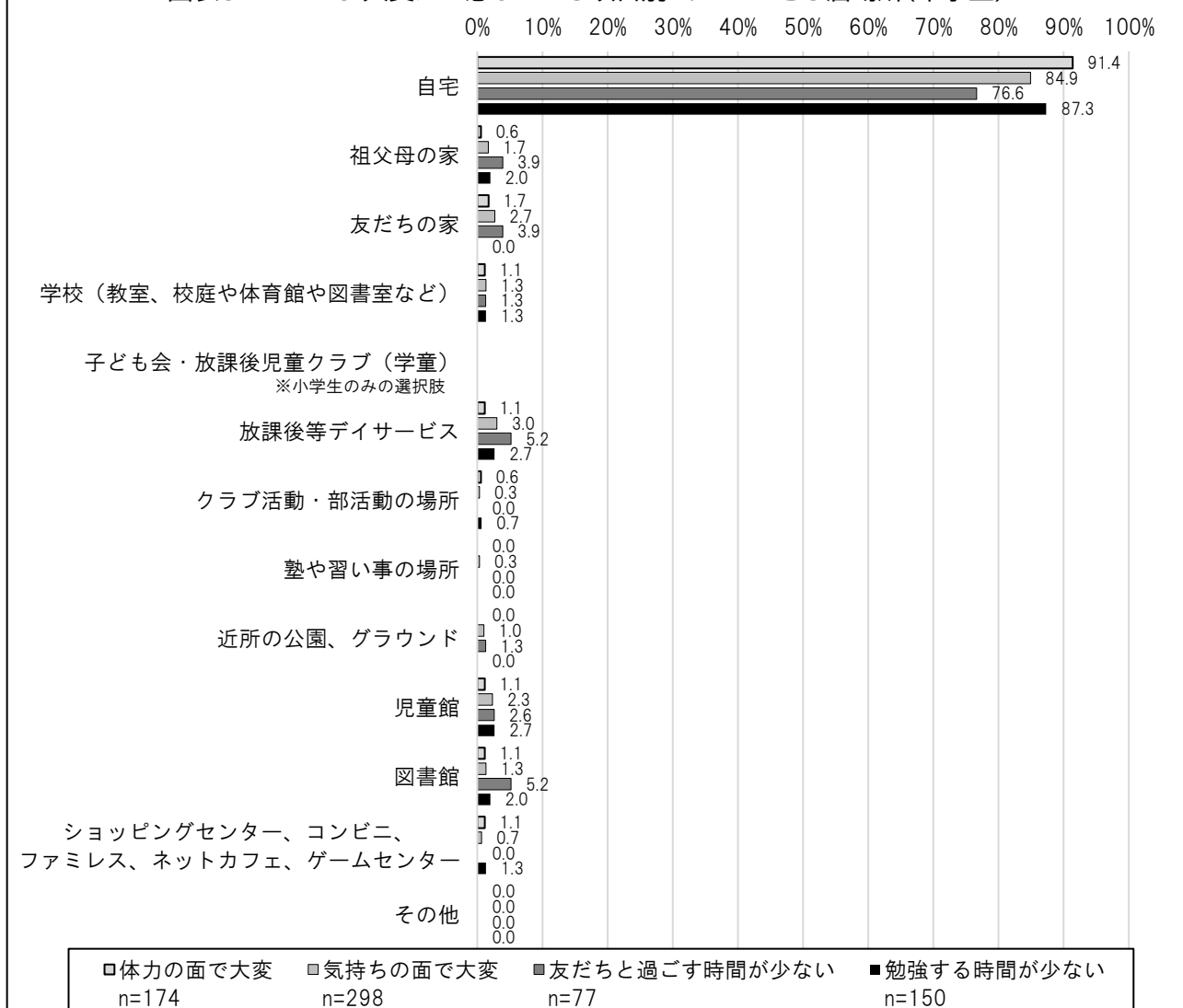
(12)大変だと感じている項目別・ホッとできる場所（等価世帯収入が中央値の2分の1未満の場合）

小学生では、いずれの項目でも、「自宅」が79.8%、80.5%、72.0%、81.5%、と最も高くなっています。また、「ホッとできる場所がある」と回答した割合は、各項目で89.2%、92.0%、89.2%、91.5%と、全体（93.8%）と比較して低くなっています。

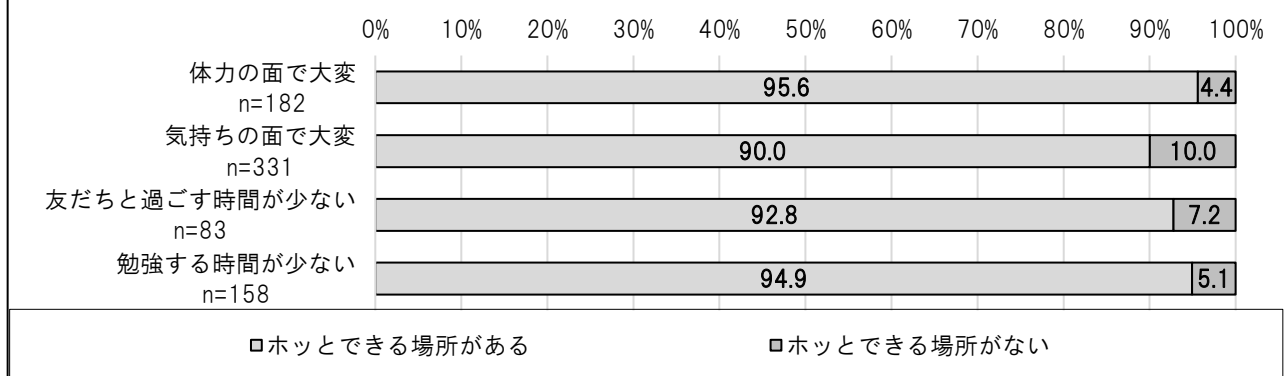


中学生では、いずれの項目でも、「自宅」が91.4%、84.9%、76.6%、87.3%と最も高くなっています。また、「ホッとできる場所がある」と回答した割合は、「気持ちの面で大変」、「友だちと過ごす時間が少ない」においてそれぞれ90.0%、92.8%となっており、全体（93.1%）と比較して低くなっています。

図表3.14.12.3 大変だと感じている項目別・ホッとできる居場所(中学生)



図表3.14.12.4 大変だと感じている項目別・ホッとできる場所があるか(中学生)

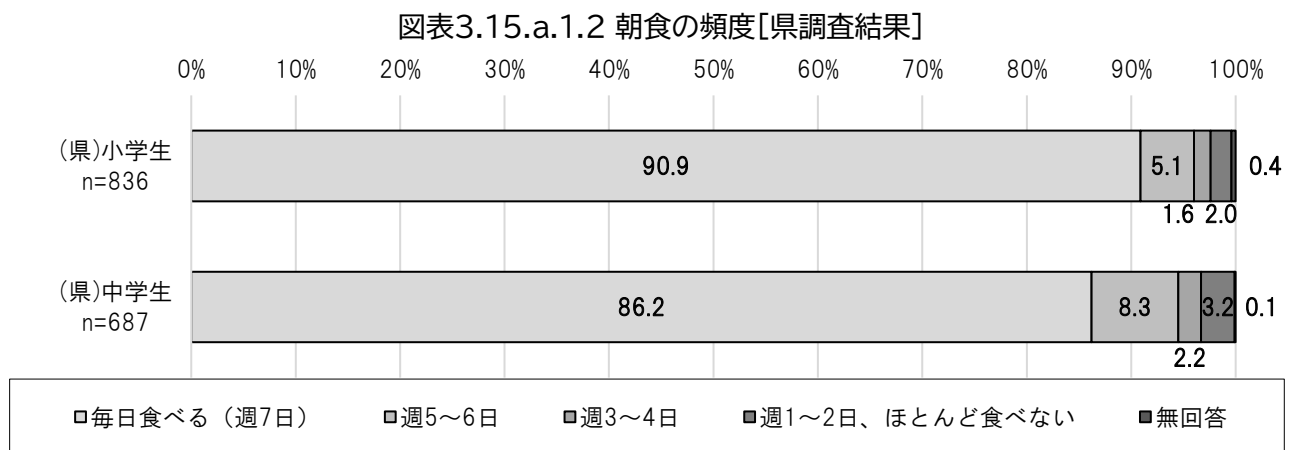
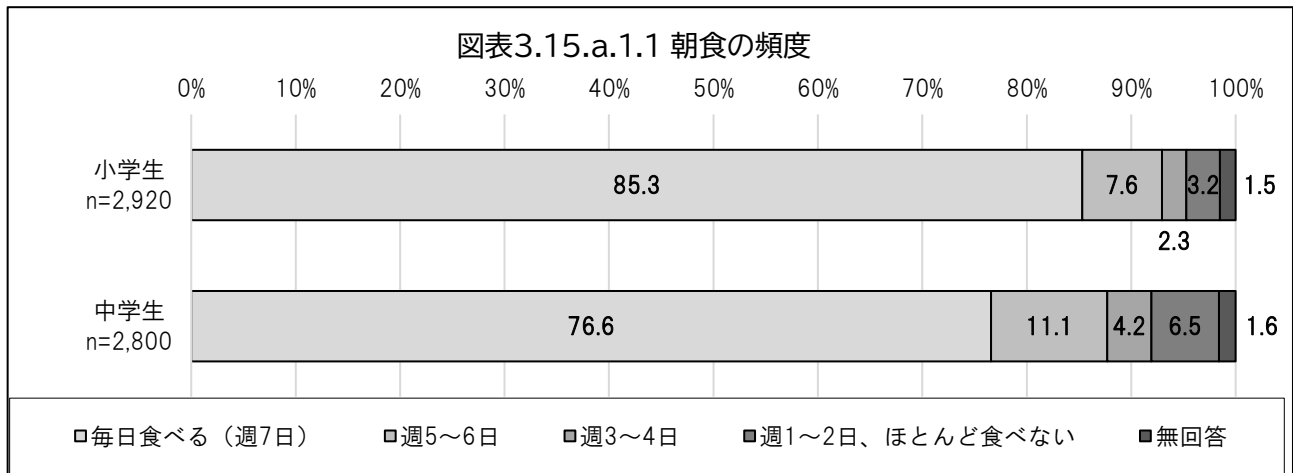


問15. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

a) 朝食

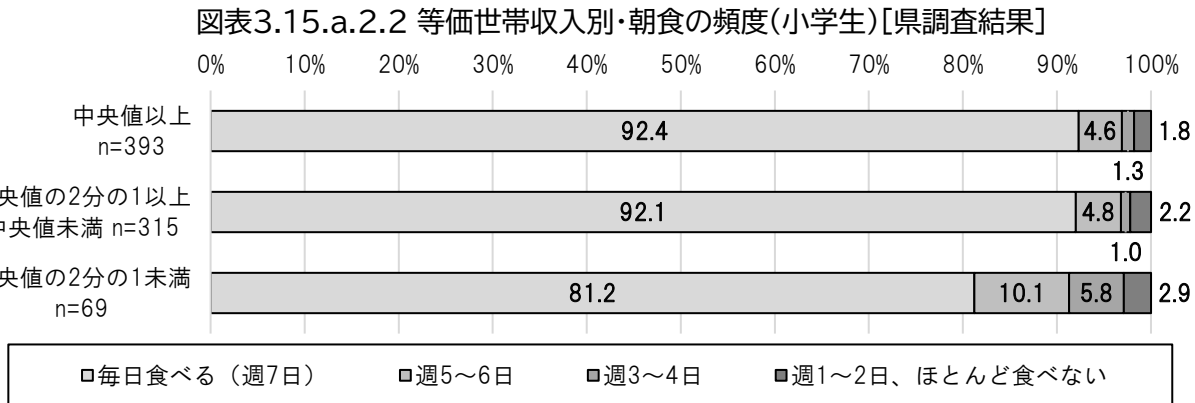
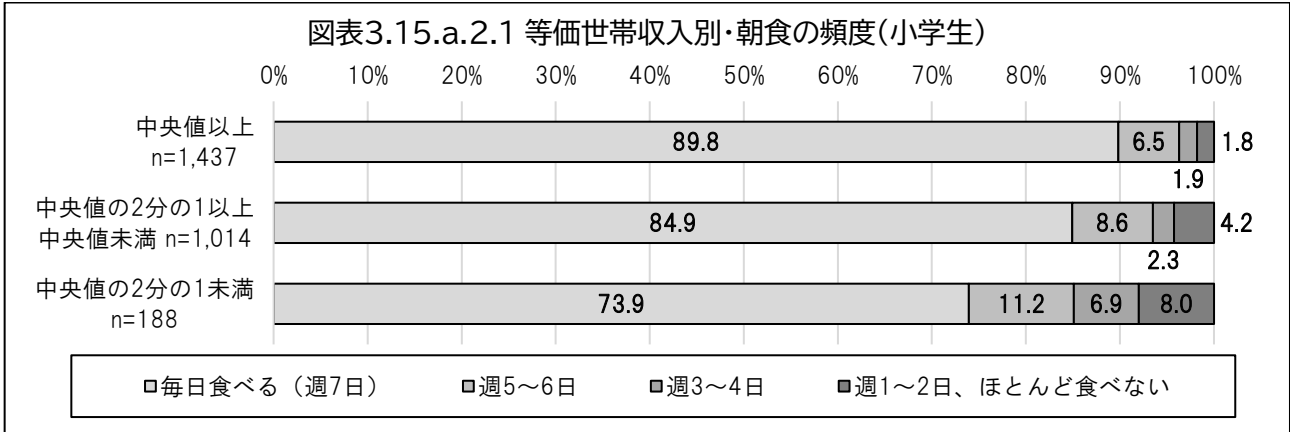
(1)全体

朝食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、小学生（85.3%）、中学生（76.6%）ともに、県調査（90.9%、86.2%）と比較して低くなっています。



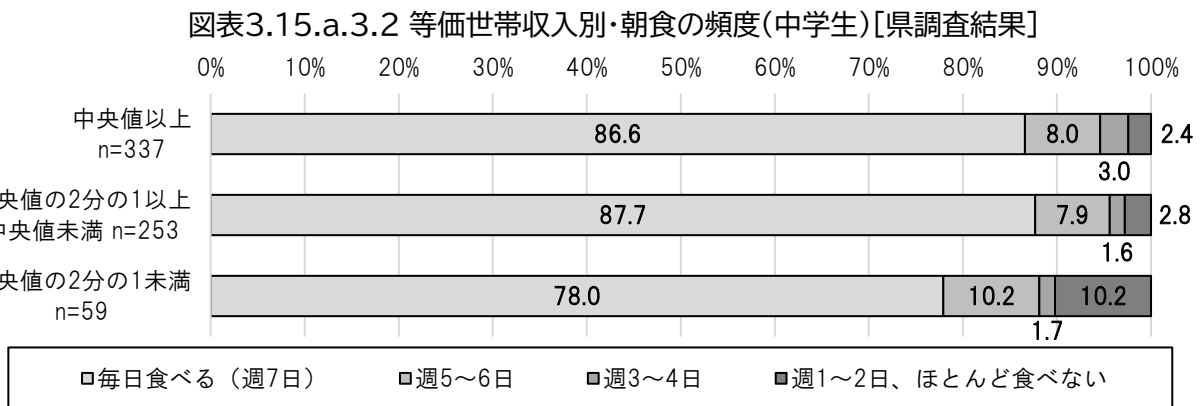
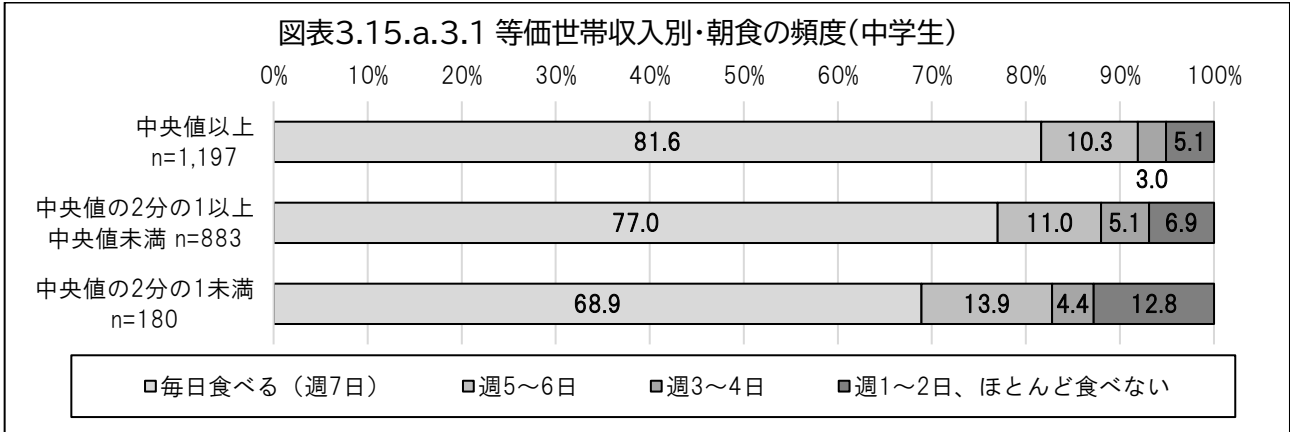
(2)等価世帯収入別・小学生（問 15.a 朝食の頻度）

朝食の頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生では、朝食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では85.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では73.9%と低くなっています。また、県調査（81.2%）と比較して低くなっています。



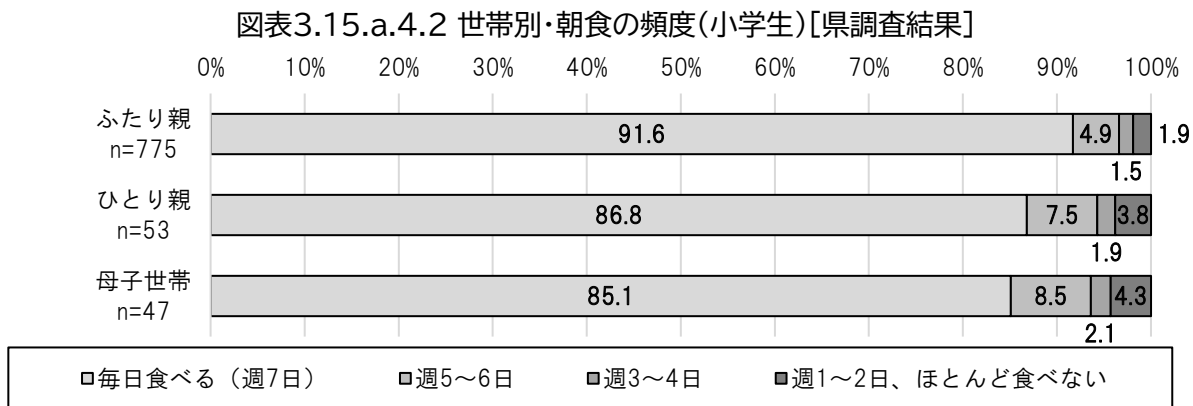
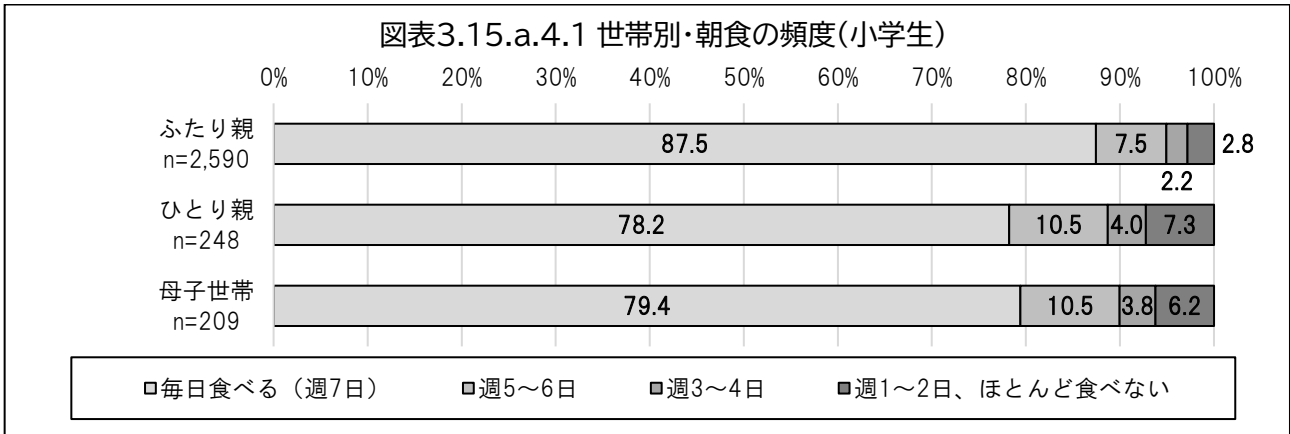
(3)等価世帯収入別・中学生（問 15.a 朝食の頻度）

朝食の頻度について、等価世帯収入別にみると、中学生では、朝食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では76.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では68.9%と低くなっています。また、県調査（78.0%）と比較して低くなっています。



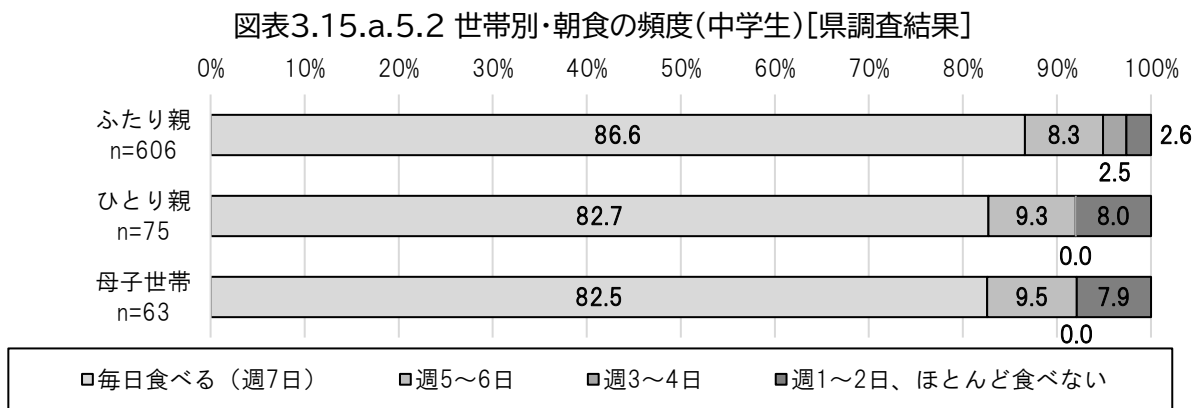
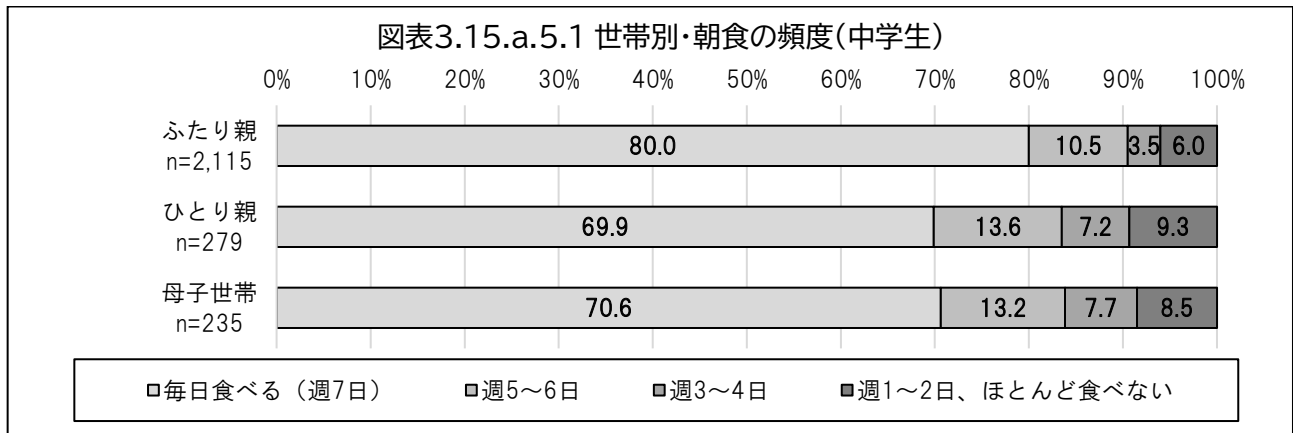
(4)世帯別・小学生（問 15. a 朝食の頻度）

朝食の頻度について、世帯別にみると、小学生では、朝食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では85.3%であったのに対し、ひとり親世帯では78.2%と低くなっています。また、県調査（86.8%）と比較して低くなっています。



(5)等価世帯収入別・中学生（問 15.a 朝食の頻度）

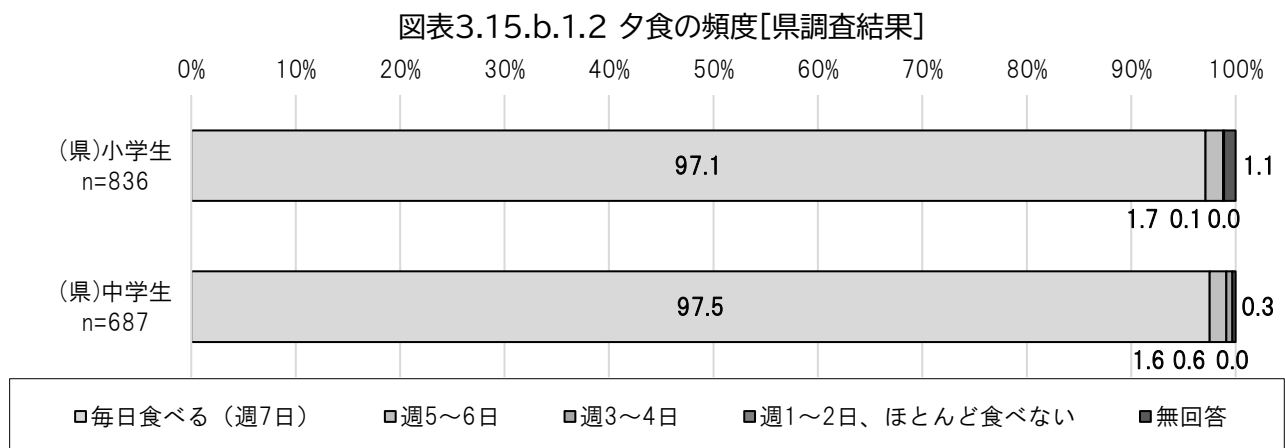
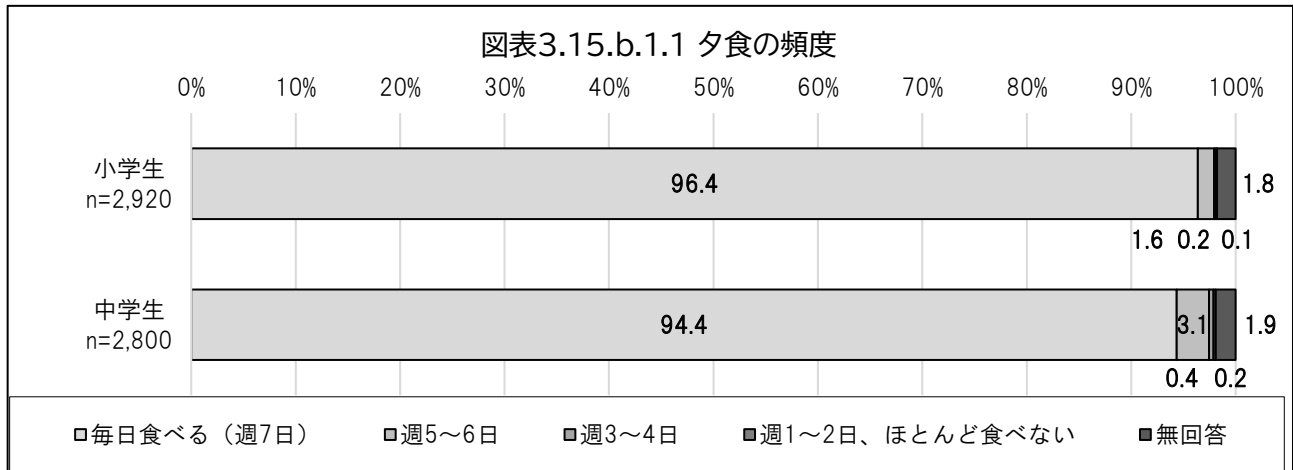
朝食の頻度について、世帯別にみると、中学生では、全体では76.6%であったのに対し、ひとり親世帯では69.9%と低くなっています。また、県調査（82.7%）と比較して低くなっています。



b) 夕食

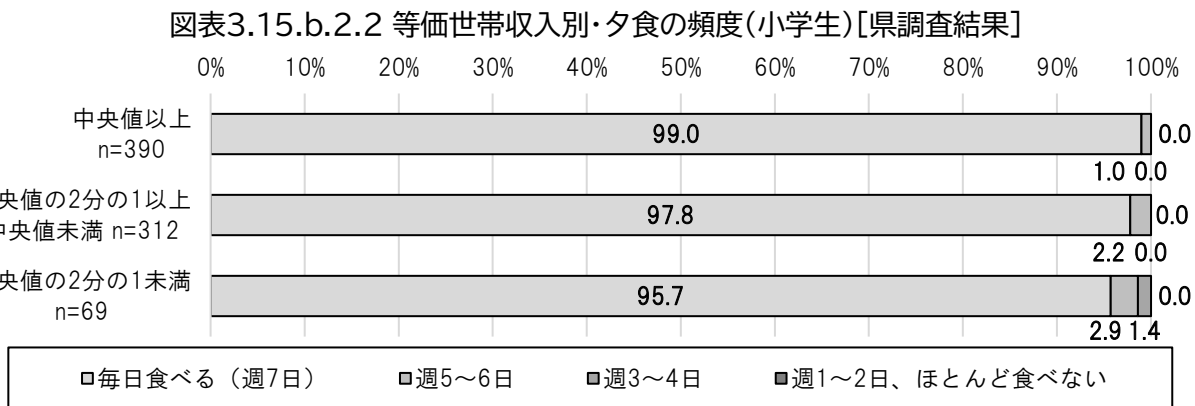
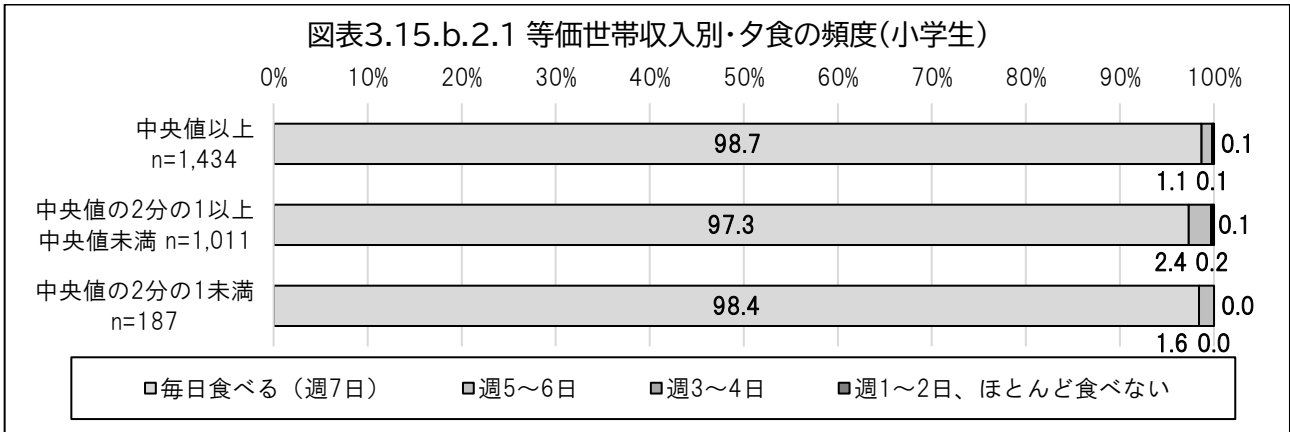
(1)全体

夕食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、小学生（96.4%）、中学生（94.4%）ともに、県調査（97.1%、97.5%）と比較して低くなっています。



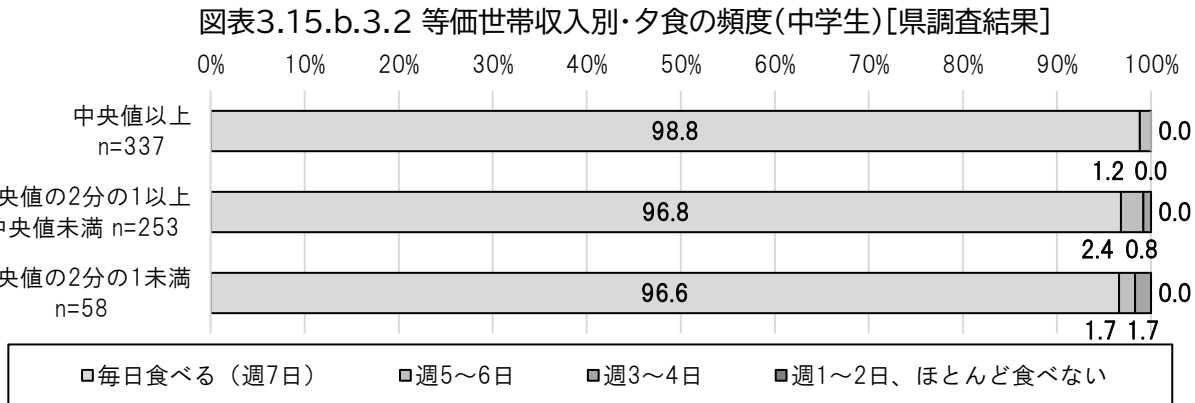
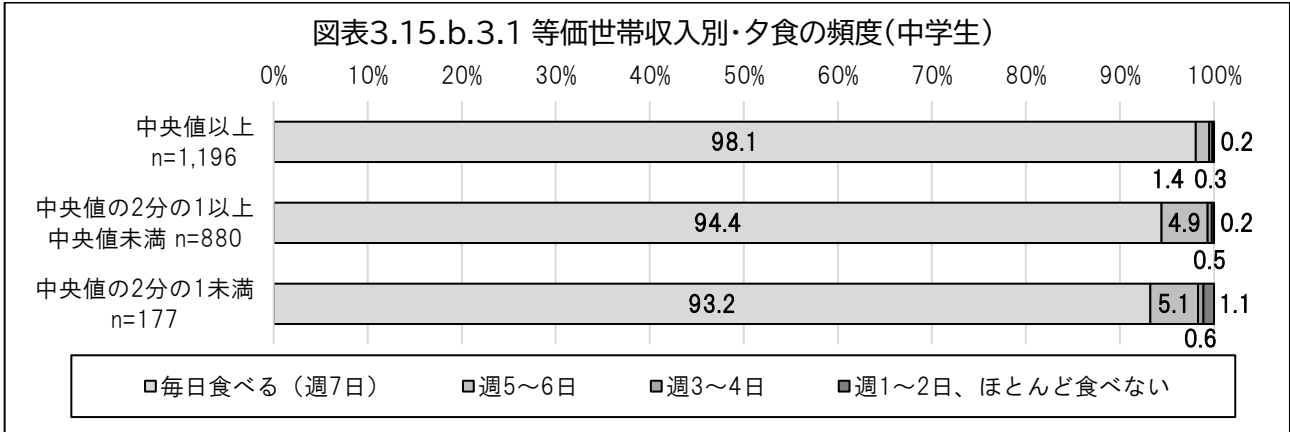
(2)等価世帯収入別・小学生（問 15.b 夕食の頻度）

夕食の頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生では、夕食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では96.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では98.4%と高くなっています。また、県調査（95.7%）と比較して高くなっています。



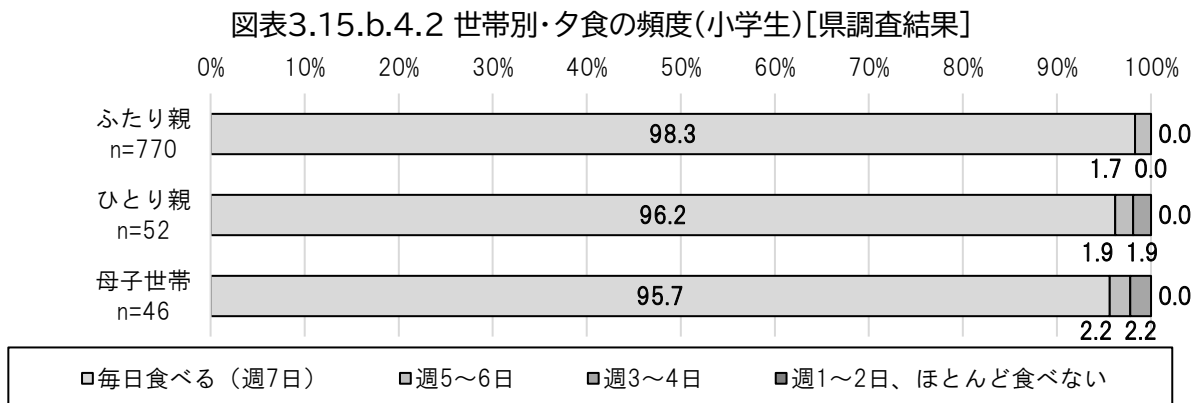
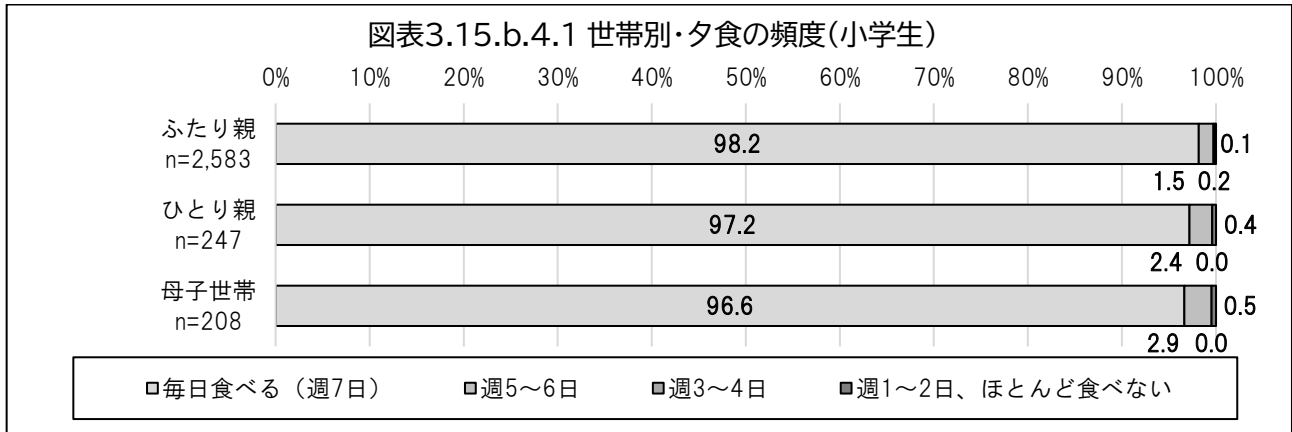
(3)等価世帯収入別・中学生（問 15. b 夕食の頻度）

夕食の頻度について、等価世帯収入別にみると、中学生では、夕食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では94.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では93.2%と低くなっています。また、県調査（96.6%）と比較して低くなっています。



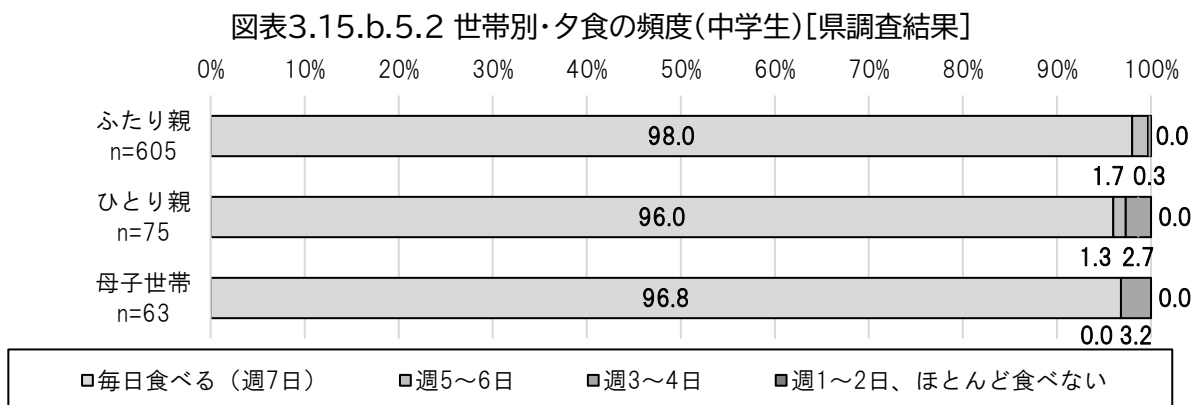
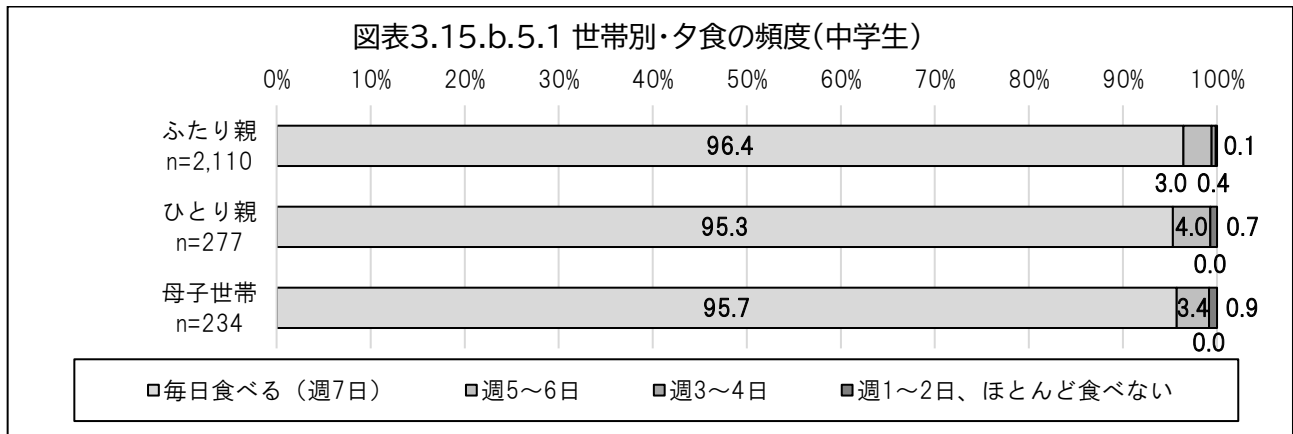
(4)世帯別・小学生（問 15.b 夕食の頻度）

夕食の頻度について、世帯別にみると、小学生では、夕食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では96.4%であったのに対し、ひとり親世帯では97.2%と高くなっています。また、県調査（96.2%）と比較して高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 15.b 夕食の頻度）

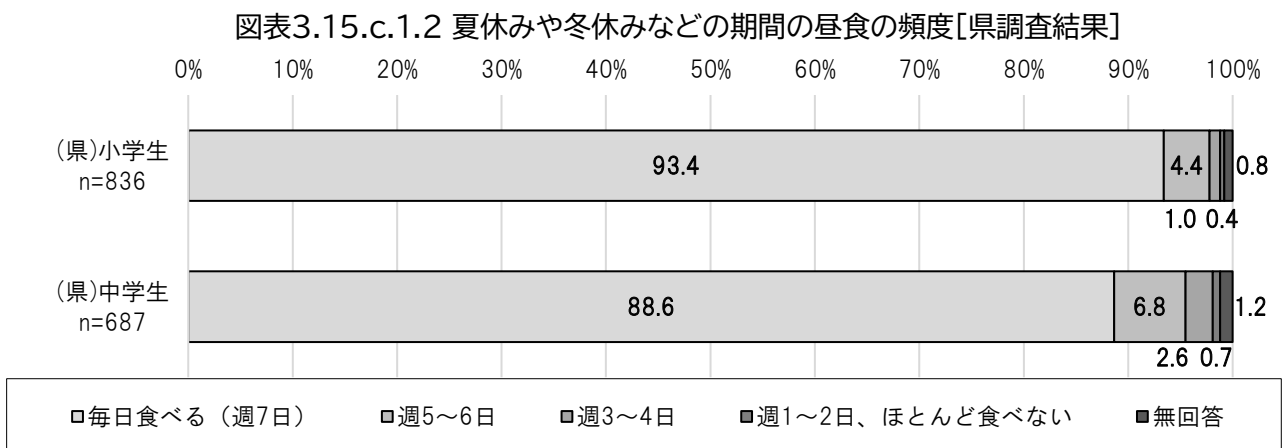
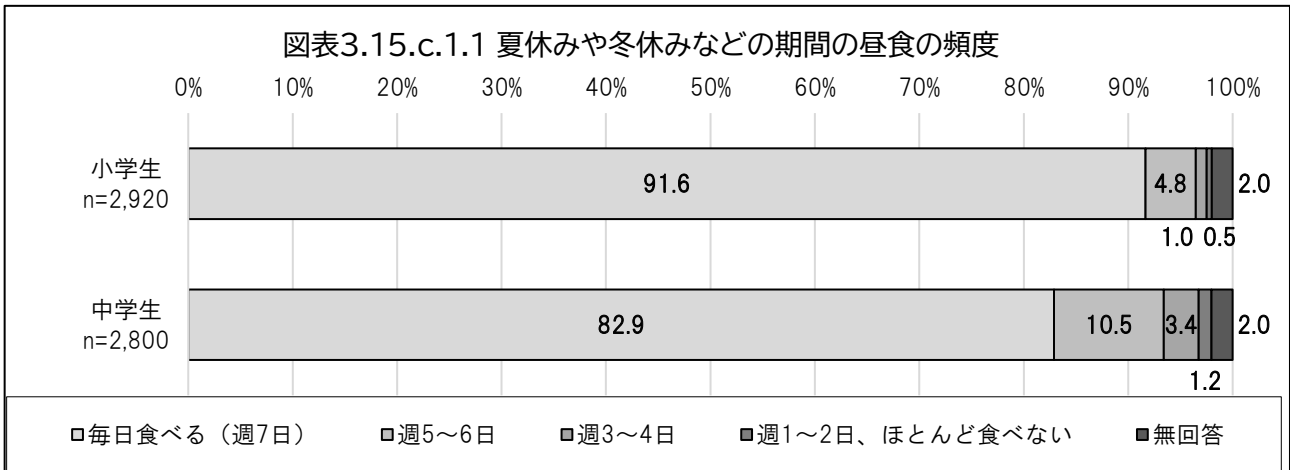
夕食の頻度について、世帯別にみると、中学生では、夕食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では94.4%であったのに対し、ひとり親世帯では95.3%と高くなっています。また、県調査（96.0%）と比較して低くなっています。



c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

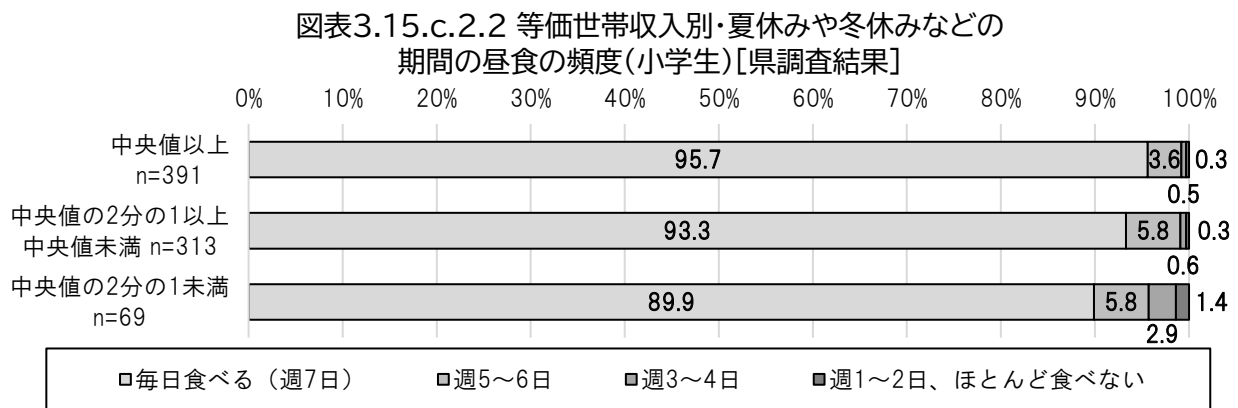
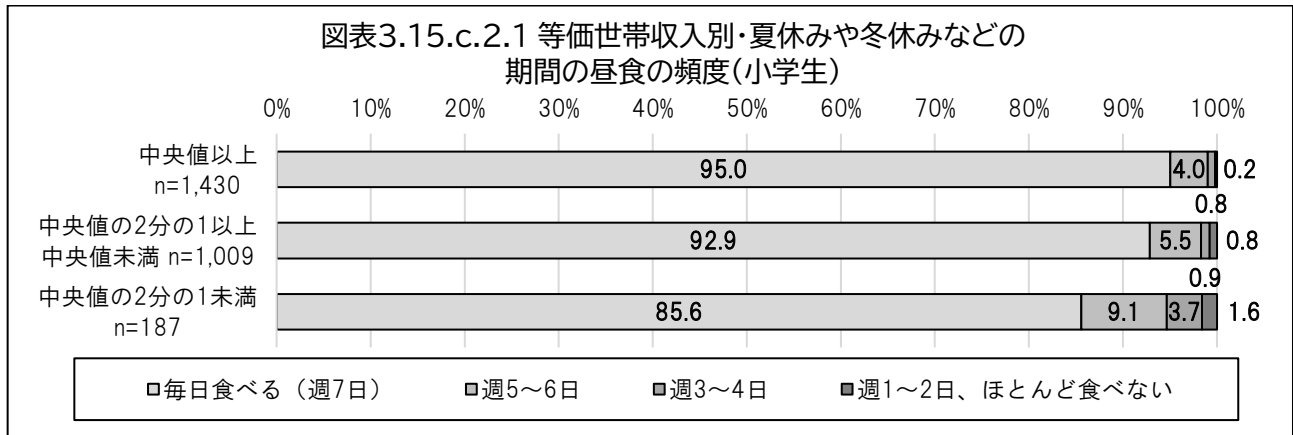
(1)全体

夏休みや冬休みなどの期間の昼食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、小学生（91.6%）、中学生（82.9%）ともに、県調査（93.4%、88.6%）と比較して低くなっています。



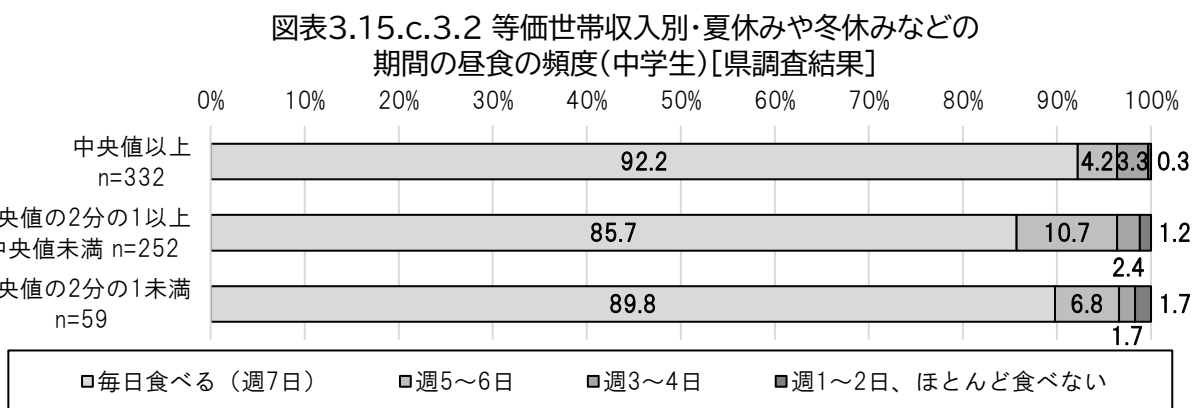
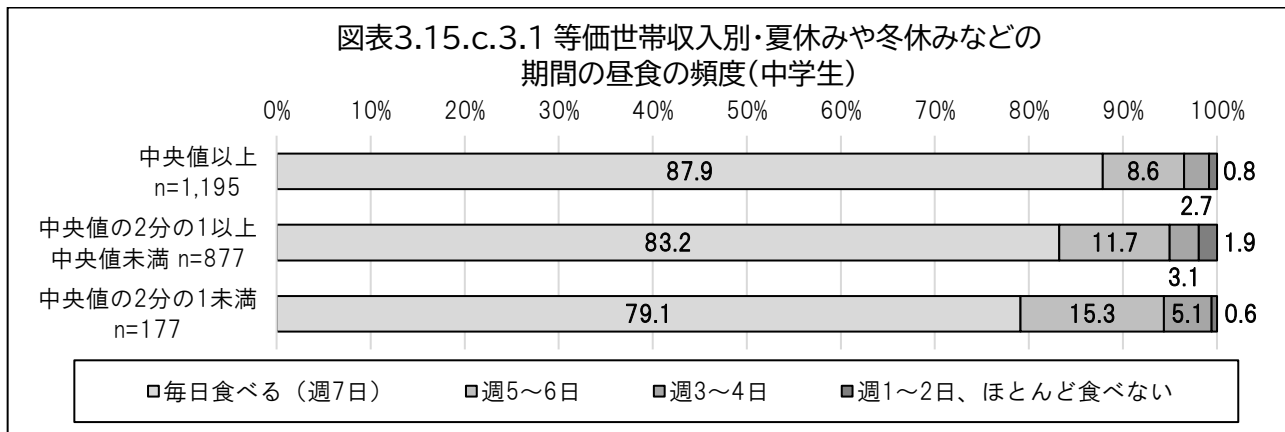
(2)等価世帯収入別・小学生（問 15.c 長期休暇期間の昼食の頻度）

夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生では、夏休みや冬休みなどの期間の昼食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では91.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では85.6%と低くなっています。また、県調査（89.9%）と比較して低くなっています。



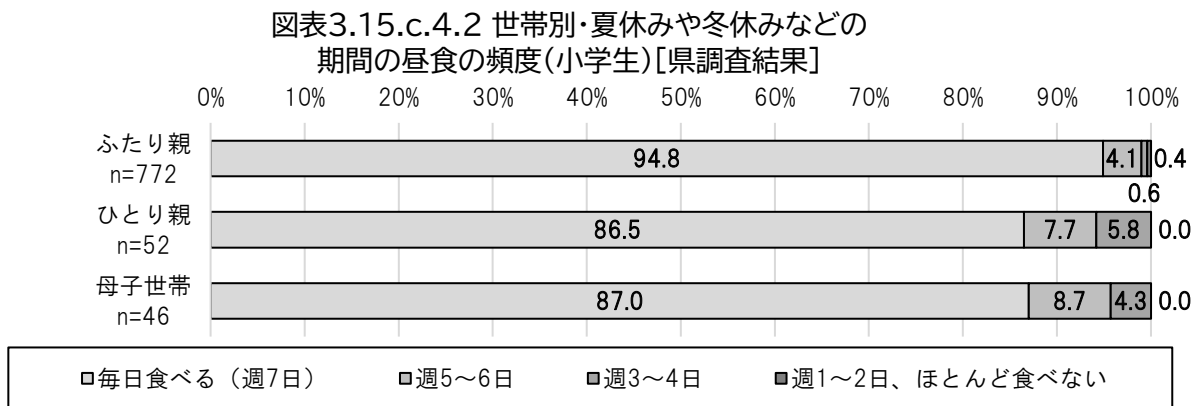
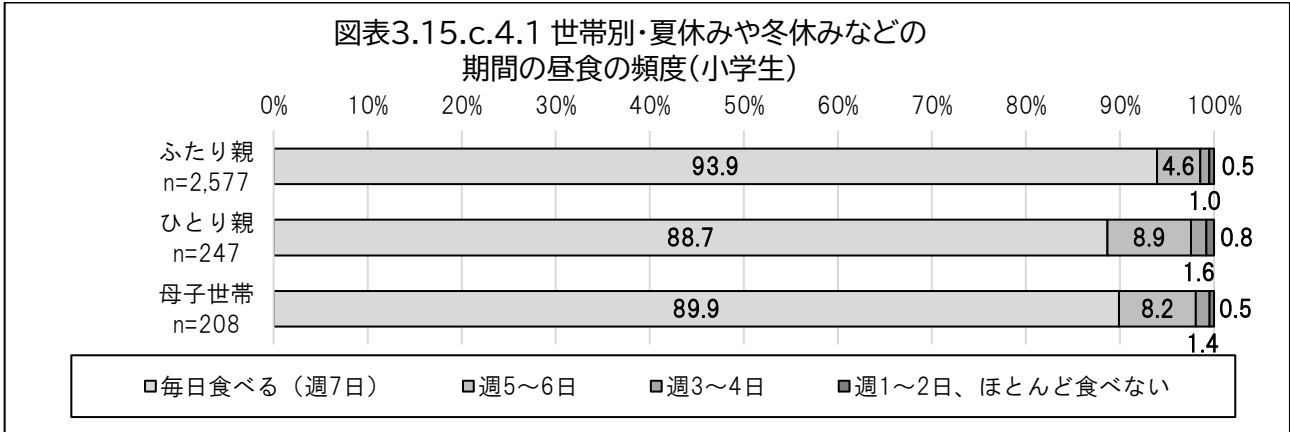
(3)等価世帯収入別・中学生（問 15.c 長期休暇期間の昼食の頻度）

夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度について、等価世帯収入別にみると、中学生では、夏休みや冬休みなどの期間の昼食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では82.9%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では79.1%と低くなっています。また、県調査（89.8%）と比較して低くなっています。



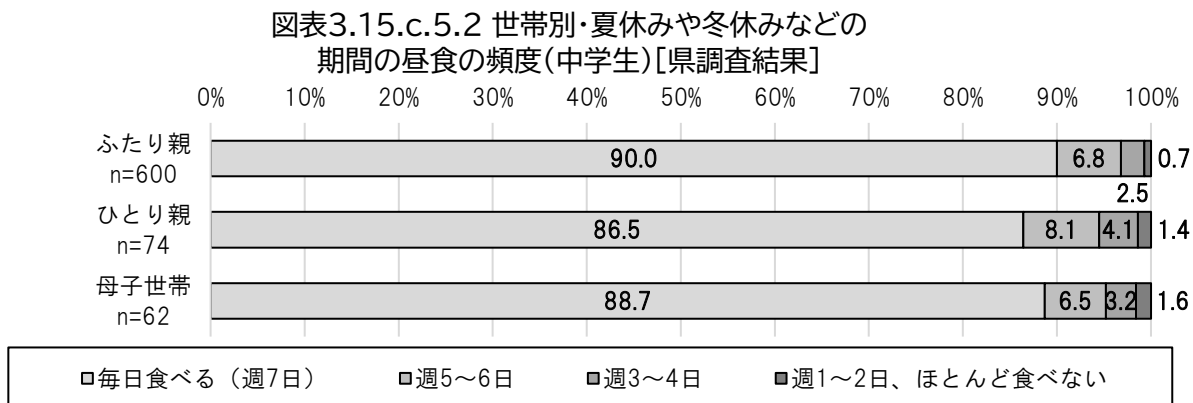
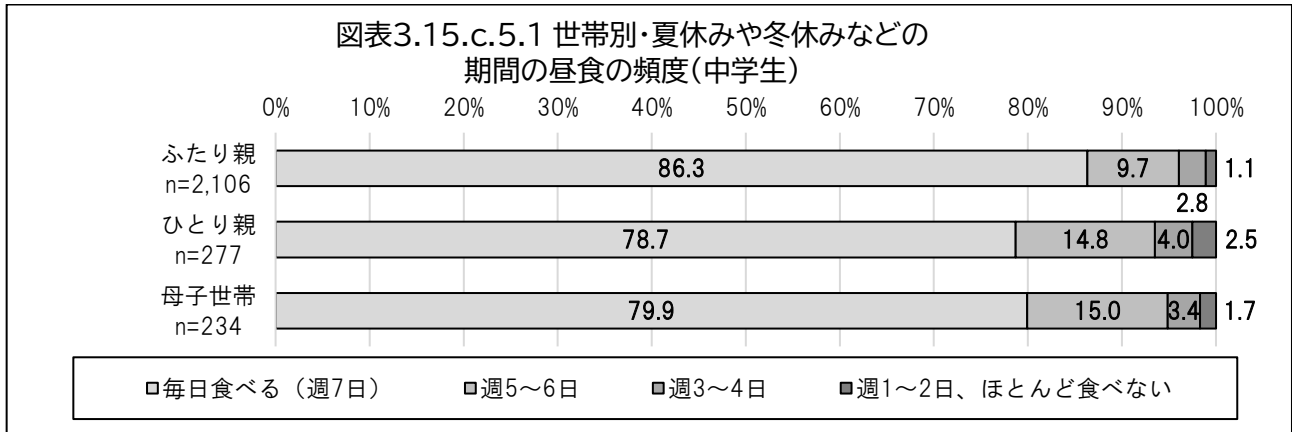
(4)世帯別・小学生（問 15.c 長期休暇期間の昼食の頻度）

夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度について、世帯別にみると、小学生では、夏休みや冬休みなどの期間の昼食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では91.6%であったのに対し、ひとり親世帯では88.7%と低くなっています。また、県調査（86.5%）と比較して高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 15.c 長期休暇期間の昼食の頻度）

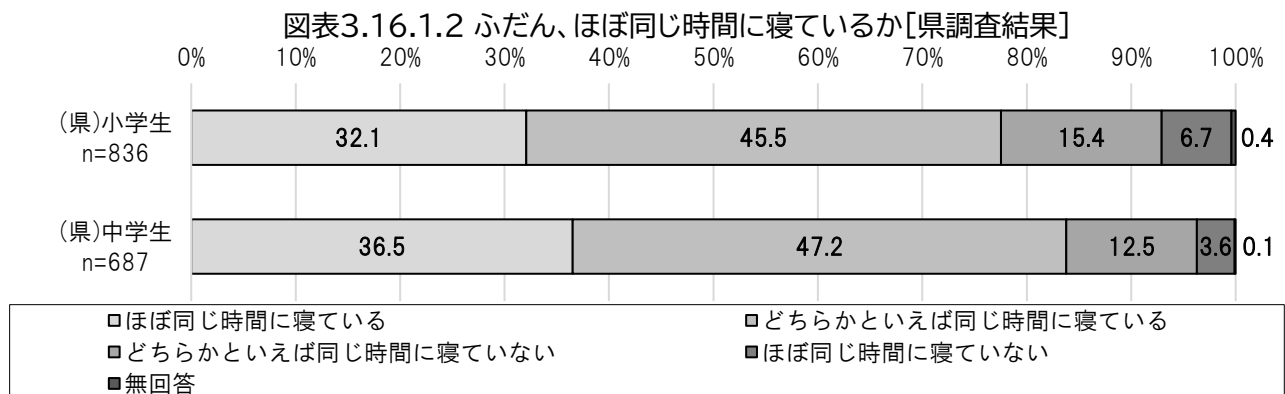
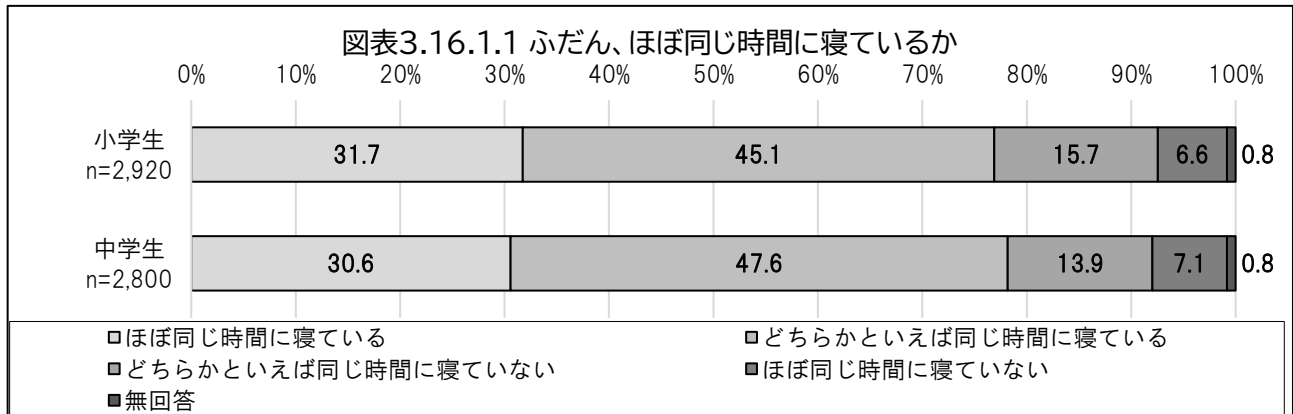
夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度について、世帯別にみると、中学生では、夏休みや冬休みなどの期間の昼食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では82.9%であったのに対し、ひとり親世帯では78.7%と低くなっています。また、県調査（86.5%）と比較して低くなっています。



問16. あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

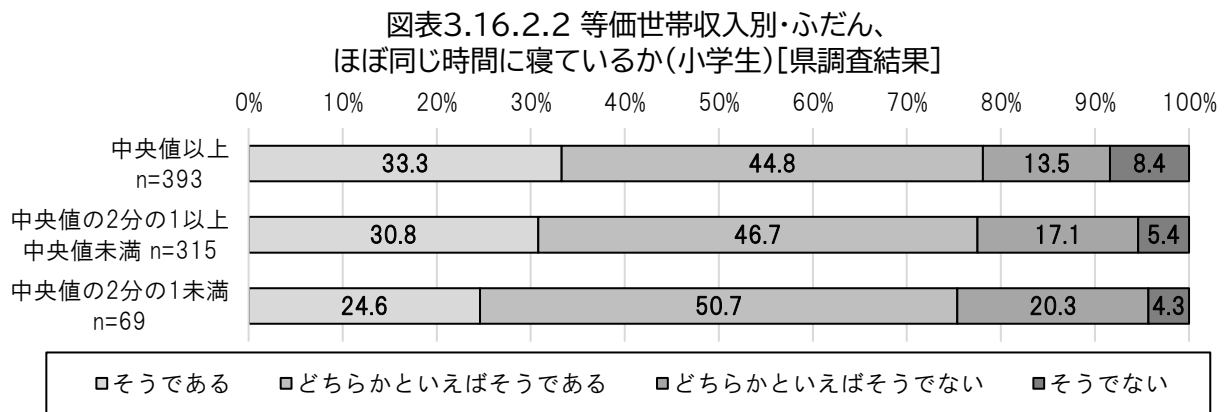
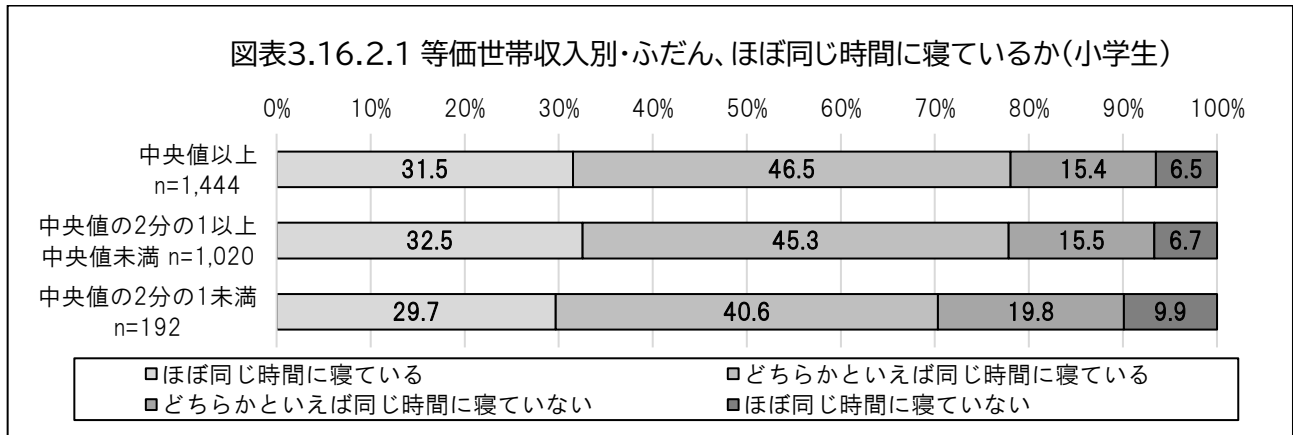
(1)全体

普段、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、小学生・中学生ともに「どちらかといえば同じ時間に寝ている」が45.1%、47.6%と最も高く、次いで「ほぼ同じ時間に寝ている」が31.7%、30.6%、「どちらかといえば同じ時間に寝ていない」が15.7%、13.9%の順となっています。



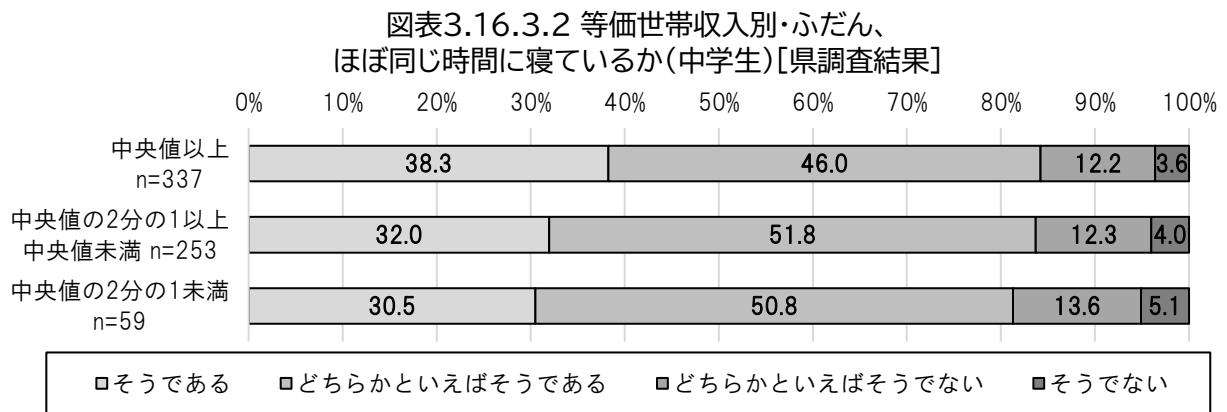
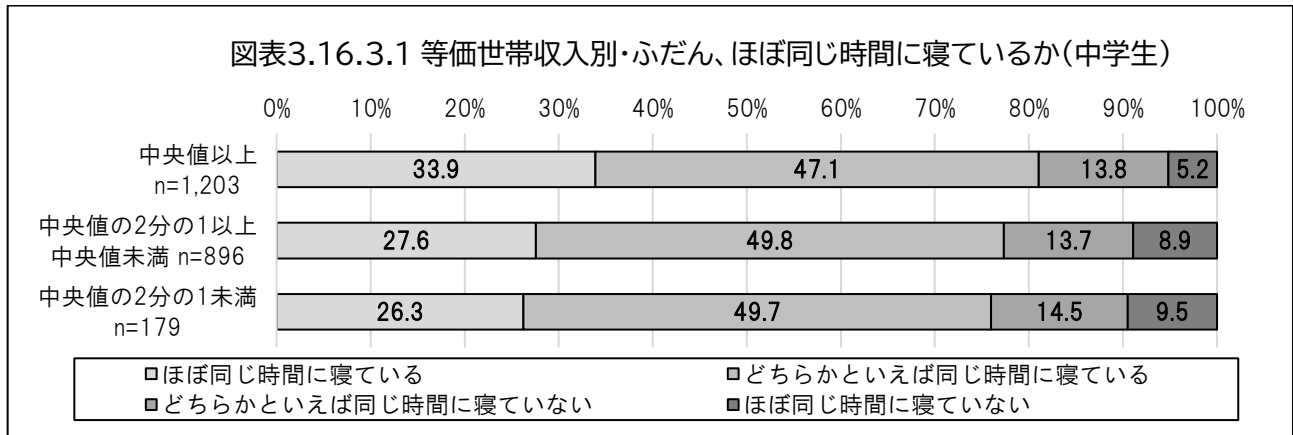
(2)等価世帯収入別・小学生（問 16. ふだん、ほぼ同じ時間に寝ているか）

普段、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「ほぼ同じ時間に寝ている」と回答した割合は、全体では31.7%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では29.7%と低くなっています。また、県調査（24.6%）と比較して高くなっています。



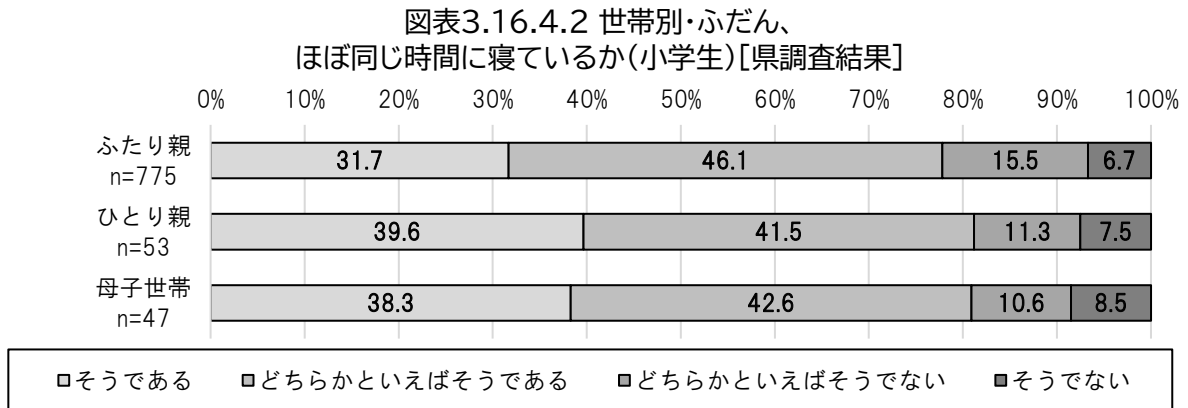
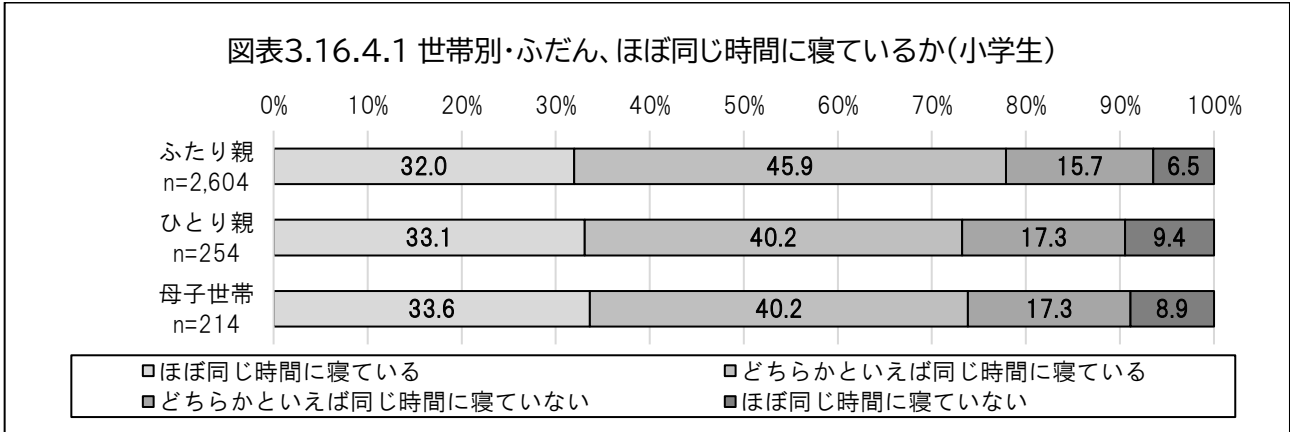
(3)等価世帯収入別・中学生（問 16. ふだん、ほぼ同じ時間に寝ているか）

普段、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「ほぼ同じ時間に寝ている」と回答した割合は、全体では30.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では26.3%と低くなっています。また、県調査（30.5%）と比較して低くなっています



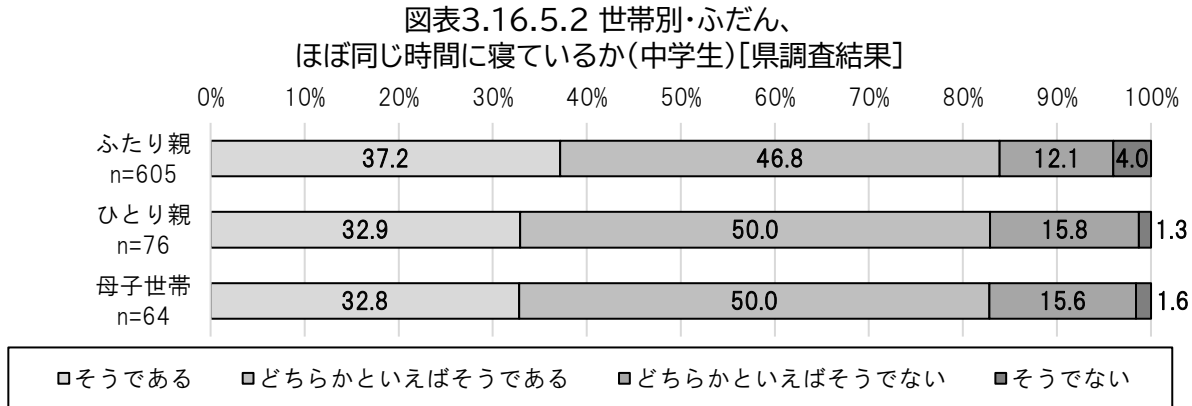
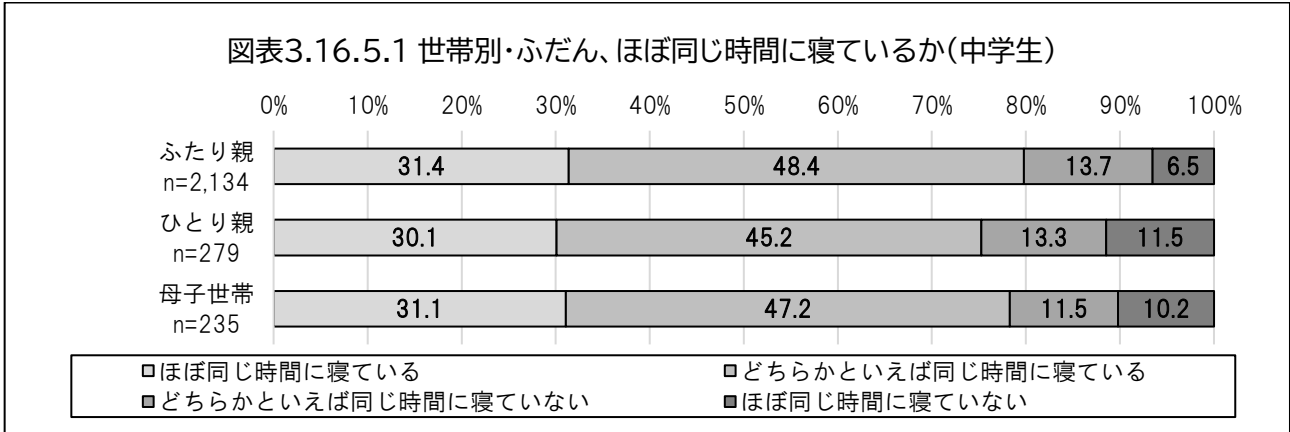
(4)世帯別・小学生（問 16. ふだん、ほぼ同じ時間に寝ているか）

普段、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、世帯別にみると、小学生では、「ほぼ同じ時間に寝ている」と回答した割合は、全体では31.7%であったのに対し、ひとり親世帯では33.1%と高くなっています。また、県調査（39.6%）と比較して低くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 16. ふだん、ほぼ同じ時間に寝ているか）

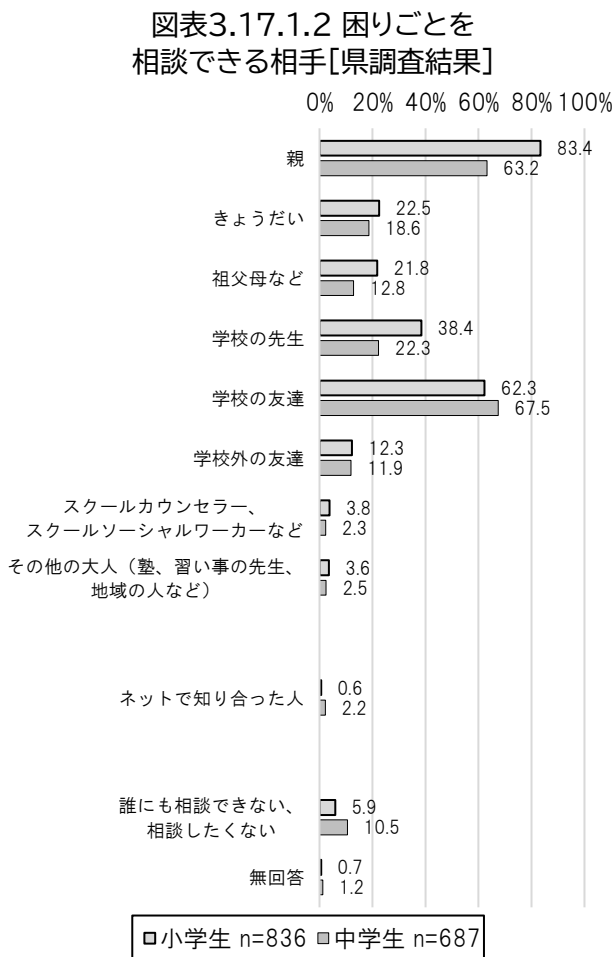
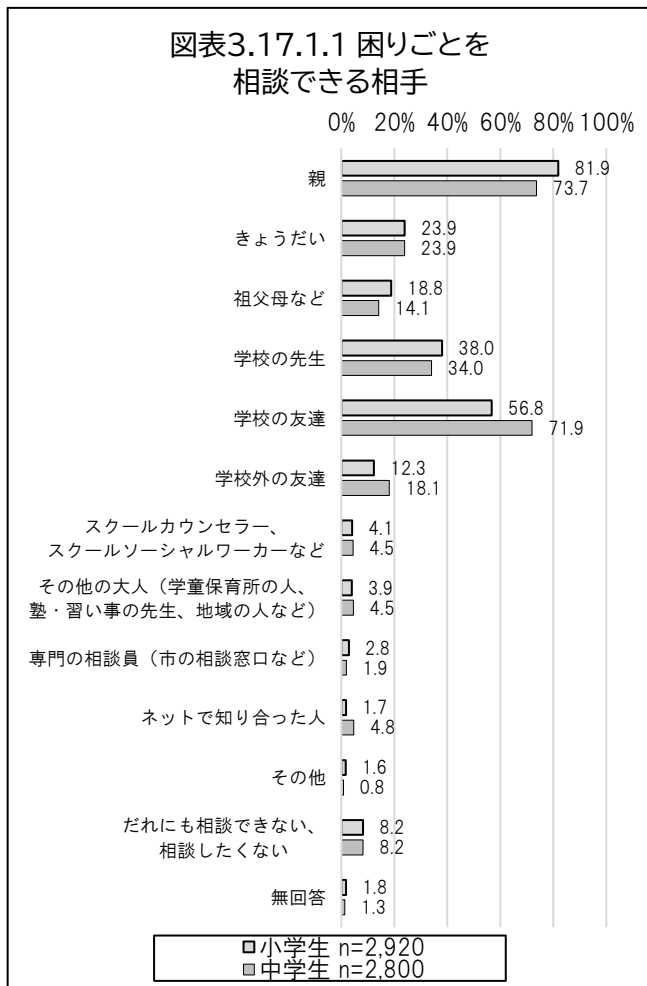
普段、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、世帯別にみると、中学生では、「ほぼ同じ時間に寝ている」と回答した割合は、全体では 30.6%であったのに対し、ひとり親世帯では 30.1%と同程度となっています。また、県調査（32.9%）と比較してやや低くなっています。



問17. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。

(1)全体

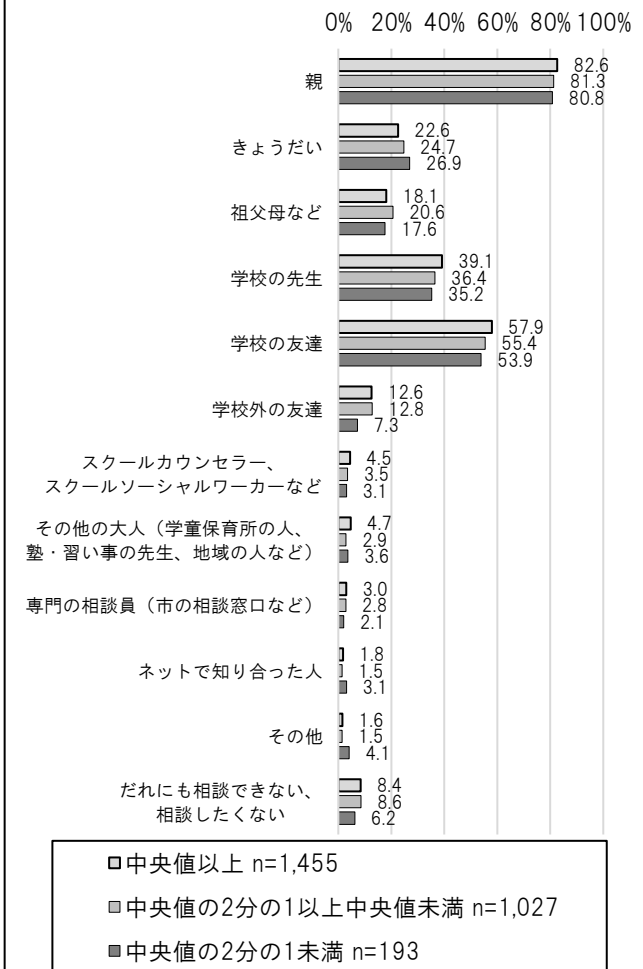
困りごとを相談できる相手について、小学生・中学生ともに「親」が81.9%、73.7%で最も高く、次いで「学校の友達」が56.8%、71.9%、「学校の先生」が38.0%、34.0%となっています。また、「誰にも相談できない、相談したくない」が、小中学生ともに8.2%となっています。



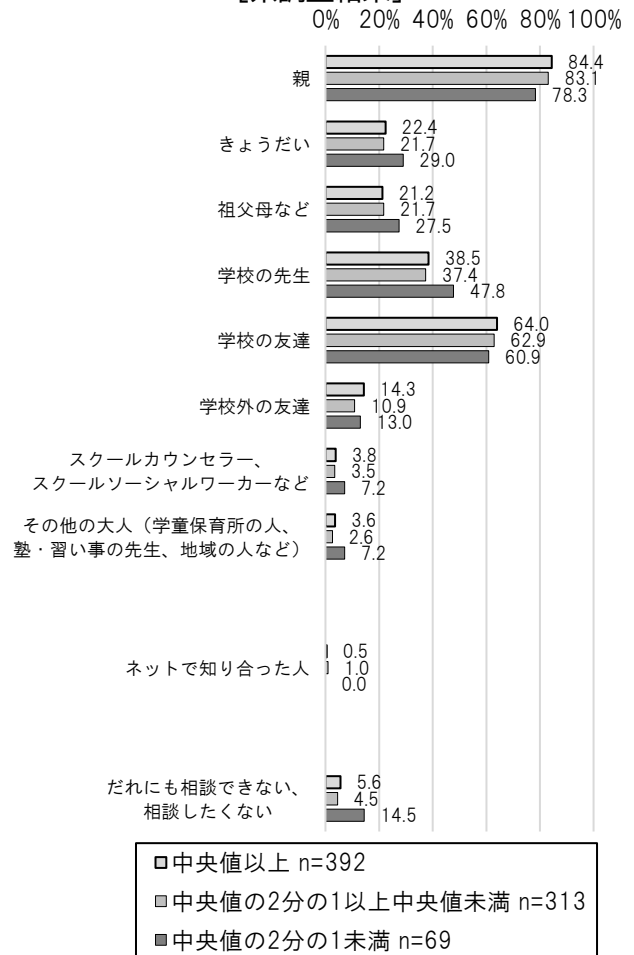
(2)等価世帯収入別・小学生（問 17. 困りごとを相談出来る相手）

困りごとを相談できる相手について、等価世帯収入別にみると、小学生では大きな違いはありませんでした。

図表3.17.2.1 等価世帯収入別
困りごとを相談できる相手(小学生)



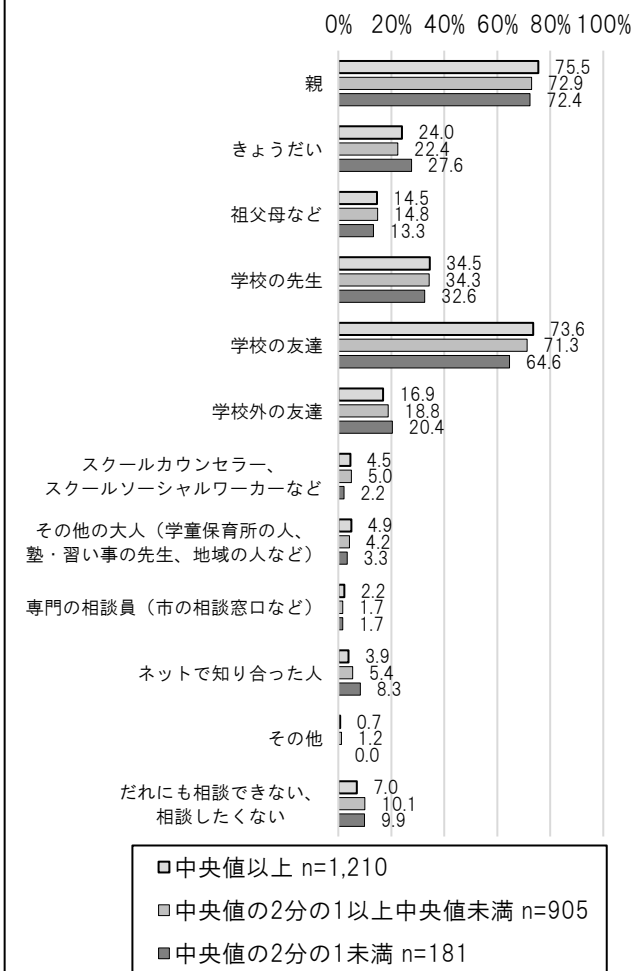
図表3.17.2.2 等価世帯収入別
困りごとを相談できる相手(小学生)
[県調査結果]



(3)等価世帯収入別・中学生（問 17. 困りごとを相談出来る相手）

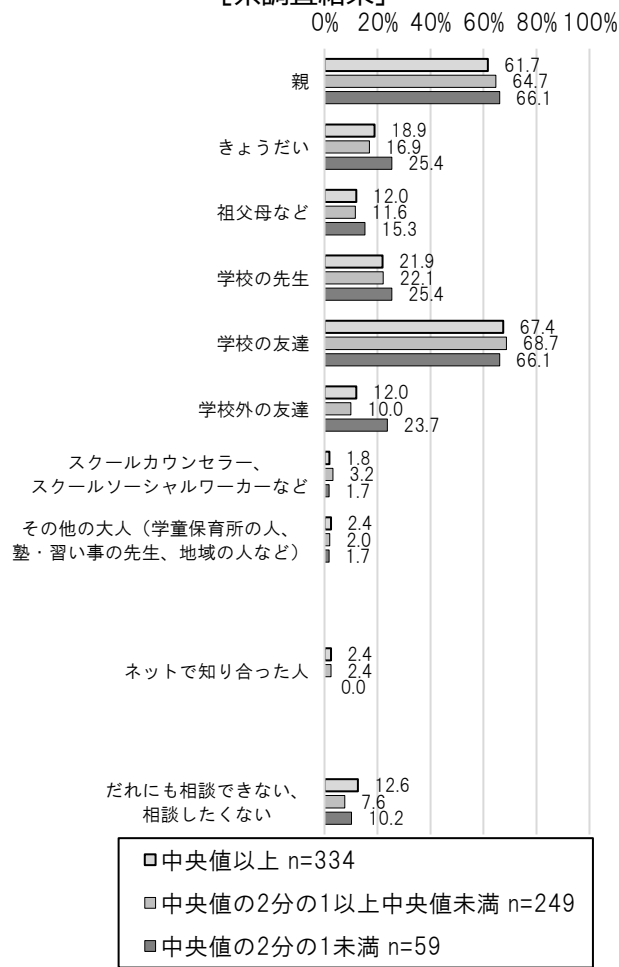
困りごとを相談できる相手について、等価世帯収入別にみると、中学生では大きな違いはありませんでした。

図表3.17.3.1 等価世帯収入別
困りごとを相談できる相手(中学生)



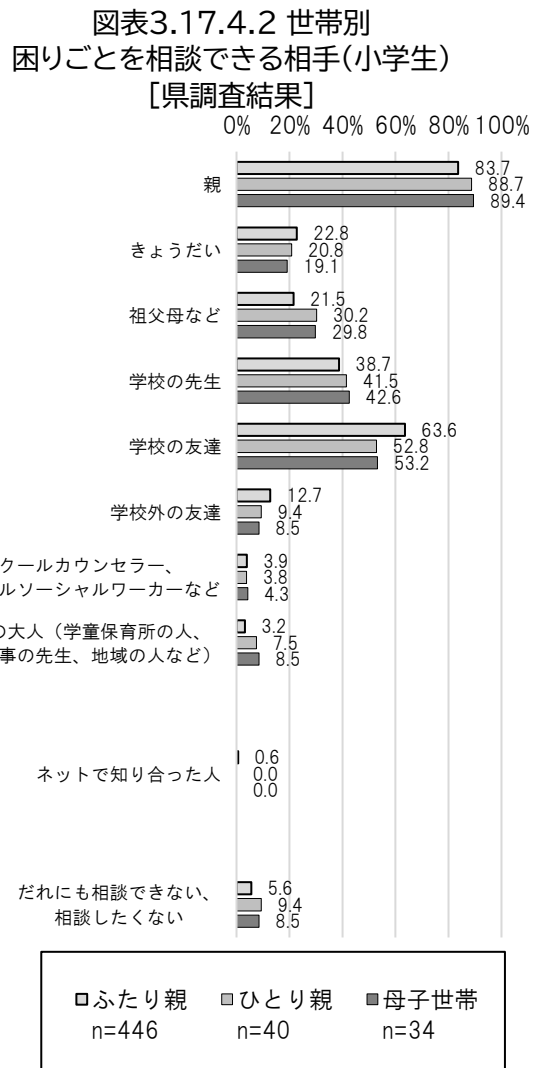
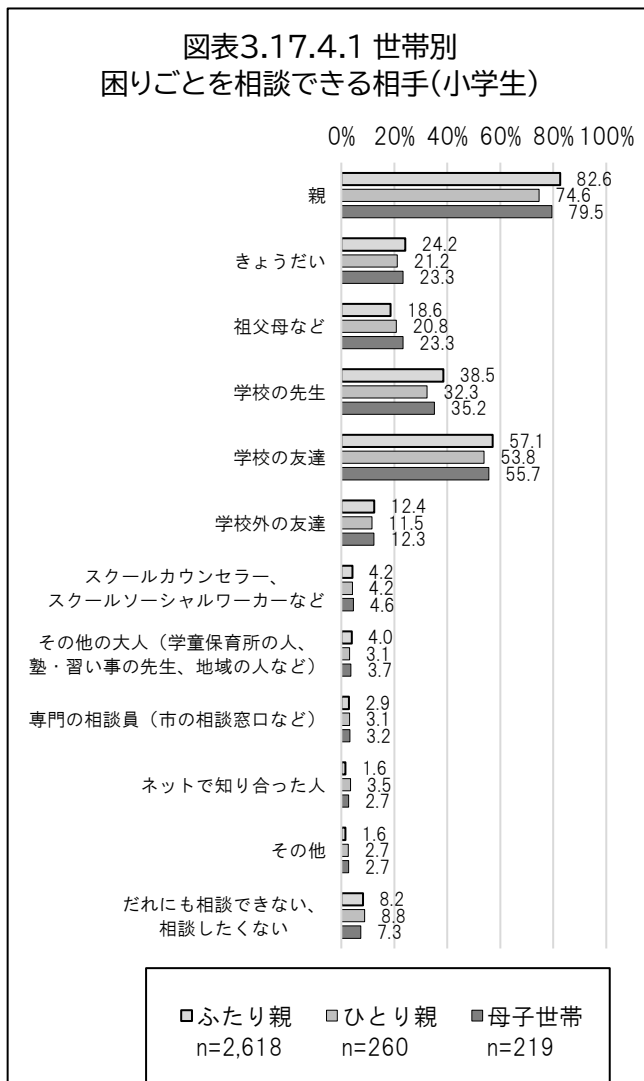
図表3.17.3.2 等価世帯収入別
困りごとを相談できる相手(中学生)

【県調査結果】



(4)世帯別・小学生（問 17. 困りごとを相談出来る相手）

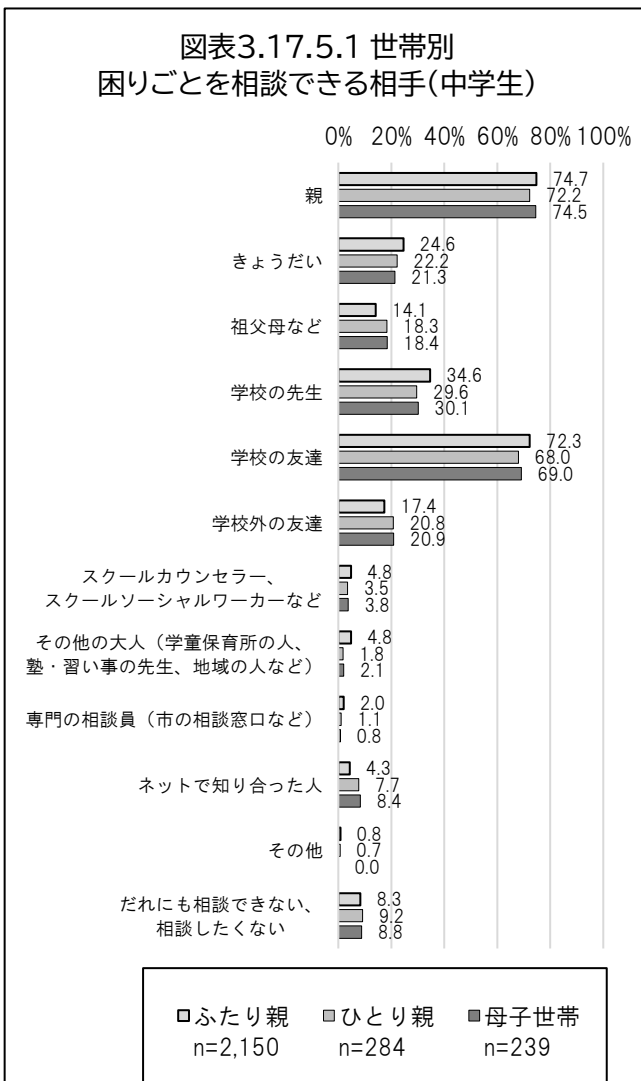
困りごとを相談できる相手について、世帯別にみると、小学生では大きな違いはありませんでした。



(5)世帯別・中学生（問 17. 困りごとを相談出来る相手）

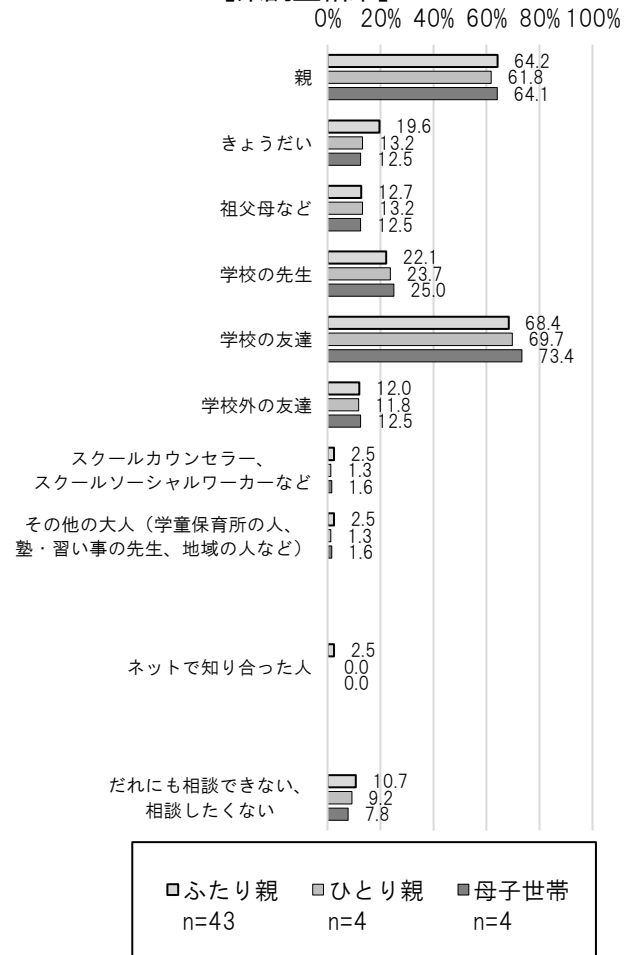
困りごとを相談できる相手について、世帯別にみると、中学生では大きな違いはありませんでした。

図表3.17.5.1 世帯別
困りごとを相談できる相手(中学生)



図表3.17.5.2 世帯別
困りごとを相談できる相手(中学生)

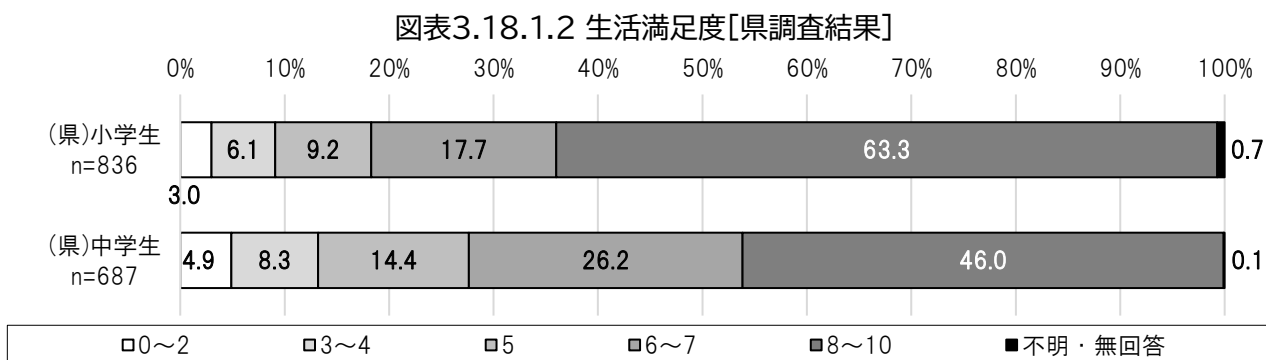
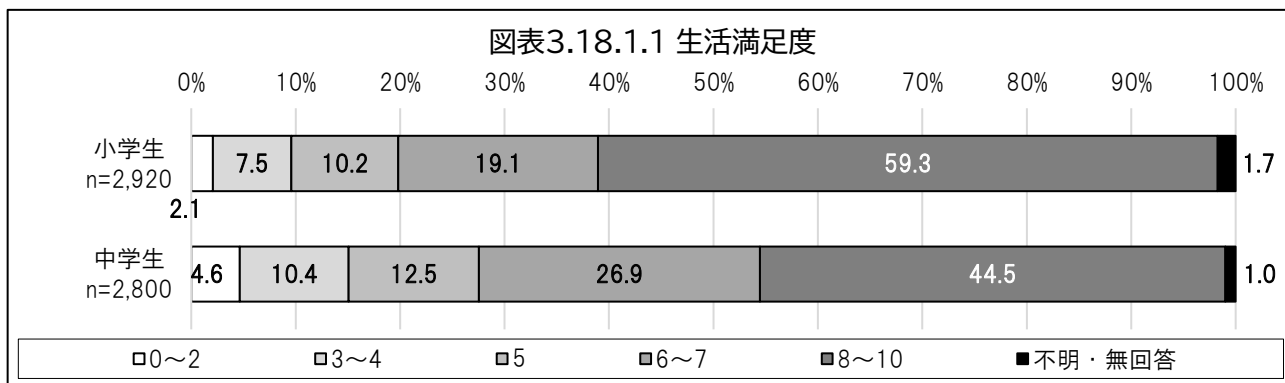
【県調査結果】



問18. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

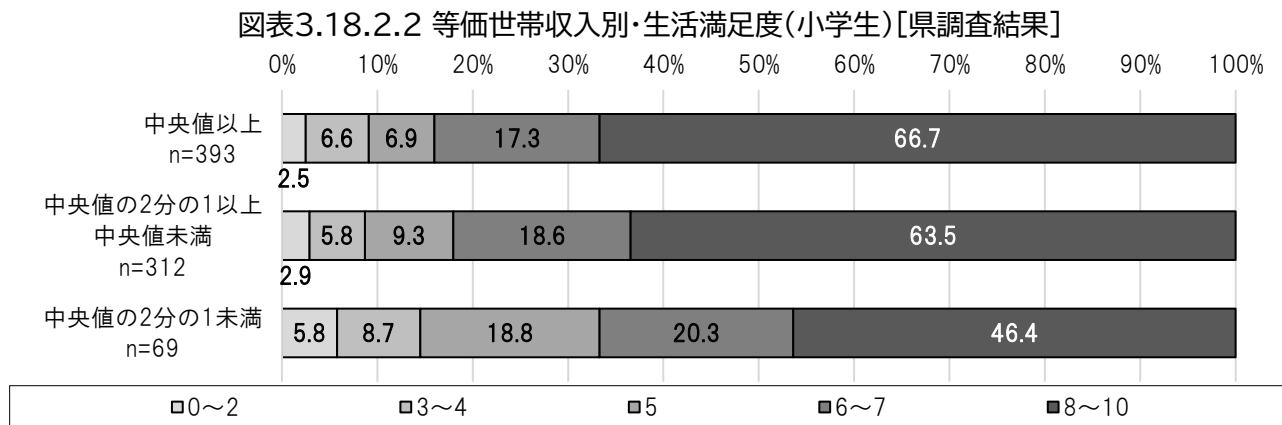
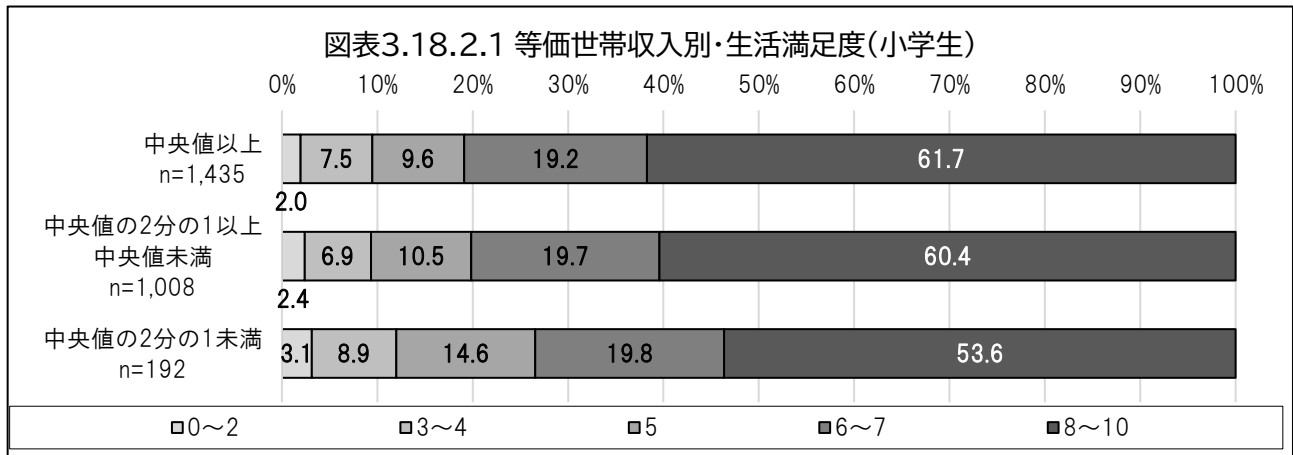
(1)全体

最近の生活満足度について、「6～10」（満足度が高い方の回答）と回答した割合は、小学生が78.4%、中学生が71.4%となっています。小学生、中学生（78.4%、71.4%）ともに、県調査（81.0%、72.2%）と比較してやや低くなっています。



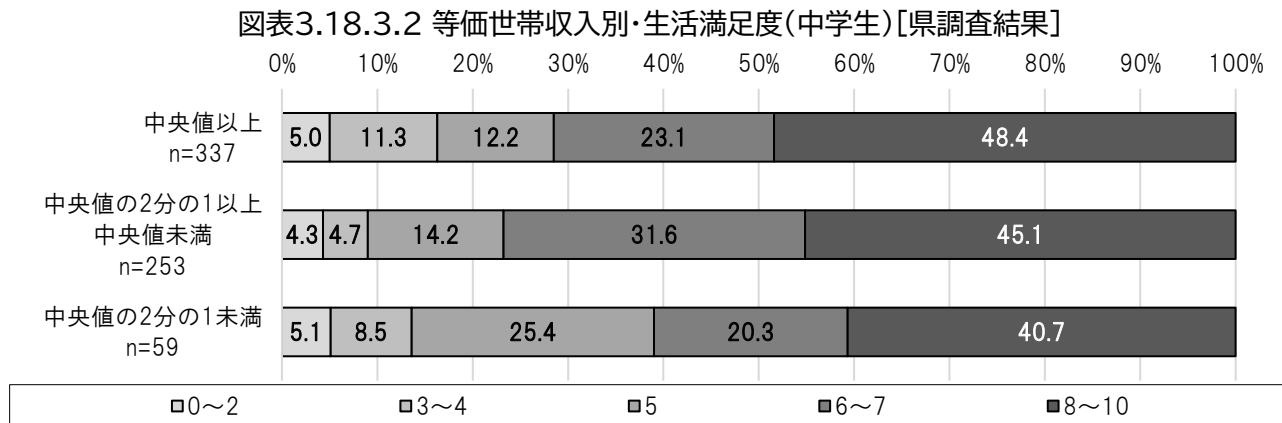
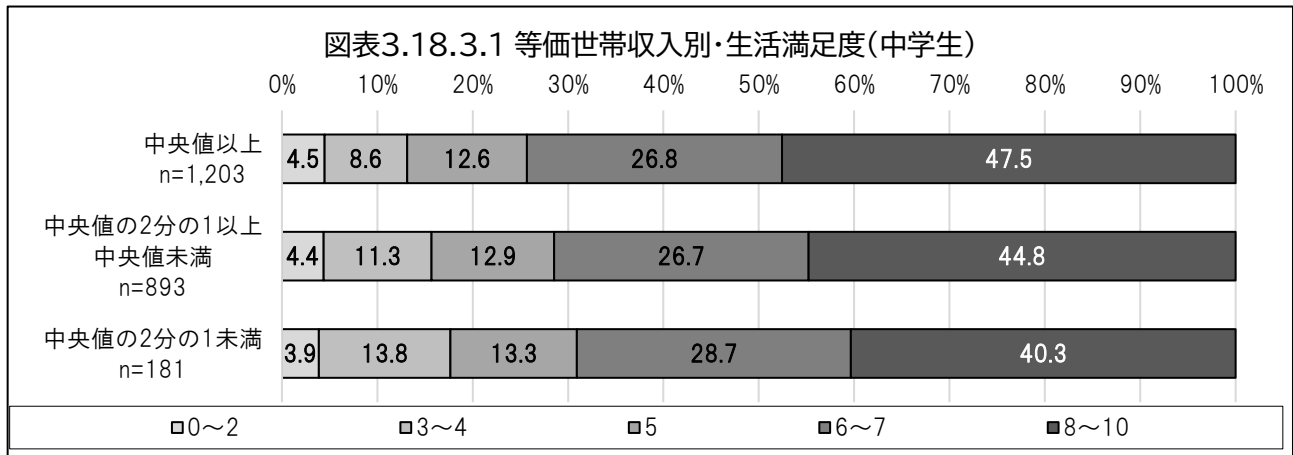
(2)等価世帯収入別・小学生（問 18. 生活満足度）

最近の生活満足度について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「6～10」（満足度が高い方の回答）と回答した割合は、全体では78.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では73.4%と低くなっています。また、県調査（66.7%）と比較して高くなっています。



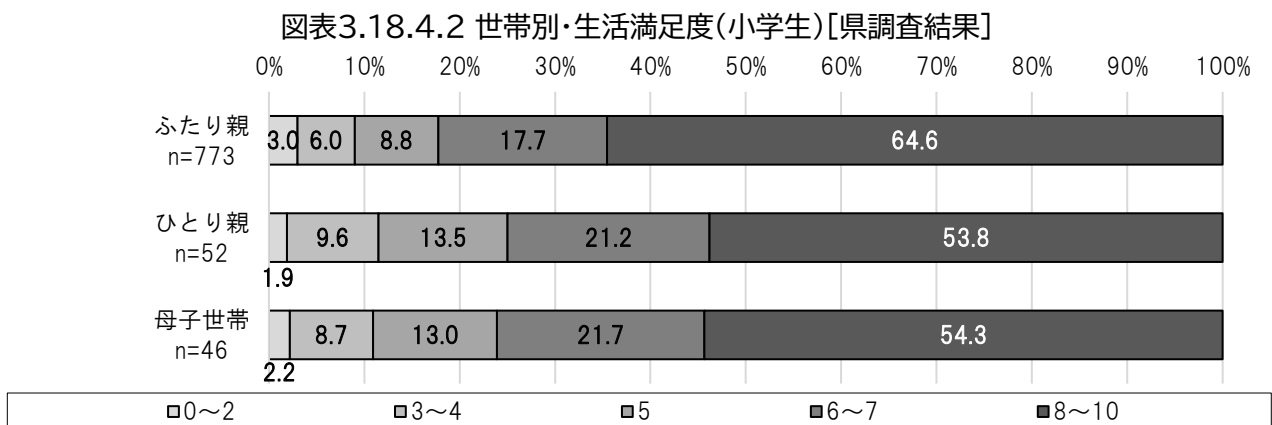
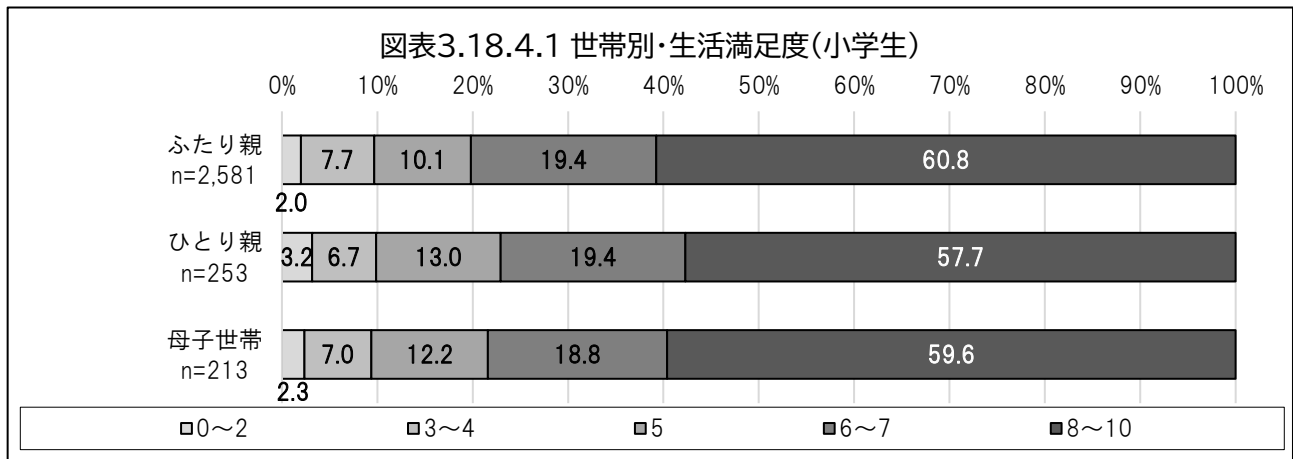
(3)等価世帯収入別・中学生（問 18. 生活満足度）

最近の生活満足度について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「6～10」（満足度が高い方の回答）と回答した割合は、全体では 71.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では 69.0%と低くなっています。また、県調査（61.0%）と比較して高くなっています。



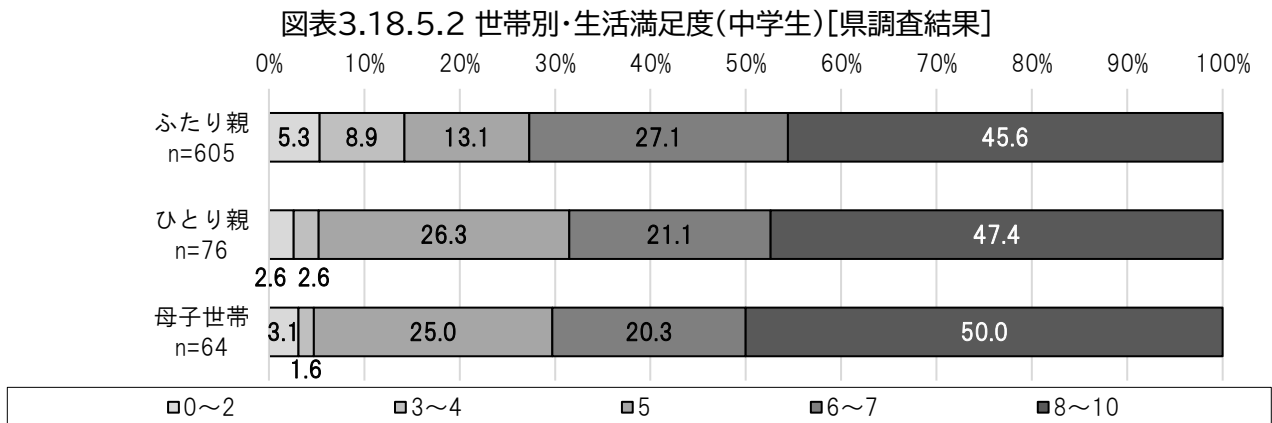
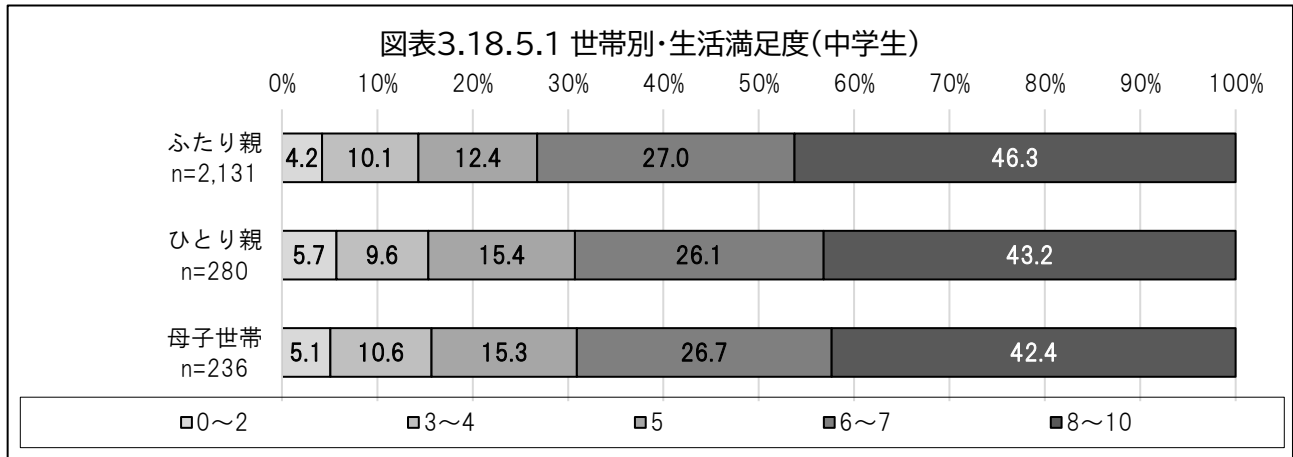
(4)世帯別・小学生（問 18. 生活満足度）

最近の生活満足度について、世帯別にみると、小学生では、「6～10」（満足度が高い方の回答）と回答した割合は、全体では 78.4%であったのに対し、ひとり親世帯では 77.1%とやや低くなっています。また、県調査（75.0%）と比較してやや高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 18. 生活満足度）

最近の生活満足度について、世帯別にみると、中学生では、「6～10」（満足度が高い方の回答）と回答した割合は、全体では71.4%であったのに対し、ひとり親世帯では69.3%とやや低くなっています。また、県調査（68.5%）と比較してやや高くなっています

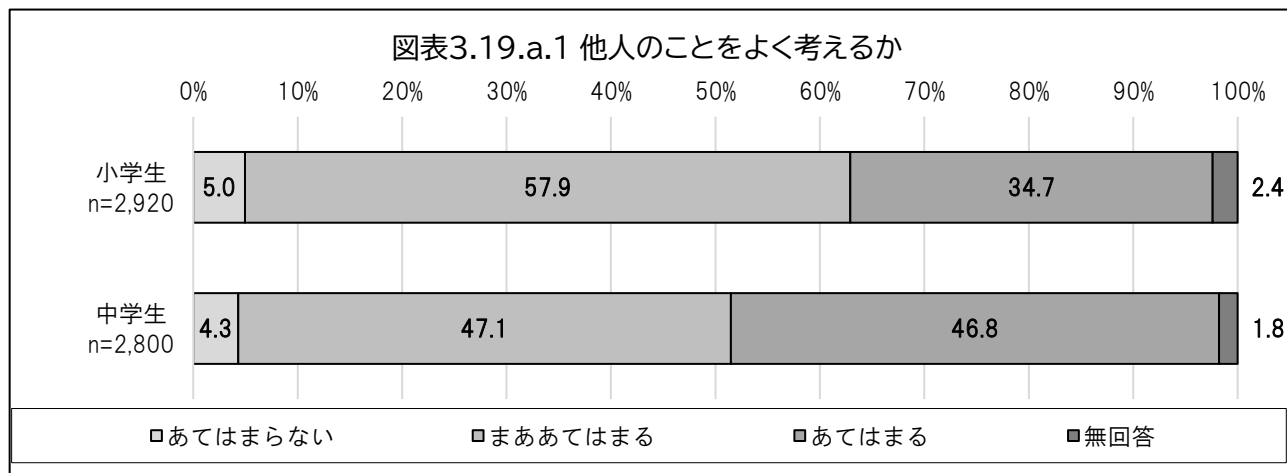


問19. 次のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれから回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。

a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。

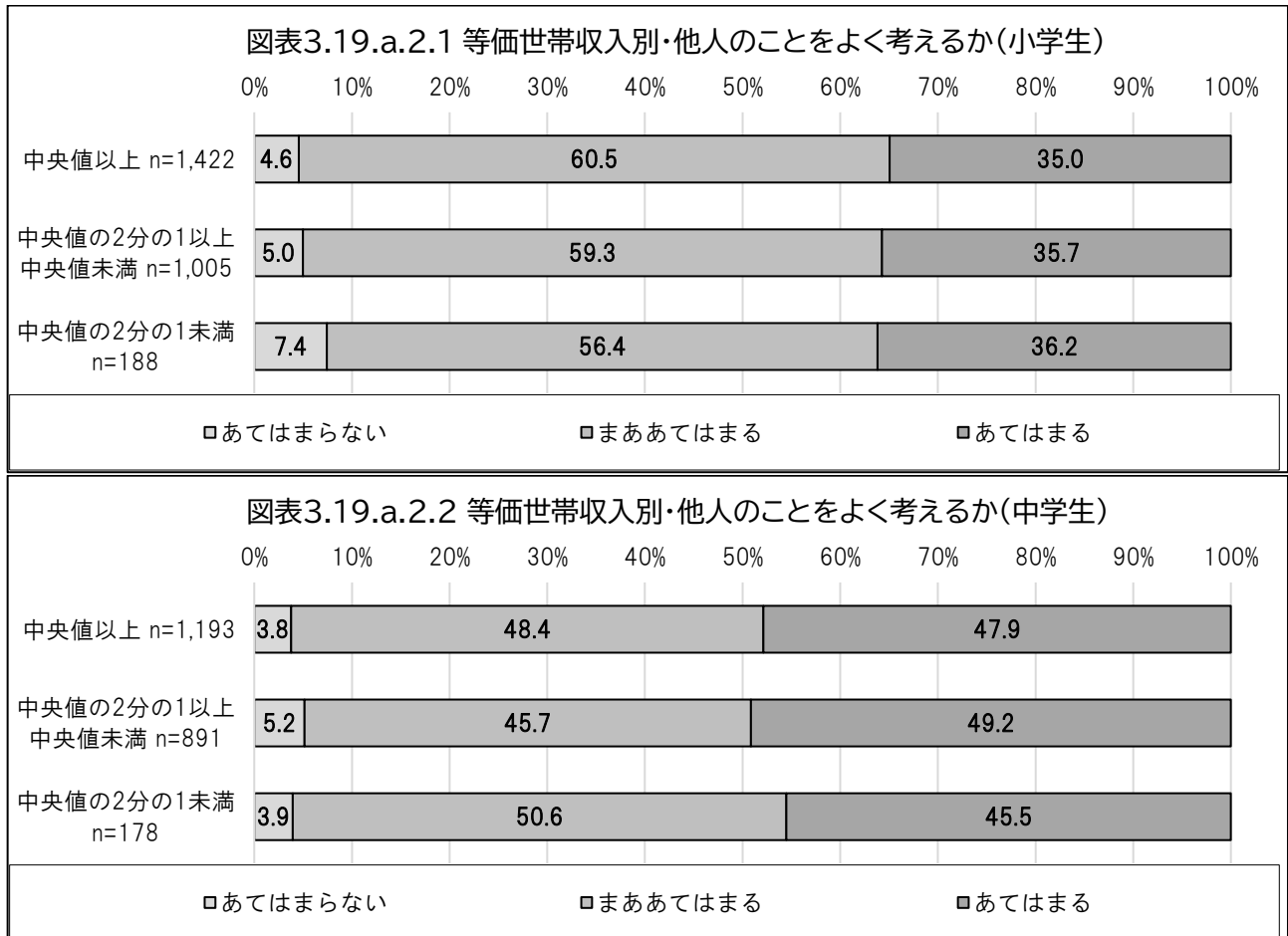
(1)全体

他人のことをよく考えるかについて、小学生・中学生ともに「まああてはまる」が57.9%、47.1%と最も高く、次いで「あてはまる」が34.7%、46.8%、「あてはまらない」が5.0%、4.3%となっています。



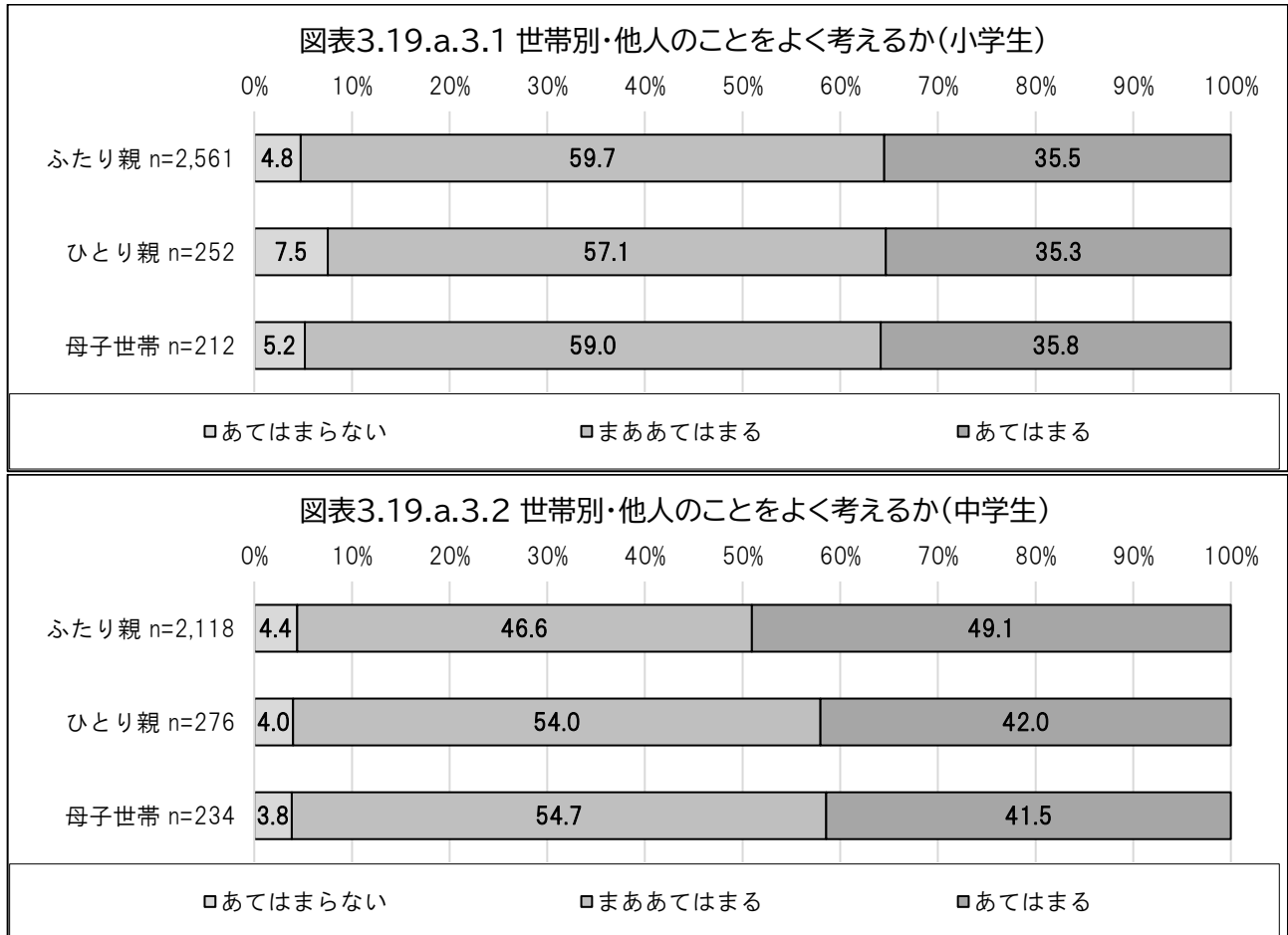
(2)等価世帯収入別

他人のことをよく考えるかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が5.0%、中学生が4.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は7.4%とやや高くなっており、中学生では3.9%と同程度となっています。



(3)世帯別

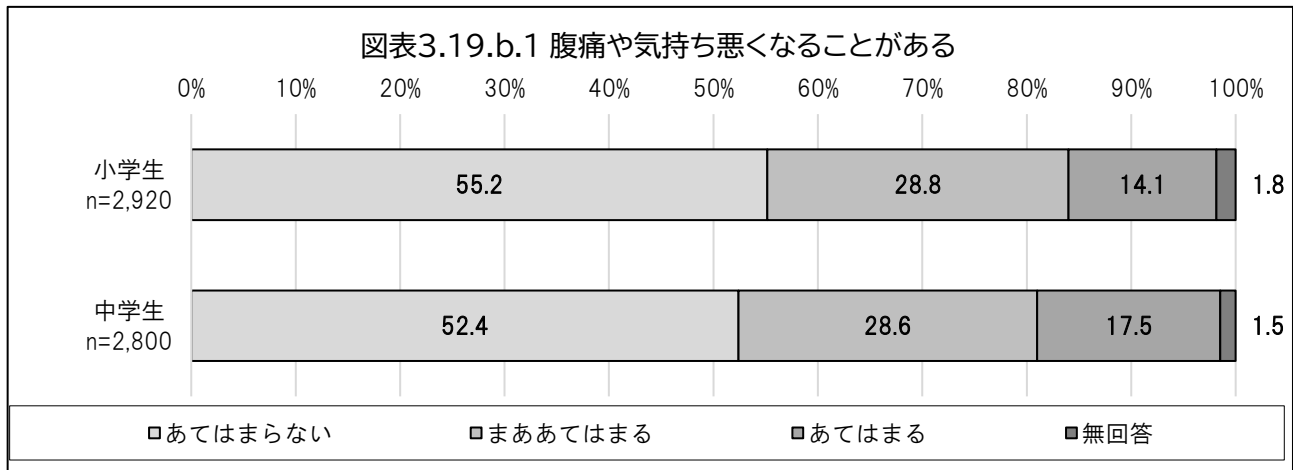
他人のことをよく考えるかについて、世帯別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が5.0%、中学生が4.3%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生は7.5%とやや高くなっており、中学生では4.0%で同程度となっています。



b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。

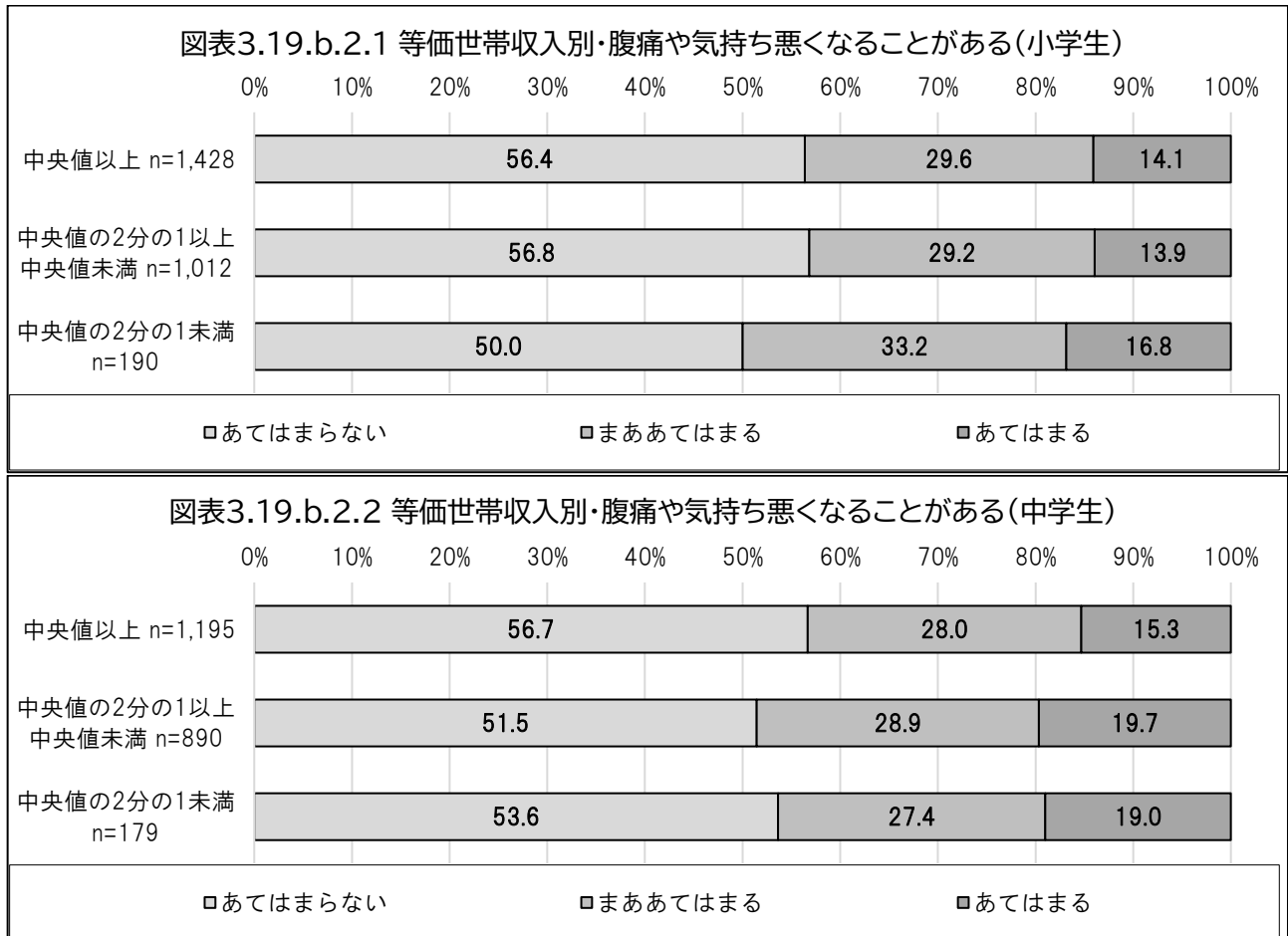
(1)全体

よく頭やお腹が痛くなったり、気持ち悪くなったりするかについて、小学生・中学生ともに「あてはまらない」が55.2%、52.4%と最も高く、次いで「まああてはまる」が28.8%、28.6%、「あてはまる」が14.1%、17.5%となっています。



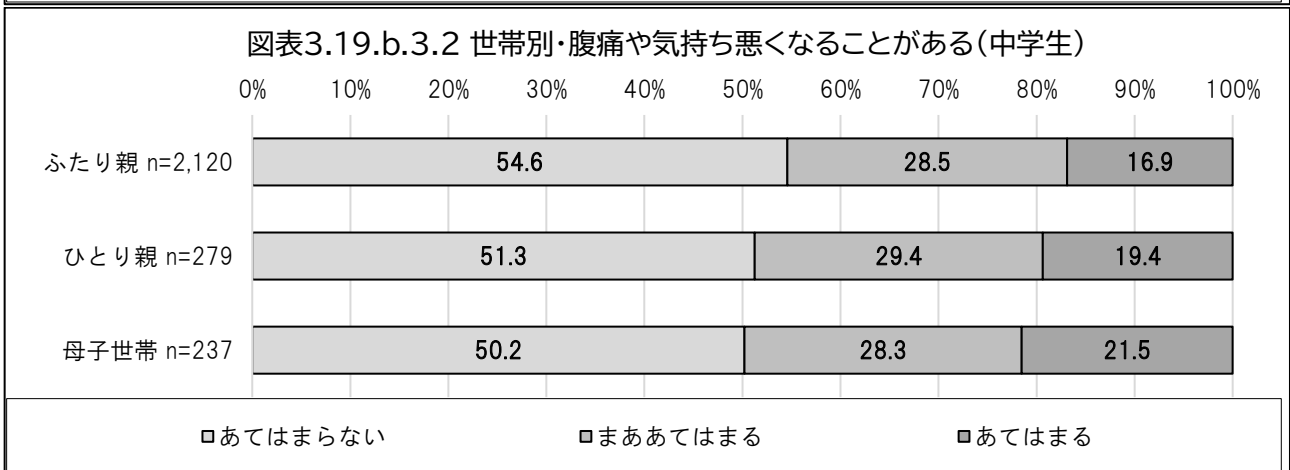
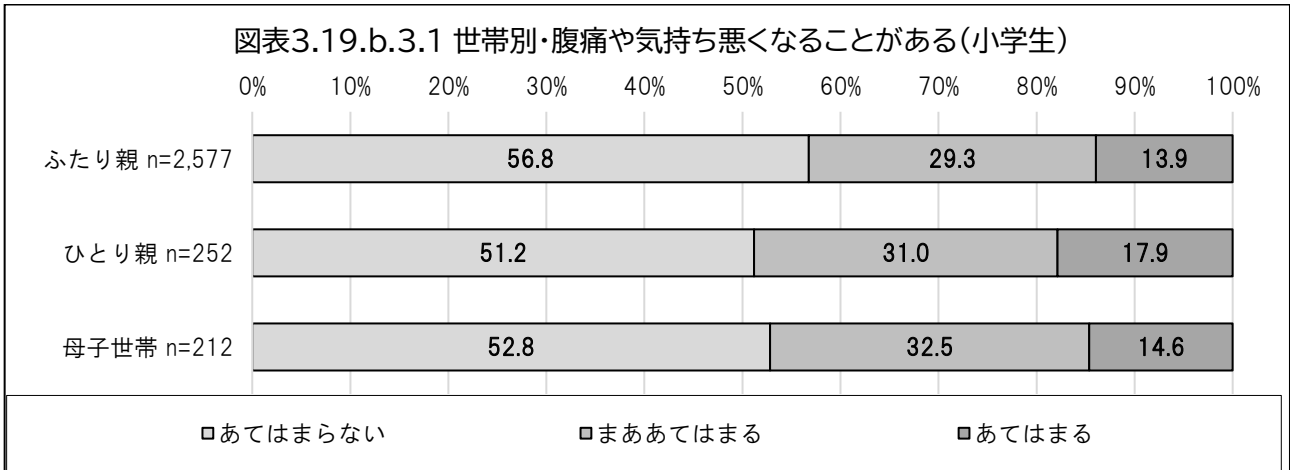
(2)等価世帯収入別

よく頭やお腹が痛くなったり、気持ち悪くなったりするかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は全体では小学生が14.1%、中学生が17.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が16.8%、中学生が19.0%とやや高くなっています。



(3)世帯別

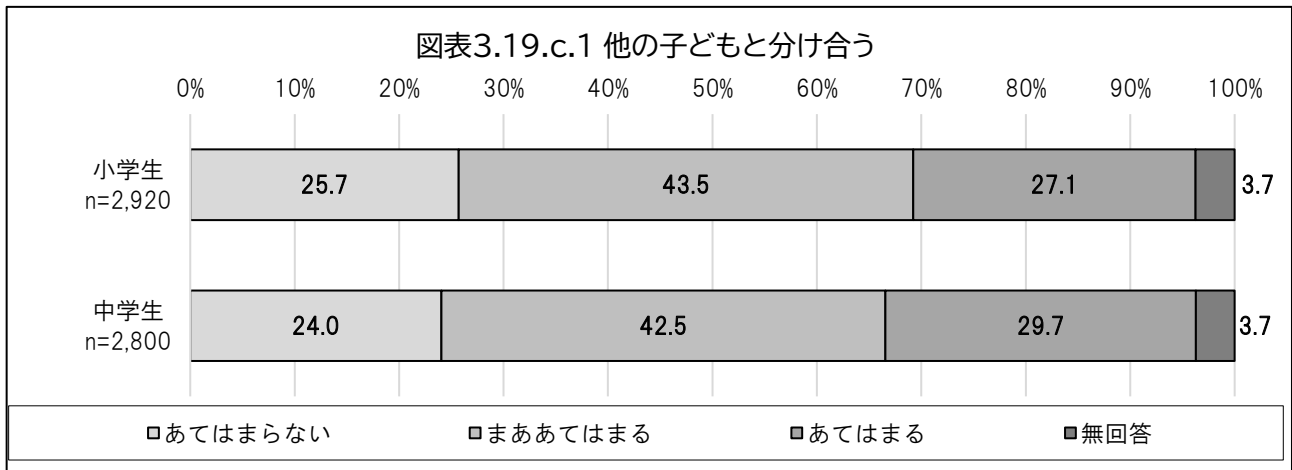
よく頭やお腹が痛くなったり、気持ち悪くなったりするかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は全体では小学生が14.1%、中学生が17.5%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が17.9%、中学生が19.4%とやや高くなっています。



c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。

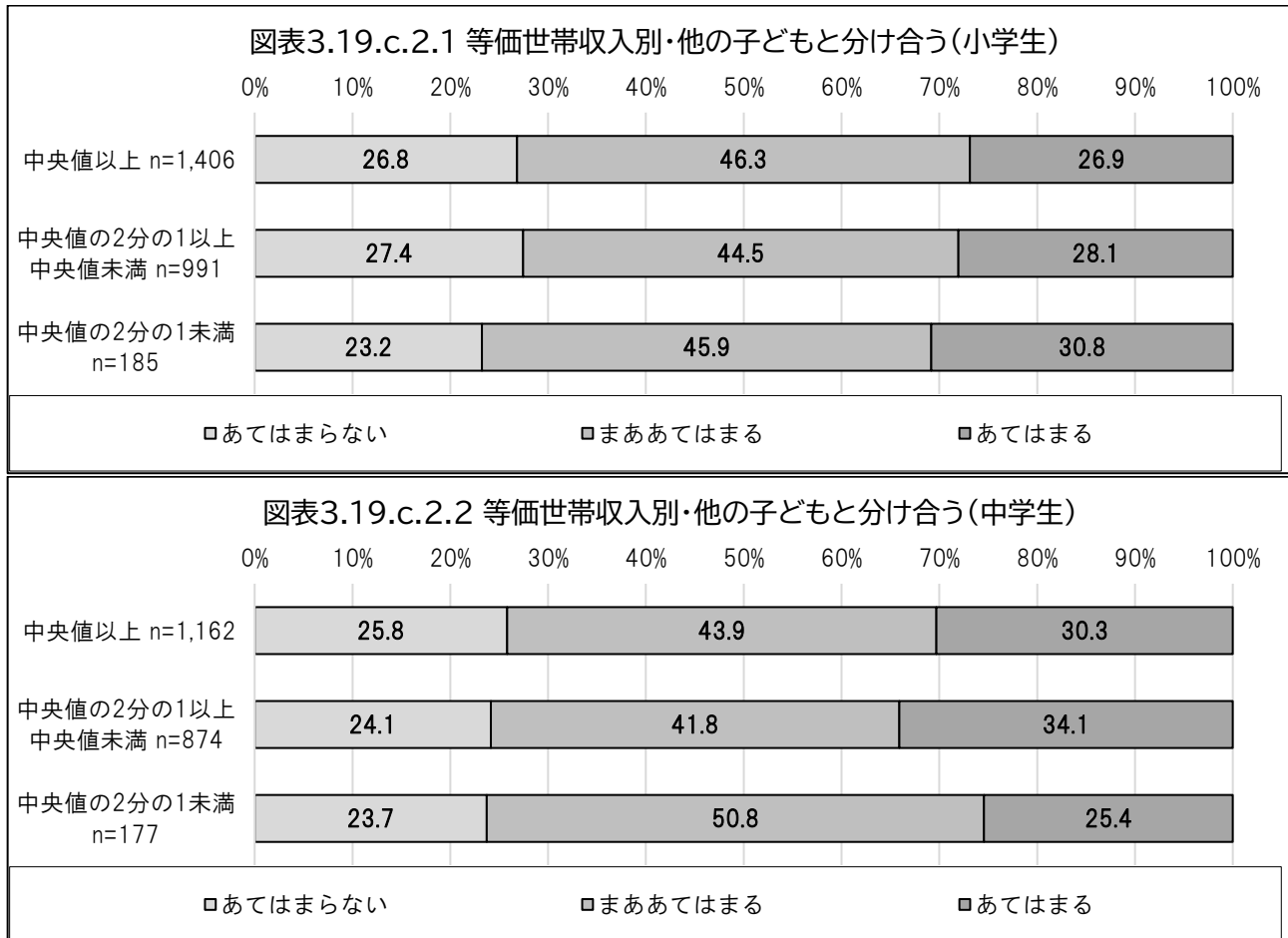
(1)全体

他の子どもとよく分け合うかについて、小学生・中学生ともに「まああてはまる」が43.5%、42.5%と最も高く、次いで「あてはまる」が27.1%、29.7%、「あてはまらない」が25.7%、24.0%となっています。



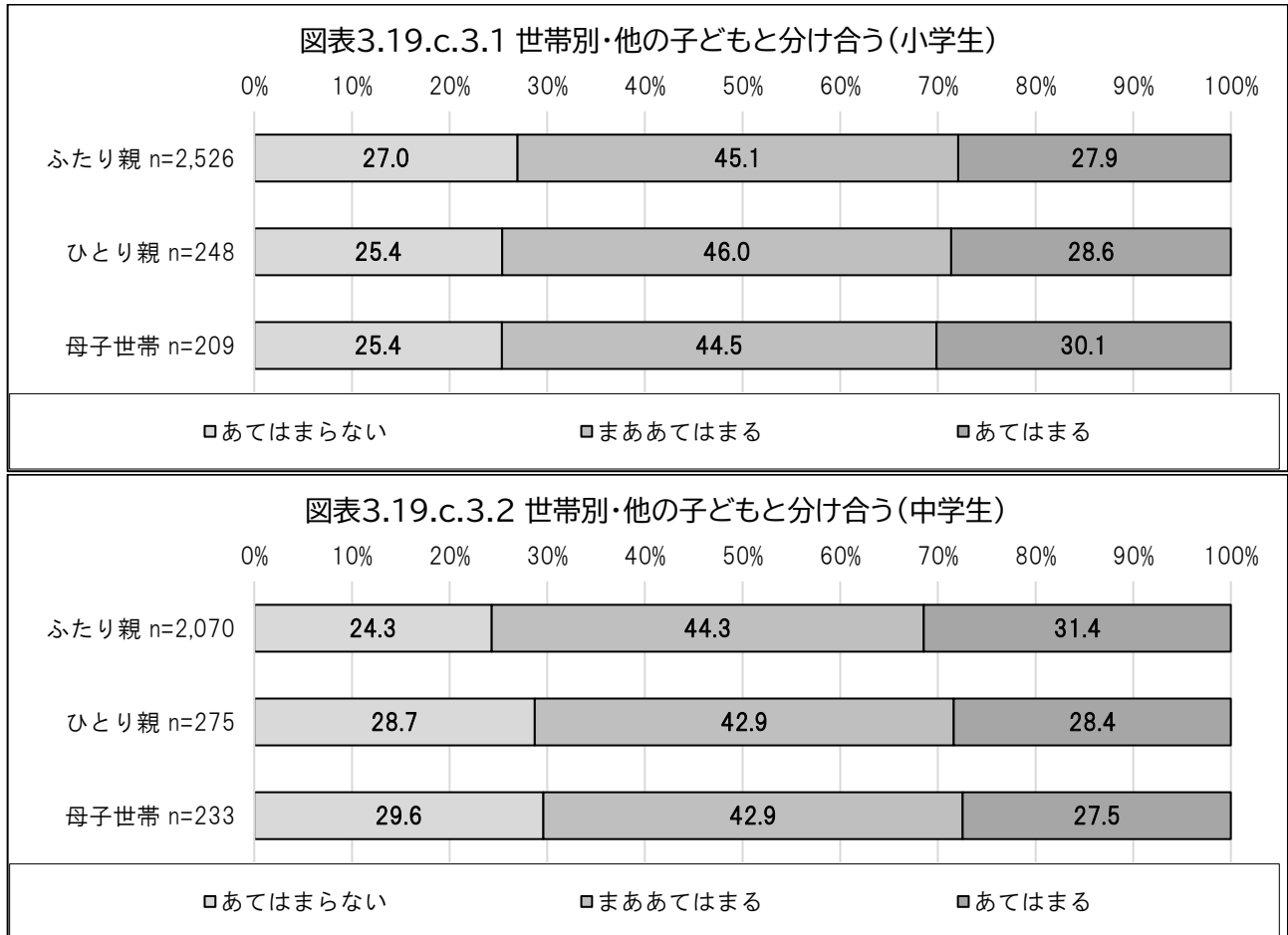
(2)等価世帯収入別

他の子どもと分け合うかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は全体では小学生が25.7%、中学生が24.0%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は23.2%とやや低くなっており、中学生では23.7%と同程度となっています。



(3)世帯別

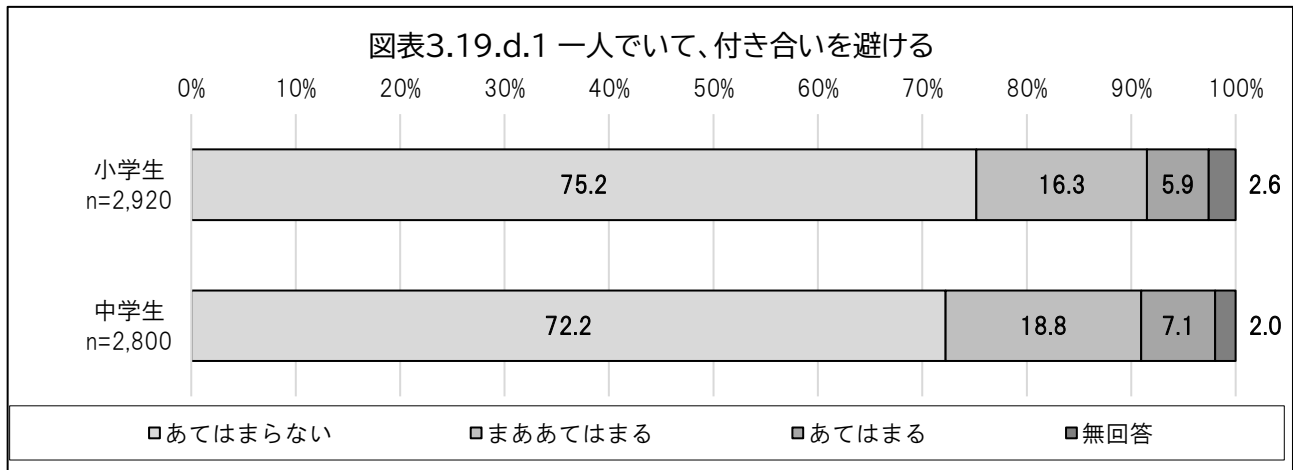
他の子どもと分け合うかについて、世帯別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は全体では小学生が25.7%、中学生が24.0%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生は25.4%と同程度、中学生では28.7%とやや高くなっています。



d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。

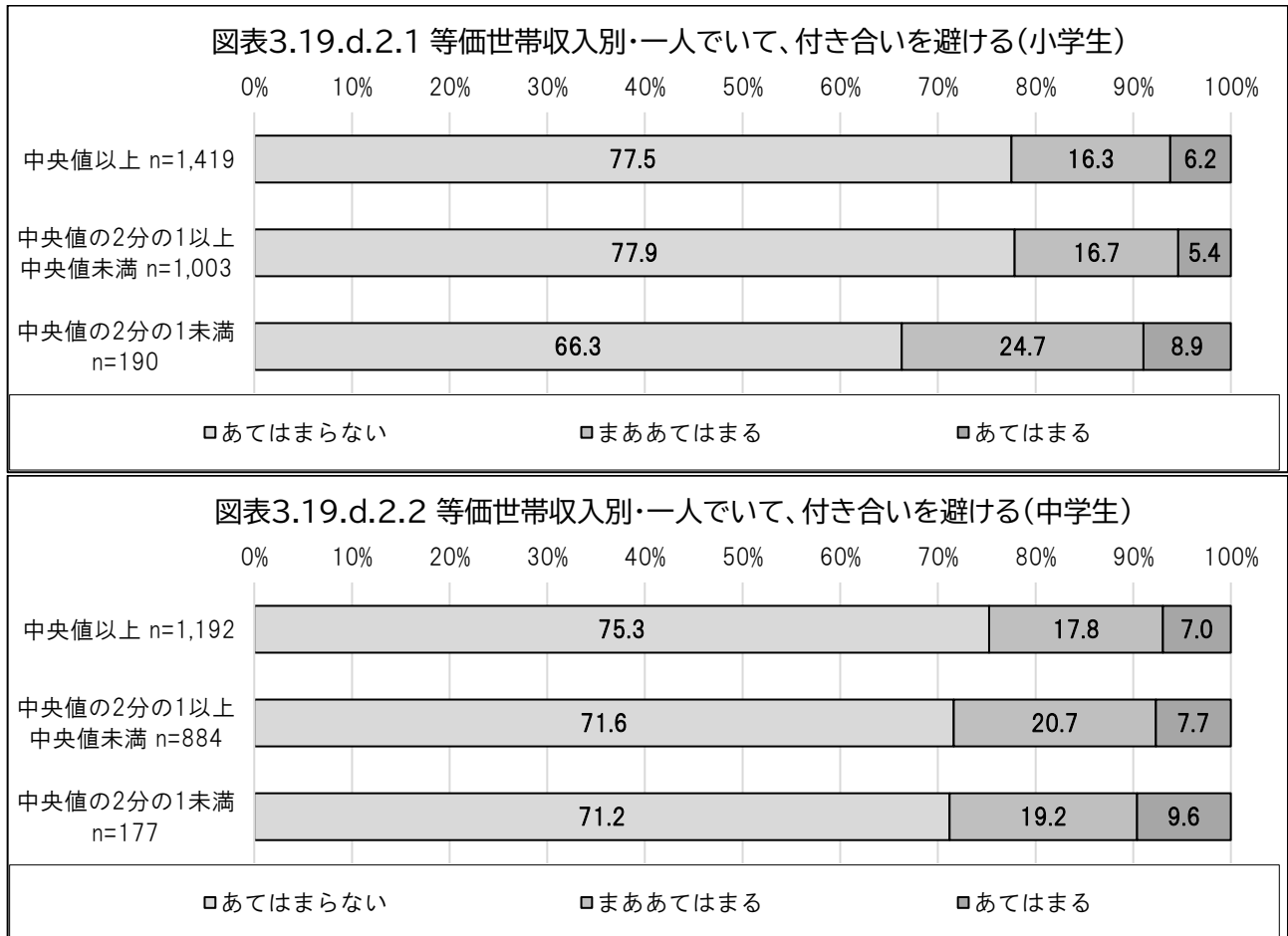
(1)全体

たいてい一人でいて、だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避けるかについて、小学生・中学生ともに、「あてはまらない」が75.2%、72.2%、「まああてはまる」が16.3%、18.8%、「あてはまる」が5.9%、7.1%となっています。



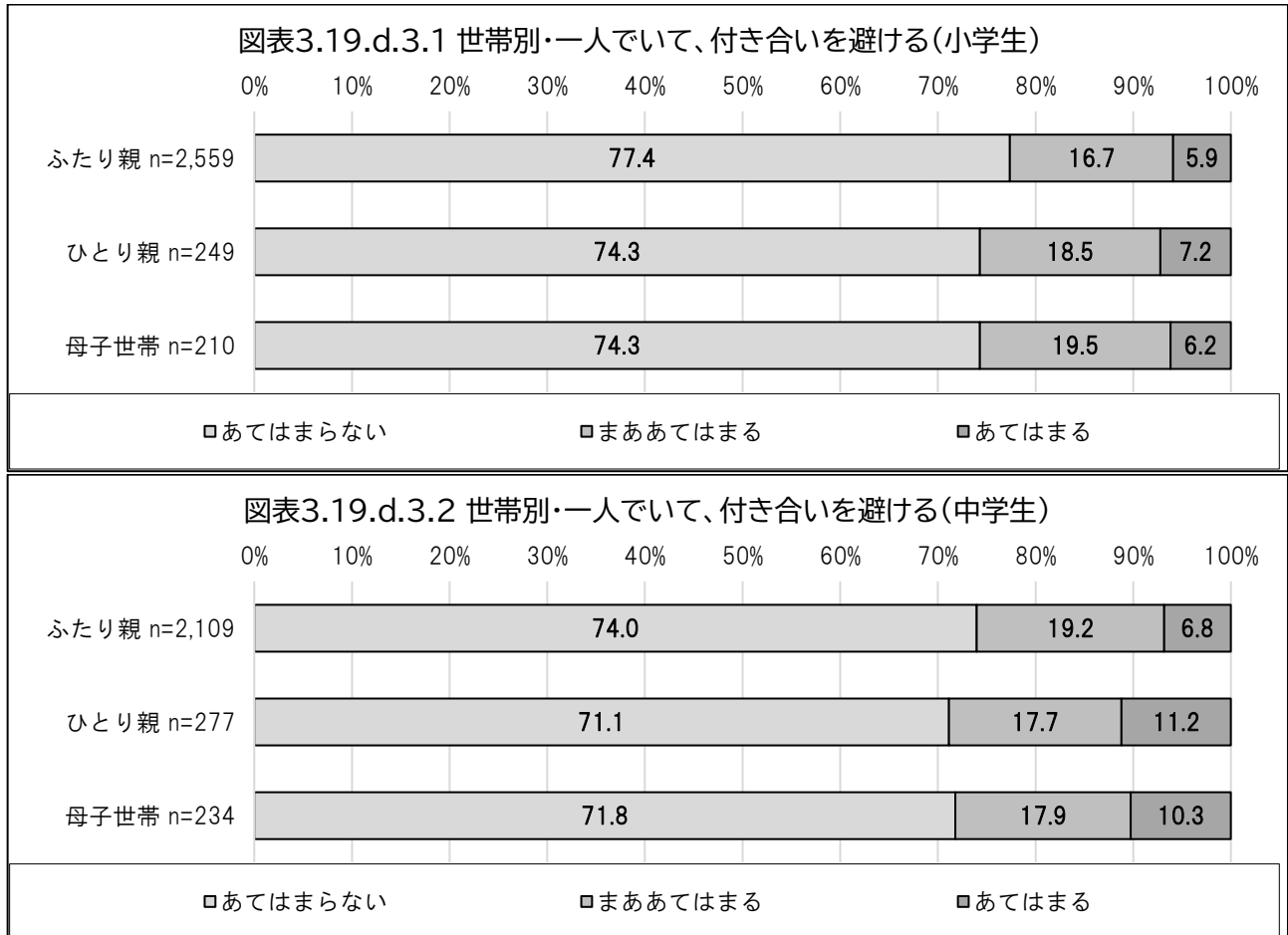
(2)等価世帯収入別

たいてい一人でいて、だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避けるかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が5.9%、中学生が7.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が8.9%、中学生が9.6%とやや高くなっています。



(3)世帯別

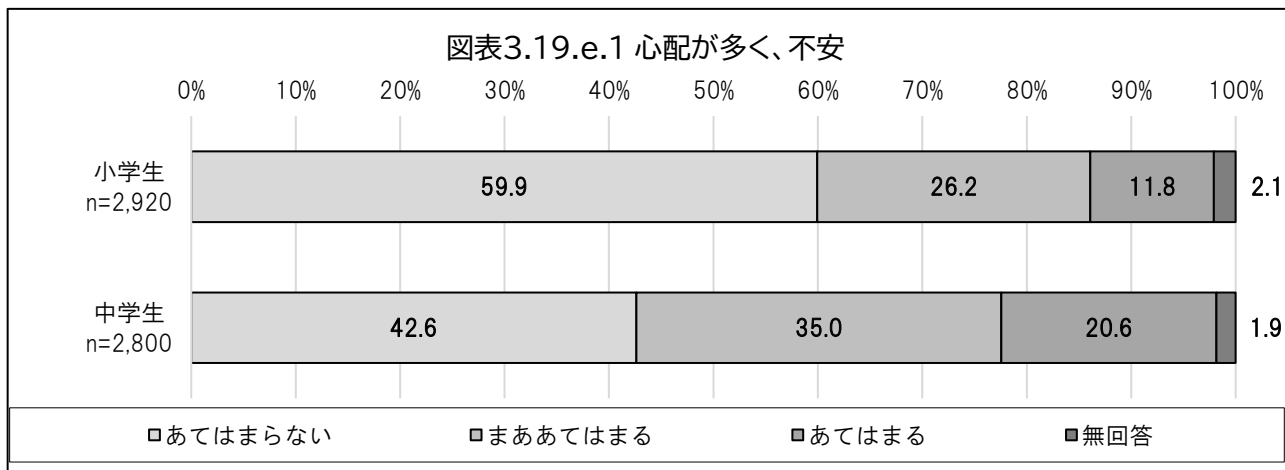
たいてい一人でいて、だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避けるかについて、世帯別に見ると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が5.9%、中学生が7.1%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が7.2%、中学生が11.2%とやや高くなっています。



e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。

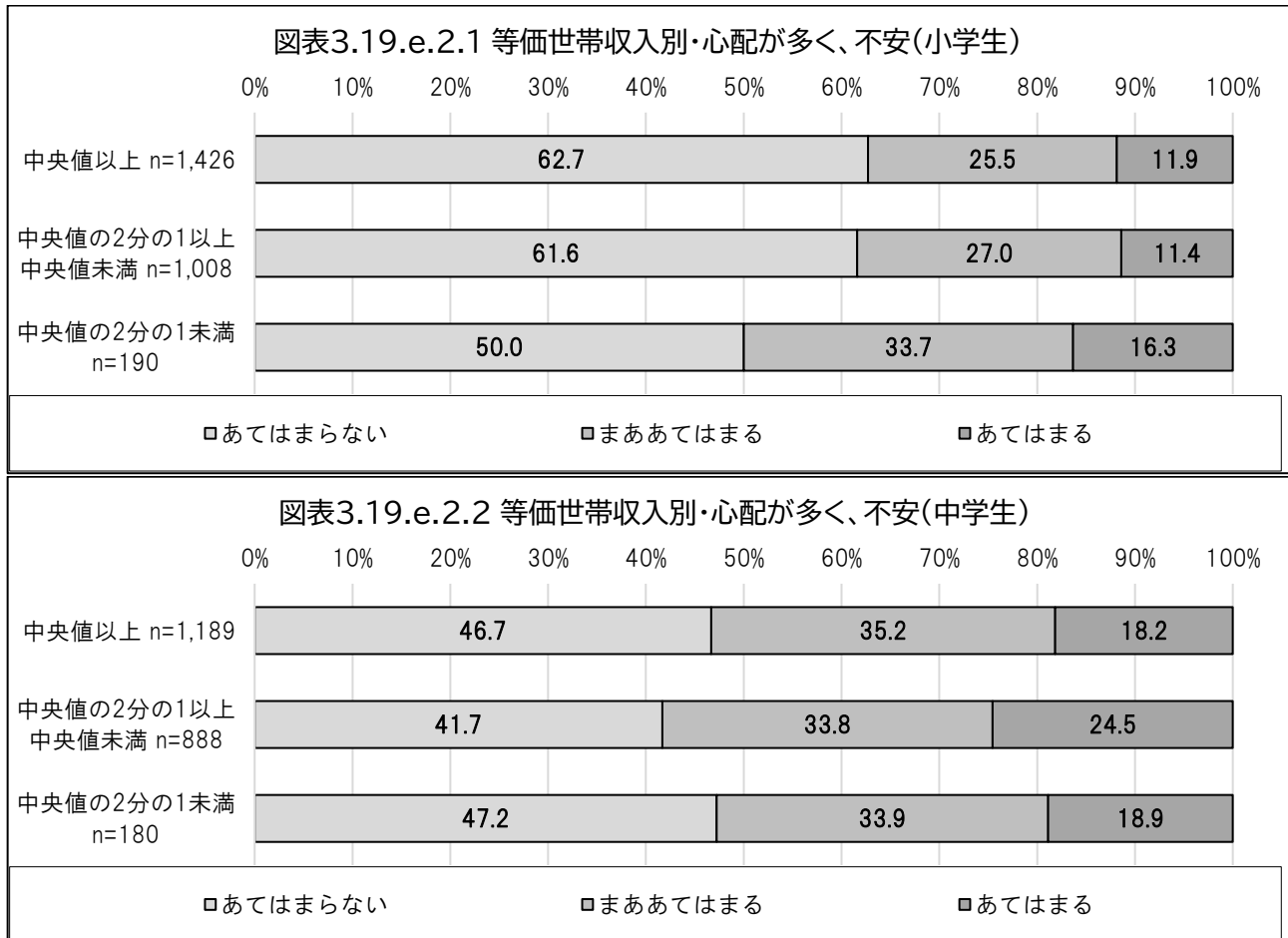
(1)全体

心配ごとが多く、いつも不安かについて、小学生・中学生ともに、「あてはまらない」が59.9%、42.6%と最も高く、次いで「まああてはまる」が26.2%、35.0%、「あてはまる」が11.8%、20.6%となっています。



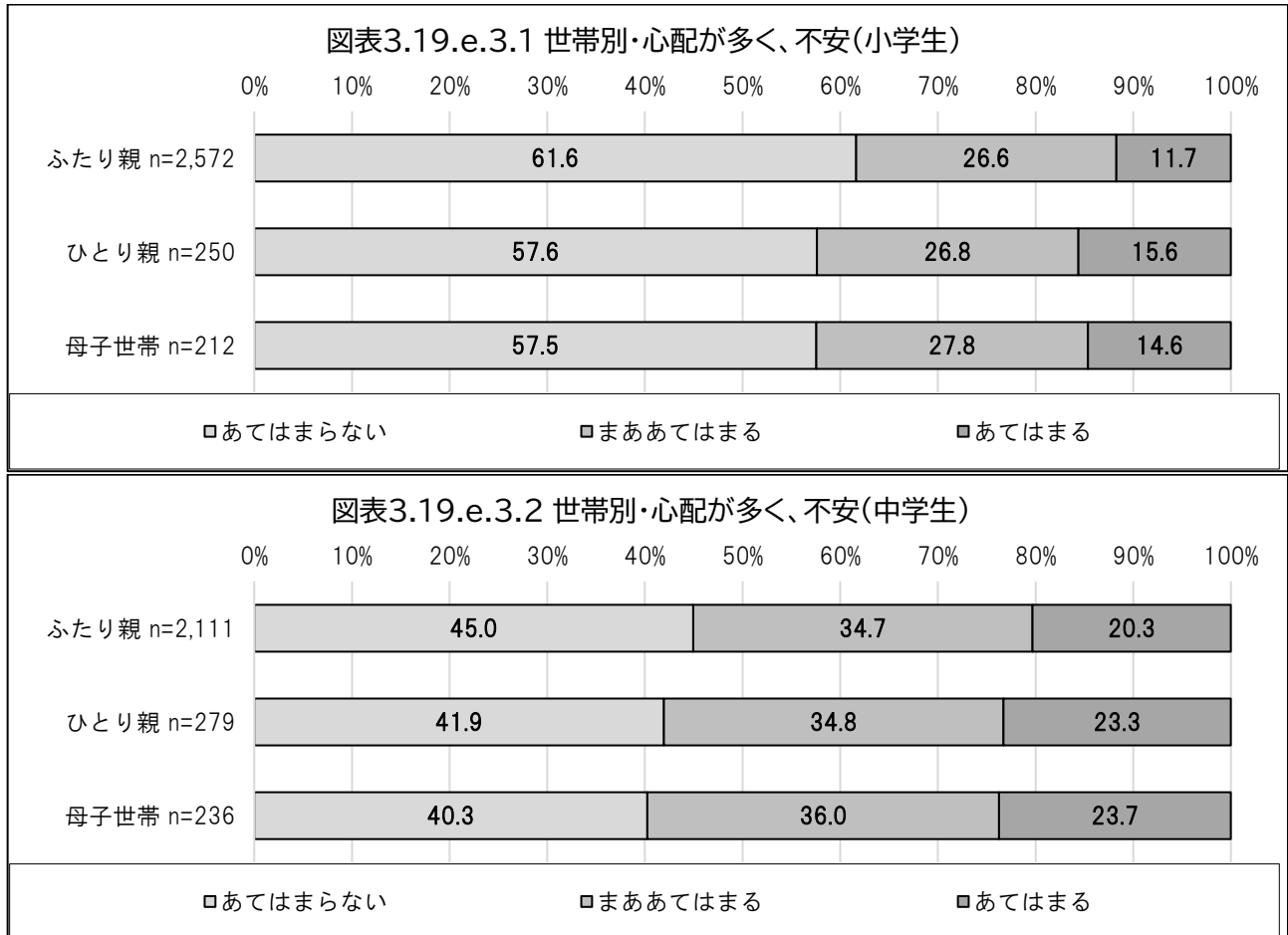
(2)等価世帯収入別

心配ごとが多く、いつも不安かについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が11.8%、中学生が20.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は16.3%と高くなっており、中学生では18.9%とやや低くなっています。



(3)世帯別

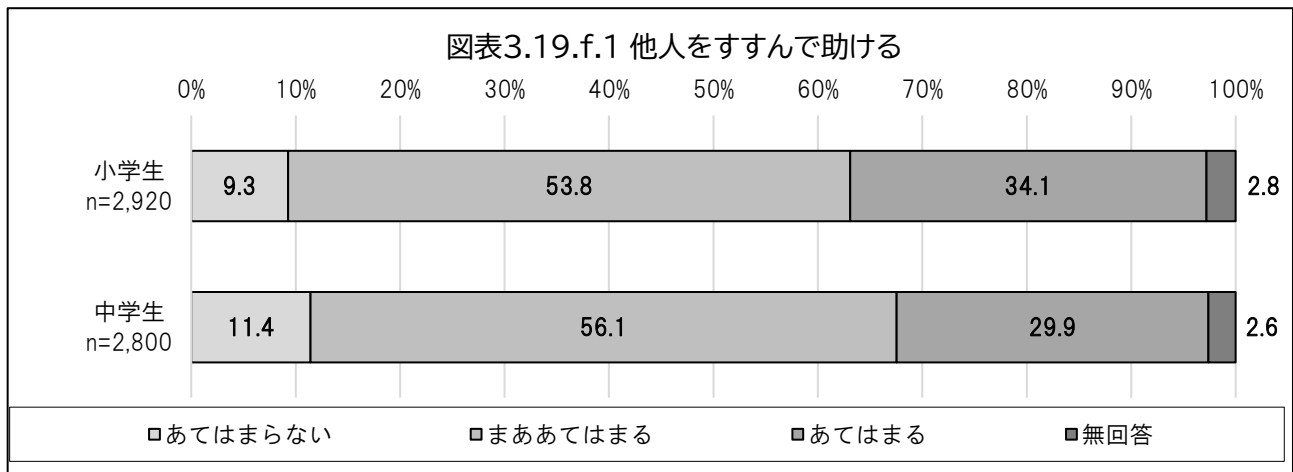
心配ごとが多く、いつも不安かについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が11.8%、中学生が20.6%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が15.6%、中学生が23.3%とやや高くなっています。



f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。

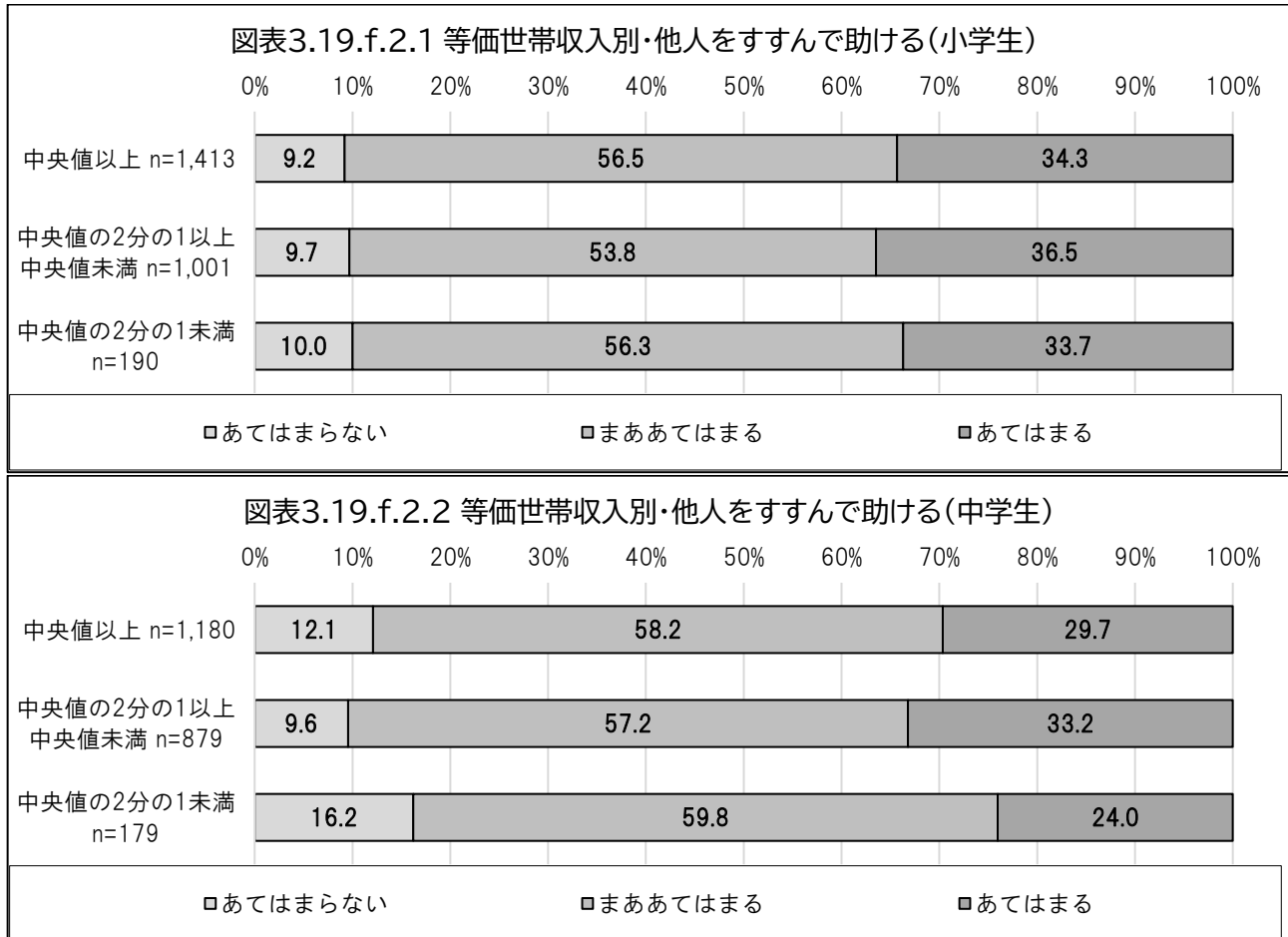
(1)全体

他人をすすんで助けるかについて、小学生・中学生ともに、「まああてはまる」が53.8%、56.1%と最も高く、次いで「あてはまる」が34.1%、29.9%、「あてはまらない」が9.3%、11.4%となっています。



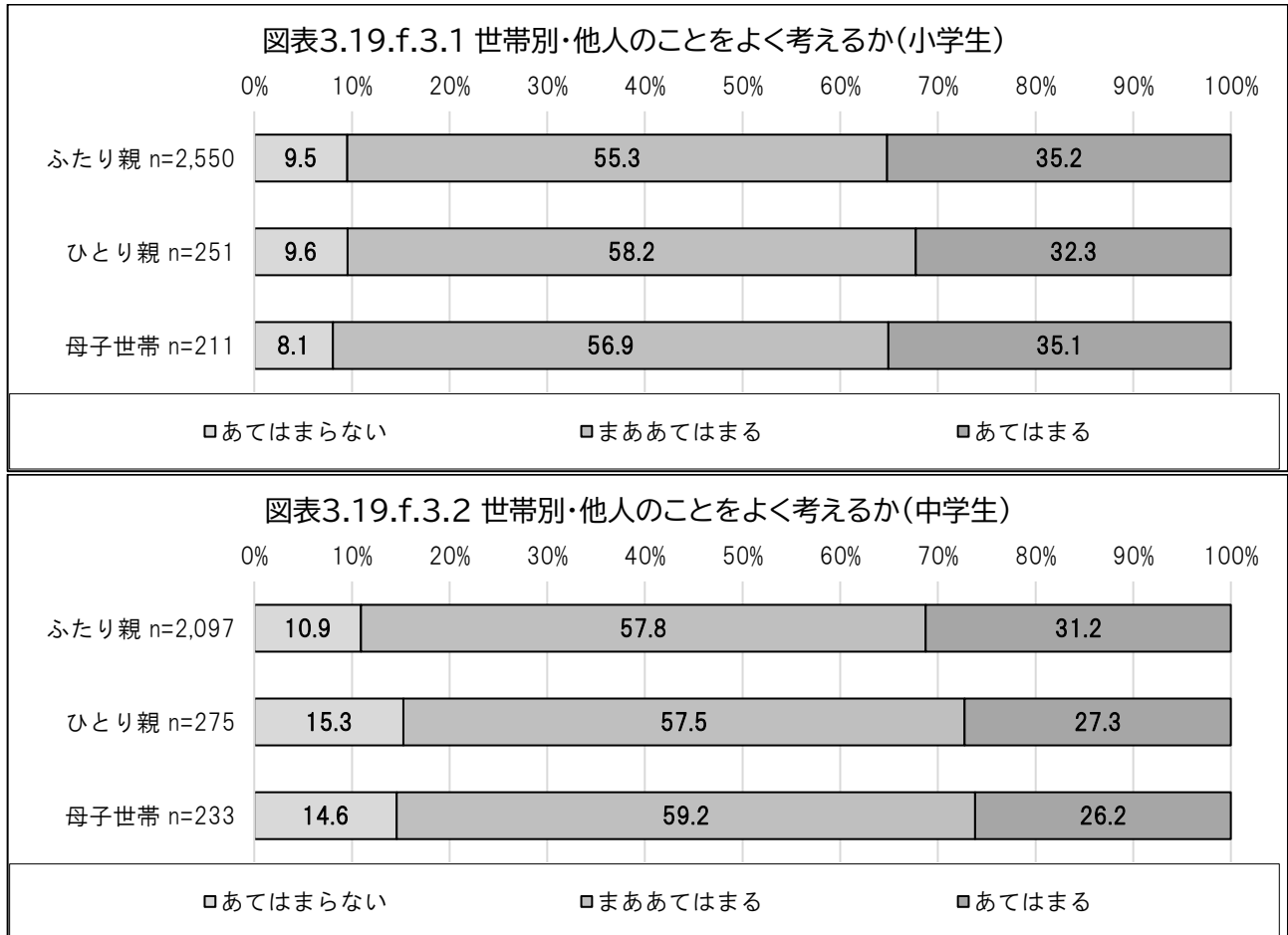
(2)等価世帯収入別

他人をすすんで助けるかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が 9.3%、中学生が 11.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は 10.0%と同程度、中学生では 16.2%と高くなっています。



(3)世帯別

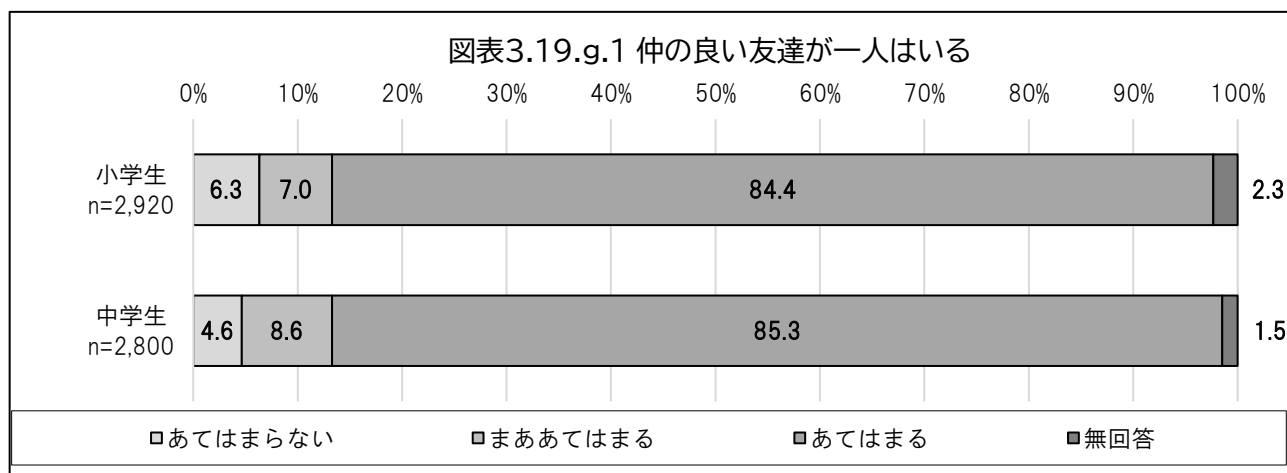
他人をすすんで助けるかについて、世帯別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が9.3%、中学生が11.4%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生は9.6%と同程度、中学生では15.3%とやや高くなっています。



g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。

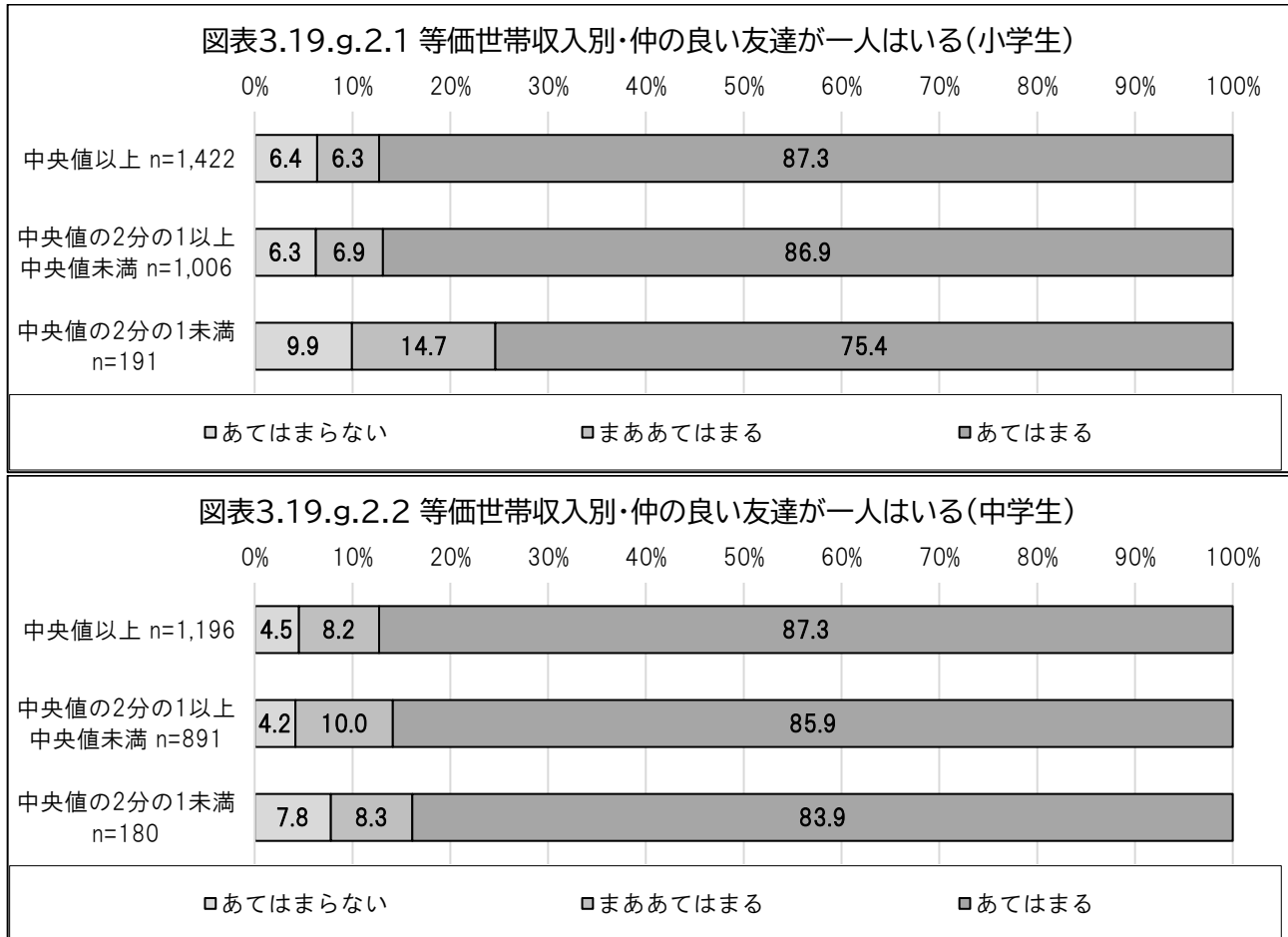
(1)全体

仲の良い友達が少なくとも一人はいるかについて、小学生・中学生ともに「あてはまる」が 84.4%、85.3%と最も高く、次いで「まああてはまる」が 7.0%、8.6%、「あてはまらない」が 6.3%、4.6%となっています。



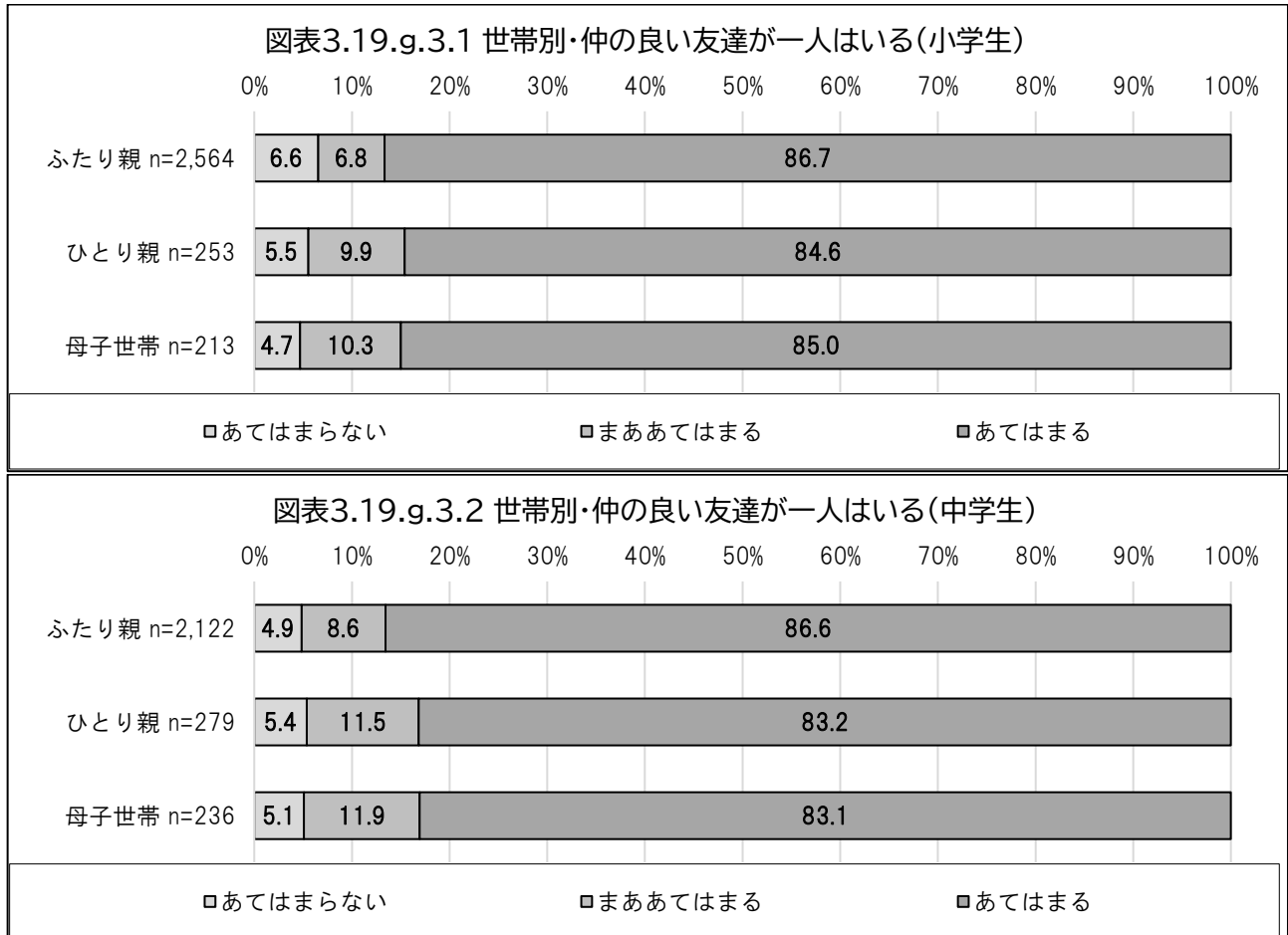
(2)等価世帯収入別

仲の良い友達が少なくとも一人はいるかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が6.3%、中学生が4.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が9.9%、中学生が7.8%とやや高くなっています。



(3)世帯別

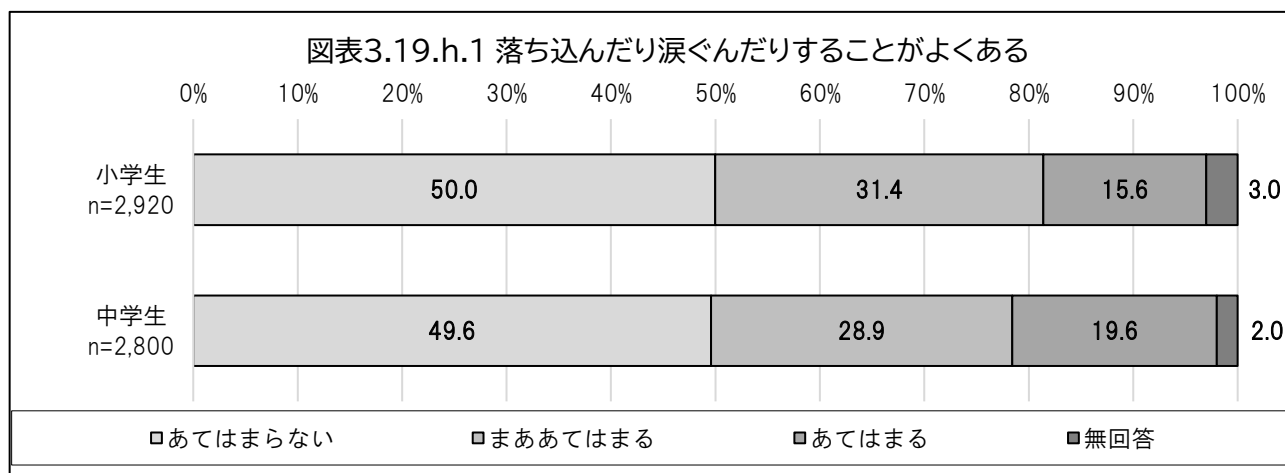
仲の良い友達が少なくとも一人はいるかについて、世帯別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が6.3%、中学生が4.6%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が5.5%、中学生が5.4%で同程度となっています。



h) 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。

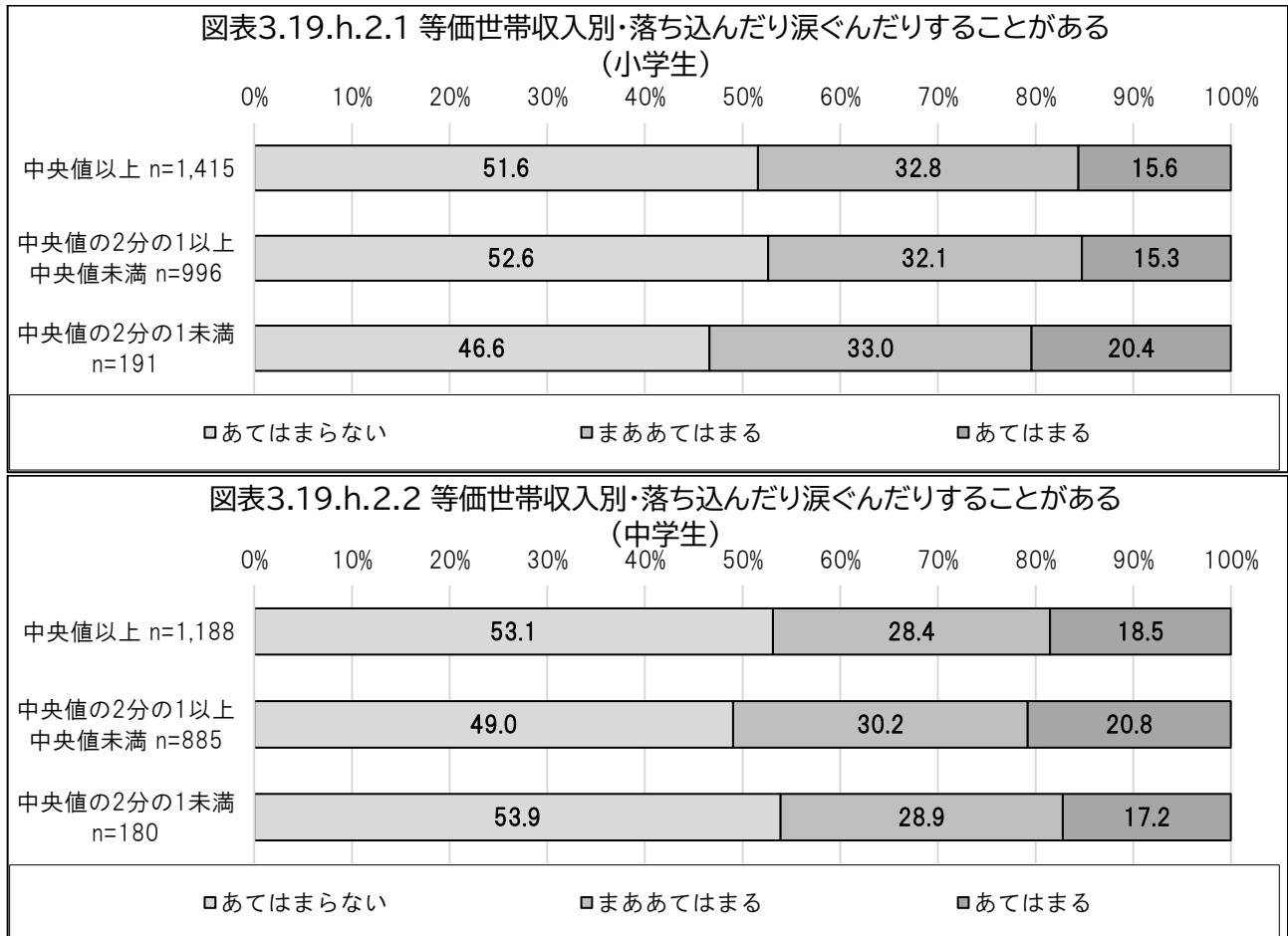
(1)全体

落ち込んだり涙ぐんだりすることがよくあるかについて、小学生・中学生ともに「あてはまらない」が50.0%、49.6%が最も高く、次いで「まああてはまる」が31.4%、28.9%、「あてはまる」が15.6%、19.6%となっています。



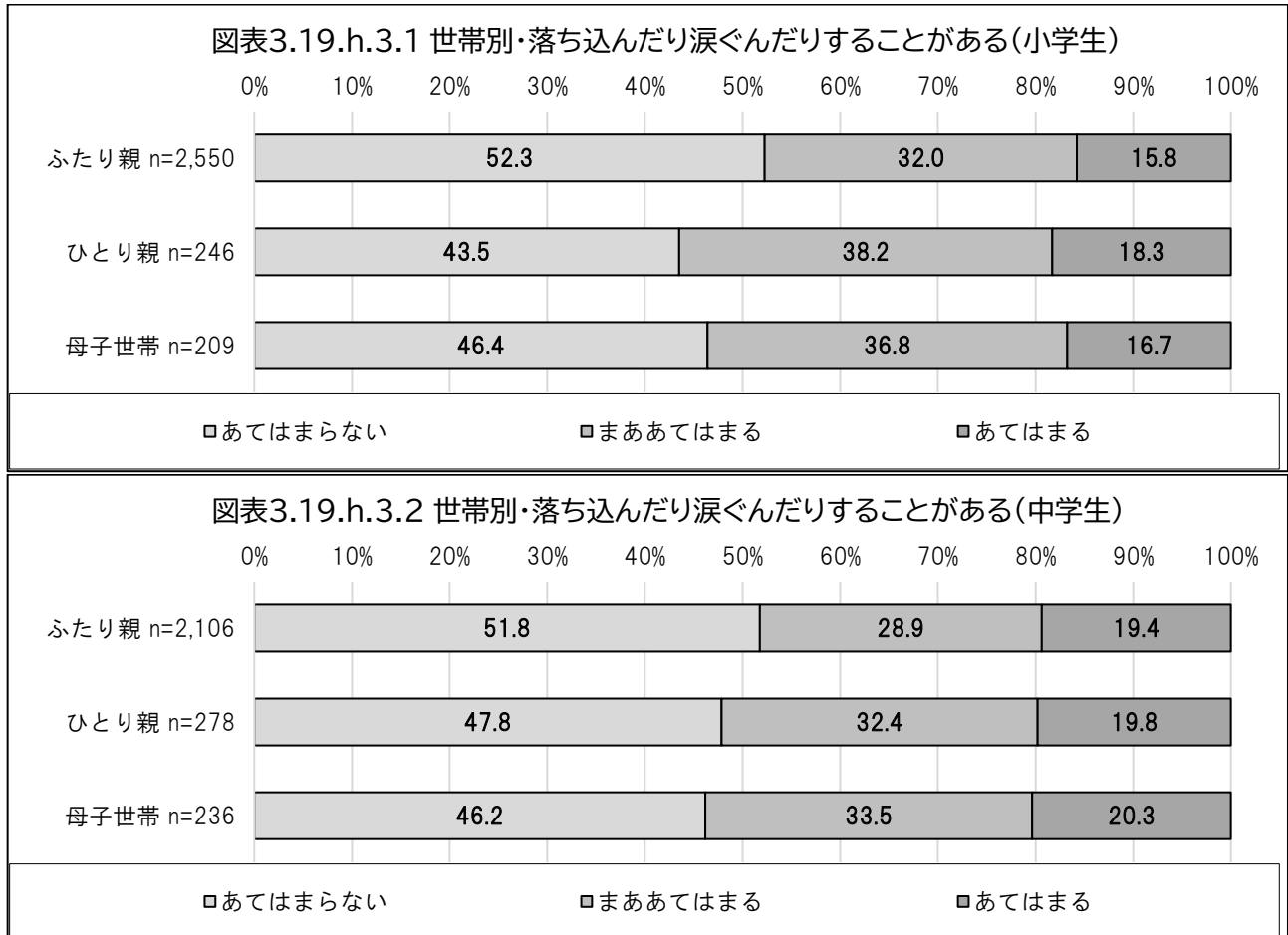
(2)等価世帯収入別

落ち込んだり涙ぐんだりすることがよくあるかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が15.6%、中学生が19.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は20.4%と高くなっており、中学生では17.2%とやや低くなっています。



(3)世帯別

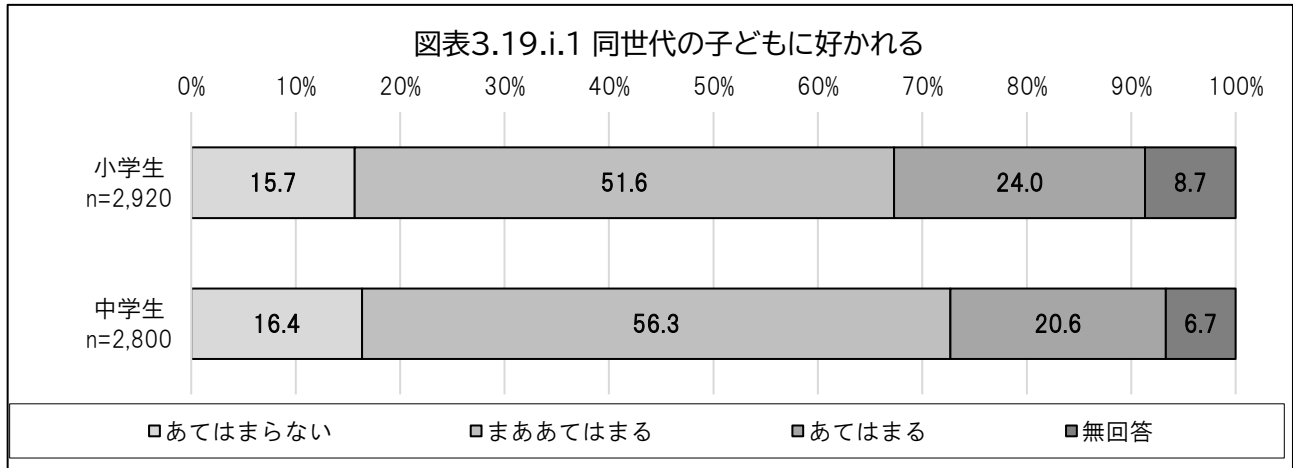
落ち込んだり涙ぐんだりすることがよくあるかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が15.6%、中学生が19.6%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生は18.3%とやや高くなっており、中学生では19.8%で同程度となっています。



i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。

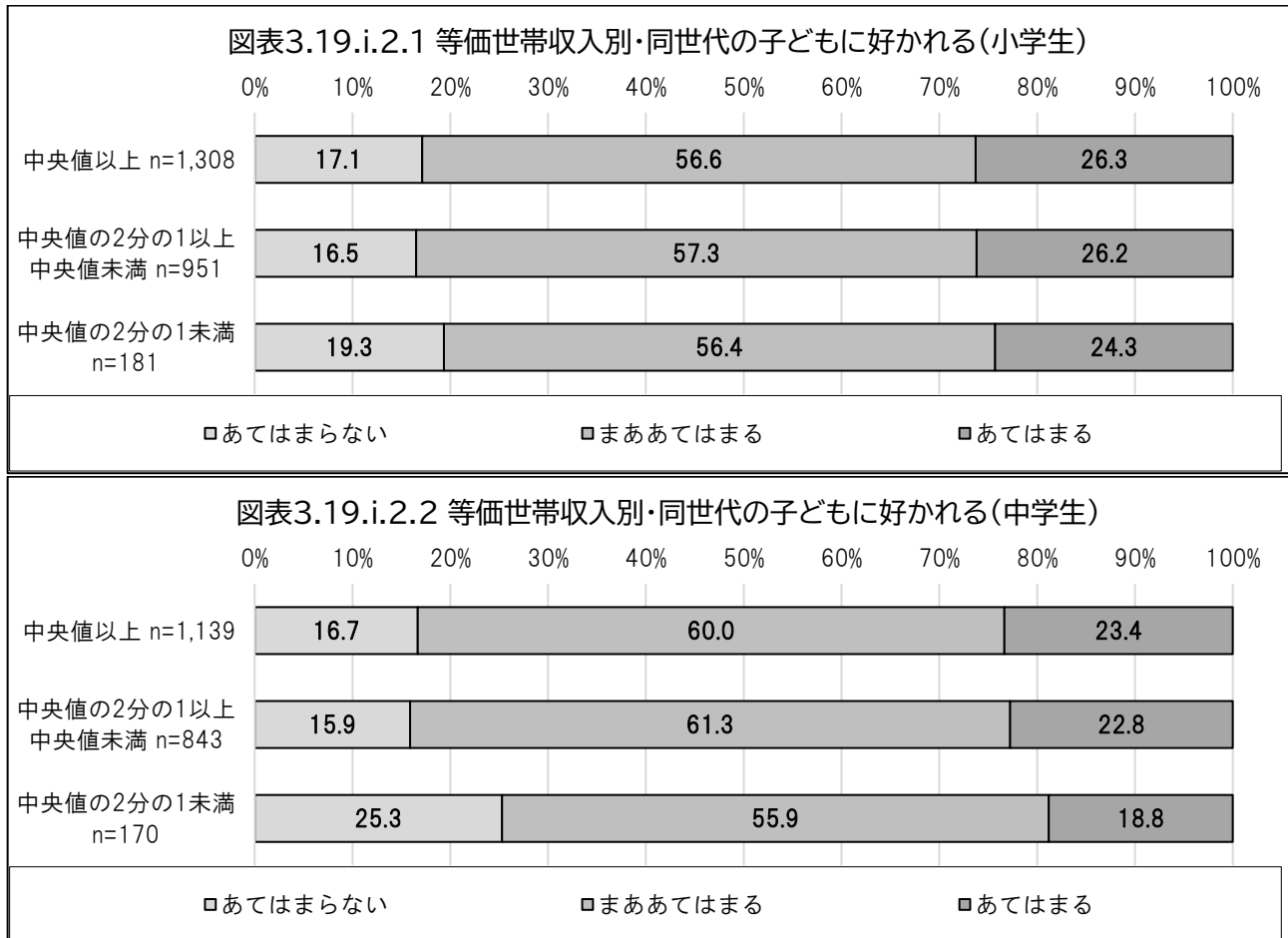
(1)全体

同じくらいの年齢の子供からだいたい好かれるかについて、小学生・中学生ともに「まああてはまる」が51.6%、56.3%と最も高く、次いで「あてはまる」が24.0%、20.6%、「あてはまらない」が15.7%、16.4%となっています。



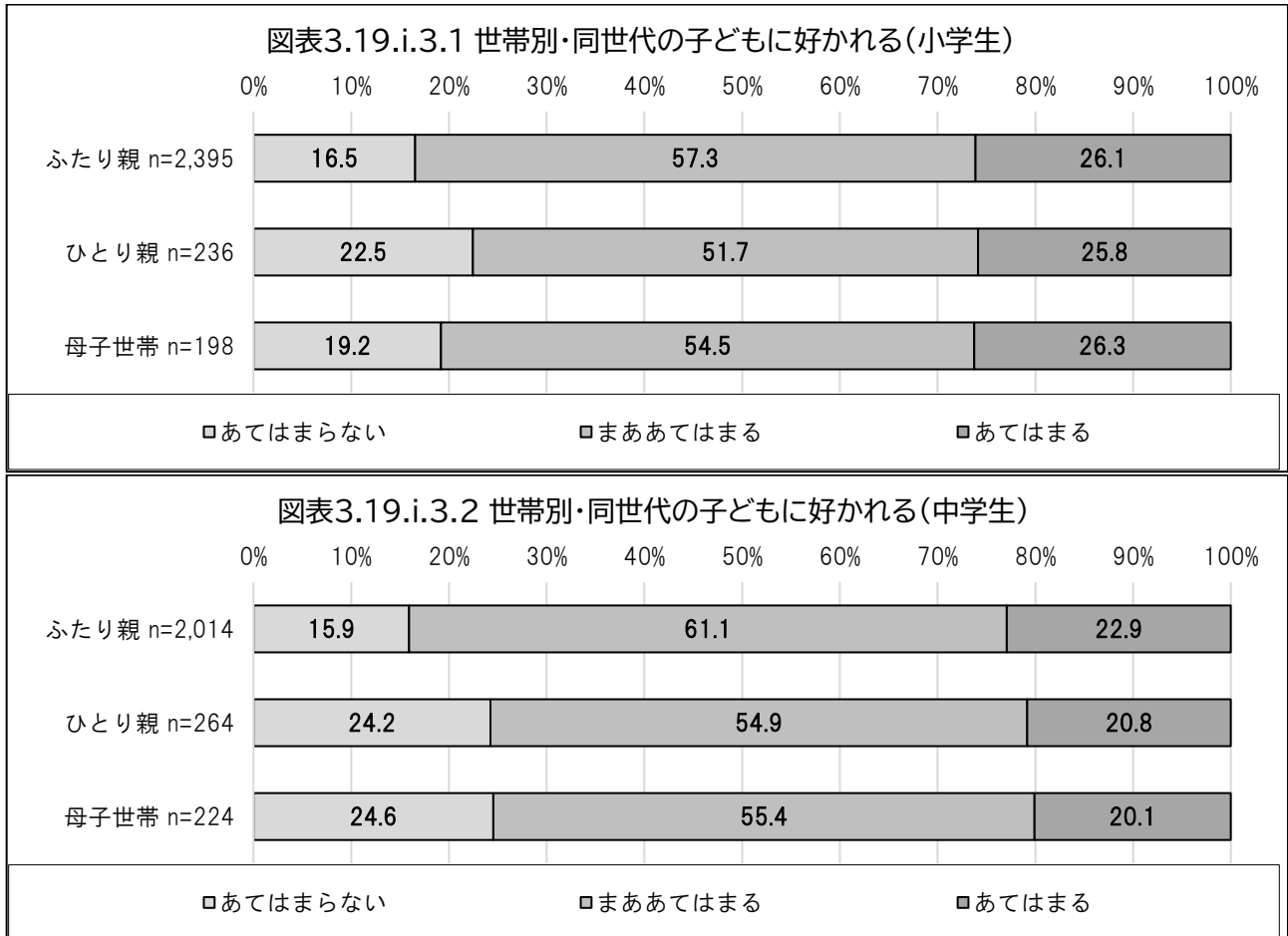
(2)等価世帯収入別

同じくらいの年齢の子供からだいたい好かれるかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が15.7%、中学生が16.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が19.3%、中学生が25.3%と高くなっています。



(3)世帯別

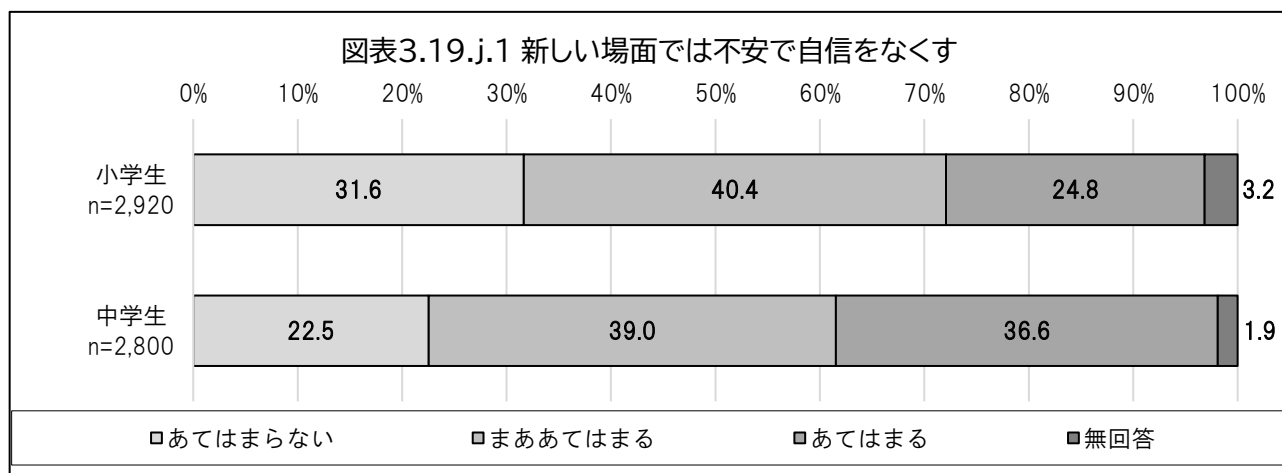
同じくらいの年齢の子供からだいたい好かれるかについて、世帯にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が15.7%、中学生が16.4%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が22.5%、中学生が24.2%と高くなっています。



j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。

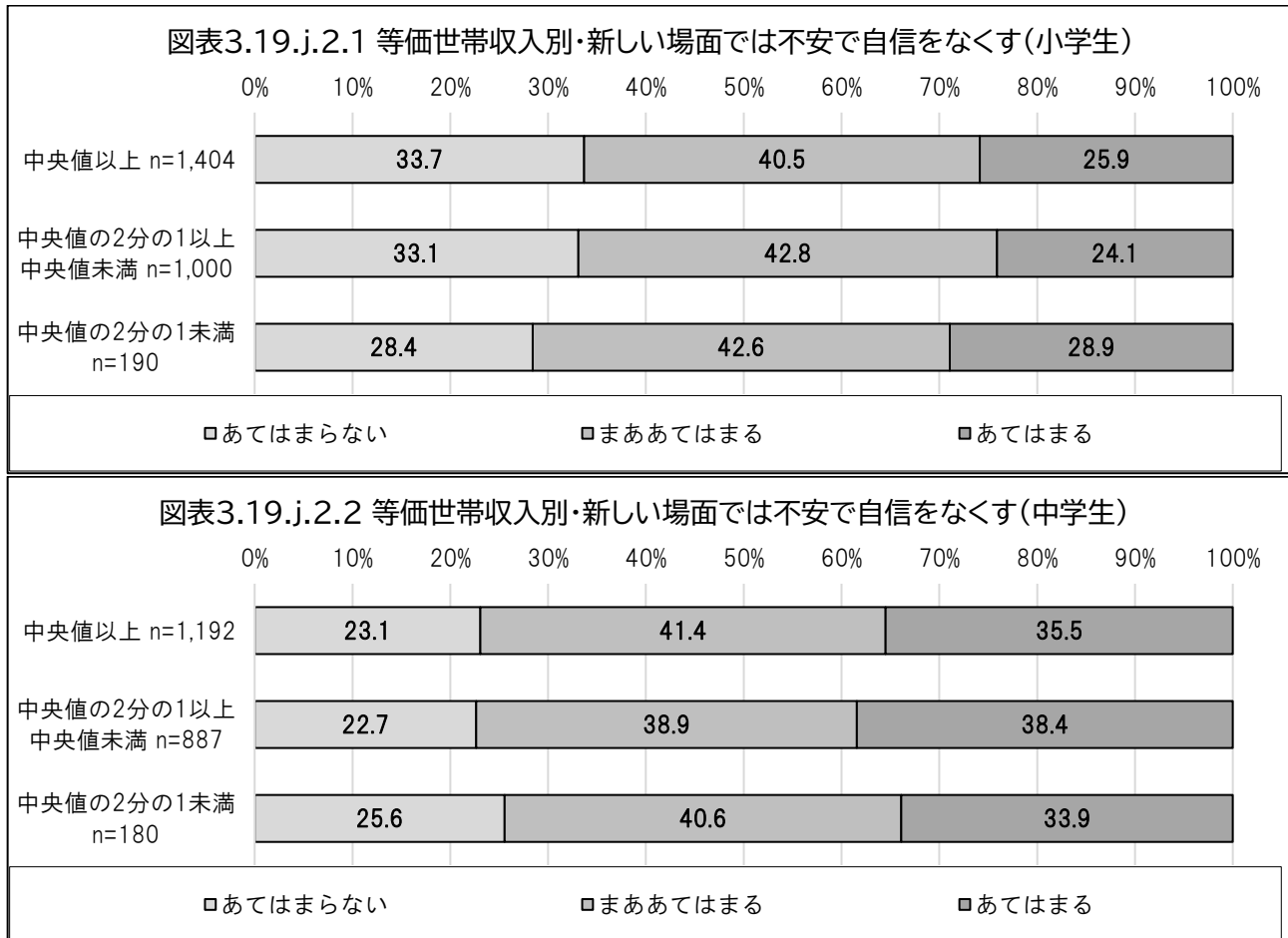
(1)全体

新しい場面では不安になり、自信をなくしやすいかについて、小学生・中学生ともに「まああてはまる」が40.4%、39.0%が最も高く、次いで小学生は「あてはまらない」が31.6%、「あてはまる」が24.8%、中学生は「あてはまる」が36.6%、「あてはまらない」が22.5%となっています。



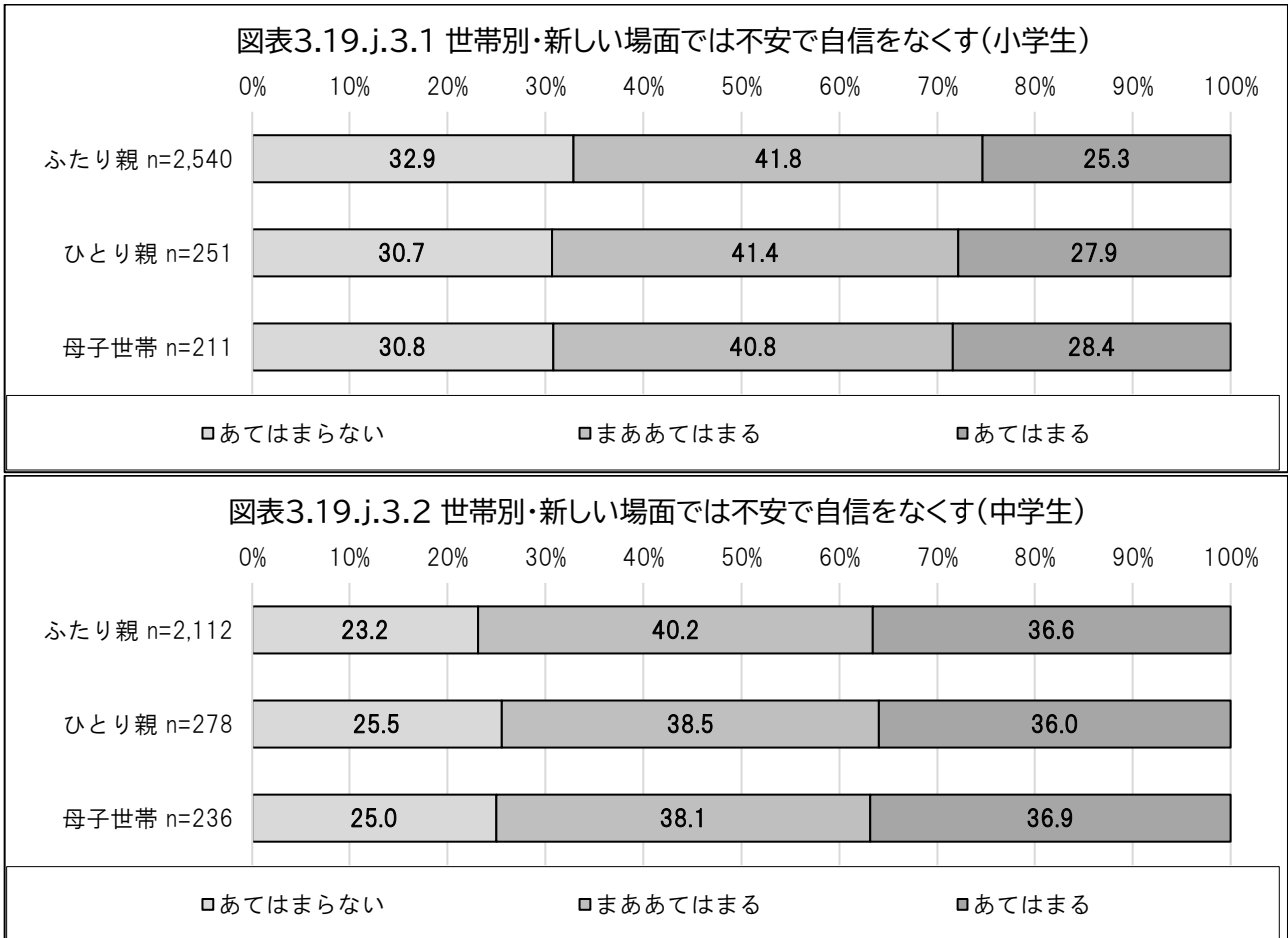
(2)等価世帯収入別

新しい場面では不安になり、自信をなくしやすいかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が24.8%、中学生が36.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学は28.9%と高くなっており、中学生では33.9%とやや低くなっています。



(3)世帯別

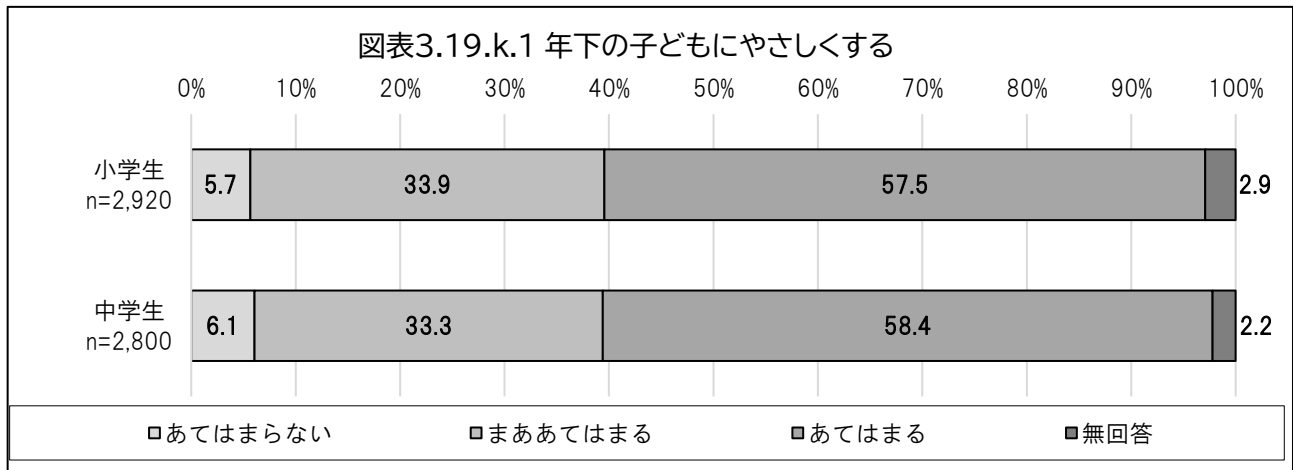
新しい場面では不安になり、自信をなくしやすいかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が24.8%、中学生が36.6%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学は27.9%とやや高くなっており、中学生では36.0%と同程度となっています。



k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。

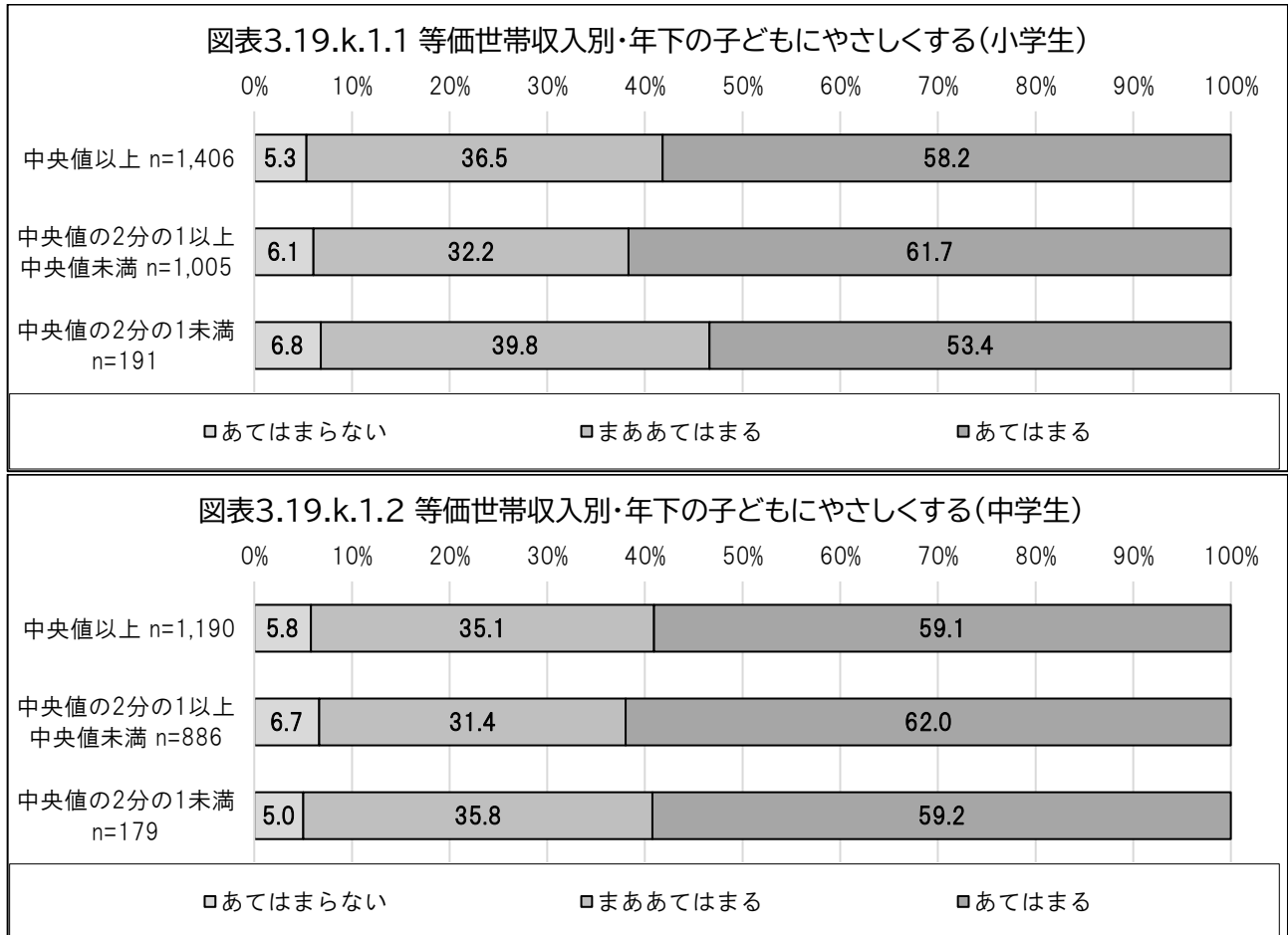
(1)全体

年下の子どもにやさしくするかについて、小学生・中学生ともに「あてはまる」が57.5%、58.4%が最も高く、次いで「まああてはまる」が33.9%、33.3%、「あてはまらない」が5.7%、6.1%となっています。



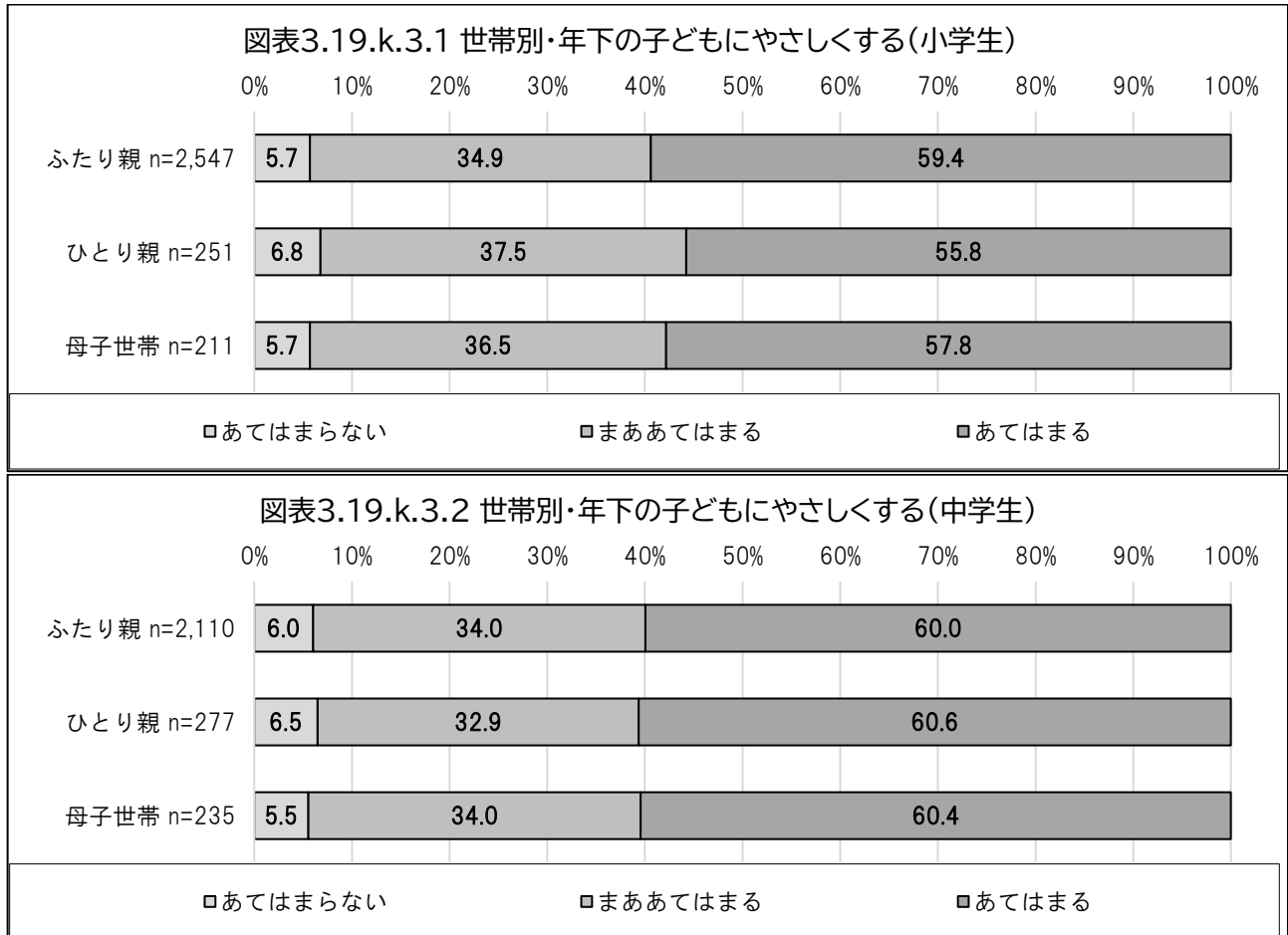
(2)等価世帯収入別

年下の子どもにやさしくするかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が5.7%、中学生が6.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が6.8%、中学生が5.0%で同程度となっています。



(3)世帯別

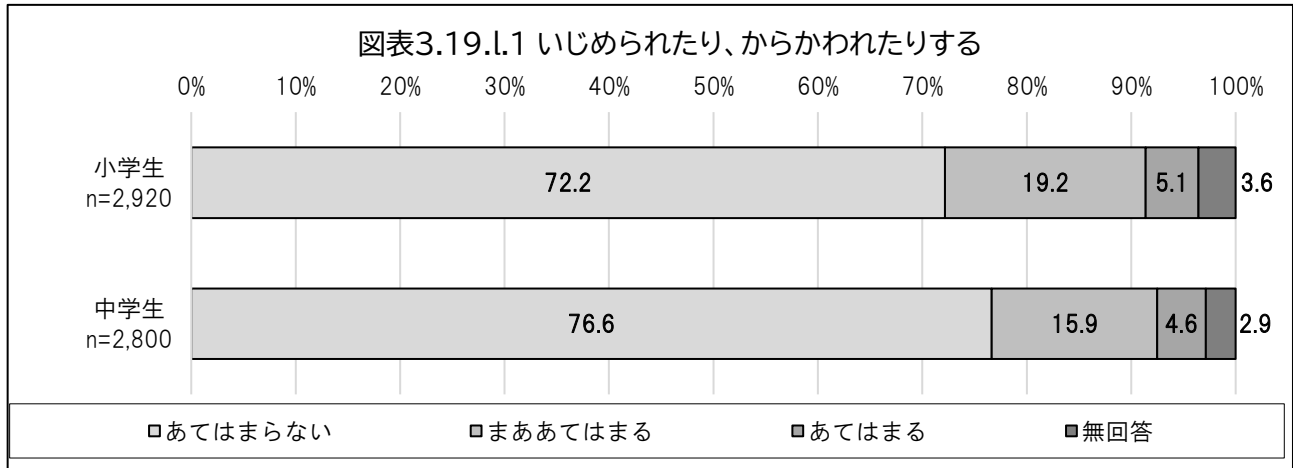
年下の子どもにやさしくするかについて、世帯別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が5.7%、中学生が6.1%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が6.8%、中学生が6.5%で同程度となっています。



l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。

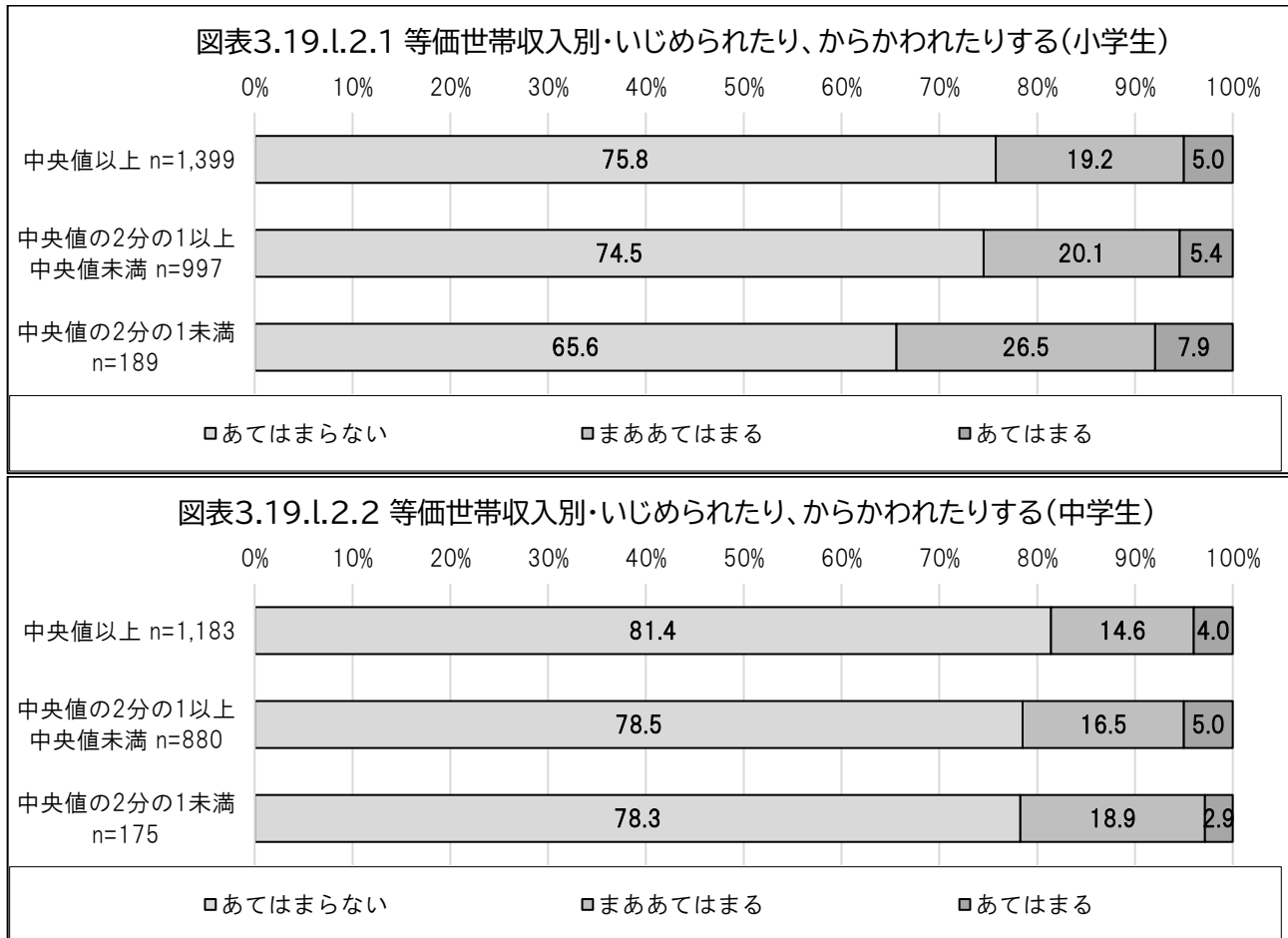
(1)全体

他の子どもからいじめられたり、からかわれたりするかについて、小学生・中学生ともに「あてはまらない」が72.2%、76.6%と最も高く、次いで「まああてはまる」が19.2%、15.9%、「あてはまる」が5.1%、4.6%となっています。



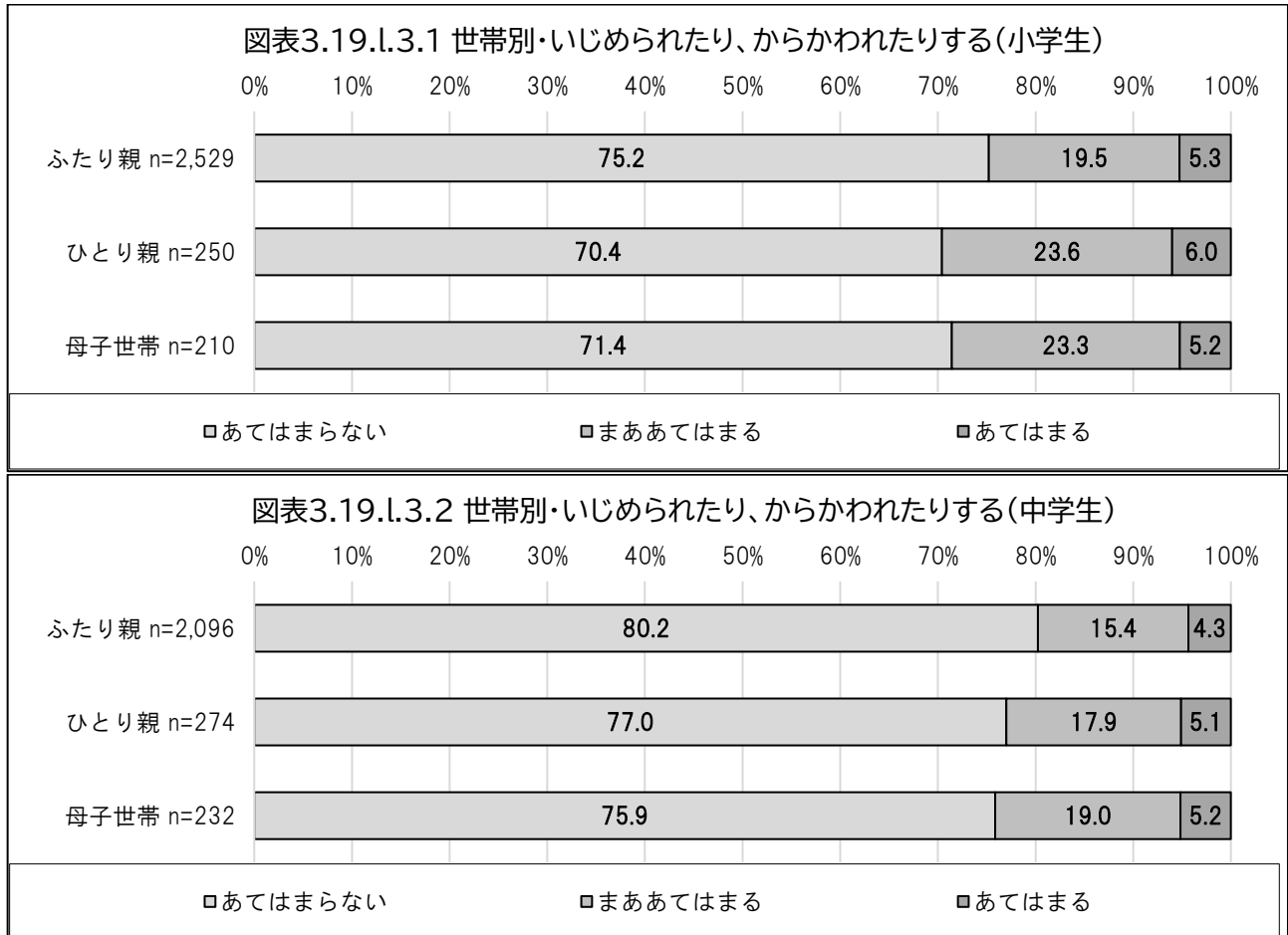
(2)等価世帯収入別

いじめられたり、からかわれたりするかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が5.1%、中学生が4.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は7.9%とやや高くなっており、中学生では2.9%とやや低くなっています。



(3)世帯別

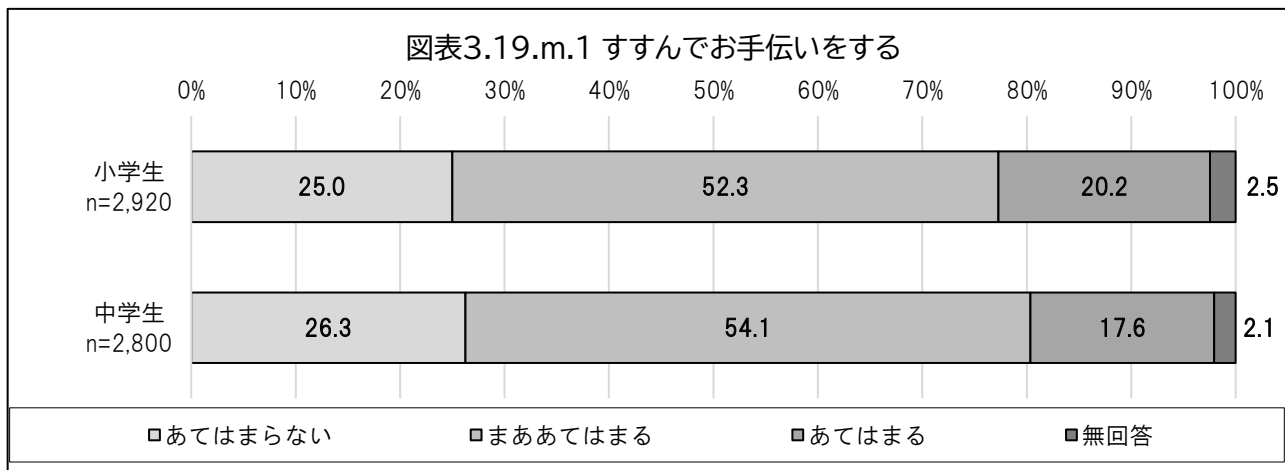
いじめられたり、からかわれたりするかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が5.1%、中学生が4.6%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が6.0%、中学生が5.1%で同程度となっています。



m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。

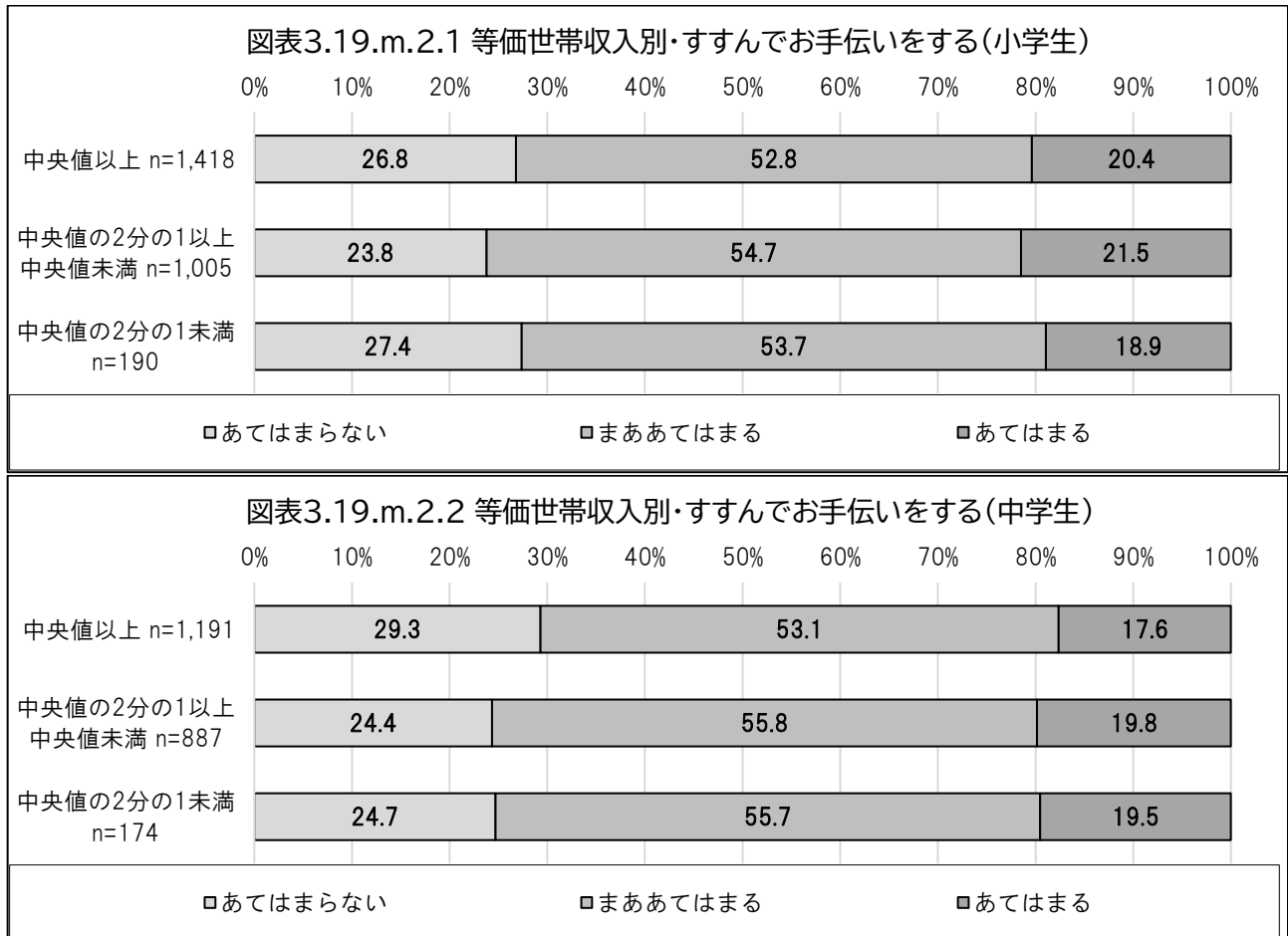
(1)全体

すすんでよくお手伝いをするかについて、小学生・中学生ともに「まああてはまる」が52.3%、54.1%と最も高く、次いで「あてはまらない」が25.0%、26.3%、「あてはまる」が20.2%、17.6%となっています。



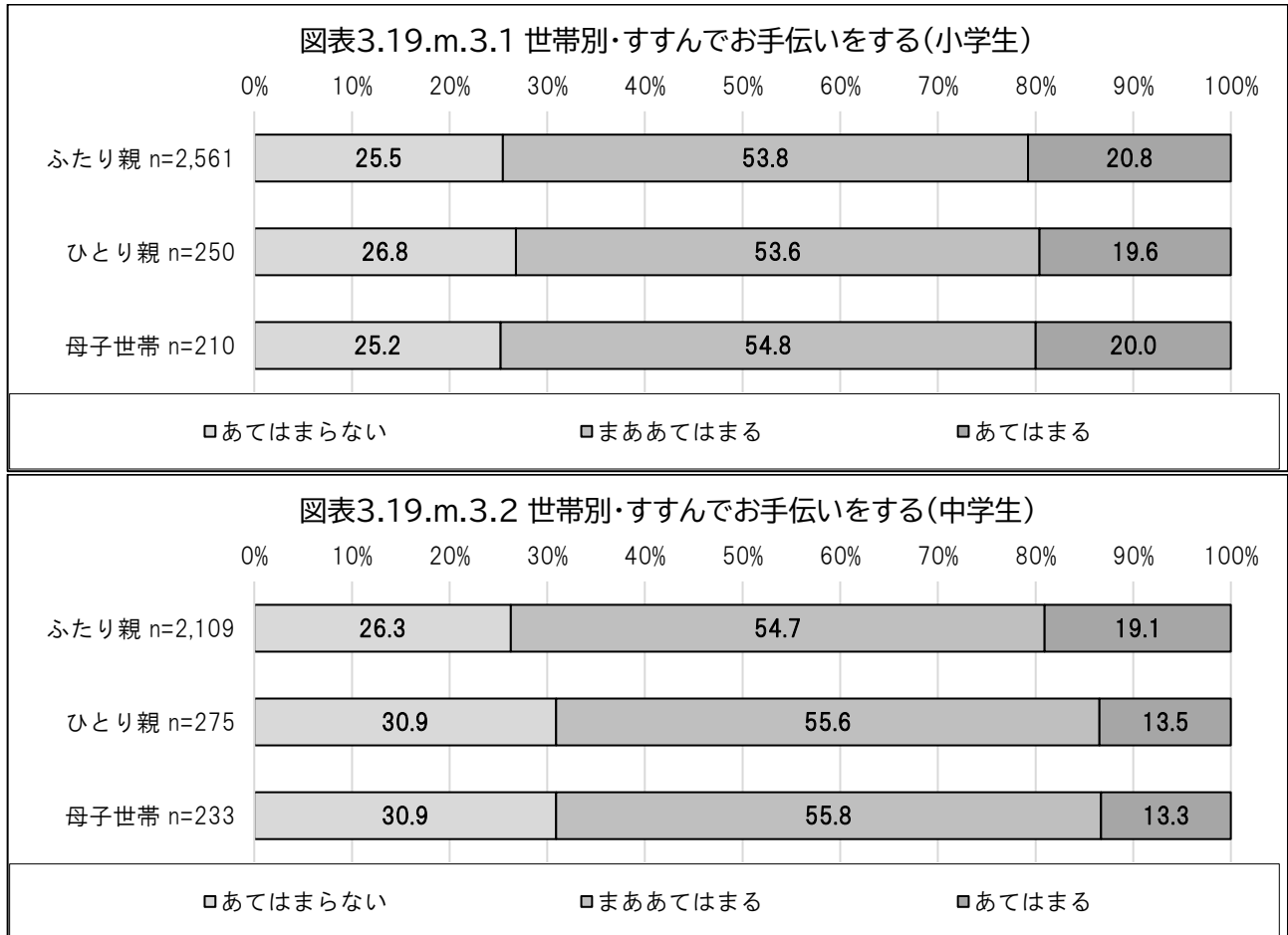
(2)等価世帯収入別

すすんでよくお手伝いをするかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が20.2%、中学生が17.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は18.9%とやや低くなっており、中学生では19.5%とやや高くなっています。



(3)世帯別

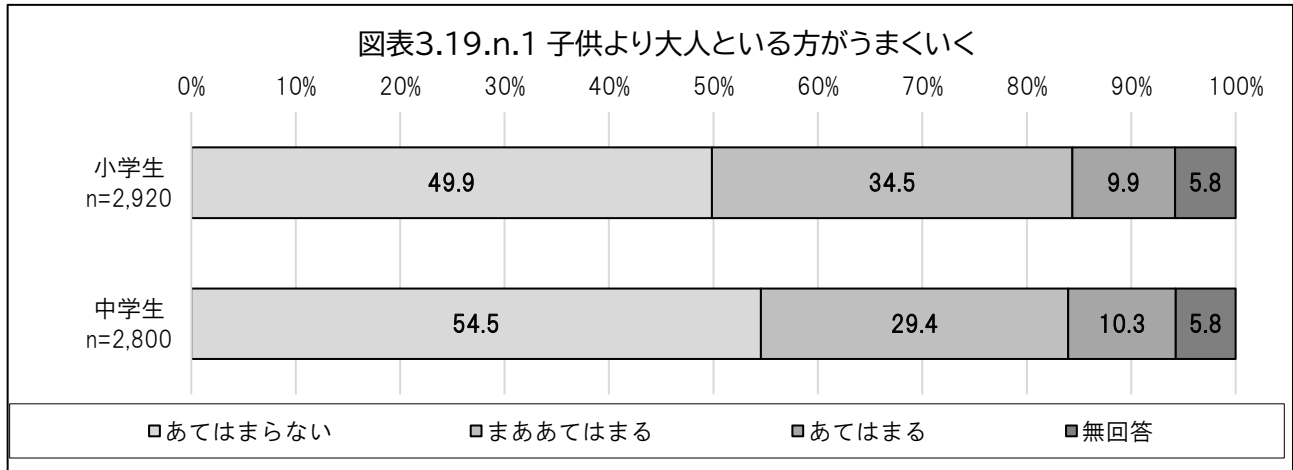
すすんでよくお手伝いをするかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が 20.2%、中学生が 17.6%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生は 19.6%と同程度、中学生では 13.5%と低くなっています。



n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまいく。

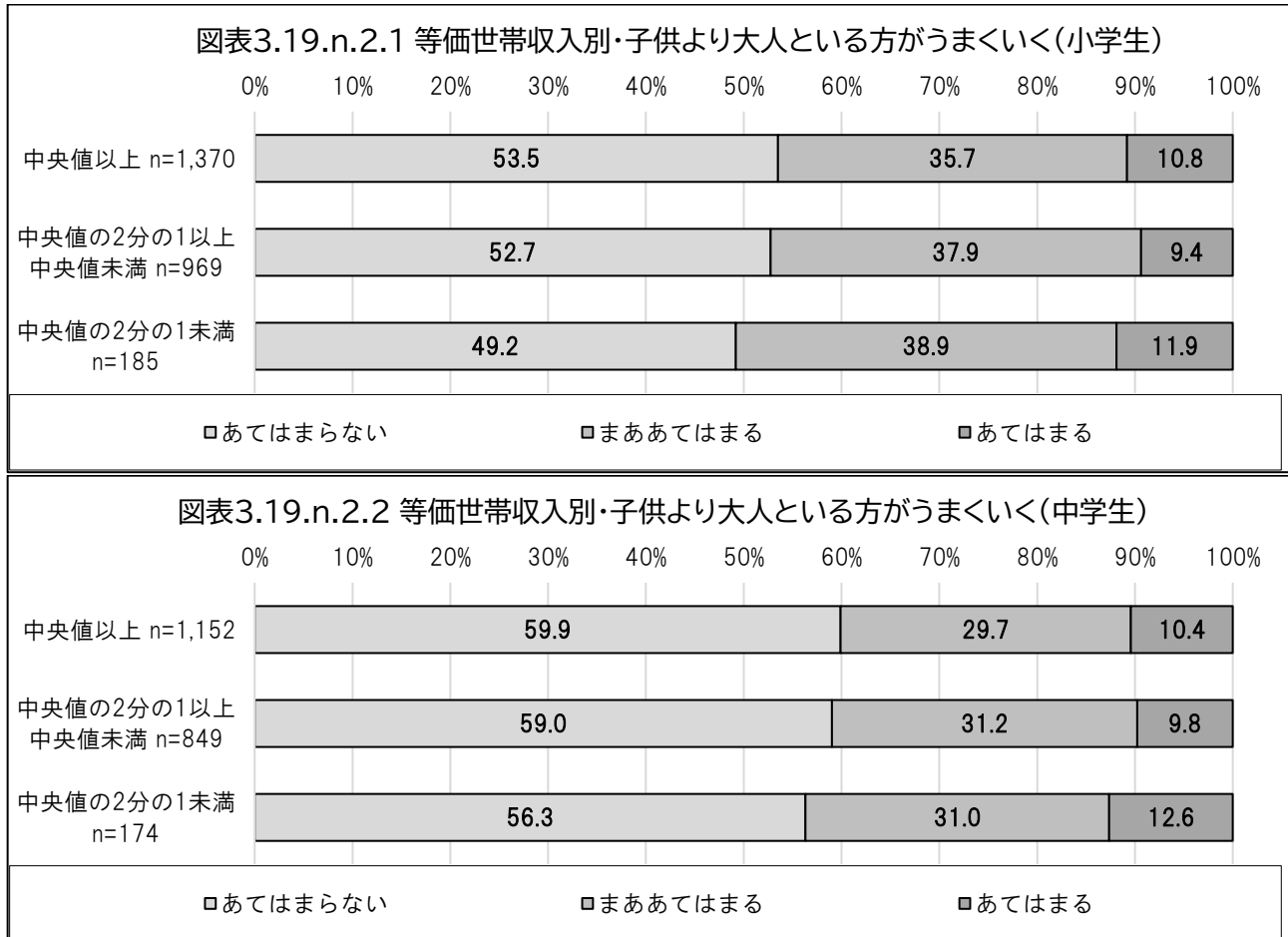
(1)全体

子供より大人という方がうまいくかについて、小学生・中学生ともに「あてはまらない」が49.9%、54.5%と最も高く、次いで「まああてはまる」が34.5%、29.4%、「あてはまる」が9.9%、10.3%となっています。



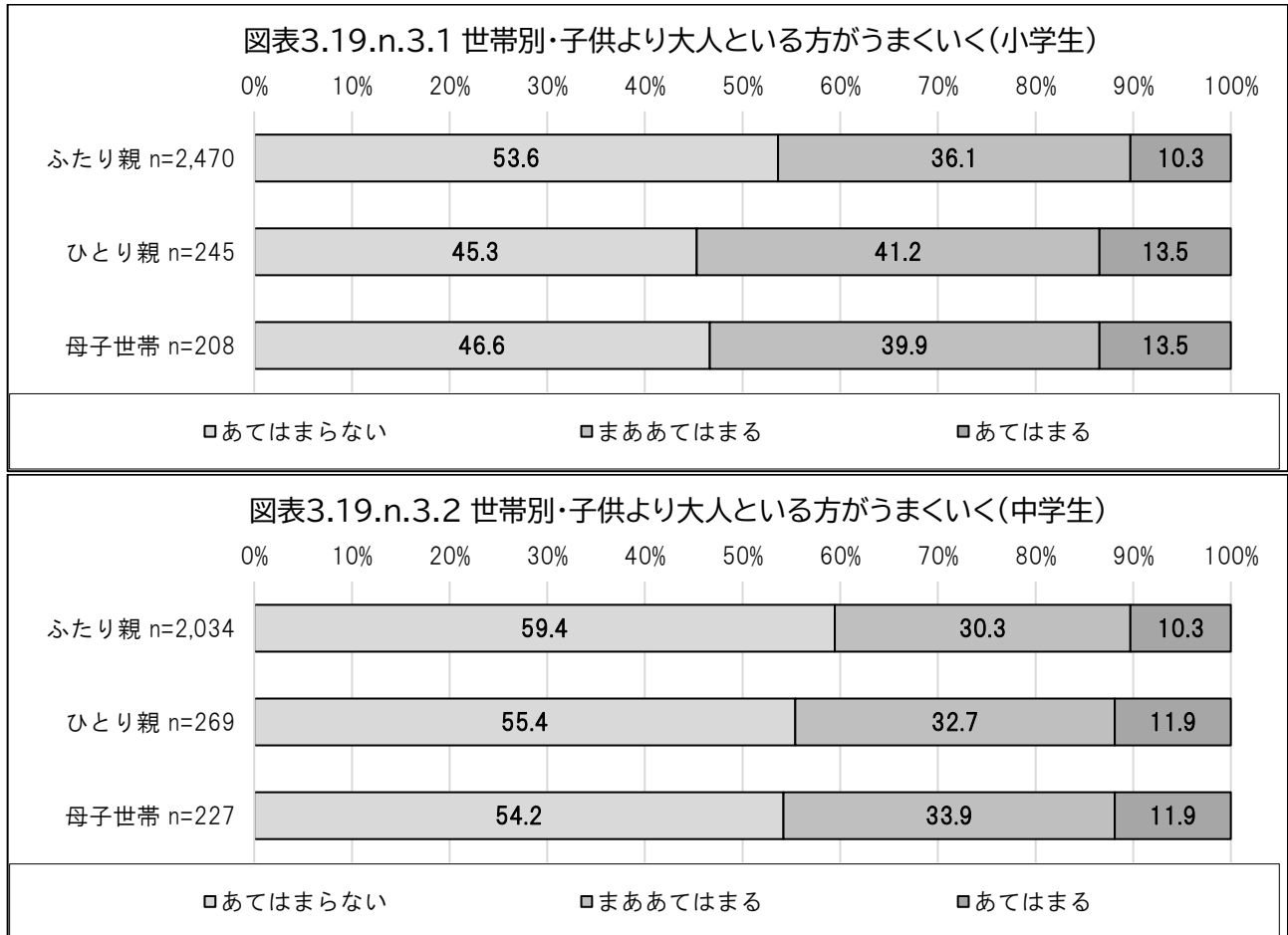
(2)等価世帯収入別

子供より大人という方がうまくいくかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が 9.9%、中学生が 10.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が 11.9%、中学生が 12.6%とやや高くなっています。



(3)世帯別

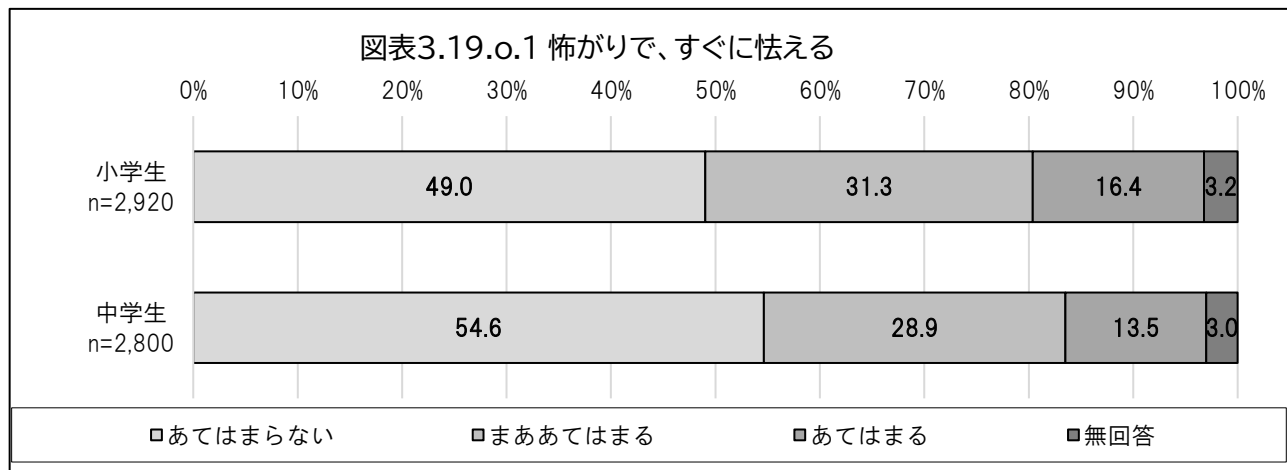
子供より大人という方がうまくいくかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が9.9%、中学生が10.3%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が13.5%、中学生が11.9%とやや高くなっています。



o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

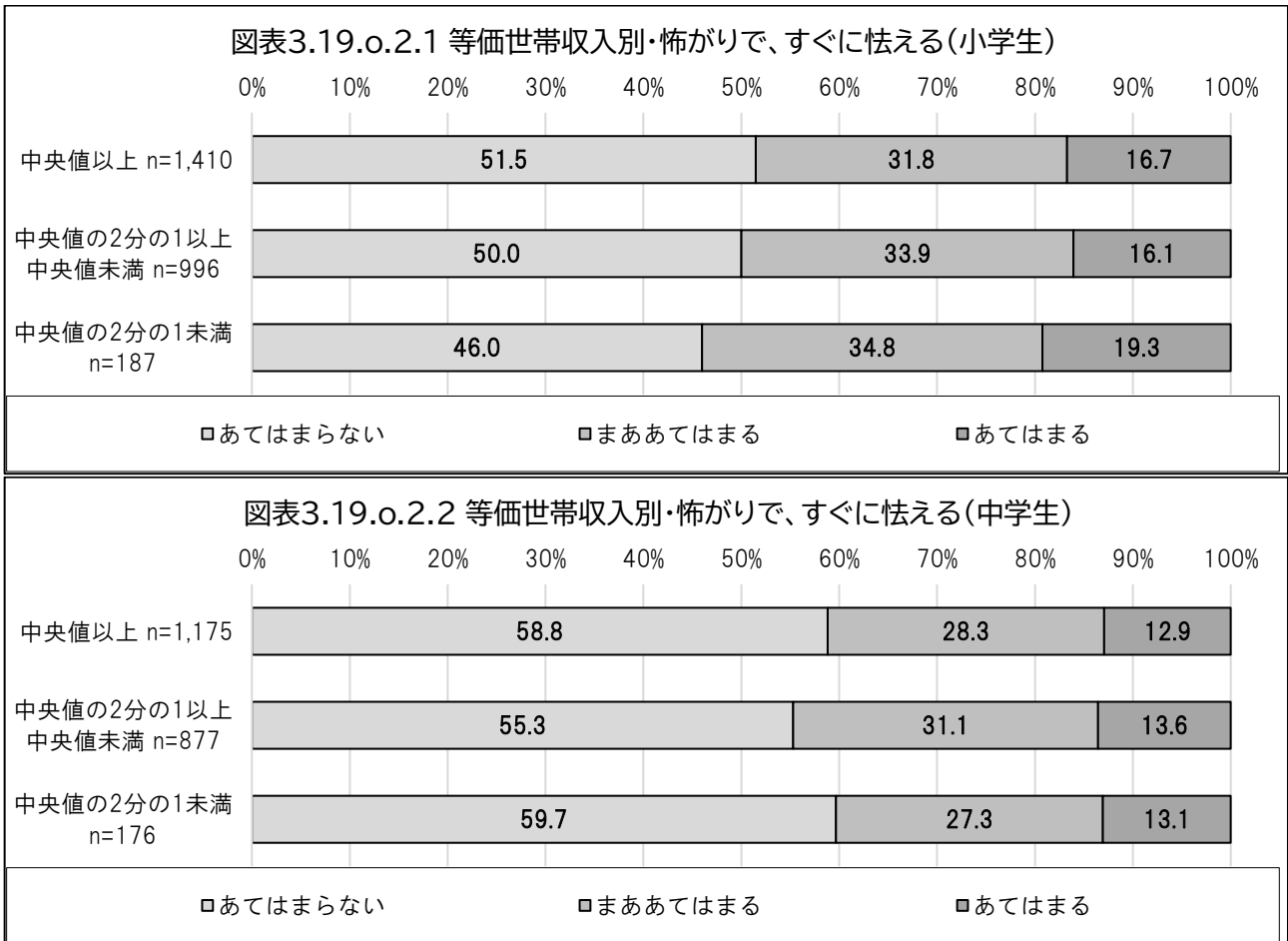
(1)全体

怖がりで、すぐに怯えたりするかについて、小学生・中学生ともに「あてはまらない」が 49.0%、54.6%と最も高く、次いで「まああてはまる」が 31.3%、28.9%、「あてはまる」が 16.4%、13.5% となっています。



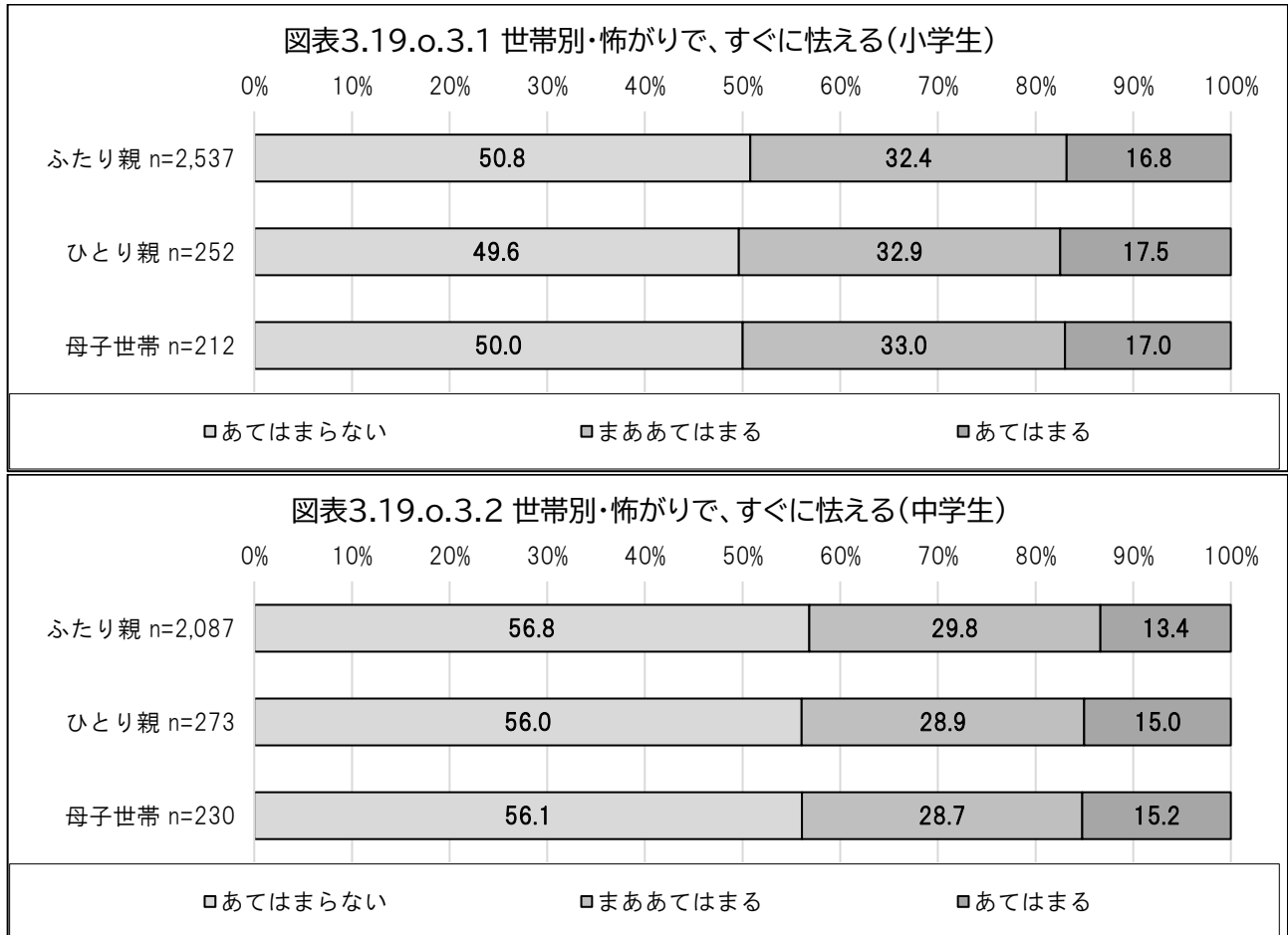
(2)等価世帯収入別

怖がりで、すぐに怯えたりするかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が 16.4%、中学生が 13.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は 19.3%とやや高くなっており、中学生では 13.1%と同程度となっています。



(3)世帯別

怖がり度、すぐに怯えたりするかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が16.4%、中学生が13.5%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が17.5%、中学生が15.0%とやや高くなっています。



(1)情緒の問題

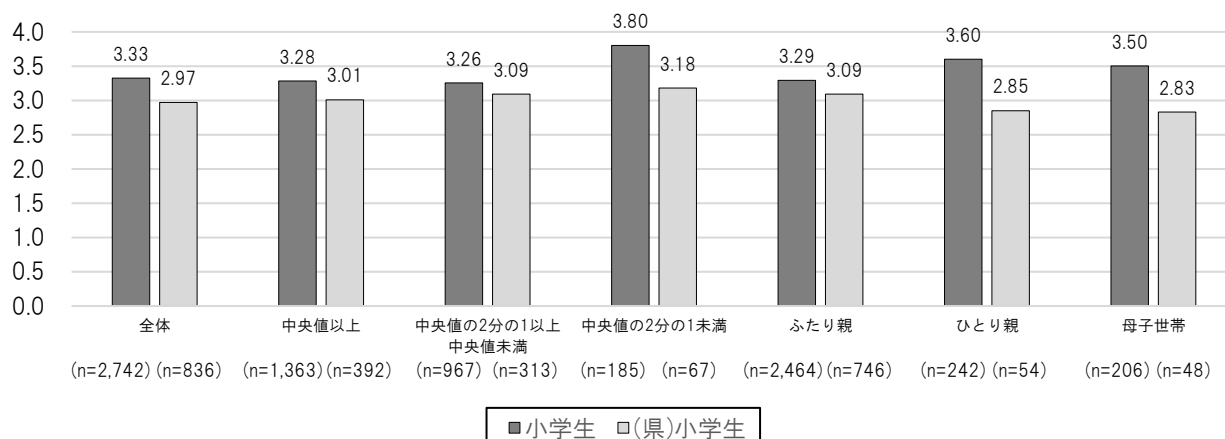
問19. 次のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。

- b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h) 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

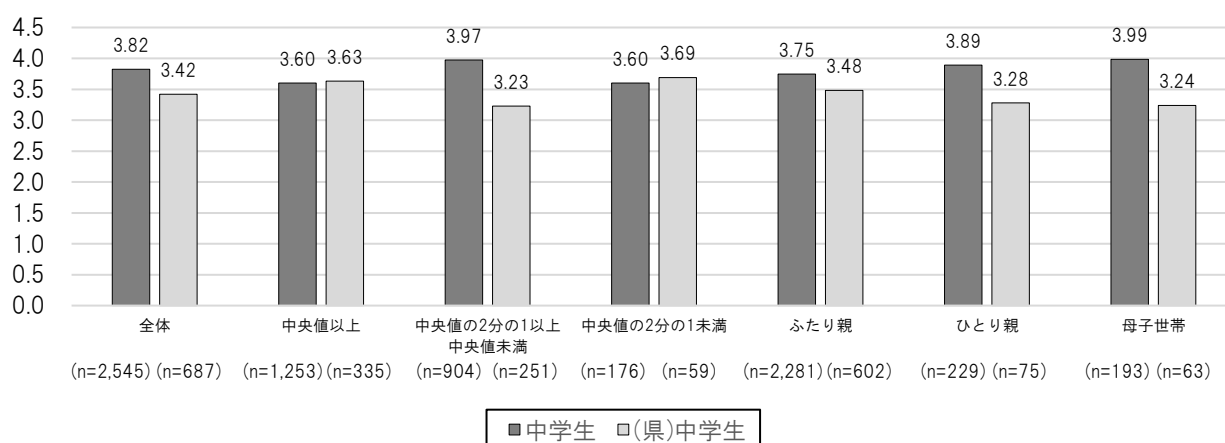
「情緒の問題」に関して、上記5項目の結果を数値化し足し合わせて情緒スコアを算出しました(0～10点、得点が高いほど問題性が高いと考えられます)。

全体の平均値は、小学生が3.33、中学生が3.82となっています。等価世帯収入別にみると、小学生では「中央値の2分の1未満」が3.80、中学生では「中央値の2分の1以上中央値未満」が3.97と最も高く、いずれも県調査(3.18、3.23)と比較して高くなっています。世帯別にみると、小学生ではひとり親世帯が3.60、中学生では母子世帯が3.99と最も高く、いずれも県調査(2.85、3.24)と比較して高くなっています。

図表3.19.1.1 情緒スコア(小学生)



図表3.19.1.2 情緒スコア(中学生)



(2) 仲間関係の問題

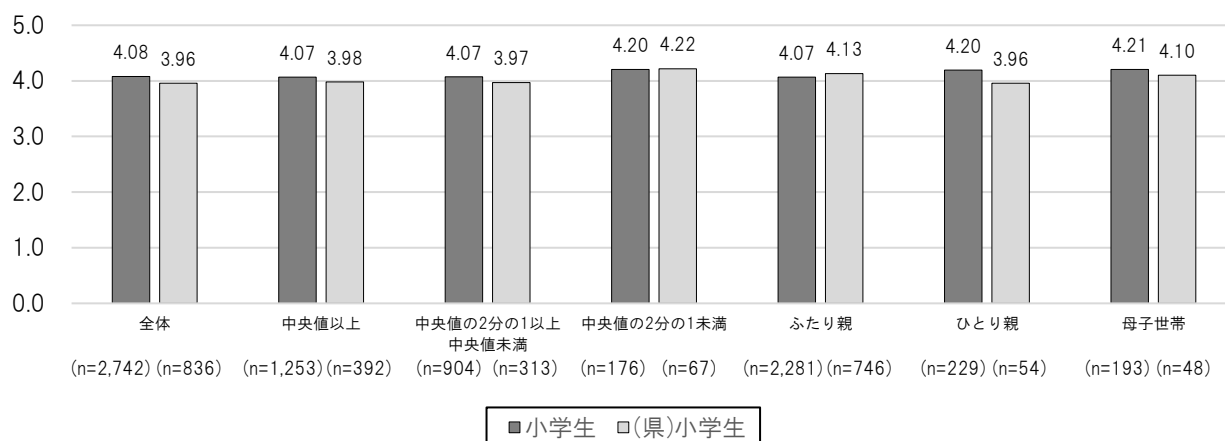
問19. 次のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれから回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

- d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
- i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。
- l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。
- n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。

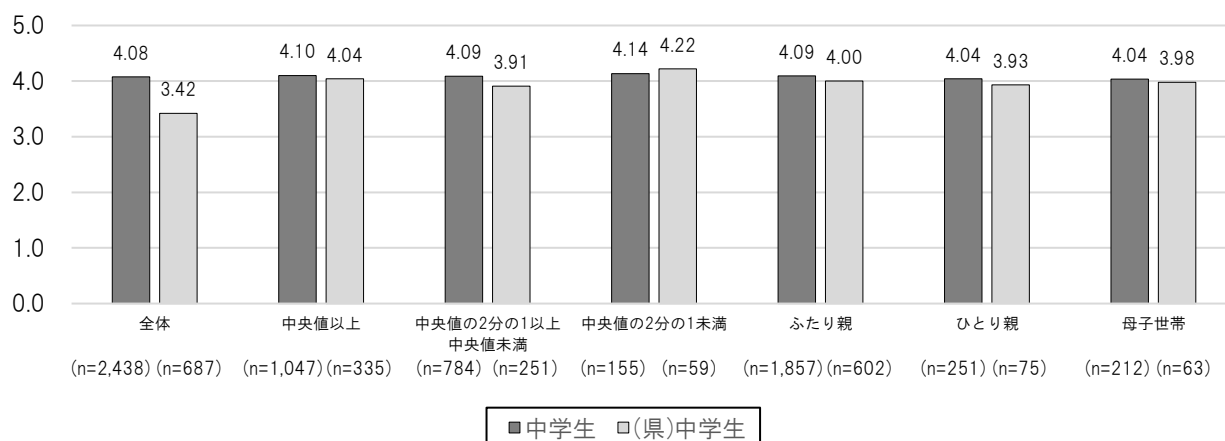
「仲間関係の問題」に関して、上記5項目の結果を数値化し足し合わせて仲間関係スコアを算出しました(0~10点、得点が高いほど問題性が高いと考えられます)。

全体の平均値は、小学生・中学生ともに4.08となっています。等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに「中央値の2分の1未満」が4.20、4.14と最も高く、いずれも県調査(4.22、4.22)と比較して大差はありません。世帯別にみると、小学生では「母子世帯」が4.21、中学生では「ふたり親」が4.09と最も高く、いずれも県調査(4.10、4.00)と比較してやや高くなっています。

図表3.19.2.1 仲間関係スコア(小学生)



図表3.19.2.2 仲間関係スコア(中学生)



(3)向社会性

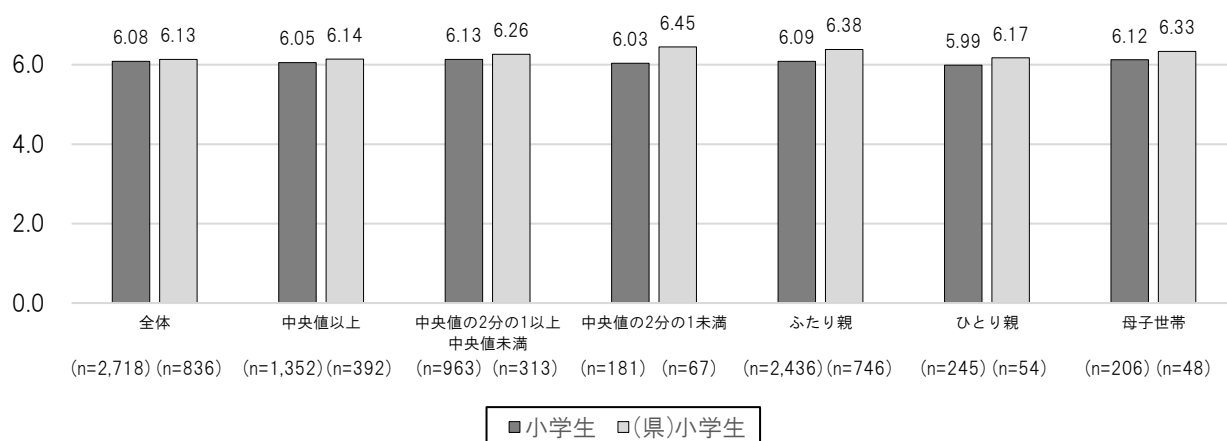
問19. 次のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。

- a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
- f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
- k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。
- m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。

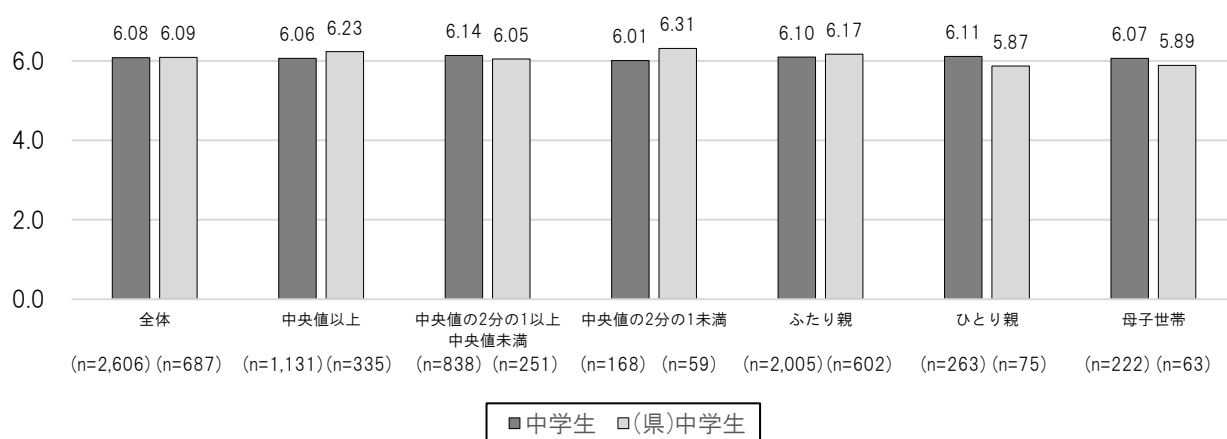
「向社会性」に関して、上記5項目の結果を数値化し足し合わせて向社会性スコアを算出しました(0～10点、得点が高いほど社会性が高いと考えられます)。

全体の平均値は、小学生・中学生ともに6.08となっています。等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに「中央値の2分の1以上中央値未満」が6.13、6.14と最も高く、中学生では県調査(6.05)と比較してやや高くなっています。世帯別にみると、小学生では「母子世帯」が6.12、中学生ではひとり親世帯が6.11と最も高く、中学生では県調査(5.87)と比較して高くなっています。

図表3.19.3.1 向社会性スコア(小学生)



図表3.19.3.2 向社会性スコア(中学生)

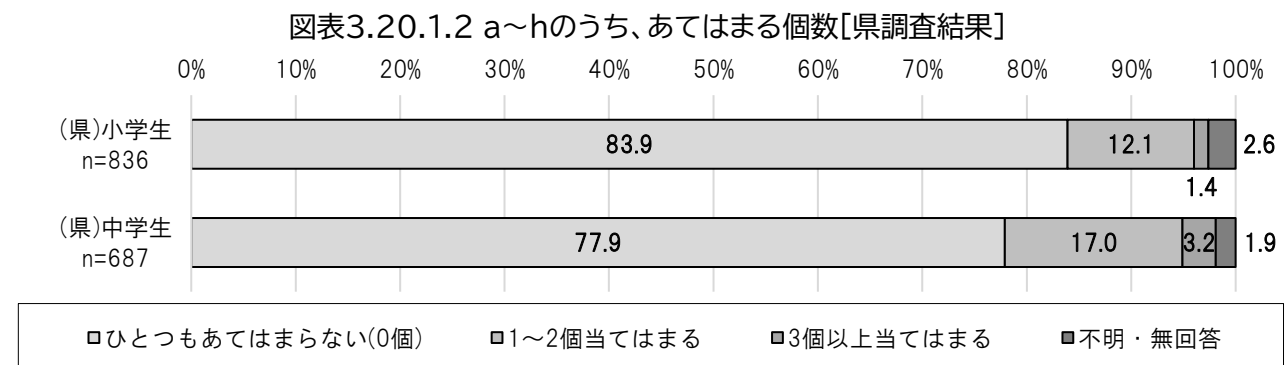
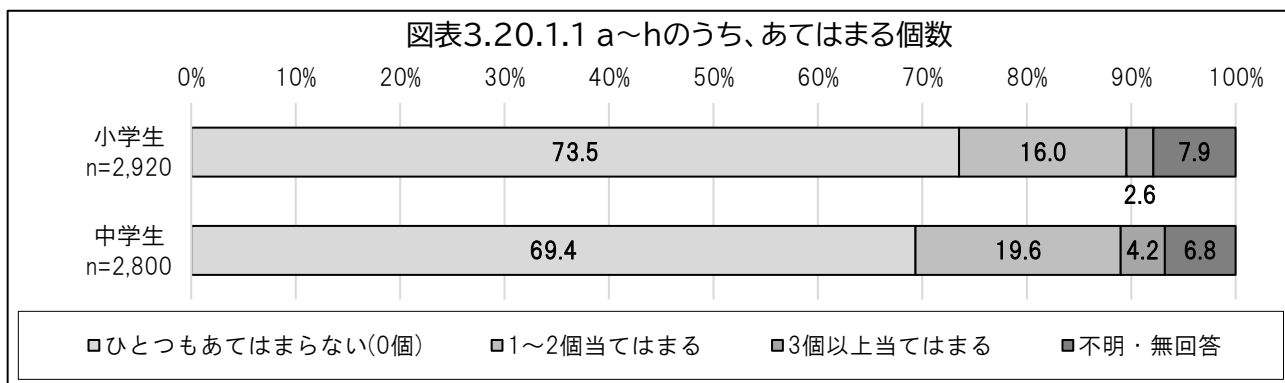


問20. あなたは今までに、次のa~hのようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んで暴れたり麻薬などの薬物を使ったことで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

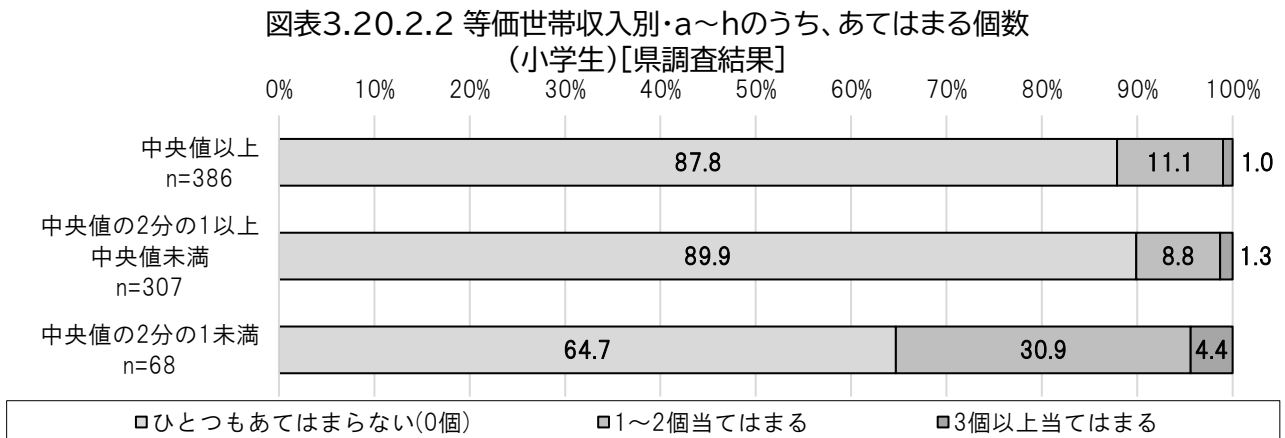
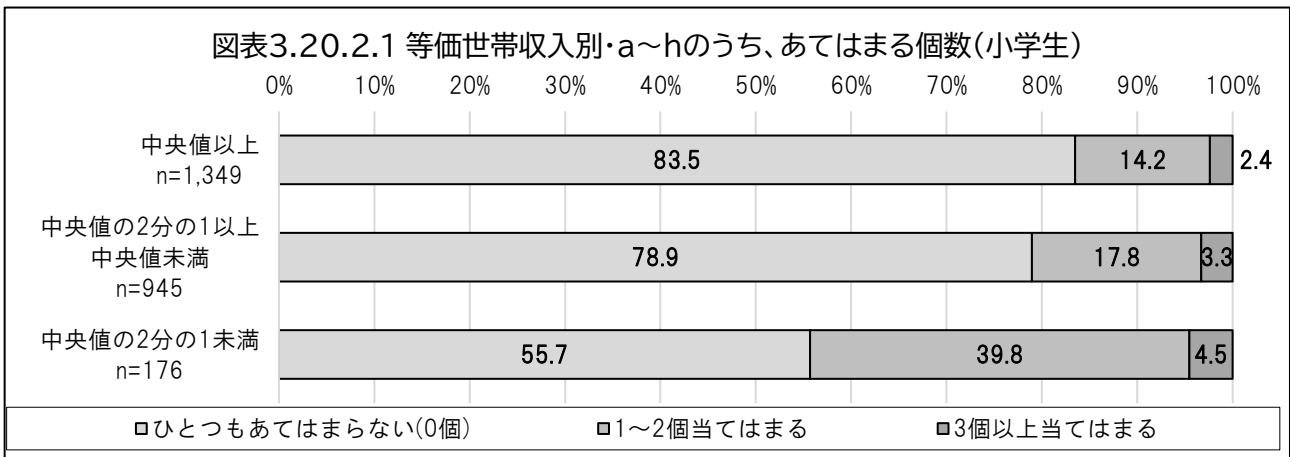
(1)全体

a~hについて、小学生・中学生ともに「ひとつもあてはまらない(0個)」が73.5%、69.4%と最も高く、次いで「1~2個あてはまる」が16.0%、19.6%となっています。



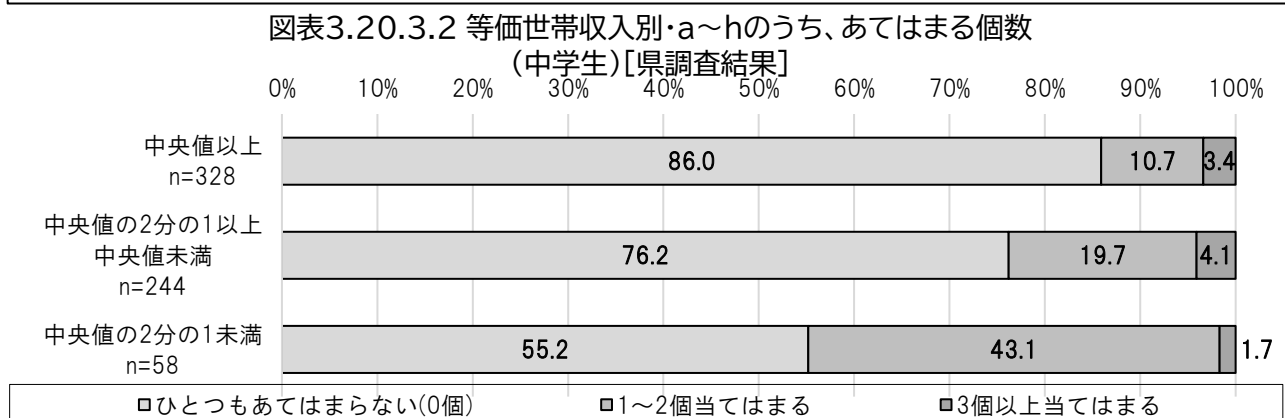
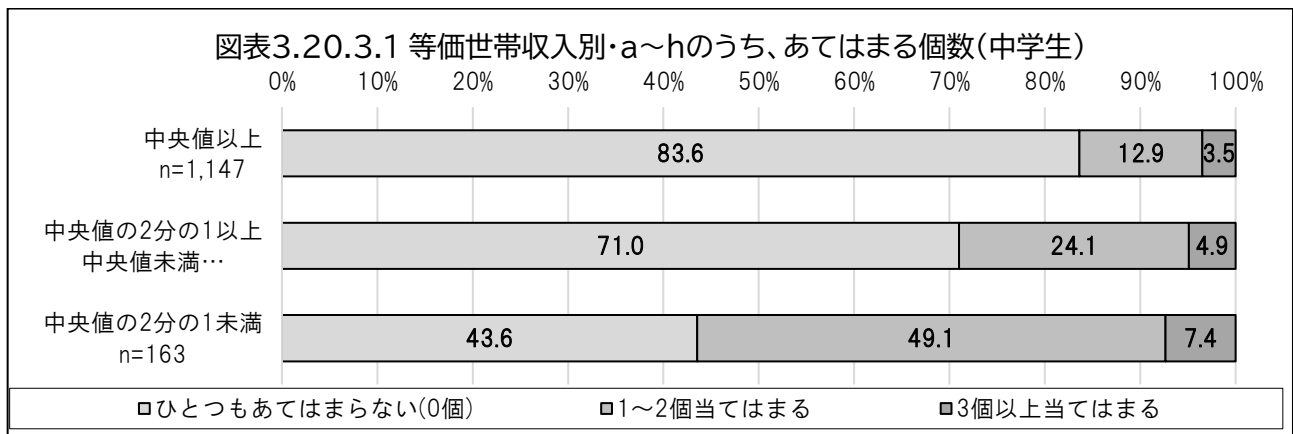
(2)等価世帯収入別・小学生（問 20. a～hのうち、あてはまる個数）

a～hについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「ひとつもあてはまらない（0個）」が、全体では73.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では55.7%と低くなっています。また、「1～2個当てはまる」「3個以上当てはまる」が、全体では16.0%、2.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では39.8%、4.5%とそれぞれ高くなっています。



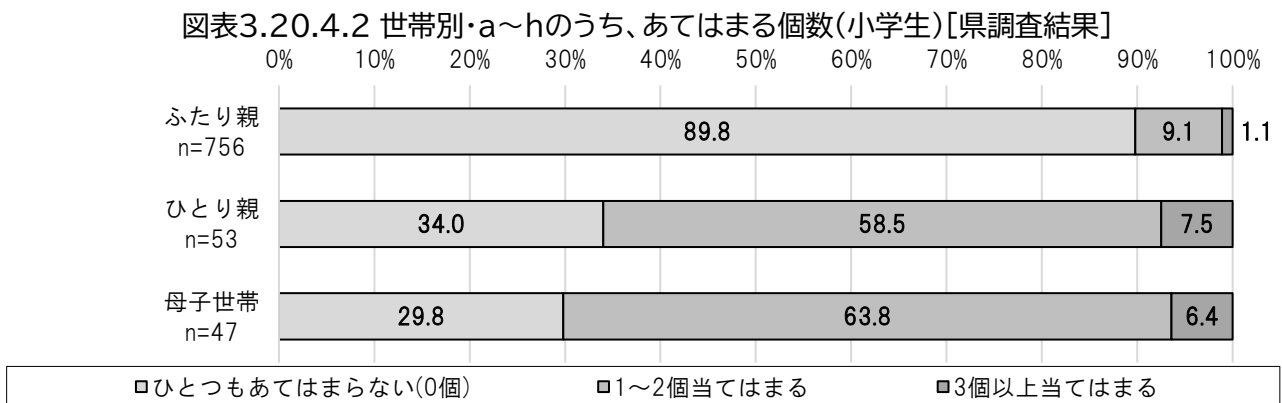
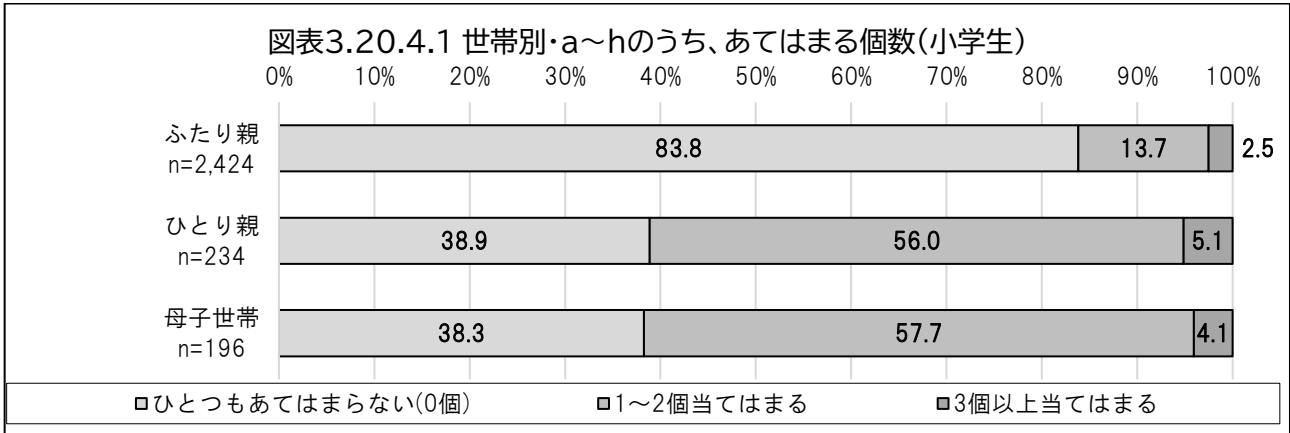
(3)等価世帯収入別・中学生（問 20. a～hのうち、あてはまる個数）

a～hについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「ひとつもあてはまらない（0個）」が、全体では69.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では43.6%と低くなっています。また、「1～2個当てはまる」「3個以上当てはまる」が、全体では19.6%、4.2%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では49.1%、7.4%とそれぞれ高くなっています。



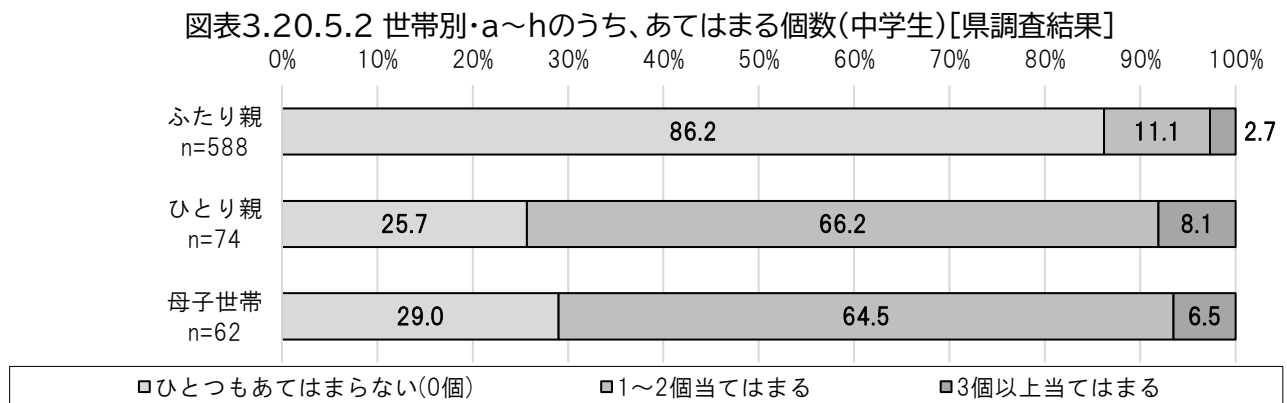
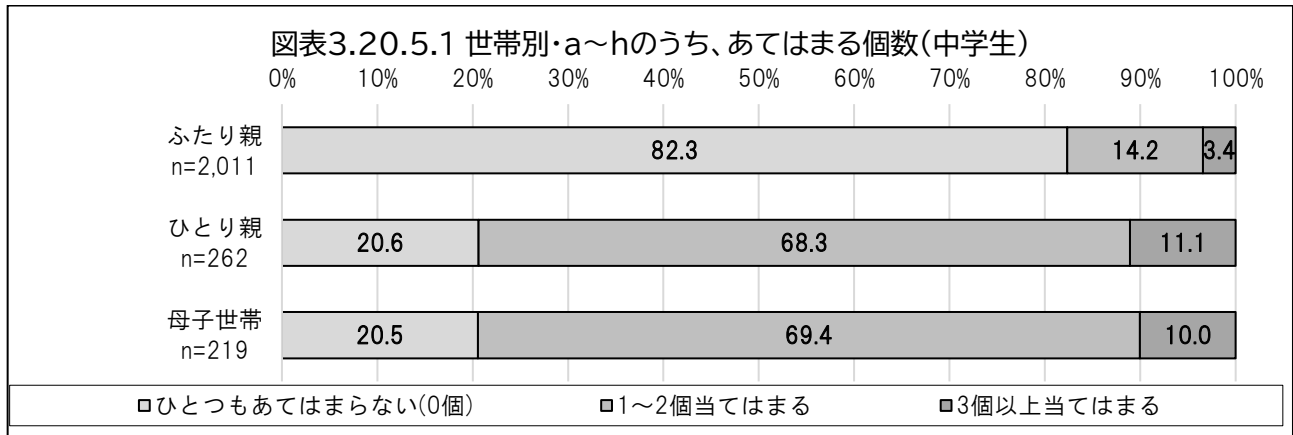
(4)世帯別・小学生（問 20. a～hのうち、あてはまる個数）

a～hについて、世帯別にみると、小学生では、「ひとつもあてはまらない（0個）」が、全体では73.5%であったのに対し、ひとり親世帯では38.9%と低くなっています。また、「1～2個当てはまる」「3個以上当てはまる」が、全体では16.0%、2.6%であったのに対し、ひとり親世帯では56.0%、5.1%とそれぞれ高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 20. a～hのうち、あてはまる個数）

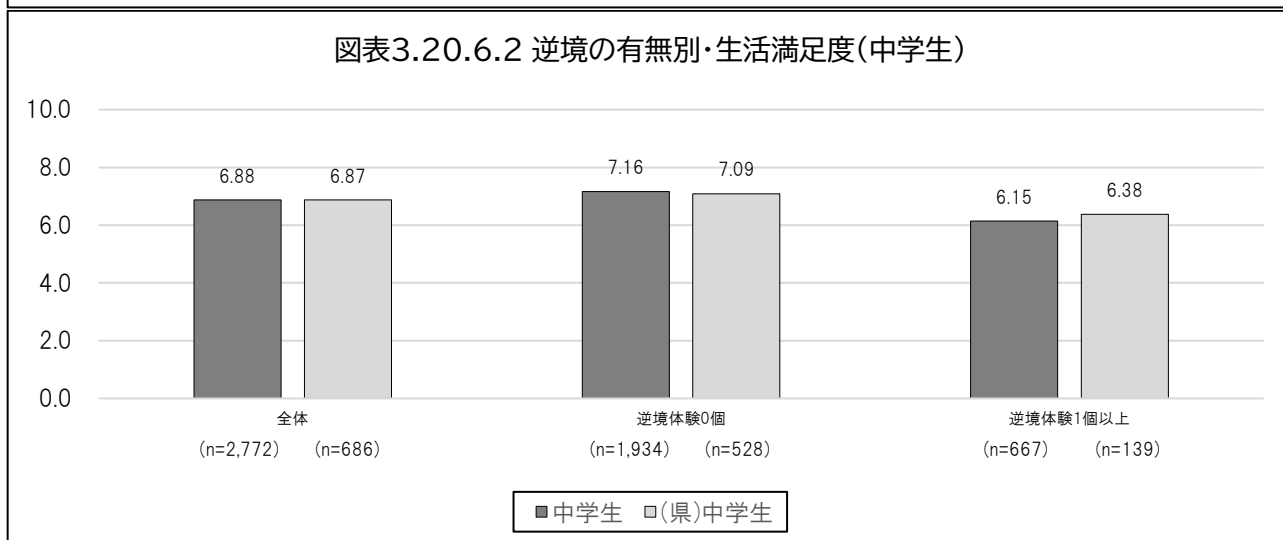
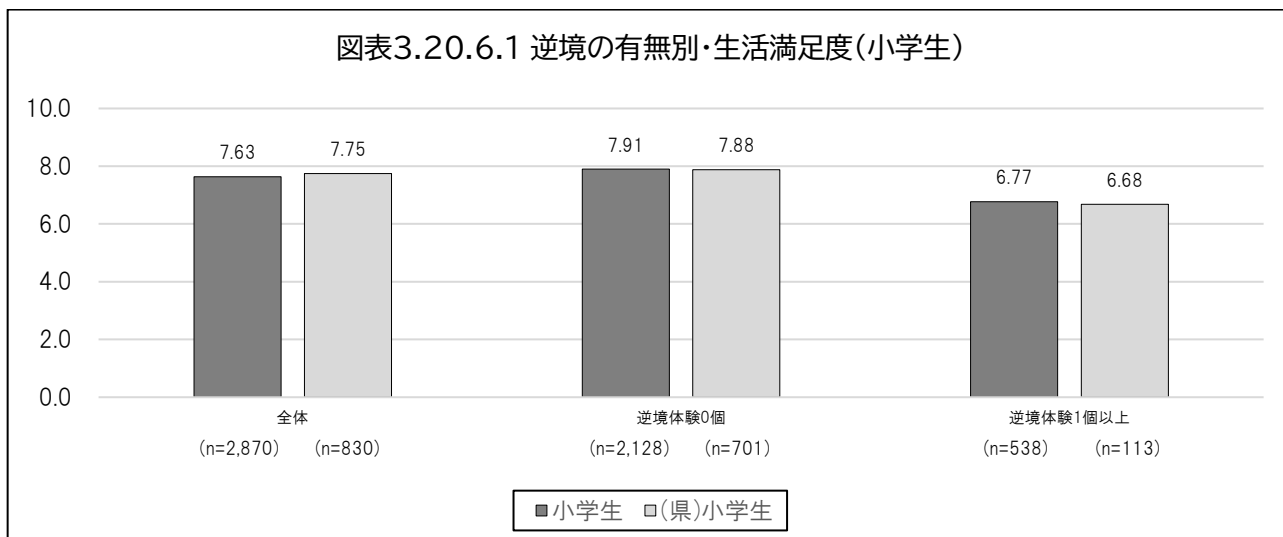
a～hについて、世帯別にみると、「ひとつもあてはまらない（0個）」が、全体では69.4%であったのに対し、ひとり親世帯では20.6%と低くなっています。また、「1～2個当てはまる」「3個以上当てはまる」が、全体では19.6%、4.2%であったのに対し、ひとり親世帯では68.3%、11.1%とそれぞれ高くなっています。



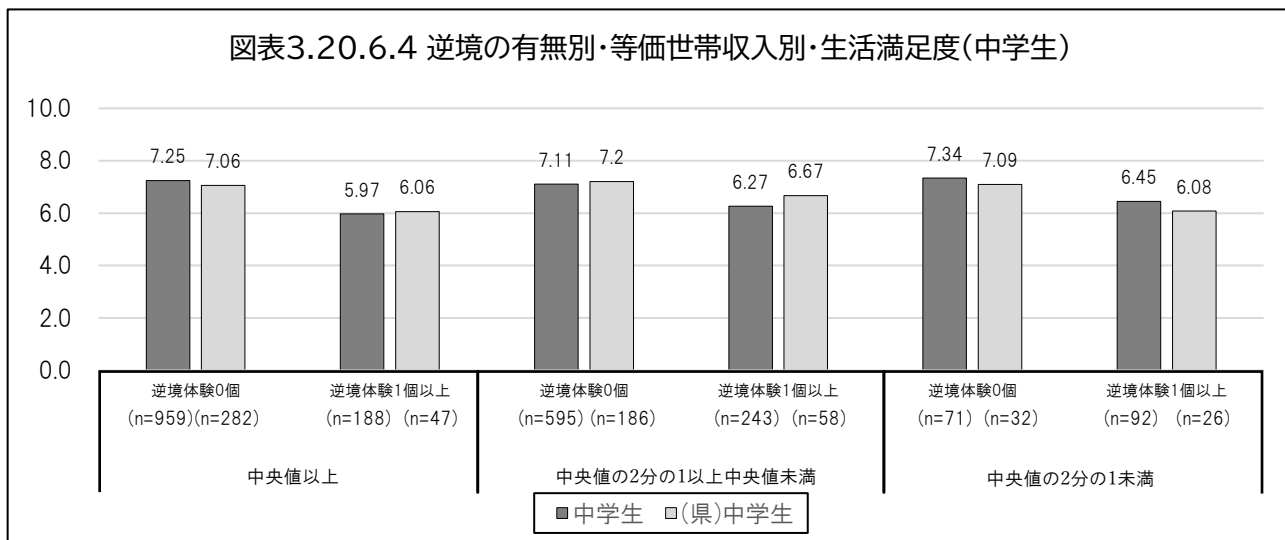
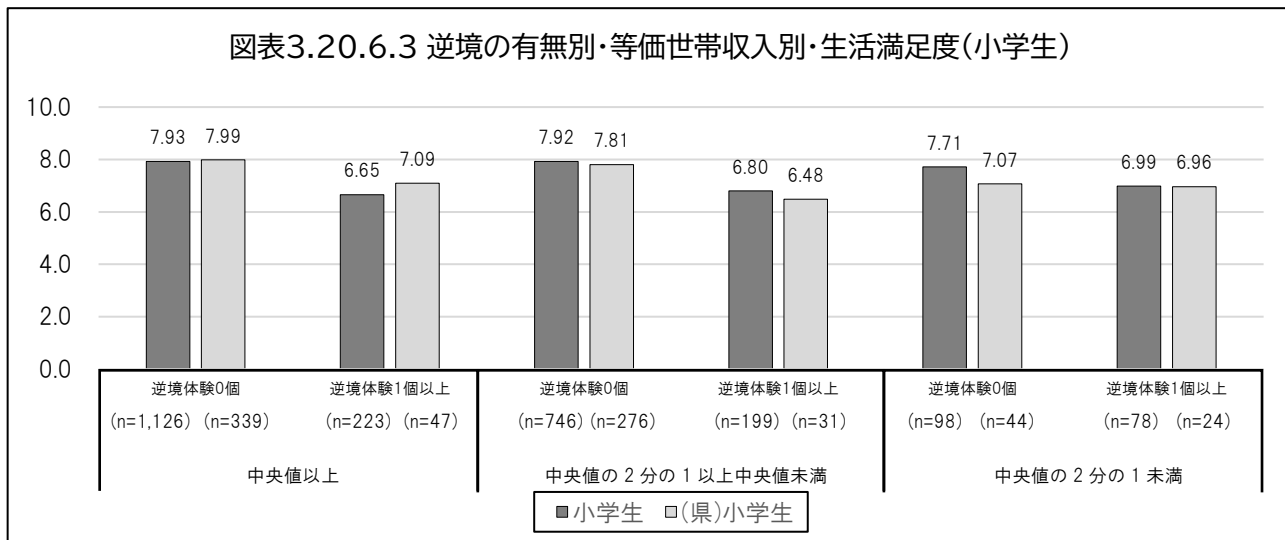
(6) 逆境の有無別、生活満足度

逆境体験の経験の有無（問 20.a～h のうちひとつもあてはまらない（0個）であるか、1個以上あてはまるか）により分類し、子どもの生活満足度の平均値を比較しました。

小学生では、全体の平均値が 7.63、「逆境体験 0 個」の場合は 7.91、「逆境体験 1 個以上」の場合は 6.77 となっています。中学生では、全体の平均値が 6.88、「逆境体験 0 個」の場合は 7.16、「逆境体験 1 個以上」の場合は 6.15 となっています。逆境体験の経験の有無別に子どもの生活満足度をみると、小学生・中学生ともに、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっています。



等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」で「逆境体験0個」の場合が7.93、中学生では、「中央値の2分の1未満」で「逆境体験0個」の場合が7.34とそれぞれ最も高くなっています。一方、小学生・中学生ともに「中央値以上」で「逆境体験1個以上」の場合でそれぞれ6.65、5.97と最も低くなっています。また、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっています。

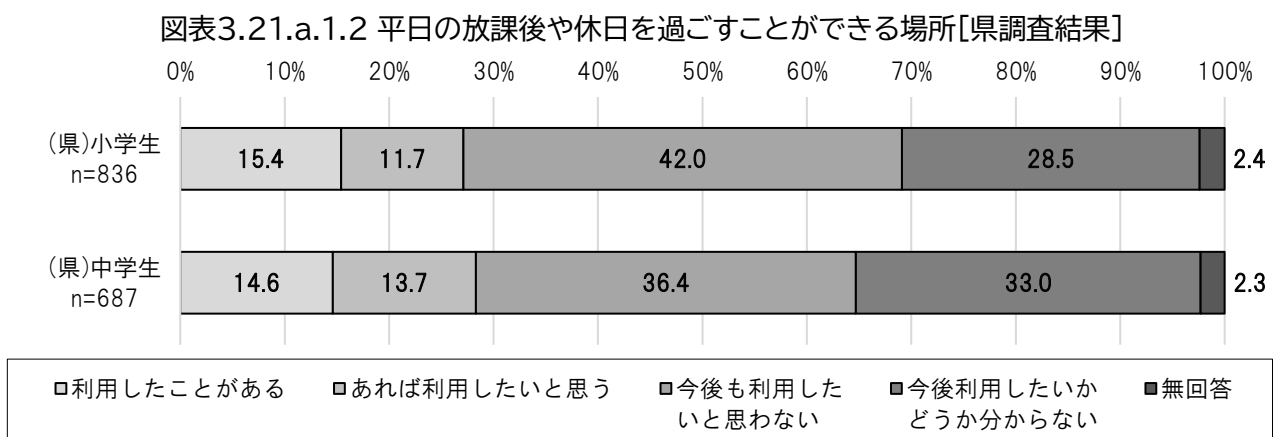
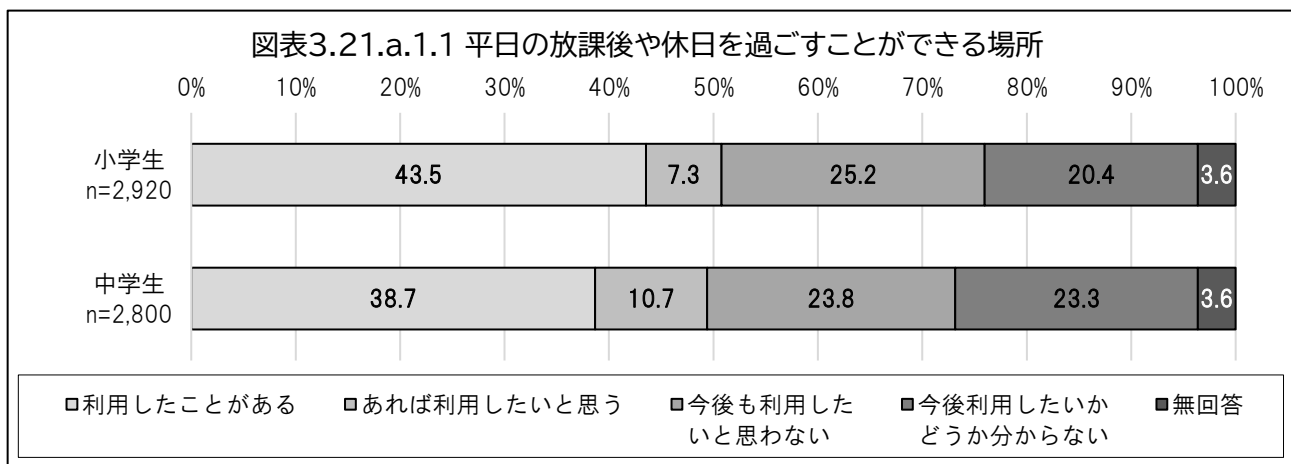


問21. あなたは、次のa~dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

a) (自分や友人の家以外で)平日の放課後や休日を過ごすことができる場所 (学童保育所など)

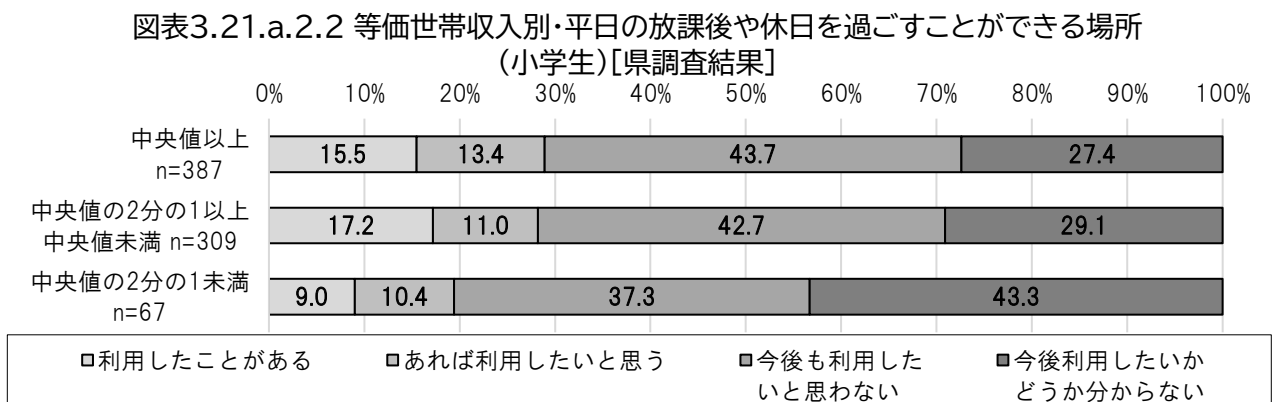
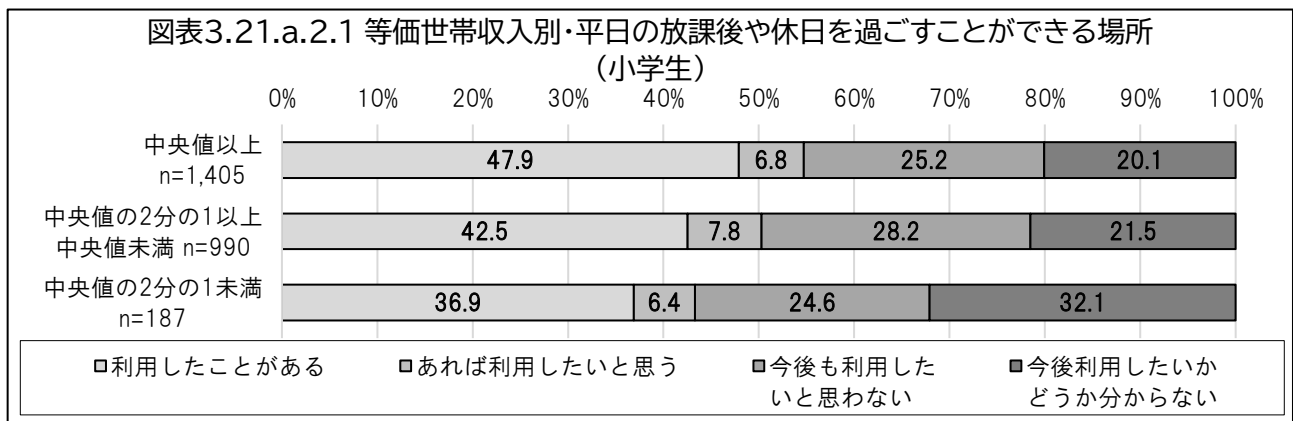
(1)全体

平日の放課後や休日を過ごすことができる場所について、小学生・中学生ともに「利用したことがある」が43.5%、38.7%と最も高く、次いで「今後も利用したいと思わない」が25.2%、23.8%、「今後利用したいかどうか分からない」が20.4%、23.3%となっています。また、「利用したことがある」の割合は、小学生・中学生ともに(43.5%、38.7%)、県調査(15.4%、14.6%)と比較して高くなっています。



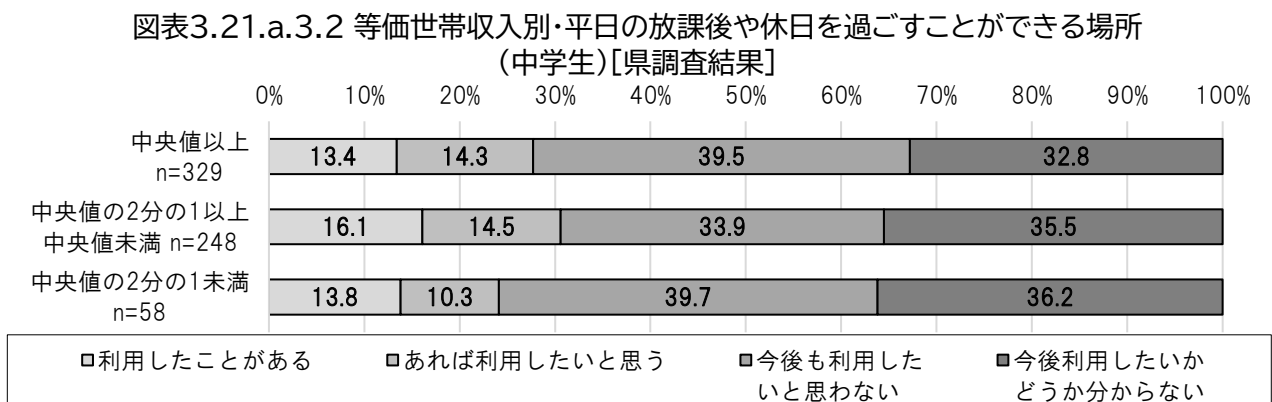
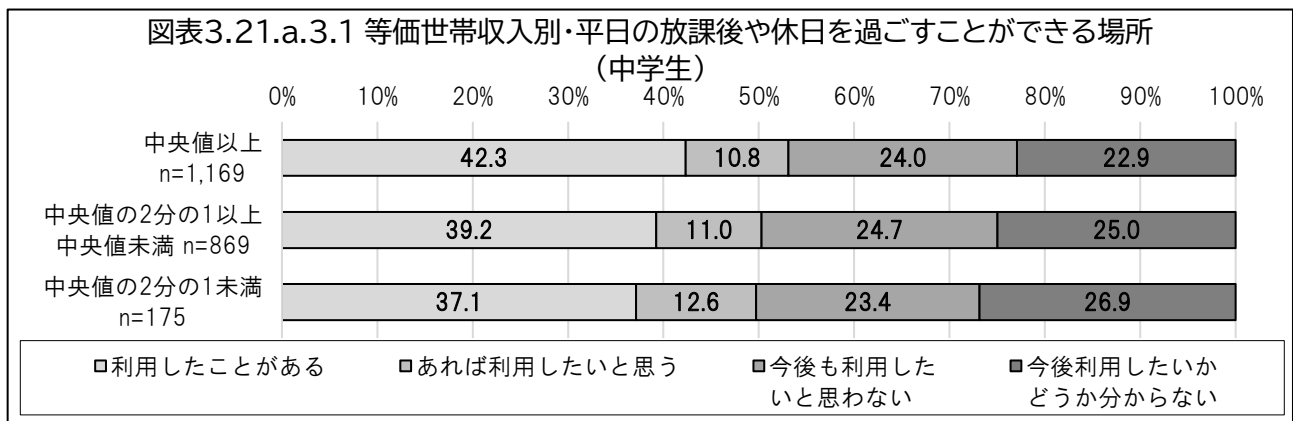
(2)等価世帯収入別・小学生（問 21. a 放課後や休日に過ごすことができる場所）

平日の放課後や休日に過ごすことができる場所について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では43.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では36.9%と低くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では7.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では6.4%と同程度となっています。



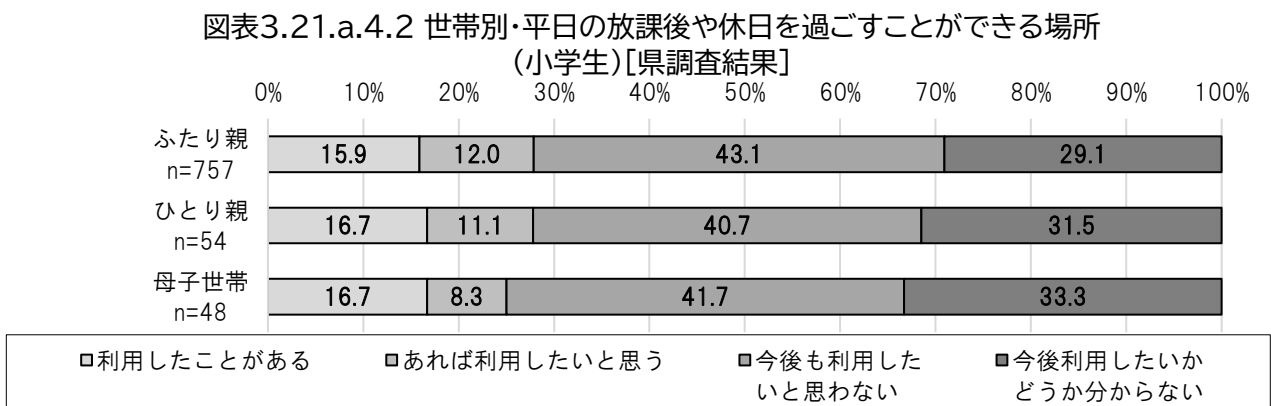
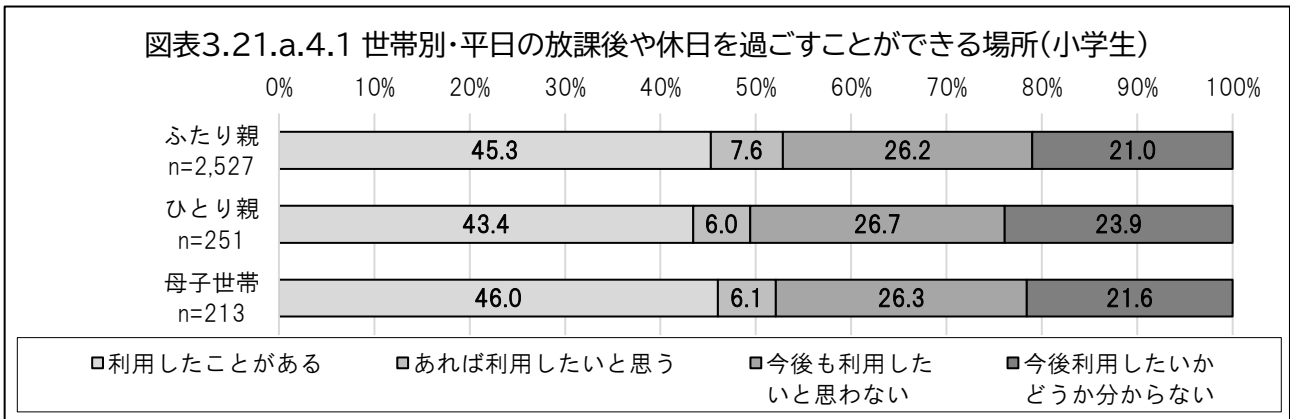
(3)等価世帯収入別・中学生（問 21. a 放課後や休日に過ごすことができる場所）

平日の放課後や休日に過ごすことができる場所について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では38.7%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では37.1%とやや低くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では10.7%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では12.6%とやや高くなっています。



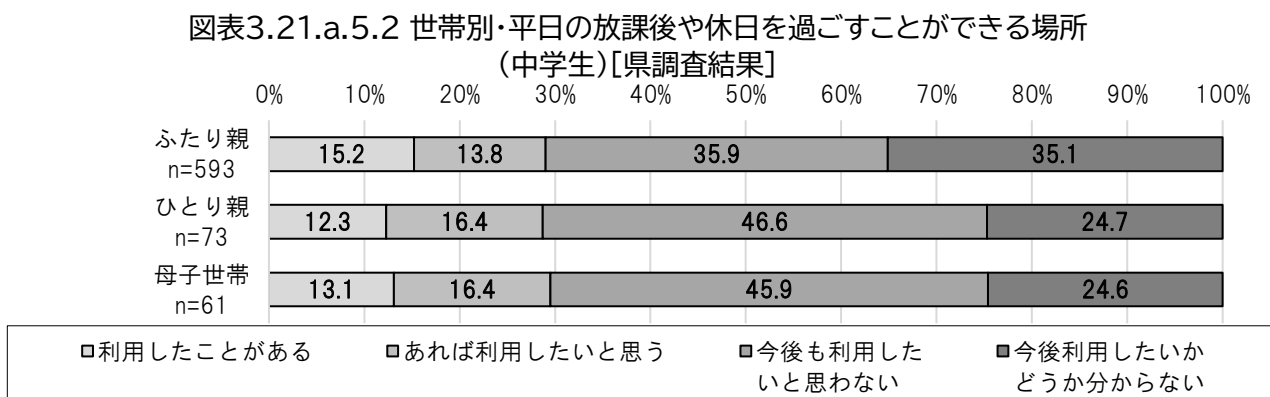
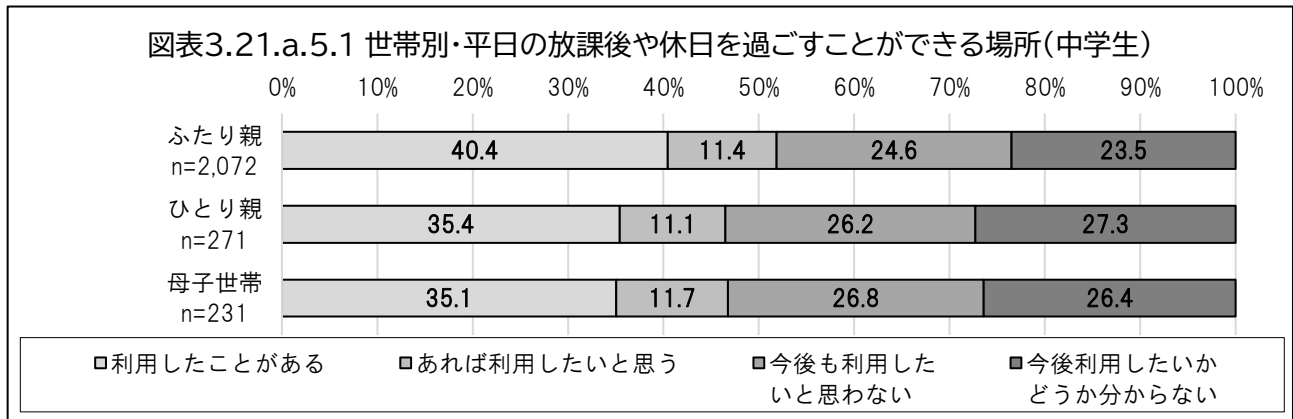
(4)世帯別・小学生（問 21. a 放課後や休日に過ごすことができる場所）

平日の放課後や休日に過ごすことができる場所について、世帯別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 43.5%であったのに対し、ひとり親世帯では 43.4%と同程度となっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 7.3%であったのに対し、ひとり親世帯では 6.0%とやや低くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 21. a 放課後や休日に過ごすことができる場所）

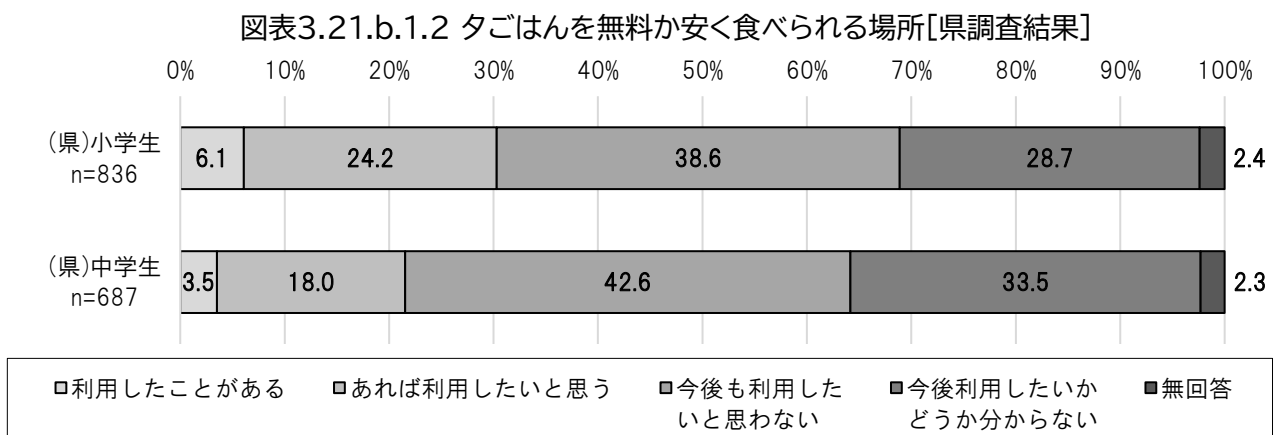
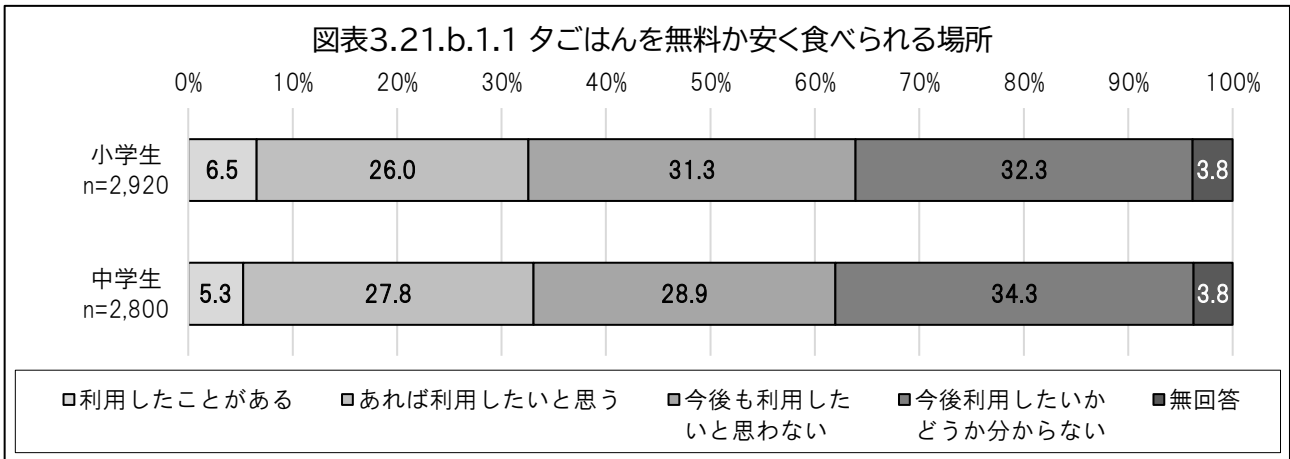
平日の放課後や休日に過ごすことができる場所について、世帯別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 38.7%であったのに対し、ひとり親世帯では 35.4%とやや低くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 10.7%であったのに対し、ひとり親世帯では 11.1%と同程度となっています。



b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など)

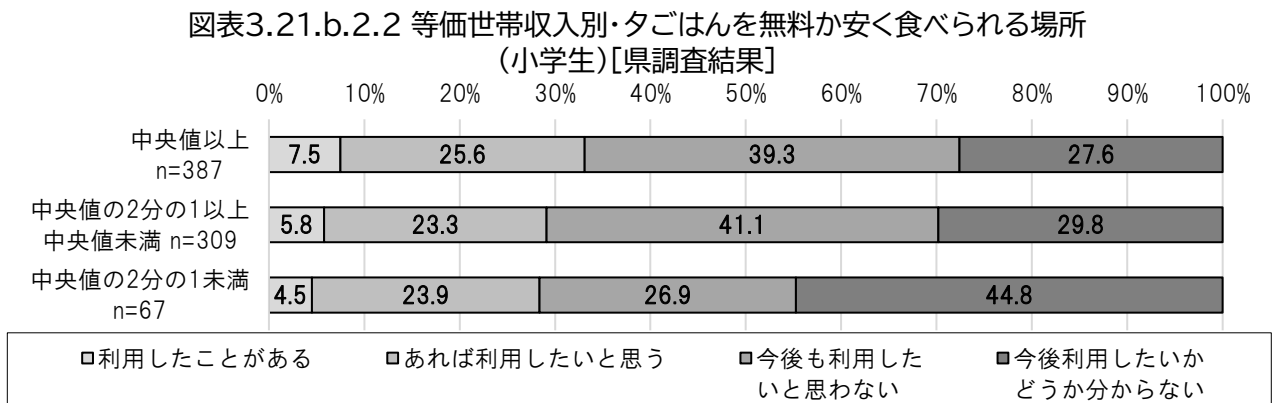
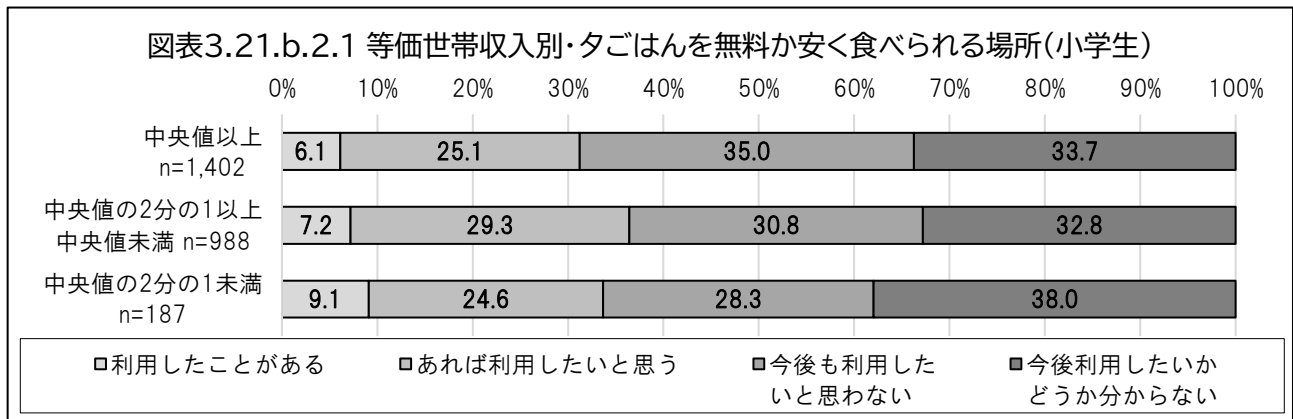
(1)全体

タごはんを無料か安く食べられる場所について、小学生・中学生ともに「今後利用したいかどうか分からない」が32.3%、34.3%と最も高く、次いで「今後も利用したいと思わない」が31.3%、28.9%、「あれば利用したいと思う」が26.0%、27.8%となっています。



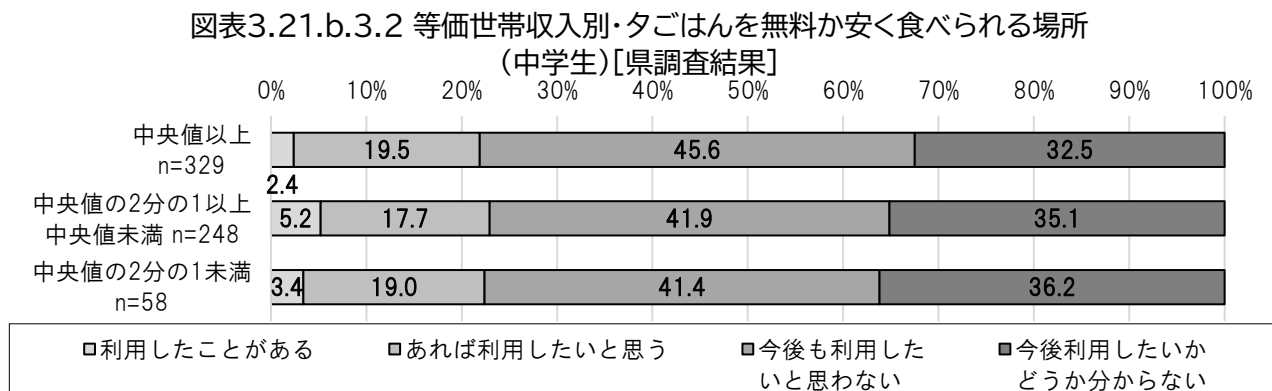
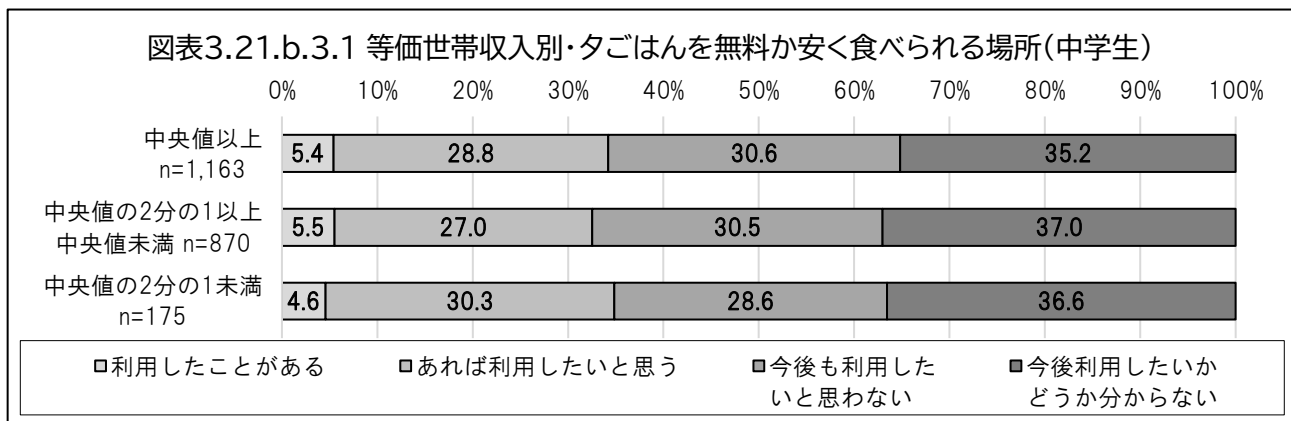
(2)等価世帯収入別・小学生（問 21. b 夕飯を無料か安く食べられる場所）

夕ごはんを無料か安く食べられる場所について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では6.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では9.1%とやや高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では26.0%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では24.6%とやや低くなっています。



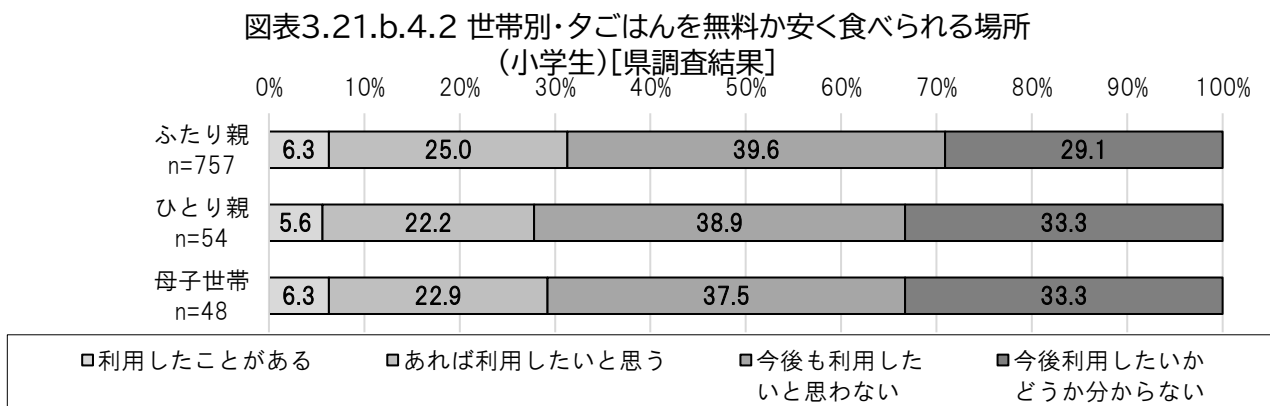
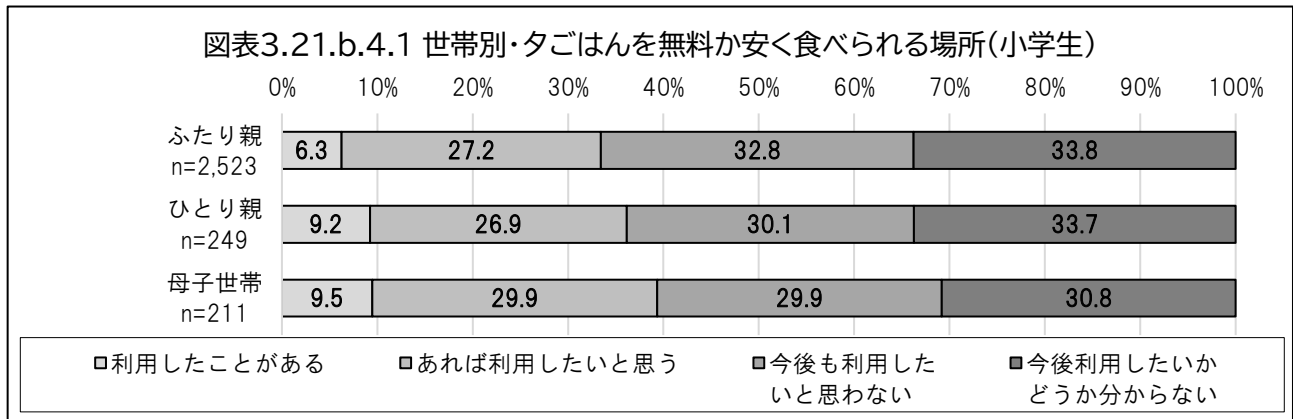
(3)等価世帯収入別・中学生（問 21. b 夕飯を無料か安く食べられる場所）

夕ごはんを無料か安く食べられる場所について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では5.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では4.6%と同程度となっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では27.8%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では30.3%と高くなっています。



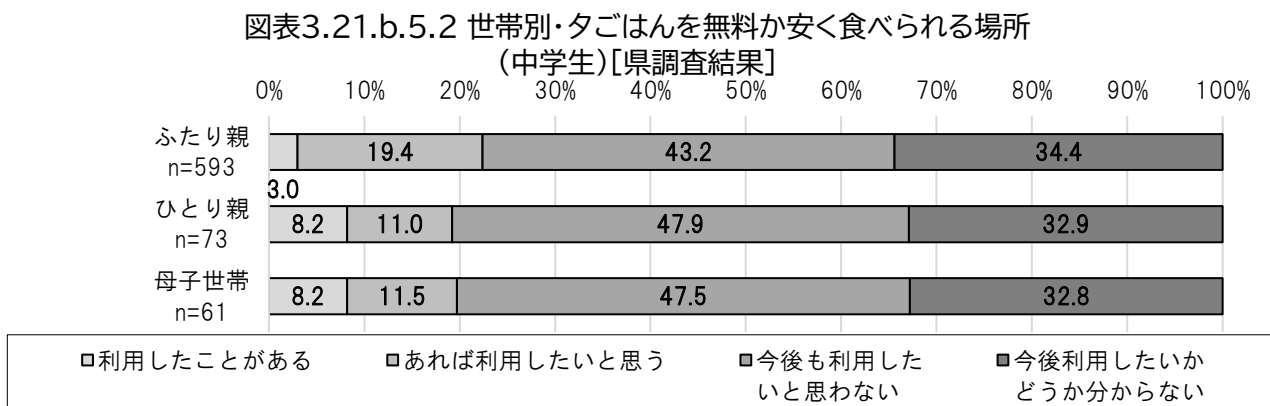
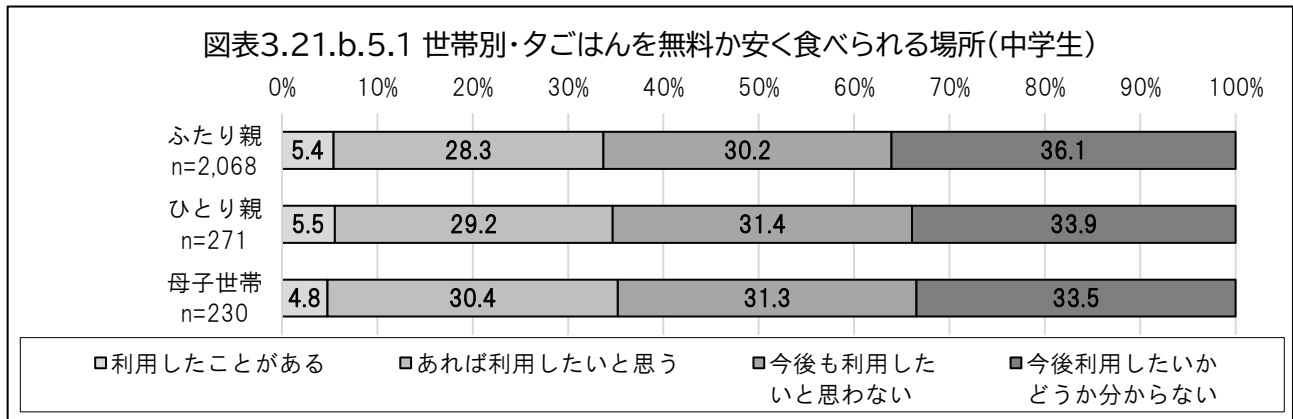
(4)世帯別・小学生（問 21. b 夕飯を無料か安く食べられる場所）

夕ごはんを無料か安く食べられる場所について、世帯別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 6.5%であったのに対し、ひとり親世帯では 9.2%とやや高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 26.0%であったのに対し、ひとり親世帯では 26.9%と同程度となっています。



(5)世帯別・中学生（問 21. b 夕飯を無料か安く食べられる場所）

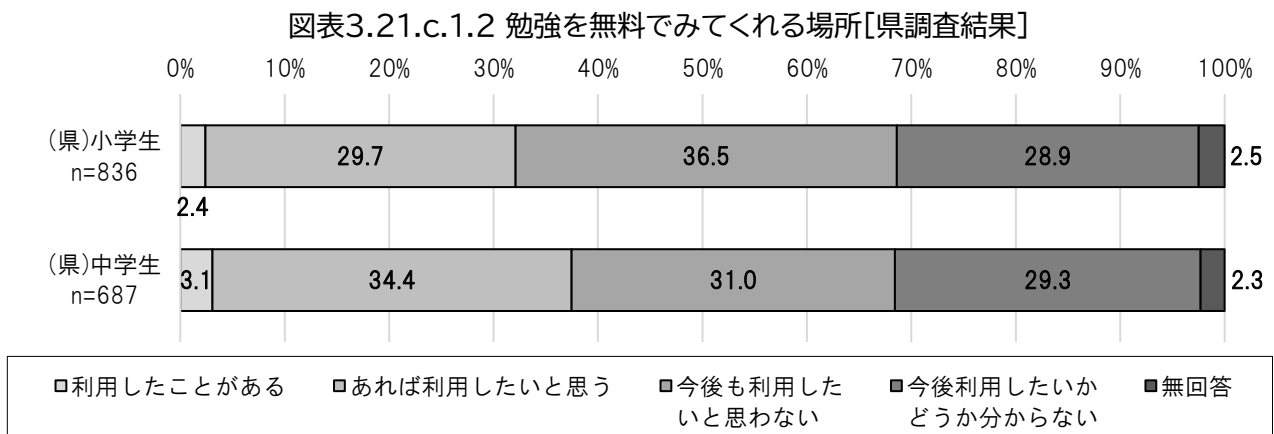
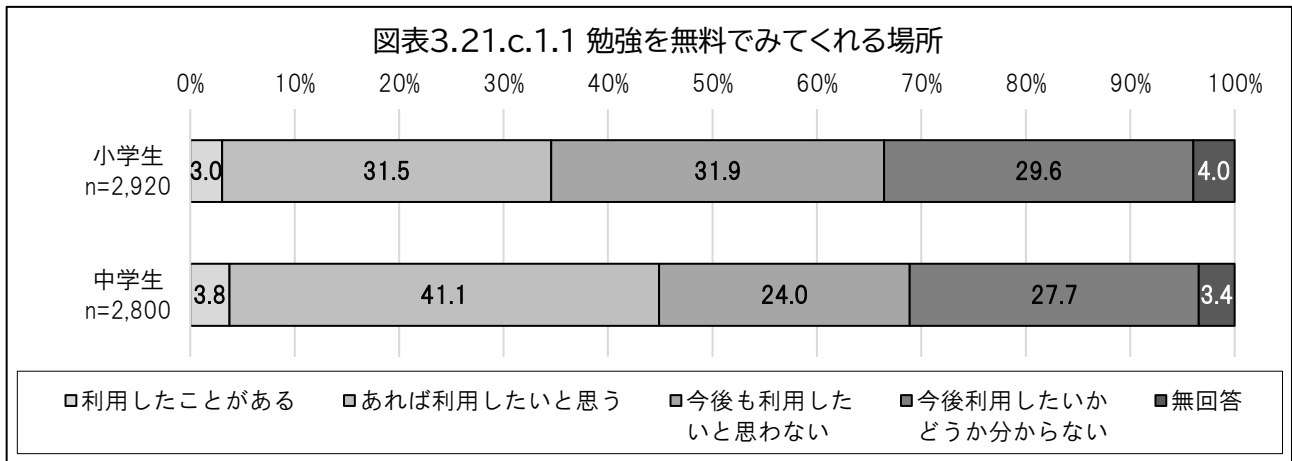
夕ごはんを無料か安く食べられる場所について、世帯別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 5.3%であったのに対し、ひとり親世帯では 5.5%と同程度となっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 27.8%であったのに対し、ひとり親世帯では 29.2%とやや高くなっています。



c) 勉強を無料でみてくれる場所

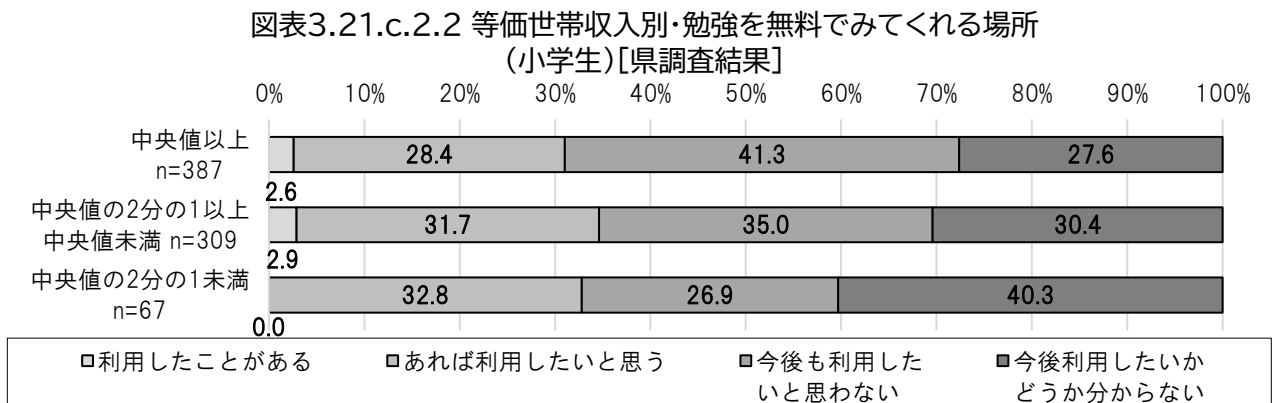
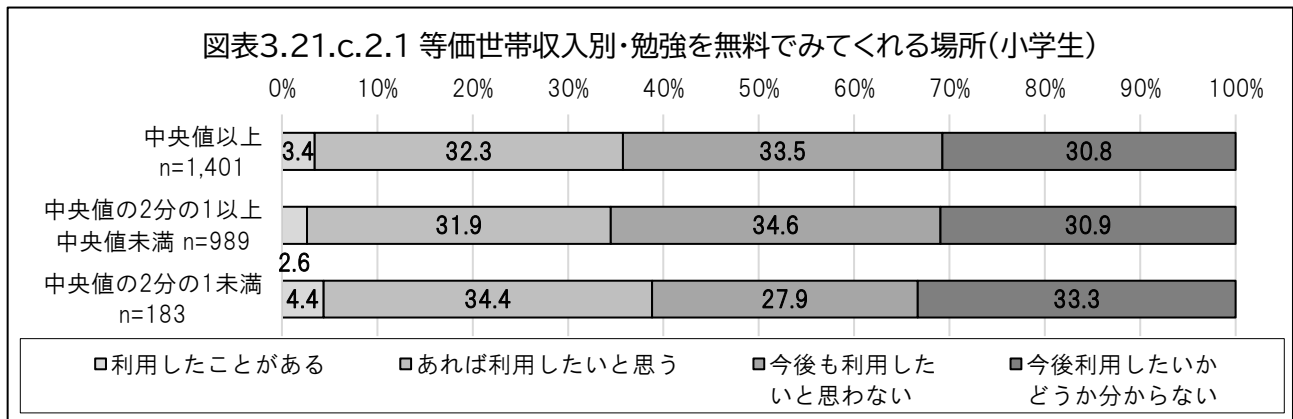
(1)全体

勉強を無料でみてくれる場所について、小学生では「今後も利用したいと思わない」が31.9%と最も高く、次いで「あれば利用したいと思う」が31.5%、「今後利用したいかどうか分からない」が29.6%となっています。中学生では「あれば利用したいと思う」が41.1%と最も高く、次いで「今後利用したいかどうか分からない」が27.7%、「今後も利用したいと思わない」が24.0%となっています。



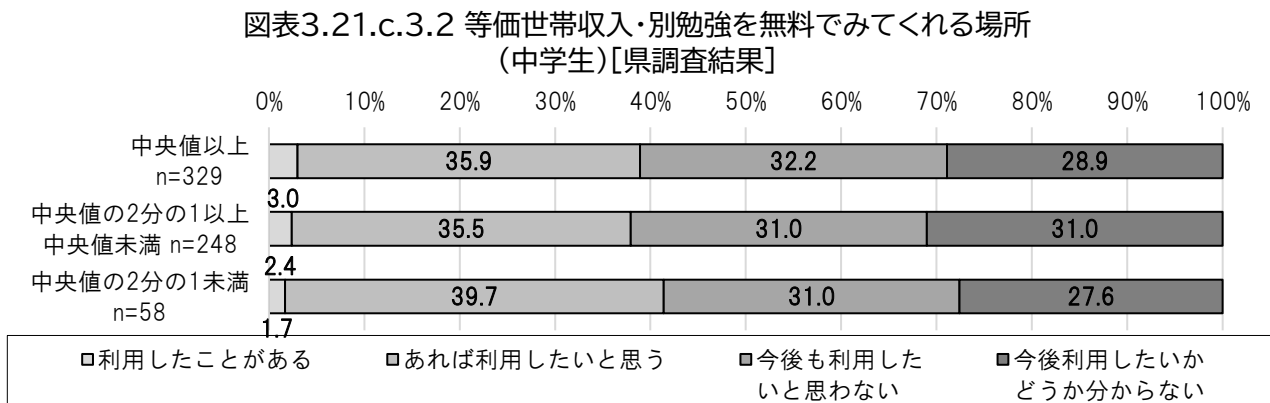
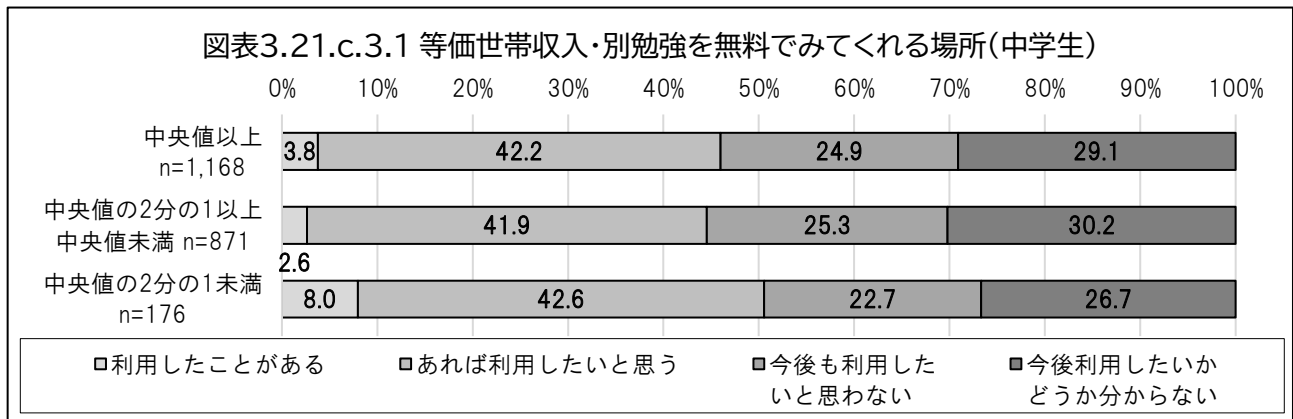
(2)等価世帯収入別・小学生（問 21.c 勉強を無料でみてくれる場所）

勉強を無料でみてくれる場所について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では3.0%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では4.4%とやや高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では31.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では34.4%とやや高くなっています。



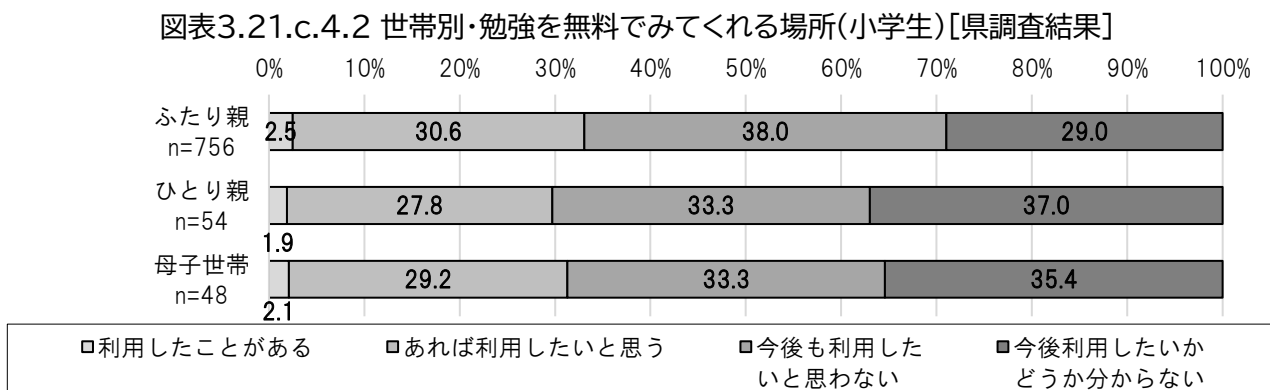
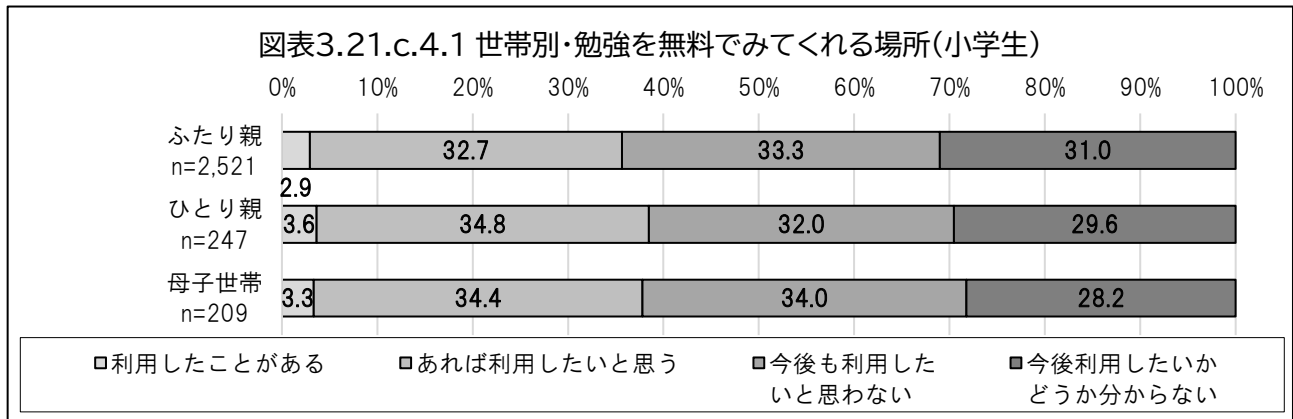
(3)等価世帯収入別・中学生（問 21.c 勉強を無料でみてくれる場所）

勉強を無料でみてくれる場所について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では3.8%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では8.0%と高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では41.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では42.6%とやや高くなっています。



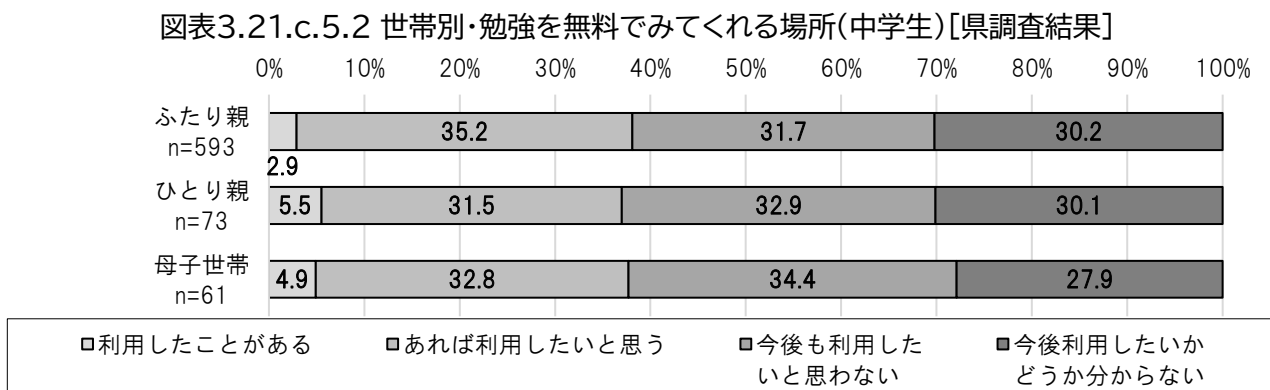
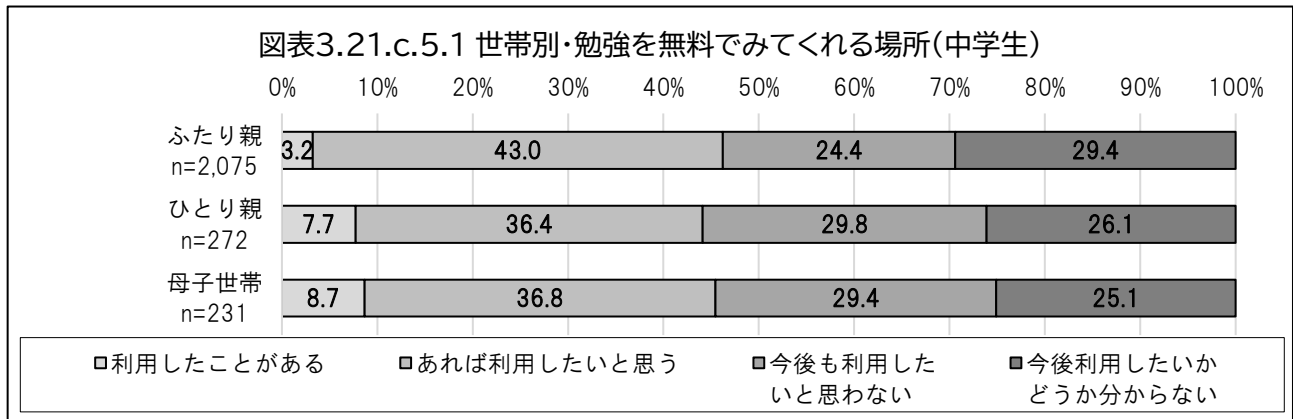
(4)世帯別・小学生（問 21.c 勉強を無料でみてくれる場所）

勉強を無料でみてくれる場所について、世帯別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 3.0%であったのに対し、ひとり親世帯では 3.6%と同程度となっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 31.5%であったのに対し、ひとり親世帯では 34.8%とやや高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 21.c 勉強を無料でみてくれる場所）

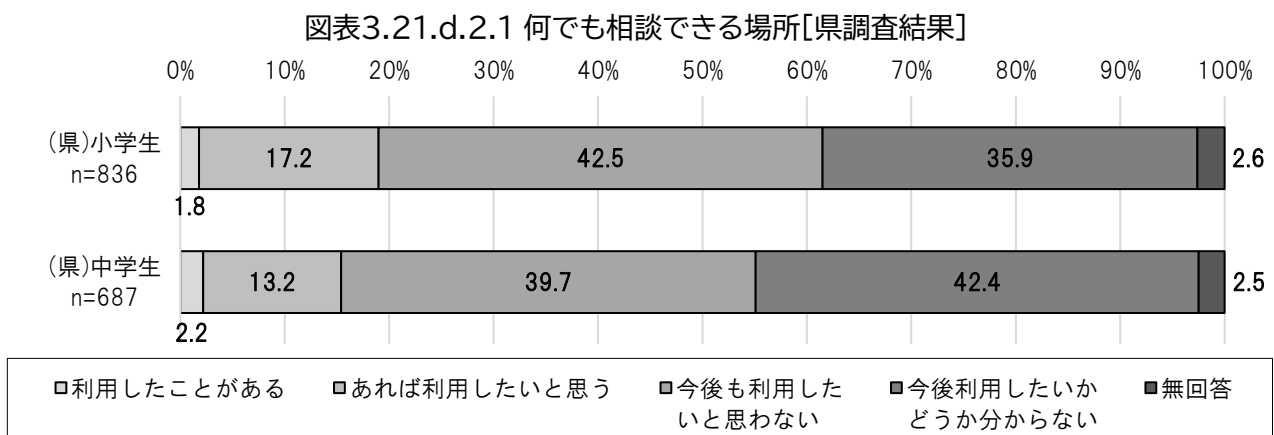
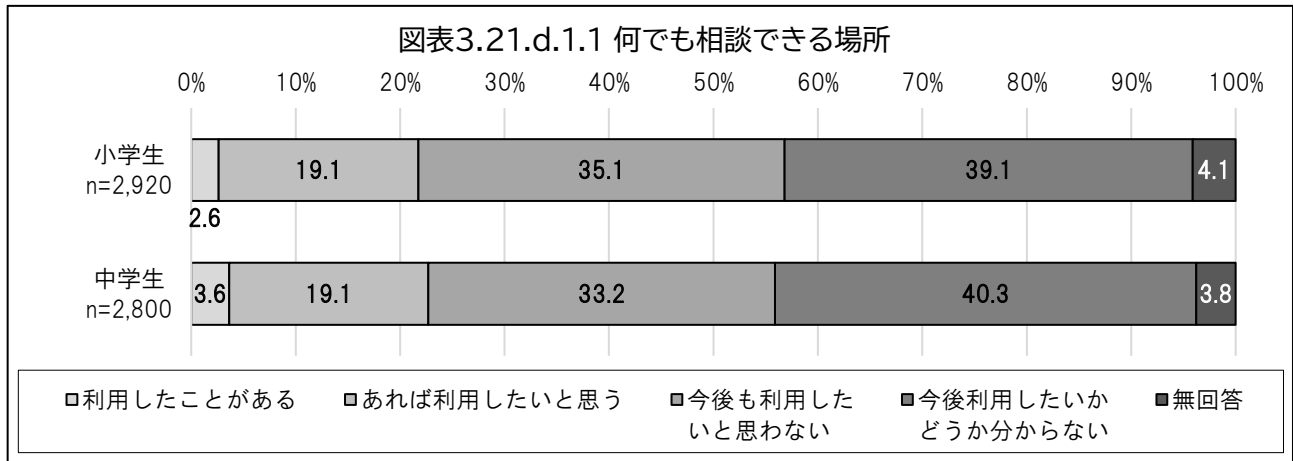
勉強を無料でみてくれる場所について、世帯別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 3.8%であったのに対し、ひとり親世帯では 7.7%とやや高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 41.1%であったのに対し、ひとり親世帯では 36.4%と低くなっています。



d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)

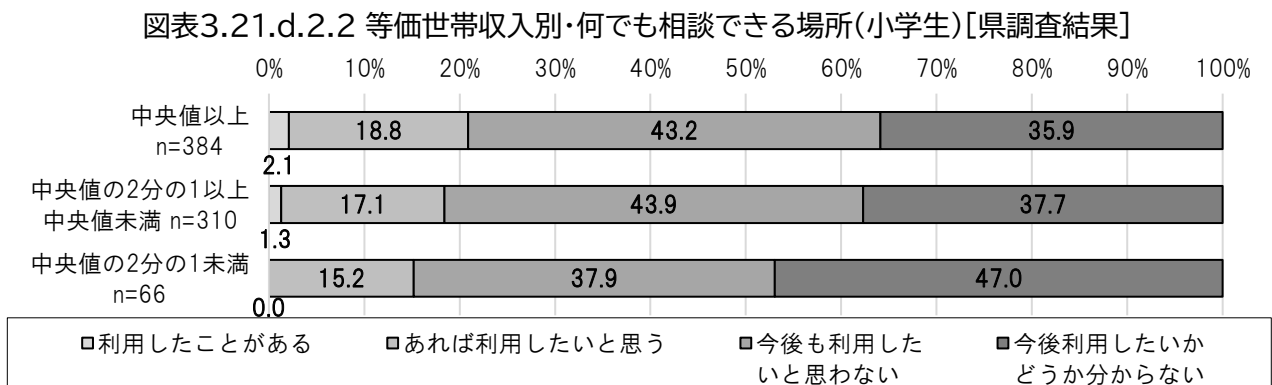
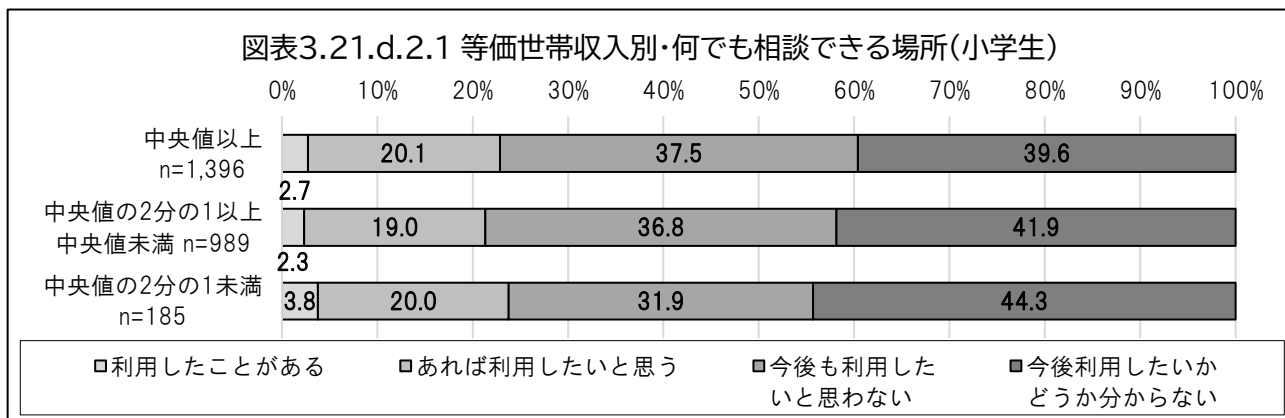
(1)全体

何でも相談できる場所について、小学生・中学生ともに「今後利用したいかどうか分からない」が39.1%、40.3%と最も高く、次いで「今後も利用したいと思わない」が35.1%、33.2%、「あれば利用したいと思う」が19.1%、19.1%となっています。



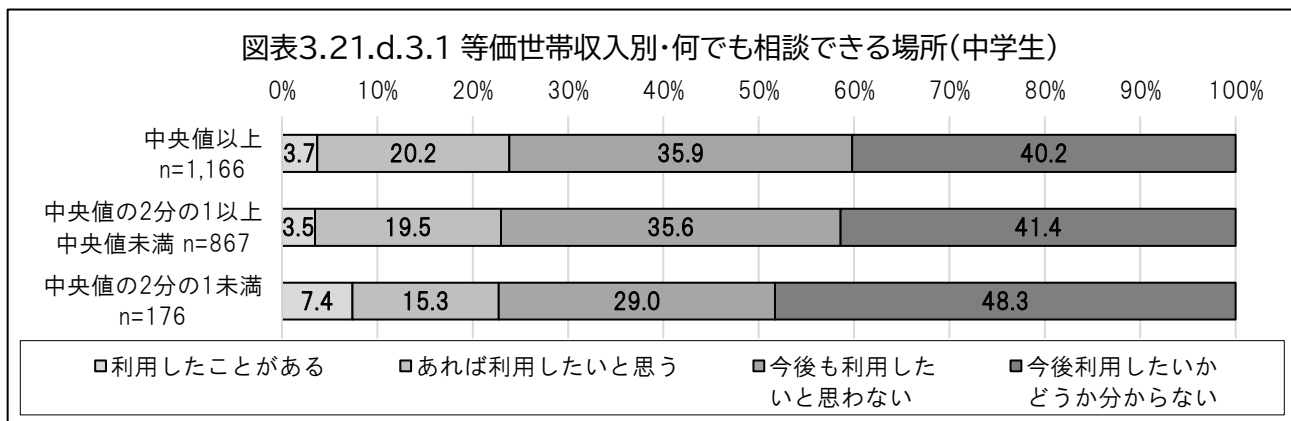
(2)等価世帯収入別・小学生（問 21.d 何でも相談できる場所）

何でも相談できる場所について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では2.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では3.8%とやや高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では19.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では20.0%と同程度となっています。

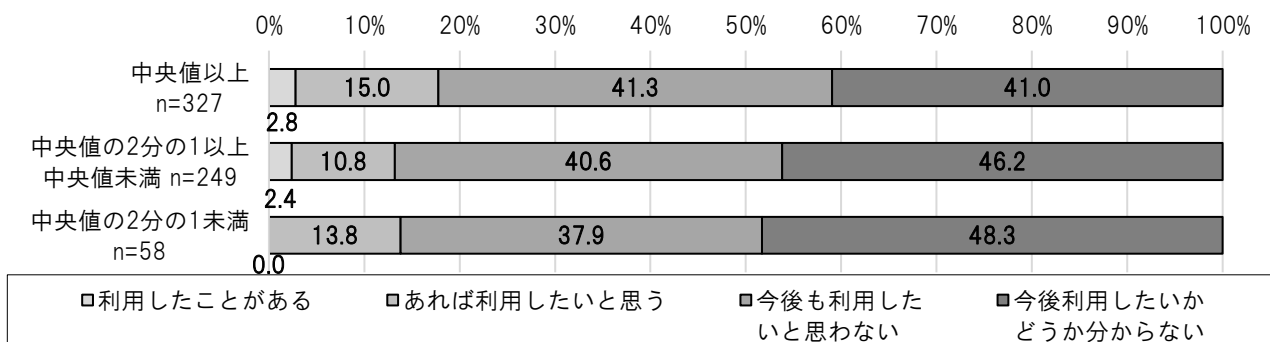


(3)等価世帯収入別・中学生（問 21.d 何でも相談できる場所）

何でも相談できる場所について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では3.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では3.5%と同程度となっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では19.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では15.3%と低くなっています。

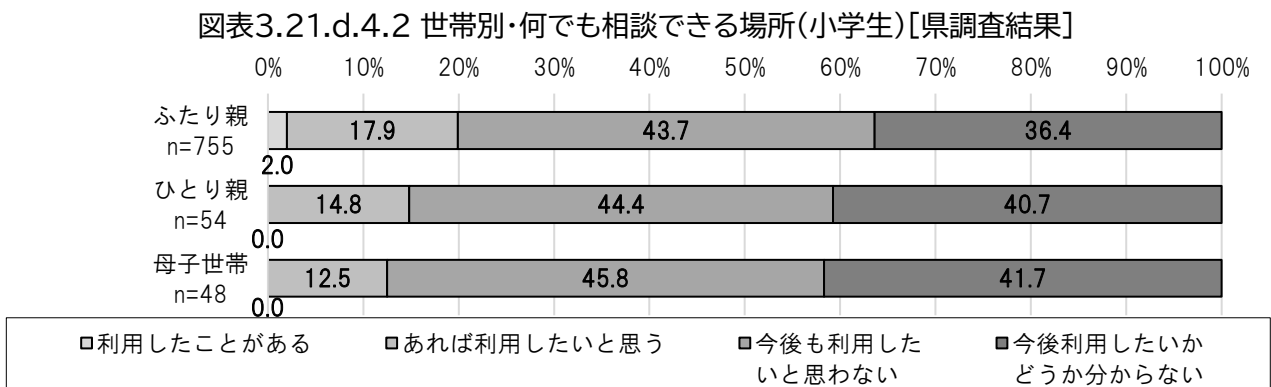
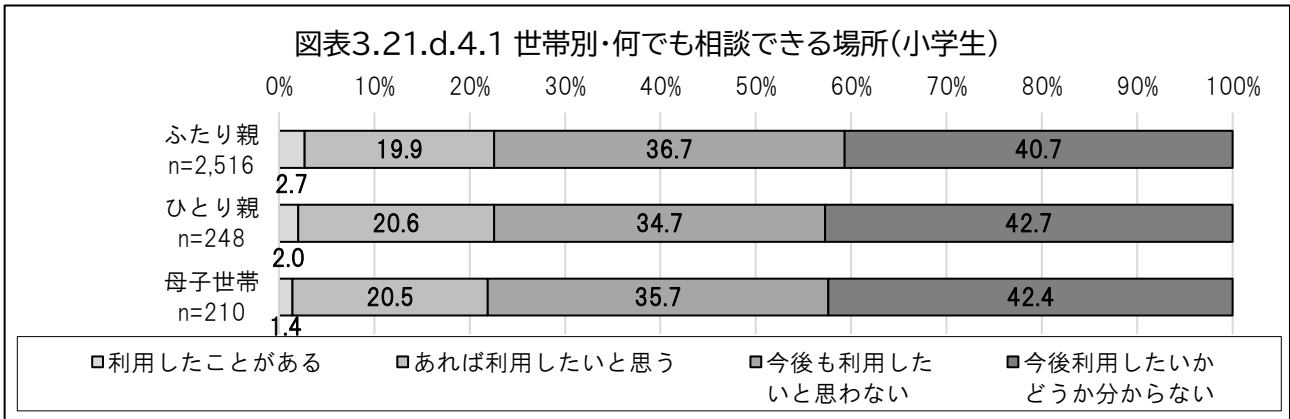


図表3.21.d.3.2 等価世帯収入別・何でも相談できる場所(中学生)[県調査結果]



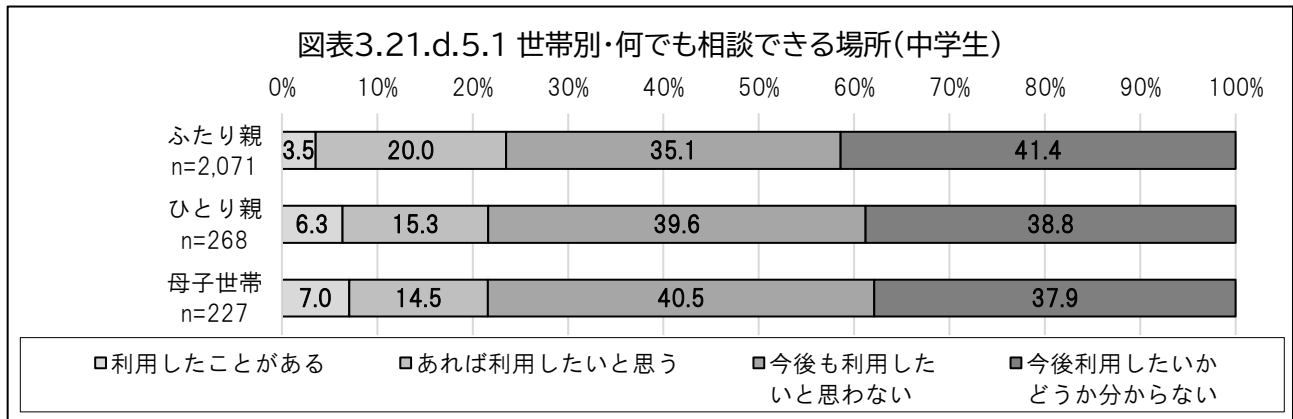
(4)世帯別・小学生（問 21.d 何でも相談できる場所）

何でも相談できる場所について、世帯別にみると、小学生では、「利用したことがある」、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体ではそれぞれ 2.6%、19.1%であったのに対し、ひとり親世帯では、それぞれ 2.0%、20.6%で同程度となっています。

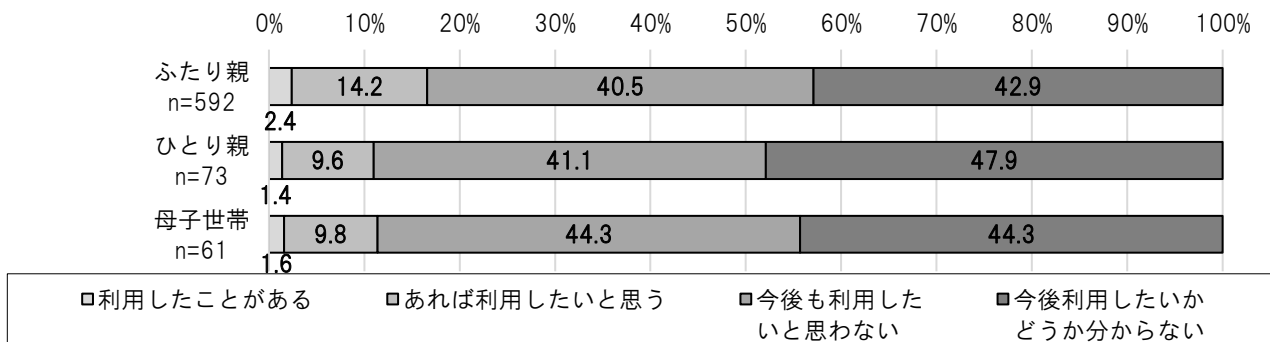


(5)世帯別・中学生（問 21.d 何でも相談できる場所）

何でも相談できる場所について、世帯別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 3.6%であったのに対し、ひとり親世帯では 6.3%とやや高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 19.1%であったのに対し、ひとり親世帯では 15.3%と低くなっています。



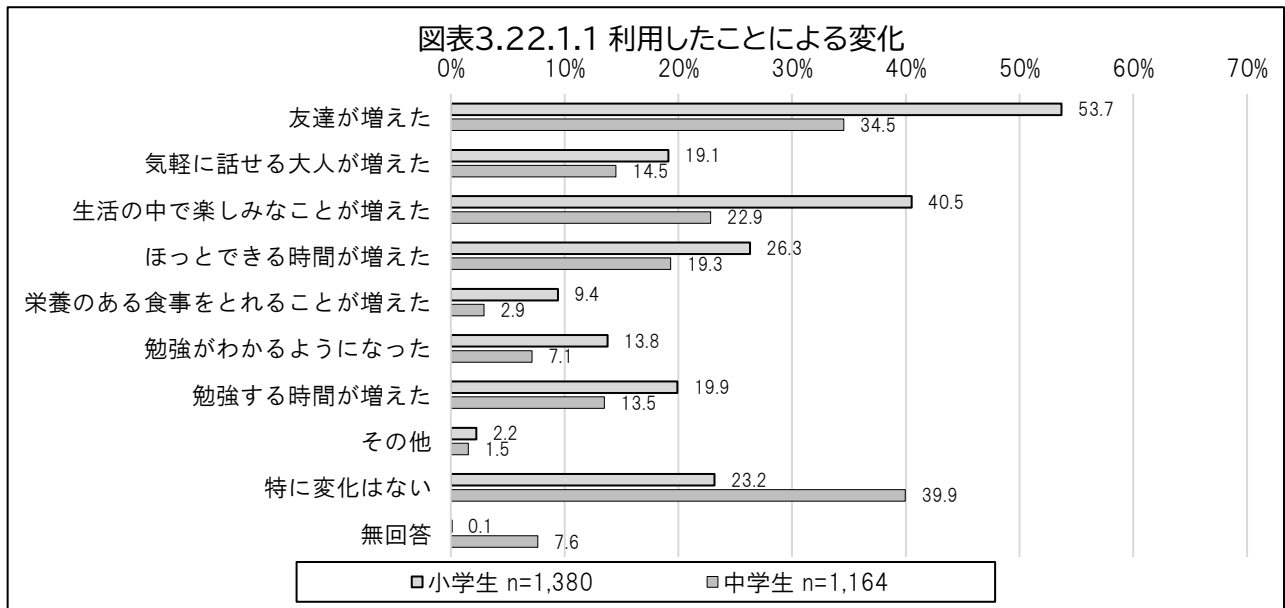
図表3.21.d.5.2 世帯別・何でも相談できる場所(中学生)[県調査結果]



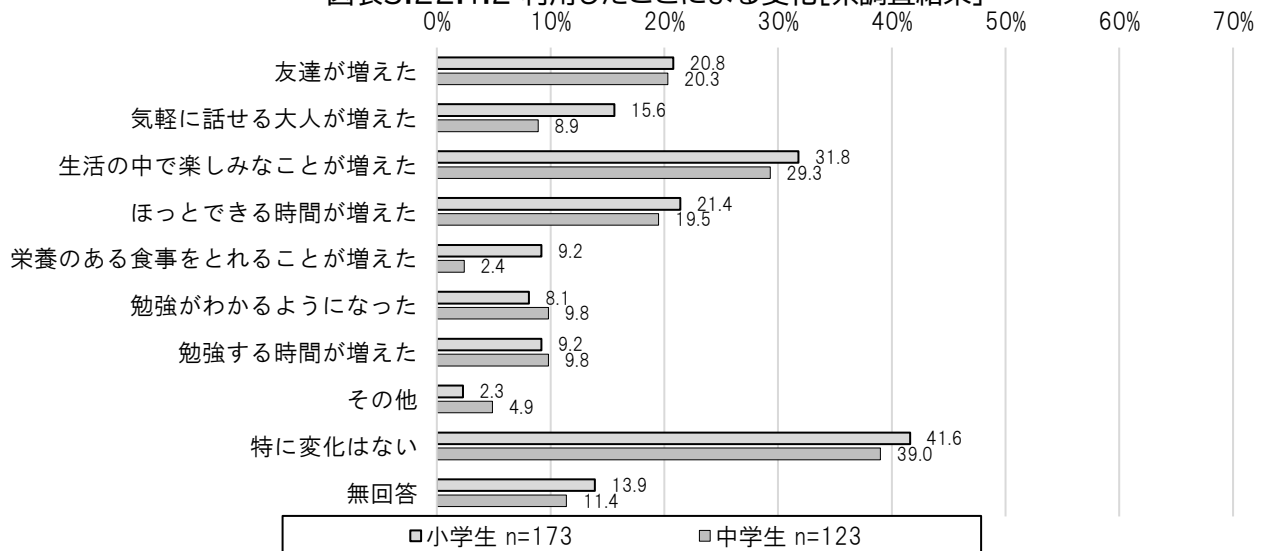
問22. 前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。

(1)全体

利用したことによる変化について、小学生では「友達が増えた」が53.7%で最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が40.5%、「ほっとできる時間が増えた」が26.3%となっています。中学生では「特に変化はない」が39.9%で最も高く、「友達が増えた」が34.5%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が22.9%となっています。

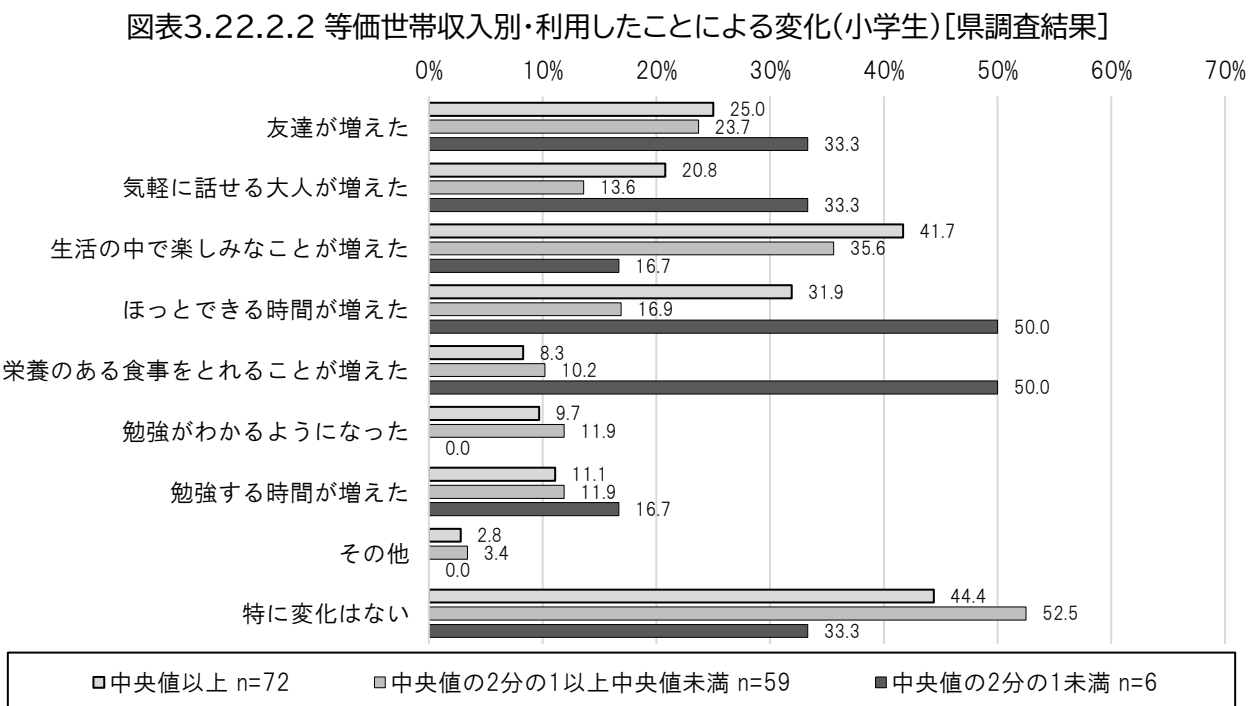
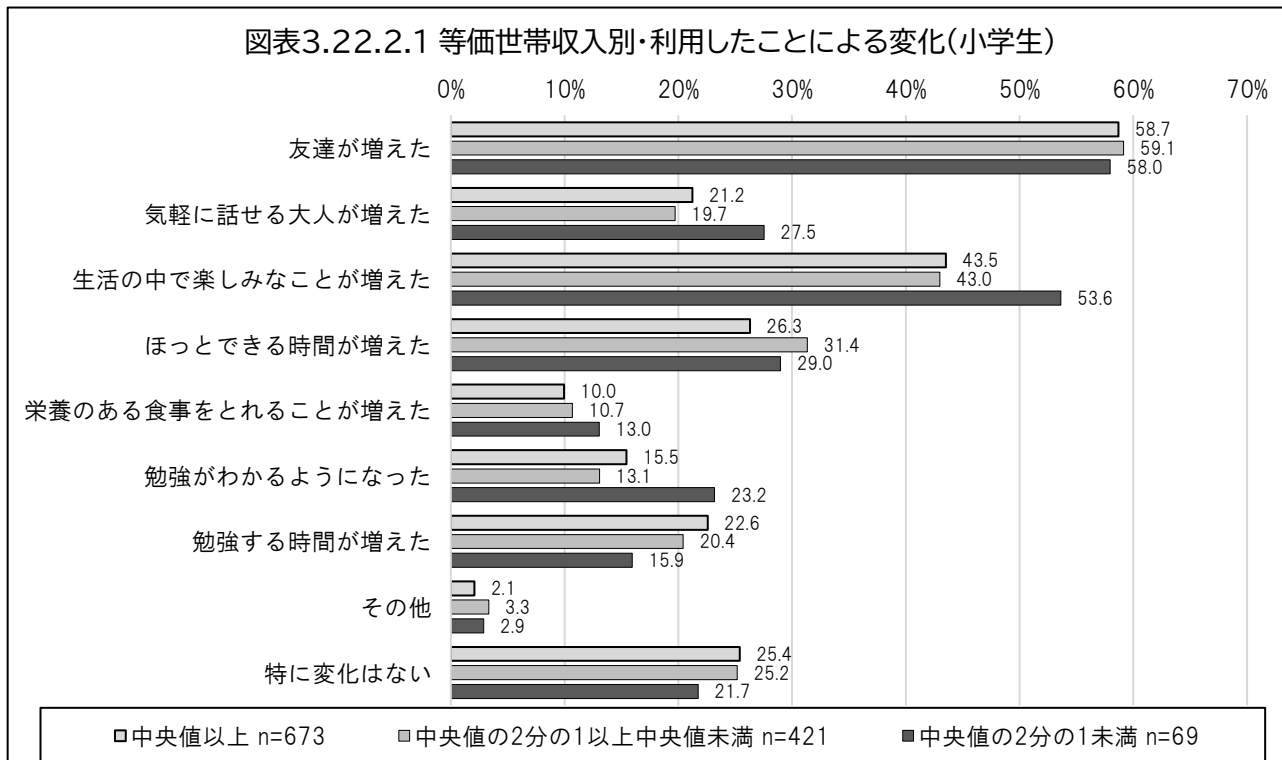


図表3.22.1.2 利用したことによる変化[県調査結果]



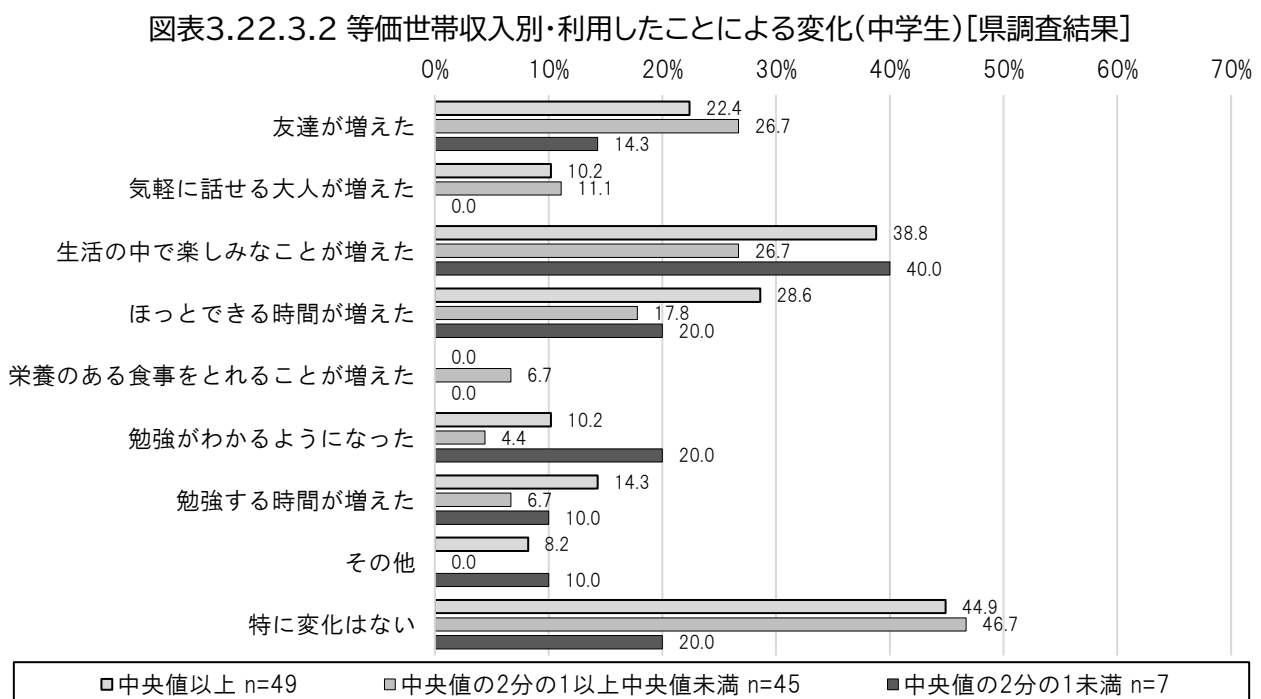
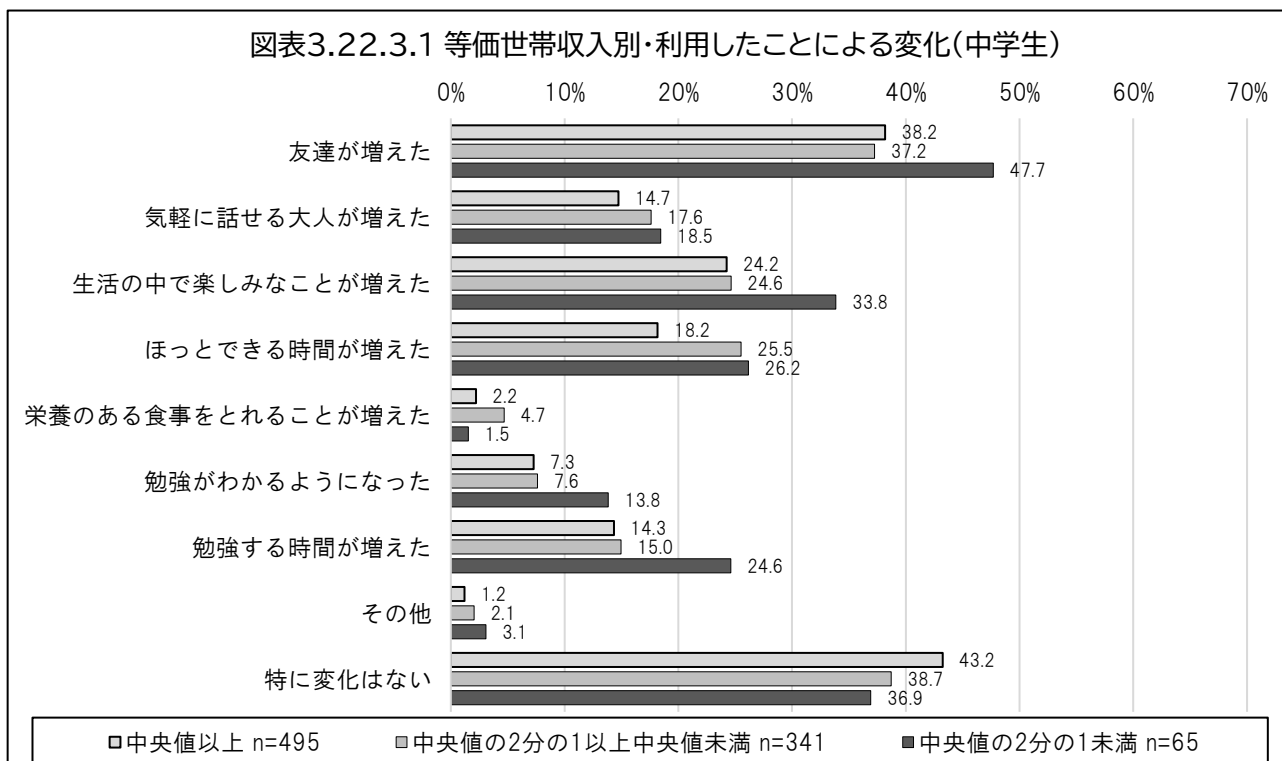
(2)等価世帯収入別・小学生（問 22 利用したことによる変化）

利用したことによる変化について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の小学生では、「友達が増えた」が58.0%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が53.6%、「ほっとできる時間が増えた」が29.0%となっています。また、「生活の中で楽しみなことが増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」、「勉強がわかるようになった」などが他の世帯と比較して高くなっています。



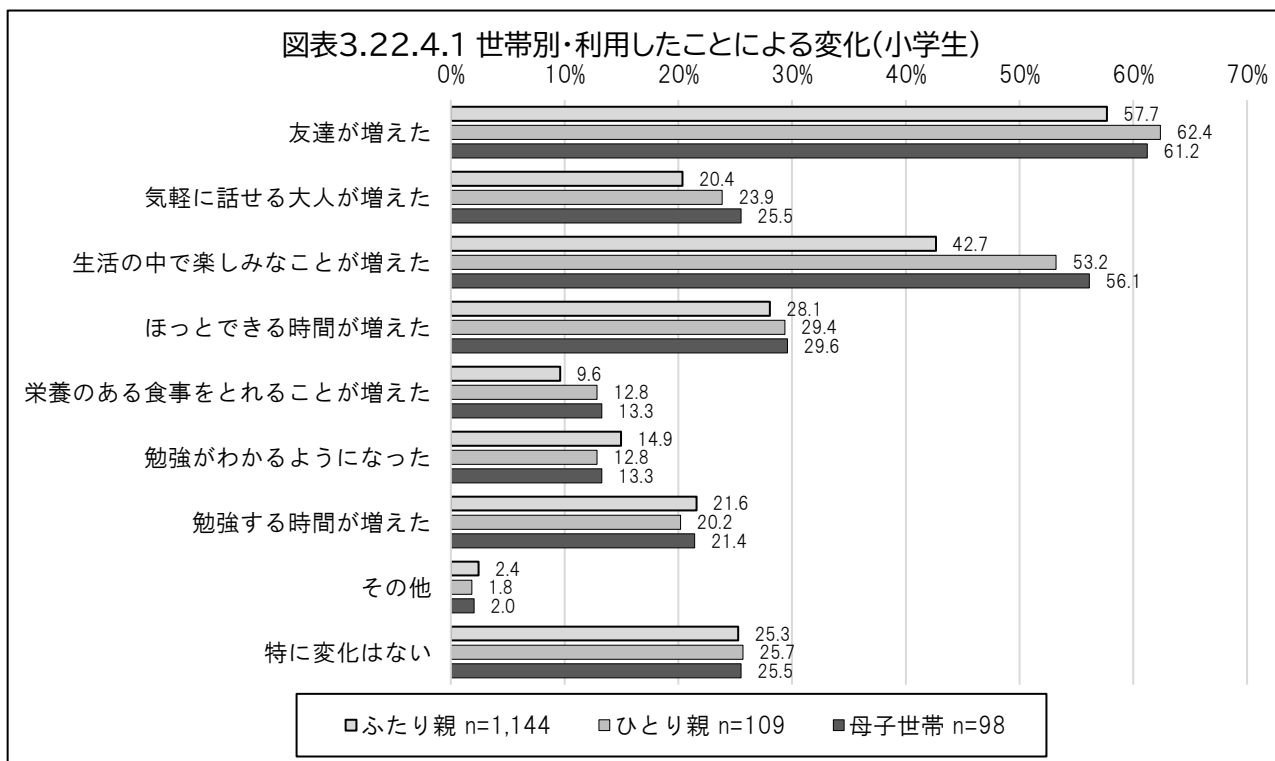
(3)等価世帯収入別・中学生（問 22 利用したことによる変化）

利用したことによる変化について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の中学生では、「友達が増えた」が47.7%と最も高く、次いで「特に変化はない」が36.9%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が33.8%となっています。また「友達が増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」、「勉強する時間が増えた」、「勉強がわかるようになった」が、他の世帯と比べて高くなっています。

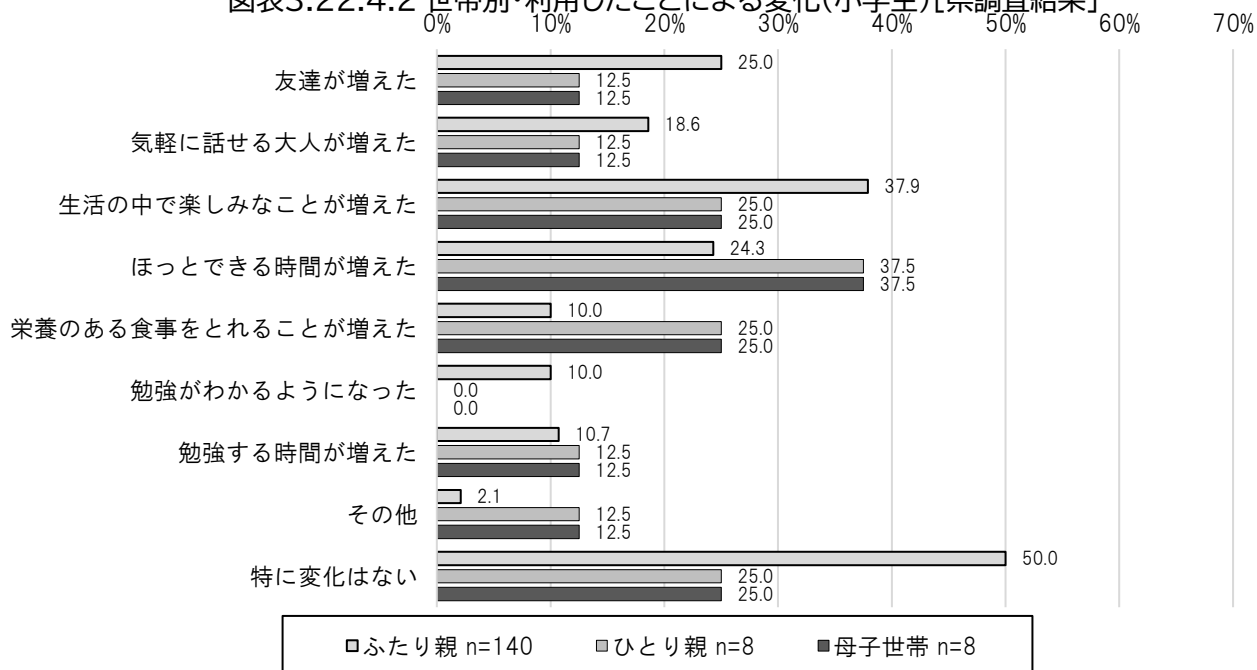


(4)世帯別・小学生（問 22 利用したことによる変化）

利用したことによる変化について、世帯別にみると、ひとり親世帯の小学生では、「友達が増えた」が62.4%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が53.2%、「ほっとできる時間が増えた」が29.4%となっています。また「友達が増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」、「ほっとできる時間が増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」、「栄養のある食事をとれることが増えた」が、ふたり親と比較して高くなっています。

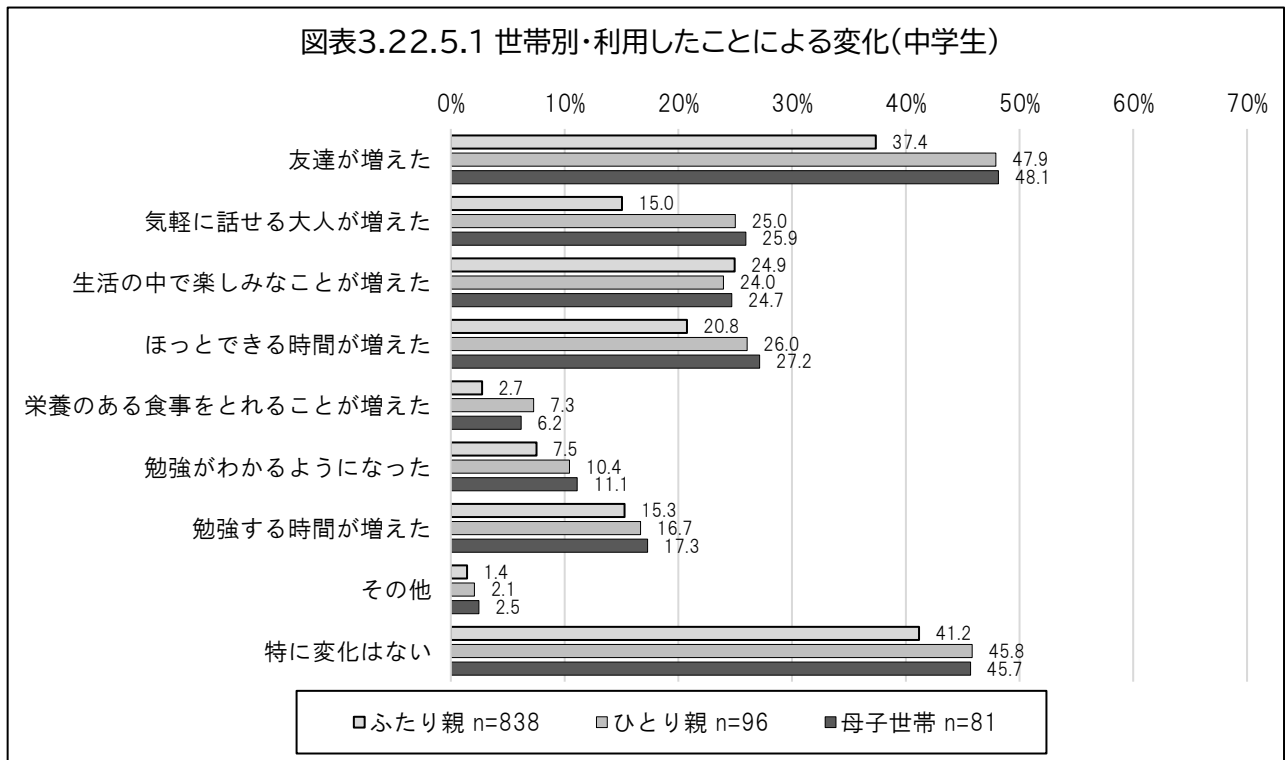


図表3.22.4.2 世帯別・利用したことによる変化(小学生)[県調査結果]

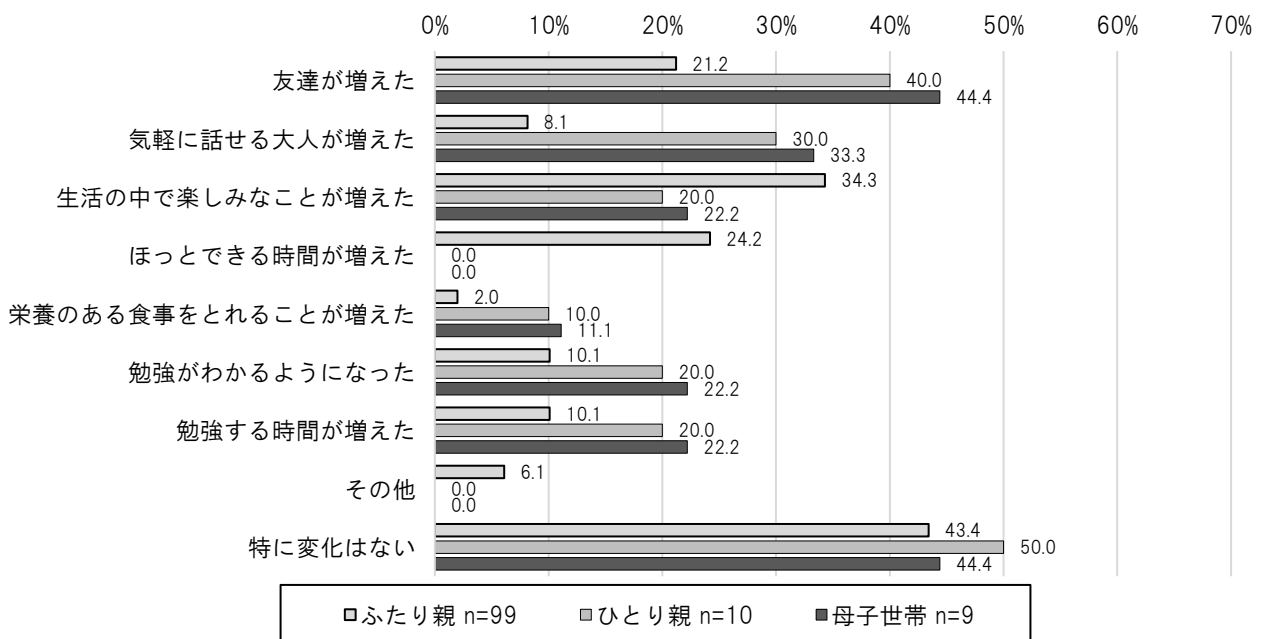


(5)世帯別・中学生（問 22 利用したことによる変化）

利用したことによる変化について、世帯別にみると、ひとり親世帯の中学生では、「友達が増えた」が47.9%と最も高く、次いで「特に変化はない」が45.8%、「ほっとできる時間が増えた」が26.0%、となっています。「友達が増えた」、「特に変化はない」、「ほっとできる時間が増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」、「勉強がわかるようになった」、「栄養のある食事をとれることが増えた」が、ふたり親と比較して高くなっています。

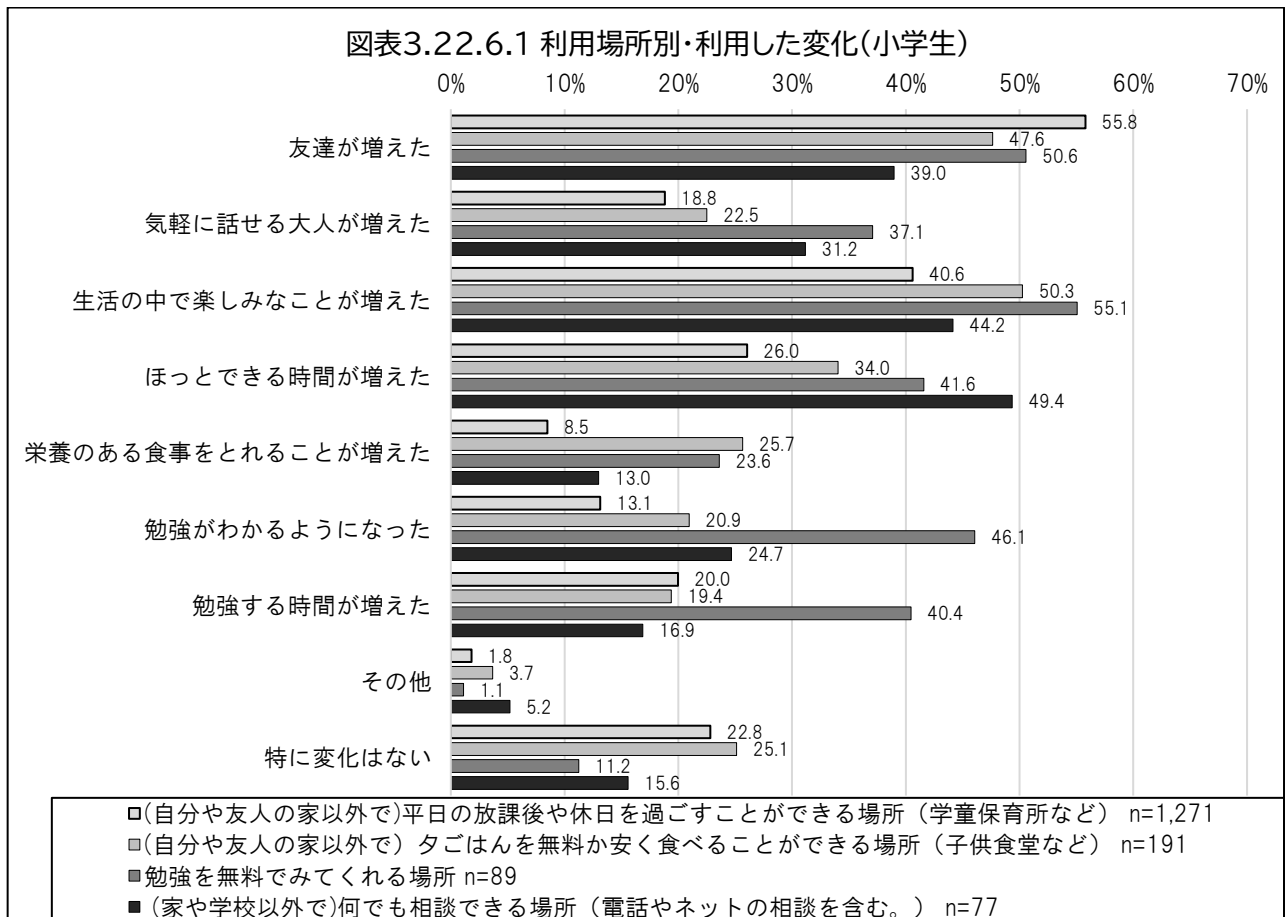


図表3.22.5.2 世帯別・利用したことによる変化(中学生)[県調査結果]

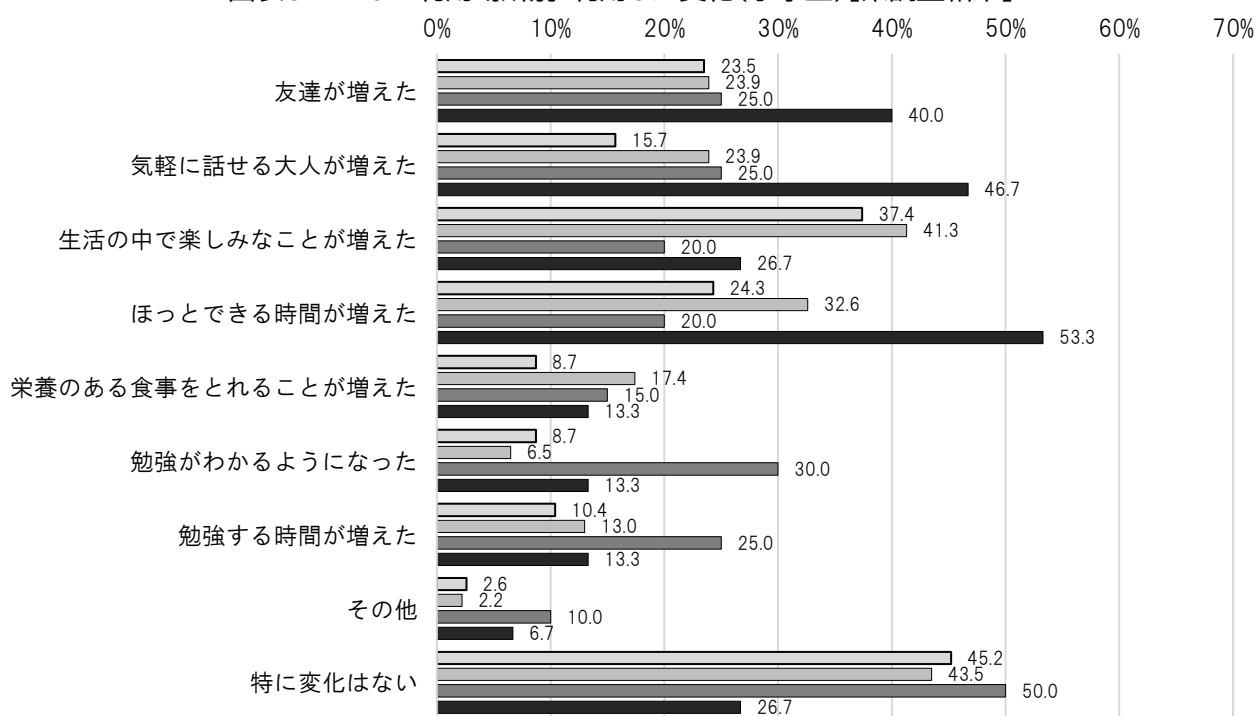


(6)利用場所別・小学生（問 22 利用したことによる変化）

利用したことによる変化について、利用場所別にみると、小学生では、「（自分や友人の家以外で）平日の放課後や休日を過ごすことができる場所（学童保育所など）」では「友達が増えた」が55.8%、「（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子供食堂など）」、「勉強を無料でみてくれる場所」では「生活の中で楽しみなことが増えた」が50.3%、55.1%と最も高くなっています。また、「（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）」では「もっとできる時間が増えた」が49.4%と最も高くなっています。



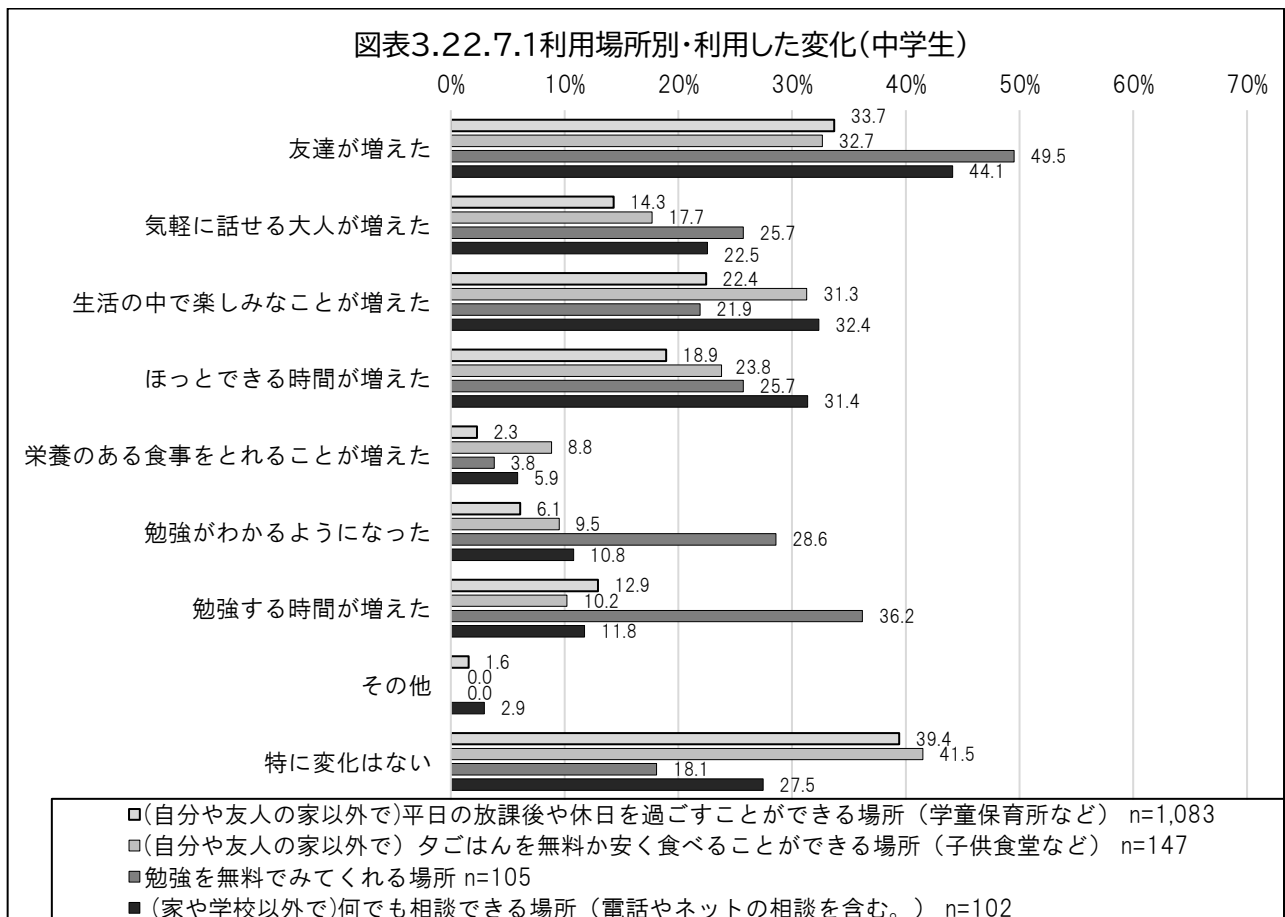
図表3.22.6.2利用場所別・利用した変化(小学生)[県調査結果]



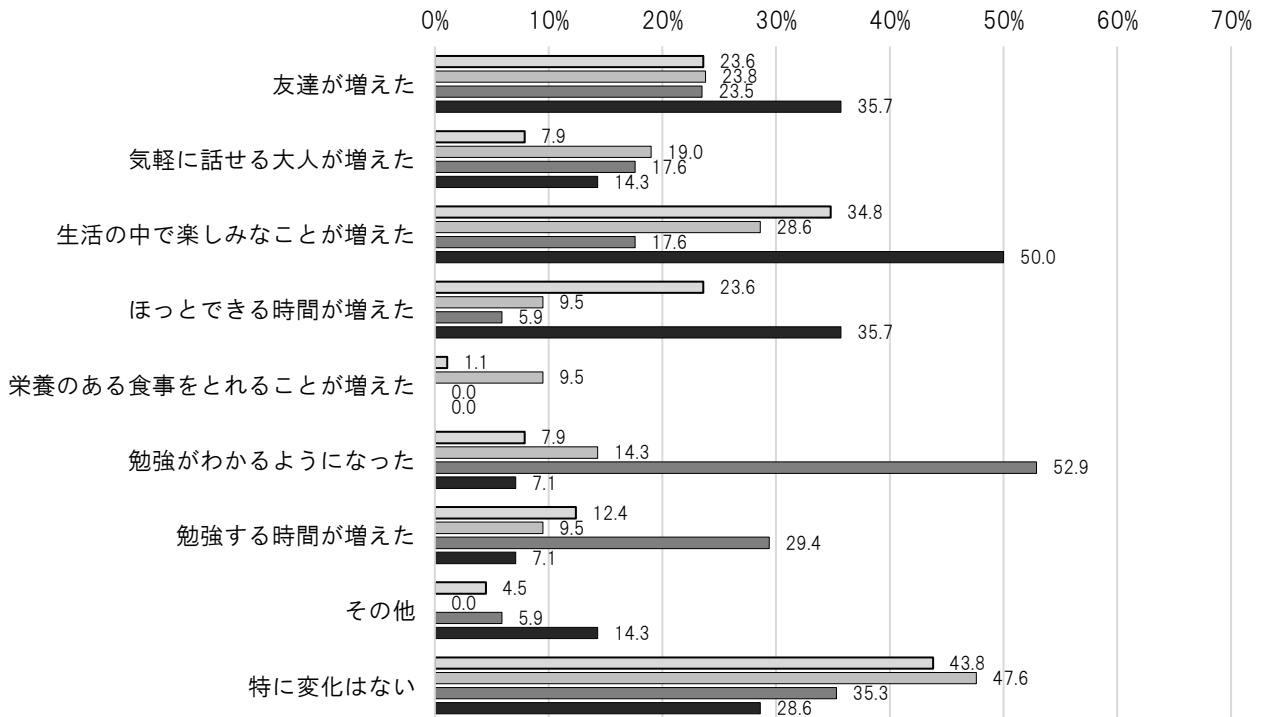
- (自分や友人の家以外で)平日の放課後や休日を過ごすことができる場所 (学童保育所など) n=115
- ▣(自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など) n=46
- 勉強を無料でみてくれる場所 n=20
- (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。) n=15

(7)利用場所別・中学生（問 22 利用したことによる変化）

中学生では、「（自分や友人の家以外で）平日の放課後や休日を過ごすことができる場所（学童保育所など）」、「（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子供食堂など）」では「特に変化はない」が39.4%、41.5%と最も高く、次いで「友達が増えた」が33.7%、32.7%となっています。また、「勉強を無料でみてくれる場所」、「（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む）」では「友達が増えた」が49.5%、44.1%で最も高くなっています。



図表3.22.7.2利用場所別・利用した変化(中学生)[県調査結果]

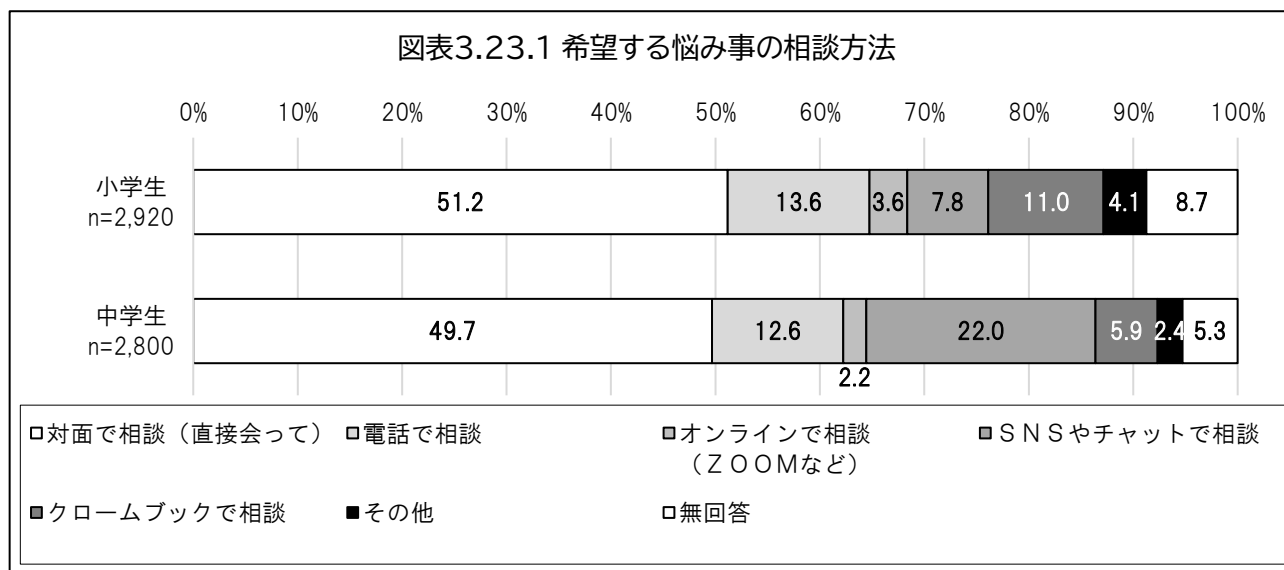


□(自分や友人の家以外で)平日の放課後や休日を過ごすことができる場所 (学童保育所など) n=89
 ▨(自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など) n=21
 ■ 勉強を無料でみてくれる場所 n=17
 ■ (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。) n=14

問23. あなたが困っていることや悩み事を相談するとしたら、どのような相談方法を希望しますか。

(1)全体

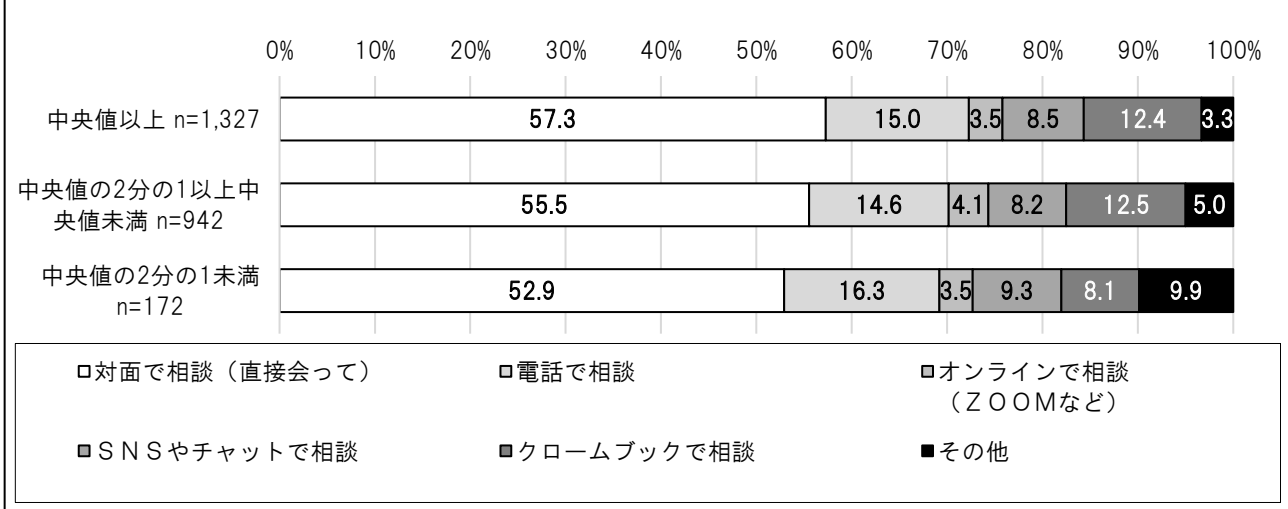
希望する悩み事の相談方法について、小学生・中学生ともに「対面で相談（直接会って）」が51.2%、49.7%と最も高くなっています。次いで、小学生は、「電話で相談」が13.6%、「クロームブックで相談」が11.0%、中学生では「SNSやチャットで相談」が22.0%、「電話で相談」が12.6%となっています。



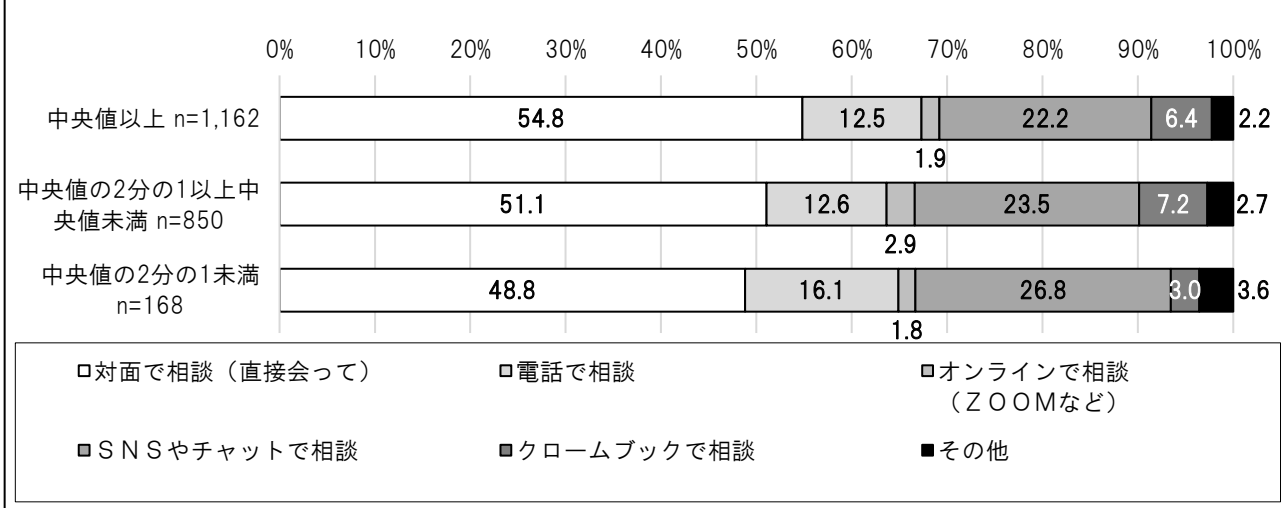
(2)等価世帯収入別

希望する悩み事の相談方法について、等価世帯収入別にみると、「対面で相談（直接会って）」と回答した割合は、全体では小学生が51.2%、中学生が49.7%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が52.9%とやや高く、中学生が48.8%とやや低くなっています。また、小学生では、「電話で相談」と回答した割合は、全体では13.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では16.3%と高くなっています。中学生では、「SNSやチャットで相談」と回答した割合は、全体では22.0%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では26.8%と高くなっています。

図表3.23.2.1 等価世帯収入別・希望する悩み事の相談方法(小学生)

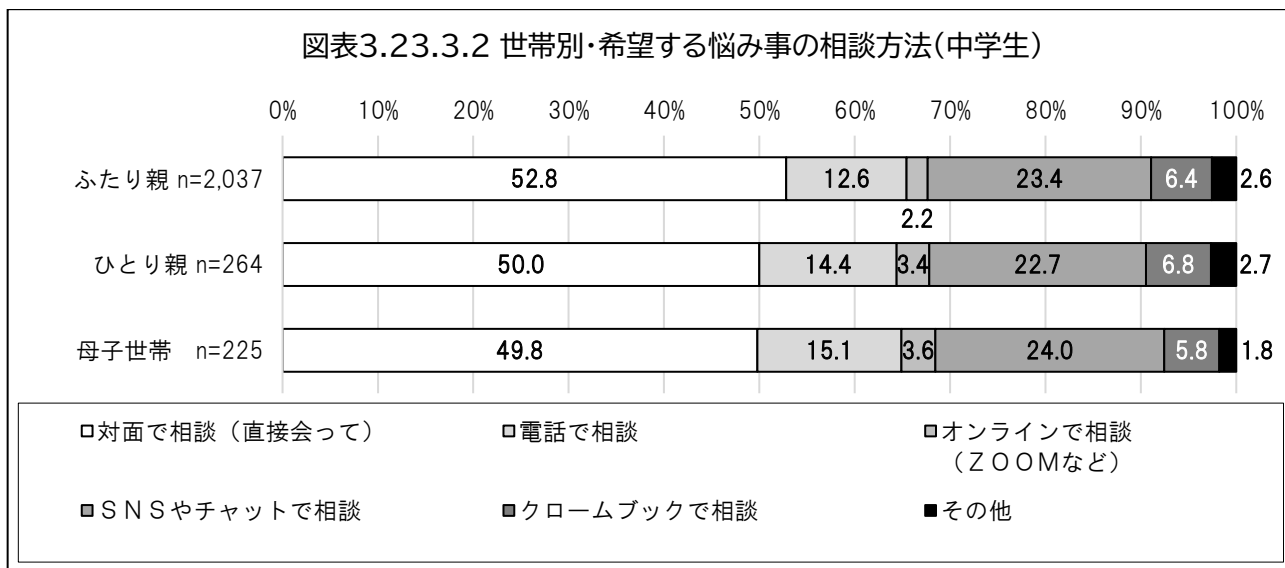
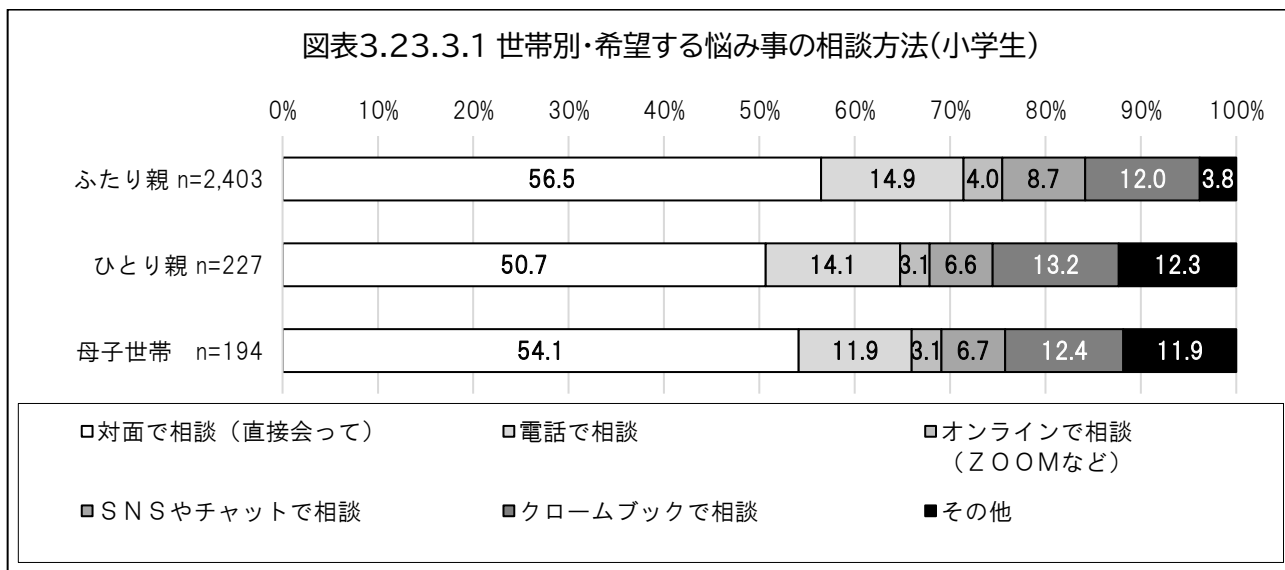


図表3.23.2.2 等価世帯収入別・希望する悩み事の相談方法(中学生)



(3)世帯別

希望する悩み事の相談方法について、世帯別にみると、小学生では、「対面で相談（直接会って）」と回答した割合は、全体では小学生が51.2%、中学生が49.7%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生が50.7%とやや低く、中学生が50.0%とやや高くなっています。また、小学生では、「電話で相談」と回答した割合は、全体では13.6%であったのに対し、ひとり親世帯では14.1%と高くなっています。中学生では、「SNSやチャットで相談」と回答した割合は、全体では22.0%であったのに対し、ひとり親世帯では22.7%と高くなっています。



資料編
自由意見のまとめ
調査票見本

資料編

1 子どもの生活実態調査における自由意見

(1) 小学生の自由意見

①市役所にやってほしいこと、伝えたいことについて、アンケート調査の自由意見内容を分類し、抽出が多かった主な単語を示した結果は以下の通りです。

■抽出語件数

抽出語	学校	公園	お金・無料	場所	いじめ
件数	56	54	40	39	20

■小学生の自由意見

抽出語	総件数	分類	件数	代表的な自由意見
学校	56	ポジティブ	28	他の <u>学校</u> の友達や、県外の子たちとも交流できるようなイベントを開いてほしい。毎日が楽しいです！ 風邪で休んでしまった時や、 <u>学校</u> に行けてない人のために PC で授業を受ける、プリントなどを受け取れるようにしてほしいです。
		ネガティブ	23	<u>学校</u> の担任の先生がひどいことを言うので <u>学校</u> に行けなくて困っています。無料のフリースクールがあってほしい。 <u>小学校</u> を合併しないでほしい。母校がなくなると悲しいです。
		両方	5	私は <u>学校</u> で SDGs の活動をしているので、世界には食事もとれない人達がいることや、SDGs のことについて富山市の人にできるだけ多く知ってほしいです。
公園	54	ポジティブ	37	<u>公園</u> をもっと増やしてほしい。理由は、たくさん外で遊んで体力作りや友達と遊ぶときに利用したいからです。 広くて色々な遊具、誰でも使える <u>公園</u> が欲しい。 高学年が元気よく遊べる <u>公園</u> を作ってほしい。
		ネガティブ	6	<u>公園</u> で「ボールを使うな」と言われたので、ボールで遊べる <u>公園</u> を作ってほしい。
		両方	11	<u>公園</u> に時計を増やしてほしい。夜怖いので街灯を増やしてほしい。

お金 無料	40	ポジティブ	28	無料の勉強会を開いてほしい。受験を希望するから、対策できるようにしてほしい。 小中学校の集金を無償化してほしいです。夏休みや冬休み、春休みに勉強を無料で見えてくれる教室を学校内に作ってほしいです。 無料で遊べて楽しいイベントを企画してほしい。
		ネガティブ	9	給食費を無料にしてください。高い税金が何に使われているかわかりません。
		両方	3	公共サービスを安くしてほしい。お年寄りだけでなく、若い子のためにお金を使ってほしい。
場所	39	ポジティブ	23	遊べるような施設・場所が増えるとうれしい。(公園や屋内など気軽に行ける場所) 雨の日でも遊べる場所が欲しい。 悩み事があったら気楽に話せる場所を作してほしい。
		ネガティブ	8	大人に話そうとしても不安で話しづらく、一人でどうしようもなく泣いていることが多いです。安心しておびえずに話せるような人・場所があればうれしいです。
		両方	8	放課後に友達と遊べる場所や学習ができる場所が欲しいです。(親のいない家で遊ぶことが禁じられているから)
いじめ	20	ポジティブ	13	「いじめ」、「からかう」、「バカにする」を無くしてほしい。 最近ニュースでいじめや自殺などの事件が増えている気がするので、防ぐための会や、みんなに一度命の大切さについてわかってもらえるような行事などがあればいいと思います。 いじめをしないようにする取り組みを行って色々な人に伝わるようにしてほしい。
		ネガティブ	5	中学、高校に行ったらいじめられないか心配。
		両方	2	私はいじめなどが無くなるような活動をしてほしいです。学年に悪口を言われている子がいて、そのせいで何かあったら嫌だし、みんなと仲良くしてほしいのでそう考えました。

(2) 小学生の保護者の自由意見

①外出した際などにおいて、ちょっとした気遣い・配慮があつてうれしかったことや助かったこと、あるいは困ったことなどについて、アンケート調査の自由意見内容を分類し、抽出が多かった主な単語を示した結果は以下の通りです。

■抽出語件数

抽出語	トイレ	親	子育て	声	場所
件数	77	42	36	31	30

■小学生の保護者の自由意見

抽出語	総件数	分類	件数	代表的な自由意見
トイレ	77	ポジティブ	39	スーパーでの買い物中、子供が <u>トイレ</u> に行きたがり、買い物途中の荷物を店員さんが預かって下さっていてとても助かりました。 子どもは <u>トイレ</u> を待てない事が多く、並んでいるときに順番を譲って頂いて助かった事が何度かあります。オストメイトなど緊急用にあけておくような優先子供 <u>トイレ</u> が公共機関にあつたらと思います。
		ネガティブ	26	子供が小学校低学年の頃、外出先で <u>トイレ</u> に行く際、多目的 <u>トイレ</u> のない場所では男の子を <u>トイレ</u> の外で、1人で待たせる時間があり不安に感じました。 父親が子供をおむつ替えや <u>トイレ</u> に連れていく時に、男性 <u>トイレ</u> におむつ替え台が無いところや、個室が少ないため大変な事がよくあつた。
		両方	12	和式の <u>トイレ</u> しかない時は少し困つたことがある。最近公園でも <u>トイレ</u> がきれいになり、洋式がほぼあるし、子供用の <u>トイレ</u> があるところもあり助かります。汚い <u>トイレ</u> は子どもも嫌がるのでキレイだと嬉しいです
親	42	ネガティブ	23	小学生未満の室内の遊び場はあつても小学生以上の子どもたちが遊べる場が少ない。 高学年にもなれば <u>親</u> も一緒にという場所はさらに少なく、もう少しそういう場があつてもいいと思う。 公園で小さい子にぶつかつてしまい、その子の <u>親</u> に怒鳴られた。スーパーで子供が楽しそうにしていたら、知らないおじさんに「うるさい！どんな教育してるんだ！」と怒鳴られた。

				<p>子供を連れてお花見をしていた時、知らないおばさんに、子どもがジュースとお菓子をもらったのだが、どの誰だかわからず安心して食べさせて良いかも困り、「昔なら悩まずに食べさせたんだろうなあ」と、思いつつ捨ててしまった。子供にも知らない人からもらってはダメと伝えているし、食べて何かあっても困るので、大人の親切心に対して子供には警戒しなさいというのが難しい。親の経済的な差でクラブチームに入るに入れないといった現状も困っている。</p>
		ポジティブ	10	<p>富山子育て応援団優待券を時々使わせていただいています。携帯で手軽に見せることができるので、ギョーザやポテトやアイスなど子供がいただけで、その喜ぶ姿を見て親も喜んでいきます。</p>
		両方	9	<p>妊娠中に未満児を連れて家族三人で電車に乗った、座るところがなく立つつもりでいたが、女子中学生の二人組が席を譲ってくれて本当に嬉しかった。子供達の声が大きく兄弟ケンカで大泣きした時など近所の方に、虐待を疑われていたと後で知った。チャイルドシートを嫌がる時期も大泣きばかり。無理やりベルトを絞めていたが、見る人が見れば虐待だったかもしれない。子供を守るためアンテナを張るのはよいが、疑うことで一生懸命頑張っている親を追い詰めることもあるとわかって欲しい。</p>
子育て	36	ポジティブ	23	<p>公共の交通機関(電車・バス)など料金が安く助かる。外食店にて、子育て応援団を使えてうれしかった。その他、子供がいる家族に配慮した張り紙や、サービスも充実していてありがたいと思った。</p> <p>とやま子育て応援団優待カードが使える企業を見つけると、子育て支援に積極的に参加していただいているのだと思って嬉しくなります。</p> <p>周りの方から色々とお助けいただきながら、ここまで子育てをしてこれたと思います。</p> <p>いろんな考え方の方がいらっしゃいますが、市民の多くは理解のある方が多いと思うので、「困ったときはお互い様」の気持ちで、私もこれから小さなお子さん連れの方に、自分がしてもらってきたことを返していきたいと思います。</p>

		ネガティブ	9	富山県は <u>子育て</u> しづらい県です。周りの大人が子供に対して冷たい。公園でボールを使ってはダメな所がある。
		両方	4	子供が公園で遊んでいると、隣の人がうるさいと怒り学校へ連絡。そういう大人(高齢者の方)が多いです。大きな声を出して遊ぶとうるさいのはわかりますが、怒り散らすことが正しいのか？子供に話す時、どのように言うべきか悩みます。 逆に、近所の方たちは子供の賑やかな声を喜んで下さります。迷惑をかけたくないと思いつつも心が疲れることなく、 <u>子育て</u> をさせていただいてます。
声	31	ポジティブ	23	騒がしくて迷惑をかけているなと思ったけど、それを察してか、やさしい <u>声</u> 掛けをしてくださったことがうれしかったです。ちょっとしたことでも微笑ましく見守って、そして、 <u>声</u> をかけてくれた時、心がほっこりします。
				大人の方から <u>声</u> をかけて下さると大変うれしく感じます。子供がうるさい時や多少邪魔に思われるような場面だと、子供からの働きかけではなく大人からの <u>声</u> 掛けによって子供には大きく影響すると思います。直接子供に優しく関わってくださると、とても嬉しく感じました。
				こどもと出かけているとき、ちょっとした挨拶や <u>声</u> 掛けをして下さるだけでも嬉しいです。
		ネガティブ	4	発達障害なのですが、見た目だけではわかりにくく、外出先で暴れる時、 <u>大声</u> を出してしまう時に周りに理解されにくい。迷惑をかけてしまうことが多く出かけにくい。
両方	4	買い物に行った時、子どもがぐずって大泣きした時「かわいいね」と <u>声</u> をかけられたことがうれしかった。うるさいって目で見られると辛い、子供に寛容な社会であってほしい。		
場所	30	ネガティブ	21	子供達を連れて遊ばせる、子供達と体を動かして遊べる <u>場所</u> が町中がない。児童館や公園など、中心地への居住(コンパクトシティ)を提起しているのに、そういった子供が楽しく遊べる <u>場所</u> がない事に疑問を感じます。

				<p>駅前、公園などに座るイスや休む場所が少ない。</p> <p>子供が小学生になり友達と放課後に、遊ぶことができる安全な場所が少ない。小さな公園はあるが天気が悪い日や冬は室内で遊べる場所が近くにないため、友達の家に行くことになる。安心して遊ばせられる場所があると嬉しい。</p>
		ポジティブ	5	<p>お出かけ先の駐車場の場所や動線、施設の配置など詳細が事前にネットで調べられると安心して外出できる。</p>
		両方	4	<p>市の施設、市のトイレは子供のシート(室内で待たせる時間)のものが多く設置されており、間口も広く使いやすかったのもので、子供が小さいときは大変助かりました。城址公園、市内中心部の公園は遊具が少なく子があまり魅力を感じてない様子。管理が大変なのはわかるのですが、自分の子供の頃にはたくさん遊具があり、遠足などでも立ち寄ることが多かったと記憶しております。小さなころの記憶は大人になった時に、帰りがたく、戻りたくなる場所であって欲しいと思います。</p>

(2) 小学生の保護者の自由意見

②子育てや教育をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいか、また、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援について、アンケート調査の自由意見内容を分類し、抽出が多かった主な単語を示した結果は以下の通りです。

■抽出語件数

抽出語	学校	学童	子育て	仕事	相談
件数	200	107	103	74	61

■小学生の保護者の自由意見

抽出語	総件数	分類	件数	代表的な自由意見
学校	200	ネガティブ	144	<p>同じ富山市内なのに、校舎の広さ、生活のしやすさにすごく差があるように感じる。どこの<u>学校</u>に通っても同じような教育を受けることができ、同じような環境を整えてほしい。</p> <p><u>学校</u>の教育は費用があまりかからないが、給食費、雑費、体操服なども安いものではないし、子供の成長が大きい我が家は買い替えクツ、服などが高かった。<u>学校</u>に行くのにとってもお金がかかると感じます。</p> <p>発達障害児に対して、<u>学校</u>、放課後等デイサービス等で先生、職員の方の対応で差がある。その子に関わる以上、障害について理解し対応できるようにしてほしい。</p> <p>対応できない先生が対応したことで本人が感情的になり、逆に悪化したこともある。先生、職員の方の質の向上に力を入れてほしいです。</p>
		ポジティブ	36	<p>何らかの理由があり<u>学校</u>に通えず、勉強についていけなくなった児童にサポートがあれば嬉しいです。<u>学校</u>では難しいようなので、市としてそのようなサポートがあればぜひ利用したいです。</p>
		両方	20	<p>保育士、<u>小学校</u>の先生が、給与や勤務時間など、働きやすい環境となることを希望します。</p> <p>頑張って子供たちと向き合ってくれていると思う先生程、すぐに仕事を辞めていくイメージがあります。</p>
学童	107	ネガティブ	78	<p>小学5年生以上になると放課後預ける場所がなく、1人で家にいる時間ができてしまう。高学年も行ける<u>学童</u>を増やしてほしい。</p>

				<p>学童保育について、学校の学童は17時まで、フルタイム勤務をしていると利用できない。民間の学童は、利用料金がかかなり高く、夏休みになると何の為に働いているかわからなくなる。もっとフルタイムで働きやすく安心して子供を預けられる環境になって欲しい。</p> <p>小学校に併設されている学童保育を充実させてほしい。長期休暇の際の学童保育の利用時間が短いため子供の預け先を探すのが大変でした。</p>
		ポジティブ	23	学童保育以外に、気軽に子供たちが集まれる場所があれば、放課後の過ごし方も少し変わると思う。
		両方	6	病児保育の充実。小学生の学級閉鎖時の預入先が欲しい。学童保育の利用時間や利用料などがもっと使いやすいものになると助かる。子育て中は母親が仕事を休まざるを得ないことが多い。
子育て	103	ネガティブ	50	<p>障害児に対するサポートでグレーゾーンの子に対するサポートがあまりないと感じている。また、グレーゾーンの子に適した療育施設がない。情報もどこで得られるのか分からず、富山に来てから療育を受けられず<u>子育て</u>に関して完全に孤立していると感じた。</p> <p>他の市のように高校生まで医療費無料。富山市は他の市に比べて、<u>子育て</u>に対する支援が少なく感じる。</p>
		ポジティブ	38	<p>予防接種が無料だと嬉しい。<u>子育て</u>応援券を利用できる場が増えればうれしい。</p> <p>子供の応援団は、一緒に暮らしている家族なので、良い所はいっぱい知っている、小学校の先生から具体的に褒めてもらった時に、いかに普段、親以外からの大人に褒めてもらう機会が少ないかを実感した。親の知らない所で子供は褒めてもらっているかもしれないが、親自身も褒めてもらうことで<u>子育て</u>のモチベーションが上がる。仕事と家の往復が中心でなかなか関わることが少なく、社会全体が子供を育てる雰囲気、褒める雰囲気が乏しくなっている気がするのどにかく褒める。</p>
		両方	15	子供をもって良かったと思える制度をつくること。多子世帯への支援の拡充を望みます。少子化の中、頑張っている <u>子育て</u> 世帯が困る事のないよう、物理的、経済的、心理的支援が受けられることを願います。

仕事	74	ネガティブ	33	<p><u>仕事</u>をしながら子育てできる環境を整えてほしい。子供が病気になると母親が<u>仕事</u>を休むことになるので、どこかみてくれる施設などを作ってほしい。正社員で<u>仕事</u>ができなくなる。夏休みなどでもみてもらえる施設を増やしてほしい。気軽に預けられる施設が周りになくとっても不便です。働きにくいと感じます。</p> <p>夜間休日も<u>仕事</u>のある親が子供を預けられるサービスがない。働く親にも自分の時間を作るためのサービスが必要。</p>
		ポジティブ	23	<p>学校の先生方は、とても気を配って<u>仕事</u>されていることに感謝しています。先生が増えることを、先生の<u>仕事</u>が減るような対策をお願いしたいです。</p> <p>子どもが熱を出しても、保育園や医療施設で親が<u>仕事</u>の間、預かってくれるシステムが、もう少し手軽で当たり前の環境になったら良いと思う。</p>
		両方	18	今は必要ないですが、子どもが小さい時は病気等で <u>仕事</u> を休むことが多かったので、病児保育や迎えサポートなど充実していれば良いです。
相談	61	ネガティブ	29	<p>子供の発達や学習(障害)に関する<u>相談</u>をもっと手軽に受けられるようにして欲しい。実際に診療や<u>相談</u>をしたくても何か月も待たねばならず、いざという時に頼ることができない。現状を変えてくれるよう切に希望する。</p> <p><u>相談</u>に来た人を責める言い方をしないでほしい。困っているのに、辛いけれど頑張って<u>相談</u>に来ているのに、それを潰すようなことはしないでください。</p>
		ポジティブ	20	<p>市の<u>相談</u>窓口で親切に対応していただいた体験は(困難を抱えて苦しんだときの不安、パニック時)忘れることができないほどの感謝でした。</p> <p>障害児のための教育に関する<u>相談</u>をしたい、つながりのある担当者と一緒に支援してもらいながら、子育て出来ると嬉しいと思います。</p>
		両方	12	いつでも気軽に集まったり話せたりする場所づくり。何か困りごとがあったら <u>相談</u> するというのではなく、常に気軽に通い誰かかつながりあえる場所が増えたらいいと思う。

(3) 中学生の自由意見

①市役所にやってほしいこと、伝えたいことについて、アンケート調査の自由意見内容を分類し、抽出が多かった主な単語を示した結果は以下の通りです。

■抽出語件数

抽出語	学校	場所	高校	勉強	いじめ
件数	60	39	25	22	14

■中学生の自由意見

抽出語	総件数	分類	件数	代表的な自由意見
学校	60	ネガティブ	25	<p><u>学校</u>の校則が厳しすぎる、人権侵害にあたるものもある。もっと、私たちの声に耳を傾けて実行してほしい。</p> <p><u>小学校</u>の時、SOS レターに悩みを送ったら、先生に相談してくださいの一言でした。SOS レターに送ったのは、先生に言っても効果が得られず、心が苦しくなったからです。もう少し悩みに寄り添う返事が欲しいです。もう送りたいなくなりました。</p>
		ポジティブ	18	<p><u>学校</u>に行っていないので、家にいても授業が受けられるシステムを作ってほしい。</p> <p><u>学校</u>での親のお金の負担を軽減してくださると嬉しいです。</p>
		両方	17	<p>もっと<u>小学校</u>、<u>中学校</u>を見てほしい。あと、子供1人1人と真面目に向き合って気軽に相談など出来るところを作ってほしい。</p>
場所	39	ポジティブ	30	<p>フードロスが問題になっているので、廃棄寸前の弁当など、児童施設などに配布し、また、シングルマザーなど大変な家庭優先にもらえる<u>場所</u>があるといい。</p> <p>無料でスポーツが出来る<u>場所</u>を増やしてほしい。</p> <p>小学生、中学生、高校生、大人が楽しんで遊べる<u>場所</u>を富山にもたくさん作ってほしい。</p>
		ネガティブ	5	<p>あまり中学生が気軽に遊べる<u>場所</u>がないので、駅前などの人が行きやすい<u>場所</u>に新しい何かを作ってほしい。友達みんな富山には遊ぶところが全然無いよねと言っています。きっとみんなも喜ぶと思う。あまりお金をかけずに遊べるような学生に優しい<u>場所</u>が増えたら嬉しい。</p>

		両方	4	家以外で、勉強できる場所を作って欲しいです。家が嫌な訳じゃないけど、新しい環境で勉強してみたいという気持ちがあります。また、前ニュースで見た事があるのですが、不登校の人達が集まって自分達で教えあったり学んだりする場所を設けたら良いと思いました。私は不登校じゃないけど、やっぱり人と話すって大切だと思うから、是非作って欲しいです。
高校	25	ポジティブ	19	高校を無償化にしてほしいです。いろんな人が同じような知識を得られることはとても大きなことであり、大事だと思うからです。 病院を利用することが多いので、高校生になっても、医療費が無料になってほしい。 私立高校の授業料をもう少し、県立高校の授業料と近くなるような補助があれば良いと思う。
		ネガティブ	3	山間地でバス通学のため、部活動など終わってから、バスが来るまで2時間待ちが当たり前です。夏の暑い時期や冬の寒い時期は大変困ります。高校に行っても困ります。本数を増やすなどもう少し配慮してください。
		両方	3	悩み事をもっと気軽に相談できる機会を増やしてほしい。高校進学についてもっと学びたい。
勉強	22	ポジティブ	16	友だちなどで集まって勉強が出来る場所を作ってほしい。 勉強やスポーツを頑張っている子供のためにお金がほしい。 図書館の本の種類を増やして、個室の勉強スペースを図書館に増やしてほしい。
		ネガティブ	3	先生が違う場合でも勉強の仕方をそろえて欲しい、もっと意味のある勉強がしたい。
		両方	3	私は市役所が何をしてくれるのかはわかりませんが、もしできるなら良い勉強方法や、辛い時、困ったことがあった時どのような行動をしたら良いですか、教えてください。
いじめ	14	ポジティブ	7	子供達が安心できるような生活を作ってほしい。いじめを無くしてほしい。 もうちょっといじめられている子や、相談しにくい子などに寄り添ってあげられることをする。

		ネガティブ	3	<p>転校生へのいじめ対策や転校生への接し方についての説明。父親からの虐待ばかりでなく、母親からの虐待も多くある事を今の世の中に伝えてほしい。不登校の子供達に精神科に連れて行くサービス、生徒や教師に、<u>いじめ</u>の辛さ、やってはいけない事だとしてしっかり伝え教えてほしい。</p>
		両方	4	<p><u>いじめ</u>が増えている傾向があるので、どんなことが<u>いじめ</u>になるのか、ちょっとしたことでも<u>いじめ</u>になることを多くの人に伝えて欲しい。</p> <p><u>いじめ</u>られた子供も学校にいける環境を作ってほしい。<u>いじめ</u>がおこったら、すぐに<u>いじめ</u>た子を助けてあげてほしい。先生からみたら、<u>いじめ</u>はおこっていないように見えても、本当は先生のいないところで、<u>いじめ</u>られている子がいるかもしれないから、<u>いじめ</u>られた子が安心して相談できる場所を作ってほしい。先生は一人一人の事をちゃんと見れてない時もあるから、生徒一人一人の話をしっかり聞いて、<u>いじめ</u>がおこっていないか確認してほしい。</p>

(4) 中学生の保護者の自由意見

①外出した際などにおいて、ちょっとした気遣い・配慮があつてうれしかったことや助かったこと、あるいは困ったことなどについて、アンケート調査の自由意見内容を分類し、抽出が多かった主な単語を示した結果は以下の通りです。

■抽出語件数

抽出語	トイレ	子育て	大変	声	施設
件数	50	44	40	38	35

■中学生の保護者の自由意見

抽出語	総件数	分類	件数	代表的な自由意見
トイレ	50	ポジティブ	22	<p>子供が小さかった時、<u>トイレ</u>に子供用補助便座が置いてあり助かったことがあります。意外と置いている場所がないので、おむつがとれたばかりの子供を大人用に座らせて用を足すことが大変だったので。</p> <p><u>トイレ</u>の列に並んでいた時、子供がもう限界とわめいていた時に、順番を譲ってくださった方がいて助かった経験があります。</p>
		ネガティブ	19	<p>子供が幼い頃、屋外の公園の<u>トイレ</u>を利用したことがありましたが、薄暗く蜘蛛の巣があちらこちらに張っていて子供が怖がってしまうことが多々ありました。公共施設の<u>トイレ</u>など衛生面で改善して頂けるとありがたいです。</p> <p>子供が小さい頃、おむつ替えができるスペースがある多目的<u>トイレ</u>がない公園が多く困った事があります。</p>
		両方	9	<p>子供が小さいとき<u>トイレ</u>内に荷物を置くスペースがあった時助かりました。<u>トイレ</u>の床が濡れていると困りました。乾燥式にしていけば良いと思います。</p>
子育て	44	ポジティブ	22	<p>美術館や動物園が中学生まで無料で入れること。子供たちが「行きたい」と思う場所が、無料や低料金だと親も連れて行きやすくなる。また文化に触れる機会が子供の頃から多いことは住みやすく、教育・<u>子育て</u>環境が良いと思う。</p> <p>子供割、学生割があるとありがたい。<u>子育て</u>を応援してもらっていると感じる。</p> <p>とやま<u>子育て</u>応援団のサービスを飲食店でよく利用させていただいてます。大変ありがたいです。</p>

		ネガティブ	12	行政などの支援に関していろいろの情報があり、相談窓口を訪れて相談したこともあるが、結局何の解決にもならず、ひどく失望した。 支援とは名ばかりだと感じて、支援に頼りたい気持ちがなくなった。 子育て は自己責任でやるものだとされていると思った。相談員は、「そのうちなんとかなります」と言って、解決策を示し寄り添ってはくれなかった。
		両方	10	子育て 応援団優待券があり嬉しかったが、どの店がどんなサービスを行っているのかわからず、レジで初めて参加店舗だと知る事が多かった。
大変	40	ネガティブ	21	ワンオペで子供2人(幼児)と外食した時、1人がトイレに行きたいと言ったら、席にカバン等置いていくのも心配で、子供2人とカバンを持ってトイレに行かなくてはならぬ 大変 でした。
				多子世帯に良いことはない。 大変 なことばかりで税金ばかりお金ばかり取られる。 高校生になったら、医療費がかかって 大変 だと思った。
		ポジティブ	10	子供が小さかったころ、抱っこしながらカートに戻そうとすると、見知らぬおばさんが声をかけてくれてカートに戻してくれて 大変 助かり嬉しかった。
		両方	9	ベビーカーなどで買い物中に通路が狭くて 大変 だったこと。 子供が小さい時、買い物施設に授乳施設や個室トイレがたくさんあって助かりました。
声	38	ポジティブ	21	子供が小さい頃、スーパーで店員さんに「いつでも声をかけてくださいね」と笑顔で言われたこと。 通りすがりの人に子供を抱っこ手をつないでと2人連れていたら「大丈夫？」と声をかけられてうれしかった。
				店員さんが子供に声をかけてくれると嬉しい。 病院で予防接種に行った時や治療でドキドキしている時に、先生や看護師さんが優しく声をかけてくれて、その病院なら行くと言って連れて行きやすかった。頑張ったときに、ご褒美のシールやポケットティッシュをもらって喜んでいた。

				病院など混雑しており中で待つ時間が長くなってしま う場合など車の中で待たせてくれた。子どもがぐずっ てしまい大変な時に、やさしく声掛けをしてくれ「かわ いいね」など言ってもらえると気が楽になった。
		ネガティブ	6	旅行に行った時、赤ちゃん用おかゆを作ってもらえて 助かった。市電に乗った時、子供がお話する声に対し 「うるさい」と言われ、男性にずっと睨まれた事があっ た。そんなに大声でなく普通の話し声だったのに。
		両方	11	子供が幼児の時3人連れて外出は大変だった。声をか けてもらえるだけで嬉しかった。
施設	35	ポジティブ	17	学割が充実すると子供の学習の機会が増え、選択肢が 増える(美術館や文化施設) 小学生から中学生になるタイミングでいろいろな施設 の利用料が小人から大人料金に変わります。子供の人 数が複数の場合、料金が大幅に上がるため控えたりす ることもあるので、施設の価格を細かく設定してもら えたらうれしいです。 県内スキー場で小中学生料金の施設があり、とてもう れしかった記憶があります。
		ネガティブ	12	市内の文化施設(オーバードホール)での公演時に託 児サービスが無く、子育て中の夫婦そろって鑑賞に不 便を感じる。 公園等、屋外で遊ばせる際、日陰になるものが何もな く、夏場は遊具で遊ばせられない。屋内で体を動かし て遊ばせる施設が欲しい。
		両方	6	子供が小学生だった時は公園やちょっとした商業施設 で過ごすことができたが、中高生になると「遊ぶとこ ろ、楽しいところがない」と聞くようになりました。確 かに自分の時もなかったと思います。県外へわざわざ 遊びに行くこともあり、県内に楽しむところがあれば いいのと思います。

(4) 中学生の保護者の自由意見

②子育てや教育をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいか、また、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援について、アンケート調査の自由意見内容を分類し、抽出が多かった主な単語を示した結果は以下の通りです。

■抽出語件数

抽出語	学校	高校	親	子育て	教育
件数	150	119	116	101	78

■中学生の保護者の自由意見

抽出語	総件数	分類	件数	代表的な自由意見
学校	150	ネガティブ	88	いじめ防止対策を本当にしっかりと <u>学校</u> で子供たちに指導するように取り組んでほしいです。 何がいじめかをわからずにいる子供が今すごく多いと思います。 それによって心に深い傷を負い、苦しんでいる子がいることをもっとわかってほしいです。 これは、将来にもかかわることです。本気でいじめ撲滅対策、防止策を実施してください。
				<u>学校</u> や先生に対する相談がしやすい環境づくりを希望します。なかなか相談しにくい。
				学年が上がるたびに金銭面での不安が常に付きまといまいます。事前準備で蓄えていても不安が常にあり、必死に働くしかありません。 <u>学校</u> の行事や懇談会などで休みなど会社に伝えても休みにくく、未だに難しい面があり、自治体から会社(企業)への働きかけを大きいところだけでなく、小さな会社にまで行き届くようにしてほしいです。
		ポジティブ	36	不登校になりかけたとき、 <u>学校</u> のカウンセラーに相談し、アドバイスをいただいてとても助かりました。(県外の <u>学校</u>)
		両方	26	富山市の医療支援、中学生までなのでせめて高校生までにしてほしい。他の市町村との差が気になります。 冬場の積雪がある時の通学の時利用したい時間帯にコミュニティーバスがあればとても助かる。 昔のように予防接種(インフルなど)を <u>学校</u> で希望制にしてもらえたらありがたい。

高校	119	ポジティブ	57	<p>子育てするのは大変な労力とお金が必要です。核家族化が進み、誰にも相談できず、1人で悩む人もいます。いつでも気軽に相談し、子供を預けられる環境があると安心して子育てできるし、高校、大学の無償化など、お金に関することも充実してもらえるととても助かります。</p> <p>高校の授業料全額免除、中学生までの医療費免除、中学生までの児童手当など、費用を支援してもらえるのが大変ありがたいので、今後も継続か拡大していただくと助かります。</p>
		ネガティブ	56	<p>我が子は、ADSで知能は境界線です。いろいろ特性もあり、たとえ高校を卒業したとしても、その先の就職で躓く可能性が高く、知的障害がないにもかかわらず、高等支援学校(軽度知的)へ進学するしか道はありません。高等支援学校では就職に向けた学び、自立に向けた学びができ、我が子にあっていますが「高卒」の資格は得られません。このような子に合う進学先を作ってほしいです。</p> <p>高校受験について考える時期になってきているが、公共交通機関を利用する際に住んでいる場所によって格差がある。ダイヤの都合があるので仕方がないが、朝の時間がなすすぎで保護者負担が大変。小さい子どもへの支援ばかりではなく、お金がかかる時期、中学・高校への保護者への支援ももっとしてほしい。</p>
		両方	6	<p>県内の高校や専門学校の情報がもっと手に入りやすいとよい。また、子供自身がそういった情報を身近に感じられるような授業や教育を増やしてほしい。</p>
親	116	ネガティブ	71	<p>中学生や高校生の支援をしてほしい。親も年を取り親の介護もあり、働きたくても働けなくなり、学生の電車やバスの本数が少なく送迎が多くあり、子供が保育園児や小学生の時より働きにくくなっている。</p> <p>多感な年頃の子をもつ親としては、進路を決めなければいけない時(中学校選択など)1度で決定ではなくて、最終決定までの時期を設けてほしいと思いました。気持ちが変化しやすく、進路によっては、子の人生も変わってしまう可能性があるので、迷ってしまっている時は、決断が難しい時がある。</p>

				車がないとどこへも行けない。子供の送迎にとっても苦 労した。田舎で子育てする <u>親</u> の苦労を考えてほしい。 電車やバス、学生の為の通学等が不便すぎる。交通機 関へのお金がかかりすぎる。
		ポジティブ	30	最近は色んな物の物価が上がったにもかかわらず、 <u>親</u> の収入は上がっていない。育ち盛りの子供がいると食 費もかかるので、食に関するサポートが増えたらあり がたく思います。
		両方	15	不登校の子どもへのサポートと理解。不登校の <u>親</u> の相 談場所、 <u>親</u> 同士が関われる場所があればよい。
子育て	101	ネガティブ	55	辛いと感じたとき、すぐ対応できる窓口があればい い。例えば心療内科は行きたくて電話しても「1 か月以 上待ち」と言われる。 <u>子育て</u> のことで苦しみ「今聞いて ほしいのに」と思うことがありました。周りでも同意見 がありました。
				今思うことは、もっとのびのびと <u>子育て</u> したかった。中 学生になってテストに追われ、時間に追われながらも 頑張っている姿を見ると、もっともっと自分で考えて 行動することの楽しさを味わってほしいと思う。受験 が近くなってきて、富山の企業など、将来働きたいと 思える仕事を見つけるための支援があればと思う。
		ポジティブ	29	1人で何でも抱えるのではなく身近に話せる人がいる 環境が大事だと思います。 <u>子育て</u> は社会全体でしてい くものと考えます。 <u>子育て</u> に関する経済的支援をもっと充実してほしい。 高校生まで医療費無料等。
		両方	17	職場の <u>子育て</u> に対する理解がもっともっと深まればい いと思う。気遣って優しい声掛けをしてもらっている が、自分が休むことに申し訳なさを感じてしまうので、 もっと社会や行政が <u>子育て</u> 環境のバックアップをして 理解度がもっともっと上がったらいと思う。
教育	78	ポジティブ	31	いじめ対策、不登校生徒への対応をもっと充実してほ しい。不登校児童が学校に行きたくなるように <u>教育</u> 体 制、環境を作ってほしい。
				無料の塾等、学童等、親が働きやすくしてほしい。親の 収入によって子供の <u>教育</u> に差が出ないようにしてほ しい。

				<p>子供がいまだにマスクを外しません。みんな付けているから、という理由です。外すことを強要するわけではありませんが「個性を大切にする」という<u>教育</u>がなされていないと感じます。</p>
		ネガティブ	30	<p>まず子供は何のために勉強しなければならないのかほとんどの人が理解できていない。将来のためと言われても、具体的な理由をもっと学校<u>教育</u>で危機感を持って詳しく説明してほしい。学校を選択する際に(進路)どのような仕事があるのかもわかっていないのに選択しろという方がおかしい。(14歳の挑戦も近くにあるスーパーやお店ばかりで現実的ではない。)</p>
		両方	17	<p>不登校児が増えています。一人一人に合った<u>教育</u>ができればいいと思う。</p>

2 「子ども生活実態調査」 調査票

(1) 小学生票

とやまし こ さいがくせいの子どもの生活実態調査

富山市 子どもの生活実態調査

【小学生票】

- ・ これは、富山市の子どもの生活状況などを調べるためのアンケートで、富山市が実施しています。
- ・ このアンケートの回答は、あなたが自分で書いてください。おうちの方や学校の先生に相談する必要はありません。
- ・ **名前を書く必要はありません。**
- ・ **答えたくない質問やよくわからない質問は、とばして次に進んでください。**
- ・ **自分の思う答えを自由に書いてください。**
- ・ 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
- ・ ○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」や「あてはまるものすべてに○」などと書いてありますので、それにしてください。
- ・ 全部書き終わったら、自分で**緑色の**封筒に入れて、のりやセロハンテープでとじてください。それを、おうちの方の封筒にいっしょに、大きい封筒に入れて、**12月21日(木)まで**に、学校の担任の先生に出してください。
- ・ このアンケートは調査の目的以外には使用しません。また、このアンケートでは名前を書かないので、あなたがどのように答えたかはだれにもわかりません。
- ・ 調査についてのお問い合わせは、次の問い合わせ先までお願いします。

【問い合わせ先】

〒930-8510 富山市新坂町7番38号

富山市子ども家庭部子ども支援課 076-443-2252 (直通)

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1 男		
2 女		
3 その他・答えたくない		

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

1 自分で勉強する		
2 塾で勉強する		
3 学校の補習を受ける		
4 家庭教師に教えてもらう		
5 地域の人がおこなう無料の勉強会に参加する		
6 家の人に教えてもらう		
7 友達と勉強する		
8 その他 ()		
9 学校の授業以外で勉強はしない		

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などの勉強時間もふくみます。
(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

ま	3	1	2	3	2	3
た	0	1	2	1	3	2
く	分	時	時	時	時	時
し	分	間	間	間	間	間
な	より	より	より	より	より	以上
い	少	少	少	少	少	以上
	な	な	な	な	な	
a) 学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1	上のほう
2	やや上のほう
3	まん中あたり
4	やや下のほう
5	下のほう
6	わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1	いつもわかる
2	だいたいわかる
3	教科料によってはわからないことがある
4	わからないことが多い
5	ほとんどわからない

問6 前の質問で「3. 教科料によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」と答えた人にお聞します。

いつごろから、授業がわからないようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

1	1・2年生のころ
2	3年生のころ
3	4年生のころ
4	5年生になってから

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

1	中学まで
2	中学、高校まで
3	中学、高校、専門学校まで
4	中学、5年制の高等専門学校まで
5	中学、高校、短大まで
6	中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学まで
7	中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院まで
8	その他()
9	まだわからない →問9に進んでください。

問8 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

1	希望する学校や職業があるから
2	自分の成績から考えて
3	親がそう言っているから
4	兄・姉がそうしているから
5	まわりの先輩や友達がそうしているから
6	家にお金がないと思うから
7	早く働く必要があるから
8	その他()
9	とくに理由はない

問11 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していますか。
(あてはまるもの1つに○)

1	参加している	→問13に進んでください。
2	参加していない	→問12に進んでください。

問12 前の質問で「2」参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	入りたいクラブがないから
2	塾や習い事が忙しいから
3	費用がかかるから
4	家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5	一緒にいる友達がないから
6	その他 ()
7	とくに理由はない

問13 あなたは次の活動をふたどれくらいしますか。
(a~eそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	毎日2時間以上	毎日1~2時間	毎日1時間以下	1週間に5~6日	1週間に3~4日	1週間に1~2日	ぜんぜんしない
a) 家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)	1	2	3	4	5	6	7
b) 兄弟・姉妹の世話	1	2	3	4	5	6	7
c) 親や祖父母など大人の家族の世話	1	2	3	4	5	6	7
d) ゲームで遊ぶ(パソコン、スマホ、タブレットを含む)	1	2	3	4	5	6	7
e) インターネット・動画を見る	1	2	3	4	5	6	7

問9 あなたは学校が終わってからどこで過ごすことが多いですか。
(1~1.3については、あてはまるもの2つまでに○)

1	自宅
2	祖父母の家
3	友だちの家
4	学校(教室、校庭や体育館や図書室など)
5	子ども会・放課後児童クラブ(学童)
6	放課後等デイサービス
7	クラブ活動・部活動の場所
8	塾や習い事の場所
9	近所の公園、グラウンド
10	児童館
11	図書館
12	ショッピングセンター、コンビニ、ファミレス、ネットカフェ、ゲームセンター
13	その他 ()

問10 問9の1~1.3の中で、あなたがあとでできる居場所はどこですか。
(1~1.3から1つ選んで番号を書いてください)
※あとでできる居場所がない場合は「2」あとでできる居場所はないに○をつけてください。

1	問9の1~1.3の中で1番あとでできる居場所の番号 ()
2	あとでできる居場所はない

問 17 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。
(1～12については、あてはまるものすべてに○)

1	親
2	きょうだい
3	祖父母など
4	学校の先生
5	学校の友達
6	学校外の友達
7	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
8	その他の大人（学童保育所の人、塾、習い事の人、地域の人もなど）
9	専門の相談員（市の相談窓口など）
10	ネットで知り合った人
11	その他（ ）
12	だれにも相談できない、相談したくない

問 18 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

問 14 あなたは、前の質問の a～c の活動に大変さを感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1	体力の面で大変
2	気持ちの面で大変
3	友だちと過ごす時間が少ない
4	勉強する時間が少ない
5	とくに大変さは感じていない

問 15 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(毎日 7 食べる)	週 5 日	週 6 日	週 3 日	週 4 日	週 1 日
a) 朝食	1	2	3	4		
b) 夕食	1	2	3	4		
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4		

問 16 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。
(あてはまるもの1つに○)

1	そうである
2	どちらかといえばそうである
3	どちらかといえばそうではない
4	そうではない

問 20 あなたは今までに、次の a~h のようなことがありましたか、**あてはまる個数**を答えてください。
 (あてはまるもの 1 つに○)
答えにくい場合は、問 21へ進んでください。

a	一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがある	0
b	一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、物を投げつけられるといったことがある。または、けがをすするほど強く殴られたことが一度でもある	1
c	家族の誰からも愛されていない、大切にされていない、蔑んでもらえていないと感じることがある	2
d	必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある	3
e	両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある	4
f	一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまわたり、けられたりしたことがある。または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある	5
g	一緒に住んでいる人にお酒を飲んでも暴れたり麻薬などの薬物を使ったことで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる	6
h	一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人が、または自殺しようとした人がいる	7

※上のようなどで、つらい気持ちの場合は、子どもほっとダイヤル (0120-874-440)、学校のスクールカウンセラーや「チャイルドライン」(フリーダイヤル：0120-99-7777) に話したり、ホームページが教育相談用アイコン」を使ったりして、相談してみてください。

問 19 次のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれから回答してください。あなたのご半年くらいのことを考えて答えてください。
 (a~o それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)
答えにくい項目やわからない項目は、とばして次に進んでください。

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいなくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う(食べ物、ゲーム、ペンなど)。	1	2	3
d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、ますます動ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じく5歳の年齢の子供からは、だいたい好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしい。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでお手伝いをする(親、先生、他の子供たちなど)。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。	1	2	3
o) 私は、こわがて、すべにおびえたりする。	1	2	3

問 2 3 あなたが困っていることや悩み事を相談するとしたら、どのような相談方法を希望しますか。
(あてはまるもの 1 つに○)

1	対面で相談 (直接会って)
2	電話で相談
3	オンラインで相談 (ZOOMなど)
4	SNSやチャットで相談
5	グループワークで相談
6	その他 ()

問 2 4 最後に、あなたが中役所に行ってみてほしいこと、伝えたいことがあれば自由に書いてください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございます。

問 2 1 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思えますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	利用したことがある	利用したことはない	
		あれば利用したいと思わない	今後利用したいと思わない
a) (自分や友人の家以外で) 平日の放課後や休日を通して利用できる場所 (学童保育所など)	1	2	3
b) (自分や友人の家以外で) クーピンは無料で安く食べることができる場所 (子供食堂など)	1	2	3
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3

問 2 2 前の質問で、1 つでも「1」利用したことがあると答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。(1～8 については、あてはまるものすべてに○)

1	友だちが増えた
2	気遣いをする大人が増えた
3	生活の中で楽しみが増えた
4	ほっとできる時間が増えた
5	栄養のある食事をとれるようになった
6	勉強がわかるようになった
7	勉強する時間が増えた
8	その他 ()
9	特に変化はない

(2) 中学生票

とやまし こ ちゅうがくせいひょう
富山市 子どもの生活実態調査

ちゅうがくせいひょう
【中学生票】

- ・ これは、富山市の子どもの生活状況などを調べるためのアンケートで、富山市が実施しています。
- ・ このアンケートの回答は、あなたが自分で書いてください。おうちの方や学校の先生と相談する必要はありません。
- ・ **名前を書く必要はありません。**
- ・ **答えたくない質問やよくわからない質問は、とぼして次に進んでください。**
- ・ **自分の思う答えを自由に書いてください。**
- ・ 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
- ・ ○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」や「あてはまるものすべてに○」などと書いてありますので、それにしてください。
- ・ 全部書き終わったら、自分で**青色**の封筒に入れて、のりやセロハンテープでとじてください。それを、おうちの方の封筒にいっしょに、大きい封筒に入れて、**12月21日(木)まで**に、学校の担任の先生に出してください。
- ・ このアンケートは調査の目的以外には使用しません。また、このアンケートでは名前を書かないので、あなたがどのように答えたかはだれにもわかりません。
- ・ 調査についてのお問い合わせは、次の問い合わせ先までお願いします。

【問い合わせ先】

〒930-8510 富山市新坂町7番38号
富山市子ども家庭部子ども支援課 076-443-2252 (直通)

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1	男
2	女
3	その他・答えたくない

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

1	自分で勉強する
2	塾で勉強する
3	学校の補習を受ける
4	家庭教師に教えてもらう
5	地域の人が行う無料の勉強会に参加する
6	家の人に教えてもらう
7	友達に勉強する
8	その他 ()
9	学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。
(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	3分より少ない	10分より少ない	15分より少ない	20分より少ない	30分より少ない	30分以上
a) 学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	6
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	6

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1	上のほう
2	やや上のほう
3	まん中あたり
4	やや下のほう
5	下のほう
6	わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1	いつもわかる
2	だいたいわかる
3	教科料によってはわからないことが多い
4	わからないことが多い
5	ほとんどわからない

問6 前の質問で「3. 教科料によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」と答えた人にお聞します。
いつごろから、授業がわからないようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

1	小学1・2年生のころ
2	小学3・4年生のころ
3	小学5・6年生のころ
4	中学1年生のころ
5	中学2年生になってから

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

1	進学しない
2	高校まで
3	高校、専門学校まで
4	5年制の高等専門学校まで
5	高校、短大まで
6	高校 (または5年制の高等専門学校)、大学まで
7	高校 (または5年制の高等専門学校)、大学、大学院まで
8	その他 ()
9	まだわからない →問9に進んでください。

問8 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。
(1～8については、あてはまるものすべてに○)

1	希望する学校や職業があるから
2	自分の成績から考えて
3	親がそう言っているから
4	兄・姉がそうしているから
5	まわりの先輩や友達がそうしているから
6	家にお金がないと思うから
7	早く働く必要があるから
8	その他 ()
9	とくに理由はない

問 11 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
(あてはまるもの1つに○)

1	参加している	→問 13に進んでください。
2	参加していない	→問 12に進んでください。

問 12 前の質問で「2」に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	入団のクラブ・部活動がないから
2	塾や習い事が忙しいから
3	費用がかかるから
4	家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5	一緒にいる友達がないから
6	その他 ()
7	とくに理由はない

問 13 あなたは次の活動をふたどれくらいしますか。
(a～eそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に5～6日	1週間に3～4日	1週間に1～2日	ぜんぜんしない
a) 家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)	1	2	3	4	5	6	7
b) 兄弟・姉妹の世話	1	2	3	4	5	6	7
c) 親や祖父母など大人の家族の世話	1	2	3	4	5	6	7
d) ゲームで遊ぶ(パソコン、スマホ、タブレットを含む)	1	2	3	4	5	6	7
e) インターネット・動画を見る	1	2	3	4	5	6	7

問 9 あなたは学校が終わってからどこで過ごすことが多いですか。
(1～12については、あてはまるもの2つまでに○)

1	自宅
2	祖父母の家
3	友だちの家
4	学校(教室、校庭や体育館や図書室など)
5	放課後等サービス
6	クラブ活動・部活動の場所
7	塾や習い事の場所
8	近所の公園、クラウンド
9	児童館
10	図書館
11	ショッピングセンター、コンビニ、ファミレス、ネットカフェ、ゲームセンター
12	その他 ()

問 10 問9の1～12の中で、あなたがいつでも居場所はどこですか。
(1～12から1つ選んで番号を書いてください。)
※いつでも居場所がない場合は「2」ホッとできる居場所はないに○をつけてください。

1	問9の1～12の中で1番ホッとできる居場所の番号 ()
2	ホッとできる居場所はない

問 14 前の質問の a～c の活動を a～c の活動としてお聞きします。あなたは a～c の活動に大変さを感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	体力の面で大変	週 5 日	毎日 1 回	ほぼ週 1 回
2	気持ちの面で大変	週 3 日	毎日 2 回	ほぼ週 2 回
3	友だちと過ごす時間が少ない	週 4 日	毎日 3 回	ほぼ週 3 回
4	勉強する時間が少ない	週 5 日	毎日 4 回	ほぼ週 4 回
5	とくに大変さは感じていない	週 6 日	毎日 5 回	ほぼ週 5 回

問 15 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
a～c それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問 16 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。
(あてはまるもの 1 つに○)

1	そうである
2	どちらかといえばそうである
3	どちらかといえばそうではない
4	そうではない

問 17 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。
(1～12 については、あてはまるものすべてに○)

1	親
2	きょうだい
3	祖父母など
4	学校の先生
5	学校の友達
6	学校外の友達
7	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
8	その他の大人(学習保育所の人、塾、習い事の先生、地域の人など)
9	専門の相談員(市の相談窓口など)
10	ネットで知り合った人
11	その他()
12	だれにも相談できない、相談したくない

問 18 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。
(あてはまるもの 1 つに○)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

0 : まったく満足していない
10 : 十分に満足している

問 20 あなたは今までに、次の a～h のようなことがありましたか、**あてはまる個数**を答えてください。
 (あてはまるもの 1 つに○)
答えにくい場合は、問 21へ進んでください。

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの**悪口**を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる**危険**を感じるようなふるまいをされることがある
- b 一緒に住んでいる大人から、**押**される、つかまれる、物を投げつけられるといったことがある。または、けがを**するほど強く**なぐられたことが一度でもある
- c 家族の**だけ**からも愛されていない、**大切に**されていない、**蔑**でもらえていないと感じることがある
- d **必要な**食事や衣服を**与えられなかったり**、自分を**守**ってくれる人は**だれ**もいないと感じることがある
- e **両親が**、**別居**または**離婚**をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、**だれか**に**押**されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある。または、**くり返し**なぐられたり、**刃物**などで**おど**されたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、**お酒**を**飲**んで**暴**れたり**麻薬**などの**薬物**を使ったこと**で**自身の生活や人間関係を**損**なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、**うつ病**や**その**他の**心の病**の**人**、または**自殺**しようとした人がいる

0	ひとつもあてはまらない (0個)
1	1個あてはまる
2	2個あてはまる
3	3個あてはまる
4	4個あてはまる
5	5個あてはまる
6	6個あてはまる
7	7個あてはまる
8	すべてあてはまる (8個)

※上のようなどで、つらい気持ちの場合は、子どもほっとダイヤル (0120-874-440)、学校のスクールカウンセラーや「チャイルドライン」(フリーダイヤル：0120-99-7777) に話したり、クロームブック教育相談用アイコンに使用したりして、相談してみてください。

問 19 次のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれから回答してください。あなたのこの半年くらいのことを考えて答えてください。
 (a～o それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)
答えにくい項目やよくわからない項目は、とばして次に進んでください。

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいなくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う (食べ物・ゲーム・ペンなど)。	1	2	3
d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでいずんだり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい 好 かれて い る。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に 面 する と 不安になり、 自信 をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわられたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする (親・先生・他の子供たちなど)。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人といえる方が ま やく。	1	2	3
o) 私は、ごわごわで、すぐにおひねりをする。	1	2	3

問 2 3 あなたが困っていることや悩み事を相談するしたら、どのような方法を希望しますか。
(あてはまるもの 1つに○)

1	対面で相談 (直接会って)
2	電話で相談
3	オンラインで相談 (ZOOMなど)
4	SNSやチャットで相談
5	グループワークで相談
6	その他 ()

問 2 4 最後に、あなたが市役所にやってほしいこと、伝えたいことがあれば自由に書いてください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございます。

問 2 1 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1つに○)

	利用したことがある	利用したことはない	
		思えば利用したい	今後利用したいかどうか
a) (自分や友人の家以外で) 平日の放課後や休日を通してできる場所 (児童館など)	1	2	3 4
b) (自分や友人の家以外で) タクシーを無料で安く食べることができる場所 (子供食堂など)	1	2	3 4
c) 勉強を無料でみとくれる場所	1	2	3 4
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3 4

問 2 2 前の質問で、1つでも「1」利用したことがあると答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

1	友だちが増えた
2	気軽に話せる大人が増えた
3	生活の中で楽しみが増えた
4	ほっとできる時間が増えた
5	米糞のある食事をとれるようになった
6	勉強がわかるようになった
7	勉強する時間が増えた
8	その他 ()
9	特に変化はない

(3) 保護者票

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学5年生又は中学2年生のお子さんのことをいいます。「親」「父親」「母親」「母親」とは、継父や継母、父親や母親に代わる保護者の方を含みます。

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか、お子さんから見た結構でお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

1 父親	2 母親	3 祖父母	4 その他
------	------	-------	-------

問2 お子さんと同居し、生活を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください、単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a~h それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 祖父	b) 祖母	c) 父親	d) 母親	e) 兄・姉	f) 弟・妹	g) その他	h) 合計 <small>(あてはまる数の子の人数)</small>
0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	2 2人
1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	3 3人
2 2人	2 2人	2 2人	2 2人	2 2人	2 2人	2 2人	4 4人
3 3人	3 3人	3 3人	3 3人	3 3人	3 3人	3 3人	5 5人
4 4人以上	4 4人以上	4 4人以上	4 4人以上	4 4人以上	4 4人以上	4 4人以上	6 6人
0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	7 7人
1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	8 8人
2 2人	2 2人	2 2人	2 2人	2 2人	2 2人	2 2人	9 9人
3 3人	3 3人	3 3人	3 3人	3 3人	3 3人	3 3人	10 10人以上
4 4人以上	4 4人以上	4 4人以上	4 4人以上	4 4人以上	4 4人以上	4 4人以上	10 10人以上

富山市 子どもの生活実態調査

【保護者票】

この調査は、小学5年生または中学2年生のお子さんがある保護者の方に、生活の状況やお子さんのことなどについて伺うため、富山市が実施するものです。調査の結果は、子育て世帯等への施策に役立てることを目的としています。

- ・ この調査票は、小学5年生または中学2年生のお子さんの保護者の方がお答えください。
- ・ この調査は無記名です。名前を書く必要はありません。
- ・ ご回答は、回答の番号に○をつけてください。
- ・ ご記入いただいた調査用紙は、**白色**の封筒に入れ、他の人に見られないようじのりやセロハンテープで封をして、お子さんに渡してください。**12月21日(木)まで**に、学校にご提出いただきますようご協力をお願いいたします。
- ・ この調査票は、調査の目的以外には使用しません。ご回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- ・ 調査に関してのお問合せは、次の問い合わせ先までお願いします。

【問い合わせ先】

〒930-8510 富山市新桜町7番38号

富山市こども家庭部こども支援課 076-443-2252 (直通)

問8 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。
(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 父親	b) 母親
中学	1	1
中学、高校	2	2
中学、高校、専門学校	3	3
中学、5年制の高等専門学校	4	4
中学、高校、短大	5	5
中学、高校 (または5年制の高等専門学校)、大学	6	6
中学、高校 (または5年制の高等専門学校)、大学、大学院	7	7
その他	8	8
わからない	9	9
いない	10	10

問9 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものをお答えください。
(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 父親	b) 母親
正社員・正規職員・会社役員	1	1
嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業(家族従業員、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	4
働いていない(専業主夫/主婦を含む。)	5	5
わからない	6	6
いない	7	7

5に○をつけた場合のみ向く

問3 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。
(父親・母親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)

父親	母親	歳

問4 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。
(1~3については、あてはまるものすべてに○)

1 お子さんの父親が単身赴任中	2 お子さんの母親が単身赴任中
3 その他	4 単身赴任中の者はいない

問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

2に○をつけた場合のみ向く

1 結婚している(再婚や事実婚を含む。)
2 離婚
3 死別
4 未婚
5 わからない
6 いない

問6 前問で「2. 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 取り決めしており、受け取っている
2 特に取り決めはしていないが、受け取っている
3 取り決めしているが、受け取っていない
4 取り決めをしておらず、受け取っていない

問7 ご家庭でどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

1 日本語のみを使用している
2 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3 日本語以外の言語を使うことが多い

問 14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにごく少ない当りではありますか。
(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	あてはまる	あてはまる ほど	あてはまらない ほど	あてはまらない
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように動いている	1	2	3	4
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4

問 15 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。
(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
b) P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4
c) 子どもとの遊び	1	2	3	4
d) 子どもとの勉強を見ている	1	2	3	4

問 10 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。
(a) もそれぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	a) 父親	b) 母親
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病気や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

問 11 お子さんの親は、過去 1 年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか。
(父親・母親それぞれについて、あてはまる番号すべてに○)

	a) 父親	b) 母親
病気、障害等が原因で 1 週間以上入院していた	1	1
病気、障害等が原因で連続して 1 週間以上仕事を休んでいた	2	2
病気、障害等が原因で仕事をやめた	3	3
気分がひどく落ち込んでいた	4	4
なかなか眠れないことがあった	5	5
いずれも経験していない	6	6
わからない	7	7

問 12 お子さんが 0 ～ 2 歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。(あてはまるもの 1 つに○)

1 認可保育所・認定こども園	4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
2 その他の教育・保育等の施設	5 その他 ()
3 親・親族以外の個人	

問 13 お子さんが 3 ～ 5 歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。(あてはまるもの 1 つに○)

1 幼稚園・認可保育所・認定こども園	4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
2 その他の教育・保育等の施設	5 その他 ()
3 親・親族以外の個人	

問 16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

1	中学まで
2	中学、高校まで
3	中学、高校、専門学校まで
4	中学、5年制の高等専門学校まで
5	中学、高校、短大まで
6	中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学まで
7	中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院まで
8	その他（ ）
9	まだわからない →問18に進んでください。

問 17 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。
(1～5については、あてはまるものすべてに○)

1	お子さんがそう希望しているから
2	一般的な進路だと思うから
3	お子さんの学力から考えて
4	家庭の経済的な状況から考えて
5	その他（ ）
6	特に理由はない

問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
(a～cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)
また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑩のあてはまるものすべてに○)

頼れる人がいる	a) 子育てに 関する相談	b) 重要な 事柄の相談	c) いざと い時の お金の援助
家族・親族	1	1	1
友人・知人	①	①	①
近所の人	②	②	②
職場の人	③	③	③
学校の先生	④	④	④
スクールカウンセラー	⑤	⑤	⑤
スクールソーシャルワーカー	⑥	⑥	⑥
民生委員・児童委員	⑦	⑦	⑦
相談・支援機関や福祉の人	⑧	⑧	⑧
その他	⑨	⑨	⑨
いない	⑩	⑩	⑩
そのことでは人に頼らない	2	2	2
	3	3	3

問 19 あなたは、子育てに関する不安や悩みを誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1	不安や悩みを相談する必要性を感じていない
2	配偶者（パートナー）
3	兄弟姉妹
4	親
5	隣近所や民生委員など地域住民
6	職場の人や知人・友人
7	幼稚園・保育所・認定こども園や学校の先生
8	塾や習い事の先生
9	かかりつけの医師
10	保健所・保健福祉センター
11	専門の相談員（市の相談窓口など）
12	フェイスブック、インスタグラムなどSNS上の友達
13	その他（ ）
14	相談できる相手がいらない

問 2 2 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。(あてはまるもの3つまでに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの病気や発育に関する情報 2 子どもの食事や栄養に関する情報 3 子どもの遊ばせ方やしつけに関する情報 4 虐待防止に関する情報 5 医療機関に関する情報 6 子育てに関する相談窓口の情報 7 保育園、保育施設、幼稚園等に関する情報 8 音楽教室・体育教室などの習い事や塾の情報 9 小学校に関する情報 10 中学校など子どもの進路や進学に関する情報 11 子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報 12 外出先のベビーベッドや授乳スペース、おむつ替えスペース等の情報 13 子育て支援に関する市の施策や事業等に関する情報 14 ベビーシッターやホームヘルパー等自宅での保育サービスに関する情報 15 サークル等、親同士のネットワークに関する情報 16 その他 () 17 特になし

問 2 3 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1 大変ゆとりがある 2 ゆとりがある 3 ふつう 4 苦しい 5 大変苦しい

問 2 0 子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1 楽しいと感じることが多い 2 楽しいと感じることが多いと感じることが同くらい 3 辛いと感じることが多い 4 その他 () 5 わからない
--

問 2 1 子育てに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1 自分の親 2 兄弟姉妹 3 職場の人や知人・友人 4 隣近所や民生委員など地域住民 5 保健福祉センターや市役所など行政の窓口 6 市の広報誌 (広報とやま) 7 市の子育て支援ウェブサイト「言さほどやま」・母子健康手帳アプリ (母子手) など 8 幼稚園・保育所・認定こども園や学校 9 子育て支援センター・児童館など 10 インターネット 11 SNS (フェイスブック、インスタグラムなど) 12 その他 ()
--

問 28 次の a)～f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちほどのようでしたか。
 答えにくい場合は、問 29へ進んでください。
 (a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったく満足していない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	十分に満足している
a) 神経過敏に感じた				1	2	3	4	5					
b) 絶望的と感じた				1	2	3	4	5					
c) そろそろ、落ち着かなく感じた				1	2	3	4	5					
d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた				1	2	3	4	5					
e) 何をしても面倒だと感じた				1	2	3	4	5					
f) 自分は価値のない人間だと感じた				1	2	3	4	5					

※富山市保健所ではさまざまな不安や悩みについて相談に応じています。
 ハートSOSダイヤル (076-428-2033)

問 29 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「10」(まったく満足していない)から「0」(十分に満足している)の数字で答えてください。(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足していない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
-----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

問 24 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

※令和4年の年間収入についてお答えください。
 ※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の次の収入が含まれます。
 ・初め先収入(定期収入、賞与等)
 ・事業収入(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)
 ・公的年金・国民年金、その他の社会保険給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)
 ・農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)
 ・資産収入(預貯金利息、家賃収入等。家・土地などの鑑定売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く)
 ・その他の収入(仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等)

1 50万円未満	9 400～450万円未満
2 50～100万円未満	10 450～500万円未満
3 100～150万円未満	11 500～600万円未満
4 150～200万円未満	12 600～700万円未満
5 200～250万円未満	13 700～800万円未満
6 250～300万円未満	14 800～900万円未満
7 300～350万円未満	15 900～1000万円未満
8 350～400万円未満	16 1000万円以上

問 25 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

1 よくあった	3 まれにあった
2 とまどきあった	4 まったくなかった

問 26 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属、宝飾品(まがきくひん)は含みません。(あてはまるもの1つに○)

1 よくあった	3 まれにあった
2 とまどきあった	4 まったくなかった

問 27 あなたの世帯では、過去1年の間に、次の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

1 電気料金	3 水道料金
2 ガス料金	4 あてはまるものはない

問30 あなたのご家庭では、次の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
 (a～eそれぞれについて、1～3のあてはまるものを1つに○)
 また、「f」利用したことがない場合、その理由は何か。(①～⑤のあてはまるものを1つに○)

	a 就学援助 ※ 1	b 生活保護 ※ 2	c 生活困窮者の自立支援相談窓口 ※ 3	d 児童扶養手当 ※ 4	e 母子家庭等就学センター ※ 5
現在利用している	1	1	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3
制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思ったり、利用できるが、特に利用したいと思わなかったから	①	①	①	①	①
利用したいが、今までの支援制度を知らなかったから	②	②	②	②	②
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	③	③	③	③	③
それ以外の理由	④	④	④	④	④
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

(参考)
 ※1 就学援助：経済的理由により子供の就学が困難な場合に、学用品等を補助する制度。
 ※2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。窓口は、富山市生活支援課です。
 ※3 生活困窮者の自立支援相談窓口：市内では、富山市社会福祉協議会(富山市総合社会福祉センター1階)にあります。お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
 ※4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。(児童手当とは異なります。)窓口は、富山市こども福祉課です。
 ※5 母子家庭等就学・自立支援センター：市内では、公益財団法人富山県母子児童福祉連合会(サンシップ)やま3階)にあります。ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる。

問31 富山市の子育てに関する施策の中で今後さらに充実して欲しいと思う施策は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

1	子育てに関する相談体制
2	教育に関する相談体制
3	男女共同参画に関する取組
4	保育所・保育園等の保育サービス
5	幼稚園等の幼児教育や学校教育
6	家庭や地域における子育て環境向上に関する取組
7	妊娠期や出産期の母子保健サービス
8	小児医療体制
9	遊び場や住環境整備の取組
10	安全な子育て環境に関する取組
11	青少年期の心と体の健康づくりに関する取組
12	要保護児童等の支援
13	ひとり親家庭等への支援
14	障害児施策
15	子育てに関する経済的支援
16	ワーク・ライフ・バランスの意識づくりに関する取組
17	雇用環境の整備
18	子育て支援に関する情報発信
19	子育てに関する手続きのデジタル化
20	その他 ()

問32 子育ての相談をする手段として、どのような方法を希望しますか。
 (あてはまるものを1つに○)

1	対面で相談(直接会って)
2	電話で相談
3	オンラインで相談(ZOOMなど)
4	SNSやチャットで相談
5	その他 ()

問 3 3 例えば、子どもを連れて外出した際などにおいて、ちょっとした気遣い・配慮があっただけのことや助かったこと、あるいは困ったことなどがあれば、ご自由に記入ください。

問 3 4 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。
(あてはまるもの1つに○)



問 3 5 最後に、子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればいいか、また、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

富山市

子どもの生活実態調査結果報告書

発行日 令和6年3月
発行者 富山県 富山市役所 こども家庭部 こども支援課
住 所 〒930-8510 富山県富山市新桜町7番38号
T E L 076-443-2252
F A X 076-443-2169
URL <https://www.city.toyama.lg.jp/>